1. システム制御
(1) 制御システムの概要 …… C-3
(2) 監視制御システム …… C-7

2. 制御機能一覧 …… C-8

3. リモコン・コントローラーの機能 …… C-11

4. システムブロック図
(1) ビル用マルチ・Wマルチ …… C-16
(2) 3WAYマルチ …… C-20
(3) スマートマルチ …… C-22
(4) ハイパワープラス …… C-24

5. 警報一覧
(1) リモコンの警報一覧表 (室内ユニット接続時) …… C-25
(2) リモコンの警報一覧表 (水熱交換器ユニット接続時) …… C-28

6. 制御機器一覧 …… C-30

7. リモコン
多機能ワイヤードリモコン / CZ-10RT5 …… C-31
ワイヤードリモコン / CZ-10RT3, CZ-10RT3A …… C-89
ワイヤードリモコン (ペリメーター用) / CZ-10RT3P, CZ-10RT3PN …… C-118
ワイヤレスリモコン送信部 / CZ-10RWP2 …… C-128
ワイヤレスリモコン受信部 (4方向天井カセット形) / CZ-10RWRU2A …… C-135
ワイヤレスリモコン受信部
(2方向天井カセット形ナノイーX搭載機種 受信部) / CZ-10RWRL2 …… C-140
ワイヤレスリモコン受信部 (2方向天井カセット形) / CZ-10RWRL1 …… C-145
ワイヤレスリモコン受信部
(1方向天井カセット形、高天井用1方向、天井吊形) / CZ-10RWRD1A …… C-150
ワイヤレスリモコン受信部 (別置受信部) / CZ-10RWRC1A …… C-155
ワイヤレスリモコン受信部 (天井吊形ナノイーX搭載機種 受信部) / CZ-10RWRT1A …… C-160
多言語対応ワイヤードリモコン / CZ-10RTF4 …… C-165
昇降操作専用リモコン / CZ-10RWU3G …… C-173
簡単リモコン / CZ-02RE4 …… C-176

8. 集中制御
スケジュールタイマー / CZ-10ESW3 …… C-183
e-CUT機能付システムコントローラー / CZ-10ESM4 …… C-194
ON/OFF集中コントローラー / CZ-10AN4 …… C-213
インテリジェントコントローラー / CZ-10EST4A …… C-220
通信アダプター / CZ-10APB3A …… C-282

9. 制御関連機器

ロンワークスインターフェース / SHA-LN16U …… C-291
ON/OFF 制御用ローカルアダプター / CZ-CAPA1 …… C-305
ON/OFF 制御用ローカルアダプター / CZ-CAPL1 …… C-312
室内用リレー中継基板 / CZ-01APC3 …… C-319
室外シリパラ I/O/ ACC-XSP4U1 …… C-326
ミニシリパラ I/O ユニット / ACC-SP1 …… C-343
電磁弁出力基板 / ACC-3WAY-B1 …… C-348
電磁弁出力基板 / ACC-3WAY-EQ2 …… C-349
電磁弁出力基板 / ACC-3WAY-B2 …… C-350
電磁弁出力基板 / ACC-3WAY-EK …… C-353
信号出力基板 / ACC-SG-E …… C-357
RAC ローカルアダプター / CZ-CAPR1 …… C-361
BACnet アダプター / CZ-10ESB4 …… C-370

10. その他

エコナビセンサー（壁設置形）/ CZ-CSEN1 …… C-389
遠隔監視アダプター / CZ-01AP60B …… C-405
リモートセンサー / CZ-RSB4 …… C-449
運転表示ランプキット / IND-TH80E …… C-454
運転表示ランプキット / CZ-10TRP …… C-456
P-AIMS（ピーエイムス）システム …… C-458
チラーリモコン / CZ-10RTC1 …… C-473
チラーコントローラー / CZ-10RT15G …… C-497

(1) 制御システムの概要

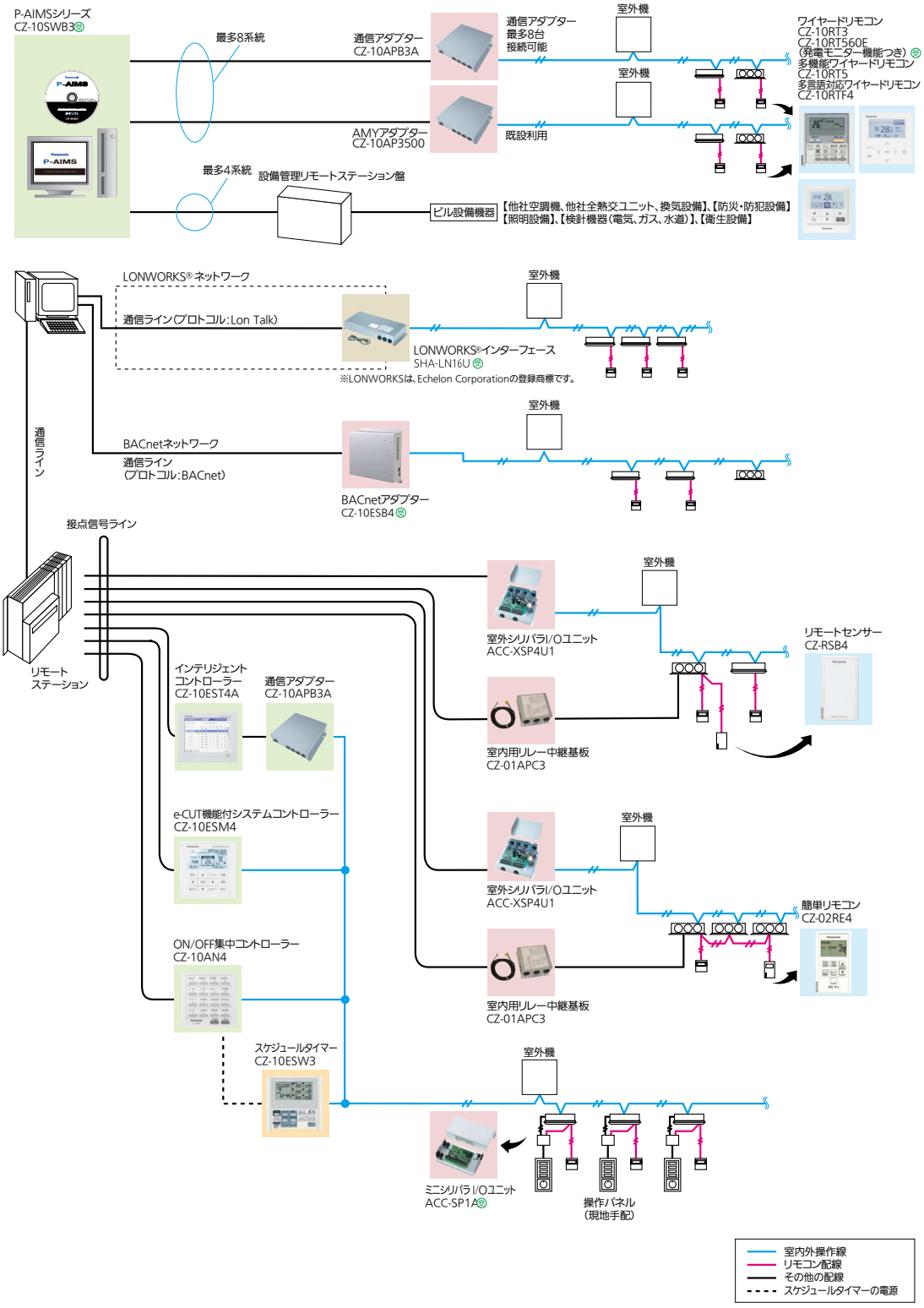
ガスヒートポンプU形シリーズは旧シリーズ同様に室内外操作線にリンクシステム＊(リンク配線)を採用しています。同一配線上に室外ユニットを最大30台、室内ユニットを最大64台まで接続可能です。従来の集中配線を廃止し、配線作業の簡略化、誤配線の防止を行うとともに、室内ユニットの各種設定を自動化(自動アドレス)し、大幅な省工事を実現致しました。

＊リンク配線・・・・・室内外操作線が複数の室外ユニットにわたる配線方式

●制御システム例

制御機器

用途・規模に合わせたフレキシブルなビル空調管理システム



①通信仕様の統一

GHPならびにPACの通信仕様の統一と通信の高速化により、制御性の向上を行っております。これにより集中制御機器の共通化が行え、GHP系統とPAC系統それぞれにリンク配線を使用することにより共通の集中制御機器に接続できます。

②リンク配線方式

配管系統の異なる室内外ユニットを1つの室内外操作線（無極性2芯）で接続でき、集中制御機器の通信を行う配線方式（以下リンク配線と呼ぶ）を採用し、大幅な配線作業の簡略化を実現しております。

1系統のリンク配線方式は、室内外操作線上に室外ユニットを最多30台、室内ユニットを最多64台、集中制御機器を最多10台まで接続可能な配線方式です。

（ただし、リンク配線内の各機器数の合計は100台までです。G900BD形・G1400BD形は2台として計算します）

③各種アドレス

室内外ユニットの通信による自動アドレス方式を採用しています。

また、各種設定はリモコンから変更や入力ができます。（リモコンからの自動アドレス設定はできません）

各種アドレスや各種設定内容は、室内基板上の不揮発性メモリ（EEPROM）に書き込まれます。

このメモリは電源を切った場合や停電の場合でも、書き込まれた内容は消えません。

・**系統（室外ユニット）アドレス・室内ユニットアドレス・グループアドレス**

自動アドレスにより室内ユニットの不揮発性メモリ（EEPROM）に自動的に書き込まれます。

（配線方式により、設定操作が必要になります）

・**集中制御アドレス**

集中制御を行う場合はリンク配線を行い、室内ユニットアドレスを設定してから、リモコンまたは集中制御機器から設定します。

●集中制御機器

集中制御機器の制御対象は、リンク配線［室内外操作線上の室外ユニット：最多30台、室内ユニット：最多64台、集中制御機器：最多10台］が対象になります。（複数の冷媒配管系統にまたがって集中制御機器を使用する場合は、必ずリンク配線方式になります）

*G,H,J,K,M,S,T形制御以外の機種は、ローカルアダプターを取り付けることにより、G,H,J,K,M,S,T形の集中制御機器に接続できます。

（主な制御機器）

・ワイヤードリモコン	: CZ-10RT3
	: CZ-10RT5
	: CZ-10RTF4
・ワイヤレスリモコン（送信部）	: CZ-10RWP2
（受信部）	: CZ-10RWRU7, -K, -H, -T
	: CZ-10RWRU2A, -K, -H, -T
	: CZ-10RWRL2
	: CZ-10RWRD1A
	: CZ-10RWRC1A
	: CZ-10RWRT1A
・e-CUT機能付システムコントローラー	: CZ-10ESM4
・インテリジェントコントローラー	: CZ-10EST4
・P-AIMSシステム	: CZ-10SWB3
	: CZ-10SWB3A
	: CZ-10SWB3D
	: CZ-10SWB3G
	: CZ-10SWB3B
	: CZ-10SWB3P
	: CZ-10SWB3S
	: CZ-10SWB3T
	: CZ-10SWB3W
	: CZ-10SWB3CA
	: CZ-10SWB3CV
	: CZ-10SWB3CL
・通信アダプター	: CZ-10APB3A
・オン/オフ制御用ローカルアダプター	: CZ-CAPL1
	: CZ-CAPA1

④1リンク配線系統（室内外操作線）の仕様

室内外操作線 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・無極性2芯
配線総延長距離 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・1㎞
分岐配線 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・最多16箇所（1m以内は分岐に含みません）
接続可能室外ユニット ・・・・・・・・・・・・最多30台
接続可能室内ユニット ・・・・・・・・・・・・最多64台
接続可能集中制御機器 ・・・・・・・・・・・・最多10台

（ただし1リンク配線内の各機器数の合計は100台までです。G900・1120・1400・1600BD形は2台で計算します。）

1）リンク配線系統の室内ユニットは、グループ制御を行っている子機も含めた室内ユニットの合計接続台数が最多64台までです。
2）室内ユニットや室外ユニットの台数が上記の台数制限より多い場合は、複数系統のリンク配線方式になります。
3）集中制御機器を使用する場合は、必ずリンク配線方式で配線を行ってください。
4）室内外操作線はⅥ.施工 2.電気工事を参照ください。
※ すべての室内外操作線の太さを2mm^{2}にすることにより総配線長を2kmまで増やすことが可能です。

⑤制御の配線例

「リンク配線方式」ならびに「自動アドレス設定」を採用しています。

下記の配線例のように配線できますが配線方法により自動アドレス設定の方法が異なりますので該当システムに最適な配線方法を選定してください。

リンク配線していない場合

室外ユニット 1 系統設置の場合、又は複数の（リンク配線はしていない）室外ユニットがあり、系統（室外ユニット）アドレスを区分したい場合

1）室外ユニット内の系統（室外ユニット）アドレスを「1」、または「1」から順次設定します。
2）室内外ユニットの電源を投入します。
3）室外ユニットのメイン基板の操作で自動アドレス設定を行います。

リンク配線した場合

室内外操作線が複数の室外ユニットにわたっている（リンク配線）場合

1）室外ユニット内の系統（室外ユニット）アドレスを「1」から順次設定します。

複数の冷媒配管系統をリンク配線行った場合でも、室内外ユニットの電源が冷媒配管系統毎に入切可能かどうかによって自動アドレスの設定方法が異なります。

《室内外ユニットの電源が冷媒配管 1 系統毎に入切できる場合》

室外ユニットを運転しないで、室内外ユニット通信でアドレス設定を行います。

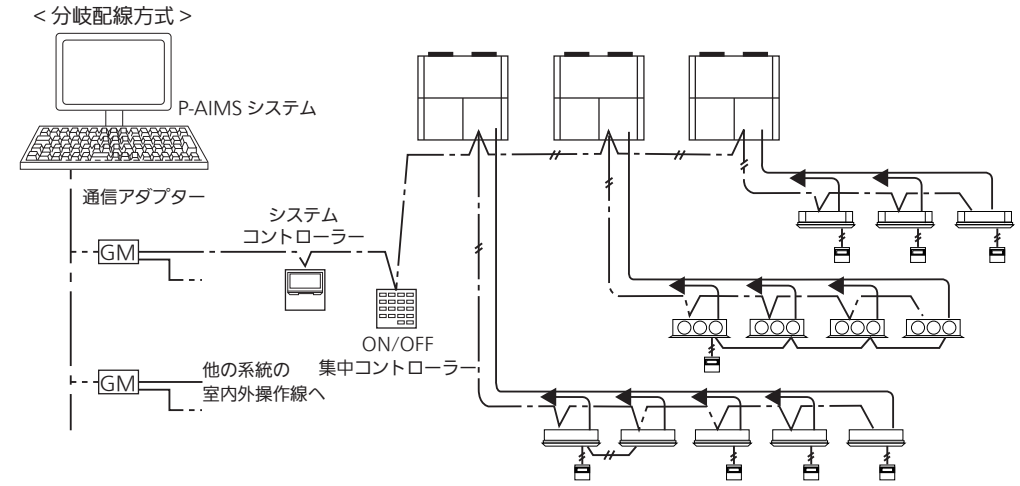
2）自動アドレスを行う冷媒配管系統のみ電源を投入します。
3）室外ユニットのメイン基板の操作で自動アドレス設定を行います。

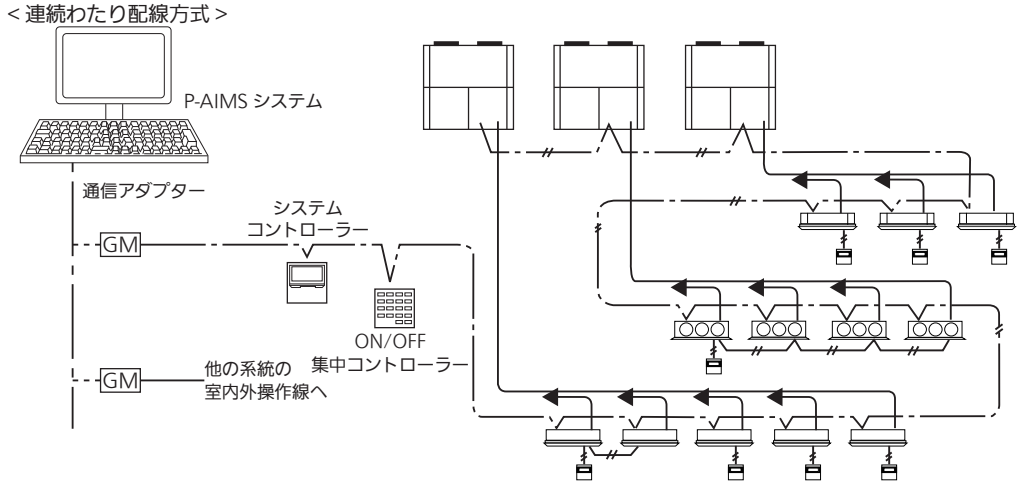
《室内外ユニットの電源が冷媒配管系統毎に入切できない場合》

冷媒配管系統毎に室外ユニットの運転を行い、各系統の室内ユニットアドレスの設定を行います。

2）この場合は事前に冷媒配管工事・燃料配管工事を完了し、電源を投入します。
3）室外ユニットのメイン基板の操作で自動アドレス設定を行います。

●制御配線方式

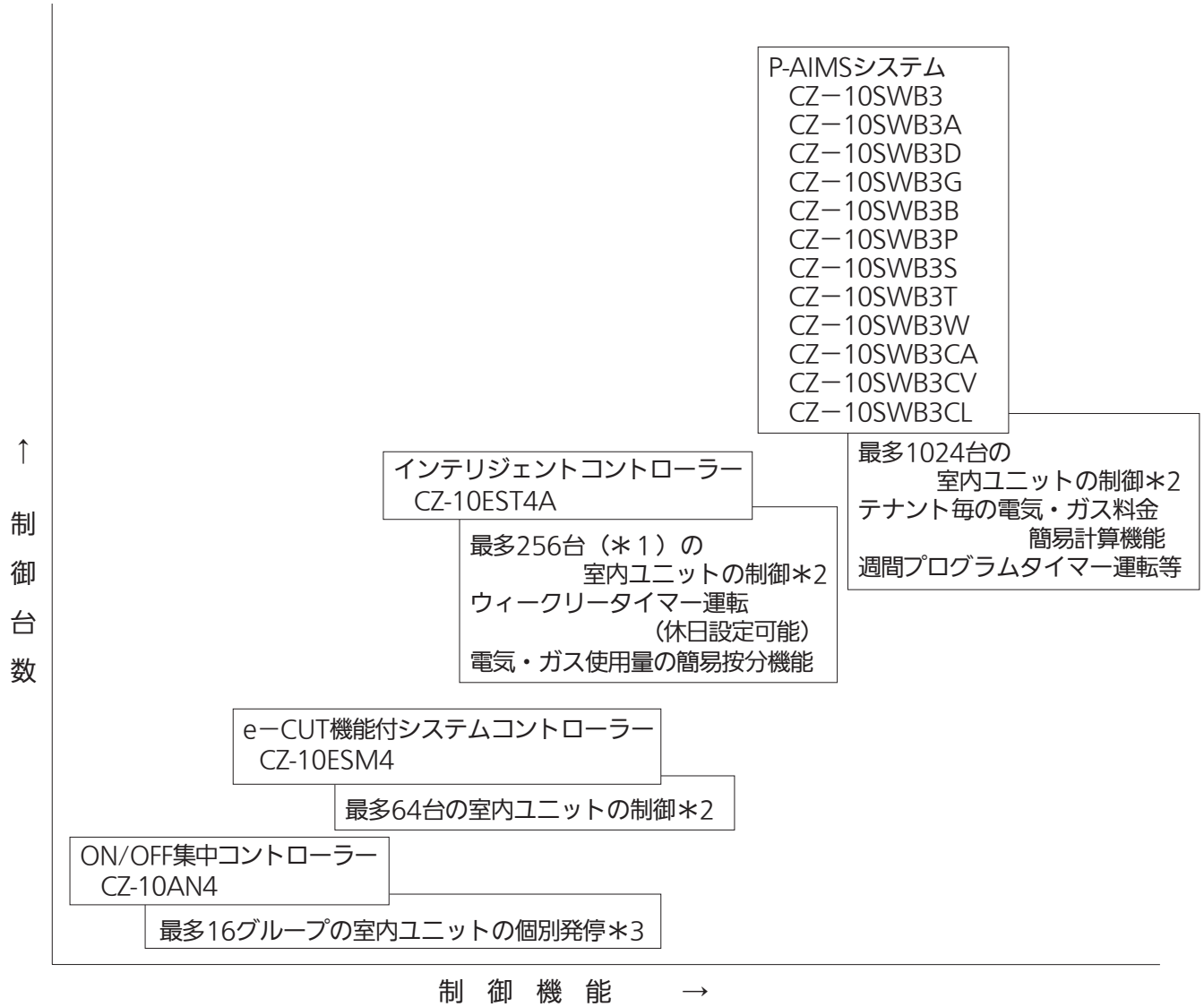




(2) 監視制御システム

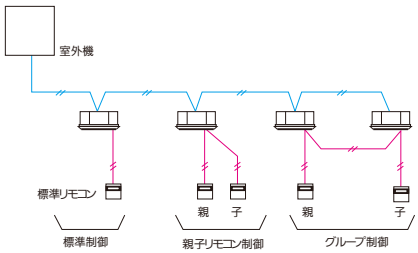
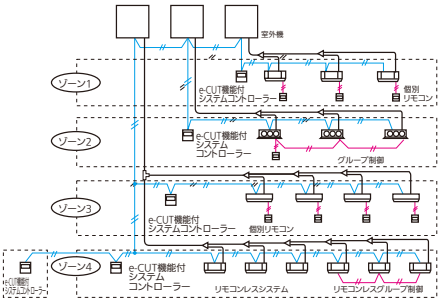
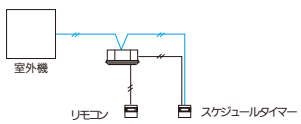
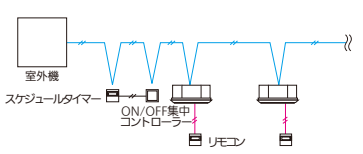
制御関連商品とシステムは、対象とする室内ユニットの台数と目標とする制御機能やデータ量により図のように位置付けられます。それぞれの商品およびシステムについて、規模と目標に合わせて最適のシステムをご検討いただきますよう、お願い申し上げます。

《GHPのトータル監視制御システム展開》
規模・目標に合わせて最適のシステムをお選びください。

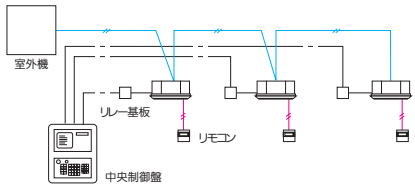


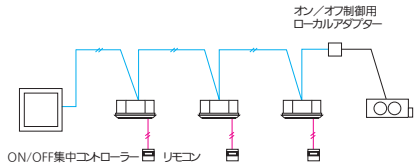
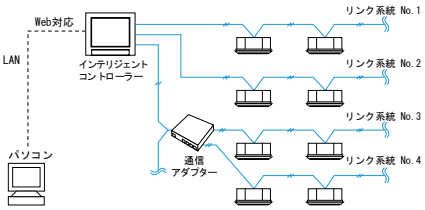
＊1：3系統以上の場合には、外部に通信アダプター（CZ-10APB3A）の設置が必要です。
＊2：グループ制御をする場合、最多接続台数と同数のグループ制御が可能ですが、最多接続台数を超えることはできません。
＊3：グループ制御をする場合16グループの制御が可能ですが、最多64台を超えることはできません。
■集中機器が1台しか設置されていないリモコンシステムでは、万一その集中機器が故障した場合、空調機を運転でないなどの問題が発生する可能性があります。その安全措置として、複数の集中機器を設置するよう推奨いたします。

■制御システム

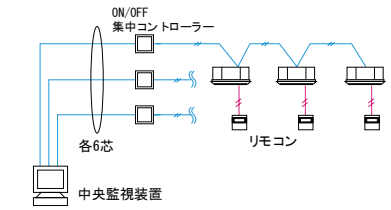
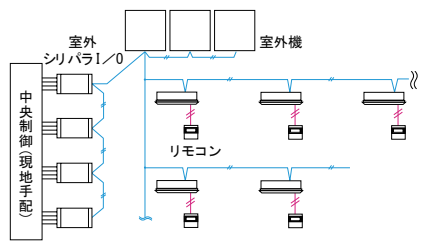
制御方式	制御内容	遠方側機器 品名・品番	遠方側機器 個数	手元側機器 品名・品番
リモコン制御	●標準制御 (1) グループ制御 (2) 親子リモコン制御 	標準制御 ● ワイヤードまたはワイヤレスリモコンにより室内ユニットの各種制御を行います。 ● 室外ユニットの冷暖モードはリモコンの先押し優先で決定されます。 ● リモコンセンサー、ボディーセンサー切替可能。 (1) グループ制御 ● 遠隔ですべての室内ユニットを一括制御。 ● 全室内ユニット同一モードで運転。 ● 最多8台まで接続可能。 ● センサーはボディセンサーとし、リモコン設定温度に対して各室内ユニット毎にON/OFF。 (2) 親子リモコン制御 ● 室内ユニット1台に対し最多2個のリモコン。(親リモコン+子リモコン) が設置可能。 ● 後押し優先。(リモコン上で親子の設定をします。) ● 子リモコンでもタイマー設定可能。(但し、親か子いずれか一方の設定となります。)	——	—	●ワイヤードリモコン CZ-10RT3 CZ-10RT5 CZ-10RTF4 ●簡単リモコン CZ-02RE4 ●ワイヤレスリモコン CZ-10RWRU7 CZ-10RWRU2A CZ-10RWRL2 CZ-10RWRD1A CZ-10RWRC1A CZ-10RWRT1A
e-CUT機能付システムコントローラー	(3) e-CUT機能付システムコントローラー 	●e-CUT機能付システムコントローラーと標準リモコンにより室内ユニットの各種制御を遠方又は手元から行う。 ●最多64台・64グループの室内ユニットを1～4のゾーンに分け個別に制御できます。 ●親・子システム制御ができます。(親子合わせて2台まで) ●e-CUT機能付システムコントローラーを集中制御機器として使用するか、リモコンとして使用するかを選択できます。 ●一斉/ゾーン毎/グループ単位で操作ができます。 ●1~4のゾーンのうち、いずれかのみの設定に限定することもできます。 ●他の集中制御機器との併用もできます。(同一回線上に他の集中制御機器を含め最多10台まで接続可能。) ●e-CUT機能付システムコントローラーは、1日8回のプログラム運転(運転/停止、運転モード、室温、手元許可/手元禁止) が可能です。	●システムコントローラー CZ-10ESM4 ●ON/OFF集中コントローラー CZ-10AN4 ●インテリジェントコントローラー CZ-10EST4A	組合せで最多10台	●ワイヤードリモコン CZ-10RT3 CZ-10RT5 CZ-10RTF4 ●簡単リモコン CZ-02RE4 ●ワイヤレスリモコン CZ-10RWRU7 CZ-10RWRU2A CZ-10RWRL2 CZ-10RWRD1A CZ-10RWRC1A CZ-10RWRT1A
タイマー運転制御	(4) スケジュール制御 (室内ユニットから電源供給) 	●最多64台・64グループの室内ユニットを 1～8グループに分けてグループ単位でタイマー制御が可能です。 ●1日6回までのタイマー制御が可能です。 ●タイマー制御項目は、運転/停止、手元許可/手元禁止で、それぞれを組み合わせて、もしくは単独で設定可能です。(運転のみ、手元許可のみ、運転+手元許可、停止+手元禁止、等) ●1週間以内の臨時休日設定ができます。	●スケジュールタイマー CZ-10ESW3 ●ON/OFF集中コントローラー CZ-10AN4	組合せで最多10台	●ワイヤードリモコン CZ-10RT3 CZ-10RT5 CZ-10RTF4 ●簡単リモコン CZ-02RE4 ●ワイヤレスリモコン CZ-10RWRU7 CZ-10RWRU2A CZ-10RWRL2 CZ-10RWRD1A CZ-10RWRC1A CZ-10RWRT1A
	(5) スケジュール制御 (集中機器から電源供給) 		●システムコントローラー CZ-10ESM4 ●インテリジェントコントローラー CZ-10EST4A		

● 集中制御機器が1台の場合、故障等がありますと空調機の制御ができなくなる可能性がありますので、その他の制御機器の併用を推奨いたします。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">制御方式</th><th rowspan="2">制御内容</th><th colspan="2">遠方側機器</th><th>手元側機器</th></tr>
<tr><th>品名・品番</th><th>個数</th><th>品名・品番</th></tr>
<tr><td rowspan="3">遠方・連動・中央制御</td><td>(6) 遠方発停制御
 
</td><td>●各室内ユニットにリレー中継基板を設け、中央制御盤で、ON/OFF、運転、警報の取出し、集中個別の切換を行います。
●通信方式
<table><tr><th colspan="2"></th><th>CZ-01APC3</th></tr><tr><td rowspan="2">出力</td><td>運転信号
警報信号</td><td>無電圧接点</td></tr><tr><td>入力</td><td>運転／停止</td><td>各種仕様</td></tr></table></td><td>●中央制御
＜現地手配＞

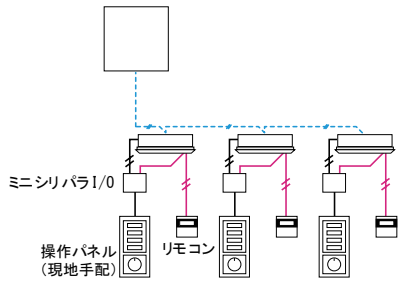
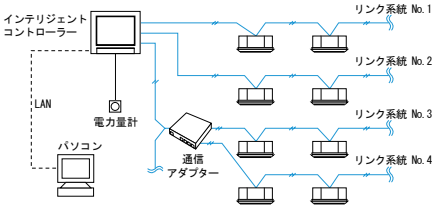
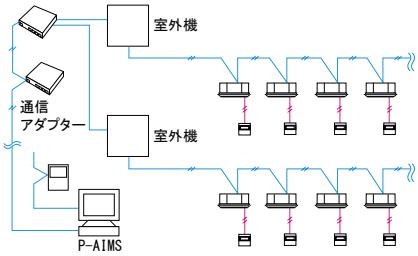
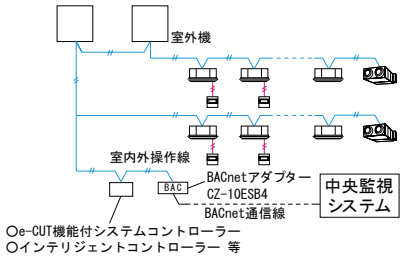
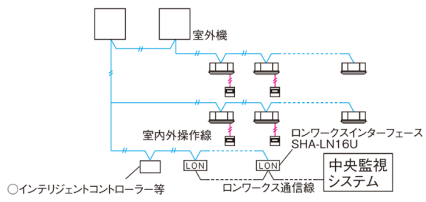
●リレー中継基盤
CZ-01APC3</td><td>一</td><td>●ワイヤードリモコン
CZ-10RT3
CZ-10RT5
CZ-10RTF4
●簡単リモコン
CZ-02RE4
●ワイヤレスリモコン
CZ-10RWRU7
CZ-10RWRU2A
CZ-10RWRL2
CZ-10RWRD1A
CZ-10RWRC1A
CZ-10RWRT1A</td></tr>
<tr><td>(7) ON/OFF集中制御
 
</td><td>●ON/OFF集中コントローラーを使って最多16グループ（64台）の室内ユニットをON/OFF制御できます。
●外気処理ユニット等ローカルアダプターを使ってコントロールできます。</td><td>●ON/OFF集中コントローラー
CZ-10AN4</td><td>1台</td><td>●ワイヤードリモコン
CZ-10RT3
CZ-10RT5
CZ-10RTF4
●簡単リモコン
CZ-02RE4
●ワイヤレスリモコン
CZ-10RWRU7
CZ-10RWRU2A
CZ-10RWRL2
CZ-10RWRD1A
CZ-10RWRC1A
CZ-10RWRT1A
●オン／オフ制御用
ローカルアダプター
CZ-CAPL1
CZ-CAPA1</td></tr>
<tr><td rowspan="3">中央監視制御</td><td>(8) インテリジェントコントローラー制御
（中央監視制御）
 
</td><td>●最多256台（4系統×64台）の室内ユニットの制御が可能。3系統以上の場合は外部に通信アダプターCZ-10APB3Aの設置が必要です。
●一括、ゾーン単位、テナント単位、グループ単位で操作可能。
●運転／停止、運転モード切替、温度設定、風速切替、風向切替、リモコンの手元操作禁止（禁止1、2、3、4）ができます。
●リモコン、ON/OFF集中コントローラー、システムコントローラーなどとの併用もできます。
●ウィークリータイマー、休日設定、空調エネルギー按分も可能。</td><td>●インテリジェントコントローラー
CZ-10EST4A

●通信アダプター
CZ-10APB3A</td><td>1台

通信アダプターが3系統以上の時必要</td><td rowspan="3">●ワイヤードリモコン
CZ-10RT3
CZ-10RT5
CZ-10RTF4
●簡単リモコン
CZ-02RE4
●ワイヤレスリモコン
CZ-10RWRU7
CZ-10RWRU2A
CZ-10RWRL2
CZ-10RWRD1A
CZ-10RWRC1A
CZ-10RWRT1A</td></tr>
<tr><td>(9) 中央監視システム
 
</td><td>●ON/OFF集中コントローラーを中央監視装置に接続できます。
●中央監視装置から一括ゾーン
（ゾーン毎）ON/OFF入力
中央監視装置への運転出力、一括警報出力が取り出せます。</td><td>●中央監視装置
＜現地手配＞</td><td>最多4台</td></tr>
<tr><td>(10) 室外シリパラI/Oユニット
 
</td><td>●室外シリパラI/Oユニットを中央制御盤の近くに設置可能。
●室外シリパラI/Oユニット1台で最多4台の室外ユニット（冷媒系統）を制御可能。
●中央制御盤からの接点信号で、冷暖切換、室内ユニット一斉ON/OFFができます。</td><td>●中央監視装置
＜現地手配＞

●室外シリパラI/Oユニット
（ACC-XSP4U1）</td><td>最多8台</td></tr>
</table>

● 集中制御機器が1台の場合、故障等がありますと空調機の制御ができなくなる可能性がありますので、その他の制御機器の併用を推奨いたします。

制御方式	制御内容	遠方側機器 品名・品番	遠方側機器 個数	手元側機器 品名・品番
中央監視制御 (11) ミニシリパラI/Oユニット 	●1グループ最多8台の室内ユニットを制御可能です。 ●下記の①～④の機能をDIPSWによって設定し、制御できます。 ①風速設定　＋運転/停止 ②手元発停禁止/許可　＋運転/停止 ③強制サーモOFF　＋運転/停止 ④運転モード設定　＋運転/停止 ●設定温度は変更可能です。 入力は0-10Vまたは、0-140Ωどちらかを選択します。 ●運転、警報出力が可能です。 ●室温出力は、4～20mAで出力します。	●中央監視装置 <現地手配> ●ミニシリパラI/Oユニット（ACC-SP1A）	—	●ワイヤードリモコン CZ-10RT3 CZ-10RT5 CZ-10RTF4 ●簡単リモコン CZ-02RE4 ●ワイヤレスリモコン CZ-10RWRU7 CZ-10RWRU2A CZ-10RWRL2 CZ-10RWRD1A CZ-10RWRC1A CZ-10RWRT1A
中央監視制御＋空調エネルギー按分システム (12) インテリジェントコントローラー制御 	●空調エネルギー按分と空調料金按分計算ができます。 ●最多256台の室内ユニットの制御が可能。3系統以上の場合は外部に通信 アダプター CZ-10APB3Aの設置が必要です。 ●一括、ゾーン単位、テナント単位、グループ単位で操作可能。 ●運転/停止、運転モード切替、温度設定、風速切替、風向切替、リモコンの手元操作禁止（禁止1、2、3、4）ができます。	●電力量計 <現地手配> ●インテリジェントコントローラー CZ-10EST4A ●通信アダプター CZ-10APB3A	1台 ［通信アダプターが3系統以上の時必要］	●ワイヤードリモコン CZ-10RT3 CZ-10RT5 CZ-10RTF4 ●簡単リモコン CZ-02RE4 ●ワイヤレスリモコン CZ-10RWRU7 CZ-10RWRU2A CZ-10RWRL2 CZ-10RWRD1A CZ-10RWRC1A CZ-10RWRT1A
(13) P-AIMS 	●P-AIMSと通信アダプターにより、個別および一括のON/OFF、温度設定、冷房切替、運転信号、警報信号表示等ができます。 ●通信系統最多4系統、室内ユニット1024台、室外ユニット960台接続。 ●料金計算データ、警報履歴、状変履歴をCSV出力。 ●別売ソフトを使用して、レイアウト表示、デマンド制御が可能。	●電力量計 <現地手配> ●P-AIMS基本ソフト CZ-10SWB3 ●P-AIMS料金計算 ソフト CZ-10SWB3A ●通信アダプター CZ-10APB3A	1台 ［通信アダプターが最多32台］	
ビル管理システム (14) S-DDCとビル管理システム 	●S-DDCとAMYアダプターを使いビル管理システムのインターフェース（山武製BMIF）に接続できます。	●ビル管理システム（山武製BMIF） <現地手配> ●S-DDC CZ-10ESKD2 ●AMYアダプター CZ-10AP3500	1台 ［AMYアダプターが最多32台］	●ワイヤードリモコン CZ-10RT3 CZ-10RT5 CZ-10RTF4 ●簡単リモコン CZ-02RE4 ●ワイヤレスリモコン CZ-10RWRU7 CZ-10RWRU2A CZ-10RWRL2 CZ-10RWRD1A CZ-10RWRC1A CZ-10RWRT1A
オープンネットワーク (15) ロンワークスインターフェース 	●ロンワークスに接続される中央監視システムから室内ユニット最多16グループの基本的な設定/状態監視ができます。 ●ロンワークスインターフェース1台で、室内ユニット最多16グループ（最多64台）を制御可能。 ●室内ユニットが17グループ以上のときは、インターフェースを追加接続してください。	●ロンワークスインターフェース SHA-LN16U ●システムコントローラー CZ-10ESM4 ●インテリジェントコントローラー CZ-10EST4A ●通信アダプター CZ-10APB3A	室内ユニット最多16グループに対して1台	

● 集中制御機器が1台の場合、故障等がありますと空調機の制御ができなくなる可能性がありますので、その他の制御機器の併用を推奨いたします。

A. リモコン・コントローラーの機能一覧

機能一覧 ＼ リモコン			ワイヤードリモコン			簡単リモコン	ワイヤレスリモコン
			多機能 ワイヤードリモコン CZ-10RT5	ワイヤードリモコン CZ-10RT3	多言語対応 ワイヤードリモコン CZ-10RTF4	CZ-02RE4	CZ-10RWP2（送信部） *各室内ユニットの受信部は（5）制御機器、■制御機器一覧をご参照下さい。
接続可能なエアコンの種類			U・T・S・M・K・J・H形 ※5				
機能	運転/停止		●	●	●	●	●
	運転切換	冷暖自動 ※1	●	●	●	●	●
		暖房	●	●	●	●	●
		ドライ ※1	●	●	●	●	●
		冷房	●	●	●	●	●
		送風	●	●	●	●	●
	温度設定		●	●	●	●	●
	風速設定 急・強・弱・自動		●※9	●※9	●	●	●※9
	オートフラップ	自動風向位置出し ※2	●	●	●	●	●
		任意風向設定 ※2	●	●	●	●	●
	フラップスイング ※2		●	●	●	●	●
	省エネモード		●	●	●※7	●	●
	昇降グリル操作（別売の昇降グリル取付時）		●	●	×	×	●
	換気扇操作（市販の換気扇の連動運転、および単独ON/OFF）		●	●	×	×	●
	熱交換気ユニット連動 ※13		●	×	×	×	×
	時限タイマー（30分単位）		×	●	●※6	×	×
	時刻タイマー（24時間タイマー設定）		●	×	×	×	●
	リモコンセンサー		●	●	×	●	×
	設定温度自動リターンモード		●	●	×	×	●
	設定温度範囲制限		●	×	×	×	×
	消し忘れ防止		●	×	×	×	×
	時間帯デマンド		●	×	×	×	×
	フィルター残り時間表示		●	×	×	×	×
	エコナビ ※11		●	×	●※7	×	●
	ナノイーX ※12		●	×	●※7	×	●
	多言語表示		×※10	×	●※8	×	×
システム	集中管理		×	×	×	×	×
	グループ制御（1グループ最多8台）		●（同時運転制御1グループまで）		●	●（同時運転制御1グループまで）	●（同時運転制御1グループまで）
	複数台並列リモコン（子リモコンとして）		●		●	●	●
	複数台並列リモコン（親リモコンとして）		●		●	●	●
設定範囲	冷房（℃）		18～30				
	ドライ（℃）		18～30				
	暖房（℃）		16～30※3				
	冷暖自動（℃）		18～30				
他の制御機器との併用	ワイヤードリモコン		●		●	●	●
	ワイヤレスリモコン		●		●	●	●
	e-CUT機能付システムコントローラー		●		●	●	●※4
	スケジュールタイマー		●		●	●	●※4

※1. システムにより表示されない場合もあります。取扱説明書等でご確認ください。

※2. お使いの室内機によって機能が異なります。詳しくは本体に付属されている取扱説明書をご覧ください。

※3. 一部の機種の上限温度は26℃になります。

※4. 併用する場合は、リモコンの手元禁止機能が制限されます。

※5. ワイヤレスリモコンは、J1形・H形の室内機には、ご使用になれません。

※6. 入タイマーは、6時間、7時間、8時間、切タイマーは1時間、2時間、3時間の設定が可能です。

※7. 出荷設定は不可。据付（電気）工事説明書記載の設定が必要です。エコナビは、ON／OFFのみ対応。

※8. 日本語・英語併記、英語、中国語（簡体字）の3言語を切り替え表示可能。フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポーランド語、ロシア語の表示も可能。据付（電気）工事説明書記載の設定が必要です。

※9. 多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT5）多言語ワイヤードリモコン（CZ-10RTF4）ワイヤレスリモコン（CZ-10RWP2）ご利用時のみ、5段階で設定可能です。

※10. 多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT5）は、トップ画面のみ英語表示に切替可能です。

※11. 室内機　エコナビ対応機種（4方向天井カセット形ナノイーX（48・4.8兆）搭載）、壁掛け形）にのみ対応しております。但し、壁設置形エコナビセンサー（CZCSEN1）使用時、ワイヤレスリモコンは併用不可のため、壁掛け形では、ワイヤレスリモコンでエコナビ機能をご利用いただけません。

※12. 室内機　ナノイーX対応機種（4方向天井カセット形ナノイーX（48・4.8兆）搭載）、1方向天井カセットスリム形ナノイーX（48・9.6兆）搭載／電動弁取付けタイプナノイーX（48・9.6兆）搭載、2方向天井カセット形ナノイーX（48兆）搭載、天井吊形ナノイーX（4.8兆）搭載にのみ対応しております。但しワイヤレスリモコンは、1方向天井カセットスリム形ナノイーX（48・9.6兆）搭載には対応していません。

※13. 適用シリーズ・・・当社製　天井埋込形・マイコンタイプMZD10シリーズ、天吊カセット形・マイコンタイプMZB10シリーズ

※ 集中制御が1台しか設置されていないリモコンレスシステムでは、万が一その集中機器が故障した場合、空調機を運転できないなどの問題が発生する場合があります。その安全措置として複数の集中機器を設置するよう推奨いたします。

B. コントローラー・集中制御機能一覧

エアコンの種類（グループ別）
aグループ /GHP:U・T・S・M・K・J・H・G形　bグループ / 小形エアコン　cグループ / その他の種類

品名		e-CUT 機能付 システムコントローラー			ON/OFF 集中 コントローラー			インテリジェント コントローラー ※26			P-AIMS （ピーエイムス）		
品番		CZ-10ESM4			CZ-10AN4			CZ-10EST4A ※27			CZ-10SWB3 シリーズ(受)※1		
室内機・接続台数（管理可能な台数）		64 台×1 系統 ※3			64 台×1 系統 ※4			最多 16 系統 256 台 ※4 通信アダプター CZ-10APB3A			64 台×64 系統 1,024 台 通信アダプター CZ-10APB3A		
エアコンの種類（グループ別）		a	b ※5	c ※6	a	b ※5	c ※6	a	b ※5	c ※6	a	b ※5	c ※6
接続に必要なローカルアダプター	CZ-10APB3A	—	—	—	—	—	—	●	●	●	● ※7	●	●
	CZ-CAPL1/CZ-CAPA1	—	●	●	—	●	●	—	●	●	—	●	●
	CZ-CAPR1	—	● ※25	—	—	● ※25	—	—	● ※25	—	—	● ※25	—
※インターフェースリレー中継基盤では機能のみ 操作／表示機能	運転 / 停止	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	モード変更 ※2	●	● ※28	—	—	—	—	●	● ※28	—	●	● ※28	—
	風速変更	●	● ※28	—	—	—	—	●	● ※28	—	●	● ※28	—
	温度設定	●	● ※28	—	—	—	—	●	● ※28	—	●	● ※28	—
	風向変更	● ※8	● ※28	—	—	—	—	● ※8	● ※28	—	● ※8	● ※28	—
	省エネモード	—	—	—	—	—	—	●	—	—	●	—	—
	集中 / 個別切替	● ※9	—	—	● ※11	—	—	● ※23	—	—	● ※23	—	—
	週間プログラム	●	●	●	—	—	—	● ※10	●	●	●	●	●
	特定日（休日）設定	—	—	—	—	—	—	●	●	●	●	●	●
	デマンド制御	●	—	—	—	—	—	●	—	—	● ※12	—	—
	室内温度	—	—	—	—	—	—	●	—	—	●	—	—
	一括運転確認	—	—	—	—	—	—	●	●	●	●	●	●
	警報	●	—	●	●	—	● ※13	● ※14	● ※15	● ※15	● ※14	● ※15	● ※15
	運転積算時間	—	—	—	—	—	—	●	● ※16	●	● ※18	● ※18	● ※18
	サーモ ON 積算時間	—	—	—	—	—	—	●	● ※17	● ※17	● ※18	● ※17※18	● ※17※18
	発停回数	—	—	—	—	—	—	●	●	●	●	●	●
	説明文	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	●	●
	レイアウト表示	—	—	—	—	—	—	●	●	●	● ※19	● ※19	● ※19
外部入出力端子	モード固定 ※24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	外部一括警報出力	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	オール ON・OFF 入力	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	スケジュールタイマー	—	—	—	● ※20	● ※20	● ※20	—	—	—	—	—	—
	一括運転モニター出力	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
印刷機能	各画面印刷	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	●	●
	按分印刷	—	—	—	—	—	—	▲ ※21	▲ ※21	▲ ※21	● ※18	● ※18※22	● ※18※22
	警報印刷	—	—	—	—	—	—	▲ ※21	▲ ※21	▲ ※21	●	●	●
	請求書発行	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1. CZ-10SWB3シリーズは機能により、別ソフトが必要となります。
※2. 送風、冷房、ドライ、暖房、自動のモード。
※3. 1リンク配線の制限（室内機最多64台、室外機最多30台、集中制御機器最多10台、ただし、合計は最多100台）を満たす室内機が制御対象で、全室内機を制御可能な一斉モードと、室内機を1～4の4ゾーンに分け、各ゾーンのみ制御対象とするゾーン1・2・3・4モードが選択できます。
※4. 1系統は1リンク配線の制限（室内機最多64台、室外機最多30台、集中制御機器最多10台、ただし、合計は最多100台）の室内機最多64台が制御対象です。ON/OFF集中コントローラーは16グループまで制御可能。
（ON/OFF集中コントローラー1台で室内機最多64台を制御=1グループの室内機4台）
※5. 「JEMA標準HA端子-A」端子が付いているエアコン等を発停および発停モニター可能。（旧L3C機能）
※6. リレー接点出力
※7. 既設CZ-10AP3500通信ラインを接続できます。
※8. グループ制御内は、一括設定になります。
※9. 表1）5段階が設定可能。但し、リモコンモード使用時は、設定できません。G形は「運転モードのみの禁止」は設定できません。
※10. 運転/停止、運転モード、温度設定、風速設定、風向設定、手元禁止、省エネ設定をタイマーで設定可能。
※11. 表1）2段階（許可と禁止1〈運転/停止の許可/禁止〉）が設定できます。4パターンのグループ一括からの選択固定になります。
詳細は据え付け工事説明書、設備設計資料を参照してください。
※12. デマンドコントローラー（現地手配）、CZ-10SWB3Dソフトが必要です。手動設定での制御機能は基本ソフトに含まれます。
※13. ランプのフラッシングで表示。
※14. 警報内容、発生日時を各グループ毎に表示。（インテリジェントコントローラーのメモリー機能は合計20,000件まで。P-AIMSは、合計20,000件保存する。CSV出力可能）
※15. 警報発生日時を表示。
（インテリジェントコントローラーのメモリー機能は合計20,000件まで。P-AIMSは合計20,000件保存する。CSV出力可能）
※16. 室内機のみ表示。
※17. サーモ信号を取り出せば可能。
※18. CZ-10SWB3A（料金計算ソフト）が必要です。
※19. CZ-10SWB3G（レイアウト表示ソフト）が必要です。
※20. スケジュールタイマーを室内外操作線とT1/T2端子に接続することで、操作対象の室内機を制御可能。
※21. 印刷は、お客様のパソコン・プリンターをご使用願います。
※22. 室内能力相当値（kW）をP-AIMSから設定する必要があります。
※23. 表1）5段階が設定できます。
※24. 室外シリパラI/Oユニットから可能です。
※25. 当社製の小形エアコンのみとなります。
※26. 熱交換気ユニットは、インテリジェントコントローラー単独ではスケジュール機能をご使用頂けません。
ご使用にあたっては、スケジュールタイマー（CZ-10ESW3）との併用が必要です。
※27. インテリジェントコントローラー（CZ-10EST4A）に通信アダプターをご利用する場合は、必ず通信アダプター（CZ-10APB3A）をご使用下さい。
※28. RACローカルアダプター（CZ-CAPR1）のみ可能です。

表1）　禁止／個別切り換え、制限内容　※禁止1～禁止4の制限内容は、変更可能です。

許可	リモコンの操作に制限はありません。ただし、集中制御機器またはリモコンのどちらかで、後から操作した内容に変更されます。
禁止1	リモコンで運転／停止、できません。（それ以外の操作はリモコンで可能）
禁止2	リモコンで運転／停止、運転モード変更、温度設定ができません。（それ以外の操作はリモコンで可能）
禁止3	リモコンで運転モード変更、温度設定ができません。（それ以外の操作はリモコンで可能）
禁止4	リモコンで運転モードの変更ができません。（それ以外の操作はリモコンで可能）

※　集中制御が1台しか設置されていないリモコンレスシステムでは、万が一その集中機器が故障した場合、空調機を運転できないなどの問題が発生する場合があります。
その安全措置として複数の集中機器を設置するよう推奨いたします。

C. インターフェース機能一覧

㊜: 受注生産品

品名		BACnet アダプター	室外シリパラ I/O ユニット	ミニシリパラ I/O ユニット	LONWORKS インターフェース
品番		CZ-10ESB4㊜	ACC-XSP4U1	ACC-SP1A㊜	SHA-LN16U㊜
室内機・接続台数（管理可能な台数）		128台	4冷媒系統の室内ユニット（1冷媒系統一括）	1グループ/8台	16グループ/64台
エアコンの種類		e	a	e	e
接続に必要なローカルアダプター	CZ-CAPL1/ CZ-CAPA1	—	—	—	—
操作/表示機能（※インターフェースリレー中継基盤では機能のみ）	運転/停止	●	● ※3	● ※3	● ※5
	モード変更	●	●	● ※4	●
	風速変更	●	—	● ※4	● ※7
	温度設定	●	—	● ※4	●
	風向変更	●	—	—	●
	省エネモード	●	—	—	—
	集中/個別切替	●	● ※8	● ※4	● ※6 ※9
	週間プログラム	—	–	—	—
	特定日（休日）設定	—	—	—	—
	デマンド制御 ※11	●	● ※12	—	—
	室内温度	●	—	●	●
	一括運転確認	—	—	—	—
	警報	●	—	—	●
	運転積算時間	—	—	—	—
	サーモON積算時間	● ※1	—	—	—
	発停回数	—	—	—	—
	説明文	—	—	—	—
	レイアウト表示	—	—	—	—
外部入出力端子	モード固定	—	●	—	—
	外部一括警報出力	● ※2	●	●	—
	オールON・OFF入力	● ※2	●	● ※4	—
	スケジュールタイマー	—	—	— ※10	–
	一括運転モニター出力	● ※2	●	●	—

※1. 重み付けサーモON積算時間です。
※2. 設定が必要です。
※3. 一括のみ可能。
※4. 設置時のDIPSW設定により、制御モードを選択して使用します。
※5. 個別のみ可能。

※6. 風速変更・風向変更・集中 / 個別・フィルターサインのうち、2 つをディップスイッチで選択。
※7. 表 1) の設定ができます。
※8. ディップスイッチの切換で対応。
※9. 表 1) の設定ができます。(「リモコンモード設定 1」の「運転禁止・停止許可」を除く)
※10. 室内機の T10 コネクターを使用しますので、併用できません。 別途、システムコントローラーや ON/OFF 集中コントローラーがあれば併用可能です。
※11. ガス消費量を抑えた運転が可能です。
※12. サーモ OFF は、M 形から可能です。

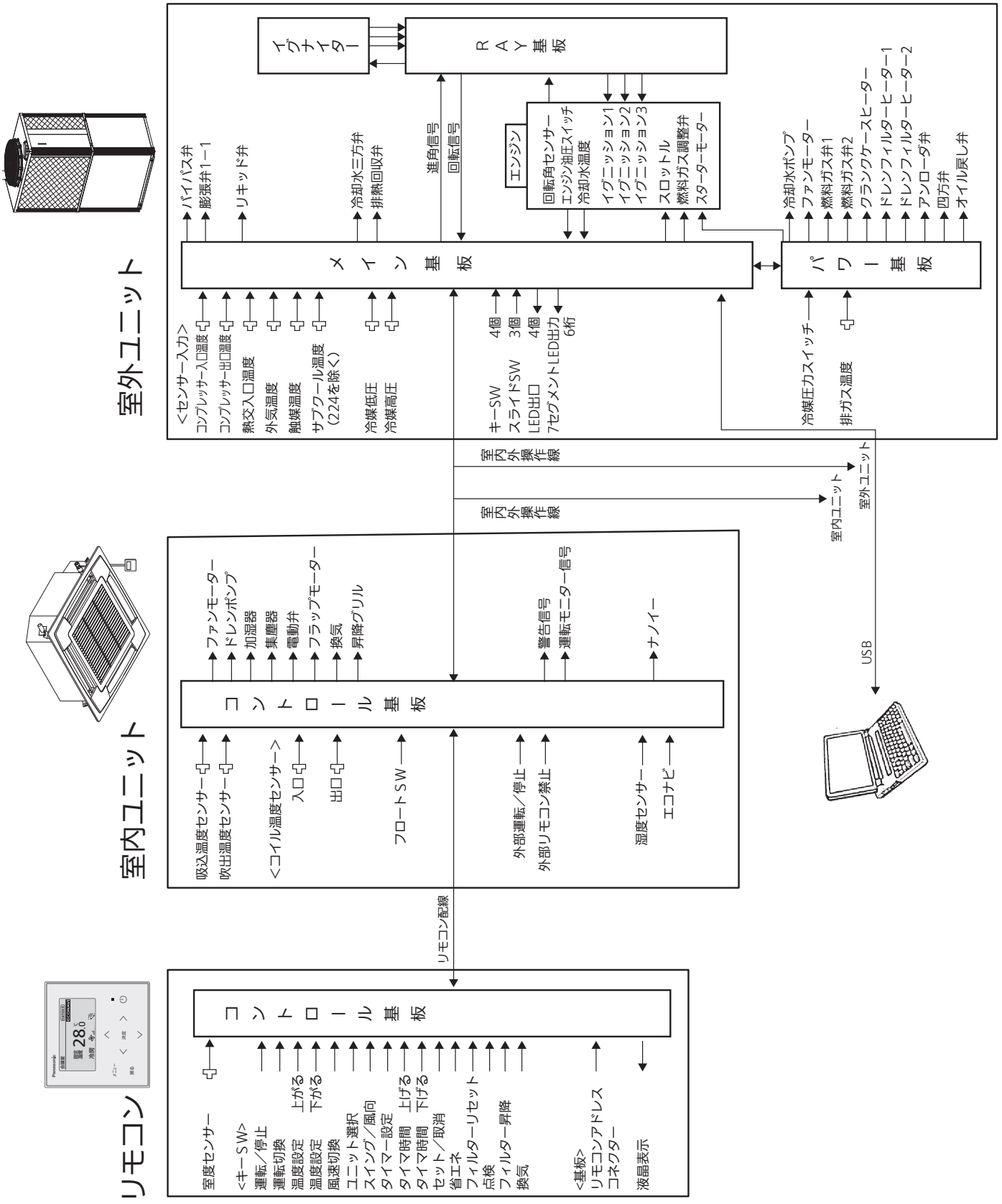
エアコンの種類
a/U・T・S・M・K・J形　b/F・E形　c/ 小型エアコン　d/ その他の種類　e/U・T・S・M・K・J・H・G形

表 1) 集中／個別切り換え、制限内容

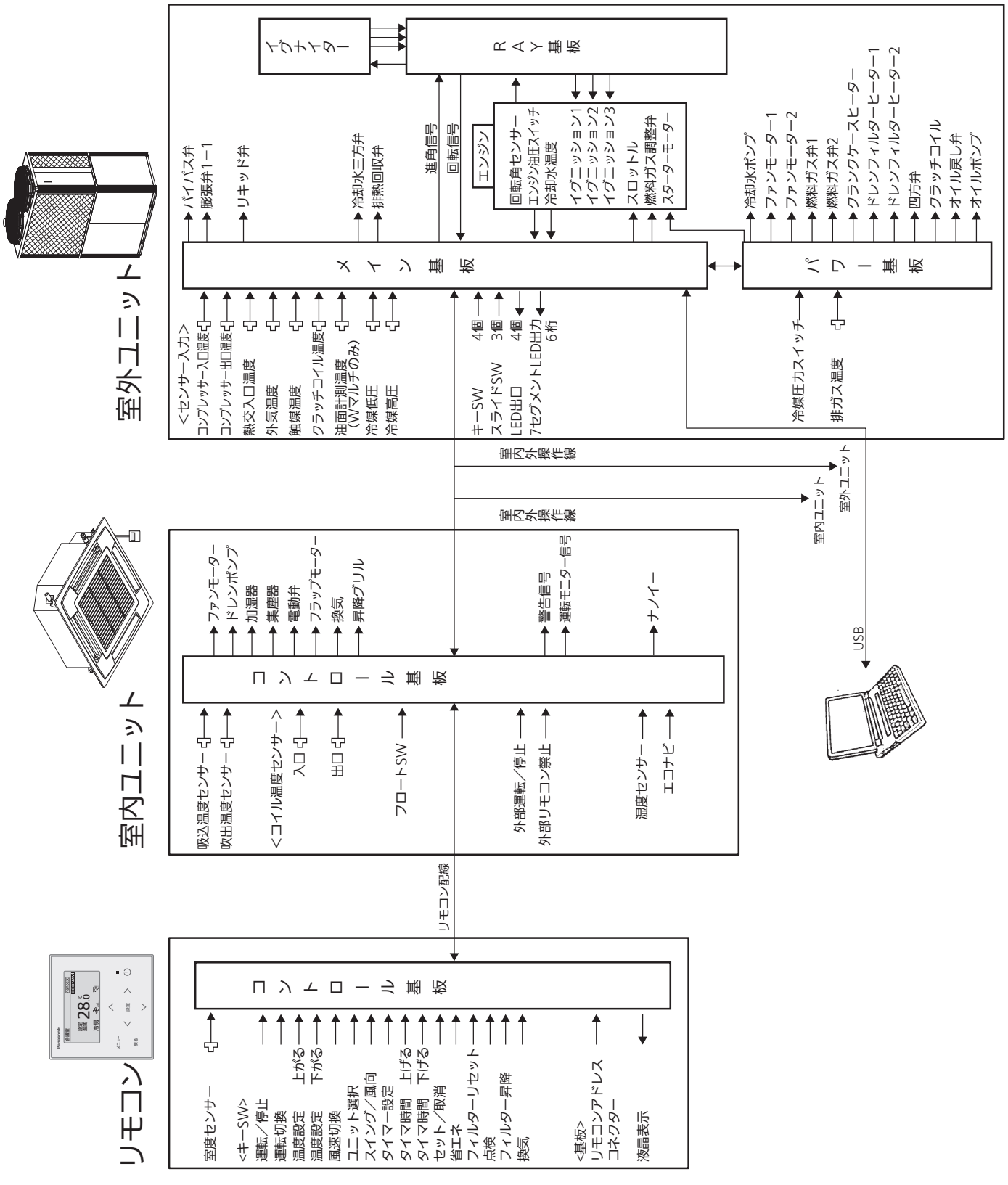
リモコンモード設定 1	運転許可・停止許可	リモコンで運転 / 停止ができます。
	運転禁止・停止禁止	リモコンで運転 / 停止ができません。
	運転禁止・停止許可	リモコンで運転はできませんが、停止はできます。
リモコンモード設定 2	温度設定許可	リモコンで温度設定の変更ができます。
	温度設定停止	リモコンで温度設定の変更ができません。
リモコンモード設定 3	運転モード変更許可	リモコンでモード変更ができます。
	運転モード変更禁止	リモコンでモード変更ができません。

(1) ビル用マルチ・Wマルチ

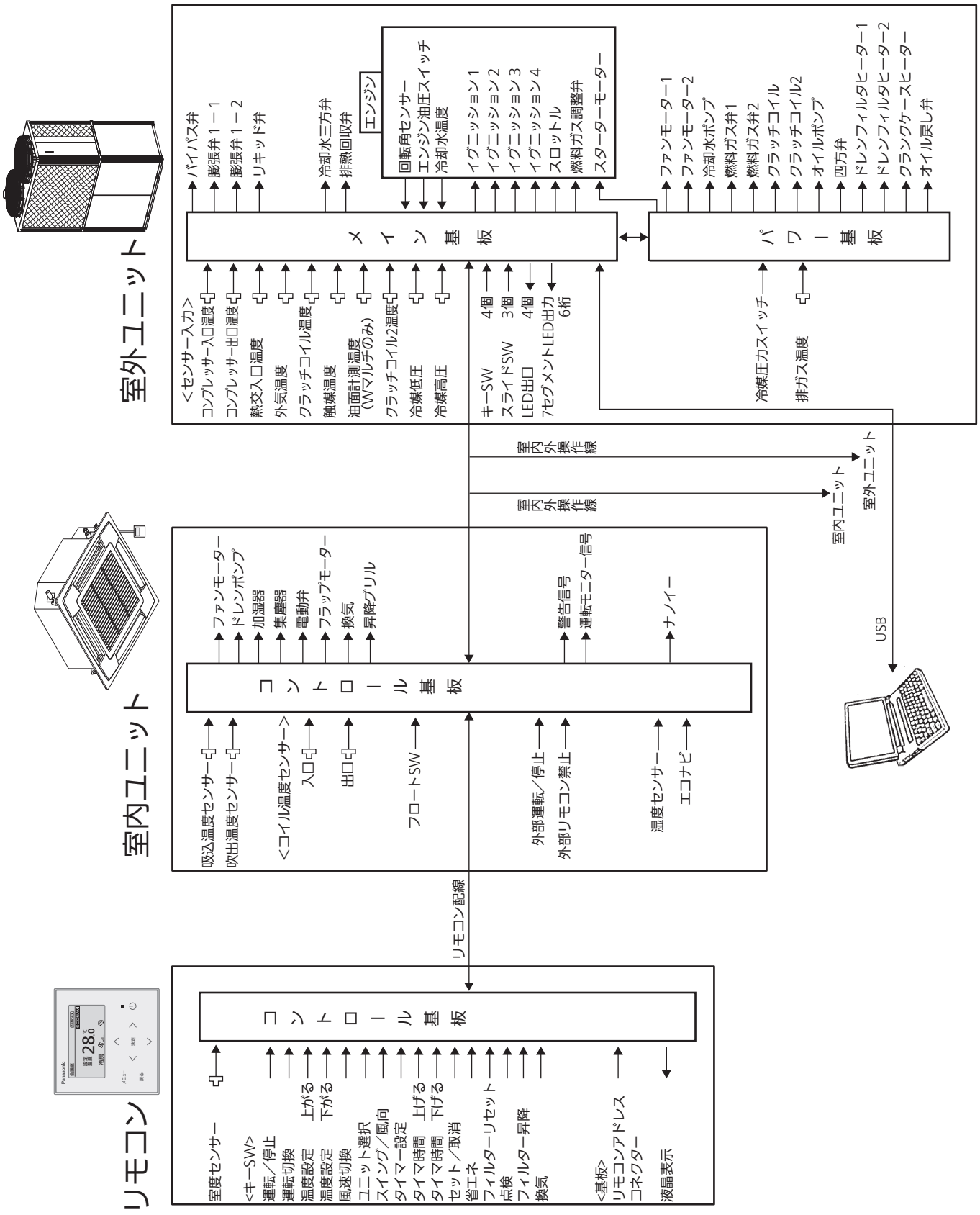
■224・280・355形



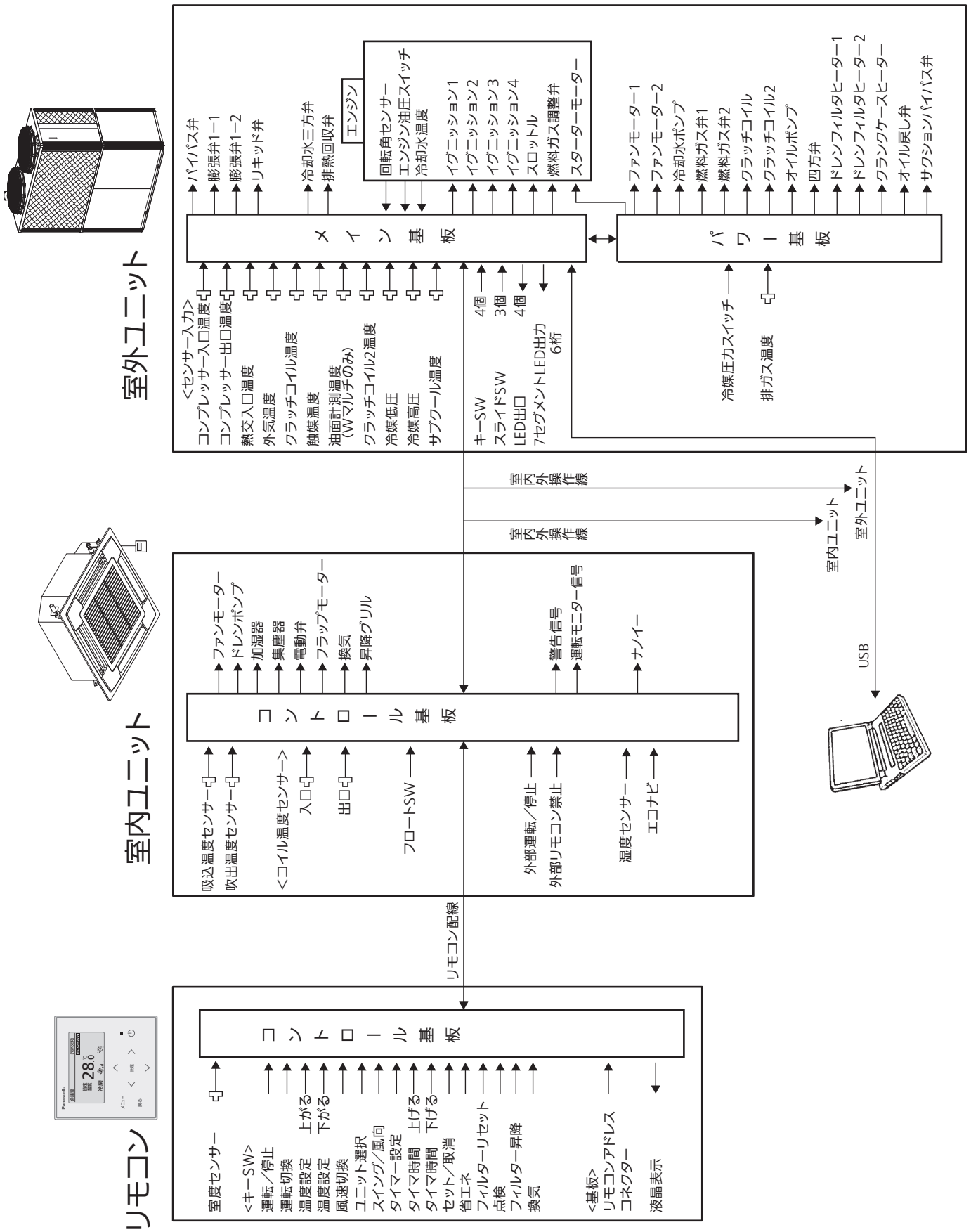
■450形


室外ユニット
室内ユニット
リモコン
メイン基板
パワー基板
コントロール基板
コントロール基板
イグナイター
RAY基板
エンジン
バイパス弁
膨張弁1−1
リキッド弁
冷却水三方弁
排熱回収弁
進角信号
回転信号
回転角センサー
エンジン油圧スイッチ
冷却水温度
イグニッション1
イグニッション2
イグニッション3
スロットル
燃料ガス調整弁
スターターモーター
冷却水ポンプ
ファンモーター1
ファンモーター2
燃料ガス弁1
燃料ガス弁2
クランクケースヒーター
ドレンフィルターヒーター1
ドレンフィルターヒーター2
四方弁
クラッチコイル
オイル戻し弁
オイルポンプ
<センサー入力>
コンプレッサー入口温度
コンプレッサー出口温度
熱交入口温度
外気温度
触媒温度
クラッチコイル温度
油面計測温度
(Wマルチのみ)
冷媒低圧
冷媒高圧
キーSW 4個
スライドSW 3個
LED出口 4個
7セグメントLED出力 6桁
冷媒圧力スイッチ
排ガス温度
室内外操作線
室内外操作線
室内ユニット
室外ユニット
USB
ファンモーター
ドレンポンプ
加湿器
集塵器
電動弁
フラップモーター
換気
昇降グリル
警告信号
運転モニター信号
ナノイー
吸込温度センサー
吹出温度センサー
<コイル温度センサー>
入口
出口
フロートSW
外部運転／停止
外部リモコン禁止
湿度センサー
エコナビ
リモコン配線
室度センサー
<キーSW>
運転／停止
運転切換
温度設定 上がる
温度設定 下がる
風速切換
ユニット選択
スイング／風向
タイマー設定
タイマ時間 上げる
タイマ時間 下げる
セット／取消
省エネ
フィルターリセット
点検
フィルター昇降
換気
<基板>
リモコンアドレス
コネクター
液晶表示

■560・710形

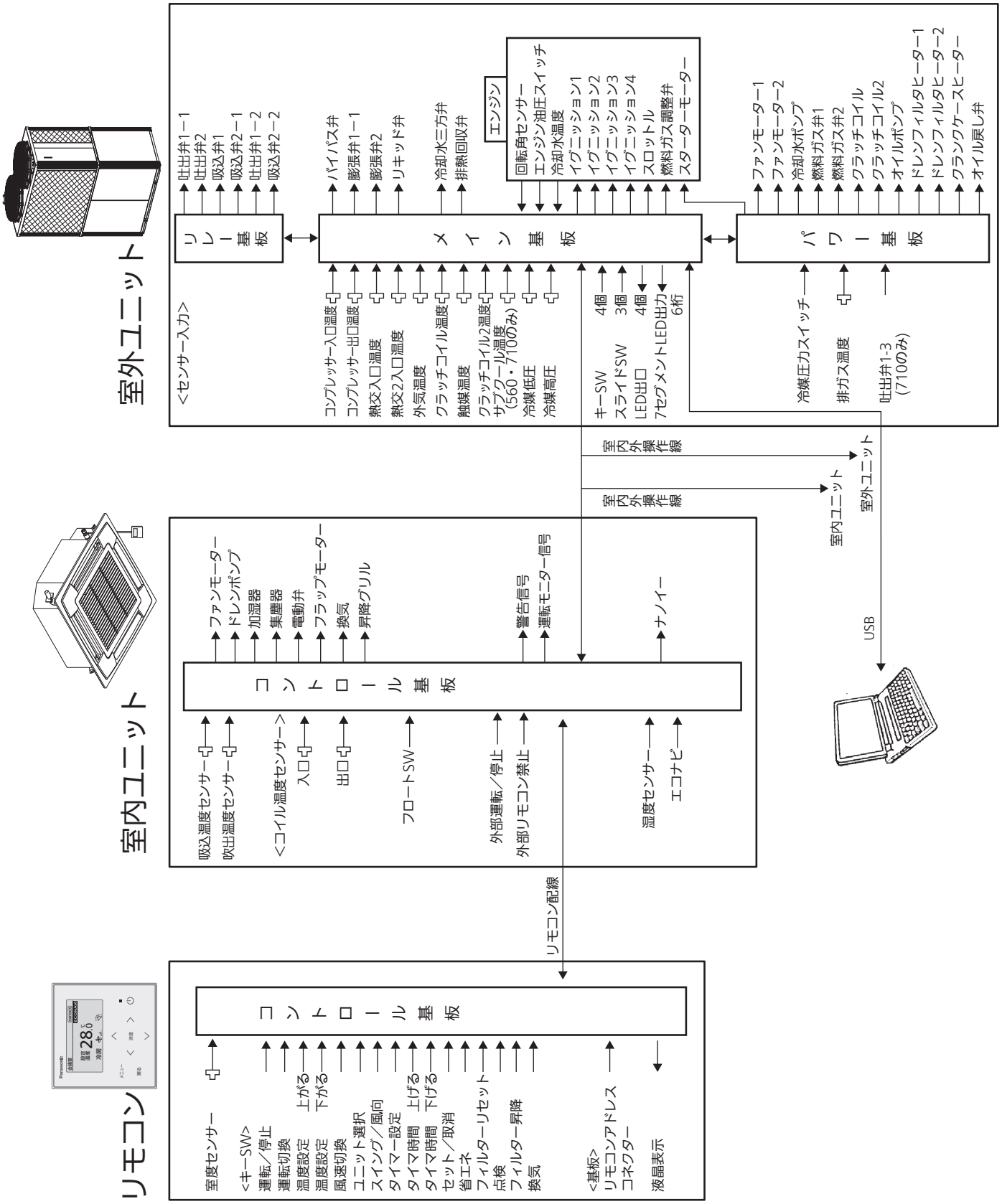

室外ユニット
<センサー入力>
コンプレッサー入口温度
コンプレッサー出口温度
熱交入口温度
外気温度
クラッチコイル温度
触媒温度
油面計測温度
(VVマルチのみ)
クラッチコイル2温度
冷媒低圧
冷媒高圧
メイン基板
キーSW 4個
スライドSW 3個
LED出口 4個
7セグメントLED出力 6桁
バイパス弁
膨張弁1－1
膨張弁1－2
リキッド弁
冷却水三方弁
排熱回収弁
エンジン
回転角センサー
エンジン油圧スイッチ
冷却水温度
イグニッション1
イグニッション2
イグニッション3
イグニッション4
スロットル
燃料ガス調整弁
スターターモーター
パワー基板
冷媒圧力スイッチ
排ガス温度
ファンモーター1
ファンモーター2
冷却水ポンプ
燃料ガス弁1
燃料ガス弁2
クラッチコイル
クラッチコイル2
オイルポンプ
四方弁
ドレンフィルタヒーター1
ドレンフィルタヒーター2
クランクケースヒーター
オイル戻し弁
室内外操作線
室内外操作線
室内ユニット
室外ユニット
USB
室内ユニット
コントロール基板
吸込温度センサー
吹出温度センサー
<コイル温度センサー>
入口
出口
フロートSW
外部運転／停止
外部リモコン禁止
湿度センサー
エコナビ
ファンモーター
ドレンポンプ
加湿器
集塵器
電動弁
フラップモーター
換気
昇降グリル
警告信号
運転モニター信号
ナノイー
リモコン配線
リモコン
コントロール基板
室度センサー
<キーSW>
運転／停止
運転切換
温度設定 上がる
温度設定 下がる
風速切換
ユニット選択
スイング／風向
タイマー設定
タイマ時間 上げる
タイマ時間 下げる
セット／取消
省エネ
フィルターリセット
点検
フィルター昇降
換気
<基板>
リモコンアドレス
コネクター
液晶表示

■850形

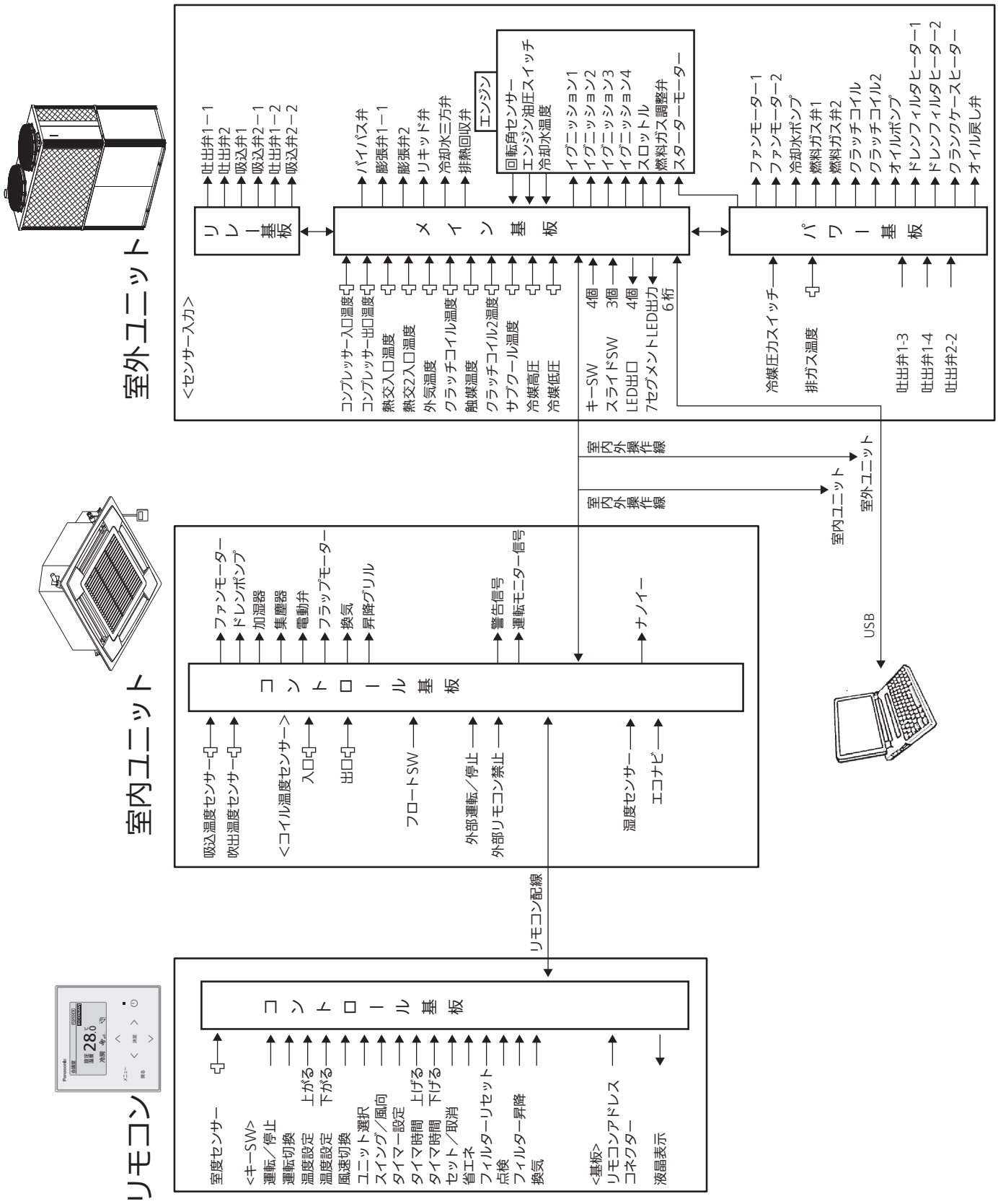

室外ユニット
メイン基板
パワー基板
バイパス弁
膨張弁1−1
膨張弁1−2
リキッド弁
冷却水三方弁
排熱回収弁
エンジン
回転角センサー
エンジン油圧スイッチ
冷却水温度
イグニッション1
イグニッション2
イグニッション3
イグニッション4
スロットル
燃料ガス調整弁
スターターモーター
ファンモーター1
ファンモーター2
冷却水ポンプ
燃料ガス弁1
燃料ガス弁2
クラッチコイル
クラッチコイル2
オイルポンプ
四方弁
ドレンフィルタヒーター1
ドレンフィルタヒーター2
クランクケースヒーター
オイル戻し弁
サクションバイパス弁
<センサー入力>
コンプレッサー入口温度
コンプレッサー出口温度
熱交入口温度
外気温度
クラッチコイル温度
触媒温度
油面計測温度
(Wマルチのみ)
クラッチコイル2温度
冷媒低圧
冷媒高圧
サブクール温度
キーSW
スライドSW
LED出口
7セグメントLED出力
6桁
4個
3個
4個
冷媒圧力スイッチ
排ガス温度
室内外操作線
室内外操作線
室内ユニット
室外ユニット
USB
室内ユニット
コントロール基板
吸込温度センサー
吹出温度センサー
<コイル温度センサー>
入口
出口
フロートSW
ファンモーター
ドレンポンプ
加湿器
集塵器
電動弁
フラップモーター
換気
昇降グリル
警告信号
運転モニター信号
ナノイー
外部運転／停止
外部リモコン禁止
湿度センサー
エコナビ
リモコン配線
リモコン
コントロール基板
室度センサー
<キーSW>
運転／停止
運転切換
温度設定
温度設定
風速切換
ユニット選択
スイング／風向
タイマー設定
タイマ時間
タイマ時間
セット／取消
省エネ
フィルターリセット
点検
フィルター昇降
換気
上がる
下がる
上げる
下げる
<基板>
リモコンアドレス
コネクター
液晶表示

(2) 3WAYマルチ

■450・560・710形

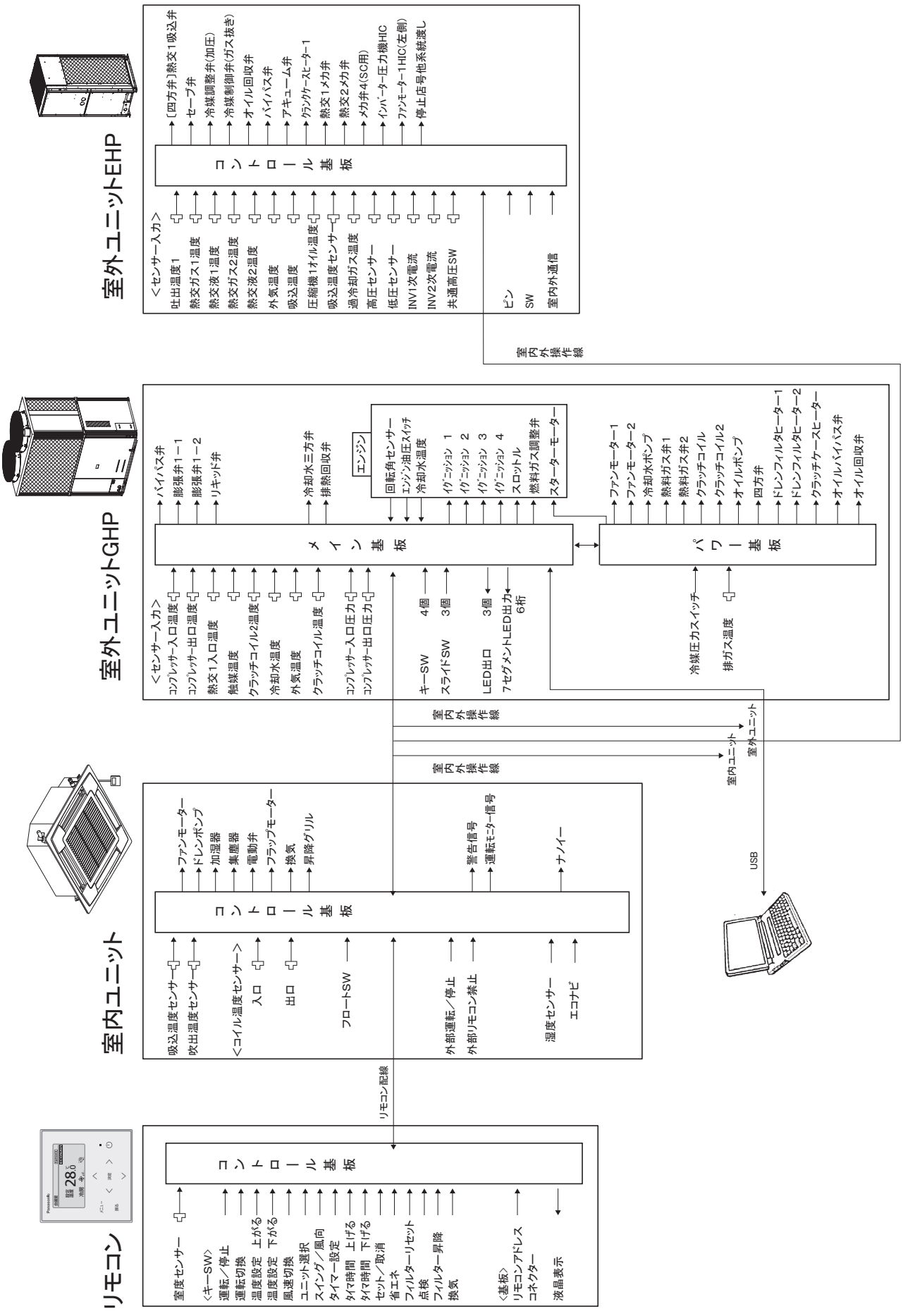


■850形

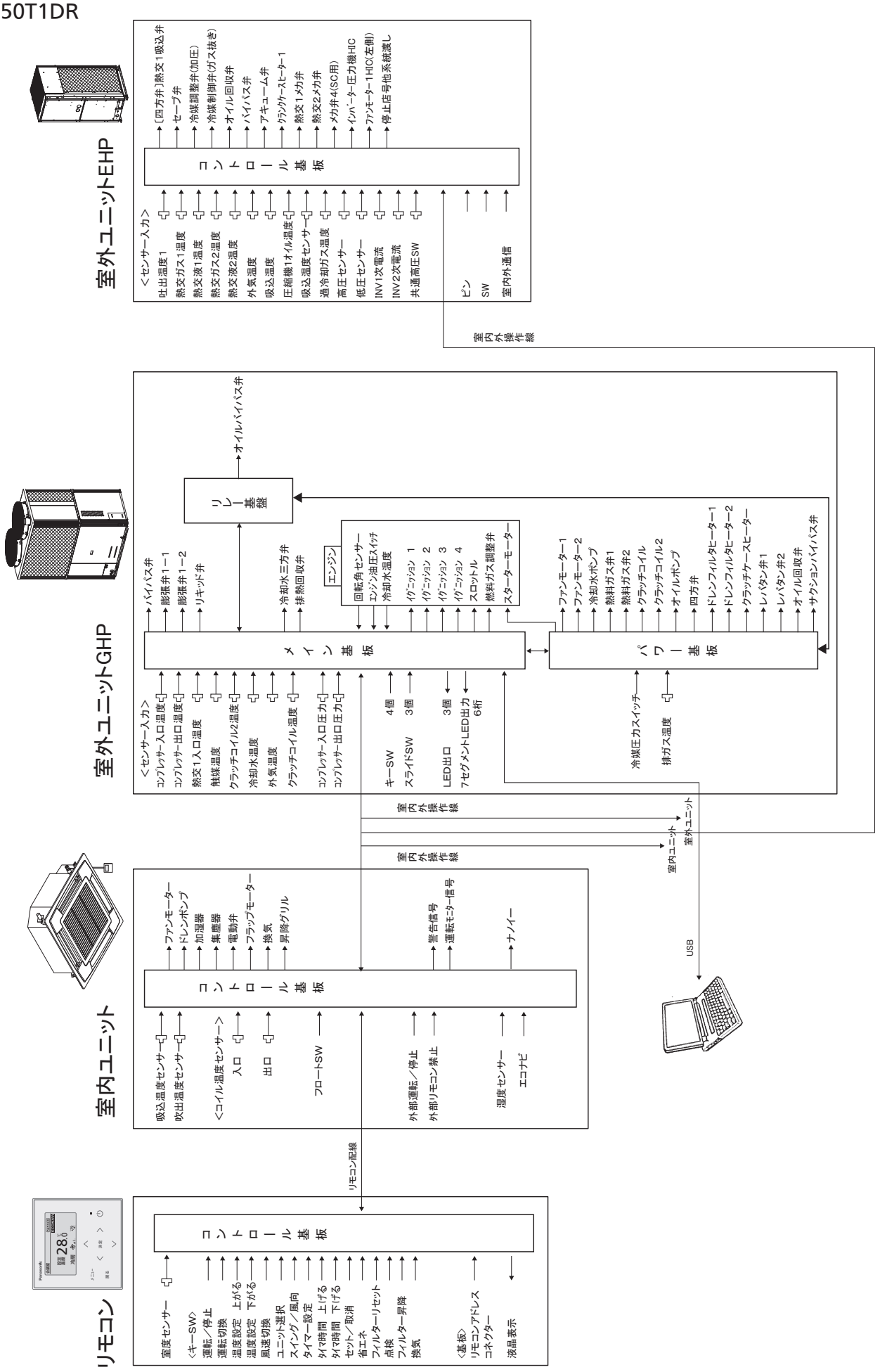

室外ユニット
リレー基板
吐出弁1－1
吐出弁2
吸込弁1
吸込弁2－1
吐出弁1－2
吸込弁2－2
メイン基板
バイパス弁
膨張弁1－1
膨張弁2
リキッド弁
冷却水三方弁
排熱回収弁
エンジン
回転角センサー
エンジン油圧スイッチ
冷却水温度
イグニッション1
イグニッション2
イグニッション3
イグニッション4
スロットル
燃料ガス調整弁
スターターモーター
パワー基板
ファンモーター1
ファンモーター2
冷却水ポンプ
燃料ガス弁1
燃料ガス弁2
クラッチコイル
クラッチコイル2
オイルポンプ
ドレンフィルタヒーター1
ドレンフィルタヒーター2
クランクケースヒーター
オイル戻し弁
<センサー入力>
コンプレッサー入口温度
コンプレッサー出口温度
熱交入口温度
熱交2入口温度
外気温度
クラッチコイル温度
触媒温度
クラッチコイル2温度
サブクール温度
冷媒高圧
冷媒低圧
キーSW　4個
スライドSW　3個
LED出口　4個
7セグメントLED出力　6桁
冷媒圧力スイッチ
排ガス温度
吐出弁1-3
吐出弁1-4
吐出弁2-2
室内外操作線
室内外操作線
室内ユニット
室外ユニット
USB
室内ユニット
コントロール基板
ファンモーター
ドレンポンプ
加湿器
集塵器
電動弁
フラップモーター
換気
昇降グリル
警告信号
運転モニター信号
ナノイー
吸込温度センサー
吹出温度センサー
<コイル温度センサー>
入口
出口
フロートSW
外部運転／停止
外部リモコン禁止
湿度センサー
エコナビ
リモコン配線
リモコン
コントロール基板
室度センサー
<キーSW>
運転／停止
運転切換
温度設定　上がる
温度設定　下がる
風速切換
ユニット選択
スイング／風向
タイマー設定
タイマ時間　上げる
タイマ時間　下げる
セット／取消
省エネ
フィルターリセット
点検
フィルター昇降
換気
<基板>
リモコンアドレス
コネクター
液晶表示

(3) スマートマルチ

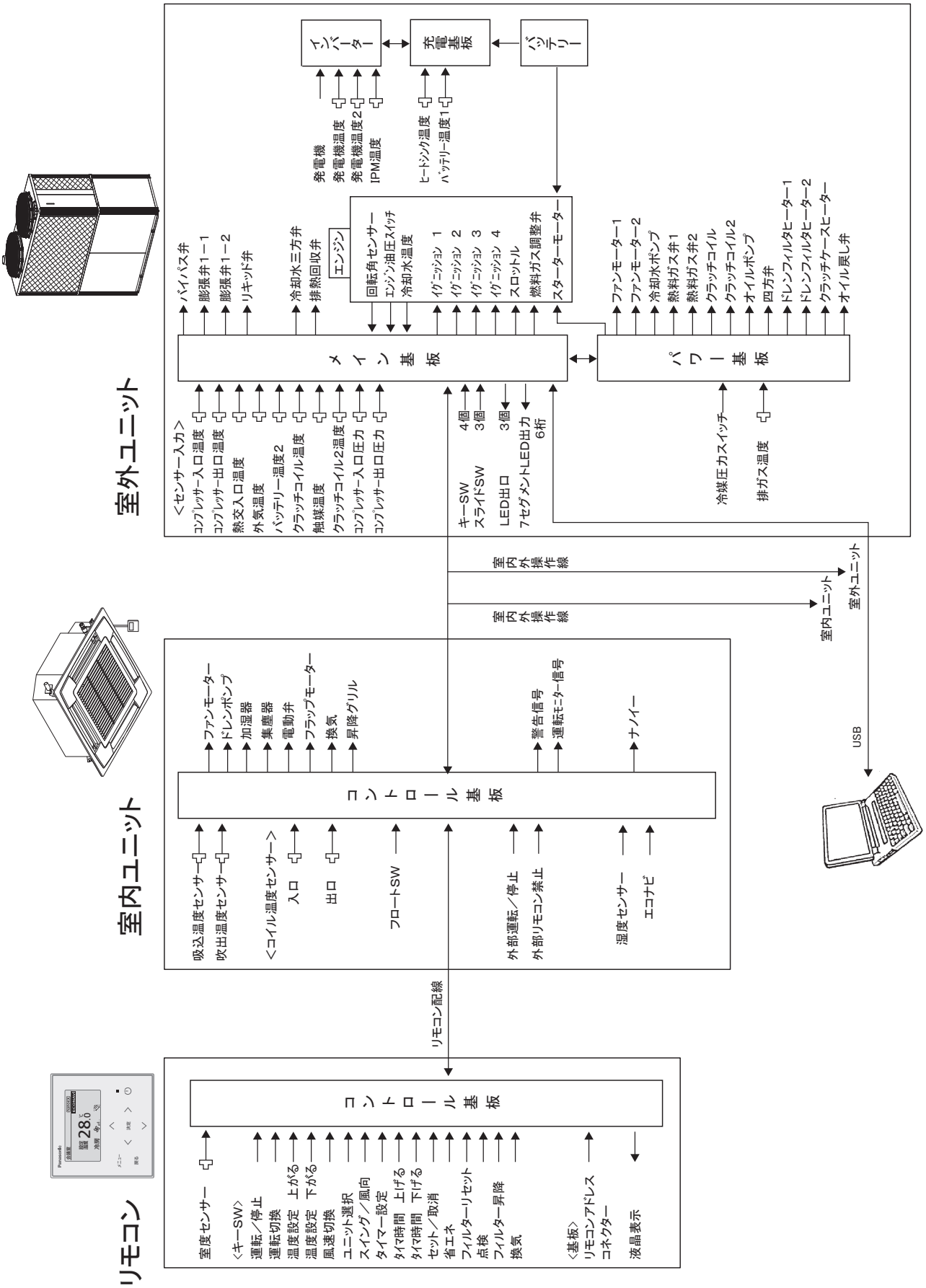
■U-GSH560, GSH710T1DR



■U-GSH850T1DR



(4) ハイパワープラス


室外ユニット
<センサー入力>
コンプレッサー入口温度
コンプレッサー出口温度
熱交入口温度
外気温度
バッテリー温度2
クラッチコイル温度
触媒温度
クラッチコイル2温度
コンプレッサー入口圧力
コンプレッサー出口圧力
バイパス弁
膨張弁1－1
膨張弁1－2
リキッド弁
冷却水三方弁
排熱回収弁
エンジン
回転角センサー
エンジン油圧スイッチ
冷却水温度
イグニッション 1
イグニッション 2
イグニッション 3
イグニッション 4
スロットル
燃料ガス調整弁
スターターモーター
メイン基板
キーSW 4個
スライドSW 3個
LED出口 3個
7セグメントLED出力 6桁
インバーター
充電基板
バッテリー
発電機
発電機温度
発電機温度2
IPM温度
ヒートシンク温度
バッテリー温度1
ファンモーター1
ファンモーター2
冷却水ポンプ
熱料ガス弁1
熱料ガス弁2
クラッチコイル
クラッチコイル2
オイルポンプ
四方弁
ドレンフィルタヒーター1
ドレンフィルタヒーター2
クラッチケースヒーター
オイル戻し弁
パワー基板
冷媒圧力スイッチ
排ガス温度
室内外操作線
室内外操作線
室内ユニット
室外ユニット
USB
室内ユニット
ファンモーター
ドレンポンプ
加湿器
集塵器
電動弁
フラップモーター
換気
昇降グリル
コントロール基板
警告信号
運転モニター信号
ナノイー
吸込温度センサー
吹出温度センサー
<コイル温度センサー>
入口
出口
フロートSW
外部運転／停止
外部リモコン禁止
湿度センサー
エコナビ
リモコン配線
リモコン
コントロール基板
室度センサー
<キーSW>
運転／停止
運転切換
温度設定 上がる
温度設定 下がる
風速切換
ユニット選択
スイング／風向
タイマー設定
タイマ時間 上げる
タイマ時間 下げる
セット／取消
省エネ
フィルターリセット
点検
フィルター昇降
換気
<基板>
リモコンアドレス
コネクター
液晶表示

(1) リモコンの警報一覧表 (室内ユニット接続時)

☼：点滅　○：点灯　●：消灯

検出内容			警報表示	ワイヤレスリモコン ランプ表示	判定機器
エンジン保護装置動作	エンジン系の異常	エンジン油圧異常	A01	運転 ● / タイマー ☼ / 準備中 ☼ (同時点滅)	室外ユニット
		エンジンオイル異常	A02		
		エンジン過回転異常	A03		
		エンジン低回転異常	A04		
		イグニッション電源異常	A05		
		エンジン起動失敗	A06		
		燃料ガス弁異常	A07		
		エンスト	A08		
		排ガス温度高	A10		
		エンジン油圧スイッチ異常	A14		
		クランク角センサー異常	A23		
		カム角センサー異常	A24		
		失火異常	A26		
	スターター系の異常	スターター電源出力短絡	A15		
		スターターロック	A16		
		CT異常 (スターター電流検出不良)	A17		
	冷却水系の異常	冷却水温度低	A19		
		冷却水温度高	A20		
		冷却水レベル異常	A21		
		冷却水ポンプ異常	A22		
	クラッチ異常		A25		
	触媒温度異常 (触媒付き機種のみ検出)		A27		
	系統電源異常 / 発電機異常 (ハイパワープラスのみ検出)		A28		
	インバーター異常 (ハイパワープラスのみ検出)		A29		
シリアル通信異常・誤設定	リモコンが室内ユニットからの信号の異常を検出	リモコン受信不良	E01	運転 ☼ / タイマー ● / 準備中 ● (点滅)	リモコン
		リモコン送信不良	E02		
	室内ユニットがリモコン (集中) からの受信不良		E03		室内ユニット
	設定不良	室内ユニットアドレス重複設定	E08		
		親リモコン複数台設定	E09		リモコン
	自動アドレス中により、自動アドレス開始禁止		E12		室外ユニット
	室内ユニットがリモコンへの送信不良		E13		室内ユニット
	グループ制御配線の通信不良		E18		
	室内ユニットが室外ユニット側からの受信不良		E04	運転 ● / タイマー ● / 準備中 ☼ (点滅)	室内ユニット
	室内ユニットが室外ユニット側への送信不良		E05		
	室外ユニットが室内ユニット側からの受信不良		E06		室外ユニット
	室外ユニットが室内ユニット側への送信不良		E07		
	インバーター基板間通信異常 (ハイパワープラスのみ検出)		E14		
	自動アドレス警報	(台数少)	E15		
		(台数多)	E16		
	室内ユニット無し		E20		
	室外メイン基板異常		E21		
	室外メイン基板センサー異常		E22		
	室外ユニット間通信異常 (Wマルチのみ検出)		E24		
	室外ユニット台数不一致 (Wマルチのみ検出)		E26		
	室外ユニット配管誤接続 (Wマルチのみ検出)		E28		
	室外 ― インバーター基板間通信異常(ハイパワープラスのみ検出)		E29		
	ユニット内通信異常		E31		

注) 機種によっては表示しない項目があります

☼：点滅　○：点灯　●：消灯

検出内容			警報表示	ワイヤレスリモコン ランプ表示	判定機器
センサー異常	室内ユニット側のセンサー系異常	室内熱交換器入口温度センサー異常	F01	運転 タイマー 準備中 ☼ ☼ ● 交互点滅	室内ユニット
		室内熱交換器出口温度センサー異常	F03		
		室内ユニット吸込温度センサー異常	F10		
		室内ユニット吹出温度センサー異常	F11		
	室外ユニット側のセンサー系異常	コンプレッサー出口温度センサー異常	F04	運転 タイマー 準備中 ☼ ☼ ○ 交互点滅 点灯	室外ユニット
		室外熱交換器入口温度センサー異常 室外熱交換器2入口温度センサー異常(3WAYのみ)	F06		
		外気温度センサー異常	F08		
		コンプレッサー入口温度センサー異常	F12		
		冷却水温度センサー異常	F13		
		発電機温度センサー異常 (ハイパワープラスのみ検出)	F15		
		コンプレッサー入出口圧力センサー異常	F16		
		温水出口温度センサー異常	F17		
		排ガス温度センサー異常	F18		
		クラッチコイル温度センサー異常	F20		
		クラッチ2コイル温度センサー異常	F21		
		サブクールセンサー異常	F24		
		バッテリー温度センサー異常 (ハイパワープラスのみ検出)	F28		
		オイルレベルセンサー異常 (Wマルチのみ検出)	H08	運転 タイマー 準備中 ● ☼ ● 点滅	
コンプレッサーオイル無し異常 (Wマルチのみ検出)			H07		
室内不揮発性メモリ (EEPROM) 異常 [＊1]			F29	運転 タイマー 準備中 ☼ ☼ ● 同時点滅	室内ユニット
室外不揮発性メモリ (EEPROM) 異常			F31	運転 タイマー 準備中 ☼ ☼ ○ 同時点滅 点灯	室外ユニット
誤設定・未設定	室内外機種の不一致 (GHP以外の機器接続あり)		L02	運転 タイマー 準備中 ☼ ● ☼ 同時点滅	室内ユニット
	グループ制御の親機複数設定		L03		
	室内ユニット優先重複設定	(優先室内ユニット)	L05		室外ユニット
		(優先室内ユニット以外)	L06		
	個別制御室内ユニットへのグループ配線あり		L07		室内ユニット
	室内ユニットアドレス未設定		L08		
	室内ユニット能力未設定		L09		
	系統 (室外ユニット) アドレスの重複設定		L04	運転 タイマー 準備中 ☼ ○ ☼ 点灯 同時点滅	室外ユニット
	室外ユニット能力未設定		L10		
	室内ユニット機種設定不良		L13		
	室内ユニットペアリング不良		L15		
	ガス種設定不良		L21		
	ハイパワープラス初期設定不良 (ハイパワープラスのみ検出)		L23		
	インバーターアドレス重複設定 (ハイパワープラスのみ検出)		L24		

注) 機種によっては表示しない項目があります

＊1：電源投入時に室内不揮発性メモリ (EEPR0M) 不良の場合は、警報コードF29は出ず、室内基板上の電源LEDが点滅します。

☼：点滅　○：点灯　●：消灯

検出内容			警報表示	ワイヤレスリモコン ランプ表示	判定機器
室内ユニット天井パネルコネクタ接続不良			P09	運転 タイマー 準備中 ● ☼ ● 交互点滅	室内ユニット
保護装置動作	室内保護装置	室内送風機異常 / 室内送風機回転数異常	P01		
		室内ユニットフロートスイッチ作動	P10		
		室内ドレンポンプ異常	P11		
		室内DCファン異常	P12		
	室外保護装置	コンプレッサー吐出温度高	P03	運転 タイマー 準備中 ☼ ● ☼ 交互点滅	室外ユニット
		冷媒高圧スイッチ作動	P04		
		電源異常	P05		
		冷媒回路異常（Wマルチ・850形・3WAYのみ検出）	P13		
		O_2センサー作動	P14		
		完全冷媒ガス欠	P15		
		リキッド弁異常	P17		
		バイパス弁異常	P18		
		四方弁ロック異常（3WAYは検出しません）	P19		
		冷媒高圧異常	P20		
		室外送風機異常	P22		
		クラッチ接続異常	P26		
		発電機温度高（ハイパワープラスのみ検出）	P29		
グループ制御の子機異常（システムコントローラー）			P30		システムコントローラ
グループ制御異常（警報）			P31		室内ユニット
オイル交換時間（レベル）警報　室外表示：oiL			オイル点検		室外ユニット
自動バックアップ運転中［＊2］			点検		
発電系異常時の発電無しバックアップ運転表示（ハイパワープラスのみ検出）　室外表示：GE			点検		
充電基板異常時の点検表示（ハイパワープラスのみ検出）　室外表示：GE			点検		
バッテリー交換時間警報（ハイパワープラスのみ検出）　室外表示：bAt			点検		

注）機種によっては表示しない項目があります

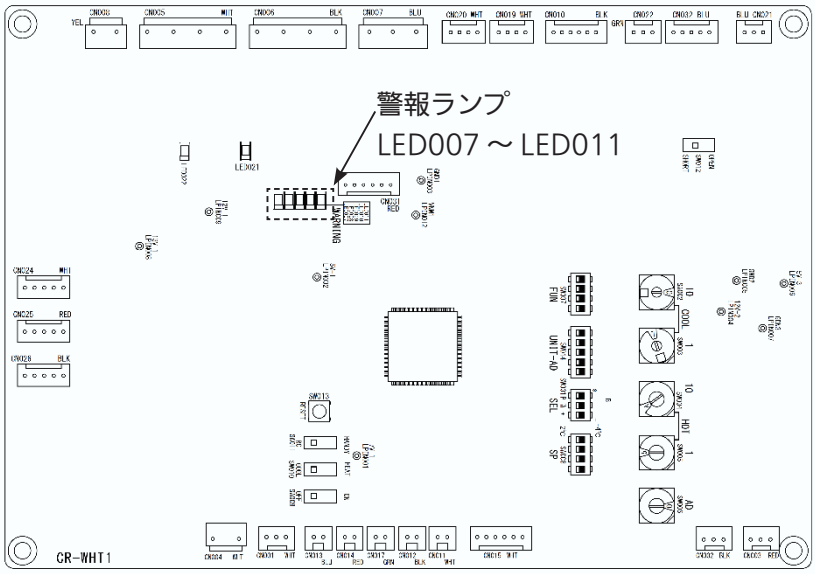
＊2：この場合、システムの運転は可能ですが、いずれかの室外ユニットが異常停止していることを意味しています。
・システムコントローラーではP30警報（グループ制御の子機異常）が表示されることがあります。

(2) リモコンの警報一覧表 (水熱交換器ユニット接続時)

検出内容			警報表示	リモコンスイッチ表示	水熱交換器ユニット基板表示	判定機器
エンジン保護装置動作	エンジン系の異常	エンジン油圧異常	A01	「異常」点灯	—	室外ユニット
		エンジンオイル異常	A02	「オイル警報」「異常」点灯	—	
		エンジン過回転異常	A03	「異常」点灯	—	
		エンジン低回転異常	A04			
		イグニッション電源異常	A05			
		エンジン起動失敗	A06			
		燃料ガス弁異常	A07			
		エンスト	A08			
		排ガス温度高	A10			
		エンジン油圧スイッチ異常	A14			
		クランク角センサー異常	A23			
		カム角センサー異常	A24			
		失火異常	A26			
	スターター系の異常	スターター電源出力短絡	A15			
		スターターロック	A16			
		CT異常 (スターター電流検出不良)	A17			
	冷却水系の異常	冷却水温度低	A19			
		冷却水温度高	A20			
		冷却水レベル異常	A21			
		冷却水ポンプ異常	A22			
	クラッチ異常		A25			
	触媒温度異常 (触媒付き機種のみ検出)		A27			
シリアル通信異常・誤設定	リモコンが室内ユニットからの信号の異常を検出	リモコン受信不良	E01	「異常」点灯	—	リモコン
		リモコン送信不良	E02			
	水熱交換器ユニットがリモコン (集中) からの受信不良		E03		LED008点灯	水熱交換器ユニット
	水熱交換器ユニットが室外ユニット側からの受信不良		E04			
	水熱交換器ユニットが室外ユニット側への送信不良		E05			
	室外ユニットが水熱交換器ユニット側からの受信不良		E06		—	室外ユニット
	室外ユニットが水熱交換器ユニット側への送信不良		E07			
	設定不良	水熱交換器ユニットアドレス重複設定	E08			室外ユニット・水熱交換器ユニット
	水熱交換器ユニットがリモコンへの送信不良		E13		LED008点灯	水熱交換器ユニット
	室外ユニットでの水熱交換器ユニット台数設定不良	(台数少)	E15		—	室外ユニット
		(台数多)	E16			
	室外メイン基板異常		E21			
	室外メイン基板センサー異常		E22			
	ユニット内通信異常		E31			
センサー異常	水熱交換器ユニット側のセンサー系異常	水熱交換器ユニット冷媒入口センサー異常	F01	「異常」点灯	LED009点灯	水熱交換器ユニット
		水熱交換器ユニット凍結防止センサー異常	F02			
		水熱交換器ユニット冷媒出口センサー異常	F03			
		水入口温度センサー異常	F10			
		水出口温度センサー異常	F11			
	室外ユニット側のセンサー系異常	コンプレッサー出口温度センサー異常	F04		—	室外ユニット
		室外熱交換器入口温度センサー異常	F06			
		外気温度センサー異常	F08			
		コンプレッサー入口温度センサー異常	F12			
		冷却水温度センサー異常	F13			

検出内容			警報表示	リモコンスイッチ表示	水熱交換器ユニット基板表示	判定機器
センサー異常	室外ユニット側のセンサー系異常	コンプレッサー入出口圧力センサー異常	F16	「異常」点灯	—	室外ユニット
		排ガス温度センサー異常	F18			
		クラッチコイル温度センサー異常	F20			
		クラッチ2コイル温度センサー異常	F21			
		サブクールセンサー異常	F24			
	室内不揮発性メモリ（EEPROM）異常［＊1］		F29	「異常」点灯	LED009点灯	水熱交換器ユニット
	室外不揮発性メモリ（EEPROM）異常		F31			室外ユニット
誤設定・未設定	室内外機種の不一致（GHP以外の機器接続あり）		L02	「異常」点灯	—	室外ユニット
	系統（室外ユニット）アドレスの重複設定		L04			
	室内ユニットアドレス未設定		L08			
	室外ユニット能力未設定		L10			
	水熱交換器ユニット設定不良（国内仕様のみ）		L16		LED011点灯	水熱交換器ユニット
	水熱交換器ユニット並列アドレス重複（国内仕様のみ）		L19		LED011点灯	
	ガス種設定不良		L21		—	室外ユニット
保護装置動作	室外保護装置	コンプレッサー吐出温度高	P03	「異常」点灯	—	室外ユニット
		冷媒高圧スイッチ作動	P04			
		電源異常	P05			
		フロースイッチ異常	P09		—	水熱交換器ユニット
		水熱交換器ユニット凍結異常	P11		LED010点灯	
		完全冷媒ガス欠	P15		—	室外ユニット
		リキッド弁異常	P17			
		バイパス弁異常	P18			
		四方弁ロック異常	P19			
		冷媒高圧異常	P20			
		室外送風機異常	P22			
		水熱交換器ユニットインターロック異常	P23		LED007点灯	水熱交換器ユニット
		クラッチ接続異常	P26		—	室外ユニット
エンジンオイル交換時間（CZ-10RTGXAに表示）室外表示：oiL			エンジンオイル		—	室外ユニット

注）機種によっては水熱交換器ユニットを接続することはできません



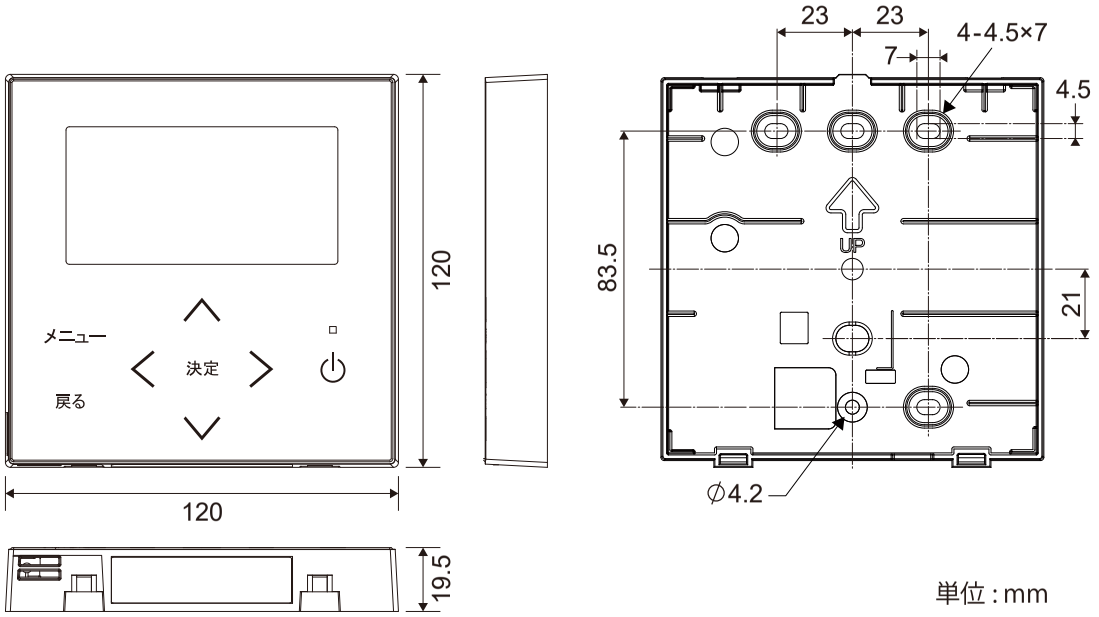
水熱交換器ユニットコントロール基板（CR-WHT1）

品名		品番
ワイヤードリモコン		CZ-10RT5 CZ-10RT3（機能制限あり） CZ-10RT3P（ペリメータ専用 省エネボタン付） CZ-10RT3PN（ペリメータ専用 省エネボタン無し） CZ-10RTF4（多言語対応）
ワイヤレスリモコン	送信部	CZ-10RWP2
	受信部	CZ-10RWRU7（4方向天井カセット形ナノイーX（48兆）搭載機種）：ホワイト （-T：ブラウン、-H：グレー、-K：ブラック） CZ-10RWRU2A（4方向天井カセット形ナノイーX（4.8兆）搭載機種）：ホワイト （-T：ブラウン、-H：グレー、-K：ブラック） CZ-10RWRL2（2方向天井カット形ナノイーX搭載機種） CZ-10RWRD1A（1方向天井カセット形/ 高天井用1方向カセット形/天井吊形） CZ-10RWRT1A（天井吊形ナノイーX搭載機種） CZ-10RWRC1A（別置タイプ）
簡単リモコン		CZ-02RE4
昇降操作専用リモコン		CZ-10RWU3G
スケジュールタイマー		CZ-10ESW3
e-CUT機能付システムコントローラー		CZ-10ESM4
ON/OFF集中コントローラー		CZ-10AN4
インテリジェントコントローラー		CZ-10EST4A
通信アダプター		CZ-10APB3A
ロンワークスインタフェース		SHA-LN16U
ON/OFF制御用ローカルアダプター		CZ-CAPL1 CZ-CAPA1
室内用リレー中継基板		CZ-01APC3
室外シリパラI/Oユニット		ACC-XSP4U1
ミニシリパラI/Oユニット		ACC-SP1A
電磁弁出力基板		ACC-3WAY-B1/B2/EK/EQ2
信号出力基板		ACC-SG-E
RACローカルアダプター		CZ-CAPR1
BACnetアダプター		CZ-10ESB4
エコナビセンサー（壁設置形）		CZ-CSEN1
遠隔監視アダプター		CZ-01AP60B
リモートセンサー		CZ-RSB4
運転表示ランプキット		IND-TH80E CZ-10TRP
P-AIMSシステム		CZ-10SWB3（基本ソフト） CZ-10SWB3A（料金計算ソフト） CZ-10SWB3D（デマンドソフト） CZ-10SWB3G（レイアウト表示ソフト） CZ-10SWB3S（設備管理ソフト） CZ-10SWB3T（グラフ表示ソフト） CZ-10SWB3B（BACnet通信ソフト） CZ-10SWB3W（Web対応ソフト） CZ-10SWB3P（太陽光・蓄電表示ソフト） CZ-10SWB3CA（カメラ空調省エネソフト） CZ-10SWB3CV（カメラ換気省エネソフト） CZ-10SWB3CL（カメラ照明省エネソフト）
チラーリモコン		CZ-10RTC1
チラーコントローラ		CZ-10RT15G
HA JEM-A規格対応コネクタ （サービスパーツ扱い）		WIRE K（6231731287）

仕様

品番		CZ-10RT5
外形寸法		(高さ) 120 mm×(幅) 120 mm×(奥行き) 19.5 mm
質量		190 g
使用温度・湿度範囲		0 ℃～40 ℃・20 %～80 %(屋内設置専用)
電源		DC16 V(室内ユニットより供給)
リモコン配線の接続可能台数(室内ユニット)		8台まで(グループ制御時。熱交換気ユニット、天井埋込形ジアイーノ、天吊カセット形ジアイーノの台数を含む) ジアイーノはリモコン配線に1台のみ接続可能
Bluetoothバージョン		4.2以降
時計	精度	±30秒/月(常温25 ℃) 定期的に合わせてください。
	停電時の動作時間	72時間(満充電時) 満充電に約24時間かかります。

外形寸法図



単位 : mm

お願い) 配線を埋め込まれる場合は、JIS-C8340 1個用スイッチボックス（カバーなし）
または、2個用スイッチボックス（カバーなし）を現地調達し、埋め込んでください。

品番	CZ-10RT5	仕様・外形寸法図 (多機能ワイヤードリモコン)

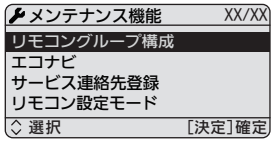
●多機能ワイヤードリモコン CZ-10RT5 シリーズをご使用のとき

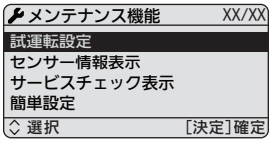
■リモコンには、各種サービス機能があります。試運転、点検時等、必要に応じてご利用ください。

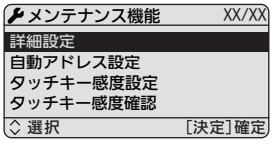
メンテナンス機能画面の表示（ユニットが停止中に行ってください。）

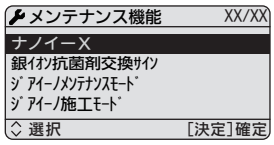
① 戻る + 決定 + ＞ ボタンを同時に４秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

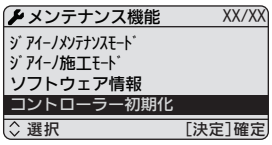
② ∧ / ∨ ボタンで必要な機能のメニューを表示し、選択してください。

1


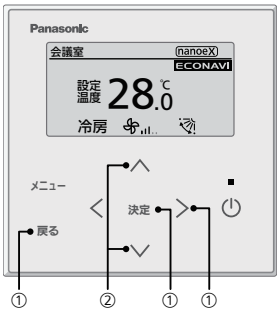
2


3


4


5


メンテナンス機能画面



多機能ワイヤードリモコン

サービス機能一覧表

機　　能	機　能　概　略	メ ニ ュ ー 選 択	復帰操作	ユニットの状態
リモコングループ構成表示	リモコングループの室内ユニット、室外ユニット等の表示	リモコングループ構成	戻る ボタンを押す	
エコナビ表示 ※エコナビセンサー CZ-CSEN1 ※エコナビパネル CZ-160KPEU7B (-K), CZ-160KSEU7B (-K) 使用時	各種センサーの表示	エコナビ	戻る ボタンを押す	
試運転機能	強制サーモONで運転	試運転設定	戻る ボタンを押す	
センサー温度表示	各種センサーの温度表示	センサー情報表示		
サービスチェック表示	警報履歴の表示	サービスチェック表示		
簡単設定	フィルター寿命、運転モード優先、集中制御アドレス等の設定	簡単設定	戻る ボタンを押す（再起動します）	設定中の室内ユニットから送風
詳細設定	冷媒系統アドレス、室内ユニットアドレス、集中制御アドレス等の設定	詳細設定		
自動アドレス	ワイヤードリモコンからの指示による自動アドレス	自動アドレス設定	自動復帰	全システムが停止 ※
ナノイー X 表示	状態を表示	ナノイー X	戻る ボタンを押す	

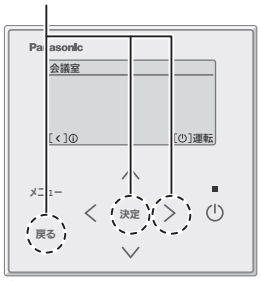
リモコン設定モードについては、接続している多機能ワイヤードリモコンのTechnical Guide を参照してください。

※システム停止中はサービス機能（簡単、詳細設定含む）は使えません。

リモコングループ構成表示

リモコングループの室内ユニット、室外ユニット、換気ユニット、ジアイーノユニットの情報を確認することができます。

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



2 「リモコングループ構成」を選ぶ

△ / ▽ ➡ 決定

メンテナンス機能	XX/XX
リモコングループ構成	
エコナビ	
サービス連絡先登録	
リモコン設定モード	
◇ 選択	[決定]確定

3 ユニットの情報が表示されます

リモコングループ構成		XX/XX
種別	ﾕﾆｯﾄNo.	親子情報
室外機	1	----
室内機	1-1	親機
室内機	1-2	子機
◇ 選択		[決定]確認

- 種別：各ユニットの種別情報が表示されます。
  - 室外機 … 室外ユニット
  - 室内機 … 室内ユニット
  - 換気 …… 熱交換ユニット
  - ｼﾞｱｲｰﾉ … ジアイーノユニット
- ﾕﾆｯﾄNo. ：各ユニットのユニットNo.が表示されます。
- 親子情報：各ユニットの親子設定が表示されます。
  - 親機 …… 親設定
  - 子機 …… 子設定

  室外機は「----」が表示されます。

4 ユニットを選ぶ

△ / ▽ ➡ ユニットNo. を選択し 決定 を押してください。

リモコングループ構成		XX/XX
種別	ﾕﾆｯﾄNo.	親子情報
室外機	1	----
室内機	1-1	親機
室内機	1-2	子機
◇ 選択		[決定]確認

5 ユニットの情報が表示されます

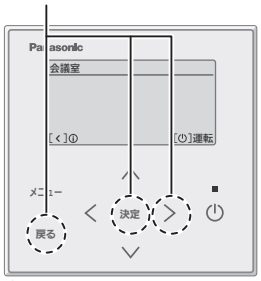
室内機/1-1	XX/XX
品番	XX-XXXXXXXX
バージョン	X.XX
◇ 選択	

- 品番：選択されたユニットの品番が表示されます。
  換気ユニットは、品番表示されません。
- バージョン：選択されたユニットのソフトバージョンが表示されます。

エコナビ表示

リモコンに「エコナビ点検」が表示された場合、以下の方法でセンサーの状態を確認することができます。

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



2「エコナビ」を選ぶ

∧ / ∨ ➡ 決定

メンテナンス機能	XX/XX
リモコングループ構成	
エコナビ	
サービス連絡先登録	
リモコン設定モード	
◇ 選択	[決定]確定

3「センサー情報」を選ぶ

① ∧ / ∨ ➡ 決定

② ∧ / ∨ ボタンでユニットNo. を選択し 決定 ボタンを押してください。

エコナビ	XX/XX
センサー情報	
エコナビシステム設定	
運転状態確認	
エラー確認	
◇ 選択	[決定]確定

4 センサーＮｏ.2 エコナビパネルの項目コードのデータを確認する（下表参照）

① ∧ / ∨ ボタンでセンサーNo.2を選択してください。

② ‹ / › ボタンで項目コードを選択してください。

③ ∧ / ∨ ボタンで項目コード番号を選択してください。

センサー情報		
ｾﾝｻｰNo.	項目ｺｰﾄﾞ	ﾃﾞｰﾀ
∧	20	0000
2	21	0000
∨	22	0000
◇ 選択	›次へ	

項目コード		説　明
エコナビセンサー	エコナビパネル	
11	21	データはエコナビセンサーの状態を表します。 0000：エコナビサンサーが接続されていません。 0001：人を検知できる状態です。 0002：初期設定中です。（人を検知できません。） 電源投入から約90秒で初期設定が完了します。 0003：複数台のエコナビセンサーが接続されています。 ひとつの室内グループにつきエコナビセンサー１台のみ接続可能です。 0004：人感センサーが故障しています。 0005：床温度センサーが故障しています。 データは30秒ごとに自動で更新されます。
12	22	データは30秒間に人を検知した回数を表します。 データは30秒ごとに自動で更新されます。
14 ※1	24	データはエコナビセンサーが測定した床面温度を表します。 データは30秒ごとに自動で更新されます。

＜ 人感センサーの確認方法 ＞

手順１　項目コード11または21のデータが 0001 になっていることを確認する。

手順２　人感センサーに人を検知させる。
・人感センサーの下で10 秒程度前後、左右に体を移動させる。

手順３　手順２から30 秒以内に項目コード12または22のデータが１以上になることを確認する。

手順４　人感センサーに人を検知させない。
・人感センサーの検知エリアから人、動物など（検知対象となるもの）を除外する。
※ エコナビセンサーの検知エリア内にリモコンがある場合、検査者は体等を動かさないようにして、リモコン表示を確認すること。

手順5　しばらくして、項目コード12または22のデータが0になることを確認する。
（待ち時間の目安：30秒～２分）

＜ 床温センサーの確認方法 ＞

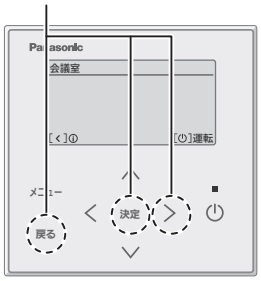
項目コード14 ※1 または24：データが −20 ～ 60 の範囲内であれば問題ありません。
データが −35 の表示の場合は床温センサーが故障しています。

※1 CZ-160KPEU7B（-K）、CZ-160KSEU7B（-K）のみ対応

エコナビ運転状態確認

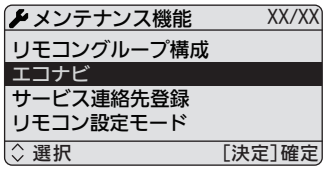
エコナビの動作状況を簡易的に確認できます。室内ユニット設置時の動作確認等にお使いください。

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



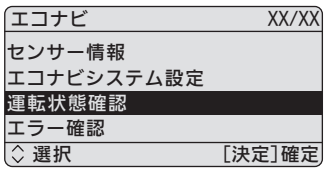
2「エコナビ」を選ぶ

＜ / ＞ ➡ 決定



3「運転状態確認」を選ぶ

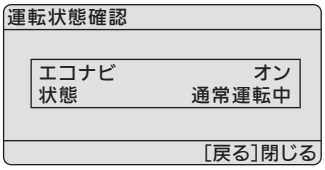
＜ / ＞ ➡ 決定



4 運転状態が表示されます

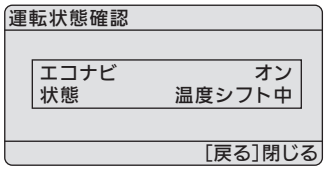
運転状態の表示は以下の4パターンあります。

①通常運転中



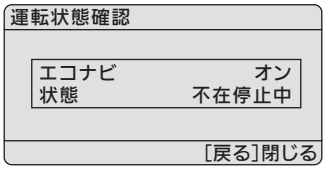
省エネ運転していない状態です。

②温度シフト中



省エネ運転（温度シフト）している状態です。

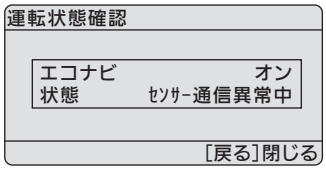
③不在停止中



省エネ運転（運転停止）している状態です。

※ 一定期間人を検出しなかったことにより、空調機の運転を停止したことを示します。
運転が再開されるまでこの状態を維持します。

④センサー通信異常中



接続されているエコナビセンサーが異常状態になっていることを示します。

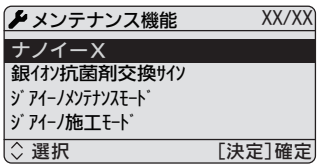
⚠ ナノイー X エラー内容確認（多機能ワイヤードリモコン CZ-10RT5シリーズをご使用のとき）

ワイヤードリモコンに **ナノイー X 点検** が表示された場合、以下の方法でナノイー X モジュールの状態を確認することができます。

準備 ： 室内ユニットの取扱説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器/配線用しゃ断器（ブレーカー）（電源）を入れてください。送風運転中かつナノイー X ON状態（5分以上経過）を確認してください。

1　3つのボタンを押す

戻る + **決定** + ＞ ボタンを同時に4秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

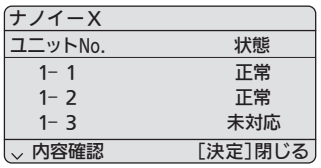


2　「 ナノイー X」を選ぶ

＜ / ＞ ボタンで「ナノイー X」を選択し、
決定 ボタンを押してください。

3　ナノイー Xモジュールの状態が「正常」であることを確認する

（ ＜ / ＞ ボタンで画面表示の室内ユニットをスクロールできます。）



すべての室内ユニットのナノイー Xモジュールの状態が表示されます。
・「**正常**」…ナノイー Xモジュールは正常に動作しています。
・「**未対応**」…ナノイー Xに対応した室内ユニットではありません。

※『1-1』、『1-2』は室内ユニットNo.を示します。

※「**未対応**」の場合、「詳細設定」を選択し、項目コード9Fの設定データを確認してください。
設定データが0000の場合、ナノイー Xモジュールを認識していません。接続を確認してください。

試運転は以上です。「正常」「未対応」以外の表示の場合は、**4**を確認してください。

4　ナノイー Xモジュールの状態が「正常」「未対応」以外の場合

ナノイー Xモジュールを接続しているにもかかわらず、「ナノイー X」の状態表示に入れない、もしくはモジュールの状態が「正常」「未対応」以外となる場合は、以下の症状が発生している可能性があります。

表示	説明	対応
放電異常	ナノイー X発生可能な温度・湿度条件からはずれています。 範囲外の温度は、5℃以下または35℃以上。 範囲外の湿度は、30%以下または86%を超えているとき。	ナノイー Xモジュールに異常はありません。使用可能な温度、湿度条件でお使いください。
湿度異常	湿度センサーの配線が接続されていないか、センサーが故障しています。	湿度センサーの室内基板への接続を確認、もしくはセンサーを交換してください。
断線異常	室内ユニットとナノイー Xモジュール間の配線が断線、または接続されていません。	対象の室内ユニットを特定(※)し、ナノイー Xモジュールの室内基板への配線、接続を確認し接続してください。 断線している場合は修繕してください。
接続なし	室内ユニットとナノイー Xモジュール間の配線が接続されていません。	対象の室内ユニットを特定(※)し、ナノイー Xモジュールの室内基板への配線、接続を確認し接続してください。

※室内ユニットの特定は、風向操作で確認できます。

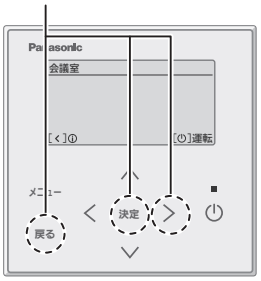
確認方法：
①メンテナンス機能を終了する。
[メニュー]ボタンを押してメンテナンス機能画面を表示し、[戻る]ボタンを押す。
②風向操作をする。
[メニュー]の「空調設定」→「室内機個別設定」で「室内ユニットNo.」を選んで、風向設定を行ってください。
設定したフラップ動作に変化したユニットが対象機器になります。

ユニットが特定できましたら、漏電しゃ断器/配線用しゃ断器（ブレーカー）（電源）を切り、ナノイー Xモジュール配線のコネクターを基板からはずして再接続してください。
漏電しゃ断器/配線用しゃ断器（ブレーカー）（電源）を入れ、再度**1**～**3**を操作し、「 ナノイー X」にて状態を確認してください。
再度、「断線異常」「接続なし」が表示された場合はナノイー Xモジュールの交換が必要です。

試運転機能

準備：ユニットの漏電しゃ断器/配線用しゃ断器（ブレーカー）を入れ、電源を投入してください。
（運転開始前の電源投入時間は各ユニット付属の据付工事説明書を参照ください。）
リモコンが起動し、“設定中”または“構成確認中”の表示が消えるまでお待ちください。
（10分以上“設定中”または“構成確認中”が点滅表示する場合は、室内ユニットのアドレス設定を見直してください。

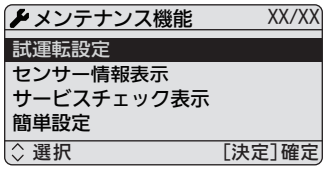
1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



お願い
●試運転以外の目的には使わないでください。
（ユニットに無理がかかるため）

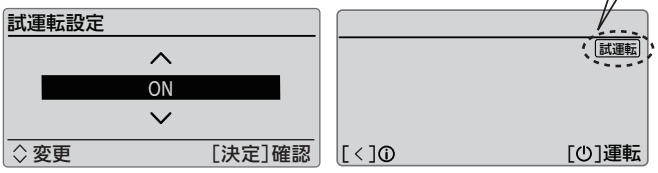
2 「試運転設定」を選ぶ

△/▽ ➡ 決定



3 「ON」を選ぶ（試運転モードになる）

△/▽ ➡ 決定　戻る を押す



“試運転”表示点灯



4 試運転する

⏻ を押す



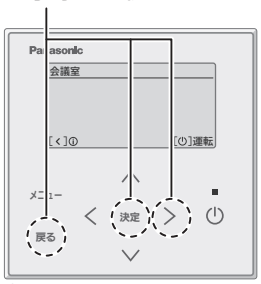
5 試運転を終了する

手順1・2を行い、手順3で「OFF」を選ぶ。
（“試運転”表示消灯）

●温度変更はできません。
●試運転設定は、60分後自動で「オフ」になります。（連続試運転の防止）
●電源投入後および運転停止後、約3分間は室外ユニットの運転はしません。

センサー温度（湿度）表示

1 3つのボタンを
同時に4秒以上押す



2「センサー情報表示」を選ぶ

∧ / ∨ ➡ 決定

メンテナンス機能　XX/XX
サービス連絡先登録
リモコン設定モード
試運転設定
センサー情報表示
◇ 選択　[決定]確定

3 ユニットを選ぶ

∧ / ∨ ➡ユニットNo.を選択し、
> を押してください。

センサー情報表示

ﾕﾆｯﾄNo.	項目ｺｰﾄﾞ	ﾃﾞｰﾀ
∧	00	0030
1-1	01	0030
∨	02	0024

◇ ﾕﾆｯﾄNo.変更　>次へ

センサー情報表示

ﾕﾆｯﾄNo.	項目ｺｰﾄﾞ	ﾃﾞｰﾀ
	00	0030
1-1	01	0030
	02	0024

◇ 内容確認

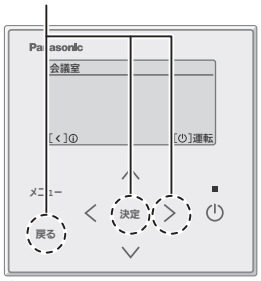
4 センサー情報を参照
∧ / ∨ で確認したいセンサーアドレス（項目コード）を参照します。

選択したユニットのセンサー情報が表示されます。
表示内容は下表「センサー温度（湿度）対照表」をご参照ください。

	項目コード	データ名	項目コード	データ名
室内ユニット側	00	未定義（無効）	04	E 1 温度
	01	リモコン温度	05	E 3 温度
	02	室内吸い込み温度	06	室内電動弁開度
	03	吹出し温度		
室外ユニット側	07	エンジン回転数(÷10)	1A	クラッチコイル温度
	08	低圧(×100)	1B	触媒温度
	09	高圧(×100)	1C	油面計測温度(W)
	0B	エンジン運転時間(÷100)	1D	クラッチコイル 2 温度
	0C	スタータ運転回転(÷100)	1E	排ガス温度
	0D	エンジン設定回転数(÷10)	1F	室外ファン 1 回転数
	0E	コンプレッサー入口温度	20	室外ファン 2 回転数
	0F	コンプレッサー出口温度	21	冷却水ポンプ設定回転数(÷10)
	10	室外熱交入口温度	22	冷却水ポンプ実回転数(÷10)
	11	リキッド弁開度	23	スロットル開度
	12	バイパス弁開度	24	室外膨張弁 2 開度
	13	室外膨張弁 1 開度	25	冷却水 3 方弁開度(÷10)
	14	エンジン運転回数(÷100)	26	排熱回収弁開度
	15	スタータ運転時間(÷100)	27	温水取り出し 3 方弁開度(÷10)
	16	クラッチ運転時間(÷100)	28	回転速度変動値(F_RPM)(×10)
	17	クラッチ運転回数(÷100)	29	コンプオイルレベル
	18	冷却水温度	2A	エンジン点火時期
	19	外気温度		

サービスチェック表示

1 3つのボタンを
同時に4秒以上押す



2 「サービスチェック表示」を選ぶ

∧ / ∨ ➡ 決定

メンテナンス機能	XX/XX
試運転設定	
センサー情報表示	
サービスチェック表示	
簡単設定	
◇ 選択	[決定]確定

3 警報履歴を参照

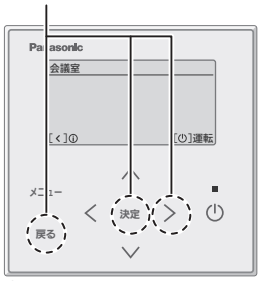
∧ / ∨ で警報履歴を参照します。

ｻｰﾋﾞｽﾁｪｯｸ表示		12:30(月)
	ﾕﾆｯﾄNo.	警報
1	1-1	L07
2	1-1	L18
3	1-1	L07
∨ 内容確認		[決定]履歴削除

警報履歴を削除する場合は 決定 を押してください。
警報は最大で10件まで記録されます。
（最新の履歴は1で、1から順に更新されます。）

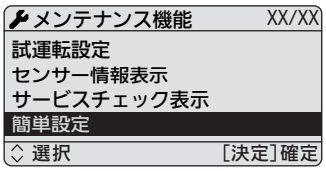
簡単設定

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



2 「簡単設定」を選ぶ

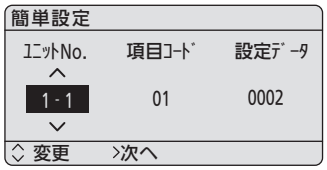
∧ / ∨ ➡ **決定**





3 ユニットNo.を選ぶ

∧ / ∨ でユニットNo.を選択し、
> を押してください。



※選択した室内ユニットから送風します。

4 項目コードを選ぶ

∧ / ∨ で項目コードを選択し、
> を押してください。

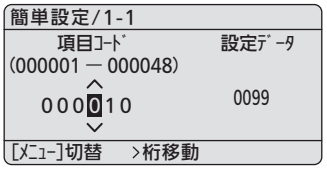


4 項目コードを選ぶ
（項目コードが６桁表示の場合、桁ごとにコード選択が行えます。）

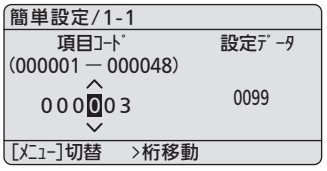
リモコン画面に「[メニュー]切替」が表示されている状態で、**メニュー** を押してください。



< / > で桁を移動し、∧ / ∨ でコードの値を選択します。
メニュー を押してください。

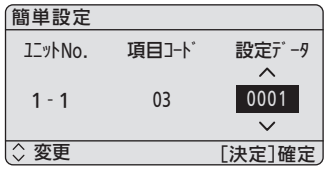


> を押してください。



5 設定データを選ぶ

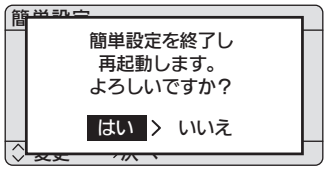
∧ / ∨ で設定データを選択後、
決定 を押してください。



※続けて別のユニットNo.、項目コードを設定する場合は手順３～５を繰り返してください。

6 設定を反映する

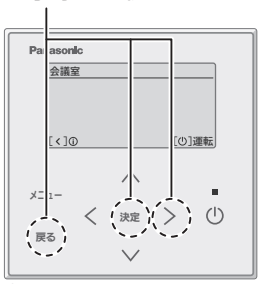
設定が完了したら、
戻る を押してください。



再起動：「はい」を選択し、
決定 を押してください。

詳細設定

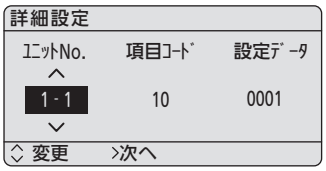
1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



2 「詳細設定」を選ぶ

∧ / ∨ ➡ **決定**





3 ユニットNo.を選ぶ

∧ / ∨ でユニットNo.を選択し、
› を押してください。



※選択した室内ユニットから送風します。

4 項目コードを選ぶ

∧ / ∨ で項目コードを選択し、
› を押してください。

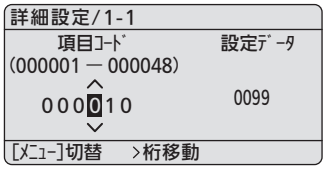


4 項目コードを選ぶ
（項目コードが６桁表示の場合、桁ごとにコード選択が行えます。）

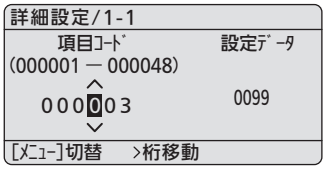
リモコン画面に「[メニュー] 切替」が表示されている状態で、**メニュー** を押してください。



< / > で桁を移動し、∧ / ∨ でコードの値を選択します。
メニュー を押してください。



› を押してください。



5 設定データを選ぶ

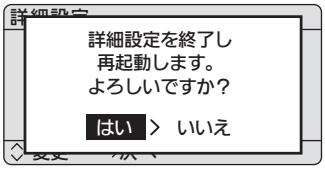
∧ / ∨ で設定データを選択後、
決定 を押してください。



※続けて別のユニットNo.、項目コードを設定する場合は手順３～５を繰り返してください。

6 設定を反映する

設定が完了したら、
戻る を押してください。

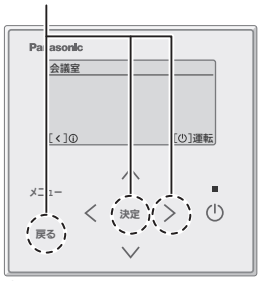


再起動：「はい」を選択し、
決定 を押してください。

自動アドレス

室内外ユニット全て電源を入れてから1分30秒以上待ってからアドレス設定してください。

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



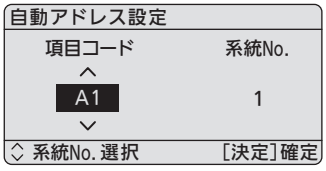
2 「自動アドレス設定」を選ぶ

∧ / ∨ ➡ **決定**



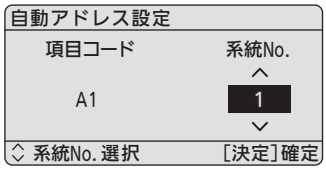
3 項目コードを選ぶ

∧ / ∨ で項目コード：「A1」を選択し、
＞ を押してください。



4 系統No.を選ぶ

∧ / ∨ で系統No.を選択してください。



5 自動アドレスを開始する

設定が完了したら、
決定 を押してください。
自動アドレスが開始されます。
（リモコンに“設定中”と点滅表示します。）
“設定中”が消灯したら設定完了し、再起動します。
別の系統を設定する場合は、上記 1 から行ってください。

・設定を中断する

戻る を押してください。

Panasonic

取扱説明書

多機能ワイヤードリモコン

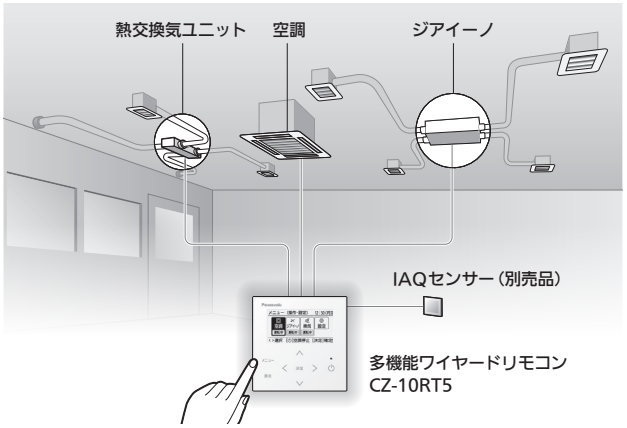
品番 **CZ-10RT5**



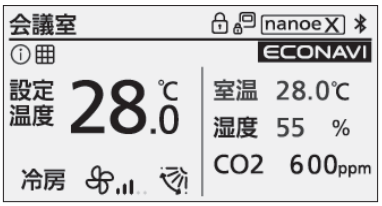
このたびは、多機能ワイヤードリモコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 本書は多機能ワイヤードリモコンの取扱説明書です。室内ユニットなどに付属の取扱説明書とあわせてお読みください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(6～7ページ)を必ずお読みください。**

空調・ジアイーノ※1・換気をひとつのリモコンで操作



空気質（室温・湿度・CO2濃度）を見える化※2



※1 「ジアイーノ」は、次亜塩素酸のチカラで空間の除菌・脱臭を行う空間浄化機器です。次亜塩素酸を用いた、独自の空間浄化技術で、身の回りの菌やニオイを抑制します。

※2 湿度またはCO2濃度は、別売のIAQセンサー接続時に表示できます。

datanavi

スマートフォンのアプリを使用して空調機の情報をクラウドに保存し、円滑なサポートを提供します。



空調機の情報

- 消費電力量（対応機種のみ）
- 機種名
- 点検時期のお知らせ
- 警報情報 など

● Bluetooth®通信でdatanaviの操作性向上

● フロン抑制　簡易点検サポート

点検時期のお知らせ

● 困ったときのかんたん解決サポート

- 故障かな？と感じたときのQAリストや取扱説明書閲覧
- エラー発生時の迅速対応サービス

この機能の取扱いの詳細は
https://datanavi.ac.smartcloud.panasonic.com/

お知らせ

- スマートフォンの機種によっては、datanaviをお使いいただけない場合があります。スマートフォンの対応機種は、上記ウェブサイトでご確認ください。（対応機種でも、使用環境によってはご使用いただけない場合があります）

もくじ

安全上のご注意 6
使用上のお願い 7
Bluetooth使用上の注意とお願い... 8
各部の名前 10
画面の見かた 11
トップ画面 11
メニュー画面 14
インフォメーション画面 15
基本の使いかた 16
設定温度を変えるとき 16
運転モードを変えるとき 17
風速を変えるとき 17
風向を変えるとき 18
空調運転の操作 19
運転する/停止する 19
設定温度/運転モード/風速/風向を変えるとき 20
ジアイーノ運転の操作 23
運転する/停止する 23
運転モードを変えるとき 24
除菌脱臭の強度を変えるとき 25
加湿量を変えるとき 25
換気運転の操作 28
運転する/停止する 29
換気モードを変えるとき 30
換気風量を変えるとき 30
メニュー一覧への操作 33
メニュー一覧 34

空調設定

タイマー設定 37
切/入タイマー設定 37
ウィークリータイマー設定 39
新規登録する 39
設定内容を他の曜日にコピーする ... 42
曜日全削除 43
曜日無効設定 44
消し忘れ防止タイマー設定 45
消し忘れ防止時間 45
消し忘れ防止タイマー 46
運転自動停止タイマー設定 47
室内機個別設定 48
風向設定 49
個別風向固定設定 51
風あて・風よけ 53
サーキュレート運転（エコナビパネル使用時のみ） 55
ナノイーX 57
内部クリーン 58
内部乾燥 59
省エネ設定 60
省エネ運転設定 60
設定温度自動リターン 62
設定温度範囲制限 63
手動デマンド 64
時間帯デマンド 65
エコナビ設定 67
エコナビ 67
不在運転モード 69
不在運転開始時間 71
モニター表示 72
省エネモニター 72
CO2排出量モニター 74
現在発電量表示 76
ローテーション設定 77
ローテーション 77
パックアップ 79
室外静音設定 81
静音運転切替/静音運転時間 81
外部機器連動設定 83
外部機器連動/外部機器連動モード/不在検知時間設定 83
換気出力 86
室温測定温度センサー 87
空調機器情報 88

もくじ

ユーザーメンテナンス.....89
フィルター情報 89
昇降グリル 91
銀イオン抗菌剤 92

ジアイーノ設定

タイマー設定 93
切/入タイマー設定 93
ウィークリータイマー設定 95
新規登録する 95
設定内容を他の曜日にコピーする... 97
曜日全削除..... 98
曜日無効設定 99
集中クリーン終了後動作設定...100
ジアイーノ機器情報.....101
ジアイーノについて.....102
ユーザーメンテナンス.....103
塩水パック 103
電極..... 105
HEPAフィルター..... 107

換気設定

タイマー設定 109
切/入タイマー設定 109
ウィークリータイマー設定 111
新規登録する 111
設定内容を他の曜日にコピーする... 113
曜日全削除..... 114
曜日無効設定 115
24時間換気.....116
ナイトパージ 117
CO2連動設定.....118
ユーザーメンテナンス.....119
フィルターサインリセット 119

リモコン設定

取扱説明書 120
時計設定 121
時刻表示設定 122
リモコン名称設定 123
操作ロック設定 125
操作音設定 126
コントラスト設定 127
バックライト設定 128
表示モード 129
トップ画面表示情報.....131
言語切替 133
管理者パスワード 134
リモコン親子設定 136
ワイヤレス設定 137
Bluetooth..... 137
Bluetooth機能 137
Bluetooth初期化 138
サービス連絡先表示.....139
表示アイコン一覧.....140
故障かな? 143
ご相談窓口 145
お手入れ 145
仕様 146
著作権など 147
ソフトウェアライセンスについて 148

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

必ず守る

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
（水漏れや感電・火災の原因）

当社指定のエアコンと接続して使う
（水漏れや感電・火災の原因）

異常・故障時には直ちに使用を中止し、配線用しゃ断器（ブレーカー）を切る
（感電や火災の原因）
異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする
- ブレーカーがたびたび切れる
- 本体が変形したり、異常に熱い

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください

アプリ利用時は事前に他の人が設定したタイマー予約などをスマートフォンで確認し、設定状況を十分に把握する
（思わぬ運転や停止により、体調をくずす原因。動植物に悪影響をおよぼす原因）

心臓ペースメーカーを装着している方は、装着部を本機から15 cm以上離す
（本機からの電波が機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因）

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告

禁止

本機に医療機器や自動制御機器（自動ドア、火災警報器など）を近づけない
（本機からの電波が機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因）

体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない
（体調の悪化・健康障害の原因）
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在を判定し、空調機の運転が停止することがあります。

リモコンを分解しない
（感電や故障の原因）

水洗いしない
（感電や故障の原因）

⚠ 注意

禁止

ぬれた手で操作しない
（感電や故障の原因）

使用上のお願い

●次のような場所に設置しない
- 湿気・油分・振動が多い/直射日光があたる/熱源の近く/結露する（故障の原因）
- ノイズが発生する（誤動作の原因）

●スプレーを吹きかけない（誤動作や故障の原因）
- 液体（洗剤、アルコール、有機溶剤など）がかからないようにしてください。

●アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない（液晶画面のくもり・変色や故障の原因）
- ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

Bluetooth使用上の注意とお願い

■ 他機器からの影響

●磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。
次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
- 電子レンジ、デジタルコードレス電話機
- その他2.4 GHz帯の電波を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
- 電波が反射しやすい金属物などの近く

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の使用を停止したうえ下記の連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置などについてご相談ください。

3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：パナソニック株式会社
商品相談窓口　空調・換気・給湯の相談窓口（P.145）

■ 使用制限

●日本国内でのみ使用できます。
●Bluetooth標準規格に準じたセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境及び設定内容によってはセキュリティが十分でない場合がございます。無線通信時はご注意ください。
●無線通信時に発生したデータおよび情報漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
●放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。

Bluetooth使用上の注意とお願い

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けた無線装置を内蔵しているので、無線局の免許は不要です。ただし、以下の行為は電波法で禁止されています。

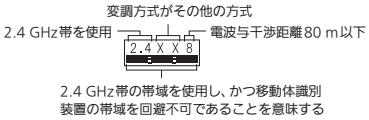
- 分解/改造する
- 本機記載の定格銘板を消す（本機に貼ってある証明ラベルをはがす）

■ 使用可能距離

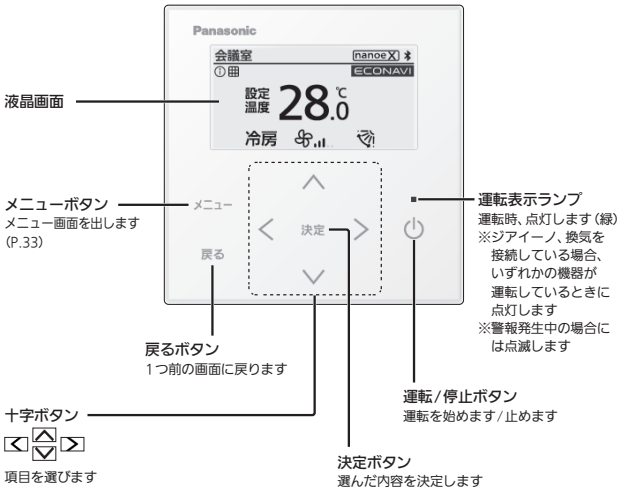
リモコンからの見通し距離10 m以内で使用してください。間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

■ Bluetooth®仕様

バージョン：Bluetooth 4.2（Bluetooth Low Energy）
接続周波数：2.4 GHz帯



各部の名前



お知らせ

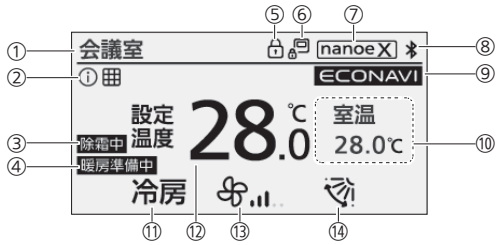
- 操作は、ボタンの中央付近を押してください。
- 手袋を着けた状態では、操作できません。
- スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。

画面の見かた

トップ画面

トップ画面は、「標準モード」（出荷時設定）（下記）、「簡易モード」（P.12）、「詳細モード」（P.13）の3つの表示モードから選べます。
下記の画面は標準モードにおけるトップ画面です。

＜標準モード＞



①**リモコン名称**（P.123）

②**設定情報アイコン**（P.140）
- 設定状況によりアイコンの数と表示位置は変わります。
- トップ画面では、一部の設定状態しか表示されません。すべてのアイコン情報は、インフォメーション画面（P.15）で確認できます。

③**除霜中**
- 暖房運転を一時的に止めて霜を融かす霜取り運転を行うときに表示されます。

④**暖房準備中**：室内ユニットがすぐに温風を吹き出せないとき
運転準備中：室内ユニットがすぐに冷風・温風を吹き出せないとき（ガスヒートポンプエアコン使用時のみ）
- ガスヒートポンプエアコン使用時は、エアコンの状態により暖房準備中/運転準備中のいずれかが表示されることがあります。

⑤**操作ロック設定中**（P.125）

⑥**集中管理中**
- 集中制御機器からリモコン操作を制限中です。

⑦**ナノイーX設定中**（P.57）

⑧**Bluetooth®無線接続中**（P.137）

⑨**エコナビ設定中**（P.67）
- エコナビパネル/エコナビセンサーを取付時にのみエコナビ設定が可能です。

⑩**空気質情報**（P.131）
- 室温、湿度またはCO_2の空気質情報を表示します。

⑪**運転モード**（P.17）

⑫**設定温度**（P.16）

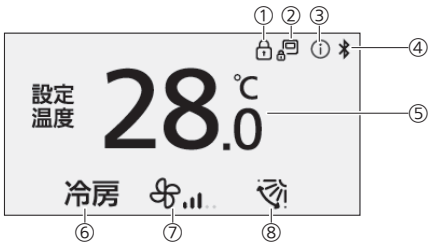
⑬**風速**（P.17）

⑭**風向**（P.18）

画面の見かた

下記の画面は簡易モードにおけるトップ画面です。

＜簡易モード＞



①**操作ロック設定中**（P.125）

②**集中管理中**
- 集中制御機器からリモコン操作を制限中です。

③**設定情報アイコン**（P.140）
- アイコンの情報は、インフォメーション画面（P.15）で確認できます。

④**Bluetooth®無線接続中**（P.137）

⑤**設定温度**（P.16）

⑥**運転モード**（P.17）

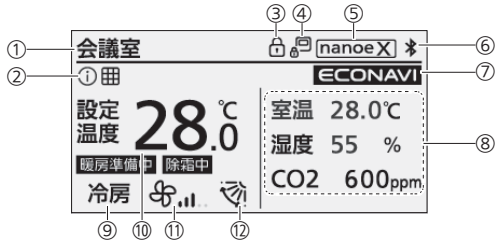
⑦**風速**（P.17）

⑧**風向**（P.18）

画面の見かた

下記の画面は詳細モードにおけるトップ画面です。

＜詳細モード＞



①**リモコン名称**（P.123）

②**設定情報アイコン**（P.140）
- 設定状況によりアイコンの数と表示位置は変わります。
- トップ画面では、一部の設定状態しか表示されません。すべてのアイコン情報は、インフォメーション画面（P.15）で確認できます。

③**操作ロック設定中**（P.125）

④**集中管理中**
- 集中制御機器からリモコン操作を制限中です。

⑤**ナノイーX設定中**（P.57）

⑥**Bluetooth® 無線接続中**（P.137）

⑦**エコナビ設定中**（P.67）
- エコナビパネル/エコナビセンサーを取付時にのみエコナビ設定が可能です。

⑧**空気質情報**（P.131）
- 室温、湿度またはCO_2の空気質情報を表示します。

⑨**運転モード**（P.17）

⑩**設定温度**（P.16）

⑪**風速**（P.17）

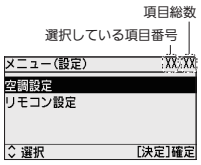
⑫**風向**（P.18）

画面の見かた

メニュー画面

■空調機のみが接続されている場合

各機器を設定するためのメニュー（設定）画面です。



1 トップ画面から［メニュー］を押す
- メニュー（設定）画面に移動します。

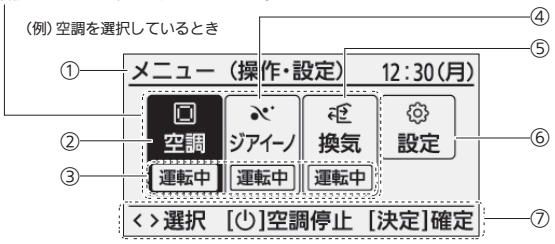
2 ［∧］［∨］を押して設定したい項目を選び［決定］を押す

■空調機とジアイーノまたは換気機器、もしくは両方接続されている場合

各機器の運転/停止操作と、機器を設定するためのメニュー（操作・設定）画面です。

1 トップ画面から［メニュー］を押す
- メニュー（操作・設定）画面に移動します。

接続されていない機器は表示されません。



①**画面名**

②**空調**（P.19）
- 空調機の運転/停止を設定します。

③**機器の状態表示**
- 運転中/停止中/警報中（⚠/❗）、点検中（ⓘ/❗）のいずれかが表示されます。

④**ジアイーノ**（P.23）
- ジアイーノの運転/停止を設定します。

⑤**換気**（P.28）
- 換気の運転/停止を設定します。

⑥**設定**
- 接続されている機器を設定するメニュー（設定）画面に移動します。

⑦**リモコン操作ガイド**
- 現在操作できる内容が表示されます。
  ［＜］［＞］選択：接続されている機器、設定を選びます。
  ［⏻］空調停止：選んだ機器を運転/停止します。
  ［決定］確定：接続機器の運転操作の画面や設定内容の画面に移動します。

画面の見かた

インフォメーション画面

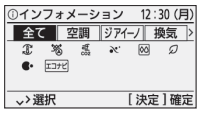
トップ画面で［＜］を押すと、インフォメーション画面が表示され、設定情報アイコンを確認することができます。

※警報/点検が発生している場合は、［＜］または［決定］を押すと、インフォメーション画面よりも先に警報/点検の画面が表示されます。

1 インフォメーション画面を表示する
［＜］を押す
- 現在設定しているアイコンが表示されます。



2 機器を選ぶ
［＜］［＞］を押す
- 接続されていない機器は、表示されません。



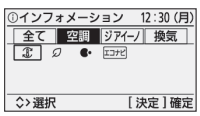
（例）空調機の設定情報アイコンを確認するとき

3 空調機のアイコン情報にカーソルを移動させる
［∨］または［決定］を押す

（空調機を選択した例）

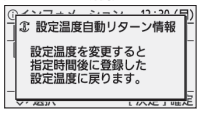


4 アイコンを選ぶ
［∧］［∨］［＜］［＞］で選び、［決定］を押す



5 アイコンの説明を確認する
- トップ画面に戻るには、［戻る］を3回押してください。

（アイコンの説明例）



お知らせ
- すべての設定情報アイコンと詳細について（P.140）
- 表示する情報がないときは、「設定情報なし」が表示されます。

基本の使いかた

手順1、2は各項目で共通の操作です。

1 運転を始める
［⏻］を押す
（運転表示ランプ点灯）

■ 止めるとき
［⏻］を押す
（運転表示ランプ消灯）



2 設定する項目を選ぶ
［∧］［∨］［＞］または［決定］を押す
- 最初に運転モードを選択したい場合は、［＞］を2回押してください。
- ［＜］を押すとインフォメーション画面に移動します。（P.15）



設定温度を変えるとき

3 設定温度を選ぶ（0.5 ℃単位）
［∧］［∨］を押す
- 冷房、ドライ：18 ℃～30 ℃
- 暖房：16 ℃～30 ℃
- 冷暖自動：17 ℃～27 ℃



- ［決定］または［戻る］を押すと、上記の手順2に戻ります。

お知らせ
- 機器によっては設定できる温度範囲が異なります。

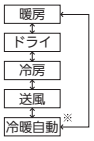
（次ページへ続く）

基本の使いかた

運転モードを変えるとき

3 運転モードを選ぶ

[>]→[∧][∨]を押す





※ 冷暖自動：設定温度になるよう、自動で冷房/暖房を切り替えます。運転モードにカーソルがないときは「自動」と表示されます。

● 決定または戻るを押すと、P.16の手順2に戻ります。

お知らせ

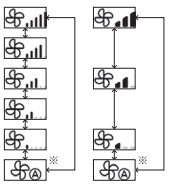
●設定できない運転モードは表示されません。

風速を変えるとき

3 風速を選ぶ

[>](2回押す)→[∧][∨]を押す

● 機種によって下記のどちらかの表示になります。





● 決定または戻るを押すと、P.16の手順2に戻ります。

※ (自動)：送風時は選べません。

お知らせ

●機種によって選択可能な風速が異なる場合があります。

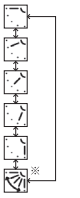
(次ページへ続く)

基本の使いかた

風向を変えるとき

3 風向を選ぶ

[>](3回押す)→[∧][∨]を押す



: スイング、: 停止



● 決定または戻るを押すと、P.16の手順2に戻ります。

※ スイング中に[∧]か[∨]を押すと、お好みの位置でフラップを止められます。

※ スイング停止中に[∧]か[∨]を押すと、所定の位置にフラップが設定されます。

お知らせ

●リモコンのスイング・風向の表示は、フラップの動きと同調していません。

●風向を変えられない機種では、風向が表示されません。

●機種によって、仕様が異なる場合があります。
(冷房・ドライ時、冷暖自動の冷房時の風向設定が3段階)

■室内ユニットごとに風向を設定するとき
(P.51)

お知らせ

●停電の後、通電後に⏻を押すと、停電前の内容で運転を再開します。

●しばらくするとバックライトが消えます。(節電のため)
何かのボタンを押すとバックライトが点灯します。

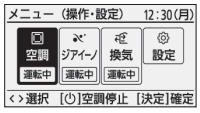
●風速や冷房・ドライ時の風向が3段階の室内ユニットを親ユニット、4方向天井カセット形を子ユニットにしてグループ制御を行うと、設定できる風速および冷房・ドライ時の風向は3段階になります。

空調運転の操作

メニュー画面から「空調」を選んで操作できる空調機能について説明します。
手順1、2は各項目で共通の操作です。
基本的な操作については、「基本の使いかた」(P.16)を参照してください。

1 トップ画面からメニュー画面を出す

メニューを押す



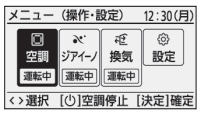
● 「空調」を選択しているときに、⏻を押すと、運転/停止を切り替えます。(P.19)
「設定」を選択しているときも空調機の運転/停止を行います。

■1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

■各設定画面で数分間操作をしないとき
トップ画面に戻ります

2 「空調」を選ぶ

[‹][›]を押す



運転する / 停止する

3 「空調」選択時、
運転/停止を切り替える

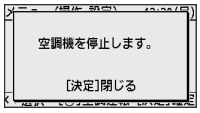
⏻を押す

(「運転中」または「停止中」が表示される)

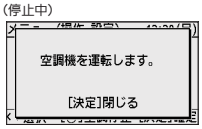


● 「設定」を選択しているときも空調機の運転/停止を行います。

(運転中)



(停止中)

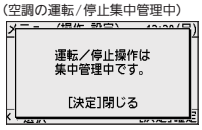


(次ページへ続く)

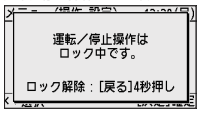
空調運転の操作

■「集中管理中」または「ロック中」と表示されたときは操作ができません

(空調の運転/停止集中管理中)



(運転/停止操作ロック中)



設定温度 / 運転モード / 風速 / 風向を変えるとき

3 「空調」を選ぶ

決定を押す



■設定温度を変えるとき
「設定温度を変えるとき」(P.16)を参照してください。

運転操作対象



■運転モードを変えるとき
「運転モードを変えるとき」(P.17)を参照してください。



■風速を変えるとき
「風速を変えるとき」(P.17)を参照してください。



(次ページへ続く)

空調運転の操作

■ 風向を変えるとき
「風向を変えるとき」(P.18) を参照してください。



■「警報中」または「点検中」と表示されたときは
① 決定 を押す
• 「設定温度を変えるとき」(P.20) の画面に移動します。



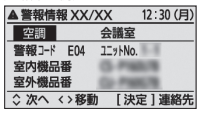
警報中 (▲) / 点検中 (❗)

② ＜ を押す
• 発生している警報や点検情報の内容が表示されます。

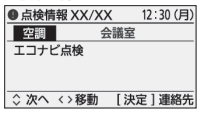


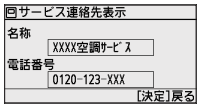
(警報中の例)

③ 決定 を押して、連絡先を確認する



(点検中の例)





(次ページへ続く)

空調運転の操作

■ インフォメーション画面を表示するには
① 決定 を押す



② ＜ を押す
• 空調のインフォメーション画面が表示されます。
• インフォメーション画面の操作については、「インフォメーション画面」(P.15) を参照してください。



(インフォメーション画面の例)



＜警報または点検が発生している場合＞
手順②の操作後、インフォメーション画面よりも先に警報または点検の画面 (P.21) へ移動します。

③ ＜ を押す
• インフォメーション画面に移動します。

＜警報および点検の両方が発生している場合＞
手順②の操作後、インフォメーション画面よりも先に警報画面 (P.21) へ移動します。

③ ＜ を押す
• 点検画面に移動します。

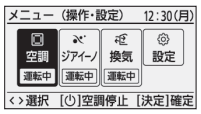
④ ＜ を押す
• インフォメーション画面に移動します。

ジアイーノ運転の操作

メニュー画面から「ジアイーノ」を選んで操作できるジアイーノ運転の操作について説明します。
ジアイーノユニットを接続しているときのみ、操作できます。

手順1、2は各項目で共通の操作です。

1 トップ画面からメニュー画面を出す
メニュー を押す



■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ 各設定画面で数分間操作をしないとき
トップ画面に戻ります

2 「ジアイーノ」を選ぶ
＜ ＞ を押す

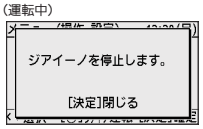


運転する / 停止する

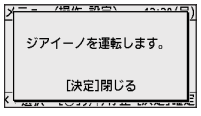
3 「ジアイーノ」選択時、
運転/停止を切り替える
⏻ を押す
(「運転中」または「停止中」が表示される)



(運転中)



(停止中)

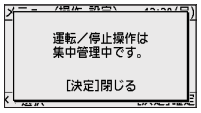


(次ページへ続く)

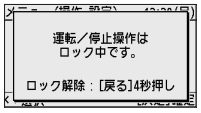
ジアイーノ運転の操作

■「集中管理中」または「ロック中」と表示されたときは操作ができません

(ジアイーノの運転/停止集中管理中)



(運転/停止操作ロック中)



運転モードを変えるとき

3 運転モードを選ぶ
決定 → ∧ ∨ を押す
通常：下記の除菌脱臭の強度、加湿量で設定した内容で運転します
集中クリーン：除菌脱臭の強度を一時的に上げて運転します
• 集中クリーンは、除菌脱臭の強度、加湿量を選べません。また表示もされません。
• 集中クリーン終了後は、「集中クリーン終了後動作設定」(P.100) により、停止、運転 (通常運転を引き続き始める) します。

(運転モードが「通常」のとき)



(運転モードが「集中クリーン」のとき)



(次ページへ続く)

ジアイーノ運転の操作

除菌脱臭の強度を変えるとき

3 除菌脱臭する強度を選ぶ

決定 → > → ∧ ∨ を押す

: 弱
: 中
: 強
: 切

■ 除菌脱臭をOFFにするには

右の画面が表示されたら、「はい」を選ぶ

< > → 決定



加湿量を変えるとき

3 加湿量を選ぶ

決定 → > (2回押す) → ∧ ∨ を押す

: 微弱
: 弱
: 中
: 強



(次ページへ続く)

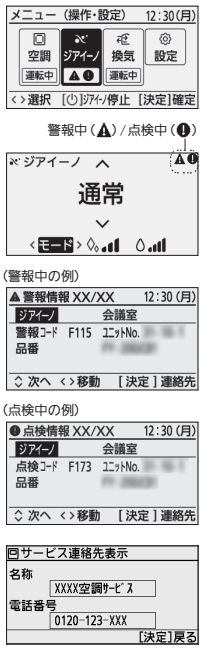
ジアイーノ運転の操作

■「警報中」または「点検中」と表示されたときは

① 決定を押す
- 「運転モードを変えるとき」(P.24)の画面に移動します。

② < を押す
- 発生している警報や点検情報の内容が表示されます。

③ 決定を押して、連絡先を確認する



(次ページへ続く)

ジアイーノ運転の操作

■ インフォメーション画面を表示するには

① 決定を押す



② < を押す
- ジアイーノのインフォメーション画面が表示されます。
- インフォメーション画面の操作については、「インフォメーション画面」(P.15)を参照してください。



(インフォメーション画面の例)



<警報または点検が発生している場合>

手順②の操作後、インフォメーション画面よりも先に警報または点検の画面 (P.26) へ移動します。

③ < を押す
- インフォメーション画面に移動します。

<警報および点検の両方が発生している場合>

手順②の操作後、インフォメーション画面よりも先に警報画面 (P.26) へ移動します。

③ < を押す
- 点検画面に移動します。

④ < を押す
- インフォメーション画面に移動します。

換気運転の操作

メニュー画面から「換気」を選んで操作できる換気運転の操作について説明します。
熱交換気ユニットまたは換気扇 (外部機器連動の換気出力 (P.86)) を接続しているときのみ、操作できます。

手順1、2は各項目で共通の操作です。

1 トップ画面からメニュー画面を出す

メニュー を押す

■ 1つ前の画面に戻るとき

戻る を押す

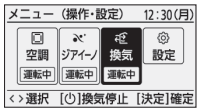
■ 各設定画面で数分間操作をしないとき

トップ画面に戻ります

2 「換気」を選ぶ

< > を押す



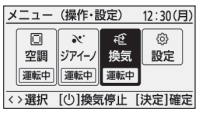


(次ページへ続く)

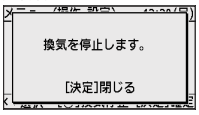
換気運転の操作

運転する / 停止する

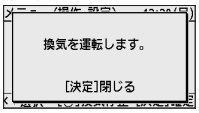
3 「換気」選択時、
運転/停止を切り替える
[⏻]を押す
(「運転中」または「停止中」が表示される)



(運転中)

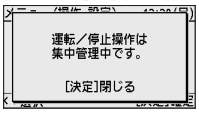


(停止中)

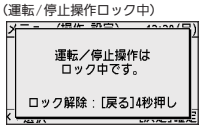


■「集中管理中」または「ロック中」と表示されたときは操作ができません

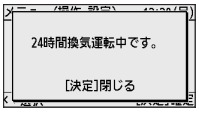
(換気の運転/停止集中管理中)



(運転/停止操作ロック中)



■ 右の画面が表示されたときは操作ができません



(次ページへ続く)

換気運転の操作

■ 熱交換ユニットを接続しているとき

熱交換換気ユニット、換気扇の両方が接続されているときは、熱交換換気ユニットの運転操作画面に移動します。

換気モードを変えるとき

3 換気モードを選ぶ
決定 → [∧][∨]を押す

自動換気：室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り替えます
熱交換気：外気を室温に近づけて室内に取り入れます
普通換気：外気をそのまま室内に取り入れます



換気風量を変えるとき

3 換気風量を選ぶ
決定 → [〉] → [∧][∨]を押す

弱（弱）
強（強）
CO2（CO2連動）※：
センサーで検知した濃度と設定したCO2濃度（出荷時設定は800ppm）に応じて、換気風量を自動で制御します。(P.118)
CO2連動設定で設定したppmを超えた場合は、換気風量を強、設定したppm以下の場合、弱にして運転します。

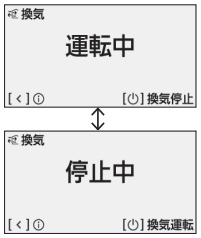
※ CO2連動機能のある機種とIAQセンサー（別売）が接続されている場合に設定できます。



■ 換気出力（P.86）をONにした場合

運転/停止のみ可能です。

3 決定 → [⏻]を押す
(「運転中」または「停止中」が切り替わる)

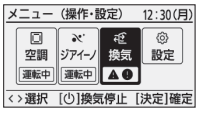


(次ページへ続く)

換気運転の操作

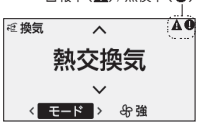
■「警報中」または「点検中」と表示されたときは

① 決定を押す
• 「換気モードを変えるとき」(P.30) の画面の手順3に移動します。



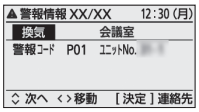
警報中（▲）/ 点検中（❗）

② [〈]を押す
• 発生している警報や点検情報の内容が表示されます。

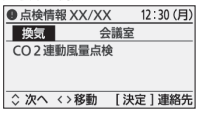


(警報中の例)

③ 決定を押して、連絡先を確認する



(点検中の例)



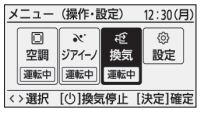


(次ページへ続く)

換気運転の操作

■ インフォメーション画面を表示するには

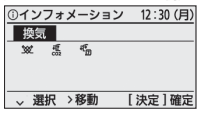
① 決定を押す



② [〈]を押す
• 換気のインフォメーション画面が表示されます。
• インフォメーション画面の操作については、「インフォメーション画面」(P.15) を参照してください。



(インフォメーション画面の例)



＜警報または点検が発生している場合＞
手順②の操作後、インフォメーション画面よりも先に警報または点検の画面 (P.31) へ移動します。

③ [〈]を押す
• インフォメーション画面に移動します。

＜警報および点検の両方が発生している場合＞
手順②の操作後、インフォメーション画面よりも先に警報画面 (P.31) へ移動します。

③ [〈]を押す
• 点検画面に移動します。

④ [〈]を押す
• インフォメーション画面に移動します。

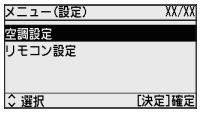
メニュー一覧への操作

■ 空調機のみが接続されているとき

1 トップ画面からメニュー画面を出す

メニュー

● メニュー（操作・設定）画面をスキップして、右記のメニュー（設定）画面へ移動します。



2 設定したい機器を選ぶ

△▽→ 決定

● 各機器の設定メニューが表示されます。

■ 空調機とジアイーノまたは換気機器、もしくは両方接続されているとき

1 トップ画面からメニュー画面を出す

メニュー

● メニュー（操作・設定）画面に移動します。



2 「設定」を選ぶ

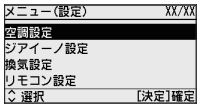
◁▷→ 決定



3 設定したい機器を選ぶ

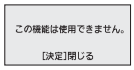
△▽→ 決定

● 各機器の設定メニューが表示されます。



お知らせ

●機能が付いていない場合は、使用できないメニューがあります。使用できないメニューを選ぶと、次のような表示が出ます。



メニュー一覧

★印付きのメニューの設定には、管理者パスワードが必要です。(P.134)

■ 空調設定

空調機に関する設定をします。

タイマー設定		
切/入タイマー設定	切/入タイマーを設定します。	P.37
ウィークリータイマー設定	曜日単位で運転スケジュールを設定します。	P.39
消し忘れ防止タイマー設定	消し忘れ防止タイマーを設定します。	P.45
運転自動停止タイマー設定	運転するたび、一定時間後に自動停止させます。	P.47
室内機個別設定		
風向設定	室内ユニットごとに、風向を設定します。	P.49
個別風向固定設定	特定の吹出口の風向を固定します。	P.51
風あて・風よけ	風あて・風よけの設定をします。	P.53
サーキュレート運転	サーキュレート運転の設定をします。	P.55
ナノイーX	ナノイーXの設定をします。	P.57
内部クリーン	内部クリーンの設定をします。	P.58
内部乾燥	内部乾燥の設定をします。	P.59
省エネ設定		
省エネ運転設定	省エネ運転をする/しないを設定します。	P.60
設定温度自動リターン	温度を変更しても、設定時間後に元に戻します。	P.62
設定温度範囲制限	設定できる温度の範囲を制限します。	P.63
デマンド設定★	時間帯を決めて、省エネ運転します。	P.64
エコナビ設定		
エコナビ	エコナビ機能のオン/オフを設定します。	P.67
不在運転モード	不在時モードを設定します。	P.69
不在運転開始時間	不在運転を開始するまでの時間を設定します。	P.71
モニター表示		
省エネモニター	空調機の消費電力量を表示します。	P.72
CO2排出量モニター	空調機のCO2排出量を表示します。	P.74
現在発電量表示	現在の発電量を表示します。	P.76

メニュー一覧

ローテーション設定★		
ローテーション	ローテーション運転の設定を行います。	P.77
バックアップ	バックアップ運転の設定を行います。	P.79
室外静音設定★		
静音運転切替	室外ユニットを静音運転のオン/オフを設定します。	P.81
静音運転時間	静音運転する時間を設定します。	P.82
外部機器連動設定★		
外部機器連動	外部機器連動のオン/オフを設定します。	P.83
外部機器連動モード	外部機器が連動する室内ユニットの動作モードを設定します。	P.84
不在検知時間設定	不在検知後の運転を続ける時間を設定します。	P.84
換気出力	換気扇の連動運転をオン/オフします。	P.86
室温測定温度センサー★	室内温度を検知する温度センサーを設定します。	P.87
空調機器情報	空調機の情報を表示します。	P.88
ユーザーメンテナンス		
フィルター情報	フィルター清掃までの時間を確認およびリセットします。	P.89
昇降グリル	昇降グリルを操作します。	P.91
銀イオン抗菌剤	銀イオン抗菌剤の交換時期を表示します。	P.92

■ ジアイーノ設定

ジアイーノの設定をします。

タイマー設定		
切/入タイマー設定	切/入タイマーを設定します。	P.93
ウィークリータイマー設定	曜日単位で運転スケジュールを設定します。	P.95
集中クリーン終了後動作設定	運転モードを集中クリーンに設定（P.24）した場合、集中クリーン終了後の動作を設定します。	P.100
ジアイーノ機器情報	ジアイーノ機器情報を表示します。	P.101
ジアイーノについて	ジアイーノに関する注意喚起を表示します。	P.102
ユーザーメンテナンス		
塩水パック	ユニット毎の塩水パックの交換時期を表示します。	P.103
電極	ユニット毎の電極の交換時期を表示します。	P.105
HEPAフィルター	ユニット毎のHEPAフィルターの交換時期を表示します。	P.107

メニュー一覧

■ 換気設定

熱交換気ユニットを含む換気運転の設定をします。

タイマー設定		
切/入タイマー設定	切/入タイマーを設定します。	P.109
ウィークリータイマー設定	曜日単位で運転スケジュールを設定します。	P.111
24時間換気	24時間換気をオン/オフします。	P.116
ナイトパージ	エアコン停止後室内にこもる熱を感知して、換気する設定（オン/オフ）をします。	P.117
CO2連動設定	CO2連動の時に、換気風量を切り替えるCO2濃度を設定します。	P.118
ユーザーメンテナンス		
フィルターサインリセット	熱交換気ユニットのフィルターサインをリセットします。	P.119

■ リモコン設定

リモコンに関する設定をします。

取扱説明書	取扱説明書をダウンロードするためのQRコードを表示します。	P.120
時計設定	現在日時を設定します。	P.121
時刻表示設定	時刻表示の種類を設定します。	P.122
リモコン名称設定	リモコンに名前を付けます。	P.123
操作ロック設定	ボタン操作をロックします。	P.125
操作音設定	操作音量を変更します。（切/小/中/大）	P.126
コントラスト設定	画面のコントラスト（5段階）を設定します。	P.127
バックライト設定	画面のバックライトの明るさ（3段階）を設定します。	P.128
表示モード	トップ画面の表示モード（簡易/標準/詳細）を設定します。	P.129
トップ画面表示情報	トップ画面に表示する空気質情報の設定をします。	P.131
言語切替	トップ画面の表示言語（日本語/English）を設定します。	P.133
管理者パスワード★	管理者パスワードを設定します。	P.134
リモコン親子設定★	リモコンを2つ接続しているときに、設定します。	P.136
ワイヤレス設定		
Bluetooth	Bluetoothの有効/無効の設定、ペアリング情報の初期化を行います。	P.137
サービス連絡先表示	サービスの連絡先を確認します。	P.139

タイマー設定

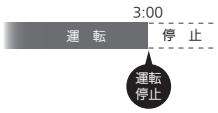
空調設定

切 / 入タイマー設定

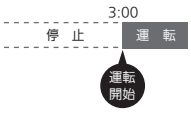
設定した時刻になったら、運転を切/入します。



■切タイマーの使用例
朝までつけっぱなし…を
防いで、ムダをカット！



■入タイマーの使用例
会議開始のタイミングに
合わせて、エアコンを運転！



1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー →◁▷→ 決定

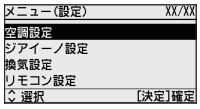


■1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

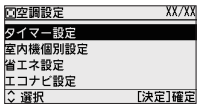
■トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14) を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「空調設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「タイマー設定」を選ぶ
△▽→ 決定

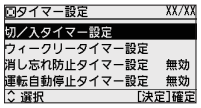


（次ページへ続く）

タイマー設定

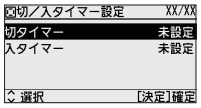
空調設定

4 「切/入タイマー設定」を選ぶ
△▽→ 決定



5 タイマーの種類を選ぶ
△▽→ 決定

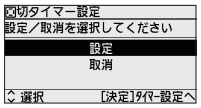
- 切タイマー：設定した時刻になったら、運転を停止します。
  (手順7 (P.38) で時刻を設定)
- 入タイマー：設定した時刻になったら、運転を開始します。
  (手順7 (P.38) で時刻を設定)



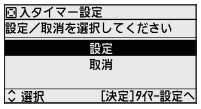
6 「設定」を選ぶ
△▽→ 決定

■タイマーをオフにするとき
「取消」を選び、未設定にする

(切タイマーを選んだとき)

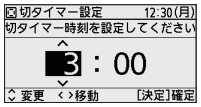


(入タイマーを選んだとき)



7 時刻を設定する
△▽(時) →▷→△▽(分)→ 決定

- 時 (0～23) : 1時間単位
- 分 (00～55) : 5分単位



お知らせ

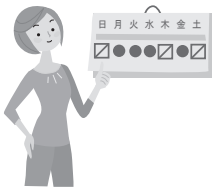
- 切/入タイマーを同じ時間に設定すると、切タイマーが優先され、入タイマーは使用できません。
- 運転中に入タイマーを設定すると、運転は停止します。

タイマー設定

空調設定

ウィークリータイマー設定

曜日単位で運転スケジュールを設定します。



新規登録する

1日8件まで設定できます。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー →◁▷→ 決定

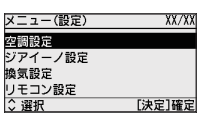


■1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

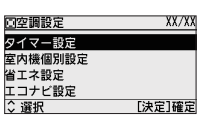
■トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14) を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「空調設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「タイマー設定」を選ぶ
△▽→ 決定

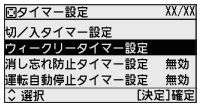


（次ページへ続く）

タイマー設定

空調設定

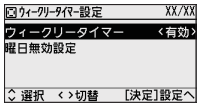
4 「ウィークリータイマー設定」を選ぶ
△▽→ 決定



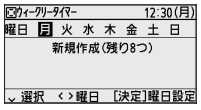
5 「ウィークリータイマー」を「有効」にする
△▽→◁▷→ 決定

- △▽で項目を選び、◁▷で有効/無効を選ぶ

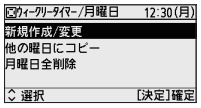
■タイマーをオフにするとき
「無効」を選ぶ



6 タイマーを使う曜日を選ぶ
◁▷→ 決定



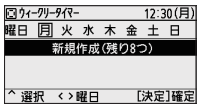
7 「新規作成/変更」を選ぶ
△▽→ 決定



8 新規作成する
△▽→ 決定

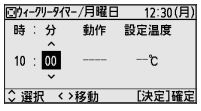
- 新規作成の行に選択が移ります。

■変更するとき
登録されているスケジュールを選び、決定 を押す



9 時刻を設定する
△▽(時) →▷→△▽(分)→▷

- 時 (0～23) : 1時間単位
- 分 (00～59) : 1分単位



（次ページへ続く）

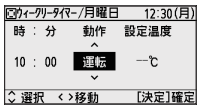
タイマー設定

空調設定

10 動作を設定する

△▽→▷

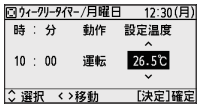
- オフィス・店舗用エアコンの場合、動作を運転/送風/ドライ/冷房/暖房/自動(冷暖自動)/停止から選べます。
  - 運転:設定した時刻に、設定されている運転状態で運転したい場合に「運転」の動作設定をしてください。
  - 停止:設定した時刻に、運転を停止したい場合に「停止」の動作設定をしてください。
- ビル用マルチエアコン・ガスヒートポンプエアコンの場合、動作を運転/停止から選べます。



11 温度を設定する

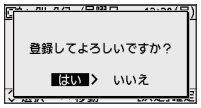
△▽→決定

- 0.5℃単位で選べます。
- 動作が送風または停止のときは温度は設定できません。
- 動作が、運転/ドライ/冷房/暖房/自動(冷暖自動)のとき、設定温度を設定しないこともできます。



12 設定内容を登録する

◁▷→決定



■ 続けて追加登録するとき
手順6～12を繰り返し、他の曜日を設定する

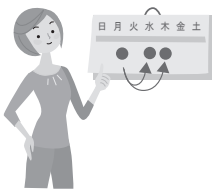
■ 設定内容を他の曜日にコピーするとき
(P.42)

タイマー設定

空調設定

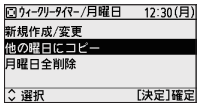
設定内容を他の曜日にコピーする

登録したスケジュールを他の曜日にコピーします。
複数の曜日を同じスケジュールにするときに便利です。



1 P.39の手順1～5のあと
手順6で設定済みのコピーしたい曜日を選び、
「他の曜日にコピー」を選ぶ

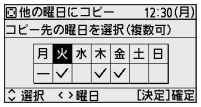
△▽→決定



2 コピー先の曜日を選ぶ

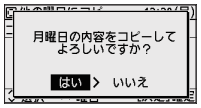
◁▷→△▽→決定

- ◁▷でコピーしたい曜日を選び、△▽で「✓」にする
  「–」:コピー元
  「✓」:コピー先
  空白:未設定



3 「はい」を選ぶ

◁▷→決定



タイマー設定

空調設定

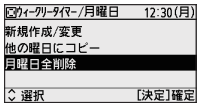
曜日全削除

選んだ曜日のスケジュールをすべて削除します。

1 P.39の手順1～6のあと
「○曜日全削除」を選ぶ

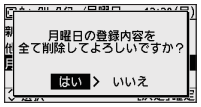
△▽→決定

- 「○」には選んだ曜日が表示されます。



2 「はい」を選ぶ

◁▷→決定



タイマー設定

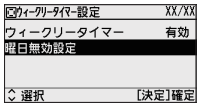
空調設定

曜日無効設定

祝日などの特定の曜日だけのスケジュールを無効にしたいときに使用します。

1 P.39の手順1～4のあと
「曜日無効設定」を選ぶ

△▽→決定



2 無効にしたい曜日を選ぶ

◁▷→△▽→決定

- ◁▷で無効にしたい曜日を選び、△▽で「●」(有効)/「/」(無効)に切り替える
  - 有効:ウイークリータイマーで設定した設定内容で動作します
  - 無効:ウイークリータイマーで設定した設定内容で動作しません

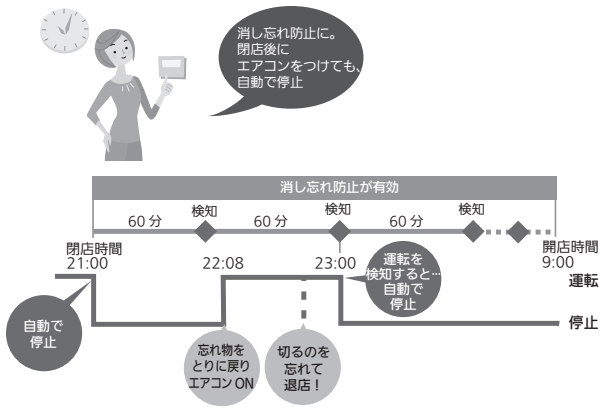


タイマー設定

空調設定

消し忘れ防止タイマー設定

決めた時刻に運転を止め、そのあと運転させても、一定時間ごとに検知して自動で止めます。



消し忘れ防止時間

消し忘れ防止機能が働く時間を設定します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー → ◁▷ → 決定



■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14)を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

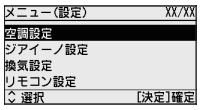
（次ページへ続く）

タイマー設定

空調設定

2 「空調設定」を選ぶ

△▽ → 決定

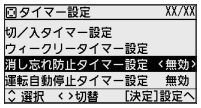


3 「消し忘れ防止タイマー設定」を「有効」にする

△▽ → ◁▷ → 決定

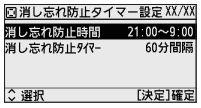
● △▽で項目を選び、◁▷で有効/無効を選ぶ

■ タイマーをオフにするとき
「無効」を選ぶ



4 「消し忘れ防止時間」を選ぶ

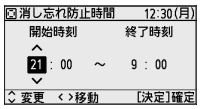
△▽ → 決定



5 消し忘れ防止時間（開始時刻/終了時刻）を設定する

△▽(時) → ▷ → △▽(分) → 決定

- 時(0～23)：1時間単位
- 分(00～59)：1分単位

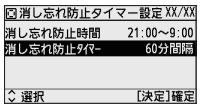


消し忘れ防止タイマー

「消し忘れ防止時間」後、運転していないか一定時間ごとに検知するときの、時間間隔を設定します。

1 P.45の手順1～3のあと、「消し忘れ防止タイマー」を選ぶ

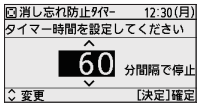
△▽ → 決定



2 タイマー時間を設定する

△▽ → 決定

- 10分～180分(10分単位)

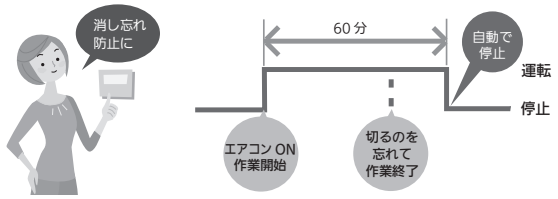


タイマー設定

空調設定

運転自動停止タイマー設定

運転するたび、一定時間後に自動停止させたいときに設定します。



1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー → ◁▷ → 決定



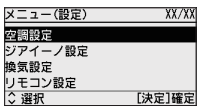
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14)を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「空調設定」を選ぶ

△▽ → 決定

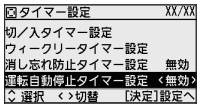


3 「運転自動停止タイマー設定」を「有効」にする

△▽ → ◁▷ → 決定

● △▽で項目を選び、◁▷で有効/無効を選ぶ

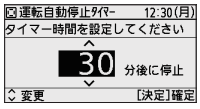
■ タイマーをオフにするとき
「無効」を選ぶ



4 時刻を設定する

△▽ → 決定

● 10分～180分(10分単位)



室内機個別設定

空調設定

室内ユニットの各種設定をします。各種設定をする前に室内ユニットを選んでください。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー → ◁▷ → 決定



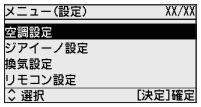
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14)を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「空調設定」を選ぶ

△▽ → 決定



3 「室内機個別設定」を選ぶ

△▽ → 決定

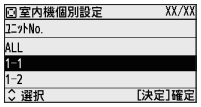
● リモコングループ内のエアコンのユニットNoの一覧を表示します。



4 設定する室内ユニットを選ぶ

△▽ → 決定

● ALL：リモコンに接続されている、すべての室内ユニット



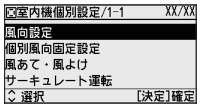
室内機個別設定

空調設定

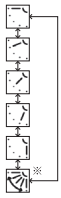
風向設定

室内ユニットごとに風向を設定します。
1つの室内ユニット内の吹出口の風向は、すべて同じになります。

1 P.48の手順1～4のあと、
「風向設定」を選ぶ
△▽→ 決定
● P.48の手順4で「ALL」を選んだときは設定できません。



2 風向を選ぶ
△▽→ 決定



: スイング、 : 停止



● スイング中に△か▽を押すと、お好みの位置でフラップを止められます。
※ スイング停止中に△か▽を押すと、所定の位置にフラップが設定されます。
※ 機種によって、仕様が異なる場合があります。
(冷房・ドライ時、冷暖自動の冷房時の風向設定が3段階)

(次ページへ続く)

室内機個別設定

空調設定

お知らせ

●次のようなときは、表示が出て使用できません。
• 機能が付いていないとき



• 風向切替操作ロック中

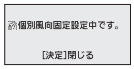


(戻る を4秒押してロックを解除できます。)

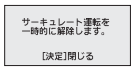
• 風向切替操作集中管理中



• 個別風向固定設定中



●サーキュレート運転動作中のときは、以下の画面が表示された後に設定変更可能です。



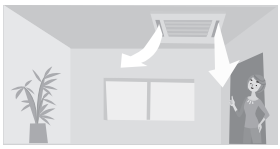
室内機個別設定

空調設定

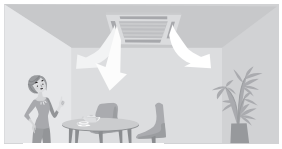
個別風向固定設定

室内の状況に合わせて吹出口ごとの風向を個別に設定します。
全室内ユニットの風向を変えたり(P.18)、室内ユニットごとに風向を変えたりしても(P.49)、ここで設定した風向は変更されません。

■設定例

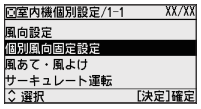


出入口の吹出口だけ下向きに。

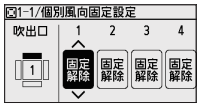


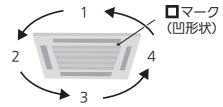
人の集まる側の吹出口をスイングに。

1 P.48の手順1～4のあと、
「個別風向固定設定」を選ぶ
△▽→ 決定
● P.48の手順4で「ALL」を選んだときは設定できません。



2 吹出口を選ぶ
◁▷





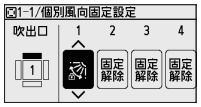
● 室内ユニットのパネルにある□マーク(凹形状)が、吹出口の1番の目印になります。機種によっては、□マーク(凹形状)がないものがあります。
● 吹出口の番号は、取り付け方向によって変わります。実際に動作させて確認してください。

(次ページへ続く)

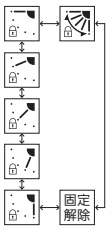
室内機個別設定

空調設定

3 風向を選ぶ
△▽→ 決定



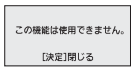
スイング



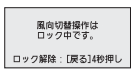
固定解除：風向を固定しません。

お知らせ

●次のようなときは、表示が出て使用できません。
• 機能が付いていないとき



• 風向切替操作ロック中

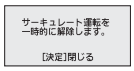


(戻る を4秒押してロックを解除できます。)

• 風向切替操作集中管理中



●サーキュレート運転動作中のときは、以下の画面が表示された後に設定変更可能です。



室内機個別設定

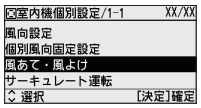
空調設定

風あて・風よけ

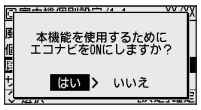
エコナビセンサーが人を検知したときに、人のいる周辺に風を上下にスイングさせたり（風あて）、風を直接当てないようにしたり（風よけ）できます。
別売品のエコナビパネル、または、壁設置形のエコナビセンサーを接続し、風あて・風よけ機能のある室内ユニットのみ可能です。



1 P.48の手順1～4のあと、
「風あて・風よけ」を選ぶ
△▽→ 決定

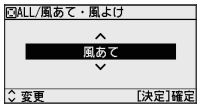


■ エコナビがオフのとき
右の画面が表示されたら、「はい」を選ぶ
◁▷→ 決定
- 「エコナビ」もONになります。(P.67)



2 設定する

■ ALL選択時
△▽→ 決定
- **設定なし**：風あて・風よけは行わず、設定した風向で運転します。
- **風あて**：人のいる周辺に風を上下にスイングさせます。
- **風よけ**：人に風があたらないようにします。

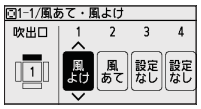


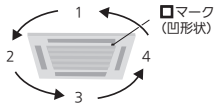
（次ページへ続く）

室内機個別設定

空調設定

■ ユニットNo選択時
△▽→◁▷→ 決定
- △▽で設定を選び、◁▷で吹出口を選ぶ
- 選択した吹出口が風向固定されている場合は、設定、変更ができません。

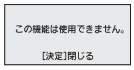




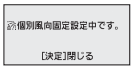
- 室内ユニットのパネルにある□マーク（凹形状）が、吹出口の1番の目印になります。機種によっては、□マーク（凹形状）がないものがあります。
- 吹出口の番号は、取り付け方向によって変わります。実際に動作させて確認してください。

お知らせ

●風あて・風よけ機能は、室内ユニットの吹出口ごとにリモコンで設定可能です。(エコナビ対応の風あて・風よけ機能のある室内ユニットのみ)
●次のようなときは、表示が出て使用できません。
- 室内ユニット非対応・エコナビパネル（人感センサー）またはエコナビセンサー（人感センサー）が接続されてないとき



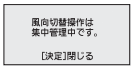
- 吹出口が風向固定されているとき



- 風向切替操作ロック中

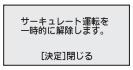


- 風向切替操作集中管理中



（戻る を4秒押してロックを解除できます。）

●サーキュレート運転動作中のときは、以下の画面が表示された後に設定変更可能です。



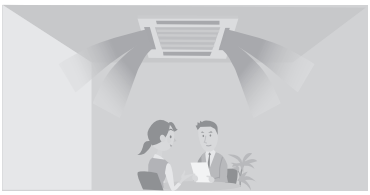
（次ページへ続く）

室内機個別設定

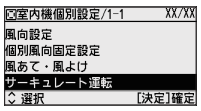
空調設定

サーキュレート運転（エコナビパネル使用時のみ）

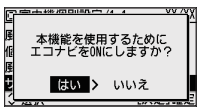
暖房中、エコナビセンサーで床温度が低いことを検知した場合に、天井付近と床付近の温度ムラを低減するサーキュレート運転（空気循環）を行います。
冷房中、グループ制御の場合にエコナビセンサーで床温度が高いことを検知した場合に、天井付近と床付近の温度ムラを低減するサーキュレート運転（空気循環）を行います。



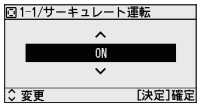
1 P.48の手順1～4のあと、
「サーキュレート運転」を選ぶ
△▽→ 決定



■ エコナビがオフのとき
右の画面が表示されたら、「はい」を選ぶ
◁▷→ 決定
- 「エコナビ」もONになります。(P.67)



2 設定する
△▽→ 決定
● ONを選びます。



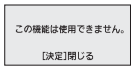
（次ページへ続く）

室内機個別設定

空調設定

お知らせ

●次のようなときは、表示が出て使用できません。
- 室内ユニット非対応・エコナビパネル（人感センサー、床温センサー）が接続されてないとき



- 風向切替操作ロック中



（戻る を4秒押してロックを解除できます。）

- 風向切替操作集中管理中



- 風速切替操作ロック中



（戻る を4秒押してロックを解除できます。）

- 風速切替操作集中管理中



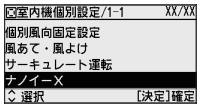
室内機個別設定

空調設定

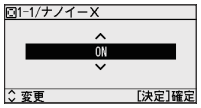
ナノイーX

ナノイーX設定をオンにすることにより、室内ユニット運転中に、「ナノイー」(水に含まれた微粒子イオン)が室内ユニットから放出されます。

1 P.48の手順1～4のあと、
「ナノイーX」を選ぶ
△▽→ 決定

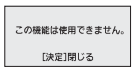


2 設定する
△▽→ 決定
● ONを選びます。



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



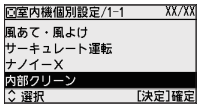
室内機個別設定

空調設定

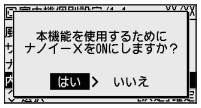
内部クリーン

自動で室内ユニット内部を清潔に保つ運転を行います。
「ナノイーX」をオフにすると、内部クリーン機能は働きません。

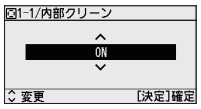
1 P.48の手順1～4のあと、
「内部クリーン」を選ぶ
△▽→ 決定



■ ナノイーXがオフのとき
右の画面が表示されたら、「はい」を選ぶ
◁▷→ 決定
• 「ナノイーX」もONになります。(P.57)

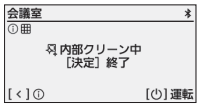


2 設定する
△▽→ 決定
● ONを選びます。



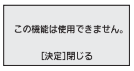
■ 内部クリーンをやめたいとき
決定
• 内部クリーン運転中に、再び室内ユニットを運転させたい場合は、⏻を押してください。

(標準モードの例)



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



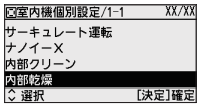
室内機個別設定

空調設定

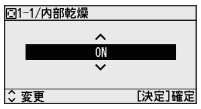
内部乾燥

自動で室内ユニット内部を清潔に保つ運転を行います。

1 P.48の手順1～4のあと、
「内部乾燥」を選ぶ
△▽→ 決定

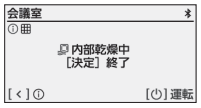


2 設定する
△▽→ 決定



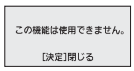
■ 内部乾燥をやめたいとき
決定
• 内部乾燥運転中に、再び室内ユニットを運転させたい場合は、⏻を押してください。

(標準モードの例)



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



省エネ設定

空調設定

省エネ運転のための各種設定を行います。

省エネ運転設定

省エネ運転のオン/オフを設定します。オンに設定すると、定格消費電力比を100 %以下にして省エネ運転をします。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、
「設定」を選ぶ
メニュー→◁▷→ 決定

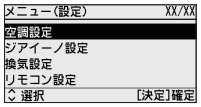


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14)を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

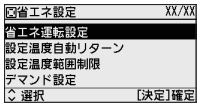
2 「空調設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「省エネ設定」を選ぶ
△▽→ 決定



4 「省エネ運転設定」を選ぶ
△▽→ 決定

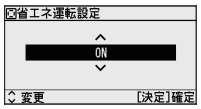


(次ページへ続く)

省エネ設定

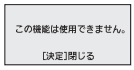
空調設定

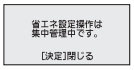
5 「ON」を選ぶ
△▽→ 決定



お知らせ

●次のようなときは、表示が出て使用できません。
- 機能が付いていないとき
- 省エネ設定集中管理中





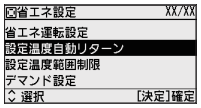
省エネ設定

空調設定

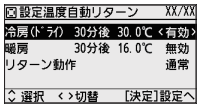
設定温度自動リターン

温度を変更しても、一定時間後に設定した温度に戻します。

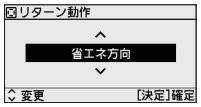
1 P.60の手順1～3のあと、
「設定温度自動リターン」を選ぶ
△▽→ 決定



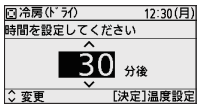
2 設定する項目を選び、「有効」にする
△▽→◁▷→ 決定



■ 省エネになる場合のみ動作させたいとき
△▽で「リターン動作」を選び、決定を押したあと、
△▽で「省エネ方向」を選ぶ



3 決めた温度に戻るまでの時間を設定する
△▽→ 決定
● 10～240分(10分単位)



4 温度を設定する(0.5 ℃単位)
△▽→ 決定
● 冷房(ドライ):18.0 ℃～30.0 ℃
● 暖房:16.0 ℃～30.0 ℃

■ 続けて設定するとき
決定を押して、上記手順2からくり返す



お知らせ

●「リターン動作」を「省エネ方向」にすると、変更された温度より手順4の温度の方が省エネになる場合のみ、動作します。
例)冷房26 ℃設定時、28 ℃に変更された場合
- 「省エネ方向」のとき:28 ℃のまま。
- 「通常」のとき:26 ℃に戻る。

●機種によっては設定できる温度範囲が異なります。

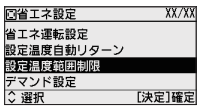
省エネ設定

空調設定

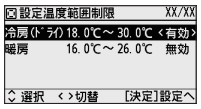
設定温度範囲制限

設定できる温度の範囲を制限します。

1 P.60の手順1～3のあと、
「設定温度範囲制限」を選ぶ
△▽→ 決定



2 設定する項目を選び、「有効」にする
△▽→◁▷→ 決定



3 温度を設定する(0.5 ℃単位)
△▽→◁▷→△▽→ 決定
● 冷房(ドライ):18.0 ℃～30.0 ℃
● 暖房:16.0 ℃～30.0 ℃

■ 続けて設定するとき
決定を押して、手順2からくり返す

(下限値を設定するとき)



(上限値を設定するとき)



お知らせ

●機種によっては設定できる温度範囲が異なります。

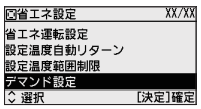
省エネ設定

空調設定

手動デマンド

運転量を手動で制限します。

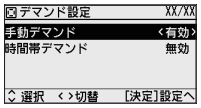
1 P.60の手順1～3のあと、
「デマンド設定」を選ぶ
△▽→ 決定



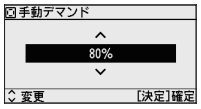
2 パスワード(4桁)を入力する
△▽→▷→ 決定
(くり返す)
● △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する
● パスワードの設定のしかた(P.134)



3 「手動デマンド」を「有効」にする
△▽→◁▷→ 決定
● △▽で項目を選び、◁▷で有効/無効を選ぶ

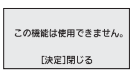


4 運転量を設定する
△▽→ 決定



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。

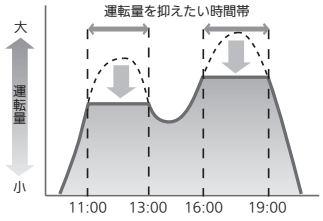


省エネ設定

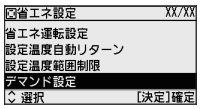
空調設定

時間帯デマンド

指定した時間帯ごとに、指定した運転量に抑えます。
4件まで登録できます。



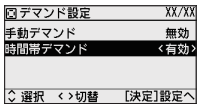
1 P.60の手順1～3のあと、「デマンド設定」を選ぶ
△▽→ 決定



2 パスワード（4桁）を入力する
△▽→▷→ 決定
（くり返す）
- △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する
- パスワードの設定のしかた（P.134）



3 「時間帯デマンド」を「有効」にする
△▽→◁▷→ 決定
- △▽で項目を選び、◁▷で有効/無効を選ぶ

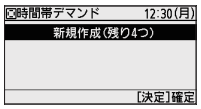


（次ページへ続く）

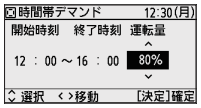
省エネ設定

空調設定

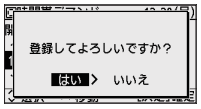
4 新規作成する
△▽→ 決定



5 時間帯デマンドの時刻、運転量を設定する
△▽→▷→△▽（運転量）→ 決定
（くり返す）
- 時（0～23）：1時間単位
- 分（00～59）：1分単位

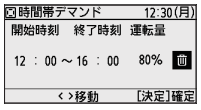


6 「はい」を選び、登録する
◁▷→ 決定

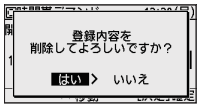


■ 変更するとき
手順5～6を繰り返す

■ 削除するとき
① 削除する欄を選び、決定を押す



② ◁▷でごみ箱アイコンを選んだ後、「はい」を選び、決定を押す



エコナビ設定

空調設定

エコナビセンサーなどでリアルタイムに室内を監視、人を検知して、人の活動量に合わせた運転を行います。

エコナビ

エコナビ機能のオン/オフを設定します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー →◁▷→ 決定

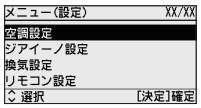


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

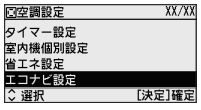
■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」（P.14）を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

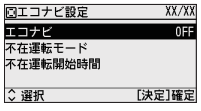
2 「空調設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「エコナビ設定」を選ぶ
△▽→ 決定



4 「エコナビ」を選ぶ
△▽→ 決定

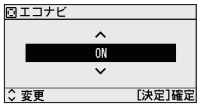


（次ページへ続く）

エコナビ設定

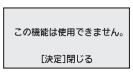
空調設定

5 「ON」を選ぶ
△▽→ 決定
- トップ画面に「ECONAVI」が表示されます。（P.11）



お知らせ

- 機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



- エコナビ設定は、別売品のエコナビパネル、または、壁設置形のエコナビセンサー等を接続することにより可能になります。

エコナビ設定

空調設定

不在運転モード

人の在・不在を検知し、設定温度を抑制した節電運転を継続します。

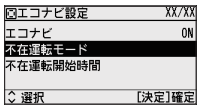
■冷房・ドライでは

- 人の活動量が多い場合、設定温度で運転します。
- 人の活動量が少ない場合、設定温度より温度を高くして運転します。
- 不在が約20分継続したとき、人の在室時より、更に温度を高くして運転します。
- 不在が約1時間継続したとき、指定した不在運転モードで運転します。
  出荷時の設定（「設定なし」）では、設定温度を抑制した省エネ運転を継続します。

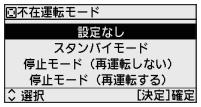
■暖房では

- 人の活動量が多い場合、設定温度より温度を低くして運転します。
- 人の活動量が少ない場合、設定温度で運転します。
- 不在が約20分継続したとき、人の在室時より、更に温度を低くして運転します。
- 不在が約1時間継続したとき、指定した不在運転モードで運転します。
  出荷時の設定（「設定なし」）では、設定温度を抑制した省エネ運転を継続します。

1 P.67の手順1～3のあと、
「不在運転モード」を選ぶ
△▽→決定



2 不在時の運転モードを選ぶ
△▽→決定



- 設定なし：人を検知すると人の活動量に応じた運転に戻ります。（出荷時設定）
- スタンバイモード：冷房・ドライ／暖房運転を休止し、送風（微風）のみの運転を行います。人を検知すると人の活動量に応じた運転に戻ります。
- 停止モード（再運転しない）：運転を停止します。停止後は人を検知しても運転を再開しません。
- 停止モード（再運転する）：運転を停止します。停止後も人を検知すると運転を再開し、人の活動量に応じた運転に戻ります。

（次ページへ続く）

エコナビ設定

空調設定

お知らせ

- エコナビ設定は、別売品のエコナビパネル、または、壁設置形のエコナビセンサー等を接続することにより可能になります。
- エコナビ機能によって目標温度が変更されても、リモコンに表示される設定温度は変化しません。
- スタンバイモードにより送風運転に切り替わっても、リモコンに表示される運転モードは変化しません。
- 室内ユニットを複数台運転する場合は、部屋の状況によって省エネ効果が小さくなることがあります。

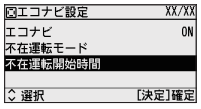
エコナビ設定

空調設定

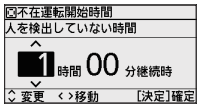
不在運転開始時間

不在運転（P.69）を開始するまでの時間を設定します。

1 P.67の手順1～3のあと、
「不在運転開始時間」を選ぶ
△▽→決定



2 時間を設定する
△▽→決定



- 30分～3時間（180分）
  （30分単位）
  出荷時設定は、1時間です。

モニター表示

空調設定

省エネモニター

1日、1週間、1年単位の消費電力量を確認します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、
「設定」を選ぶ
メニュー→◁▷→決定

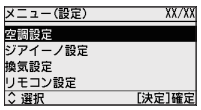


■1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

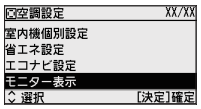
■トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」（P.14）を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

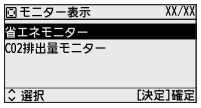
2 「空調設定」を選ぶ
△▽→決定



3 「モニター表示」を選ぶ
△▽→決定



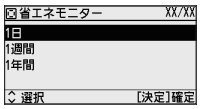
4 「省エネモニター」を選ぶ
△▽→決定



（次ページへ続く）

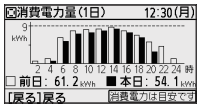
モニター表示　空調設定

5 表示する期間を選ぶ
△▽→ 決定
- **1日**：1日の消費電力量（目安）を表示します。
- **1週間**：1週間の消費電力量（目安）を表示します。
- **1年間**：1年間の消費電力量（目安）を表示します。



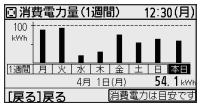
6 確認する

（1日の例）



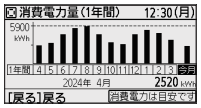
- **1週間**：◁▷で1週間の合計/曜日ごとのデータを切り替えられます。

（1週間の例）



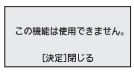
- **1年間**：◁▷で1年間の合計/月ごとのデータを切り替えられます。

（1年間の例）



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



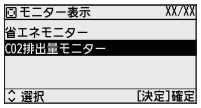
●消費電力は、簡易的な算出のため、電力計などによる計測結果とは異なる場合があります。

モニター表示　空調設定

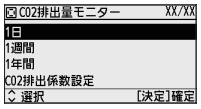
CO2 排出量モニター

1日、1週間、1年単位のCO2の排出量を確認します。

1 P.72の手順1～3のあと、
「CO2排出量モニター」を選ぶ
△▽→ 決定



2 表示する期間を選ぶ
△▽→ 決定
- **1日**：1日のCO2排出量（目安）を表示します。
- **1週間**：1週間のCO2排出量（目安）を表示します。
- **1年間**：1年間のCO2排出量（目安）を表示します。
- **CO2排出係数設定**：
  CO2の排出量を計算するための係数を設定します。
  CO2排出量[kg-co2]＝消費電力量[kWh]×CO2排出係数[kg-co2/kWh]

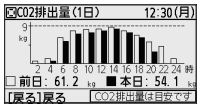


（次ページへ続く）

モニター表示　空調設定

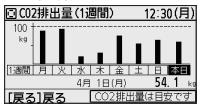
3 確認する

（1日の例）



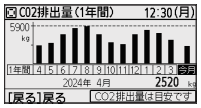
- **1週間**：◁▷で1週間の合計/曜日ごとのデータを切り替えられます。

（1週間の例）



- **1年間**：◁▷で1年間の合計/月ごとのデータを切り替えられます。

（1年間の例）



（CO2排出係数設定）

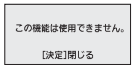


- **CO2排出係数設定**：
  △▽◁▷で変更し、決定を押す

  お知らせ
  - CO2排出係数は契約している電気事業者によって異なりますので、契約している電気事業者にお問い合わせください。

お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。

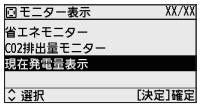


モニター表示　空調設定

現在発電量表示

発電機能付きのガスヒートポンプエアコン（GHP）の現在の発電量を表示します。

1 P.72の手順1～3のあと、
「現在発電量表示」を選ぶ
△▽→ 決定



2 現在の発電量が表示される
決定



お知らせ

●機能が付いていない場合は、モニター表示で「現在発電量表示」が表示されません。

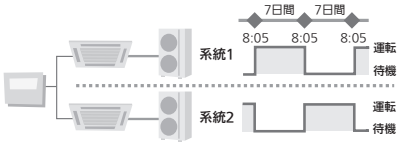


ローテーション設定　空調設定

ローテーション

ローテーション運転する周期と切替時刻を設定し、系統ごとの運転時間の均一化を図ります。

例：設定周期7日、切替時刻8:05のとき



お知らせ

●オフィス・店舗用エアコンのシングル（室外ユニット1台に対して室内ユニット1台の組み合わせ）2系統をグループ制御したときのみ設定可能です。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー → ◇▷ → 決定



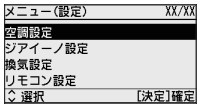
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14)を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

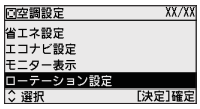
2 「空調設定」を選ぶ

△▽ → 決定



3 「ローテーション設定」を選ぶ

△▽ → 決定



（次ページへ続く）

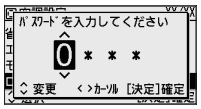
ローテーション設定　空調設定

4 パスワード（4桁）を入力する

△▽ → ▷ → 決定

（くり返す）

● △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する
● パスワードの設定のしかた(P.134)



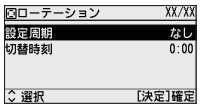
5 「ローテーション」を選ぶ

△▽ → 決定



6 「設定周期」を選ぶ

△▽ → 決定



7 設定周期を設定する

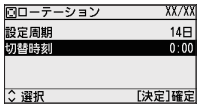
△▽ → 決定

● 1～7日（1日単位）/14日/21日/28日/なし（ローテーション運転しない）
● 設定した当日も1日にカウントします。



8 「切替時刻」を選ぶ

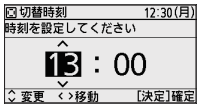
△▽ → 決定



9 切替時刻を設定する

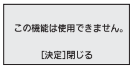
△▽（時） → ▷ → △▽（分） → 決定

● 0:00～23:59



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。

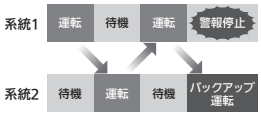


ローテーション設定　空調設定

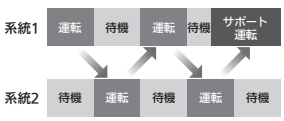
バックアップ

警報発生時や、能力不足などで室温が設定温度にならないときに、待機中の系統がサポート運転を行います。

下記の設定を行います。
●エラーサポート：ONにすると警報発生時に待機中の系統がサポート運転を行います。



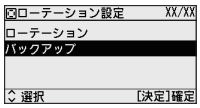
●温度サポート：冷房時は、室温が「設定温度＋設定値」以上になると、サポート運転し、暖房時は、室温が「設定温度－設定値」以下になると、サポート運転します。
運転直後は、最大1時間はサポート運転しません。



●メイン系統設定：設定周期(P.78)設定時は、先に運転する系統、設定周期なしのときは、常時運転する系統を設定します。（もう一方はバックアップ系統となります）

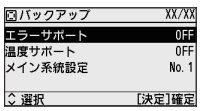
1 P.77の手順1～4のあと、「バックアップ」を選ぶ

△▽ → 決定



2 「エラーサポート」を選ぶ

△▽ → 決定



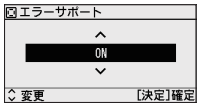
（次ページへ続く）

ローテーション設定　空調設定

3 「ON」/「OFF」を選ぶ

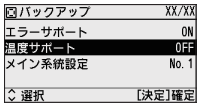
△▽ → 決定

● ON：警報発生時に待機中の系統がサポート運転を行います。
● OFF：サポート運転しません。



4 「温度サポート」を選ぶ

△▽ → 決定



5 温度を設定する

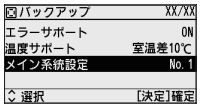
△▽ → 決定

● 室温差4℃～室温差10℃ /OFF



6 「メイン系統設定」を選ぶ

△▽ → 決定



7 メイン系統とする室外機No.を選ぶ

△▽ → 決定



室外静音設定

空調設定

室外ユニットを静音運転します。

静音運転切替 / 静音運転時間

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー →◇→ 決定

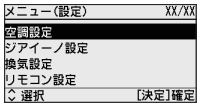


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

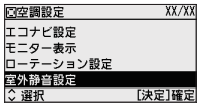
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14) を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

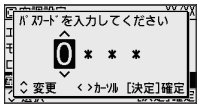
2 「空調設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「室外静音設定」を選ぶ
△▽ → 決定

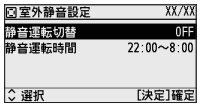


4 パスワード (4桁) を入力する
△▽ → ▷ → 決定
（くり返す）



- △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する
- パスワードの設定のしかた (P.134)

5 「静音運転切替」を選ぶ
△▽ → 決定

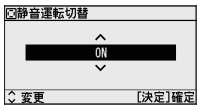


（次ページへ続く）

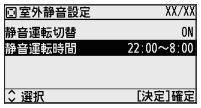
室外静音設定

空調設定

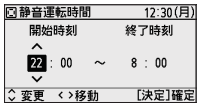
6 「ON」を選ぶ
△▽ → 決定



7 「静音運転時間」を選ぶ
△▽ → 決定



8 静音運転の開始時刻と終了時刻を設定する
△▽ → ▷ → 決定
（くり返す）



- 時 (0～23) : 1時間単位
- 分 (00～59) : 1分単位

お知らせ

- 機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



- 静音運転は、運転音軽減のため、能力が低下することがあります。

外部機器連動設定

空調設定

エコナビセンサーの在/不在などの外部機器連動を設定します。

下記の設定を行います。
- 外部機器連動 : ONにすると外部機器連動を行います。
- 外部機器連動モード : 外部機器が連動する室内機の動作モードを設定します。
- 不在検知時間設定 : 不在検知後、運転をオフにする時間を設定します。
- 換気出力 : エアコンの運転/停止と換気扇の運転/停止を連動させます。(P.86)

外部機器連動 / 外部機器連動モード / 不在検知時間設定

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー →◇→ 決定

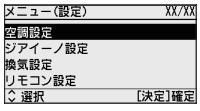


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

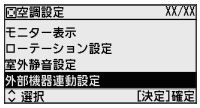
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14) を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

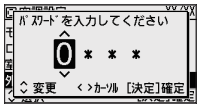
2 「空調設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「外部機器連動設定」を選ぶ
△▽ → 決定



4 パスワード (4桁) を入力する
△▽ → ▷ → 決定
（くり返す）



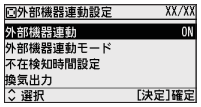
- △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する
- パスワードの設定のしかた (P.134)

（次ページへ続く）

外部機器連動設定

空調設定

5 「外部機器連動」を選ぶ
△▽ → 決定



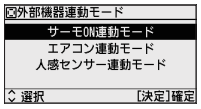
6 「ON」を選ぶ
△▽ → 決定



7 「外部機器連動モード」を選ぶ
△▽ → 決定



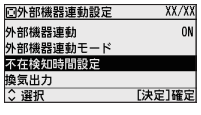
8 モードを選ぶ
△▽ → 決定



- サーモON連動モード :
  エアコンのサーモON/OFF出力に連動します。
- エアコン連動モード :
  エアコンの運転/停止出力に連動します。
- 人感センサー連動モード :
  人感センサーの在・不在出力に連動します。
  続いて「不在検知時間設定」の手順9～10を行ってください。

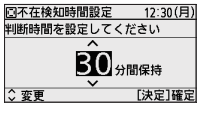
■「人感センサー連動モード」を選んだとき

9 「不在検知時間設定」を選ぶ
△▽ → 決定



10 運転をオフにする時間を設定する
△▽ → 決定

- 0分～60分 (1分単位)

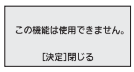


（次ページへ続く）

外部機器連動設定　空調設定

お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。

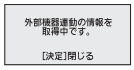


●外部機器連動の設定は、別売品のエコナビパネル、または、壁設置形のエコナビセンサー等を接続することにより可能になります。

●外部機器連動がOFFに設定されているときは次のような表示が出ます。



●外部機器連動の情報を取得しているときは次のような表示が出ます。

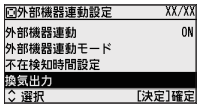


外部機器連動設定　空調設定

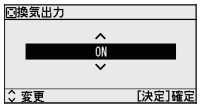
換気出力

エアコンの運転/停止と換気扇の運転/停止を連動させます。
「ON」に設定すると、エアコンを運転/停止すると、接続している換気扇も運転/停止されます。

1 P.83の手順1～4のあと、
「換気出力」を選ぶ
△▽→ 決定

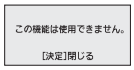


2 「ON」を選ぶ
△▽→ 決定



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



●エアコンと換気扇を連動させるには、別途工事が必要です。

室温測定温度センサー　空調設定

室内温度を検知する温度センサーを設定します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、
「設定」を選ぶ
メニュー →◁▷→ 決定

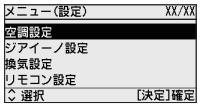


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

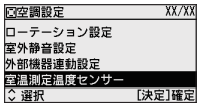
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14) を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「空調設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「室温測定温度センサー」を選ぶ
△▽→ 決定

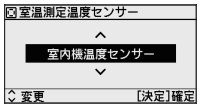


4 パスワード (4桁) を入力する
△▽→▷→ 決定
(くり返す)



● △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する
● パスワードの設定のしかた (P.134)

5 センサーを選ぶ
△▽→ 決定



● 室内機温度センサー (出荷時設定) :
室内ユニットの温度センサーで検知
● リモコン温度センサー : リモコンの温度センサーで検知
● IAQ温度センサー : IAQセンサーの温度センサーで検知

お知らせ

●IAQ温度センサーは、IAQセンサー対応機種とIAQセンサー (別売) が接続される環境でのみ設定できます。

空調機器情報　空調設定

リモコングループに接続される空調(室外機/室内機)の種別、ユニットNo、品番を表示します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、
「設定」を選ぶ
メニュー →◁▷→ 決定

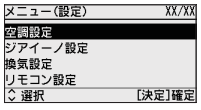


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

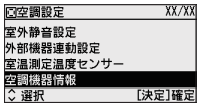
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14) を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

2 「空調設定」を選ぶ
△▽→ 決定

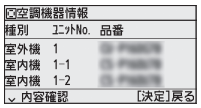


3 「空調機器情報」を選ぶ
△▽→ 決定



4 表示内容を確認する
△▽

● 室外機と室内機のユニットNoと品番を表示します。



ユーザーメンテナンス　空調設定

フィルター情報

フィルター清掃までの時間を確認およびリセットします。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー → ◁▷ → 決定



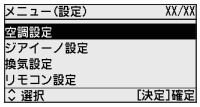
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14) を参照し、「空調設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

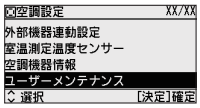
2 「空調設定」を選ぶ

△▽ → 決定



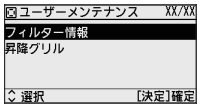
3 「ユーザーメンテナンス」を選ぶ

△▽ → 決定



4 「フィルター情報」を選ぶ

△▽ → 決定

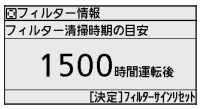


（次ページへ続く）

ユーザーメンテナンス　空調設定

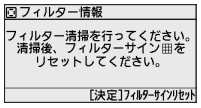
5 清掃までの運転時間を確認する

■ 掃除時期まで時間があるとき
右記の画面が表示され、フィルター掃除時期まで目安時間を確認します。



■ フィルターサインをリセットしないとき
戻る を押す

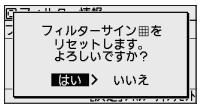
■ すぐに清掃が必要なとき
右記の画面が表示されます。
- 室内ユニットの取扱説明書を参照して、フィルターを清掃してから手順6に進んでください。



6 フィルターサインをリセットする

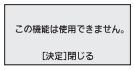
決定 → ◁▷ で「はい」を選ぶ → 決定

● フィルター清掃からの時間のカウントが、リセットされます。



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



●フィルターの清掃時期になると、トップ画面にアイコンが表示されます。



：フィルターサイン

●機種によってはフィルターサイン情報を取得できない機種があります。

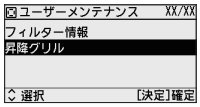
ユーザーメンテナンス　空調設定

昇降グリル

昇降グリルを操作します。

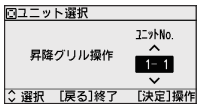
1 P.89の手順1～3のあと、「昇降グリル」を選ぶ

△▽ → 決定



2 操作する室内ユニットを選ぶ

△▽ → 決定



3 昇降グリルを上下させる

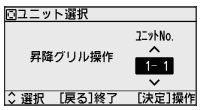
△▽ → 決定

● 上げるとき：△
● 下げるとき：▽
● 止めるとき：決定
● 室内ユニットの取扱説明書を参照して、フィルターを清掃してください。清掃終了後は、フィルターサインをリセットしてください。(P.90)



4 ユニット選択画面に戻る

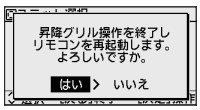
戻る



5 リモコンを再起動する

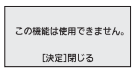
戻る → ◁ → 決定

● 右記の画面が表示されるので、「はい」を選び、再起動します。
● 再起動後、操作ができるまで1分程度かかります。



お知らせ

●機能が付いていない場合は、次のような表示が出て使用できません。



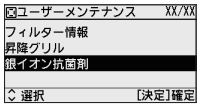
ユーザーメンテナンス　空調設定

銀イオン抗菌剤

銀イオン抗菌剤の交換時期を確認します。

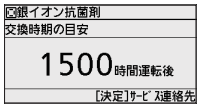
1 P.89の手順1～3のあと、「銀イオン抗菌剤」を選ぶ

△▽ → 決定

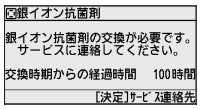


2 交換までの運転時間を確認する

■ 交換時期まで時間があるとき
右記の画面が表示され、交換時期まで目安時間を確認します。



■ すぐに交換が必要なとき
右記の画面が表示されます。
- 決定 を押す
（サービス連絡先が表示されます）



お知らせ

●機能が付いていない場合は、ユーザーメンテナンスで「銀イオン抗菌剤」が表示されません。



●銀イオン抗菌剤の交換時期になると、トップ画面にアイコンが表示されます。



：銀イオン抗菌剤の交換が必要です

●サービス連絡先が表示されない場合は、室内ユニットの取扱説明書をご確認ください。

タイマー設定

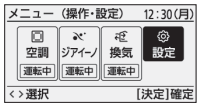
ジアイーノ設定

切 / 入タイマー設定

設定した時刻になったら、運転を切/入します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー → ◁▷ → 決定



■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

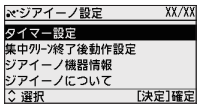
2 「ジアイーノ設定」を選ぶ

△▽ → 決定



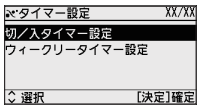
3 「タイマー設定」を選ぶ

△▽ → 決定



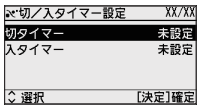
4 「切/入タイマー設定」を選ぶ

△▽ → 決定



5 タイマーの種類を選ぶ

△▽ → 決定



● 切タイマー：設定した時刻になったら、運転を停止します。
（手順 7（P.94）で時刻を設定）

● 入タイマー：設定した時刻になったら、運転を開始します。
（手順 7（P.94）で時刻を設定）

（次ページへ続く）

タイマー設定

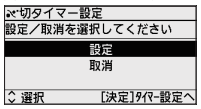
ジアイーノ設定

6 「設定」を選ぶ

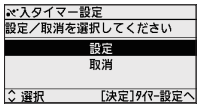
△▽ → 決定

■ タイマーをオフにするとき
「取消」を選び、未設定にする

(切タイマーを選んだとき)



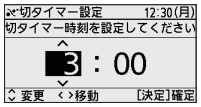
(入タイマーを選んだとき)



7 時刻を設定する

△▽(時) → ▷ → △▽(分) → 決定

● 時（0～23）：1時間単位
● 分（00～55）：5分単位



お知らせ

●切／入タイマーを同じ時間に設定すると、切タイマーが優先され、入タイマーは使用できません。
●運転中に入タイマーを設定すると、運転は停止します。

タイマー設定

ジアイーノ設定

ウィークリータイマー設定

曜日単位で運転スケジュールを設定します。

新規登録する

1日4件まで設定できます。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー → ◁▷ → 決定

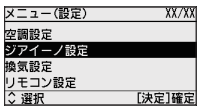


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

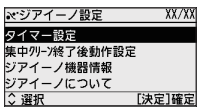
2 「ジアイーノ設定」を選ぶ

△▽ → 決定



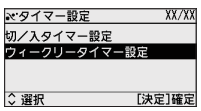
3 「タイマー設定」を選ぶ

△▽ → 決定



4 「ウィークリータイマー設定」を選ぶ

△▽ → 決定

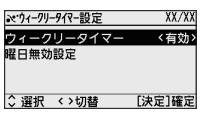


5 「ウィークリータイマー設定」を「有効」にする

△▽ → ◁▷ → 決定

● △▽で項目を選び、◁▷で有効/無効を選ぶ

■ タイマーをオフにするとき
「無効」を選ぶ



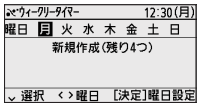
（次ページへ続く）

タイマー設定

ジアイーノ設定

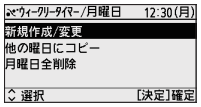
6 タイマーを使う曜日を選ぶ

◁▷ → 決定



7 「新規作成/変更」を選ぶ

△▽ → 決定

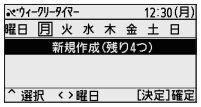


8 新規作成する

△▽ → 決定

● 新規作成の行に選択が移ります。

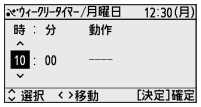
■ 変更するとき
登録されているスケジュールを選び、決定を押す



9 時間を設定する

△▽(時) → ▷ → △▽(分) → ▷

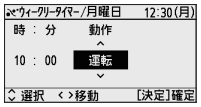
● 時（0～23）：1時間単位
● 分（00～59）：1分単位



10 動作を設定する

△▽ → 決定

● 運転モードを運転/停止/集中クリーンから選びます。

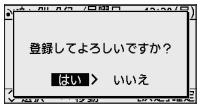


11 設定内容を登録する

◁▷ → 決定

■ 続けて追加登録するとき
手順6～11を繰り返し、他の曜日を設定する

■ 設定内容を他の曜日にコピーするとき
（P.97）



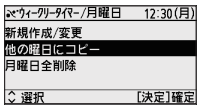
タイマー設定

ジアイーノ設定

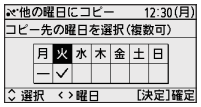
設定内容を他の曜日にコピーする

登録したスケジュールを他の曜日にコピーします。
複数の曜日を同じスケジュールにするときに便利です。

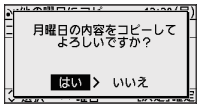
1 P.95の手順1～5のあと
手順6で設定済みのコピーしたい曜日を選び、
「他の曜日にコピー」を選ぶ
△▽→決定



2 コピー先の曜日を選ぶ
◁▷→△▽→決定
● [◁][▷]でコピーしたい曜日を選び、
△▽で「✓」にする
「-」:コピー元
「✓」:コピー先
空白:未設定



3 「はい」を選ぶ
◁▷→決定



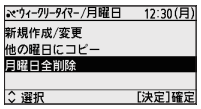
タイマー設定

ジアイーノ設定

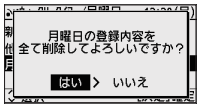
曜日全削除

選んだ曜日のスケジュールをすべて削除します。

1 P.95の手順1～6のあと
「○曜日全削除」を選ぶ
△▽→決定
● 「○」には選んだ曜日が表示されます。



2 「はい」を選ぶ
◁▷→決定



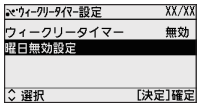
タイマー設定

ジアイーノ設定

曜日無効設定

特定の曜日だけのスケジュールを無効にしたいときに使用します。

1 P.95の手順1～4のあと
「曜日無効設定」を選ぶ
△▽→決定



2 無効にしたい曜日を選ぶ
◁▷→△▽→決定
● [◁][▷]で無効にしたい曜日を選び、
△▽で「●」(有効)/「/」(無効)に切り替える
- 有効:ウイークリータイマーで設定した設定内容で動作します
- 無効:ウイークリータイマーで設定した設定内容で動作しません



集中クリーン終了後動作設定

ジアイーノ設定

集中クリーン終了後の動作(運転/停止)を設定します。

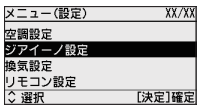
1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、
「設定」を選ぶ
メニュー→◁▷→決定

■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

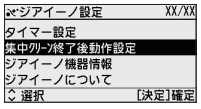
■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す



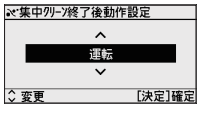
2 「ジアイーノ設定」を選ぶ
△▽→決定



3 「集中クリーン終了後動作設定」を選ぶ
△▽→決定



4 「運転」/「停止」を選ぶ
△▽→決定
● 運転:集中クリーン終了後、通常運転で運転継続します。
● 停止:集中クリーン終了後、運転を停止します。



ジアイーノ機器情報

ジアイーノ設定

ジアイーノ機器情報を表示します。
最大8台まで表示されます。

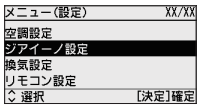
1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー →◁▷→ 決定



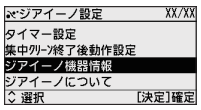
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

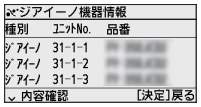
2 「ジアイーノ設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「ジアイーノ機器情報」を選ぶ
△▽→ 決定



4 確認する
△▽



ジアイーノについて

ジアイーノ設定

ジアイーノに関する注意喚起を表示します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー →◁▷→ 決定



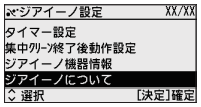
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

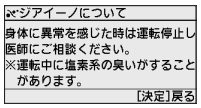
2 「ジアイーノ設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「ジアイーノについて」を選ぶ
△▽→ 決定



4 確認する



ユーザーメンテナンス

ジアイーノ設定

塩水パック

ジアイーノユニットの次亜塩素酸の生成に必要な塩水の補充（塩水パックの交換）時期を表示します。

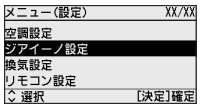
1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー →◁▷→ 決定



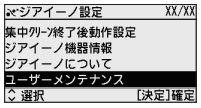
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

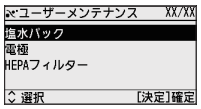
2 「ジアイーノ設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「ユーザーメンテナンス」を選ぶ
△▽→ 決定



4 「塩水パック」を選ぶ
△▽→ 決定



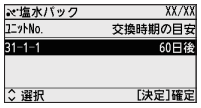
（次ページへ続く）

ユーザーメンテナンス

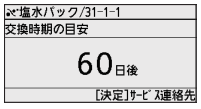
ジアイーノ設定

5 交換時期を確認する
△▽→ 決定

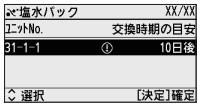
● 残日数が0以外は日数を表示します（最大9999日）



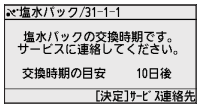
- 決定 を押す
（サービス連絡先が表示されます）



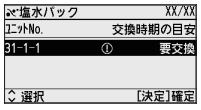
● 交換時期になったときは「ⓘ」が表示されます



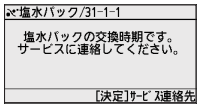
- 決定 を押す
（サービス連絡先が表示されます）



● 残日数が0のときは「要交換」が表示されます



- 決定 を押す
（サービス連絡先が表示されます）



お知らせ

●残日数情報取得中のときは「--」が表示されます。

ユーザーメンテナンス　ジアイーノ設定

電極

ジアイーノユニットの電極の交換時期を表示します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー →◁▷→ 決定

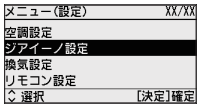


■1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

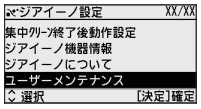
2 「ジアイーノ設定」を選ぶ

△▽→ 決定



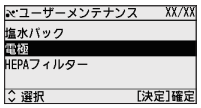
3 「ユーザーメンテナンス」を選ぶ

△▽→ 決定



4 「電極」を選ぶ

△▽→ 決定



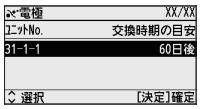
（次ページへ続く）

ユーザーメンテナンス　ジアイーノ設定

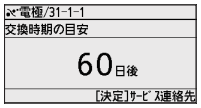
5 交換時期を確認する

△▽→ 決定

● 残日数が0以外は日数を表示します（最大9999日）



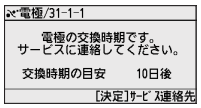
• 決定 を押す
（サービス連絡先が表示されます）



● 交換時期になったときは「ⓘ」が表示されます



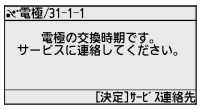
• 決定 を押す
（サービス連絡先が表示されます）



● 残日数が0のときは「要交換」が表示されます



• 決定 を押す
（サービス連絡先が表示されます）



お知らせ

●残日数情報取得中のときは「--」が表示されます。

ユーザーメンテナンス　ジアイーノ設定

HEPA フィルター

ジアイーノユニットのHEPAフィルターの交換時期を表示します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー →◁▷→ 決定

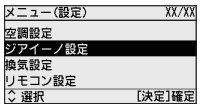


■1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

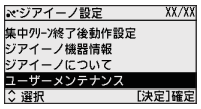
2 「ジアイーノ設定」を選ぶ

△▽→ 決定



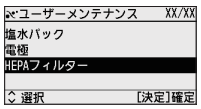
3 「ユーザーメンテナンス」を選ぶ

△▽→ 決定



4 「HEPAフィルター」を選ぶ

△▽→ 決定



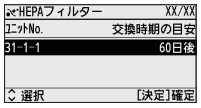
（次ページへ続く）

ユーザーメンテナンス　ジアイーノ設定

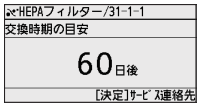
5 交換時期を確認する

△▽→ 決定

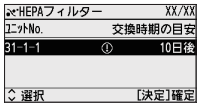
● 残日数が0以外は日数を表示します（最大9999日）



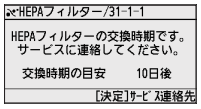
• 決定 を押す
（サービス連絡先が表示されます）



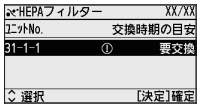
● 交換時期になったときは「ⓘ」が表示されます



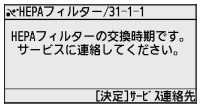
• 決定 を押す
（サービス連絡先が表示されます）



● 残日数が0のときは「要交換」が表示されます



• 決定 を押す
（サービス連絡先が表示されます）



お知らせ

●残日数情報取得中のときは「--」が表示されます。

タイマー設定

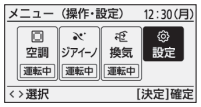
換気設定

切 / 入タイマー設定

設定した時刻になったら、運転を切/入します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー →◁▷→ 決定

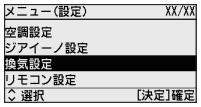


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

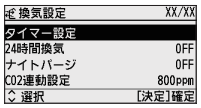
2 「換気設定」を選ぶ

△▽→ 決定



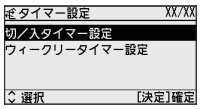
3 「タイマー設定」を選ぶ

△▽→ 決定



4 「切/入タイマー設定」を選ぶ

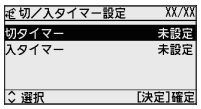
△▽→ 決定



5 タイマーの種類を選ぶ

△▽→ 決定

● 切タイマー：設定した時刻になったら、運転を停止します。
（手順7（P.110）で時刻を設定）
● 入タイマー：設定した時刻になったら、運転を開始します。
（手順7（P.110）で時刻を設定）



（次ページへ続く）

タイマー設定

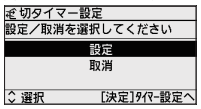
換気設定

6 「設定」を選ぶ

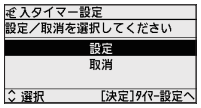
△▽→ 決定

■ タイマーをオフにするとき
「取消」を選び、未設定にする

（切タイマーを選んだとき）



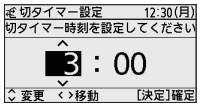
（入タイマーを選んだとき）



7 時刻を設定する

△▽(時)→▷→△▽(分)→ 決定

● 時（0～23）：1時間単位
● 分（00～55）：5分単位



お知らせ

●換気設定は、当社製　熱交換気ユニット天井埋込形・マイコンタイプ、天吊カセ ット形・マイコンタイプのうち対応した機器のみ表示されます。
●切／入タイマーを同じ時間に設定すると、切タイマーが優先され、入タイマーは使用できません。
●運転中に入タイマーを設定すると、運転は停止します。

タイマー設定

換気設定

ウィークリータイマー設定

曜日単位で運転スケジュールを設定します。

新規登録する

1日4件まで設定できます。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー →◁▷→ 決定

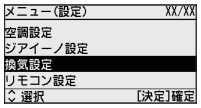


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

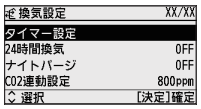
2 「換気設定」を選ぶ

△▽→ 決定



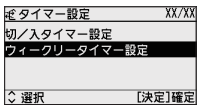
3 「タイマー設定」を選ぶ

△▽→ 決定



4 「ウィークリータイマー設定」を選ぶ

△▽→ 決定

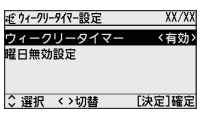


5 「ウィークリータイマー」を「有効」にする

△▽→◁▷→ 決定

● △▽で項目を選び、◁▷で有効/無効を選ぶ

■ タイマーをオフにするとき
「無効」を選ぶ



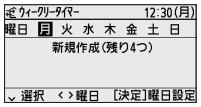
（次ページへ続く）

タイマー設定

換気設定

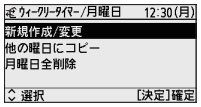
6 タイマーを使う曜日を選ぶ

◁▷→ 決定



7 「新規作成/変更」を選ぶ

△▽→ 決定

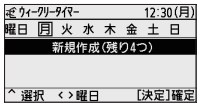


8 新規作成する

△▽→ 決定

● 新規作成の行に選択が移ります。

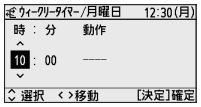
■ 変更するとき
登録されているスケジュールを選び、決定 を押す



9 時間を設定する

△▽(時)→▷→△▽(分)→▷

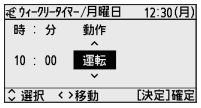
● 時（0～23）：1時間単位
● 分（00～59）：1分単位



10 動作を設定する

△▽→ 決定

● 動作を運転/停止から選びます。

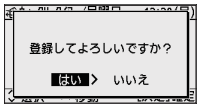


11 設定内容を登録する

◁▷→ 決定

■ 続けて追加登録するとき
手順6～11を繰り返し、他の曜日を設定する

■ 設定内容を他の曜日にコピーするとき
(P.113)



お知らせ

●換気設定は、当社製　熱交換気ユニット天井埋込形・マイコンタイプ、天吊カセ ット形・マイコンタイプのうち対応した機器のみ表示されます。

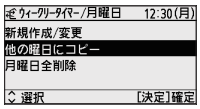
タイマー設定

換気設定

設定内容を他の曜日にコピーする

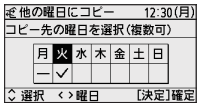
登録したスケジュールを他の曜日にコピーします。
複数の曜日を同じスケジュールにするときに便利です。

1 P.111の手順1～5のあと
手順6で設定済みのコピーしたい曜日を選び、
「他の曜日にコピー」を選ぶ
△▽→決定

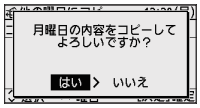


2 コピー先の曜日を選ぶ
◁▷→△▽→決定

● ◁▷でコピーしたい曜日を選び、
△▽で「✓」にする
「－」:コピー元
「✓」:コピー先
空白:未設定



3 「はい」を選ぶ
◁▷→決定



タイマー設定

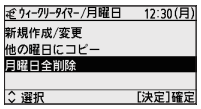
換気設定

曜日全削除

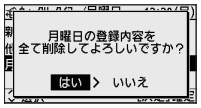
選んだ曜日のスケジュールをすべて削除します。

1 P.111の手順1～6のあと
「○曜日全削除」を選ぶ
△▽→決定

● 「○」には選んだ曜日が表示されます。



2 「はい」を選ぶ
◁▷→決定



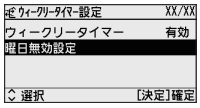
タイマー設定

換気設定

曜日無効設定

特定の曜日だけのスケジュールを無効にしたいときに使用します。

1 P.111の手順1～4のあと
「曜日無効設定」を選ぶ
△▽→決定



2 無効にしたい曜日を選ぶ
◁▷→△▽→決定

● ◁▷で無効にしたい曜日を選び、
△▽で「●」(有効)/「／」(無効)に切り替える
- 有効:ウイークリータイマーで設定した設定内容で動作します
- 無効:ウイークリータイマーで設定した設定内容で動作しません



24時間換気

換気設定

24時間換気をオン/オフします。

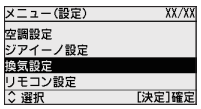
1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、
「設定」を選ぶ
メニュー→◁▷→決定

■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す



2 「換気設定」を選ぶ
△▽→決定

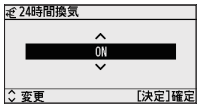


3 「24時間換気」を選ぶ
△▽→決定

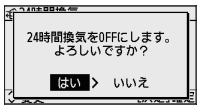


4 「ON」/「OFF」を選ぶ
△▽→決定

● ON:24時間換気します。換気が弱運転になります。



■ 「OFF」を選んだとき
◁▷で「はい」を選び、決定を押す



お知らせ

- 換気設定は、当社製　熱交換換気ユニット天井埋込形・マイコンタイプ、天吊カセ ット形・マイコンタイプのうち対応した機器のみ表示されます。
- 24時間換気中は、停止操作ができません。切/入タイマー設定やウィークリータイマーでタイマーが設定されても停止できません。

ナイトパージ

換気設定

ナイトパージを設定します。

■ ナイトパージとは

夏の夜、エアコン停止後室内にこもる熱を感知して、換気します。
（翌朝の冷房開始時の負荷を低減します）

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー →◁▷→ 決定

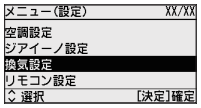


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

2 「換気設定」を選ぶ

△▽→ 決定



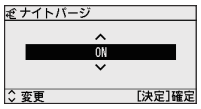
3 「ナイトパージ」を選ぶ

△▽→ 決定



4 「ON」/「OFF」を選ぶ

△▽→ 決定



お知らせ

●換気設定は、当社製　熱交換気ユニット天井埋込形・マイコンタイプ、天吊カセ ット形・マイコンタイプのうち対応した機器のみ表示されます。

CO2連動設定

換気設定

換気風量設定（P.30）がCO2連動の時に、換気風量を切り替えるCO2濃度を設定します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー →◁▷→ 決定

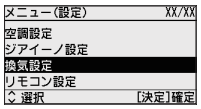


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

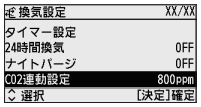
2 「換気設定」を選ぶ

△▽→ 決定



3 「CO2連動設定」を選ぶ

△▽→ 決定



4 「800ppm」/「1000ppm」を選ぶ

△▽→ 決定

● 設定したppmを超えた場合は風量強に、設定したppm以下の場合は風量弱になります。



お知らせ

●CO2連動設定の表示は、当社製　熱交換気ユニット天井埋込形・マイコンタイプ、天吊カセット形・マイコンタイプのうち対応した機器と、IAQセンサーが接続される環境でのみ表示されます。

ユーザーメンテナンス

換気設定

フィルターサインリセット

熱交換気ユニットのフィルターの掃除時期を知らせるサインをリセットします。
フィルターを掃除したあとでリセットしてください。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー →◁▷→ 決定

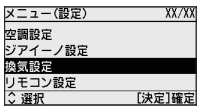


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

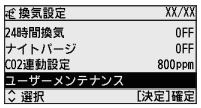
2 「換気設定」を選ぶ

△▽→ 決定



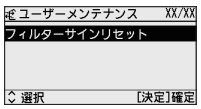
3 「ユーザーメンテナンス」を選ぶ

△▽→ 決定



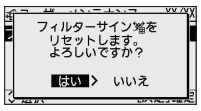
4 「フィルターサインリセット」を選ぶ

△▽→ 決定



5 「はい」を選ぶ

◁▷→ 決定



お知らせ

●当社製　熱交換気ユニット天井埋込形・マイコンタイプ、天吊カセ ット形・マイコンタイプのうち対応した機器のみ表示されます。

取扱説明書

リモコン設定

取扱説明書（本書）をダウンロードするためのQRコードを表示します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー →◁▷→ 決定



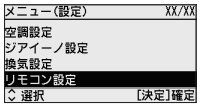
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」（P.14）を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

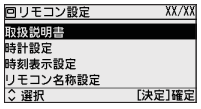
2 「リモコン設定」を選ぶ

△▽→ 決定



3 「取扱説明書」を選ぶ

△▽→ 決定



4 QRコードを読み取る

● QRコードを読み取れる端末で画面に表示されているQRコードを読み取ってください。取扱説明書（本書）がダウンロードできます。



時計設定

リモコン設定

現在日時を設定します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー →◁▷→ 決定

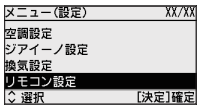


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

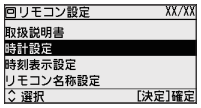
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14) を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

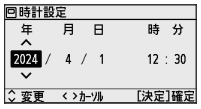
2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「時計設定」を選ぶ
△▽→ 決定



4 日時を設定する
△▽→▷→ 決定
（くり返す）



- △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する
- 設定可能範囲は下記のとおりです。
  - 年：2000～2099
  - 月：1～12
  - 日：1～31
  - 時：00～23
  - 分：00～59
- 時計設定が無効のときは、「--」を表示します。

時刻表示設定

リモコン設定

時刻表示の種類を設定します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー →◁▷→ 決定

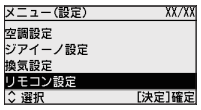


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

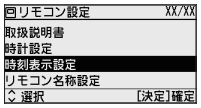
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14) を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

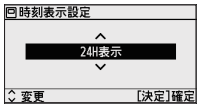
2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「時刻表示設定」を選ぶ
△▽→ 決定



4 表示の種類を選ぶ
△▽→ 決定



- 「24H表示」または「AM・PM表示」を選びます。

お知らせ

- 「時刻表示設定」で「AM・PM表示」を選んでも、タイマー設定や省エネ設定などの設定時刻は、24時間表示のままです。

リモコン名称設定

リモコン設定

リモコンに名前を付けます。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー →◁▷→ 決定

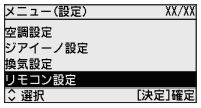


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

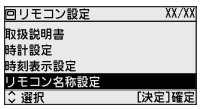
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14) を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

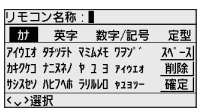
2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽→ 決定



3 「リモコン名称設定」を選ぶ
△▽→ 決定

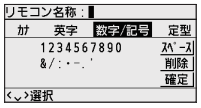


4 名称を入力する
△▽◁▷→ 決定
（全文字分くり返す）



- 全角8字/半角16字まで（スペースも文字数に含む）

■ 文字種を変更するとき
△▽◁▷ で文字種を選び、決定 を押す

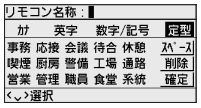


（次ページへ続く）

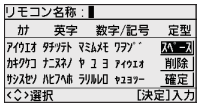
リモコン名称設定

リモコン設定

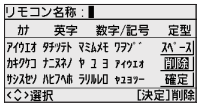
■ 既定の名称から選ぶとき
△▽◁▷ で「定型」を選び、決定 を押す



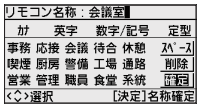
■ スペースを入力するとき
△▽◁▷ で「スペース」を選び、決定 を押す



■ 1字消すとき
△▽◁▷ で「削除」を選び、決定 を押す



5 入力が終わったら、「確定」を選ぶ
△▽◁▷→ 決定



操作ロック設定

リモコン設定

ボタン操作をロックします。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー →◁▷→ 決定



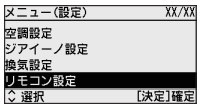
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14) を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

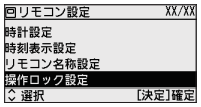
2 「リモコン設定」を選ぶ

△▽→ 決定



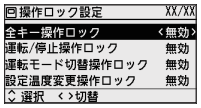
3 「操作ロック設定」を選ぶ

△▽→ 決定



4 ロックの種類を選び、「有効」にする

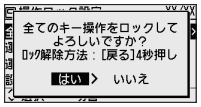
△▽→◁▷



- △▽で項目を選び、◁▷で有効/無効を選ぶ
  - 全キー操作ロック
  - 運転/停止操作ロック
  - 運転モード切替操作ロック
  - 設定温度変更操作ロック
  - 風速変更操作ロック
  - 風向変更操作ロック
  - メニュー操作ロック

■ ロックを解除するとき
「無効」を選ぶ

■ 「全キー操作ロック」および「メニュー操作ロック」のときのみ
◁▷ で「はい」を選び、決定 を押す



操作音設定

リモコン設定

操作音量を変更します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー →◁▷→ 決定



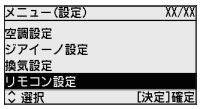
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14) を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

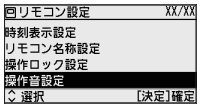
2 「リモコン設定」を選ぶ

△▽→ 決定



3 「操作音設定」を選ぶ

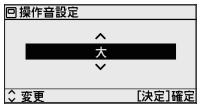
△▽→ 決定



4 設定を変える

△▽→ 決定

- 切/小/中/大 (出荷時設定) から選びます。
- △▽で操作音を選び、決定 を押すと、設定した操作音になります。



コントラスト設定

リモコン設定

画面のコントラストを設定します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー →◁▷→ 決定



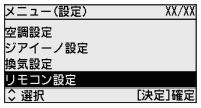
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14) を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

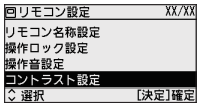
2 「リモコン設定」を選ぶ

△▽→ 決定



3 「コントラスト設定」を選ぶ

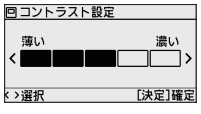
△▽→ 決定



4 設定を変える

◁▷→ 決定

- 出荷時設定：レベル3 (■■■□□)
- ◁▷でレベルを選び、決定 を押すと、設定したコントラストになります。



バックライト設定

リモコン設定

画面のバックライトの明るさを設定します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ

メニュー →◁▷→ 決定



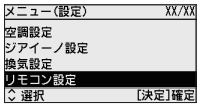
■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14) を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

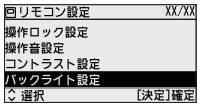
2 「リモコン設定」を選ぶ

△▽→ 決定



3 「バックライト設定」を選ぶ

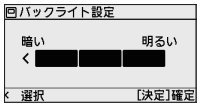
△▽→ 決定



4 設定を変える

◁▷→ 決定

- 出荷時設定：レベル3 (■■■)
- ◁▷でレベルを選び、決定 を押すと、設定したバックライトになります。



表示モード

リモコン設定

トップ画面の表示モードを設定します。
簡易、標準（出荷時設定）、詳細の表示モードの中から選んでください。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

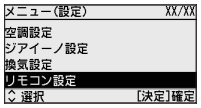


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

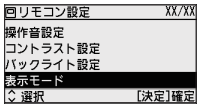
■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14)を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

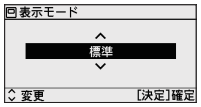
2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「表示モード」を選ぶ
△▽ → 決定



4 表示モードを選ぶ
△▽ → 決定
● 出荷時設定：標準モード



（次ページへ続く）

表示モード

リモコン設定

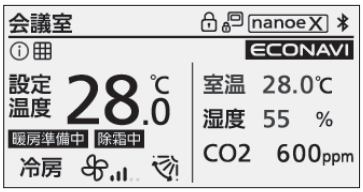
■「標準」モード（出荷時設定）の画面例
画面の表示説明についてはP.11をご覧ください。



■「簡易」モードの画面例
画面の表示説明についてはP.12をご覧ください。



■「詳細」モードの画面例
画面の表示説明についてはP.13をご覧ください。



トップ画面表示情報

リモコン設定

トップ画面に表示する空気質情報の設定をします。
「表示モード」(P.129)で「標準」または「詳細」を選んだときに、設定した項目が表示されます。
表示できる項目は、室温/湿度/CO2濃度です。(湿度またはCO2濃度は、別売のIAQセンサー接続時に表示できます。)
出荷時設定では、すべて「表示なし」です。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

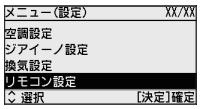


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻るを押す

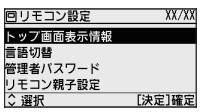
■ トップ画面に戻るとき
メニューを押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14)を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

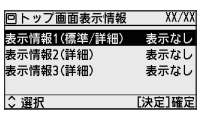
2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「トップ画面表示情報」を選ぶ
△▽ → 決定



4 表示情報を選ぶ
△▽ → 決定
● 表示情報1（標準/詳細）：室温、湿度、CO2濃度、表示なし（出荷時設定）
● 表示情報2（詳細）：室温、湿度、CO2濃度、表示なし（出荷時設定）
● 表示情報3（詳細）：室温、湿度、CO2濃度、表示なし（出荷時設定）

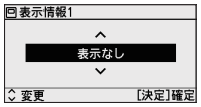


（次ページへ続く）

トップ画面表示情報

リモコン設定

5 変更する
△▽ → 決定
● 表示なし
● 室温
● 湿度
● CO2濃度



お知らせ
●室温はIAQセンサーが接続されているとき、「室温*」と表示されます。
●「室温」と表示されているときは、リモコンで検知した室温をトップ画面に表示します。
●「室温*」と表示されているときは、IAQセンサーで検知した室温をトップ画面に表示します。

■出荷時設定のとき

手順4の画面

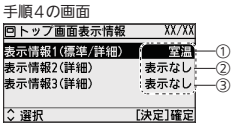


トップ画面



■標準モード画面で室温を表示させたいとき

手順4の画面



トップ画面

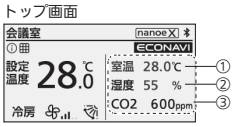


■詳細モード画面（IAQセンサー接続時）で室温、湿度、CO2濃度を表示させたいとき

手順4の画面



トップ画面



言語切替

リモコン設定

トップ画面の表示言語を設定します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

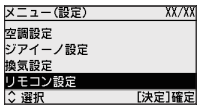


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

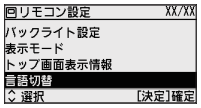
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14) を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

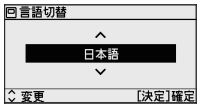
2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



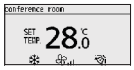
3 「言語切替」を選ぶ
△▽ → 決定



4 言語を選ぶ
△▽ → 決定
● 「日本語」(出荷時設定) または「English」から選びます。



お知らせ
●「言語切替」で変更できるのは、トップ画面の表示だけです。
●「English」を選んだときは、次のような表示になります。
例)



管理者パスワード

リモコン設定

管理者パスワードを設定します。
セキュリティー強化のため、出荷時設定のパスワード変更をお願いいたします。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

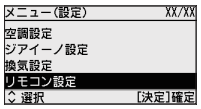


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

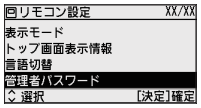
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14) を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

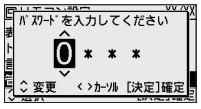
2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「管理者パスワード」を選ぶ
△▽ → 決定



4 パスワード (4桁) を入入力する
△▽ → ▷ → 決定
(くり返す)
● △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する
● 出荷時設定 : 0000



5 変更するパスワード (4桁) を入力する
△▽ → ▷ → 決定
(くり返す)
● △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する

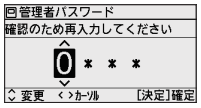


(次ページへ続く)

管理者パスワード

リモコン設定

6 確認のため、パスワード (4桁) を再入力する
△▽ → ▷ → 決定
(くり返す)
● △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する



お知らせ
●パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口 (P.145) にご連絡ください。

リモコン親子設定

リモコン設定

同じ室内ユニットにリモコンを2つ接続しているときに、一方を「親リモコン」、一方を「子リモコン」として登録します。
(親子間での機能の違いはありませんが、温度センサー設定でリモコンのセンサーを選んだときは、「親リモコン」のセンサーで運転を制御します)

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー → ◁▷ → 決定

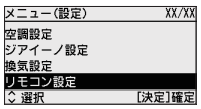


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

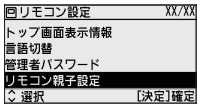
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14) を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

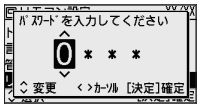
2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



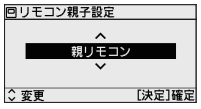
3 「リモコン親子設定」を選ぶ
△▽ → 決定



4 パスワード (4桁) を入力する
△▽ → ▷ → 決定
(くり返す)
● △▽で数字を選び、▷で次の欄に移動する
● パスワードの設定のしかた (P.134)



5 設定する
△▽ → 決定



ワイヤレス設定

リモコン設定

Bluetooth

Bluetooth 機能

Bluetoothの有効/無効の設定を行います。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー →◇ → 決定

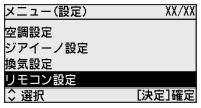


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

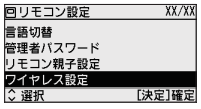
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14)を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

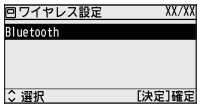
2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「ワイヤレス設定」を選ぶ
△▽ → 決定

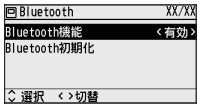


4 「Bluetooth」を選ぶ
△▽ → 決定



5 「Bluetooth機能」を選び、「有効」にする
△▽ →◇

● △▽で項目を選び、‹›で有効/無効を選ぶ



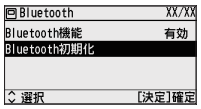
ワイヤレス設定

リモコン設定

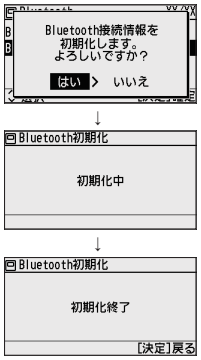
Bluetooth 初期化

ペアリング情報の初期化を行います。

1 P.137の手順1～4のあと
「Bluetooth初期化」を選ぶ
△▽ → 決定



2 「はい」を選ぶ
◇ → 決定



お知らせ

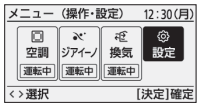
●初期化中は、メニュー、⏻などのすべてのボタン操作が無効になります。
●Bluetooth®接続方法については「datanavi操作マニュアル」を参照してください。

サービス連絡先表示

リモコン設定

サービスの連絡先を確認します。

1 トップ画面からメニュー画面を表示させ、「設定」を選ぶ
メニュー →◇ → 決定

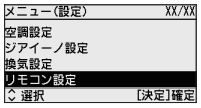


■ 1つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

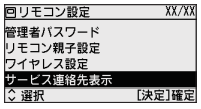
■ トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

■ 空調機のみが接続されているとき
右の画面は表示されません。「■空調機のみが接続されている場合」(P.14)を参照し、「リモコン設定」を選んだ後、手順3に進んでください。

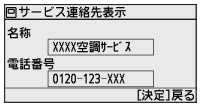
2 「リモコン設定」を選ぶ
△▽ → 決定



3 「サービス連絡先表示」を選ぶ
△▽ → 決定



4 確認する



お知らせ

●連絡先の表示がない場合は、ご相談窓口(P.145)にご連絡ください。

表示アイコン一覧

■ 共通

アイコン	内　容	ページ
ⓘ	インフォメーションあり	15
⚠	Bluetoothモジュールとの接続異常	—
ᛒ	Bluetoothの無線接続済	137
🕒⚠	時計未設定	—
🔒	操作ロック設定中	125
🔒	集中制御機器からリモコン操作を制限中	—
⚠/⚠	警報発生中	—
ⓘ/ⓘ	点検情報発生中	—

■ 空調設定

アイコン	内　容	ページ
	個別風向固定設定中	51
	暖房⇔冷房・ドライの切り替えを禁止中（冷暖自動への切り替えも禁止）	—
	エンジンオイル交換が必要（ガスヒートポンプエアコン使用時のみ）	—
	室内ユニットのフィルター清掃が必要	89
	暖房準備中	—
	運転準備中（ガスヒートポンプエアコン使用時のみ）	—
	除霜中	—
	ナノイーX設定中（トップ画面にはnanoeXと表示されます）	57
エコナビ	エコナビ動作中（トップ画面にはECONAVIと表示されます）	67

表示アイコン一覧

アイコン	内　容	ページ
	内部クリーン動作中	58
	内部乾燥動作中	59
	切/入タイマー設定中（空調）	37
	ウィークリータイマー設定中（空調）	39
	省エネ運転中	60
	手動デマンド設定中	64
	時間帯デマンド設定中	65
	設定温度自動リターン設定中	62
	設定温度範囲制限設定中	63
OFF	消し忘れ防止設定中	45
OFF	運転自動停止タイマー設定中	47
	室外静音設定中	81
	室温をリモコンの温度センサーで検知中	87
IAQ	室温をIAQセンサーの温度センサーで検知中	87
	風あて設定中	53
	風よけ設定中	53
	サーキュレート運転動作中	55
	ローテーション運転設定中	77
	かくはん運転中	—
Ag	銀イオンの交換が必要	92
	室外ユニットの運転量を制限中	—

表示アイコン一覧

■ジアイーノ設定

アイコン	内　容	ページ
	ジアイーノ運転中	23
	塩水パックの交換が必要	103
	電極の交換が必要	105
HEPA	HEPAフィルターの交換が必要	107
	切/入タイマー設定中（ジアイーノ）	93
	ウィークリータイマー設定中（ジアイーノ）	95
	集中クリーン運転中（ジアイーノ）	100

■換気設定

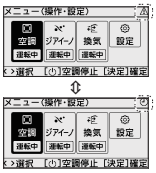
アイコン	内　容	ページ
	外気をそのまま取り入れ換気中 （熱交換気ユニット接続時、市販の換気扇等の接続時のみ）	30
	外気を室温に近づけて取り入れ換気中 （熱交換気ユニット接続時のみ）	30
	室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り替え換気中 （熱交換気ユニット接続時のみ）	30
24	24時間換気設定中	116
	ナイトパージ設定中	117
	熱交換気ユニットのフィルター清掃が必要 （熱交換気ユニット接続時のみ）	119
	切/入タイマー設定中（換気）	109
	ウィークリータイマー設定中（換気）	111
CO2	CO2連動換気運転中	118

故障かな？

修理ご依頼の前に、ご確認を！

症　状	原因と対応
運転・操作できない	●「集中管理中」のアイコン（）が表示されていませんか？ →表示が消えてから、再度[ ]を押してください。
	●停電していませんか？ →停電から復帰したら、再度[ ]を押してください。 ●配線用しゃ断器（ブレーカー）が切れていませんか？ →管理責任者に確認後、配線用しゃ断器（ブレーカー）を入れてから、再度[ ]を押してください。 ●「構成確認中」が点滅していませんか？ →点滅が消えてから、再度[ ]を押してください。 上記を行っても運転が始まらないときは、配線用しゃ断器（ブレーカー）を切り、サービスまたはお買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。
操作をしていないのにピー音がする 操作ボタンとは違う動作になる	●操作ボタンの表面が濡れていませんか？ 表面が濡れているとセンサーが押しているというような誤検知する場合があります。 →乾いた布でふきとり、再度操作してください。
「警報」が表示される 	●異常が発生したときに表示されます。 [<]または[決定]を押して警報画面で「警報コード」「品番」を確認し、サービスまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。 （※品番が表示されない機種があります。） 警報表示が「E04」「E06」「P10」「P20」「H06」のいずれかの場合は、一度運転を停止し、約1分後に再運転してください。 →警報表示が再表示されなければ、そのまま使えます。 上記を行っても警報表示が再表示されるときや、上記以外の警報表示（「E/H/L/P」いずれかの文字と数字の組み合わせ）が表示されたときは、運転を停止してから配線用しゃ断器（ブレーカー）を切り、サービスまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

故障かな？

症　状	原因と対応
「点検」が表示される 	●点検が必要なときに表示されます。 [<]または[決定]を押して点検画面で点検情報を確認し、サービスまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。 点検情報によっては、一部の機能が動作しない可能性があります。
時計未設定アイコンが表示される （⇔） 	●72時間以上、停電が継続していませんか？ 72時間以内の停電の場合、内蔵のバックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。 72時間を超える停電の場合、再設定が必要です。 →時計設定（P.121）を行ってください。

●連絡先の表示がない場合は、ご相談窓口（P.145）にご連絡ください。

ご相談窓口

機器に関する使い方・お手入れなどのご相談・お問い合わせは…

商品の情報はホームページでご確認ください。　パナソニック　空調換気　検索　www2.panasonic.biz/jp/air/

商品・修理に関するお問い合わせはこちらまで

■ 空調・換気・給湯の相談窓口 ■

フリーダイヤル 0120-870-199（携帯OK）
パナは いい空気・給湯
音声ガイダンスに従って商品を選択してください

フリーダイヤルがご利用いただけない場合
050-3158-1222（有料）
月～金 9:00-12:00 13:00-18:00

商品に関するお問い合わせ　※有人対応：月～土 9:00～18:00（日・祝日・年末年始は留守電受付）
FAX 050-3606-7370　24時間 365日受付
修理に関するお問い合わせ　※有人対応：購入先により営業時間が異なります。

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様

品番		CZ-10RT5
外形寸法		（高さ）120 mm×（幅）120 mm×（奥行き）19.5 mm
質量		190 g
使用温度・湿度範囲		0 ℃～40 ℃・20 %～80 %（屋内設置専用）
電源		DC16 V（室内ユニットより供給）
リモコン配線の接続可能台数（室内ユニット）		8台まで（グループ制御時。熱交換気ユニット、天井埋込形ジアイーノ、天吊カセット形ジアイーノの台数を含む） ジアイーノはリモコン配線に1台のみ接続可能
Bluetoothバージョン		4.2以降
時計	精度	±30秒/月（常温25 ℃） 定期的に合わせてください。
	停電時の動作時間	72時間（満充電時） 満充電に約24時間かかります。

お手入れ

●柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れがひどい場合は、布に水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼったからふいてください。その後、乾いた布でふいてください。

お願い

●40 ℃以上のお湯を使わないでください。
（変形や変色の原因）
●揮発性のものなどは使わないでください。
アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、磨き粉などでふいたり、市販の液状殺虫剤、消毒スプレーなどをかけない（変形や変色の原因）
●次のようなもので乾かさないでください。
ドライヤー、ストーブ、直射日光（変形や変色の原因）

著作権など

●QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
●Bluetooth®のワードワークおよびロゴは、登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。パナソニック株式会社は、使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
●その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは一部記載していません。

ソフトウェアライセンスについて

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社（以下パナソニック）により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
(3) ソースコード公開が必須とされない条件にてライセンスされたオープンソースソフトウェア
上記 (3) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

mbedTLS

Copyright (C) 2006-2015, ARM Limited, All Rights Reserved

Apache License
Version 2.0, January 2004
http://www.apache.org/licenses/

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.
"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.
"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.
"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.
"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.
"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.
"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.
"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work.
"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship.
For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.
"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner.
For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution." "Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted.
If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
(a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
(b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
(c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
(d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License.
You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.
You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions.
Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and/ on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

micro-ecc

Copyright (c) 2014, Kenneth MacKay
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Free RTOS

Copyright (C) 2017 Amazon.com, Inc. or its affiliates. All Rights Reserved.

The FreeRTOS kernel is released under the MIT open source license, the text of which is provided below.

This license covers the FreeRTOS kernel source files, which are located in the /FreeRTOS/Source directory of the official FreeRTOS kernel download. It also covers most of the source files in the demo application projects, which are located in the /FreeRTOS/Demo directory of the official FreeRTOS download. The demo projects may also include third party software that is not part of FreeRTOS and is licensed separately to FreeRTOS. Examples of third party software includes header files provided by chip or tools vendors, linker scripts, peripheral drivers, etc. All the software in subdirectories of the /FreeRTOS directory is either open source or distributed with permission, and is free for use. For the avoidance of doubt, refer to the comments at the top of each source file.

License text:

Copyright (C) 2017 Amazon.com, Inc. or its affiliates. All Rights Reserved.
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software. If you wish to use our Amazon FreeRTOS name, please do so in a fair use way that does not cause confusion.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

F1223-0
WEB-ACXF55-35820-00

Panasonic®

据付(電気)工事説明書

多機能ワイヤードリモコン

品番 **CZ-10RT5**



据付工事説明書をダウンロードできます。
QR コードから多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT5）のページにアクセスします。

https://www2.panasonic.biz/scvb/a2A/top.G01

「品番・品名・キーワード」欄に「CZ-10RT5」と入力し、据付工事説明書をダウンロードしてください。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

- 「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。**特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。**
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
- 移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- 「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

1. 安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付（電気）工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  (感電、火災の原因)
  - **電気設備に関する技術基準**
  - **内線規程**
  - **据付(電気)工事説明書**

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- **水洗いしない**(感電、故障の原因)
- **配線は、室内ユニットのリモコン配線用端子に接続し、その他の端子に 接続しない**(感電、故障の原因)
- **医療機器や自動制御機器(自動ドア、火災警報器など)の近くには据え付けない**
  (本機からの電波が機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因)

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**
  (感電、火災の原因)
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの配線用しゃ断器(ブレーカー)を 切ってから行う**(感電の原因)
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
  (製品の落下、感電、火災などの原因)

⚠警告

本体を据え付けるときに

❗
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  (製品の落下、感電、火災などの原因)
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブル の外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)

⚠注意

⃠
- **次のような場所で使わない**(感電、火災などの原因)
  - **結露するところ**
  - **可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ**
  - **酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ**
  - **腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **有機溶剤の飛沫するところ**
  - **電圧変動の多いところ**
  - **ドレン配管近くなど、水滴が落ちるようなところ**
- **ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)

❗
- **配線引込口をパテなどで塞ぐ**
  (露や虫が入り感電や故障の原因)
  (結露による基板故障の原因)

Printed in China
W0124-10224
ACXF60-49921

2. 仕様

品番		CZ-10RT5
外形寸法		（高さ）120 mm ×（幅）120 mm ×（ 奥行き）19.5 mm
質 量		190 g
使用温度・湿度範囲		0 ˚ C ～ 40 ˚ C・20 % ～ 80 % ※ 屋内設置専用
電源		DC16 V（室内ユニットより供給）
時計	**精度**	± 30 秒 / 月（常温 25 ℃） ※ 定期的に合わせてください。
	停電時の動作時間	72 時間（満充電時）※満充電に約 24 時間かかります。
リモコン配線の接続可能台数（室内ユニット）		8台まで （グループ制御時。熱交換気ユニット、天井埋込形ジアイーノ、天吊カセット形ジアイーノの台数を含む） ※ジアイーノはリモコン配線に 1 台のみ接続可能

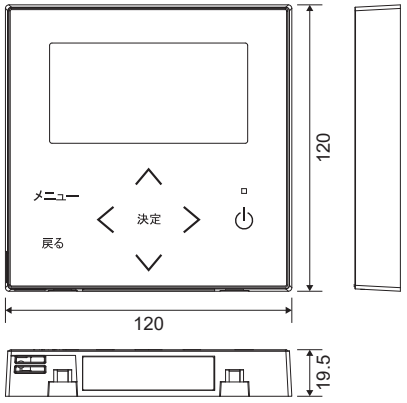
3. 付属品

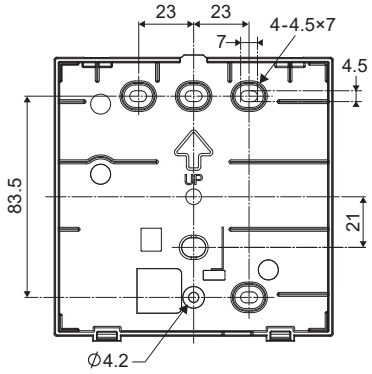
＜ ＞ : 個数

小ネジ （M4 × 25） （ JIS ボックス据え付け用） ＜ 2 ＞	木ネジ （M 3.8 × 16） （壁面据え付け用） ＜ 2 ＞	結束バンド ＜ 1 ＞
取扱説明書 （簡易版） ＜ 1 ＞	据付（電気） 工事説明書 ＜ 1 ＞	断熱シート （ポリエチレン） （17 × 23 厚さ 2 mm） ＜ 1 ＞

※ リモコン配線は現地調達のため付属されていません。

4. 外形寸法図





単位 : mm

5. 据え付け時のご注意

● 次のような場所に据え付けない。
- 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
- 過度な衝撃や振動のあるところ
- 据付面に凹凸があるところ
- 熱源の近くなど

● 床面から1 ～ 1.5mの高さに床面に対して垂直に据え付ける（室内の平均温度を感じる場所）

● 複数並べて据え付けるときは、左右5 mm、上下50 mm以上離す。

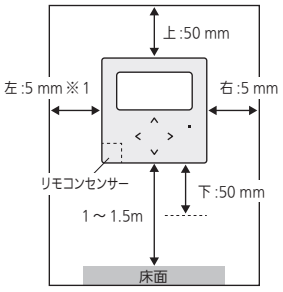
● 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。（「2.仕様」(P.2)）

● 高周波を発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のあるところは避ける。（本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります）

● テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から 1 m以上離す。（映像の乱れ、雑音の原因）

● 配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。（故障の原因）

● 配線は、地中に埋設しない。（落雷などにより、感電や火災、故障の原因）



※ 1 リモコンセンサーを使用する場合は、左を 50 mm 以上離す

6. リモコンセンサーを使用する場合

● 次のような場所に据え付けない。（検知温度と実際の室温に差が出るおそれがあるため）
- 室内の空気の流れから外れた、物かげや物の裏側
- 設置壁面と室温に温度差があるところ
- 室内ユニットの吹出し部からの冷風や温風が直接当たるところ

● 本機から左50 mm、上下50 mm以上の空間を設ける。

● 適切な位置にリモコンを設置できない場合は、リモートセンサーまたはIAQセンサーを使用する。

お知らせ

●リモコンセンサーはリモコン正面の左下にあります。
検知温度を安定させるため、上記の内容を守り据え付け場所を決めてください。
据え付け場所や使用環境により、検知温度が安定するまでに時間がかかる場合があります。

7. 配線のしかた

配線の仕様と接続可能台数

■配線の種類
柔軟性のある、0.5 ～ 1.25 mm² のケーブル（単線は使わない）
- シース部を含む絶縁物の厚みが 1 mm以上あるケーブル
- 推奨品：VCTF（EM-ECTF ※ 1）/ VCT（EM-OOCT ※ 1）

■総配線長
500m 以内
- グループ内にワイヤレスリモコンがある場合は、400m 以内

■室内ユニットわたり総配線長
200m 以内

■接続可能台数
- リモコン　：最多 2 個
- ユニット※2　：8 台まで

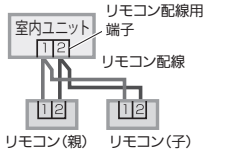
※ 1（ ）内はエコ電線記号。紫外線（日光・照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。
※ 2 ユニットは室内ユニットのほか、熱交換ユニット、天井埋込形ジアイーノまたは天吊カセット形ジアイーノを含む。
熱交換ユニット、ジアイーノを接続する場合でも室内ユニットが 1 台以上必要。

お願い
- ●誤って、室内ユニットの他の端子（電源配線用端子など）に接続しないよう、注意してください。（故障の原因）
- ●電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。（誤動作の原因）

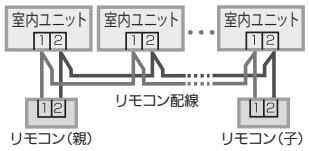
親・子リモコン制御について

1 台もしくは複数台の室内ユニットを 2 個のリモコンで操作することができます。
設置後、「9. 設定する」の「⑥ リモコン設定モード」（項目コード 01:「リモコン親子設定」）（P.6）を行い、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
CZ-10RT4C などの他リモコンと併用の場合は、本機を「親リモコン」に設定してください。

■ 室内ユニットが 1 台のとき

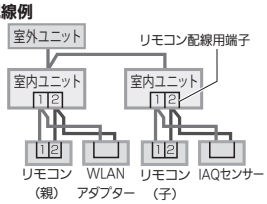


■ 室内ユニットが複数台のとき

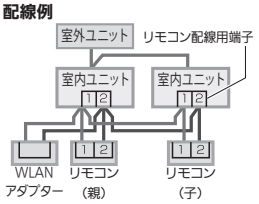


制御機器を 3 個以上接続する場合

■ オフィス・店舗用エアコン 7B シリーズの配線例



■ ビル用マルチ、ガスヒートポンプの配線例



■対象の室内ユニット
- オフィス・店舗用：7 シリーズ以降の室内ユニット
- ビル用マルチ：5 シリーズ以降の室外ユニットに接続できる室内ユニット
- ガスヒートポンプ：U 形以降の室外ユニットに接続できる室内ユニット

■配線の種類
柔軟性のある、0.5 ～ 1.25 mm² のケーブル（単線は使わない）
- シース部を含む絶縁物の厚みが 1 mm以上あるケーブル
- 推奨品：VCTF（EM-ECTF ）/ VCT（EM-OOCT ）

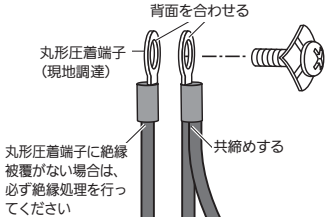
■総配線長
- 制御機器の接続台数
  3 個の場合　：300 m 以内
  4 個の場合　：200 m 以内

■室内ユニットわたり総配線長
200m 以内

■接続可能台数
- 制御機器　：最多 4 個
  WLAN アダプター：1 個まで
  IAQ センサー　：1 個まで
  リモコン　：最多 2 個
- ユニット　：8 台まで

リモコン配線用端子への配線方法

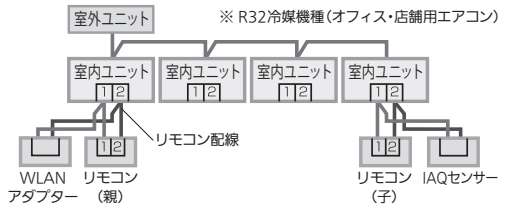
- リモコン配線用端子板に配線を 3 本接続する場合は、丸形圧着端子（現地調達）を使用し、1 つの丸形圧着端子に配線を 2 本共締めしてください。
- 共締めする配線は、同じ種類の配線を使用してください。
- リモコン配線用端子板のネジ径は室内ユニットによって異なるため、室内ユニットの工事説明書もあわせてご覧ください。



グループ制御（リモコンわたり配線）について

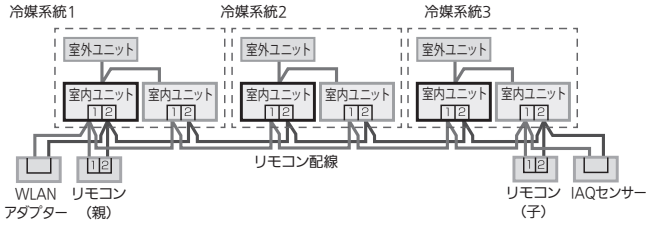
- ● R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
- ● 冷媒種にかかわらず冷媒系統が異なる場合、熱交換気ユニットや天井埋込形ジアイーノと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。
- ● R410A冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。

同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ
- ●制御機器を 3 個以上接続しても、動作します。
- ●どの室内ユニットに制御機器を接続しても、動作します。

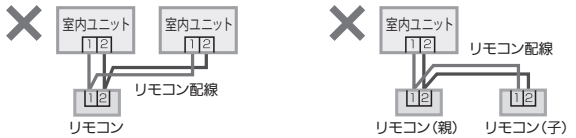
複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



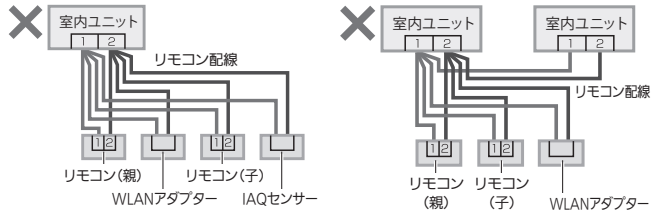
お知らせ
- ●どの室内ユニットに制御機器を接続しても、動作します。
- ●エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

お願い
- ●手動で室内ユニットの親子設定を変更する場合、設置後、「9. 設定する」の「⑦ 詳細設定」（項目コード 14 :「室内ユニットの親子設定」）（P.7）を行ってください。

お願い
- ●以下のようなリモコンで渡る配線は禁止です。

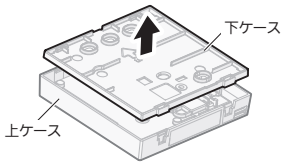


- ●室内ユニットのリモコン配線用端子に、4 本以上接続する配線方法は禁止です。



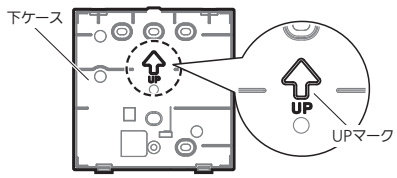
8. 据え付ける

1 下ケースをはずす



お願い

●下ケースは、UP マークが見えるように JIS ボックス、または壁に取り付けてください。

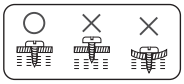


2 壁に取り付ける

配線埋め込み据え付けの場合

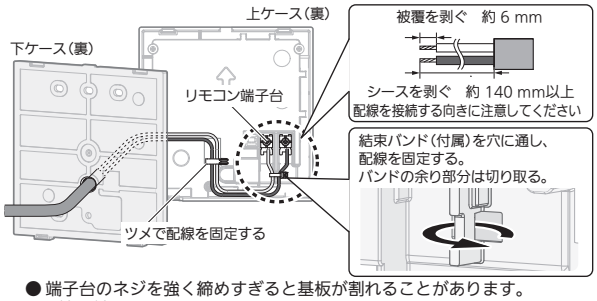
❶ 下ケースを JIS ボックスに取り付ける

●配線は、下ケース中央の穴に通しておく。
●ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締める。
（上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
●ネジは、締めすぎない。
（下ケースの変形による、落下の原因）



❷ リモコン配線を接続する

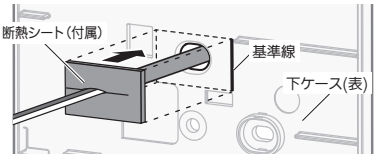
●上ケースの溝に配線を通し、配線をツメにはめ込む。



●端子台のネジを強く締めすぎると基板が割れることがあります。
・締め付トルク：0.23 ～ 0.33 Nm

❸ 断熱シートを下ケースに貼りつける

●断熱シート（付属）の切り込みに配線をはさむ。
●下ケース（表）の基準線に合わせて断熱シートを貼り付け、下ケース中央の穴を塞ぐ。

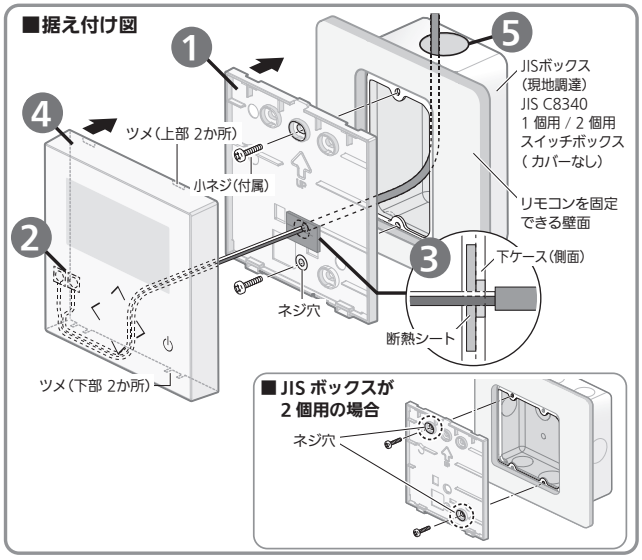


❹ 上ケースを取り付ける

●上ケースのツメ（上部）を合わせてから、ツメ（下部）を合わせる。
●シースをリモコン内部に引き込んだまま、取り付けないでください。
（上ケースが取り付けられない原因）
●余分な配線をリモコンケースに収納したり、基板上の部品に配線が触れないようにしてください。（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）

❺ 配線引込口の根本部分をパテなど（現地調達）で塞ぐ

■据え付け図

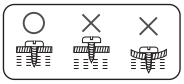


配線露出据え付けの場合

準備：上ケースの上部を切り取り、配線引き出し口を用意しておく（「据え付け図」参照）

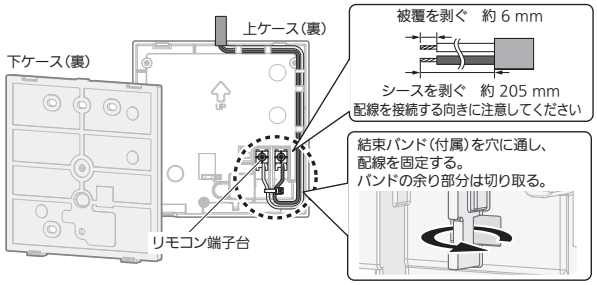
❶ 下ケースを壁に取り付ける

●ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締める。
（上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
●ネジは、締めすぎない。
（下ケースの変形による、落下の原因）



❷ リモコン配線を接続する

●上ケースの溝に配線を通し、配線をツメにはめ込む。



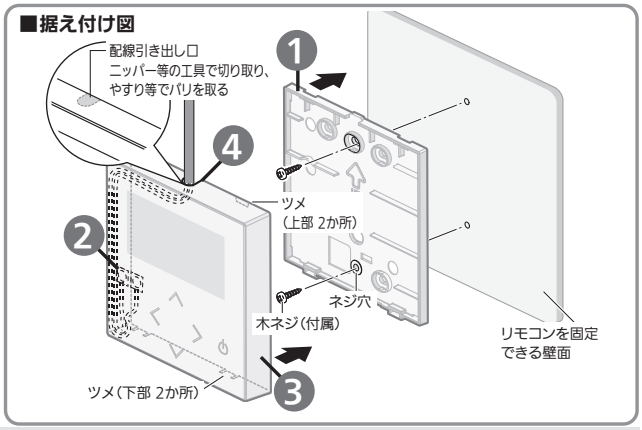
●端子台のネジを強く締めすぎると基板が割れることがあります。
・締め付トルク：0.23 ～ 0.33 Nm

❸ 上ケースを取り付ける

●上ケースのツメ（上部）を合わせてから、ツメ（下部）を合わせる。
●余分な配線をリモコンケースに収納したり、基板上の部品に配線が触れないようにしてください。（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）

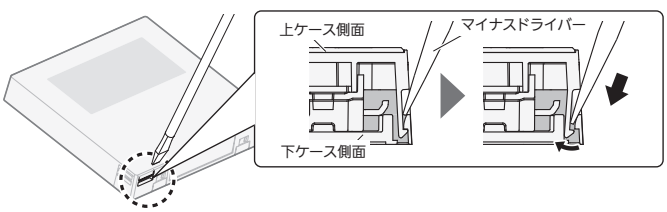
❹ 配線引き出し口の根本部分をパテなど（現地調達）で塞ぐ

■据え付け図



据え付け後に下ケースを取りはずす場合

●マイナスドライバーを下ケースのツメの傾斜に沿って軽く押してください。



9. 設定する

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に配線用しゃ断器（ブレーカー）を入れてください。リモコンが起動し、「構成確認中」の表示が消えるまでお待ちください。
※ 10 分以上「構成確認中」が点滅表示する場合は、室内ユニットのアドレス設定を見直してください。
目的に応じて「リモコン設定」（P.5）、「リモコンメンテナンス設定」（P.6 ～ 7）の項目①～⑨を参照してください。

「リモコン設定」（P.5）			
現在日時を設定するとき	▶	① 時計設定	P.5（下記）
リモコンの名称を設定するとき	▶	② リモコン名称設定	
トップ画面の表示モードを切り替えるとき	▶	③ 表示モード	
トップ画面に表示する空気質情報の設定をするとき	▶	④ 待機画面表示情報	

「リモコンメンテナンス設定」（P.6 ～ 7）			
サービスの連絡先を登録/変更するとき	▶	⑤ サービス連絡先登録	P.6
リモコンの設定をするとき	▶	⑥ リモコン設定モード	
室内ユニットと熱交換換気ユニットの設定をするとき	▶	⑦ 詳細設定	P.7
リモコンから室内ユニット/室外ユニットのアドレスを設定するとき	▶	⑧ 自動アドレス設定	
集中制御アドレスの設定をするとき（集中制御機器を接続をする場合）	▶	⑨ 簡単設定	

リモコン設定

1 「メニュー」を押す

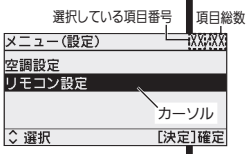


お知らせ
- ●手袋を着けた状態では、操作できません。
- ●スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。
- ●接続する室内ユニットによっては、液晶画面の表示が異なる場合があります。

2 「リモコン設定」を選ぶ

△ ▽ → 決定

※ 空調機のみ接続の場合、メニュー（操作・設定）画面が表示されません。

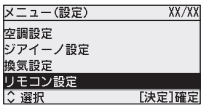


ジアイーノまたは換気、もしくは両方接続されている場合

2-1 メニュー画面から設定画面に切り替える
- トップ画面からメニューを押す
- ◁ ▷ で「設定」選び、決定 を押す

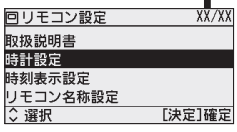


2-2 リモコン設定画面に切り替える
- △ ▽ で「リモコン設定」を選び、決定 を押す



3 設定する項目を選ぶ

△ ▽ → 決定



4 設定を変更する

① 時計設定

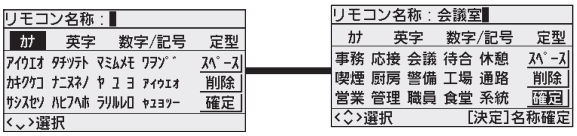
△ ▽ ◁ ▷ → 決定



② リモコン名称設定

△ ▽ ◁ ▷ で選び、決定 で入力する

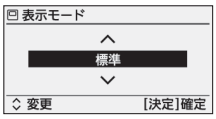
△ ▽ ◁ ▷ で「確定」を選び、決定 を押す



③ 表示モード

- 3 つのモード（簡易、標準、詳細）の中から選んでください

△ ▽ → 決定





（出荷時設定）

④ トップ画面表示情報

- トップ画面に表示する空気質情報の設定をします。
- 「③表示モード」で「標準」または「詳細」を選んだときに、設定した項目が表示されます。
- 表示できる項目は、室温 / 湿度 /CO2 濃度です。
- 出荷時設定は、すべて「表示なし」です。

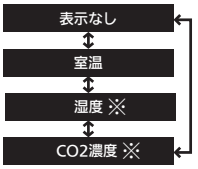


△ ▽ → 決定

- 表示情報 1（標準 / 詳細）：室温 / 湿度 /CO2 濃度 / 表示なし
- 表示情報 2（詳細）：室温 / 湿度 /CO2 濃度 / 表示なし
- 表示情報 3（詳細）：室温 / 湿度 /CO2 濃度 / 表示なし



△ ▽ → 決定



※湿度と CO2 濃度の数値は、IAQ センサーと接続されている場合に表示されます。

リモコンメンテナンス設定

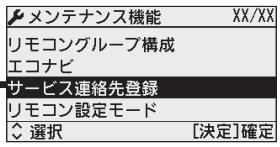
1 **3 つのボタンを同時に 4 秒以上を押す**



「メンテナンス機能」モードに移行

2 **選択する項目を選ぶ**

△ ▽ → 決定



3 **設定を変更する**

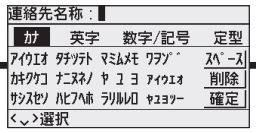
⑤ サービス連絡先登録

△ ▽ → 決定

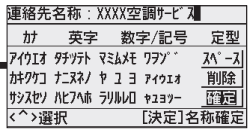


■連絡先名称入力

△ ▽ ◁ ▷ で選び、決定 で入力する

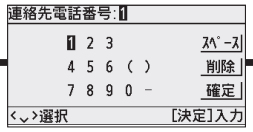


△ ▽ ◁ ▷ で「確定」を選び、決定 を押す

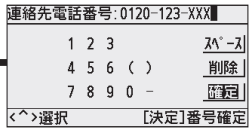


■連絡先電話番号入力

△ ▽ ◁ ▷ で選び、決定 で入力する



△ ▽ ◁ ▷ で「確定」を選び、決定 を押す



※ 文字入力のしかた

■ 文字種を変更するとき
△ ▽ ◁ ▷ で文字種を選び、決定

■ 定型の名称から選ぶとき
△ ▽ ◁ ▷ で「定型」を選び、決定

■ スペースを入力するとき
△ ▽ ◁ ▷ で「スペース」を選び、決定

■ 1 字消すとき
△ ▽ ◁ ▷ で「削除」を選び、決定

※ 全角 8 文字 / 半角 16 文字まで入力可能。（スペースも文字数に含む）

⑥ リモコン設定モード

項目コード / 設定データを選択する

△ ▽ ◁ ▷ → 決定



お知らせ

●リモコン設定は、設定終了後に再起動を行います。

項目コード（リモコン設定モード）			設定データ
01	リモコン親子設定	リモコンを 2 個設置するとき	・0000：子 ・0001：親（出荷時設定）
2F	パスワード設定	管理者パスワードを設定するとき ※管理者パスワードを変更した場合は、管理者にご連絡ください。	・0000 ～ 9999 ・0000（出荷時設定）
2B	ジアイーノ・熱交換気連動設定	空調機の運転 / 停止によって、接続しているジアイーノまたは熱交換気ユニットの運転 / 停止を連動させるとき	・0000：連動なし（出荷時設定） ・0001：熱交換気ユニット連動あり ・0003：ジアイーノ連動あり ・0004：熱交換気ユニット・ジアイーノ連動あり
21	発電表示切替	発電機能付きのガスヒートポンプエアコン（GHP）と接続するとき	・0000：表示機能無効（出荷時設定） ・0001：表示機能有効

次ページに続く

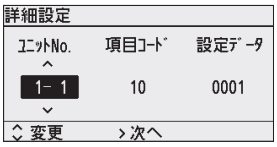
9. 設定する （つづき）

リモコンメンテナンス設定

⑦ 詳細設定

ユニット No.・項目コード・設定データを選択する

△ ▽ ◁ ▷ → 決定

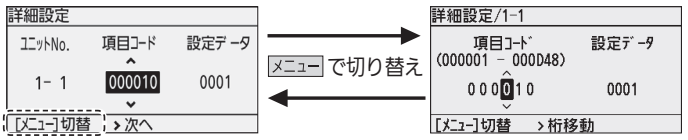


お知らせ

- ●熱交換換気ユニットのユニット No. は「31－XX」になります。
- ●詳細設定は、設定終了後に再起動を行います。
- ●室内ユニットの機種によっては、項目コードが 6 桁で表示される場合があります。（右記参照）

■項目コードが 6 桁表示の場合

桁ごとにコード選択が行える画面に切り替えることができます。



- リモコン画面に「[メニュー] 切替」が表示されている状態で、メニューを押す
- 桁移動 ◁ ▷
- コード選択 △ ▽

メニューを押すと詳細設定画面に戻る

項目コード（詳細設定）			設定データ
14	室内ユニットの親子設定	グループ制御時に室内ユニットの親子設定をするとき	・0001：親機 ・0002：子機
31	換気扇との接続	室内コントロール基板上の換気扇出力『FAN DRIVE：2P（白）』に市販の換気扇等を接続するとき ※ 専用配線（別売品）が必要	・0000：接続なし ・0001：接続あり
32	室温センサー設定	室内温度を検知する温度センサーを設定するとき ※ 親・子リモコン制御時に、「リモコン側」に設定している場合は、親リモコンのセンサーが有効になります。 ※ リモートセンサー併用時は、設定データにかかわらず、リモートセンサーが有効になります ※ ビル用マルチのグループ制御時は、「室内ユニット側」で使用することを推奨します。	・0000：室内ユニット側 ・0001：リモコン側 ・0002：IAQ センサー（IAQ センサー対応機種のみ設定可）
D7	熱交換気連動設定 ※ 熱交換気ユニットの設定項目になります。	室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り換えるとき （「換気モード」が「自動換気」のときのみ）	・0000：オフ ・0001：オン
2E5	銀イオン交換サイン表示設定 ※対応可能機種のみ	銀イオン抗菌剤の交換サインを表示するとき （表示にすると、「ユーザーメンテナンス」画面に「銀イオン抗菌剤」の項目が表示されます。また、銀イオン抗菌剤の交換時期になると、トップ画面にアイコンが表示されます）	・0000：非表示 ・0001：表示

お願い

- ●銀イオン交換作業はサービス専門業者様への依頼となり、有料となる旨説明を行ってください。

⑧ 自動アドレス設定

お願い

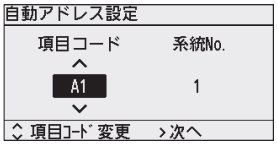
- ●室外ユニットの 電源を入れ、90 秒以上たってから行ってください。
- ●自動アドレス設定を行ったあとは、90 秒以上 たってから運転してください。

項目コード「A1」/ 系統 No. を選択する

△ ▽ ◁ ▷ → 決定

お知らせ

- ●自動アドレス設定は、設定終了後に再起動を行います。



項目コード（自動アドレス設定）			系統 No.
A1	自動アドレス設定	自動アドレス設定とは、室内ユニットと室外ユニットの間を系統アドレス毎に自動で関連付けする操作です。 自動アドレスをする系統（室外ユニット）の系統番号を選んでください。	・室外ユニットの系統番号

⑨ 簡単設定

お願い

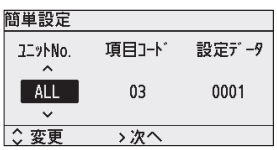
- ●集中制御アドレス設定は自動アドレス設定終了後に行ってください。
- ●接続する集中制御機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。

ユニット No.「ALL」/ 項目コード「03」/ 設定データを選択する

△ ▽ ◁ ▷ → 決定

お知らせ

- ●簡単設定は、設定終了後に再起動を行います。



項目コード（簡単設定）			設定データ
03	集中制御アドレス設定	集中制御機器を使用するとき	・0001 ～ 0064

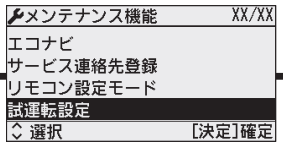
10. 試運転を開始する

1 **3 つのボタンを同時に 4 秒以上押す**



2 **「試運転設定」を選ぶ**

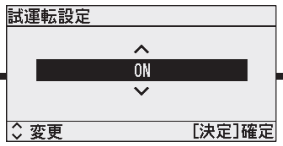
▲ ▼ → 決定



3 **「ON」を選ぶ**
（試運転モードになる）

▲ ▼ で「ON」を選び、

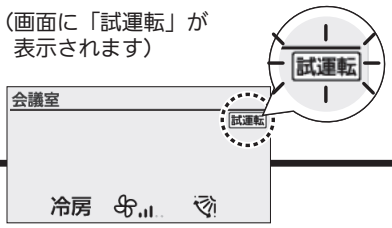
決定 を押した後、 戻る を押す



4 **試運転する**

⏻ を押す

（画面に「試運転」が
表示されます）



5 **試運転を終了する**

手順 1・2 を行い、手順 3 で「OFF」を選ぶ。

（「試運転」表示消灯）



お願い

●試運転以外の目的には使わないでください。
（室内・室外ユニットに無理がかかるため）

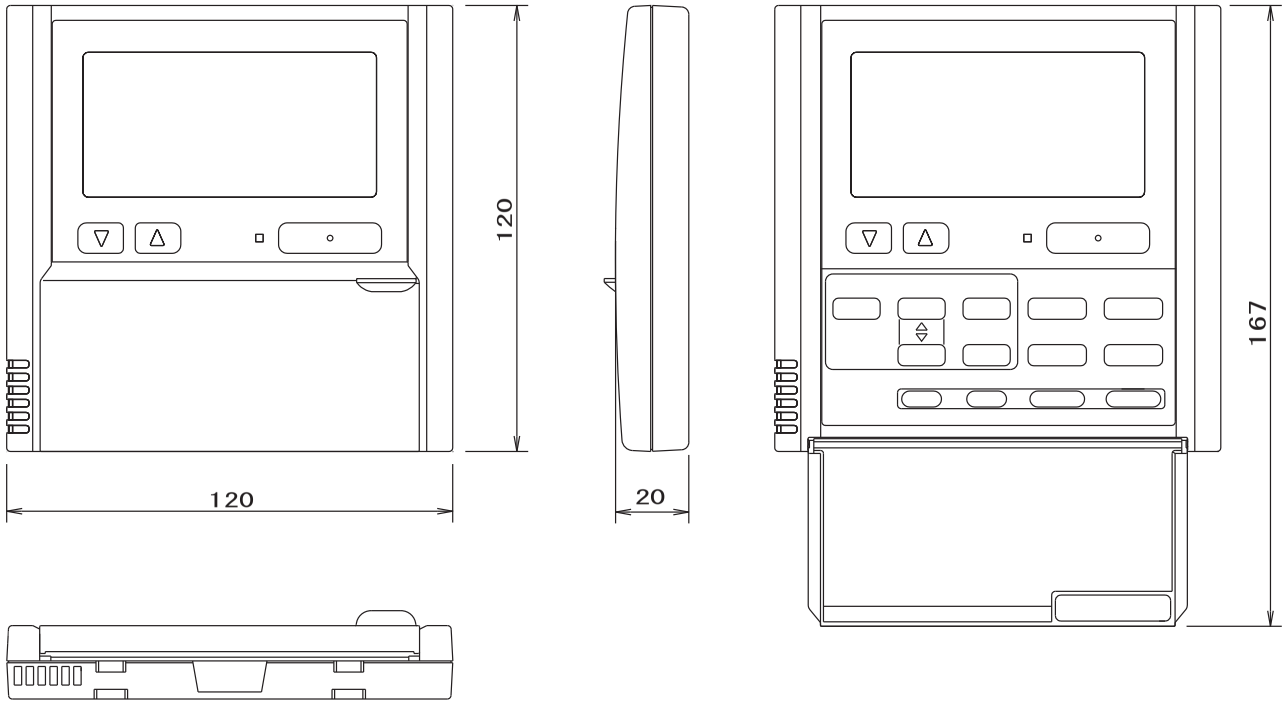
お知らせ

●暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
●連続試運転を防止するため 60 分後自動で「オフ」になります。
●電源投入後および運転停止後、約 3 分間は室外ユニットの運転はしません。

ワイヤードリモコン / CZ-10RT3

項　　目	別売品（標準）
（停　　止）	CZ-10RT3
運転 / 停止	押しボタン
運転切換	押しボタン
温度設定	押しボタン
風速切換	押しボタン
オートフラップ	押しボタン
タイマー設定	押しボタン
フィルターリセット	押しボタン
点検	押しボタン
省エネ	押しボタン
（表　　示）	CZ-10RT3
運転	ランプ・文字
運転ランプ	運転ランプ
	「試運転」
	「暖房準備」
	「運転準備」
	「集中管理中」
	「運転切換管理中」
運転モード	文字
	「冷暖自動」
	「暖房」
	「冷房」
	「ドライ」
	「送風」
省エネ	「省エネ」
設定温度	数字
風速	文字
	「風速　自動」
	「風速　急 」
	「風速　強 」
	「風速　弱 」
オートフラップ	マーク
タイマー	文字・マーク・数字
フィルター昇降	フィルター昇降
換気	換気
（警　　報）	CZ-10RT3
通信・各種設定	「E01 ～ E31」
未設定・各種設定	「L01 ～ L31」
室内送風機	「P01」
天井パネル未接続	「P09」
室内フロートスイッチ	「P10」
保護装置	「P01 ～ P31」
エンジン保護	「A01 ～ A31」
センサー	「F01 ～ F31」

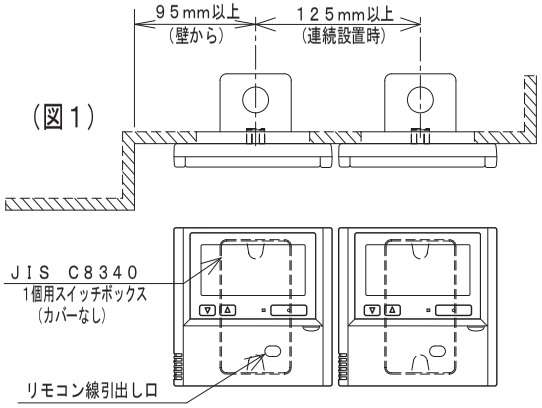
注）一部の機種は生産終了になっております。



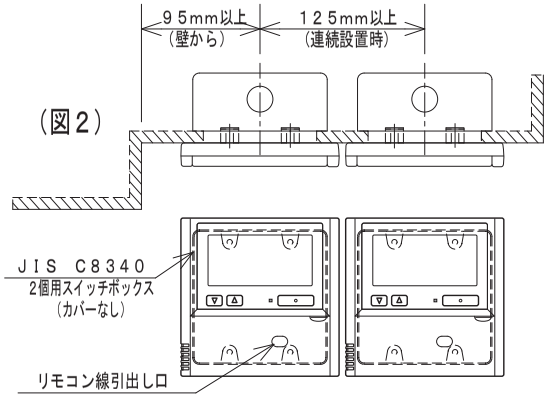
連続設置の場合の取付寸法

＊リモコンスイッチを壁面に連続して取り付ける場合、
図１・図２の取付寸法を守ってください。

（図１）

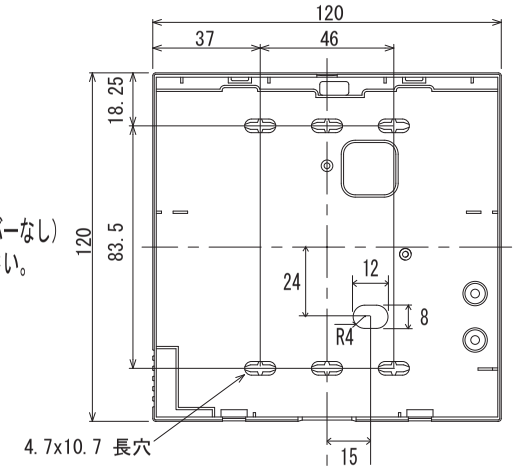


（図２）



＊リモコンスイッチを上下に連続設置する場合、隙間は
５０mm以上としてください。
＊リモコン上部の隙間は１０mm以上確保してください。

＜リモコン取付け寸法＞

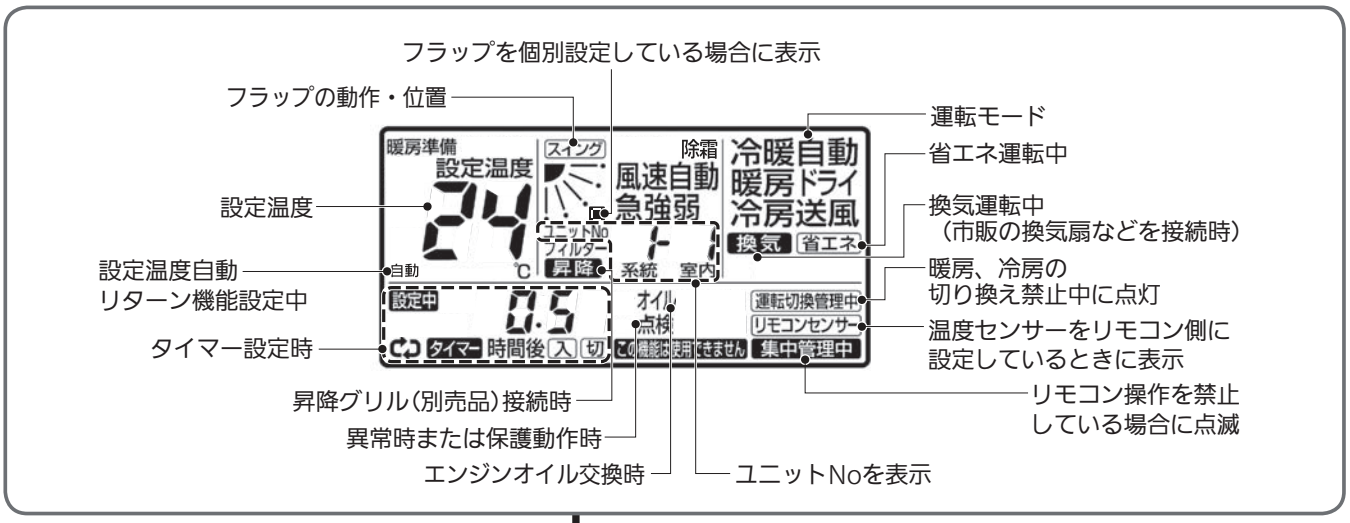


お願い）　配線を埋込まれる場合は、ＪＩＳ－Ｃ８３４０　１個用スイッチボックス（カバーなし）
または、２個用スイッチボックス（カバーなし）を現地手配し、埋込んでください。

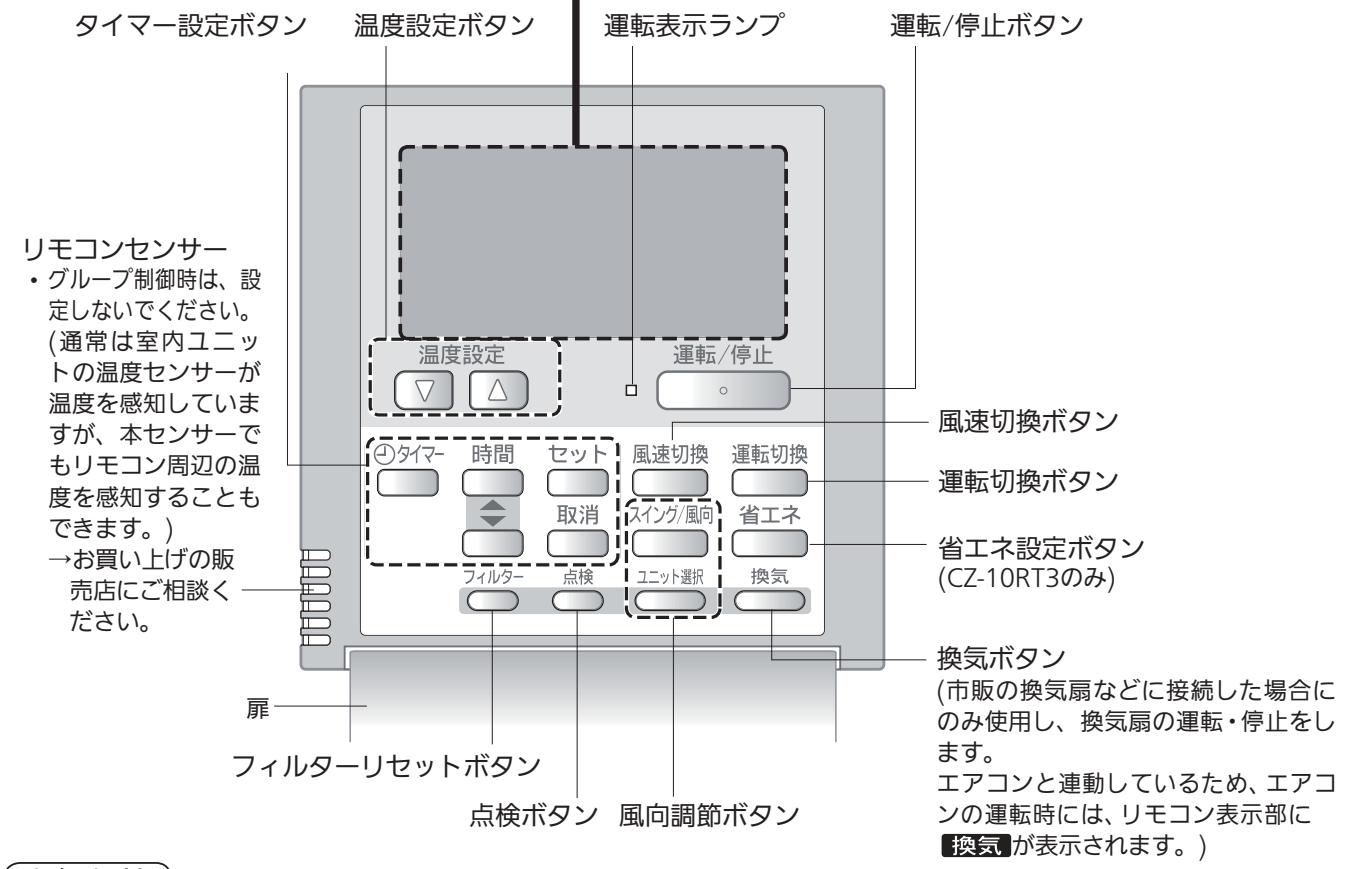
品番	CZ-10RT3	外形寸法図 （標準ワイヤードリモコン）

ワイヤードリモコン（別売品：CZ-10RT3）

表示部



操作部



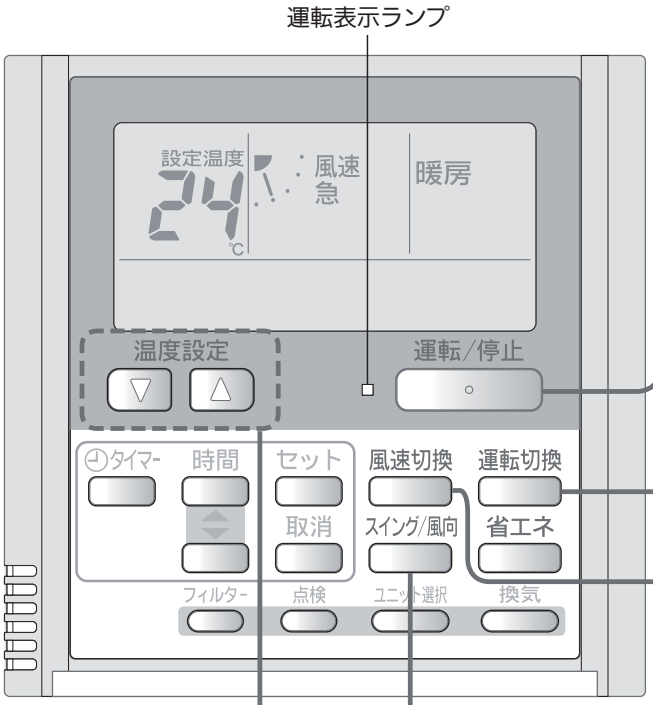
お知らせ

- 漏電しゃ断器を入れると、自動で機種確認を行っている間、リモコン表示部に 設定中 が点滅します。
  設定中 が消えたあとに、リモコン操作をしてください。
- このリモコンは 1 台で、室内ユニットを最多 8 台まで運転することができます。
- 一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。
- 次の室内ユニットは表示部にフラップ位置が表示されません。(天井ビルトインカセット形、ビルトインオールダクト形、天井埋込形、天吊形厨房用エアコン、ペリメーター用床置形、ペリメーター用床置埋込形)

運転のしかた　冷暖自動・暖房・ドライ・冷房・送風

（本書ではワイヤードリモコンでの操作を中心に説明しています。）

運転開始の 5 時間以上前に漏電しゃ断器（電源）を入れる。（本体保護のため）



1 運転/停止
○ を押す
（運転表示ランプ点灯）

2 運転切換
を押し、お好みの運転を選ぶ

冷暖自動 →
↓
暖房
↓
ドライ
↓
冷房
↓
送風

…設定温度と室温の差を感知し、暖房または冷房を自動で選びます。（室内ユニットがグループ制御されている場合のみ）

3 風速切換
を押し、お好みの風速を選ぶ

自動 → 急 → 強 → 弱 ↑

●送風時は「自動」を選べません。

4 スイング/風向
を押し、お好みの風向を選ぶ

5 温度設定
▽ △ を押し、お好みの温度にする

冷暖自動　：17 ℃～ 27 ℃
暖房　　：16 ℃～ 30 ℃
冷房・ドライ：18 ℃～ 30 ℃

■ 止めるとき

運転/停止
○ を押す（運転表示ランプ消灯）

お知らせ

- 機種によって、運転開始から設定した風速になるまでに時間がかかることがあります。
- ドライ時は、設定温度に近づくと弱風になります。
- 設定温度は室内ユニットの吸込口付近の温度（目安）です。据付状態によって、室温とは多少異なります。
- リモコンに「暖房準備」を表示中は、風向は上向きになり、消灯後は、設定した風向きになります。
- 湿度の高い梅雨などに長期間運転をすると、露の滴下や、霧が吹き出すことがあります。
- 停電したときは、すべての運転が停止しますが、通電後 運転/停止 ○ を押すと、停電前の内容で運転を再開します。

■ 省エネ運転をしたいとき

（ワイヤードリモコン CZ-10RT3・コントロールスイッチのみ）

運転中に
省エネ
を押す

- エンジン回転数を制限した運転になるため、冷房や暖房などの能力は低下します。

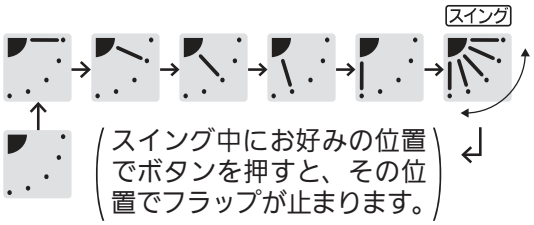
風向を調節する

リモコンで調節する

●1 方向天井カセット形　●2 方向天井カセット形　●4 方向天井カセット形
●高天井用 1 方向カセット形　●天井吊形　●壁掛形



1 運転中に
スイング/風向
を押し、お好みの風向を選ぶ



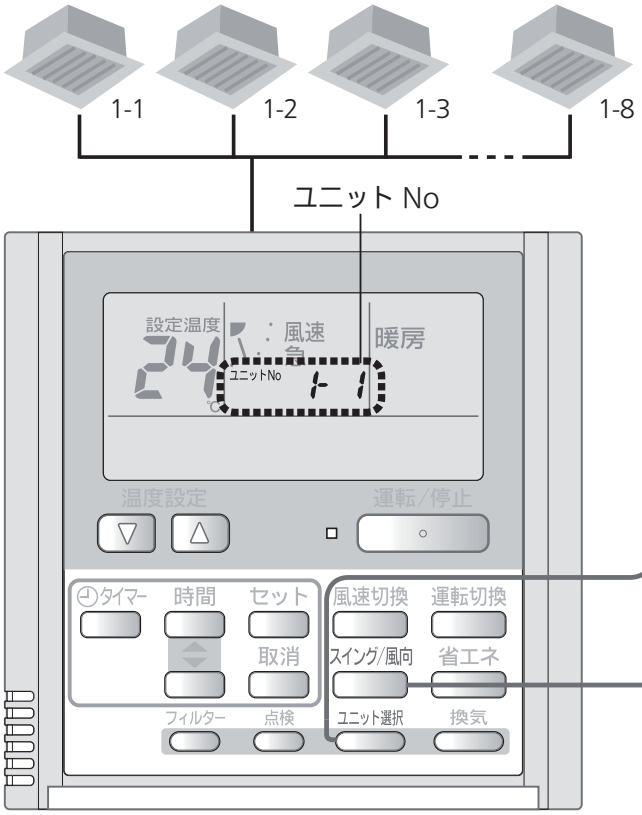
- 冷房とドライの調節範囲は、3 段階です。
- 冷房とドライのスイング中は 5 段階表示されますが、下向きの位置でボタンを押しても、露付き防止のため、3 段階の一番下で止まります。
- 天井ビルトインカセット形、ビルトインオールダクト形、天井埋込形、天吊形厨房用エアコン、ペリメーター用床置形、ペリメーター用床置埋込形は、リモコンでの操作はできません。

お知らせ

- リモコンのスイング・風向の表示は、フラップの動きと同調していません。

■1 台のリモコンで、複数台の室内ユニットを運転しているとき（グループ制御）

グループ制御されているエアコンは、ユニットごとに風向きが設定できます。（風向以外の運転はすべて同じになります。）

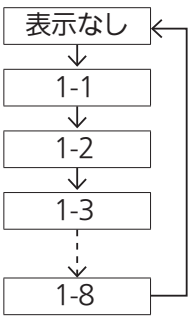


●室内ユニットを個別に風向設定するとき

1 運転中に
ユニット選択
を押し、設定したいユニット No を選ぶ

2 スイング/風向
を押し、お好みの風向を選ぶ

リモコン表示例



●すべての室内ユニットを同時に風向設定するとき

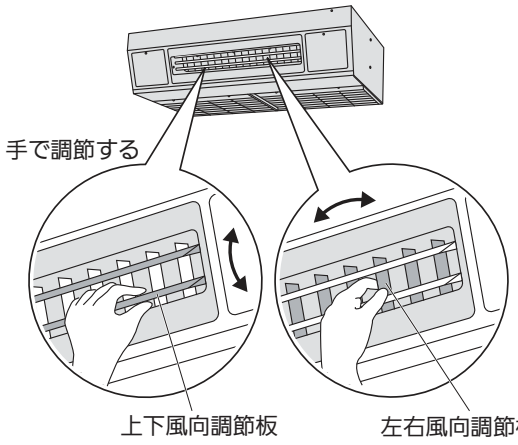
1 運転中に
ユニット選択
を押し、表示なし を選ぶ

2 スイング/風向
を押し、お好みの風向を選ぶ

風向を調節する（つづき）

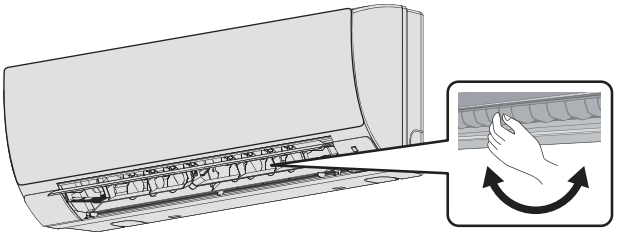
手で調節する

●天吊形厨房用エアコン



●壁掛形

■左右風向調節板は手で調節してください。
吹出口にある左右風向調節板を動かして調節してください。



イラストは、28～45形

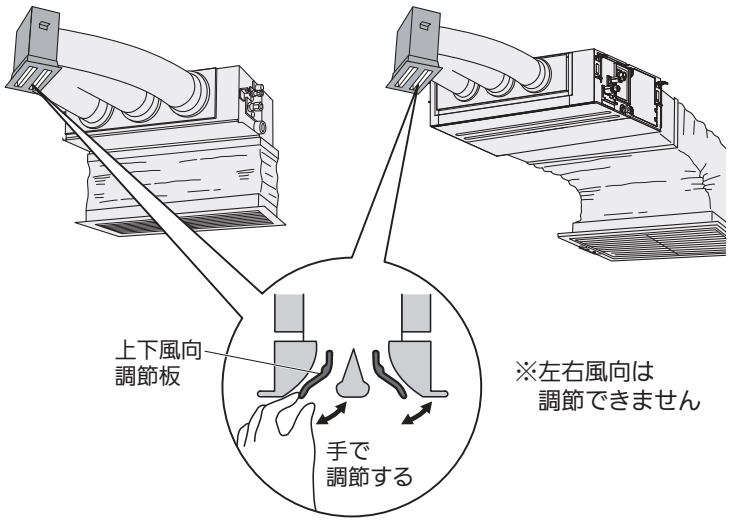
お知らせ

- 天井埋込形、ペリメーター用床置埋込形は、風向調節はできません。

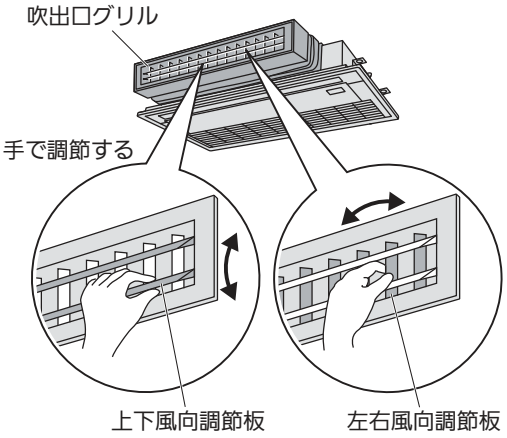
■ 別売品の吹出口グリルを設置しているとき

風向調節板を直接手で調節してください。

●天井ビルトインカセット形　●ビルトインオールダクト形



●高天井用 1 方向カセット形

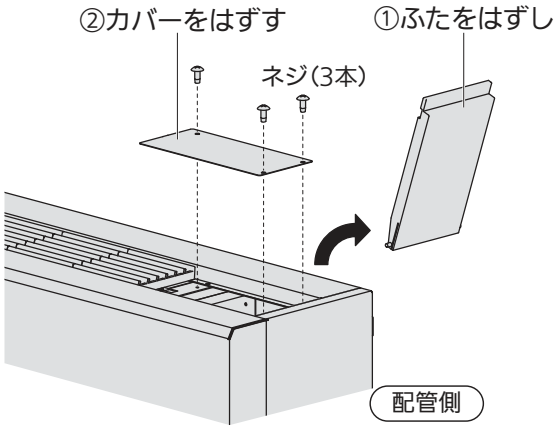


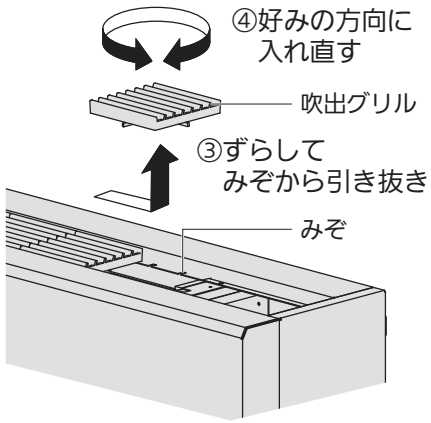
お願い

- 暖気は上に、冷気は下にたまります。風向は、暖房時は下向きに、冷房やドライ時は上向きにしてください。
特に壁掛形の冷房やドライ時は、フラップを水平に、左右風向調節板は垂直（中央）でご使用ください。
(湿度が高い環境（湿度 80 %以上）で長時間運転すると、フラップや吹出口周辺に露が付き、滴下・露飛びの原因)

お買い上げの販売店にご依頼ください

●ペリメーター用床置形
- 固定の吹出しグリルの向きを販売店で変更することができます。
- 工具が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。





お知らせ

- 風が壁側に当たるように吹出グリルを向けると、冷房運転時に露が付着することがあります。
- 吹出グリルは配管側から1個はずすと逆方向からでも取りはずせます。

お願い

- 暖気は上に、冷気は下にたまります。風向は、暖房時は下向きに、冷房やドライ時は上向きにしてください。
（冷房やドライ時は下向きにすると、吹出口に露が付き、滴下の原因）

便利な機能

タイマー運転

タイマー切換について

タイマー ボタン を押すごとに切り換わる

表示なし → 切 → 切 → 入 → 表示なし



（図は切タイマー設定中の表示例）

タイマー設定時間について

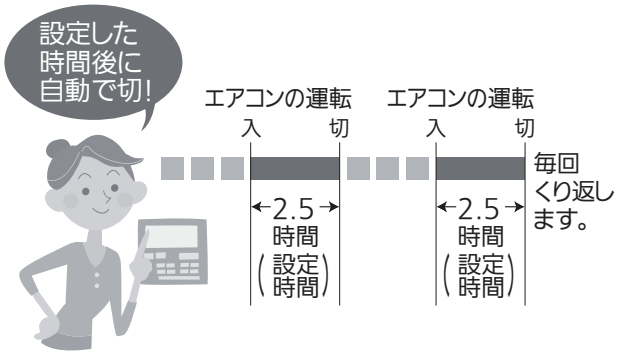
時間 ボタン
- 上：0.5 時間（30 分）単位（上限 72 時間）
- 下：0.5 時間（30 分）単位（下限 0.5 時間）

■ タイマー運転を中止するとき→ 取消 ボタン を押す。

（タイマーの時間と表示が消える）

くり返し切タイマー 切 の動作について

例：毎回 2.5 時間後に運転停止の設定をしたとき



切タイマー 切

設定した時間後にエアコンを停止するとき
例：30 分後に運転を停止したいとき

1. 運転中に タイマー ボタン を 1 回押す
   （リモコン表示部に 切 が表示され、設定中 とタイマー時間が点滅）
2. 時間 ボタン を押し 0.5 を表示する
3. セット ボタン を押す
   （設定中 が消え、タイマー時間が表示される）

くり返し切タイマー 切

毎回、設定した時間後にエアコンを停止するとき
（消し忘れ防止のため）
例：毎回 2.5 時間後に運転を停止したいとき

1. 運転中に タイマー ボタン を 2 回押す
   （リモコン表示部に 切 が表示され、設定中 とタイマー時間が点滅）
2. 時間 ボタン を押し 2.5 を表示する
3. セット ボタン を押す
   （設定中 が消え、タイマー 時間が表示される）

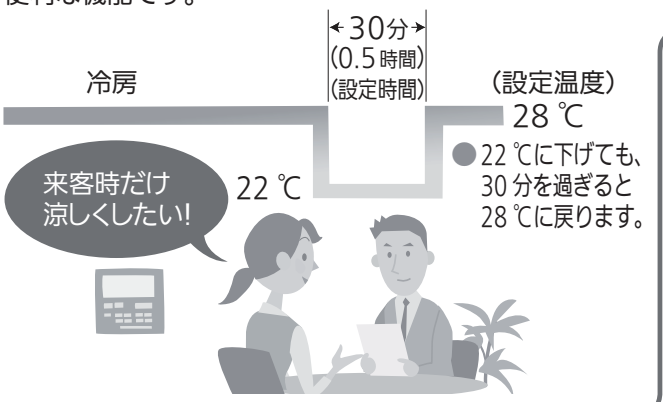
入タイマー 入

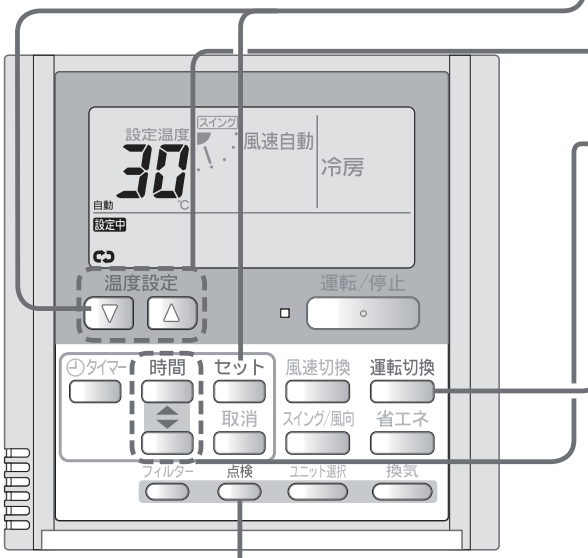
設定した時間後にエアコンを運転するとき
例：8 時間後に運転を始めたいとき

1. 運転中に タイマー ボタン を 3 回押す
   （リモコン表示部に 入 が表示され、設定中 とタイマー時間が点滅）
2. 時間 ボタン を押し 8.0 を表示する
3. セット ボタン を押す
   （設定中 が消え、タイマー時間が表示される）
   ※設定直後、運転は停止します。

設定温度自動リターン機能

来客時など、温度を下げても（または上げても）設定した時間が過ぎると、登録した設定温度に自動で戻る便利な機能です。





運転モード	設定温度範囲	設定時間範囲
冷房・ドライ	18 ℃～30 ℃	0.5 時間（30 分）～ 2.0 時間（120 分）
暖房	16 ℃～30 ℃	
冷暖自動	17 ℃～27 ℃	

- 冷房とドライは同じ設定になります。
- 設定時間は、0.5 時間（30 分）単位、設定温度は、1 ℃単位。
- 設定できる内容は、リモコン及び室内ユニットの種類によって異なります。

■ 途中で操作を中止するとき→点検 を押す。

お知らせ

●他の制御機器から設定温度を変更された場合
設定した時間を経過しても、設定した温度には戻りません。

●停電が発生した場合
通電後 運転/停止 を押すと、設定した時間経過後に、設定した温度に戻ります。

■ 設定したい運転モード・設定温度・時間を登録する
例：30 分後に設定温度を自動で 28 ℃に戻したいとき

1. セット と 温度設定 ▽ を同時に 4 秒以上、長押しする
（リモコン表示部の 自動 設定中 と運転モードが点滅）
2. 運転切換 を押し、運転モードを選ぶ
（初期設定は「冷房」と「ドライ」が表示される）
3. セット を押す
（運転モードが点灯し、自動 設定中 、設定温度とタイマー時間が点滅）
4. 温度設定 ▽ △ を押し 28 を表示する
5. 時間 を押し 0.5 を表示する
6. セット を押す
  - 続けて他の運転モードの設定をするときは手順 2 からくり返す。

表示例



7. 点検 を押す（登録完了）
（元の表示に戻り、自動 と が点灯）

- 以上の登録により、温度を下げても（または上げても）30 分後には自動で 28 ℃（設定温度）に戻ります。一度登録すると、解除するまで温度変更するたびに戻ります。

■ 設定温度自動リターン機能を解除するとき

上記手順 3 のあと

4. 時間 を押し -.- を表示する
5. セット を押す（-.- が点灯に変わる）
6. 点検 を押す（解除完了）
（自動 設定中 とタイマー時間が消え、元の表示に戻る）

■リモコンセンサー

室温センサーは、室内ユニット側（ボディーセンサー）とリモコン側（リモコンセンサー）どちらにも、リモコンからの設定で切り換えが可能です。

設定の方法は「設定」の項目を参照してください。

■グループ制御

この制御を行う時は、次の手順にて設置をしてください。

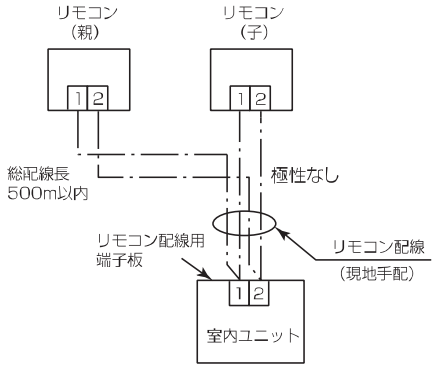
①複数個設置した中の１個は親リモコンとしてください。（工場出荷状態）

②その他のリモコンは、リモコン設定モードで子リモコンにしてください。

＜基本配線図＞

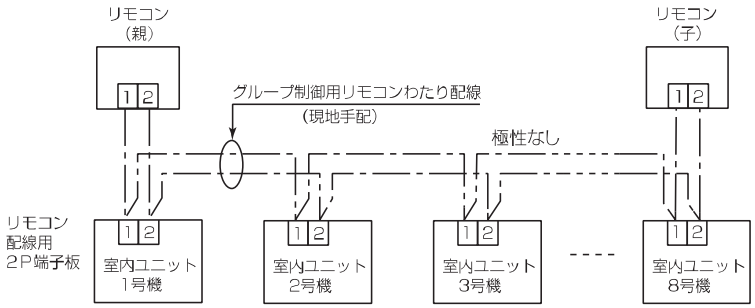
注：配線は誤配線のないように接続してください。（誤配線するとこわれます。）

1）室内ユニット１台を、リモコン２ヶ所設置にて操作する場合。

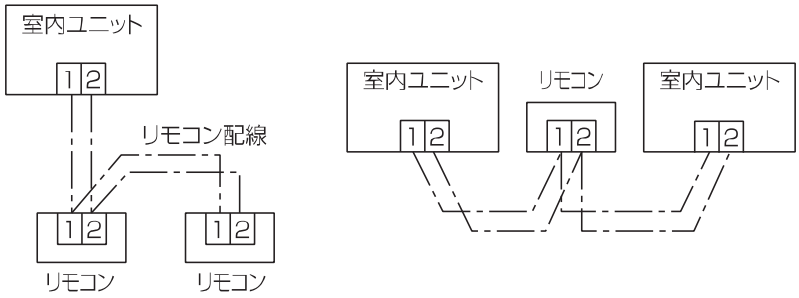


2）複数台グループ制御を、リモコン２ヶ所にて操作する場合。

※親、子リモコンはいずれの室内ユニットに取り付けても動作します。

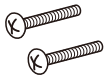


※以下のようなリモコンでわたる配線は禁止です。



■据付

①リモコンスイッチ付属品

番号	付属部品	個数
①	リモコン 	1
②	小ねじ M4×25 	2

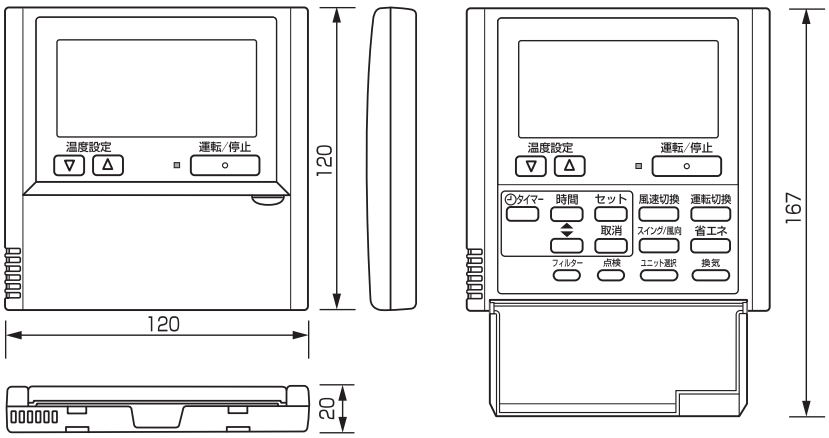
番号	付属部品	個数
③	木ネジ 	2
④	据付工事説明書 	1

②リモコンスイッチの設置方法のお願い

設置場所

- リモコンの取付け高さは、床面より1～1.5mの範囲内にして、室内の平均的温度を感じる場所に設置してください。
- 直射日光や直接外気が当たる窓際等への設置はしないでください。
- 室内の空気の流れから外れた物かげや物の裏側等に設置しないでください。
- このリモコンは防湿･防滴仕様ではありませんので､冷凍･冷蔵庫内には設置しないでください。
- リモコンは、必ず壁面等に垂直に設置してください。
- リモコンを並列設置するときは5㎜以上離してください。

外形寸法図



単位：㎜

③室温センサーの切り換え方法

室温センサーは、室内ユニットとリモコンに内蔵されています。
室温センサーは、どちらか一方で操作します。通常は室内ユニット側に設定されていますが、リモコン側へ切り替えるには以下の手順で設定します。

① 点検 ＋ 取消 ＋ セット ボタンを４秒以上押します。
　注）最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内アドレスです。
　注） ユニット選択 ボタンを押さないでください。
②温度設定▼／▲ボタンで、項目コード 32 を指定します。
③時間▼／▲ボタンで、設定データを 0000（室内ユニット側）から 0001（リモコン側）に変更します。
④ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
⑤ 点検 ボタンを押します。
　通常の停止状態になります。この時、液晶表示部には“ リモコンセンサー ”と表示されます。

注１）親子リモコン制御の時は、親リモコン／子リモコンのどちらからでも設定できますが、リモコンセンサーになるのは親リモコンです。
注２）グループ制御時はグループアドレスが親機の室内ユニットに設定しないとリモコンセンサーが働きません。
注３）リモートセンサーとリモコンを併用する場合はリモコンのリモコンセンサーは使用しないでください。

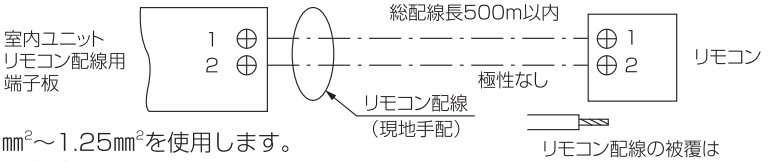
④換気扇との接続について

室内コントロール基板上の換気扇出力（FAN DRIVE：2P（白）,DC12V）（注）で市販の換気扇等を運転する場合は、 換気 ボタンによって操作可能にする、設定変更を行ってください。
① 点検 ＋ 取消 ＋ セット ボタンを4秒以上押します。
　注）最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内アドレスです。
　注） ユニット選択 ボタンを押さないでください。
②温度設定 ▼ ／ ▲ ボタンで、項目コード 31 を指定します。
③時間 ▼ ／ ▲ ボタンで、設定データを 0000 から 0001 に変更します。
④ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
⑤ 点検 ボタンを押します。
　通常の停止状態になります。 換気 ボタンを押して、液晶表示部に“ 換気 ”と表示されることを確認してください。
（注）室内コントロール基板に接続する専用配線（別売品）が必要になります。

⑤リモコンスイッチの取付方法

〈注１〉リモコン配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注２〉リモコンは、ノイズの発生源から離して据付けてください。
〈注３〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。

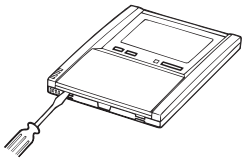
●接続図



- 配線は0.5㎟～1.25㎟を使用します。
- 誤配線すると故障の原因になります。
- リモコン配線には、柔軟性のあるケーブルをご使用ください。
- 単線は使用しないでください。

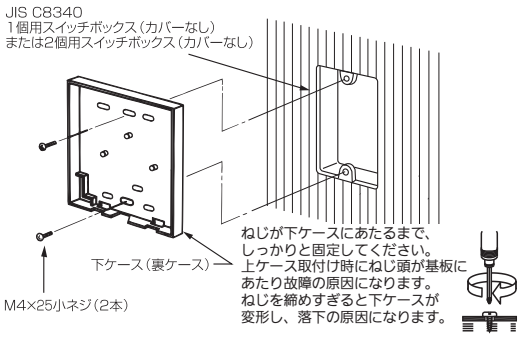
推奨　電線（エコ電線）　VCTF　（EM-ECTF）
VCT　（ECO120）
MVV-S（EM-MEE-S）

①リモコン本体下側の溝にマイナスドライバー等を押しこんであけ、下ケースを外してください。

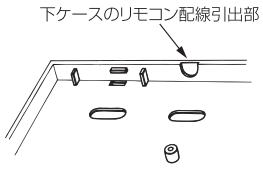


②下ケースの取り付けかた

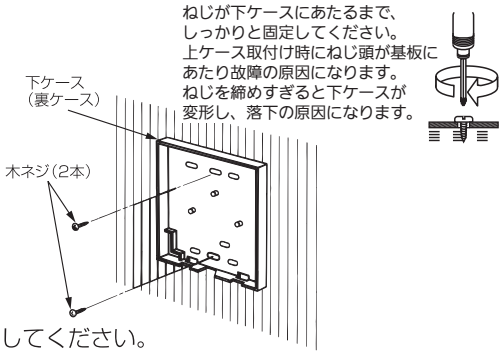
●**リモコンを埋込型としてご使用の場合は、**あらかじめ現地で壁内に埋込まれた図に示すJISボックス（現地手配）に取り付けてください。
下ケースを付属のM4小ネジ（2本）を使用して固定します。なお、取り付ける前に使用するJISボックスに対応するビス用穴をドライバー等で押しあけてください。



●**露出型としてご使用の場合は、**リモコンが固定できる壁面に取り付けてください。
リモコン配線は、下ケースリモコン配線引出部（中央上部の肉薄部）をニッパ等で切り欠き、この部分より出してください。（図A）
下ケースを木ネジ（2本）を使用して壁面に固定してください。

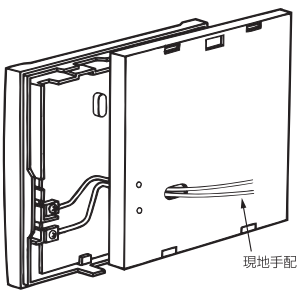


（図A）

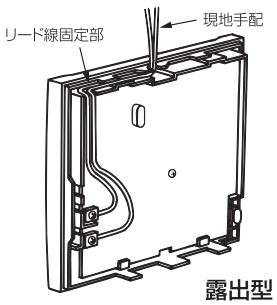


③リモコン端子台に、リモコン配線を接続してください。
リモコンの配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。（誤配線するとこわれます。）

- 図のような経路で配線し、余分なリモコン配線はリモコンケース内に収納しないでください。
- 基板から出ている金属の突起物にリモコン配線が触れないようにご注意ください。



埋込型



露出型

④リモコン本体を下ケースのツメに合わせ、はめ込み取り付けてください。

⑥リモコンを複数個設置される場合のお願い

この親子リモコン制御は、１台もしくは復数台のユニットを、複数個のリモコンで操作するものです。（最大2個まで設置可能です。）

●設定の方法

この制御を行う時は、次の手順にて設置をしてください。
①複数個設置した中の１個は親リモコンとしてください。（工場出荷状態）
②もう一個のリモコンは子リモコンにしてください。

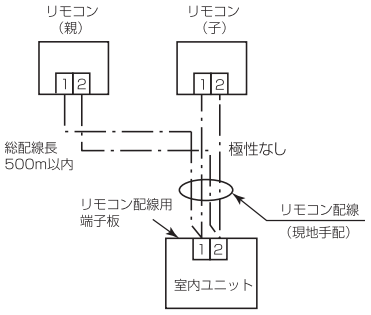
リモコン親子設定のしかた

①［セット］＋［運転切換］ボタンを4秒以上押します。
②温度設定［▼］／［▲］ボタンで、項目コード 01 を指定します。
③時間［▼］／［▲］ボタンで、設定データを 0001（親）から 0000（子）に変更します。
④［セット］ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
⑤［点検］ボタンを押します。
設定した情報は、リモコンの電源が切れても保持されます。

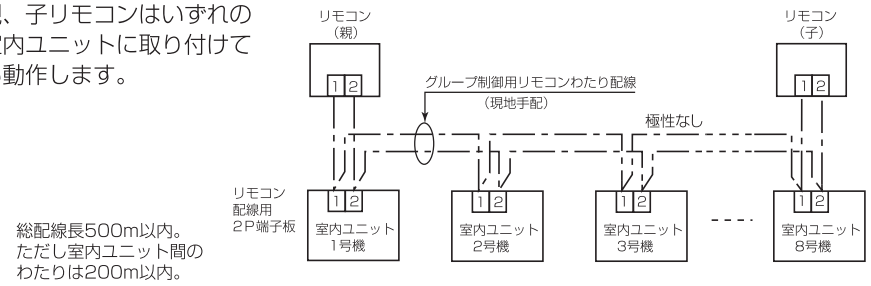
●基本配線図

注：配線は誤配線のないように接続してください。
（誤配線するとこわれます。）

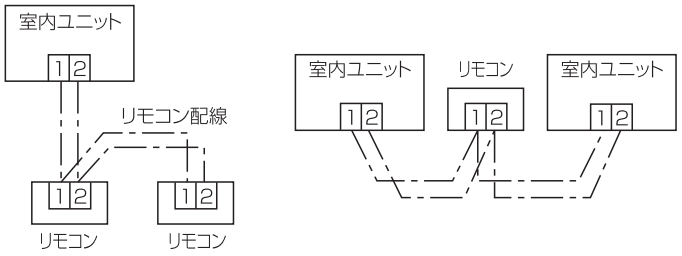
●室内ユニット１台を、リモコン2ヶ所設置にて操作する場合。



●複数台グループ制御を、リモコン2ヶ所にて操作する場合。
※親、子リモコンはいずれの室内ユニットに取り付けても動作します。



※以下のようなリモコンで渡る配線は禁止です。



⑦リモコン試運転設定

1) リモコンの 点検 ボタンを４秒以上押して液晶表示部に “試運転” と表示されてから、運転/停止 ボタンを押してください。
   ・ 試運転中は液晶表示部に “試運転” と表示されます。
   ・「試運転」の位置では温度調節はできません。
   機械に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。
2)「試運転」は暖房、冷房、送風のいずれかの運転モードでご使用ください。
   (注) 電源投入後、および運転停止後約３分間は、室外ユニットは運転しません。
3) 試運転終了後は再度 点検 ボタンを押して液晶表示部の “試運転” 消灯を確認してください。
   (このリモコンは連続試運転を防止するために、60分タイマー解除機能付となっています。)

⑧サービス機能の一覧

	モード	機能概略	操作ボタン	復帰ボタン	ユニットの状態
1	試運転	強制サーモ ON で運転	点検 ４秒以上押します	点検	運転状態を維持
2	サービスモニター	各種センサーなどの値を表示	点検 + 取消 ２つ同時に４秒以上押します	点検	運転状態を維持
3	サービスチェック	警報の履歴を表示	点検 + セット ２つ同時に４秒以上押します (履歴の削除は 取消)	点検	運転状態を維持
4	積算運転時間モニター	(リンクされた) 室外ユニットの積算運転時間の表示	時間 ▲ ▼ ２つ同時に４秒以上押します	点検	運転状態を維持
5	簡単設定	フィルター寿命、運転モード優先、集中制御アドレスなどの設定	点検 + 換気 ２つ同時に４秒以上押します	点検	設定中のリモコンが接続されている個別またはグループの室内ユニットが停止
6	詳細設定	系統 (室外ユニット) アドレス、室内ユニットアドレス、グループなどの設定	点検 + セット + 取消 ３つ同時に４秒以上押します	点検	設定中のリモコンが接続されている個別またはグループの室内ユニットが停止
7	アドレス変更	室内ユニットアドレスの変更	点検 + 時間 + ▲ ２つ同時に４秒以上押します	点検	全システムが停止
8	省エネ	省エネモード運転	省エネ １回押します	省エネ	運転状態を維持
9	リモコン設定	親子リモコン設定リモコンチェックなど	セット + 運転切換 ２つ同時に４秒以上押します	点検	運転状態を維持

⑨積算運転時間モニター

●機能概要

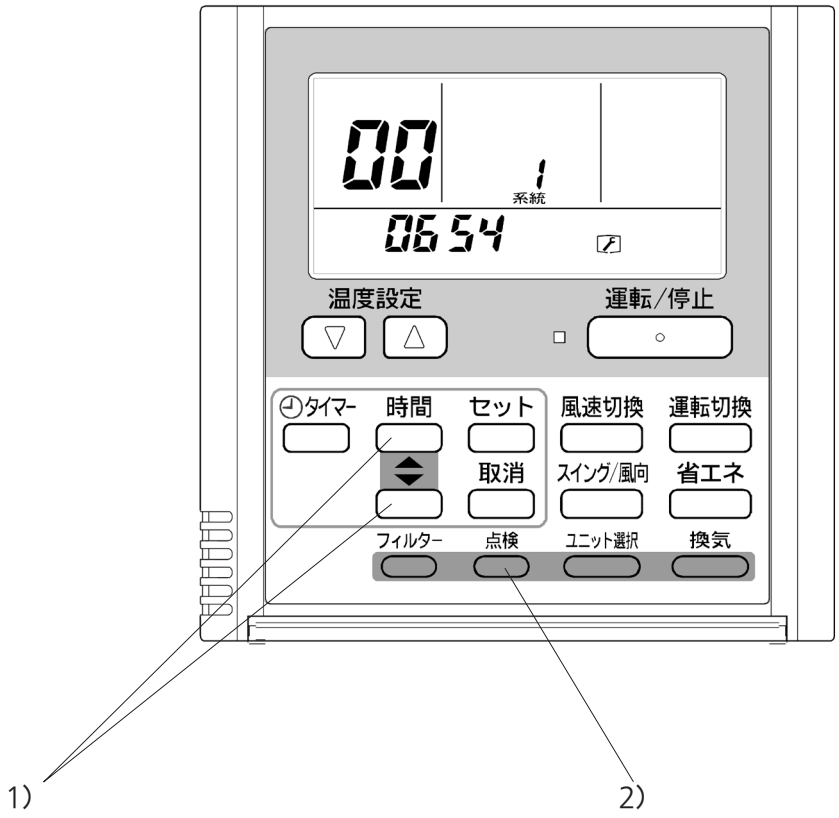
室外ユニットの積算運転時間を表示します。(Wマルチの子機は表示できません。)

●操作方法

1) 時間 ボタンを同時に4秒以上押し続けると、積算時間表示画面になります。
1系統～30系統まで、約5秒ずつ順番に表示します。
室外ユニットが存在しない系統の運転時間は、----- 表示になります。
30系統まで表示完了すると、自動的に終了し通常リモコン表示に戻ります。

2) 点検 点検ボタンを押すと、強制的に終了し通常リモコン表示に戻ります。

例) 系統1の室外ユニットの積算時間が、654時間のとき



⑩簡単設定モード

●室内ユニットのよく変更の起こり得る項目を変更することができます。

●設定可能な項目

項目コード	パラメーター	設定データ	
01	フィルター寿命	0=無　1=150　2=2500　3=5000　4=10000 5=目詰まりセンサーを使用 （出荷時に機種に合わせて設定済み）	
02	フィルター汚れ程度	0=通常（出荷時）1=大	
03	集中制御アドレス	1=集中1　2=集中2～64=集中64　99=未定（出荷時）	
04	運転切り替え優先	0=通常（出荷時）　1=優先	
05	暖房サーモOFF時風速	コンプレッサーON時 0=L風1分LL風3分 1=L風 2=LL風 4=L風1分LL風3分 5=L風 6=LL風	コンプレッサーOFF時 LL風 〃 〃 L風 〃 〃
06	暖房時吸い込み温度シフト	0=0　1=1　2=2　3=3　4=4　5=5　6=6 （出荷時に機種に合わせて設定済み）	
0F	冷房専用	0=冷暖兼用（出荷時）1=冷房専用	

●設定方法

1）点検 ＋ 換気 ボタンを同時に4秒以上押します。
（ユニットNo. ALL、項目コード01、設定データ、設定中が点滅します。）

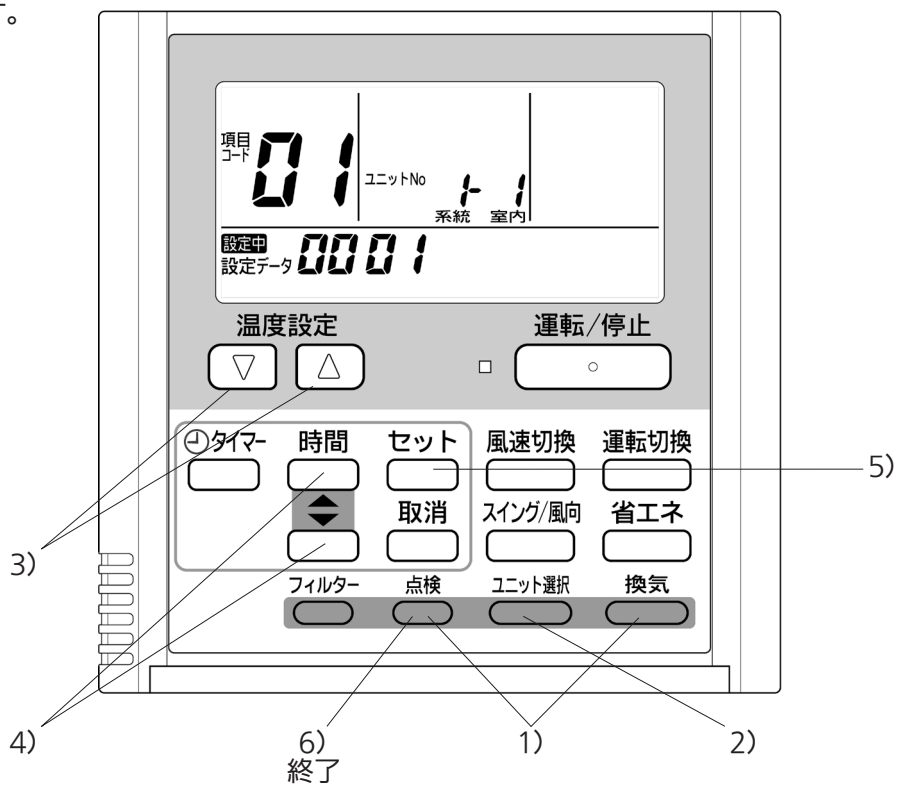
2）グループすべての室内ユニットに設定する場合はユニットNo.ALLのまま、またグループ内の室内ユニットを個別に設定する場合は ユニット選択 ボタンで設定したいユニットNo.を選択します。（選択されている室内ユニットのファンが動作します。）

3）温度設定 △または▽ ボタンで項目コードを選択します。

4）時間 ▽または△ で設定データを選択します。

5）セット ボタンを押して設定します。（設定中が点灯します。）

6）2～5を繰り返してすべての室内ユニットへの設定が完了したら、ユニット選択 ボタンを押して、簡単設定モードを終了します。



⑪詳細設定モード

●室内ユニットの普段あまり変更のない項目を変更することができます。

●設定可能な項目（簡単設定モードの内容も含まれます）

項目コード	パラメーター	設定データ
12	系統（室外ユニット）アドレス	1=1号機 2=2号機 ～ 30=30号機 99=未定（出荷時）
13	室内ユニットアドレス	1=1号機 2=2号機 ～ 64=64号機 99=未定（出荷時）
14	グループ設定	0=個別 1=親機 2=子機 99=未定（出荷時）
30	さがぁる	0=なし 1=あり
31	換気扇（ロスナイ）	0=なし 1=あり
32	リモコンセンサー	0=ボディーセンサー 1=リモコンセンサー
34	運転切換管理中表示	0=通常（表示あり）1=消灯
63	換気運転LED表示	0=なし 1=あり（出荷時）
66	換気運転開始からの自動停止時間	0=制御なし（出荷時） 1=5分 2=10分 ～ 124=620分 125=625分
67	換気運転と室内自動制御時間	0=自動制御なし 1=5分 2=10分 3=15分 4=20分(出荷時) ～ 15=75分
68	換気差温の温度設定	0=0deg 1=1deg 2=2deg ～ 5=5deg 6=制御なし
72	フィルター表示時間任意設定	0=任意設定なし 1=100時間 2=200時間 ～ 20=2,000時間（出荷時）～ 125=12,500時間

●設定方法

1) 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンの３つを同時に４秒以上押します。
（ユニットNo.、項目コード□□、設定データ、設定中が点滅します。）

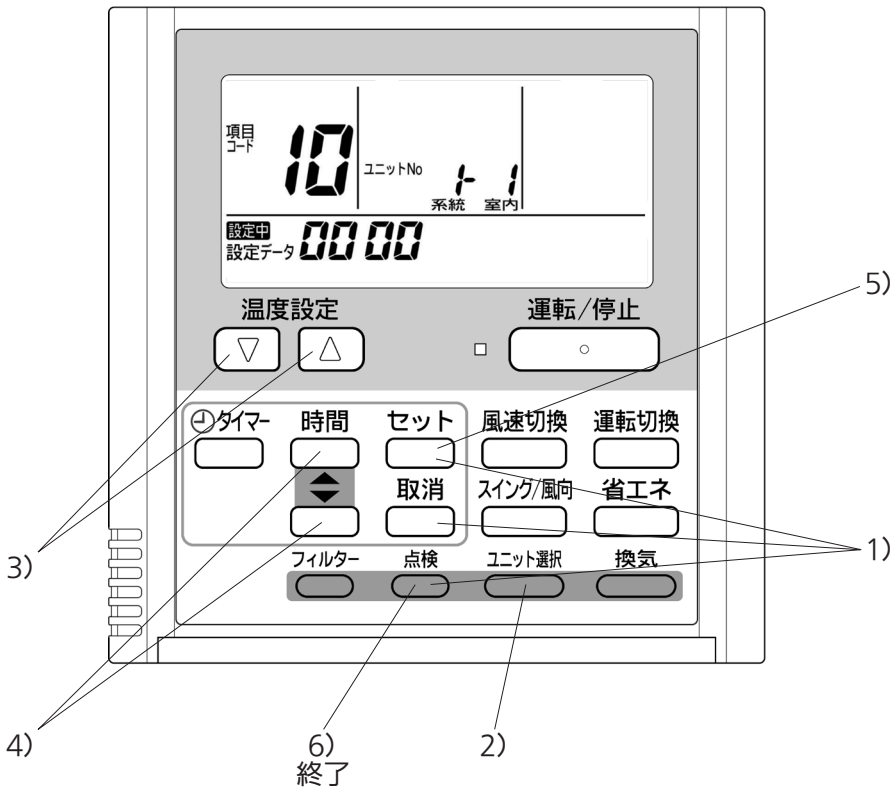
2) ユニット選択 ボタンで設定したいユニットNo.を選択します。
（選択されている室内ユニットのファンが動作します。）

3) 温度設定 △ または ▽ ボタンで項目コードを選択します。

4) 時間 または で設定データを選択します。

5) セット ボタンを押して設定します。（設定中が点灯します。）

6) 2～5を繰り返してすべての室内ユニットへの設定が完了したら、点検 ボタンを押して、詳細設定モードを終了します。



⑫運転モード優先

●運転モード（冷・暖・ドライ・送風）を優先に設定された室内ユニット（運転モード優先室内ユニット）の運転モードによって、同一配管系統にある他の室内ユニット（通常の室内ユニット）の運転モードを管理することができます。

1）優先設定された場合の他の通常室内ユニットが選べる運転モード

・優先室内ユニットは停止していても運転モードの規制は有効です。

優先室内ユニットで選択されている運転モード	他の通常室内ユニットが選べる運転モード
「冷房」	「冷房」・「ドライ」・「送風」
「ドライ」	「冷房」・「ドライ」・「送風」
「暖房」	「暖房」・「送風」
「送風」	「暖房」・「冷房」・「ドライ」・「送風」

2）優先室内ユニットの運転モードを変更した場合の、通常室内ユニットに与える運転モード

・通常室内ユニットの運転中に優先室内ユニットの運転モードを変更すると、運転中の通常室内ユニットの運転モードが変化する場合があります。

	運転中の通常室内ユニット	優先室内ユニット	その後の通常室内ユニットの運転モード
運転モード	「冷房」運転中	「暖房」選択	「暖房」運転
		「冷房」選択	「冷房」運転
		「ドライ」選択	「冷房」運転
		「送風」選択	「冷房」運転
	「ドライ」運転中	「暖房」選択	「暖房」運転
		「冷房」選択	「ドライ」運転
		「ドライ」選択	「ドライ」運転
		「送風」選択	「ドライ」運転
	「暖房」運転中	「暖房」選択	「暖房」運転
		「冷房」選択	「冷房」運転
		「ドライ」選択	「冷房」運転
		「送風」選択	「暖房」運転
	「送風」運転中	「暖房」選択	「送風」運転
		「冷房」選択	「送風」運転
		「ドライ」選択	「送風」運転
		「送風」選択	「送風」運転

※空間清浄システム搭載形エアコン４方向天井カセット形には、ドライ機能はありません。

●優先室内ユニットの設定方法

1）簡単設定モードに入り、ユニット選択 ボタンで設定したいユニットを選択します。

2）温度設定 △ または ▽ ボタンで項目コード 04「運転モード優先」を選択します。

3）時間 ▷ または ◁ で設定データを 1（普通に戻す場合は 0）にして、セット ボタンを押します。

4）簡単設定モードを終了します。

⑬アドレス設定

●リモコンからの手動でアドレスを設定する方法

<室内ユニットとリモコンが１対１の場合>

内容：リモコンの詳細設定モードに入り、設定します。

方法：

1) 電源投入します

2) リモコンから、詳細設定モードに入りアドレスの設定を行います。

a) 詳細設定モードに入ります。

・ 点検 + セット + 取消 ボタンを４秒以上押します。

b) 系統（室外ユニット）アドレスを設定します。

・ 温度設定 △ または ▽ ボタンで、項目コード 10（最初）を 12 に変更します。

・ 設定データ0099（アドレス未定時）を、時間 または ボタンで、同一冷媒配管の系統（室外ユニット）アドレスに変更します。

・ セット ボタンを押します。（表示が点灯すればOK）

c) 室内ユニットアドレスを設定します。

・ 温度設定△または▽ ボタンで、項目コード 13 に変更します。

・ 設定データ0099（アドレス未定時）を、時間 または ボタンで、お好みの室内ユニットアドレス（番号）に変更します。

・ セット ボタンを押します。（表示が点灯すればOK）

d) グループ設定を設定します。（グループ制御をしていない場合も設定が必要です）

・ 温度設定△または▽ボタンで、項目コードを 14 に変更します。

・ 設定データ0099（未定時）を、時間 または ボタンで 0 に変更します。（ 0 は個別を意味します。）

・ セット ボタンを押します。（表示が点灯すればOK）

e) 詳細設定モードを終了します。

・ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

<グループ配線をしている場合>

内容：設定したい室内ユニットとリモコンの配線を一時的に、1対1に接続します。
リモコンの詳細設定モードに入り、個別に設定します。

方法：

1) 設定したい室内ユニットとリモコンの配線を1対1に接続します。
室外ユニットとの配線はそのままです。

2) 電源投入します

3) 詳細設定モードに入りアドレスの設定を行います。

a) 詳細設定モードに入ります。

・ 点検 + セット + 取消 ボタンを4秒以上押します。

b) 系統アドレスを設定します。

・ 温度設定 △または ▽ボタンで、項目コード 10（最初）を 12 に変更します。
・ 設定データ0099（アドレス未定時）を、時間 ▷または◁ ボタンで、同一冷媒配管の系統（室外ユニット）アドレスに変更します。
・ セット ボタンを押します。（表示が点灯すればOK）

c) 室内ユニットアドレスを設定します。

・ 温度設定△または▽ ボタンで、項目コード 13 に変更します。
・ 設定データ（アドレス未定時）を、時間 ▷または◁ ボタンで、お好みの室内ユニットアドレス（番号）に変更します。
・ セット ボタンを押します。（表示が点灯すればOK）

d) グループ設定を設定します。

・ 温度設定△または▽ボタンで、項目コードを 14 に変更します。
・ 設定データ0099（未定時）を、タイマー時間 ▷または◁ ボタンで 変更します。
子機は、2 に変更します。（グループ内に、複数設定されます。）
親機は、1 に変更します。（親機は、グループ内に必ず一台設置してください。）
・ セット ボタンを押します。（表示が点灯すればOK）

e) 詳細設定モードを終了します。

・ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

⑭アドレス確認

●室内ユニットのユニット No.（番号）の説明

・ 室内ユニットのユニット No. の意味について（リモコンの表示部に表示されます。）

ユニット No.

88-88 → →・ユニットNo.（ユニット番号）：室内ユニットのアドレスを意味する。

↑　↑

↑・室内ユニットアドレス：同一冷媒配管の中で 1 から順に番号が付いています。（1 ～ 64）

・系統（室外ユニット）アドレス：接続されている室外ユニットのアドレスと同じになります。

（室外ユニットアドレス／室内外組合せアドレス）（1 ～ 30）

●リモコンから、室内ユニットの No.（番号）と室内ユニットの位置を確認する方法

（室内ユニットのアドレスは全て、設定済みのこと。）

・室内ユニット本体の位置はわかるが、その室内ユニットアドレスを知りたい時。

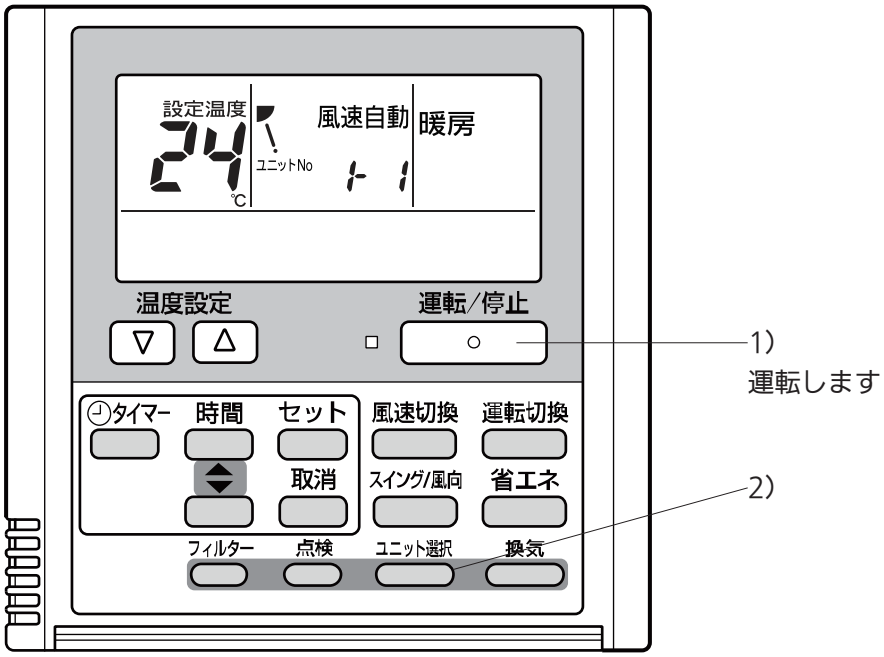
<個別運転（リモコンと室内ユニットが 1 対 1）の場合>（運転中に行ってください。）

1）運転します。

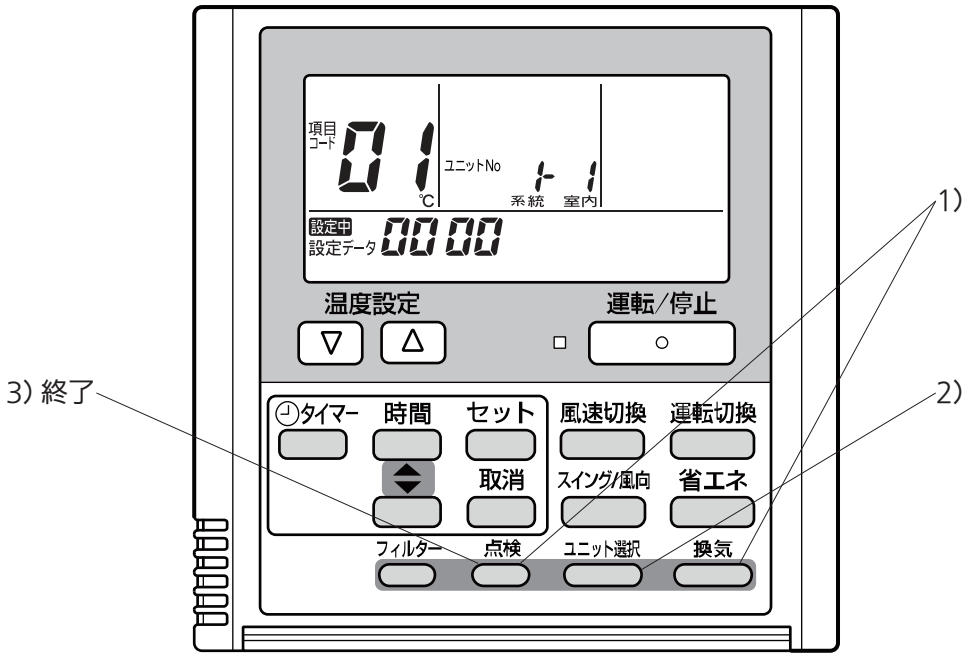
2）ユニット選択 ボタンを ON します。

LCD に、ユニット No. 88-88 が表示されます。（数秒後に消えます。）

表示されたユニット No. が、その室内ユニットのアドレスを表します。



<グループ制御内のユニット番号を確認する方法>（停止中に行ってください。）
（注 この方法では、グループ制御内の室内ユニットが停止します。）
内容：グループ制御内の室内ユニット No. を順次表示し、その室内ユニットのファンが ON します。



1) 簡単設定モードに入ります。（停止中に行ってください。）
室外ユニットとの配線はそのままです。
a) 点検 + 換気 ボタンを４秒以上押します。
この時、ユニット No. ALL と表示されます。
この時、グループ制御内の全室内ユニットのファンが ON します。

2) 順次、次の室内ユニットを選択します
a) ユニット選択 ボタンを押すと、グループ制御内のユニット No. を順次表示します。
最初に表示されるユニット No. が親機のアドレスを指す。
この時、選択されている室内ユニットのみファンが ON します。

3) 簡単設定モードを終了します。
a) 点検 ボタンを押すと簡単設定モードは終了します。
この時、グループ制御内の室内ユニットは全停止します。

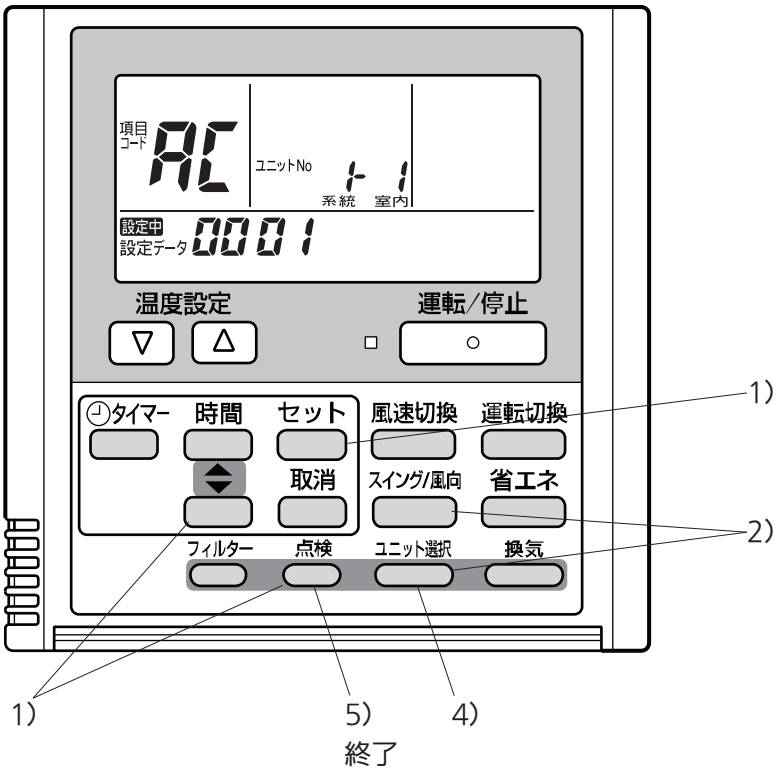
・アドレスから、その室内ユニット本体の位置を知りたい時。

<システム全てのユニット番号を確認する方法>

（注 この方法では、システムの全室内ユニットが停止します。）

内容：同一冷媒配管の室内ユニット番号と位置を確認できます。

室外ユニットを選択し、その同一冷媒配管の室内ユニット No. を順次表示し、その室内ユニットのファンが ON します。



1) アドレス確認 / 変更モードに入る。

a) タイマー時間 ▼ + 点検 ボタンを同時に、4 秒以上押します。

最初は、1 系統 項目コード AC (Address Change) が表示されます。

2) 系統 (室外ユニット) アドレスを選択します。(室外ユニットを選択します。)

a) ユニット選択 または スイング/風向 ボタンで系統 (室外ユニット) アドレスを選択します。

3) セット ボタンで、選択した系統 (室外ユニット) アドレスを確定します。

選択した室外ユニットの冷媒配管につながる室内ユニットのアドレスが表示され、ファンが ON します。

4) 順次、次の室内ユニットを選択する。

a) ユニット選択 ボタンを押すと、同一配管の室内ユニット No. を順次表示します。

この時、選択されている室内ユニットのみファンが ON します。

5) アドレス確認 / 変更モードを終了します。

a) 点検 ボタンを押すとアドレス確認 / 変更モードは終了します。

⑮アドレス変更

●リモコンから、一度設定された室内ユニットアドレスを変更する方法

≪変更可能なアドレス≫

室内ユニットのユニット No. のうち、室内ユニットアドレスのみ変更できます。

≪変更できないアドレス≫

室内ユニット No. のうち、系統（室外ユニット）アドレスは変更できません。

（冷媒配管のつながる室外ユニットのアドレスに強制的に固定されているため）

もしも、どうしても変更したい場合は、室外ユニットに正しい系統（室外ユニット）アドレスを設定して、自動アドレスを行ってください。

＜リモコン個別かグループ制御内の室内ユニットアドレスを変更する方法＞

（自動アドレスで設定済みのときに可能）

内容：グループ制御内の室内ユニットアドレスを変更できます。

方法：詳細設定モードに入って、室内ユニットアドレス（項目コード 13）を変更します。

（詳細設定モードの項を参照）

（注）アドレス変更で、もしも、誤ってアドレスの重複が発生した場合、自動アドレスをやり直してください。

＜システム全ての室内ユニットアドレスを変更する方法＞

（自動アドレスで設定済みのときに可能）

内容：同一冷媒配管ごとに、室内ユニットアドレスを変更できます。

方法：アドレス確認／変更モードに入って、アドレス変更を行います。

（注）この方法では、システム内の全ての室内ユニットが停止します。

1）アドレス確認／変更モードに入る。

a）タイマー時間 ▼ボタン＋点検ボタン同時に、4秒以上押します。

最初は、1 系統 項目コード AC（Address Change）が表示されます。

2）室外ユニットを選択します。（室外ユニットごとに、室内ユニットアドレスを変更するため）

a）ユニット選択ボタンまたはスイング/風向ボタンで、系統（室外ユニット）アドレスを選択します。

3）セットボタンを押して確定します。

選択した室外ユニットの冷媒配管につながる室内ユニットのアドレスが表示され、ファンがONします。設定データに、最初は現室内ユニットアドレスが表示されます。｛系統（室外ユニット）アドレスは、表示されません。｝

4）室内ユニットアドレスを変更します。

a）時間 ▲ボタンまたは ▼ボタンで、設定データの室内ユニットアドレスがUP／DOWNします。設定データを新しいアドレスに変更します。

5）変更した設定データ（＝室内ユニットアドレス）を確定します。

a）セットボタンを押します。（表示部の表示が全点灯します。）

6）順次、次の室内ユニットを選択します。

a）ユニット選択ボタンを押すと、同一配管の室内ユニット No. を順次表示します。 この時、選択されている室内ユニットのみファンがONします。

7）4～6を繰り返し全ての室内ユニットアドレスを、重複しないように変更します。 この時、変更した室内ユニットアドレスに間違いがないか、確認します。

8）変更した全てのアドレスを確定します。

a）最後に、セットボタンを押します。（表示部の表示が全点灯します。）

9）アドレス変更モードを終了します。

a）点検ボタンを押すとアドレス確認／変更モードは終了し通常の停止状態になります。

⑯サービス機能

●各モニター機能

≪サービスモニター（センサー温度モニター）の方法≫

内容：リモコンからサービスモニターモードに入り、リモコン・室内ユニット・室外ユニットの各センサー温度をモニターできる機能

方法：

1) サービスモニターモードに入ります。

a) 点検 + 取消 ボタンを同時に４秒以上押します。
サービスモニターが点灯し、最初は親機の室内ユニット No. が表示され、項目コード 0 0 の温度が表示されます。

2) モニターしたいセンサーナンバー（項目コード）に変更します。

a) 温度設定 △ または ▽ ボタンを押して、モニターを行うセンサーのセンサーナンバー（項目コード）に変更します。（項目コードは下表を参照のこと）

3) モニターを行う室内ユニットを選択します。

a) ユニット選択 ボタンを押して、モニターを行う室内ユニットに変更します。（グループ制御内の室内ユニットとその室外ユニットのセンサーをモニターできます。）

4) サービスモニターを終了し、通常に戻します。

a) 点検 ボタンを押すと通常のリモコンに戻ります。

サービスモニターの項目コード一覧表

01 ～ 06：室内ユニットデータ
07 ～ 2A：室外ユニットデータ
0B ～ 49：無効

項目コード	データ名		備考
00	制御に使用中の室温		
01	リモコン温度		
02	室内吸い込み温度		
03	室内吹き出し温度		
04	E1 温度		
05	E3 温度		
06	室内電動弁開度		
07	エンジン実回転数	1/10	
08	コンプレッサー入口圧力	×100	
09	コンプレッサー出口圧力	×100	
0A	E2 温度	1/1	
0B	エンジン運転時間	1/100	
0C	スタータ運転回数	1/100	
0D	エンジン設定回転数	1/10	
0E	コンプレッサー入口温度	1/1	
0F	コンプレッサー出口温度	1/1	
10	室外熱交入口温度	1/1	
11	リキッド弁開度	1/1	
12	バイパス弁開度	1/1	
13	室外膨張弁１開度	1/1	
14	エンジン運転回数	1/100	Wマルチの場合は親機データ
15	スタータ運転時間	1/100	Wマルチの場合は親機データ
16	クラッチ運転時間	1/100	Wマルチの場合は親機データ

項目コード	データ名		備考
17	クラッチ運転回数	1/100	Wマルチの場合は親機データ
18	冷却水温度	1/1	Wマルチの場合は親機データ
19	外気温度	1/1	Wマルチの場合は親機データ
1A	クラッチコイル温度	1/1	Wマルチの場合は親機データ
1B	触媒温度	1/1	Wマルチの場合は親機データ
1C	油面計測温度(W)	1/1	Wマルチの場合は親機データ
1D	クラッチコイル2温度	1/1	Wマルチの場合は親機データ
1E	排ガス温度	1/1	Wマルチの場合は親機データ
1F	室外ファン1回転数	1/1	Wマルチの場合は親機データ
20	室外ファン2回転数	1/1	Wマルチの場合は親機データ
21	冷却水ポンプ設定回転数	1/10	Wマルチの場合は親機データ
22	冷却水ポンプ実回転数	1/10	Wマルチの場合は親機データ
23	スロットル開度	1/1	Wマルチの場合は親機データ
24	室外膨張弁2開度	1/1	Wマルチの場合は親機データ
25	冷却水3方弁開度	1/10	Wマルチの場合は親機データ
26	回収弁開度	1/1	Wマルチの場合は親機データ
27	温水取り出し3方弁開度	1/10	Wマルチの場合は親機データ
28	回転速度変動値(F_RPM)	×10	Wマルチの場合は親機データ
29	コンプオイルレベル	1/1	Wマルチの場合は親機データ
2A	エンジン点火時期	1/1	Wマルチの場合は親機データ

≪サービスチェック（故障履歴モニター）の方法≫

内容：過去の故障内容を呼び出す機能

方法：

1) サービスモニターモードに入ります

a) 点検 ＋ セット ボタンを同時に４秒以上押します。

サービスチェックが点灯し、最初に項目コード01を表示し、一番新しい警報内容が表示されます。

警報の発生した室内ユニット No. と警報内容が表示されます。

2) ほかの故障履歴をモニターするには、故障履歴番号を変更する。

a) 温度設定 △ または ▽ ボタンを押して、故障履歴番号（項目コード）を変更します。

項目コード01（最新）－－→項目コード04（古い）

（注）故障履歴は、４つメモリされています。

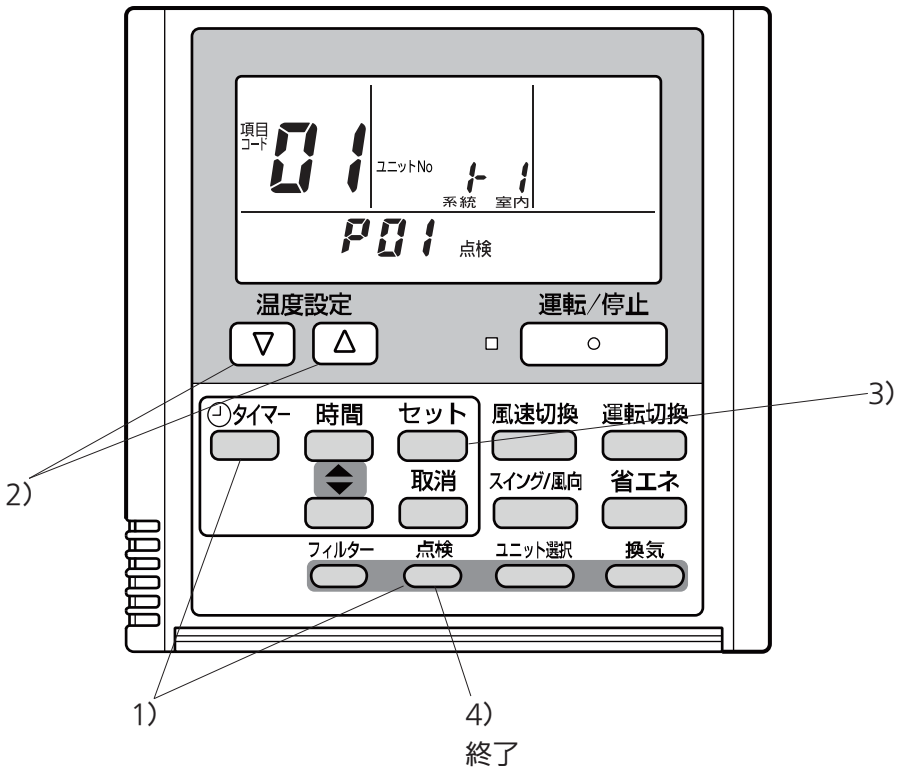
3) 故障履歴内容を全て消去する方法。

a) ユニット選択 ボタンを押します。

室内ユニットの警報履歴内容は全て消去されます。

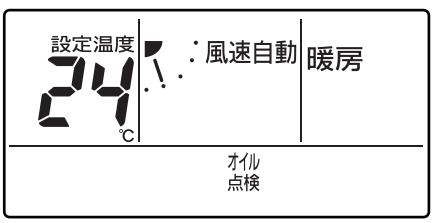
4) サービスモニターを終了し、通常に戻します。

a) 点検 ボタンを押すと通常のリモコンに戻ります。



■リモコンへの「オイル点検」表示について

ガスエンジンの運転時間が所定時間になりますと、リモコンに“オイル点検”が点滅します。（右図）
“オイル点検”が点滅した場合は販売会社またはサービス会社に連絡し、定期点検を行ってください。
点検を行わないと所定時間以後、運転時間に応じた設定間隔ごとに運転を停止します。
そのまま放置しておきますと故障の原因となります。（スイッチの設定により、表示しない場合もあります。）

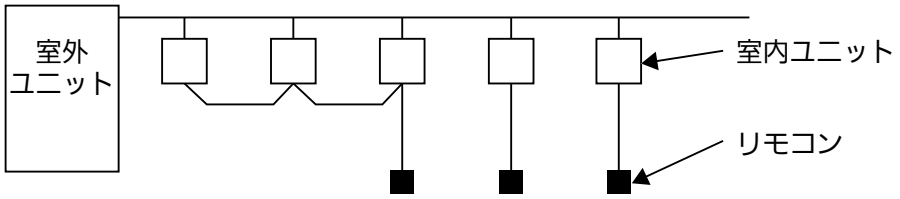


⑰省エネボタンの機能と使用上のご注意

省エネボタン付きのリモコンは、ご使用方法によっては不都合な場合がありますので、以下の機能と使用上のご注意をご覧ください。

●各モニター機能

- 省エネボタンを押すことにより、高効率な運転（省エネ運転）を行います。このとき、機器の持つ最大空調能力は80～90%程度に抑えられます。
  （注意）すでに効率の良い運転を行っている場合には、ボタンを押しても運転状態が変わらないことがあります。
- ひとつの冷媒系統に複数台のリモコンが設置されている場合、いずれかひとつのリモコンで省エネボタンを押すとその冷媒系統全体が省エネ運転を行います。

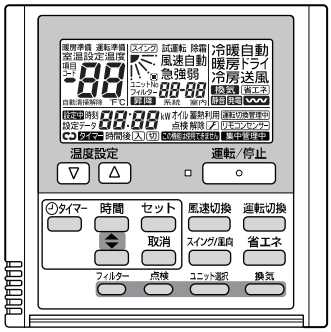


いずれかのリモコンの省エネボタンを押すことで、この系統全体が省エネ運転を行います。また、省エネ運転の時いずれかのリモコンの省エネ運転を行います。

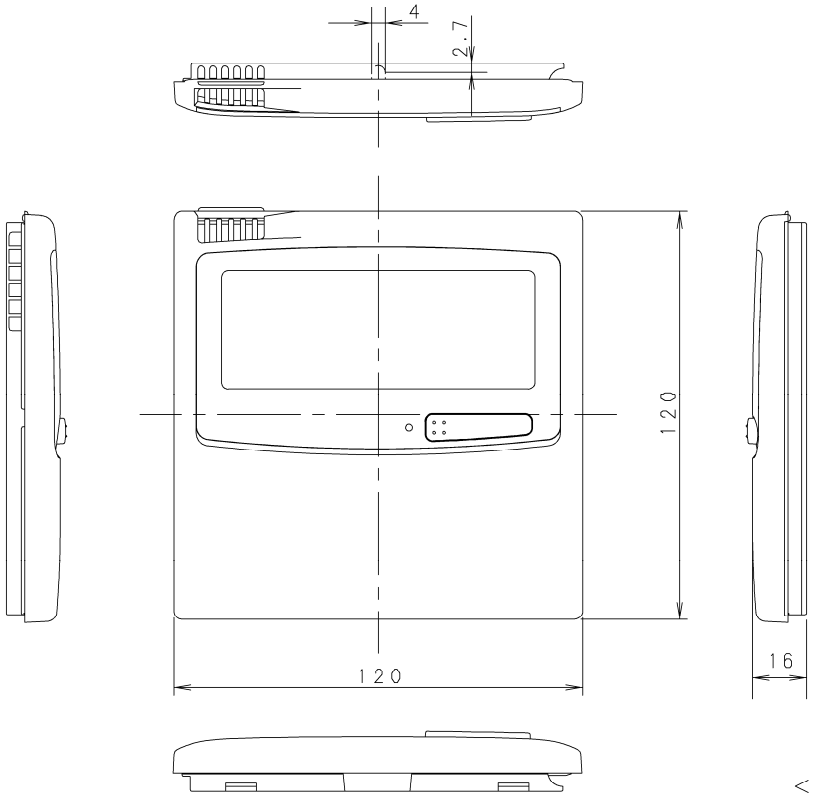
- リモコン毎に省エネボタンの有効、無効の設定が可能ですので、省エネ運転が不要の場合には、リモコン毎に無効設定することができます。

●使用上のご注意

- 上記機能のように、“いずれかひとつのリモコンで省エネボタンを押すとその系統全体が省エネ運転を行います”ので、ひとつの冷媒系統で、複数のテナントの空調をする場合は、省エネ運転の有効、無効の不都合が生じる場合があります。



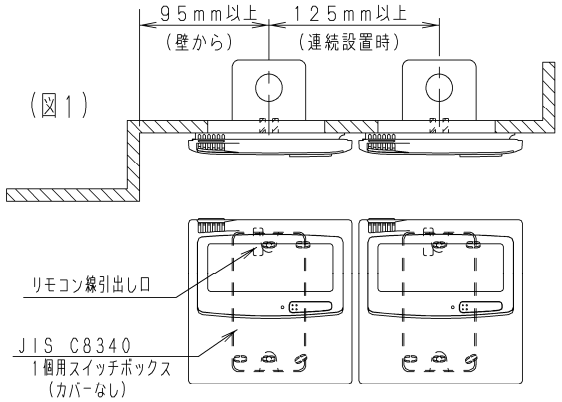
ワイヤードリモコン（CZ-10RT3）



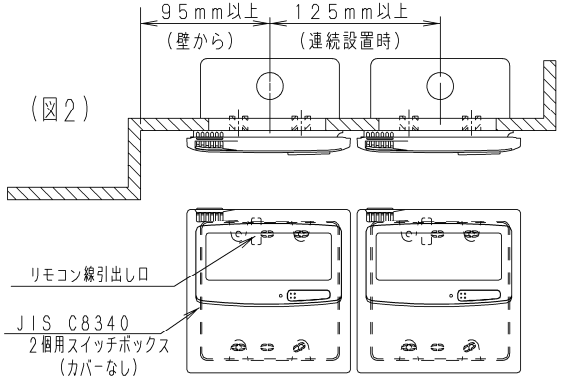
連続設置の場合の取付け寸法

※　リモコンスイッチを、壁面に連続して取付ける場合は、
図１・図２の取付け寸法を守ってください。

（図１）

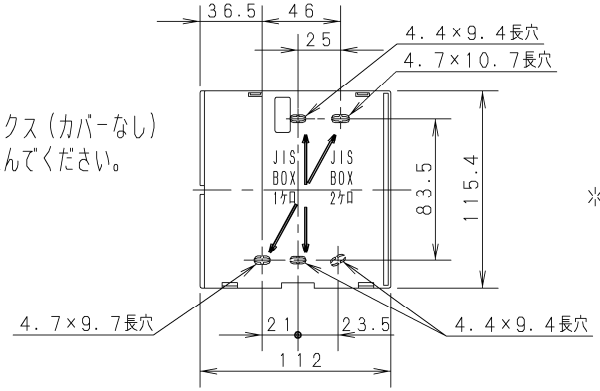


（図２）



※　リモコンスイッチを上下に並置して、取付ける場合は、
保守の関係上、隙間は２５ｍｍを守ってください。

＜リモコン取付け寸法＞



お願い）　配線を埋込まれる場合は、ＪＩＳ－Ｃ８３４０　１個用スイッチボックス（カバーなし）
または、２個用スイッチボックス（カバーなし）を現地手配し、埋込んでください。

品番	CZ-10RT3P -10RT3PN	外形寸法図 （標準ワイヤードリモコン）

Panasonic

取扱説明書

ワイヤードリモコン

品番 CZ-10RT3P
CZ-10RT3PN

据付（電気）工事説明書　別添付

このたびは、ワイヤードリモコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 本書はワイヤードリモコンの取扱説明書です。室内ユニットおよび室外ユニットに付属の取扱説明書とあわせてお読みください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（2ページ）を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は室内ユニットおよび室外ユニットに付属の取扱説明書とともに大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
  また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	⚠ 注意
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容（禁止事項）です。	❗ 実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
（水漏れや感電・火災の原因）
必ず守る

当社指定のエアコンと接続して使う
（水漏れや感電・火災の原因）
必ず守る

ぬれた手で操作しない
（感電や故障の原因）
禁止

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
（感電や火災の原因）
必ず守る

異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- ブレーカーがたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

⚠ 注意

リモコンを分解しない
（感電や故障の原因）
禁止

水洗いしない
（感電・火災の原因）
禁止

使用上のお願い

- 次のような場所に設置しない
  - 湿気・油分・振動が多い / 直射日光があたる/熱源の近く/結露する(故障の原因)
  - ノイズが発生する(誤動作の原因)
- スプレーを吹きかけない(誤動作や故障の原因)
  - 液体(洗剤、アルコール、有機溶剤など)がかからないようにしてください。
- アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない(液晶画面のくもり・変色や故障の原因)
  - ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

各部のなまえとはたらき

リモコン（別売品）
（CZ-10RT3P/PN）

●このリモコン１台で、室内ユニットを最多８台まで運転することができます。
●一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。
●CZ-10RT3PNは省エネボタンなし。

風速切換ボタン

タイマー設定ボタン
タイマー設定時に使用します（7ページ）

省エネボタン（CZ-10RT3Pのみ）
運転中にボタンを押すとリモコンの表示部に 省エネ が表示され、省エネ運転を開始します。もう一度ボタンを押すと表示は消え、通常の運転になります。

フィルターリセットボタン
フィルターサインを消灯させるときに使用します。"フィルター" が表示されたときはフィルター掃除後、ボタンを押してください。

フィルター昇降ボタン
別売の昇降グリルを接続したときに使用します。

点検ボタン
サービス時に使用します。
※通常は使用しないでください。

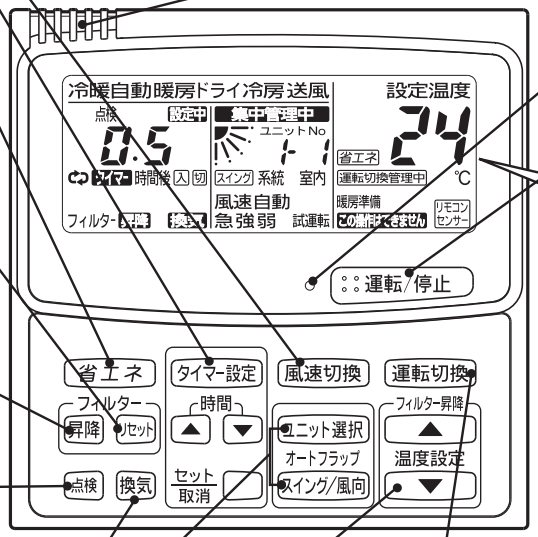
換気ボタン
市販の換気扇等を接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。エアコンを運転、停止したときは、換気扇も同時に運転、停止します。（換気扇が運転中はリモコンの表示部に 換気 が表示されます。）
※換気ボタンを押したとき、リモコンの表示部に ご使用できません が表示された場合は換気扇が接続されていません。

オートフラップボタン
ユニット選択　１台のリモコンで室内ユニットを複数台運転している場合、風向調節時や昇降グリルを操作時にユニットを選択します。
スイング/風向　自動スイングやフラップの角度を設定します。
※機種により操作できない場合があります。

リモコンセンサー
通常は室内ユニットの温度センサーが温度を感知していますが、リモコン周辺の温度を感知させることもできます。詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
（グループ制御時は設定しないでください。）

運転ランプ
運転中は点灯します。異常時、保護装置動作中は点滅します。

運転／停止ボタン

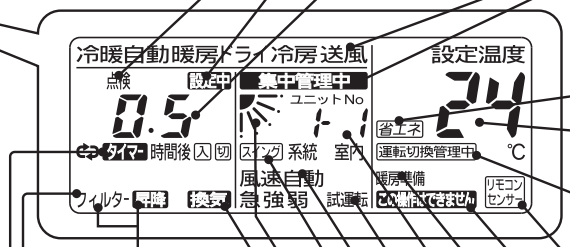


運転切換ボタン
運転モードを切り換えるときに押します。

温度設定ボタン
▲　設定温度を１℃ずつ上げます。
▼　設定温度を１℃ずつ下げます。

操作部《上の図はふたを開けた状態を示しています。》

●このページ以降では、リモコンのボタン名はすべて「ボタン」を省略して表示しています。例：運転／停止ボタン→ 運転／停止



保護装置動作時および異常時に表示します。

タイマー設定中を表わす表示です。

タイマーの時間を表示します。（異常時には警報を表示します。）

運転の状態を表示します。

遠隔運転時に表示します。遠隔側でリモコン禁止を設定している場合、運転／停止・運転切換・温度設定のボタンを操作したとき 集中管理中 が点滅し、変更を受け付けません。

省エネ運転中に点灯します。

設定温度を表示します。

運転切換ボタンを操作したとき 運転切換管理中 が点灯しているときは、運転モードの暖房、冷房の切り換えを禁止します。

リモコンセンサー使用時に表示します。

ボタンを押しても操作ができないときに表示します。

表示中は室内送風機が停止、または微風運転になります。

ユニット選択ボタンで選択されている室内ユニットや異常表示をしている室内・外ユニットのユニットNoを表示します。

試運転中に表示します。

風速 自動、風速 急、風速 強、風速 弱のいずれかを表示します。

フラップの上下動作中に表示します。

フラップの位置を表示します。

別売の昇降グリルを接続したとき、フィルター昇降ボタンを押すと表示します。

市販の換気扇等を接続したとき、換気扇が運転中に表示します。

フィルターの掃除時期をお知らせします。

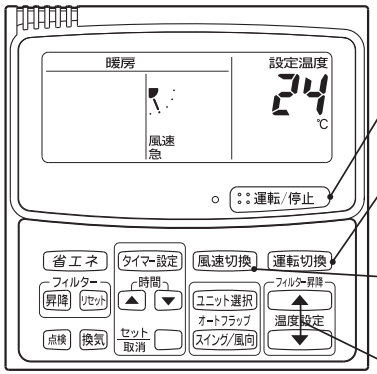
タイマー設定ボタンを押すと、切 切タイマー➡ くり返し切タイマー➡ 入 入タイマー➡表示なしの順に切り換わります。

表示部　《液晶部の表示は、説明用のもので実際とは異なります。》

運転のしかた

冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風

≪表示は4方向天井カセット形の場合です≫
※機種により表示は異なります。



電源 手元電源スイッチを運転開始の５時間以上前に入れてください。

1 運転/停止 を押します。

2 運転切換 を押して、冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。

3 風速切換 を押して、お好みの風速にします。
自動にすると、風速は自動的に切り換わります。
（送風時は自動になりません。）

4 温度設定 ▲ ▼ を押して、お好みの温度にします。

	上 限	下 限
冷暖自動	27	17
暖房	30	16
ドライ・冷房	30	18

※送風時は温度設定ができません。

停止 運転/停止 を押します。
リモコンで停止した場合、室外ユニットの圧縮機が停止しても、室外ユニットファンは、しばらく運転するときがあります。

- 機種によって、運転開始から設定風速に到達するまでに、約10秒かかることがありますが、故障ではありません。
- 暖房時、風速「弱」で運転して暖まりが良くない場合は風速を「急」・「強」に切り換えてみてください。
- 温度センサーが感じる温度は室内ユニット吸込口付近の温度ですので、据付状態により室温とは多少異なります。設定数値は室温のめやすとしてください。

冷暖自動について

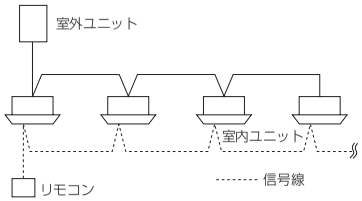
設定温度と室温の差によって、暖房、冷房運転を自動的に行います。同一冷媒系統内の全室内ユニットが１つのグループ制御になっているときに行えます。

- **通常の方法で停止できないとき**
  手元電源スイッチを切ってから、お買いあげの販売店へお知らせください。

複数台の同時運転について（グループ制御）

グループ制御は、一つの広い部屋を複数台のエアコンで空調する場合に適しています。

- １台のリモコンで室内ユニット最多８台まで操作できます。
- 風向調節、フィルター昇降を除く設定はすべての室内ユニットが同じ設定となります。
- 温度センサーは室内ユニット側を使用します。



タイマー運転のしかた

●運転中にタイマー設定を行ってください。

こんなときにお使いください		表示部
設定した時間にエアコンを停止させたいとき	切タイマー	切
毎回、設定した時間にエアコンを停止させたいとき	くり返し切タイマー	↻ 切
設定した時間にエアコンを運転させたいとき	入タイマー	入

タイマー時間について

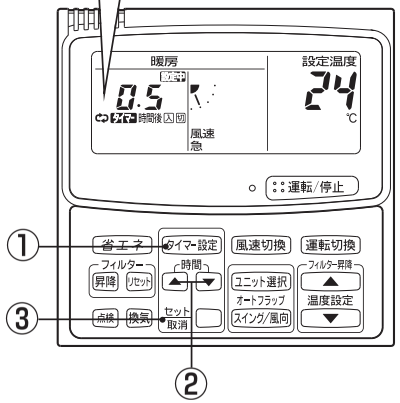
▲ を押すごとに設定時間を0.5時間（30分）ずつふやします。上限は72.0時間です。

▼ を押すごとに設定時間を0.5時間（30分）ずつへらします。下限は0.5時間です。

タイマーの表示について

タイマー設定 を押すごとに次のように切り換わります。





〈使用例〉

切タイマー運転のしかた

（例）30分後に運転を停止させたいとき

① タイマー設定 を１回押すとリモコンに 切 が表示されます。
設定中 と時間が点滅します。

② 時間の ▲ ▼ を押して
時間を0.5に合わせます。

③ セット取消 を押します。
設定中 が消えて時間が点灯します。

くり返し切タイマー運転のしかた

（例）毎回2時間30分後に運転を停止させたいとき

① タイマー設定 を２回押すとリモコンに ↻ と 切 が表示されます。
設定中 と時間が点滅します。

② 時間の ▲ ▼ を押して
時間を2.5に合わせます。

③ セット取消 を押します。
設定中 が消えて時間が点灯します。
切タイマーがはたらき2.5時間後に運転が停止します。再び、運転/停止 を押して運転すると、2.5時間後に運転が停止します。

入タイマー運転のしかた

（例）8時間後に運転をさせたいとき

① タイマー設定 を３回押すとリモコンに 入 が表示されます。
設定中 と時間が点滅します。

② 時間の ▲ ▼ を押して
時間を8.0に合わせます。

③ セット取消 を押します。
設定中 と運転表示が消えて時間が点灯します。

タイマー運転中止のしかた

セット取消 をもう一度押します。タイマー表示が消えます。

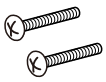
仕様

品番	CZ-10RT3P/CZ-10RT3PN
外形寸法	(高さ) 120 mm ×(幅) 120 mm ×(奥行き) 16 mm
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）
電源	DC16 V（室内ユニットより供給）
接続可能台数	室内ユニット　8台まで (グループ制御時)

Printed in Japan
DC0421-20423
ACXF55-31292

据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ（CZ-10RT3P/CZ-10RT3PN）

リモコン付属品

番号	付属部品	個数
①	リモコン （配線200mm付属） 	1
②	小ネジ M4×25 	2
③	木ネジ 	2

番号	付属部品	個数
④	スペーサー 	2
⑤	ワイヤー ジョイント 	2
⑥	据付（電気）工事担当者および サービス担当のかたへ 	1

リモコンの設置方法のお願い

設置場所

●ペリメーター用床置形（露出タイプ）に組み込む場合

①リモコンカバーとリモコン本体の間（図1の位置）にマイナスドライバー等の先端を差し込み、矢印方向に回転させ、リモコンのカバーを取り外してください。（図1）

②ペリメータ本体の前パネルを開けて、図2の2つビスをはずし、固定金具をはずしてください。（図2）
※前パネルの開けかたは、ペリメーター本体の工事説明書を参照ください。

③リモコンを図2のように本体に取り付けスペースに押し込んでください。このとき、リモコンの2本の配線はリモコン裏面の中法に寄せ、配線取出口から出るようにしてください。
注）リモコン基板裏に親子リモコンの切換を行うリモコンアドレスコネクタがあります。「リモコンを2個設置する場合のお願い」を事前に設定を確認してください。

④固定金具を取り付けてください。

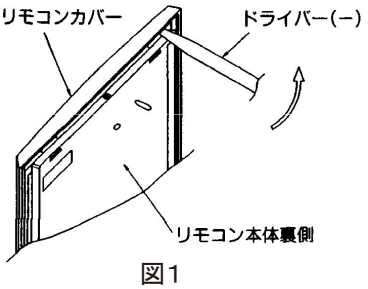


図1

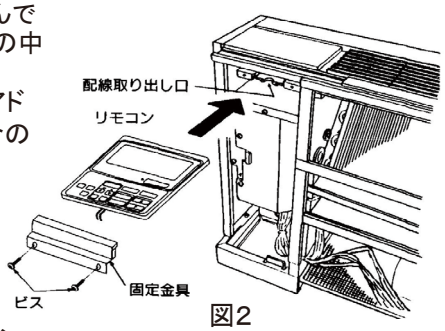


図2

●壁面等に設置する場合

・リモコンの取り付け高さは、 床面より1～1.5mの範囲で、室内の平均湿度を感じる場所に設置してください。
・必ず壁面等に垂直に設置してください。
・直射日光や直接外気が当たる窓際等への設置はしないでください。
・室内の空気の流れから外れた物かげやものの裏側等に設置しないでください。
・防湿・防滴仕様ではありませんので、 冷凍・冷蔵庫内に設置しないでください。

外形寸法図

単位 :mm

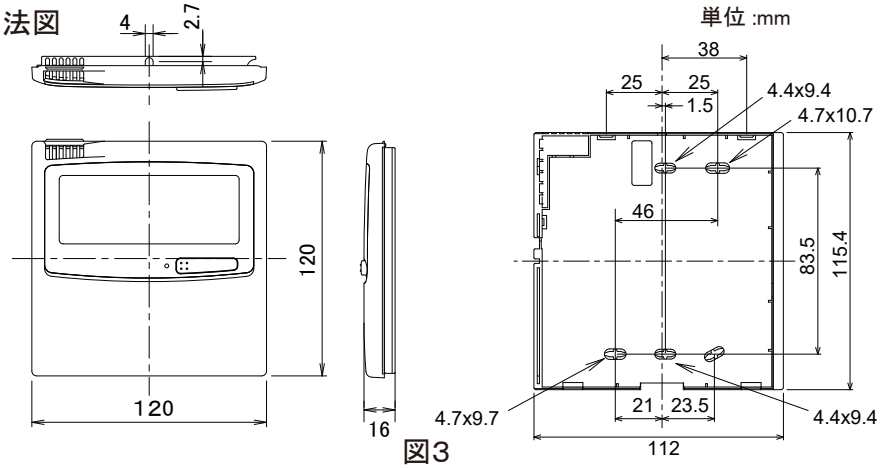


図3

連続設置時の注意
＊1 壁面から95mm以上離してください。
＊2 左右に並べて取り付ける場合は、 間を125mm以上あけてください。
＊3 上下に並べて取り付ける場合は、 間を25mm以上あけてください。

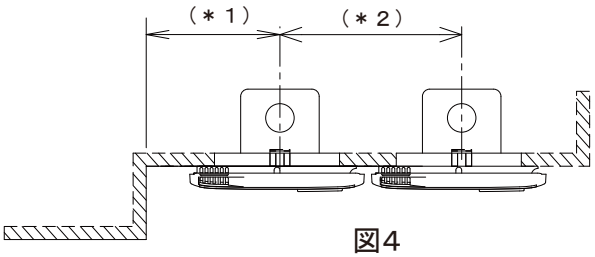
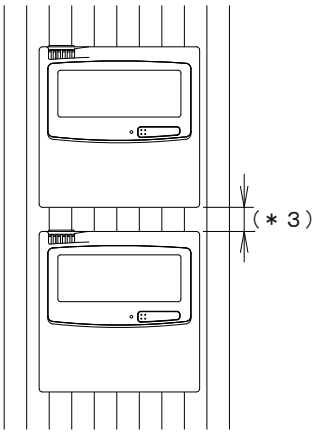


図4



〈注1〉リモコン配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤配線の原因となりますので避けてください。
〈注2〉ノイズの発生源から離して据付けてください。
〈注3〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。

①リモコン本体下側の溝にマイナスドライバー等を
押しこんであけ、 下ケースを外してください。

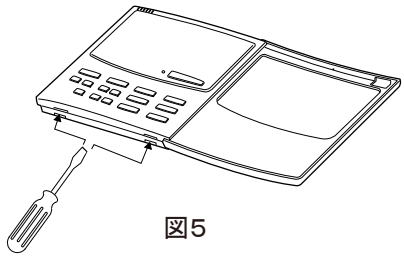


図5

②下ケースの取り付けかた

●埋込型としてご使用の場合

あらかじめ現地で壁内に埋め込まれた図6に示すJISボックス(現地手配)に取り付けてください。下ケースを付属のM4小ネジ(2本)を使用して固定します。なお、取り付ける前に使用するJISボックスに対応するビス用穴をドライバー等で押しあけてください。

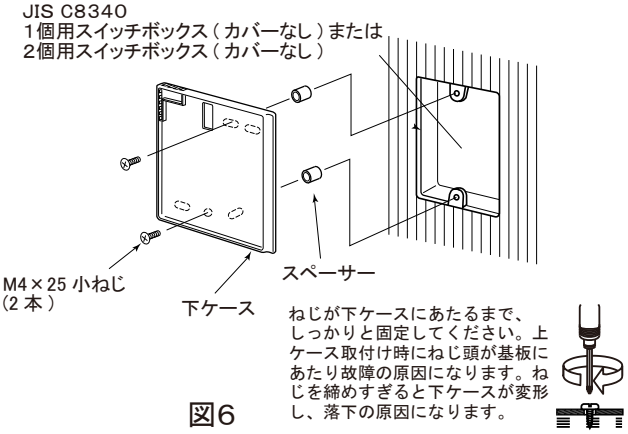


図6

●露出型としてご使用の場合

リモコンが固定できる壁面に取り付けてください。
　配線は、下ケースの配線引出部(中央上部の肉薄部)をニッパ等で切り欠き、この部分より出してください。(図7)
　下ケースを木ねじ(2本)を使用して壁面に固定してください。

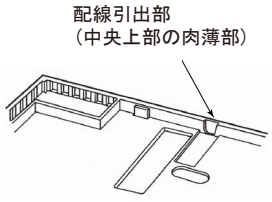


図 7

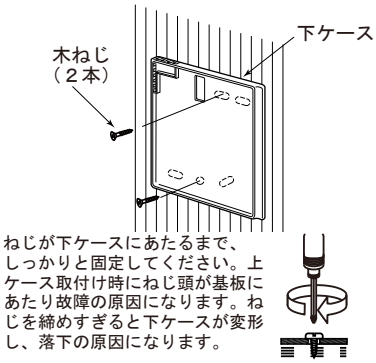


図 8

③リモコン配線を接続してください。

室内ユニットのリモコン配線用端子板に接続します。室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線しないよう接続してください。(誤配線するとこわれます。)

●配線は0.5mm²～2.0mm²を使用します。
リモコン配線の総配線長は500m以内にしてください。

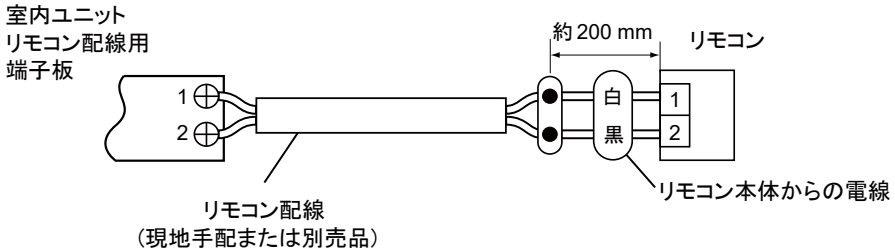


図9

●リモコン配線の接続部にワイヤージョイントについて
①接続する電線の被覆を約14mmむきます。
②2本の電線をより合わせてワイヤージョイントにて圧着接続します。（図10）
③専用圧着工具を使用しない場合、または、ハンダ付接続 の場合は絶縁テープにて絶縁処理をしてください。

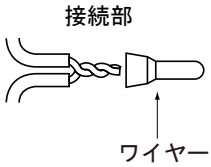


図１０ ジョイント

●リモコン配線にリモコンコード（別売品）を使用について
リモコンのリード線固定部に巻き付けてあるリード線を外し、コネクタ部を外してリモコンコード（別売品）をリモコン本体のコネクタ部に接続してください。
リモコンコード（別売品）を溝に入れて整形後、リード線固定部に巻きつけてください。（図11）
リモコンコード（別売品）を使用の場合にはリモコンコードに添付されている据付工事説明書を参照してください。

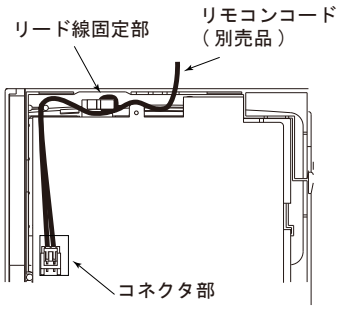


図１１

リモコンコード（別売品）

サービス部品コード CV6380192227(5m品）
サービス部品コード CV6380196258(10m 品）

④リモコン本体を下ケースのツメに合わせ、はめ込み取り付けてください。

※基板裏に親子リモコンのリモコンアドレスを切り換えるコネクタがあります。「リモコンを2個設置する場合のお願い」を事前に参照して、設定をご確認ください。

リモコンを2個設置する場合のお願い

1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。

●設定方法
2個のリモコンの中で、1個を親（工場出荷時）にしてください。もう1個のリモコンを子にしてください。
親と子の切換えは、リモコン基板裏のリモコンアドレスコネクタを親→子にさしかえてください。（図12）

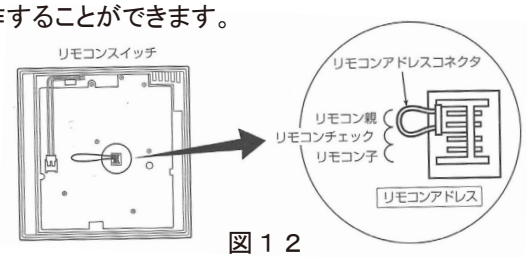


図１２

●基本配線図
注）：配線は誤配線しないように接続してください。（誤配線するとこわれます。）

・室内ユニット1台をリモコン2か所で操作する場合

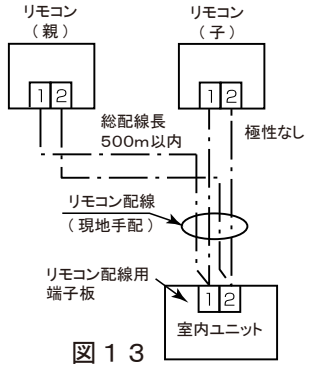


図１３

・複数台の室内ユニットを、リモコン2ヶ所で操作する場合。
※親と子のリモコンは、いずれの室内ユニットに取り付けても動作します。

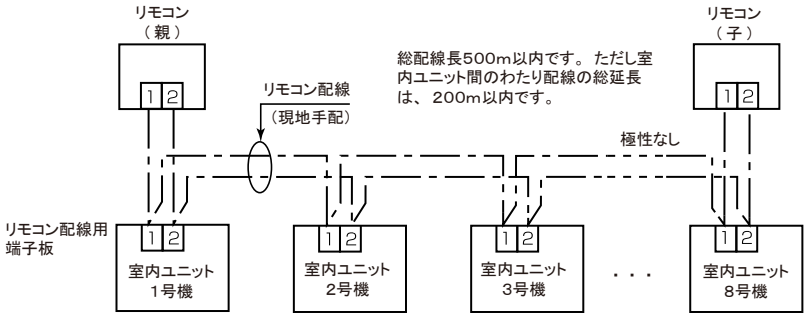


図１４

リモコン試運転設定

①リモコンの 点検 ボタンを4秒以上押して液晶表示部に“ 試運転 ”と表示させてから、運転／停止 ボタンを押してください。
・試運転中は液晶表示部に“ 試運転 ”と表示されます。
・試運転中は温度調節できません。
機械に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。
②「試運転」は暖房、 冷房、 送風のいずれかの運転モードでご使用ください。
（注）電源投入後、 および運転停止後約3分間は室外ユニットは運転しません。
③試運転終了後は、 再度 点検 ボタンを押して液晶表示部の“ 試運転 ”消灯を確認してください。
（このリモコンは連続試運転を防止するために、 60分タイマー解除機能付となっています。）

室温センサー切換え方法

室温センサーは、室内ユニットとリモコンに内蔵されています。 室温センサーは、どちらか一方で操作します。通常は室内ユニット側に設定されていますが、リモコン側へ切換えるには以下の手順で設定します。 ただし、ペリメーター本体にリモコンを組み込む場合はリモコンセンサーは使用できません。
① 点検 ＋ 換気 ＋ セット／取消 ボタンを4秒以上押します。
注）最初に表示されるユニット No はグループ制御の親機の室内アドレスです。
注）ユニット選択 ボタンを押さないでください。
②温度設定 ▲ ／ ▼ ボタンで、 項目コード 32 を指定します。
③時間 ▲ ／ ▼ ボタンで、設定データを 0000（室内ユニット側）から 0001（リモコン側）に変更します。
④ セット／取消 ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
⑤ 点検 ボタンを押します。
通常の停止状態になります。 この時、 液晶表示部には、’ リモコンセンサー ”と表示されます。

注1）親子リモコン制御の時は、 親リモコン／子リモコンのどちらからでも設定できますが、 リモコンセンサーになるのは親リモコンです。
注2）グループ制御時は、 グループアドレスが親機の室内ユニットに設定しないとリモコンセンサーが働きません。
注3）リモートセンサーとリモコンを併用する場合はリモコンのリモコンセンサーは使用しないでください。

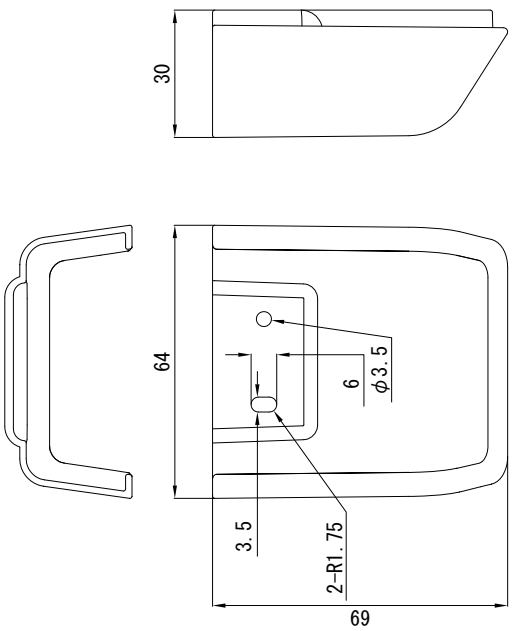
換気扇との接続について

室内コントロール基板上の換気扇出力（FAN DRIVE: 2P（白）,DC12V）で市販の換気扇等を運転する場合は、換気 ボタンによって操作可能にする設定変更を行ってください。
① 点検 ＋ 換気 ＋ セット／取消 ボタンを4秒以上押します。
注）最初に表示されるユニット No はグループ制御の親機の室内アドレスです。
注）ユニット選択 ボタンを押さないでください。
②温度設定 ▲ ／ ▼ ボタンで、 項目コード 31 を指定します。
③時間 ▲ ／ ▼ ボタンで、 設定データを 0000 から 0001 に変更します。
④ セット／取消 ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
⑤ 点検 ボタンを押します。
通常の停止状態になります。換気 ボタンを押して、 液晶表示部に“ 換気 ”と表示されることを確認してください。
注）室内コントロール基板に接続する専用配線（別売品）が必要になります。

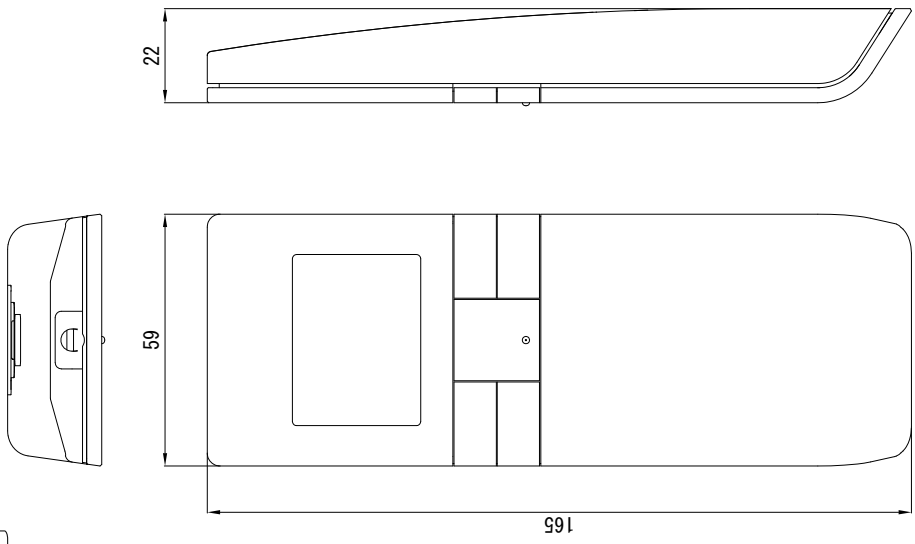
ワイヤレスリモコン送信部 / CZ-10RWP2

外形寸法図
《ワイヤレスリモコン》
(送信部)

品番	CZ-10RWP2



リモコンホルダー(付属)寸法図



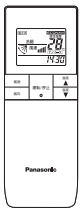
ワイヤレスリモコン寸法図

仕様

品番	CZ-10RWP2
外形寸法	(高さ)165 mm × (幅)59 mm × (奥行)22 mm
重量	100g(乾電池、リモコンホルダーを含みません)
使用温度・湿度範囲	0℃～40℃・20%～80% ※屋内設置専用
電源	単4形乾電池×2本

Panasonic

ワイヤレスリモコン送信部

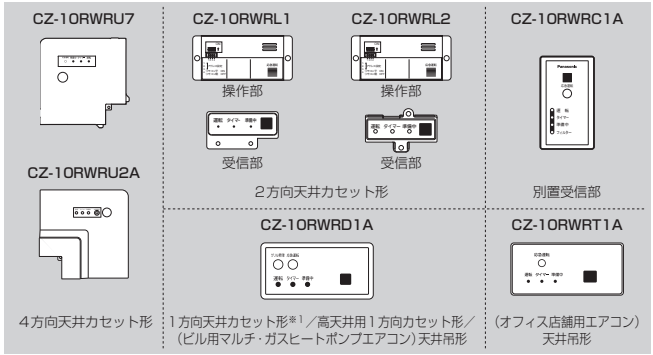


取扱説明書

ワイヤレスリモコン送信部

品番 **CZ-10RWP2**

ワイヤレスリモコン受信部



※1　1方向天井カセット　スリム形を除く。

据付(電気)工事説明書 別添付

このたびは、ワイヤレスリモコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。本書はワイヤレスリモコンの取扱説明書です。室内ユニットなどに付属の取扱説明書とあわせてお読みください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」、「使用上のお願い」を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は室内ユニットなどに付属の取扱説明書とともに大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
  また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

※ 別売のワイヤレスリモコン受信部とセットで、お使いください。

Printed in China
F0518-30423
ACXF55-21303

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	⚠ 注意
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容(禁止事項)です。	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠ 警告

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
必ず守る (水漏れや感電・火災の原因)

当社指定のエアコンと接続して使う
必ず守る (水漏れや感電・火災の原因)

体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない
必ず守る
(体調の悪化・健康障害の原因)
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在と判定し、空調機の運転が停止することがあります。

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
(感電や火災の原因)
必ず守る
異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- ブレーカーがたびたび切れる
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

ぬれた手で操作しない
禁止 (感電や故障の原因)

⚠ 注意

リモコンを分解しない
禁止 (感電や故障の原因)

水洗いしない
禁止 (感電・火災の原因)

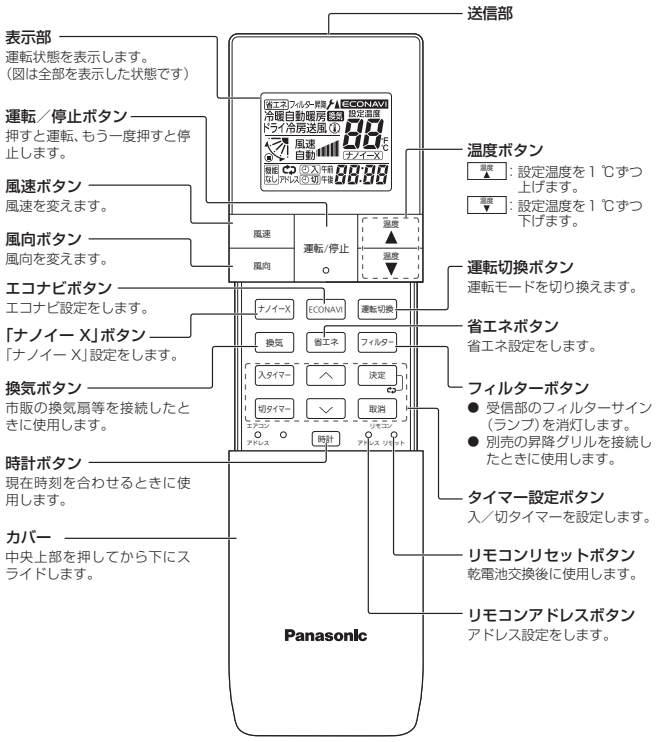
使用上のお願い

- **次のような場所に設置しない**
  - 湿気・油分・振動が多い／直射日光があたる／ 熱源の近く／結露する(故障の原因)
  - 受信部の近くに電子式瞬時点灯方式(ラピッドスタート方式)またはインバーター方式の蛍光灯がある(誤動作の原因)
- **スプレーを吹きかけない(誤動作や故障の原因)**
  - 液体(洗剤、アルコール、有機溶剤など)がかからないようにしてください。
- **アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない(液晶画面のくもり・変色や故障の原因)**
  - ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

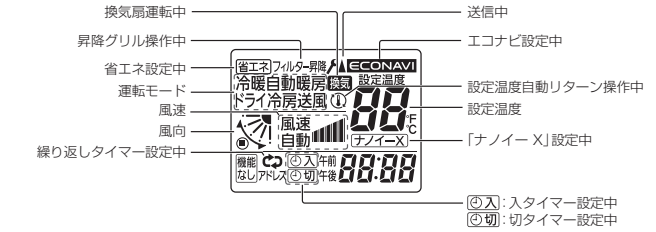
1. 各部の名前

1-1 ワイヤレスリモコン送信部

- 1台のリモコンで室内ユニット最多8台までグループ制御できます。

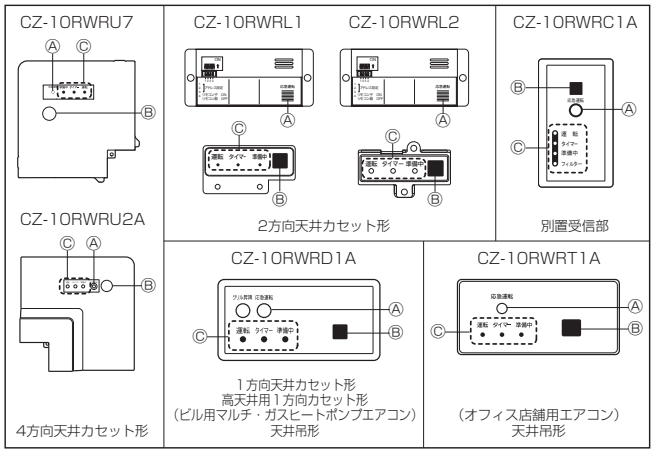


液晶画面



1-2 ワイヤレスリモコン受信部

- 室内ユニットに取り付けてあります。(別置受信部を除く)



- 壁掛形は、室内ユニットに付属の説明書をご確認ください。

Ⓐ **応急運転ボタン** (⇒「1-3 応急運転のしかた」)

Ⓑ **受信部**
送信部からの信号を受信します。

Ⓒ **表示ランプ**
異常発生中はいずれかが点滅します。表示ランプが点滅したときはお買い上げの販売店にご相談ください。

運転ランプ(緑)	運転中に点灯します。
タイマーランプ(緑)	タイマー予約中に点灯します。
準備中ランプ(橙)	暖房運転時、次のようなときに点灯します。 運転開始時／温度調節器がはたらいたとき／霜取運転中
フィルターランプ(赤) 別置受信部のみ	フィルターの掃除時期をお知らせします。

1-3 応急運転のしかた

次のようなとき、ワイヤレスリモコン受信部の応急運転ボタンを使って応急的に運転してください。
- ワイヤレスリモコン送信部の乾電池の容量がなくなった。
- ワイヤレスリモコン送信部が故障した。
- ワイヤレスリモコン送信部を紛失した。

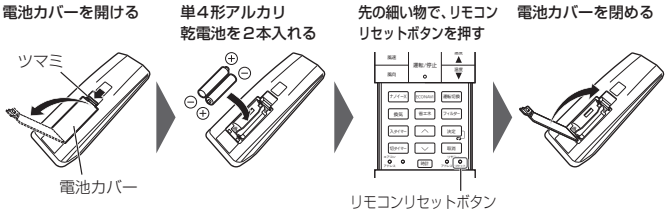
■ 壁掛形以外の場合

応急運転ボタン を押す
- 運転ランプが点灯します。
- 冷暖自動運転になります。冷暖自動不可の場合、運転を開始するときの室温が24 ℃以上のときは冷房運転、室温が24 ℃未満のときは暖房運転になります。
- 再度 応急運転ボタン を押すと停止します。

■ 壁掛形の場合
- 室内ユニットに付属の取扱説明書をご確認ください。

お知らせ
- 冷暖フリータイプ（3WAY）以外をお使いの場合「ピッピー」という音がして、表示ランプの運転ランプが点灯、タイマーランプと準備中ランプが交互に点滅していたら冷房モードまたは暖房モードが不一致ですので、希望するモードでの運転はできません。（冷暖自動の機能がない機種で冷暖自動を選択しても同じ動作になります）
- 集中制御機器等で手元禁止の設定がされている場合、運転/停止 風速 風向 温度▲ 温度▼ 運転切換 省エネ を操作したとき、「ピッ」という音が5回して、変更を受け付けません。

2. 乾電池の入れかた



- ツマミをつまんで▽マーク方向へ押しながら開きます。
- 表示にしたがって⊕⊖極の向きを正しく入れてください。
- 現在時刻表示が「0:00」または「午前 12:00」にならないときは、電池を入れ直してください。

■ 乾電池は
- 寿命は約1年です。
- 消耗すると、受信しにくくなったり、リモコンの表示が薄くなったりします。
- 長時間使わないときは、取り出してください。（液漏れ防止のため）
- 乾電池が切れたときは、本体で応急運転ができます。（⇒「1-3 応急運転のしかた」）

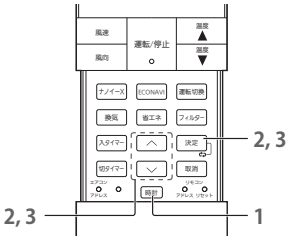
■ 乾電池を交換するときは
- 単4形アルカリ乾電池を2本同時に交換してください。
- 充電式電池（Ni-Cd、ニッケル水素など）は使わないでください（サイズ、形、性能の一部が異なるため）
- ご使用後の乾電池は指定の場所に捨ててください。
- 電池を取り外すと出荷設定に戻ります。
- 乾電池交換後は、現在時刻を合わせてください。（⇒「3. 現在時刻の合わせかた」）

3. 現在時刻の合わせかた

1 時計 を2秒以上押す
- 時刻表示が点滅します。（「：」（コロン）は点灯）

2 ∧ ∨ で「時」を合わせ、決定 を押す

3 ∧ ∨ で「分」を合わせ、決定 を押す



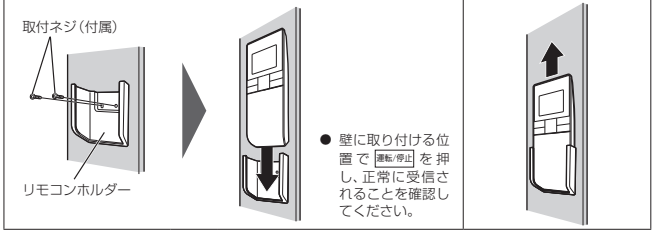
お知らせ
- 現在時刻の設定中に一定時間ボタン操作がない場合、表示している時刻に設定します。
- 時刻は定期的に合わせてください。

4. リモコンの取り扱いかた

- ワイヤレスリモコン送信部は手で持ち受信部に向けて操作をしてください。正常に受信されるとブザーが鳴ります。
- 送信できる距離は直線で6 m以内です。この距離は目安です。使用条件により短くなることがあります。
- 受信部（本体または別置受信部）との間に信号をさえぎる物がないようにしてください。
- 直射日光や本体からの風が直接当たる場所、ストーブの近く等に置かないでください。
- 落としたり、投げたり、水洗い等しないでください。
- 電子式瞬時点灯方式（ラピッドスタート方式）、またはインバーター方式の蛍光灯がある部屋では信号を受け付けない場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください。

壁等に取り付けてご使用になる場合

取り付ける		取り外す
付属のリモコンホルダーを取付ネジで止める	ワイヤレスリモコン送信部を上からスライドさせて取り付ける	ワイヤレスリモコン送信部を上へ引き抜く



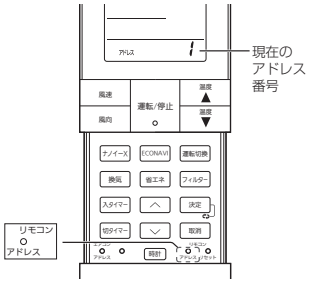
- ワイヤレスリモコン送信部が、受信部の受信できる範囲にない場合は、操作ができません。

5. ペアリングアドレス設定について

同じ部屋にワイヤレスリモコン対応の室内ユニットが複数台設置されているときに混信を防ぐためにアドレスを設定してください。
ワイヤレスリモコン送信部のアドレスと受信部のアドレススイッチの数字を合わせることにより、6台までの室内ユニットを対応するリモコンで個別に制御することができます。
ワイヤレスリモコン送信部には送信用のアドレス、受信部には受信用のアドレス設定があります。設定が異なるとリモコン操作を受け付けません。

アドレスの確認方法

先の細い物で リモコン アドレス を押す
- 現在のアドレス番号を5秒間表示します。
- このアドレスが受信部のアドレスと一致していれば、受信部からブザーが鳴ります。（ALLになっていれば必ずブザーが鳴ります）
- ALLになっていれば、受信部のアドレスに関わらずに操作できます。操作したい受信部にリモコンを向けて送信してください。



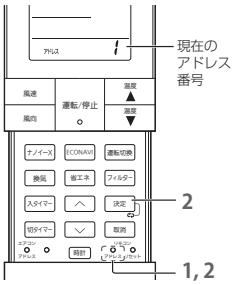
アドレスの合わせかた

■ 壁掛形以外の場合

＜リモコンの設定＞

1 **先の細い物で リモコン アドレス を4秒以上押す**
- 現在のアドレス番号が点滅表示します。

2 **リモコン アドレス で操作したい受信部のアドレスを選び、決定 を押す**
- リモコン アドレス を押すたびに「ALL（すべてのアドレス）→1→2→3→4→5→6」の順で切り換わります。
- 受信部のアドレス設定と一致していれば受信部からブザーが鳴ります。



お知らせ
- 受信部のアドレスは、ご使用のワイヤレスリモコン受信部の説明書に従って設定してください。設定はお客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

■ 壁掛形の場合

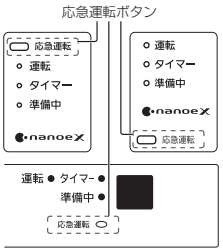
＜室内ユニットの設定＞

1 **受信部の 応急運転ボタン を4秒以上押す**
- 運転ランプ → タイマーランプ → 準備中ランプの順で点灯を1秒周期で繰り返し、アドレス設定の準備状態となります。

＜リモコンの設定＞

2 **「■ 壁掛形以外の場合」（⇒上記）の手順1～2を行う**
- 設定を続けて行うには、「■ 壁掛形以外の場合」の手順2を繰り返します。
- 3分間リモコンからのデータ送信がない場合、室内ユニットのアドレス設定準備は終了します。
- 室内ユニットのアドレス設定準備を終了する場合、受信部の 応急運転ボタン を押してください。

室内ユニットの受信部



6. 対応機能について

お使いのワイヤレスリモコン受信部の機種によっては、一部の機能が使用できません。

受信部の機能の有無については、リモコン アドレス を押したときのブザー音で確認できます。

機能	リモコン アドレス を押したときのワイヤレス受信部のブザー音	
	「ピピッ」の場合	「ピッ」の場合
風速設定	5段階設定 ※1	3段階設定 ※1 ※2
「ナノイー X」設定 エコナビ設定 省エネ設定 個別風向固定設定	機能あり ※1	この機能は使用できません ※3
設定温度自動リターン	機能あり	

※1　室内ユニットの機種やオプション機器の組み合わせによって使用できる機能が異なります。室内ユニットタイプが同じでも能力や年式により機能が異なる場合があります。室内ユニットの設定できる機能については室内ユニットの取扱説明書を参照してください。

※2　、、の3段階の風速設定が可能です。（を選択時は 、を選択時は と同じ風速で動作します）

※3　ナノイー X　ECONAVI　省エネ ボタンの有効／無効を設定するには（⇒「18. ボタン制御について」）

7. 仕様

品　　番	CZ-10RWP2
寸　　法	（高さ）165 mm×（幅）59 mm×（奥行）22 mm
質　　量	100 g（乾電池、リモコンホルダーを含みません）
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20%～80%（屋内設置専用）
時 計 精 度	±90秒／月（常温25 ℃）
電　　源	単4形アルカリ乾電池×2本

8. 基本の使いかた

- 漏電しゃ断器は、ユニットの説明書を参照し、事前に入れてください。
- ワイヤレスリモコン送信部は手で持ち受信部に向けて操作をしてください。

運転／停止する

運転/停止 を押す

- 運転/停止 を押しても停止できないときは、漏電しゃ断器を切ってから、お買い上げの販売店へお知らせください。
- 運転を停止しても、室外ユニットはしばらく運転するときがあります。

風速を変える

風速 を押す

- 押すたびに「→→→→→→風速自動」の順で切り換わります。
- 送風時は風速自動になりません。
- 暖房時、風速「」で運転して暖まりが良くない場合は、風速を「」や「」に切り換えてみてください。
- 機種によって選択可能な風速が異なります。
- 機能が付いていない場合は、機能なし と表示され、使用できません。

設定温度を変える

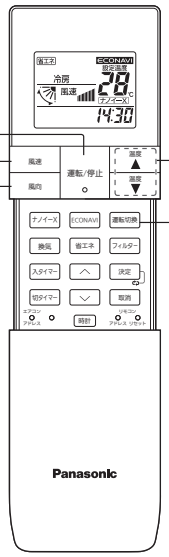
温度 を押す

- 冷暖自動　：17 ℃～27 ℃
  暖房　　：16 ℃～30 ℃
  ドライ・冷房：18 ℃～30 ℃
- 送風時は温度設定ができません。
- 機器によって設定できる温度範囲が異なります。
- 上限温度はシステムや使用条件により異なります。上限温度を変更するには（⇒「17. 各種設定について」）

運転モード（冷暖自動／暖房／ドライ／冷房／送風）を変える

運転切換 を押す

- 押すたびに「冷暖自動→暖房→ドライ→冷房→送風」の順で切り換わります。
- 冷暖自動について（⇒下記）
- 冷房専用タイプは、冷暖自動、暖房運転ができません。
- 機種によって選択可能な運転モードが異なります。運転モードの表示を変更するには（⇒「17. 各種設定について」）



風向を変える

風向 を押す

- 押すたびに「→→→→→→→(スイング)→(スイング停止)」の順で切り換わります。
- スイング中に 風向 を押すと、お好みの位置でフラップを止められます。
- 暖房準備時は、スイングや風向設定にかかわらず、フラップが上向きになります。
- 機種によって選択可能な風向が異なります。
- 機能が付いていない場合は、機能なし と表示され、使用できません。
- **リモコンで操作するフラップは絶対に手や棒で動かさないでください。故障の原因になります。**

冷暖自動について

設定温度と室温の差を感知し、暖房または冷房を自動で選びます。
冷暖自動は、冷暖フリータイプ（3WAY）や同一冷媒系統内の全室内ユニットが１つのグループ制御になっている場合のみ可能です。ガスヒートポンプエアコンをお使いの方は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

9. 吹出口ごとに風向を設定する　個別風向固定設定

（対応機種：4方向天井カセット形）

室内の状況に合わせて吹出口ごとの風向を個別に設定できます。
風向 で操作しても（⇒「風向を変える」）、ここで設定した風向は変更されません。

1　風向 決定 を同時に4秒以上押す

- 「」が点滅し、設定画面に切り換わります。

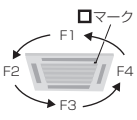
2　温度 温度 で設定する室内ユニットの番号を選び、決定 を押す

- 温度 温度 を押すと、「U1↔U2↔ … ↔U8↔AL（リモコンに接続されているすべての室内ユニット）」の順で切り換わり、受信部からブザーが鳴ります。
  - 設定可能なとき　：「ピッ」
  - 設定不可のとき※：「ピッピー」

  ※ 室内ユニットが未接続や本機能に非対応のとき

3　∧ ∨ で吹出口の番号を選ぶ

- ∧ ∨ を押すと、「F1↔F2↔F3↔F4↔AL（すべての吹出口）」の順で切り換わります。
- 室内ユニットのパネルにある□マーク（凹形状）が、吹出口の1番の目印になります。機種によっては、□マーク（凹形状）がないものがあります。



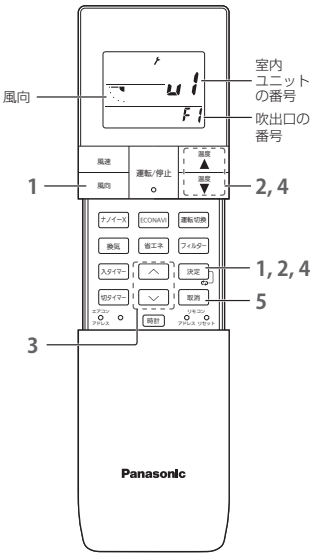
- 吹出口の番号は、取り付け方向によって変わります。実際に動作させて確認してください。

4　温度 温度 で風向を選び、決定 を押す

- 温度 温度 を押すと、「（固定解除）↔(スイング)↔↔↔↔↔」の順で切り換わります。

5　取消 を押す

- 取消 の代わりに 決定 を押すと、手順2に戻り、続けて設定できます。



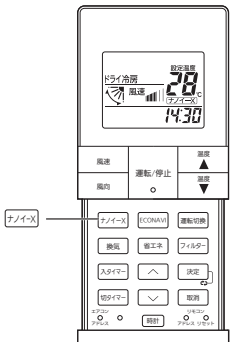
お知らせ

- 途中で操作をやめるときは、取消 を押してください。

10.「ナノイー X」設定をする

運転中に ナノイーX を押す

- 押すたびに「オン／オフ」を切り換えます。
- 「オン」にすると、「 ナノイーX 」が表示されます。
- 「ナノイー X」設定を「オン」にすることにより、室内ユニットが運転中に（冷房、ドライ、暖房、送風、冷暖自動）、「ナノイー」（水に含まれた微粒子イオン）が室内ユニットから放出されます。
- ナノイーX を押したときに受信部が「ピッピー」と鳴る場合は、室内ユニットが本機能に非対応です。ボタンの有効／無効を設定するには（⇒「18. ボタン制御について」）
- 「ナノイー X」機能がない機器の場合、数秒間 機能なし と表示されます。



11. エコナビ設定をする

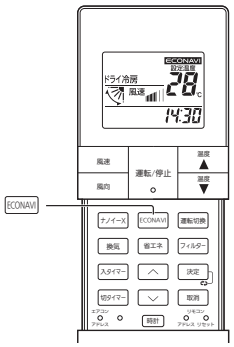
（別売品のエコナビパネル（CZ-160KPEU※）・壁設置形のエコナビセンサー等を接続時）

※ シリーズ番号が入ります。

運転中に ECONAVI を押す

- 押すたびに「オン／オフ」を切り換えます。
- 「オン」にすると、「 ECONAVI 」が表示されます。※
- 高精度なエコナビセンサーがリアルタイムに室内を監視、人を検知して、ムダな運転を抑えます。
- エコナビ機能によって目標温度が変更されても、リモコンに表示される設定温度は変化しません。
- 室内ユニットを複数台運転する場合は、部屋の状況によって省エネ効果が小さくなることがあります。
- ECONAVI を押したときに受信部が「ピッピー」と鳴る場合は、室内ユニットが本機能に非対応です。ボタンの有効／無効を設定するには（⇒「18. ボタン制御について」）
- エコナビ機能がない機器の場合、数秒間 機能なし と表示されます。

※ 運転モードが送風時は表示されません。



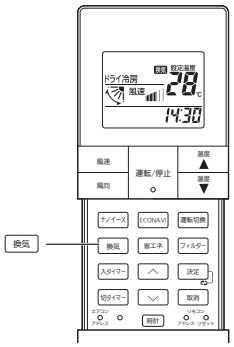
12. 換気扇を運転／停止する

（市販の換気扇等を接続時）

換気 ボタンは、出荷時は「無効」に設定されています。換気扇を接続したときは、換気 ボタンを「有効」にしてください。（⇒「18. ボタン制御について」）

換気 を押す

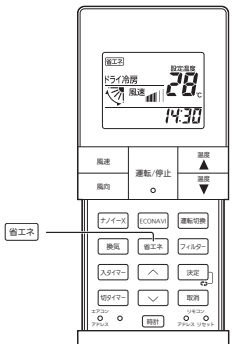
- 押すたびに換気扇が運転／停止します。
- 換気扇運転中は、「 換気 」が表示されます。
- エアコンを運転、停止したときは、換気扇も同時に運転／停止します。
- 換気機能がない機器の場合、数秒間 機能なし と表示されます。



13. 省エネ設定をする

運転中に 省エネ を押す

- 押すたびに「オン／オフ」を切り換えます。
- 「オン」にすると、「 省エネ 」が表示されます。
- 省エネ運転時は、最大電流値やエンジン最高回転速度を制限した運転になるため、冷房／暖房などの能力は低下します。（室外ユニットの運転が制限値以下の場合は、制限されません）
- 省エネ を押したときに受信部が「ピッピー」と鳴る場合は、室内ユニットが本機能に非対応です。ボタンの有効／無効を設定するには（⇒「18. ボタン制御について」）
- 省エネ機能がない機器の場合、数秒間 機能なし と表示されます。



14. 温度を変更しても設定時間後に元に戻す 設定温度自動リターン

温度を変えても、決めた時間がたったら自動で決めた温度に戻すように設定できます。
● 運転モードごとに時間と温度を設定します。

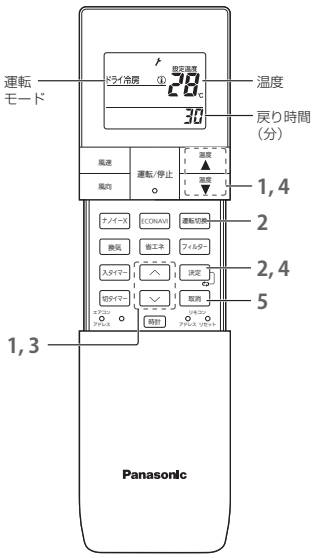
1 温度▲ ▽ **を同時に4秒以上押す**
● 「🔧」が点滅し、設定画面に切り換わります。

2 運転切換 **で運転モードを選び、**決定 **を押す**
● 運転切換を押すたびに、「ドライ・冷房→暖房→冷暖自動」の順で切り換わり、受信部からブザーが鳴ります。
・未設定のとき　:「ピッ」
・設定済みのとき:「ピピッ」

3 △ ▽ **で、決めた温度に戻るまでの時間（戻り時間）を設定する**
● 設定範囲：10～240分（10分単位）

4 温度▲ 温度▼ **で温度を設定し、**決定 **を押す**
● 冷暖自動　：17 ℃～27 ℃
暖房　　：16 ℃～30 ℃
ドライ・冷房：18 ℃～30 ℃
● 機器によって設定できる温度範囲が異なります。

5 取消 **を押す**
● 取消の代わりに 決定 を押すと、手順**2**に戻り、続けて設定できます。



設定を変更する

設定のときと同様、上記の手順1～5を行う

設定を解除する

1 温度▲ ▽ **を同時に4秒以上押す**

2 運転切換 **で運転モードを選び、**取消 **を4秒以上押す**
● 受信部が「ピッ」と鳴ります。
● 取消 を10秒以上押すと、すべての運転モードの設定を解除します。

お知らせ
● 途中で操作をやめるときは、取消 を押してください。

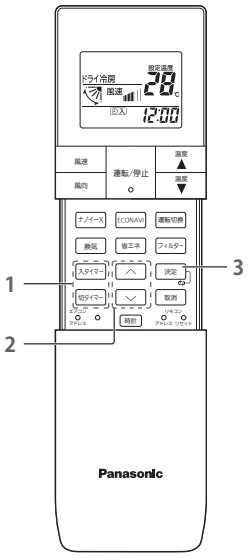
15. タイマー運転のしかた

● 予約の前に、現在時刻が合っていることを確認してください。
● タイマーの設定は運転中のみ可能です。
● タイマー設定後、ワイヤレスリモコン送信部をワイヤレスリモコン受信部の近く（信号受信可能な場所）に置いてください。

1 入タイマー **または** 切タイマー **を2回押す**
● 前回設定したタイマー時刻が点滅します。（タイマー設定がないときや乾電池交換時は「- -:- -」が点滅）

2 △ ▽ **でタイマー時刻を設定する**
● 10分単位で変更できます。
● △ ▽ を押し続けると早送りができます。

3 決定 **を押す**
● タイマー時刻が点灯表示に変わり、3秒後に現在時刻表示に戻ります。
● 設定すると、「入」または「切」が表示されます。



入／切タイマーを組み合わせる

入／切タイマー時刻をそれぞれ設定する

タイマー時刻を確認する

入タイマー **または** 切タイマー **を押す**
● タイマー時刻を4秒間表示します。
● タイマー設定がないときや乾電池交換時は「- -:- -」が表示されます。（初期状態）

タイマー時刻を変更する

設定のときと同様、上記の手順1～3を行う

タイマー時刻を取り消す

取消 **を押す**
● 入／切タイマーのどちらかを取り消したい場合は、入タイマー または 切タイマー を押し、タイマー時刻が表示されている状態で 取消 を押します。

タイマーを毎日同じ時刻に使う

決定 **を2秒以上押す**
● 設定すると、「🔁」が表示されます。
● 再度 決定 を2秒以上押すと、「🔁」の表示が消えて、1回だけの動作となります。

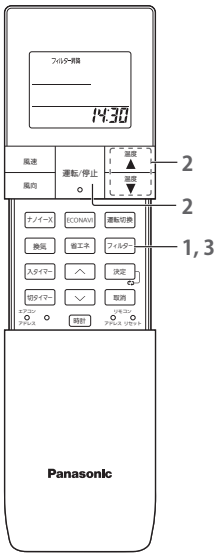
16. 昇降グリルの操作方法

（別売の昇降グリルが接続されている場合）
● ワイヤレスリモコン送信部は、操作を行いたい室内ユニットの受信部に向けてください。
● 昇降グリルの操作（下降・停止・上昇）を行うとき、操作ボタンを押してから昇降グリルが下降・停止・上昇するまで数秒かかります。

1 フィルター **を4秒以上押す**
● 「フィルター昇降」が表示されます。
● 室内ユニットの運転は停止します。

2 温度▲ 温度▼ **で昇降グリルを上下させ、**運転/停止 **で停止させる**
● 運転/停止を押さなくても、昇降グリルが下降しおえる、または収まると自動的に停止します。
● 昇降グリルが収まると、数秒後にモーターが停止します。運転/停止で止めず、自動的にモーターが停止したことを確認してください。
● 下降中または上昇中に他の操作を行うときは、必ず、一度停止をしてから行ってください。

3 フィルター **を4秒以上押す**
● 「フィルター昇降」の表示が消えます。
● 昇降グリルの動作中に フィルター を押すと、昇降グリルが停止して、「フィルター昇降」の表示が消えます。再度昇降グリルを動かしたいときは、手順**1**に戻ってください。



フィルターランプを消す

（フィルターランプは別置受信部のみ搭載）

フィルター **を押す**
● 受信部からブザーが鳴ります。

17. 各種設定について

お使いの室内ユニットによって各種設定変更が可能です。
運転モード表示、時計表示（24時間、午前／午後）、暖房上限温度
● この設定はリモコン内部の不揮発性メモリーに保存されますので、乾電池を交換しても再設定は必要ありません。
● リモコンの表示が停止中（現在時刻のみ表示）になっているのを確認してから設定してください。

<操作方法>
● 各項目の下記のボタンを押しながら △ を押すごとにリモコン表示が変わります。
● △ を離した時点で、表示されている内容に設定されます。

設定項目	操作ボタン	設定内容	リモコンの表示
運転切換を押したときのリモコンの運転モード表示設定	運転切換 を押しながら △	標準の室内ユニット（冷暖自動あり）	冷暖自動暖房 ドライ冷房送風
		標準の室内ユニット（冷暖自動なし）	暖房 ドライ冷房送風
		冷房専用の室内ユニット	ドライ冷房送風
時刻表示設定	時計 を押しながら △	24時間	23:59
		午前／午後	午後 11:59
暖房運転で設定できる温度範囲の上限値	温度▲ を押しながら △	暖房温度範囲の上限 26 ℃～30 ℃	26-27-28 30-29

18. ボタン制御について

お使いの室内ユニットによって以下のボタンの有効／無効を変更できます。
ナノイー X、エコナビ、換気、省エネ

変更したい設定内容のリモコンボタンを4秒以上押す
● 4秒以上押すごとに有効／無効が切り換わります。
● 無効にすると、ボタンを押したときに 機能なし と表示され、使用できません。

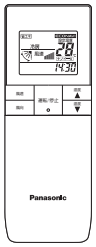
リモコンボタン	設定内容
ナノイーX	ナノイー Xボタンの有効／無効設定
ECONAVI	エコナビボタンの有効／無効設定
換気	換気ボタンの有効／無効設定
省エネ	省エネボタンの有効／無効設定

Panasonic®

据付(電気)工事説明書

ワイヤレスリモコン送信部

品番 **CZ-10RWP2**



●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●室内ユニットなどに付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠ 警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準
  - 内線規程
  - 据付(電気)工事説明書

  (感電、火災の原因)

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- **水洗いしない**(感電、故障の原因)
- **ぬれた手で据付(電気)工事をしない**(感電、故障の原因)

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**(感電の原因)
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**(製品の落下による、けがの原因)
- **付属品は当社指定の部品を使用する**(製品の落下、感電、火災などの原因)

⚠ 注意

⃠
- **次のような場所で使わない**(感電、火災などの原因)
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ

⚠ 注意

⃠
- **落としたり、投げたりしない**(故障の原因)
- **乾電池は⊕⊖を逆に入れない**(発火や液漏れの原因)

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

据え付け時のご注意

●次のような場所に据え付けない。
- 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
- 過度な衝撃や振動のあるところ
- 据付面に凹凸のあるところ
- 熱源の近くなど
- 子供の手の届くところ
- 油煙や湯気の多いところ(調理場や機械工場など)
- カーテンなど、信号をさえぎるものがあるところ
- 強い光源やインバーター蛍光灯などがあるところ

●高周波を発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける。
(本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1m以上離す。
(映像の乱れ、雑音の原因)
●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
●操作する上で支障がないところに据え付ける。
- ワイヤレスリモコン送信部が、受信部の受信できる範囲にない場合は、操作ができません。
- 据え付ける位置で正常に操作できることを確認してください。
- リモコンホルダーで壁などに固定して操作する場合は、部屋の照明を点灯させたり電気器具等を動作させた状態で取り付ける位置からリモコンを操作し、エアコンが作動することを確認してから取り付けてください。

Printed in China
ACXF60-32883
W0918-30823

はじめに

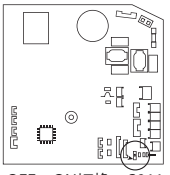
「取扱説明書」を参照して本機を据え付けます。

1. 乾電池を入れる
2. 現在時刻を合わせる
3. リモコンホルダーを取り付ける
4. ペアリングアドレス設定をする
（必要に応じて）

壁掛形室内ユニットをご使用になる場合

お願い 壁掛形室内ユニットに付属の説明書をあわせてご覧ください。

- ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。
- ワイヤレスリモコンのみでご使用になる場合は、室内ユニット基板の切換スイッチ（S011またはSW502）を「OFF→ON」に設定する必要があります。
  複数の壁掛形室内ユニットをグループ制御する場合は、1台のみを「OFF→ON」に設定してください。

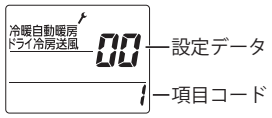


現地設定のしかた

この設定はリモコン内部の不揮発性メモリーに保存されますので、乾電池を交換しても再設定は必要ありません。
※ 本設定を行うことによって実際の動作が「取扱説明書」に記載されている内容から変更になりますので、お客様に十分に説明をしてください。
※ 下記項目コード以外は、正常な動作をしなくなる可能性があるため、設定を変更しないでください。

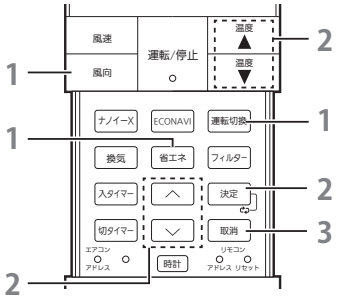
（　）：出荷設定

1 **リモコンの表示が停止中（現在時刻のみ表示）に、[風向] [省エネ] [運転切換] を同時に4秒以上押す**
「🔧」が点滅し、設定画面に切り換わります。



2 **[温度▲] [温度▼] で項目コードを、[∧] [∨] で設定データを選び、[決定] を押す**

3 **[取消] を押す**



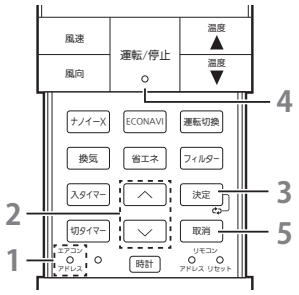
項目コード	設定項目	設定データ	チェック欄
1	運転モード（※1）	（00：冷暖自動/ドライ/暖房/冷房/送風）　03：冷房/送風 01：ドライ/暖房/冷房/送風　04：冷暖自動/暖房/冷房/送風 02：ドライ/冷房/送風　05：暖房/冷房/送風	
2	フラップ表示	（00：5段階（冷房5段階）＋スイング＋停止）　03：スイングのみ 01：5段階（冷房3段階）＋スイング＋停止　04：切換機能なし 02：5段階（冷房3段階）＋スイング	
3	風速選択	（00：5速（1～5・自動））　03：弱（1）・強（3） 01：3速（弱（1）・強（3）・急（5）・自動）　04：切換機能なし 02：3速（弱（1）・強（3）・急（5）））	
5	時刻表示	（00：24時間（表示なし））　01：午前/午後	
6	換気扇 機能切換（※2）	（00：無効）　01：有効	
7	冷房 上限温度	5～35℃（出荷設定 30℃）	
8	冷房 下限温度	5～35℃（出荷設定 18℃）	
9	暖房 上限温度	5～35℃（出荷設定 30℃）	
10	暖房 下限温度	5～35℃（出荷設定 16℃）	
11	ドライ 上限温度	5～35℃（出荷設定 30℃）	
12	ドライ 下限温度	5～35℃（出荷設定 18℃）	
13	冷暖自動 上限温度	5～35℃（出荷設定 27℃）	
14	冷暖自動 下限温度	5～35℃（出荷設定 17℃）	
18	省エネ 機能切換（※2）	00：無効　（01：有効）	
19	エコナビ 機能切換（※2）	00：無効　（01：有効）	
20	ナノイーX 機能切換（※2）	00：無効　（01：有効）	

※1 本機を冷房専用としてご使用になる場合、「02：ドライ/冷房/送風」か「03：冷房/送風」に設定してください。
※2 時刻表示画面において、各機能の設定ボタンを4秒以上押すことで、機能の有効/無効を切り換えることもできます。

お願い 設定を変更した場合は、設定内容をチェック欄に記入してください。

自動アドレス設定

自動アドレス設定とは、室内ユニットと室外ユニットのアドレスを自動で設定する機能です。
自動アドレスをする系統（室外ユニット）の系統番号をご確認のうえ、以下の手順で自動アドレス設定を行ってください。



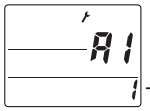
1 **[エアコン アドレス] を4秒以上押す**
「🔧」が点滅し、設定画面に切り換わります。

2 **[∧] [∨] で系統番号1～30（室外ユニットの系統アドレス）を選択**

3 **[決定] を押し、自動アドレス開始**

4 **[運転/停止] を押し、自動アドレス状態を確認**
（自動アドレスの状態については、右表を参照してください）
・完了/異常中となった場合、手順5へ進んでください。
・10分以上実行中が継続する場合、系統番号の指定に誤りがないか確認してください。

5 **[取消] を4秒以上押し、自動アドレス終了**
・実行中/異常中の場合は、自動アドレス設定が中断されます。異常がある場合は、異常の原因を解決してから自動アドレスを再実行してください。



自動アドレス状態	受信部のブザー音	受信部の表示ランプ 運転　タイマー　準備中
実行中	ピピッ	◎ → ◎ → ◎
完了	ピッ	-　-　-
異常中	ピピピピピッ	●　●　◎

●：消灯 / ○：点灯 / ◎：点滅（0.5秒間隔）

付属品

＜＞：個数

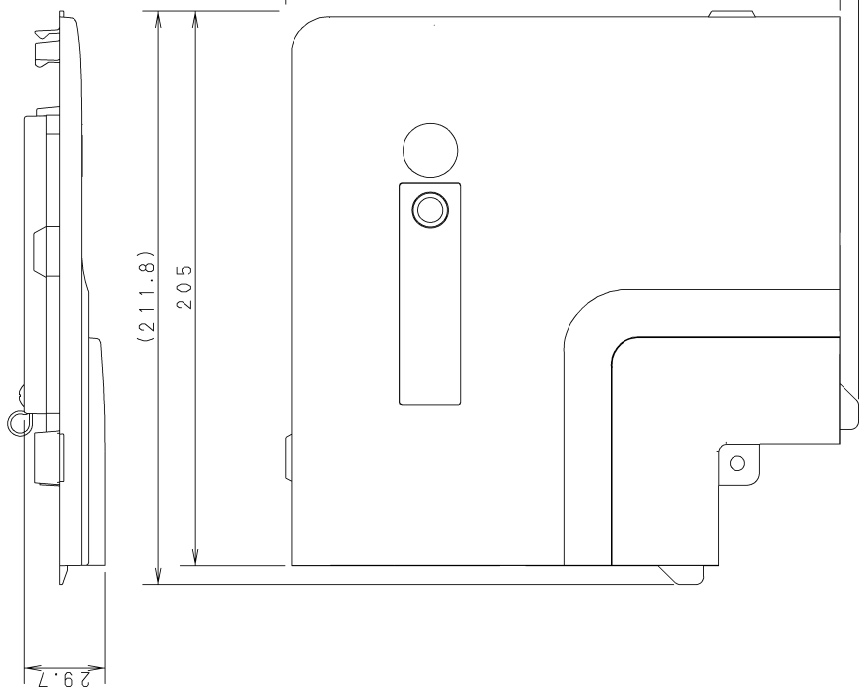
- リモコンホルダー　＜1＞
- リモコンホルダー取付ネジ M4 × 15.5　＜2＞
- 単4形アルカリ乾電池（動作確認用）　＜2＞
- 取扱説明書　＜1＞
- 据付（電気）工事説明書　＜1＞

仕様

品番	CZ-10RWP2
寸法	（高さ）165 mm ×（幅）59 mm ×（奥行）22 mm
質量	100 g　（乾電池、リモコンホルダーを含みません）
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃ ・ 20 %～80 %　※ 屋内設置専用
電源	単4形アルカリ乾電池×2本

ワイヤレスリモコン受信部（4方向天井カセット形）/ CZ-10RWRU2A

外形寸法図



品番	CZ-10RWRU2A

外形寸法図
《ワイヤレスリモコン受信部》
（4方向用）

仕様

品番	CZ-10RWRU2A/CZ-10RWRU2A-T CZ-10RWRU2A-H/CZ-10RWRU2A-K
外形寸法	（高さ）29.7mm×（幅）211.8mm×（奥行）211.8mm
質量	160g
使用温度・湿度範囲	0℃～40℃：20%～80%　※屋内設置専用
電源	DC16V（室内ユニットより供給）

注）ワイヤレスリモコン受信部の色は
下表の4色があります。

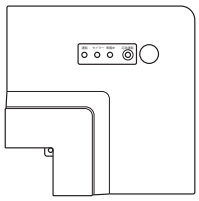
CZ-10RWRU2A	ホワイト
CZ-10RWRU2A-T	ブラウン
CZ-10RWRU2A-H	グレー
CZ-10RWRU2A-K	ブラック

Panasonic

据付(電気)工事説明書

ワイヤレスリモコン受信部（4方向天井カセット形）

品番 **CZ-10RWRU2A / CZ-10RWRU2A-T**
CZ-10RWRU2A-H / CZ-10RWRU2A-K



●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠ 警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準
  - 内線規程
  - 据付(電気)工事説明書

  （感電、火災の原因）

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- **配線は途中接続しない**
  （接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **配線は、室内ユニットの他の端子(電源配線用端子など)に接続しない**
  （感電、故障の原因）
- **ぬれた手で据付(電気)工事をしない**
  （感電、故障の原因）

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  （製品の落下、感電、火災などの原因）
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）

⚠ 注意

⃠
- **次のような場所で使わない**（感電、火災などの原因）
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

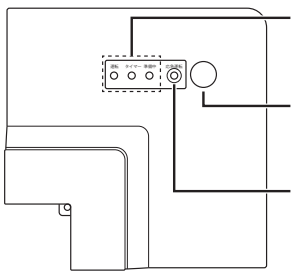
据え付け時のご注意

●次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 過度な衝撃や振動のあるところ
  - 熱源の近くなど

●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
●高周波を発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける。
(本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1m以上離す。
(映像の乱れ、雑音の原因)
●配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。(故障の原因)
●配線は、地中に埋設しない。
(落雷などにより、感電や火災、故障の原因)

Printed in Japan
ACXF60-32604
W0918-40823

各部の名前



① **表示ランプ**
運転状態をお知らせします

② **受光部**
信号を受信します

③ **応急運転ボタン**
応急運転を始めます／止めます

お知らせ

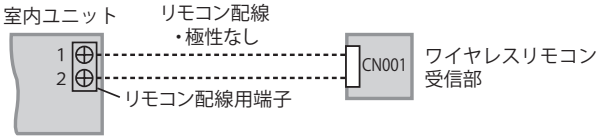
ワイヤレスリモコンの信号は微弱な赤外線を利用しており、下記の影響により操作を受け付けないことがありますので取り付け位置についてはご注意ください。

・インバーター蛍光灯やラピッドスタート式蛍光灯（グローランプがない方式のもの）
・プラズマディスプレイや液晶テレビ
・その他、出力の大きい照明や直射日光

1 配線のしかた

● リモコン配線の総配線長：400 m以内
　・室内ユニットのリモコンわたり総配線長は200 mまで
● グループ制御時の接続可能台数
　・室内ユニット：8台まで（熱交換気ユニットの台数を含む）
● ------ はワイヤレスリモコン受信部の配線をご使用ください。

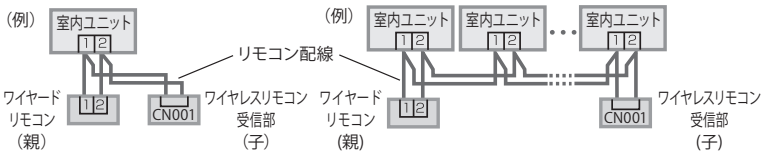
■ 基本配線図



親・子リモコン制御について

1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。
設置後、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。
設定方法については、本紙およびワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。

■ 室内ユニットが1台のとき　■ 室内ユニットが複数台のとき



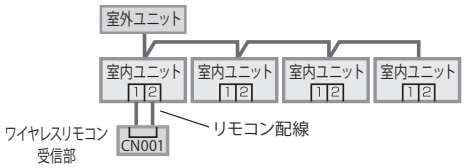
お知らせ　どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

グループ制御（リモコンわたり配線）について

● R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
● 冷媒種にかかわらず、冷媒系統が異なる場合や熱交換気ユニットと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。
● R410A冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。
● リモコン側で渡る配線は禁止です。
※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

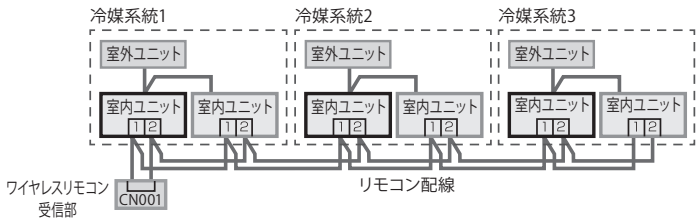
※ R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）



お知らせ

どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。

複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ

● どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。
● エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

お願い

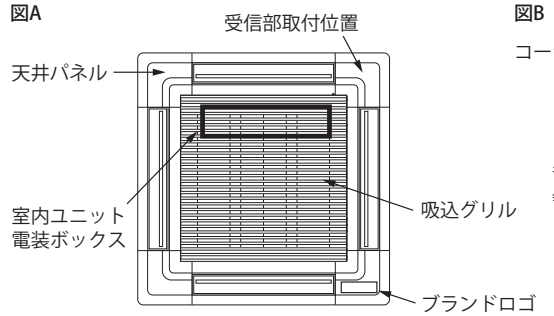
● 親・子リモコン制御やグループ制御を行う場合は、室内ユニットやワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

2 据え付ける

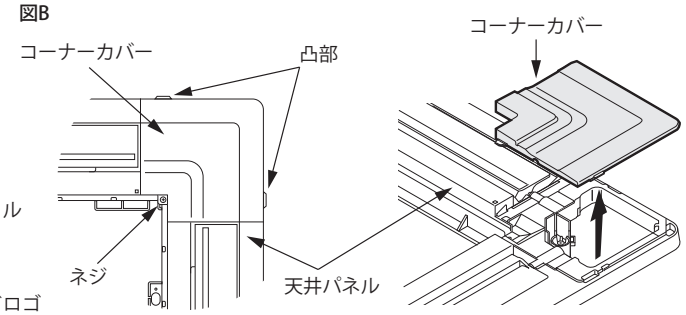
お願い 「3 設定する」を事前にご確認ください。

※ワイヤレスリモコン受信部（以降、受信部）を取り付けられるコーナー部は、図Aの受信部取付位置のみとなります。
天井パネルを室内ユニットに取り付けたときの向きを考慮してください。
① 吸込グリルをはずします。（図A）
② コーナーカバーを固定しているネジをはずし、コーナーカバーの左右凸部を手前に引いてはずします。（図B）

図A

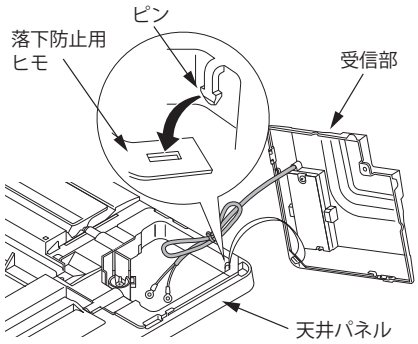


図B

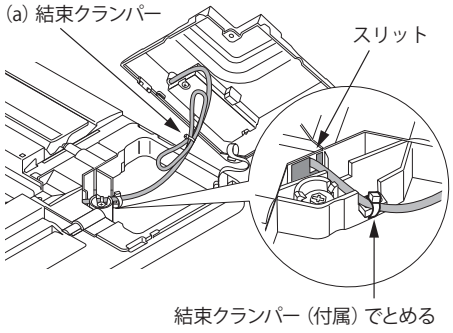


③ 受信部の落下防止用ヒモを天井パネルのピンに引っかけてください。（図C）
④ 受信部から出ている配線をスリットの中に通します。（図D）
配線の接続については、表面の「1 配線のしかた」を参照してください。
⑤ 受信部がはずせる長さの配線をのこし、結束クランパー（付属）で固定します。（図D）
※フィルターチャンバーを併用される場合は、図D (a) の結束クランパーを切ってください。
⑥ 受信部を天井パネルに、ツメが5か所収まるようにして嵌合し、②ではずしたネジで固定します。（図E）
※配線をはさまないようにご注意ください。
※天井パネルに付属の説明書もあわせてご覧ください。

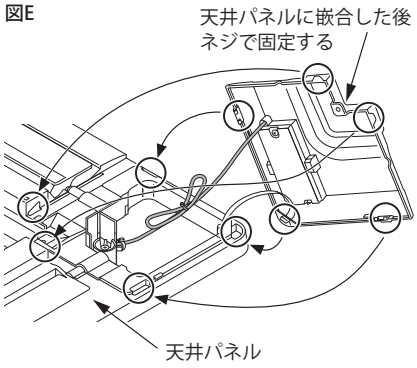
図C



図D



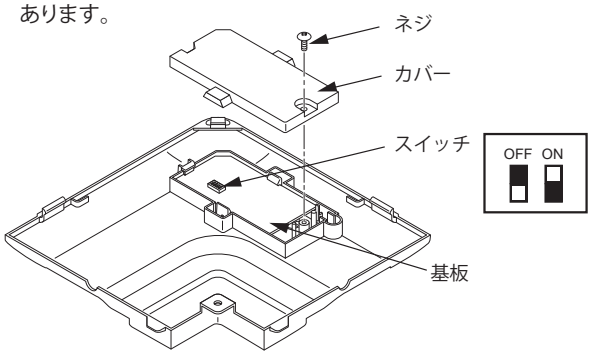
図E



3 設定する

■ リモコン親子設定　■ アドレス設定

設定を行う場合は、受信部のカバーを取りはずす必要があります。



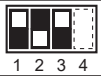
リモコン親子設定

- ワイヤードリモコンやワイヤレスリモコン受信部を親子で設置するときに設定します。
- 片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
- 工場出荷時は「親リモコン」に設定してあります。
- ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。

親子設定	親	子
ワイヤレスリモコン受信部の親子スイッチの位置	 1 2 3 4	 1 2 3 4

アドレス設定

- 同じ室内に複数のワイヤレスリモコン受信部が設置されているときに、アドレスを設定して混信を防ぐことができます。
- ワイヤレスリモコン送信部のアドレス変更方法はワイヤレスリモコン送信部の「取扱説明書」をご覧ください。

ワイヤレスリモコン送信部のアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	アドレス 3	アドレス 4	アドレス 5	アドレス 6
ワイヤレスリモコン受信部のアドレススイッチの位置	全てのアドレス位置で受信が可能	 1 2 3 4	 1 2 3 4	 1 2 3 4	 1 2 3 4	 1 2 3 4	 1 2 3 4

4 試運転する

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を「入」れてください。
約1分間は操作を受け付けませんが、設定中のため、故障ではありません。（設定中に受信した内容は解除されます。）

1. 応急運転ボタンの長押し（10秒）で試運転モードになります。
2. 試運転中は、表示ランプ（運転、タイマー、準備中）が点滅します。
3. 試運転を終了するには応急運転ボタンを長押し（10秒）してください。

お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。
（室内・室外ユニットに無理がかかるため）
- 暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
- 連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。
- 電源投入後および運転停止後、約３分間は室外ユニットの運転はしません。

自己診断機能表と検出内容

下の表にある「警報表示」はワイヤードリモコンを接続した場合に表示される警報内容です。
警報の対処方法については、室内ユニットに付属の「据付（電気）工事説明書」や「テクニカルガイド」をご覧ください。

検出内容		ワイヤレスリモコン受信部の表示ランプ			
	警報表示	運転	タイマー	準備中	点滅
リモコン回線上での通信異常	E01 ～ E03、E08 ～ E14、E17、E18	◎	●	●	
室内外操作線または室外機サブバスでの通信異常	E04 ～ E07、E15、E16、E19 ～ E31	●	●	◎	
室内保護装置動作	P01、P09 ～ P14	●	◎	◎	交互
室外保護装置動作	P02 ～ P08、P15 ～ P31	◎	●	◎	交互
室内サーミスタ異常	F01 ～ F03、F10 ～ F11	◎	◎	●	交互
室外サーミスタ異常	F04 ～ F09、F12 ～ F28	◎	◎	○	交互
室内EEPROM異常	F29	◎	◎	●	同時
室外EEPROM異常	F30、F31	◎	◎	○	同時
圧縮機関係異常	H01 ～ H31	●	◎	●	
室内設定異常	L01 ～ L03、L05 ～ L09	◎	●	◎	同時
室外設定異常	L04、L10 ～ L31	◎	○	◎	同時
ガスヒートポンプエアコンの異常	A01 ～ A31	●	◎	◎	同時
冷暖不一致(冷暖自動不可機種への冷暖自動設定を含む)		○	◎	◎	交互
オイル警報（室外保護装置動作と同じ）		◎	●	◎	交互
自動アドレス中（ワイヤレスリモコンで行った場合）		↳◎ → ◎ → ◎┘			順次
試運転中		◎	◎	◎	同時

●：消灯 ／ ○：点灯 ／ ◎：点滅（0.5秒間隔）

付属品

＜＞：個数

- **結束クランパー**　＜1＞
- **据付（電気）工事説明書**　＜1＞

仕様

品番	CZ-10RWRU2A / CZ-10RWRU2A-T CZ-10RWRU2A-H / CZ-10RWRU2A-K
外形寸法	（高さ）29.7 mm ×（幅）211.8 mm ×（奥行）211.8 mm
質量	160 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 %　※ 屋内設置専用
電源	DC 16 V（室内ユニットより供給）

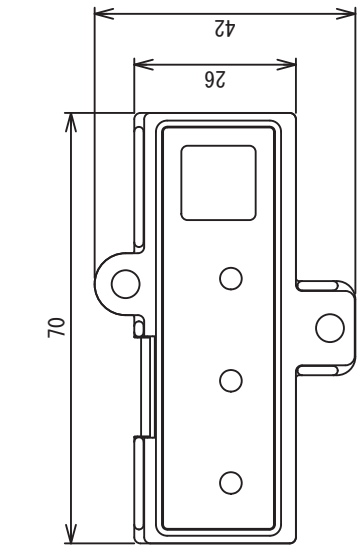
ワイヤレスリモコン受信部（2方向天井カセット形ナノイーX搭載機種 受信部）/ CZ-10RWRL2

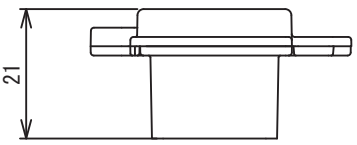
仕様

品番	CZ-10RWRL2
外形寸法	受信部：（高さ）42 mm ×（幅）70 mm ×（奥行）21 mm 操作部：（高さ）55 mm ×（幅）120 mm ×（奥行）16 mm
重量	受信部：15g　操作部：75g
使用温度・湿度範囲	0℃～40℃・20%～80%（屋内設置専用）
電源	DC16 V（室内ユニットより供給）

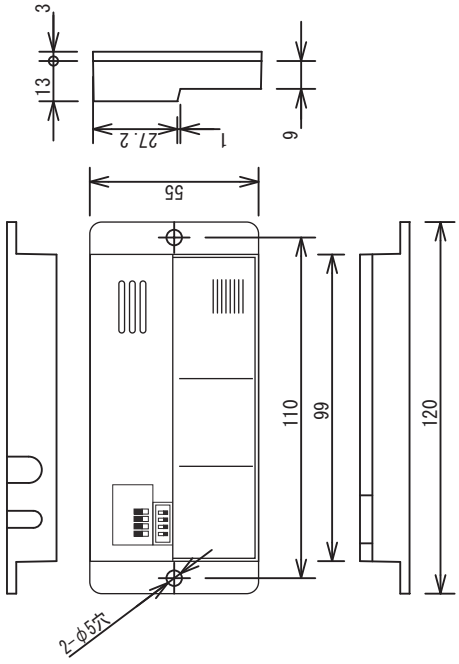
外形寸法図

受信部寸法





操作部寸法



単位：mm

品番	CZ-10RWRL2

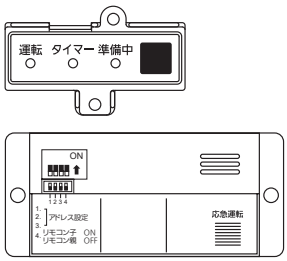
外形寸法図
《ワイヤレスリモコン受信部》
（2方向天井カセット形）

Panasonic

据付(電気)工事説明書

ワイヤレスリモコン受信部（2方向天井カセット形）

品番 **CZ-10RWRL2**



- ●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- ●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
- ●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- ●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- ●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠ 警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準
  - 内線規程
  - 据付(電気)工事説明書

  （感電、火災の原因）

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- **配線は途中接続しない**
  （接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **配線は、室内ユニットの他の端子(電源配線用端子など)に接続しない**
  （感電、故障の原因）
- **ぬれた手で据付(電気)工事をしない**
  （感電、故障の原因）

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  （製品の落下、感電、火災などの原因）
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）

⚠ 注意

⃠
- **次のような場所で使わない**（感電、火災などの原因）
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ

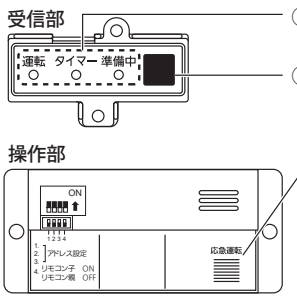
❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

据え付け時のご注意

- ●次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 過度な衝撃や振動のあるところ
  - 熱源の近くなど
- ●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
- ●高周波を発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける。
  (本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
- ●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1m以上離す。
  (映像の乱れ、雑音の原因)
- ●配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。(故障の原因)
- ●配線は、地中に埋設しない。
  (落雷などにより、感電や火災、故障の原因)

Printed in Japan
ACXF60-30084
W0318-40823

各部の名前



①表示ランプ
運転状態をお知らせします

②受光部
信号を受信します

③応急運転ボタン
応急運転を始めます／止めます

お知らせ

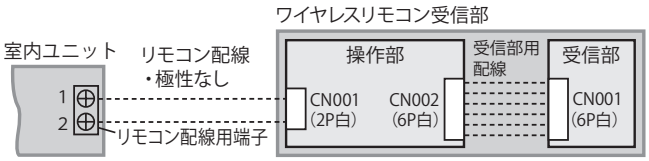
ワイヤレスリモコンの信号は微弱な赤外線を利用しており、下記の影響により操作を受け付けないことがありますので取り付け位置についてはご注意ください。

- インバーター蛍光灯やラピッドスタート式蛍光灯（グローランプがない方式のもの）
- プラズマディスプレイや液晶テレビ
- その他、出力の大きい照明や直射日光

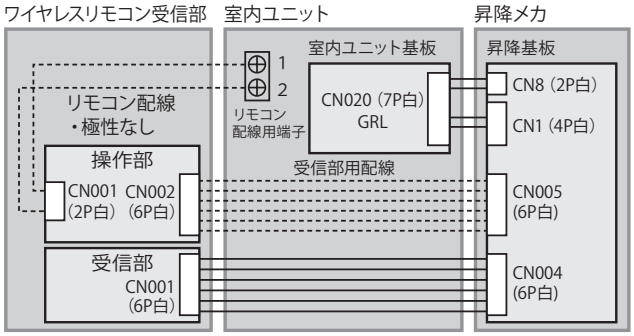
1 配線のしかた

- リモコン配線の総配線長：400 m以内
  - 室内ユニットのリモコンわたり総配線長は200 mまで
- グループ制御時の接続可能台数
  - 室内ユニット：8台まで（熱交換気ユニットの台数を含む）
- ------ はワイヤレスリモコン受信部の配線をご使用ください。

■ 基本配線図



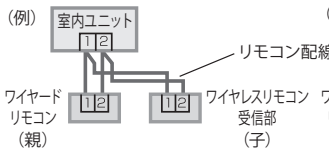
■ 配線図（昇降グリル付パネルの場合）



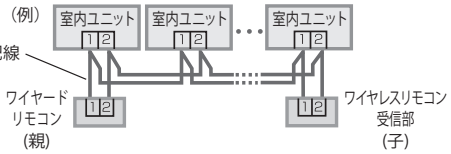
親・子リモコン制御について

1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。
設置後、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。
設定方法については、本紙およびワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。

■ 室内ユニットが1台のとき



■ 室内ユニットが複数台のとき



お知らせ どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

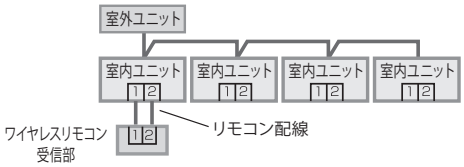
グループ制御（リモコンわたり配線）について

- R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
- 冷媒種にかかわらず、冷媒系統が異なる場合や熱交換気ユニットと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。
- R410A冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。
- リモコン側で渡る配線は禁止です。

※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

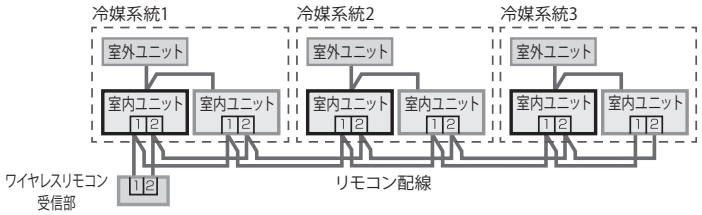
※ R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）



お知らせ

どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。

複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ

- どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。
- エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

お願い

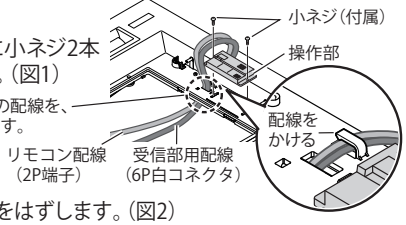
- 親・子リモコン制御やグループ制御を行う場合は、室内ユニットやワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

2 据え付ける

昇降グリルなしの場合

樹脂製天井パネルの場合

図1



作業：天井パネル表面

①操作部を右図の位置に小ネジ2本（付属）で取り付けます。（図1）

作業：天井パネル裏面

②パネルカバー（ネジ2本）をはずします。（図2）
受信部の取り付け位置にあるカバー（ネジ2本）をはずします。（図3）

③操作部から出ている受信部用配線を、受信部にしっかりと接続し、受信部（ネジ2本）を天井パネルに取り付けます。（図3）

図3

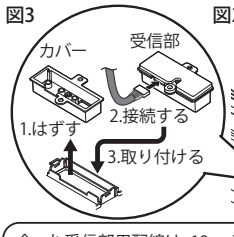
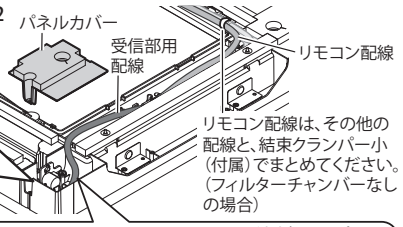
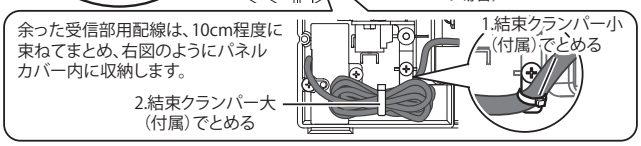


図2



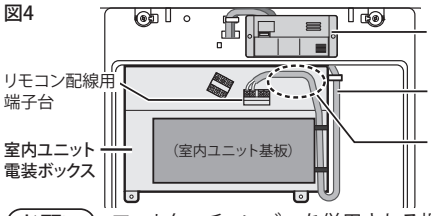


④手順②ではずしたパネルカバー（ネジ2本）を元の状態に取り付けます。
※ 配線の挟み込みにご注意ください。

作業：天井パネル表面

⑤下図を参考にして、リモコン配線を室内ユニットのリモコン配線用端子台に接続します。（図4）

図4

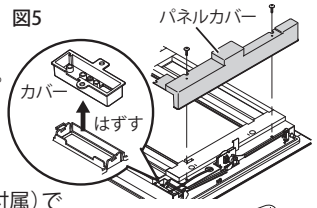


金属製天井パネルの場合

作業：天井パネル裏面

①パネルカバー（ネジ2本）をはずします。
受信部の取り付け位置にあるカバー（ネジ2本）をはずします。（図5）

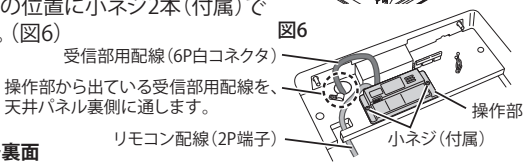
図5



作業：天井パネル表面

②操作部を右図の位置に小ネジ2本（付属）で取り付けます。（図6）

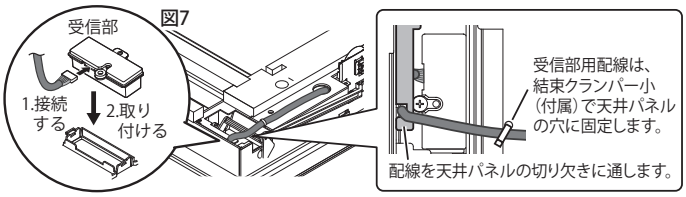
図6



作業：天井パネル裏面

③操作部から出ている受信部用配線を、受信部にしっかりと接続し、受信部（ネジ2本）を天井パネルに取り付けます。（図7）

図7

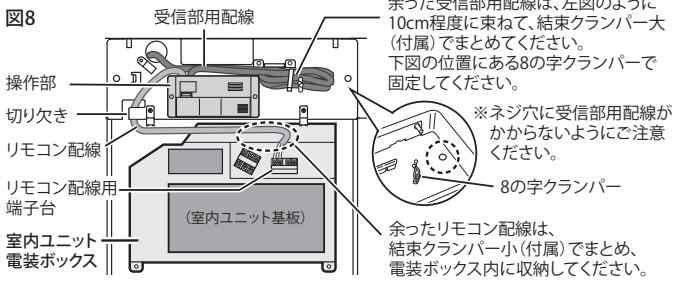


④手順①ではずしたパネルカバー（ネジ2本）を元の状態に取り付けます。
※ 配線の挟み込みにご注意ください。

作業：天井パネル表面

⑤下図を参考にして、リモコン配線を室内ユニットのリモコン配線用端子台に接続します。（図8）

図8



お願い　フィルターチャンバーを併用される場合は、フィルターチャンバーに付属の説明書もあわせてご覧ください。

昇降グリルありの場合

作業：天井パネル裏面

1. 昇降グリル受信部をワイヤレス受信部（IND-10RWRL）に付け換えます。（図9）
※受信部の付け換えは、天井パネルの取り付け作業前に行ってください。
①パネルカバー（ネジ2本）をはずします。
②昇降グリル受信部（ネジ2本）を取りはずし、配線（6P白コネクタ）をはずします。
③手順②ではずした配線を、ワイヤレス受信部にしっかりと接続し、ワイヤレス受信部を天井パネルに取り付けます。
④手順①ではずしたパネルカバー（ネジ2本）を元の状態に取り付けます。

作業：天井パネル表面

2. ワイヤレス操作部を取り付けます。
①操作部を、図の位置に小ネジ2 本（付属）で取り付けます。（図10）
操作部から出ている2本の配線は、図のようにして天井パネル裏側に通します。（図10）
②操作部のリモコン配線（2P端子）は、図4または図8を参考にして、室内ユニットのリモコン配線用端子台に接続します。
③操作部の受信部用配線（6P白コネクタ）は、昇降基板に接続します。
昇降メカふた（ネジ3本）をはずし、配線通し穴を通して昇降基板のCN005コネクタ（6P白）に接続します。（図11）

3. その他の電気配線のしかたは、昇降グリル付パネルの説明書をご覧ください。

図9

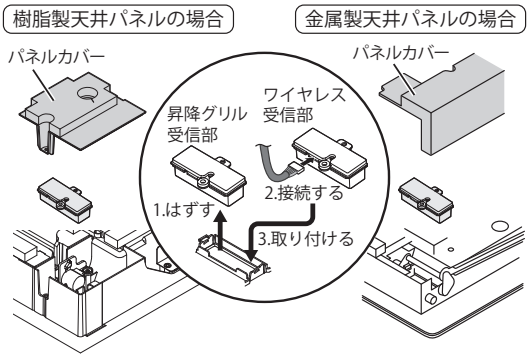


図10

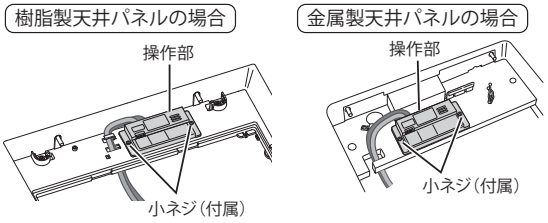
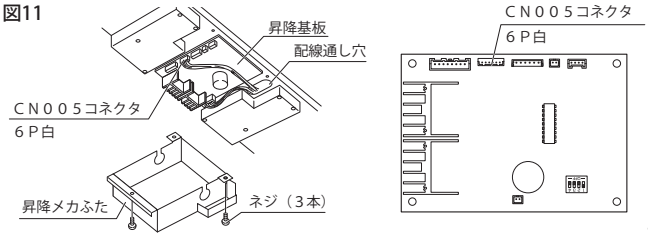
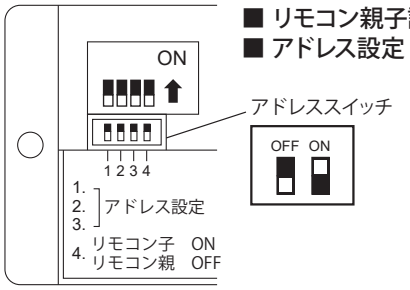


図11

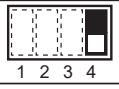
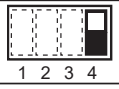


3 設定する



リモコン親子設定

- ワイヤードリモコンやワイヤレスリモコン受信部を親子で設置するときに設定します。
- 片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
- 工場出荷時は「親リモコン」に設定してあります。
- ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。

親子設定	親	子
受信部の親子スイッチの位置		

アドレス設定

- 同じ室内に複数のワイヤレスリモコン受信部が設置されているときに、アドレスを設定して混信を防ぐことができます。
- ワイヤレス送信部のアドレス変更方法はワイヤレスリモコン送信部の「取扱説明書」をご覧ください。

ワイヤレスリモコン送信部のアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	アドレス 3	アドレス 4	アドレス 5	アドレス 6
ワイヤレスリモコン受信部のアドレススイッチの位置	全てのアドレス位置で受信が可能						

4 試運転する

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を「入」れてください。
約1分間は操作を受け付けませんが、設定中のため、故障ではありません。（設定中に受信した内容は解除されます。）

1. 応急運転ボタンの長押し（10秒）で試運転モードになります。
2. 試運転中は、表示ランプ（運転、タイマー、準備中）が点滅します。
3. 試運転を終了するには応急運転ボタンを長押し（10秒）してください。

（お願い）

- 試運転以外の目的には使わないでください。
（室内・室外ユニットに無理がかかるため）
- 暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
- 連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。
- 電源投入後および運転停止後、約 3 分間は室外ユニットの運転はしません。

自己診断機能表と検出内容

下の表にある「警報表示」はワイヤードリモコンを接続した場合に表示される警報内容です。
警報の対処方法については、室内ユニットに付属の「据付（電気）工事説明書」や「テクニカルガイド」をご覧ください。

検出内容		ワイヤレスリモコン受信部の表示ランプ			
	警報表示	運転	タイマー	準備中	点滅
リモコン回線上での通信異常	E01 ～ E03、E08 ～ E14、E17、E18	◎	●	●	
室内外操作線または室外機サブバスでの通信異常	E04 ～ E07、E15、E16、E19 ～ E31	●	●	◎	
室内保護装置動作	P01、P09 ～ P14	●	◎	◎	交互
室外保護装置動作	P02 ～ P08、P15 ～ P31	◎	●	◎	交互
室内サーミスタ異常	F01 ～ F03、F10 ～ F11	◎	◎	●	交互
室外サーミスタ異常	F04 ～ F09、F12 ～ F28	◎	◎	○	交互
室内EEPROM異常	F29	◎	◎	●	同時
室外EEPROM異常	F30、F31	◎	◎	○	同時
圧縮機関係異常	H01 ～ H31	●	◎	●	
室内設定異常	L01 ～ L03、L05 ～ L09	◎	●	◎	同時
室外設定異常	L04、L10 ～ L31	◎	○	◎	同時
ガスヒートポンプエアコンの異常	A01 ～ A31	●	◎	◎	同時
冷暖不一致(冷暖自動不可機種への冷暖自動設定を含む)		○	◎	◎	交互
オイル警報（室外保護装置動作と同じ）		◎	●	◎	交互
自動アドレス中（ワイヤレスリモコンで行った場合）		◎ → ◎ → ◎			順次
試運転中		◎	◎	◎	同時

●：消灯 ／ ○：点灯 ／ ◎：点滅（0.5秒間隔）

付属品

＜ ＞：個数

- **小ネジ**　M４×10　＜４＞
- **結束クランパー小**　＜３＞
- **結束クランパー大**　＜１＞
- **据付（電気）工事説明書**　＜１＞

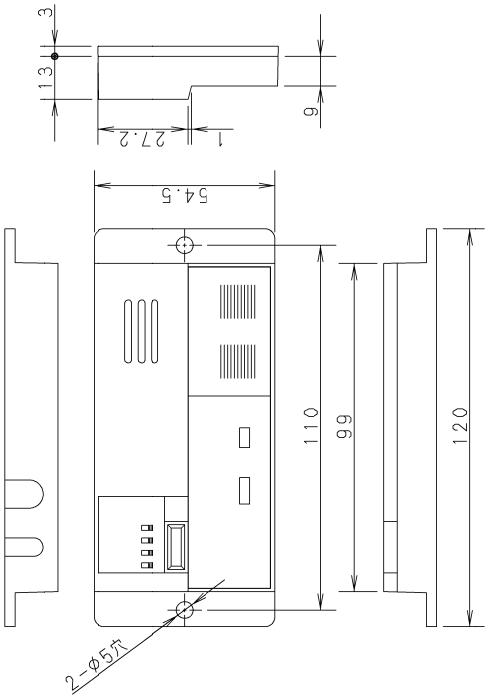
仕様

品番	CZ-10RWRL2
外形寸法	受信部：（高さ）42 mm ×（幅）70 mm ×（奥行）21 mm 操作部：（高さ）55 mm ×（幅）120 mm ×（奥行）16 mm
質量	受信部：15 g　　操作部：75 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 %　　※ 屋内設置専用
電源	DC16 V（室内ユニットより供給）

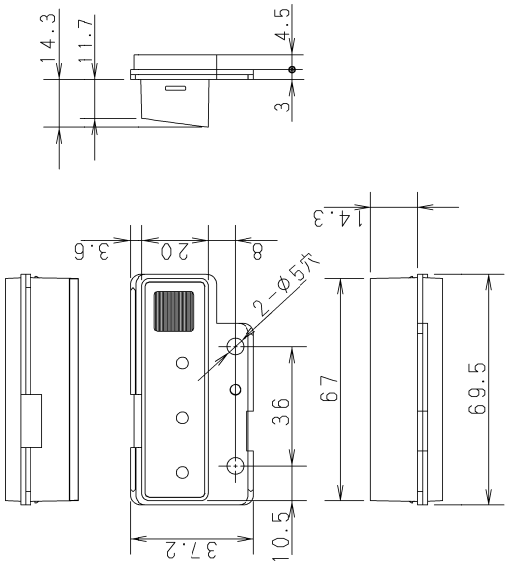
ワイヤレスリモコン受信部（2方向天井カセット形）/ CZ-10RWRL1

品番	CZ-10RWRL1	外形寸法図 《ワイヤレスリモコン》受信部（2方向天井カセット形）

操作部寸法図



受信部寸法



Panasonic

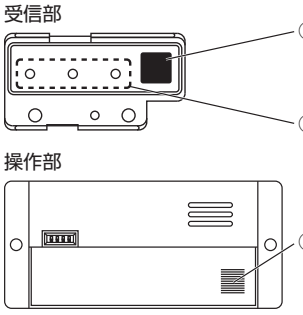
据付（電気）工事説明書

ワイヤレスリモコン受信部（2方向天井カセット形）

品番 **CZ-10RWRL1**

●据付（電気）工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
また、「据付（電気）工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●据付（電気）工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その据え付けが原因で故障した場合は、製品保証の対象外となります。
●室内ユニットなどに付属の据付説明書も合わせてご覧ください。

各部の名前



安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⚠ 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意 「軽傷を負うことや、財産の 損害が発生するおそれがある内容」です。
⃠ してはいけない内容（禁止事項）です。	❗ 実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

⃠ 分解や改造は行わない
（感電・火災の原因）

❗ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する
（感電・火災等の原因）

❗ 据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う
（感電・火災等の原因）

❗ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う
- 電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- 据付（電気）工事説明書

（感電・火災の原因）

❗ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する
- 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。

（発熱・火災等の原因）

❗ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を「切」にしてから行う
（感電の原因）

⚠ 注意

⃠ 次のような場所で使わない
- 可燃性ガス等の漏れるおそれのあるところ
- 腐食性ガス等の漏れるおそれのあるところ
- 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
- 電圧変動の多いところ
- 電磁波が出る機械のあるところ
- 有機溶剤の飛沫するところ
- 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレー等を頻繁に使うところ
- 結露するところ

（感電・火災等の原因）

⃠ ぬれた手で操作しない
（感電の原因）

⃠ 水洗いしない
（感電・火災の原因）

Printed in Japan
DC0515-40723
ACXF60-19333
85464369814011

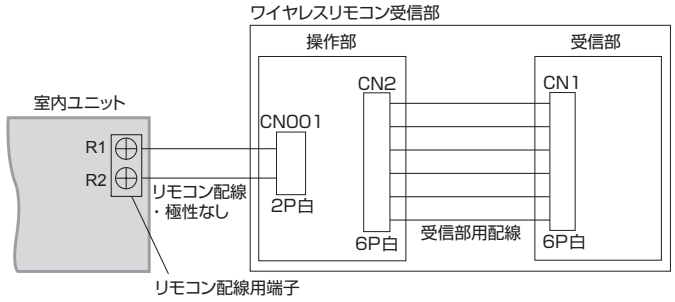
設置上のご注意

設置番所など

- ワイヤレスリモコンの信号は微弱な赤外線を利用しており、下記の影響により操作を受け付けないことがありますので取り付け位置についてはご注意ください。
  - インバーター蛍光灯やラピッドスタート式蛍光灯（グローランプがない方式のもの）
  - プラズマディスプレイや液晶テレビ
  - その他、出力の大きい照明や直射日光

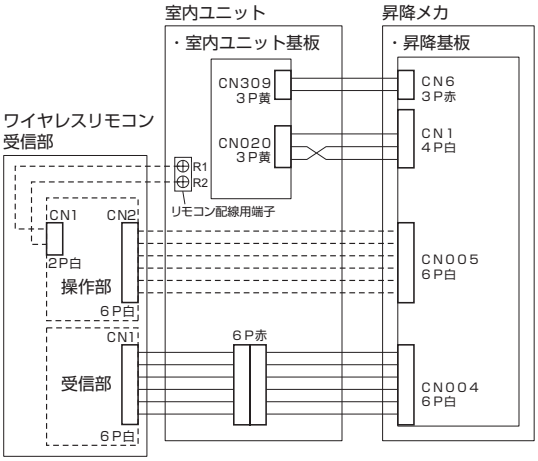
受信部の配線の仕方

■ 配線図



■ 配線図（昇降グリル付天井パネルの場合）

● ---- はワイヤレスリモコン受信部の同梱品です。



■ 総配線長：400 m以内
（室内ユニット間のリモコン配線は、200 m以内）

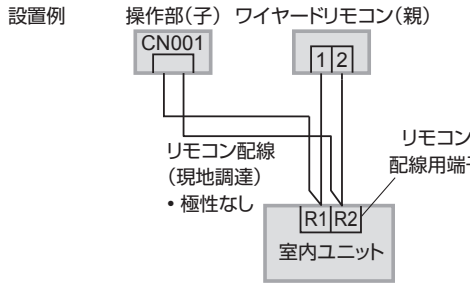
■ 接続可能台数
リモコンおよび受信部：最多2個
室内ユニット：最多8台

お願い

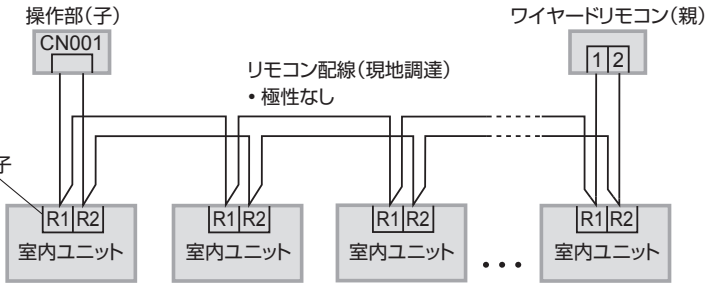
- 誤って、室内ユニットの他の端子（電源配線用端子など）に接続しないよう、注意してください。（故障の原因）
- 電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。（誤動作の原因）
- ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付けてください。

リモコンや受信部を親子で設置するとき

■ 室内ユニットが1台のとき



■ 室内ユニットが複数台のとき



■ 配線の種類

- 柔軟性のある、0.5～1.25 mm²のケーブルを使う。
- 単線は使わない。
- 推奨品※（　）内：エコ電線
  - VCTF（EM-ECTF）
  - VCT（ECO120）

※エコ電線について：紫外線（日光・照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。

設置後、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
設定方法については、本紙およびワイヤードリモコンの据付（電気）工事説明書をご覧ください。
ワイヤードリモコンは「親リモコン」に設定することを推奨します。

お知らせ

- どの室内ユニットにリモコンや受信部を接続しても、動作します。

付属品

小ネジ M4 × 10（4本）	結束バンド（3個）
	

仕様

品　番	CZ-10RWRL1
外形寸法	受信部:（高さ）37 mm ×（幅）70 mm ×（奥行）22 mm 操作部:（高さ）55 mm ×（幅）120 mm ×（奥行）16 mm
質　量	受信部:15 g　　操作部:75 g
使用温度・湿度範囲	0 °C ～ 40 °C・20 % ～ 80 % （屋内設置専用）
電　源	受信部:DC5 V（操作部より供給） 操作部:DC16 V（室内ユニットより供給）

取り付ける

昇降グリルなしの場合（樹脂パネル／金属パネル）

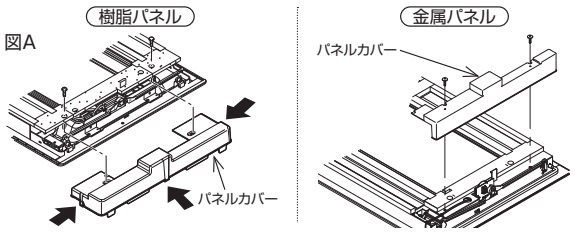
■ 操作部

① ネジを2本はずしてパネル裏側よりパネルカバーをはずします。（図A）
樹脂パネルの場合：矢印の個所にツメがありますので、そこからパネルカバーをはずしてください。
② 操作部を右図の場所に小ネジ2本（付属）で固定してください。（図B）
③ 受信部用配線（6P白コネクタ）をパネル裏側に通してください。

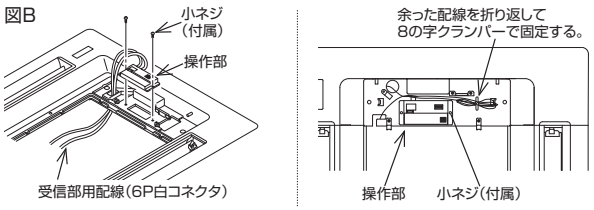
■ 受信部

① カバーをはずします。（図C）
受信部の取り付け位置にカバーが付いていますので、ネジを1本はずしてパネルの表側から押し込んではずします。
② 操作部から出ている受信部用配線（6P白コネクタ）を受信部に接続し、パネルに受信部をはめ込みます。6P白コネクタが奥までしっかりと接続されていることを確認してください。
③ 受信部のリード線をはめ込みます。
（樹脂パネルの場合）ルーバーのシャフトに接触しないように整形します。図Cの丸印の部分に配線通し用の溝がありますので、リード線がたるまないよう溝にはめ込んでください。
（金属パネルの場合）受信部のリード線をパネルの切り欠きを通して、板金の穴を利用して結束バンドで固定します。（図D）
④ パネルカバーを取り付けます。
（樹脂パネルの場合）図Dの矢印の個所のツメを確実にはめ込んでください。
⑤ 操作部のリード線を整形し、結束バンドで固定してください。
⑥ 天井パネルを取り付けてください。

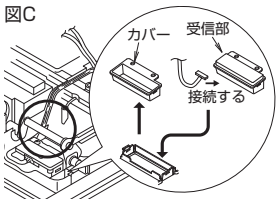
図A



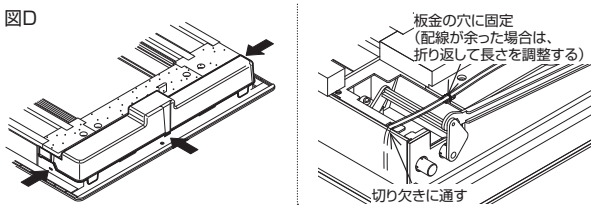
図B



図C



図D



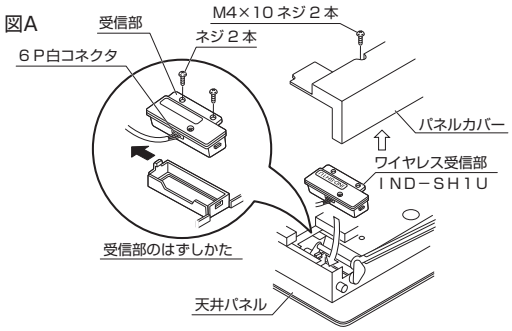
昇降グリルありの場合

1．昇降グリル受信部をワイヤレス受信部（ＩＮＤ－ＳＨ１Ｕ）に付け換えます。（図Ａ）
※受信部の付け換えは、天井パネルの取り付け作業前に行ってください。
①天井パネルを裏側にして、パネルカバーをはずします。（M4×10 ネジ２本）
②受信部（ネジ2本）をはずしツメ部を矢印（⬅）方向に押しながら昇降グリル受信部を取り出し、６Ｐ白コネクタを根元からはずします。
③ワイヤレス受信部（ＩＮＤ－ＳＨ１Ｕ）を、②ではずした6P(白) コネクタに接続して天井パネルに取り付けます。

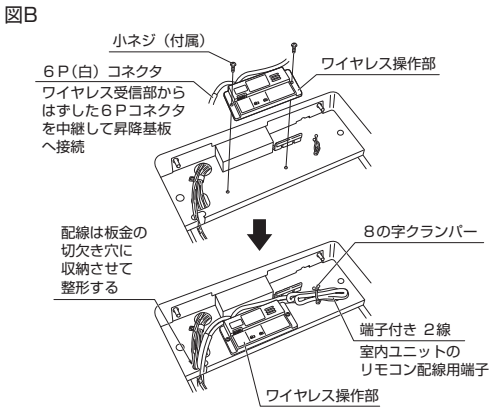
2．ワイヤレス操作部を取り付けます。（図Ｂ）
①操作部は天井パネルを表面にして、小ネジ２本（付属）で固定します。
②操作部の端子付き２線は、室内ユニットのリモコン配線用端子に接続します。（極性はありません）配線は整形して８の字クランパーで結束します。
③操作部の６Ｐ白コネクタにワイヤレス受信部からはずした６Ｐ白コネクタを接続し、もう一方の６Ｐ白コネクタは昇降基板に接続します。昇降メカふた（ネジ３本）をはずし配線穴を通して昇降基板の6P白（ＣＮ００５）コネクタに接続します。（図Ｃ）

3．その他の電気配線のしかたは、昇降グリル付天井パネルの説明書をご覧ください。

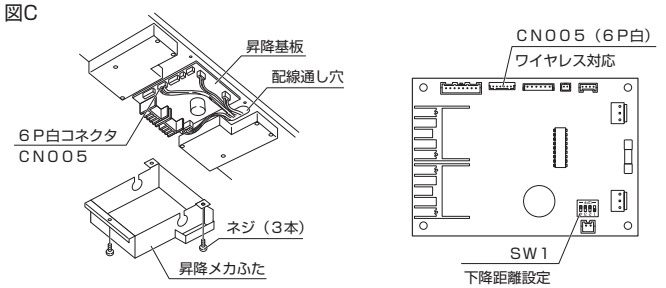
図A



図B

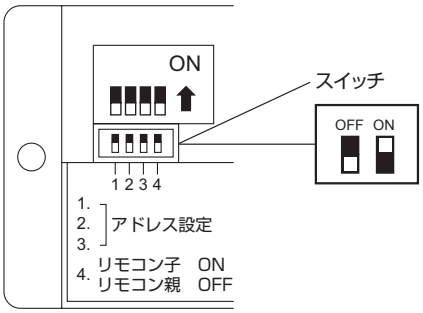


図C



設定する

■ リモコン親子設定　■ アドレス設定



リモコン親子設定

- リモコンや受信部を親子で設置するときに設定します。
- 片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
- 工場出荷時は「親リモコン」に設定してあります。
- ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定することを推奨します。

親子設定	親	子
操作部の親子スイッチの位置	1 2 3 4	1 2 3 4

アドレス設定

- 同じ室内に複数の受信部が設置されているときに、アドレスを設定して混信を防ぐことができます。
- ワイヤレスリモコン送信部のアドレス変更方法はワイヤレスリモコン送信部の取扱説明書をご覧ください。

ワイヤレスリモコンのアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	アドレス 3	アドレス 4	アドレス 5	アドレス 6
操作部のアドレススイッチの位置	全てのアドレス位置で受信が可能	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

試運転する

準備：ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を「入」れてください。電源を投入した後、約1分間はリモコン操作を受け付けませんが、設定中のため、故障ではありません。（設定中に受信した内容は解除されます。）

1. 応急運転ボタンの長押し（10秒）で試運転モードになります。
2. 試運転中は、表示ランプ（運転、タイマー、準備中）が点滅します。
3. 試運転モードを終了するには応急運転ボタンを長押し（10秒）してください。

お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。（ユニットに無理がかかるため）
- ユニット付属の据付説明書も、あわせてご覧ください。
- 暖房／冷房／送風のいずれかのみ運転できます。
- 温度変更はできません。
- 試運転モードは、60分後自動で「オフ」になります。（連続試運転の防止）
- 電源投入後および運転停止後、約3分間は室外ユニットの運転はしません。

自己診断機能表と検出内容

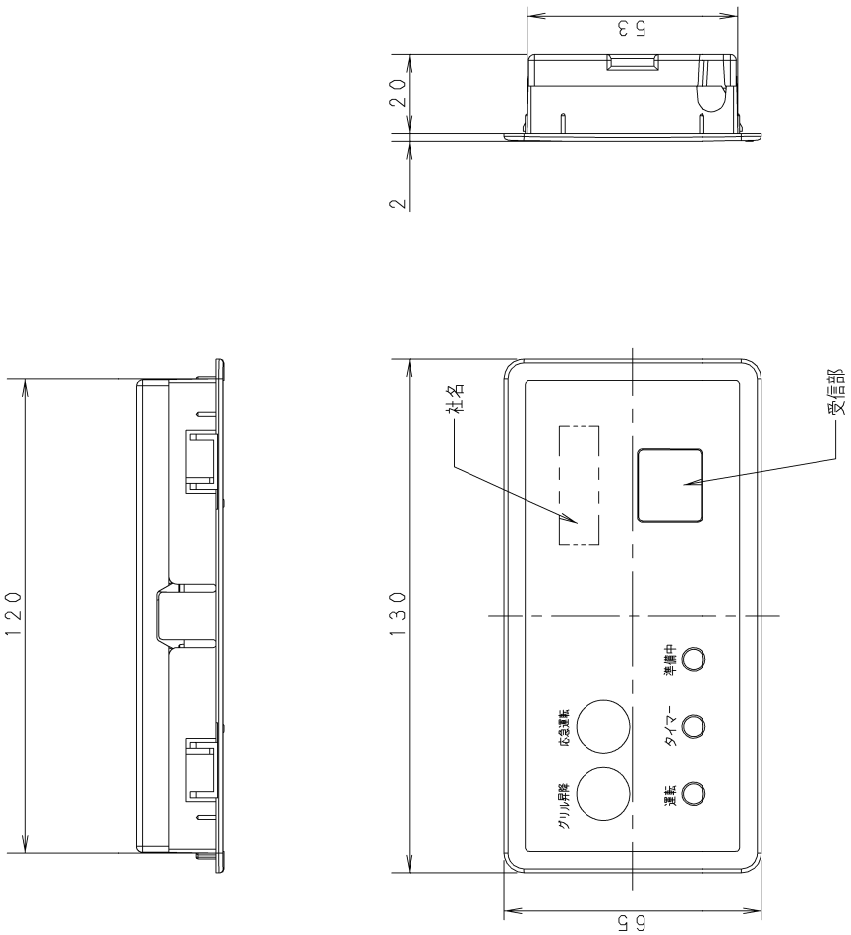
- 下の表にある「警報表示」はワイヤードリモコンを接続した場合に表示される警報内容です。警報の対処方法については、室内ユニットの据付説明書やテクニカルガイドをご覧ください。

検出内容	受信部の表示ランプ			
	警報表示	運転	タイマー	準備中	点滅
リモコン回線上での通信異常	E01～E03、E08～E14、E17、E18	◎	●	●	
室内外操作線または室外機サブバスでの通信異常	E04～E07、E15、E16、E19～E31	●	●	◎	
室内保護装置動作	P01、P09～P14	●	◎	◎	交互
室外保護装置動作	P02～P08、P15～P31	◎	●	◎	交互
室内サーミスタ異常	F01～F03、F10～F11	◎	◎	●	交互
室外サーミスタ異常	F04～F09、F12～F28	◎	◎	○	交互
室内EEPROM異常	F29	◎	◎	●	同時
室外EEPROM異常	F30、F31	◎	◎	○	同時
圧縮機関係異常	H01～H31	●	◎	●	
室内設定異常	L01～L03、L05～L09	◎	●	◎	同時
室外設定異常	L04、L10～L31	◎	○	◎	同時
ガスヒートポンプエアコンの異常	A01～A31	●	◎	◎	同時
冷暖不一致（冷暖自動不可機種への冷暖自動設定を含む）		○	◎	◎	交互
オイル警報（室外保護装置動作と同じ）		◎	●	◎	交互
試運転する		◎	◎	◎	同時

●：消灯／○：点灯／◎：点滅（0.5秒間隔）

ワイヤレスリモコン受信部（1方向天井カセット形、高天井用1方向、天井吊形）/ CZ-10RWRD1A

品番	CZ-10RWRD1A	外形寸法図 《ワイヤレスリモコン》受信部 （1方向形〔高天+カセット〕，天吊形）



外形寸法図

仕様

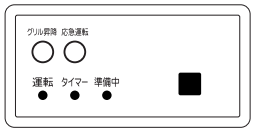
品番	CZ-10RWRD1A
外形寸法	（高さ）65mm×（幅）130mm×（奥行）22mm
質量	82g
使用温度・湿度範囲	0℃~40℃・20%~80%　※屋内設置専用
電源	DC16V（室内ユニットより供給）

Panasonic®

据付(電気)工事説明書

ワイヤレスリモコン受信部
(1方向天井カセット形／高天井用1方向カセット形／天井吊形)

品番 **CZ-10RWRD1A**



●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⊘	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準
  - 内線規程
  - 据付(電気)工事説明書

  (感電、火災の原因)

本体を据え付けるときに

⊘
- **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- **水洗いしない**(感電、故障の原因)
- **配線は途中接続しない**
  (接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)
- **配線は、室内ユニットの他の端子(電源配線用端子など)に接続しない**
  (感電、故障の原因)
- **ぬれた手で据付(電気)工事をしない**
  (感電、故障の原因)

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**(感電の原因)
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  (製品の落下、感電、火災などの原因)
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)

⚠注意

⊘
- **次のような場所で使わない**(感電、火災などの原因)
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

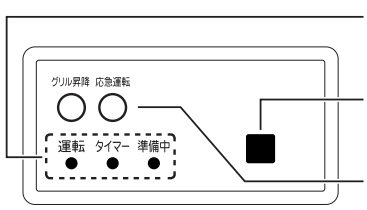
据え付け時のご注意

●次のような場所に据え付けない。
- 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
- 過度な衝撃や振動のあるところ
- 熱源の近くなど

●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
●高周波を発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける。
(本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1m以上離す。
(映像の乱れ、雑音の原因)
●配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。(故障の原因)
●配線は、地中に埋設しない。
(落雷などにより、感電や火災、故障の原因)

Printed in Japan
ACXF60-32614
W0918-40823

各部の名前



① **表示ランプ**
運転状態をお知らせします

② **受光部**
信号を受信します

③ **応急運転ボタン**
応急運転を始めます／止めます

お知らせ

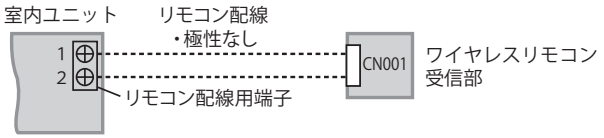
ワイヤレスリモコンの信号は微弱な赤外線を利用しており、下記の影響により操作を受け付けないことがありますので取り付け位置についてはご注意ください。

・インバーター蛍光灯やラピッドスタート式蛍光灯（グローランプがない方式のもの）
・プラズマディスプレイや液晶テレビ
・その他、出力の大きい照明や直射日光

1 配線のしかた

● リモコン配線の総配線長：400 m以内
　・室内ユニットのリモコンわたり総配線長は200 mまで
● グループ制御時の接続可能台数
　・室内ユニット：8台まで（熱交換気ユニットの台数を含む）
● ------ はワイヤレスリモコン受信部の配線をご使用ください。

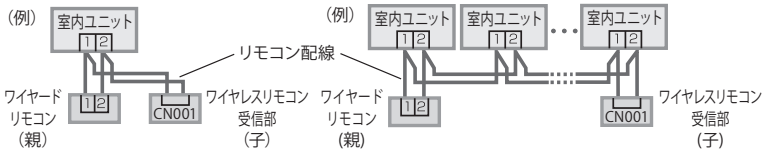
■ 基本配線図



親・子リモコン制御について

1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。
設置後、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。
設定方法については、本紙およびワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。

■ 室内ユニットが1台のとき　**■ 室内ユニットが複数台のとき**



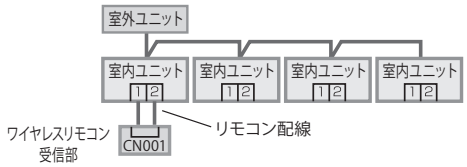
お知らせ　どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

グループ制御（リモコンわたり配線）について

● R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
● 冷媒種にかかわらず、冷媒系統が異なる場合や熱交換気ユニットと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。
● R410A冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。
● リモコン側で渡る配線は禁止です。
※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

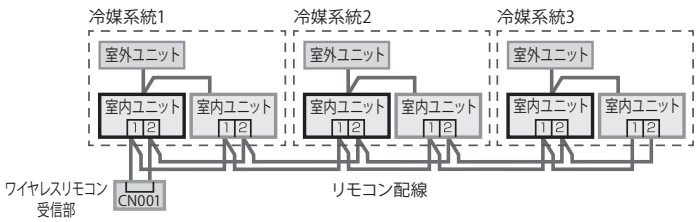
※ R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）



お知らせ

どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。

複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ

● どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。
● エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

お願い

●親・子リモコン制御やグループ制御を行う場合は、室内ユニットやワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

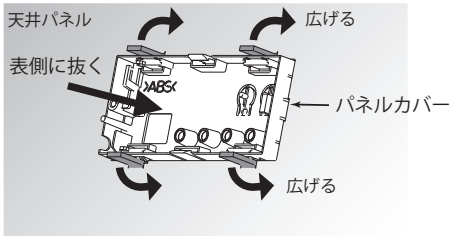
2 据え付ける

お願い 「3 設定する」を事前にご確認ください。

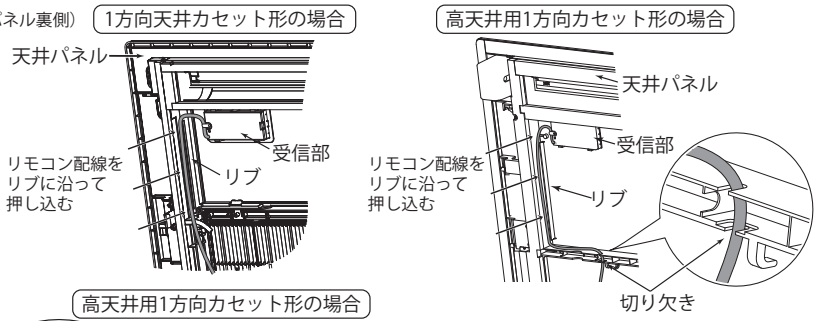
1方向天井カセット形／高天井用1方向カセット形の場合

① ワイヤレスリモコン受信部（以降、受信部）の取り付け位置にあるパネルカバーをはずします。（図A）
② 天井パネルにリモコン配線を通し、受信部をパネル穴に取り付けます。
③ リモコン配線をリブに沿って押し込みます。高天井用1方向カセットの場合は、さらに切り欠きに通します。（図B）
④ 天井パネルを室内ユニットに取り付けます。
⑤ リモコン配線は室内ユニット内部の結束バンドで固定します。（図C）
高天井用1方向カセットに取り付ける場合は、結束クランパー（付属）でファンケーシングのラッチ部に固定してください。（図D）
※リモコン配線がファンに巻き込まれないように、確実に固定してください。
⑥ リモコン配線を室内ユニット電装ボックスの下側の穴から引き込んでリモコン配線用端子に接続します。

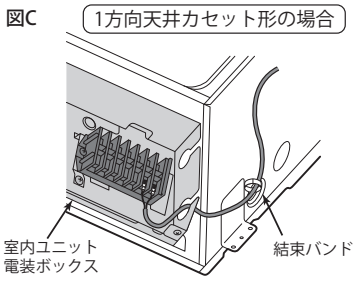
図A
（天井パネル裏側）



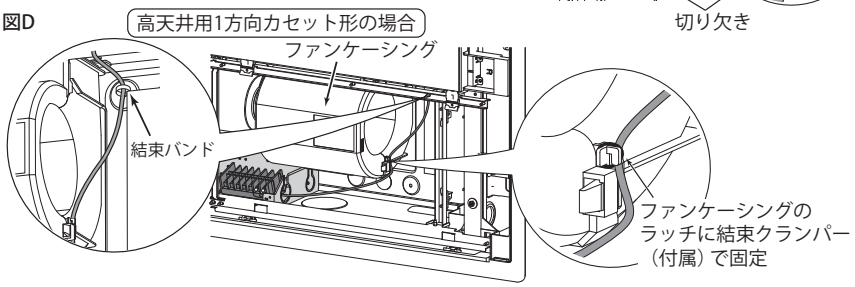
図B
（天井パネル裏側）



図C



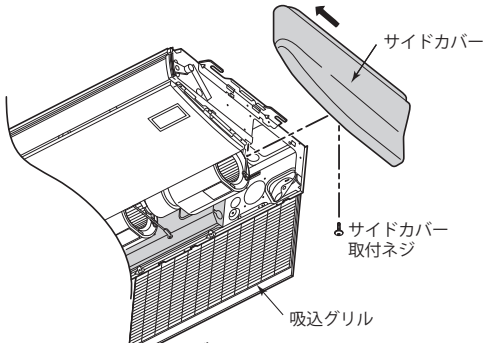
図D



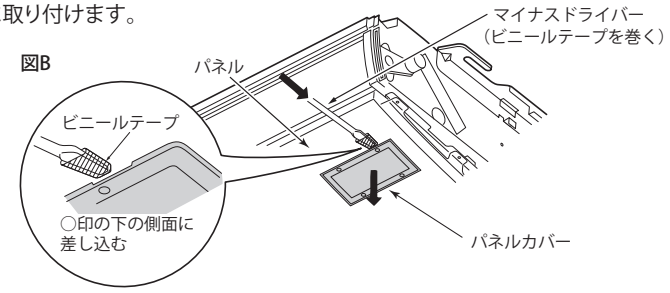
天井吊形の場合

① 吸込グリルを開きます。（図A）
② サイドカバー取付ネジをはずし、サイドカバーを前面へスライドさせてはずします。（図A）
③ 図Bのようにして、ワイヤレスリモコン受信部（以降、受信部）の取り付け位置にあるパネルカバーをはずします。（図B）
※力を加えすぎるとパネルにキズをつける恐れがあります。
④ パネルにリモコン配線を通し、受信部をパネル穴に取り付けます。（図C）
⑤ リモコン配線は室内ユニット内部の結束バンドで固定します。（図C）
⑥ リモコン配線を室内ユニット電装ボックスの上側の穴から引き込んでリモコン配線用端子に接続します。
ルーバーモーター等の配線に沿わせて結束バンドで固定します。（図D）
※電装ボックスの上側の穴を使用して引き込みます。
⑦ 手順①、②ではずしたサイドカバーと吸込グリルを元の状態に取り付けます。

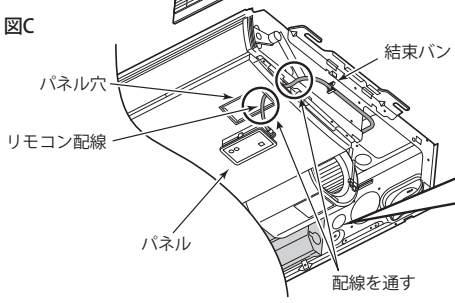
図A



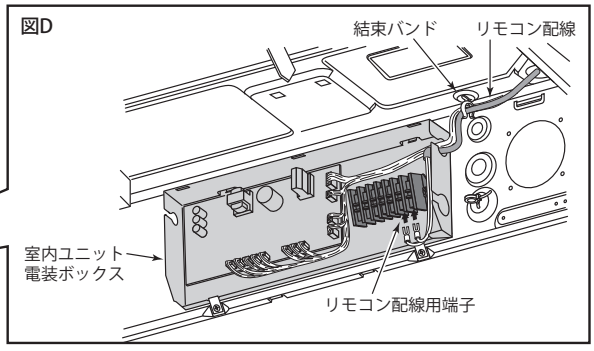
図B



図C



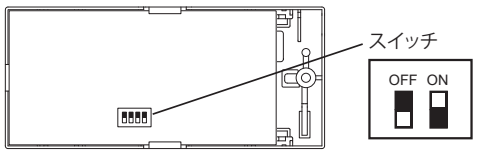
図D



3 設定する

■ リモコン親子設定　■ アドレス設定

設定を行う場合は、受信部のカバーを
取りはずす必要があります。



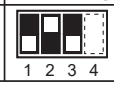
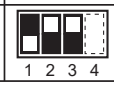
リモコン親子設定

- ワイヤードリモコンやワイヤレスリモコン受信部を親子で設置するときに設定します。
- 片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
- 工場出荷時は「親リモコン」に設定してあります。
- ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。

親子設定	親	子
ワイヤレスリモコン受信部の親子スイッチの位置	 1 2 3 4	 1 2 3 4

アドレス設定

- 同じ室内に複数のワイヤレスリモコン受信部が設置されているときに、アドレスを設定して混信を防ぐことができます。
- ワイヤレスリモコン送信部のアドレス変更方法はワイヤレスリモコン送信部の「取扱説明書」をご覧ください。

ワイヤレスリモコン送信部のアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	アドレス 3	アドレス 4	アドレス 5	アドレス 6
ワイヤレスリモコン受信部のアドレススイッチの位置	全てのアドレス位置で受信が可能	 1 2 3 4	 1 2 3 4	 1 2 3 4	 1 2 3 4	 1 2 3 4	 1 2 3 4

4 試運転する

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を「入」れてください。
約1分間は操作を受け付けませんが、設定中のため、故障ではありません。（設定中に受信した内容は解除されます。）

1. 応急運転ボタンの長押し（10秒）で試運転モードになります。
2. 試運転中は、表示ランプ（運転、タイマー、準備中）が点滅します。
3. 試運転を終了するには応急運転ボタンを長押し（10秒）してください。

お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。
（室内・室外ユニットに無理がかかるため）
- 暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
- 連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。
- 電源投入後および運転停止後、約 3 分間は室外ユニットの運転はしません。

自己診断機能表と検出内容

下の表にある「警報表示」はワイヤードリモコンを接続した場合に表示される警報内容です。
警報の対処方法については、室内ユニットに付属の「据付（電気）工事説明書」や「テクニカルガイド」をご覧ください。

検出内容	警報表示	ワイヤレスリモコン受信部の表示ランプ 運転	タイマー	準備中	点滅
リモコン回線上での通信異常	E01 ～ E03、E08 ～ E14、E17、E18	◎	●	●	
室内外操作線または室外機サブバスでの通信異常	E04 ～ E07、E15、E16、E19 ～ E31	●	●	◎	
室内保護装置動作	P01、P09 ～ P14	●	◎	◎	交互
室外保護装置動作	P02 ～ P08、P15 ～ P31	◎	●	◎	交互
室内サーミスタ異常	F01 ～ F03、F10 ～ F11	◎	◎	●	交互
室外サーミスタ異常	F04 ～ F09、F12 ～ F28	◎	◎	○	交互
室内EEPROM異常	F29	◎	◎	●	同時
室外EEPROM異常	F30、F31	◎	◎	○	同時
圧縮機関係異常	H01 ～ H31	●	◎	●	
室内設定異常	L01 ～ L03、L05 ～ L09	◎	●	◎	同時
室外設定異常	L04、L10 ～ L31	◎	○	◎	同時
ガスヒートポンプエアコンの異常	A01 ～ A31	●	◎	◎	同時
冷暖不一致（冷暖自動不可機種への冷暖自動設定を含む）		○	◎	◎	交互
オイル警報（室外保護装置動作と同じ）		◎	●	◎	交互
自動アドレス中（ワイヤレスリモコンで行った場合）		◎ →	◎ →	◎	順次
試運転中		◎	◎	◎	同時

●：消灯 ／ ○：点灯 ／ ◎：点滅（0.5秒間隔）

付属品

＜ ＞：個数

- **結束クランパー**　＜1＞
- **据付（電気）工事説明書**　＜1＞

仕様

品番	CZ-10RWRD1A
外形寸法	(高さ) 65 mm × (幅) 130 mm × (奥行き) 22 mm
質量	82 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 %　※ 屋内設置専用
電源	DC 16 V（室内ユニットより供給）

ワイヤレスリモコン受信部（別置受信部）/ CZ-10RWRC1A

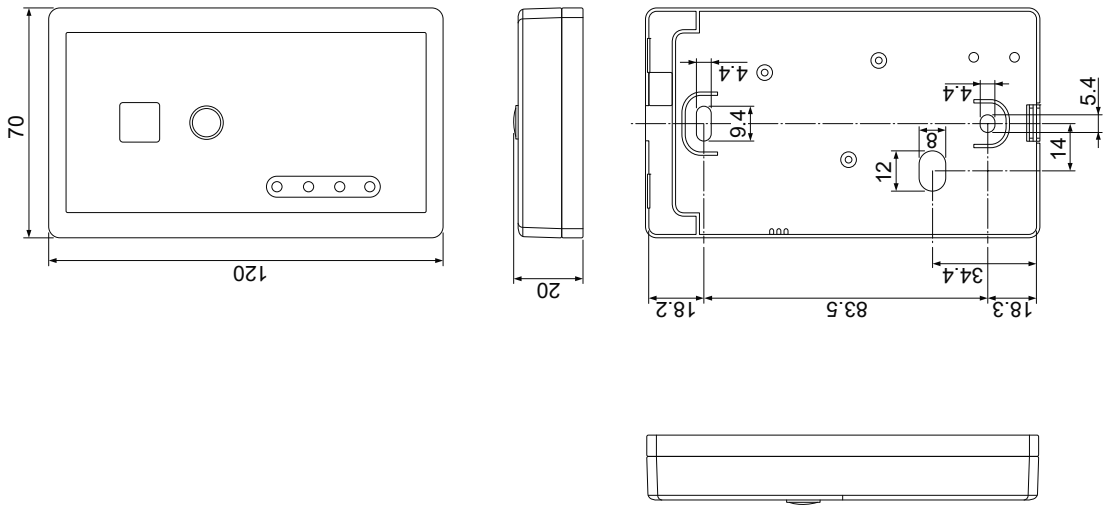
仕様

品番	CZ-10RWRC1A
外形寸法	（高さ）120 mm ×（幅）70 mm ×（奥行）20 mm
重量	75g
使用温度・湿度範囲	0℃～40℃・20%～80% ※屋内設置専用
電源	DC16 V（室内ユニットより供給）

外形寸法図

単位:mm

品番	CZ-10RWRC1A	外形寸法図《ワイヤレスリモコン》（別置受信部）

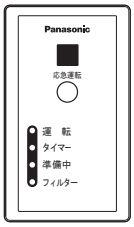


Panasonic

据付（電気）工事説明書

ワイヤレスリモコン受信部（別置受信部）

品番 **CZ-10RWRC1A**



●「据付（電気）工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付（電気）工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付（電気）工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据付（電気）工事をする前に

❗
- **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準
  - 内線規程
  - 据付（電気）工事説明書

  （感電、火災の原因）

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- **配線は途中接続しない**
  （接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **配線は、室内ユニットのリモコン配線用端子に接続し、その他の端子に接続しない**
  （感電、故障の原因）
- **ぬれた手で据付（電気）工事をしない**
  （感電、故障の原因）

❗
- **据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
  （製品の落下による、けがの原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  （製品の落下、感電、火災などの原因）
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）

⚠ 注意

⃠
- **次のような場所で使わない**（感電、火災などの原因）
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

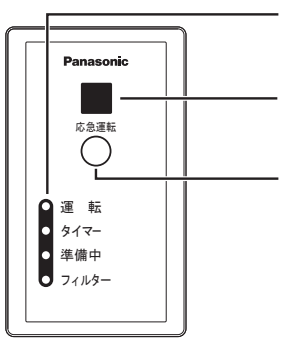
据え付け時のご注意

●次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 過度な衝撃や振動のあるところ
  - 据付面に凹凸があるところ
  - 熱源の近くなど

●床面から1 ～ 1.5mの高さに床面に対して垂直に据え付ける。
●複数並べて据え付けるときは、左右5 mm、上下50 mm以上離す。
●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
●高周波を発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のあるところは避ける。
（本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります）
●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から１m以上離す。
（映像の乱れ、雑音の原因）
●配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。（故障の原因）
●配線は、地中に埋設しない。
（落雷などにより、感電や火災、故障の原因）

Printed in China
ACXF60-32784
W0918-40823

各部の名前



① **表示ランプ**
運転状態をお知らせします

② **受光部**
信号を受信します

③ **応急運転ボタン**
応急運転を始めます／止めます

お知らせ

ワイヤレスリモコンの信号は微弱な赤外線を利用しており、下記の影響により操作を受け付けないことがありますので取り付け位置についてはご注意ください。

・インバーター蛍光灯やラピッドスタート式蛍光灯（グローランプがない方式のもの）
・プラズマディスプレイや液晶テレビ
・その他、出力の大きい照明や直射日光

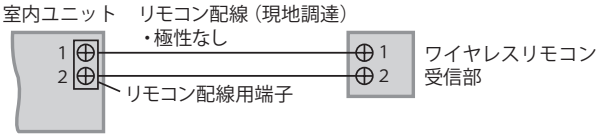
1 配線のしかた

● ケーブルの種類
・柔軟性のある、0.5 ～ 1.25 mm^{2}のケーブル（単線は使わない）
・シース部を含む絶縁物の厚みが1 mm以上あるケーブル
・推奨品：VCTF（EM-ECTF *）/ VCT（ECO120 *）
* エコ電線について：紫外線（日光・照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。

● リモコン配線の総配線長：400 m以内
・室内ユニットのリモコンわたり総配線長は200 mまで

● グループ制御時の接続可能台数
・室内ユニット：8台まで（熱交換気ユニットの台数を含む）

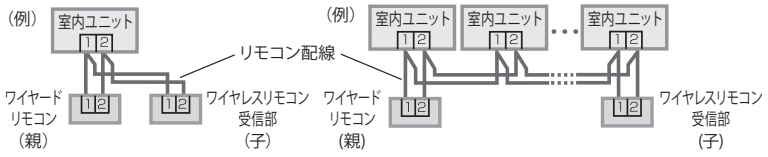
■ 基本配線図



親・子リモコン制御について

1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。
設置後、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。
設定方法については、本紙およびワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。

■ 室内ユニットが1台のとき　■ 室内ユニットが複数台のとき



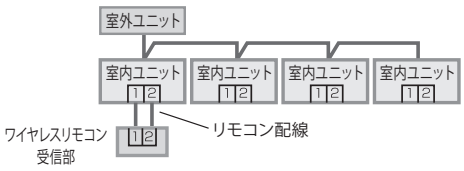
お知らせ　どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

グループ制御（リモコンわたり配線）について

● R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
● 冷媒種にかかわらず、冷媒系統が異なる場合や熱交換気ユニットと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。
● R410A冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。
● リモコン側で渡る配線は禁止です。
※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

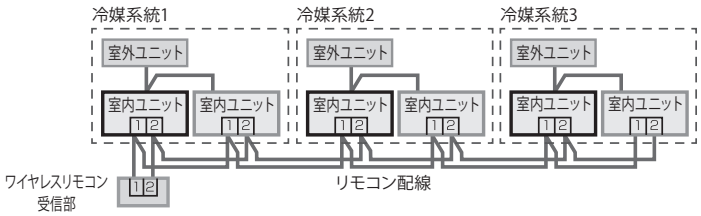
※ R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）



お知らせ

どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。

複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ

● どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。
● エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

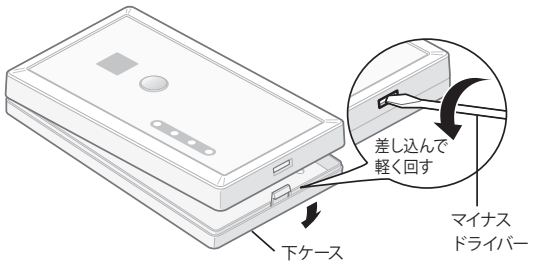
お願い

● 親・子リモコン制御やグループ制御を行う場合は、室内ユニットやワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

2 据え付ける

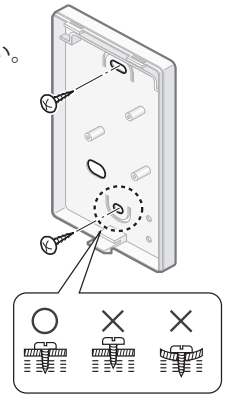
お願い 「3 設定する」を事前にご確認ください。

手順 1 下ケースをはずす



■ 下ケースを取り付けるとき（手順2 ❶）
- ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締めてください。（上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。（下ケースの変形による、落下の原因）
- ドライバーを差し込む際は、ツメを折らないよう注意してください。

■ 上ケースを取り付けるとき（手順2 ❸）
- 手順2❷の図の経路で配線し、余分な配線をケースに収納したり、基板上の部品に配線が触れないようにしてください。（配線が基板とケースにはさみ込まれ、故障の原因）

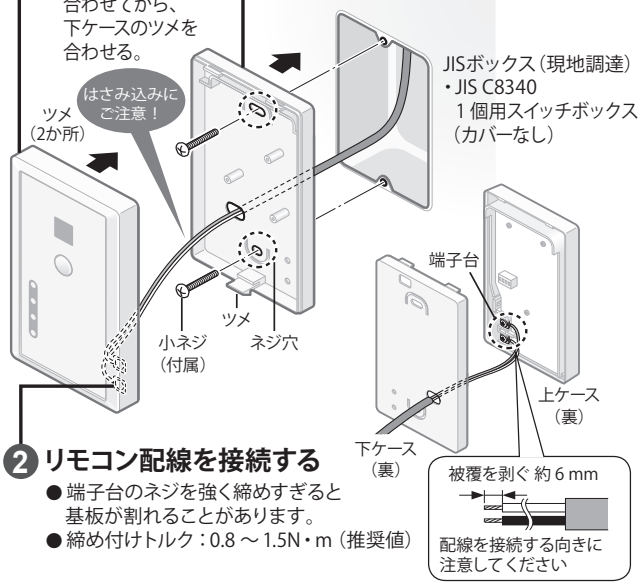


手順 2 壁に取り付ける

埋込型の場合

❸ 上ケースを取り付ける
- 上ケースのツメを合わせてから、下ケースのツメを合わせる。

❶ 下ケースをJISボックスに取り付ける
- 配線は、下ケース中央の穴に通しておく。

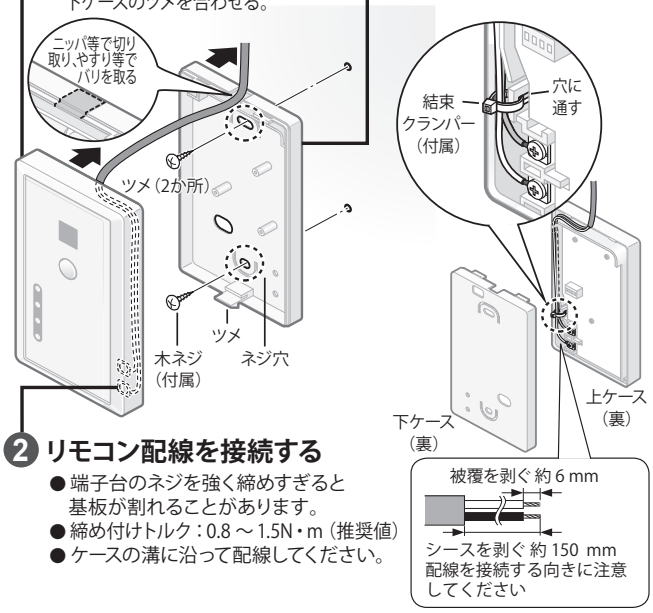


❷ リモコン配線を接続する
- 端子台のネジを強く締めすぎると基板が割れることがあります。
- 締め付けトルク：0.8 ～ 1.5N・m（推奨値）

露出型の場合

❸ 上ケースを取り付ける
- 上ケースのツメを合わせてから、下ケースのツメを合わせる。

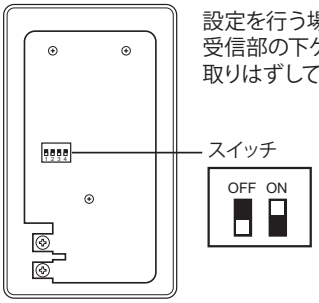
❶ 下ケースを壁に取り付ける



❷ リモコン配線を接続する
- 端子台のネジを強く締めすぎると基板が割れることがあります。
- 締め付けトルク：0.8 ～ 1.5N・m（推奨値）
- ケースの溝に沿って配線してください。

3 設定する

■ リモコン親子設定　■ アドレス設定



設定を行う場合は、受信部の下ケースを取りはずしてください。

リモコン親子設定

- ワイヤードリモコンやワイヤレスリモコン受信部を親子で設置するときに設定します。
- 片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
- 工場出荷時は「親リモコン」に設定してあります。
- ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。

親子設定	親	子
ワイヤレスリモコン受信部の親子スイッチの位置	1 2 3 4	1 2 3 4

アドレス設定

- 同じ室内に複数のワイヤレスリモコン受信部が設置されているときに、アドレスを設定して混信を防ぐことができます。
- ワイヤレスリモコン送信部のアドレス変更方法はワイヤレスリモコン送信部の「取扱説明書」をご覧ください。

ワイヤレスリモコン送信部のアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	アドレス 3	アドレス 4	アドレス 5	アドレス 6
ワイヤレスリモコン受信部のアドレススイッチの位置	全てのアドレス位置で受信が可能	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

4 試運転する

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を「入」れてください。
約1分間は操作を受け付けませんが、設定中のため、故障ではありません。（設定中に受信した内容は解除されます。）

1. 応急運転ボタンの長押し（10秒）で試運転モードになります。
2. 試運転中は、表示ランプ（運転、タイマー、準備中）が点滅します。
3. 試運転を終了するには応急運転ボタンを長押し（10秒）してください。

お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。
（室内・室外ユニットに無理がかかるため）
- 暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
- 連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。
- 電源投入後および運転停止後、約 3 分間は室外ユニットの運転はしません。

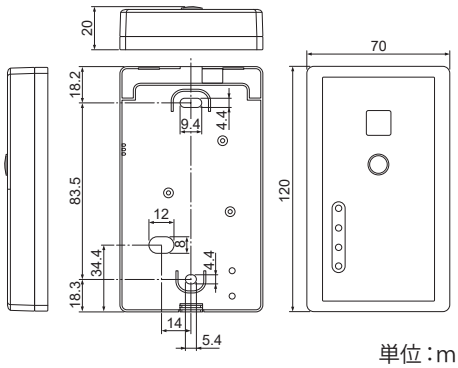
自己診断機能表と検出内容

下の表にある「警報表示」はワイヤードリモコンを接続した場合に表示される警報内容です。
警報の対処方法については、室内ユニットに付属の「据付（電気）工事説明書」や「テクニカルガイド」をご覧ください。

検出内容		ワイヤレスリモコン受信部の表示ランプ			
	警報表示	運転	タイマー	準備中	点滅
リモコン回線上での通信異常	E01 ～ E03、E08 ～ E14、E17、E18	◎	●	●	
室内外操作線または室外機サブバスでの通信異常	E04 ～ E07、E15、E16、E19 ～ E31	●	●	◎	
室内保護装置動作	P01、P09 ～ P14	●	◎	◎	交互
室外保護装置動作	P02 ～ P08、P15 ～ P31	◎	●	◎	交互
室内サーミスタ異常	F01 ～ F03、F10 ～ F11	◎	◎	●	交互
室外サーミスタ異常	F04 ～ F09、F12 ～ F28	◎	◎	○	交互
室内EEPROM異常	F29	◎	◎	●	同時
室外EEPROM異常	F30、F31	◎	◎	○	同時
圧縮機関係異常	H01 ～ H31	●	◎	●	
室内設定異常	L01 ～ L03、L05 ～ L09	◎	●	◎	同時
室外設定異常	L04、L10 ～ L31	◎	○	◎	同時
ガスヒートポンプエアコンの異常	A01 ～ A31	●	◎	◎	同時
冷暖不一致（冷暖自動不可機種への冷暖自動設定を含む）		○	◎	◎	交互
オイル警報（室外保護装置動作と同じ）		◎	●	◎	交互
自動アドレス中（ワイヤレスリモコンで行った場合）		◎ →	◎ →	◎	順次
試運転中		◎	◎	◎	同時

●：消灯 ／ ○：点灯 ／ ◎：点滅（0.5秒間隔）

外形寸法図



単位：mm

付属品

＜＞：個数

- **小ネジ**　M 4 × 25　（埋込型 JISボックス用）　＜2＞
- **木ネジ**　M 4 × 15. 5（露出型 壁面用）　＜2＞
- **結束クランパー**　＜1＞
- **据付（電気）工事説明書**　＜1＞

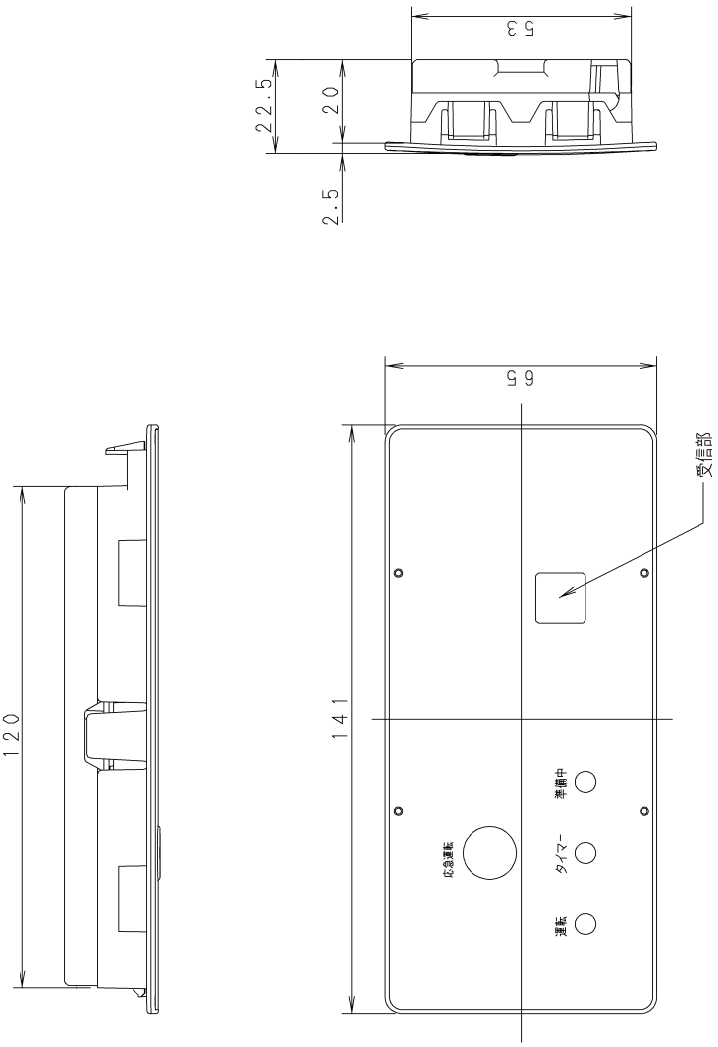
※ ケーブルは現地調達のため、付属していません。

仕様

品番	CZ-10RWRC1A
外形寸法	(高さ) 120 mm × (幅) 70 mm × (奥行き) 20 mm
質量	75 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 %　※ 屋内設置専用
電源	DC 16 V（室内ユニットより供給）

ワイヤレスリモコン受信部（天井吊形ナノイーX搭載機種 受信部）/ CZ-10RWRT1A

外形寸法図



品番	CZ-10RWRT1A	外形寸法図《ワイヤレスリモコン》受信部（天井吊形）

仕様

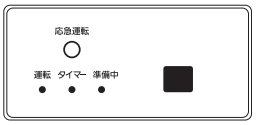
品番	CZ-10RWRT1A
外形寸法	（高さ）65mm×（幅）141mm×（奥行）22.5mm
質量	85g
使用温度・湿度範囲	0℃~40℃・20%~80%　※屋内設置専用
電源	DC16V（室内ユニットより供給）

Panasonic

据付（電気）工事説明書

ワイヤレスリモコン受信部（天井吊形）

品番 **CZ-10RWRT1A**



- ●「据付（電気）工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- ●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付（電気）工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
- ●移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- ●「据付（電気）工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- ●接続する機器に付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据付（電気）工事をする前に

❗
- ● **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- ● **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - • 電気設備に関する技術基準
  - • 内線規程
  - • 据付（電気）工事説明書

  （感電、火災の原因）

本体を据え付けるときに

⃠
- ● **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- ● **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- ● **配線は途中接続しない**
  （接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- ● **配線は、室内ユニットの他の端子（電源配線用端子など）に接続しない**
  （感電、故障の原因）
- ● **ぬれた手で据付（電気）工事をしない**
  （感電、故障の原因）

❗
- ● **据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- ● **電気工事は、室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- ● **付属品は当社指定の部品を使用する**
  （製品の落下、感電、火災などの原因）
- ● **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- ● **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）

⚠ 注意

⃠
- ● **次のような場所で使わない**（感電、火災などの原因）
  - • 結露するところ
  - • 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - • 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
  - • 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - • 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - • 有機溶剤の飛沫するところ
  - • 電磁波が出る機械のあるところ
  - • 電圧変動の多いところ

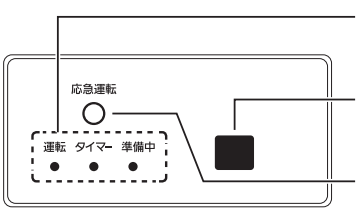
❗
- ● **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

据え付け時のご注意

- ●次のような場所に据え付けない。
  - • 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - • 過度な衝撃や振動のあるところ
  - • 熱源の近くなど
- ●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
- ●高周波を発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のあるところは避ける。
  （本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります）
- ●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から１m以上離す。
  （映像の乱れ、雑音の原因）
- ●配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。（故障の原因）
- ●配線は、地中に埋設しない。
  （落雷などにより、感電や火災、故障の原因）

Printed in Japan
ACXF60-32624
W0918-40823

各部の名前



① **表示ランプ**
運転状態をお知らせします

② **受光部**
信号を受信します

③ **応急運転ボタン**
応急運転を始めます／止めます

お知らせ

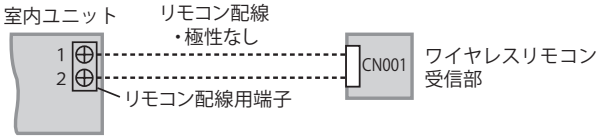
ワイヤレスリモコンの信号は微弱な赤外線を利用しており、下記の影響により操作を受け付けないことがありますので取り付け位置についてはご注意ください。

・インバーター蛍光灯やラピッドスタート式蛍光灯（グローランプがない方式のもの）
・プラズマディスプレイや液晶テレビ
・その他、出力の大きい照明や直射日光

1 配線のしかた

● リモコン配線の総配線長：400 m以内
　・室内ユニットのリモコンわたり総配線長は200 mまで
● グループ制御時の接続可能台数
　・室内ユニット：8台まで（熱交換気ユニットの台数を含む）
● ------ はワイヤレスリモコン受信部の配線をご使用ください。

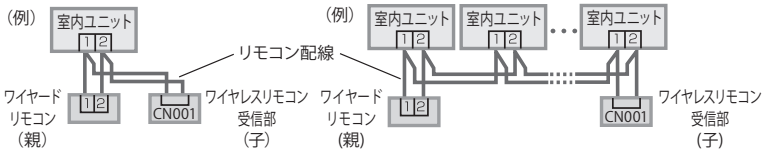
■ 基本配線図



親・子リモコン制御について

1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作することができます。
設置後、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。
設定方法については、本紙およびワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。

■ 室内ユニットが1台のとき　**■ 室内ユニットが複数台のとき**



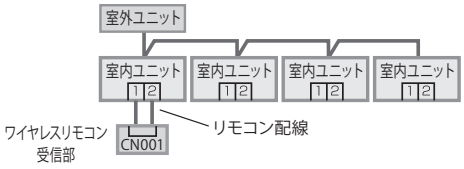
お知らせ　どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

グループ制御（リモコンわたり配線）について

● R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
● 冷媒種にかかわらず、冷媒系統が異なる場合や熱交換気ユニットと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。
● R410A冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。
● リモコン側で渡る配線は禁止です。
※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

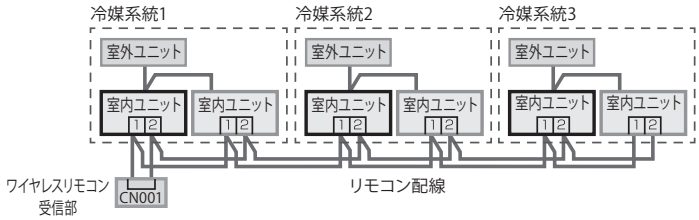
※ R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）



お知らせ

どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。

複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ

● どの室内ユニットにワイヤレスリモコン受信部を接続しても、動作します。
● エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

お願い

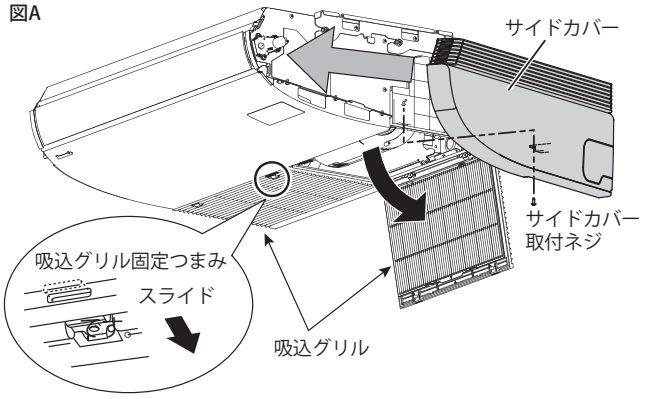
● 親・子リモコン制御やグループ制御を行う場合は、室内ユニットやワイヤードリモコンに付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

2 据え付ける

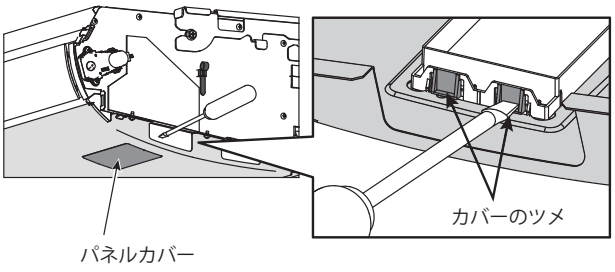
お願い 「3 設定する」を事前にご確認ください。

① 吸込グリル固定つまみをスライドし、吸込グリルを開きます。(図A)
② サイドカバー取付ネジをはずし、サイドカバーを前面へスライドさせてはずします。(図A)
③ 側面からマイナスドライバーを差し込み、ワイヤレスリモコン受信部(以降、受信部)の取り付け位置にあるパネルカバーのツメ(2か所)を押しながらカバーをはずします。(図B)
④ パネルにリモコン配線を通し、受信部をパネル穴に取り付けます。(図C)
※リモコン配線を通したあと、再生クランパーを締めてください。
⑤ 再生クランパーへリモコン配線を通し、リモコン配線入り口から室内ユニット内部へ引き込みます。(図C)
⑥ サドル(3か所)へリモコン配線を通し、室内ユニット電装ボックスへ引き込みます。(図D)
※電源線とリモコン線は分けて引き込んでください。
※ドレンアップキットを取り付けた状態でも配線の引き回しは変わりません。
⑦ リモコン配線をリモコン配線用端子へ接続し、配線固定具へ結束クランパー(付属)を通してリモコン配線を固定します。(図E)
※2線・4線式の場合は室内外信号線と共締めしてください。
※ワイヤードリモコンを併用される場合は、2本のリモコン配線を共締めしてください。
⑧ 手順①、②ではずしたサイドカバーと吸込グリルを元の状態に取り付けます。

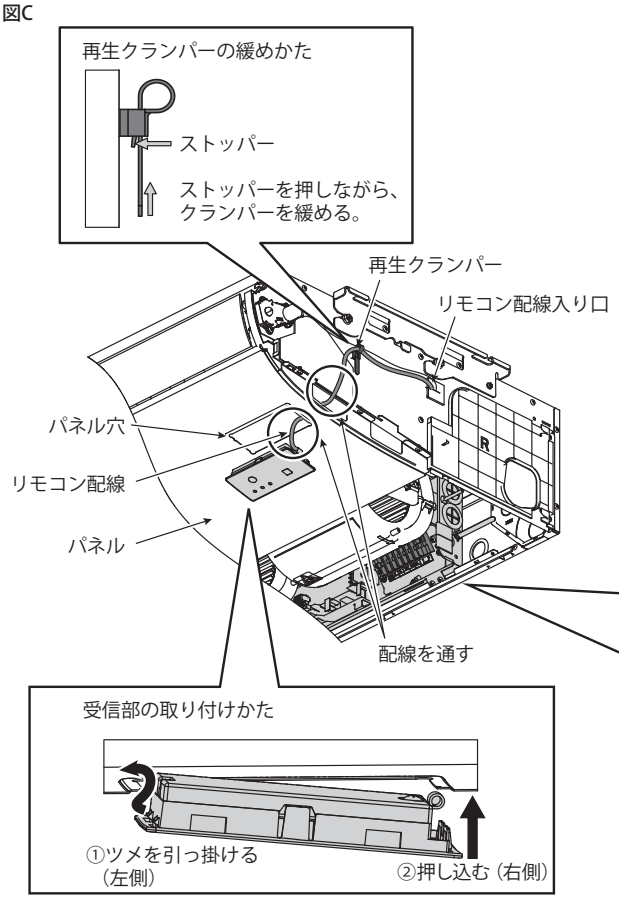
図A



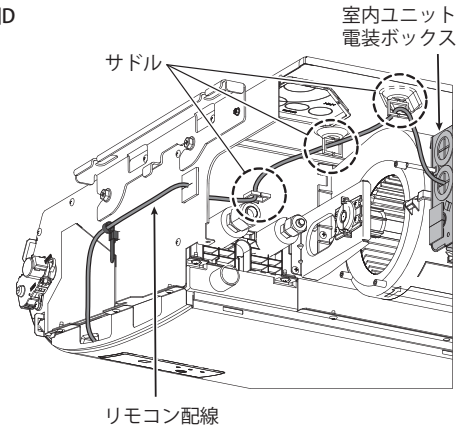
図B



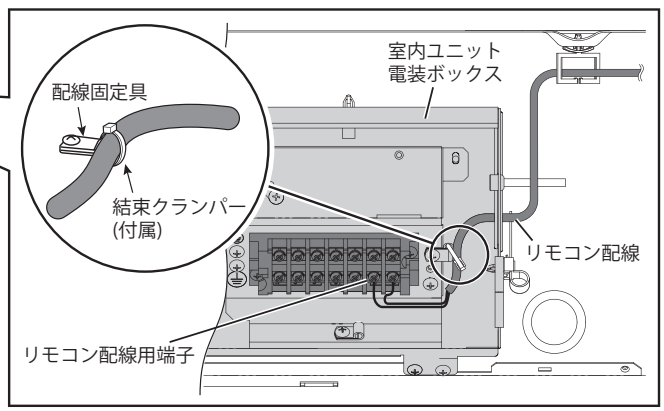
図C



図D



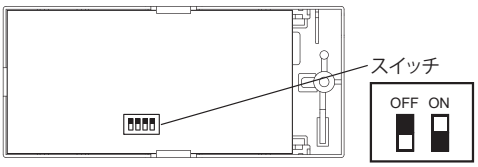
図E



3 設定する

■ リモコン親子設定　■ アドレス設定

設定を行う場合は、受信部のカバーを
取りはずす必要があります。



リモコン親子設定

- ワイヤードリモコンやワイヤレスリモコン受信部を親子で設置するときに設定します。
- 片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
- 工場出荷時は「親リモコン」に設定してあります。
- ワイヤードリモコンと併用時は、ワイヤードリモコンを「親リモコン」に設定してください。

親子設定	親	子
ワイヤレスリモコン受信部の親子スイッチの位置		

アドレス設定

- 同じ室内に複数のワイヤレスリモコン受信部が設置されているときに、アドレスを設定して混信を防ぐことができます。
- ワイヤレスリモコン送信部のアドレス変更方法はワイヤレスリモコン送信部の「取扱説明書」をご覧ください。

ワイヤレスリモコン送信部のアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	アドレス 3	アドレス 4	アドレス 5	アドレス 6
ワイヤレスリモコン受信部のアドレススイッチの位置	全てのアドレス位置で受信が可能						

4 試運転する

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を「入」れてください。
約1分間は操作を受け付けませんが、設定中のため、故障ではありません。（設定中に受信した内容は解除されます。）

1. 応急運転ボタンの長押し（10秒）で試運転モードになります。
2. 試運転中は、表示ランプ（運転、タイマー、準備中）が点滅します。
3. 試運転を終了するには応急運転ボタンを長押し（10秒）してください。

お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。
（室内・室外ユニットに無理がかかるため）
- 暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
- 連続試運転を防止するため60分後自動で「オフ」になります。
- 電源投入後および運転停止後、約 3 分間は室外ユニットの運転はしません。

自己診断機能表と検出内容

下の表にある「警報表示」はワイヤードリモコンを接続した場合に表示される警報内容です。
警報の対処方法については、室内ユニットに付属の「据付（電気）工事説明書」や「テクニカルガイド」をご覧ください。

検出内容		ワイヤレスリモコン受信部の表示ランプ			
	警報表示	運転	タイマー	準備中	点滅
リモコン回線上での通信異常	E01 ～ E03、E08 ～ E14、E17、E18	◎	●	●	
室内外操作線または室外機サブバスでの通信異常	E04 ～ E07、E15、E16、E19 ～ E31	●	●	◎	
室内保護装置動作	P01、P09 ～ P14	●	◎	◎	交互
室外保護装置動作	P02 ～ P08、P15 ～ P31	◎	●	◎	交互
室内サーミスタ異常	F01 ～ F03、F10 ～ F11	◎	◎	●	交互
室外サーミスタ異常	F04 ～ F09、F12 ～ F28	◎	◎	○	交互
室内EEPROM異常	F29	◎	◎	●	同時
室外EEPROM異常	F30、F31	◎	◎	○	同時
圧縮機関係異常	H01 ～ H31	●	◎	●	
室内設定異常	L01 ～ L03、L05 ～ L09	◎	●	◎	同時
室外設定異常	L04、L10 ～ L31	◎	○	◎	同時
ガスヒートポンプエアコンの異常	A01 ～ A31	●	◎	◎	同時
冷暖不一致（冷暖自動不可機種への冷暖自動設定を含む）		○	◎	◎	交互
オイル警報（室外保護装置動作と同じ）		◎	●	◎	交互
自動アドレス中（ワイヤレスリモコンで行った場合）		◎ →	◎ →	◎	順次
試運転中		◎	◎	◎	同時

●：消灯 ／ ○：点灯 ／ ◎：点滅（0.5秒間隔）

付属品

＜＞：個数

- **結束クランパー**　＜1＞
- **据付（電気）工事説明書**　＜1＞

仕様

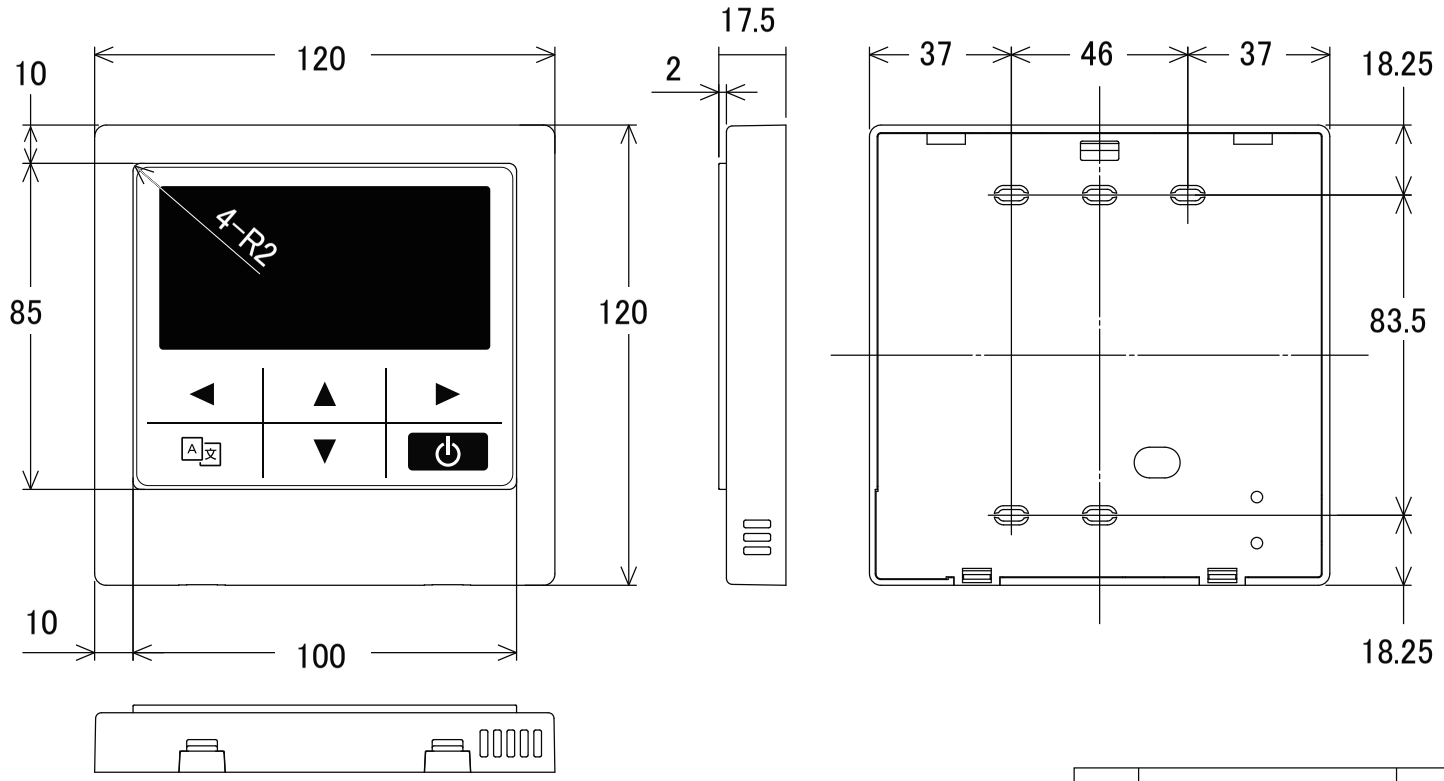
品番	CZ-10RWRT1A
外形寸法	(高さ) 65 mm × (幅) 141 mm × (奥行き) 22.5 mm
質量	85 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 %　※ 屋内設置専用
電源	DC 16 V（室内ユニットより供給）

仕様

品番	CZ-10RTF4
外形寸法	(高さ) 120 mm × (幅) 120 mm × (奥行き) 17.5 mm
質量	160 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 % ～ 80 % (屋内設置専用)
電源	DC16 V(室内ユニットより供給)
接続可能台数	室内ユニット:最多 8 台

外形寸法

(mm)



品番	CZ-10RTF4	外形寸法図 (多言語対応ワイヤードリモコン)

Panasonic®

取扱説明書 (日本語)

多言語対応ワイヤードリモコン

品番 **CZ-10RTF4**
CZ-10RTF4-K
CZ-10RTF4-KN



CZ-10RTF4



CZ-10RTF4-K
CZ-10RTF4-KN

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。特に、「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**

してはいけない内容 (禁止事項) です。	実行しなければならない内容 (強制事項) です。

⚠ 警告

必ず守る

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
(水漏れや感電・火災の原因)

必ず守る

当社指定のエアコンと接続して使う
(水漏れや感電・火災の原因)

禁止

体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない
(体調の悪化・健康障害の原因)
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在と判定し、空調機の運転が停止することがあります。

⚠ 警告

必ず守る

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
(感電や火災の原因)
異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- ブレーカーがたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

禁止

ぬれた手で操作しない
(感電や故障の原因)

⚠ 注意

禁止

リモコンを分解しない
(感電や故障の原因)

禁止

水洗いしない
(感電や火災の原因)

使用上のお願い

- 次のような場所に設置しない
  - 湿気・油分・振動が多い/ 直射日光があたる/熱源の近く/結露する(故障の原因)
  - ノイズが発生する(誤動作の原因)
- スプレーを吹きかけない（誤動作や故障の原因）
  - 液体（洗剤、アルコール、有機溶剤など）がかからないようにしてください。
- アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない(液晶画面のくもり・変色や故障の原因)
  - ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

仕様

品番	CZ-10RTF4 / CZ-10RTF4-K / CZ-10RTF4-KN
外形寸法	(高さ) 120 mm × (幅) 120 mm × (奥行き) 17.5 mm
質量	160 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 %～80 % (屋内設置専用)
電源	DC16 V (室内ユニットより供給)

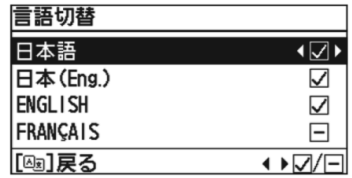
Printed in China
H0517-50423
ACXF55-16624

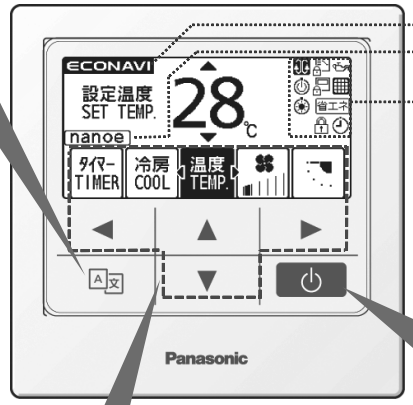
押すたびに画面表示の言語が切り替わります
(日本(Eng.)/ENGLISH/中文)

上記以外の言語にも切り替えることができます。

(フランス語/スペイン語/ドイツ語/イタリア語/ポーランド語/ロシア語)

① [A文]ボタンを押したままにする（約4秒）
② ▲ ▼を押して、言語を選ぶ
③ ◀ ▶を押して、切り替えを有効にする





エコナビが設定中です※
ナノイーが運転中です※

表示されるアイコン※

- サーキュレート運転中です
- 運転準備中です
- 暖房準備中です
- 運転の種類の切り換えが制限されています
- 集中制御機器で制限されています
- エンジンオイルの交換が必要です
- 室内ユニットのフィルター清掃が必要です
- 省エネ運転中です
- 操作ロック設定中です
- 切/入タイマー設定中です

運転を始める/止める

※: 据え付け時設定または機種によって異なります。切り換え方法は、据付（電気）工事説明書を参照してください。

◀ ▶ を押して操作項目※を選び、▼▲ を押して設定します

タイマー TIMER 入タイマー 切タイマー を設定する

「切タイマー」
3時間 → 2時間 → 1時間
設定した時間が経過すると、自動的に運転が止まります。

未設定

「入タイマー」
8時間 → 7時間 → 6時間
設定した時間が経過すると、自動的に運転が始まります。

- 入タイマーを設定すると、運転が停止します。

冷房 COOL 運転の種類 を切り換える

冷暖自動(AUTO) → 暖房(HEAT) → ドライ(DRY) → 冷房(COOL) → 送風(FAN) → 冷暖自動(AUTO)

- 機種によって選択可能な運転の種類が異なる場合があります。

温度 TEMP. 温度 を調節する

設定できる範囲

冷房・ドライ: 18～30 ℃
暖房: 16～30 ℃
冷暖自動: 17～27 ℃

- 「送風」時には設定できません。
- 機種によって設定できる温度範囲が異なります。

風速 FAN 風の強さ を変える

自動 → (急) → (強) → (弱) → 自動

- 「自動」は、室温に合わせて、自動調節されます。
- 運転の種類が「送風」時には自動は設定できません。
- 機種によって選択可能な風速が異なる場合があります。

風向 FLAP 風の向き を変える

スイング → 停止(STOP) スイング停止 → スイング

- スイング中に、お好みの向きになったところで▼を押すと、そこで止められます。
- 機種によって選択可能な風向が異なる場合があります。

困ったときは

⏻ を押しても運転が始まらない

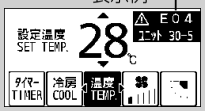
- 停電していませんか？
  →停電から復帰後、再度 ⏻ を押す。
- 暖房開始時は、温かい風が出るまで少し時間がかかります。（しばらくお待ちください）

画面が暗い、暗くなった

- 一定時間何も操作しない状態が続くと、バックライトが消えます。(節電のため)
  →いずれかのボタンを押す。
  (バックライトが点灯します)

警報表示について

表示例



- 警報表示が[E04]、[E06]、[P10]、[P20]、[H06]のいずれかの場合は、一度運転を停止し、約１分後　に再運転してください。
  → 警報表示が再表示されなければ、そのまま使う。

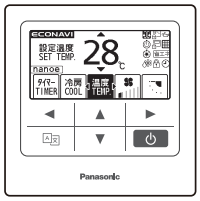
上記を行っても警報表示が再表示されるときや、上記以外の警報表示（ [E/H/L/P] いずれかの文字と数字の組み合わせ）が表示されたときは、運転を停止してから漏電しゃ断器を切り、お買い上げの販売店に品番・警報表示・室内ユニットNo. をご連絡ください。

Panasonic

据付(電気)工事説明書

多言語対応ワイヤードリモコン

品番 **CZ-10RTF4 / CZ-10RTF4-K / CZ-10RTF4-KN**


CZ-10RTF4


CZ-10RTF4-K
CZ-10RTF4-KN

●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠ 警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準　・内線規程
  - 据付(電気)工事説明書

  (感電、火災の原因)

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- **配線は途中接続しない**(接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)
- **水洗いしない**(感電、故障の原因)

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、本機やユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**(感電の原因)
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**(製品の落下による、けがの原因)
- **付属品は当社指定の部品を使用する**(製品の落下、感電、火災などの原因)
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)

⚠ 注意

⃠
- **次のような場所で使わない**
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ

  (感電、火災などの原因)
- **ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

据え付け時のご注意

●次のような場所に据え付けない
- 直射日光や直接外気が当たる、窓際など　・不安定な場所
- 過度な衝撃や振動のある場所(本機の取り付けネジが緩み、落下の原因)　・熱源の近くなど

●床面に対して垂直に据え付ける
●使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける
●高周波が発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける
(本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
●テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1m以上離してください。(映像の乱れ、雑音の原因)
●漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器か手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)を据え付ける
●配線は、地中に埋設しない

Printed in China
W0417-40823
ACXF60-24734

仕様

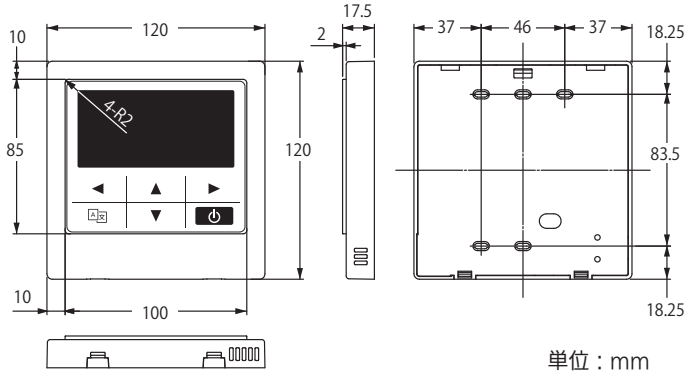
品番	CZ-10RTF4 / CZ-10RTF4-K / CZ-10RTF4-KN
外形寸法	(高さ) 120 mm × (幅) 120 mm × (奥行き) 17.5 mm
質量	160 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 % ～ 80 %（屋内設置専用）
電源	DC16 V（室内ユニットより供給）
接続可能台数	室内ユニット：最多 8 台

付属品　＜＞: 個数

小ネジ　＜2＞ M4 × 25（JISボックス用）	木ネジ　＜2＞ M3.8 × 16（壁面用）
取扱説明書、据付（電気）工事説明書　各＜1＞	

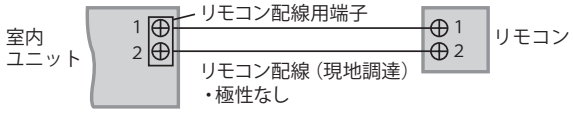
※ ケーブルは現地調達のため、付属していません。

外形寸法図



単位：mm

1 配線のしかた



- ケーブルの種類
  - 柔軟性のある0.5 ～ 1.25 mm²のケーブル
  - 単線は使わない。
  - シース部を含む絶縁物の厚みが1 mm以上あるケーブル
  - 推奨品：VCTF（EM-ECTF）/VCT（ECO120）
    ※（　）内：エコ電線
    ※ エコ電線について：紫外線（日光・照明など）の 影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。
- 総配線長：500 m以内
  （グループ内にワイヤレスリモコンがある場合は400 m以内）
  （室内ユニット間のリモコン配線は、200 m以内）
- 接続可能台数
  リモコンは、最多 2 個。
  室内ユニットは、最多 8 台。

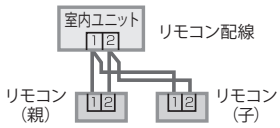
お願い

- 誤って、室内ユニットの他の端子（電源配線用端子など）に接続しないよう、注意してください。（故障の原因）
- 電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。（誤動作の原因）

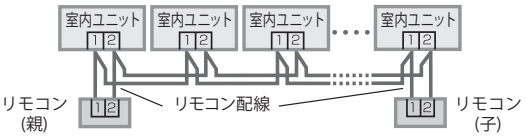
リモコンを親子で設置するとき

設置後、「3 設定する」（裏面）の「リモコン親子設定」を行い、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。本機には、リモコンセンサーがありません。リモコンセンサーを搭載しているリモコン（CZ-10RT3、CZ-10RT4C など）と併用する場合は、本機を「子リモコン」に設定してください。

■ 室内ユニットが1台のとき



■ 室内ユニットが複数台のとき



お知らせ

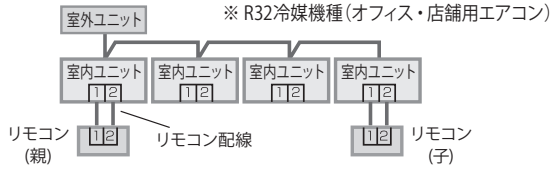
- どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

グループ制御（リモコンわたり配線）について

- R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
- 冷媒種にかかわらず、冷媒系統が異なる場合や熱交換換気ユニットと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。
- R410A冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。

※ 6シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

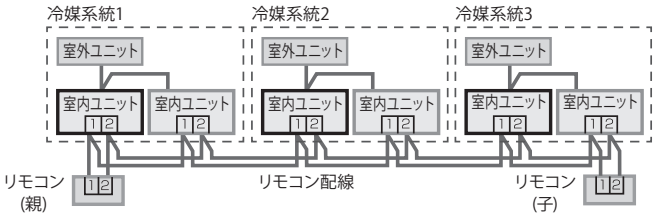
同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ

どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

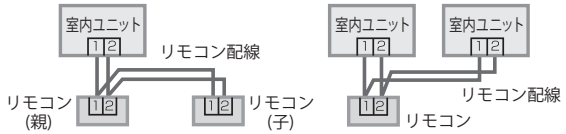
複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ

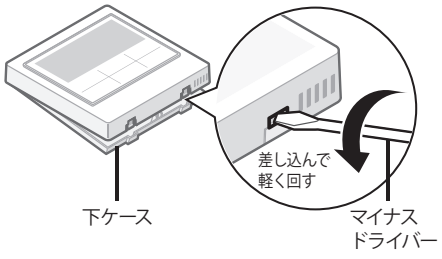
- どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。
- エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

お願い　以下のようなリモコンで渡る配線は禁止です。



2 据え付ける

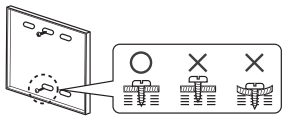
1 下ケースをはずす



お願い

■ 下ケースをはずすとき
- マイナスドライバーを強く差し込んで回さないでください。（ケース損傷の原因）

■ 下ケースを取り付けるとき（手順 2❶）
- ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締めてください。（上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。（下ケースの変形による、落下の原因）



■ 上ケースを取り付けるとき（手順 2❸）
- 余分な配線をリモコンケースに収納しないでください。（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）
- 基板上の部品に配線が触れないようにしてください。（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）

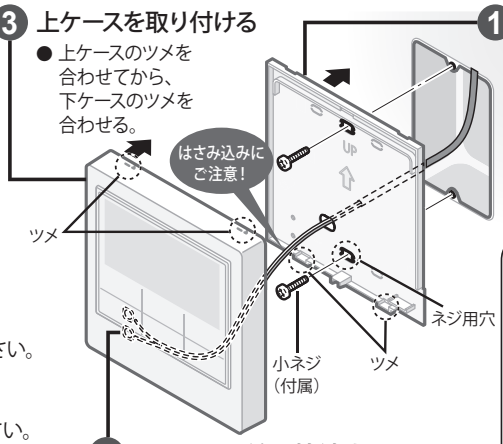
2 壁に取り付ける

準備：ネジ用穴（2か所）をドライバー等で開けておく。

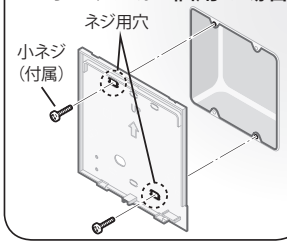
❸ 上ケースを取り付ける
- 上ケースのツメを合わせてから、下ケースのツメを合わせる。

❶ 下ケースをJISボックスに取り付ける
- 配線は、下ケース中央の穴に通しておく。

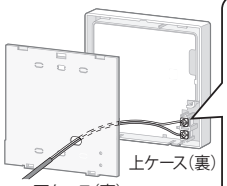
JISボックス（現地調達）
・JIS C8340
1個用/2個用スイッチボックス
（カバーなし）



JISボックスが2個用の場合



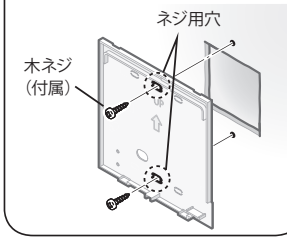
❷ リモコン配線を接続する
- 端子台のネジを強く締めすぎると、基板が割れることがあります。
- 端子ネジ：M3
- 締め付けトルク：0.5～0.6N・m（推奨値）



被覆を剥ぐ
約 6 mm

配線を接続する向きに注意してください。

壁に取り付ける場合

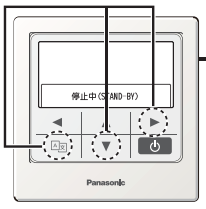


3 設定する

準備：ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を入れてください。リモコンが起動し、「設定中」の表示が消えるまでお待ちください。
（10 分以上「設定中」が点滅表示する場合は、室内ユニットのアドレス設定を見直してください）

リモコン親子設定 / 自動アドレス設定 / 集中制御アドレス設定

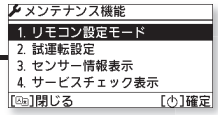
1 3つのボタンを同時に 4 秒以上押す



お願い
- 自動アドレス設定は、全ユニットの電源を入れ、90 秒以上たってから行ってください。
- 自動アドレス設定を行ったあとは、90秒以上たってから運転してください。
- 集中制御アドレス設定は自動アドレス設定終了後に行ってください。
接続する集中制御機器に付属の説明書も合わせてご覧ください。

お知らせ
- メンテナンス機能は A文 ボタンで設定を終了します。
- リモコン設定モード・自動アドレス設定・簡単設定は、終了時に再起動を 行います。

2 設定する項目を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
⏻ ボタンで決定



3 設定する

お知らせ
- 操作は、ボタンの中央付近を押してください。
- 手袋を着けた状態では、操作できません。
- スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。

リモコン設定モード

項目コード「01」・設定データを選択
▲▼ ボタンで選択 ▶ ボタンで次へ
⏻ ボタンで決定

→ 項目コード選択位置で A文 ボタンを押し
◀▶ ボタンで「はい」を選択して
⏻ ボタンで終了

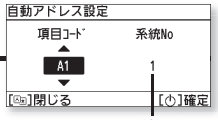


項目コード			設定データ
01	リモコン親子設定	リモコンを 2 個設置するとき設定します。	0000：子 0001：親（出荷設定）

自動アドレス設定

項目コード「A1」・系統No.を選択
▲▼ ボタンで選択 ▶ ボタンで次へ
⏻ ボタンで決定

→ 項目コード選択位置で A文 ボタンを押し
◀▶ ボタンで「はい」を選択して
⏻ ボタンで終了



系統アドレス

項目コード		
A1	自動アドレス設定	自動アドレス設定とは、室内ユニットと室外ユニットの間を系統アドレス毎に自動で関連付けする操作です。 自動アドレスをする系統（室外ユニット）の系統番号を選んでください。

簡単設定

ユニットNo.は初期位置から変更しない。



項目コード「03」・設定データを選択



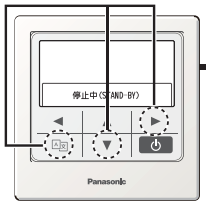
▲▼ ボタンで選択 ▶ ボタンで次へ
⏻ ボタンで決定
ユニットNo.選択位置で A文 ボタンを押し
◀▶ ボタンで「はい」を選択して
⏻ ボタンで終了

項目コード			設定データ
03	集中制御アドレス設定	システムコントローラーなどの集中制御機器を接続する場合設定します。	0001 ～ 0064 0099（未定）

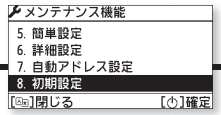
3 設定する（つづき）

言語切替 / 操作項目 / 操作音設定 / コントラスト調整 / バックライト設定

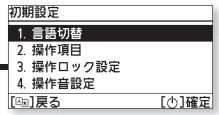
1 3つのボタンを同時に 4 秒以上押す



2「初期設定」を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
⏻ ボタンで決定



3 設定する項目を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
⏻ ボタンで決定

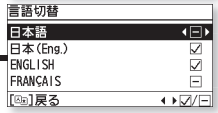


4 設定を変える

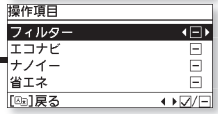
初期設定
- 言語切替
  - 言語選択
  - 言語切替有効無効
- 操作項目
- 操作音設定
- コントラスト調整
- バックライト設定



● 使用する言語を変更します。
▲▼ ボタンで言語を選択
⏻ ボタンで決定



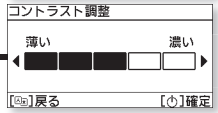
● トップ画面で切替できる言語を変更します。
▲▼ボタンで言語を選択
◀▶ ボタンで有効 ☑ /無効 ⊟を切替
※ 使用中の言語は無効にすることはできません。



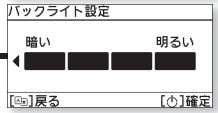
● トップ画面で操作できる項目を変更します。
▲▼ボタンで項目を選択
◀▶ ボタンで有効 ☑ /無効 ⊟を切替



▲▼ ボタンでオン・オフを選択
⏻ ボタンで決定



◀ ボタンで薄い、▶ボタンで濃いを選択
⏻ ボタンで決定

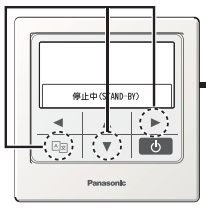


◀ ボタンで暗い、▶ボタンで明るいを選択
⏻ ボタンで決定

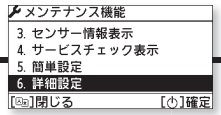
お知らせ
● [A文] ボタンで設定を終了します。

詳細設定

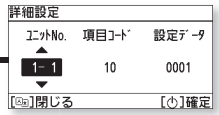
1 3つのボタンを同時に 4 秒以上押す



2「詳細設定」を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
⏻ ボタンで決定



3 設定する



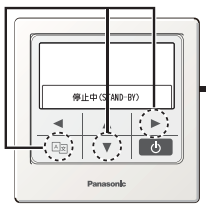
① ▲▼ ボタンでユニットNo.を選択します。
② ▶ ボタンで項目コードへ切換え、▲▼ ボタンで項目コードを選択します。
③ ▶ ボタンで設定データへ切換え、▲▼ ボタンで設定データを選択します。
④ 設定データの位置で ⏻ ボタンで決定してください。
⑤ 別の室内ユニットを設定する場合は①～④の操作を繰り返してください。
⑥ ユニットNo.の位置で [A文] ボタンを押し、◀▶ ボタンで再起動：”はい”を選択し、⏻ ボタンを押して設定を終了します。

※ 設定する項目コード、設定データの値は室内ユニットや別売部品に付属の「据付（電気）工事説明書」等でご確認ください。

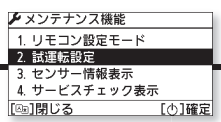
お知らせ
● [A文] ボタンで設定を終了します。
● 詳細設定は、終了時に再起動を行います。

4 試運転する

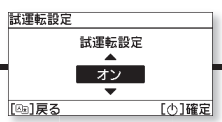
1 3つのボタンを同時に 4 秒以上押す



2「試運転設定」を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
⏻ ボタンで決定



3「オン」を選ぶ（試運転モードになる）
▲▼ ボタンで選択
⏻ ボタンで決定

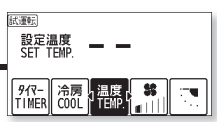




[A文] ボタンを押し、メンテナンス機能を終了
（「試運転」表示点灯）



4 試運転する
⏻ ボタンを押す



■ 試運転を終了する
手順 **1**・**2** を行い、手順 **3** で「オフ」を選ぶ。
（「試運転」表示消灯）

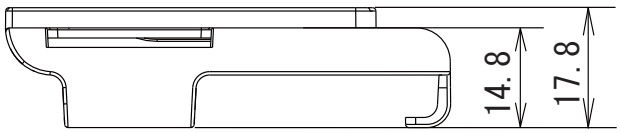
お知らせ
● 温度変更はできません。
● 試運転モードは、60分後自動で「オフ」になります。（連続試運転の防止）
● 電源投入後および運転停止後、約3 分間は室外ユニットの運転はしません。

お願い
● 試運転以外の目的には使わないでください。
（ユニットに無理がかかるため）

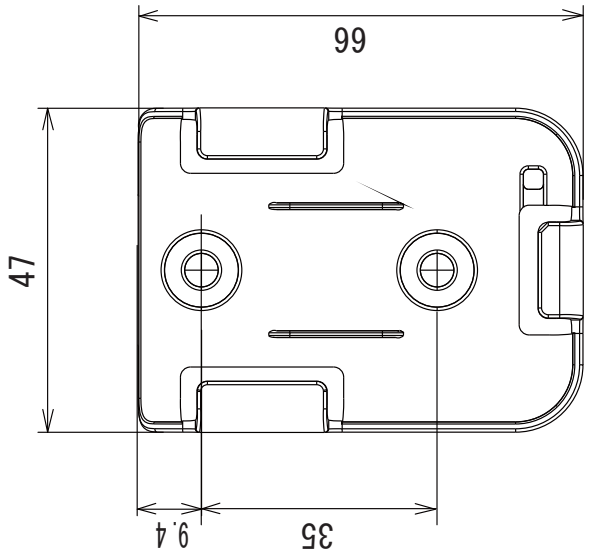
昇降操作専用リモコン / CZ-10RWU3G

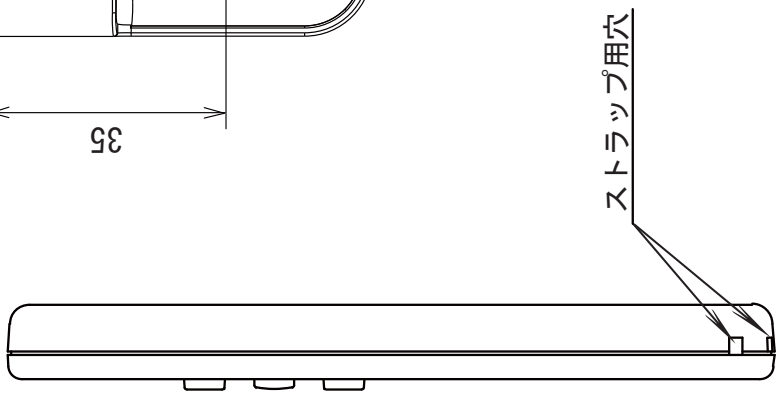
品番	CZ-10RWU3G

外形寸法図
(昇降操作専用リモコン)

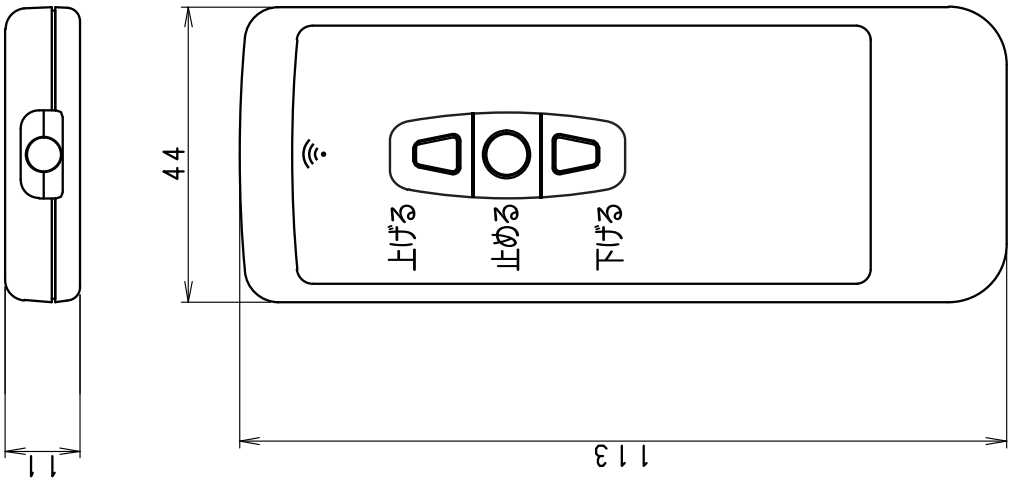


ホルダー寸法





ワイヤレスリモコン寸法図



Panasonic®

取扱説明書
昇降操作専用リモコン
CZ-10RWU3G

このたびは昇降操作専用リモコンをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところにエアコンの取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警　告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注　意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警　告

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する

❗ 必ず守る　（水漏れや感電・火災の原因）

当社指定のエアコンと接続して使う

❗ 必ず守る　（水漏れや感電・火災の原因）

ぬれた手で操作しない

⃠ 禁止　（感電や故障の原因）

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る

❗ 必ず守る　（感電や火災の原因）

異常・故障例
・スイッチを入れても運転しない。
・運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
・ブレーカーがたびたび切れる。
・本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

⚠ 注　意

リモコンを分解しない

⃠ 禁止　（感電や故障の原因）

水洗いしない

⃠ 禁止　（感電・火災の原因）

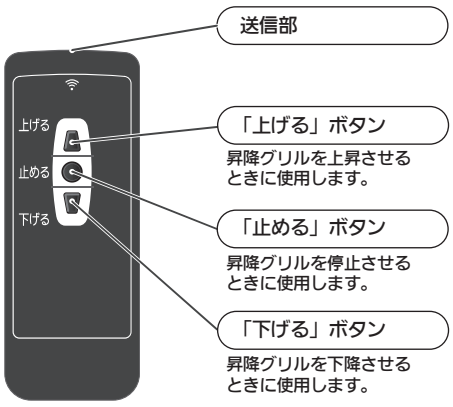
使用上のお願い

●次のような場所に設置しない
・湿気・油分・振動が多い/直射日光があたる/熱源の近く/結露する（故障の原因）
・ノイズが発生する（誤動作の原因）

●スプレーを吹きかけない（誤動作や故障の原因）
・液体（洗剤、アルコール、有機溶剤など）がかからないようにしてください。

●アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない（変色や故障の原因）
・ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

各部のなまえとはたらき

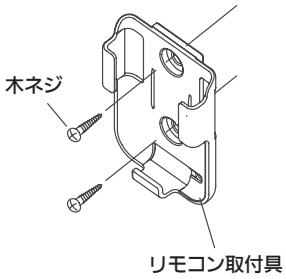


リモコンの取り扱いかた

●送信部は、室内ユニット本体の受信部に向けてください。
●受信できる距離の目やすは、約 4mです。
●受信部との間に信号をさえぎるものがないようにしてください。
●直射日光やストーブの近く等に置かないでください。
●落としたり、なげたり、水洗い等しないでください。
●電子式瞬時点灯方式（ラピッドスタート方式）または、
インバーター方式の蛍光灯がある部屋では信号を受け付けない
場合があります。
●ベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかないでください。
変色、故障の原因になることがあります。ひどい汚れは、
水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

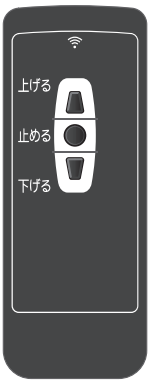
壁等に取り付けてご使用になる場合

リモコン取付具を付属の
木ネジで止めます。



操作のしかた

●電源投入時、初めて操作した場合は 下げる を押しても上昇動作をします。
●操作するときは、エアコンの運転を停止してから行ってください。
●昇降グリルが作動中に逆方向の操作をすると、数秒停止後に指定の
動作をします。
●昇降操作専用リモコンを室内ユニットの昇降グリル用受信部に向けて
操作してください。



下降させるとき

操作ボタンの 下げる を押してください。

昇降グリルは、ゆっくりと降りて来ます。
障害物に当たったとき、昇降グリルは停止します。

停止させるとき

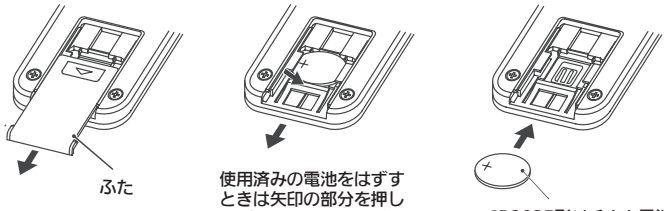
操作ボタンの 止める を押してください。
昇降グリルの下降、上昇が停止します。
止める を押さないで下げて行くと、設定された位置に自動的に停止します。
※昇降グリルの高さは変更することができます。
変更したい場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。

上昇させるとき

操作ボタンの 上げる を押してください。
昇降グリルが上昇します。昇降グリルが天井パネルにきちんと収まると、
収納動作を2回くり返した後、モーターが停止します。
※モーターが停止したことを確認してください。

電池の入れかた

①ふたをはずします。
②電池を入れます。
CR2025形リチウム電池をお使いください。
⊕⊖極を正しく、表示にしたがって入れます。
③ふたを取り付けます。
●電池の交換は約１年が目やすです。受信部に近づかないと、
受信できない場合は、電池を交換してください。
●長期間ご使用にならないときは、電池を取り出しておいてください。
●ご使用後の電池は指定の場所に捨ててください。



⚠ 警　告

●乳幼児の手の届く所にリモコンを置かない。
電池を取り出し、誤って飲み込むおそれ
●電池は ⊕⊖を逆に入れない。
ショートによる発火や液漏れの原因

仕様

品　　番	CZ-10RWU3G		
外 形 寸 法	（高さ）113mm ×（幅）44mm ×（奥行）11mm	使用温度・湿度範囲	0℃～ 40℃・20% ～ 80%（屋内設置専用）
重　　量	30ｇ	電　　源	CR2025形リチウム電池×1個

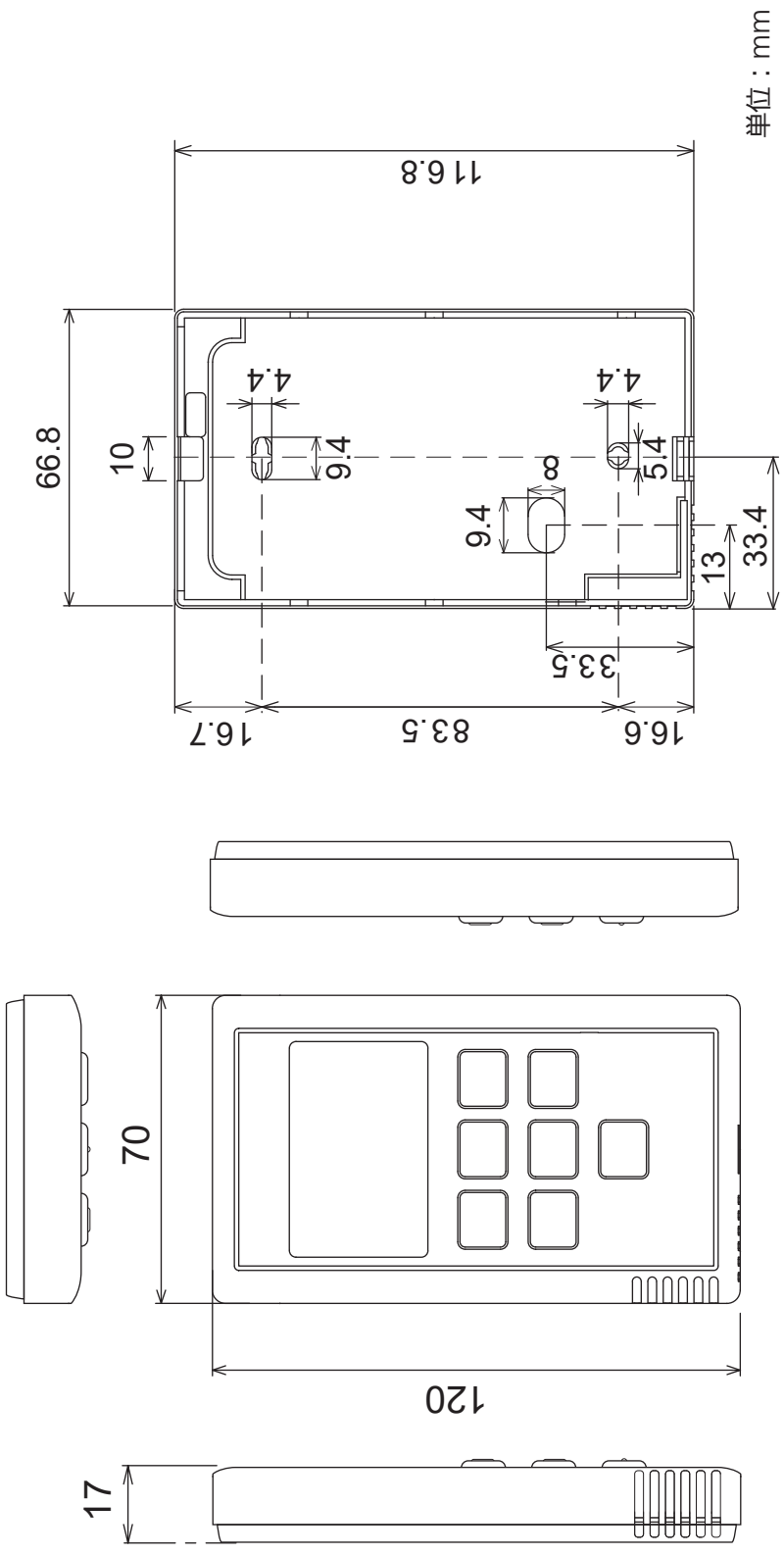
Printed in Japan
DC0411-60423
ACXF55-19583
85464609139003

簡単リモコン / CZ-02RE4

●仕様

品番	CZ-02RE4
外形寸法	(高さ)120 mm×(幅)70 mm×(奥行)17 mm
質量	90g
使用温度・湿度範囲	0℃～40℃・20%～80% (屋内設置専用)
電源	DC16 V(室内ユニットより供給)
接続台数	室内ユニット　最多8台

●外形寸法図



このたびは簡単リモコンをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
  本書は簡単リモコンの取扱説明書です。室内ユニットなどに付属の取扱説明書とあわせてお読みください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は室内ユニットなどに付属の取扱説明書とともに大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。



Panasonic®

取扱説明書

簡単リモコン

品番 CZ-02RE4

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
必ず守る （水漏れや感電・火災の原因）

当社指定のエアコンと接続して使う
必ず守る （水漏れや感電・火災の原因）

ぬれた手で操作しない
禁止 （感電や故障の原因）

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
（感電や火災の原因）

必ず守る

異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- 漏電しゃ断器がたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

⚠ 注意

リモコンを分解しない
禁止 （感電や故障の原因）

水洗いしない
禁止 （感電・火災の原因）

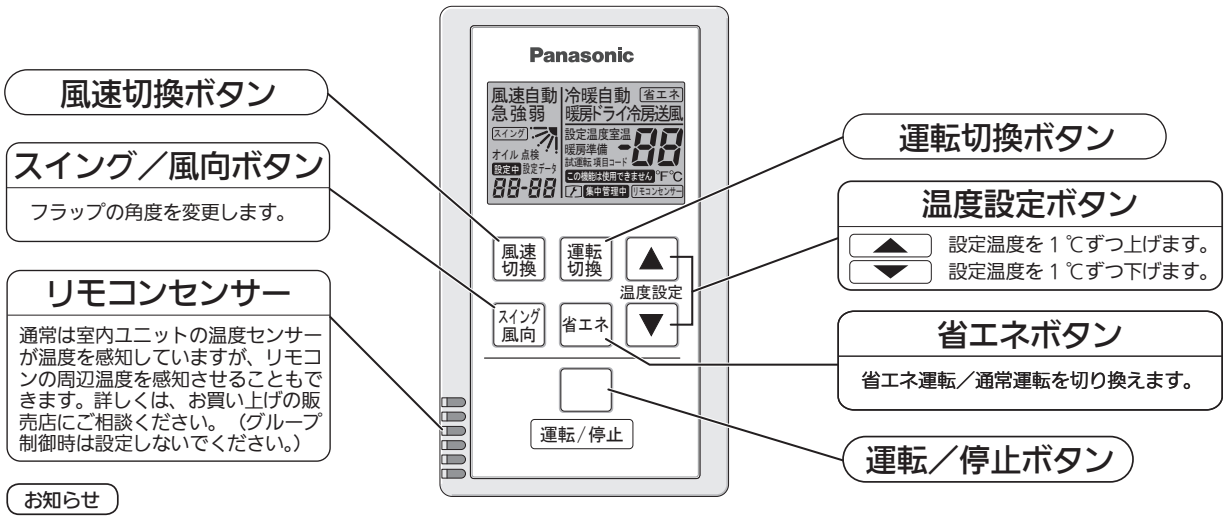
使用上のお願い

●次のような場所に設置しない
- 湿気・油分・振動が多い / 直射日光があたる / 熱源の近く / 結露する（故障の原因）
- ノイズが発生する（誤動作の原因）

●スプレーを吹きかけない（誤動作や故障の原因）
- 液体（洗剤、アルコール、有機溶剤など）がかからないようにしてください。

●アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない（液晶画面のくもり・変色や故障の原因）
- ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

各部の名前 操作部



お知らせ

- 設定できない運転モードは表示されません。
- 風向の表示は、実際のフラップの角度とは異なります。
- 停電からの復帰後「運転／停止」ボタンを押すと、停電前の内容で運転が再開します。
- 省エネ運転時は、最大電流値やエンジン最高回転速度を制限した運転になるため、冷房/暖房などの能力は低下します。（室外機の運転が制限値以下の場合は、制限されません。）
- 機器によっては設定できる温度範囲が異なります。
- 風向表示が出ない機種があります。

各部の名前　画面表示

風速 自動、風速 急、風速 強、風速 弱のいずれかを表示します。

保護動作時および異常時に表示します。

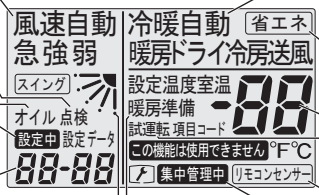
エンジンオイルの交換が必要です。
（ガスヒートポンプエアコン使用時のみ）

室内ユニットの情報を読み込み中に表示します。点滅表示が消えるまで、操作ができません。

異常時の警報を表示します。
警報表示の例



風向を表示します。



暖房準備表示中は、室内送風機が停止、または微風運転になります。冷房専用ユニットには、表示されません。

標準の室内ユニット
冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかを表示します。
冷暖自動の表示については、基本の使いかた　冷暖自動について　をご確認ください。

冷房専用の室内ユニット
ドライ、冷房、送風のいずれかを表示します。

省エネ運転中に表示します。

設定温度を表示します。

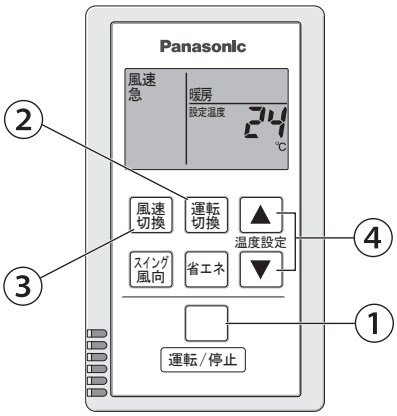
試運転中に表示します。

リモコンの温度センサー使用時に表示します。

集中管理中に表示します。遠隔側でリモコン操作禁止を設定している場合、運転/停止・運転切換・温度設定のボタンを操作したとき、“集中管理中”が点滅し、変更を受け付けません。

基本の使いかた

冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風



電源　漏電しゃ断器は、ユニットの説明書を参照し、事前に入れてください。

①　運転/停止 ボタンを押します。

②　運転切換 ボタンを押して、
冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。
※モード表示は、室内ユニットにより異なります。

③　風速切換 ボタンを押して、
お好みの風速にします。
自動にすると、風速は自動的に切り換わります。（送風時は自動になりません。）

④　温度設定 ボタンを押して、
お好みの温度にします。

	上 限 (℃)	下 限 (℃)
冷 暖 自 動	27	17
暖　　房	30*1	16
ドライ・冷房	30	18

※送風時は温度設定ができません。
※一部の室内ユニットは上下限温度が異なります。
*1：一部の機種の上限温度は26℃です。

停止　**運転/停止** ボタンを押します。
リモコンで停止した場合、室外ユニットの圧縮機が停止しても、室外ユニットのファンは、しばらく運転することがあります。

●通常の方法で停止できないとき
漏電しゃ断器を切ってから、お買い上げの販売店へお知らせください。

●暖房時、「風速 弱」で運転して暖まりが良くない場合は風速を「風速 急」、「風速 強」に切り換えてみてください。
●温度センサーが 感じる温度は室内ユニットの吸込口付近の温度ですので、据え付け状態により室温とは多少異なります。設定温度は目安としてください。
●冷房専用タイプは、冷暖自動、暖房運転ができません。

冷暖自動について

設定温度と室温の差を感知し、暖房または冷房を自動で選びます。冷暖自動は、冷暖フリータイプ（3WAY）や同一冷媒系統内の全室内ユニットが1つのグループ制御になっている場合のみ可能です。ガスヒートポンプエアコンをお使いの方は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

運転できないとき

「運転／停止」ボタンを押しても運転が始まらないときは…
修理ご依頼の前に、ご確認を！

「集中管理中」のメッセージが点滅表示されたとき	● 集中管理中のため、操作はできません。
停電していませんか？	● 復帰したら、再度「運転/停止」ボタンを押してみる。 → 運転が始まらないときは、漏電しゃ断器を「切」にし、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。
漏電しゃ断器が「切」になっていませんか？	● 故障で漏電しゃ断器が「切」になっているかも知れないので、管理責任者に確認してください。問題がなければ、漏電しゃ断器を「入」にしてから、再度「運転/停止」ボタンを押してみる。 → 運転が始まらないときは、漏電しゃ断器を「切」にし、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。
「設定中」が点滅していませんか？	● 室内ユニットの情報を読み込んでいるため点滅表示が消えるまで、操作ができません。点滅が消えてから、再度「運転/停止」ボタンを押してみる。 → 運転が始まらないときは、漏電しゃ断器を「切」にし、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。
「点検」が表示されていませんか？ 	● 警報表示が次の場合は、一度運転を停止し、約1分後に再運転してください。 (警報表示、消灯) [・E04　・E06　・P10　・P20　・H06] → 再度、表示しなければ、そのままご使用ください。 → 再度、表示されたときや、上記以外の警報表示 (E、F、H、L、Pの文字と数字の組み合わせ) が表示されたときは、運転を停止してから漏電しゃ断器を切り、お買い上げの販売店に品番と警報表示、室内ユニットNo.をご連絡ください。

・ サービスに連絡が必要な場合は、室内ユニットもしくは室外ユニットの取扱説明書の裏表紙をご確認ください。

仕様

品　　番	CZ-02RE4
外 形 寸 法	(高さ) 120 mm × (幅) 70 mm × (奥行) 17 mm
重　　量	90 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・ 20 %～80 % (屋内設置専用)
電　　源	DC16 V (室内ユニットより供給)
接 続 台 数	室内ユニット 最多 8 台

Printed in China
DC0515-50423
ACXF55-19723
85464609298022

Panasonic®

据付(電気)工事説明書

簡単リモコン

品番 **CZ-02RE4**

●据付 (電気) 工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、「据付 (電気) 工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●据付 (電気) 工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●室内ユニットなどに付属の据付説明書も合わせてご覧ください。

付属品

小ネジ M4 × 25(2本)	木ネジ M3.8 × 16(2本)	結束バンド(1個)	取扱説明書(1冊)
 (埋込型 JISボックス用)	 (露出型 壁面用)		

※リモコン配線は現地調達のため付属されていません。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の 損害が発生するおそれがある内容」です。

⃠	してはいけない内容（禁止事項)です。	❗	実行しなければならない内容(強制事項）です。

⚠ 警告

⃠ 分解や改造は行わない
(感電・火災の原因)

❗ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する
(感電・火災等の原因)

❗ 据付工事は、「据付（電気)工事説明書」に従って行う
(感電・火災等の原因)

❗ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う
- 電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- 据付（電気)工事説明書

(感電・火災の原因)

❗ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する
- 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。

(発熱・火災等の原因)

❗ 据付は、リモコンの重さに十分耐える所に設置する
- 取付強度を確保できない場合には、必ず強度を確保できる補強を行う。

(落下の原因)

❗ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を「切」にしてから行う
(感電の原因)

⚠ 注意

⃠ 次のような場所で使わない
- 可燃性ガス等の漏れるおそれのあるところ
- 腐食性ガス等の漏れるおそれのあるところ
- 水や油（機械油含む)の飛沫の多いところ
- 電圧変動の多いところ
- 電磁波が出る機械のあるところ
- 有機溶剤の飛沫するところ
- 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレー等を頻繁に使うところ
- 結露するところ

(感電・火災等の原因)

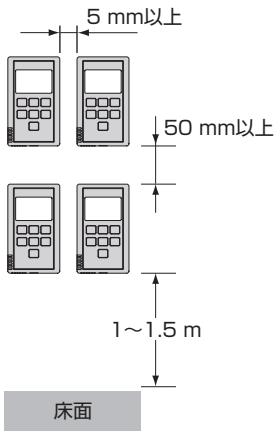
⃠ ぬれた手で操作しない
(感電の原因)

⃠ 水洗いしない
(感電・火災の原因)

Printed in China
DC0515-40723
ACXF60-29563
85464369807021

設置上のご注意

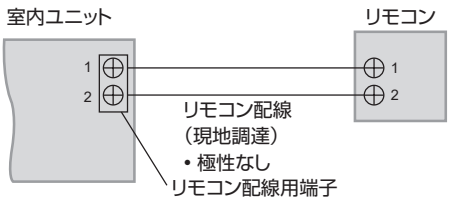
設置場所など



- 床面から1～1.5 mの高さに設置する（室内の平均的温度を感じる場所）
- 床面に対して垂直に設置する
- 複数並べて設置するときは、左右5 mm、上下50 mm以上離す
- 次のような場所に設置しない
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際等
  - 室内の空気の流れから外れた、物かげや物の裏側等
  - 結露するところ（防湿･防滴仕様ではないため）
  - 近くに熱源があるところ
  - 据付面に凹凸があるところ
- テレビ･ラジオ･パソコンから1m以上離す。（映像の乱れ･雑音の原因）

リモコン配線

■ **配線図**



■ **総配線長：**500 m以内
（室内ユニット間のリモコン配線は、200 m以内）

■ **接続可能台数**
リモコン：最多2個
室内ユニット：最多8台

■ **配線の種類**

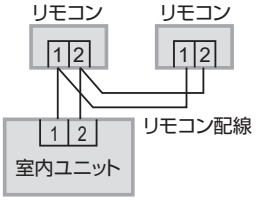
- 柔軟性のある、0.5～1.25 mm²のケーブルを使う。
- 単線は使わない。
- シース部含む絶縁物の厚みが1 mm以上ある配線を使う。
- 推奨品※（　）内：エコ電線
  - VCTF(EM-ECTF)
  - VCT(ECO120)

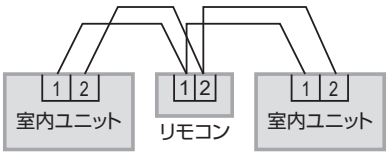
※エコ電線について：紫外線（日光・照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。

お願い

- 誤って、室内ユニットの他の端子(電源配線用端子など)に接続しないよう、注意してください。(故障の原因)
- 電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。(誤動作の原因)
- ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付けてください。

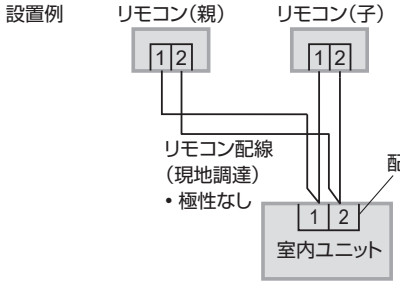
※以下のような渡り配線は禁止です。



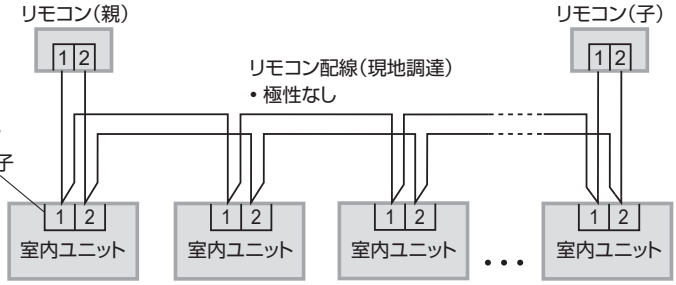


リモコンを親子で設置するとき

■ 室内ユニットが1台のとき



■ 室内ユニットが複数台のとき



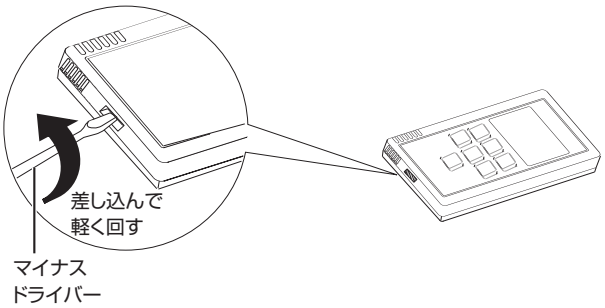
設置後、「設定する」(裏面)の「リモコン親子設定」を行い、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
CZ-10RT4/CZ-10RT4Aと併用する場合、本機を「子リモコン」に設定してください。

お知らせ

- どの室内ユニットにリモコンを接続しても、動作します。

取り付ける

1 下ケースをはずす



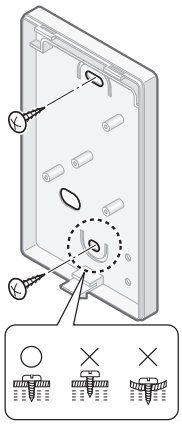
お願い

下ケースを取り付けるとき

- ネジは、下ケースにあたるまで締めてください。
  （上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。
  （下ケースの変形による、落下の原因）
- ドライバーを差し込む際は、ツメを折らないよう注意してください。

上ケースを取り付けるとき

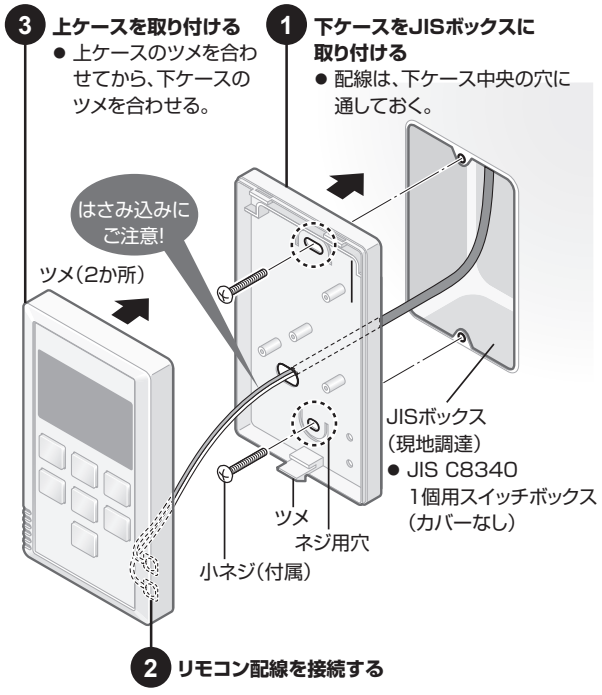
- 手順2 ❷の図の経路で配線し、余分な配線をケースに収納しないでください。
  (配線はさみ込みによる基板破壊の原因)
- 基板上の部品に配線が触れないようにしてください。
  (配線はさみ込みによる基板破壊の原因)

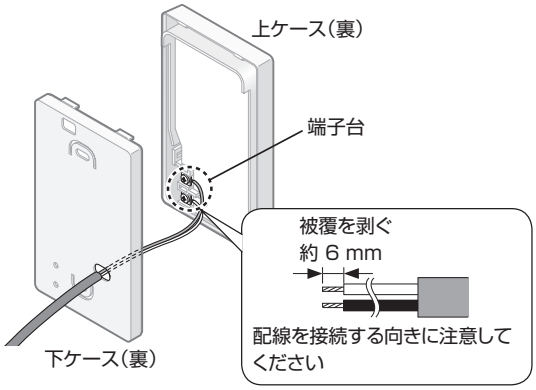


2 壁に取り付ける

埋込型の場合

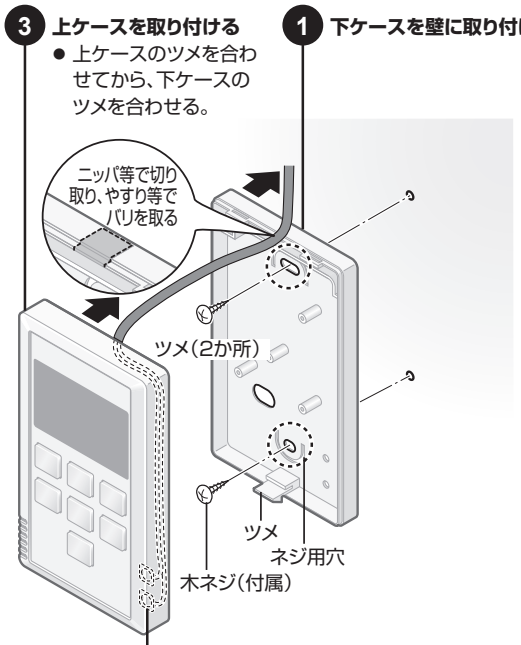
- あらかじめ現地で壁内に埋込まれた下図に示すJISボックス(現地調達)に取り付けてください。

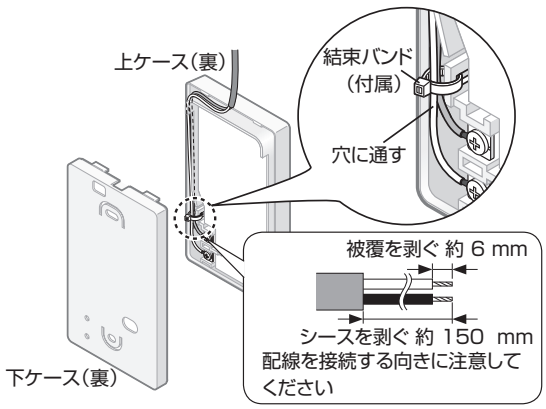




露出型の場合

- リモコンが固定できる壁面に取り付けてください。





設定する

■ リモコン親子設定　■ 室温センサー設定

リモコン親子設定

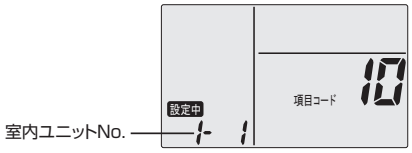
リモコンを2個設置するときに設定します。
① 「運転切換」+「省エネ」ボタンを同時に4秒以上押しつづけるとリモコン表示部が右図になります。
② 「▲」、「▼」ボタンを押して、設定変更する項目コードに切り換え、「運転切換」ボタンで決定します。
③ 「▲」、「▼」ボタンで設定データを変更し、「運転切換」ボタンを押すと設定完了します。
④ 「スイング風向」ボタンを押すと通常のリモコン表示に戻ります。
※1つ前に戻るには、「省エネ」ボタンを押してください。
※データはリモコンに記憶されます。電源を切ってもデータは消えません。
※工場出荷時は【親】が設定されています。



項目コード	項目	設定データ	
		00 00	00 01
01	リモコン親子	子	親

室温センサー設定

リモコンの室温センサーで室温を測るとき設定します。
① 「運転切換」+「省エネ」+「スイング風向」ボタンを同時に4秒以上押しつづけると
リモコン表示部が右図になります。
② グループ制御を行っているときは「▲」「▼」ボタンを押して親機の室内ユニットNo.を選択します。
この時、選択された室内ユニットのファンが回転します。
③ 「運転切換」ボタンを押して室内ユニットNo.を決定します。
④ 「▲」、「▼」ボタンで項目コードを変更し、「運転切換」ボタンで決定します。
⑤ 「▲」、「▼」ボタンで設定データを変更し、「運転切換」ボタンで決定します。
⑥ 「スイング風向」ボタンを押すと設定を終了し再起動します。
※室温センサーをリモコン側に設定したとき、親リモコンの画面右下に リモコンセンサー が表示されます。
※1つ前に戻るには、「省エネ」ボタンを押してください。
※データは室内ユニットに記憶されます。電源を切ってもデータは消えません。
※リモートセンサーと併用する場合は、設定データを室内ユニット側にしてください。



項目コード	項目	設定データ	
		00 00	00 01
32	室温センサー	室内ユニット側	リモコン側

試運転する

① 「運転停止」ボタンと「スイング風向」ボタンを同時に4秒以上押してください。
液晶表示部に"試運転"と表示されます。
② 「運転停止」ボタンを押すと試運転開始します。
もう一度押すと試運転を終了します。
③ 試運転終了後は再度「運転停止」ボタンと「スイング風向」ボタンを同時に4秒以上押します。
液晶表示部から"試運転"が消えていることを確認してください。

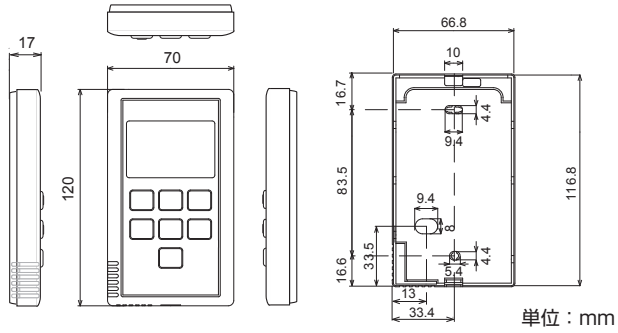
お願い

- 試運転以外の目的には使わないでください。
（ユニットに無理がかかるため）
- ユニット付属の据付説明書も、あわせてご覧ください。
- 暖房/冷房/送風のいずれかのみ運転できます。
- 温度変更はできません。
- 試運転モードは、60分後自動で「オフ」になります。（連続試運転の防止）
- 電源投入後および運転停止後、約3分間は室外ユニットの運転はしません。

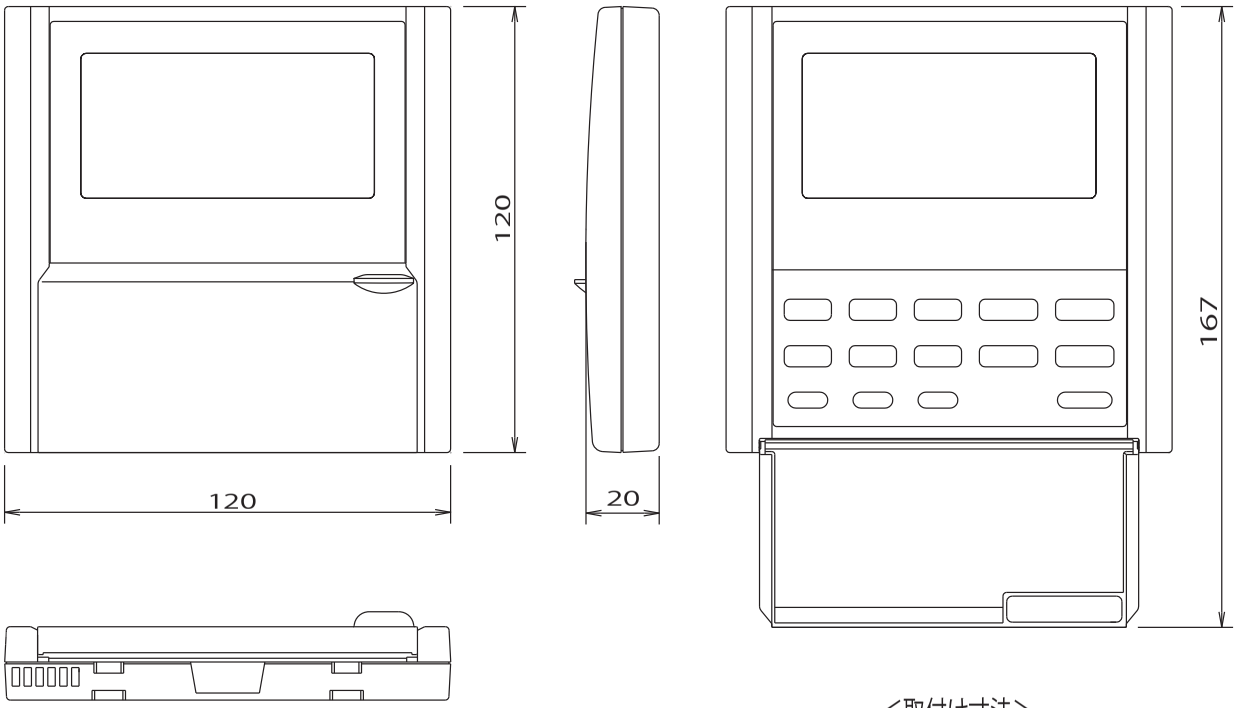
仕様

品　番	CZ-02RE4
外形寸法	(高さ)120 mm × (幅)70 mm × (奥行き)17 mm
質　量	90 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 % (屋内設置専用)
電　源	DC16 V (室内ユニットより供給)
接続台数	室内ユニット　最多8台

外形寸法

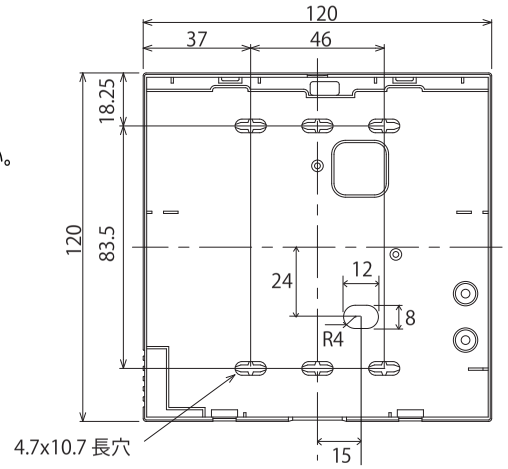


単位：mm



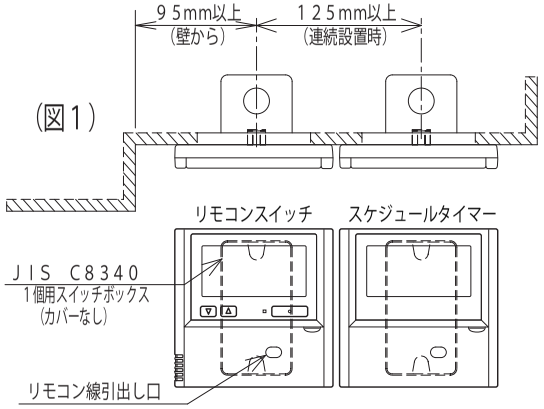
お願い）
配線を埋め込まれる場合は、JIS-C8340 1個用スイッチボックス（カバーなし）
または、2個用スイッチボックス（カバーなし）を現地調達し、埋め込んでください。

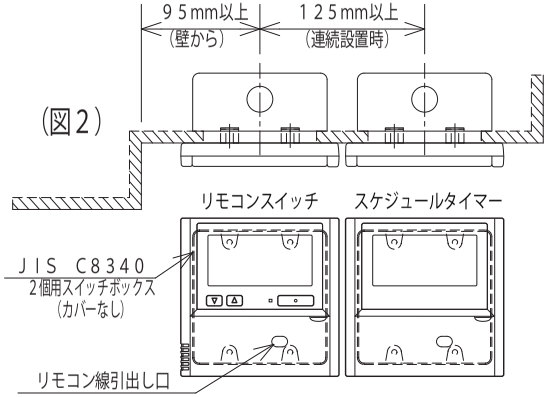
<取付け寸法>



連続設置の場合の取付け寸法

＊リモコンスイッチとスケジュールタイマーを壁面に連続して取付ける場合は、図1・図2の取付け寸法を守ってください。





＊リモコンスイッチとスケジュールタイマーを上下に連続設置する場合は、保守の関係上、隙間は25mmを守ってください。
＊リモコン上部の隙間は10mm以上確保してください。

品番	CZ-10ESW3	外形寸法図（スケジュールタイマー）

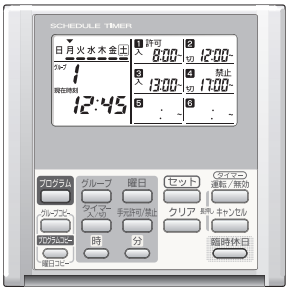
Panasonic

取扱説明書
スケジュールタイマー
CZ-10ESW3

このたびはスケジュールタイマーをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところにエアコンの取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意…… 1
使用上のお願い…… 2
各部のなまえとはたらき…… 3
ご使用方法…… 4
　現在時刻の設定…… 5
　曜日の設定…… 6
　プログラムの設定…… 7
　プログラム内容の確認……10
　プログラム内容のコピーのしかた…11
　臨時休日の設定……15
　タイマー運転無効の設定……16
　プログラムの取り消しかた……17
知っていただきたいこと……18
仕様……20



上手に使って上手に節電

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警 告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注 意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容（禁止事項）です。	❗ 実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警 告

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
❗ 必ず守る
（水漏れや感電・火災の原因）

当社指定のエアコンと接続して使う
❗ 必ず守る
（水漏れや感電・火災の原因）

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
❗ 必ず守る
（感電や火災の原因）
異常・故障例
・スイッチを入れても運転しない。
・運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
・ブレーカーがたびたび切れる。
・本体が変形したり、異常に熱い。
すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

ぬれた手で操作しない
⃠ 禁止
（感電や故障の原因）

⚠ 注 意

リモコンを分解しない
⃠ 禁止
（感電や故障の原因）

水洗いしない
⃠ 禁止
（感電・火災の原因）

使用上のお願い

●次のような場所に設置しない
・湿気・油分・振動が多い / 直射日光があたる / 熱源の近く / 結露する (故障の原因)
・ノイズが発生する (誤動作の原因)
●スプレーを吹きかけない（誤動作や故障の原因）
・液体（洗剤、アルコール、有機溶剤など）がかからないようにしてください。
●アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない
(液晶画面のくもり・変色や故障の原因)
・ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

各部のなまえとはたらき

操作ボタン

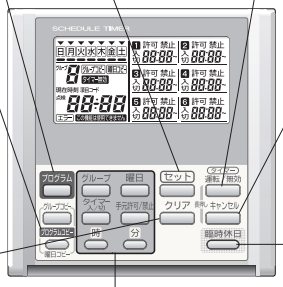
セットボタン
プログラム運転時刻のセットに使います。
※プログラムボタンを押さないとプログラム内容を確定しません。

タイマー運転／無効ボタン
一時的にプログラムタイマーを無効にしたい場合に使います。2秒以上押し続けることで、液晶に タイマー無効 が表示され、再度このボタンを長押しするまでプログラムタイマー機能は無効になります。

プログラムボタン
プログラム内容の設定開始とプログラム内容の確定に使います。

プログラムコピーボタン
プログラム内容をグループ単位や曜日単位でコピーするのに使います。
☞ P.11

クリアボタン
設定中のプログラム内容を消去するのに使います。
※プログラムボタンを押さないと消去を確定しません。



キャンセルボタン
設定中のプログラム内容やプログラムコピー、休日設定を取り消すときに使います。2秒以上押し続けることで、現在行っている設定やコピー動作を確定せずに通常画面に戻ります。

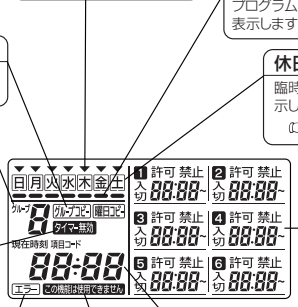
臨時休日ボタン
臨時休日を設定するのに使用します。
☞ P.15

設定ボタン	プログラム運転の内容や、現在時刻の設定に使います
グループ	プログラム運転を行うグループの設定に使います。
曜 日	現在曜日およびプログラム運転を行う曜日の設定に使います。
タイマー入／切	タイマーによってエアコンを運転／停止させるときに使います。
手元許可／禁止	タイマーによって手元リモコンの操作を許可／禁止させるときに使います。
時　分	現在時刻およびプログラム運転を行う時刻の設定に使います。

※据付時の設定によっては上記機能が使用できない設定になっています。その場合、使用できないボタンを押すと液晶に この機能は使用できません と表示されます。
詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。

各部のなまえとはたらき

液晶表示



現在曜日表示（▼印）

プログラム予約表示（ー印）
プログラム運転をセットした曜日を表示します。

コピーモード表示
プログラム内容をコピーするときに表示します。

休日セット表示（□印）
臨時休日をセットした曜日を表示します。
☞ P.15

グループ表示
最多8つのグループを切り換えて表示します。

プログラム内容
セットしたプログラムタイマーを表示します。
また、グループコピーの際にはコピー元／コピー先を表示します。

タイマー無効表示
プログラムタイマー運転が無効になっているときに表示します。

エラー表示
タイマー時刻の設定に誤りがあったときに表示します。

現在時刻表示
現在の時刻を24時間制で表示します。
また、各種設定中のモードを表示します。

この機能は使用できません表示
使用できない機能を選択したときに表示します。

ご使用方法

スケジュールタイマーをお使いになるときは、下記の手順によって設定を行ってください。

1. スケジュールタイマーの初期設定を行う

「SC Rn」点滅中はスケジュールタイマーが接続しているエアコンと初期通信をしています。しばらくお待ちください。

●現在の時刻と曜日の設定を行います ☞ P.5 P.6

2. スケジュールタイマーのプログラム運転設定を行う

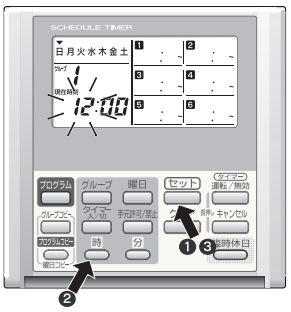
●プログラム運転設定を行います ☞ P.7

ご使用方法

現在時刻の設定

例：現在時刻が12時45分の場合

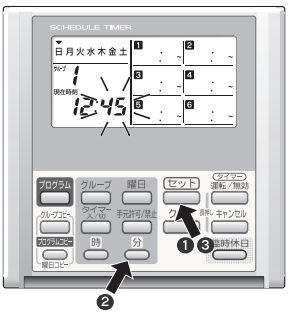
1.「セット」ボタンを押しながら「時」ボタンを押し、現在時刻の時を合わせます。



❶「セット」ボタンを押しながら
❷「時」ボタンを押します。
❸「セット」ボタンを離して、確定します。

※❷のとき「時」ボタンを長押しすると早送りになります。

2.「セット」ボタンを押しながら「分」ボタンを押し、現在時刻の分を合わせます。



❶「セット」ボタンを押しながら
❷「分」ボタンを押します。
❸「セット」ボタンを離して、確定します。

※❷のとき「分」ボタンを長押しすると早送りになります。

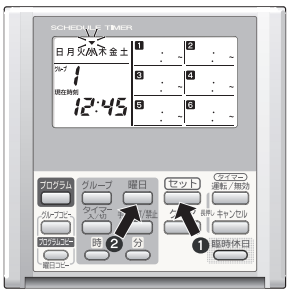
〈ご注意〉
時刻が未設定の場合「88:88」が表示され、プログラム内容が設定されていても動作しません。

ご使用方法

曜日の設定

例：水曜日の場合

1.「セット」ボタンを押しながら「曜日」ボタンを押し、現在の曜日に合わせます。



❶「セット」ボタンを押しながら
❷「曜日」ボタンを押します。
「▼」が点滅して順次移動します。

※「セット」ボタンを離したとき曜日が確定し点灯表示になります。



ご使用方法

プログラムの設定

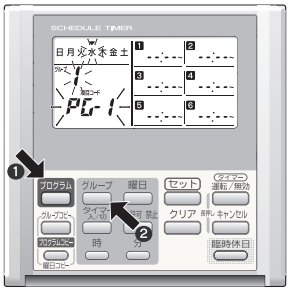
グループおよび曜日ごとに、1日6個までのプログラム運転をセットできます。また、1つのプログラム運転で下記の動作を組み合わせて設定できます。
・エアコンの運転／停止
・リモコンによる手元操作の許可／禁止
すでに設定してあるプログラム内容を変更する場合も以下の手順で行います。

※据付時の設定によってはリモコン手元操作の許可／禁止が使用できない設定になっています。その場合、「手元許可／禁止」ボタンを押すと液晶に「この機能は使用できません」と表示されます。詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。

設定の例：



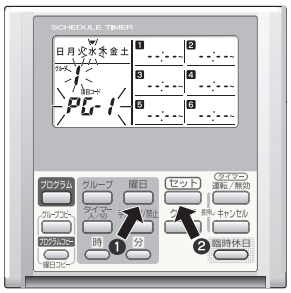
1. プログラム運転を行うグループを選択します。



❶「プログラム」ボタンを押すと、グループ番号と現在曜日が点滅し、現在時刻表示が項目コード PG-1 の点滅に変わります。
❷「グループ」ボタンを押して、プログラム運転を行うグループを選択します。

※選択可能なグループ数は据付時に設定されていますので、据付時の設定によってはグループを選択できない設定になっています。この場合は次の手順に進んでください。

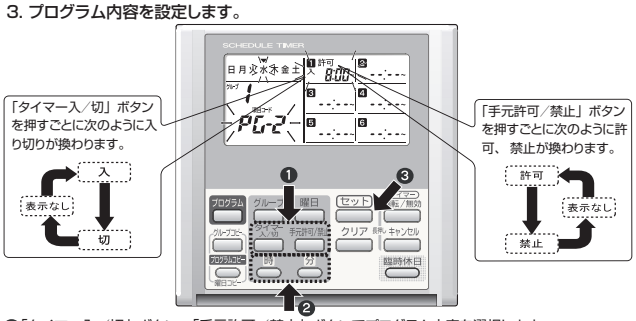
2. プログラム運転を行う曜日を選択します。



❶「曜日」ボタンを押してプログラム運転を行う曜日を選択します。
❷「セット」ボタンを押すとプログラム 1 の設定時刻が点滅します。また、項目コードが PG-2 の点滅に変わります。

〈ご注意〉
プログラムの設定中に、設定を途中でキャンセルしたい場合は「キャンセル」ボタンを2秒以上押し続けてください。通常画面に戻ります。

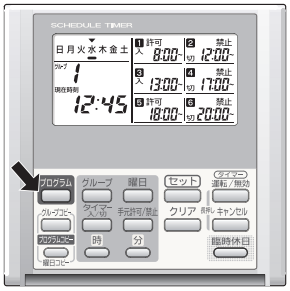
3. プログラム内容を設定します。



❶「タイマー入／切」ボタン、「手元許可／禁止」ボタンでプログラム内容を選択します。
❷「時」・「分」ボタンで動作時刻を設定します。
❸「セット」ボタンを押すとプログラム 1 の内容で確定（点滅→点灯）し、同時にプログラム 2 の設定に移ります。上記を繰り返すことで 2 ～ 6 を設定することができます。
（「セット」ボタンを押すと、プログラム内容を時間の早い順に自動的に並べ替えます。）
設定中 エラー が点滅表示した場合は、9ページ『●エラー点滅について』をご参照ください。

※据付時の設定によっては「手元許可／禁止」の機能を選択できない設定になっています。この場合は「タイマー入／切」のみ設定可能です。
※プログラム内容を設定しない状態で「セット」ボタンを押すと、プログラム 1 が点滅表示になり、設定の変更が行えます。また、プログラム 6 を設定した状態で「セット」ボタンを押しても、同じようにプログラム 1 が点滅表示になります。

4. プログラム内容を確定します。



●最後に「プログラム」ボタンを押すとプログラム内容を確定し、通常画面に戻ります。
※「プログラム」ボタンを押さないで「キャンセル」ボタンを2秒長押しすると、設定内容は確定しません。

5. 同様に、他のグループおよび曜日のプログラム内容を設定してください。

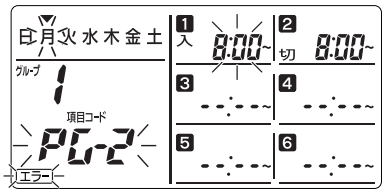
すでにセットした内容を他のグループや曜日にコピーできます。☞ P.11

●エラー点滅について

同じ時刻に複数のプログラムをセットした場合、エラー が点滅し設定できません。

修正方法

例：

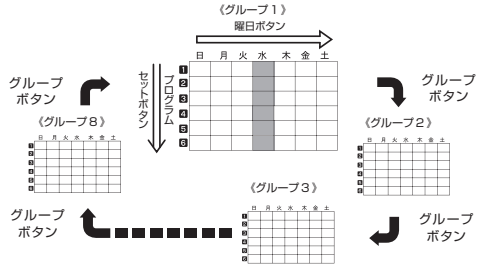


1.「セット」ボタンを押すごとに同じ時刻のプログラム（上記の例で 1 と 2 ）が切り換わりますので、修正するプログラムを選択します。
2. 時刻がかさならないように「時」・「分」ボタンで設定を変更します。
3.「セット」ボタンを押して、エラー表示が出ないことを確認します。
4.「プログラム」ボタンを押して変更完了です。

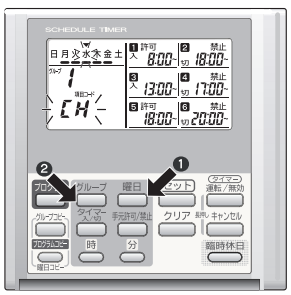
プログラム内容の確認

プログラムした各グループおよび曜日の運転時刻を確認することができます。

イメージ
1グループで、各曜日毎にプログラム 1 ～ 6 を設定できます。（1週間で最多42個）



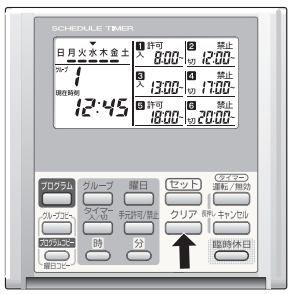
1. 曜日とグループを選択します。



❶「曜日」ボタンを押していくと順次各曜日のプログラム内容を表示します。
❷「グループ」ボタンを押すと、現在選択している曜日の他の各グループのプログラム内容を表示します。

※据付時の設定によってはグループを選択できない設定になっています。この場合は次の手順に進んでください。

2. 確認を終了します。

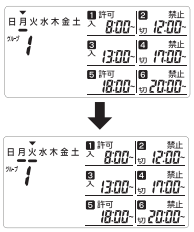


●「クリア」ボタンを押すと通常画面に戻ります。
※「キャンセル」ボタンを2秒以上押し続けても通常画面に戻ります。

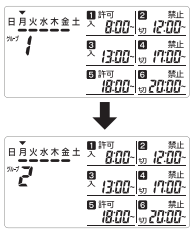
プログラム内容のコピーのしかた

●曜日コピー
すでに設定されている他の曜日のプログラムをコピーすることができます。
●グループコピー
すでに設定されている他のグループのプログラムを1週間分まとめてコピーすることができます。

例：曜日コピー
（月曜日の内容を火曜日にコピー）

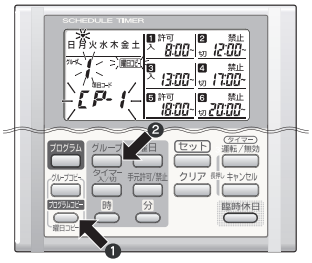


例：グループコピー
（グループ1の内容をグループ2にコピー）



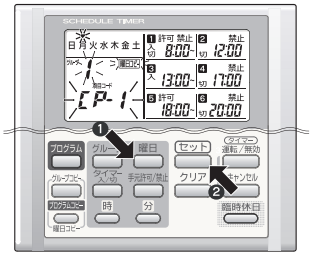
曜日コピーのしかた

1. 曜日コピーを行うグループを選択します。



❶「曜日コピー」ボタンを押すとグループ番号とコピーモード、現在曜日表示「▼」が点滅し、現在時刻表示が項目コード[P-1]の点滅表示に変わります。
❷「グループ」ボタンを押して曜日コピーを行うグループを選択します。

2. コピー元を選択します。

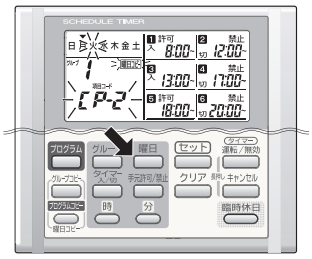


❶「曜日」ボタンを押すごとに現在曜日表示「▼」が移動しますので、コピー元になる曜日に合わせます。
❷「セット」ボタンを押すとコピー元を確定し、コピー先の選択画面になります。

※戻る場合は「クリア」ボタンを押してください。

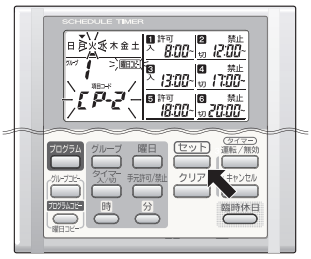
ご使用方法

3. コピー先の曜日を選択します。



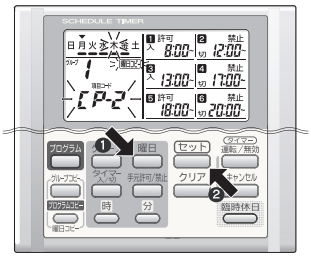
●現在時刻表示が[P-2]の点滅表示に変わり曜日表示が点滅しますので、「曜日」ボタンでコピー先の曜日を選択します。
※戻る場合は「曜日コピー」ボタンを押してください。

4. プログラム内容をコピーします。



●「セット」ボタンを押すと、プログラム予約表示「ー」が表示されます。

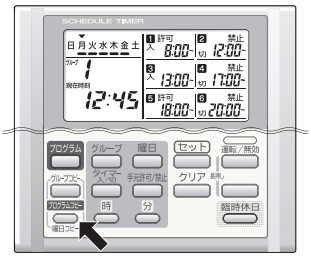
5. 引き続き他の曜日にコピーできます。



❶ 他のコピー先の曜日を「曜日」ボタンを押して選択します。
❷「セット」ボタンを押すとプログラム予約表示「ー」が表示されます。上記を繰り返すことで、他の曜日に連続してコピーすることができます。

※設定中に「クリア」ボタンを押すと、プログラム予約表示「ー」が消えてコピーが取り消されます。

6. プログラムコピーを確定します。



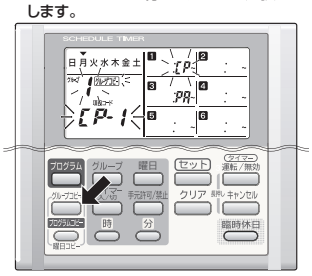
●「曜日コピー」ボタンを押すとプログラムコピーが確定し、通常画面に戻ります。

〈ご注意〉
すでにプログラムされている曜日をコピー先に設定した場合はプログラム内容が上書きされます。曜日コピーの設定中に誤ってプログラムを上書きした等の場合は、「キャンセル」ボタンを2秒以上押し続けることでプログラムコピーの「曜日コピー」ボタンを押す前の状態に戻ります。
（そこまでの変更やコピー作業はすべてキャンセルされます）

ご使用方法

グループコピーのしかた

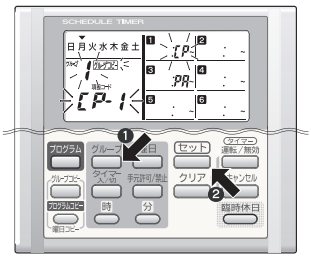
1. グループコピーを行うグループを選択します。



●「グループコピー」ボタンを押すとグループ番号とコピーモードが点滅し、現在時刻表示が項目コード[P-1]の点滅に、プログラム1がコピー元を示す[P]（コピー）の点滅表示に変わります。

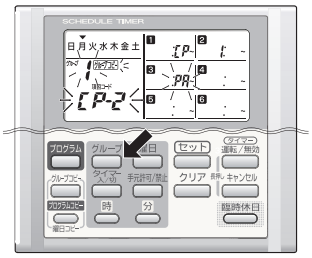
※この機能は使用できません が点灯した場合、選択可能なグループ数は据付時に設定されていますので、据付時の設定によってはグループを選択できない設定になっています。

2. コピー元を選択します。



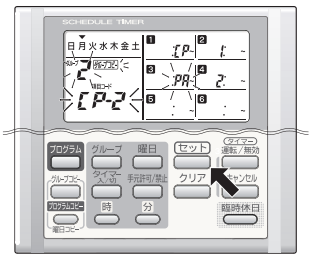
❶「グループ」ボタンでコピー元となるグループを選択します。
❷「セット」ボタンを押すと、コピー先の選択画面になります。

3. コピー先のグループを選択します。



●項目コードが[P-2]の点滅に変わり、プログラム2にコピー元のグループがセットされ、プログラム3がコピー先を示す[PR]（ペースト）の点滅表示になります。
「グループ」ボタンを押してコピー先グループを選択します。

4. コピー先を決定します。

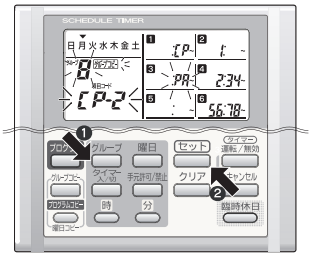


●「セット」ボタンを押すと、プログラム4のエリアにコピー先のグループが表示されます。

※コピー先のグループとして1～4を選択した場合はプログラム4のエリアに、5～8を選択した場合はプログラム6のエリアに表示されます。

ご使用方法

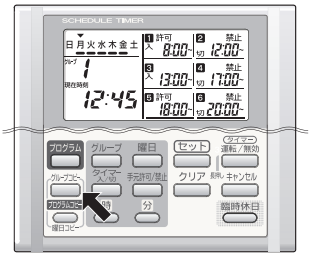
5. 引き続き他のグループにコピーできます。



❶ 他のコピー先のグループを「グループ」ボタンを押して選択します。
❷「セット」ボタンを押すとコピー先にコピーできます。
上記を繰り返すことで、他のグループに連続してコピーすることができます。

※コピー先のグループとして1～4を選択した場合はプログラム4エリアに、5～8を選択した場合はプログラム6のエリアに表示されます。
※設定中に「クリア」ボタンを押すと、直前に選択（予約）したコピー先のグループが消えてコピーが取消されます。

6. プログラムコピーを確定します。



●「グループコピー」ボタンを押すとプログラムコピーが確定し、通常画面に戻ります。

〈ご注意〉
●すでにプログラムされているグループをコピー先に設定した場合はプログラム内容が上書きされます。
●グループコピーの設定中に誤ってプログラムを上書きした等の場合は、「キャンセル」ボタンを2秒以上押し続けることで、プログラムコピーの「グループ」ボタンを押す前の状態に戻ります。
（そこまでの変更やコピー作業はすべてキャンセルされます）

ご使用方法

臨時休日の設定

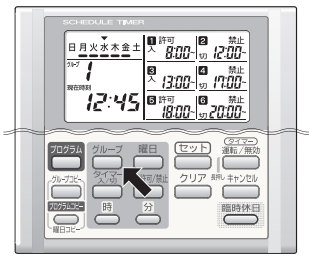
臨時休日を設定した曜日のプログラム内容を一度だけ無効にすることができます。

日月火水木金土 → 翌日 → 日月火水木金土 → 翌日 → 日月火水木金土

現在土曜日で金曜日が臨時休日の場合 / 臨時休日設定された金曜日のプログラム動作は行いません。 / 土曜日になると、金曜日の臨時休日設定は自動で解除されます。

※現在曜日に臨時休日を設定した場合、次週のプログラム運転が取り消されます。
（プログラムによって運転していても停止にはなりません）

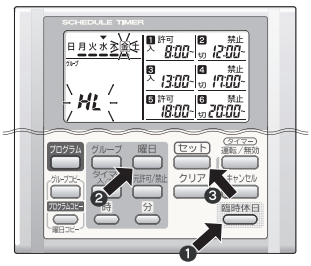
1. グループを選択します。



●「グループ」ボタンを押して臨時休日を設定したいグループを選択します。

※据付時の設定によってはグループ1のみをご使用していただく設定になっています。この場合は次の手順に進んでください。

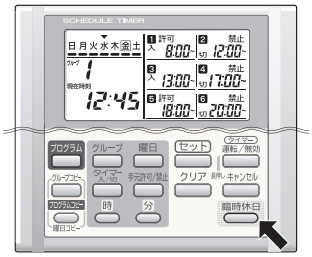
2. 臨時休日になる曜日を設定します。



❶「臨時休日」ボタンを押してください。
現在時刻表示が[HL]の点滅に変わり、現在の曜日表示が点滅します。
❷「曜日」ボタンで曜日を選択します。
❸「セット」ボタンを押してください。
曜日表示に臨時休日を示す枠（[ ]）が表示されます。

※引き続き他の曜日に臨時休日を設定したい場合は❷、❸を繰り返してください。
また、取り消したい場合は、曜日を選択して「クリア」ボタンを押してください。

3.「臨時休日」ボタンを押して確定します。



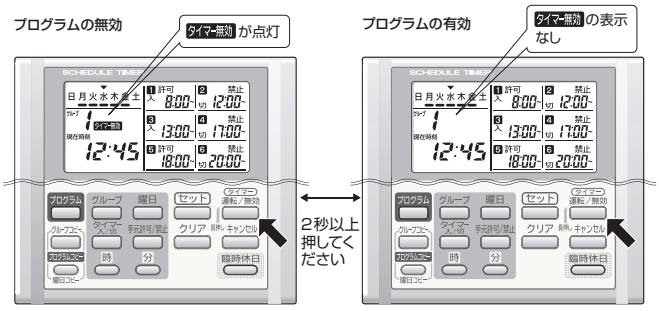
●セットした臨時休日を確定し、通常画面に戻ります。

タイマー運転無効の設定

タイマー運転無効を設定すると、プログラム内容を無効にすることができます。（全グループ、グループごと）

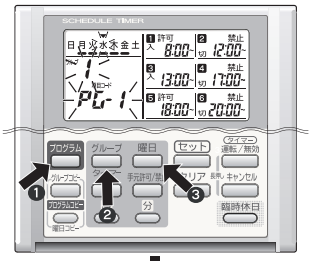
●タイマー運転無効に設定すると、再度下記の操作を行うまでプログラム運転を行いません。

※据付時の設定によってはグループごと、または全グループの2通りありますので「グループ」ボタンを押して確認してください。



プログラムの取り消しかた

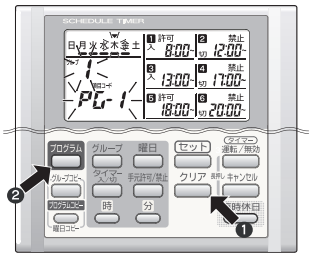
プログラム内容を取り消したい曜日を選択します。



❶「プログラム」ボタンを押すと、グループ番号と現在の曜日表示が点滅し、現在時刻表示が項目コード PG-1 の点滅に変わります。
❷「グループ」ボタンを押して、消去したいグループを選択します。
❸「曜日」ボタンを押して、消去したい曜日を選択します。

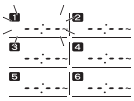
※据付時の設定によってはグループを選択できない設定になっています。この場合は次の手順に進んでください。
※「キャンセル」ボタンを2秒以上押し続けたときは、「プログラム」ボタンを押す前の状態に戻ります。（そこまでの操作はすべてキャンセルされます）

〈曜日単位での消去〉
選択した曜日の全てのプログラムを消去します。

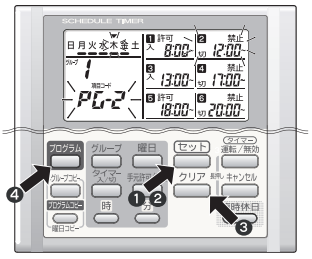


❶「クリア」ボタンを押します。プログラムの 1 から 6 の内容がすべて消去され、下図のような表示になります。
❷「プログラム」ボタンを押すと、消去が確定して通常画面に戻り、プログラム予約表示の「➖」が消えます。

例：上の内容から全ての内容をクリアした後の表示



〈曜日内の個別プログラムの消去〉
選択した曜日の一部のプログラムだけを消去します。



❶「セット」ボタンを押して個別プログラム消去画面に移ります。
❷「セット」ボタンを押して消去したいプログラムを選択します。
❸「クリア」ボタンを押します。
❹「プログラム」ボタンを押すと、消去が確定して通常画面に戻ります。

例：上の内容から 2 をクリアした後の表示



知っていただきたいこと

スケジュールタイマーとエアコンの動作について

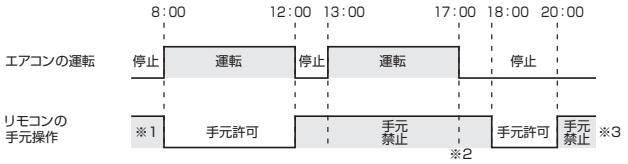
エアコンの運転は、スケジュールタイマーから行われるプログラム運転と、接続されたリモコンやシステムコントローラー等による動作のいずれかになります。

スケジュールタイマーの設定（例）



❶システムコントローラー等からの操作がない場合の動作

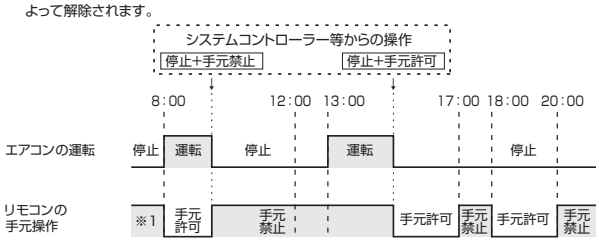
●リモコンが手元許可のときはリモコンから運転／停止が行えます。（後押し優先）



※1　前日の設定によって手元許可か手元禁止のいずれかになります。
※2　すでに手元禁止になっていますので、手元禁止のまま変化しません。
※3　翌日以降に手元許可を設定するまで手元禁止を継続します。

❷システムコントローラー等からの操作がある場合の動作

●リモコンが手元許可のときはリモコンからの運転／停止が行えます。（後押し優先）
●システムコントローラー等から設定した手元許可／禁止（集中1～4）は、プログラム運転によって解除されます。



※1　前日の設定によって手元許可か手元禁止のいずれかになります。

停電について

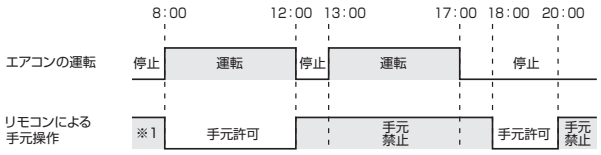
エアコンが停電して電源が復帰した場合は、エアコンが運転していた場合は停止します。また、リモコンが手元禁止になっていた場合は電源が復帰してから数分間は手元許可に戻ります。

●停電が復帰した後の時刻のプログラム運転から有効になります。
●プログラム内容は、スケジュールタイマーに内蔵している不揮発性メモリでバックアップしますので、クリアされることはありません。また、現在時刻と現在曜日は内蔵の電池により、最大100時間までバックアップします。

スケジュールタイマーの設定（例）

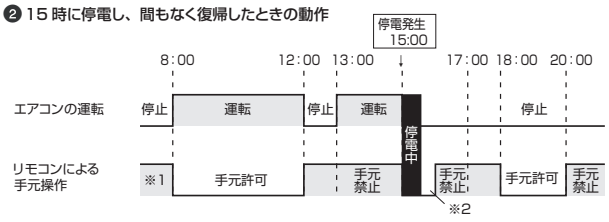


❶通常動作



※1　前日の設定によって手元許可が手元禁止のいずれかになります。

❷15時に停電し、間もなく復帰したときの動作



※1　前日の設定によって手元許可が手元禁止のいずれかになります。
※2　停電復帰後の数分間は手元許可になります。

仕　様

品番	CZ−10ESW3
外形寸法	(高さ)120mm×(幅)120mm×(奥行)20mm
重量	160g
使用温度・湿度範囲	0℃～40℃・20%～80% 屋内設置専用
電源定格	DC12V(室内ユニットまたは他の集中コントローラーから供給)
時計精度	±30秒／月(常温25℃) 定期的にあわせてください。
停電保障時間	100時間(満充電時)
接続台数	室内ユニット最多64グループ(最多64台)

Printed in Japan
DC0411-60423
ACXF55-19523
85464609106003 20

Panasonic　据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ（CZ-10ESW3）

安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに“取扱説明書”にそってお客様に使用方法を説明してください。また、“据付（電気）工事およびサービス担当のかたへ”は、“取扱説明書”と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。

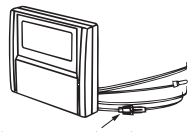
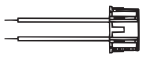
⚠ 警 告

●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。
　ご自分で据え付け工事をされ不備があると、感電・火災等の原因になります。
●据付工事は、本書に従って確実に行ってください。
　据え付け工事に不備があると、感電、火災等の原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及び本書に従って施行してください。
　電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。
　接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠ 注 意

●設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。
　漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
●厨房や工場等、油分を含んだ雰囲気中への設置はしないでください。
●直射日光や直接外気が当たる窓際等への設置はしないでください。
●エレベーターや自動ドア、工業用ミシン等のノイズの発生が予想される機器の近傍には設置しないでください。
●可燃性ガス等の漏れるおそれのあるところ、水や油（機器油を含む）の飛沫するところ、有機溶剤の飛沫するところでのご使用は避けてください。
●スケジュールタイマーの近くで暖房器具を使用しないでください。プラスチック部分が熱により変形、変色することがあります。

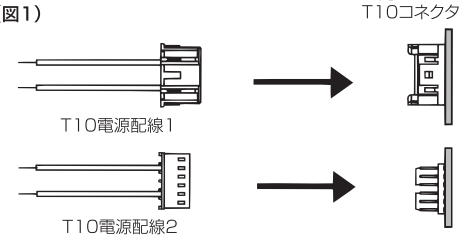
スケジュールタイマー付属部品

番号	付属部品	個数
①	スケジュールタイマー本体（集中制御機器）  （電源ヒューズ付き）※1	1
②	T10電源配線1　※2 	1
③	T10電源配線2　※2 	1

番号	付属部品	個数
④	電源配線 システムコントローラー接続用 	1
⑤	小ネジ M4×25 	2
⑥	ワイヤージョイント 	6
⑦	取扱説明書 	1
⑧	据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ 	1

※1　ヒューズが配線の短絡や誤配線、過電流で溶断した際には125V／0.1Aのものと交換してください。
※2　室内コントロール基板のT10コネクタの形状に合わせてご使用ください。（図1）

（図1）



スケジュールタイマーの取り付けかた

〈注1〉室内外操作線や入出力配線は、電源配線などと一緒により合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤作動の原因となりますので避けてください。
〈注2〉スケジュールタイマーはノイズ発生源から離して据付けてください。
〈注3〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルターを取り付ける等の処置が必要です。

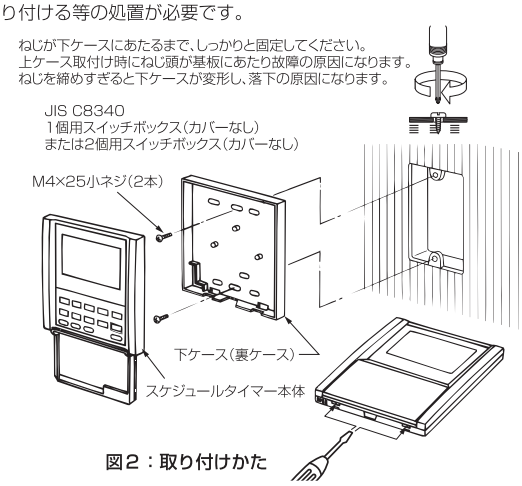


図2：取り付けかた

①スケジュールタイマー本体下側の溝にマイナスドライバー等を押しこんであけ、下ケースをはずしてください。
②スケジュールタイマーの下ケースを付属のM4小ネジ（2本）を使用して固定します。なお、取り付ける前に使用するJISボックスに対応するビス用穴をドライバー等で押し開けてください。
　固定のときは、下ケースが変形しないように取り付けてください。
③スケジュールタイマー本体を裏ケースのツメに合わせ、はめ込み、取り付けてください。

連続設置の場合の取付方法

スケジュールタイマー（リモコン・システムコントローラー等）を壁面に取付ける場合は、図3、図4、図5の取付け方法を守ってください。

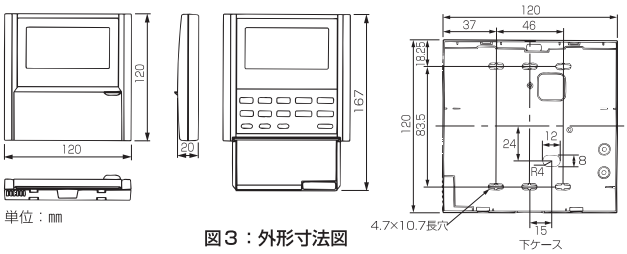


図3：外形寸法図

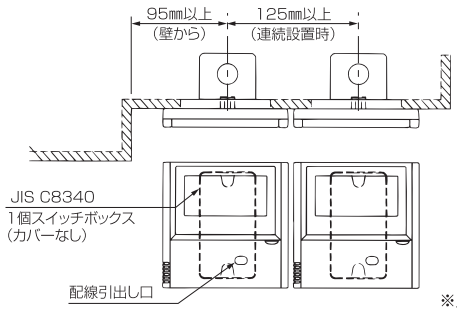


図4：1個用スイッチボックス

※上下に連続設置する場合、隙間は50mm以上としてください。

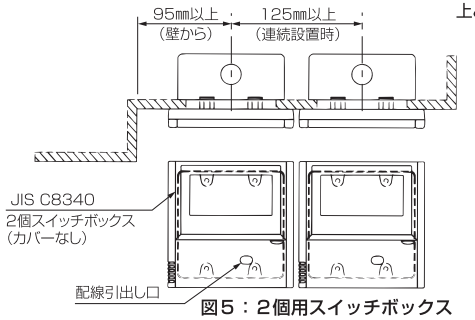


図5：2個用スイッチボックス

スケジュールタイマーの配線のしかた

●配線を行うまえに

- **室内外ユニットに「端子台U1・U2（室内外操作線接続）」がない場合集中制御機器（スケジュールタイマー）を使用するためには、S-LINKアダプター等が必要です。**
- 現地配線は0.5㎟～2㎟を使用します。
- 室内外操作線は、リモコン配線および電源配線区別できる信号線を使用し、誤配線のないようにしてください。（誤配線すると壊れます）
- スケジュールタイマーの電源配線と通信配線が正しく接続されていることを確認してください。（図6）

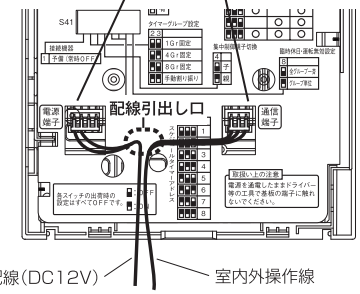
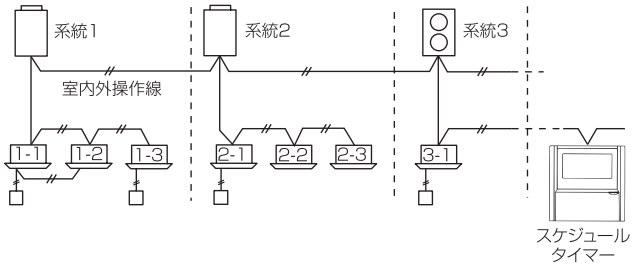


図6：スケジュールタイマー配線確認

〈基本配線図〉

- 室内外ユニットにS-LINKアダプターを使用する場合は、S-LINKアダプターに同梱されている工事説明書を参照してください。
- エアコンの室内外操作線は、図7のような集中制御使用時の配線をしてください。
- 1システムのエアコンの接続台数は、室内ユニットが最多64台、室外ユニットが最多30台です。
- スケジュールタイマーは最多で8台まで接続可能です。（スケジュールタイマーの台数は他の集中制御機器を含めて10台までとしてください）

（図7）



〈注〉室内外ユニットに端子台U1・U2がない機種の場合は、S-LINKアダプター等が必要です。

●配線のしかた

スケジュールタイマーの配線は、以下の3通り接続方法があります。現地で設置する場所に合わせて、接続方法を選択してください。
配線を行うときは、ワイヤージョイント（付属品）および延長配線（現地調達）により、配線の延長を行ってください。

1．室内ユニットへ接続（図8）
2．システムコントローラーへ接続（図9）
3．ON/OFF集中コントローラー､マルチコントローラーへ接続（図10）

●電源配線には極性がありません。
●室内外操作線には極性がありません。

1. 室内ユニットへ接続

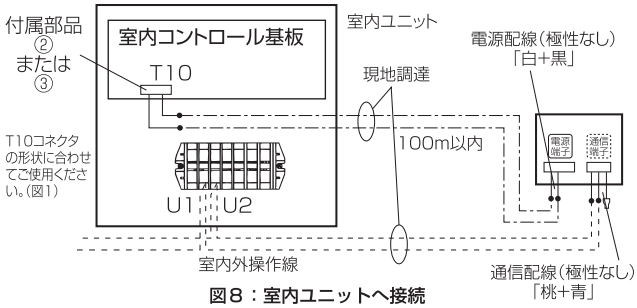


図8：室内ユニットへ接続

室内ユニットの室内コントロール基板から電源を供給する場合には、室内コントロール基板のT10端子に付属のT10端子接続用配線を接続し、スケジュールタイマーの電源配線と接続してください。

●電源配線の長さは、必ず100m以内としてください。

〈注意〉スケジュールタイマーは、運転モードや温度設定はできませんので、必ずリモコンやシステムコントローラーなどとの併用が必要です。

2. システムコントローラーへ接続

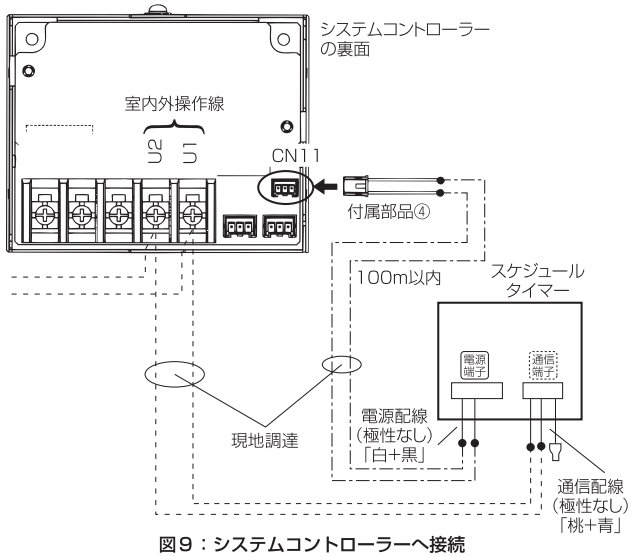


図9：システムコントローラーへ接続

●電源配線の長さは、必ず100m以内としてください。
注：室内外操作線用配線は桃＋青＋青（ワイヤージョイント圧着）となっておりますので、桃＋青の配線をご使用ください。

3. ON/OFF集中コントローラー､マルチコントローラーへ接続

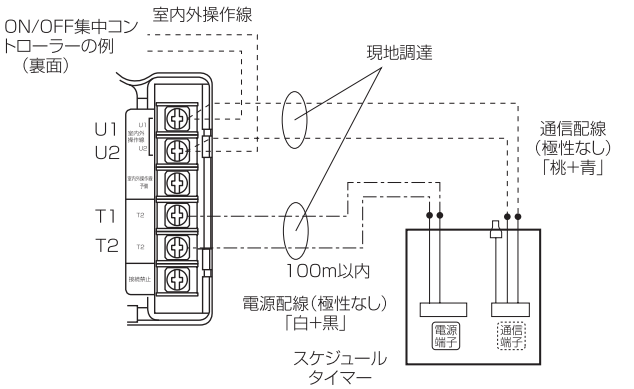


図10：ON/OFF集中コントローラーへ接続

スケジュールタイマーの室内外操作線用配線（注）と、ON/OFF集中コントローラー等の端子台にあるU1・U2端子を、また電源配線（白+黒）とT2、T1端子を図10のように接続してください。

●電源配線の長さは、必ず100m以内としてください。

注：室内外操作線用配線は桃＋青＋青＋（ワイヤージョイント圧着）となっておりますので、桃＋青の配線をご使用ください。

お客様への説明

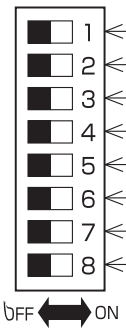
●「取扱説明書」「据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ」は、工事完了後にお客様にお渡しください。
●「取扱説明書」に沿ってお客様に使用方法を説明してください。

ACXF60-29433

設定スイッチについて

• 設定スイッチの設定は、スケジュールタイマーの電源を入れる前に行ってください。

S41



※出荷時の設定はすべてOFF



予備(1)
必ずOFFで使用してください。

タイマーグループ設定(2, 3)

機能	2	3
1タイマーグループ固定	OFF	OFF
4タイマーグループ固定	OFF	ON
8タイマーグループ固定	ON	OFF
手動グループ設定	ON	ON

詳細は「タイマーグループの設定のしかた」をご参照ください。

集中制御親子切換(4)
子：OFF
親：ON

①スケジュールタイマー単体で使用する場合は、必ず親(ON)にしてください。

②ワイヤードリモコン、単体リモコン、ON/OFF集中コントローラーと併用する場合も親(ON)にしてください。

③インテリジェントコントローラー、システムコントローラー等の集中制御機器と併用する場合、子(OFF)にしてください。

④上記②以外の場合でスケジュールタイマーを複数台使用するときは、１台のみを親(ON)とし、その他を子(OFF)にしてください。

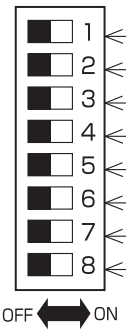
スケジュールタイマーのアドレス設定(5, 6, 7)

スケジュールタイマーは、室内外操作線上に最多8台接続できます。複数台設置する場合、設定スイッチにより重複を避けるためにアドレスの割り振りを行ってください。

機能	5	6	7
アドレス　1	OFF	OFF	OFF
アドレス　2	OFF	OFF	ON
アドレス　3	OFF	ON	OFF
アドレス　4	OFF	ON	ON
アドレス　5	ON	OFF	OFF
アドレス　6	ON	OFF	ON
アドレス　7	ON	ON	OFF
アドレス　8	ON	ON	ON

グループごとの臨時休日、運転無効設定(8)
設定スイッチOFFで一括、ONでタイマーグループごとの設定となります。

S42



※出荷時の設定はすべてOFF

時刻同期送受信(5)
無効：OFF
有効：ON

スケジュールタイマーの複数台設置時、時刻設定を複数同時に行う場合はON(有効)にしてください。時刻設定を行ってから１分後に他のスケジュールタイマーの時刻が一致します。（通常OFF）

予備(6, 7, 8)
必ずOFFで使用してください。

次項に続く

前項より

手元許可項目(1)
上書き　：OFF
追加/解除：ON

システムコントローラー等、他の集中制御機器から設定された手元禁止項目に対して、スケジュールタイマーで上書きするか、項目の追加/解除を行うかの設定ができます。

タイマー設定内容で上書き　→OFF　※下記①例参照

設定スイッチ2～4の項目を追加/解除　→ON　※下記②例参照

手元許可/禁止を使用しないときはOFFにして使用してください。

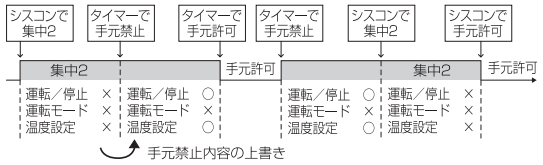
手元禁止項目スイッチ(2, 3, 4)

タイマーの手元禁止時に手元禁止を使用したい項目に合わせて手元禁止項目スイッチを設定してください。

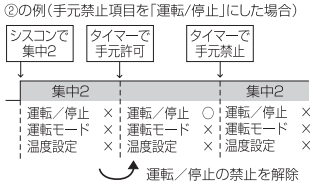
手元禁止項目	2	3	4
手元禁止を使用しない	OFF	OFF	OFF
運転/停止　（集中１）	OFF	OFF	ON
運転モード　（集中４）	OFF	ON	OFF
運転モード　運転/停止	OFF	ON	ON
温度設定	ON	OFF	OFF
温度設定　運転/停止	ON	OFF	ON
温度設定　運転モード　（集中３）	ON	ON	OFF
温度設定　運転モード　運転/停止　（集中２）	ON	ON	ON

集中１～４はシステムコントローラーの手元禁止モードの呼称です。

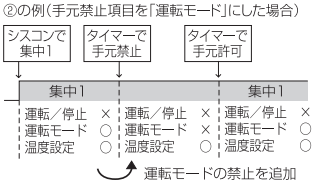
①の例(手元禁止項目を「運転モード」にした場合)



②の例(手元禁止項目を「運転/停止」にした場合)



②の例(手元禁止項目を「運転モード」にした場合)



集中制御アドレスの設定のしかた

■スケジュールタイマーを使用する場合は室内ユニットに集中制御アドレスの設定が必要になります。

●すべてのエアコンの電源を入れてください。

●エアコンの試運転を終了してください。**（系統アドレス、室内ユニットアドレス、グループアドレスの設定が終了していないと、集中制御アドレスは設定できません）**

●リンク配線後、下記の手順にしたがって集中制御アドレスを設定してください。

ワイヤードリモコンでの設定

●エアコンが停止中に行ってください。

●すべてのエアコンに対して下記の①～⑤の操作を行ってください。

①「点検」＋「換気」ボタンを同時に４秒以上押し続けます。（「ユニット選択」ボタンを押さないでください。）

②温度設定「▲」/「▼」ボタンで項目コード「03」に設定します。

③タイマー時間「▲」/「▼」ボタンで希望の集中制御アドレスに設定します。

④「セット」（または「セット/取消」）ボタンを押します。（設定中 の表示が点滅から点灯に変化したことを確認してください。）

⑤「点検」ボタンを押します。（通常の停止状態になります。）

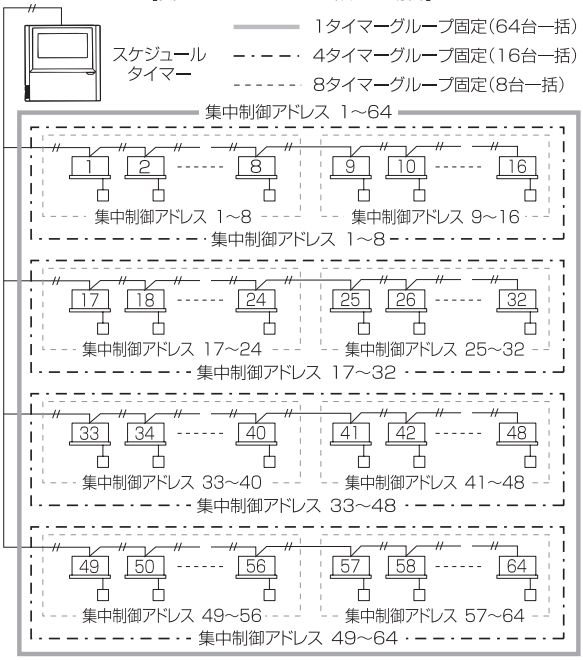
システムコントローラーでの設定

●システムコントローラー同梱の「据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ」や、試運転･サービス資料等の「集中制御の設定のしかた」を参照してください。

タイマーグループの設定のしかた

スケジュールタイマーは、６個の時刻状態変化を持ち、これをグループ（タイマーグループ）として最多８グループもつことができます。スケジュールタイマーを使用されるシステムで、一括でタイマー制御を行う室内ユニットの集中制御アドレスに合わせてタイマーグループの設定を行ってください。

【固定タイマーグループ設定の場合】



●固定タイマーグループ設定（グループ固定）の手順

①まず、他の集中機器（システムコントローラーなど）やワイヤードリモコンにより、一括でタイマー制御したい室内ユニットを上図で割り振られている集中制御アドレスに合わせて設定してください。
②次に、タイマーグループをいくつに分割させるかをS41スイッチ２，３により設定します。
③最後にスケジュールタイマーの電源を入れます。初期通信（ 5C An 点滅表示）が行われ、数分で通常表示になり、タイマーグループ設定が確定します。

●手動タイマーグループ設定（手動割り振り設定）の手順

手動タイマーグループ設定はタイマーグループ内の集中制御アドレスの割り振りを自由に行うことのできる設定方法です。

①S41設定スイッチ２，３をONにして電源を入れてください。再起動と初期通信（ 5C An 点滅表示）が行われ、数分で通常表示になります。
②通常表示時にスケジュールタイマーの「クリア」、タイマー「入/切」、「手元許可/禁止」ボタンを同時に４秒以上押してください。現在時刻表示部に“Ad-01”表示が点滅します。（AdはAddress、01は集中アドレス番号）
③「グループ」ボタンでタイマーグループを設定し、「曜日」ボタンでタイマーグループ内に割り振り登録したい集中制御アドレスを選択します。「セット」ボタンを押すと、集中制御アドレスが登録されます。
④登録を続ける場合は③の手順を繰り返します。（液晶右側部分に集中制御アドレス番号が追加されていきます）登録した集中制御アドレスを取り消したい場合には、「グループ」ボタンでタイマーグループを選択し、「クリア」ボタンを押してください。
⑤タイマーグループごとに③～④の手順を繰り返します。登録を終了するときはタイマー「入/切」ボタンを押します。自動的にスケジュールタイマーが再起動し、初期通信（ 5C An 点滅表示）が行われ、数分で通常表示になり、手動で割り振り設定したタイマーグループ設定が確定します。

スケジュールタイマーで制御できる集中制御アドレスの確認、運転のしかた

スケジュールタイマーは、室内ユニットとの通信により現在タイマー制御のできる集中制御アドレスを確認し、運転／停止することができます。

①スケジュールタイマーは、「手元許可/禁止」、「時」、「クリア」ボタンを同時に４秒以上押してください。現在時刻表示部に“Ad-（集中制御アドレス）”が順次点滅されます。
②「グループ」ボタンにより、集中制御アドレスが順次点滅表示され、表示タイマーグループ内のどの集中制御アドレスがタイマー運転できるかを確認することができます。
③表示されているタイマーグループでタイマー「入/切」ボタンを押してください。押すごとに表示タイマーグループ内の室内ユニットが運転／停止を行います。また、このモードの中で「手元許可/禁止」ボタンを押すことにより、表示タイマーグループ内の手元禁止されている室内ユニットの全項目許可（運転停止、運転モード、設定温度の項目）を行うことができます。
④アドレス確認、運転後は「キャンセル」ボタンを２秒以上押してください。スケジュールタイマーが通常表示に戻り、制御可能な全室内ユニットが停止します。

施工計画書

●スケジュールタイマーのユニットNoの確認は、ワイヤードリモコンで行います。（ワイヤードリモコンからエアコンを運転し、リモコンの「ユニット選択ボタン」を１回だけ押すと、親機のユニットNoを表示します）

スケジュールタイマー タイマーグループ固定 1	4	8	集中制御アドレス	室内ユニット ユニットNo 系統 － 室内	部屋名
1 出荷時	1	1	1	－ , －	
			2	－ , －	
			3	－ , －	
			4	－ , －	
			5	－ , －	
			6	－ , －	
			7	－ , －	
			8	－ , －	
		2	9	－ , －	
			10	－ , －	
			11	－ , －	
			12	－ , －	
			13	－ , －	
			14	－ , －	
			15	－ , －	
			16	－ , －	
	2	3	17	－ , －	
			18	－ , －	
			19	－ , －	
			20	－ , －	
			21	－ , －	
			22	－ , －	
			23	－ , －	
			24	－ , －	
		4	25	－ , －	
			26	－ , －	
			27	－ , －	
			28	－ , －	
			29	－ , －	
			30	－ , －	
			31	－ , －	
			32	－ , －	
	3	5	33	－ , －	
			34	－ , －	
			35	－ , －	
			36	－ , －	
			37	－ , －	
			38	－ , －	
			39	－ , －	
			40	－ , －	
		6	41	－ , －	
			42	－ , －	
			43	－ , －	
			44	－ , －	
			45	－ , －	
			46	－ , －	
			47	－ , －	
			48	－ , －	
	4	7	49	－ , －	
			50	－ , －	
			51	－ , －	
			52	－ , －	
			53	－ , －	
			54	－ , －	
			55	－ , －	
			56	－ , －	
		8	57	－ , －	
			58	－ , －	
			59	－ , －	
			60	－ , －	
			61	－ , －	
			62	－ , －	
			63	－ , －	
			64	－ , －	

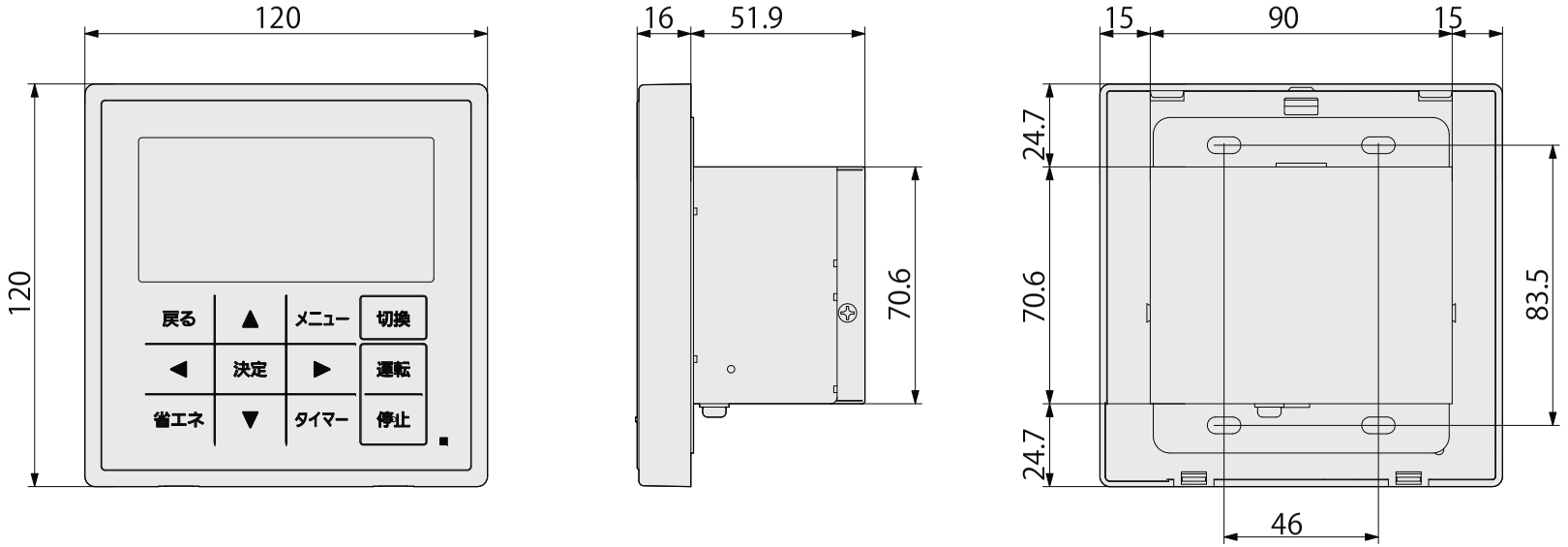
Printed in Japan
DC0411-40723
ACXF60-29433
85464369425001

■仕　様

品番		CZ-10ESM4
外形寸法		(高さ) 120 mm ×(幅) 120 mm ×(奥行き) 16 + 51.9 mm
質量		520 g
使用温度・湿度範囲		0 ℃～40 ℃・20 %～80 %(屋内設置専用)
電源		単相 AC 100-240 V　50/60 Hz
消費電力		最大 1.3 W
時計	精度	±30秒/月 (常温25 ℃)※定期的に合わせてください。
	保持時間	100時間(満充電時)※満充電に約8時間かかります。
接続台数		室内ユニット　最多64グループ(64台)

■外形寸法図

単位：mm



品番	CZ-10ESM4	外形寸法図 (e-CUT機能付 システムコントローラー)

Panasonic

取扱説明書

e-CUT機能付
システムコントローラー
品番 **CZ-10ESM4**





据付(電気)工事説明書
別添付

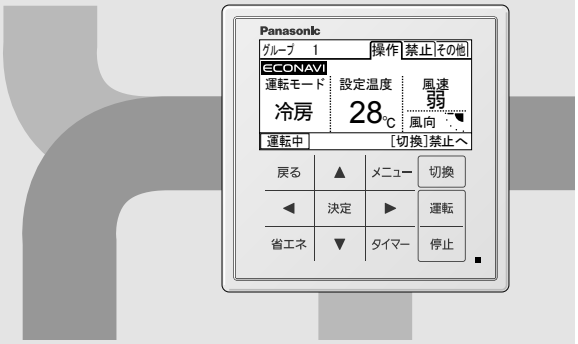
このたびは、e-CUT機能付システムコントローラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。本書はe-CUT機能付システムコントローラーの取扱説明書です。室内ユニットおよび室外ユニットに付属の取扱説明書とあわせてお読みください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(6 ページ)を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は室内ユニットなどに付属の取扱説明書とともに大切に保管してください。
- お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

本機の特長

簡単操作

- 大型画面でわかりやすく表示
- メニュー表示で簡単に操作



高機能・多機能

- **集中コントロール**
  本機 1 台で、オフィスのすべてのエアコンを制御できます。(P.8)
- **e-CUT機能**(P.4, P.31)
  空調のムダを無くし、既存のエアコンで省エネを実現します。
- **スケジュールタイマー機能**
  曜日単位で運転スケジュールを設定できます。
- **エコナビ機能**(P.7)
  エコナビセンサーで、省エネを実現できます。

外部機器との接続

- デマンドコントローラーの接続や、当社製の熱交換換気システム *(マイコンタイプ)のコントロールができます。(P.63 ～P.65)
  * 適用シリーズ…天井埋込形・マイコンタイプMZD 8シリーズ以降、天吊カセット形・マイコンタイプMZB 8シリーズ以降

もくじ

	ページ
●e-CUT機能について	4
●安全上のご注意	6
●使用上のお願い	6
●エコナビ機能の概要	7
●空調管理システムについて	8
・室内ユニットの制御	8
・接続できる室内ユニットの数	9
・制御モード	9
●各部の名前	10
・操作部	10
・画面表示	11
●画面切換について	12
●基本操作	14
●一斉・ゾーン・グループを選ぶ	16
●運転モード・設定温度・風速・風向を設定する	18
●ウィークリータイマー設定の概要	20
●タイマー予約する	22
・新規登録	22
・設定をコピーする	26
●タイマー予約を変更・削除する	28
●メニュー一覧	30
省エネ設定	
●エコナビ設定	32
●設定温度自動リターン	34
●設定温度範囲制限	36
●消し忘れ防止設定	38
●デマンド設定 (時間帯デマンド、ピークカット)	40
●デマンド設定 (外部入力デマンド)	42
●デマンド設定 (タイマー省エネ、効率運転)	44
●運転自動停止	46
パスワード設定	
●暗証番号	48
●対象範囲設定	48
フィルター情報	
●フィルターサイン/フィルター清掃時期	50
室外静音設定	
●室外静音設定	52
初期設定	
●時計設定/時刻表示設定/操作ロック設定	54
●ゾーン・グループ名称設定	56
●操作音設定/コントラスト調整/バックライト設定/サービス連絡先表示	58
設定情報一覧	
●グループ情報 / 設定情報	60
・すべての設定情報アイコン一覧	62
●換気設定	63
●リモコン操作を禁止する	66
●「その他」画面で設定する	68
●故障かな?	70
●仕様	71
●集中制御設定記録	裏表紙

はじめに / 使いかた / ウィークリータイマー設定 / メニュー設定 / その他の設定 / こんなとき

e-CUT機能について

空調のムダを無くし、既存のエアコンで省エネを実現します。

設定温度自動リターン *1

設定のしかた : P.34

温度を変えても、決めた時間がたったら自動で決めた温度にしたいときに。

来客時だけ涼しくしたい



設定温度範囲制限 *1

設定のしかた : P.36

設定できる温度の範囲を制限したいときに。

範囲外の温度には設定できません



消し忘れ防止設定 *1

設定のしかた : P.38

決めた時刻に運転を止め、そのあと運転させても、一定時間ごとに検知して自動で止めたいときに。



運転自動停止 *1

設定のしかた : P.46

運転するたびに、一定時間後に自動停止させたいときに。

使用頻度が少なく、1回の使用時間が短いときに、おすすめ



★：ガスヒートポンプエアコンの場合

デマンド設定*1（★ガス省エネ）

設定のしかた：P.40～P.45

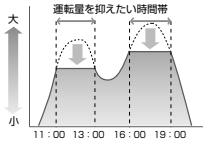
設置時に選んだ条件で、運転量を抑えたいときに。

設置時に、下記の3つのモードから選べます。

■時間帯デマンド（★ピークカット）

時間帯を指定して抑制（時間帯ごとに、運転量も指定）

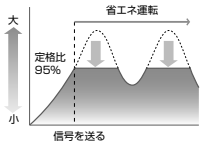
●操作対象範囲は一斉のみ可能



■外部入力デマンド

外部機器からの信号で、抑制

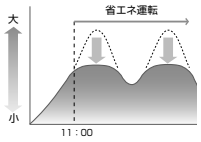
●操作対象範囲は一斉のみ可能



■タイマー省エネ（★効率運転）

時間帯を指定して抑制

●操作対象範囲はグループ・ゾーン・一斉が可能



パスワード設定

設定のしかた：P.48

権限のある人にだけ、設定変更させたいときに。

●設定変更範囲は、下記の3つから選べます。
- 省エネ設定のみ
- メニュー操作＋ウィークリータイマー設定
- すべてのキー操作

※e-CUT機能が強制的に省エネ操作を行います。
混乱を避けるため、リモコンには同梱の「省エネ集中管理中」ラベルを貼ってください。

*1：設定画面に e-CUT が表示されます。（e-CUT機能を表しています）

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	⚠ 注意
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する（必ず守る）
（水漏れや感電・火災の原因）

当社指定のエアコンと接続して使う（必ず守る）
（水漏れや感電・火災の原因）

体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない（必ず守る）
（体調の悪化・健康障害の原因）
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在と判定し、空調機の運転が停止することがあります。

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
（感電や火災の原因）
（必ず守る）
異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- ブレーカーがたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

ぬれた手で操作しない（禁止）
（感電や故障の原因）

⚠ 注意

リモコンを分解しない（禁止）
（感電や故障の原因）

水洗いしない（禁止）
（感電・火災の原因）

使用上のお願い

●次のような場所に設置しない
- 湿気・油分・振動が多い / 直射日光があたる/熱源の近く/結露する（故障の原因）
- ノイズが発生する（誤動作の原因）

●スプレーを吹きかけない（誤動作や故障の原因）
- 液体（洗剤、アルコール、有機溶剤など）がかからないようにしてください。

●アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない（液晶画面のくもり・変色や故障の原因）
- ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

エコナビ機能の概要

別売のエコナビセンサーで人の活動量を計り、人の活動量に応じて室内ユニットが省エネ運転を行います。

■人の活動量が多い場合



- 冷房・ドライ時
  設定温度で運転します
- 暖房時
  設定温度より温度を低くして運転します。

■人の活動量が少ない場合



- 冷房・ドライ時
  設定温度より温度を高くして運転します。
- 暖房時
  設定温度で運転します

■人が不在の場合



不在が約20分継続した時

- 冷房・ドライ時
  人の在室時より、温度を高くして運転します。
- 暖房時
  人の在室時より、温度を低くして運転します。

不在が約1時間継続した時

- 指定した不在運転モードで運転します。出荷設定は、設定温度を抑制した省エネ運転のまま継続します。
  （不在運転モードについては、エコナビセンサーの取扱説明書をご覧ください）

※ 不在運転モード中に人を検知した場合、人の活動量に応じた運転状態に戻ります。

⚠ 警告

体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない（必ず守る）
（体調の悪化・健康障害の原因）
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在と判定し、空調機の運転が停止することがあります。

お知らせ

●エコナビ機能のオン／オフは本機で設定可能です。（P.32）
●エコナビ機能の詳細設定を行うには、別途エコナビ機能に対応したリモコン*が必要です。詳細設定方法については、エコナビ機能対応リモコン*の取扱説明書をご確認ください。
●エコナビ機能によって目標温度が変更されても、本機に表示される設定温度は変化しません。
●不在運転（スタンバイモード）により送風運転に切り換わっても、本機に表示される運転モードは変化しません。
●室内ユニットを複数台運転する場合は、部屋の状況によって省エネ効果が小さくなることがあります。

*多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT4A以降）

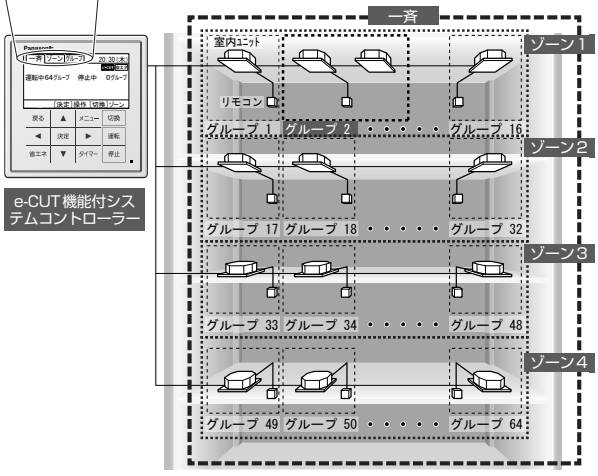
空調管理システムについて

制御・監視エリアの規模に応じた最適な空調管理システムが選択できます。

■室内ユニットの制御

本機1台で最大64台の室内ユニットを個別・集中で多機能操作。
※ 室内ユニット64台を最大4ゾーンに分け、一斉/ゾーン/グループ単位で制御できます。

一斉	・すべての室内ユニットを最大64台操作・設定できます。
ゾーン	・複数の室内ユニットを最大4つのゾーンとして登録でき、ゾーンごとに一括して操作・設定が可能です。
グループ	・グループごとに操作・設定を行います。 ※リモコンの操作単位が1グループになります。 例）：下図グループ2のように「室内ユニット2台」をリモコン操作している場合は、「室内ユニット2台」が1グループになります。



●上記は本機を集中コントローラーとして接続した例です。
●室内ユニットとして、熱交換気ユニットを接続できます。（P.63）

■接続できる室内ユニットの数
- 室内ユニット最大64台
- 設定数：4ゾーン、64グループ
- 1ゾーン：16グループ、64台

■制御モード
本機には、2つの「動作モード」と5つの「管理台数モード」があります。
※ 各モードは設置時に設定されています。詳細は、据付(電気)工事説明書をご覧ください。

●動作モード
「集中制御モード」:
- 本機を"集中コントローラー"として使用。

お知らせ
集中制御モードにした場合は「リモコン禁止モード」が使用できます。(P.66)

「リモコンモード」:
- 本機を"リモコン"として使用。

お知らせ
リモコンモードにした場合は「リモコン禁止モード」は使用できません。また他の集中コントローラーが「リモコン禁止」を設定すると、本機で室内ユニットを操作できなくなります。

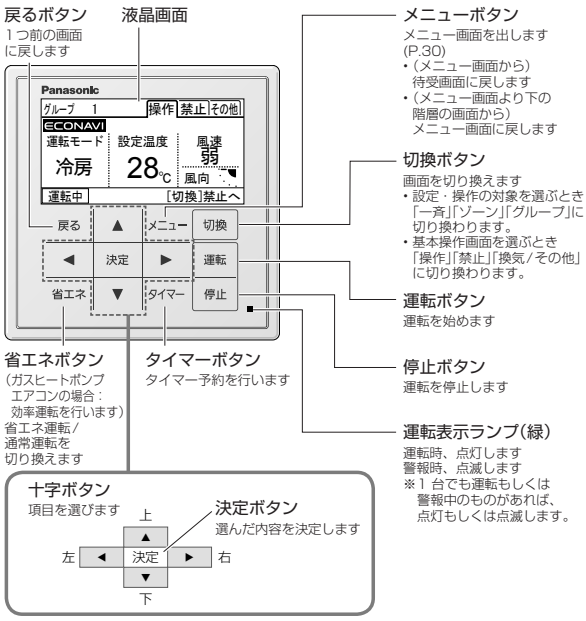
●管理台数モード
「一斉モード」:
- 一斉/ゾーン/グループ単位で制御できます。(※P.8参照)

「ゾーン1・2・3・4モード」:
- ゾーン1・2・3・4いずれかのゾーンの室内ユニットのみ操作・設定できます。

		動作モード	
		集中制御モード	リモコンモード
管理台数モード	一斉モード	一斉集中制御	一斉リモコン
	ゾーン1モード	ゾーン1集中制御	ゾーン1リモコン
	ゾーン2モード	ゾーン2集中制御	ゾーン2リモコン
	ゾーン3モード	ゾーン3集中制御	ゾーン3リモコン
	ゾーン4モード	ゾーン4集中制御	ゾーン4リモコン

はじめに

各部の名前　操作部

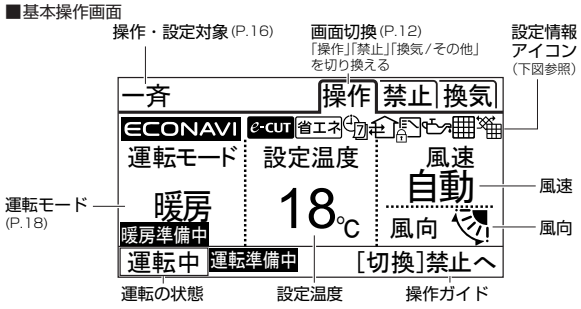


お知らせ
●パスワード設定がされている場合は、下記のいずれかの操作後、パスワードの入力画面が表示されます。
- メニュー内の1.省エネ設定操作後
- メニューボタンとタイマーボタン操作後
- すべてのボタン操作後

パスワードについては、パスワード設定をご確認ください。(P.48)
●操作は、ボタンの中央付近を押してください。
●手袋を着けた状態では、操作できません。
●スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。

画面表示

■基本操作画面



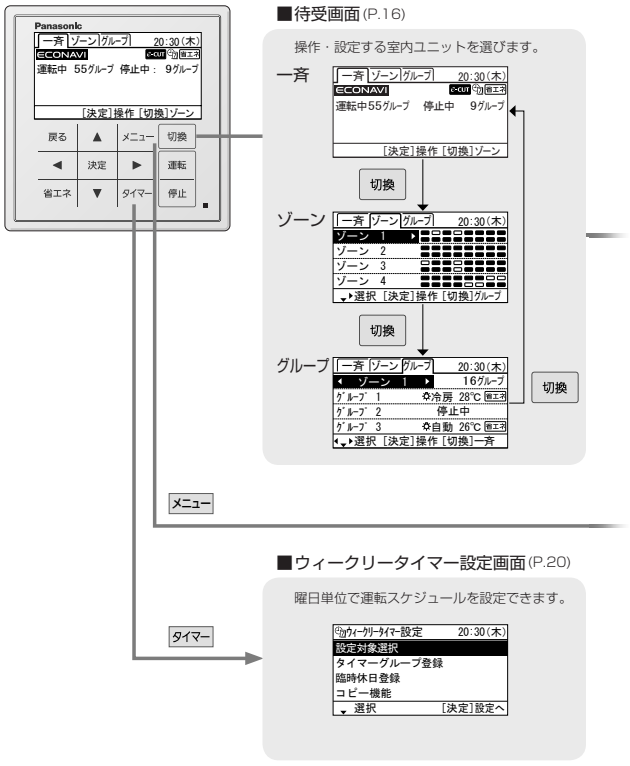
設定情報アイコン表示例(基本操作画面、待受画面に表示されます)
設定状況によりアイコンの数と表示位置は変わります。

アイコン	内容	詳細ページ
	室内ユニットのフィルター清掃が必要	P.50
	熱交換気ユニットのフィルター清掃が必要(熱交換気ユニット接続時のみ)	P.68
	エンジンオイル交換が必要(ガスヒートポンプエアコン使用時のみ)	—
	運転モードの切り換えを禁止中(冷暖自動への切り換えも禁止)	—
*2	集中制御機器からリモコン操作を制限中(リモコンモード時のみ)	—
*2	キー操作ロック設定中	P.54
	ウィークリータイマー設定中と臨時休日設定中	P.26
	ウィークリータイマー設定中(臨時休日未設定)	P.20
省エネ	省エネ運転中	P.15
	外気をそのまま取り入れ換気中(熱交換気ユニット接続時、市販の換気扇等の接続時のみ)	P.64
*2	外気を室温に近づけて取り入れ換気中*1(熱交換気ユニット接続時のみ)	
A *2	室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り換え換気中*1(熱交換気ユニット接続時のみ)	
e-CUT *2	設定温度自動リターン機能、設定温度範囲制限機能、消し忘れ防止機能、デマンド機能(時間帯デマンド、ピークカット、外部入力デマンド、タイマー省エネ、効率運転)、運転自動停止機能のうちいずれかの機能が設定中です。	—
e-CUT *2	設定温度戻し時間(リターン時間)カウント中、運転自動停止時間カウント中、消し忘れ防止期間中に表示します。	—

※すべてのアイコンの意味を確認するとき(P.62)
*1：基本操作画面のみに表示されます。
*2：アイコン表示が多いときは、表示エリアをこえるので、表示されない場合があります。(P.62)

画面切換について

主な画面の切り換えかたを示します。



■操作画面

決定

基本操作画面 (P.18)
運転モード・設定温度・風速・風向を設定する



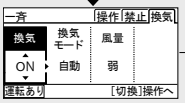
切換

リモコン禁止画面 (P.66)
リモコンでの操作を禁止する



切換

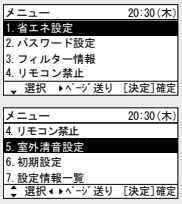
換気/その他画面
(P.64, P.68)
換気の設定をする



切換

■メニュー画面 (P.30)

メニューを使って、いろいろな設定ができます。



使いかた

基本操作

本機を使用するうえでの基本的な操作について説明しています。

1 一斉・ゾーン・グループを選ぶ (P.16)

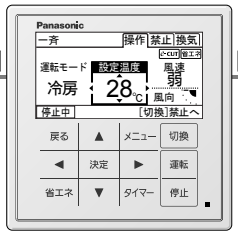
切換 を押す



決定

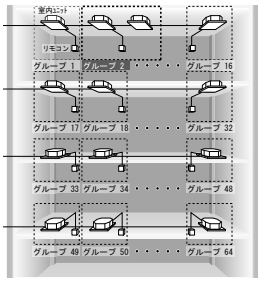
2 運転モード・設定温度・風速・風向を設定する (P.18)

◀ ▶ → ▲ ▼ を押す



決定

一斉	すべての室内ユニットを選ぶ。
ゾーン	ゾーン*を選ぶ。
グループ	グループを選ぶ。



* ゾーンモードのときは指定されたゾーンのみ操作可能です。(P.9)

運転モード	冷房、暖房、ドライ、送風、冷暖自動を切り換える。
設定温度	設定温度を設定する。
風速	風の強さを切り換える。
風向	風の向きを切り換える。

●「切換」ボタンで画面を切り換えて、以下の設定を行うことができます。
- 「禁止」(リモコン禁止)画面(P.66)
  リモコンによる設定・操作を禁止する。
- 「換気/その他」画面(P.64, P.68)
  換気のオン/オフ、設定などを行う。

さらに…

メニュー	メニュー画面で詳細な設定を行うことができます。(P.30)
タイマー	ウィークリータイマー設定を行うことができます。(P.20)

3 運転する

運転 を押す



運転表示ランプ(緑)

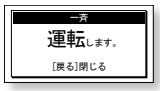
「省エネ」ボタン
(ガスヒートポンプエアコンの場合：効率運転を行います)
省エネ運転をオン/オフにする。(省エネ運転機能付きの室内ユニットのみ対応)

「決定」ボタン
手順2の画面に戻り、運転しながら設定を変更できます。

4 終了する

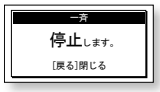
停止 を押す

運転を開始する。



- ポップアップ画面を表示。(4秒)
- 運転表示ランプが点灯。

運転を停止する



- ポップアップ画面を表示。(4秒)

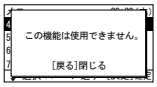
※ポップアップ画面をすぐに消したいときは「戻る」ボタンを押します。

お知らせ

●停電からの復帰後「運転」ボタンを押すと、停電前の内容で運転が再開します。
●しばらく操作しないと、節電のため、バックライトが消えます。(いずれかのボタンを押すと、点灯します)

省エネについて

●省エネ運転時は、最大電流値やエンジン最高回転速度を制限した運転になるため、冷房/暖房などの能力は低下します。(室外ユニットの運転が制限値以下の場合は、制限されません)
●どの室内ユニットにも省エネ機能がない場合、省エネボタンを押すと右の画面が表示されます。



使いかた

一斉・ゾーン・グループを選ぶ

待受画面から設定する室内ユニットを選びます。



一斉
すべての室内ユニットを選ぶ

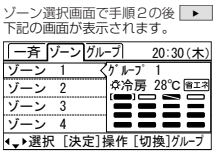
ゾーン
を選ぶ

グループ
を選ぶ

お知らせ

●ゾーン画面でグループを選ぶことができます。

ゾーン選択画面で手順2の後 ▶ を押すと、下記の画面が表示されます。



- ■ 運転中
- □ 停止中
- ▨ 警報中
- 【 】: 選択中のグループ

▲▼◀▶でグループを選び、「決定」ボタンを押す。

基本操作 (P.14) → 1 一斉・ゾーン・グループを選ぶ → 2 運転モード・設定温度・風速・風量を設定する → 3 運転する → 4 停止する

使いかた

1 画面を切り換える

切換 を押す

一斉 → ゾーン → グループ

2 項目を選ぶ

▲ ▼ → 決定 を押す

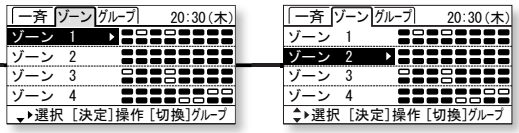
「決定」を押すと設定画面に切り換わります。



※一斉の場合、そのまま「決定」ボタンを押してください。

ゾーン1～4を選ぶ

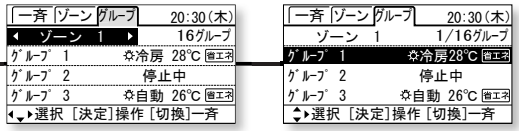
▲ ▼ → 決定 を押す



※この画面からグループを選ぶことができます。(P.16「お知らせ」を参照)

ゾーンを選び、グループを選ぶ

◀ ▶ ▲ ▼ → 決定 を押す



・◀▶でゾーンを選び、▲▼グループを選んで「決定」ボタンを押す。

運転モード・設定温度・風速・風向を設定する

選択した室内ユニットに対し各設定を行います。

1 操作画面を出す

決定 を押す



- 冷房や暖房など **運転モード** を変えるとき
- **設定温度** を変えるとき
- **風　速** を変えるとき
- **風　向** を変えるとき

お知らせ

- 設定できない運転モードは表示されません。
- 風向の表示は、実際のフラップの角度とは異なります。
- しばらく操作しないと、節電のため、バックライトが消えます。(いずれかのボタンを押すと、点灯します)
- 機器によっては設定できる温度範囲が異なります。
- 本機で設定温度の範囲を変更することができます。(P.36)
- 風向表示が出ない機種があります。
- 「一斉」と「ゾーン」のときは、代表の室内ユニットの設定を表示しています。すべての室内ユニットが表示どおりの設定になっているわけではありません。

※室内ユニットが熱交換気ユニットの場合、画面が異なります。(P.68)

基本操作 (P.14) → 1 一斉・ゾーン・グループを選ぶ → 2 運転モード・設定温度・風速・風量を設定する → 3 運転する → 4 停止する

使いかた

2 設定する項目を選ぶ

◀ ▶ を押す

・カーソルが消えているときは「決定」を押す。

3 設定する

▲ ▼ → 決定 を押す

(カーソルが消える)
待受画面に戻ります。



運転モード: 暖房 / ドライ / 冷房 / 送風 / 冷暖自動

※冷暖自動：設定温度になるよう、自動で冷房/暖房を切り換えます。



設定温度: 27℃

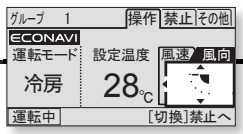
- 冷房・ドライ:18 ℃～30 ℃
- 暖房 :16 ℃～30 ℃※
- 冷暖自動 :17 ℃～27 ℃

※一部の機種の上限温度は 26 ℃です。



風速 風向: 急 / 強 / 弱 / 自動

※自動：送風時は選べません。



- ：スイング
- スイング中に▲▼を押すとお好みの位置でフラップを止められます。
- 暖房・送風・冷暖自動 (暖房)時は、5段階、冷房・ドライ時は3段階の調節になります。

ウィークリータイマー設定の概要

曜日単位で運転スケジュールを設定して、毎回の操作を省きたい



・毎週月～金曜は朝9：00に運転開始など、曜日と時刻を決めて、運転・停止や温度変更のスケジュールを設定できます。

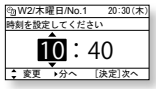
設定のしかた (概要)

・設定方法は (P.22)

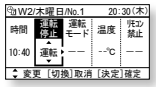
「曜日」を選ぶ



「時刻」を選ぶ

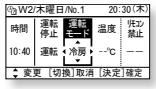


「動作」を選ぶ



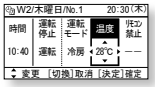
- **運転**：運転を始めるとき
- **停止**：運転を止めるとき

「運転モード」を選ぶ



「温度」を選ぶ

(「送風」以外のときのみ)



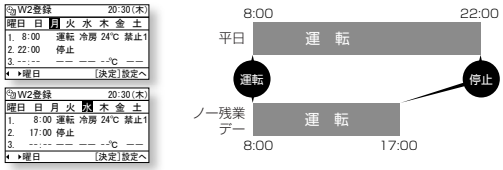


リモコンの「許可・禁止」を選ぶ



組み合わせれば、こんなことができます。

■例1
ノー残業デーは、早めに運転を止める！



・平日は、1つの曜日(例：月曜日)を設定して、他の曜日にコピーできます。(P.26)

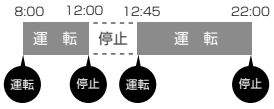
■例2
定時以降は、温度を高く！





■例3
昼休みは運転を止める！





■例4
今週の木曜日は休日！
登録済みのスケジュールを残したまま特定の曜日だけタイマーをオフにできます。(P.22)
・休日のある週に木曜日を「⊿」(無効)に。
・休日が終わったら、「●」(有効)に。



タイマー予約する　新規登録

・画面は、タイマーグループW2として次の登録をした場合の例です。
毎週木曜日10:40に28℃で冷房運転を開始、リモコンは「禁止1」を割り当てる。(P.25)

1 ウィークリータイマー設定画面を出す

[タイマー]を押す

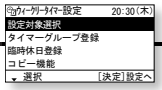


■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■タイマー設定画面を終了するとき
「タイマー」ボタンを押す。

2 「設定対象選択」を選ぶ





3 対象を選ぶ

■一斉/ゾーン





・◀▶または「切換」ボタンで「一斉」・ゾーンを選ぶ。

■グループ





・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選ぶ。

※ゾーンとグループの名前は変更できます。(P.56)

タイマーをオフにするとき
手順1から始め、手順4で「無効」を選び、「タイマー」ボタンを2回押す。

登録後、特定の曜日だけタイマーをオフにするとき(祝日など)
「臨時休日」を設定できます。(P.26)

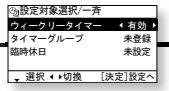
ウィークリータイマー設定

21　22

タイマー予約する　新規登録(つづき)

4 「ウィークリータイマー」を「有効」にする

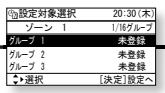




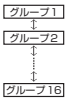
(次ページに続く)

・▲▼で項目を選び、◀▶で有効/無効を選ぶ。





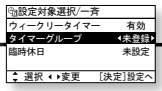
・▲▼でグループを選ぶ。



※一斉　：最大64グループ
ゾーン：最大16グループ

5 「タイマーグループ」を選ぶ





6 ウィークリータイマーグループを選ぶ





・▲▼でW1～W8より登録したいグループを選ぶ。

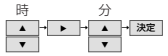
7 タイマーを使う曜日をすべて「●」(有効)にする

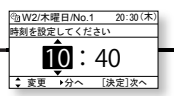




・◀▶で曜日を選び、▲▼または「切換」ボタンで「●」(有効)/「⊿」(無効)を選ぶ。

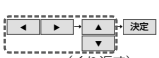
10 タイマー動作する時刻を設定する



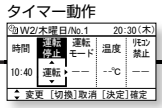


・0:00～23:59

11 設定する

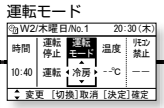


タイマー動作



・タイマー動作の種類
●運転：運転を始めるとき
●停止：運転を止めるとき

運転モード

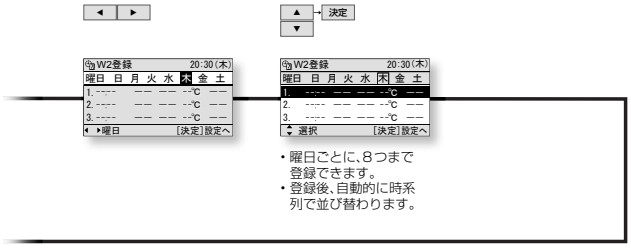


・運転モードの種類
●冷房
●送風
●自動
●暖房
●ドライ

ウィークリータイマー設定

23　24

8 タイマー設定する曜日を選ぶ　9 タイマー設定を登録する欄を選ぶ

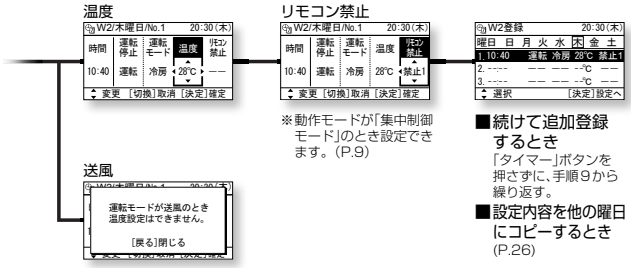


・曜日ごとに、8つまで登録できます。
・登録後、自動的に時系列で並び替わります。

ウィークリータイマー設定

12 設定内容を確認する

確認して タイマー
(2回押し終了)



※動作モードが「集中制御モード」のとき設定できます。(P.9)

※「送風」に設定した時は、温度の設定はできません。

■続けて追加登録するとき
「タイマー」ボタンを押さずに、手順9から繰り返す。

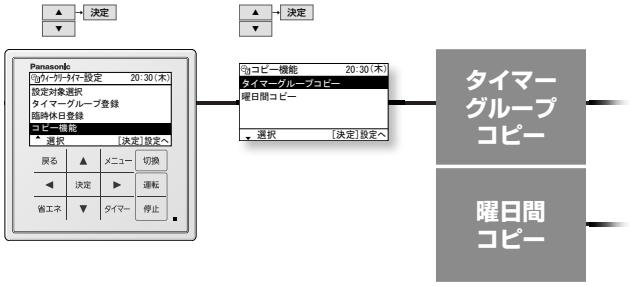
■設定内容を他の曜日にコピーするとき
(P.26)

タイマー予約する 設定をコピーする

タイマーグループコピー / 曜日間コピー

■タイマーグループコピー
登録したタイマーグループを他のタイマーグループにコピーします。
複数のグループを同じスケジュールにするときに便利です。

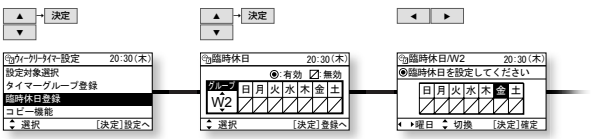
1 P.22のウィークリータイマー設定画面で「コピー機能」を選ぶ　2 項目を選ぶ



臨時休日を設定する

祝日など、特定の曜日だけタイマーをオフにすることができます。

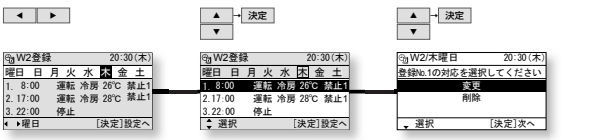
1 P.22のウィークリータイマー設定画面で「臨時休日登録」を選ぶ　2 ウィークリータイマーグループを選ぶ　3 臨時休日の曜日を選ぶ



・W1～W8

タイマー予約を変更・削除する

1 P.25の手順8のあと、変更・削除する曜日を選ぶ　2 変更・削除するスケジュールを選ぶ　3 変更または削除を選ぶ

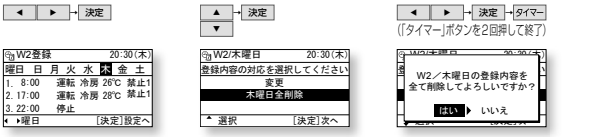


変更

削除

■選んだ曜日のスケジュールを“すべて削除”するとき

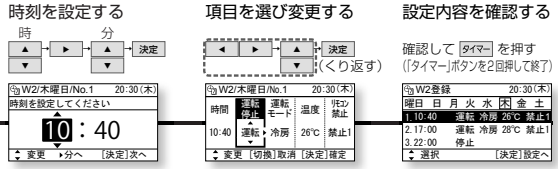
1 P.25の手順8で変更・削除する曜日を選ぶ　2 「木曜日全削除」を選ぶ　3 「はい」を選ぶ



※曜日は選んだ曜日が表示されます。

4 変更・削除する

時刻を設定する　　項目を選び変更する　　設定内容を確認する

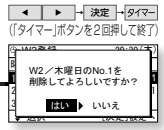


(くり返す)

確認して タイマー を押す
([タイマー]ボタンを2回押して終了)

■続けて変更・削除するとき
タイマー ボタンを押さずに、手順1からくり返す。

「はい」を選ぶ



([タイマー]ボタンを2回押して終了)

ウィークリータイマー設定

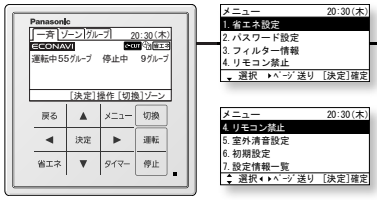
メニュー一覧

1 メニュー画面を出す

メニュー

2 メニュー項目を選ぶ

▲ ▼ → 決定



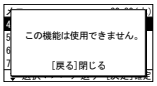
■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■各設定画面で数分間操作をしないとき
待受画面に戻ります。

■ページを送るとき
◀ ▶

- 省エネ設定 (P.32)
  「省エネ」ボタンとは別にそれぞれ個別に設定できます。
- パスワード設定※ (P.48)
  管理者パスワードを設定します。
- フィルター情報※ (P.50)
  フィルター清掃までの時間を確認およびリセットします。
- リモコン禁止 (P.66)
  リモコン使用の禁止・許可を設定します。
- 室外静音設定※ (P.52)
  室外ユニットを静音運転します。
- 初期設定 (P.54)
- 設定情報一覧 (P.60)
  設定情報アイコンの意味を確認します。

※機種によっては、使用できないメニューがあります。
次のような表示が出ます。



お知らせ

●パスワード設定がされている場合は、下記のいずれかの操作後、パスワードの入力画面が表示されます。
- メニュー内の 1.省エネ設定操作後
- メニューボタンとタイマーボタン操作後
- すべてのボタン操作後

パスワードについては、パスワード設定をご確認ください。(P.48)

エコナビ設定		エコナビの設定をオン/オフします。	P.32
e-CUT機能 (P.4)	設定温度自動リターン	温度を変更しても、設定時間後に元に戻します。	P.34
	設定温度範囲制限	設定できる温度の範囲を制限します。	P.36
	消し忘れ防止設定	消し忘れ防止タイマーを設定します。	P.38
	デマンド設定	時間帯を決めたり、外部からの操作で省エネ運転します。	P.40
	運転自動停止	運転するたび、一定時間後に自動停止させます。	P.46
e-CUT機能 (P.4)	暗証番号	パスワードを入力します。	P.48
	対象範囲設定	パスワード対象範囲を設定します。	
フィルターサイン		清掃までの時間のカウントをリセットします。	P.50
フィルター清掃時期		清掃までの時間を確認します。	
時計設定		現在日時を設定します。	P.54
時刻表示設定		時刻表示の種類を設定します。	
操作ロック設定		ボタン操作をロックします。	
ゾーン・グループ名称設定		ゾーンとグループに名前をつけることができます。	P.56
操作音設定		操作音をオン/オフします。	P.58
コントラスト調整		画面のコントラストを設定します。	
バックライト設定		画面のバックライトの明るさを設定します。	
サービス連絡先表示		サービスの連絡先を確認します。	
グループ情報		グループの設定情報を表示します。	P.60
設定情報		すべての接続グループの設定情報を表示します。	P.60

メニュー設定

エコナビ設定

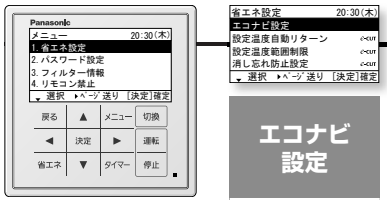
エコナビ運転のオン/オフを設定します。

1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ (P.30)

▲ ▼ → 決定

2 「エコナビ設定」を選ぶ

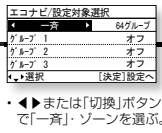
▲ ▼ → 決定



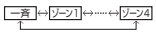
エコナビ設定

3 対象を選ぶ

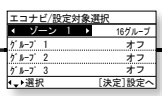
■一斉/ゾーン
◀ ▶ → 決定
(または 切換)



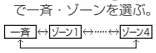
・◀▶または「切換」ボタンで「一斉」・ゾーンを選ぶ。



■グループ
◀ ▶
(または 切換)



・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選ぶ。



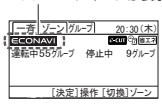
☆一斉、ゾーン、グループの選びかた

■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

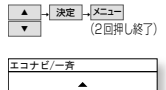
■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

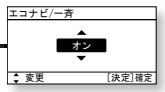
お知らせ

エコナビを「オン」にすると
ECONAVIアイコンが表示されます。



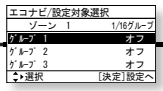
4 エコナビを「オン」にする



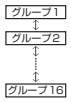


・▲▼で「オン」「オフ」を選ぶ。





・▲▼でグループを選ぶ。



※一斉　：最大64グループ
　ゾーン：最大16グループ

設定温度自動リターン

温度を変更しても、設定時間後に元に戻します。

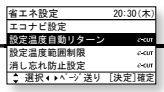
1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ (P.30)





2 「設定温度自動リターン」を選ぶ

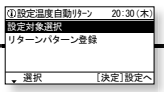




設定温度自動リターン

3 「設定対象選択」を選ぶ





7 リターンパターンの内容を確認し、必要あれば設定する





・設定する場合、▲▼でパターンNo.を選ぶ
・8パターンまで登録できます。

■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

お知らせ

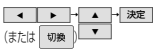
●省エネになる場合のみ動作させたいとき
手順8で「リターン動作」を選びます。



「リターン動作」を「省エネ方向」にすると、
変更された温度より手順10の温度の方が省エネになる場合のみ、動作します。
例)冷房26 ℃設定時、28 ℃に変更された場合
・「省エネ方向」のとき：28 ℃のまま。
・「通常」のとき　　：26 ℃に戻る。

●機種によっては設定できる温度範囲が異なります。
●本機能をお使いの場合、運転モードの冷暖自動はご使用いただけません。
(冷暖自動を選択した場合には、自動的に送風に切り替わります。)

4 対象を選ぶ (P.32手順3☆を参照)

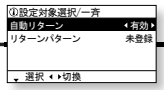




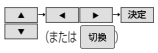
・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選び、▲▼でグループを選ぶ。

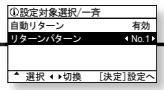
5 「自動リターン」を「有効」にする





6 リターンパターンを選ぶ

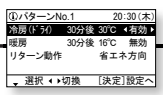




・▲▼で「リターンパターン」を選び、◀▶または「切換」ボタンでパターンNo.を選ぶ。

8 設定する項目を選び、「有効」にする

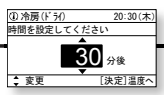




・冷房：温度が上がる方向へ
・暖房：温度が下がる方向へ

9 決めた温度に戻るまでの時間を設定する





・10～240分
(10分単位)

10 温度を設定する





設定できる範囲
・冷房･ドライ：18 ℃～30 ℃
・暖房　　：16 ℃～30 ℃※
※一部の機種の上限温度は26 ℃です。

■続けて設定するとき
「メニュー」ボタンを押さずに以下を行ってください。
・同じパターンの内容を変えたい場合、手順8からくり返す。
・他のパターンの内容を変えたい場合、手順8の画面で「戻る」ボタンを押し、手順7からくり返す。

設定温度範囲制限

設定できる温度の範囲を制限します。

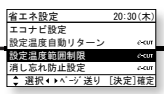
1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ (P.30)





2 「設定温度範囲制限」を選ぶ

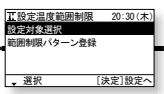




設定温度範囲制限

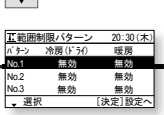
3 「設定対象選択」を選ぶ





7 範囲制限パターンの内容を確認し、必要あれば設定する





・設定する場合、▲▼でパターンNo.を選ぶ。
・8パターンまで登録できます。

■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

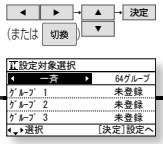
■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

お知らせ

●機種によっては設定できる温度範囲が異なります。

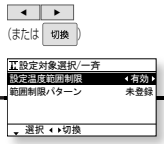
●本機能をお使いの場合、運転モードの冷暖自動はご使用いただけません。
(冷暖自動を選択した場合には、自動的に送風に切り替わります。)

4 対象を選ぶ (P.32手順3☆を参照)

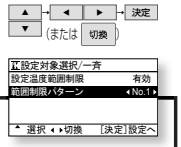


・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選び、▲▼でグループを選ぶ。

5 「設定温度範囲制限」を「有効」にする

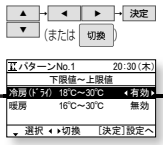


6 「範囲制限パターン」を選ぶ

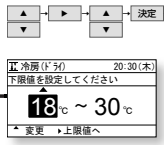


・▲▼で「範囲制限パターン」を選び、▲▼または「切換」ボタンでパターンNo.を選ぶ。

8 設定する項目を選び、「有効」にする



9 温度の範囲を設定する



設定できる範囲
- 冷房・ドライ：18℃～30℃
- 暖房　　：16℃～30℃※

※一部の機種の上限温度は26℃です。

■続けて設定するとき

「メニュー」ボタンを押さずに以下を行ってください。
- 同じパターンの内容を変えたい場合、手順8からくり返す。
- 他のパターンの内容を変えたい場合、手順8の画面で「戻る」ボタンを押し、手順7からくり返す。

メニュー設定 ▼ 省エネ設定

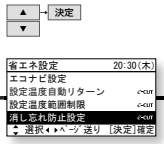
消し忘れ防止設定

決めた時刻に運転を止め、そのあと運転させても、一定時間ごとに検知して自動で止めます。

1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ (P.30)

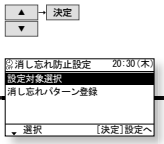


2 「消し忘れ防止設定」を選ぶ



消し忘れ防止設定

3 「設定対象選択」を選ぶ



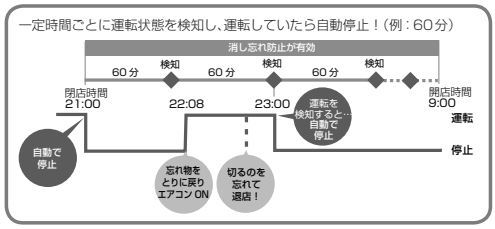
7 消し忘れパターンの内容を確認し、必要あれば設定する



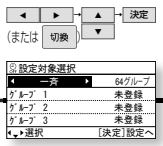
・設定する場合、▲▼でパターンNo.を選ぶ。
・8パターンまで登録できます。

■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

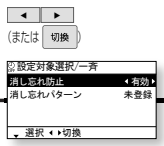


4 対象を選ぶ (P.32手順3☆を参照)

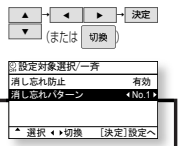


・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選び▲▼でグループを選ぶ。

5 「消し忘れ防止」を「有効」にする

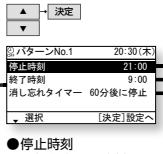


6 「消し忘れパターン」を選ぶ



・▲▼で「消し忘れパターン」を選び、▲▼または「切換」ボタンでパターンNo.を選ぶ。

8 設定する項目を選ぶ

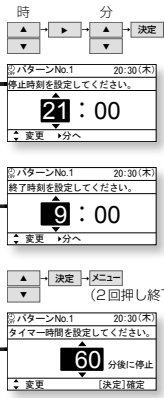


●**停止時刻**
運転を止める時刻。(消し忘れ防止機能が働く時刻)

●**終了時刻**
消し忘れ防止機能が止まる時刻。

●**消し忘れタイマー**
「停止時刻」後、運転していないか一定時間ごとに検知するときの時間間隔。

9 設定する



・10～180分(10分単位)

■続けて設定するとき
「メニュー」ボタンを押さずに以下を行ってください。
- 同じパターンの内容を変えたい場合、手順8からくり返す。
- 他のパターンの内容を変えたい場合、手順8の画面で「戻る」ボタンを押し、手順7からくり返す。

メニュー設定 ▼ 省エネ設定

デマンド設定

時間帯デマンド

ガスヒートポンプエアコンの場合

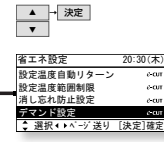
ピークカット

指定した時間帯ごとに、指定した運転量に抑えます。(P.5)

1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ (P.30)

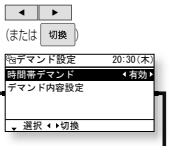


2 「デマンド設定」を選ぶ

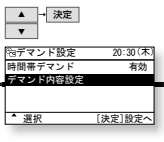


デマンド設定

3 「時間帯デマンド」を「有効」にする



4 「デマンド内容設定」を選ぶ



■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

お知らせ

デマンド設定は以下の3つがあります。設置のときにいずれか1つが選択されています。
- 時間帯デマンド (P.40)　・外部入力デマンド (P.42)　・タイマー省エネ (P.44)

設定方法については、各ページをご覧ください。
ピークカットの設定は、時間帯デマンドの設定操作と同じになります。

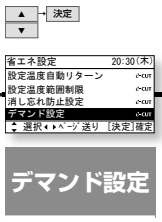
デマンド設定 外部入力デマンド

外部機器からの信号で、運転量を抑えます。(P.5)

1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ(P.30)

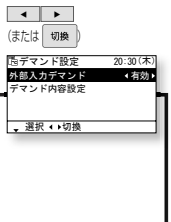


2 「デマンド設定」を選ぶ

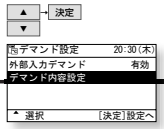


デマンド設定

3 「外部入力デマンド」を「有効」にする



4 「デマンド内容設定」を選ぶ



■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

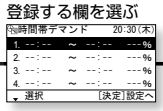
お知らせ

デマンド設定は以下の3つがあります。設置のときにいずれか1つが選択されています。
・時間帯デマンド (P.40) ・外部入力デマンド (P.42) ・タイマー省エネ (P.44)
設定方法については、各ページをご覧ください。

5 設定を変える



登録する欄を選ぶ

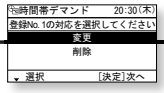


■変更するとき
変更する欄を選ぶ



「変更」を選ぶ



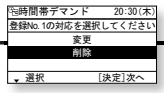


■削除するとき
削除する欄を選ぶ

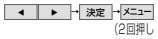


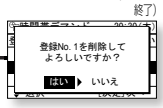
「削除」を選ぶ



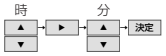


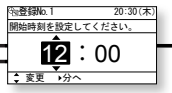
「はい」を選ぶ





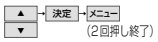
6 開始時刻と終了時刻を順に設定する

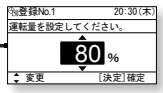




■続けて設定するとき
「メニュー」ボタンを押さずに、手順5からくり返す。

7 運転量を選ぶ





メニュー設定 ▼ 省エネ設定

デマンド設定 タイマー省エネ

ガスヒートポンプエアコンの場合

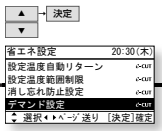
効率運転

指定した時間帯のみ運転量を抑えます。(P.5)

1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ(P.30)

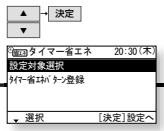


2 「デマンド設定」を選ぶ

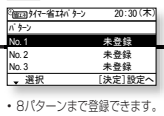


デマンド設定

3 「設定対象選択」を選ぶ



7 タイマー省エネパターンの内容を確認し、必要あれば設定する

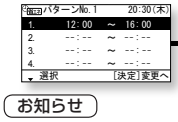


・8パターンまで登録できます。

■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

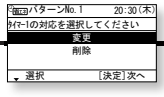
■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

■変更するとき
手順8で変更する欄を選ぶ

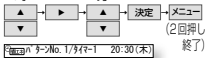


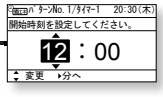
「変更」を選ぶ





時刻を設定する





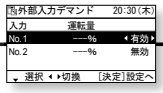
お知らせ

デマンド設定は以下の3つがあります。設置のときにいずれか1つが選択されています。
・時間帯デマンド (P.40) ・外部入力デマンド (P.42) ・タイマー省エネ (P.44)
設定方法については、各ページをご覧ください。
効率運転の設定は、タイマー省エネの設定操作と同じになります。

5 設定を変える

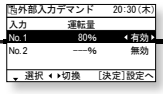


登録する欄を選ぶ



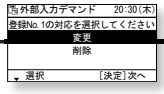
・◀▶で有効/無効を選ぶ。

■変更するとき
変更する欄を選ぶ

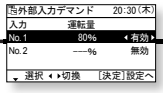


「変更」を選ぶ



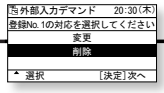


■削除するとき
削除する欄を選ぶ



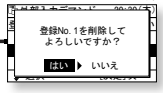
「削除」を選ぶ



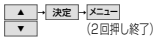


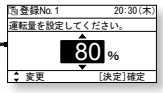
「はい」を選ぶ





6 運転量を選ぶ

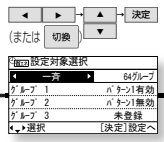




■続けて設定するとき
「メニュー」ボタンを押さずに、手順5からくり返す。

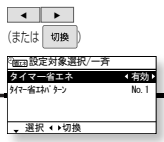
メニュー設定 ▼ 省エネ設定

4 対象を選ぶ (P.32手順3☆を参照)

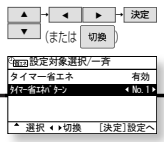


・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選び、▲▼でグループを選ぶ。

5 「タイマー省エネ」を「有効」にする



6 「タイマー省エネパターン」を選ぶ



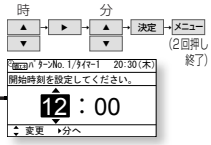
・▲▼で「タイマー省エネパターン」を選び、◀▶または「切換」ボタンでパターンNo.を選ぶ。

8 登録する欄を選ぶ



・4パターンまで登録できます。

9 開始時刻と終了時刻を順に設定する



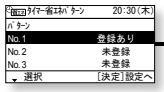
■続けて設定するとき

「メニュー」ボタンを押さずに以下を行ってください。

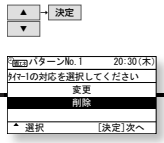
- 同じパターンの内容を変えたい場合、手順8からくり返す。
- 他のパターンの内容を変えたい場合、手順8の画面で「戻る」ボタンを押し、手順7からくり返す。

■削除するとき

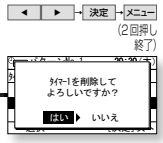
手順8で削除する欄を選ぶ



「削除」を選ぶ



「はい」を選ぶ

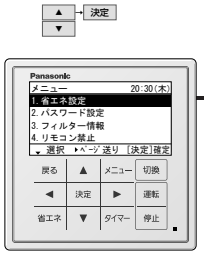


メニュー設定 ▼ 省エネ設定

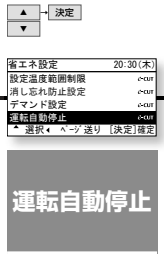
運転自動停止

運転するたび、一定時間後に自動停止させたいとき。

1 メニュー画面で「省エネ設定」を選ぶ (P.30)

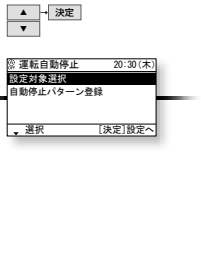


2 「運転自動停止」を選ぶ



運転自動停止

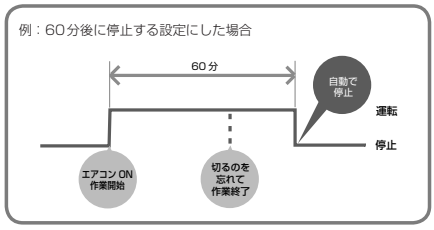
3 「設定対象選択」を選ぶ



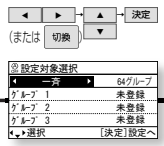
■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

例：60分後に停止する設定にした場合

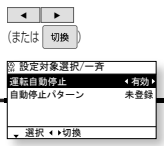


4 対象を選ぶ (P.32手順3☆を参照)

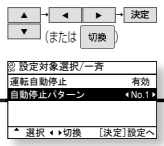


・◀▶または「切換」ボタンで一斉・ゾーンを選び、▲▼でグループを選ぶ。

5 「運転自動停止」を「有効」にする

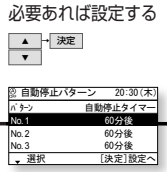


6 「自動停止パターン」を選ぶ



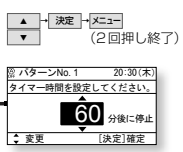
・▲▼で「自動停止パターン」を選び、◀▶または「切換」ボタンでパターンNo.を選ぶ。

7 自動停止パターンの内容を確認し、必要あれば設定する



・設定する場合、▲▼でパターンNo.を選ぶ。
・8パターンまで登録できます。

8 時間を設定する



・10～180分（10分単位）

メニュー設定 ▼ 省エネ設定

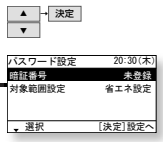
パスワード設定 暗証番号/対象範囲設定

パスワード(暗証番号)とパスワードの対象範囲を設定します。パスワードの対象範囲として、次の3つを選べます。
・省エネ設定　・メニュー設定とウィークリータイマー設定　・すべてのキー操作
(各操作を選択時、ポップアップのパスワード画面が入力されます。)

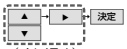
1 メニュー画面で「パスワード設定」を選ぶ (P.30)



2 設定する項目を選ぶ



3 パスワードを入力する



■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

お知らせ

暗証番号が設定されているとき、暗証番号を入力するとロックが解除され、操作できます。30分何も操作しないと再びロックがかかります。

暗証番号

※パスワードが未登録のときは、手順5へスキップします

■変更するとき



■削除するとき



対象範囲設定



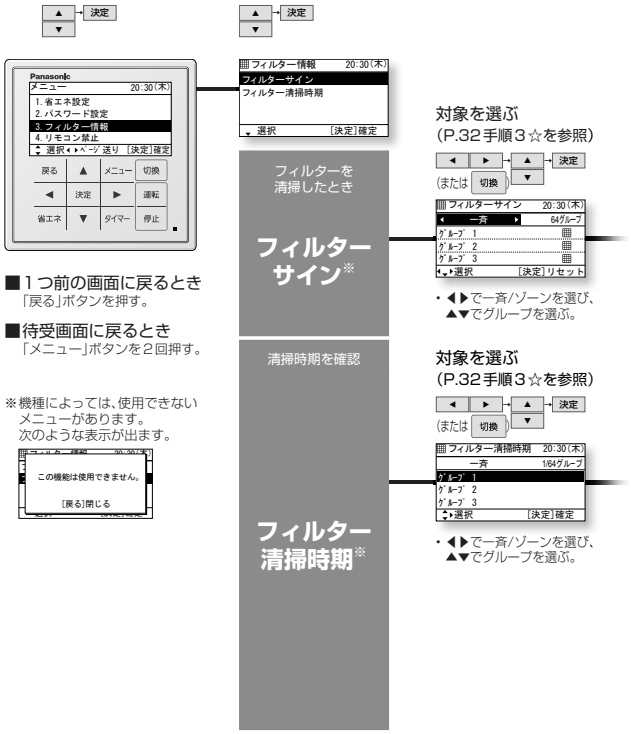
・▲▼で数字を選び、▶で次の桁に移動する。

フィルターサイン/フィルター清掃時期

1 メニュー画面で「フィルター情報」を選ぶ(P.30)

2 設定する項目を選ぶ

3 設定する



■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

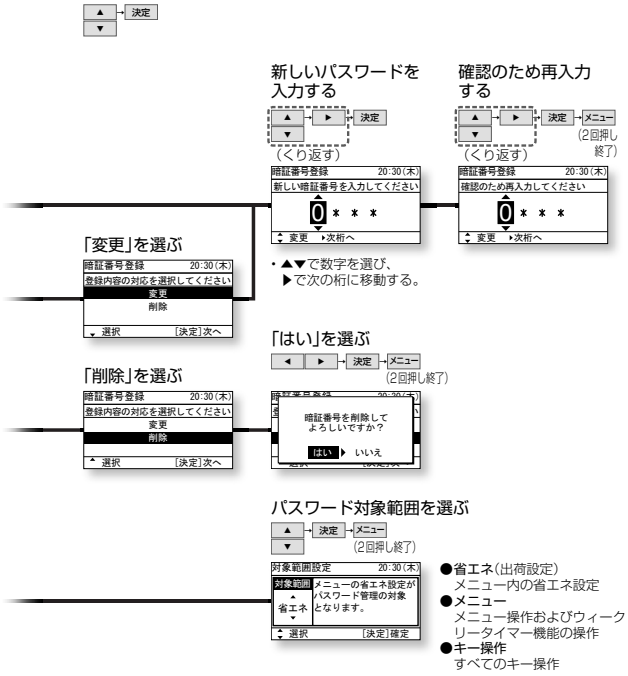
■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

※機種によっては、使用できないメニューがあります。
次のような表示が出ます。

メニュー設定 ▼ パスワード設定

4 項目を選ぶ

5 設定・操作する



●省エネ(出荷設定)
メニュー内の省エネ設定

●メニュー
メニュー操作およびウィークリータイマー機能の操作

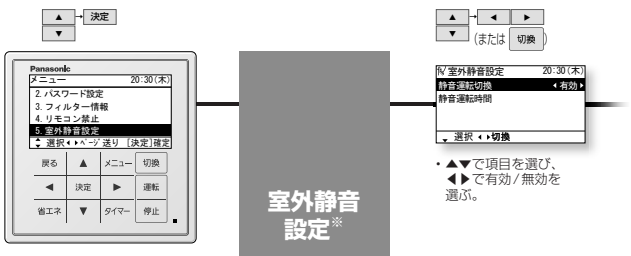
●キー操作
すべてのキー操作

室外静音設定

室外機の音を下げて運転する時間帯を設定します。

1 メニュー画面で「室外静音設定」を選ぶ(P.30)

2 「静音運転切換」を「有効」にする



■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

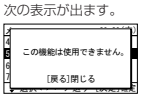
■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

お知らせ

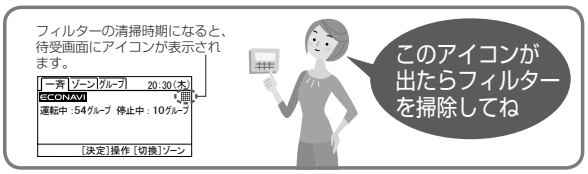
●静音運転は、運転音軽減のため、能力が低下することがあります。

●消費電力は、簡易的な算出のため、電力計などによる計測結果とは異なる場合があります。

※機種によっては、使用できないメニューがあります。
次の表示が出ます。



メニュー設定 ▼ フィルター情報



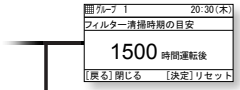
「はい」を選ぶ

決定 メニュー (2回押し終了)

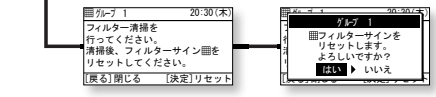


(フィルター清掃からの時間のカウントが、リセットされます)

清掃までの運転時間を確認して→メニュー (2回押し終了)

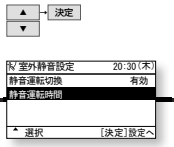


■すぐに清掃が必要なとき
下記の画面が表示されます。

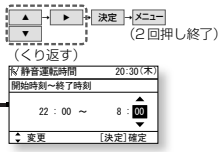


・◀▶で「はい」を選び「決定」を押す。
メニュー (2回押し終了)

3 「静音運転時間」を選ぶ



4 静音運転する時間を設定する



メニュー設定 ▼ 室外静音設定

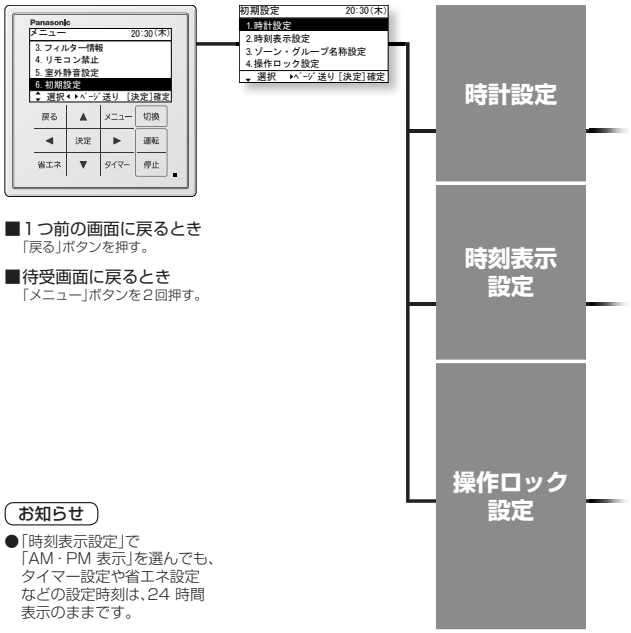
時計設定/時刻表示設定/操作ロック設定

1 メニュー画面で「初期設定」を選ぶ (P.30)



2 設定する項目を選ぶ





■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

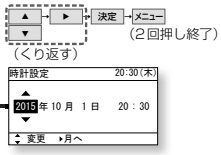
お知らせ

●「時刻表示設定」で「AM・PM 表示」を選んでも、タイマー設定や省エネ設定などの設定時刻は、24 時間表示のままです。

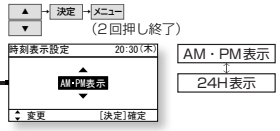
53　54

3 設定を変える

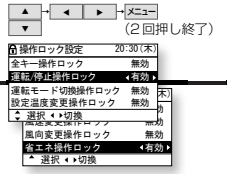
日時を設定する



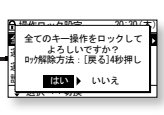
表示の種類を選ぶ



ロックの種類を選び「有効」にする



「全キー操作ロック」のときのみ「はい」を選ぶ



■ロックを解除するとき
「無効」を選ぶ

ゾーン・グループ名称設定

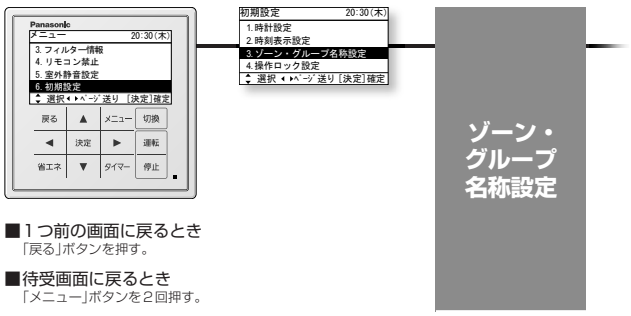
ゾーンとグループに名前を付けることができます。

1 メニュー画面で「初期設定」を選ぶ (P.30)



2 「ゾーン・グループ名称設定」を選ぶ



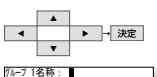


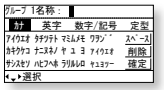
■1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

メニュー設定 ▼ 初期設定

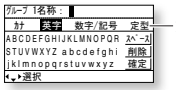
名称の入力のしかた
(全文字分、くり返す)





・ゾーンは
全角7文字/半角14文字まで。
・グループは
全角8文字/半角16文字まで。
スペースも文字数に含む。

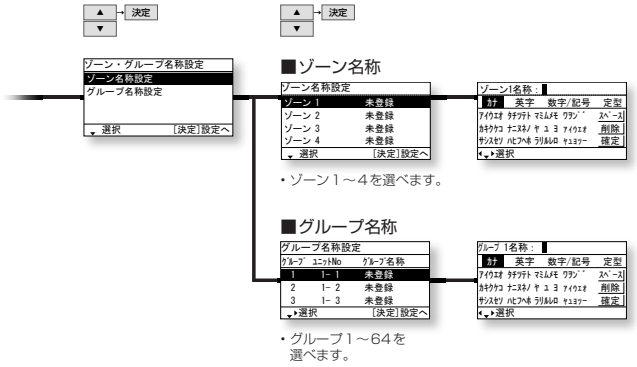
■文字種類を変更するとき
◀▶で文字種を選び、「決定」ボタンを押す。



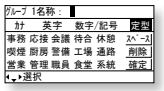
■スペースを入力するとき
▲▼◀▶で「スペース」を選び、「決定」ボタンを押す。

55　56

3 設定する項目を選ぶ　**4** 名称を付ける項目を選ぶ　**5** 名称を入力する（入力のしかたは P.56をご覧ください）

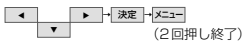


■規定の名称から選ぶとき
◀▶で「定型」を選び、「決定」ボタンを押す。

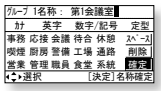


■１字消すとき
▲▼◀▶で「削除」を選び、「決定」ボタンを押す。

最後に「確定」を選ぶ



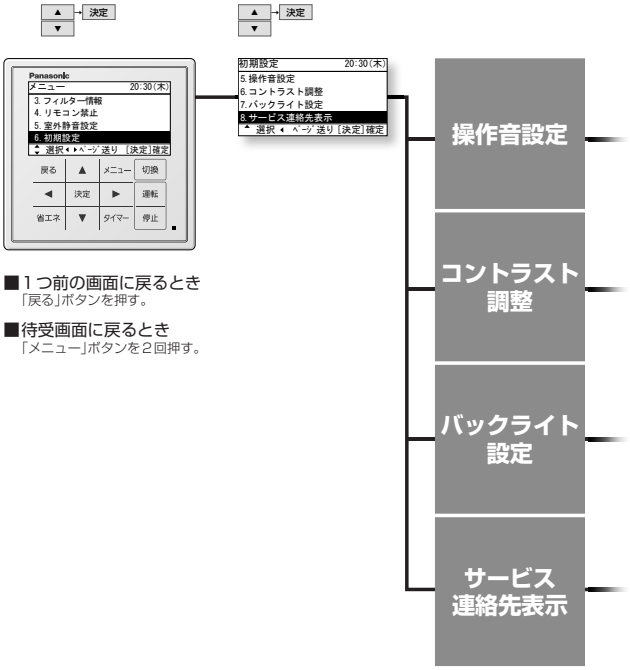
（２回押し終了）



メニュー設定 ▼ 初期設定

操作音設定/コントラスト調整/バックライト設定/サービス連絡先表示

1 メニュー画面で「初期設定」を選ぶ (P.30)　**2** 設定する項目を選ぶ

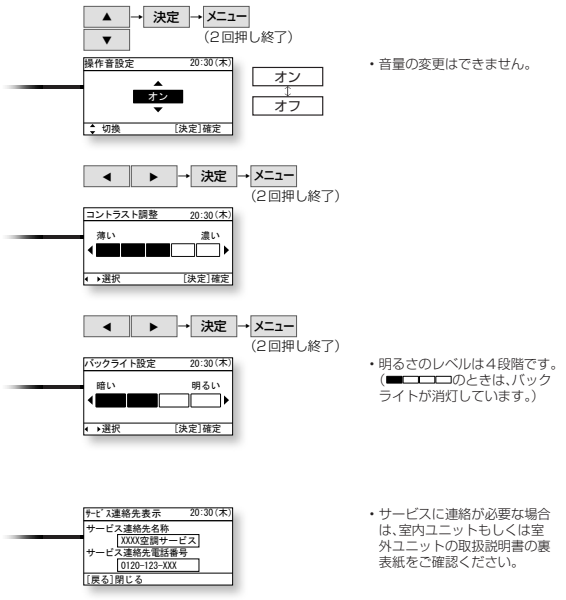


■１つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを２回押す。

57　58

3 設定を変える

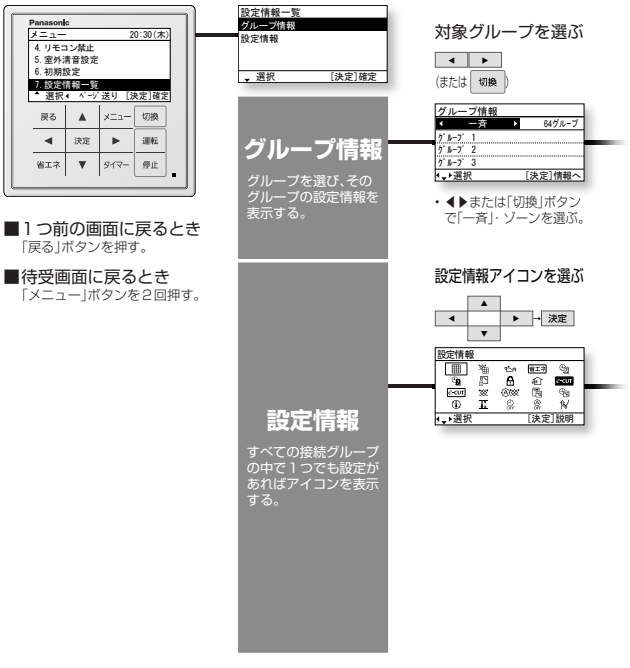


メニュー設定 ▼ 初期設定

グループ情報/設定情報

設定情報アイコンの意味を知りたいとき。

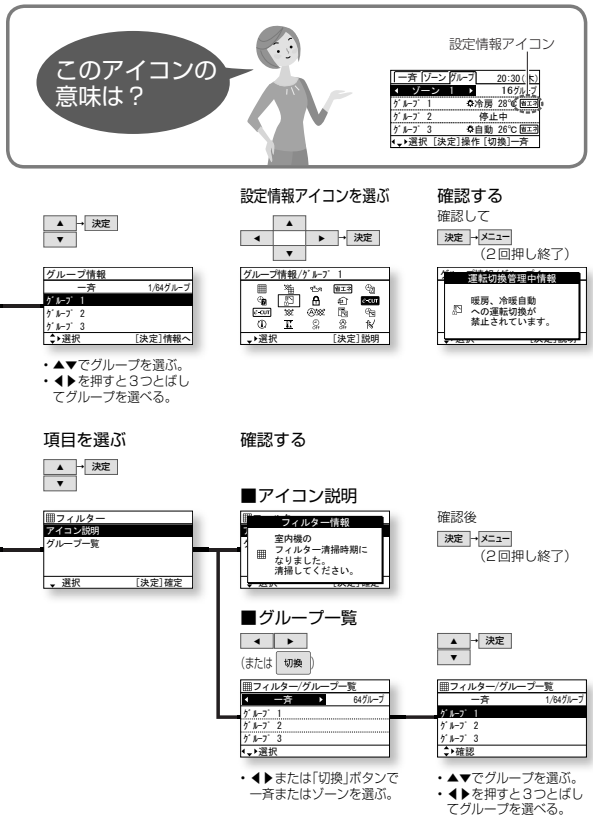
1 メニュー画面で「設定情報一覧」を選ぶ (P.30)　**2** 項目を選ぶ　**3** 設定情報アイコンを選んで確認する



■１つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■待受画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを２回押す。

59　60



メニュー設定 ▼ 設定情報一覧

グループ情報/設定情報（つづき）

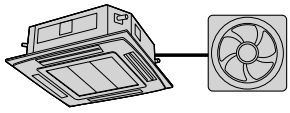
■すべての設定情報アイコン一覧

アイコン	内容	詳細ページ
	運転モードの切り換えを禁止中(冷暖自動への切り換えも禁止)	—
	集中制御機器からリモコン操作を制限中(リモコンモード時のみ)	—
	室内ユニットのフィルター清掃が必要	P.50
	熱交換気ユニットのフィルター清掃が必要(熱交換気ユニット接続時のみ)	P.68
	エンジンオイル交換が必要(ガスヒートポンプエアコン使用時のみ)	—
	ウィークリータイマー設定中(臨時休日未設定)	P.20
	ウィークリータイマー設定中と臨時休日設定中	P.26
省エネ	省エネ運転中	P.15
	室外ユニットの運転量を制限中	—
	時間帯デマンド設定中	P.40
省エネ	タイマー省エネ設定中	P.44
	外部入力デマンド設定中	P.42
	設定温度自動リターン設定中	P.34
	設定温度範囲制限設定中	P.36
OFF	消し忘れ防止設定中	P.38
OFF	運転自動停止設定中	P.46
	室外静音設定中	P.52
	キー操作ロック設定中	P.54
	外気をそのまま取り入れ換気中 (熱交換気ユニット接続時、市販の換気扇等の接続時のみ)	P.64
	室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り換え換気中 (熱交換気ユニット接続時のみ)	
	外気を室温に近づけて取り入れ換気中(熱交換気ユニット接続時のみ)	
ECO-CUT	設定温度自動リターン機能、設定温度範囲制限機能、消し忘れ防止機能、デマンド機能(時間帯デマンド、ピークカット、外部入力デマンド、タイマー省エネ、効率運転)、運転自動停止機能のうちいずれかの機能が設定中です。	—
ECO-CUT	設定温度戻し時間（リターン時間）カウント中、運転自動停止時間カウント中、消し忘れ防止期間中に表示します。	—

換気設定

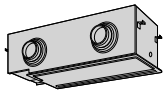
本機は、以下の室内ユニットに対して運転中の換気を制御することができます。

■エアコン＋換気扇



接続している換気扇の運転/停止をエアコン運転中に切り換えることができます。

■熱交換気ユニット



※適用シリーズ：8シリーズ以降
当社製　天井埋込形・マイコンタイプ
および　天吊カセット形・マイコンタイプ

室内の温度を変えずに換気を行うユニットです。

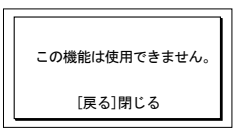
冷暖房時に冷気や暖気を逃さず換気するので省エネ性に優れているほか、湿気の侵入や過乾燥を緩和します。

熱交換気ユニットには、次の3つの換気モードがあります。

- **自動換気**
  室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り換えます。
- **熱交換気**
  外気を室温に近づけて取り入れます。
- **普通換気**
  外気をそのまま取り入れます。

※ 換気機能がないとき

選択したグループに上記の2つがない場合、換気画面は右のように表示されます。



メニュー設定 ▼ 設定情報一覧

その他の設定

換気設定（つづき）

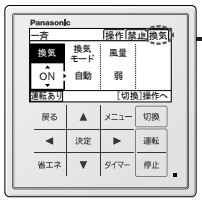
市販の換気扇などをエアコンに接続したときに使用します。換気をON/OFFすると、換気扇が運転/停止します。エアコンを運転/停止したときは、換気扇も同時に運転/停止します。

1 P.18で「換気/その他」画面に切り換える

切換 を押す

2 項目を選ぶ

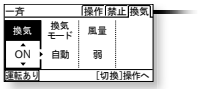
◀ ▶



■エアコン＋換気扇

換気ON/OFF

換気扇の運転/停止を切り換えます。



■熱交換気ユニット

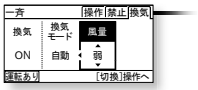
換気モード

熱交換気ユニットの換気モードを切り換えます。

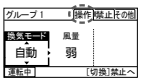


換気風量

熱交換気ユニットの換気風量を切り換えます。



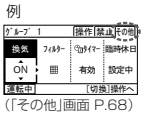
※熱交換気のみのグループを選んだときは「操作」画面で設定を行います。



お知らせ

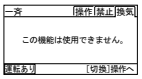
- 接続されている機器によって画面が異なります。

例



（「その他」画面 P.68）

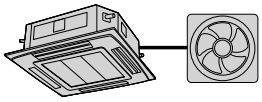
- 機種によっては、使用できない場合があります。次の表示が出ます。



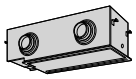
3 設定する

▲ ▼ → 決定

換気 ON
- ON　換気する
- OFF　換気しない



換気モード 自動
- 自動　室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り換えます。
- 熱交　外気を室温に近づけて取り入れます。
- 普通　外気をそのまま取り入れます。



風量 弱
- 強
- 弱

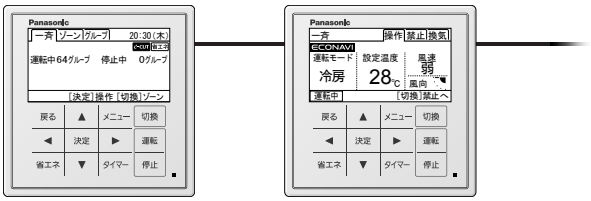
リモコン操作を禁止する

選択した室内ユニットに対して、リモコンによる操作を禁止します。

1 室内ユニットを選ぶ (P.16)

2 リモコン禁止画面に切り換える

切換 を押す



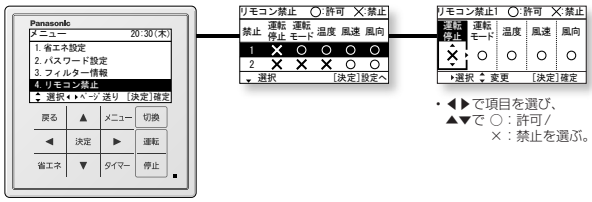
リモコン「禁止1」～「禁止4」の内容を変更する

1 メニュー画面で「リモコン禁止」を選ぶ (P.30)

2 リモコン禁止1～4を選ぶ

3 禁止する項目を設定する

▲ ▼ → 決定　　◀ ▶ → ▲ ▼ → 決定



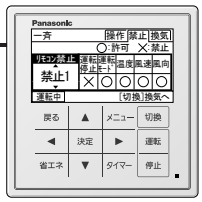
・◀▶で項目を選び、▲▼で ○：許可／×：禁止を選ぶ。

■1つ前の画面に戻るとき　「戻る」ボタンを押す。
■待受画面に戻るとき　「メニュー」ボタンを2回押す。

その他の設定

3 リモコン禁止1～4を選ぶ

▲ ▼ → 決定



許可
- 禁止1
- 禁止2
- 禁止3
- 禁止4

・「禁止1」～「禁止4」の内容は下記の表をご参照ください。
・「決定」を押すと、待受画面に戻ります。

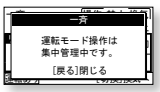
例）：リモコン使用の禁止・許可

	運転停止	運転モード	設定温度	風速	風向
許可	○	○	○	○	○
禁止1	×	○	○	○	○
禁止2	×	×	×	○	○
禁止3	○	×	×	○	○
禁止4	○	×	○	○	○

※「運転／停止」「運転モード」「設定温度」「風速」「風向」については P.18 をご覧ください。
※「禁止1」～「禁止4」の内容は変更できます。(P.66参照)

○：リモコンで設定・操作できる。
×：リモコンで設定・操作できない。

例「禁止2」を選んだとき、リモコンを使用して「運転モード」を変更しようとしても、次の画面が表示されて変更できません。



お知らせ

●リモコンモードで使用中のとき、この機能は使用できません。(P.9)
●他のコントローラー（インテリジェントコントローラーなど）から「禁止1」～「禁止4」に該当しない内容が設定されたときは、「禁止」と表示されます。

その他の設定

「その他」画面で設定する

「換気／その他」タブが「その他」と表示されているときは、「その他」画面で以下の設定を行うことができます。
・フィルターサインリセット　・ウィークリータイマー設定の有効／無効　・臨時休日の設定

1 P.18で「その他」画面に切り換える

切換 を押す

2 項目を選ぶ

◀ ▶

■エアコンの場合



フィルターサインリセット
フィルター清掃時期を表示し、清掃からの時間をリセットします。(P.50)

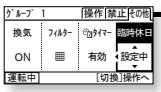


−− フィルター清掃不要
▦ フィルター清掃必要

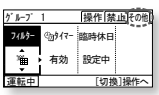
ウィークリータイマー
ウィークリータイマー設定の有効／無効を切り換えます。(P.22)



臨時休日
臨時休日の設定中／未設定を切り換えます。(P.26)



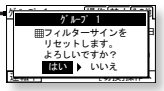
■熱交換気ユニットの場合



3 設定する

▲ ▼ → 決定

フィルター → フィルターを清掃し、▼▲を押す。

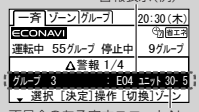


・◀▶で「はい」を選び、「決定」を押す。
（フィルター清掃からの時間のカウントがリセットされます）

タイマー → 有効 タイマー運転する
有効 → 無効 タイマー運転しない

臨時休日 → 設定中 臨時休日あり
設定中 → 未設定 臨時休日なし

故障かな？　修理ご依頼の前に、ご確認を！

リモコン禁止ができない	●リモコンモードで使用しているときは、禁止操作ができません。(P.9)
停電していませんか？	●停電から復帰したら、再度 運転 を押す。 →運転が始まらないときは、漏電しゃ断器を切ってから、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。
漏電しゃ断器が切れてませんか？	●管理責任者に確認後、漏電しゃ断器を入れてから、再度 運転 を押す。 →運転が始まらないときは、漏電しゃ断器を切ってから、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。
「設定中」が点滅していませんか？	●点滅が消えてから、再度 運転 を押す。 →運転が始まらないときは、漏電しゃ断器を切ってから、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。
警報が表示されていませんか？ 警報表示(例)  不具合のある室内ユニットNo.	●警報表示が次の場合は、一度運転を停止し、約1分後に再運転してください。 (警報表示、消灯) [・E04 ・E06 ・P10 ・P20 ・H06] →再度、表示しなければ、そのままご使用ください。 →再度、表示されたときや、上記以外の警報表示(E、F、H、L、Pの文字と数字の組み合わせ)が表示されたときは、運転を停止してから漏電しゃ断器を切ってから、お買い上げの販売店に品番と警報表示、室内ユニットNo.をご連絡ください。
ウィークリータイマー運転がうまくできない	●ウィークリータイマー運転が「有効」になっていますか。 「無効」では、ウィークリータイマー運転は行いません。タイマー予約する(P.22)をご確認ください。 ●現在の日付、時刻は合っていますか。 現在時刻が合っていないと、予定外の時刻に動作します。
表示が切り換わらない	●e-CUT機能付システムコントローラー操作後、30秒以内に手元リモコンから操作を行うと、リモコン操作内容の表示が遅延することがあります。
操作をしていないのにピー音がする 操作ボタンとは違う動作になる	●操作ボタンの表面が濡れていませんか？表面が濡れているとセンサーが押していると誤った感知をします。 →乾いた布でふきとり、再度操作してみる。



勝手に運転モードが送風になる	●設定温度自動リターン(P.34)もしくは設定温度範囲制限(P.36)が有効になっていませんか？ (冷暖自動を選択した場合には、自動的に送風に切り替わります。) 設定温度自動リターンおよび設定温度範囲制限は、設定温度の設定変更を制限することで冷えすぎ、暖めすぎを防止して、省エネを実現することを目的としています。 冷暖自動においては、冷えすぎを防止する設定温度(例：27℃)が、暖房時には暖めすぎの設定温度となるため、省エネ運転として、冷暖自動をご使用いただくことはできません。

・サービスに連絡が必要な場合は、室内ユニットもしくは室外ユニットの取扱説明書の裏表紙をご確認ください。

仕様

品番		CZ-10ESM4
外形寸法		(高さ)120 mm ×(幅)120 mm ×(奥行き)16 + 51.9 mm
質量		520 g
使用温度・湿度範囲		0 ℃～40 ℃・20 %～80 %(屋内設置専用)
電源		単相 AC 100-240 V 50/60 Hz
消費電力		最大1.3 W
時計	精度	±30秒/月(常温25 ℃)※定期的に合わせてください。
	保持時間	100時間(満充電時)※満充電に約8時間かかります。
接続台数		室内ユニット　最多64グループ(64台)



集中制御設定記録

施工者様記入後、お施主様にお渡しください。

システムコントローラー ゾーン	システムコントローラー グループ(集中制御アドレス)	室内ユニットNo. 系統一室内	部屋名
1	1	－	
	2	－	
	3	－	
	4	－	
	5	－	
	6	－	
	7	－	
	8	－	
	9	－	
	10	－	
	11	－	
	12	－	
	13	－	
	14	－	
	15	－	
	16	－	

システムコントローラー ゾーン	システムコントローラー グループ(集中制御アドレス)	室内ユニットNo. 系統一室内	部屋名
3	33	－	
	34	－	
	35	－	
	36	－	
	37	－	
	38	－	
	39	－	
	40	－	
	41	－	
	42	－	
	43	－	
	44	－	
	45	－	
	46	－	
	47	－	
	48	－	

システムコントローラー ゾーン	システムコントローラー グループ(集中制御アドレス)	室内ユニットNo. 系統一室内	部屋名
2	17	－	
	18	－	
	19	－	
	20	－	
	21	－	
	22	－	
	23	－	
	24	－	
	25	－	
	26	－	
	27	－	
	28	－	
	29	－	
	30	－	
	31	－	
	32	－	

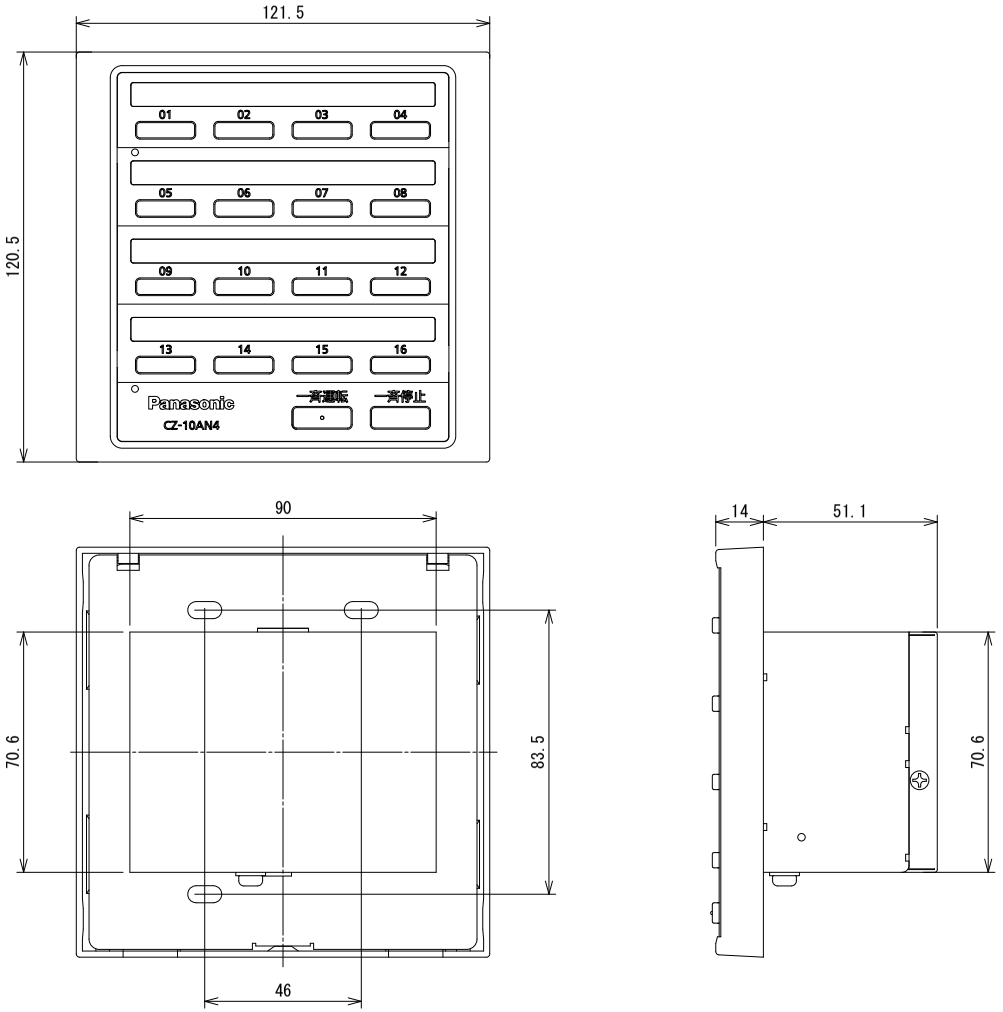
システムコントローラー ゾーン	システムコントローラー グループ(集中制御アドレス)	室内ユニットNo. 系統一室内	部屋名
4	49	－	
	50	－	
	51	－	
	52	－	
	53	－	
	54	－	
	55	－	
	56	－	
	57	－	
	58	－	
	59	－	
	60	－	
	61	－	
	62	－	
	63	－	
	64	－	

Printed in Japan
H0915-70423
ACXF55-19714
85464609294012

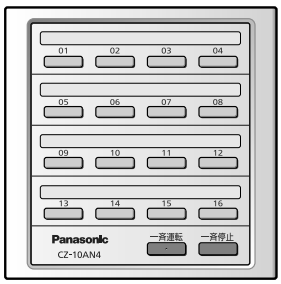
仕様

品　　番	CZ-10AN4
外 形 寸 法	（高さ）120.5 ㎜ ×（幅） 121.5 ㎜ （奥行き）14 + 51.1 ㎜
質　　量	500 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 %～80 % （屋内設置専用）
電　　源	単相AC　100 ～ 240 V　50／60 Hz
消 費 電 力	最大4.0 W
接続可能台数	室内ユニット：最多16 グループ（64台）

外形寸法



品番	CZ-10AN4	外形寸法図 （ON/OFF集中コントローラー）



Panasonic®

取扱説明書

ON/OFF集中コントローラー

品番 **CZ-10AN4**

据付（電気）工事説明書
別添付

上手に使って上手に節電

このたびは、ON/OFF集中コントローラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 本書はON/OFF集中コントローラーの取扱説明書です。室内ユニットおよび室外ユニットに付属の取扱説明書とあわせてお読みください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（下記）を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は室内ユニットおよび室外ユニットに付属の取扱説明書とともに、大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
  また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
必ず守る
（水漏れや感電・火災の原因）

当社指定のエアコンと接続して使う
必ず守る
（水漏れや感電・火災の原因）

体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない
必ず守る
（体調の悪化・健康障害の原因）
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在と判定し、空調機の運転が停止することがあります。

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
必ず守る
（感電や火災の原因）
異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- ブレーカーがたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

ぬれた手で操作しない
禁止
（感電や故障の原因）

⚠ 注意

リモコンを分解しない
禁止
（感電や故障の原因）

水洗いしない
禁止
（感電・火災の原因）

使用上のお願い

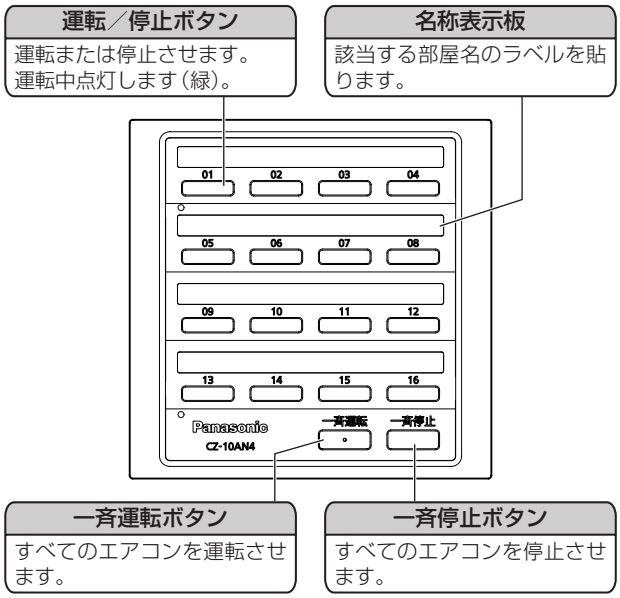
- 次のような場所に設置しない
  - 湿気・油分・振動が多い/直射日光があたる/熱源の近く/結露する（故障の原因）
  - ノイズが発生する（誤動作の原因）
- スプレーを吹きかけない（誤動作や故障の原因）
  - 液体（洗剤、アルコール、有機溶剤など）がかからないようにしてください。
- アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない（変色や故障の原因）
  - ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

本機の特長

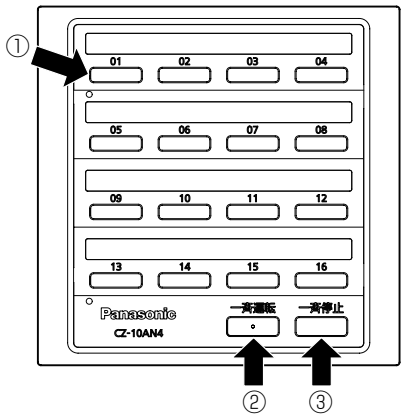
■ **接続台数** … 1台のON/OFF集中コントローラーに最多16グループ、64台の室内ユニットを接続可能
■ **操作機能** … 運転／停止（個別または一斉）
■ **順次始動** … 一斉運転の場合は1～2秒間隔で運転を開始

● 別売のスケジュールタイマーの接続により、週間プログラムの運転が可能です。

各部のなまえとはたらき



ご使用方法



① **個別に室内ユニットを運転または停止をするとき**
対象の室内ユニットの運転／停止ボタンを押します。

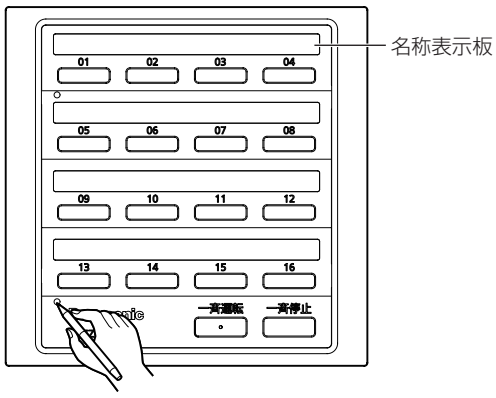
② **1番から16番の室内ユニットを同時に運転するとき**
一斉運転ボタンを押します。
1番から1～2秒間隔で順番に運転を開始します。

③ **1番から16番の室内ユニットを同時に停止するとき**
一斉停止ボタンを押します。

● 本機は、運転モードの設定や温度の設定ができません。リモコンやシステムコントローラーなどから操作してください。

名称表示板の使いかた

エアコンを運転したい部屋がわかり、エアコンの運転状態を動作表示ランプで確認できます。



① 透明カバー左の穴に先のとがったものを差し込んで透明カバーをはずしてください。

② 付属のスイッチ表示ラベルに、部屋名を油性ペン等で記入して、名称表示板に貼り付けてください。

知っていただきたいこと

● **ON/OFF集中コントローラー操作後、30秒以内に手元リモコンから操作を行うと、リモコン操作内容の表示が遅延することがあります。**
● **本機のボタンが点滅している場合は以下についてご確認ください。**
① 1番から16番のボタンが全て高速点滅（0.2秒間隔）しているとき
本機が室内ユニットを1台も認識していない状態です。
② 本機を操作後に15秒間高速点滅（0.2秒間隔）したとき
点滅しているグループ番号の室内ユニットが操作を受けつけていない状態です。
③ ボタンが個別に低速点滅（1秒間隔）しているとき
点滅しているグループ番号の室内ユニットが警報状態または通信ができない状態です。
● 上記症状が続くようであれば、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕 様

品　　番	CZ-10AN4
外形寸法	（高さ）120.5 ㎜ ×（幅）121.5 ㎜ （奥行き）14 + 51.1 ㎜
質　　量	500 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 %～80 % （屋内設置専用）
電　　源	単相AC100 - 240 V　50／60 Hz
消費電力	最大4.0 W
接続可能台数	室内ユニット：最多16グループ（64台）

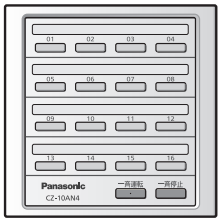
Printed in Japan
F0117-40423
ACXF55-16614
85464609366010

Panasonic

据付(電気)工事説明書

ON/OFF集中コントローラー

品番 **CZ-10AN4**



●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、「取扱説明書」「スイッチ表示ラベル」と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。

●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。

●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠ 警告

据付(電気)工事をする前に

❗ ● **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)

● **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
・**電気設備に関する技術基準　・内線規程**
・**据付(電気)工事説明書**
(感電、火災の原因)

● **漏電しゃ断器(全極開閉機能付)を取り付ける**
(故障や、漏電時に感電、火災の原因)

● **電源は、必ず専用回路を使用する**
(感電、火災の原因)

⏚ ● **アース工事(D 種接地工事)を行う**
・**アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない**
・**アース線は、ベランダの手すりにとらない**
(感電の原因)

本体を据え付けるときに

⃠ ● **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)

● **配線は途中接続しない**(接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)

● **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**
(発熱、火災の原因)

❗ ● **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)

● **電気工事は、本機やユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**(感電の原因)

● **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
(製品の落下による、けがの原因)

本体を据え付けるときに

❗ ● **付属品は当社指定の部品を使用する**
(製品の落下、感電、火災などの原因)

● **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)

● **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)

● **ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)

⚠ 注意

据付(電気)工事をする前に

⃠ ● **次のような場所で使わない**
・**結露するところ**
・**可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
・**水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ**
・**酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ**
・**腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるとろ**
・**有機溶剤の飛沫するところ**
・**電磁波が出る機械のあるところ**
・**電圧変動の多いところ**
(感電、火災などの原因)

❗ ● **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

本体を据え付けるときに

⃠ ● **水洗いしない**(感電の原因)

Printed in Japan
W0117-70823
ACXF60-24706
85464369952010

仕様

品番	CZ-10AN4
外形寸法	(高さ) 120.5 mm × (幅) 121.5 mm (奥行き) 14 + 51.1 mm
質量	500 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 % ～ 80 % (屋内設置専用)
電源	単相 AC100-240 V　50/60Hz
消費電力	最大4.0 W
接続可能台数	室内ユニット：最多16グループ (64台)

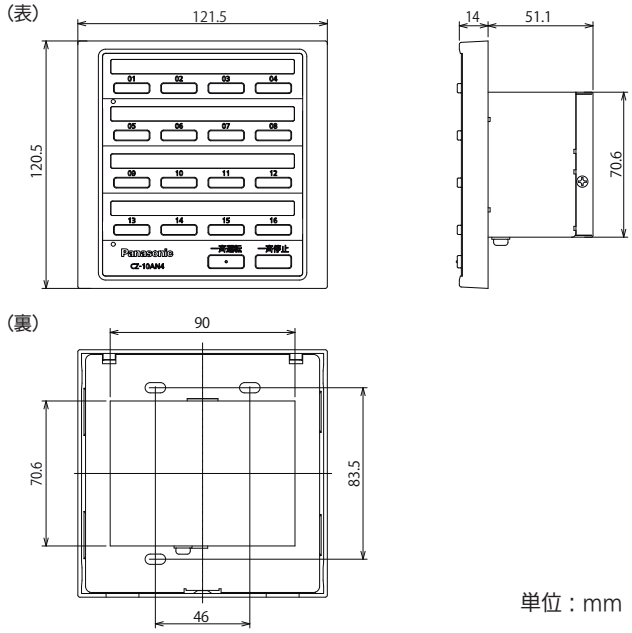
付属品

＜＞: 個数

ネジ　＜2＞ M4 × 25 (埋込型JISボックス用) 	取扱説明書　＜1＞ 据付(電気)工事説明書　＜1＞ スイッチ表示ラベル　＜1＞

※ ケーブルは現地調達のため、付属していません。

外形寸法図



単位：mm

据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  - ・直射日光や直接外気が当たる、窓際など　・不安定な場所
  - ・過度な衝撃や振動のある場所 (本機の取り付けネジが緩み、落下の原因)　・熱源の近くなど
- 床面に対して垂直に据え付ける。
- 複数並べて設置するときは、左右5mm、上下50mm以上離す。
- 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
- 高周波が発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避けてください。(本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から１m以上離してください。(映像の乱れ、雑音の原因)
- 漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器か手元開閉器(開閉器+Ｂ種ヒューズ)を据え付ける。
- 配線は、地中に埋設しない。

1 配線のしかた

■ 電源線

(「安全上のご注意」の内容をご確認ください。)

- ケーブルの種類
  - ・使用基準：600 Vビニール電線(現地調達)
  - ・柔軟性のある2mm^{2}のケーブル(推奨)
- 電源端子
  - ・端子ネジ　　：M4
  - ・締め付けトルク：0.5 N・m(推奨値)

■ 室内外操作線

- ケーブルの種類
  - ・柔軟性のある2芯の0.5 ～2mm^{2}のケーブルを必ず使用してください。
  - ・シース部を含む絶縁物の厚みが1mm以上あるケーブル
  - ・推奨品：VCT/VCTF/CPEVS/MVVS
- 総配線長
  - ・1000m以内
- 接続可能台数

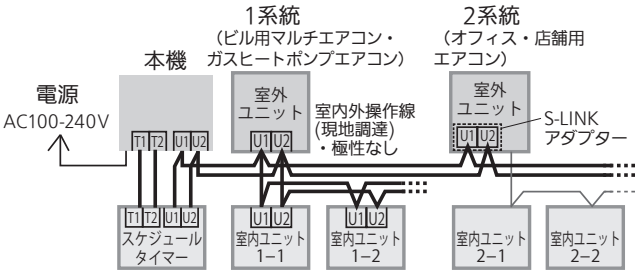
室外ユニット	最多30台
室内ユニット	最多64台 *1
集中制御機器	最多10台 *2

*1：室内ユニットの台数には、ローカルアダプターの台数を含みます。
室外ユニット・室内ユニット・集中制御機器の合計は100台までです。

*2：ON/OFF集中コントローラーは1リンクに最多8台までです。

基本配線図

室内外操作線を下図のように接続してください。



- S-LINKアダプター・ローカルアダプターを接続する場合は、各製品に付属の「据付(電気)工事説明書」をあわせてご覧ください。

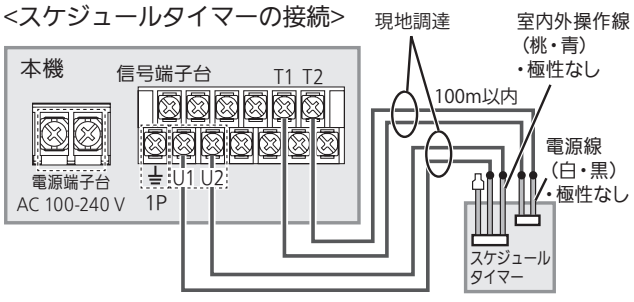
(お願い)

終端抵抗(プラグ)について

- 終端抵抗は室外ユニットまたはS-LINKアダプターに設定します。
- 接続する室外ユニットが1台の場合は1か所、複数台の場合は2か所を設定してください。

※室外ユニットまたはS-LINKアダプターなどに付属の「据付(電気)工事説明書」をご覧ください。

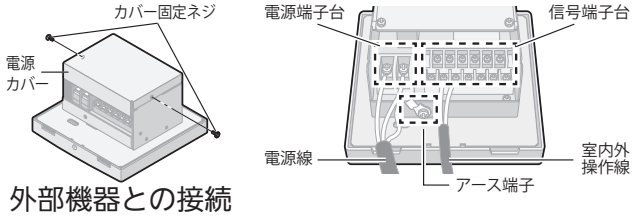
<スケジュールタイマーの接続>



1 配線のしかた（つづき）

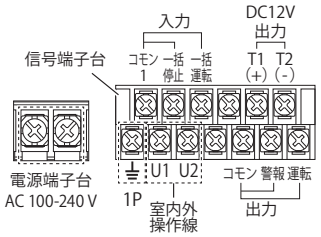
■ 配線の手順

① カバー固定ネジ2本をはずし、電源カバーを取りはずす。
② 電源線を電源端子台に接続し、アース線は、必ずアース端子に接続する。
③ 室内外操作線を信号端子台のU1、U2端子に接続する。
④ 外部機器と接続する。
　●外部機器を接続するときは「外部機器との接続」を参照してください。
⑤ 別売のスケジュールタイマーを接続する。
　●スケジュールタイマーを接続するときは、スケジュールタイマーに付属の「据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ」を参照してください。
⑥ 電源カバーを取り付け、カバー固定ネジ2本を取り付ける。



お知らせ
- 室内外操作線に、極性はありません。
- 室内外操作線にシールド線を使用する場合は、片側をアースとしてください。本機にアースを接続する場合は、信号端子台の1P（⏚）へ接続してください。

お願い
- 電源線を、信号端子台の端子に接続しないでください。（故障の原因）
- 室内外操作線を電源線などといっしょに合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。（誤動作の原因）
- 配線を接続する際には、本機に傷が付かないようにご注意ください。



■ 外部機器との接続

入出力項目	ON/OFF集中コントローラー側 条件	端子名	設備側 切分端子	回路例	条件
状態出力	無電圧a接点 スタティック（リレー出力） 接点許容電圧：最大DC30 V 接点許容電流：最大0.5 A 最小適用負荷：DC5 V 1 mA	出力 運転 警報 コモン		デジタル入力	配線長 100 m 以内 ケーブル太さ 0.5 mm²～2mm²

入出力項目	ON/OFF集中コントローラー側 条件	端子名	設備側 切分端子	回路例	条件
制御入力	一括運転：有電圧DC24 V 入力 パルス 一括停止：有電圧DC24 V 入力 （一括停止入力がONの間は、定期的に停止信号を送信します） 入力許容電圧：DC24 V±10 % 入力許容電流：最大10 mA	入力 一括運転 一括停止 コモン1		DC24 V COM	パルス幅 300 msec 以上 配線長 100 m 以内 ケーブル太さ 0.5 mm²～2mm²

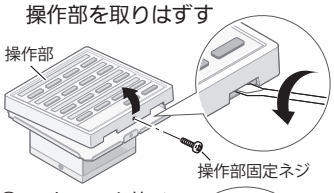
2 据え付ける

- 下ケースを取り付けるとき（手順2）ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締めてください。（操作部の取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。（下ケースの変形による、落下の原因）

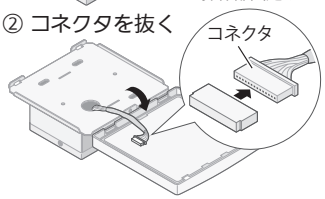
お願い
- 先に本機に接続した配線をJISボックス下の丸穴に通して、本機電源部に衝撃を与えないようにゆっくりと挿入してください。

❶ 準備する

① 操作部固定ネジをはずし、操作部を取りはずす

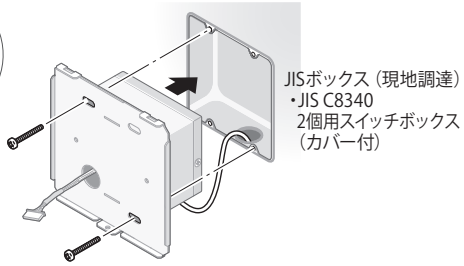


② コネクタを抜く



❷ JISボックスに据え付ける

① あらかじめ壁内に埋め込まれたJISボックス（現地調達）に本機を挿入する

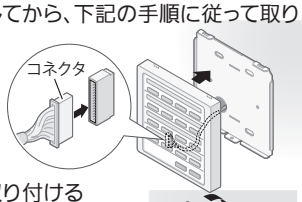


② 下ケース（電源部付）をJISボックスに据え付ける（ネジ（付属））

❸ コネクタを接続し、操作部を取り付ける

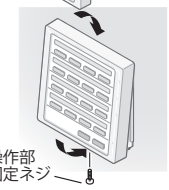
●「3 設定スイッチについて」を参照し、ディップスイッチ（DIPSW1）を設定してから、下記の手順に従って取り付けてください。

① コネクタを接続する



② 上側から操作部を取り付ける
- 基板上の部品に配線が触れないようにしてください。（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）

③ 操作部固定ネジを取り付ける



3 設定スイッチについて



※出荷時設定は以下のとおりになっております。
OFF：SW1・2・3・4・8
ON ：SW5・6・7

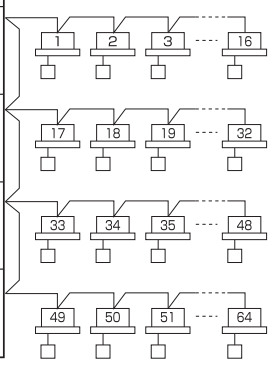
[SW1・2] ゾーンアドレス設定

操作するグループ（集中制御アドレス）に合わせてゾーン1から4を選択してください。
- 1ゾーンだけで使用の場合は、ゾーン1に設定します。
- 複数のゾーンで使用する場合、1台のON/OFF集中コントローラーは、必ずゾーン1に設定してください。

[SW3] ON/OFF集中コントローラー親子設定（親：OFF 子：ON）

① 1つのゾーンにON/OFF集中コントローラーを1台設置する場合は親（OFF）で使用してください。
② 1つのゾーンにON/OFF集中コントローラーを2台設置する場合は1台を親（OFF）、もう1台を子（ON）にしてください。
- 本機は各ゾーン毎に親子合わせて2台まで接続できます。

設定スイッチについて（SW1・2・3）	ON/OFF集中コントローラー親子 親（SW3 OFF）	子（SW3 ON）
ゾーン1 グループ1～16（SW1：OFF SW2：OFF）	OFF OFF OFF	OFF OFF ON
ゾーン2 グループ17～32（SW1：ON SW2：OFF）	ON OFF OFF	ON OFF ON
ゾーン3 グループ33～48（SW1：OFF SW2：ON）	OFF ON OFF	OFF ON ON
ゾーン4 グループ49～64（SW1：ON SW2：ON）	ON ON OFF	ON ON ON



3 設定スイッチについて（つづき）

[SW4] 集中制御親子設定（親：OFF / 子：ON）

① ON/OFF集中コントローラー1台のみで使用する場合は親(OFF)で使用してください。

② インテリジェントコントローラー、システムコントローラー等の他の集中制御機器と併用する場合は本機を子（ON）にすることを推奨します。
ただし「**[SW5・6・7] 手元禁止設定**」を使用する場合は親（OFF）にしてください。

③ ②以外で1つのゾーンにON/OFF集中コントローラーを2台設置する場合は1台を親（OFF）、もう1台を子（ON）にしてください。

[SW5・6・7] 手元禁止設定

手元禁止に設定されたグループは、リモコンからの手元操作（運転/停止）が禁止されます。
「**[SW4] 集中制御親子設定**」が親（OFF）のときに使用できます。
※手元操作を許可したい場合は、SW5・6・7をOFFにしてください。

[SW8] 一斉運転/一斉停止対象設定

「一斉運転」「一斉停止」ボタンを押したときに運転/停止する対象を設定します。

① 「**[SW1・2] ゾーンアドレス設定**」で選択したゾーン全てのグループを対象にする場合はOFFで使用してください。

② 手元禁止されているグループのみ対象とする場合はONで使用してください。

設定スイッチについて（SW5・6・7）	
グループ 1～16：手元許可	5 6 7 OFF OFF OFF
グループ 1～16：手元禁止	5 6 7 ON OFF OFF
グループ 1～4：手元許可 グループ 5～16：手元禁止	5 6 7 OFF ON OFF
グループ 1～8：手元許可 グループ 9～16：手元禁止	5 6 7 ON ON OFF
グループ 1～12：手元許可 グループ 13～16：手元禁止	5 6 7 OFF OFF ON
手元禁止設定無効	5 6 7 ON ON ON

4 試運転する

（準備）室内ユニットおよび室外ユニットの「据付（電気）工事説明書」を参照し、事前に室内ユニットおよび室外ユニットの試運転をしてください。

① 本機の電源を入れてください。
（本機の16番ボタンが点滅し、室内ユニットの接続グループを自動的に確認します。）

② 本機の「一斉運転」ボタンを押し、ボタンの点灯を確認してください。
（1秒間隔で本機のボタン番号の順に運転します。）
接続されているグループと本機のボタンの点灯数が一致していることを確認してください。

※一致していない場合は、「**[SW1・2] ゾーンアドレス設定**」および「**5 集中制御アドレス設定**」をご覧になり、設定を確認してください。
※ローカルアダプターなどを接続する場合は、集中制御アドレスを設定してください。

● 本機のボタンが点滅している場合は以下についてご確認ください。

(1) 1番から16番のボタンが全て高速点滅（0.2秒間隔）しているとき
本機が室内ユニットを1台も認識していない状態です。
・室内ユニットの電源が入っているか確認してください。
・集中制御アドレスが正しく設定されているか確認してください。
・室内外操作線がどこかで短絡または断線していないか確認してください。

(2) 本機を操作後に15秒間高速点滅（0.2秒間隔）したとき
点滅しているグループ番号の室内ユニットが操作を受けつけていない状態です。
・室内ユニットの電源が入っているか確認してください。
・集中制御アドレスが正しく設定されているか確認してください。
・室内外操作線がどこかで短絡または断線していないか確認してください。

(3) ボタンが個別に低速点滅（1秒間隔）しているとき
点滅しているグループ番号の室内ユニットが警報状態または通信ができない状態です。
・室内ユニットの動作または室内外操作線を確認してください。
・室内ユニットおよび室外ユニットの「据付（電気）工事説明書」を参照し、試運転をしてください。

● 本機、操作後は30秒以上経過してから、手元リモコン等から操作を行ってください。

5 集中制御アドレス設定

※室内ユニットおよび室外ユニットの試運転を終了してから集中制御アドレスを設定してください。

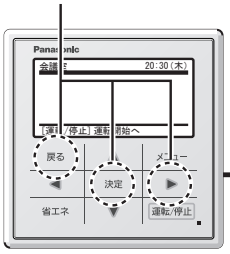
● 本機に集中制御アドレス設定機能はありません。
● 集中制御アドレス設定が可能な集中制御機器（システムコントローラー、インテリジェントコントローラー等）と併用する場合は、集中制御機器から集中制御アドレス設定をしてください。
（集中制御機器に付属の「据付（電気）工事説明書」をご覧ください。）
● 上記以外の場合はワイヤードリモコンを用いてグループ毎に設定します。
下記の手順に従って集中制御アドレスを設定してください。
設定終了後、本機の電源を入れなおしてください。

ワイヤードリモコン（CZ-10RT3、CZ-10RT3Aなど）から設定する

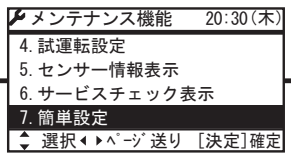
① [点検]ボタンと[換気]ボタンを同時に4秒以上押し続けます。
ユニット選択ボタンは押さないでください。
② 温度設定「▲」、「▼」ボタンで項目コード03を選択します。
③ タイマー時間「▲」、「▼」ボタンで集中制御アドレスを設定します。
④ [セット]ボタンを押す。（「設定中」が点滅から点灯に変わる。）
⑤ [点検]ボタンを押して、集中制御アドレスの設定を終了する。
（通常の停止状態になる。）

多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT4Bなど）から設定する

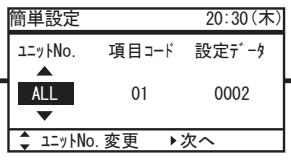
1 3つのボタンを同時に4秒以上押す

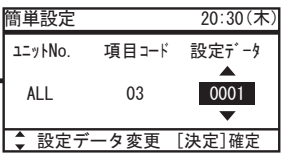


2 簡単設定を選ぶ
▲▼→［決定］



3 設定する
ユニットNo.は初期位置から変更しない。
項目コード03を選択します。
設定データを変更し、集中制御アドレスを設定します。
ユニットNo.選択位置で［戻る］を押して設定を終了します。





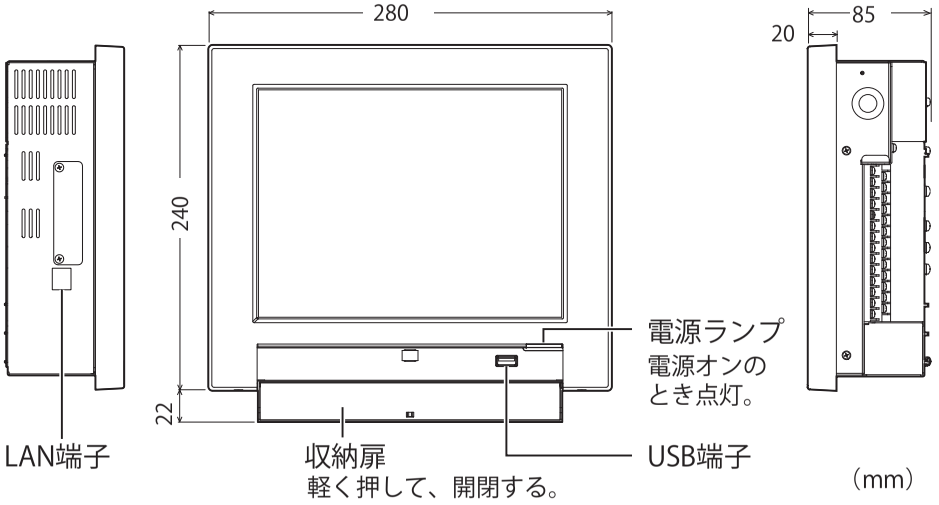
仕様

品番		CZ-10EST4A
外形寸法		(高さ) 240 mm ×(幅)280 mm (奥行き) 20 + 65 mm
質量		2.7 kg
使用温度・湿度範囲		0 ℃～ 40 ℃・20%～ 80%(屋内設置専用)
定格電圧・周波数		単相 AC100 ～ 240 V・50/60 Hz
消費電力		最大20 W
時計	月差	±30秒／月(常温25 ℃)　※定期的に合わせてください。
	保持時間	100日(常温25 ℃・満充電時)　※満充電に約8時間かかります。
1リンクあたりの接続可能台数 *1		下記の合計台数が100台まで • 室内ユニット：64台まで*2　• 室外ユニット：30台まで　• 集中制御機器：10台まで

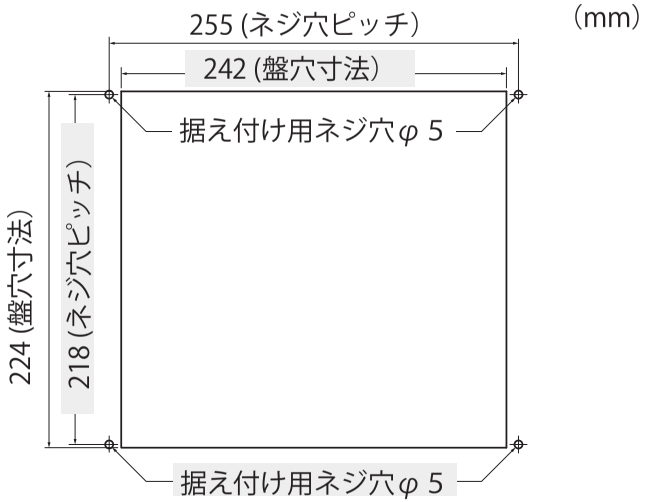
*1：最大接続可能台数は次の通りです。(最大2リンク接続可能)
- 本機のみ：室内ユニット128台、室外ユニット60台
- 通信アダプター接続時：室内ユニット256台、室外ユニット120台

*2：熱交換気ユニット、オン／オフ制御用ローカルアダプター、RACローカルアダプターの台数を含む。
※接続可能な熱交換気ユニットは、天井埋込形・天吊カセット形のマイコンタイプです。

外形寸法図



取付け穴寸法



品番	CZ-10EST4A	インテリジェント コントローラー

本機の特長

本機は、小・中規模向けのPAC(オフィス・店舗用エアコン、ビル用マルチエアコン)、GHP(ガスヒートポンプエアコン)専用の空調機集中管理システムです。

- 本機1台で室内ユニット128台(64台×2系統)、室外ユニット60台(30台×2系統)まで接続し、制御できます。
- 通信アダプターを接続すれば、室内ユニットを最大256台、室外ユニットを最大120台まで接続できます。
- 10.4インチTFTカラー(1024×768ドット)タッチパネル式液晶ディスプレイを採用していますので、誰でも簡単に操作することができます。

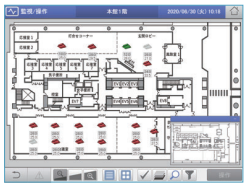
監視・操作 P.23

すべての室内ユニット、室外ユニットの運転状況(運転/停止、運転モード、警報など)をリアルタイムで確認することができます。
また、室内ユニットを選んで設定を変更することもできます。



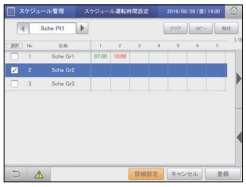
レイアウト機能 P.46

「レイアウト」画面で、室内ユニットの設置場所や状態を把握し視覚的な操作が可能です。
室内ユニットの検索、フィルター機能、レイアウトの拡大もできます。



稼働スケジュール P.50

室内ユニットの1日の稼働スケジュール(運転/停止時間、運転モード、設定温度など)を個別あるいはグループで登録することができます。
稼働スケジュールは2年先まで登録できます。



空調エネルギー按分 P.81

室内ユニットの累計運転時間、室外ユニットのエンジン運転時間、運転回転数を一覧で確認できます。(積算値)
これらのデータをもとに、室内ユニット単位あるいはエリア単位で電気・ガスの空調消費按分率・使用量(kWh、m^3)を算出し、一覧で確認できます。



もくじ

本機の特長 …… 2
もくじ …… 3
機能早見表 …… 4
安全上のご注意 …… 5
使用上のお願い …… 6
据え付け上のご注意 …… 6
システム構成 …… 7
用語の説明 …… 8
省エネ機能について …… 9
エコナビ機能について …… 11

設定前の準備 12
各部のなまえ …… 13
本機の操作について …… 14
メニュー一覧 …… 18
初期設定 …… 20
暗証番号(パスワード)入力について …… 22

空調機の操作、状態を確認する 23
室内ユニットの設定状態を確認する …… 24
室内ユニットの操作をする …… 26
室内ユニットの稼働状態を確認する …… 28
室外ユニットの稼働状態を確認する …… 33
熱交換気ユニットの設定を確認する …… 36
現在発生している警報を確認する …… 39
室内ユニットを室内機アイコンで確認する …… 43
室内ユニットをレイアウトで確認する …… 46

スケジュールを設定する 50
スケジュール設定の流れ …… 51
スケジュールを設定する …… 54
スケジュールをカレンダーに割り当てる …… 60
スケジュールの予定/実績を確認する …… 64
一時的にスケジュールを変更・追加する …… 66

警報および操作状態変化履歴を確認する 68
警報履歴一覧を確認する …… 69
操作状態変化履歴一覧を確認する …… 71

積算値を確認する 74
室内ユニットの積算値を一覧で確認する …… 75
室外ユニットの積算値を一覧で確認する …… 77
パルスメーターの積算値を一覧で確認する …… 79

按分データを確認する 81
按分データを一覧で確認する …… 82

省エネ設定をする 86
設定温度に自動で戻す【設定温度自動リターン設定】 …… 87
再運転を自動停止する【消し忘れ・運転自動停止設定】 …… 90
設定温度の範囲を制限する【設定温度範囲制限設定】 …… 93
時間帯で運転量を制御する
【タイマー省エネ設定】/【効率運転設定】 …… 95
室外ユニットの騒音を抑える【室外静音モード設定】 …… 97
デマンド接点入力を登録する【デマンド接点登録】 …… 99
・デマンド接点登録後の設定内容
室内ユニットのデマンド設定を行う【室内デマンド設定】 … 100
室外ユニットのデマンド設定を行う【室外デマンド設定】 … 103
消費電力/ガス量を抑制する
【室外時間帯デマンド設定】/【ピークカット設定】 …… 105
一定間隔で運転を制御する【室内サイクリック制御設定】 … 108
一定間隔で運転を制御する【室外サイクリック制御設定】 … 112

データをグラフ表示する 115
グラフ表示機能について …… 116
運転時間、エネルギー使用量をグラフ化する …… 119
温度変化をグラフ化する …… 123
項目を自由に設定する …… 126

ネットワーク経由で本機の遠隔操作を行う 132
ネットワーク設定を行う …… 133
Webユーザー設定を行う …… 135
遠隔操作を行う …… 138

データのバックアップ/復元を行う 139
データのバックアップを行う …… 140
データの復元を行う …… 142
レイアウトのバックアップを行う …… 144
レイアウトの復元を行う …… 145
設定をCSVファイルとして出力する …… 147
設定をCSVファイルとして入力する …… 149
自動生成ファイルを保存する …… 151

システム設定を行う 153
室内ユニットの基本設定を行う …… 154
室外ユニットの基本設定を行う …… 158
按分計算の基本設定を行う …… 161
スケジュールグループの名称を変更する …… 164
エリアグループの名称を変更する …… 166
按分グループの名称を変更する …… 168
パルスメーターの基本設定を行う …… 171
按分方法を設定する …… 173
電気/ガス料金の単価を設定する …… 174
空調機を連動的に制御する …… 175
送信メールの設定を行う …… 181
通信アダプターを登録する …… 183
レイアウト/アイコンの設定を行う …… 185

メンテナンス設定を行う 186
本機の画面表示、音量を設定する …… 187
本機のサービス連絡先を登録する …… 188
ソフトウェアをアップデートする …… 189
初期化・ログレベルを設定する …… 190
日時を設定する …… 192
試運転を行う …… 193
空調機との通信設定を行う …… 196
ユニットからの警報を無視する …… 198

付録 199
数字・文字列入力について …… 200
外部信号の接続 …… 202
按分計算方法 …… 203
知っていただきたいこと …… 207
システムの構成を確認する …… 211
故障かなと思ったときは …… 212
商標文および免責文について …… 213
仕様 …… 214

機能早見表

おもな機能のみ掲載しています。

エアコンの操作について

やりたいこと	タイトル	ページ
室内ユニットの操作をしたい	室内ユニットの操作をする	26
運転モードを変更したい	室内ユニットの操作をする	26
設定温度を変更したい	室内ユニットの操作をする	26
フィルターサインをリセットしたい	室内ユニットの設定状態を確認する	25
風向、風速を変更したい	室内ユニットの操作をする	26
リモコン操作を禁止したい	室内ユニットの操作をする	26

運転状態の確認について

やりたいこと	タイトル	ページ
管理している室内ユニットの稼働状況を確認したい	室内ユニットの稼働状態を確認する	28
現在発生中の警報を確認したい	現在発生している警報を確認する	39
警報の履歴を確認したい	警報履歴一覧を確認する	69
現在や過去の積算時間を確認したい	室内ユニットの積算値を一覧で確認する	75
現在や過去の按分率を確認したい	按分データを一覧で確認する	82
室内ユニットの稼働状態を「室内機アイコン」画面で確認したい	室内ユニットを室内機アイコンで確認する	43
室内ユニットの稼働状態を「レイアウト」画面で確認したい	室内ユニットをレイアウトで確認する	46

設定について

やりたいこと	タイトル	ページ
室内ユニットの名称を変更したい	室内ユニットの基本設定を行う	154
エリアグループの名称を変更したい	エリアグループの名称を変更する	166
日付や時刻を調整したい	日時を設定する	192
スケジュールを決めて室内ユニットを運転したい	スケジュールを設定する	50
画面の明るさを調整したい	本機の画面表示、音量を設定する	187
ブザー音を調整したい	本機の画面表示、音量を設定する	187

その他

やりたいこと	タイトル	ページ
USBメモリーにデータ(設定値、積算値、按分データなど)をバックアップしたい	データのバックアップを行う	140
運転時間、温度変化などをグラフに表示したい	データをグラフ表示する	115

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	⚠ 注意
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容(禁止事項)です。	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠ 警告

据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
必ずする (水漏れや感電・火災の原因)

当社指定のエアコンと接続して使う
必ずする (水漏れや感電・火災の原因)

ぬれた手で操作しない
禁止 (感電や故障の原因)

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
必ずする (感電や火災の原因)
異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- ブレーカーがたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

⚠ 注意

分解しない
禁止 (感電や故障の原因)

水洗いしない
禁止 (感電・火災の原因)

使用上のご注意

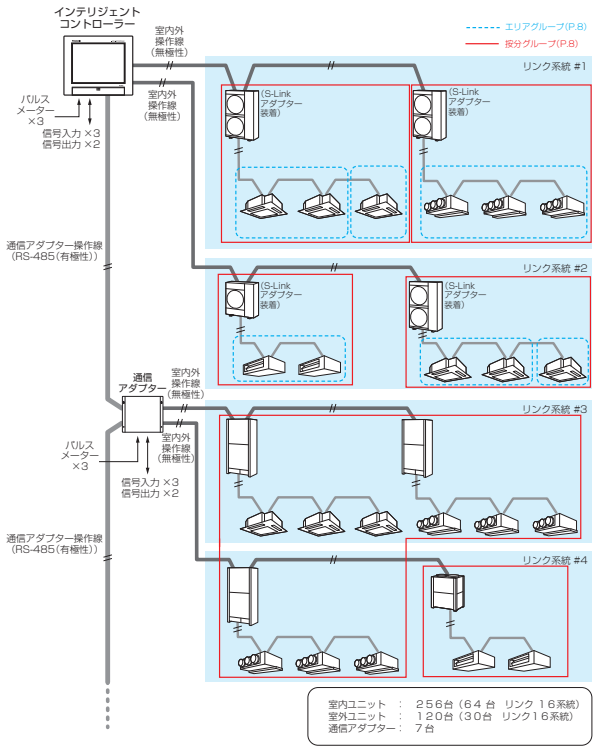
- 次のような場所に設置しない
  - 可燃性ガス等の漏れるおそれのあるところ
  - 海浜地区等、塩分の多いところ
  - 温泉地区、硫化ガスの発生するところ
  - 水や油(機械油含む)の飛散や蒸気の多いところ
  - 電圧変動の大きいところ
  - 電磁波を発生する機械のあるところ
  - 有機溶剤の飛散するところ
- スプレーを吹きかけない
  (誤動作や故障の原因)
  - 液体(洗剤、アルコール、有機溶剤など)
- アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない
  (変色や故障の原因)
  - ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。
- 強い衝動を与えない
  (故障の原因)
- コントローラーの近くで暖房器具を使用しない
  (変形・変色の原因)
- 固いものやとがったものを使用しない
  (傷や故障の原因)
- タッチパネルをたたいたり、強く押したりしない
  (故障の原因)
- リモコンレスの室内ユニットが導入されている接続系統に集中機器としてインテリジェントコントローラーを使用する場合は、システムコントローラーなどと複数設置する
- インテリジェントコントローラー起動時、「初期通信中」というメッセージ表示中は、インテリジェントコントローラーの電源を切らない
  (内部データ破損の原因)

据え付け上のご注意

- 湿気、油分、振動の多いところ、直射日光のあたるところ、熱源の近くには設置しない
  (故障の原因)
- ノイズの多い場所には設置しない
  (誤動作の原因)
- テレビ、ラジオ、パソコン等からは1 m以上離して設置する
  (映像の乱れや雑音の原因)

システム構成

システムの構成例は以下のとおりです。



用語の説明

本書で使用している用語について説明します。

用語	説明
アダプターアドレス	1台の通信アダプター(別売)に割り当てられたアドレスです。パルスメーターの接続先が通信アダプターの場合、このアダプターアドレスを使用します。 **設定** No.0：本機(設定済み) No.1～7：通信アダプターで設定
リンク系統アドレス	1つの室内外操作線に接続された室内/室外ユニットの集まりです。 本機および通信アダプター(別売)では、2つのリンク系統が接続できます。 **設定** No.1～2(固定)
室外ユニット系統アドレス	ある室外ユニットとその冷媒配管で接続された室内ユニットの集まりです。 1リンク系統内に最大30の室外ユニット系統を構成できます。 **設定** No.1～30：リンク系統ごとに室外ユニット側で設定
室内ユニットアドレス	ある室外ユニット系統で、室内ユニットに割り当てられる固有の番号です。 グループ制御の場合も各室内ユニットに割り当てられます。 **設定** No.1～64：室外ユニット系統ごとに室内ユニット側で設定
集中制御アドレス	リンク系統内で固有の値であり、他の集中コントローラー(システムコントローラー、マルチコントローラーなど)で共通に使用されます。 グループ制御の場合、グループに属する室内ユニットはすべて同じアドレスになります。 本書および本機では表記を「集中アドレス」と略しています。 **設定** No.1～64：リンク系統ごとに本機および他の集中コントローラー側で設定
ユニット名	グループ制御の場合、同じ名称になります。操作/監視/スケジュールの最小単位です。 **設定** 本機で設定
按分グループ	按分グループは、複数(または単一)のエリアから構成され、パルスメーターの測定範囲と一致し、按分率合計が100%になる集まりです。システム全体で最大256グループまで設定できます。 時間按分の場合、1つの按分グループでPAC、GHPを混在させることはできません。 負荷按分の場合、PAC、GHPを混在させることができます。 **設定** No.1～256：本機で設定
エリアグループ	エリアグループは、按分計算(または操作/監視)上の1つの集まりで、複数(または単一)の室内ユニットで構成されます。システム全体で最大256グループまで設定できます。 **設定** No.1～256：本機で設定
制御グループ	制御グループは、複数(または単一)の室内ユニットまたは室外ユニットで構成され、サイクリック制御設定で同一の制御を行います。室内ユニットで最大10グループ、室外ユニットで最大5グループまで設定できます。
スケジュールグループ	スケジュールグループは、256件まで設定できます。

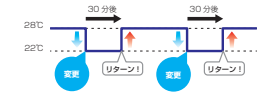
省エネ機能について

空調の無駄を無くし、空調機を交換しなくても省エネを実現します。

e-CUT機能

設定温度自動リターン設定

温度を変えても決めた時間がたったら、
設定した温度に自動で戻したいときに。(P.87)



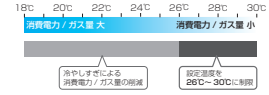
消し忘れ・運転自動停止設定

スケジュール外に運転させても
一定時間ごとに検知して自動で止めたいときに。(P.90)



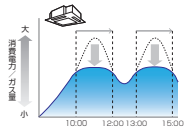
設定温度範囲制限設定

設定できる温度の範囲を
制限したいときに。(P.93)



タイマー省エネ設定/効率運転設定※1

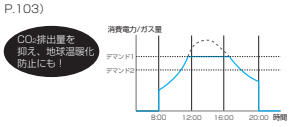
時間帯を指定して
運転量を抑えたい
ときに。(P.95)



デマンド機能

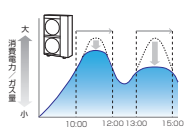
デマンド設定(室内ユニット・室外ユニット)

最大需要電力/最大ガス量を抑えたいときに。(P.100、P.103)



室外時間帯デマンド設定/ピークカット設定※2

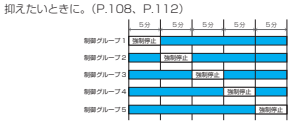
時間帯を指定して
室外ユニットの運
転量を抑えたい
ときに。(P.105)



※1「効率運転設定」はガスヒートポンプエアコンご利用時の設定名です。
※2「ピークカット設定」はガスヒートポンプエアコンご利用時の設定名です。

室内・室外サイクリック制御設定

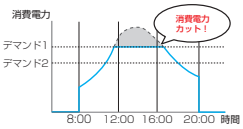
一定間隔で繰り返し、室内・室外ユニットの運転量を抑えたいときに。(P.108、P.112)



お知らせ
- 機種によっては、これらの機能に対応していない場合もあります。

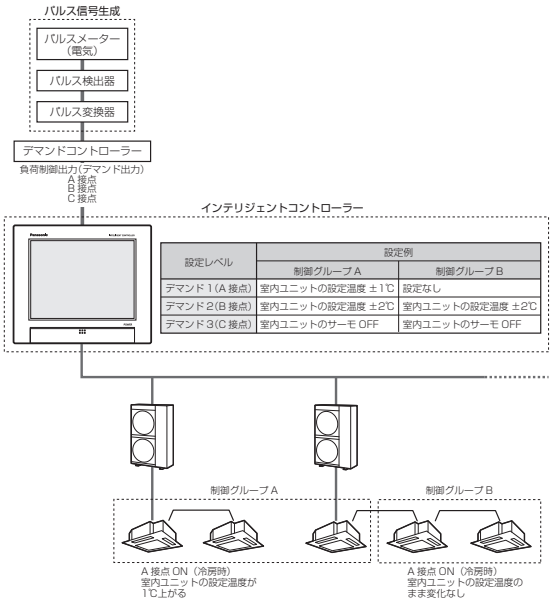
デマンド制御について

「デマンド」とは「需要電力」(30分間の平均電力)を指します。
電気の基本料金は、デマンドの最大値(最大需要電力)によって決定されます。空調負荷のかかる夏期や冬期には、この最大需要電力が発生します。
電力コスト削減のポイントは、こうした時期の最大需要電力を抑止することにあります。(電力会社との契約によっては異なる場合があります)
さらに、最大需要電力の抑止により、二酸化炭素排出量を減少させることで地球温暖化防止にもつながります。



空調機の消費電力が契約電力を超えないように常に監視し、下図のような設定レベル(デマンド1 ～ 3)に基づいて空調機の能力を制御して省エネを行うことがデマンド制御です。
本機では、外部接続機器(デマンドコントローラー)から発信される負荷制御出力(デマンド出力)によって空調機を自動制御し、最大需要電力を抑止します。

デマンド制御について(室内デマンド設定の場合)



設定レベル	設定例	
	制御グループA	制御グループB
デマンド1(A 接点)	室内ユニットの設定温度 ±1℃	設定なし
デマンド2(B 接点)	室内ユニットの設定温度 ±2℃	室内ユニットの設定温度 ±2℃
デマンド3(C 接点)	室内ユニットのサーモ OFF	室内ユニットのサーモ OFF

エコナビ機能について

エコナビセンサー（別売)で計測した人の活動量に応じて、室内ユニットが省エネ運転を行います。

人の活動量が多い場合



- **冷房・ドライ時**
  設定温度で運転します。
- **暖房時**
  設定温度より温度を低くして運転します。

人の活動量が少ない場合



- **冷房・ドライ時**
  設定温度より温度を高くして運転します。
- **暖房時**
  設定温度で運転します。

人が不在の場合



不在が約20分継続したとき
- **冷房・ドライ時**
  人の在室時より、温度を高くして運転します。
- **暖房時**
  人の在室時より、温度を低くして運転します。

不在が約1時間継続したとき
- 指定した不在運転モードで運転します。出荷設定は、設定温度を抑制した省エネ運転のまま継続します。(不在運転モードについては、エコナビセンサーの取扱説明書をご覧ください)
- 不在運転モード中に人を検知した場合、人の活動量に応じた運転状態に戻ります。

⚠ 警告　必ず守る
体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない
(体調の悪化・健康障害の原因)
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在と判定し、空調機の運転が停止することがあります。

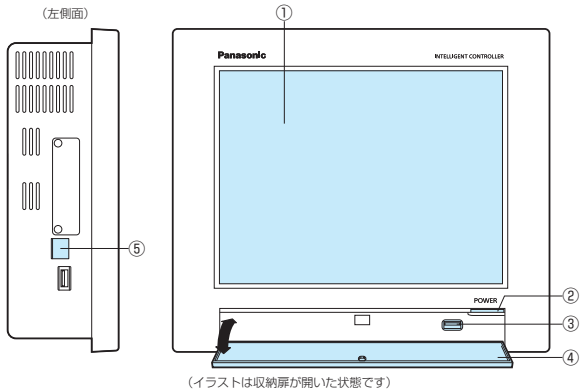
お知らせ
- エコナビ機能のオン/オフは本機で設定できます。
- エコナビ機能の詳細設定を行うには別途エコナビ機能に対応したリモコン※が必要です。詳細設定方法については、エコナビ機能対応リモコン※の取扱説明書をご確認ください。
- エコナビ機能によって目標温度が変更されても、本機に表示される設定温度は変化しません。
- 不在運転(スタンバイモード)により送風運転に切り換わっても、本機に表示される運転モードは変化しません。
- 室内ユニットを複数台運転する場合は、部屋の状況によって省エネ効果が小さくなることがあります。

※ 多機能ワイヤードリモコン(CZ-10RT4A以降)

設定前の準備

本章では、本機の各部のなまえとはたらき、基本的な使いかたなどについて説明します。

各部のなまえ



(イラストは収納扉が開いた状態です)

名前	説明
① タッチパネル付カラー液晶ディスプレイ	画面上を指でタッチすることで操作することができます。
② 電源ランプ	電源をオンにすると点灯します。
③ USB端子	本機の各データ(設定、積算・按分)をバックアップするためにUSBメモリーを抜き差しします。
④ 収納扉	USB端子にUSBメモリーを抜き差しするとき、開閉します。 開くときは、収納扉を軽く押し込み、前に倒します。 閉じるときは、収納扉を持ち上げ、軽く押し込みます。
⑤ LAN端子	ケーブルでネットワークに接続します。

本機の操作について

本機はメニューに従って操作を行います。
操作画面はいずれも共通仕様になっており、見やすく、使いやすい画面構成になっています。

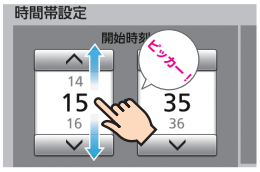
タッチパネルの基本操作

タッチパネル上で行う基本的な操作について説明します。

タッチ
タッチパネルに表示されるボタンやテキストボックスなどに指で軽く触れる操作です。



ピッカー
スピンボックスなどで、タッチパネルに触れた指を上下に移動させて設定する操作です。



スワイプ
タッチパネルに触れた指を一定方向(上下)に滑らせる操作です。
画面をゆっくりとスクロールする場合に使用します。



フリック
タッチパネルに触れた指を一定方向(上下)にはらう操作です。
画面をすばやくスクロールする場合に使用します。



ボタン・ボックスについて

タッチパネルで操作・設定を行うために、画面上にはさまざまなボタンやボックスがあります。

ボタン
おもに画面の切り換え、設定の保存、設定のオン/オフ切り換え、項目の選択などに使用します。

表示例	状態	説明
エリア 単位	設定オフ	設定されていない状態です。
エリア 単位	設定オン	設定されている状態です。
エリア 単位	設定不可	条件により設定できない状態です。

表示例	状態	説明
運転停止 停止 未選択 認証方式 LOGIN CRAM-MD5	選択	反転表示されている項目が選択されています。
運転停止 停止 未選択 認証方式 LOGIN CRAM-MD5	選択不可	条件により選択できない状態です。

チェックボックス
項目の選択や機能のオン/オフ切り換えに使用します。

表示例	状態	説明
自動停止機能 ☐ 有効	未選択	選択されていない状態です。
自動停止機能 ☑ 有効	選択	選択されている状態です。(この表示例の場合、自動停止機能が作動します) タッチするとチェックが入ります。再度タッチするとチェックが消えます。

スピンボックス
項目の表示切り換えや時間などの数値設定に使用します。

表示例	説明
制御グループ 1~5 ◀ グループ 2 ▶	▶ で次の項目を表示します。◀ で前の項目を表示します。 次のように、項目が循環表示する場合もあります。 グループ1 ⟷ グループ2 ⟷ … ⟷ グループ5
09 : 00	∧ で数値を昇方向に送ります。∨ で数値を降方向に送ります。 タッチしたままにすると、連続して数値を送ります。 次のように数値は循環表示されます。 例)「時」の場合 「(空白)」⟷「00」⟷「01」⟷ … ⟷「23」

ボタン・ボックスについて(つづき)

テキストボックス
テキスト編集に使用します。

表示例	説明
IPアドレス XXX.XXX.XXX.XXX	テキストボックスをタッチすると、ソフトキーボードが表示されます。 文字列の入力はソフトキーボードを使って行います。 文字列の入力方法については、「数字・文字列入力について」(P.200)を参照してください。

ダイアログ
画面上に表示される、おもに設定を行う画面です。
設定を登録すると、自動的に閉じられます。
設定をせずにダイアログを閉じる場合は、✕をタッチします。
(画面右上の ✕ をタッチして登録する場合もあります)



本書の表記について

本書では、メニュー名、画面名などを以下のように表記しています。

種類	表記	表記例
トップメニュー 画面名 画面の表示項目	「○○」	「状態監視」 「室内機基本」画面 「選択」欄、「運転/停止」
サブメニュー名 画面メニュー名 ボタン名	[○○]	[監視/操作] [室内機基本] [操作]

画面の見かた

操作・設定画面には共通した項目とアイコンが表示されています。
各項目とアイコンについて説明します。



名前	説明
A サブメニュー名	サブメニュー名を表示します。
B 操作/設定画面名	操作/設定画面の名称です。
C 日時	現在の日時を表示します。
D 「ホーム」アイコン	タッチすると、トップメニュー(P.18)が表示されます。
E スクロールボタン	画面右側の ▶ をタッチすると、右側にスクロールします。◀ をタッチすると、左側にスクロールします。(スクロールできる方向によって表示が変わります。)
F 「戻る」アイコン	タッチすると、ひとつ前のメニューに戻ります。
G 「警告」アイコン	タッチすると、「発生中警報一覧」画面が表示されます。(→「現在発生している警報を確認する(P.39)」)

自動リフレッシュ機能について

まれに、画面表示がリセット、またはトップメニューに戻りますが、自動リフレッシュ機能が働いたもので、故障ではありません。



メニュー一覧

1 トップメニューを選ぶ
●「省エネ」「状態監視」「設定」のタブをタッチします。

2 サブメニューを選ぶ



状態監視　（接続されたユニットの状態を確認します）

サブメニュー	画面メニュー	概要	ページ
監視/操作	室内機基本	室内ユニットの稼働状況を一覧で確認します	24
	室内機詳細	室内ユニットの詳細情報(運転回数など)を一覧で確認します	28
	熱交換気ユニット	熱交換気ユニットの設定を一覧で確認します	36
	室外機情報	室外ユニットの詳細情報(外気温度など)を一覧で確認します	33
	発生中警報一覧	現在、警報が発生しているユニット、警報内容、発生日時を一覧で確認します	39
	室内機アイコン	室内ユニットの稼働状況を室内機のアイコンで確認します	43
	レイアウト	室内ユニットの稼働状況を建物のレイアウト図面で確認します	46
スケジュール管理	スケジュール予定/実績	登録したスケジュールの予定と実績を一覧で確認します	64
	運転日モード設定	1日のスケジュールをカレンダーに割り当てます	60
	スケジュール運転時間設定	1日のスケジュールを登録します	54
	スケジュール変更	登録したスケジュール(当日～4日後の5日間のみ)を変更します	66
履歴確認	警報履歴	システム内で発生した警報履歴を一覧で確認します	69
	操作状態変化履歴	各室内ユニットの操作履歴を一覧で確認します	71
積算/按分	室内機積算	室内ユニットの積算データを一覧で確認します	75
	室外機積算	室外ユニットの積算データを一覧で確認します	77
	パルスカウント積算	パルスメーターの積算データを一覧で確認します	79
	按分データ	按分集計の詳細情報を一覧で確認します	82

省エネ　（省エネに関する設定を行います）

サブメニュー		画面メニュー	概要	ページ
省エネ設定	★	設定温度自動リターン設定	はじめに設定しておいた温度を変更しても、一定時間が過ぎると自動的に設定温度が戻ります	87
	★	消し忘れ・運転自動停止設定	設定した時刻に室内ユニットが自動停止したあと、再運転した場合でも一定間隔で自動停止を繰り返します	90
	★	設定温度範囲制限設定	温度の上限・下限を設定し、設定できる温度の範囲を制限します	93
	★	タイマー省エネ設定/効率運転設定※	時間帯を指定して運転量を抑えます	95
	★	室外静音モード設定	時間を設定して夜間の室外ユニットの運転音を昼間よりも抑えます	97
デマンド設定	★	デマンド接点登録	デマンドコントローラーと本体との接点(A接点、B接点、C接点)を登録します	99
	★	室内デマンド設定	室内ユニットを自動制御し、最大需要電力/最大ガス量をカットします	100
	★	室外デマンド設定	室外ユニットを自動制御し、最大需要電力/最大ガス量をカットします	103
	★	室内サイクリック制御設定	指定の周期(3分/4分/5分)で、順次各制御グループの室内ユニットにサーモOFF/復帰を繰り返します	108
	★	室外サイクリック制御設定	10分間隔で、順次各制御グループの室外ユニットにサーモOFF/復帰を繰り返します	112
	★	室外時間帯デマンド設定/ピークカット設定※	設定した時間帯に室外ユニットの消費電力/ガス量を抑えます	105
省エネ管理		棒グラフ	エネルギー（電気、ガス）の使用量などを棒グラフで表示します	119
		折れ線グラフ	温度変化などを折れ線グラフで表示します	123

※ ガスヒートポンプエアコンご利用の場合

設定　（各設定を行います）

サブメニュー		画面メニュー	概要	ページ
システム設定	★	按分カレンダー設定	按分計算の特定日、締め日、各曜日の按分計算の対象時間帯(時間内範囲)を設定します	161
	☆	室内ユニット設定	室内ユニットアドレス、所属グループなどの設定を行います	154
	☆	室外ユニット設定	室外ユニット(アドレスなど)の設定を行います	158
	★	スケジュールグループ名称設定	スケジュールのグループ名を編集します	164
	★	エリアグループ名称設定	エリアグループのグループ名を編集します	166
	★	按分グループ名称設定	按分グループのグループ名を編集します	168
	☆	パルスメーター設定	パルスメーターと按分グループの割り当てを行います	171
	★	按分方式設定	料金計算を行うときの按分方式を設定します	173
	★	料金計算設定	電気料金およびガス料金の単価を設定します	174
	★	イベント制御	機器の入力条件と出力条件を設定して連動的な制御を行います	175
	☆	ネットワーク設定	ネットワーク経由で遠隔操作するための設定を行います	133
	☆	メール設定	メール送信サーバーを設定します	181
	☆	Webユーザー設定	ネットワーク経由で本機にアクセスできるユーザーを登録します	135
	☆	通信アダプター設定	本機に接続されている通信アダプターを登録します	183
	☆	レイアウト登録	サービス担当者専用画面です	―
	★	レイアウト/アイコン設定	レイアウトと室内機アイコンの表示項目を設定します	185
	☆	構成の確認※	システム構成が変わったときに登録されている構成を変更します	211
バックアップ/CSV出力	★	バックアップ	各データ(設定、積算/按分、履歴)をUSBメモリーに保存します	140
	★	復元	本機内あるいはUSBメモリーにバックアップしたデータを復元します	142
	★	レイアウトバックアップ	レイアウトのデータをUSBメモリーに保存します	144
	★	レイアウト復元	USBメモリーにバックアップしたレイアウトのデータを復元します	145
	★	CSV出力	本機の設定をCSV形式でエクスポート(出力)します	147
	★	CSV入力	本機の設定をCSV形式でインポート(入力)します	149
	★	自動CSV保存	本機内に自動生成されたCSVファイル(按分、履歴)を保存します	151
本体メンテナンス	★	表示・音量設定※	本機画面の明暗調整やブザー音の調整を行います	187
	★	本体表示	本機のサービス連絡先(電話番号)を登録します	188
	★	ソフトウェアアップデート※	本機のソフトウェアのアップデートを行います	189
	☆	初期化※	本機の設定を初期化します ⃠ 初期化を行うと、すべてのデータを失うことになります。絶対に初期化を行わないでください。	190
	★	日時設定	日時を手動で設定します	192
		オープンソースライセンス	フリーソフトウェアライセンスを表示します	―
空調機メンテナンス	☆	試運転	本機設置後、室内ユニットの試運転を行います	193
	☆	空調機との通信設定	本機－空調機間の通信方式などを設定します	196
	★	保守登録	メンテナンス対象となるユニットを登録します	198

※ネットワーク経由での設定・操作はできません。

★☆印付きの画面メニューは、選んだときに暗証番号(パスワード)を入力する必要があります。
★はレベル1以上、☆はレベル2の暗証番号入力を示します。
詳しくは、「暗証番号(パスワード)入力について」(P.22)をご覧ください。

初期設定

本機の設置直後、初期設定はシステムを正常に動作させるために必要な設定項目です。
運用形態に応じ、以下のフローに従って設定を行うと、本機を正常に動作させることができます。

○：設定が必要です。　△：場合によっては設定が必要です。　×：設定は必要ありません。

手順	カテゴリステップ	設定	画面メニュー名	参照ページ	運用形態				
					空調操作のみ	按分率表示のみ		使用量・料金表示	
						時間	負荷	時間	負荷
1	日時設定	現在日時の設定	日時設定	192	○	○	○	○	○
2	構成読み込み	接続構成の確定	構成の確認	211	○	○	○	○	○
3	ユニット関連	集中アドレス※1	室内ユニット設定	154	○	○	○	○	○
		ユニット名	室内ユニット設定	154	○	○	○	○	○
		按分グループ	室内ユニット設定	154	×	○	○	○	○
		エリアグループ	室内ユニット設定	154	△※2	○	○	○	○
		制御グループ	室内ユニット設定	154	△	△	△	△	△
		操作対象外、管理対象外	室内ユニット設定	154	△	△	△	△	△
		室外ユニット名	室外ユニット設定	158	△	△	△	△	△
		リモコン禁止	空調機との通信設定	196	△	△	△	△	△
4	グループ関連	エリアグループ名称	エリアグループ名称設定	166	△※2	○	○	○	○
		按分グループ名称	按分グループ名称設定	168	×	○	○	○	○
		スケジュールグループ名称	スケジュールグループ名称設定	164	△	△	△	△	△
5	パルスメーター関連	按分グループとの関連付け	パルスメーター設定	171	×	×	×	○	○
		メーターの種類(電気/ガス)乗率(パルス単位量)	パルスメーター設定	171	×	×	×	○	○
		パルスメーター名	パルスメーター設定	171	×	×	×	△	△
6	按分関連	按分方法(時間/負荷)	按分方式設定	173	×	○	○	○	○
		電力按分計算対象※3	按分方式設定	173	×	○	○	○	○
		省エネ分振り分け設定	按分方式設定	173	×	×	△※4	×	△※4
		発電用ガス按分関連	按分方式設定	173	×	×	×	△※5	△※5
		締め日の設定	按分カレンダー設定	161	△※6	○	○	○	○
		時間内範囲の設定	按分カレンダー設定	161	×	△	△	△	△
		特定日の設定	按分カレンダー設定	161	×	△	△	△	△
		電気/ガス料金単価※7	料金計算設定	174	×	×	×	△	△
		室内ユニット能力の設定※8	室内ユニット設定	154	×	△	×	△	×
		電気ヒーター容量の設定※9	室内ユニット設定	154	×	×	△	×	△

※1 システムコントローラーやマルチコントローラーなどと併用する場合の管理区分に注意する必要があります。
※2 エリア管理を行う場合は設定が必要です。
※3 電力按分の計算対象は以下から選んでください。

運転時間	室内ユニットの電力を考慮する場合に選びます。室外ユニット、室内ユニット両方の電力を本機に取り込んで按分します。
サーモON時間	室内ユニットの電力を考慮しない場合に選びます。室外ユニットの電力のみを本機に取り込んで按分します。

※4 空調機に冷暖フリー機種や氷蓄熱機種を含む場合のみ設定が必要です。
※5 発電機能付きGHPの場合のみ設定が必要です。
※6 運転積算時間だけを管理する場合は設定が必要です。
※7 料金表示をする場合は必ず設定してください。
※8 ローカルアダプターに対してのみ設定が必要です。(→「ローカルアダプター（別売）について」(P.210))
※9 負荷按分時の計算に使用されます。

暗証番号(パスワード)入力について

本機をご使用の場合

「メニュー一覧」(P.18、P.19)で、★☆印の付いている画面メニューは、セキュリティ上、ご使用するために暗証番号を入力する必要があります。

① 画面メニューをタッチすると、暗証番号入力画面が表示されます。



② 暗証番号を入力します。
- 所有する暗証番号のレベルによっては、画面メニューに入れない場合があります。

ブラウザをご使用の場合

ユーザーレベルによって、表示されない画面メニューがあります。
アクセス方法については、「遠隔操作を行う」(P.138)をご覧ください。
アクセス後にも画面メニューによっては暗証番号を入力する必要があります。
暗証番号の入力については、上記「本機をご使用の場合」をご覧ください。

空調機の操作、状態を確認する

監視/操作

本章では、空調機(室内ユニット、室外ユニット)の設定状態の確認方法について説明します。

本機は、室内ユニットの操作や確認、室内ユニットまたは室外ユニットの稼働状態を確認したりすることができます。
また、システム内で発生している警報を一覧で確認することもできます。

画面メニュー	概要	ページ
室内機基本	室内ユニットの稼働状況を一覧で確認します	24
室内機詳細	室内ユニットの詳細情報(運転回数など)を一覧で確認します	28
熱交換気ユニット	熱交換気ユニットの設定を一覧で確認します	36
室外機情報	室外ユニットの詳細情報(外気温度など)を一覧で確認します	33
発生中警報一覧	現在、警報が発生しているユニット、警報内容、発生日時を一覧で確認します	39
室内機アイコン	室内ユニットの稼働状況を室内機のアイコンで確認します	43
レイアウト	室内ユニットの稼働状況を建物のレイアウト図面で確認します	46

室内ユニットの設定状態を確認する

本機に接続されているすべての室内ユニットの設定状態を一覧で確認できます。表示をエリアごとに切り換えることもできます

お知らせ
- 本設定の前に、表示するエリアの登録と、そのエリアに室内ユニットを登録する必要があります。
「エリアグループの名称を変更する」(P.166～167)を行った後、「室内ユニットの基本設定を行う」(P.154～157)を行ってから、本設定を行ってください。

1 「状態監視」の[監視/操作]をタッチする



2 [室内機基本]をタッチする

●「室内機基本」画面が表示されます。



3 設定状態を確認する(P.25)



お知らせ
- 室内ユニットを選んで設定を変更することができます。
(→「室内ユニットの操作をする」(P.26))

表示するエリアを選ぶ

1 [エリア表示]をタッチする

●「エリア選択」ダイアログが表示されます。



2 表示するエリアを選ぶ

●エリアグループ(P.166)を9以上登録している場合は、スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。
●「エリア選択」ダイアログが閉じられ、選んだエリアの設定状態が一覧表示されます。



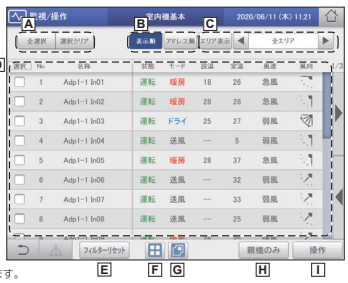
「室内機基本」画面

A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室内ユニットの選択をすべて解除します。

B：一覧の表示順を変更します。

表示順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定した表示順に従って表示されます。
アドレス順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定したアドレスの順番に従って表示されます。



C：一覧に表示するエリアを選びます。
◀ ▶をタッチすると、エリアが切り換わります。[エリア表示]をタッチすると、「エリア選択」ダイアログが表示されます。
(→「表示するエリアを選ぶ」(P.24))
([全エリア]→[エリア1]→[エリア2]→…→[エリアXXX※]→[全エリア])
※"XXX"は登録されているエリアの最終番号を示します。

D：室内ユニットの設定状態を一覧表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。
- 項目名をタッチするたびに昇順(▲)、降順(▼)に並べ替えることができます。
- 機種によっては表示されない項目もあります。

項目	説明
[選択]	操作する室内ユニットにチェックを入れます。
名称	室内ユニットの名称を表示します。 名前の右にアイコンが表示されているときは、何らかの事態が発生していることを示しています。(警報表示) ：室内ユニットのフィルター清掃が必要　⚠：警報発生
状態	現在の動作状態(運転/停止)を表示します。(P.26)
モード	現在の運転モード(暖房/ドライ/冷房/送風/冷暖自動)を表示します。(P.26)
設温	現在の設定温度を表示します。(P.27)
室温	現在の室内温度を表示します。
風速	現在の風速(急風/強風/弱風/風速自動)を表示します。(P.27)
風向	現在の風向を表示します。(P.27)
禁止	リモコン操作の「許可」「禁止1」～「禁止4」を表示します。(P.27)
スケジュール	スケジュールの設定状態(有/無/停止)を表示します。 有：スケジュールを設定している状態を示します。 無：スケジュールを設定していない状態を示します。 停止：スケジュールは設定していますが、室内ユニットの電源を切っているなどスケジュールが起動していない状態を示します。
省エネ	省エネ設定を実行しているときは「●」を表示します。(P.27)
エコナビ	エコナビ設定を実行しているときは「ECONAVI」を表示します。(エコナビ機能搭載機種のみ)(P.27)
e-CUT	e-CUT機能を実行しているときは「●」を表示します。

E：フィルターの清掃終了後、タッチしてフィルターのアイコン表示を解除します。
F：タッチすると、「室内機アイコン」画面に切り換わります。
G：タッチすると、「レイアウト」画面に切り換わります。
H：タッチすると、親機のみ表示します。
I：Dで選んだ室内ユニットの「設定変更」ダイアログを表示します。
「設定変更」画面では、選んだ室内ユニットの設定を変更できます。(→「室内ユニットの操作をする」(P.26))
- 室内ユニットの機種によって設定できる項目が異なる場合があります。
- 複数のユニットを選んだ場合は、共通する設定項目が「設定変更」ダイアログに表示されます。

室内ユニットの操作をする

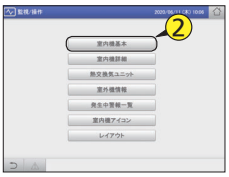
室内ユニットを選んで運転/停止や設定温度などの操作ができます。操作は「設定変更」ダイアログで行います。
複数の室内ユニットを選んで同じ設定で運転することもできます。

1 「状態監視」の[監視/操作]をタッチする



2 [室内機基本]をタッチする

●「室内機基本」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れる

●設定を変更する室内ユニットを選びます。
●[全選択]をタッチすると、一括で操作できます。



4 [操作]をタッチする

●「設定変更」ダイアログが表示されます。



お知らせ

- 「設定変更」ダイアログは、室内ユニットの機種によって設定できる項目が異なる場合があります。
- 複数のユニットを選んだ場合は、共通する設定項目が「設定変更」ダイアログに表示されます。

5 操作内容を選ぶ



共通表示部　　操作表示部

共通表示部から設定項目を選び、操作表示部で操作を設定します。

項目	説明
運転/停止	運転の開始/停止を設定します。 1) [運転/停止]をタッチします。 2) [運転]/[停止]を選びます。
運転モード※	運転モードを設定します。 1) [運転モード]をタッチします。 2) 運転モード(暖房)、(ドライ)、(冷房)、(送風)、(冷暖自動))を選びます。

※一括でモードを切り替えるときは、いったん全停止してからモードを切り替えて数分間待ち、その後運転してください。

次ページに続く

項目	説明
設定温度	温度を設定します。 1) [設定温度]をタッチします。 2) で温度を設定します。(±1℃単位) <設定できる範囲> • 冷房、ドライ：18℃～30℃ • 暖房：16℃～30℃※1 • 冷暖自動：17℃～27℃ ※1一部の機種の上限温度は26℃です。
風速	風の強さを設定します。 1) [風速]をタッチします。 2) 風速((急風)、(強風)、(弱風)、(風速自動))を選びます。
風向※2	風の向きを設定します。 1) [風向]をタッチします。 2) お好みの位置((F1)、(F2)、(F3)、(F4)、(F5)、(スイング))にフラップを設定します。 スイング中に をタッチすると、お好みの位置でフラップを止められます。 • 暖房・送風・冷暖自動(暖房)時は5段階、冷房・ドライ時は3段階の調整になります。 • 風向設定できない機種の場合は「スイング」/「停止」のみになります。
手元禁止※3	手元リモコンの許可/禁止を設定します。 1) [手元禁止]をタッチします。 2) で「許可」/「禁止1」～「禁止4」を選びます。 許可：リモコンでの操作を許可します。 禁止1～4：リモコンでの操作を制限します。禁止内容は変更できます。(→P.197) ※熱交換気ユニットは「運転/停止」の手元禁止のみ利用可能です。
省エネ	省エネ運転の有効/無効を設定します。 1) [省エネ]をタッチします。 2) 「有効」/「無効」を選びます。
	エコナビ設定の有効/無効を設定します。 1) をタッチします。 2) 「有効」/「無効」を選びます。

※2 インテリジェントコントローラーに表示している風向は、実際の角度とは異なります。
※3 リモコン使用の禁止・許可(出荷設定)

	運転/停止	運転モード	設定温度	風速	風向	省エネ
許可	○	○	○	○	○	○
禁止1	×	○	○	○	○	○
禁止2	×	×	×	○	○	○
禁止3	○	×	×	○	○	○
禁止4	○	×	○	○	○	○

○：リモコンで設定・操作できる
×：リモコンで設定・操作できない

6 [送信]をタッチする

●操作内容を室内ユニットに送ります。
●設定の変更が登録され、「設定変更」ダイアログが閉じられます。
●操作を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ

- 設定温度の上限値(あるいは下限値)で (あるいは)をタッチすると、設定値は空白(設定なし)になります。設定をしないときは空白にします。
さらに、(あるいは)をタッチすると、下限値(あるいは上限値)が表示されます。

例)上限値30℃、下限値18℃(冷房)の場合

：
19℃
18℃(下限値)
(空白)
30℃(上限値)
29℃
：

室内ユニットの稼働状態を確認する

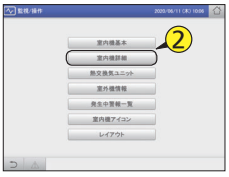
室内ユニットの稼働状態(フィルター残時間、運転回数など)を一覧で確認できます。
換気システムやデマンド制御の設定(ON/OFFのみ)を変更することもできます。

1 「状態監視」の[監視/操作]をタッチする



2 [室内機詳細]をタッチする

●「室内機詳細」画面が表示されます。



3 設定の詳細を確認する(P.29)



お知らせ

- 室内ユニットを選んで換気出力の設定を変更することができます。(→「換気出力の設定を変更する」(P.30))
- 室内ユニットを選んでデマンド制御の設定を変更することができます。(→「デマンド制御の設定を変更する」(P.31))

「室内機詳細」画面

A：[全選択]/[選択クリア]ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室内ユニットの選択をすべて解除します。

B：一覧の表示順を変更します。タッチするたびに切り換わります。

アドレス順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定したアドレスの順番に従って表示されます。
表示順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定した表示順に従って表示されます。
室外機順	「室外ユニット設定」(P.158)で設定した室外ユニットの表示順に従って表示されます。



C：室内ユニットの詳細を一覧表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。

項目	説明
[選択]	換気設定あるいはデマンド設定をするユニットにチェックを入れます。
名称	室内ユニットの名称を表示します。 名称は変更できます。(→「室内ユニット設定」(P.154))
フィルター残時間	が表示されるまでの目安時間を表示します。 グループ制御の子機は、「- -」表示になります。 対応室内ユニットのみ表示します。
運転回数	運転回数を表示します。
デマンド	デマンド制御の設定状態を表示します。デマンド制御を設定しているときは「ON」と表示されます。(→「室内ユニットのデマンド設定を行う」(P.100))
サーモ	サーモスタットの作動状況を表示します。サーモスタットが作動しているときは「ON」と表示されます。
ファン	ファンの実際の風量(5速(急)/4速/3速(強)/2速/1速(弱)/微風/停止)を表示します。
吸込温度	現在の吸込温度を表示します。
吹出温度	現在の吹出温度を表示します。
換気出力	換気出力の設定(ON/OFF)を表示します。

D：換気出力の設定を変更します。
タッチすると、「換気設定」ダイアログが表示されます。(→「換気出力の設定を変更する」(P.30))

運転(ON)	換気出力の運転を開始します。
停止(OFF)	換気出力の運転を停止します。

E：デマンド制御の設定を変更します。
タッチすると、「デマンド設定」ダイアログが表示されます。(→「デマンド制御の設定を変更する」(P.31))

設定(ON)	デマンド制御を設定します。
解除	デマンド制御を解除します。

F：表示されている室内機詳細をCSV形式で出力(保存)します。(→「CSVファイルとして出力(保存)する」(P.32))

換気出力の設定を変更する

1 「選択」欄にチェックを入れる

●設定を変更する室内ユニットを選びます。
●室内ユニットは複数選ぶこともできます。



2 [換気設定]をタッチする

●「換気設定」ダイアログが表示されます。



3 設定を変更する

●設定が登録され、「換気設定」ダイアログが閉じられます。



デマンド制御の設定を変更する

デマンド制御の設定/解除を切り換えます。デマンド制御については、「室内ユニットのデマンド設定を行う」(P.100)を参照してください。

1 「選択」欄にチェックを入れる

●設定を変更する室内ユニットを選びます。
●室内ユニットは複数選ぶこともできます。



2 [デマンド設定]をタッチする

●「デマンド設定」ダイアログが表示されます。



3 設定を変更する

●確認のメッセージが表示されます。

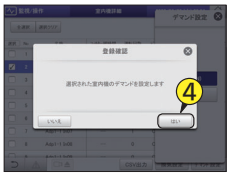


お知らせ

●この設定は「室内デマンド設定」に連携しています。(→「室内ユニットのデマンド設定を行う」(P.100))

4 [はい]をタッチする

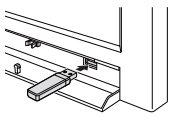
●設定が登録されます。



CSVファイルとして出力(保存)する

下記の画面は、「室内機詳細」の画面です。
「室外機情報」、「室内機積算」、「室外機積算」、「パルスカウント積算」、「警報履歴」のCSVファイルの出力(保存)方法は、「室内機詳細」と同じです。

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する



2 [CSV出力]をタッチする

●確認画面が表示されます。



3 [OK]をタッチする

●現在表示されている内容がCSV形式でUSBメモリーに保存されます。
●保存が終了すると、保存終了の確認メッセージが表示されます。

4 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする

●「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージが表示されます。[OK]をタッチしたあとでUSBメモリーを取り外してください。
●USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



室外ユニットの稼働状態を確認する

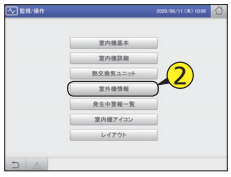
室外ユニットの詳細情報(外気温度、デマンド設定状態など)を一覧で確認できます。
室外ユニットを選んでデマンド制御の設定(ON/OFFのみ)を変更することもできます。

1 「状態監視」の[監視/操作]をタッチする



2 [室外機情報]をタッチする

●「室外機情報」画面が表示されます。



3 設定の詳細を確認する(P.34)



お知らせ

●室外ユニットを選んでデマンド制御の設定を変更することができます。(→「デマンド制御の設定を変更する」(P.35))

「室外機情報」画面



A：[全選択]/[選択クリア]ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室外ユニットの選択をすべて解除します。

B：室外ユニットの詳細を一覧表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。

項目	説明
[選択]	デマンド制御を設定するユニットにチェックを入れます。
名称	室外ユニットの名称を表示します。 名称は変更できます。(→「室外ユニットの基本設定を行う」(P.158))
外気温度	外気温度を表示します。
デマンド	デマンド制御の現在の状態を表示します。 (→「室外ユニットのデマンド設定を行う」(P.103))
蒸発温度	蒸発温度制御レベル(なし/Lv1/Lv2/Lv3)を表示します。
静音	室外静音モードの作動状況を表示します。オフィス・店舗用エアコンの場合、2015年製以降のS-LINKアダプター（CZ品番）でないと、対応しておりません。 (→「室外ユニットの騒音を抑える」(P.97))
オイル交換後運転時間	オイル交換後の運転時間を表示します。 (ガスヒートポンプ使用時のみ)
オイル点検サイン	エンジンオイルの点検サインを表示します。 (ガスヒートポンプ使用時のみ) • サインが表示されている場合は、お買い上げの販売店またはサービス会社にオイル交換を依頼してください。
インバーター発電瞬時値(kW)	ソーラーリンクエクセルあるいはハイパワーエクセルのインバーター発電瞬時値の現在値を表示します。
ソーラー発電瞬時値(kW)	ソーラーリンクエクセルのソーラー発電瞬時値の現在値を表示します。

C：デマンドを変更します。
タッチすると、「デマンド運転範囲」ダイアログを表示します。
(→「デマンド制御の設定を変更する」(P.35))

D：表示されている室外機情報をCSV形式で出力(保存)します。(→「CSVファイルとして出力(保存)する」(P.32))

デマンド制御の設定を変更する

1 「選択」欄にチェックを入れる

●設定を変更する室外ユニットを選びます。
●室外ユニットは複数選ぶこともできます。



2 [デマンド設定]をタッチする

●「デマンド運転範囲」ダイアログが表示されます。



3 デマンド運転範囲を設定する



[設定無し]	デマンド運転の設定を解除します。
[強制停止]	デマンド運転を強制的に停止します。
[運転XX%](デマンド値)	で選んでいる室外ユニットで設定可能なデマンド値を選びます。 • 複数の室外ユニットを選んでいる場合は、共通するデマンド値が表示されます。

4 [送信]をタッチする

●設定が変更され、「デマンド運転範囲」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。

熱交換気ユニットの設定を確認する

空調システムに組み込まれたすべての熱交換気ユニットの設定を一覧で確認できます。
熱交換気ユニットの設定を変更することもできます。

このシステムで使用できる熱交換気ユニットは以下のとおりです。
• 天井埋込形　MZD8シリーズ以降(マイコンタイプ)
• 天吊カセット形　MZB8シリーズ以降(マイコンタイプ)

1 「状態監視」の[監視/操作]をタッチする



お知らせ
●熱交換気ユニットを選んで設定を変更することができます。(→「設定を変更する(P.38)」)

2 [熱交換気ユニット]をタッチする

●「熱交換気ユニット」画面が表示されます。



3 設定を確認する(P.37)



「熱交換気ユニット」画面



A：[全選択]/[選択クリア]ボタン

[全選択]	すべての熱交換気ユニットを選びます。
[選択クリア]	熱交換気ユニットの選択をすべて解除します。

B：熱交換気ユニットの詳細を一覧表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。

項目	説明
[選択]	操作するユニットにチェックを入れます。 複数の熱交換気ユニットを同じ設定で操作する場合は、対象となるユニットにチェックを入れます。
名称	熱交換気ユニットの名称を表示します。 警報が発生している場合に ⚠ が表示されます。
フィルター	フィルター清掃が必要な場合に 🔳 が表示されます。
運転	現在の運転状況を表示します。
換気モード	現在の換気モード(自動換気/熱交換気/普通換気)を表示します。 自動換気：室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り換えます。 熱交換気：外気を室温に近づけて取り入れます。 普通換気：外気をそのまま取り入れます。
風量	現在の換気風量を表示します。
禁止	手元リモコンの設定を表示します。 ※熱交換気ユニットは「運転/停止」の手元禁止のみ利用可能です。
24時間換気	24時間換気を設定している場合は「○」、設定していない場合は「×」が表示されます。
ナイトパージ※	ナイトパージ機能を設定している場合は「○」、設定していない場合は「×」が表示されます。
室温	現在の室内温度を表示します。

※ エアコン停止後、室内の熱気を自動感知して排出すると同時に屋外の冷気を取り込んで外気冷房する機能です。

C：フィルター清掃後にタッチすると、🔳 がクリアされます。

D：選択した熱交換気ユニットの設定を変更します。(→「設定を変更する」(P.38))

設定を変更する

1 「選択」欄にチェックを入れる

- 設定を変更する熱交換気ユニットを選びます。
- チェックは複数入れることができます。複数選択した熱交換気ユニットは、すべて同じ設定で動作します。



2 [操作]をタッチする

- 「設定変更」ダイアログが表示されます。



3 各設定を行う



共通表示部から設定項目を選び、操作表示部で操作を設定します。

項目	説明
運転/停止	1) [運転/停止]をタッチします。 2) 「運転」「停止」を選びます。
運転モード	1) [運転モード]をタッチします。 2) (普通換気)、(熱交換気)、(自動換気)を選びます。
風速	1) [風速]をタッチします。 2) (強風)、(弱風)を選びます。
手元禁止	1) [手元禁止]をタッチします。 2) 「許可」、「禁止1～4」を選びます。 ※熱交換気ユニットは「運転/停止」の手元禁止のみ利用可能です。
ナイトパージ	1) [ナイトパージ]をタッチします。 2) 「有効」「無効」を選びます。
24時間換気	1) [24時間換気]をタッチします。 2) 「有効」「無効」を選びます。

4 [送信]をタッチする

- 設定が登録され、「設定変更」ダイアログが閉じられます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



現在発生している警報を確認する

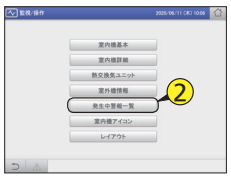
現在、空調システム内で警報が発生している室内ユニット名称、警報コード、発生/復旧日時を一覧で確認できます。警報一覧をCSV出力したり、警報履歴を確認したりすることもできます。

1 「状態監視」の[監視/操作]をタッチする



2 [発生中警報一覧]をタッチする

- 「発生中警報一覧」画面が表示されます。



3 発生中の警報を確認する(P.40)



「発生中警報一覧」画面

A：警報発生通知のブザーを停止します。

B：条件(ユニット名称、期間)を設定して警報を検索します
(→「警報を検索する」(P.41))

C：現在発生中の警報を一覧表示します。スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。

項目	説明
名称	現在警報が発生しているユニット名が表示されます。
警報コード	現在発生している警報内容が表示されます。
発生/復旧日時	警報が発生した日時が表示されます。

D：表示されている警報一覧をCSV形式で出力(保存)します。
(→「警報一覧をCSV形式で出力(保存)する」(P.42))

E：タッチすると、「警報履歴」画面が表示されます。(→「警報履歴一覧を確認する」(P.69))



お知らせ

- 警報発生中は画面がブラックアウトしません。
- 画面がブラックアウト中に警報が発生すると、画面が復帰し、ブザー音が鳴ります。(消音設定以外の場合)

警報を検索する

1 [表示条件]をタッチする

- 「表示条件」画面が表示されます。



2 条件を設定する



項目	説明
名称	検索対象となるユニット名称を一覧から選びます。
期間の設定	検索対象となる期間(最初、最後)をそれぞれ設定します。上が期間の最初、下が期間の最後になります。 ①[設定]をタッチする • 「日時設定」ダイアログが表示されます。 ②日時を設定する • で「年」「月」「日」「時」「分」「秒」を設定します。 ③[OK]をタッチする • 設定が登録され、「日時設定」ダイアログが閉じられます。 • 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。
[最新情報表示]	タッチすると、設定した期間がクリアされ、最新100件の警報が表示されます。

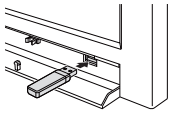
3 [表示]をタッチする

- 表示条件に合致した警報が一覧表示されます。
- 検索を取り消すときは、[キャンセル]をタッチします。



警報一覧をCSV形式で出力(保存)する

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する



2 [CSV出力]をタッチする

●確認画面が表示されます。



3 [OK]をタッチする

●現在表示されている警報一覧がCSVファイルとしてUSBメモリーに出力(保存)されます。
●保存が終了すると、保存終了の確認メッセージが表示されます。
●CSVファイルは「icxi/csv/almlist」フォルダ内に出力(保存)されます。
(出力されるファイル名の一例)
al_20160518.csv

4 USBメモリーを取り外すときは、 をタッチする

●「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージが表示されます。[OK]をタッチしたあとでUSBメモリーを取り外してください。
●USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



室内ユニットを室内機アイコンで確認する

本機に接続されているすべての室内ユニットの設定状態を「室内機アイコン」画面で確認できます。表示をエリアごとに切り換えることもできます。

お知らせ
- 本設定の前に、表示するエリアの登録と、そのエリアに室内ユニットを登録する必要があります。「エリアグループの名称を変更する」(P.166～167)を行った後、「室内ユニットの基本設定を行う」(P.154～157)を行ってから、本設定を行ってください。

1 「状態監視」の[監視/操作]をタッチする



2 [室内機アイコン]をタッチする

●「室内機アイコン」画面が表示されます。



3 設定状態を確認する(P.44)



お知らせ
- 室内ユニットを選んで設定を変更することができます。(→「室内ユニットの操作をする」(P.26手順5))

表示するエリアを選ぶ

1 [エリア選択]をタッチする

●「エリア選択」ダイアログが表示されます。



2 表示するエリアを選ぶ

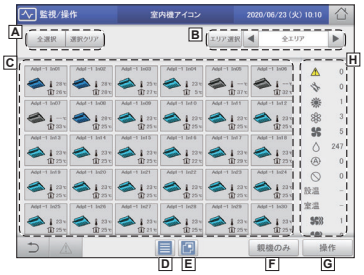
●エリアグループ(P.166)を9以上登録している場合は、スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。
●「エリア選択」ダイアログが閉じられ、選んだエリアの設定状態が一覧表示されます。



「室内機アイコン」画面

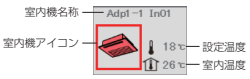
A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室内ユニットの選択をすべて解除します。



B：一覧に表示するエリアを選びます。
◀ ▶ をタッチすると、エリアが切り換わります。[エリア選択]をタッチすると、「エリア選択」ダイアログが表示されます。(→「表示するエリアを選ぶ」(P.43))
([全エリア]→[エリア1]→[エリア2]→……→[エリアXXX※]→[全エリア])
※"XXX"は登録されているエリアの最終番号を示します。

C：室内ユニットの設定状態を室内機のアイコンで表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。
• 機種によっては表示されない項目もあります。



室内機アイコンをタッチすると赤枠で表示されます。複数のユニットを選ぶことができます。

室内機アイコン運転状態
運転状態を色で表示します。
凡例)

停止	暖房	送風	警報
冷房	自動	ドライ	保守

室内機アイコン一覧
使用しているユニットの形状を表示します。

1方向天井カセット形	2方向天井カセット形	4方向天井カセット形	天井ビルトインカセット型
ビルトインオールダクト型	天井埋込形高静圧	天井吊形	壁掛形
天吊形厨房用エアコン	ペリメーター用床置形	床置形	床置プレナム・ダクト形
壁ビルトイン型	直膨コイル付き外気処理ユニット	ローカルアダプター	全熱交換機

D：タッチすると、「室内機基本」画面に切り換わります。
E：タッチすると、「レイアウト」画面に切り換わります。
F：タッチすると、親機のみを表示します。
G：Cで選んだ室内ユニットの「設定変更」ダイアログを表示します。
「設定変更」画面では、選んだ室内ユニットの設定を変更できます。(→「室内ユニットの操作をする」(P.26手順5))
• 室内ユニットの機種によって設定できる項目が異なる場合があります。
• 複数のユニットを選んだ場合は、共通する設定項目が「設定変更」ダイアログに表示されます。
H：情報表示エリアに、全室内ユニットの稼働状況を表示します。
情報表示エリアのアイコンをタッチすると、同じ運転状態の室内機アイコンのみが表示されます。

情報表示項目

項目	表示	説明	項目	表示	説明	項目	表示	説明
警報		警報発生	風速		強風	手元禁止	許可	リモコン許可
保守		保守登録			弱風		禁止	リモコン禁止
運転状態		暖房			風速自動		禁止1	リモコン禁止1
		冷房	風向		F1		禁止2	リモコン禁止2
		送風			F2		禁止3	リモコン禁止3
		ドライ			F3		禁止4	リモコン禁止4
		冷暖自動			F4	スケジュール	ｽｹｼﾞｭｰﾙ	当日スケジュール有効
		停止			F5	省エネ	省ｴﾈ	省エネ運転有効
設定温度	設温	設定温度			スイング	エコナビ	ECONAVI	エコナビ設定有効
室内温度	室温	室内温度			スイング停止	e-CUT	e-Cut	e-CUT機能設定有効
風速		急風						

室内ユニットをレイアウトで確認する

本機に接続されているすべてのユニットの設定状態を、レイアウト図面で確認できます。
表示をエリアごとに切り換えることもできます。

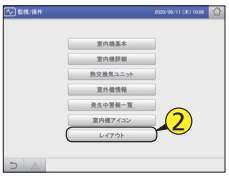
お知らせ
- 本設定の前に、表示するレイアウト図面の登録と、そのレイアウト図面に室内ユニットを登録する必要があります。

1 「状態監視」の[監視/操作]をタッチする

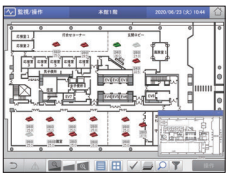


2 [レイアウト]をタッチする

●「レイアウト」画面が表示されます。



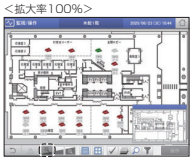
3 設定状態を確認する(P.47)



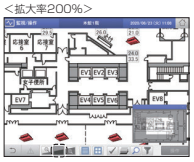
「レイアウト」画面

A：3段階の拡大率のボタンで、
画面の表示サイズが変更できます。

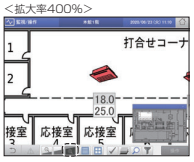
<拡大率100%>



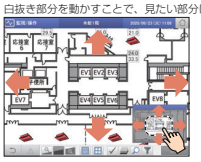
<拡大率200%>

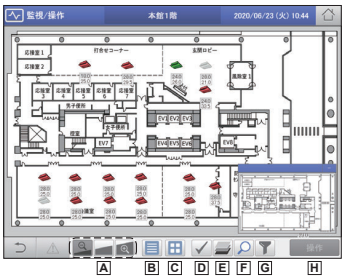


<拡大率400%>



白抜き部分を動かすことで、見たい部分に移動できます。





B：タッチすると、「室内機基本」画面に切り換わります。(P.24)

C：タッチすると、「室内機アイコン」画面に切り換わります。(P.43)

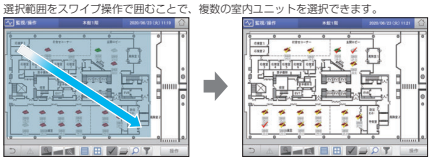
次ページに続く

「レイアウト」画面

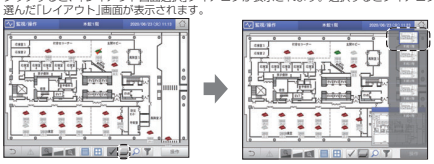
D：室内ユニットの操作が可能になります。
- 操作したい室内ユニットをタッチすると、チェックが付き選択状態となります。複数選ぶこともできます。
- [操作]をタッチすると、「設定変更」ダイアログが表示され、選んだ室内ユニットの設定を変更できます。



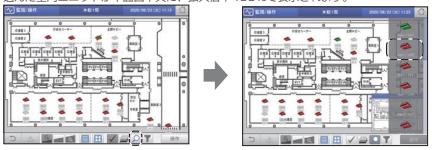
- 選択範囲をスワイプ操作で囲むことで、複数の室内ユニットを選択できます。



E：表示したいレイアウト図面を選びます。
- タッチすると、「レイアウト図面選択」ダイアログが表示されます。選択するとダイアログが消え、選んだ「レイアウト」画面が表示されます。



F：室内ユニットを検索します。
- タッチすると、「室内ユニット選択」ダイアログが表示されます。選択するとダイアログが消え、選んだ室内ユニットが平面図中央に、拡大倍率400%で表示されます。



次ページに続く

「レイアウト」画面

G：室内ユニットフィルタを設定します。
- 設定した条件に合致した室内ユニットだけが表示されます。



H：Dで選んだ室内ユニットの「設定変更」ダイアログを表示します。
「設定変更」画面では、選んだ室内ユニットの設定を変更できます。(→「室内ユニットの操作をする」(P.26))
- 室内ユニットの機種によって設定できる項目が異なる場合があります。
- 複数のユニットを選んだ場合は、共通する設定項目が「設定変更」ダイアログに表示されます。

室内機アイコン

「レイアウト」画面アイコン表示説明


室内機アイコン

18.0 設定温度
25.0 室内温度

室内機アイコン運転状態
運転状態を色で表示します。
凡例)

停止	暖房	送風	警報
冷房	自動	ドライ	保守

室内機アイコン一覧
使用しているユニットの形状を表示します。

1方向天井カセット形	2方向天井カセット形	4方向天井カセット形	天井ビルトインカセット型
ビルトインオールダクト型	天井埋込形高静圧	天井吊形	壁掛形
天吊形厨房用エアコン	ペリメーター用床置形	床置形	床置プレナム・ダクト形
壁ビルトイン型	直膨コイル付き外気処理ユニット	ローカルアダプター	全熱交換機

スケジュールを設定する

スケジュール管理

本章では、スケジュールの設定方法について説明します。

1日のスケジュールをパターンとして登録し、カレンダー上の日付に割り当てます。
室内ユニットはグループでも個別でも登録できます。

画面メニュー	概要	ページ
スケジュール予定/実績	登録したスケジュールの予定と実績を一覧で確認します	64
運転日モード設定	1日のスケジュールをカレンダーに割り当てます	60
スケジュール運転時間設定	1日のスケジュールを登録します	54
スケジュール変更	登録したスケジュール(当日～4日後の5日間のみ)を変更します	66

スケジュール設定の流れ

本システムでは、室内ユニットごとにスケジュールを設定し、自動的に稼働させることができます。

スケジュールは月単位で2年先まで設定することができます。

また、同じスケジュールで稼働する室内ユニットを"スケジュールグループ"として登録することもできます。

スケジュールは、以下のフローに従って設定します。

1 スケジュールを設定する

●「スケジュールを設定する」(P.54)

室内ユニットのスケジュールを登録します。
- スケジュール登録時、「運転日モード」を決めて設定を行います。運転日モードは全部で50種類登録できます。

「運転日モード」とは

室内ユニット(個別あるいはスケジュールグループ)のスケジュールパターンを「運転日モード」といいます。
運転日モードには、曜日、休日、祝日や季節などの違いによってスケジュールのパターンを変えて登録します。

運転日モードの設定例

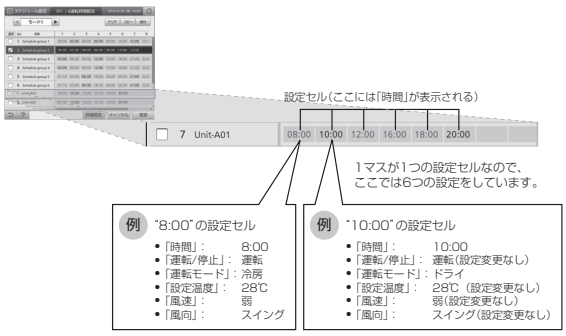
- 平日(月曜日～金曜日)の運転日モード(「モード1」)
- 土曜日の運転日モード(「モード2」)
- 日曜日の運転日モード(「モード3」)

※ スケジュールグループ:同じスケジュールで稼働する室内ユニットをグループ登録したものです。
スケジュールグループへの登録は「室内ユニットの基本設定を行う」(P.154)で行います。

「設定セル」とは

スケジュールを設定するには、操作を「設定セル」に登録する必要があります。「設定セル」はスケジュールを構成する操作の最小単位です。
「設定セル」には、「時間」「運転/停止」「運転モード」「設定温度」「風速」「風向」「手元リモコン」「省エネ設定」の設定を登録します。操作を変更するたび(たとえば、「運転」から「停止」に切り換えるなど)に、別の「設定セル」を登録します。
この「設定セル」を時系列に並べたものがスケジュールになります。

下記は、ある室内ユニットのスケジュール設定例です。

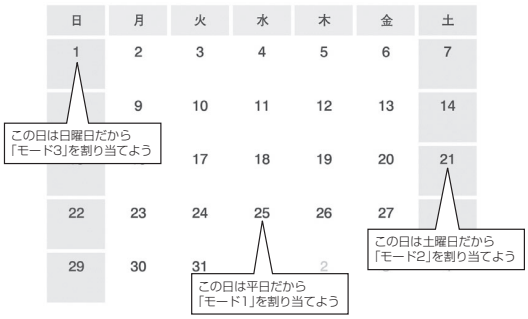


スケジュールの設定方法をまとめると、以下のようなフローになります。

①スケジュールを登録する運転日モードを選ぶ
↓
②室内ユニットあるいはスケジュールグループを選ぶ
↓
③スケジュールを設定する
↓
④設定を登録する

2 スケジュールをカレンダーの日付に割り当てる

●「スケジュールをカレンダーに割り当てる」(P.60)



スケジュールを設定する

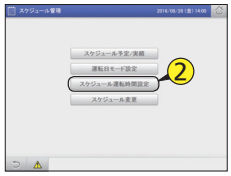
室内ユニットあるいはスケジュールグループのスケジュールを「運転日モード」に登録します。

1 「状態監視」の［スケジュール管理］をタッチする



2 ［スケジュール運転時間設定］をタッチする

●「スケジュール運転時間設定」画面が表示されます。



3 ◀ ▶ で運転日モードを選ぶ



4 「選択」欄にチェックを入れる

●設定する室内ユニットまたはスケジュールグループを選びます。



5 ［詳細設定］をタッチする

●「スケジュール詳細設定」画面が表示されます。



お知らせ

- 熱交換気ユニットはスケジュール設定はできません。

次ページに続く

6 設定セルを登録する

●①～③を繰り返して設定セルを登録します。

① ［新規追加］をタッチする

●「編集」ダイアログが表示されます。
●「編集」ダイアログでは、「時間」「運転/停止」「運転モード」「温度設定」「風速」「風向」「手元リモコン」「省エネ」の設定を行います。



② 各設定を行う



項目	説明
時間	操作の設定時間を設定します。 1）［時間］をタッチします。 2）▲ ▼ で「時」「分」を設定します。
運転/停止	運転の開始/停止を設定します。 1）［運転/停止］をタッチします。 2）「運転」「停止」を選びます。
運転モード	運転モードを設定します。 1）［運転モード］をタッチします。 2）運転モード（暖房）、（ドライ）、（冷房）、（送風）、（冷暖自動））を選びます。

項目	説明
温度設定	温度を設定します。 1）［温度設定］をタッチします。 2）▲ ▼ で温度を設定します。（±1℃単位） ＜設定できる範囲＞ • 冷房、ドライ：18℃～30℃ • 暖房：16℃～30℃※1 • 冷暖自動：17℃～27℃ ※1 一部の機種の上限温度は26℃です。
風速	風の強さを設定します。 1）［風速］をタッチします。 2）風速（急風）、（強風）、（弱風）、（風速自動））を選びます。
風向	風の向きを設定します。 1）［風向］をタッチします。 2）お好みの位置（(F1)、(F2)、(F3)、(F4)、(F5)、(スイング)）にフラップを設定します。 • 暖房・送風・冷暖自動（暖房）時は5段階、冷房・ドライ時は3段階の調整になります。 • 風向設定できない機種の場合は「スイング」「停止」のみになります。
手元禁止	手元リモコンの許可/禁止を設定します。 1）［手元禁止］をタッチします。 2）▲ ▼ で「許可」「禁止1」～「禁止4」を選びます。 許可：リモコンでの操作を許可します。 禁止1～4：リモコンでの操作を制限します。禁止内容は変更できます。（→P.197） ※熱交換気ユニットは「運転/停止」の手元禁止のみ利用可能です。
省エネ	省エネ運転の有効/無効を設定します。 1）［省エネ］をタッチします。 2）「有効」「無効」を選びます。

お知らせ

- すべての項目を設定する必要はありませんが、「時間」は必ず設定してください。
- 1台の室内ユニットあるいは1つのスケジュールグループにつき、1日最大50個まで設定セルを登録できます。
- スケジュールグループで設定を行う場合は、グループに属する室内ユニットの共通項目のみ設定できます。

次ページに続く

③ ［登録］をタッチする

●設定が登録され、「編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をタッチします。



7 ［登録］をタッチする

●「スケジュール詳細設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をタッチします。



8 他の室内ユニットを登録する場合は、手順4 ～ 7を繰り返す

●他の運転日モードで登録する場合は、手順3 ～ 7を繰り返します。
●場合によっては、「翌日～ 4日後の日の設定を変更しますか」という確認のメッセージが表示されます。
変更する場合は［OK］を、変更しない場合は［キャンセル］をタッチします。

9 ［登録］をタッチする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をタッチします。



10 ［OK］をタッチする

●場合によっては、「翌日～ 4日後の日の設定を変更しますか」という確認のメッセージが表示されます。
変更する場合は［OK］を、変更しない場合は［キャンセル］をタッチします。

お知らせ

- すべての設定セルが空白の室内ユニットまたはスケジュールグループは稼働しません。

「スケジュール運転時間設定」画面



A：登録する運転日モードを選びます。
選べる運転日モードには、以下のような種類があります。

モード	通常のパターンとして登録します。（モード1 ～ 50）

- ◀ ▶ をタッチして運転日モードを選びます。
- 表示順は以下のとおりです。
「モード1」⇔「モード2」⇔…⇔「モード50」

B：選んだスケジュールを室内ユニットまたはスケジュールグループ単位で削除します。
（→「スケジュールを削除する」(P.58)）

C：選んだスケジュールを室内ユニットまたはスケジュールグループ単位でコピーします。（→「スケジュールをコピーして設定する」(P.58)）

D：Cでコピーしたスケジュールを指定した室内ユニットまたはスケジュールグループに貼り付けします。
（→「スケジュールをコピーして設定する」(P.58)）

E：1日のスケジュールを一覧表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。

お知らせ

- 稼働スケジュールを設定する前は、右側の設定セルは空白になっています。
- 「スケジュールグループ名称設定」画面で「有効」欄にチェックマークを1つ以上入れている場合（「スケジュールグループの名称を変更する」(P.164)を参照）は、最初にスケジュールグループ名が表示され、そのあとにスケジュールグループに属さない室内ユニット名が表示されます。

F：タッチすると、「スケジュール詳細設定」ダイアログが表示され、スケジュールの詳細設定を行います。

「スケジュール詳細設定」ダイアログ



A：選んでいる室内ユニット名あるいはスケジュールグループ名を表示します。

B：運転日モードを表示します。
設定しているスケジュールをタイムテーブル表示します。

C：登録した設定セルを一覧表示します。
行が個々の設定セルに該当します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールします。

D：設定セルの登録内容を変更します。
（→「設定セルの設定を変更する」(P.59)）

E：タッチすると、「編集」ダイアログが表示され、設定セルを追加します。

F：設定セルの登録内容を削除します。
（→「設定セルの設定を削除する」(P.59)）

スケジュールを削除する

1 削除するスケジュールを選ぶ

- 反転表示されているスケジュールの室内ユニットまたはスケジュールグループのみ削除されます。
- 複数の室内ユニットまたはスケジュールグループは削除できません。



2 [クリア]をタッチする

- 選んだスケジュールが削除されます。
- [キャンセル]をタッチすると、元に戻ります。

スケジュールをコピーして設定する

同じようなスケジュールを設定する場合に便利です。

1 コピー元となるスケジュールを選ぶ

- 反転表示されたスケジュールの室内ユニットまたはスケジュールグループがコピー元となります。



2 [コピー]をタッチする



3 貼付する室内ユニットまたはスケジュールグループを選ぶ

- 同時に複数の室内ユニットまたはスケジュールグループに貼り付けることはできません。



4 [貼付]をタッチする

- 選んだスケジュールがコピーされます。



設定セルの設定を変更する

1 「スケジュール詳細設定」ダイアログで、変更する設定セルを選び(1-1)、[編集]をタッチ(1-2)する

- 「編集」ダイアログが表示されます。



2 設定を変更する

- 設定については、P.55の手順6を参照してください。



3 [登録]をタッチする

- 設定が登録され、「編集」ダイアログが閉じられます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



設定セルの設定を削除する

1 「スケジュール詳細設定」ダイアログで、削除する設定セルを選ぶ



2 [削除]をタッチする

- 選んだ設定セルが削除されます。



スケジュールをカレンダーに割り当てる

各運転日モードをカレンダーに割り当てます。
カレンダーは当月から2年先まで設定できます。

1 「状態監視」の[スケジュール管理]をタッチする



2 [運転日モード設定]をタッチする

- 「運転日モード設定」画面が表示されます。



3 ◀ ▶ で年月を選ぶ



4 運転日モードを選ぶ



5 日付をタッチする

- 選んだ日付に運転日モードが割り当てられます。
- 運転日モードが選ばれている間は、同じ運転日モードで割り当てられます。
- 手順4、5を繰り返して運転日モードを他の日付に割り当てます。



6 [登録]をタッチする

- 設定が登録されます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ

- 運転日モードを過去の日付に割り当てることはできません。

「運転日モード設定」画面

A：カレンダーを当月表示に戻します。

B：指定した年月のカレンダーを表示します。

C：自動更新を実行します。
曜日単位でモードを登録(P.63)すると、毎週繰り返しの設定となります。
①[自動更新]をタッチする
②[モード1]～[モード50]を選択し、カレンダーの運転日モード割り当て表示部(濃いグレー部)にタッチする
③[登録]をタッチして、設定内容を登録する
- 自動更新は2年後以降から適用されます。

D：カレンダーに割り当てた運転日モードを取り消します。
(→「割り当てた運転日モードを取り消す」(P.62))

E：カレンダーに割り当てる運転日モードの一覧が表示されます。右のテキストボックスにはコメントを入力できます。
(→「運転日モードにコメントを付ける」(P.62))

F：曜日単位でモードを割り付けます。
(→「曜日単位で割り当てる」(P.63))



割り当てた運転日モードを取り消す

1 [モード取消]をタッチする



2 運転日モードを取り消す日付をタッチする



運転日モードにコメントを付ける

運転日モードに使用目的などのコメントを付けておくと便利です。
全角文字は8文字まで、半角英数字は16文字まで文字列を入力できます。

1 運転日モード右側のテキストボックスをタッチする
- ソフトキーボードが表示されます。



2 文字列を入力する

3 [登録]をタッチする
- 設定が登録されます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



曜日単位で割り当てる

運転日モードを曜日単位で割り付けます。

1 [曜日単位の設定]をタッチする
- 「曜日単位の設定」画面が表示されます。



2 期間を設定する
① をタッチ(2-1)する
- 「カレンダー」ダイアログが表示されます。
- 前が期間の最初、後が期間の最後になります。



② で設定する月を選び(2-2)、設定する日を選ぶ(2-3)
- 設定が登録され、「カレンダー」ダイアログが閉じられます。



3 で運転日モードを各曜日に割り当てる



4 [登録]をタッチする
- 設定が登録されます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



5 [登録]をタッチする
- 設定が登録されます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ
- 当日～4日後については、曜日単位で運転日モードを割り付けることはできません。
- すべての曜日に運転日モードを設定する必要はありません。
- すでにカレンダー上に運転日モードを登録している場合、曜日単位の設定を行うと、運転日モードは上書きされます。

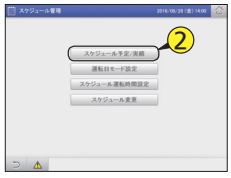
スケジュールの予定/実績を確認する

登録したスケジュールは一覧で確認できます。
過去の運転実績も併せて確認できます。

1 「状態監視」の[スケジュール管理]をタッチする



2 [スケジュール予定/実績]をタッチする
- 当日の「スケジュール予定/実績」画面が表示されます。



3 確認日を設定する
① をタッチ(3-1)する
- カレンダーダイアログが表示されます。



② で設定する月を選び(3-2)、日付を選ぶ(3-3)
- 設定が登録され、カレンダーダイアログが閉じられます。



4 「選択」欄をタッチ(4-1)し、[スケジュール詳細]をタッチ(4-2)する
- 「スケジュール詳細」ダイアログ(P.65)が表示されます。



「スケジュール予定/実績」画面

A：表示する年月日を選びます。をタッチすると、カレンダー画面が表示され、日付を選ぶことができます。

B：一覧の表示順を変更します。タッチするたびに切り換わります。

表示順	「室内ユニット設定」(P.154)で任意に設定した表示順に従って表示されます。
室外機順	「室外ユニット設定」(P.158)で設定した室外ユニットの表示順に従って表示されます。
アドレス順	集中制御アドレスの順番に従って表示されます。

C：当日のスケジュールと過去の運転実績が室内ユニットごとに一覧で表示されます。
スケジュールは24時間表示で、時間の経過を横線で示しています。
上部は当日の予定、下部は過去の実績を示しています。
色分けによる凡例は以下のとおりです。
青色：冷房　水色：ドライ
赤色：暖房　灰色：送風
緑色：冷暖自動



お知らせ
以下の場合、実績は表示されません。
- A0設定で翌日以降を指定した場合
- 室内ユニットの電源を切るなどでスケジュールが実行されなかった場合
- 実績表示は、5万件を超えると古いものから削除されます。

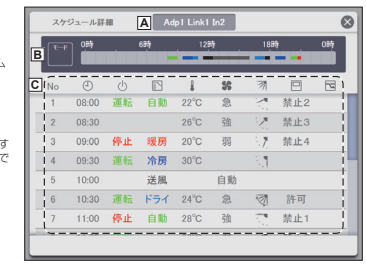
D：タッチすると、「スケジュール詳細」ダイアログが表示されます。「選択」欄にチェックを入れた室内ユニットのスケジュールについて、詳細な情報が表示されます。

「スケジュール詳細」ダイアログ

A：選んでいる室内ユニット名あるいはスケジュールグループ名を表示します。

B：運転日モードを表示します。
設定している1日のスケジュールをタイムライン表示します。

C：Bの詳細内容を一覧表示します。



お知らせ
- この画面では、スケジュールの予定を確認することができます。設定を変更することはできません。

一時的にスケジュールを変更・追加する

当日～4日後の5日間のみ登録したスケジュールを一時的に変更することができます。
「スケジュール運転時間設定」画面の設定は変更されません。

1 「状態監視」の[スケジュール管理]をタッチする



2 [スケジュール変更]をタッチする

●「スケジュール変更」画面が表示されます。



3 ◀ ▶ で年月日を選ぶ



4 「選択」欄にチェックを入れる

●設定を変更する室内ユニットまたはスケジュールグループを選びます。



5 [詳細設定]をタッチする

●「スケジュール詳細設定」ダイアログが表示されます。



6 設定を変更・追加する

●設定を変更する場合は、「設定セルの設定を変更する」(P.59)を参照してください。
●設定を追加する場合は、「スケジュールを設定する」の手順6(P.55)を参照してください。
●各設定項目については、「スケジュールを設定する」の手順6(P.55)を参照してください。

次ページに続く

7 [登録]をタッチする

●設定が登録され、「スケジュール詳細設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



8 [登録]をタッチする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ

- この画面でスケジュールを変更しても「スケジュール運転時間設定」画面で設定している各運転日モードの設定は変更されません。
- 一時的な変更を「カレンダー」ダイアログに追加する必要はありません。

「スケジュール変更」画面

A：変更する年月日を選びます。
- 表示される年月日は、当日～4日後の5日間のみです。

B：選んだスケジュールを室内ユニットまたはスケジュールグループ単位で削除します。
(→「スケジュールを削除する」(P.58))

C：選んだスケジュールを室内ユニットまたはスケジュールグループ単位でコピーします。(→「スケジュールをコピーして設定する」(P.58))

D：Cでコピーしたスケジュールを指定した室内ユニットまたはスケジュールグループに貼り付けます。
(→「スケジュールをコピーして設定する」(P.58))

E：1日の稼働スケジュールを一覧表示します。

F：タッチすると、「選択」欄にチェックを入れた室内ユニットあるいはスケジュールグループの「スケジュール詳細設定」ダイアログが表示されます。



警報および操作状態変化履歴を確認する

履歴確認

本章では、警報および操作履歴の確認方法について説明します。

本機は、システム内で発生した警報および操作変化を履歴一覧として確認することができます。
また、履歴一覧はCSV形式のファイルに出力することができます。

画面メニュー	概要	ページ
警報履歴	システム内で発生した警報履歴を一覧で確認します	69
操作状態変化履歴	各室内ユニットの操作履歴を一覧で確認します	71

警報履歴一覧を確認する

警報の発生/復旧の履歴を、最新で発生した100件まで一覧表示します。

1 「状態監視」の[履歴確認]をタッチする



2 [警報履歴]をタッチする

●「警報履歴」画面が表示されます。
●警報の発生直後は赤文字で表示されます。復旧すると、緑文字で表示されます。

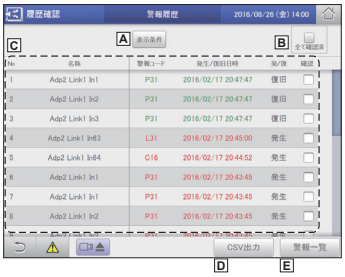


「警報履歴」画面

A：タッチすると、「表示条件」ダイアログが表示されます。
警報が発生した履歴から必要な履歴情報を検出することができます。
機器名称および表示期間で検索できます。
(→「警報履歴を検索する」(P.70))

B：タッチすると、すべての「確認」欄にチェックが入ります。

C：警報履歴を一覧表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。



項目	説明
名称	警報が発生しているユニットの名称を表示します。
警報コード	警報の種類を表示します。
発生/復旧 日時	警報が発生した日時を表示します。システム内の異常が復旧した場合は、復旧した日時を表示します。
発/復	警報が発生した直後は「発生」、復旧後は「復旧」と表示されます。
[確認]	確認した警報にチェックを入れます。

D：表示されている警報履歴一覧をCSV形式で出力(保存)します。(→「CSVファイルとして出力(保存)する」(P.32))

E：タッチすると、「発生中警報一覧」画面が表示されます。(→「現在発生している警報を確認する」(P.39))

警報履歴を検索する

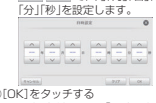
1 [表示条件]をタッチする

●「表示条件」ダイアログが表示されます。



2 検索対象を設定する



項目	説明
名称	検索対象となるユニット名称を一覧から選びます。
期間の設定	検索対象となる期間(最初、最後)をそれぞれ設定します。 上が期間の最初、下が期間の最後になります。 ①[設定]をタッチする • 「日時設定」ダイアログが表示されます。 ②日時を設定する • ▲ ▼ で「年」「月」「日」「時」「分」「秒」を設定します。  ③[OK]をタッチする • 設定が登録され、「日時設定」ダイアログが閉じられます。 • 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。
[最新情報表示]	タッチすると、設定した期間がクリアされ、最新100件の警報が表示されます。

3 [表示]をタッチする

●条件に合致した警報が一覧表示されます。
●名称を指定した場合は、最新200件の警報が表示されます。指定しない場合は、すべてのユニットの最新100件の警報が表示されます。
●期間を指定した場合は、最新200件の警報が表示されます。
●検索結果をCSV形式のファイルとして保存することもできます。(→「CSVファイルとして出力(保存)する」(P.32))
●表示条件を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



操作状態変化履歴一覧を確認する

各室内ユニットの操作をいつ、どのように変更したのかを履歴として一覧表示します。

1 「状態監視」の[履歴確認]をタッチする



2 [操作状態変化履歴]をタッチする

●「操作状態変化履歴」画面が表示されます。



「操作状態変化履歴」画面



A：操作履歴を表示します。通常は表示状態です。タッチすると、非表示状態になります。

B：状態変化履歴を表示します。通常は表示状態です。タッチすると、非表示状態になります。

C：タッチすると、「表示条件」ダイアログが表示されます。
操作・状態変更履歴から必要な履歴情報を検出することができます。
機器名称および表示期間で検索できます。(→「操作状態変化履歴を検索する」(P.72))

D：操作状態変化履歴を一覧表示します

項目	説明
名称	ユニットの名称を表示します。
操作	スケジュールどおりなのか、途中で操作を変更したのかを表示します。
状態	動作状態(運転/停止)を表示します。
モード	運転モード(暖房/ドライ/冷房/送風/冷暖自動)を表示します。
設温	設定温度を表示します。
風速	風速(急/強/弱/自動)を表示します。
風向	風向を表示します。
禁止	リモコン操作の「許可」「禁止1」～「禁止4」を表示します。
日時	操作状態の変化した日時を表示します。

E：表示されている操作状態変化履歴一覧をCSV形式で出力(保存)します。
(→「履歴をCSVファイルとして出力(保存)する」(P.73))

操作状態変化履歴を検索する

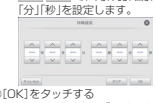
1 [表示条件]をタッチする

●「表示条件」ダイアログが表示されます。



2 検索対象を設定する



項目	説明
名称	検索対象となるユニット名称を一覧から選びます。
期間の設定	検索対象となる期間(最初、最後)をそれぞれ設定します。 上が期間の最初、下が期間の最後になります。 ①[設定]をタッチする • 「日時設定」ダイアログが表示されます。 ②日時を設定する • ▲ ▼ で「年」「月」「日」「時」「分」「秒」を設定します。  ③[OK]をタッチする • 設定が登録され、「日時設定」ダイアログが閉じられます。 • 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。
[最新情報表示]	タッチすると、設定した期間がクリアされ、最新100件の警報が表示されます。

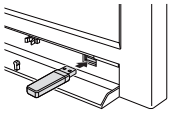
3 [表示]をタッチする

●条件に合致した操作状態変化履歴が一覧表示されます。
●機器を指定した場合は、最新200件の操作履歴が表示されます。指定しない場合は、すべての機器の最新100件の操作履歴が表示されます。
●期間を指定した場合は、最新200件の操作履歴が表示されます。
●検索結果をCSV形式のファイルとして保存することもできます。(→「履歴をCSVファイルとして出力(保存)する」(P.73))
●検索を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



履歴をCSVファイルとして出力(保存)する

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する



2 [CSV出力]をタッチする

●確認画面が表示されます。



3 [OK]をタッチする

●現在表示されている操作履歴がCSV形式でUSBメモリーに保存されます。
●保存が終了すると、保存終了の確認メッセージが表示されます。

4 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする

●「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージが表示されます。[OK]をタッチしたあとでUSBメモリーを取り出してください。
●USBメモリーを取り出してから収納扉を閉じてください。



積算値を確認する

積算/按分

本章では、各機器の積算値の確認方法について説明します。

本機は、室内ユニット、室外ユニット、パルスメーターの積算値を一覧として確認することができます。
室内ユニットは単位別(エリア・室内機)で、室外ユニット、パルスメーターは値別(アダプタ値・期間合計値)で表示を切り換えることができます。

画面メニュー	概要	ページ
室内機積算	各室内ユニットの積算データを一覧で確認します	75
室外機積算	各室外ユニットの積算データを一覧で確認します	77
パルスカウント積算	各パルスメーターの積算データを一覧で確認します	79

室内ユニットの積算値を一覧で確認する

室内ユニットの積算値(サーモON時の運転時間など)を一覧表示できます。

1 「状態監視」の[積算/按分]をタッチする



2 [室内機積算]をタッチする

●「室内機積算」画面が表示されます。



3 表示期間を設定する

●表示期間の最初と最後をそれぞれ設定してください。
●左が期間の最初、右が期間の最後になります。
●「表示」を「アダプタ値」に設定すると、表示期間は設定できません。

4 表示時間帯を設定する

① [時間]をタッチ(4-1)する

●「時間指定」ダイアログが表示されます。
●「表示」を「アダプタ値」に設定すると、表示時間帯は設定できません。



次ページに続く

① をタッチ(3-1)する

●「カレンダー」ダイアログが現在の日付で表示されます。



② 日付をタッチ(3-2)する

●◀ ▶で確認する月を選びます。[今月]をタッチすると、当月表示になります。
●設定が登録され、「カレンダー」ダイアログが閉じられます。



② 積算する時間帯をタッチ(4-2)する

●設定が登録され、「時間指定」ダイアログが閉じられます。
●「時間内1」～「時間内8」については「按分カレンダー設定」の「時間内範囲」(P.161)を参照してください。



5 積算値を確認する



「室内機積算」画面

A：表示順を設定します。

[エリア単位]	室内ユニットをエリア単位順で表示します。
[室内機単位]	室内ユニットを表示順で表示します。

B：表示値を設定します。タッチすると、「表示切換」ダイアログが表示されます。「アダプタ値」「差分合計」「重み付け差分合計」から選びます。

C：表示期間を設定します。タッチすると、「カレンダー」ダイアログが表示されます。

D：表示時間帯を設定します。タッチすると、「時間指定」ダイアログが表示されます。

E：各室内ユニットの積算値を一覧表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。



項目	説明
名称	室内ユニットの名前を表示します。
エリア	室内ユニットが属するエリア番号を表示します。
ON急風	サーモ「ON」時、風量「急風」設定時の積算運転時間を表示します。
ON強風	サーモ「ON」時、風量「強風」設定時の積算運転時間を表示します。
ON弱風	サーモ「ON」時、風量「弱風」設定時の積算運転時間を表示します。
サーモON合計	サーモ「ON」時の「ON急風」「ON強風」「ON弱風」積算運転時間の合計値を表示します。
OFF急風	サーモ「OFF」時、風量「急風」設定時の積算時間を表示します。([サーモOFF詳細表示]をタッチしたとき)
OFF強風	サーモ「OFF」時、風量「強風」設定時の積算時間を表示します。([サーモOFF詳細表示]をタッチしたとき)
OFF弱風	サーモ「OFF」時、風量「弱風」設定時の積算時間を表示します。([サーモOFF詳細表示]をタッチしたとき)
サーモOFF合計	サーモ「OFF」時の積算運転時間を表示します。
電気ヒーターON	ヒーター「ON」時の積算運転時間を表示します。([サーモOFF詳細表示]をタッチしたとき)
サーモON+サーモOFF	全ての積算運転時間を表示します。

F：タッチすると、「OFF急風」「OFF強風」「OFF弱風」「電気ヒーターON」の項目が追加表示されます。再度タッチすると、元の項目の表示に戻ります。

G：表示されている室内機積算をCSV形式で出力(保存)します。(→「CSVファイルとして出力(保存)する」(P.32))

室外ユニットの積算値を一覧で確認する

室外ユニットの積算値(エンジン運転時間、エンジン運転回数など)を一覧表示できます。

1 「状態監視」の[積算/按分]をタッチする



2 [室外機積算]をタッチする

●「室外機積算」画面が表示されます。



3 表示期間を設定する

●表示期間の最初と最後をそれぞれ設定してください。
●左が期間の最初、右が期間の最後になります。
●「アダプタ値」に設定すると、表示期間は設定できません。

4 表示時間帯を設定する

① [時間]をタッチ(4-1)する

●「時間指定」ダイアログが表示されます。
●「アダプタ値」に設定すると、表示時間帯は設定できません。



次ページに続く

① をタッチ(3-1)する

●「カレンダー」ダイアログが現在の日付で表示されます。



② 日付をタッチ(3-2)する

●◀ ▶で確認する月を選びます。[今月]をタッチすると、当月表示になります。
●設定が登録され、「カレンダー」ダイアログが閉じられます。



② 積算する時間帯をタッチ(4-2)する

- 設定が登録され、「時間指定」ダイアログが閉じられます。
- 「時間内1」～「時間内8」については「按分カレンダー設定」の「時間内範囲」(P.161)を参照してください。



5 積算値を確認する



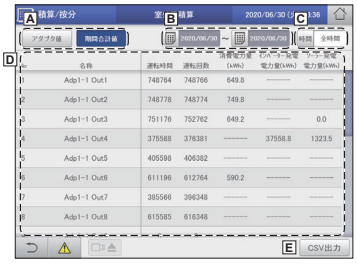
「室外機積算」画面

A：表示する値を設定します。タッチして「アダプタ値」「期間合計値」のいずれかを選びます。

B：表示する期間を設定します。タッチすると、「カレンダー」ダイアログが表示されます。
- 「期間合計値」設定時には、「時間」で設定している時間帯(「時間内」「時間外」など)に一致する合計値が表示されます。「時間」で「全時間」を選んでいる場合は、すべての合計値が表示されます。

C：表示する時間帯を設定します。タッチすると、「時間指定」ダイアログが表示されます。

D：各室外ユニットの積算値を一覧表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。



項目	説明
名称	室外ユニットの名前を表示します。
運転時間	室外ユニットの運転時間を表示します。
運転回数	室外ユニットの運転回数を表示します。
消費電力量(kWh)	室外ユニット(GHPを除く)の消費電力量の積算値を表示します。
インバーター発電電力量(kWh)	インバーター発電をしている場合の電力量を表示します。
ソーラー発電電力量(kWh)	ソーラー発電をしている場合の電力量を表示します。

E：表示されている室外機積算をCSV形式で出力(保存)します。(→「CSVファイルとして出力(保存)する」(P.32))

パルスメーターの積算値を一覧で確認する

パルスメーターのパルスカウント積算値を一覧表示できます。(パルスメーター設置時)

1 [状態監視]の[積算/按分]をタッチする



2 [パルスカウント積算]をタッチする

- 「パルスカウント積算」画面が表示されます。



3 表示期間を設定する

- 表示期間の最初と最後をそれぞれ設定してください。
- 左が期間の最初、右が期間の最後になります。
- 「アダプタ値」に設定すると、表示期間は設定できません。

① をタッチ(3-1)する

- 「カレンダー」ダイアログが現在の日付で表示されます。



② 日付をタッチ(3-2)する

- ◀ ▶ で確認する月を選びます。[今月]をタッチすると、当月表示になります。
- 設定が登録され、「カレンダー」ダイアログが閉じられます。



4 表示項目を選ぶ

① [表示項目選択]をタッチ(4-1)する

- 「表示項目選択」ダイアログが表示されます。



次ページに続く

② 表示する項目を選ぶ(4-2)

- 複数の項目を選択できます。
- 「時間内1」～「時間内8」については「按分カレンダー設定」の「時間内範囲」(P.161)を参照してください。



③ ⊗ をタッチする

- 設定が登録され、「表示項目選択」ダイアログが閉じられます。

5 積算値を確認する



「パルスカウント積算」画面

A：表示する値を設定します。タッチして「アダプタ値」「期間合計値」のいずれかを選びます。
- 「アダプタ値」を設定した場合は、10秒間隔で値の表示が変わります。

B：表示する期間を設定します。タッチすると、「カレンダー」ダイアログが表示されます。
- 「期間合計値」設定時には、「時間」で設定している時間帯(「時間内」「時間外」など)に一致する合計値が表示されます。

C：各パルスメーターの積算値を一覧表示します。
スワイプあるいはフリックで上下にスクロールできます。



項目	説明
名称	全ユニット(室内外ユニット)の名前を表示します。
按分	按分グループ番号を表示します。
種類	メーター種別を表示します。
アダプタ値(「アダプタ値」選択時)	通信アダプターの積算値を表示します。
メータ値(「アダプタ値」選択時)	パルスメーターの積算値を表示します。
時間(「期間合計値」選択時)	アダプタあるいは指定した期間のパルスカウント積算値を表示します。(「全時間」「時間外」「特定日」) 表示項目(「時間内1」～「時間内8」)の追加もできます。

D：タッチすると、「表示項目選択」ダイアログが表示され、追加表示する項目を選択します。
- 「アダプタ値」に設定すると、表示項目の選択はできません。

E：表示されているパルスカウント積算をCSV形式で出力(保存)します。(→「CSVファイルとして出力(保存)する」(P.32))

按分データを確認する

積算/按分

本章では、按分データの確認方法について説明します。

本機は、ユニット単位、エリア単位で按分データを一覧として確認することができます。
電気、ガスそれぞれの按分率、使用量、料金を確認できます。

画面メニュー	概要	ページ
按分データ	按分集計の詳細情報を一覧で確認します	82

按分データを一覧で確認する

按分データの詳細情報(按分率、使用量、料金)を一覧表示します。
テナントビルで使用される室内ユニットは、同一冷媒系統内で複数のエリアにわたって設定されているため、エリアごとの電気/ガス使用量の把握が困難となります。
このような場合、各エリアの室内ユニットを「按分グループ」としてまとめ、「按分グループ」内で空調機(室内ユニット、室外ユニット)から取得したデータに基づいて比率を算出することで、エリアごとの電気/ガス使用量を把握することができます。このとき、算出された比率が「按分率」です。

按分データを確認するには、最初に以下の設定を済ませる必要があります。
- 按分方式設定(P.173)
- 按分グループ名称設定(P.168)
- 按分カレンダー設定(P.161)
- エリアグループ名称設定(P.166)
- パルスメーター設定(P.171)
- 料金計算設定(P.174)

1 [状態監視]の[積算/按分]をタッチする



2 [按分データ]をタッチする

●「按分データ」画面が表示されます。



3 表示期間を設定する

●表示期間の最初と最後をそれぞれ設定してください。
●左が期間の最初、右が期間の最後になります。

① をタッチ(3-1)する

●「カレンダー」ダイアログが現在の日付で表示されます。



② 日付をタッチ(3-2)する

●◀ ▶で確認する月を選びます。[今月]をタッチすると、当月表示になります。
●設定が登録され、「カレンダー」ダイアログが閉じられます。



次ページに続く

4 表示時間帯を設定する

① [時間]をタッチ(4-1)する

●「時間指定」ダイアログが表示されます。



② 積算する時間帯をタッチ(4-2)する

●「時間内1」～「時間内8」については「按分カレンダー設定」の「時間内範囲」(P.161)を参照してください。
●設定が登録され、「時間指定」ダイアログが閉じられます。



5 按分データを確認する



お知らせ
- 本機の按分計算は計量法に基づくものではないため、公的取引には使用できません。
- 本機では、各室内ユニットが積算している運転時間データを通信アダプター経由で取得します。本機が通信アダプターへデータを要求すると、通信アダプターは各室内ユニットに対して運転時間を問い合わせ、集計が終了した時点で本機へ転送します。そのため、時間帯の切り替わり時に数分程度のカウント誤差が発生する場合があります。
- スケジュールによる室内ユニットの停止には、通信の関係で若干の遅れが発生するため、「時間内範囲設定」(P.163)の時間帯の切り替わりと同一時刻に設定しないようにしてください。時間帯の切り替わり前にスケジュールによる停止を入れる場合には、切り替え時間前の10分以内(通信状態によって変わります)に設定することは避けてください。
- 本体と室内ユニット(あるいは通信アダプター)間の通信に異常があると、正常な時間帯別の積算が行われない場合があります。本機が受信した積算値は、受信時間の時間帯にカウントされます。
- 「時間指定」ダイアログの「全時間」の使用量は、すべての時間帯の運転データ合計値に基づいて全体を按分した按分率から算出しています。したがって、「時間内」「時間外」「特定日」の使用量の合計値とは一致しません。
- 按分データ集計後に空調機を撤去すると、その空調機の積算値はすべて消去されるため、撤去後にその空調機を含む按分データを再び見ることはできません。
  撤去前に必ず、USBメモリに按分データのCSVファイルを出力(保存)しておいてください。
  CSVファイルの出力方法は履歴の出力方法と同様です。(→「CSVファイルとして出力(保存)する」(P.32))

表示単位を切り換える

1 [エリア集計]がオフであることを確認する

2 表示単位を選ぶ

●「エリア単位」「室内機単位」で表示を切り換えます。



「按分データ」画面



A：表示単位を設定します。

[エリア単位]	室内ユニットをエリア単位順で表示します。
[室内機単位]	室内ユニットを表示順で表示します。

B：表示する期間を設定します。タッチすると、「カレンダー」ダイアログが表示されます。

C：表示する時間帯を設定します。タッチすると、「時間指定」ダイアログが表示されます。

D：室内ユニットの按分データを一覧表示します。

項目	説明
名称	室内ユニットの名称を表示します。
小計	指定した単位の小計を表示します。
エリア	室内ユニットが属するエリア番号を表示します。
按分	按分グループ番号を表示します。
電力按分率(%)	室外ユニットから供給される電力の按分率を表示します。
電力使用量(kWh)	室外ユニットから供給される電力の使用量を表示します。
電力料金(¥)	電力使用量を元に計算した料金を表示します。
空調ガス按分率(%)	GHPから供給されるガスの按分率を表示します。
空調ガス使用量(m^3)	GHPから供給されるガスの使用量を表示します。
空調ガス料金(¥)	ガス使用量を元に計算した料金を表示します。
発電ガス按分率(%)	発電に使用されたガスの按分率を表示します。
発電ガス使用量(m^3)	発電に使用されたガスの使用量を表示します。
発電ガス料金(¥)	発電に使用されたガスの使用量を元に計算した料金を表示します。
合計料金(¥)	「室外電力料金(¥)」「空調ガス料金(¥)」「発電ガス料金(¥)」の合計料金を表示します。

E：タッチすると、「発電ガス按分率」「発電ガス使用量」「発電ガス料金」の項目が追加表示されます。ただし、時間按分設定時は操作できません。

F：エリア単位、按分グループ単位で表示します。(工場出荷設定：オン)
解除すると、エリア単位/室内機単位での表示が可能となります。(→「表示単位を切り換える」(P.84))

省エネ設定をする

省エネ設定

本章では、省エネの設定方法について説明します。

本機には、e-CUT機能（設定温度自動リターン、消し忘れ・運転自動停止、設定温度範囲制限、タイマー省エネ/効率運転※）が搭載されています。
e-CUT機能によって空調の無駄をなくすことで、既存のエアコンで省エネを実現することができます。

画面メニュー	概要	ページ
設定温度自動リターン設定	はじめに設定しておいた温度を変更しても、一定時間が過ぎると自動的に設定温度が戻ります	87
消し忘れ・運転自動停止設定	設定した時刻に空調機が自動停止したあと、再運転した場合でも一定間隔で自動停止を繰り返します	90
設定温度範囲制限設定	温度の上限・下限を設定し、設定できる温度の範囲を制限します	93
タイマー省エネ設定/効率運転設定※	時間帯を指定して運転量を抑えます	95
室外静音モード設定	時間を設定して夜間の室外ユニットの運転音を昼間よりも抑えます	97

デマンド設定

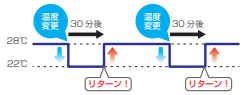
画面メニュー	概要	ページ
デマンド接点登録	デマンド接点入力を登録します	99
室内デマンド設定	室内ユニットに設定レベルを設けることで自動制御し、最大需要電力/最大ガス量をカットします	100
室外デマンド設定	室外ユニットに設定レベルを設けることで自動制御し、最大需要電力/最大ガス量をカットします	103
室内サイクリック制御設定	指定の周期（3分/4分/5分）で、順次各制御グループの室内ユニットにサーモOFF/復帰を繰り返します	108
室外サイクリック制御設定	10分間隔で、順次各制御グループの室内ユニットにサーモOFF/復帰を繰り返します	112
室外時間帯デマンド設定/ピークカット設定※	設定した時間帯に室外ユニットの消費電力/ガス量を抑えます	105

※ ガスヒートポンプエアコンご利用の場合

設定温度に自動で戻す【設定温度自動リターン設定】

設定温度を変更しても、一定時間（「リターン時間」）になると自動で設定温度（「リターン温度」）に戻ります。この機能により過剰な冷暖房を防止できます。

夏季の昼間に設定温度を28 ℃に維持したい場合
設定温度自動リターン設定で、リターン温度を28 ℃に、リターン時間を30分後に設定すると、設定中は何回温度を変更しても30分後には自動的に28 ℃に戻ります。
ただし、リターン温度を27 ℃に設定しているとき、設定温度を28 ℃に設定すると、リターン時間を経過してもリターン温度には戻しません。（「省エネ方向のみ」設定時）

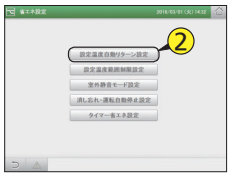


1 「省エネ」の[省エネ設定]をタッチする



2 [設定温度自動リターン設定]をタッチする

●暗証番号（パスワード　レベル1または2）を入力すると「設定温度自動リターン設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、[編集]をタッチ(3-2)する

●「設定編集」ダイアログが表示されます。



4 各設定を行う



次ページに続く

項目	説明
リターン温度 リターン時間	「暖房」「冷房」「自動」のリターン温度、リターン時間を設定します。 ▲ ▼ で温度あるいは時間を設定します。 設定範囲は以下のとおりです。 • 暖房時リターン温度：16～30 ℃※1（1 ℃間隔） ※1 一部の機種の上限温度は26 ℃です。 • 冷房（ドライ）時リターン温度：18～30 ℃（1 ℃間隔） • 冷暖自動時リターン温度：17～27 ℃（1 ℃間隔） • リターン時間（共通）：0～240分（5分間隔）
リターン制御	チェックを入れると、選んだ室内ユニットのリターン制御機能が有効になります。
以下の項目は全室内ユニット共通の設定です。	
• 省エネ方向のみ • 常にリターン温度に戻す	リターン条件を選びます。 「省エネ方向のみ」を選ぶと、自動リターン時に、省エネ方向になる場合のみ、設定温度に戻します。
• 冷暖自動許可 • 送風切替	「冷暖自動許可」を選ぶと、冷暖自動モードでも設定温度自動リターン制御が行われます。 「送風切替」を選ぶと、室内ユニットの運転モードを「冷暖自動」に切り替えたときに、リターン時間に関係なく、冷暖自動モードから送風モードへ切り替えられます。

5 [登録]をタッチする

●「設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 他の室内ユニットを設定する

●手順3～5を繰り返します。

7 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「設定温度自動リターン設定」画面

A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室内ユニットの選択をすべて解除します。

B：一覧の表示順を変更します。タッチするたびに切り換わります。

表示順	「室内ユニット設定」（P.154）で設定した表示順に従って表示されます。
室外機順	「室外ユニット設定」（P.158）で設定した室外ユニットの表示順に従って表示されます。
アドレス順	「室内ユニット設定」（P.154）で設定したアドレスの順番に従って表示されます。



C：チェックを入れた室内ユニットは設定編集対象となります。

D：チェックを入れると、選んだ室内ユニットの設定温度自動リターン設定が有効になります。「リターン制御」（「設定編集」ダイアログ）（P.88）の設定と連動しています。

E：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。

再運転を自動停止する【消し忘れ・運転自動停止設定】

タイマーで設定した時刻にエアコンが自動停止した後、再運転した場合でも一定間隔で自動停止を繰り返すので消し忘れを防止できます。

21:00から翌朝9:00まで閉店、閉店時間内の停止監視を60分間隔で設定した場合
「消し忘れ防止」機能は閉店時間内(例では21:00から翌朝9:00まで)に何度でも作動します。

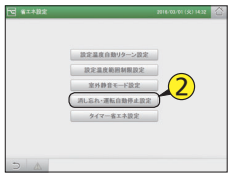


1 「省エネ」の[省エネ設定]をタッチする



2 [消し忘れ・運転自動停止設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「消し忘れ・運転自動停止設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、[編集]をタッチ(3-2)する

●「設定編集」ダイアログが表示されます。



4 各設定を行う



項目	説明
時間帯設定(開始時刻、終了時刻)	自動停止を行う時間帯を設定します。 ▲ ▼ で時間を設定します。 お知らせ • 日付をまたぐ設定もできます。 例)22:00～08:00

次ページに続く

項目	説明
自動停止時間	再運転後に自動停止する時間を設定します。 ▲ ▼ で時間を設定します。 設定範囲は、0～180分(5分間隔)です。
自動停止機能	チェックを入れると、選んだ室内ユニットの自動停止機能が有効になります。
• 設定時間ごとに停止 • 運転後時間経過で停止	停止条件を選びます。 • 「設定時間ごとに停止」 「開始時刻」に自動停止を行ったあとも「自動停止時間」の間隔で自動停止を繰り返します。 • 「運転後時間経過で停止」 「開始時刻」に自動停止を行ったあとは、室内ユニットが運転中のときのみ「自動停止時間」経過後に自動停止を行います。
• 終日 • 時間指定	時間条件を選びます。 • 「終日」 一日中、「自動停止時間」で自動停止を繰り返します。(「時間帯設定」は無視されます) • 「時間指定」 「開始時刻」から「終了時刻」までの間、自動停止を繰り返します。

5 [登録]をタッチする

●「設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 他の室内ユニットを設定する

●手順3～5を繰り返します。

7 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「消し忘れ・運転自動停止設定」画面

A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室内ユニットの選択をすべて解除します。

B：一覧の表示順を変更します。タッチするたびに切り換わります。

表示順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定した表示順に従って表示されます。
室外機順	「室外ユニット設定」(P.158)で設定した室外ユニットの表示順に従って表示されます。
アドレス順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定したアドレスの順番に従って表示されます。



C：チェックを入れた室内ユニットは設定編集対象となります。

D：チェックを入れると、選んだ室内ユニットの消し忘れ・運転自動停止設定が有効になります。「自動停止機能」(「設定編集」ダイアログ)(P.91)の設定と連動しています。

E：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。

設定温度の範囲を制限する【設定温度範囲制限設定】

温度の上限・下限を設定することで、設定できる温度の範囲を制限します。

1 「省エネ」の[省エネ設定]をタッチする



2 [設定温度範囲制限設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「設定温度範囲制限設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、[編集]をタッチ(3-2)する

●「設定編集」ダイアログが表示されます。



4 各設定を行う



項目	説明
上限温度 下限温度	「暖房」「冷房」「自動」の上限温度、下限温度を設定します。 ▲ ▼ で温度を設定します。 設定範囲は以下のとおりです。 • 暖房時： 16～30 ℃※1(1 ℃間隔) ※1 一部の機種の上限温度は26 ℃です。 • 冷房(ドライ)時： 18～30 ℃ (1 ℃間隔) • 冷暖自動時： 17～27 ℃ (1 ℃間隔) お知らせ • 機種によって設定できる温度範囲が異なります。
設定温度範囲制限	チェックを入れると、選んだ室内ユニットの設定温度範囲制限機能が有効になります。

次ページに続く

5 [登録]をタッチする

●「設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



7 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 他の室内ユニットを設定する

●手順3 ～ 5を繰り返します。

「設定温度範囲制限設定」画面

A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室内ユニットの選択をすべて解除します。

B：一覧の表示順を変更します。タッチするたびに切り換わります。

表示順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定した表示順に従って表示されます。
室外機順	「室外ユニット設定」(P.158)で設定した室外ユニットの表示順に従って表示されます。
アドレス順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定したアドレスの順番に従って表示されます。



C：チェックを入れた室内ユニットは設定編集対象となります。

D：チェックを入れると、選んだ室内ユニットの設定温度範囲制限設定が有効になります。「設定温度範囲制限」(「設定編集」ダイアログ)(P.93)の設定と連動しています。

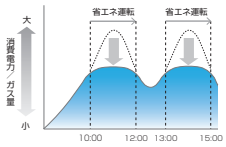
E：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。

時間帯で運転量を制御する【タイマー省エネ設定】/【効率運転設定※】

※ ガスヒートポンプエアコンご利用の場合

時間帯を指定して運転量を抑えます。

10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 15:00の時間帯に設定すると、その時間帯の消費電力/ガス量を抑えます。

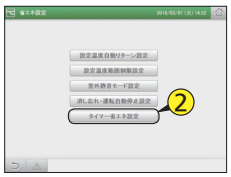


1 「省エネ」の[省エネ設定]をタッチする



2 [タイマー省エネ設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「タイマー省エネ設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、[編集]をタッチ(3-2)する

●「設定編集」ダイアログが表示されます。



4 各設定を行う



項目	説明
開始時刻 終了時刻	「タイマー 1」「タイマー 2」の開始時刻、終了時刻を設定します。 [∧] [∨] で時間を設定します。 設定範囲は以下のとおりです。 • 時：00 ～ 23(1時間間隔) • 分：00 ～ 59(1分間隔) お知らせ • 日付をまたぐ設定もできます。 例)22:00 ～ 08:00

次ページに続く

項目	説明
タイマー省エネ	チェックを入れると、選んだ室内ユニットのタイマー省エネ設定機能が有効になります。

5 [登録]をタッチする

●「設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



7 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 他の室内ユニットを設定する

●手順3 ～ 5を繰り返します。

お知らせ
• 効率運転(ガスヒートポンプエアコンご利用の場合)の設定方法は、タイマー省エネ設定と同じです。

「タイマー省エネ設定」画面

A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室内ユニットの選択をすべて解除します。

B：一覧の表示順を変更します。タッチするたびに切り換わります。

表示順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定した表示順に従って表示されます。
室外機順	「室外ユニット設定」(P.158)で設定した室外ユニットの表示順に従って表示されます。
アドレス順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定したアドレスの順番に従って表示されます。



C：チェックを入れた室内ユニットは設定編集対象となります。

D：チェックを入れると、選んだ室内ユニットのタイマー省エネ設定が有効になります。「タイマー省エネ」(「設定編集」ダイアログ)の設定と連動しています。

E：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。

室外ユニットの騒音を抑える【室外静音モード設定】

時間を設定して夜間の室外ユニットの運転音を昼間より下げることができます。

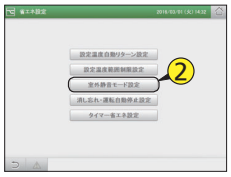
お知らせ
• 店舗用パッケージエアコンの室外静音モードを設定するには、S-LINKアダプター（CZ品番：2015年製以降)が必要です。

1 「省エネ」の[省エネ設定]をタッチする



2 [室外静音モード設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「室外静音モード設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、[編集]をタッチ(3-2)する

●「設定編集」ダイアログが表示されます。



お知らせ
• 室外静音モードが設定可能な室外ユニットのみチェックボックスが表示されます

4 各設定を行う



項目	説明
開始時刻 終了時刻	開始時刻、終了時刻を設定します。 [∧] [∨] で時間を設定します。 設定範囲は以下のとおりです。 • 時：00 ～ 23(1時間間隔) • 分：00 ～ 59(1分間隔) お知らせ • 日付をまたぐ設定もできます。 例)22:00 ～ 08:00
静音運転モード	チェックを入れると、静音運転モード機能が有効になります。

5 [登録]をタッチする

●「設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 他の室内ユニットを設定する

●手順3 ～ 5を繰り返します。

次ページに続く

7 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「室外静音モード設定」画面

A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室外ユニットを選びます。
[選択クリア]	室外ユニットの選択をすべて解除します。

B：タッチするたびに「表示順」「アドレス順」に切り換えます。

C：チェックを入れた室外ユニットは設定編集対象となります。

D：チェックを入れると、選んだ室外ユニットの室外静音モード設定が有効になります。「静音運転モード」(「設定編集」ダイアログ)(P.97)の設定と連動しています。

E：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。



お知らせ

- 室外静音モードは一部の機種のみ設定可能です。

デマンド接点入力を登録する【デマンド接点登録】

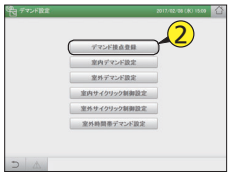
デマンドコントローラー接続時のデマンド接点を入力する本体あるいは通信アダプターのDI端子を登録します。

1 「省エネ」の[デマンド設定]をタッチする



2 [デマンド接点登録]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「デマンド接点登録」画面が表示されます。



3 右の一覧から本体あるいは通信アダプターを選び(3-1)、[設定]をタッチ(3-2)する

●デマンド接点(「デマンド1」「デマンド2」「デマンド3」)をそれぞれ設定します。
●各デマンド接点に表示されているアダプター名は変更することができます。テキストボックスをタッチし、ソフトキーボードで変更します。(全角8文字まで、半角英数字16文字まで)



4 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



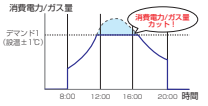
室内ユニットのデマンド設定を行う【室内デマンド設定】

室内ユニットに室内機デマンド制御の設定レベルを設けることで自動制御し、最大需要電力/最大ガス量をカットします。
各設定レベルのデマンド接点入力がオンになったときの動作を設定します。

お願い

- 設定する前に、デマンド接点入力を登録してください。(P.99)
- 設定する前に、「室外機情報」画面から、室外ユニットのデマンド運転の設定を解除([設定無し])してください(P.35)

冷房時、設定レベル「デマンド1」に「設温±1℃」を設定した場合
デマンドコントローラーからのデマンド信号を受け、デマンド1の接点がONになると、設定温度は1℃上がります。

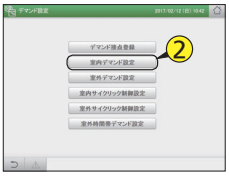


1 「省エネ」の[デマンド設定]をタッチする



2 [室内デマンド設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「室内デマンド設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、[編集]をタッチ(3-2)する

●「設定編集」ダイアログが表示されます。



4 各設定を行う

●「設定レベル」の「デマンド1」～「デマンド3」に対してそれぞれ「設定内容」を設定します。



項目	説明
設定レベル	設定レベルを選びます。
設定内容	動作を選びます。 [未選択]を選ぶと、動作を起こしません。
室内機デマンド制御　有効	チェックを入れると、選んだ室内ユニットのデマンド設定が有効になります。

次ページに続く

5 [登録]をタッチする

●「設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 他の室内ユニットを設定する

●手順3～5を繰り返します。

7 「室内機デマンド」の「する」を選ぶ



8 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「室内デマンド設定」画面

A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室内ユニットの選択をすべて解除します。

B：システム全体で室内ユニットのデマンド制御をするか、しないかを設定します。

お知らせ
- 「する」に設定した場合は、必ず室外ユニットのデマンド設定は「しない」に設定してください。

C：一覧の表示順を変更します。タッチするたびに切り換わります。

表示順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定した表示順に従って表示されます。
室外機順	「室外ユニット設定」(P.158)で設定した室外ユニットの表示順に従って表示されます。
アドレス順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定したアドレスの順番に従って表示されます。



D：チェックを入れた室内ユニットは設定編集対象となります。

E：チェックを入れると、選んだ室内ユニットの室内デマンド設定が有効となります。「室内機デマンド制御　有効」(「設定編集」ダイアログ)(P.100)の設定と連動しています。

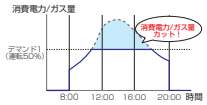
F：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。

室外ユニットのデマンド設定を行う【室外デマンド設定】

室外ユニットに室外デマンド設定の設定レベルを設けることで自動制御し、最大需要電力/最大ガス量をカットします。
各設定レベルのデマンド接点入力がオンになったときの動作を設定します。

お願い
- 設定する前に、デマンド接点入力を登録してください。(P.99)
- 設定する前に、「室外機情報」画面から、室外ユニットのデマンド運転の設定を解除(「設定無し」)してください(P.35)

暖房時に、設定レベル「デマンド1」として「運転50%」を設定した場合
デマンドコントローラーからのデマンド信号を受け、デマンド1の接点がONになると、室外ユニットの運転が50%制御されます。

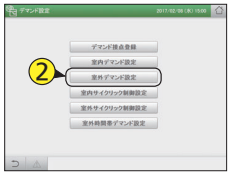


1 「省エネ」の[デマンド設定]をタッチする



2 [室外デマンド設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「室外デマンド設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、[編集]をタッチ(3-2)する

●「設定編集」ダイアログが表示されます。



4 各設定を行う

●「設定レベル」の「デマンド1」～「デマンド3」に対してそれぞれ「設定内容」を設定します。



項目	説明
設定レベル	設定レベルを選びます。
設定内容	動作を選びます。 [設定なし]を選ぶと、動作を起こしません。 「設定内容」で「運転」を選んだ場合は　　で 制御率を設定します。 数値は、選んでいる室外ユニットで設定できる値が表示されます。
室外機デマンド制御　有効	チェックを入れると、選んだ室外ユニットのデマンド設定が有効になります。

次ページに続く

5 [登録]をタッチする

●「設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 他の室外ユニットを設定する

●手順3～5を繰り返します。

7 「室外デマンド」の「する」を選ぶ



8 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「室外デマンド設定」画面

A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室外ユニットを選びます。
[選択クリア]	室外ユニットの選択をすべて解除します。

B：室外ユニットのデマンド制御をするか、しないかを設定します。

お知らせ
- 「する」に設定した場合は、必ず室内ユニットのデマンド設定は「しない」に設定してください。

C：タッチするたびに、「表示順」「アドレス順」に切り換えます。

D：チェックを入れた室外ユニットは設定編集対象となります。



E：チェックを入れると、選んだ室外ユニットの室外デマンド設定が有効となります。「室外機デマンド制御　有効」(「設定編集」ダイアログ)(P.103)の設定と連動しています。

F：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。

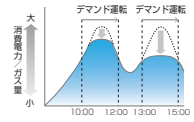
消費電力/ガス量を抑制する【室外時間帯デマンド設定】/【ピークカット設定※】

※ ガスヒートポンプエアコンご利用の場合

設定した時間帯に室外ユニットの消費電力/ガス量を抑えることができます。

お願い
- 設定する前に、「室外機情報」画面から、室外ユニットのデマンド運転の設定を解除(「設定無し」)してください(P.35)

10:00～12:00、13:00～15:00の時間帯に設定すると、その時間帯の室外ユニットの消費電力/ガス量を抑えます。

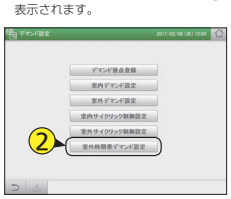


1 「省エネ」の[デマンド設定]をタッチする



2 [室外時間帯デマンド設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「室外時間帯デマンド設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、[編集]をタッチ(3-2)する

●「設定編集」ダイアログが表示されます。



4 各設定を行う



項目	説明
タイマー1 タイマー2	最初に「タイマー1」「タイマー2」を選び、それぞれの「開始時刻」「終了時刻」「デマンド値」を設定します。

次ページに続く

項目	説明
開始時刻 終了時刻	「タイマー 1」/「タイマー 2」の開始時刻、終了時刻を設定します。 △ ▽ で時間を設定します。 設定範囲は以下のとおりです。 • 時：00 ～ 23（1時間間隔） • 分：00 ～ 59（1分間隔） お知らせ • 日付をまたぐ設定もできます。 例）22:00 ～ 08:00
デマンド値	動作を選びます。 「設定なし」を選ぶと、動作を起こしません。 「設定内容」で「運転」を選んだ場合は △ ▽ で制御率を設定します。数値は、選んでいる室外ユニットで設定できる値が表示されます。
室外機時間帯デマンド制御有効	チェックを入れると、選んだ室外ユニットの室外機時間帯デマンド制御が有効になります。

5 [登録]をタッチする

- 「設定編集」ダイアログが閉じられます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 他の室外ユニットを設定する

- 手順3 ～ 5を繰り返します。

7 [登録]をタッチする

- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ
- ピークカット（ガスヒートポンプエアコンご利用の場合）の設定は、室外時間帯デマンド設定と同じです。

「室外時間帯デマンド設定」画面

A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室外ユニットを選びます。
[選択クリア]	室外ユニットの選択をすべて解除します。

B：タッチするたびに「表示順」/「アドレス順」に切り換えます。

C：チェックを入れた室外ユニットは設定編集対象となります。

D：チェックを入れると、選んだ室外ユニットの室外時間帯デマンド設定が有効となります。「室外機時間帯デマンド制御有効」/「設定編集」ダイアログ）(P.106)の設定と連動しています。

E：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。



一定間隔で運転を制御する【室内サイクリック制御設定】

設定した時間帯を指定の周期（3分/4分/5分）でローテーションしながら順次各制御グループの室内ユニットに公平に運転設定（運転停止、サーモ、モード、設定温度）/復帰させていく制御です。

お願い
- 設定する前に、デマンド接点入力を登録してください。(P.99)
- 設定する前に、「室外機情報」画面から、室外ユニットのデマンド運転の設定を解除（[設定無し]）してください(P.35)

室内ユニットの制御グループ1 ～ 5を5分周期でサイクリック制御を行う場合
制御グループ1 ～ 3は「強制サーモOFF」、制御グループ4 ～ 5は「送風」に、周期は「5分」に設定すると、5分周期でサイクリック制御を行います。

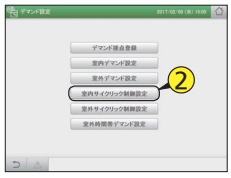


1 「省エネ」の[デマンド設定]をタッチする



2 [室内サイクリック制御設定]をタッチする

- 暗証番号（パスワード　レベル1または2）を入力すると「室内サイクリック制御設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、[編集]をタッチ(3-2)する

- 「設定編集」ダイアログが表示されます。



4 各設定を行う



項目	説明
制御グループ	◀ ▶ で室内ユニットが属する制御グループを設定します。（10グループまで） 「グループ1」～「グループ10」から設定します。
運転停止	室内ユニットの運転を停止します。 [停止]/[未選択]*から設定します。
サーモ	強制的にサーモOFFに設定します。 [強制サーモOFF]/[未選択]*から設定します。

次ページに続く

項目	説明
モード	運転モードを送風に設定します。 [送風]/[未選択]*から設定します。
設定温度	△ ▽ で温度を設定します。 「±1」、「±2」、16℃～28℃の1℃単位の数値*から設定します。
風速	△ ▽ で風速を設定します。 「自動」/「急風」/「強風」/「弱風」*から設定します。
室内機サイクリック制御有効	チェックを入れると、選んだ室内ユニットの室内機サイクリック制御が有効となります。

※空白にすると、その項目は動作を起こしません。

5 [登録]をタッチする

- 「設定編集」ダイアログが閉じられます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 他の室内ユニットを設定する

- 手順3 ～ 5を繰り返します。

7 [時間帯設定]をタッチする

- 「制御時間帯設定」ダイアログが表示されます。



8 番号をタッチする

- 時間帯は4種類設定できます。



9 時間を設定する

- 左側が制御開始時間、右側が制御終了時間です。
- △ ▽ で時間を設定します。時は0 ～ 23の範囲で、分は「00」/「30」で設定します。



10 制御周期を設定する

- 「3分」/「4分」/「5分」から選びます。
- 番号「1」から「4」まで、手順7 ～ 9を繰り返し設定します。



次ページに続く

11 [登録]をタッチする

- 「制御時間帯設定」ダイアログが閉じられます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



12 「有効」欄にチェックを入れる



13 「室内サイクリック制御」の「する」を選ぶ



14 [登録]をタッチする

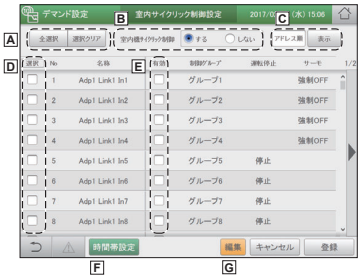
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ

- 制御グループは10グループまで設定できます。
- 設定していない制御グループは、サイクリック制御の対象にはなりません。

「室内サイクリック制御設定」画面



A：[全選択]/[選択クリア]切換ボタン

[全選択]	すべての室内ユニットを選びます。
[選択クリア]	室内ユニットの選択をすべて解除します。

B：システム全体で室内ユニットのサイクリック制御をするか、しないかを設定します。

お知らせ

- 「する」に設定した場合は、必ず室外ユニットのサイクリック制御設定は「しない」に設定してください。

C：一覧の表示順を変更します。タッチするたびに切り換わります。

表示順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定した表示順に従って表示されます。
室外機順	「室外ユニット設定」(P.158)で設定した室外ユニットの表示順に従って表示されます。
アドレス順	「室内ユニット設定」(P.154)で設定したアドレスの順番に従って表示されます。

D：チェックを入れた室内ユニットは設定編集対象になります。

E：チェックを入れると、選んだ室内ユニットの室内サイクリック制御設定が有効となります。「室内機サイクリック制御　有効」(「設定編集」ダイアログ)(P.109)の設定と連動しています。

F：タッチすると、「時間帯設定」ダイアログが表示されます。

G：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。

一定間隔で運転を制御する【室外サイクリック制御設定】

設定した時間帯を10分間隔でローテーションしながら順次各制御グループの室外ユニットに公平に運転制御(または停止)/復帰させていく制御です。

お願い

- 設定する前に、デマンド接点入力を登録してください。(P.99)
- 設定する前に、「室外機情報」画面から、室外ユニットのデマンド運転の設定を解除([設定無し])してください(P.35)

室外ユニットの制御グループ1～5を10分周期でサイクリック制御を行う場合
制御グループ1、3は「強制停止」、制御グループ2、4、5は運転「50%」制御に設定すると、10分周期でサイクリック制御を行います。

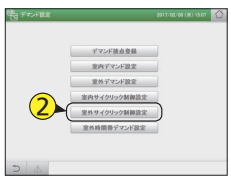


1 「省エネ」の[デマンド設定]をタッチする



2 [室外サイクリック制御設定]をタッチする

- 暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「室外サイクリック制御設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れ(3-1)、[編集]をタッチ(3-2)する

- 「設定編集」ダイアログが表示されます。



4 各設定を行う



項目	説明
制御グループ	◀ ▶ で室外ユニットが属する制御グループを設定します。「グループ1」～「グループ5」から設定します。
デマンド値	動作を選びます。[設定なし]を選ぶと、動作を起こしません。[運転]を選んだ場合は ∧ ∨ で制御率を設定します。数値は、選んでいる室外ユニットで設定できる値が表示されます。

次ページに続く

項目	説明
室外機サイクリック制御有効	チェックを入れると、選んだ室外ユニットの室外機サイクリック制御が有効になります。

5 [登録]をタッチする

- 「設定編集」ダイアログが閉じられます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 他の室外ユニットを設定する

- 手順3～5を繰り返します。

7 [時間帯設定]をタッチする

- 「制御時間帯設定」ダイアログが表示されます。



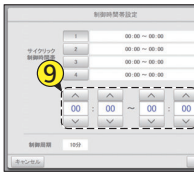
8 番号をタッチする

- 時間帯は4種類設定できます。



9 時間を設定する

- 左側が制御開始時間、右側が制御終了時間です。
- ∧ ∨ で時間を設定します。時は0～23の範囲で、分は「00」「30」で設定します。



10 [登録]をタッチする

- 「制御時間帯設定」ダイアログが閉じられます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



11 「有効」欄にチェックを入れる



次ページに続く

一定間隔で運転を制御する【室外サイクリック制御設定】

12「室外サイクリック制御」の「する」を選ぶ



13［登録］をタッチする

●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をタッチします。



お知らせ

- 制御グループは5グループまで設定できます。
- 設定していない制御グループは、サイクリック制御の対象にはなりません。

「室外サイクリック制御設定」画面



A：［全選択］/［選択クリア］切換ボタン

［全選択］	すべての室外ユニットを選びます。
［選択クリア］	室外ユニットの選択をすべて解除します。

B：システム全体で室外ユニットのサイクリック制御をするか、しないかを設定します。

お知らせ

- 「する」に設定した場合は、必ず室内ユニットのサイクリック制御設定は「しない」に設定してください。

C：タッチするたびに「表示順」「アドレス順」に切り換えます。

D：チェックを入れた室外ユニットは設定編集対象になります。

E：チェックを入れると、選んだ室外ユニットの室外サイクリック制御設定が有効となります。「室外機サイクリック制御　有効」(「設定編集」ダイアログ)(P.113)の設定と連動しています。

F：タッチすると、「時間帯設定」ダイアログが表示されます。

G：タッチすると、「設定編集」ダイアログが表示されます。

データをグラフ表示する



本章では、グラフの表示方法について説明します。

本機は各機器に蓄積されたデータを収集し、グラフ化する機能を搭載しています。データを視覚化することで、より客観的に省エネ管理を行えます。

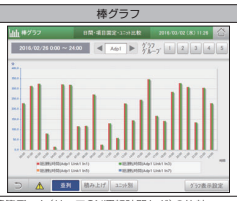
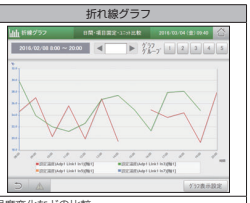
画面メニュー	概要	ページ
棒グラフ	エネルギー（電気、ガス）の使用量などを棒グラフで表示します	119
折れ線グラフ	温度変化などを折れ線グラフで表示します	123

グラフ表示機能について

本機には、省エネ管理機能として「グラフ表示」機能が搭載されています。
室内ユニット、室外ユニット、パルスメーターなどからデータを収集し、表示期間（日間、月間、年間）などを設定してグラフに表示します。

グラフの種類

本機で表示できるグラフは2種類です。

	棒グラフ	折れ線グラフ
表示例		
おもな使用目的	積算データ（サーモON運転時間など）の比較	温度変化などの比較

グラフの設定

グラフを表示するには、以下を設定する必要があります。
（○は設定できる項目です）

● 表示期間

表示期間	棒	折れ線	説明
日間	○	○	一日のデータ推移を時間単位（1時間）で表示します。
月間	○	○	一月のデータ推移を日単位（1日）で表示します。
年間	○		一年のデータ推移を月単位（1月）で表示します。

● 表示方法

表示方法	棒	折れ線	説明
ランキング	○		項目の集計値を元に、ワースト/ベストの上位10台を表示します。
ユニット単位		○	ユニットの項目別データを表示します。（項目は固定）
ユニット比較	○		ユニット（機器は4台まで選択可）別に項目のデータを表示します。
項目単位		○	
前日比較	○	○	項目およびユニットの当日および前日、前々日の3日間のデータを表示します。
自由選択	○	○	項目を自由に選択します。

● ユニット

ユニット	棒	折れ線	説明
室内機	○	○	表示対象を室内ユニットに設定します。
室外機	○	○	表示対象を室外ユニットに設定します。
積算	○		表示対象を積算（パルスメーター）に設定します。
エリア	○		表示対象をエリアグループに設定します。

● グラフ種別・データ種別

種別		棒	折れ線	説明
グラフ	並列※1	○		X軸の1単位に、選んだユニットまたはデータを横に並べます。
	積み上げ※2	○		X軸の1単位に、選んだ各ユニットのデータを積み上げます。
	ユニット別※3	○		X軸をユニットにします（表示順の昇順に10台）。
データ	最高※4		○	選んだ項目の最高値をデータとして扱います。
	最低※4		○	選んだ項目の最低値をデータとして扱います。
	平均※4		○	選んだ項目の平均値をデータとして扱います。
	指定時刻		○	選んだ項目の指定した時刻の値をデータとして扱います。

※1　表示例（並列）



※2　表示例（積み上げ）



※3　表示例（ユニット別）



※4　表示期間で「月間」を選んだときに設定できます。

● 項目

選んだユニットによって、設定できる項目が異なります。

●棒グラフ

ユニット	日間	月間	年間
室内機	総運転時間（分） サーモON運転時間（分）	総運転時間（分） 電気使用量（kWh） 発電ガス使用量（m^3） 空調ガス料金（¥）	サーモON運転時間（分） 空調ガス使用量（m^3） 電気料金（¥） 発電ガス料金（¥）
室外機	室外機運転回数（回）　エンジン運転時間（分）　インバーター積算発電量（kWh） ソーラー積算発電量（kWh）		
パルス	増加量　消費電力量（kWh）		
エリア	総運転時間（分） サーモON運転時間（分）	総運転時間（分） 電気使用量（kWh） 発電ガス使用量（m^3） 空調ガス料金（¥）	サーモON運転時間（分） 空調ガス使用量（m^3） 電気料金（¥） 発電ガス料金（¥）

●折れ線グラフ

ユニット	日間	月間
室内機	設定温度（℃）　室内温度（℃）　吹出温度（℃）　吸込温度（℃）	
室外機	外気温度（℃）　インバーター瞬時発電量（W）　ソーラー瞬時発電量（W）	

お知らせ

- 表示方法で［ユニット単位］を選んだ場合は、該当するユニットのすべての項目を表示します。（項目は選べません）

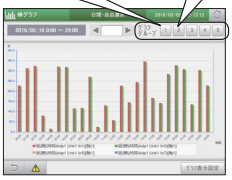
[自由選択]について

●「項目を自由に設定する」(P.126)

棒グラフ、折れ線グラフともに表示方法から[自由選択]を選ぶと、ユニットと項目の自由な組み合わせでグラフを表示できます。目的に応じて、設定を「グラフグループ」として登録しておけば、毎回項目を設定することなく、簡単に表示させることができます。(表示期間などは設定する必要があります)
グラフグループは5グループまで登録できます。

例　グラフグループ1には、室内ユニット1台の総運転時間、サーモON運転時間、電気使用量の月間推移を登録

例　グラフグループ2には、室外ユニット2台の室外機運転回数、エンジン運転時間の日間推移を登録



運転時間、エネルギー使用量をグラフ化する

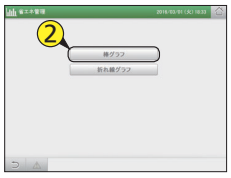
表示期間(日間、月間、年間)を指定して、エネルギー使用量(電気、ガス)や総運転時間、料金(電気、ガス)など、おもに積算データを棒グラフにして表示します。
グラフには目標値を設定することができます(グラフ上には赤ラインが表示されます)。目標値を設定することで、省エネへの意識もより高まります。

1 [省エネ]の[省エネ管理]をタッチする



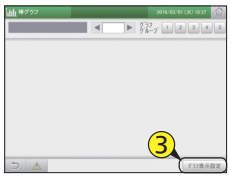
2 [棒グラフ]をタッチする

●メイン画面が表示されます。



3 [グラフ表示設定]をタッチする

●表示設定画面が表示されます。



4 表示範囲を設定する



(画面は「日間」を選んだ場合)

項目	説明
表示期間(日間/月間/年間)	表示期間についてはP.116を参照してください。
表示日 表示月 表示年	表示する日付を設定します。 ●「日間」選択時 1)▦をタッチします。 2)「カレンダー」ダイアログで表示する日付を選びます。 [今日]をタッチすると、当日の日付になります。 ●「月間」「年間」選択時 1)◀ ▶で表示する月または年を選びます。 [今月]または[今年]をタッチすると、当月または当年になります。
X軸	▲ ▼で時間または期間の最初と最後をそれぞれ設定します。 ●「日間」の場合は00:00～24:00、1時間単位 ●「月間」の場合は1日～31日、1日単位
データ単位	X軸1目盛の単位を示します。 日間：1時間固定 月間：1日固定 年間：1ケ月固定
Y軸1(左) Y軸2(右)	数値軸の範囲を設定します。 「自動設定」にチェックが入っていると、数値の最大値、最小値を自動で設定します。 最大値と最小値を手動で設定する場合は、チェックをはずし、テキストボックスに数値を入力します。

次ページに続く

5 [表示項目設定]をタッチする

●「表示項目設定」画面が表示されます。



6 表示方法を選ぶ

●表示方法についてはP.116を参照してください。



(以降、「ユニット比較」を選んだ例で説明します)

7 ユニットを選ぶ

●ユニットについては、P.116を参照してください。



8 グラフ種別を選ぶ

●グラフ種別についてはP.117を参照してください。
●表示方法で[ランキング]を選んだ場合は、「ワースト」「ベスト」のいずれかを選びます。



9 Y軸の表示単位を設定する

① [軸1]をタッチする

●「表示単位設定」ダイアログが表示されます。
●Y軸の表示単位を選びます。



② 表示する単位をタッチする

●設定が登録され、「表示単位設定」ダイアログが閉じられます。



次ページに続く

10 項目を選ぶ

●設定できる項目についてはP.117を参照してください。
●1項目のみ選ぶことができます。



11 機器名を選ぶ

●「選択」欄にチェックを入れます。
●表示方法で「ランキング」、グラフ種別で「ユニット別」を選んだ場合は、すべての機器を対象にするため選ぶ必要はありません。



お知らせ

- 表示方法、グラフ種別の設定によって選べる台数が異なります。

表示方法	グラフ種別	
	並列	積み上げ
ユニット比較	4台まで	4台まで
前日比較	1台のみ	1台のみ

12 軸目標値を設定する

●[軸1目標値]をタッチして、ソフトテンキーで数値を入力します。
●グラフの目標値に青いラインが表示されます。
●設定は任意です。
●表示方法で「ランキング」を選んだ場合は設定できません。



13 [グラフ表示]をタッチする

●メイン画面にグラフが表示されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



運転時間、エネルギー使用量をグラフ化する

棒グラフの表示例

種別	表示方法		
	ランキング	ユニット比較	前日比較
ワースト/ベスト	 ※1	—	—
並列	—	 ※2	 ※2 ※3
積み上げ	—	 ※2	 ※2 ※3
ユニット別	—	 ※2 ※3	 ※2 ※3

※1　[ワースト]/[ベスト]をタッチすると、ランキングを切り換えることができます。
※2　[並列] [積み上げ] [ユニット別]をタッチすると、グラフ種別を切り換えることができます。
※3　◀ ▶をタッチして、表示するユニットを1台単位で切り換えることができます。(例：1号機～10号機が表示されている場合、▶をタッチすると、2号機～11号機の表示に切り替わります。)

お知らせ
- [グラフ表示設定]をタッチすると、表示範囲および表示項目を変更できます。

省エネ　データをグラフ表示する

温度変化をグラフ化する

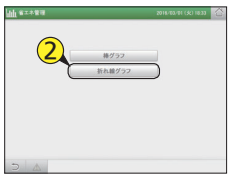
表示期間(日間、月間)を指定して、設定温度や室内温度などの変化を折れ線グラフにして表示します。

1 [省エネ]の[省エネ管理]をタッチする



2 [折れ線グラフ]をタッチする

●メイン画面が表示されます。



3 [グラフ表示設定]をタッチする

●表示設定画面が表示されます。



4 表示範囲を設定する



(画面は「月間」を選んだ場合)

項目	説明
表示期間(日間/月間)	表示期間についてはP.116を参照してください。
表示日 表示月	表示する日付を設定します。 ●「日間」選択時 1) 📅をタッチします。 2)「カレンダー」ダイアログで、表示する日付を選びます。 [今日]をタッチすると、当日の日付になります。 ●「月間」選択時 1) ◀ ▶で表示する月を選びます。 [今月]をタッチすると、当月になります。
X軸	▲ ▼で時間または期間の最初と最後をそれぞれ設定します。 ●「日間」の場合は00:00～24:00、1時間単位 ●「月間」の場合は1日～31日、1日単位
データ単位	X軸1目盛の単位を示します。 日間：「5分」「1時間」のいずれかを選択します。 月間：1日固定
Y軸1(左) Y軸2(右)	数値軸の範囲を設定します。 「自動設定」にチェックが入っていると、数値の最大値、最小値を自動で設定します。 最大値と最小値を手動で設定する場合は、チェックをはずし、テキストボックスに数値を入力します。

次ページに続く

省エネ　データをグラフ表示する

温度変化をグラフ化する

5 [表示項目設定]をタッチする

●「表示項目設定」画面が表示されます。



6 表示方法を選ぶ

●表示方法についてはP.116を参照してください。



(以降、「項目単位」を選んだ例で説明します)

7 ユニットを選ぶ

●ユニットについては、P.116を参照してください。



8 データ種別を選ぶ

●データ種別についてはP.117を参照してください。
●表示期間で[日間]を選んだ場合は設定しません。



9 項目を選ぶ

●設定できる項目についてはP.117を参照してください。
●1項目のみ選ぶことができます。
●表示方法で[ユニット単位]を選んだ場合は、項目固定になるため設定する必要はありません。



10 機器名を選ぶ

●機器名は1台のみ設定できます。
●表示方法で[項目単位]を選んだ場合は、機器名を4台まで設定できます。



省エネ　データをグラフ表示する

次ページに続く

温度変化をグラフ化する

11 軸目標値を設定する

●[軸1目標値]をタッチして、ソフトテンキーで数値を入力します。
●グラフの目標値に青いラインが表示されます。
●設定は任意です。

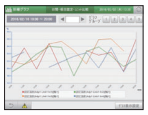


12 [グラフ表示]をタッチする

●メイン画面にグラフが表示されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



折れ線グラフの表示例

表示方法		
ユニット単位	項目単位	前日(前年)比較
	 ※1	 ※1

※1　◀ ▶をタッチして、表示するユニットを1台単位で切り換えることができます。(例：1号機～10号機が表示されている場合、▶をタッチすると、2号機～11号機の表示に切り替わります。)
ただし、ユニット単位の場合は、◀ ▶をタッチして表示を切り換えることはできません。

お知らせ
- [グラフ表示設定]をタッチすると、表示範囲および表示項目を変更できます。

省エネ　データをグラフ表示する

項目を自由に設定する

表示方法から[自由選択]を選ぶと、ユニットと項目を自由に組み合わせた表示項目でグラフ表示することができます。
たとえば、次のような組み合わせで設定できます。

- 室内ユニット01の総運転時間、サーモON運転時間、電気使用量の月間推移を棒グラフに表示する
- 室内ユニット03および06の設定温度、室内温度の日間推移を折れ線グラフに表示する

設定する

1 [省エネ]の[省エネ管理]をタッチする



2 グラフの種類を選ぶ

●メイン画面が表示されます。



3 [グラフ表示設定]をタッチする

●表示設定画面が表示されます。



4 表示範囲を設定する

●詳細については、棒グラフは「運転時間、エネルギー使用量をグラフ化する」(P.119)の手順4、折れ線グラフは「温度変化をグラフ化する」(P.123)の手順4を参照してください。

5 [表示項目設定]をタッチする

●「表示項目設定」画面が表示されます。

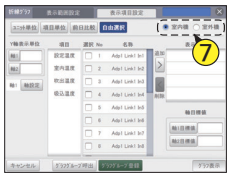


6 [自由選択]を選ぶ



次ページに続く

7 ユニットを選ぶ



8 グラフ種別を選ぶ

●この設定は「棒グラフ」選択時のみです。
●グラフ種別についてはP.117を参照してください。

9 Y軸の表示単位を設定する

① [軸1]または[軸2]をタッチする

●「表示単位設定」ダイアログが表示されます。



② 表示する単位を選ぶ

●設定が登録され、「表示単位設定」ダイアログは閉じられます。



10 [軸設定]をタッチし、表示する軸を選ぶ

●データ項目を表示する軸を選びます。
●タッチするたびに「軸1」「軸2」が切り換わります。



11 項目を選ぶ

●設定できる項目についてはP.117を参照してください。
●1項目のみ選ぶことができます。
●表示方法で[ユニット単位]を選んだ場合は、項目固定になるため設定する必要はありません。



12 機器名を選ぶ



次ページに続く

13 ▷をタッチし、表示項目リストに追加する



14 手順11 ～ 13を繰り返し、表示項目を設定する

●表示項目は4つまで追加できます。
●表示項目リストから削除する場合は、表示項目を選び、◁をタッチします。

15 軸目標値を設定する

●[軸1目標値]または[軸2目標値]をタッチしてソフトテンキーで数値を入力します。
●グラフの軸1目標値に青いラインが表示され、軸2目標値にピンクのラインが表示されます。
●設定は任意です。



16 [グラフ表示]をタッチする

●メイン画面にグラフが表示されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



グラフグループとして登録する

1 [省エネ]の[省エネ管理]をタッチする



2 グラフの種類を選ぶ

●メイン画面が表示されます。



3 グラフグループを選び(3-1)、[グラフ表示設定]をタッチ(3-2)する

●表示設定画面が表示されます。



4 グラフの表示設定を行う

●「設定する」(P.126 ～ 128)の手順4 ～ 14に従ってグラフの表示設定を行ってください。

5 [グラフグループ登録]をタッチする

●「グラフグループXXを上書き登録しますか？」(XXは選んでいるグラフグループの設定番号)というメッセージが表示されます。



6 [登録]をタッチする

●設定が登録されます。
●登録を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



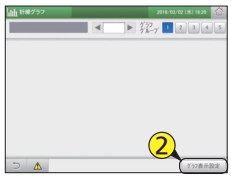
登録済みのグラフを表示する

1 メイン画面で、表示する「グラフグループ」の番号をタッチする



2 [グラフ表示設定]をタッチする

- 表示設定画面が表示されます。



3 表示範囲を設定する

- 詳細については、棒グラフは「運転時間、エネルギー使用量をグラフ化する」(P.119)の手順4、折れ線グラフは「温度変化をグラフ化する」(P.123)の手順4を参照してください。

4 [グラフ表示]をタッチする

- メイン画面にグラフが表示されます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。

お知らせ

- グラフ表示中にグラフグループ番号をタッチすると、他に登録されたグラフを表示することができます。

登録済みのグラフを変更する

1 表示する「グラフグループ」の番号をタッチする



2 [グラフ表示設定]をタッチする

- 表示設定画面が表示されます。



3 設定を変更する

- 表示範囲変更の設定詳細については、棒グラフは「運転時間、エネルギー使用量をグラフ化する」(P.119)の手順4、折れ線グラフは「温度変化をグラフ化する」(P.123)の手順4を参照してください。
- 表示項目変更の設定詳細については、棒グラフは「運転時間、エネルギー使用量をグラフ化する」(P.120～121)の手順5～12、折れ線グラフは「温度変化をグラフ化する」(P.124～125)の手順5～11を参照してください。

次ページに続く

4 [表示項目設定]画面で、[グラフグループ登録]をタッチする

- 「「グラフグループXX」を上書き登録しますか？」(XXは選んでいるグラフグループの設定番号)というメッセージが表示されます。



5 [登録]をタッチする

- 設定が登録されます。
- 登録を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ

- [グラフグループ呼出]をタッチして、他のグラフグループの表示項目設定を変更することもできます。



ネットワーク経由で本機の遠隔操作を行う



本章では、ネットワーク経由で本機の遠隔操作を行うために必要な設定から操作画面の表示方法まで説明します。

本機は、ネットワークを経由して外部から遠隔操作をすることができます。
遠隔操作はパソコンからブラウザを起動して行います。
操作できるのは、本機に登録されたユーザーのみです。また、権限によって本機の操作を制限することもできます。

画面メニュー	概要	ページ
ネットワーク設定	ネットワーク経由で遠隔操作するための設定を行います	133
Webユーザー設定	ネットワーク経由で本機にアクセスできるユーザーを登録します	135

ネットワーク設定を行う

ネットワーク経由で遠隔操作を行うためには、最初にネットワーク設定を行う必要があります。
ネットワーク設定については、あらかじめネットワーク管理者にご相談ください。

1 「設定」の[システム設定]をタッチする

- 「システム設定」画面が表示されます。



2 [ネットワーク設定]をタッチする

- 暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「ネットワーク設定」画面が表示されます。



3 各設定を行う

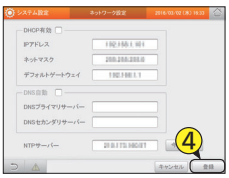


項目	説明
DHCP有効	DHCPサーバーを使用する場合は、チェックを入れます。 有効にすると、「IPアドレス」「ネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」は設定できなくなります。
IPアドレス	本機のIPアドレスを設定します。 テキストボックスをタッチし、ソフトキーボードで入力します。 • 「0.0.0.0」および「255.255.255.255」には設定できません。
ネットマスク	本機のネットマスクを設定します。 テキストボックスをタッチし、ソフトキーボードで入力します。 • 「0.0.0.0」には設定できません。
デフォルトゲートウェイ	必要に応じて、本機のデフォルトゲートウェイを設定します。 テキストボックスをタッチし、ソフトキーボードで入力します。 • 「0.0.0.0」には設定できません。
DNS自動	DNSサーバーのIPアドレスを自動的に取得する場合は、チェックを入れます。 自動取得にすると、「DNSプライマリサーバー」「DNSセカンダリサーバー」は設定できなくなります。
DNSプライマリサーバー	DNSプライマリサーバーのIPアドレスを設定します。 テキストボックスをタッチし、ソフトキーボードで入力します。 • 「0.0.0.0」には設定できません。
DNSセカンダリサーバー	DNSセカンダリサーバーのIPアドレスを設定します。 テキストボックスをタッチし、ソフトキーボードで入力します。 • 「0.0.0.0」には設定できません。
NTPサーバー	NTPサーバーで時刻同期を行う場合は、NTPサーバーのIPアドレスを設定します。 テキストボックスをタッチし、ソフトキーボードで入力します。設定後、[今すぐ更新]をタッチすると、時刻同期を開始します。 • 「0.0.0.0」には設定できません。

次ページに続く

4 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



Webユーザー設定を行う

ネットワーク経由で本機にアクセスできるユーザーを登録します。最大64人まで登録できます。
権限(管理者、オペレーター、一般ユーザー)によって操作を制限できます。

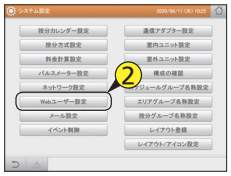
1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [Webユーザー設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「Webユーザー設定」画面が表示されます。



3 登録するユーザーIDの「選択」欄にチェックを入れる



4 [編集]をタッチする

●「ユーザー設定編集」ダイアログが表示されます。



5 パスワードを入力する

●テキストボックスをタッチすると、ソフトキーボードが表示されます。入力方法については、「文字列の入力について」(P.201)を参照してください。
●パスワードは8文字以上(必ず半角英数字を含むこと)で入力してください。



次ページに続く

6 権限を選ぶ

●「0：管理者」「1：オペレーター」「2：一般ユーザー」のいずれかを選びます。
●「0：管理者」に設定できるのは1人だけです。



7 操作対象を選ぶ

●タッチすると、各「操作対象選択」ダイアログが表示されます。
●各操作対象(「室内機」「制御グループ」「エリア」)を選びます。
●権限を「0：管理者」に設定すると、全操作が対象となるため、操作対象は選べません。



8 操作対象機器を選び(8-1)、 を タッチする(8-2)

●右の一覧(Web対象機器)に操作対象機器が移動します。操作対象機器を選んで をタッチすると、元に戻ります。
●複数の操作対象を選ぶことができます。



9 [登録]をタッチする

●設定が登録され、「操作対象選択」ダイアログが閉じられます。
●登録を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



10 [登録]をタッチする

●設定が登録され、「ユーザー設定編集」ダイアログが閉じられます。



11 他のユーザーを登録する

●手順3～10を繰り返します。

次ページに続く

12 「登録」欄にチェックを入れる

●ネットワークで操作できるユーザーを選びます。



13 [登録]をタッチする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「Webユーザー設定」画面

A：チェックを入れると、ユーザー設定編集の対象になります。

B：チェックを入れたユーザーは、ネットワーク経由で操作できるようになります。

権限	ユーザーの権限を示します。 0：管理者 1：オペレーター 2：一般ユーザー
室内機 制御グループ エリア	ユーザーは、「○」の付いたカテゴリーを操作できます。

C：タッチすると、「ユーザー設定編集」ダイアログが表示されます。



遠隔操作を行う

パソコンのブラウザから本機の遠隔操作を行います。

1 ブラウザを起動する

2 インテリジェントコントローラーにアクセスするためのアドレスを入力する

- アドレスは「https://***.***.***.***/intelicon/index.php」です。
  ..***.***はネットワーク設定で設定したIPアドレスです。
  例：https://192.168.1.101/intelicon/index.php
- ログイン画面が表示されます。



3 「Webユーザー」「Password」を入力する

- Webユーザー設定(P.135)で設定した個人のユーザーID、パスワードを入力します。
- 操作画面が表示されます。
- 各操作は本機の操作と同じです。



データのバックアップ/復元を行う



本章では、データのバックアップ方法、復元方法について説明します。

本機には、設定データ、積算/按分データ、ログデータをUSBメモリーに保存できる機能があります。
(バックアップ機能)
また、保存したデータを再び本機に読み込む機能があります。(復元機能)
定期的にデータをUSBメモリーに保存しておけば、落雷などの停電で本体内部のデータが破損しても元通りにすることができます。

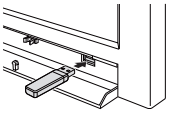
画面メニュー	概要	ページ
バックアップ	各データ(設定、履歴)をUSBメモリーに保存します	140
復元	本機内あるいはUSBメモリーにバックアップしたデータを復元します	142
レイアウトバックアップ	レイアウトのデータをUSBメモリーに保存します	144
レイアウト復元	USBメモリーにバックアップしたレイアウトのデータを復元します	145
CSV出力	本機の設定をCSVファイルとしてエクスポート(出力)します	147
CSV入力	本機の設定をCSVファイルとしてインポート(入力)します	149
自動CSV保存	本機内に自動生成されたCSVファイル(積算、按分、履歴)を保存します	151

データのバックアップを行う

設定データ、ログデータをUSBメモリーに保存できます。ネットワーク経由でバックアップすることもできます。

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する

- ネットワーク経由でバックアップをする場合、この手順は必要ありません。



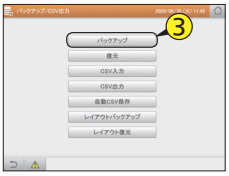
2 「設定」の[バックアップ/CSV出力]をタッチする

- 「バックアップ/CSV出力」画面が表示されます。



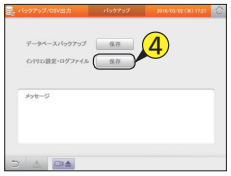
3 [バックアップ]をタッチする

- 暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「バックアップ」画面が表示されます。



4 「インテリコン設定・ログファイル」の[保存]をタッチする

- 保存を開始します。保存が終了すると、メッセージが表示されます。
- ネットワーク経由でバックアップする場合は、保存場所を指定します。
- 続けて、他のバックアップ項目も同じ操作で保存できます。



5 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする

- 「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージを確認してからUSBメモリーを取り外してください。
- USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



お知らせ

- バックアップファイルは1日に1回自動生成され、本機内に保存されます。本操作は、保存されているバックアップファイルをUSBメモリーに保存する操作です。
- バックアップできる項目は以下のとおりです。

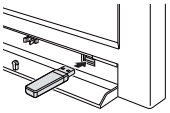
インテリコン設定	インテリジェントコントローラー本体の設定内容などを保存します。
ログファイル	システム内部のログファイルを保存します。

- バックアップする時間はデータ量により異なります。
- バックアップされるファイルは6種類です。
  icxsysset.zip
  icxsyslog.zip
  icxappset.zip
  icxapplog.zip
  icxapplog_now.zip
  icxsyslog_now.zip
- ネットワーク経由でバックアップする場合、他の端末でバックアップしているとき、この操作は実行できません。

データの復元を行う

本機内あるいはUSBメモリーにバックアップ(保存)したデータを復元できます。

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する



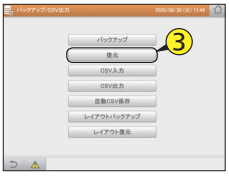
2 「設定」の[バックアップ/CSV出力]をタッチする

●「バックアップ/CSV出力」画面が表示されます。



3 [復元]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「復元」画面が表示されます。



4 復元元および復元設定を選ぶ

●復元元は、「本体」、「USBメモリ」から選びます。
●復元設定は、「アプリケーション設定」、「システム設定」から選びます。



5 [復元]をタッチする

●復元を開始します。復元が終了すると、「再起動します」というメッセージが表示されます。



6 [OK]をタッチする

●本機が再起動します。復元されたデータは再起動することがあります。

次ページに続く

7 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする

●「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージを確認してからUSBメモリーを取り外してください。
●USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



お知らせ

- 復元できる項目は以下のとおりです。

本体設定の復元	インテリジェントコントローラー本体の設定内容などを復元します。

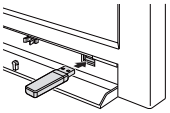
- 復元する時間はデータ量により異なります。
- 復元されたデータはバックアップ時のものになります。

レイアウトのバックアップを行う

レイアウトのバックアップデータをUSBメモリーに保存できます。ネットワーク経由でバックアップすることもできます。

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する

●ネットワーク経由でバックアップをする場合、この手順は必要ありません。



2 「設定」の[バックアップ/CSV出力]をタッチする

●「バックアップ/CSV出力」画面が表示されます。



3 [レイアウトバックアップ]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「バックアップ」画面が表示されます。



4 [バックアップ]をタッチする

●保存を開始します。保存が終了すると、メッセージが表示されます。
●ネットワーク経由でバックアップする場合は、ブラウザのダウンロード保存先に保存されます。



5 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする

●「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージを確認してからUSBメモリーを取り外してください。
●USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



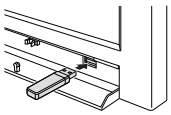
お知らせ

- バックアップファイルやファイル名を変更・改造した場合は、インテリジェントコントローラーが動作しなくなることがありますのでご注意ください。
- ファイル名は以下の形式となります。
(YYYYMMDD：データ出力日)
layout_YYYYMMDD.laybak

レイアウトの復元を行う

USBメモリーにバックアップ(保存)したレイアウトのデータを復元できます。

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する



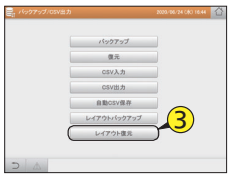
2 「設定」の[バックアップ/CSV出力]をタッチする

●「バックアップ/CSV出力」画面が表示されます。

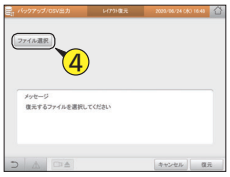


3 [レイアウト復元]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「復元」画面が表示されます。

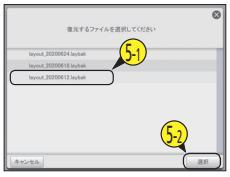


4 [ファイル選択]をタッチする



5 [復元するファイル]を選び(5-1)、[選択]をタッチ(5-2)する

●取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 [復元]をタッチする

●取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



次ページに続く

7 [OK]をタッチする

- 復元を開始します。復元が終了すると、「レイアウトファイルの復元が正常に終了しました」というメッセージが表示されます。
- 取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



8 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする

- 「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージを確認してからUSBメモリーを取り外してください。
- USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



設定をCSVファイルとして出力する

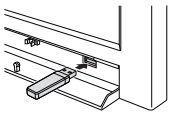
本機の設定をCSVファイルとしてエクスポート(出力)します。

エクスポートの対象となる設定は以下のとおりです。

- 室内機ユニット設定
- 室外機ユニット設定
- 扱分グループ設定
- スケジュールグループ設定
- パルスメーター設定
- 通信アダプター設定
- エリア設定
- スケジュール
- イベント

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する

- ネットワーク経由でバックアップをする場合、この手順は必要ありません。



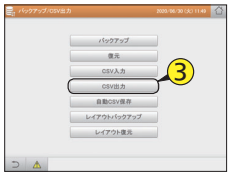
2 「設定」の[バックアップ/CSV出力]をタッチする

- 「バックアップ/CSV出力」画面が表示されます。



3 [CSV出力]をタッチする

- 暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「CSV出力」画面が表示されます。



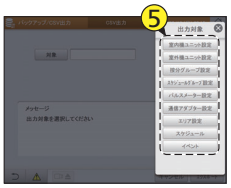
4 [対象]をタッチする

- 「出力対象」ダイアログが表示されます。



5 エクスポートする設定名をタッチする

- 設定が登録され、「出力対象」ダイアログが閉じられます。



次ページに続く

6 [エクスポート]をタッチする

- エクスポートを開始します。エクスポートが終了すると、「○○○のCSVファイルのエクスポートが正常に終了しました。」というメッセージが表示されます。
- 他の設定をエクスポートする場合は、手順4～6を繰り返してください。
- エクスポートを取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ

- エクスポートする時間はデータ量により異なります。

7 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする

- 「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージを確認してからUSBメモリーを取り外してください。
- USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



設定をCSVファイルとして入力する

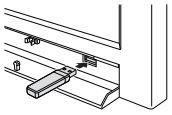
本機の設定をCSV形式でインポート(入力)します。

インポートの対象となる設定は以下のとおりです。

- 室内機ユニット設定
- 室外機ユニット設定
- 扱分グループ設定
- スケジュールグループ設定
- パルスメーター設定
- 通信アダプター設定
- エリア設定

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する

- ネットワーク経由でインポートする場合、この手順は必要ありません。



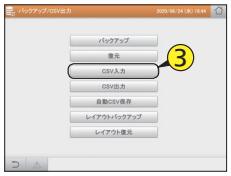
2 「設定」の[バックアップ/CSV出力]をタッチする

- 「バックアップ/CSV出力」画面が表示されます。



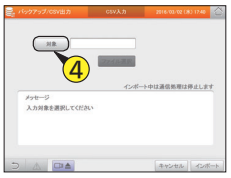
3 [CSV入力]をタッチする

- 暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「CSV入力」画面が表示されます。



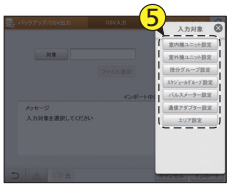
4 [対象]をタッチする

- 「入力対象」ダイアログが表示されます。



5 インポートする設定名をタッチする

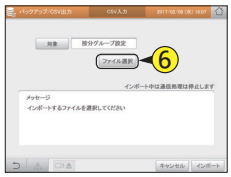
- 設定が登録され、「入力対象」ダイアログが閉じられます。



次ページに続く

6 [ファイル選択]をタッチする

- ファイル選択画面が表示されます。
- ネットワーク経由の場合は、ファイル選択ダイアログが表示されます。



7 インポートするファイルを選び、[選択]をタッチする

- ファイル選択画面が閉じられます。
- ファイル選択を中止する場合は、[キャンセル]をタッチします。
- ネットワーク経由の場合は、ファイル選択ダイアログでファイルを選び、[OK]をクリックします。



8 [インポート]をタッチする

- インポートを開始します。
- インポートを取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



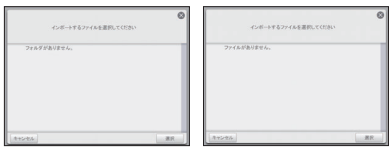
9 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする

- 「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージを確認してからUSBメモリーを取り外してください。
- USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



お知らせ

- インポートする時間はデータ量により異なります。
- CSVファイルは、USBにエクスポート(出力)された場所からインポート(入力)されますので、別のパソコンで編集した場合は、必ずUSBの元の場所に上書きしてください。
  格納場所が異なっている場合は「フォルダがありません」または「ファイルがありません」と表示されます。

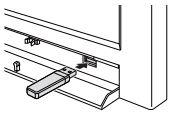


自動生成ファイルを保存する

本機内に自動生成されたCSVファイル(按分、履歴)をZIP形式でUSBメモリーに保存します。

1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する

- ネットワーク経由でダウンロードする場合、この手順は必要ありません。



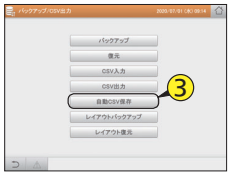
2 「設定」の[バックアップ/CSV出力]をタッチする

- 「バックアップ/CSV出力」画面が表示されます。



3 [自動CSV保存]をタッチする

- 暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「自動CSVファイル保存」画面が表示されます。



4 保存するCSVファイルの種類を選ぶ



5 保存する「年」を選ぶ



6 保存する「月」を選ぶ

- 複数の「月」を選択できます。
- スワイプあるいはフリックで「月」の表示を上下にスクロールできます。



次ページに続く

7 [保存]をタッチする

- 確認のメッセージが表示されます。
- ネットワーク経由の場合は保存場所を指定します。
- ファイルの保存を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



8 [OK]をタッチする

- 保存が開始されます。保存が終了すると、終了のメッセージが表示されます。

9 USBメモリーを取り出すときは、 をタッチする

- 「安全にUSBメモリを取り外すことができます。」というメッセージを確認してからUSBメモリーを取り外してください。
- USBメモリーを取り外してから収納扉を閉じてください。



お知らせ

- 按分データおよびログデータは、1日に1回CSVファイルとして本機内に自動生成されます。CSVファイルは月ごとに自動生成されます。
- 本操作は、年月を指定してCSVファイルをUSBメモリーに保存する操作です。ネットワークを経由してダウンロードすることもできます。

システム設定を行う

システム設定

本章では、システム運営上必要な設定のしかたについて説明します。

おもな設定は以下のとおりです。

- グループ設定(スケジュール、エリア、按分)
- パルスメーター設定、按分方式設定、料金計算設定
- メール設定

画面メニュー	概要	ページ
按分カレンダー設定	按分計算の特定日、締め日、各曜日の按分計算の対象時間帯(時間内範囲)を設定します	161
室内ユニット設定	各室内ユニットの設定を行います	154
スケジュールグループ名称設定	スケジュールのグループ名を編集します	164
エリアグループ名称設定	エリアグループのグループ名を編集します	166
パルスメーター設定	パルスメーターと按分グループの割り当てを行います	171
按分方式設定	料金計算を行うときの按分方式を設定します	173
料金計算設定	電気料金およびガス料金の単価を設定します	174
イベント制御	入力ポイントおよび出力ポイントの条件を設定し、連動的な制御を行います	175
メール設定	メール送信サーバーを設定します	181
室外ユニット設定	各室外ユニットの設定を行います	158
按分グループ名称設定	按分グループのグループ名を編集します	168
通信アダプター設定	本機に接続されている通信アダプターを登録します	183
レイアウト/アイコン設定	レイアウトと室内機アイコンの表示項目を設定します	185

室内ユニットの基本設定を行う

室内ユニットの詳細設定(室内ユニットアドレス、所属グループなど)を表示します。設定を変更することもできます。

1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [室内ユニット設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「室内ユニット設定」画面が表示されます。



3 設定の詳細を確認する(P.155)



4 [登録]欄にチェックを入れる

●管理対象とする室内ユニットにチェックを入れます。
●集中アドレスの自動設定を行っている場合は、この操作は不要です。(→「集中アドレスを自動設定する」(P.157))



5 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「室内ユニット設定」画面

A：室内ユニットが接続されているアダプター(本機、通信アダプター)を選びます。

B：室内ユニットが接続されているリンク系統を選びます。

C：タッチする(設定オン)と、「接続」欄に「有」と表示されている室内ユニットのみ一覧表示します。再度タッチすると、すべての室内ユニットが一覧表示されます。(設定オフ)

D：タッチする(設定オン)と、「登録」欄にチェックを入れた室内ユニットのみ一覧表示されます。再度タッチすると、すべての室内ユニットが一覧表示されます。(設定オフ)

E：各室内ユニットの詳細設定を一覧表示します。



項目	説明
[選択]	設定を編集する室内ユニットにチェックを入れます。
No.	連番を示します。
名称	室内ユニットの名前を表示します。
アドレス	室内ユニットアドレスを表示します。
接続	本機に接続している場合は、「有」と表示されます。
親機	親機の場合は、「親」と表示されます。
登録	本機の管理対象とする場合はチェックを入れます。
操作対象外	操作の対象外となっている場合は「○」、操作の対象となっている場合は「×」が表示されます。
管理対象外	本機の管理の対象となっていない場合は「○」、管理の対象となっている場合は「×」が表示されます。
表示順	表示順を示します。
集中アドレス	集中アドレスを表示します。
制御グループ	所属する制御グループ名を表示します。
スケジュールグループ	所属するスケジュールグループ名を表示します。
エリア	所属するエリア名を表示します。
按分グループ※	所属する按分グループ名を表示します。
能力	室内ユニットの運転能力値を表示します。
能力固定	室内ユニットの能力固定値を表示します。
室内型式	室内ユニットの型式名を表示します。
製品種別	製品種別(PAC、GHP)を表示します。
電気ヒーター	電気ヒーターの容量値を表示します。

※按分方式(P.173)を「時間」に設定した場合は、PACとGHPを同じ按分グループに登録しないでください。

F：「登録」欄にチェックを入れている室内ユニットに対して集中アドレスを自動で設定します。(→「集中アドレスを自動設定する」(P.157))

G：タッチすると、「選択」欄にチェックを入れた室内ユニットの「ユニット設定編集」ダイアログが表示されます。

お願い
- 按分方式(→「按分方法を設定する」(P.173))が「時間」の場合は、PACとGHPを同一の按分グループに登録しないでください。

設定を編集する

1 「選択」欄にチェックを入れる

●複数選ぶこともできます。



2 [編集]をタッチする

●「ユニット設定編集」ダイアログが表示されます。



3 各設定を行う



項目	説明
名称	室内ユニットの名前を変更します。テキストボックスをタッチし、ソフトキーボードで入力します。全角で8文字(英数半角で16文字)まで入力できます。

項目	説明
室外機アドレス	▲ ▼で設定したい室外ユニットアドレス(1～31)を選択します。(「31」は熱交換ユニットまたはローカルアダプターに設定します)
室内機アドレス	▲ ▼で設定したい室内ユニットアドレス(1～64)を選択します。
表示順	▲ ▼で、一覧で表示されるときの順番(0～256)を設定します。
集中アドレス	集中アドレス(1～64)を設定します。 テキストボックスをタッチし、ソフトテンキーで入力します。 お知らせ • 集中アドレスは他の集中コントローラー(システムコントローラー、マルチコントローラーなど)で共通して使用されるアドレスです。不必要に変更しないようにしてください。 • 重複したアドレスを設定すると、エラーメッセージが表示されます。 • 複数の室内ユニットを選択している場合は設定できません。
能力固定	室内ユニットの能力固定値を設定します。(ローカルアダプター設置時) テキストボックスをタッチし、ソフトテンキーで入力します。
電気ヒーター容量	電気ヒーター搭載機種の場合、電気ヒーターの容量を設定します。(負荷按分計算時) テキストボックスをタッチし、ソフトテンキーで入力します。
グループ登録 • 制御グループ • スケジュールグループ • エリア • 按分グループ	所属するグループを登録します。各テキストボックスをタッチすると、グループ名がリスト表示されます。 お知らせ • 同じグループに所属する室内ユニットの「選択」欄にチェックを入れて設定編集すると、まとめて登録できます。
操作対象外	操作の対象外にする場合は「○」、対象とする場合は「×」を選びます。
管理対象外	本機の管理から対象外にする場合は「○」、対象とする場合は「×」を選びます。

次ページに続く

4 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



5 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ
- 同じエリアの室内ユニットを複数の按分グループに登録しないでください。
- 時間按分の場合、PACとGHPを同じエリアおよび按分グループに設定しないでください。

集中アドレスを自動設定する

1 「登録」欄にチェックを入れる

●管理対象とする室内ユニットにチェックを入れます。



2 [集中アドレス自動]をタッチする



お知らせ
- 集中アドレスは他の集中コントローラー(システムコントローラー、マルチコントローラーなど)で共通して使用されるアドレスです。不必要に変更しないようにしてください。
- 「ユニット設定編集」ダイアログで集中アドレスを設定したあとで「集中アドレス自動」を行うと、集中アドレスは上書きされます。
- ブラウザで表示した場合、室内ユニットの名称が使用する文字によって画面に表示しきれない場合がありますので、ご注意ください。

室外ユニットの基本設定を行う

室外ユニットの詳細設定(室外ユニットアドレスなど)を表示します。名称などの設定を変更することもできます。

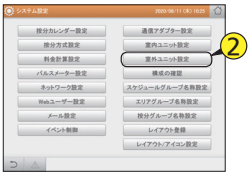
1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [室外ユニット設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「室外ユニット設定」画面が表示されます。



3 設定の詳細を確認する(P.159)



4 [登録]欄にチェックを入れる

●管理対象とする室外ユニットにチェックを入れます。



5 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「室外ユニット設定」画面



A：室外ユニットが接続されているアダプター（本機、通信アダプター）を選びます。

B：室外ユニットが接続されているリンク系統を選びます。

C：タッチする（設定オン）と、「登録」欄にチェックを入れた室外ユニットのみ一覧表示されます。再度タッチすると、すべての室外ユニットが一覧表示されます。（設定オフ）

D：各室外ユニットの詳細設定を一覧表示します。

項目	説明
[選択]	設定を編集する室外ユニットにチェックを入れます。
No.	連番を示します。
名称	室外ユニットの名前を表示します。
アドレス	室外ユニットアドレスを表示します。
冷暖フリー	室外ユニットが冷房・暖房兼用タイプの場合は「○」、専用タイプの場合は「×」と表示されます。
登録	本機の管理対象とする場合はチェックを入れます。
表示順	表示順を示します。
製品種別	製品種別(PAC、GHP)を表示します。

E：タッチすると、「選択」欄にチェックを入れた室外ユニットの「室外ユニット設定編集」ダイアログが表示されます。

設定を編集する

1 「選択」欄にチェックを入れる

●複数選ぶこともできます。

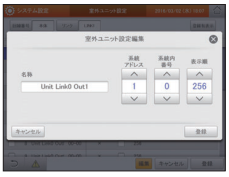


2 [編集]をタッチする

●「室外ユニット設定編集」ダイアログが表示されます。



3 各設定を行う



項目	説明
名称	室外ユニットの名前を変更します。全角で8文字(英数半角で16文字)まで入力できます。

項目	説明
系統アドレス	∧ ∨ で、設定したい室外ユニット系統アドレス(1～30)を選択します。
系統内番号(子機番号)	∧ ∨ で、設定したい系統内の個別番号(0～3)を選択します。
表示順	∧ ∨ で、一覧で表示されるときの順番を設定します。

4 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



5 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



按分計算の基本設定を行う

按分計算の特定日、締め日、各曜日の按分計算の対象時間帯(時間内範囲)を設定します。

1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [按分カレンダー設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「按分カレンダー設定」画面が表示されます。



3 各設定を行う



項目	説明
特定日カレンダー	特定日(休日など時間帯に関係なく、終日特別な按分設定日)を設定します。当月から2年先まで登録できます。(→「特定日を登録する」(P.162))
締め日	毎月の締め日(「1」～「28」、「31(月末)」)を設定します。(→「締め日を設定する」(P.162))
時間内範囲	曜日ごとに按分時間帯を設定します。「有効」にチェックを入れると、時間内範囲の設定が可能になります。[時間内範囲設定]をタッチすると、「時間内範囲設定」ダイアログが表示されます。(→「按分計算の対象時間帯を設定する」(P.163))

4 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



特定日を登録する

1 特定日とする日付をタッチする

- ◀ ▶ で登録月を選びます。当月に戻す場合は、[今月]をタッチします。
- タッチすると、日付欄の色が変わります。再度タッチすると、元に戻ります。ただし、過去の日付は登録できません。
- 曜日単位で特定日を登録する場合は、曜日欄をタッチします。



締め日を設定する

1 ∧ ∨ をタッチする

- 日を先に送る場合は ∧ を、戻す場合は ∨ をタッチします。



按分計算の対象時間帯を設定する

1 [時間内範囲設定]をタッチする

- [時間内範囲設定]ダイアログが表示されます。



2 入力するセルをタッチする

- 曜日欄をタッチすると、選んだ曜日すべての時間帯を選択できます。



3 開始時刻および終了時刻を設定する

- ∧ ∨ で時、分をそれぞれ設定します。



4 [設定]をタッチする

- 設定した時間がセルに表示されます。
- 設定した時間帯を削除するには、削除する時間帯を選び、[クリア]をタッチします。
- 設定した時間帯をコピーするには、コピーする時間帯を選び、[コピー]をタッチします。次に、貼り付ける場所を選び、[貼付]をタッチします。



5 [登録]をタッチする

- [時間内範囲設定]ダイアログが閉じられます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



6 [有効]にチェックを入れる



スケジュールグループの名称を変更する

稼働スケジュールのグループ名を編集します。

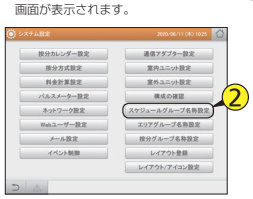
1 [設定]の[システム設定]をタッチする

- [システム設定]画面が表示されます。



2 [スケジュールグループ名称設定]をタッチする

- 暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると[スケジュールグループ名称設定]画面が表示されます。



3 [選択]欄にチェックを入れる

- 編集対象となるスケジュールグループ名を選びます。



4 [編集]をタッチする

- [スケジュールグループ設定編集]ダイアログが表示されます。



5 各設定を行う



項目	説明
名称	スケジュールグループ名を変更します。全角で8文字(英数半角で16文字)まで入力できます。
表示順	∧ ∨ で、一覧で表示されるときの順番を設定します。

次ページに続く

6 [登録]をタッチする

- [スケジュールグループ設定編集]ダイアログが閉じられます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



7 [有効]欄にチェックを入れる

- 稼働スケジュールで使用するスケジュールグループにチェックを入れます。



8 [登録]をタッチする

- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



[スケジュールグループ名称設定]画面

A：編集対象となるグループにチェックを入れます。

B：スケジュールグループを使用する場合にチェックを入れます。

C：選択しているスケジュールグループに所属している室内ユニットが表示されます。

D：タッチすると、[スケジュールグループ設定編集]ダイアログが表示されます。



エリアグループの名称を変更する

エリアグループのグループ名を編集します。

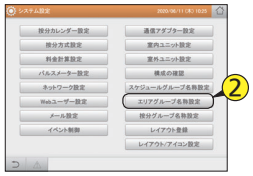
1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [エリアグループ名称設定]をタッチする

●暗証番号（パスワード　レベル1または2）を入力すると「エリアグループ名称設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れる

●編集対象となるエリアグループ名を選びます。



4 [編集]をタッチする

●「エリアグループ設定編集」ダイアログが表示されます。



5 各設定を行う



項目	説明
名称	エリアグループ名を変更します。 全角で8文字（英数半角で16文字）まで入力できます。
表示順	＜＞で、一覧で表示されるときの順番を設定します。

次ページに続く

6 [登録]をタッチする

●「エリアグループ設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



7 「有効」欄にチェックを入れる

●使用するエリアグループにチェックを入れます。



8 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「エリアグループ名称設定」画面

A：編集対象となるグループにチェックを入れます。
B：エリアグループを使用するグループ名にチェックを入れます。
C：選択しているエリアグループに所属している室内ユニット名が表示されます。
D：タッチすると、「エリアグループ設定編集」ダイアログが表示されます。



按分グループの名称を変更する

按分グループのグループ名を編集します。

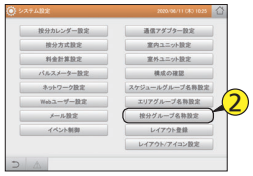
1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [按分グループ名称設定]をタッチする

●暗証番号（パスワード　レベル1または2）を入力すると「按分グループ名称設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れる

●編集対象となる按分グループ名を選びます。



4 [編集]をタッチする

●「按分グループ設定編集」ダイアログが表示されます。



5 各設定を行う



項目	説明
名称	按分グループ名を変更します。 全角で8文字（英数半角で16文字）まで入力できます。
表示順	＜＞で、一覧で表示されるときの順番を設定します。

次ページに続く

6 [登録]をタッチする

●「按分グループ設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



7 「有効」欄にチェックを入れる

●按分計算で使用する按分グループにチェックを入れます。



8 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ

- 時間按分の場合、1つの按分グループ内に「PAC」「GHP」は混在できません。それぞれ別のグループに設定してください。

「按分グループ名称設定」画面

A：編集対象となるグループにチェックを入れます。

B：按分グループを使用する場合にチェックを入れます。

C：選択している按分グループに所属している室内ユニットが表示されます。

D：タッチすると、「按分グループ設定編集」ダイアログが表示されます。



パルスメーターの基本設定を行う

パルスメーターと按分グループの割り当てを行います。

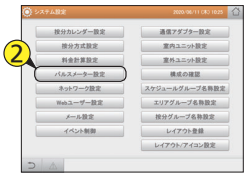
1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [パルスメーター設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「パルスメーター設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れる

●編集対象となるパルスメーターを選びます。



4 [編集]をタッチする

●「パルスメーター設定編集」ダイアログが表示されます。



5 各設定を行う



項目	説明
名称	パルスメーター名を変更します。 全角で8文字(英数半角で16文字)まで入力できます。
単位名称	パルスメーター表示の単位を入力します。
乗率	∧ ∨ で、パルスメーター表示の乗率を設定します。
小数点以下桁数	∧ ∨ で、パルスメーター表示の小数点以下の桁数を設定します。(0～3)
表示順	∧ ∨ で、一覧で表示されるときの順番を設定します。
種類	∧ ∨ で、パルスメーターの種類を設定します。 設定は「電力」「ガス」「発電」「水道」「氷」から選びます。

次ページに続く

項目	説明
按分グループ	測定する按分グループを設定します。 タッチすると、「按分グループ選択」ダイアログが表示されます。測定する按分グループを選び、[選択]をタッチします。

6 [登録]をタッチする

●「パルスメーター設定編集」ダイアログが閉じられます。

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



7 「登録」欄にチェックを入れる

●登録を有効にするパルスメーターにチェックを入れます。



8 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



「パルスメーター設定」画面

A：「登録」欄にチェックを入れたパルスメーターのみ一覧表示します。

B：編集するパルスメーターにチェックを入れます。

C：登録を有効にするパルスメーターにチェックを入れます。

D：タッチすると、「パルスメーター設定編集」ダイアログが表示されます。



按分方法を設定する

料金計算を行うときの按分方式を設定します。
按分方式には、次の2つの方式があります。
時間按分：室内ユニットの運転時間(サーモON累積時間、サーモOFF累積時間)を元に按分率を算出する方法です。
負荷按分：室内ユニットおよび室外ユニットの電気/ガス使用量(待機電力を含む)などを元に按分率を算出する方法です。

1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。

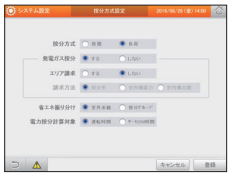


2 [按分方式設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「按分方式設定」画面が表示されます。



3 各設定を行う



項目	説明
按分方式	按分方式(時間按分、負荷按分)を設定します。 • 「スマートマルチ」は負荷按分できません。
発電ガス按分	発電ガスを使用している場合に按分計算するか、しないかを選びます。 • 「しない」に設定すると、エリア請求および請求方法は設定できません。
エリア請求	発電ガスのエリア請求をするか、しないかを選びます。 • 「しない」に設定すると、請求方法は設定できません。
請求方法	発電ガスの請求方法を設定します。
省エネ振り分け	冷暖フリーや氷蓄熱機種などにおける省エネ効果を按分計算に反映させる範囲を設定します。(負荷按分時のみ) • 「室外系統」は室外系統のエリアの空調按分にだけ反映されます。 • 「按分グループ」は按分グループ全体の全エリアの空調按分に反映されます。
電力按分計算対象	電力按分の計算対象を設定します。 • 「運転時間」は室内ユニット、室外ユニット両方の電力を按分します。 • 「サーモON時間」は室外ユニットの電力のみを按分します。

4 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ

- 按分方式を途中で変更した場合、異なる按分方式が混在した期間を指定しての按分はできません。按分方式変更前、変更後の期間でそれぞれ集計を行い、合算するなどの運用をしてください。

電気/ガス料金の単価を設定する

電気料金およびガス料金の単価を設定します。

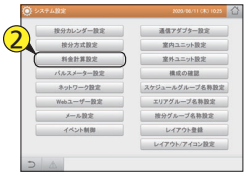
1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [料金計算設定]をタッチする

●暗証番号（パスワード　レベル1または2）を入力すると「料金計算設定」画面が表示されます。



3 各設定を行う

●テキストボックスをタッチすると、ソフトテンキーが表示されます。



項目	説明
電気料金単価 ガス料金単価	電気あるいはガス料金の単価設定画面に切り替えます。 タッチして反転表示されているものが設定対象です。
時間帯単価設定	時間内範囲1 ～ 8の単価を設定します。 • 時間内範囲の時間帯は「按分カレンダー設定」の「時間内範囲設定」(P.163)で設定したものです。
時間外	時間外の単価を設定します。
特定日	特定日の単価を設定します。 • 特定日は「按分カレンダー設定」の「特定日カレンダー」(P.162)で設定したものです。
全時間	時間内範囲、時間外、特定日のいずれにも属さない時間の単価を設定します。

4 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



空調機を連動的に制御する

入力ポイントおよび出力ポイントの条件を設定することで、空調機（室内ユニット、室外ユニット）の連動的な制御を行います。
たとえば、火災警報が発令される（入力ポイント）と、室内ユニットの運転を一斉に停止する（出力ポイント）ような設定をすることができます。

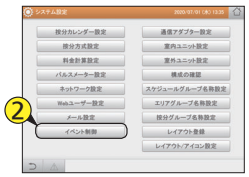
1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [イベント制御]をタッチする

●暗証番号（パスワード　レベル1または2）を入力すると「イベント制御」画面が表示されます。



3 イベント名を選ぶ

●◀ ▶でイベントを登録するイベント名を選びます。
●イベント名は変更できます。（→「イベント名を変更する」(P.180)）



4 入力ポイント枠を選び(4-1)、[設定]をタッチ(4-2)する

●「入力ポイント設定」ダイアログが表示されます。



5 一覧から入力対象を選ぶ

●入力対象には、空調警報、デジタル入出力機器、室内ユニット（個別、制御グループ）があります。



次ページに続く

6 入力条件を設定する

●選んだ入力対象によって設定できる条件が異なります。



●空調機警報一括を選んだとき

項目	説明
警報一括	「発生」「復旧」のいずれかを選びます。 • 「発生」は、異常警報が発信されたときを示します。 • 「復旧」は、異常から復旧したときを示します。

●空調機運転一括を選んだとき

項目	説明
運転一括	「運転」「停止」のいずれかを選びます。 • 「運転」は、室内ユニットが1台以上運転を開始したときを示します。 • 「停止」は、すべての室内ユニットが運転を停止したときを示します。

●デジタル入出力機器を選んだとき

項目	説明
デジタル入力	「ON」「OFF」のいずれかを選びます。 • 「ON」は、デジタル入力信号がオンになったときを示します。 • 「OFF」は、デジタル入力信号がオフになったときを示します。

●室内ユニットを選んだとき

項目		説明
室内機※	運転	「運転」「停止」のいずれかを選びます。 • 「運転」は、室内ユニットが運転を開始したときを示します。 • 「停止」は、室内ユニットが運転を停止したときを示します。
	警報	「発生」「復旧」のいずれかを選びます。 • 「発生」は、異常警報が発信されたときを示します。 • 「復旧」は、異常から復旧したときを示します。
	室温	室温を設定します。テキストボックスをタッチすると、ソフトテンキーが表示されます。 「以上」「以下」のいずれかを選びます。 • 「以上」は、設定した室温以上になったときを示します。 • 「以下」は、設定した室温以下になったときを示します。

※右のうちの一つを条件項目として設定します

7 [登録]をタッチする

●「入力ポイント設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



8 出力ポイント枠を選び(8-1)、[設定]をタッチ(8-2)する

●「出力ポイント設定」ダイアログが表示されます。



9 一覧から出力対象を選ぶ

●出力対象には、デジタル入出力機器、室内ユニット（一斉、個別、制御グループ）、室外ユニットがあります。



次ページに続く

10 出力条件を設定する

●選んだ出力対象によって設定できる条件が異なります。



●室内機一斉を選んだとき

項目	説明
室内機一斉	「運転」「停止」のいずれかを選びます。 • 「運転」は、入力ポイントに登録されている室内ユニットが1台以上運転を開始することを示します。 • 「停止」は、すべての室内ユニットが運転を停止することを示します。

●デジタル入出力機器を選んだとき

項目	説明
デジタル出力	「ON」「OFF」のいずれかを選びます。 • 「ON」は、デジタル出力信号をオンにすることを示します。 • 「OFF」は、デジタル出力信号をオフにすることを示します。

●室内ユニットを選んだとき

項目		説明
室内機※	運転	「運転」「停止」のいずれかを選びます。 • 「運転」は、室内ユニットの運転を開始することを示します。 • 「停止」は、室内ユニットが運転を停止することを示します。
	モード	切り換える運転モードを選びます。 (→「運転モードを設定する」(P.180))
	設定温度	設定温度を設定します。
	省エネ	「有効」「無効」のいずれかを選びます。

●室外ユニットを選んだとき

項目	説明
室外機 蒸発温度	[切替]をタッチして、「設定なし」「レベル1」「レベル2」「レベル3」のいずれかを選びます。

※右のうちの一つを出力として設定します。

11 [登録]をタッチする

●「出力ポイント設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



12 「判定条件」を選ぶ

●[AND] [OR]のいずれかを選びます。
(→P.179)



次ページに続く

13 出力遅延時間を設定する

① [出力遅延時間]をタッチする

●「出力遅延時間」設定ダイアログが表示されます。



② 出力遅延時間を選ぶ

●入力ポイント条件を満たしたときの出力ポイントの発動時間を設定します。



14 「有効」にチェックを入れる

●チェックを入れると、設定したイベント制御が動作するようになります。



15 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ

- イベント制御は最大50件登録できます。
- 1イベントあたり入力ポイントおよび出力ポイントの条件はともに最大32件登録できます。

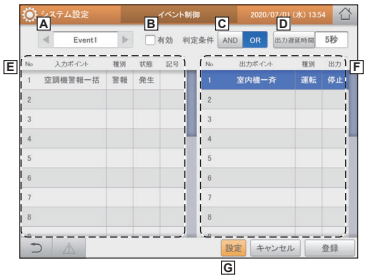
「イベント制御」画面

A：◀ ▶でイベント名を設定します。イベント名は変更することもできます。(→「イベント名を変更する」(P.180))

B：チェックを入れると、選んでいるイベント名の設定が有効になります。

C：判定条件を選びます。

AND	入力ポイントに設定した条件がすべて一致したときに出力ポイントのイベントを実行します。
OR	入力ポイントに設定した条件のうち、1つでも一致したときに出力ポイントのイベントを実行します。



D：出力ポイントのイベントを実行するタイミング(時間)を設定します。
タッチすると、「出力遅延時間」設定ダイアログが表示されます。設定値は「0秒」「1秒」「3秒」「5秒」「10秒」「30秒」「1分」「3分」「5分」「10分」です。

E：設定した入力ポイント一覧を表示します。

入力ポイント	条件項目が設定された入力対象を表示します。
種別	入力対象の種別を表示します。
状態	入力対象の状態を表示します。
記号	室内ユニットの室温を条件項目に設定している場合に記号を表示します。表示される記号の種類は以下のとおりです。 ↑：室温を「以上」に設定している場合 ↓：室温を「以下」に設定している場合

F：設定した出力ポイント一覧を表示します。

出力ポイント	条件項目が設定された出力対象を表示します。
種別	出力対象の種別を表示します。
出力	出力対象の状態を表示します。

G：入力ポイント枠あるいは出力ポイント枠を選んでタッチすると、それぞれの設定ダイアログが表示されます。

イベント名を変更する

1 テキストボックスをタッチする

●ソフトキーボードが表示されます。



2 文字列を入力する

●半角英数字で入力します。

運転モードを設定する

1 「出力ポイント設定」ダイアログで、[切替]をタッチする

●「モード切換」ダイアログが表示されます。



2 切り替えるモードを選ぶ

●設定が登録され、「運転モード」ダイアログが閉じられます。



入力/出力ポイントの設定を削除する

1 削除する入力/出力ポイントを選び(1-1)、[設定]をタッチ(1-2)する

●設定ダイアログが表示されます。



2 リストの先頭にある空白の行を選択する

●設定を解除するためには、リストの先頭にある空白の行を選択してください。



3 [登録]をタッチする

●設定ダイアログが閉じられ、選んだ入力/出力ポイントが一覧から削除されます。



送信メールの設定を行う

警報が発生したとき、本機は警報メールを自動的に送信することができます。
メール送信サーバーやメールの送信先を設定します。

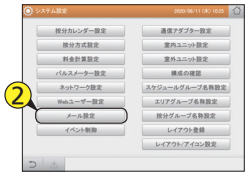
1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。

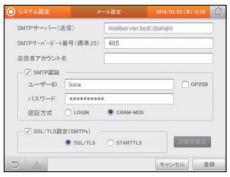


2 [メール設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「メール設定」画面が表示されます。



3 各設定を行う



項目	説明	
SMTPサーバー（送信）	SMTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を設定します。	
SMTPサーバーポート番号	SMTPサーバーのポート番号(0～65535)を設定します。(工場出荷状態：25)	
送信者アカウント名	送信メールの送り元に記載するメールアドレスを設定します。	
SMTP認証※1	ユーザーID	SMTP認証時のユーザーIDを設定します。
	OP25B	チェックを入れると、SMTPサーバーポート番号を「587」に自動設定します。
	パスワード	SMTP認証時のパスワードを設定します。
	認証方式	認証方式を「LOGIN」「CRAM-MD5」から選びます。
SSL/TLS設定(SMTPs)※2	暗号化方法を「SSL/TLS」「STARTTLS」から選びます。	
送信先設定	タッチすると、「警報メール送信先設定」ダイアログが表示されます。(→「送信先を設定する」(P.182))	

※1 チェックを入れると、左の設定が有効になります。
※2 チェックを入れると、SMTPサーバーポート番号を「465」に自動設定します。

お知らせ

- 「OP25B」「SSL/TLS設定(SMTPs)」を設定すると、SMTPサーバーポート番号は自動的に変わります。設定の優先順位は、「OP25B」>「SSL/TLS設定(SMTPs)」です。
- 上記の設定を行うと、SMTPサーバーポート番号の変更はできません。設定を解除すると、SMTPサーバーポート番号は工場出荷状態の値(25)になり、任意の設定値を入力できます。

送信先を設定する

「警報メール送信先設定」ダイアログで、送信先の設定を行います。

1 各設定を行う



項目	説明
メールアドレス	警報メールを送信するメールアドレスを設定します。 タッチすると、ソフトキーボードが表示され、メールアドレスを変更できます。
有効	チェックを入れると、警報メール送信の対象となります。
アダプタ通信異常	チェックを入れると、通信アダプターで通信異常が発生した場合に警報メールを送信します。
室内機未接続	チェックを入れると、室内ユニットで未接続警報が発生した場合に警報メールを送信します。
テストメール送信	設定しているメールアドレスにテストメールを送信します。

2 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。

通信アダプターを登録する

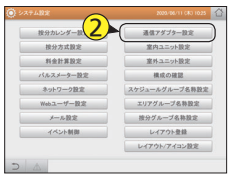
本機に接続されている通信アダプターを登録して空調機との通信を可能な状態にします。

1 「設定」の[システム設定]をタッチする



2 [通信アダプター設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「通信アダプター設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れる

●編集対象となる通信アダプターを選びます。



4 [編集]をタッチする

●「通信アダプター設定編集」ダイアログが表示されます。



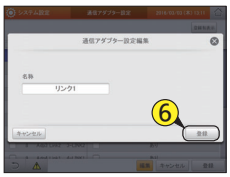
5 各設定を行う



項目	説明
名称	通信アダプター名を変更します。 全角で8文字(英数半角で16文字)まで入力できます。

6 [登録]をタッチする

●「通信アダプター設定編集」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



次ページに続く

7 他の通信アダプターを編集する場合は、手順3 ～ 6を繰り返す

8 「登録」欄にチェックを入れる

●登録を有効にする通信アダプターにチェックを入れます。



9 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチする



「通信アダプター設定」画面

A：タッチすると、「登録」欄にチェックを入れた通信アダプターのみ一覧表示します。再度タッチすると、元の表示に戻ります。

B：編集する通信アダプターにチェックを入れます。

C：登録を有効にする通信アダプターにチェックを入れます。

D：タッチすると、「通信アダプター設定編集」ダイアログが表示されます。

お知らせ

- 「アドレス」欄の「LINK1」/「LINK2」が本機内、「1-LINK1」/「1-LINK2」などが増設した通信アダプターのアドレスを示します。



レイアウト/アイコンの設定を行う

温度、室内ユニットの情報を表示します。設定を変更することもできます。

1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [レイアウト/アイコン設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「レイアウト/アイコン設定」画面が表示されます。



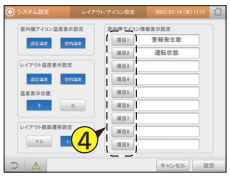
3 各設定を行う



項目	説明
室内機アイコン温度表示設定	設定温度や室内温度の表示、非表示を設定します。
レイアウト温度表示設定	設定温度や室内温度の表示、非表示を設定します。
温度表示位置	温度表示の位置(下、右)を設定します。
レイアウト画面遷移設定	「室内機基本」、「発生中警報一覧」画面の室内ユニット名称を長押しした際、「レイアウト」画面へ遷移(する、しない)を設定します。

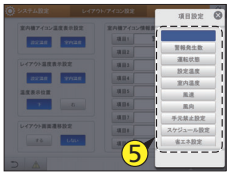
4 「項目1」～「項目11」をタッチする

●設定を変更する項目を選びます。
●「項目設定」ダイアログが表示されます。



5 表示したい項目をタッチする

●選択した項目が表示されます。



6 [設定]をタッチする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



メンテナンス設定を行う

本章では、日時の設定方法や、音量、画面の明るさの調整方法などについて説明します。

本体メンテナンス

画面メニュー	概要	ページ
表示・音量設定	本機画面の明暗調整やブザー音の調整を行います	187
本体表示	本機のサービス連絡先(電話番号)を登録します	188
ソフトウェアアップデート	本機のソフトウェアのアップデートを行います	189
初期化	本機の設定を初期化します ユーザーは絶対に初期化を行わないでください。	190
日時設定	日時を手動で設定します	192

空調機メンテナンス

画面メニュー	概要	ページ
試運転	本機設置後、室内ユニットの試運転を行います	193
空調機との通信設定	本機－空調機間の通信方式などを設定します	196
保守登録	メンテナンス対象となるユニットを登録します	198

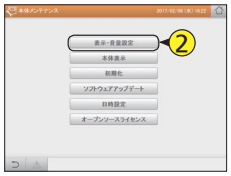
本機の画面表示、音量を設定する

本機画面の明るさを調整したり、ブザー音の調整をしたりできます。

1 「設定」の[本体メンテナンス]をタッチする
- 「本体メンテナンス」画面が表示されます。



2 [表示・音量設定]をタッチする
- 暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「表示・音量設定」画面が表示されます。

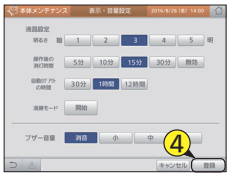


3 各設定を行う



項目	説明
明るさ	バックライトの明るさを5段階(1～5)で調整します。
操作後の消灯時間	指定時間※だけ画面操作をしないと、自動的にバックライトを消灯します。[無効]をタッチすると、画面は消灯しません。 ※ 時間には1分ほどの誤差があります。
清掃モード	[開始]をタッチすると、すべての操作が無効になり、液晶モニターの清掃を行うことができます。 [終了]をタッチすると、解除されます。
自動ログアウトの時間	指定時間で自動的にログアウトします。([30分][1時間][12時間])
ブザー音量	ブザーの音量を調整します。[消音]をタッチすると、音は出ません。

4 [登録]をタッチする
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



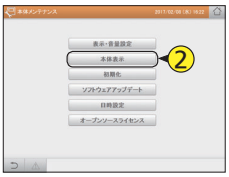
本機のサービス連絡先を登録する

本機のサービス連絡先(電話番号)を登録します。

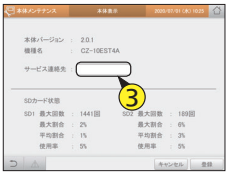
1 「設定」の[本体メンテナンス]をタッチする
- 「本体メンテナンス」画面が表示されます。



2 [本体表示]をタッチする
- 暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「本体表示」画面が表示されます。



3 テキストボックスをタッチする
- ソフトキーボードが表示されます。



4 電話番号を入力する

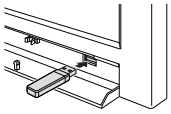
5 [登録]をタッチする
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



ソフトウェアをアップデートする

USBメモリーから本機ソフトウェアのアップデートを行います。
この操作はサービスマンが行います。

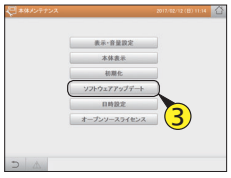
1 収納扉を開き、USB端子にUSBメモリーを挿入する



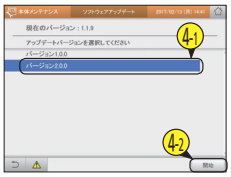
2 「設定」の[本体メンテナンス]をタッチする



3 [ソフトウェアアップデート]をタッチする
- 暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「ソフトウェアアップデート」画面が表示されます。



4 アップデートするバージョンを選び(4-1)、[開始]をタッチ(4-2)する
- ソフトウェアアップデート確認のメッセージが表示されます。



5 [OK]をタッチする
- 再度確認のメッセージが表示されます。
- アップデートを取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。

6 [アップデート]をタッチする
- ソフトウェアのアップデートを開始します。アップデート中は進捗状況をパーセント表示します。
- アップデートが完了すると、本機は自動的に再起動を行います。

初期化・ログレベルを設定する

本機の初期化、暗証番号(パスワード)およびログ出力のレベルを設定します。

初期化を行うと、すべてのデータを消去してしまいます。
管理者以外は絶対に初期化を行わないでください。

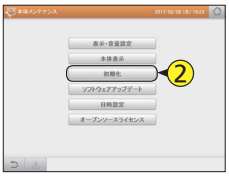
1 「設定」の[本体メンテナンス]をタッチする

●「本体メンテナンス」画面が表示されます。



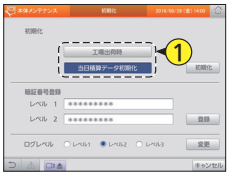
2 [初期化]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「初期設定」画面が表示されます。



初期化を行う

1 初期化の種類を選ぶ



項目	説明
工場出荷時	すべてのデータ(設定値、積算データ、按分データ)を消去します。
当日積算データ初期化	運転した当日の積算データのみ消去します。試運転で空調機を運転したときなどに行います。

2 [初期化]をタッチする

●確認メッセージが数回表示されますので、[OK]をタッチしてください。
●初期化を開始します。
●初期化を完了すると、「初期化を完了しました。コントローラー本体を再起動しています。」というメッセージが表示されます。



暗証番号を設定する

画面メニューによっては、暗証番号(パスワード)で、設定・操作を制限しています。暗証番号にはレベル(レベル1、2)があります。

1 レベルごとに暗証番号を入力する

●テキストボックスをタッチすると、ソフトキーボードが表示されます。
●暗証番号は4文字以上(必ず半角英数字を含むこと)を入力してください。



2 [登録]をタッチする

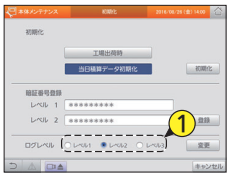
●設定が登録されます。



ログ出力レベルを設定する

本機に記録されているログデータを出力する際のレベルを設定します。
設定するログレベルにより、出力されるログデータの内容は異なります。

1 ログレベルを選ぶ



2 [変更]をタッチする

●設定が登録されます。



日時を設定する

日時を手動で設定します。NTPサーバー（P.133)を利用している場合は設定する必要はありません。

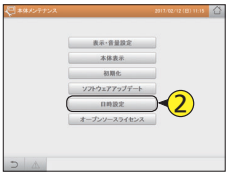
1 「設定」の[本体メンテナンス]をタッチする

●「本体メンテナンス」画面が表示されます。



2 [日時設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「日時設定」画面が表示されます。



3 日時を設定する



項目	説明
年 月 日	年月日を設定します。 で「年」「月」「日」をそれぞれ設定します。
時※ 分 秒	時間を設定します。 で「時」「分」「秒」をそれぞれ設定します。 ※「時」は24時間制で設定します。

4 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お知らせ

- 手動で時間を30分以上戻さないでください。
  室内ユニットの基本設定でエラーが出たり、按分結果に影響が出る場合があります。

試運転を行う

室外ユニット系統アドレスごとに室内ユニットの試運転を行うことができます。

1 [設定]の[空調機メンテナンス]をタッチする

●「空調機メンテナンス」画面が表示されます。



2 [試運転]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「試運転」画面が表示されます。



3 回線番号を選ぶ

① [回線番号]をタッチする

●「回線番号」ダイアログが表示されます。



② 回線番号を選ぶ

●設定が登録され、「回線番号」ダイアログは閉じられます。



4 リンクを選ぶ

① [リンク]をタッチする

●「リンク」ダイアログが表示されます。



② 試運転するリンク系統を選ぶ

●設定が登録され、「リンク」ダイアログは閉じられます。
●選んだリンク系統の室外ユニットが一覧表示されます。



次ページに続く

5 「選択」欄にチェックを入れる

●試運転する室外ユニットを選びます。
●複数の室外ユニットも選べます。



6 [操作]をタッチする

●操作ダイアログが表示されます。



7 運転モード([冷房][暖房])を選び(7-1)、[運転]をタッチ(7-2)する

●設定が登録され、操作ダイアログは閉じられます。
●試運転を開始します。



8 「状態」欄を確認する

●試運転中は、「状態」欄に運転モード(冷房の場合は ❄、暖房の場合は ☀)が表示されます。



9 試運転を停止する場合は、[操作]をタッチし、操作ダイアログの[停止]をタッチする

「試運転」画面

A：試運転する室外ユニットの回線番号を選びます。タッチすると、「回線番号」ダイアログが表示されます。

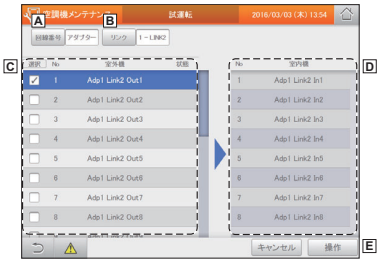
B：試運転する室外ユニットのリンク系統を設定します。タッチすると、「リンク」ダイアログが表示されます。

C：室外ユニットを一覧表示します。

項目	説明
選択	試運転を行う室外ユニットにチェックを入れます。
室外機	Bで選んだリンク系統の室外ユニットを表示します。
状態	試運転中の運転モードを表示します。

D：Cでチェックを入れた室外ユニットに接続されている室内ユニットを表示します。

E：試運転を行います。タッチすると、操作ダイアログが表示されます。



空調機との通信設定を行う

本機－空調機間の通信方式などを設定します。
この設定は3段階で行います。

1 「設定」の[空調機メンテナンス]をタッチする



2 [空調機との通信設定]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル2)を入力すると「空調機との通信設定(1)」画面が表示されます。



3 各設定を行う



項目	説明
定期通信2の間隔	本機－空調機間の通信間隔(10～99)を設定します。 で数値を各リンク系統で設定します。
空調機接続	空調機との接続の有無を各リンク系統で設定します。

項目	説明
リンク内インテリコン番号	リンク内にインテリジェントコントローラーが複数存在する場合は子機を2号機、3号機に設定します。 • リンク内に親機(1号機)が無い場合はリモコンレスの室内ユニットがE03警報を発生することがあります。
ローカルアダプター検出	ローカルアダプターをシステム内に接続している場合、「有り」に設定すると、本機はローカルアダプターを認識します。
電源投入時の構成確認通信	室内ユニットの増設などシステム構成に変更があった場合、「有り」に設定すると、本機は構成確認を行います。

4 [次ページ→]をタッチする

●「空調機との通信設定(2)」画面が表示されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。

5 各設定を行う



項目	説明
空調機との通信エラー判断時間	本機－空調機間でエラーが発生した場合の判断時間(10～99)を設定します。 で数値を設定します。
RS485回線の通信速度(bps)	本機－空調機間の通信速度(9600、19200)を設定します。 • 通常は「19200」に設定してください。
無通信モード	「する」に設定すると、空調機との通信を行わなくなります。空調機との通信が不完全な状態(設置されていない、電源が入らないなど)で、名称の登録など確認だけを行いたい場合に設定します。

次ページに続く

項目	説明
チャタリングキャンセル時間(msec)	チャタリングが発生した場合、キャンセル処理するまでの時間を設定します。

6 [次ページ→]をタッチする

●「空調機との通信設定(3)」画面が表示されます。
●「空調機との通信設定(1)」画面に戻る場合は、[←前ページ]をタッチします。
●[キャンセル]をタッチすると、これまでの設定をすべて取り消します。

7 各設定を行う



項目	説明
警報履歴出力	警報履歴に出力するかを選択します。チェックをはずすと、警報メールは送信されません。 以下の点検・警報のみ選択できます。これ以外は設定にかかわらず実行されます。 • 点検サイン： フィルターサイン オイル点検 リモコンに表示の点検 • 通信異常： C17警報(本機と空調機間の通信エラー) C06警報(本機と通信アダプター間の通信エラー)

項目	説明
手元リモコン禁止設定	「禁止1」～「禁止4」について、各項目(「運転停止」「温度設定」「モード設定」「風速設定」「風向設定」「省エネ設定」)の手元リモコンでの操作・設定の可/不可を設定します。 タッチするたびに「○」「×」が切り換わります。 • 「○」：手元リモコンでの設定・操作ができる • 「×」：手元リモコンでの設定・操作ができない [初期設定]をタッチすると、工場出荷時の設定に戻ります。 ※熱交換気ユニットは「運転/停止」の手元禁止のみ利用可能です。

8 [登録]をタッチする

●すべての設定が登録されます。
●[キャンセル]をタッチすると、これまでの設定をすべて取り消します。



ユニットからの警報を無視する

メンテナンス対象となるユニットを登録します。登録すると、本機はユニットから発信された警報などを受け付けなくなります。

1 「設定」の[空調機メンテナンス]をタッチする

●「空調機メンテナンス」画面が表示されます。



2 [保守登録]をタッチする

●暗証番号(パスワード　レベル1または2)を入力すると「保守登録」画面が表示されます。



3 対象ユニットの「保守登録」欄にチェックを入れる



4 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



付録

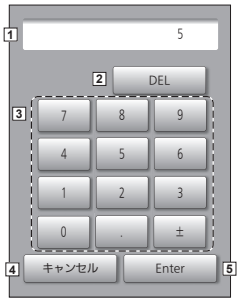
本章では、本機を扱ううえで必要となる情報(数字・文字列入力、用語説明など)やメンテナンス情報などについて説明します。

数字・文字列入力について

数値や文字列を入力するとき、画面に表示される擬似的なキーボードについて説明します。
数値入力するときはソフトテンキー、文字列を入力するときはソフトキーボードが表示されます。

数字の入力について

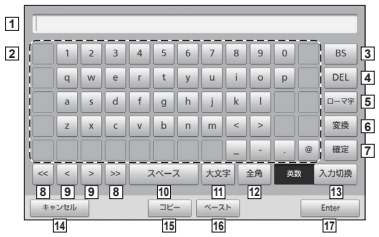
時間や温度などの数値を入力する場合は、画面上に表示されるソフトテンキーを使用します。
テキストボックスをタッチすると、次のようなソフトテンキーが画面上に表示されます。



名前	説明
1　入力フィールド	タッチした数値が表示されます。
2　[DEL]キー	入力フィールドに表示されている数値をすべて消去します。
3　数字キー（0～9） [.](ドット)キー [±]キー	数字をタッチします。 タッチした数字は入力フィールドに表示され、右へ順番に追加されます。 [±]キーをタッチするたびに、数値の前の「－(マイナス)」記号の表示/非表示を切り換えます。
4　[キャンセル]キー	タッチすると、ソフトテンキーが閉じられます。
5　[Enter]キー	入力フィールドに表示されている数値を設定値としてテキストボックスに表示します。

文字列の入力について

名称変更やパスワードなどの文字列を入力する場合は、画面上に表示されるソフトキーボードを使用します。
テキストボックスをタッチすると、次のようなソフトキーボードが画面上に表示されます。



名前	説明
1　入力フィールド	タッチした文字が表示されます。
2　文字キー	文字をタッチします。 タッチした文字は入力フィールドに表示され、右へ順番に追加されます。
3　[BS]キー	タッチするたびに、表示されている文字列をカーソル左側から1文字ずつ消去します。
4　[DEL]キー	タッチするたびに、表示されている文字列をカーソル右側から1文字ずつ消去します。
5　[ローマ字]キー※	入力方式をローマ字入力に切り換えます。(入力モードが「半角英数大」「半角英数小」設定時のみ) 入力フィールドには"かな"で表示されます。 また、「・」(中点)が入力できるようになります。
6　[変換]キー※	入力フィールドに表示されている"かな"文字列を漢字に変換します。再度タッチすると、次候補の漢字が表示されます。
7　[確定]キー※	入力フィールドに表示されている文字列を確定します。
8　[<<][>>]キー	[<<]をタッチすると、文字列の最初にカーソルが移動します。 [>>]をタッチすると、文字列の最後にカーソルが移動します。
9　[<][>](カーソル移動)キー	タッチするたびに、入力フィールド内のカーソルを左右に1文字分移動させます。
10　[SPACE]キー	タッチするたびに、入力モード(半角、全角)に応じた1文字分のスペースを入力フィールドに追加します。
11　[大文字]キー	英数のキー配列を大文字に切り換えます。
12　[全角]キー※	全角表示にします。
13　[入力切換]キー	タッチして入力モードを切り換えます。 (入力モードは以下の順に切り換わります) 左側には現在の入力モードが表示されます。 英数 ⟷ かな ↕ ↕ 記号 ⟷ カナ
14　[キャンセル]キー	タッチすると、ソフトキーボードが閉じられます。
15　[コピー]キー	入力フィールドの文字列をコピーします。
16　[ペースト]キー	[コピー]キーでコピーした文字列を入力フィールドのカーソル位置に貼り付けます。
17　[Enter]キー	入力フィールドに表示されている文字列を設定文字列としてテキストボックスに表示します。

※入力制限時、表示されない場合があります。

外部信号の接続

外部機器からの入・出力信号によって、本機はガス、電気の消費量の計測や、全ユニットのコントロールを行うことができます。
各外部信号の電気的な詳細については、工事説明書を参照してください。

パルスメーター入力

パルスメーター（ガス/燃料流量計、電力量計）の接続により、ガス、電気の消費量を計測することができます。

動作

1パルスごとにカウントします。
1パルスあたりの消費量単位（m^3、kWh）は「パルスメーター設定」(P.171)で設定する必要があります。

一括停止入力

外部信号（火災報知機など）によって、接続されたすべてのユニットを自動的に停止させます。（操作対象外に設定された室内ユニットは除く）

動作例

入力がON状態の間、すべての室内ユニットに停止信号を送信します。

一括運転入力

外部信号によって、すべてのユニットを自動的に運転させます。（操作対象外に設定された室内ユニットは除く）

動作例

入力信号がOFFからONに切り換わったとき、すべての室内ユニットに運転信号を送信します。

一括警報出力

接続されたいずれかのユニットから警報/異常が発生したとき、本機は外部に信号を出力します。この信号は警報モニターなどに利用できます。

動作例

警報/異常発生時に短絡状態となり、復帰時に解放状態となります。

一括運転出力

接続されたいずれかのユニットが1台でも運転しているとき、本機は外部に信号を出力します。

動作例

ユニット（ローカルアダプターを含む）が1台でも運転しているときに短絡状態となり、すべてのユニットが停止するときに開放状態となります。（警報/異常発生中も含む）

お知らせ
- 上記の動作を行うには、「イベント制御」画面での設定が必要です。

按分計算方法

本機は室内ユニットの累積運転時間（サーモON/サーモOFF）および室内ユニットの能力値によって空調按分率やエネルギー（電気、ガス）の使用量を簡易的に計算することができます。

時間按分の計算方法

室内ユニット個別あるいは按分グループの電力/ガス消費指数、室内ユニット個別あるいはエリアグループの電力/ガス消費按分率を算出します。

按分計算で使用するパラメータの種類

時間按分の計算には、以下のパラメータを使用します。

パラメータ	説明
RHHi	室内ユニットi号機の累積運転時間※（急風）
RHi	室内ユニットi号機の累積運転時間※（強風）
RLi	室内ユニットi号機の累積運転時間※（弱風）
SHHi	室内ユニットi号機のサーモON累積時間（急風）
SHi	室内ユニットi号機のサーモON累積時間（強風）
SLi	室内ユニットi号機のサーモON累積時間（弱風）
Pi	室内ユニットi号機の能力（kW相当値）
k	サーモONとサーモOFF時での電力量の重み付け係数
αHH	急風の風速重み付け係数
αH	強風の風速重み付け係数
αL	弱風の風速重み付け係数

※累積運転時間＝サーモON累積時間＋サーモOFF累積時間

お願い
- 按分方式(→「按分方法を設定する」(P.173))が「時間」の場合は、PACとGHPを同一の按分グループに登録しないでください。

室内ユニットi号機の電力/ガス消費指数の計算方法

TEiは室内ユニットi号機の電力消費指数、TGiは室内ユニットi号機のガス消費指数、TOiは室内ユニットi号機の燃料消費指数を示します。

● 電力按分計算対象が「運転時間」の場合（運転時間按分）
電力消費指数は「累積運転時間」および「サーモON累積時間」で計算します。
ガス消費指数、燃料消費指数は「サーモON累積時間」で計算します。

- GHPの場合

電気	TEi = (RHHi×αHH+RHi×αH+RLi×αL)×Pi
ガス	TGi = (SHHi×αHH+SHi×αH+SLi×αL)×Pi

- PACの場合

電気	TEi = {(RHHi×αHH+RHi×αH+RLi×αL)÷k+(SHHi×αHH+SHi×αH+SLi×αL)}×Pi
ガス	TGi = 0

● 電力按分計算対象が「サーモON時間」の場合（サーモON時間按分）
電力消費指数、ガス消費指数、燃料消費指数は「サーモON累積時間」で計算します。

- GHPの場合

電気	TEi = (SHHi×αHH+SHi×αH+SLi×αL)×Pi
ガス	TGi = (SHHi×αHH+SHi×αH+SLi×αL)×Pi

- PACの場合

電気	TEi = (SHHi×αHH+SHi×αH+SLi×αL)×Pi
ガス	TGi = 0

按分グループ全体での電力/ガス消費指数の計算方法

按分グループ全体での電力/ガス消費指数は、該当する按分グループに含まれる室内ユニットの電力/ガス消費指数の総合計です。
TOTALeは按分グループ全体での電力消費指数、TOTALgは按分グループ全体でのガス消費指数、mは該当する按分グループに含まれる室内ユニット台数を示します。

電力消費指数	TOTALe = TE1 + TE2 + … + TEm
ガス消費指数	TATALg = TG1 + TG2 + … + TGm

室内ユニットi号機の電力/ガス消費按分率の計算方法

REiは電力消費按分率、RGiはガス消費按分率を示します。

電力消費按分率	REi (%) = TEi / TOTALe ×100
ガス消費按分率	RGi (%) = TGi / TOTALg ×100

エリアjの電力/ガス消費按分率の計算方法

エリア全体での電力/ガス消費按分率は、該当するエリアに含まれる室内ユニットの電力/ガス消費按分率の総合計です。
NEjはエリアjでの電力消費按分率、NGiはエリアjでのガス消費按分率、nは該当するエリアに含まれる室内ユニット台数を示します。

電力消費按分率	NEj = RE1 + RE2 + … + REn
ガス消費按分率	NGj = RG1 + RG2 + … + RGn

お知らせ
- 風速設定が「急風」のみの機種、および「急風」「弱風」のみの機種は、風速ごとの重み付けは行われません。
- 按分率は小数点以下第3位で四捨五入し、第2位までで表示されます。

空調使用量の計算方法

按分グループ全体、あるいは室内ユニット個別の電力/ガス使用量を算出します。

按分グループ全体の電力/ガス使用量の計算方法

按分グループの電力使用量、ガス使用量の計算式は以下のとおりです。

電力使用量	パルスメーター（電力量計）カウント値×パルス単位量（kWh）
ガス使用量	パルスメーター（ガス流量計）カウント値×パルス単位量（m^3）

各室内ユニットの電力/ガス使用量の計算方法

室内ユニット個別の電力使用量、ガス使用量の計算式は以下のとおりです。

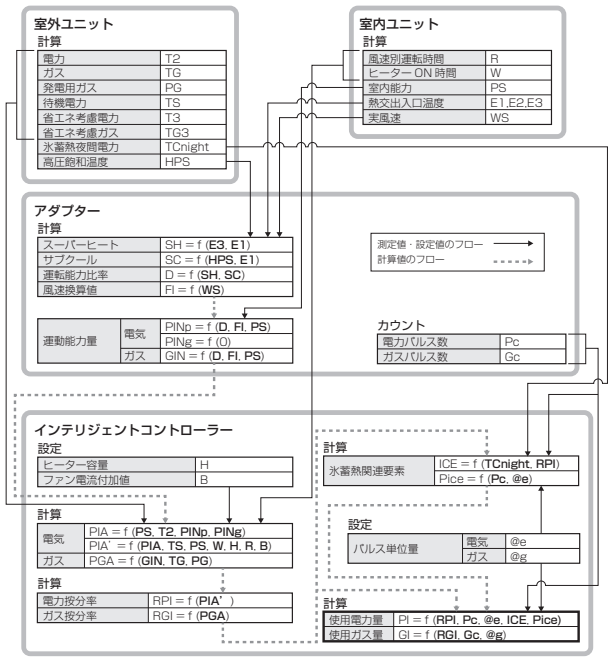
電力使用量	按分グループの電力使用量×室内ユニットの電力消費按分率
ガス使用量	按分グループのガス使用量×室内ユニットのガス消費按分率

室内ユニットの電力/ガス消費按分率の計算方法は、「室内ユニットi号機の電力/ガス消費按分率の計算方法」(P.204)を参照してください。

お知らせ
- 使用量は小数点以下第3位で四捨五入し、第2位までで表示されます。

負荷按分の計算方法

負荷按分は以下のフローに従って計算されます。



お知らせ

- 「f」は関数計算を示します。
  たとえば、「運転能力比率D=f(SH, SC)」は、「スーパーヒートSH」「サブクールSC」を使って運転能力率を計算している、という意味になります。

知っていただきたいこと

本機をご使用になるうえで知っていただきたいことを説明します。

操作関連

バックアップデータを復元したとき

復元直後の再起動時、「初期通信中」というメッセージが長時間表示される場合があります(最長の目安は約1時間30分)。
このとき、絶対に本機の電源を切らないでください。内部ファイルが破損して起動できなくなるおそれがあります。
起動できなくなった場合は、内部データの修復が必要ですので、お買い上げの販売店またはサービス会社にデータ修理の依頼をしてください。

ビル用マルチ、GHPについて

ビル用マルチ、GHPの室外ユニットデータ(運転回数、運転時間など)は、基準機の内容が表示されます。運転状況による基準機の変更にともない、本機のデータ表示も変動します。

警報履歴画面について

警報履歴画面には警報コードのみが表示されます。同じ警報コードでも機種によっては、警報内容が異なる場合があります。
各機種の取扱説明書などで警報コードに対応する警報内容をご確認ください。

エリア、按分グループの設定について

時間按分の場合、PAC、GHPを同じエリアまたは按分グループに設定すると、正しく按分計算ができません。必ずPACとGHPでエリア、按分グループを分けてください。

時間帯別積算・按分表示について

本機は時間帯別の積算・按分機能を搭載していますが、運転データ送受信の遅延などにより各時間帯(時間内、時間外、特定日)に正確なカウントが配分されないことがあります。

表示の更新時間について

フィルターサインおよびエンジンオイル点検サインの更新は最長7分ごとです。運転積算時間および按分データ(按分率、使用量)の更新は18分ごとです。電気ヒーターON時間の更新は1時間ごとです。

締め処理について

夜00:00から数分間、本日分の締め処理が行われます。その間、すべての操作ができなくなりますのでご注意ください。

運転中、雷や無線などにより誤動作したとき

本機の電源を一旦切り、再度電源を入れてください。
このような場合以外は、原則として電源を切らないでください。空調機を正しく管理できなくなります。

運転時間の累積について

空調按分や空調機の運転時間は、本機の電源が入っている状態で、なおかつ空調機との通信に異常がない状態でのみ行います。
本機の電源が切れていたり、通信異常が発生したりしていると、空調機の運転時間は累積されません。
このような状態が長時間続くと、按分率などの誤差が大きくなりますのでご注意ください。

タッチパネルの操作について

以下の場合、タッチパネルでの操作はできません。

- システム起動処理中
- 接続確認処理中
- 締め処理中
- USBメモリーのアクセス中(バックアップ、復元)
- 外部一括停止中

Web側から入力した一部の文字(特殊文字)は、本機の画面上では表示されないことがあります。

設定関連

設定変更の制限について

空調機の機種によって、設定の変更に制限がある場合があります。
たとえば、

- 冷房専用機種の場合、「暖房」に変更できない
- 床置機種の場合、一部を除き、風速を「急風」以外に変更できない
- 天井埋込型機種の場合、フラップのついていない機種では風向設定はできない

のように、各機種の特性をご理解のうえ、ご使用ください。
詳しくは、お買い上げの販売店またはサービス会社にお問い合わせください。

待機電力について(時間按分の場合)

本機は、室内ユニットの運転時間を元に按分計算を行っています。停止中の消費電力/ガス量(待機電力)は按分されません。
たとえば、1ヶ月間、1台も運転されなかった場合の待機電力は、どの按分グループへも按分されません。ただし、1分でも運転した室内ユニットがあった場合、すべての待機電力分は運転した室内ユニットが属する按分グループへ按分されます。
負荷按分の場合は、待機電力も含めて按分されます。

設定変更に伴う画面表示について

本機から室内ユニットの設定を変更した場合、一時的に表示が戻ることがあります(特に、一括操作時)。これは通信の遅れによるもので故障ではありません。

空調按分率、空調使用量について

本機で採用している空調按分率、空調使用量の計算方法は、あくまでも簡易的なものです。電力会社、ガス会社から請求される使用量とは異なります。
運転状況などにより、実際の空調量と按分率の間にも誤差が生ずる場合があります。
按分率計算上の端数処理(四捨五入)の関係により、次の両者間に誤差が生ずる場合があります。

- 「按分グループ内のエリアの按分率」と「100.00%」
- 「按分率内訳の合計」と「エリア全体の按分率」
- 「各エリアの使用量の合計」と「パルスメーターにおける全体使用量」
- 「使用量の時間内、時間外、特定日の合計」と「全時間の使用量」

本機は直接エネルギーを計量するものではなく、室内ユニットごとに推定した負荷の比率によって按分(比例配分)計算しますので、あくまでも目安としてご利用ください。

現在の日時設定について

月差±30秒/月(常温25℃)が発生するため、定期的に時報などで日時設定を修正してください。

按分データについて

按分データ集計後に空調機を撤去すると、その空調機の積算値はすべて消去されるため、撤去後にその空調機を含む按分データを再び見ることはできません。
撤去前に必ず、USBメモリに按分データのCSVファイルを出力(保存)しておいてください。
CSVファイルの出力方法は履歴の出力方法と同様です。(→「CSVファイルとして出力(保存)する」(P.32))

その他

補償について

以下のような場合、当社は補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。

- 暗証番号が第三者に知られた結果、不都合が生じた場合
- USBメモリーが壊れ、バックアップしておいたデータ(積算、按分)が失われた場合

計算上大きな誤差が出やすい場合

一部の機種(セミセントラル機種、床置機種など)、電気ヒーター付きの旧機種などは、空調按分率などの計算において大きな誤差が発生しやすいことがあります。また、消費電力の大きいパン形加湿器を使用した場合も按分計算に加湿器運転時間が反映されず、大きな誤差が発生します。
詳しくは、お買い上げの販売店またはサービス会社にお問い合わせください。

リモコンレスシステムについて

集中機器が1台しか設置されていないリモコンレスシステムでは、その集中機器が故障した場合、空調機を運転できないなどの問題が発生する可能性があります。その安全措置として、複数の集中機器を設置するように推奨いたします。

暗証番号について

暗証番号は必ずメモとして記録するようにしてください。同時に、第三者に知られることのないようにご注意ください。
忘れてしまった場合は、お買い上げの販売店またはサービス会社にお問い合わせください。

画面のちらつきについて

表示リフレッシュのため、画面のちらつきが時々見られますが、故障ではありません。

バックアップデータの取り扱いについて

バックアップデータは、本機で使用するデータを含むため、取り扱いにはご注意ください。

知っていただきたいこと

ローカルアダプター（別売）について

ローカルアダプターには、オン/オフ制御用ローカルアダプターとRACローカルアダプターがあります。
RACローカルアダプターは、CN-NETコネクタを持つ2017年度モデル以降の当社製住宅設備用ルームエアコンに対応しています。

オン/オフ制御用ローカルアダプター

オン/オフ制御用ローカルアダプターを使用すると、オン/オフ機器（換気扇、ルームエアコンなど）を接続することができます。
ただし、以下のような制限がありますのでご注意ください。
詳しくは、お買い上げの販売店またはサービス会社にお問い合わせください。

集中制御可能な項目	以下の項目のみ集中制御が可能です。 • 運転/停止 • リモコン禁止（「運転/停止」の禁止のみ） タイマー設定もできますが、「運転/停止」「リモコン禁止」以外の設定は無効となります。 「リモコン禁止」はローカルアダプターから機器側へ手元禁止信号出力を接続した場合に限ります。 ※熱交換気ユニットは「運転/停止」の手元禁止のみ利用可能です。	
警報表示	「C12」（ローカルアダプター一括警報）と表示され、詳しい内容は表示されません。（ただし、ローカルアダプターに警報信号入力を接続した場合のみ）	
空調按分	室内ユニットの風速データ	風速別の累計運転時間は、強風固定となります。ローカルアダプターにサーモON信号入力を接続している場合でもサーモONの累積時間は「強風」固定でカウントされます。
	電気ヒーターON時間	電気ヒーターの累積ON時間は表示されません。
	室内ユニット能力固定値	自動識別されないため、「ユニット設定編集」ダイアログ(P.156)で能力固定値(kW)を設定してください。
	按分方式	時間按分のみ対応しています。

お知らせ

- オン/オフ制御用ローカルアダプターの接点規格に適合すれば、任意の機器を本機から制御できますが、生命、財産などに重大な影響を及ぼすおそれのある機器へのご使用は避けてください。
- 按分運用の開始後、室内ユニットのアドレス変更、他号機の室内ユニットアドレスの入替えなどを行うと、按分計算が不正確なものとなり、不都合が発生する場合がありますのでご注意ください。

付録

システムの構成を確定する

現在の空調システムの構成を確定します。

1 「設定」の［システム設定］をタッチする

- 「システム設定」画面が表示されます。



2 ［構成の確認］をタッチする

- 暗証番号（パスワード　レベル2）を入力すると「構成確定」画面が表示されます。



3 ［構成の確認］をタッチする

- 構成確認を開始します。
- 構成確認後、空調システムの構成に変化があった場合は、「構成が変化しています。構成確定を実施しますか？」というメッセージが表示されます。



4 ［構成確定開始］をタッチする

- 現在のシステム状態を再確認し、その結果を最終的に確定します。
- 構成確定を取り消す場合は、［キャンセル］をタッチします。



付録

故障かなと思ったときは

修理を依頼される前に、次のことをお調べください。
なお、危険ですので、ご自分での修理は行わないでください。

症状	原因と対処
スケジュール運転がうまくできない	• 運転日モード、時間を設定していますか。 運転日モード、時間の設定を行っても登録しなければスケジュール運転は行いません。 • 現在の日付、時刻の設定は合っていますか。 現在時刻が合っていないと、予定外の時間に稼働します。
按分率がいつも100%になる	• 按分グループ設定、エリアグループ設定を再確認してください。 1つの按分グループにエリアグループが1つしか登録されていなかったり、1つのエリアグループに室内ユニットが1台しか登録されていなかったりすると、按分率は計算上100%となり、意味がありません。
いつの間にか電源が切れている	• 画面のオートオフで消えていませんか。 電源は切れていませんので、画面にタッチしてみてください。 • 設定時間にかかわらず、起動時に一旦オフする場合があります。
画面操作を行っても表示の更新に時間がかかる	• 接続されている空調機との通信状況により、多少時間がかかる場合があります。 しばらくお待ちいただければ更新されます。
カラー液晶ディスプレイの画面	• 画面の一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合がありますが、故障ではありません。 また、カラー液晶ディスプレイは、その性質上、温度変化などで多少ムラが発生する場合がありますが、故障ではありません。
操作ボタンをタッチしても操作できない	• タッチパネルの操作位置と画面の位置が長期間の使用によりずれる場合があります。 お買い上げの販売店またはサービス会社にご連絡ください。
本機で手元リモコン操作を制限しているときに、本機が故障し、空調機の運転/停止などの設定ができない	• サービス担当がお伺いするまでの応急処置として、本機および通信アダプターの電源を切り、室内ユニットの電源を入れ直してください。手元リモコンで操作可能になります。ただし、リモコンレスのシステムでは操作できません。 ※熱交換気ユニットは「運転/停止」の手元禁止のみ利用可能です。
停電が発生し、その後、停電復帰時に機器が自動復帰しない	• 本機は停電復帰時、機器の自動復帰を行いません。次のスケジュール時刻になったときに、その設定に切り換えます。
室内ユニットが1台も読み込まれない	• 構成確認を実行してみてください。
画面に、以下のメッセージが表示された 	• 空調機システムに変更があった場合、［構成の確認］をタッチすると表示されるメッセージです。 • このメッセージが表示された場合は、お買い上げの販売店またはサービス会社にご連絡ください。

付録

商標文および免責文について

- MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Microsoft Edgeは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Google ChromeはGoogle Inc.が所有する商標または登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標又は登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
- Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用することによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
万一、機器やソフトウェアなどの不具合により按分率、使用量の計算等に不都合があった場合でも、その補償についてはご容赦ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改善のため事前連絡無しに変更する場合がありますが、ご容赦ください。
本書の内容についても、改善のため事前連絡無しに変更することがあります。
- 本書に記載された事項の使用に起因する第三者の特許権、およびその他の権利の侵害については、当社はその責任を負いません。
- オープンソースライセンスにつきましては、インテリジェントコントローラー同梱のDVDをご覧ください。

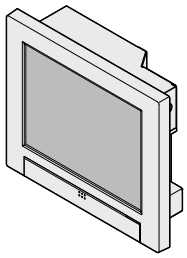
付録

Panasonic

据付(電気)工事説明書

インテリジェントコントローラー

品番 **CZ-10EST4A**



- 「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認すると共に「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、「取扱説明書」と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。
- 移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- 「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠ 警告

据付(電気)工事をする前に

- ❗ **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- ❗ **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - **・電気設備に関する技術基準**
  - **・内線規程**
  - **・据付(電気)工事説明書**

  (感電、火災の原因)
- **漏電しゃ断器(全極開閉機能付)を取り付ける**(故障や漏電時に感電、火災の原因)
- **電源は、必ず専用回路を使用する**(感電、火災の原因)
- **停電自動復帰機能を使用中に電源を入れる際は、十分注意する**(感電、挟み込み、巻き込みの原因)
- ⏚ **アース工事(D種接地工事)を行う**
  - **・ベランダの手すりやガス管、水道管、避雷針、電話などのアースに接続しない**(感電の原因)

本体を据え付けるときに

- ⃠ **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- ⃠ **水洗いしない**(感電、故障の原因)
- ⃠ **配線は途中接続しない**(接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)
- ⃠ **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**(発熱、火災の原因)
- ❗ **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- ❗ **電気工事は、本機や室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**(感電の原因)
- ❗ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**(製品の落下、感電、火災などの原因)
- ❗ **付属品は当社指定の部品を使用する**(製品の落下、感電、火災などの原因)

本体を据え付けるときに

- ❗ **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- ❗ **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)
- ❗ **電圧確認などテスターを使用する際は十分注意する**(感電、故障の原因)

⚠ 注意

据付(電気)工事をする前に

- ⃠ **次のような場所で使わない**
  - **・結露するところ**
  - **・可燃性ガスなどが漏れるおそれのあるところ**
  - **・水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ**
  - **・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ**
  - **・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **・有機溶剤の飛沫するところ**
  - **・電磁波が出る機械のあるところ**
  - **・電圧変動の多いところ**
  - **・ドレン配管近くなど、水滴が落ちるようなところ**

  (感電、火災などの原因)
- ❗ **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

本体を据え付けるときに

- ⃠ **ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)

もくじ

ページ

●安全上のご注意 …… 表紙
●付属品 …… 2
●ネットワーク接続時のご注意 …… 2
●据え付け時のご注意 …… 2
●外形寸法図(各部の名前) …… 2
●制御盤を設計する …… 2
●制御盤に据え付ける …… 2
●配線の準備をする …… 3
●配線する …… 3
●設定・試運転する …… 5
●外部機器の入出力設定 …… 5
●仕様 …… 裏表紙

付属品

<>：個数

十字穴付皿小ねじ <4> (M4×10) 	ワッシャー <4> 
ナット <4> (M4) 	結束クランパー <4> 
取扱説明書(DVD)、かんたんガイド、据付(電気)工事説明書<各1>	

※ケーブルは現地調達のため、付属していません。

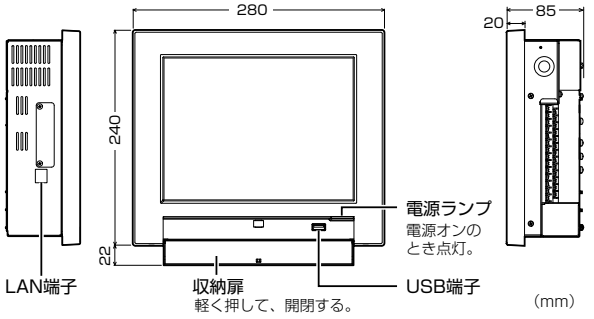
ネットワーク接続時のご注意

- **インターネットに接続すると、パソコンなどで遠隔地から操作、確認することができます。**
- **インターネットに接続する場合は、外部からの不正アクセスなどから保護するために、セキュリティ対策をしてください。(詳細な接続・設定方法については、ネットワーク管理者にご相談ください)**

据え付け時のご注意

- **次のような場所に据え付けない。**
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 不安定な場所
  - 過度な衝撃や振動のある場所
    (本機の取り付けネジが緩み、落下の原因)
  - 熱源の近くなど
- **床面に対して垂直に据え付ける。**
- **使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。**
- **高周波が発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける。(本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与えたりする場合があります)**
- **テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1 m以上離す。(映像の乱れ、雑音の原因)**
- **漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器か手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)を据え付ける。**
- **配線は、地中に埋設しない。**
- **配線が通っている制御盤の穴をパテなど(現地調達)でふさぐ。**
- **絶縁物の厚み(シース部を含む)が1 mm以上のケーブルを使う。**

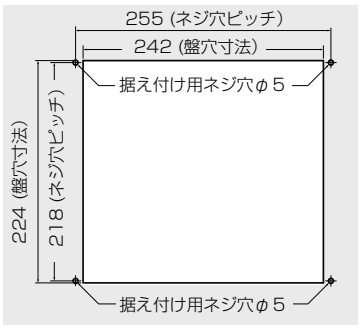
外形寸法図（各部の名前）



本体の図記号表示⏚について　「保護アース」を表します。

制御盤を設計する

■加工図

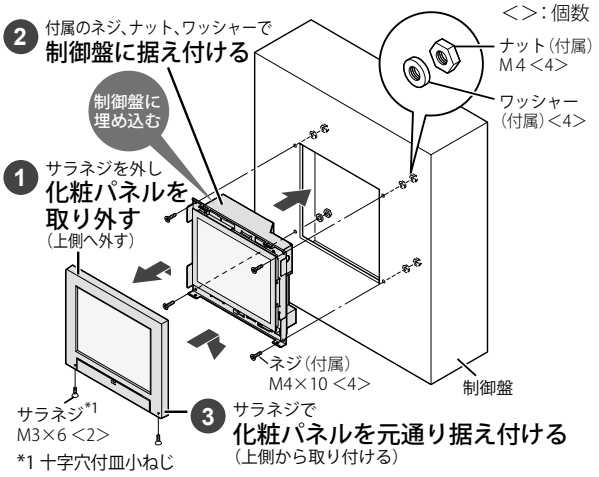


■制御盤内の通気性(放熱性)確保のために

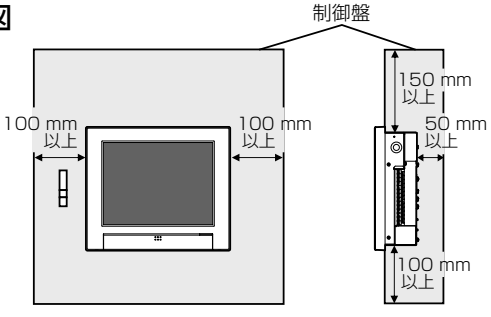
左右側面の上側と下側(または底面)に通気孔(スリットなど)を設けてください。

- 制御盤内の温度が40 ℃を超えないようにしてください。
- 据え付け時に上記の通気孔をふさがないように注意してください。

制御盤に据え付ける



■完成図



配線の準備をする

■電源線
- ●ケーブルの種類
  - ・使用基準：600 Vビニール電線（現地調達）
  - ・柔軟性のある2 mm²のケーブル（推奨）
- ●電源端子
  - ・端子ネジ：M4

■室内外操作線
- ●ケーブルの種類
  - ・柔軟性のある2芯の0.5 ～ 2 mm²のケーブルを必ず使用してください。
  - ・推奨品：VCT/VCTF/CPEVS/MVVS
- ●総配線長：1000 m以内

■通信アダプター操作線
（通信アダプターを接続するとき）
- ●極性（+/−）があります。
- ●ケーブルの種類、総配線長などについては、通信アダプターに付属の「据付（電気）工事説明書」を参照してください。

■外部機器接続線
（外部機器を接続するとき）
- ●ケーブルの種類
  - ・柔軟性のある0.5 ～ 2 mm²のケーブル
  - ・推奨品：VCT/VCTF
- ●配線長：20 m以内

■LANケーブル
（ネットワークに接続するとき）
- ●ケーブルの種類
  - ・カテゴリー 5以上のストレートケーブル
- ●配線長：100 m以内

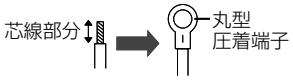
お願い
- **●ノイズの影響を受けるおそれのある場所で、室内外操作線と外部機器接続線を使うときは、シールド線（片側アース）を使ってください。**

配線する

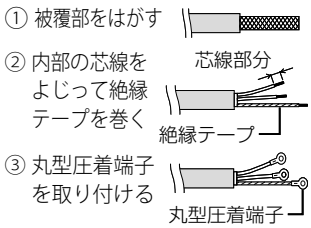
お願い
- **●電源線とその他の通信線は、同一線管内に通さないでください。また、ノイズの影響を軽減させるために、できるだけ離して配線してください。**

1 漏電しゃ断機を切る
- ●安全のため、必ず漏電しゃ断器を切ってから配線を行ってください。

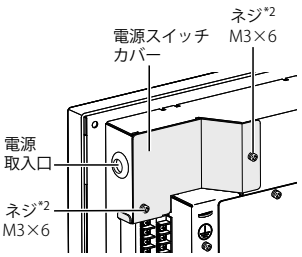
2 丸型圧着端子を取り付ける
- ●電源線への取り付け
  被覆をはがし、内部の芯線をよじって取り付けてください。



- ●シールド線への取り付け



3 電源スイッチカバーを外す



*2：座金組込み十字穴付なべ小ねじ（SW＋平W）

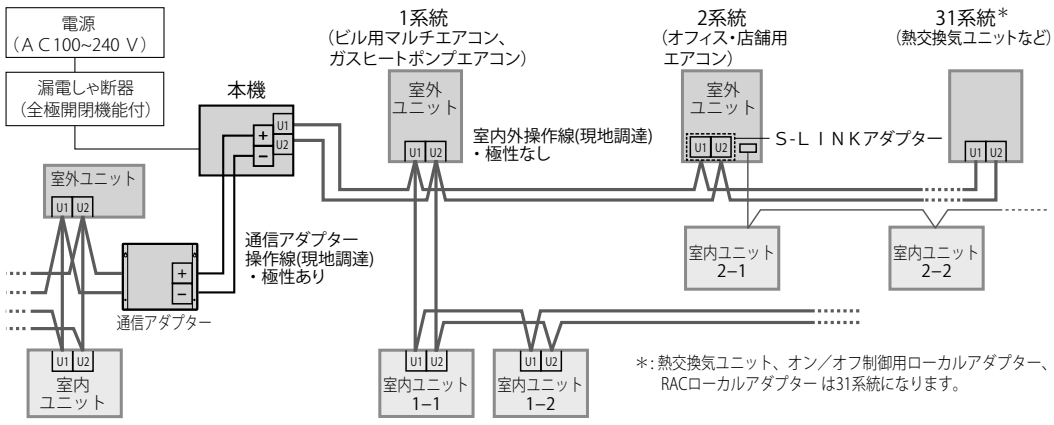
4 電源線を接続する
- ●電源線は電源端子台に、アース線はアース端子台（板金ケース上）*3に接続してください。
  *3：保護アース
- ●端子ネジの締め付けトルク：0.6 ～ 0.8 N・m（規定値）
  - ・締め付けすぎないでください。（ネジ損傷の原因）

5 室内外操作線を接続する
- ●端子ネジの締め付けトルク：0.4 ～ 0.5 N・m（規定値）
  - ・締め付けすぎないでください。（ネジ損傷の原因）
- ●極性はありません。
- ●接続可能台数→「仕様」（裏表紙）を参照してください。
- ●接続可能な熱交換ユニット→「仕様」（裏表紙）を参照してください。
- ●シールド線の場合は、アース線を信号端子台の0番に接続してください。

6 通信アダプター操作線を接続する
- ●極性（+/−）を間違えないでください。
- ●接続可能台数：7台まで
- ●通信アダプターを接続するときは、通信アダプターに付属の「据付（電気）工事説明書」を必ず参照して施工してください。

基本配線図

- **●通信アダプター、S-LINKアダプター、熱交換ユニット、オン／オフ制御用ローカルアダプター、RACローカルアダプターを接続する場合は、各製品に付属の「据付（電気）工事説明書」をあわせてご覧ください。**



お願い
- **●空調機を集中制御機器1台（リモコンレス）で制御する場合、その制御機器が故障すると、多数の空調機が操作できない状態となりますので、複数の制御機器を設置するようにしてください。**

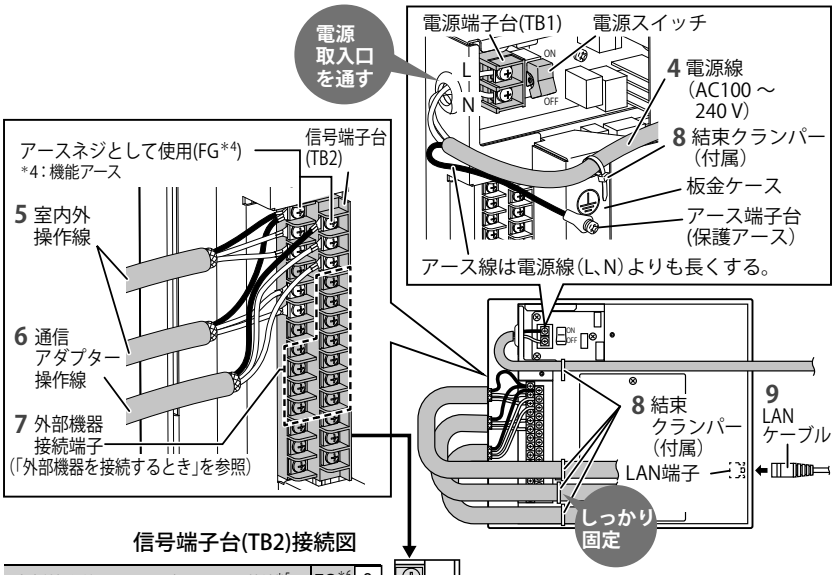
配線する（つづき）

7 外部機器を接続する
●外部機器を接続するときは、「外部機器を接続するとき」を参照してください。

8 電源線とその他の通信線は、結束クランパー（付属）でしっかり固定する
●端子接続部に張力が加わらないようにしてください。

9 LANケーブルを接続する

10 電源線の接続が正しいことを確認して漏電しゃ断機を入れる
●誤って電源線を信号端子台に接続して電源を入れると、本機または接続機器が故障することがあります。



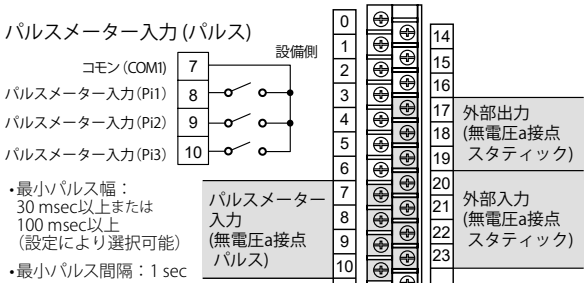
信号端子台(TB2)接続図

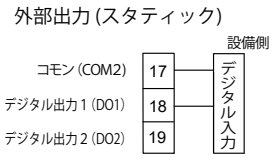
室内外操作線(リンク1、2)のアースを接続*5	FG*6	0	14	FG*6
		1	15	+
室内外操作線を接続(リンク1)	U1	2	16	−
	U2	3	17	通信アダプター操作線を接続
室内外操作線を接続(リンク2)	U1	4	18	
	U2	5	19	

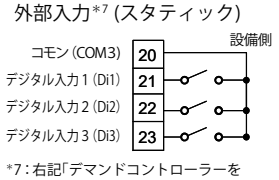
*5：室内外操作線がシールド線の場合
*6：機能アース

外部機器を接続するとき

- 信号形式：無電圧a接点
- 各信号入力の配線長：20 m以内（超えるときは、通信アダプターを接続するか、リレーを使う）
- 入力端子検出のため、接点にDC5 V（約10 mA）の電圧がかかります。
- 入力端子には、外部から電圧を印加しないでください。
- 出力端子の接点許容電圧、および電流は、最大DC30 V、0.5 Aです。







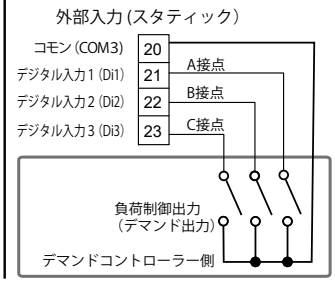
*7：右記「デマンドコントローラーを接続するとき」を参照

デマンドコントローラーを接続するとき（負荷制御出力を本機の外部入力に接続）

デマンドコントローラーを接続すると、デマンド制御を行うことができます。

お願い

●インテリジェントコントローラーの画面でデマンド設定が必要です。

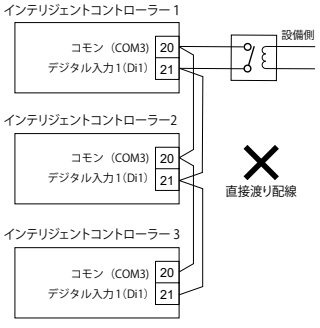


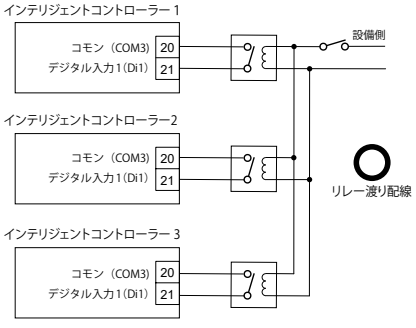
お願い

●外部機器を接続しただけでは動作しません。「外部機器の入出力設定」(P.5)を参照してください。

●複数のインテリジェントコントローラーの入力端子（外部入力、パルスメーター入力）に信号線を接続する場合、直接渡り配線を行わないでください。
（誤動作の原因）
この場合、右図のようにリレー渡り配線としてください。

（例：デジタル入力1の場合）





設定・試運転する

① 室内ユニット・室外ユニットすべての電源を入れる
② 通信アダプターを接続したときのみ
通信アダプターの電源を入れ、必要な設定を行う
（通信アダプターに付属の「据付（電気）工事説明書」を参照してください）
③ 本機の電源スイッチを入れる
④ 電源スイッチカバーを元通り取り付ける
・配線をはさまないようにする。
⑤ 以下の設定・確認は、「かんたんガイド」を参照してください
・時刻設定
・接続台数の表示が正しいことの確認をしてください。
・集中制御アドレスは、必ず設定をしてください。
・その他の必要な設定（ユニット名、エリア設定、按分設定など）をしてください。
・本機で室内ユニットなどを正しく操作でき、正しく状態が表示されることの確認をしてください。
⑥ 以下の設定・確認は、「テクニカルガイド」、「PAC試運転サービス資料」、「設備設計ガイド」のいずれかを参照してください
・空調機との通信設定をしてください。
・接続構成の確認・確定をしてください。
⑦ 接続した外部機器の設定を下記の「外部機器の入出力設定」の手順で設定してください

外部機器の入出力設定

入力ポイントおよび出力ポイントの条件を設定することで、空調機（室内ユニット、室外ユニット）の連動的な制御を行います。
たとえば、火災警報が発令される（入力ポイント）と、室内ユニットの運転を一斉に停止する（出力ポイント）ような設定をすることができます。
DO1を一括警報出力に設定する手順は、次の通りです。

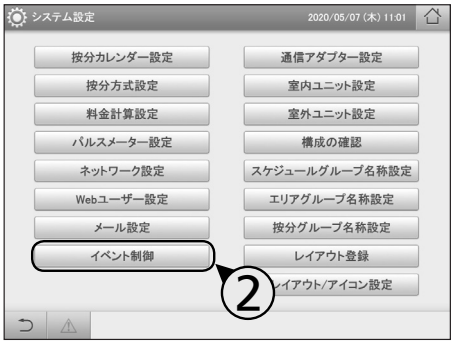
1 「設定」の[システム設定]をタッチする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [イベント制御]をタッチする

●「イベント制御」画面が表示されます。



3 イベント名を選ぶ

●◀ ▶ でイベントを登録するイベント名を選びます。
●イベント名は変更できます。
（→「イベント名を変更する」については、「取扱説明書」の「システム設定を行う」の中の「空調機を連動的に制御する」をご覧ください。）



4 入力ポイント枠を選び（4-1）、[設定]をタッチ（4-2）する

●「入力ポイント設定」ダイアログが表示されます。



外部機器の入出力設定（つづき）

5 一覧から入力対象を選ぶ

●「空調機警報一括」を選びます。



6 入力条件を設定し、(6-1)、[登録]をタッチ(6-2)する

●警報一括」項目で[発生]を選びます。
●[登録]をタッチすると、「入力ポイント設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お願い

●入力ポイントを取り消すときは、「名称」の空白欄を選択して[登録]をタッチします。

7 出力ポイント枠を選び(7-1)、[設定]をタッチ(7-2)する

●「出力ポイント設定」ダイアログが表示されます。



8 一覧から出力対象を選ぶ

●「Unit DO1」を選びます。



9 出力条件を設定し(9-1)、[登録]をタッチ(9-2)する

●「デジタル出力」項目で「ON」を選びます。
●[登録]をタッチすると、「出力ポイント設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お願い

●出力ポイントを取り消すときは、「名称」の空白欄を選択して[登録]をタッチします。

10 「有効」にチェックを入れ(10-1)、[登録]をタッチ(10-2)する

●チェックを入れると、設定したイベント制御が動作するようになります。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お願い

●すべての空調機の警報が解除されたときに、一括警報出力のイベントもOFFに設定してさい。設定操作は、P.6の手順6、上記の手順9を下記のように設定してください。
手順6：「警報一括」項目で「復旧」を選びます。
手順9：「デジタル出力」項目で「OFF」を選びます。

DI1を一括停止入力に設定するときは、以下の手順で設定してください。

1 P.5の手順１～４を行う

2 一覧から入力対象を選ぶ

●「Unit DI1」を選びます。



3 入力条件を設定する

●「デジタル入力」項目で[ON]を選びます。



4 [登録]をタッチする

●「入力ポイント設定」ダイアログが閉じられます。

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お願い

●入力ポイントを取り消すときは、「名称」の空白欄を選択して[登録]をタッチします。

5 出力ポイント枠を選び(5-1)、[設定]をタッチ(5-2)する

●「出力ポイント設定」ダイアログが表示されます。



6 一覧から出力対象を選ぶ

●「室内機一斉」を選びます。



7 出力条件を設定する

●「室内機一斉」項目で[停止]を選びます。



外部機器の入出力設定（つづき）

8 [登録]をタッチする

●「出力ポイント設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



お願い

●出力ポイントを取り消すときは、「名称」の空白欄を選択して[登録]をタッチします。

9 「有効」にチェックを入れる

●チェックを入れると、設定したイベント制御が動作するようになります。



10 [登録]をタッチする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をタッチします。



仕様

品番		CZ-10EST4A
外形寸法		(高さ) 240 mm ×(幅)280 mm (奥行き) 20 + 65 mm
質量		2.7 kg
使用温度・湿度範囲		0 ℃～ 40 ℃・20%～ 80%(屋内設置専用)
定格電圧・周波数		単相 AC100 ～ 240 V・50/60 Hz
消費電力		最大20 W
時計	月差	±30秒／月(常温25 ℃)　※定期的に合わせてください。
	保持時間	100日(常温25 ℃・満充電時)　※満充電に約8時間かかります。
1リンクあたりの接続可能台数 *1		下記の合計台数が100台まで ・室内ユニット：64台まで*2　・室外ユニット：30台まで　・集中制御機器：10台まで

*1：最大接続可能台数は次の通りです。(最大2リンク接続可能)
・本機のみ：室内ユニット128台、室外ユニット60台
・通信アダプター接続時：室内ユニット256台、室外ユニット120台
*2：熱交換気ユニット、オン／オフ制御用ローカルアダプター、RACローカルアダプターの台数を含む。
※接続可能な熱交換気ユニットは、天井埋込形・天吊カセット形のマイコンタイプです。

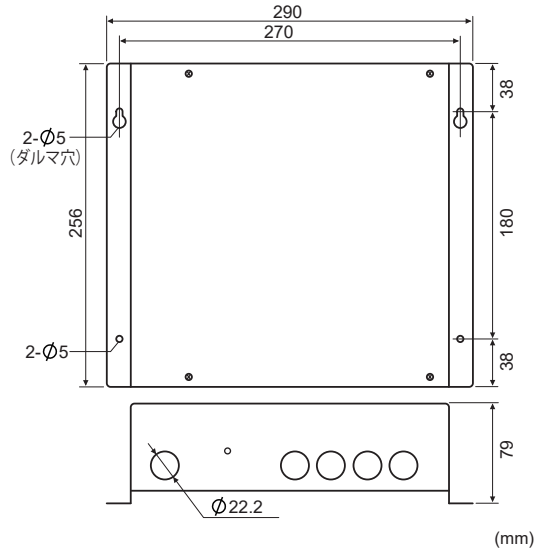
Printed in Japan
W1020-20723
ACXF60-41482

通信アダプター / CZ-10APB3A

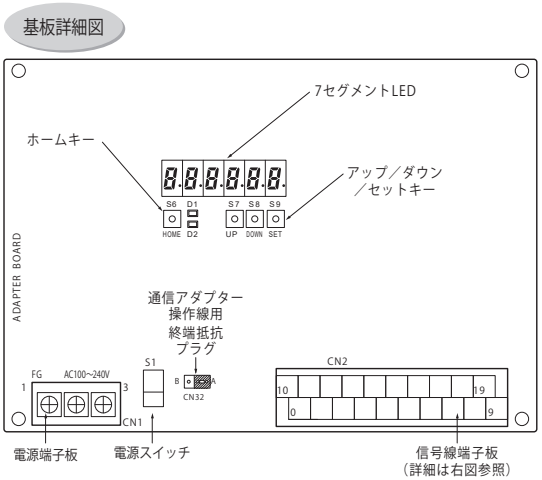
■ 仕　様

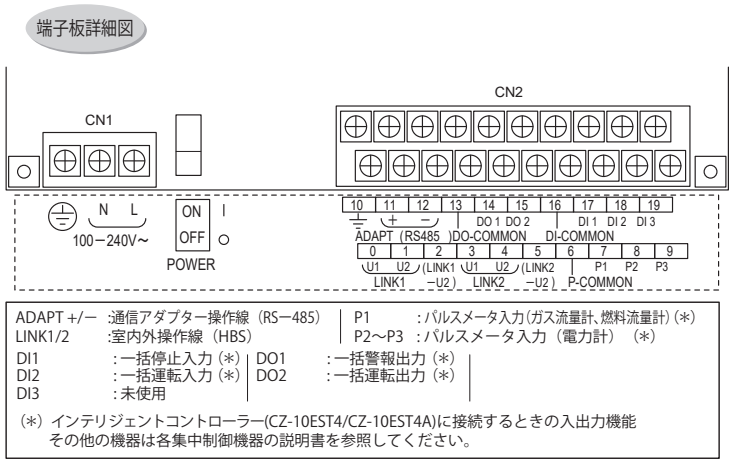
品　　番	CZ-10APB3A
外　形　寸　法	(高さ) 256 mm×(幅) 290 mm×(奥行き) 79 mm
質　　量	1.0 kg
使用温度・湿度範囲	− 10 ～ 50℃・20% ～ 80%（結露なきこと）
定格電圧・周波数	単相 AC100 ～ 240 V・50/60 Hz
消　費　電　力	最大 5.6 W

■ 外形寸法図



■ 端子板配置図およびスイッチ配置図





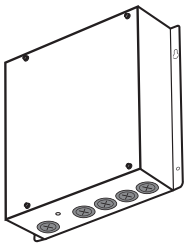
品番	CZ−10APB3A	通信アダプター

Panasonic

据付(電気)工事説明書

通信アダプター

品番 CZ-10APB3A



- 「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、お客様で保管いただくように依頼してください。
- 移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- 「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

- ❗ **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- ❗ **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - **・電気設備に関する技術基準**
  - **・内線規程**
  - **・据付(電気)工事説明書**

  (感電、火災の原因)
- ❗ **漏電しゃ断器(全極開閉機能付)を取り付ける**(故障や漏電時に感電、火災の原因)
- ❗ **電源は、必ず専用回路を使用する**(感電、火災の原因)
- ❗ **停電自動復帰機能を使用中に電源を入れる際は、十分注意する**(感電、挟み込み、巻き込みの原因)
- ⏚ **アース工事(D種接地工事)を行う**
  ・ベランダの手すりやガス管、水道管、避雷針、電話などのアースに接続しない(感電の原因)

本体を据え付けるときに

- ⃠ **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- ⃠ **水洗いしない**(感電、故障の原因)
- ⃠ **配線は途中接続しない**(接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)
- ⃠ **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**(発熱、火災の原因)
- ❗ **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- ❗ **電気工事は、本機や室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**(感電の原因)
- ❗ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**(製品の落下、感電、火災などの原因)
- ❗ **付属品は当社指定の部品を使用する**(製品の落下、感電、火災などの原因)

本体を据え付けるときに

- ❗ **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- ❗ **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)
- ❗ **電圧確認などテスターを使用する際は十分注意する**(感電、故障の原因)

⚠注意

据付(電気)工事をする前に

- ⃠ **次のような場所で使わない**
  - **・結露するところ**
  - **・可燃性ガスなどが漏れるおそれのあるところ**
  - **・水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ**
  - **・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ**
  - **・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **・有機溶剤の飛沫するところ**
  - **・電磁波が出る機械のあるところ**
  - **・電圧変動の多いところ**
  - **・ドレン配管近くなど、水滴が落ちるようなところ**

  (感電、火災などの原因)
- ❗ **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

本体を据え付けるときに

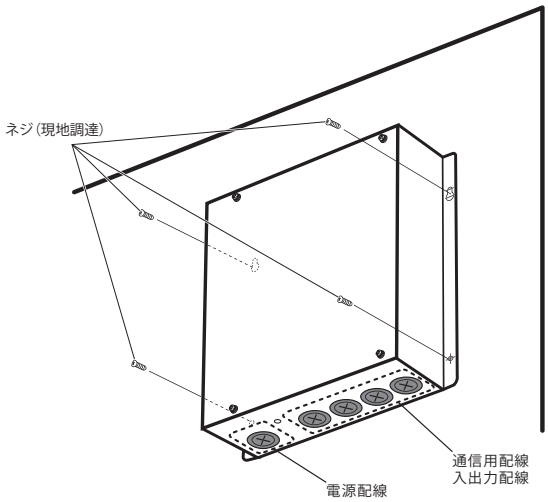
- ⃠ **ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)

取り付けかた

取り付け位置を決め、「外形寸法」(P.8) を参考に取り付けます。

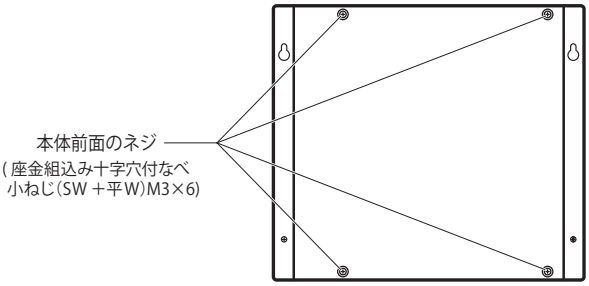
お願い

- 通信アダプターはノイズ発生源から十分離して据え付けてください。
- 通信用配線や入出力配線は、電源線などと一緒により合わせたり、同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
- 水などがかかる場所や極端に湿気の多いところは避けてください。
- 過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてください。



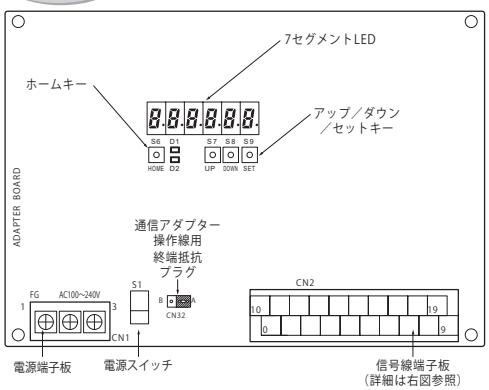
配線のしかた

通信アダプターの取り付け、取りはずしは安全のため、本機や室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器 (全極開閉機能付) を切ってから行ってください。
本体前面のネジ 4 本をはずし上ケースをはずします。

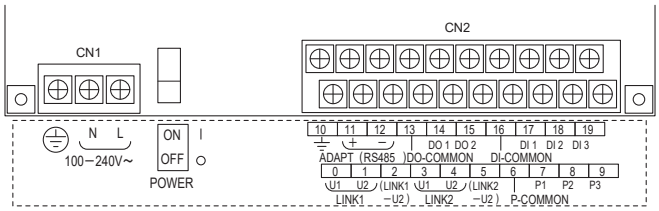


端子板配置図およびスイッチ配置図

基板詳細図



端子板詳細図



ADAPT +/−	:通信アダプター操作線（RS−485）	P1	:パルスメータ入力(ガス流量計、燃料流量計) (*)
LINK1/2	:室内外操作線（HBS）	P2〜P3	:パルスメータ入力（電力計） (*)
DI1	:一括停止入力 (*)	DO1	:一括警報出力 (*)
DI2	:一括運転入力 (*)	DO2	:一括運転出力 (*)
DI3	:未使用		

(*) インテリジェントコントローラー(CZ-10EST4/CZ-10EST4A)に接続するときの入出力機能
その他の機器は各集中制御機器の説明書を参照してください。

(1) 電源線の接続

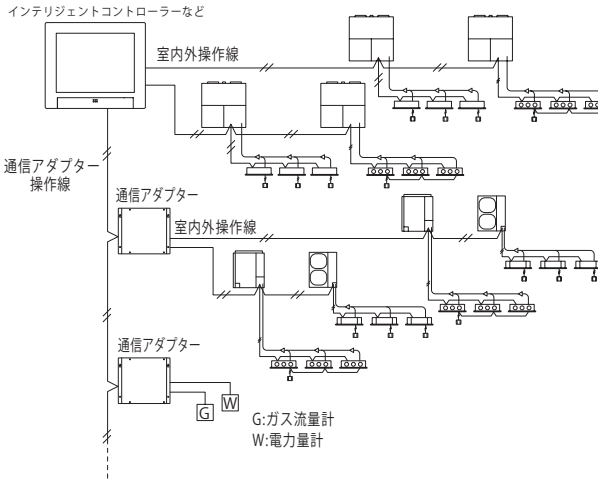
本機は AC100 ～ 240V の範囲の電源を使用できます。
基板上の電源端子板 CN1 の 2、3 番（N、L）に接続してください。（AC のニュートラル側を N に接続）
電源端子板へは、丸形端子を用いて接続してください。
アース線を確実に接続してください。

(2) 通信線の接続

- 室内外操作線は、柔軟性のある2芯の0.5～2.0 mm^2のケーブルを必ず使用してください。
- 通信アダプター操作線は、2芯の0.5 ～2.0mm^2の**シールド線を必ず使用してください。**(MVVSまたはCPEVS)
- シールドは必ず片側のみを確実にアースしてください。
- 室内外操作線と通信アダプター操作線の総延長はそれぞれ1km 以内としてください。
- 電源線と通信線は、同一線管内に通さないでください。また、ノイズの影響を軽減させるために、できるだけ離して配線してください。
- LINK1配線とLINK2配線を同一電線管に通したり、同一ケーブルで配線しないでください。また、配線同士はできるだけ離して配線してください。
- 通信線と電源線は目視で違いが識別できるケーブルを使用してください。

基本配線図　**（インテリジェントコントローラーの場合の例）**

通信アダプター操作線、室内外操作線は右図のように配線してください。



配線の手順

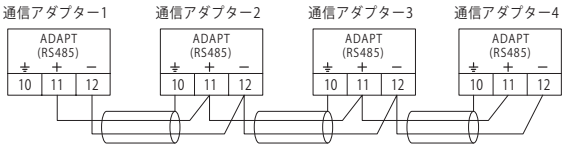
● **室内外操作線**
通信アダプターの信号線端子板 CN2 の 0、1 番（LINK1）と、室外または室内ユニットの室内外操作線接続端子に接続します。極性はありません。
室内外操作線を2系統接続する場合は、CN2 の3、4 番（LINK2）を使用して同様に接続します。

● **通信アダプター操作線**
通信アダプターの信号線端子板 CN2 の 11、12 番（ADAPT ＋、－）と、他の通信アダプターの同じ端子に接続します。**極性があります**ので、「＋」「－」を間違えないように接続してください。その際、**必ず渡り接続としてください。**
（分岐配線は禁止です）

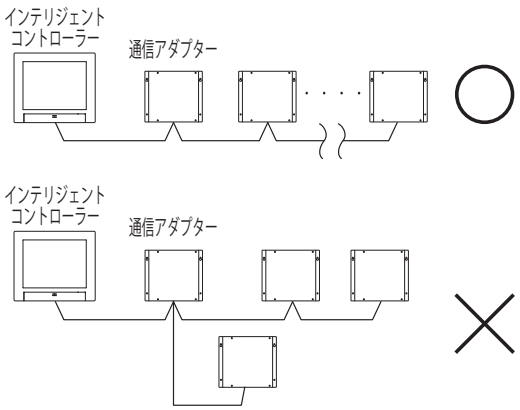
通信アダプター操作線の注意事項

（他での記述内容と重複する項目があります）

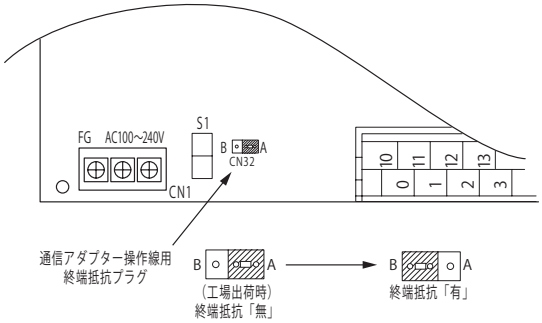
（1）配線の総延長は 1km 以内としてください。
（2）通信線には極性があります。「＋」「－」を間違えないように接続してください。
（3）必ずシールド線をお使いください。シールドは片側のみを確実にアースしてください。



（4）必ずわたり配線としてください。分岐配線は禁止です。
※インテリジェントコントローラーは必ずわたり配線の端に接続してください。



（5）わたり配線の末端の通信アダプターの基板上において、終端抵抗プラグ CN32 を「B」側（終端抵抗有り）に差し替えてください。



（6）通信アダプターの接続台数は、最大 16 台までとしてください。ただし、使用するシステム（インテリジェントコントローラー、エコストアシステムなど）によっては 16 台未満に制限される場合がありますので、システム側の工事説明書も必ず参照してください。
※インテリジェントコントローラーでは最大 7 台です。

（7）通信アダプター操作線および室内外操作線の接続端子に、高電圧（AC200V 等）の配線を接続していないか確認してください。
※誤って室内外操作線の端子に AC200V を印加した場合は、ヒューズが溶断して基板を保護しますが、場合によっては保護できないこともあります。高電圧（AC200V 等）配線を取りはずした後、室内外操作線の「U2」端子の配線を予備の端子に接続し直してください。（「U1」端子の配線はそのまま）予備端子は「U2」のすぐ右隣の端子です。（下表を参照してください）

信号線端子板の端子番号

接続先	通常	予備
LINK 1-U2	1 番	2 番
LINK 2-U2	4 番	5 番

インテリジェントコントローラーに接続するとき

通信アダプターの初期設定をする前に、以下の作業が完了していることを確認してください。

①空調機の試運転が完了していますか？
②空調機と通信アダプターの配線は完了していますか？

設定作業は、以下の順に行ってください。

①アダプターNo 設定

本設定は、必要です。
- 通信アダプター操作線上でのアドレスを設定してください。
- インテリジェントコントローラー内蔵基板のアドレスは0 です。通信アダプターは、重複しないように1～7の値を設定してください。
- 「通信アダプター基板設定方法」(P.5)の「(2)アダプター番号の設定手順」を参照してください。
- 「表1 通信アダプターの設定項目」(P.7)の「[1]アダプター番号の設定」を参照してください。

②室内外操作線の接続設定

通信アダプターを2 台以上使用するとき、本設定が必要です。
- 通信アダプターには2 リンク接続可能です。
  空調機等の接続がないリンクは、LINK無し設定にしてください。
- インテリジェントコントローラーは有効に設定された4 リンクのみ接続可能です。
  「通信アダプター基板設定方法」(P.6)の「(3)室内外操作線接続の有／無設定」を参照してください。
- 「表1 通信アダプターの設定項目」(P.7)の「[2]室内外操作線の接続設定」を参照してください。

③パルス入力最小検知時間設定

パルス入力（P 1・P 2・P 3）を使用しないとき、本設定は必要ありません。
- 通常、最小パルス幅100msec 以上のパルスメータを使用してください。
  やむを得ず、30msec以上のパルスメータを使用するときのみ、この設定をしてください。
- 「表1 通信アダプターの設定項目」(P.7)の「[6]パルス入力最小検知時間設定」を参照してください。

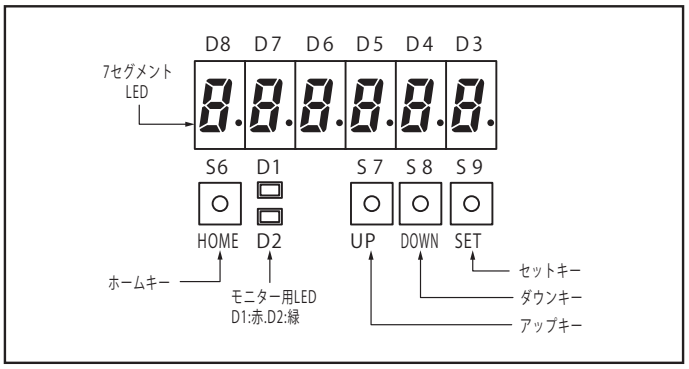
④ローカルアダプターの接続設定

本設定はしなくても機器の動作上、問題ありません。
- ローカルアダプターを使用しないとき、構成確認時間を短縮することが可能です。
- 「表1 通信アダプターの設定項目」(P.7)の「[7]ローカルアダプターの接続設定」を参照してください。

完了！

通信アダプター基板設定方法

アダプター番号や室内外操作線接続の有／無など、各種の設定を基板上のスイッチで行います。



(1)スイッチ操作の概要

①項目の選択

項目選択を UP・DOWN キーで行い、SET キーで選択。

②項目内容の変更

設定変更を UP・DOWN キーで行い、SET キーで確定。

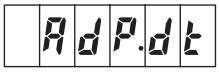
HOME キーを **2 秒以上**押すと初期状態  に戻ります。（設定変更途中の内容は破棄されます）

(2)アダプター番号の設定手順

① HOME キーを **2 秒以上**押すと初期状態（no.00）になり、2 秒後に表示が変わります。（AdP.dt）


（no.00）

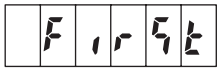
2 秒後


（AdP.dt）

② UP キーを 5 回押すと次の表示になります。


（no.05）

2 秒後に次の表示に変わります。(操作は必要ありません)


（FirSt）

③ SET キーを押すと次の表示になります。（モニター用 LED の緑 (D2) のみが点灯）


（1.Ano.00）（工場出荷状態）

④ SET キーを **1 秒以上**押すと「00」の部分が点滅して変更可能な状態となります。（モニター用 LED の緑 (D2) と赤 (D1) が点灯）

ここで UP・DOWN キーを使って、アダプター番号を設定します。

たとえば「3 番」にするときは、UP キーを 3 回押して次の表示にします。


（1.Ano.03）

⑤確定するときは SET キーを**1 秒以上**押してください。（モニター用LED の緑(D2)のみが点灯）

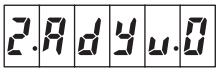
(3) 室内外操作線接続の有／無設定

① 「(2) アダプター番号の設定手順」(P.5) の①～③までは同じ操作となります。この時点で次の表示になります。



（1.Ano.03）（アダプター番号が 3 の場合）

② UP キーを 1 回押すと次の表示になります。



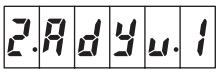
（2.AdYu.0）（工場出荷状態）

③ SET キーを **1 秒以上**押すと「0」の部分が点滅して変更可能な状態となります。（モニター用 LED の緑 (D2) と赤 (D1) が点灯）

ここで UP ・ DOWN キーを使って、下表に従って室内外操作線の接続有／無を設定します。

設定値	室内外操作線接続
0	LINK1：有り、LINK2：有り（工場出荷状態）
1	LINK1：有り、LINK2：無し
2	LINK1：無し、LINK2：有り
3	LINK1：無し、LINK2：無し

たとえば LINK1 にのみ室内外操作線を接続した場合は、UP キーを 1 回押して次の表示にします。



（2.AdYu.1）

④確定するときは SET キーを**1 秒以上**押してください。（モニター用LED の緑(D2)のみが点灯）

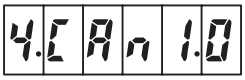
(4) その他の設定

「(2) アダプター番号の設定手順」(P.5) の③の状態において、UP ・ DOWN キーによって「表 1 通信アダプターの設定項目」(P.7) のような設定項目を選ぶことができます。必要に応じて設定を行なってください。
設定手順は「(2) アダプター番号の設定手順」の④～⑤と同様です。
(SET キーを **1 秒以上**押してから UP ・ DOWN キーで変更し、 SET キーを **1 秒以上**押して確定）

お願い

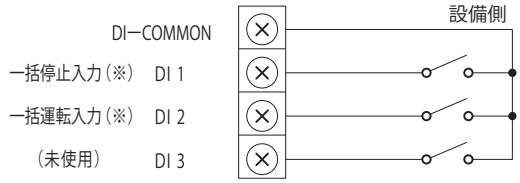
①アダプター番号を重複しないように設定してください。
※インテリジェントコントローラーと接続する場合は、1 ～ 7 の範囲でアダプタ―番号を設定してください。
②上記の「(3) 室内外操作線接続の有／無設定」の設定を正しく行ってください。
（接続の無い LINK は必ず「無し」に設定）
③室内外操作線を 1 リンクのみ接続する場合は、「LINK1」側を使用してください。

表1 通信アダプターの設定項目

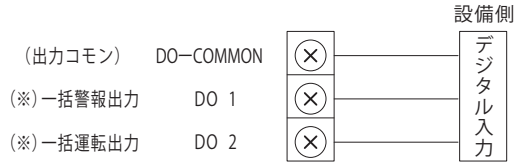
	表　示	設定項目（ 網掛け は工場出荷設定）
	 （1.Ano.xx）	［1］アダプター番号の設定 xx＝00～15：アダプター番号 通信アダプターの番号を設定します。 インテリジェントコントローラーの場合、重複しないように1～7を設定してください。 実際に上位から通信を行う時のアドレス（リンク系統アドレス）、通信アダプター番号をnとすると、LINK1は2n、LINK2は2n+1となります。 たとえば、アダプター番号「2」の場合、LINK1は 「4」、LINK2は 「5」のアドレスとなります。
	 （2.AdYu.x）	［2］室内外操作線の接続設定 x＝0：LINK1は有り、LINK2は有り x＝1：LINK1は有り、LINK2は無し x＝2：LINK1は無し、LINK2は有り x＝3：LINK1は無し、LINK2は無し 空調機を接続するLINK（室内外操作線）は「有り」、接続しないLINKは「無し」に設定します。 ※単独設置（パルスメータ専用）の場合はLINK1、2とも「無し」（x＝3）に設定します。
	 （3.Cont.x）	［3］親子設定 必ず0（初期値）のまま使用してください。
↑ DOWN U　P ↓	 （4.CAn1.x）	［4］同一リンク内の通信アダプター台数設定　1 x＝0～7 x＝0：LINK1リンク内に通信アダプター1台目 x＝1：LINK1リンク内に通信アダプター2台目 ： x＝7：LINK1リンク内に通信アダプター8台目
	 （5.CAn2.x）	［5］同一リンク内の通信アダプター台数設定　2 x＝0～7 x＝0：LINK2リンク内に通信アダプター1台目 x＝1：LINK2リンク内に通信アダプター2台目 ： x＝7：LINK2リンク内に通信アダプター8台目 1つの室内外操作線に複数の通信アダプターを接続した場合、何台目の通信アダプターなのかをLINK系統ごとに設定します。
	 （6.PUL.xx）	［6］パルス入力最小検知時間設定 x＝03：　30msec x＝10：100msec 100msecより小さいパルス幅（30msec以上）のパルスメータを接続したときは「30msec」に設定します。
	 （7.LoCA.x）	［7］ローカルアダプターの接続設定 x＝0：LINK1有り、LINK2有り、 x＝1：LINK1無し、LINK2有り、 x＝2：LINK1有り、LINK2無し、 x＝3：LINK1無し、LINK2無し、 LINK系統ごとに、ローカルアダプター（オン／オフ用、通信変換用）の有無を設定します。「無」に設定しますと、ローカルアダプターの検出をしないため、起動が早くなります。インテリジェントコントローラー以外は「x＝0」設定で使用してください。
	 （8.SCAn.x）	［8］初期通信設定 必ず0（初期値）のまま使用してください。

外部設備との接続

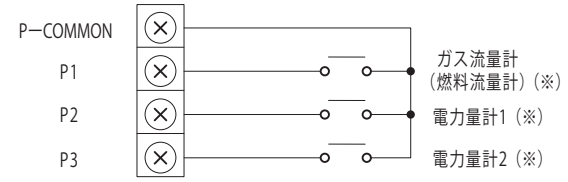
（1）外部一括入力（無電圧 a 接点スタティック）



（2）外部一括出力（無電圧 a 接点スタティック）



（3）パルスメータ入力（無電圧 a 接点パルス）

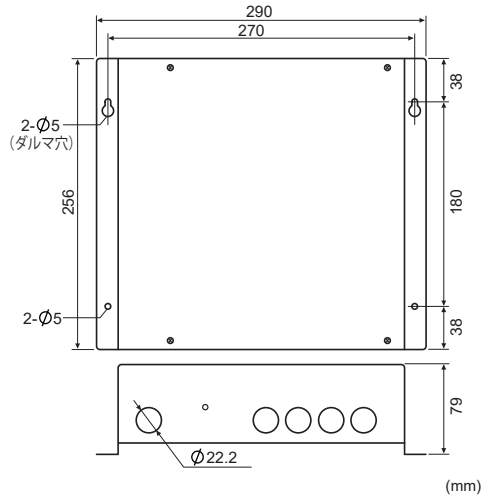


● 最小パルス幅	100msec
● 最小パルス間隔	1sec

（※）インテリジェントコントローラーに接続するときの入出力機能

● それぞれの信号入力の配線長は、20m 以下としてください。この距離を超える場合は、単独に通信アダプターを設置するか、リレーを使用してください。
● ノイズの影響を受けるおそれがある場所で使用する場合、0.5mm^{2}以上の2 芯シールド線（片側アース）を使用してください。
● 入力端子には外部から電圧を印加しないでください。
● 入力端子の検出のため、接点にDC5V、約10mA の電圧がかかります。
● 出力端子の許容接点電圧電流はDC30V、0.5Aです。

外形寸法



仕様

品　　番	CZ-10APB3A
外 形 寸 法	（高さ）256 mm×（幅）290 mm×（奥行き）79 mm
質　　量	1.0 kg
使用温度・湿度範囲	− 10 ～ 50℃・20% ～ 80%（結露なきこと）
定格電圧・周波数	単相 AC100 ～ 240 V・50/60 Hz
消 費 電 力	最大 5.6 W

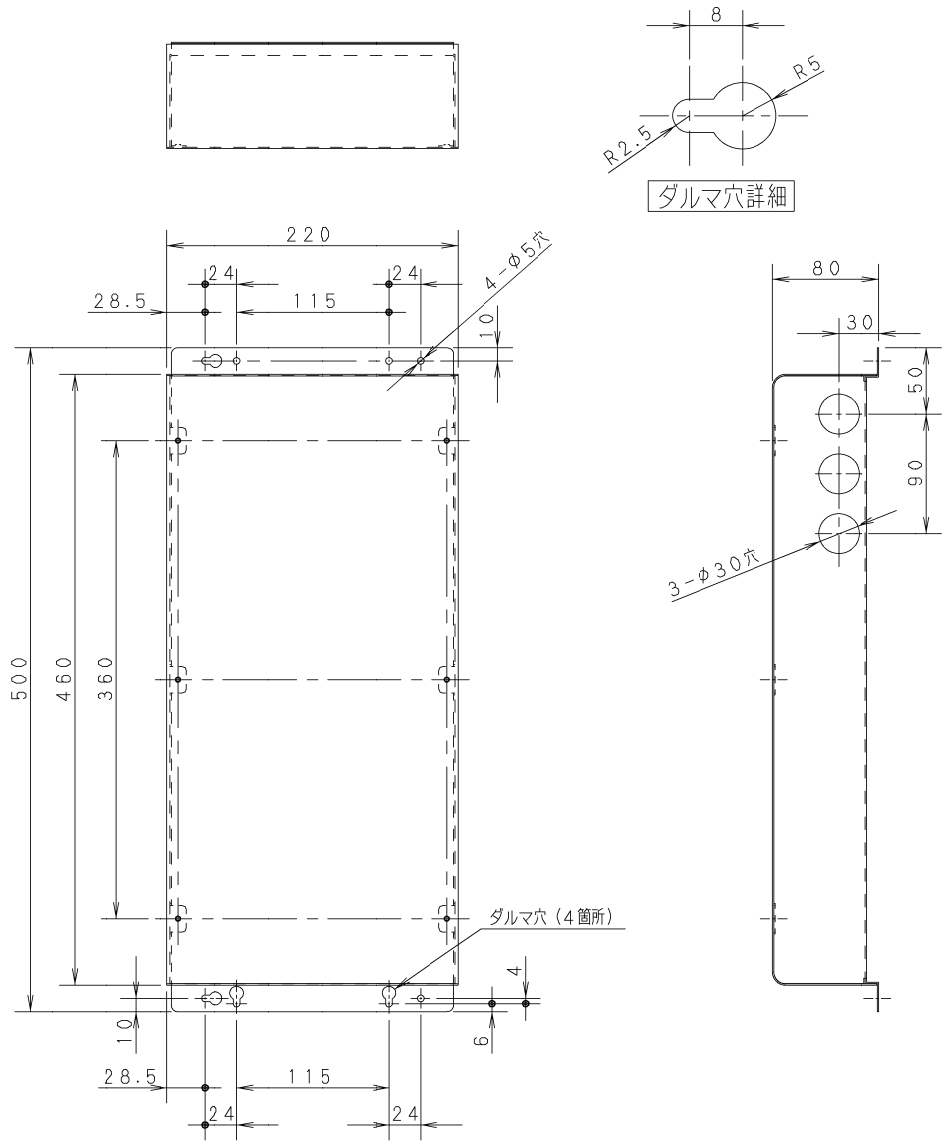
Printed in Japan
W0520-20723
ACXF60-41492

ロンワークスインターフェース / SHA-LN16U

■仕様

品番		SHA-LN16U
電源定格		単相100Vまたは200V 50／60Hz
消費電力		約11W
外形寸法	mm	（高さ）80×（幅）500×（奥行）220
質量	kg	3．3

■外形寸法図



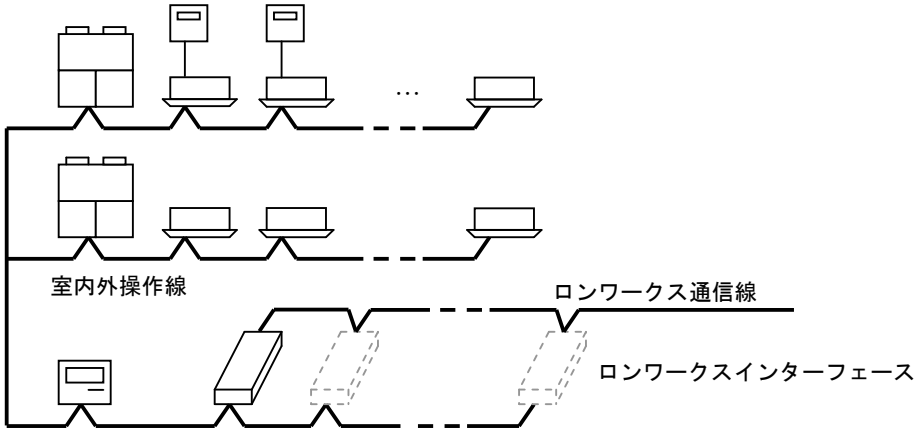
品番	SHA-LN16U	外形寸法図（ロンワークスインタフェース）

1．製品概要

■ 製品概要

本インターフェースは、ロンワークスで空調機を制御するための通信インターフェースです。
ロンワークスに接続される上位側のホストから、室内ユニット最多１６グループの基本的な設定／状態監視が可能になります。

■ システム図



① ロンワークスインターフェース１台で、室内ユニット最多１６グループ（６４台）を制御可能です。
室内ユニットが１７グループ以上のときは、インターフェースを追加接続してください。
② ロンワークスインターフェース以外に、空調機を制御できるリモコン（またはシステムコントローラーなど）をつけてください。
③ ロンワークスインターフェースと接続するまえに室内ユニットに集中アドレスを設定して下さい。

■ 機能

ロンワークス中央監視からの空調機設定	室内ユニットグループ毎に設定	発停
		設定温度　（※１）
		運転モード
		オプション１設定　（※２）
		オプション２設定　（※２）
	一括設定	災害停止
ロンワークス中央監視への空調機状態通知		発停
		設定温度
		運転モード
		オプション１状態　（※２）
		オプション２状態　（※２）
		警報状態　（※３）
		警報室内番号　（※４）
		室温　（※５）
		空調機状態　（※６）
コンフィグレーション・プロパティ		送信間隔設定　（※７）
		最小送信確保時間　（※８）

（※１）室内ユニットで設定可能な上限値以上の温度が指示されたときは上限値に、下限値以下の温度が指示されたときは下限値に設定されます。
（※２）オプションは、手元禁止／風速設定／風向設定／フィルターサインから、基板上の設定スイッチで２つまで選択できます。
（※３）室内グループ制御時、１台以上の室内ユニットが警報のとき警報と判断します。
（※４）警報室内ユニットの室内番号を通知します。室内グループ内の警報室内ユニットを特定することが可能です。
（※５）室内グループ制御時、グループ親機の室温を通知します。
（※６）室内機状態は、１台以上の室内機が警報のとき、警報コードを通知します。
（※７）設定された間隔で、出力可能な全データを出力します。
（※８）設定された間隔は、同じデータを連続して出力しません。

2．据付（電気）工事担当の方へ

安全上のご注意

＊据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みの上確実に行ってください。
＊個々に示した注意事項は「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠注意	取扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が予想される場合。

※据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。本説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

⚠ 警告

●据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据付工事をされ不備があると感電・火災等の原因にもなります。
●据付工事は“据付（電気）工事担当の方へ”に従って確実に行ってください。
据付工事に不備がありますと、感電、火災等の原因になります。
●電気工事は電気工事の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、及び“据付（電気）工事担当の方へ”に従って施工してください。
電気回路容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
●設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

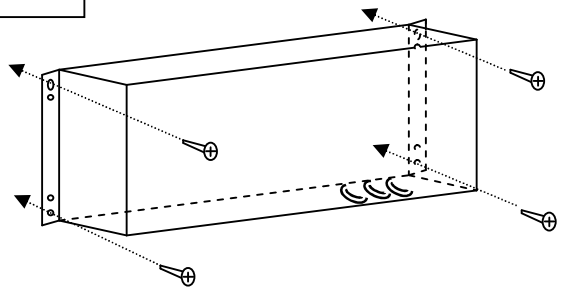
付属部品

番号	付属部品	個数
①	製品説明書	1

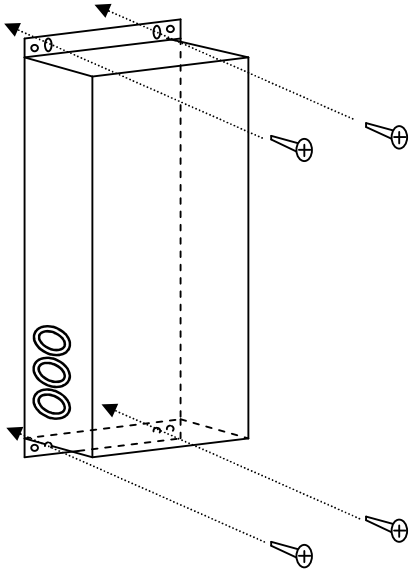
据付方法

●以下のいずれかの方法で据え付けてください。
本体据付用のねじは現地手配です。

横置き



縦置き



●ロンワークスインターフェースは、ノイズ発生源から離して据え付けてください。
●必ず、屋内に設置してください。

配線仕様

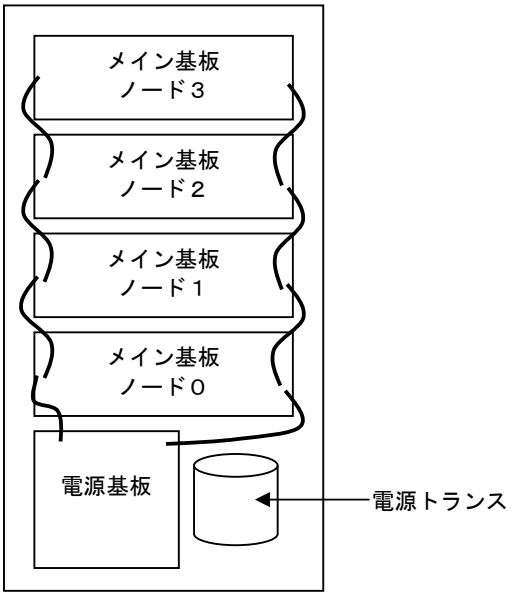
●室内外通信線には、２芯０．５－２mm²の電線を使用してください。
●ロンワークス通信線で使用するケーブルは、エシェロン・コーポレーション推奨の線径０．５１mm²以上のツイストペアケーブルを使用してください。

エシェロン・コーポレーション推奨ケーブル例			
ケーブルの種類	線径／AWG	総配線長	
		バス型	フリー
24AMG ﾂｲｽﾄﾍﾟｱ (TIA568A ｶﾃｺﾞﾘ5)	０．５１mm² ／２４	９００m	４５０m

●室内外通信線、ロンワークス通信線、電源配線は、同一電線管内に通したり、同一ケーブルで配線したり、配線同士を近づけたりしないでください。
●配線は、誤配線をしないように接続してください。
（誤配線は、故障の原因になります。）

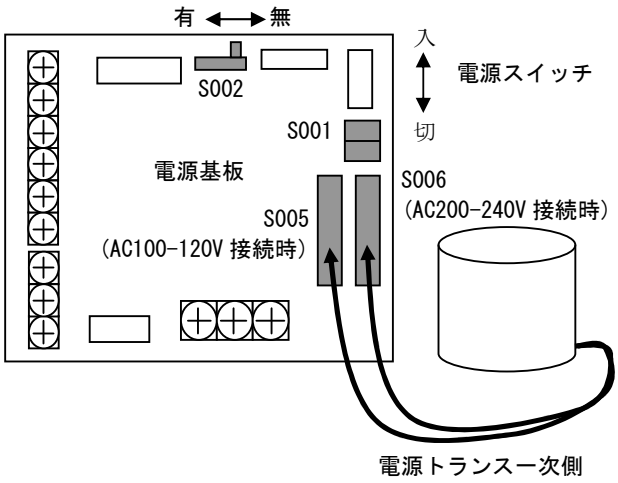
ロンワークスインターフェースの構成

●本インターフェースは、４枚のロンワークス通信基板（ノード）を持っています。
●１つのノードで、最多４グループ（３２台）の室内ユニットを制御可能です。



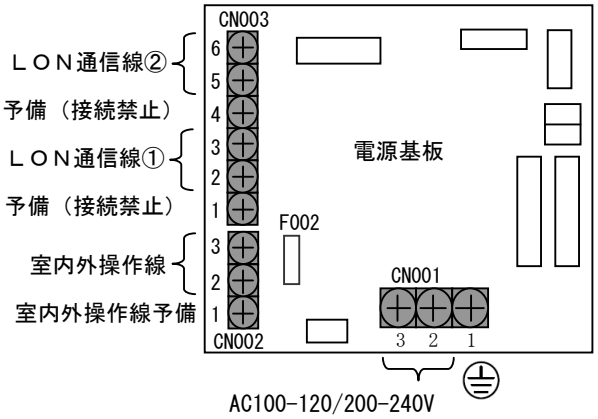
電源基板の初期設定

無 ： 通常‘無’で使用してください(初期設定)。
有 ： ロンワークス通信線のフリートポロジ用終端抵抗（５１Ω）が有効になります。



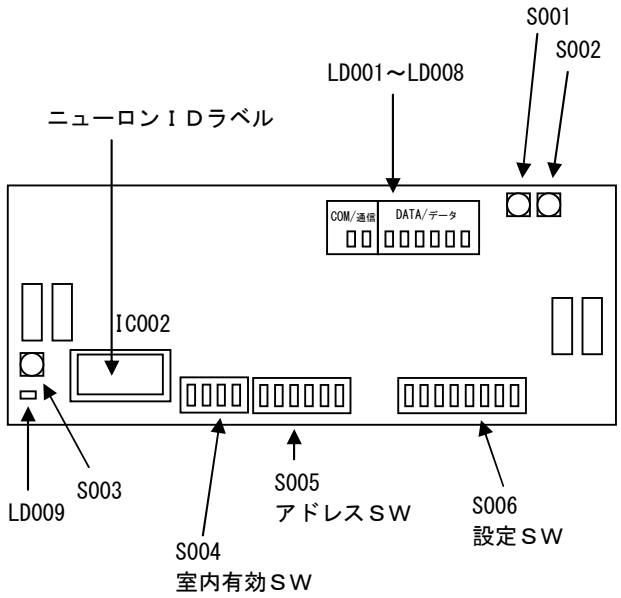
AC200-240V 接続時は、電源トランスの一次側を S006 に、
AC100-120V 接続時は、電源トランスの一次側を S005 に
接続して下さい。
（工場出荷時は、S006 に接続しています。）

電源基板配線のしかた

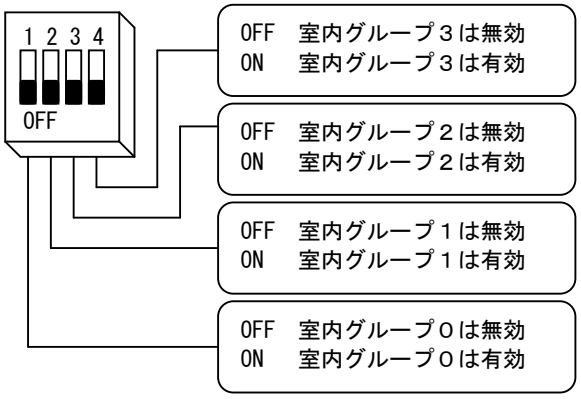


●ロンワークス通信線は、上図①②のどちらに接続しても同じです。
●室内外操作線やロンワークス通信線は、電源配線などと一緒に寄り合わせたり、同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因となりますのでさけてください。
●電源を入れる前に、「電源基板の初期設定」を行ってください。
●室内外操作線への過電流（過電圧）でヒューズ(F002)が切れてしまったときは、予備端子(1)と(3)を接続してください。
●ロンワークス通信線用端子台(CN003)の予備端子には、何も接続しないで下さい。通信線のアース等を接続されると故障の原因になります。
●電源端子台(CN001-1)に、必ず、アースを接続して下さい。

メイン基板

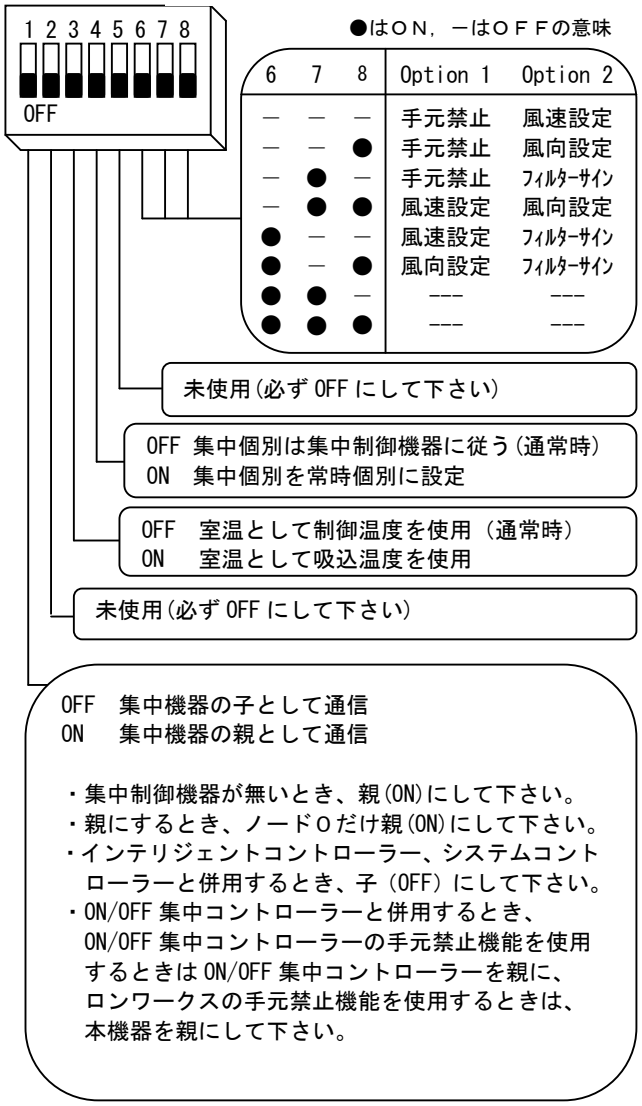


室内有効スイッチ



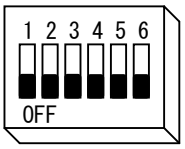
●メイン基板１枚で、４グループ（室内グループ０～３）を制御することができます。
●室内グループが存在しないときは‘無効’に、室内グループが存在するときは‘有効’に設定して下さい。

設定スイッチ



・集中制御機器が無いとき、親(ON)にして下さい。
・親にするとき、ノード０だけ親(ON)にして下さい。
・インテリジェントコントローラー、システムコントローラーと併用するとき、子（OFF）にして下さい。
・ON/OFF 集中コントローラーと併用するとき、ON/OFF 集中コントローラーの手元禁止機能を使用するときは ON/OFF 集中コントローラーを親に、ロンワークスの手元禁止機能を使用するときは、本機器を親にして下さい。

アドレススイッチ



●はＯＮ，－はＯＦＦの意味

アドレススイッチ						集中制御アドレス
1	2	3	4	5	6	
－	－	－	－	－	－	1
●	－	－	－	－	－	2
－	●	－	－	－	－	3
●	●	－	－	－	－	4
－	－	●	－	－	－	5
●	－	●	－	－	－	6
－	●	●	－	－	－	7
●	●	●	－	－	－	8
－	－	－	●	－	－	9
●	－	－	●	－	－	10
－	●	－	●	－	－	11
●	●	－	●	－	－	12
－	－	●	●	－	－	13
●	－	●	●	－	－	14
－	●	●	●	－	－	15
●	●	●	●	－	－	16
－	－	－	－	●	－	17
●	－	－	－	●	－	18
－	●	－	－	●	－	19
●	●	－	－	●	－	20
－	－	●	－	●	－	21
●	－	●	－	●	－	22
－	●	●	－	●	－	23
●	●	●	－	●	－	24
－	－	－	●	●	－	25
●	－	－	●	●	－	26
－	●	－	●	●	－	27
●	●	－	●	●	－	28
－	－	●	●	●	－	29
●	－	●	●	●	－	30
－	●	●	●	●	－	31
●	●	●	●	●	－	32
－	－	－	－	－	●	33
●	－	－	－	－	●	34
－	●	－	－	－	●	35
●	●	－	－	－	●	36
－	－	●	－	－	●	37
●	－	●	－	－	●	38
－	●	●	－	－	●	39
●	●	●	－	－	●	40
－	－	－	●	－	●	41
●	－	－	●	－	●	42
－	●	－	●	－	●	43
●	●	－	●	－	●	44
－	－	●	●	－	●	45
●	－	●	●	－	●	46
－	●	●	●	－	●	47
●	●	●	●	－	●	48
－	－	－	－	●	●	49
●	－	－	－	●	●	50
－	●	－	－	●	●	51
●	●	－	－	●	●	52
－	－	●	－	●	●	53
●	－	●	－	●	●	54
－	●	●	－	●	●	55
●	●	●	－	●	●	56
－	－	－	●	●	●	57
●	－	－	●	●	●	58
－	●	－	●	●	●	59
●	●	－	●	●	●	60
－	－	●	●	●	●	61
●	－	●	●	●	●	62
－	●	●	●	●	●	63
●	●	●	●	●	●	64

ＬＥＤ

メイン基板には２個の通信ＬＥＤ（緑）と６個のデータＬＥＤ（赤）があります。
通信ＬＥＤは、現在の通信状態①～⑯を表示し、データＬＥＤの表示内容は、通信状態①～⑯によって異なります。

●通信ＬＥＤ（緑）



LD001	LD002	表示内容
×	×	① 電源ＯＦＦ時
×	低	② -----
×	高	③ マイコンバージョンＵＰ中
×	●	④ 空調機との初期通信待ち状態
低	×	⑤ 空調機と初期通信中
低	低	⑥ -----
低	高	⑦ ロンワークス通信マイコン異常
低	●	⑧ ＥＥＰＲＯＭ異常
高	×	⑨ -----
高	低	⑩ -----
高	高	⑪ -----
高	●	⑫ -----
●	×	⑬ 試運転モード
●	低	⑭ -----
●	高	⑮ バージョン表示中
●	●	⑯ 正常通信中

×：消灯、　低：低速点滅（１秒毎）、
高：高速点滅（０．２秒毎）、●：点灯

●データＬＥＤ（赤）



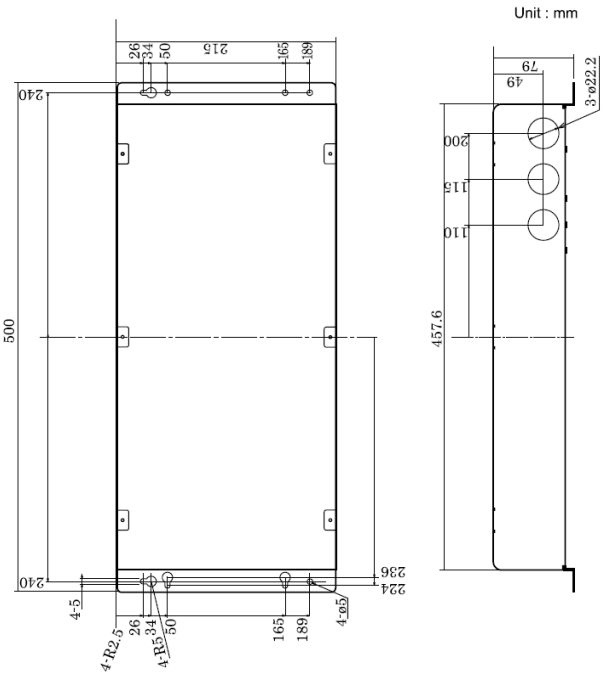
通信ＬＥＤ（緑）の状態	データＬＥＤ（赤）の表示内容
①	全ＬＥＤ消灯
②	全ＬＥＤ点灯
③	-----
④	空調機初期通信の待ち時間(秒)表示　※
⑤	空調機通信状態表示（Ｐ７参照）
⑥	-----
⑦	全ＬＥＤ消灯
⑧	全ＬＥＤ消灯
⑨	-----
⑩	-----
⑪	-----
⑫	-----
⑬	試運転モード仕様に従う（Ｐ９参照）
⑭	-----
⑮	バージョン表示仕様に従う（Ｐ１０参照）
⑯	空調機通信状態表示（Ｐ７参照）

※電源投入時に全てのメイン基板が一斉に初期通信するのを避けるため、アドレスＳＷで設定した秒だけ待機します。この表示は１秒毎に変化し、全ＬＥＤが消灯したとき初期通信を開始します。

●通信ＬＥＤが⑤⑯の状態のときのデータＬＥＤ表示内容

ＬＤ	表示内容	
	室内ｸﾞﾙｰﾌﾟ	ＯＦＦ　：初期通信待ち 低速点滅：最小送信間隔待ち 高速点滅：初期通信中 ＯＮ　：正常通信中
003	0	
004	1	
005	2	
006	3	
007	ロンワークス通信部にデータ出力したとき、０．２秒点灯	
008	室内外通信部にデータ出力したとき、０．２秒点灯	

外形寸法図



製品仕様

接続対象	ロンワークスネットワーク ＦＴＴ－１０Ａトランシーバ機器
電　源	単相　ＡＣ１００Ｖ－１２０Ｖ ＡＣ２００Ｖ－２４０Ｖ
消費電力	１１Ｗ
使用環境条件	温度０℃～４０℃、湿度２０%～８０%、屋内専用
外形寸法	高さ７９㎜ × 幅５００㎜ × 奥行２１５㎜
重　さ	約３．３　ｋｇ

3、空調機集中アドレス割当方法

●ロンワークスインターフェース以外の集中制御機器がないときは、ワイヤードリモコンを使用して、〔集中アドレス設定〕を行った後、〔集中アドレス割当〕を行って下さい。

●システムコントローラーなどの集中制御機器が既にあるときは、〔集中アドレス割当〕のみ行って下さい。

【集中アドレス設定方法】

① 点検 + 換気 ボタンを同時に４秒以上押しつづけます。

② リモコンの液晶表示部に、設定中とユニット No.（グループ制御の場合は ALL を表示）、項目コード 01、設定データが点滅表示されます。
この時、室内ユニットのファン（グループ制御の場合は全ての室内ユニット）が回転します 。

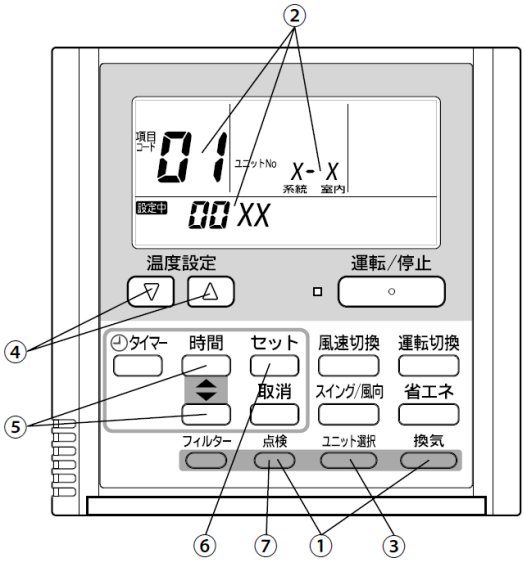
③ ユニット選択　ボタンを押さないでください。

④ 温度設定 ▲ ／ ▼ ボタンを押して、項目コード 03 に切り換えます。

⑤ タイマー時間 ▲ ／ ▼ ボタンを押して、希望の集中制御アドレスに切り換えます。

⑥ セット ボタンを押します。
（点滅表示が点灯に変わって設定完了）

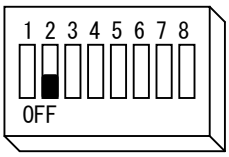
⑦ 点検 ボタンを押すと通常のリモコン表示に戻ります。



【集中アドレス割当方法】

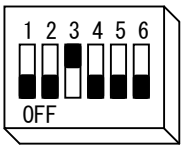
① ロンワークスインターフェースの電源基板の電源スイッチ（Ｓ００１）を【切】にして下さい。

② 設定スイッチ（Ｓ００６－２）をＯＦＦになっていることを確認してください。



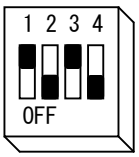
③ アドレススイッチに、先頭の集中アドレスを設定して下さい。集中制御アドレスは連番で割当られます。

《例》先頭の集中制御アドレスが‘５’のとき、
本基板は、集中制御アドレス‘５’‘６’‘７’‘８’が割り当てられます。



④ 室内有効スイッチの有効／無効をセットして下さい。

《例》集中制御アドレスが‘６’‘８’が存在しないとき、‘５’‘７’のみ有効にして下さい。



室内グループ０の集中制御アドレスは‘５’
室内グループ２の集中制御アドレスは‘７’に設定されます。

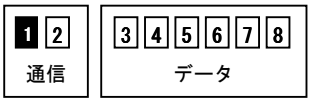
⑤ 電源基板の電源スイッチ（Ｓ００１）を【入】にしてください。

４、ロンワークスインターフェース試運転方法

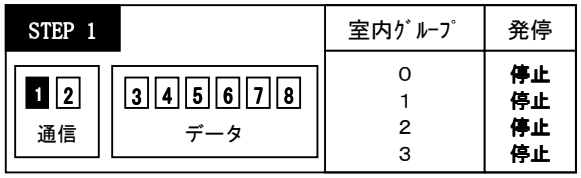
ロンワークスインターフェース試運転を行う前に、空調機の試運転、室内ユニットの集中制御アドレスの設定／割当を行って下さい。

【ロンワークスインターフェース試運転方法】

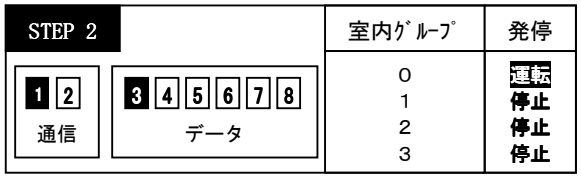
① タッチスイッチＳ００１を５秒以上長押しして下さい。
現在操作している基板は試運転モードになり、ＬＤ００１は点灯、ＬＤ００２－ＬＤ００８は消灯します。



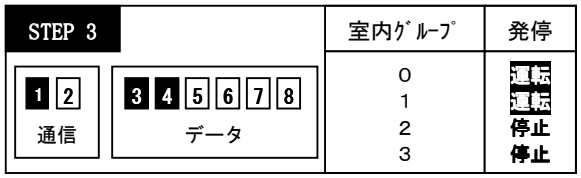
② タッチスイッチＳ００２を押すと、データＬＥＤは、下表の順に表示します。
また、割り当てられた室内グループが下表のように運転／停止します。



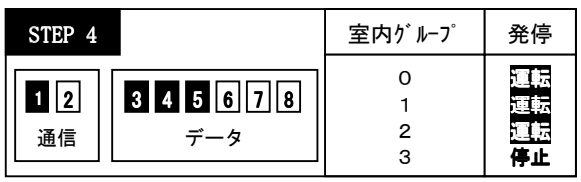
Ｓ００２ ＰＵＳＨ



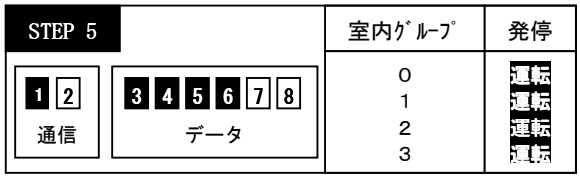
Ｓ００２ ＰＵＳＨ



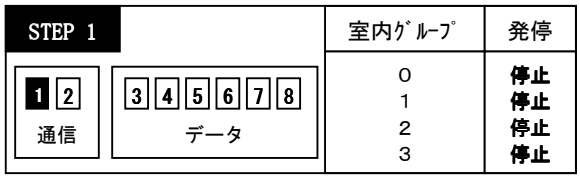
Ｓ００２ ＰＵＳＨ



Ｓ００２ ＰＵＳＨ



Ｓ００２ ＰＵＳＨ

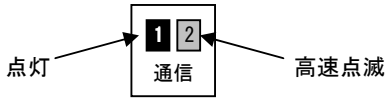


Ｓ００２ ＰＵＳＨ

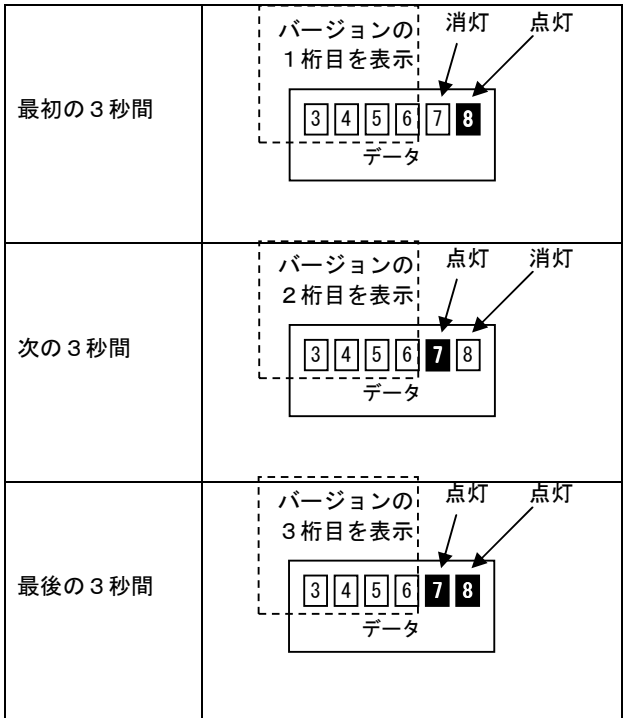
③ ロンワークスインターフェースの試運転終了後、必ず、電源リセットして下さい。

５、ロンワークスインターフェースのバージョン確認方法

① タッチスイッチＳ００２を押して下さい。
本基板は９秒間バージョン表示モードになり、
ＬＤ００１が点灯、ＬＤ００２が高速点滅します。



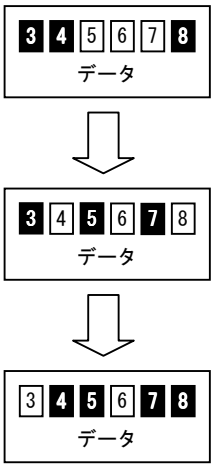
② バージョン表示中（９秒間）は以下の内容を表示します。



●バージョン表示

0	3 4 5 6	5	**3** 4 **5** 6
1	**3** 4 5 6	6	3 **4** **5** 6
2	3 **4** 5 6	7	**3** **4** **5** 6
3	**3** **4** 5 6	8	3 4 5 **6**
4	3 4 **5** 6	9	**3** 4 5 **6**

《例》バージョン３．５６のとき、



６、ロンワークス通信部ネットワーク変数一覧

空調機	入出力	項目	変数名	変数タイプ
室内グループ　０	入力	発停	nviOnOff_00	SNVT_switch
		設定温度	nviSetPoint_00	SNVT_temp_p
		運転モード	nviHeatCool_00	SNVT_hvac_mode
		オプション１設定	nviOption1_00	SNVT_switch
		オプション２設定	nviOption2_00	SNVT_switch
	出力	発停状態	nvoOnOff_00	SNVT_switch
		設定温度	nvoSetPoint_00	SNVT_temp_p
		運転モード	nvoHeatCool_00	SNVT_hvac_mode
		オプション１状態	nvoOption1_00	SNVT_switch
		オプション２状態	nvoOption2_00	SNVT_switch
		警報状態	nvoAlarm_00	SNVT_switch
		警報室内番号	nvoAlarmIn_00	SNVT_switch
		室温	nvoSpaceTemp_00	SNVT_temp_p
		空調機状態	nvoInState_00	SNVT_count
室内グループ　１	入力	発停	nviOnOff_01	SNVT_switch
		設定温度	nviSetPoint_01	SNVT_temp_p
		運転モード	nviHeatCool_01	SNVT_hvac_mode
		オプション１設定	nviOption1_01	SNVT_switch
		オプション２設定	nviOption2_01	SNVT_switch
	出力	発停状態	nvoOnOff_01	SNVT_switch
		設定温度	nvoSetPoint_01	SNVT_temp_p
		運転モード	nvoHeatCool_01	SNVT_hvac_mode
		オプション１状態	nvoOption1_01	SNVT_switch
		オプション２状態	nvoOption2_01	SNVT_switch
		警報状態	nvoAlarm_01	SNVT_switch
		警報室内番号	nvoAlarmIn_01	SNVT_switch
		室温	nvoSpaceTemp_01	SNVT_temp_p
		空調機状態	nvoInState_01	SNVT_count
室内グループ　２	入力	発停	nviOnOff_02	SNVT_switch
		設定温度	nviSetPoint_02	SNVT_temp_p
		運転モード	nviHeatCool_02	SNVT_hvac_mode
		オプション１設定	nviOption1_02	SNVT_switch
		オプション２設定	nviOption2_02	SNVT_switch
	出力	発停状態	nvoOnOff_02	SNVT_switch
		設定温度	nvoSetPoint_02	SNVT_temp_p
		運転モード	nvoHeatCool_02	SNVT_hvac_mode
		オプション１状態	nvoOption1_02	SNVT_switch
		オプション２状態	nvoOption2_02	SNVT_switch
		警報状態	nvoAlarm_02	SNVT_switch
		警報室内番号	nvoAlarmIn_02	SNVT_switch
		室温	nvoSpaceTemp_02	SNVT_temp_p
		空調機状態	nvoInState_02	SNVT_count
室内グループ　３	入力	発停	nviOnOff_03	SNVT_switch
		設定温度	nviSetPoint_03	SNVT_temp_p
		運転モード	nviHeatCool_03	SNVT_hvac_mode
		オプション１設定	nviOption1_03	SNVT_switch
		オプション２設定	nviOption2_03	SNVT_switch
	出力	発停状態	nvoOnOff_03	SNVT_switch
		設定温度	nvoSetPoint_03	SNVT_temp_p
		運転モード	nvoHeatCool_03	SNVT_hvac_mode
		オプション１状態	nvoOption1_03	SNVT_switch
		オプション２状態	nvoOption2_03	SNVT_switch
		警報状態	nvoAlarm_03	SNVT_switch
		警報室内番号	nvoAlarmIn_03	SNVT_switch
		室温	nvoSpaceTemp_03	SNVT_temp_p
		空調機状態	nvoInState_03	SNVT_count
室内グループ０－３	入力	火災時緊急停止	nviAllInOff	SNVT_switch

送信間隔設定	nciSndHrtBt	SNVT_time_sec
最小送信確保時間	nciMinOutTm	SNVT_time_sec

7、ロンワークス通信部ネットワーク変数詳細

[nv1] ユニット発停指令

network input SNVT_switch nviOnOff_00;
network input SNVT_switch nviOnOff_01;
network input SNVT_switch nviOnOff_02;
network input SNVT_switch nviOnOff_03;

この入力ネットワーク変数は、室内ユニットの発停状態を変更するために使用します。
ロンワークスで空調機の発停を制御しないときは、本ネットワーク変数を使用する必要はありません。

●内容　state　０：停止　　value　（未使用）
　　１：運転

[nv2] ユニット発停状態通知

network output SNVT_switch nvoOnOff_00;
network output SNVT_switch nvoOnOff_01;
network output SNVT_switch nvoOnOff_02;
network output SNVT_switch nvoOnOff_03;

この出力ネットワーク変数は、室内ユニットの運転／停止状態、サーモＯＮ／ＯＦＦ状態が変化したときに出力されます。
空調機用のコントローラーからの操作により状態変化した場合にも出力されます。
ロンワークスインターフェースの電源リセット時にも出力されます。
室内ユニットがグループ制御のとき、１台以上サーモＯＮしたときサーモＯＮを出力し、全室内ユニットサーモＯＦＦのとき、サーモＯＦＦを出力します。

●内容　state　０：停止　　value　０：サーモＯＦＦ
　　１：運転　　２００：サーモＯＮ

[nv3] 温度設定指令

network input SNVT_temp_p nviSetpoint_00;
network input SNVT_temp_p nviSetpoint_01;
network input SNVT_temp_p nviSetpoint_02;
network input SNVT_temp_p nviSetpoint_03;

この入力ネットワーク変数は、室内ユニットの設定温度を変更するために使用します。
ロンワークスで空調機の設定温度を制御しないときは、本ネットワーク変数を使用する必要はありません。
室内ユニットで設定可能な設定温度上限値以上の温度が指示されたときは上限値に、下限値以下の温度が指示されたときは下限値に設定されます。

●内容
有効範囲
　冷暖自動モード時　：１７－２７℃
　暖房モード時　　：１６－２６℃
　冷房モード時　　：１８－３０℃
　ドライモード時　：１８－３０℃
　送風モード時　　：設定温度は使用されません
設定温度単位１．０℃（小数点以下は切捨てられます。）

＊室内ユニットの機種により、設定温度範囲が異なる場合があります。ご注意ください。

[nv4] 温度設定状態通知

network output SNVT_temp_p nvoSetpoint_01;
network output SNVT_temp_p nvoSetpoint_01;
network output SNVT_temp_p nvoSetpoint_02;
network output SNVT_temp_p nvoSetpoint_03;

この出力ネットワーク変数は、設定温度状態が変化したときに出力されます。
空調機用のコントローラーからの操作により状態変化した場合にも出力されます。
ロンワークスインターフェースの電源リセット時にも出力されます。

●内容
有効範囲　　出力範囲　：１６－３０℃
　　温度単位　：１．０℃

＊室内ユニットの機種により、設定温度範囲が異なる場合があります。ご注意ください。

[nv5] 運転モード設定指令

network input SNVT_hvac_mode nviHeatCool_00;
network input SNVT_hvac_mode nviHeatCool_01;
network input SNVT_hvac_mode nviHeatCool_02;
network input SNVT_hvac_mode nviHeatCool_03;

この入力ネットワーク変数は、室内ユニットの運転モードを変更するために使用します。
ロンワークスで空調機の運転モードを制御しないときは、本ネットワーク変数を使用する必要はありません。

●内容　０：冷暖自動　　５：ドライ
　　１：暖房　　９：送風
　　３：冷房

＊室外ユニット、室内ユニットの機種により、設定可能な運転モードが異なります。
＊上記の内容以外の設定は無視します。

[nv6] 運転モード状態通知

network output SNVT_hvac_mode nvoHeatCool_00;
network output SNVT_hvac_mode nvoHeatCool_01;
network output SNVT_hvac_mode nvoHeatCool_02;
network output SNVT_hvac_mode nvoHeatCool_03;

この出力ネットワーク変数は、運転モードが変化したときに出力されます。
空調機用のコントローラーからの操作により状態変化した場合にも出力されます。
ロンワークスインターフェースの電源リセット時にも出力されます。

●内容　０：冷暖自動　　５：ドライ
　　１：暖房　　９：送風
　　３：冷房

[nv 7] オプション１設定指令
[nv 9] オプション２設定指令

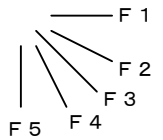
```
network input SNVT_switch nviOption1_00;
network input SNVT_switch nviOption1_01;
network input SNVT_switch nviOption1_02;
network input SNVT_switch nviOption1_03;
network input SNVT_switch nviOption2_00;
network input SNVT_switch nviOption2_01;
network input SNVT_switch nviOption2_02;
network input SNVT_switch nviOption2_03;
```

この入力ネットワーク変数は、室内ユニットのオプション設定をするために使用します。
オプション設定は、手元禁止／風速設定／風向設定／フィルタサインリセットの中から２つ選択できます。
ロンワークスインターフェース基板上のディップスイッチで、オプションを選択してください。
ロンワークスでこれらのオプションを制御しないときは、本ネットワーク変数を使用する必要はありません。

	state	value	発停操作	温度設定	運転ﾓｰﾄﾞ
手元禁止	0	(未使用)	許可	許可	許可
	1	１００	禁止		
		１２０	許可	禁止	
		１４０	禁止		
		１５０	許可	許可	禁止
		１６０	禁止		
		１８０	許可	禁止	
		２００	禁止		
		その他			

		value	
風速設定	(未使用)	１２０	自動
		２００	急風
		１５０	強風
		１００	弱風
		その他	

		value	
風向設定	(未使用)	２００	ｽｲﾝｸﾞ
		１７０	Ｆ１
		１４０	Ｆ２
		１１０	Ｆ３
		８０	Ｆ４
		５０	Ｆ５
		その他	ｽｲﾝｸﾞ



※冷房／ﾄﾞﾗｲ時は、Ｆ４／Ｆ５位置に設定できません。

ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝ	ﾃﾞｰﾀが更新されたとき、ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝﾘｾｯﾄします。

[nv 8] オプション１設定状態通知設定
[nv10] オプション２設定状態通知設定

```
network output SNVT_switch nvoOption1_00;
network output SNVT_switch nvoOption1_01;
network output SNVT_switch nvoOption1_02;
network output SNVT_switch nvoOption1_03;
network output SNVT_switch nvoOption2_00;
network output SNVT_switch nvoOption2_01;
network output SNVT_switch nvoOption2_02;
network output SNVT_switch nvoOption2_03;
```

この出力ネットワーク変数は、室内ユニットのオプション設定状態が変化したときに出力されます。
オプション設定は、手元禁止／風速設定／風向設定／フィルタサインリセットの中から２つ選択できます。
ロンワークスインターフェース基板上のディップスイッチで、オプションを選択してください。
ロンワークスインターフェースの電源リセット時にも出力されます。

	state	value	発停操作	温度設定	運転ﾓｰﾄﾞ
手元禁止	0	0	許可	許可	許可
	1	１００	禁止		
		１２０	許可	禁止	
		１４０	禁止		
		１５０	許可	許可	禁止
		１６０	禁止		
		１８０	許可	禁止	
		２００	禁止		

		value	
風速設定	1	１２０	自動
		２００	急風
		１５０	強風
		１００	弱風

		value	
風向設定	1	２００	ｽｲﾝｸﾞ
		１７０	Ｆ１
		１４０	Ｆ２
		１１０	Ｆ３
		８０	Ｆ４
		５０	Ｆ５

		value	
ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝ	0	0	OFF
	1		ON

[nv11] 警報通知

network output SNVT_switch nvoAlarm_00;
network output SNVT_switch nvoAlarm_01;
network output SNVT_switch nvoAlarm_02;
network output SNVT_switch nvoAlarm_03;

この出力ネットワーク変数は、室内ユニットに警報が発生したとき、室内ユニットの警報が復帰したとき、出力されます。
室内ユニットがグループ制御のとき、１台以上の室内ユニットが警報のとき警報出力します。
ロンワークスインターフェースの電源リセット時にも出力されます。

●内容　state ０：正常　value 常時、０
　　１：警報

[nv12] 警報室内番号通知

network output SNVT_switch nvoAlarmIn_00;
network output SNVT_switch nvoAlarmIn_01;
network output SNVT_switch nvoAlarmIn_02;
network output SNVT_switch nvoAlarmIn_03;

この出力ネットワーク変数は、室内ユニットに警報が発生したとき出力されます。
ロンワークスインターフェースの電源リセット時にも出力されます。

●内容　state 常時、０　value 警報室内番号×２
※警報発生していないときは、value＝０

[nv13] 室温通知

network output SNVT_temp_p nvoSpaceTemp_00;
network output SNVT_temp_p nvoSpaceTemp_01;
network output SNVT_temp_p nvoSpaceTemp_02;
network output SNVT_temp_p nvoSpaceTemp_03;

この出力ネットワーク変数は、室内ユニットで制御に使用している室温が変化したときに出力されます。
ロンワークインタフェースの電源リセット時にも出力されます。
室内ユニットがグループ制御のときは、グループ親機の室温が出力されます。

●内容
有効範囲
　出力範囲　：－３５．０　～　９２．５℃
　温度単位　：０．５℃

＊室内ユニットの機種により、出力温度範囲が異なる場合があります。ご注意ください。

[nv14] 空調機状態通知

network output SNVT_count nvoInState_00;
network output SNVT_count nvoInState_01;
network output SNVT_count nvoInState_02;
network output SNVT_count nvoInState_03;

この出力ネットワーク変数は、空調機状態が変化したとき出力されます。
室内ユニットがグループ制御のとき、１台以上の室内ユニットが警報のときは、警報コードを出力します。
ロンワークスインターフェースの電源リセット時にも出力されます。

０	正常通信中(警報無し)
１～２５５	警報コード表に従います。
３００	室内ユニット未接続（初期通信中）

[nv15] 災害停止

network output SNVT_switch nviAllInOff;

この入力ネットワーク変数は、室内ユニットを緊急停止させるために使用します。
停止させられた室内ユニットは、手元禁止（発停禁止）になります。手元禁止（温度設定／運転モード）は、停止前の状態が保持されます。
緊急停止を解除したとき、手元禁止（発停禁止）は、停止前の状態に戻りますが、ユニットは停止状態です。
この機能を使用しないとき、本ネットワーク変数を使用する必要はありません。

●内容　state ０：解除　value （未使用）
　　１：災害停止

[nc49] 送信間隔設定

network input config SNVT_time_sec nciSndHrtBt;

このネットワークコンフィギュレーションは、自動データ出力の間隔を設定するものです。設定時間が経過すると自動的に出力されます。
対象となるネットワーク変数は、以下の通りです。
nvoOnOff_0?　*nvoSetpoint_0?*　*nvoHeatCool_0?*
nvoOption1_0?　*nvoOption2_0?*　*nvoAlarm_0?*
nvoAlarmIn_0?　*nvoSpaceTemp_0?*　*nvoInState_0?*
●内容
有効範囲は、０．０秒～６５５３．５秒です。０．０秒に設定した場合は、自動データ更新が無効となります。
送信間隔設定時間は、全ネットワーク変数に共通です。
設定時間が経過すると、上記の全ネットワーク変数のデータを出力します。

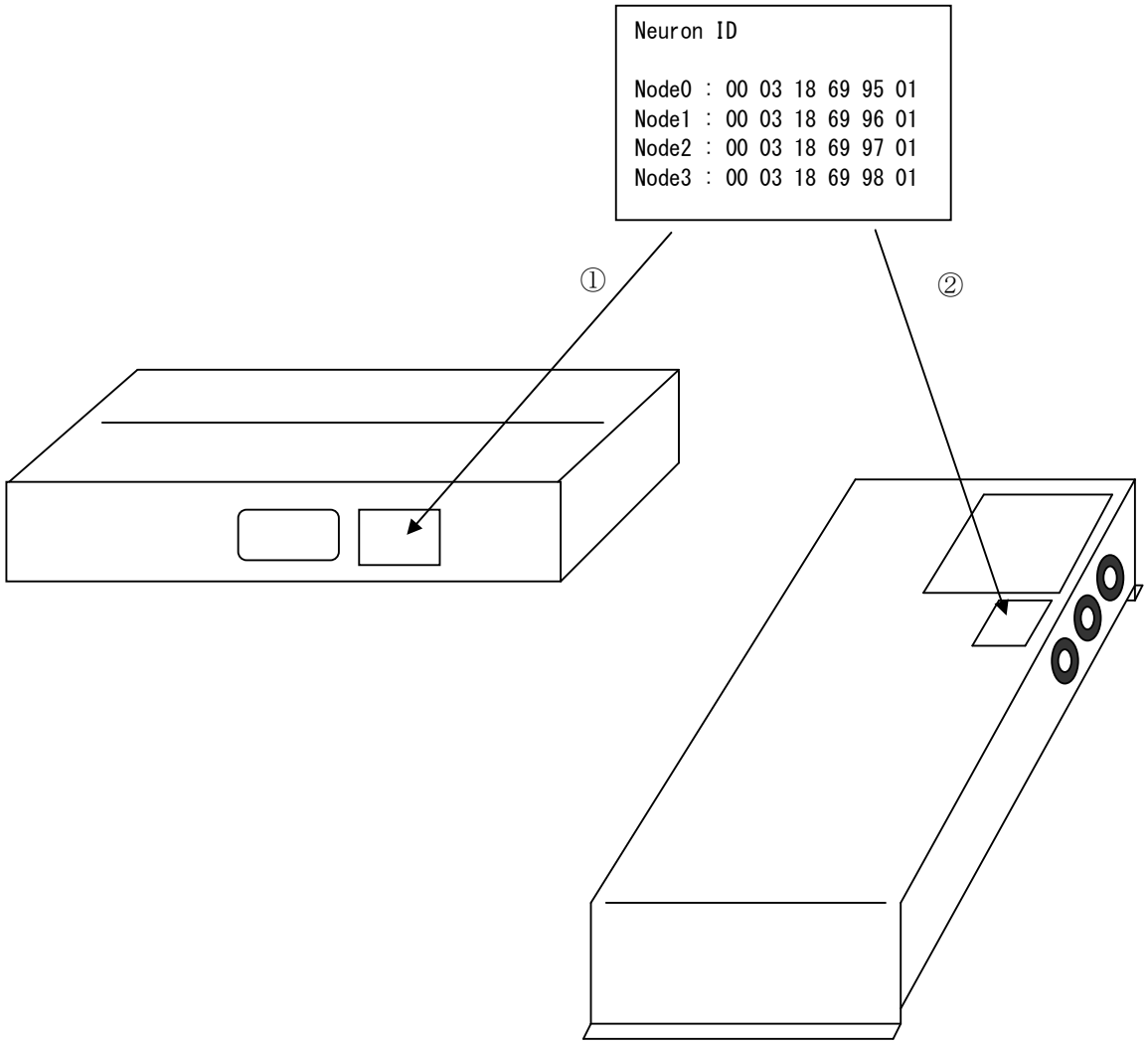
[nc52] 最小送信確保時間設定

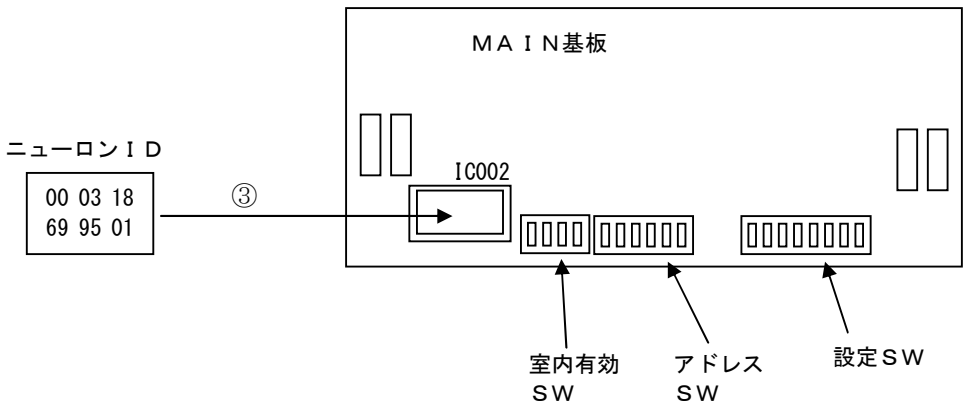
network input config SNVT_time_sec nciMinOutTm;

このネットワークコンフィギュレーションは、出力ネットワーク変数の最小確保間隔を決めるものです。
対象となるネットワーク変数は、以下の通りです。
nvoOnOff_0?　*nvoSetpoint_0?*　*nvoHeatCool_0?*
nvoOption1_0?　*nvoOption2_0?*　*nvoAlarm_0?*
nvoAlarmIn_0?　*nvoSpaceTemp_0?*　*nvoInState_0?*
●内容
有効範囲は、０．０秒～６５５３．５秒です。
最小送信確保時間は、ネットワーク変数毎に独立しているので、他のネットワーク変数との間には有効ではありません。

８．ニューロンＩＤ貼付け位置

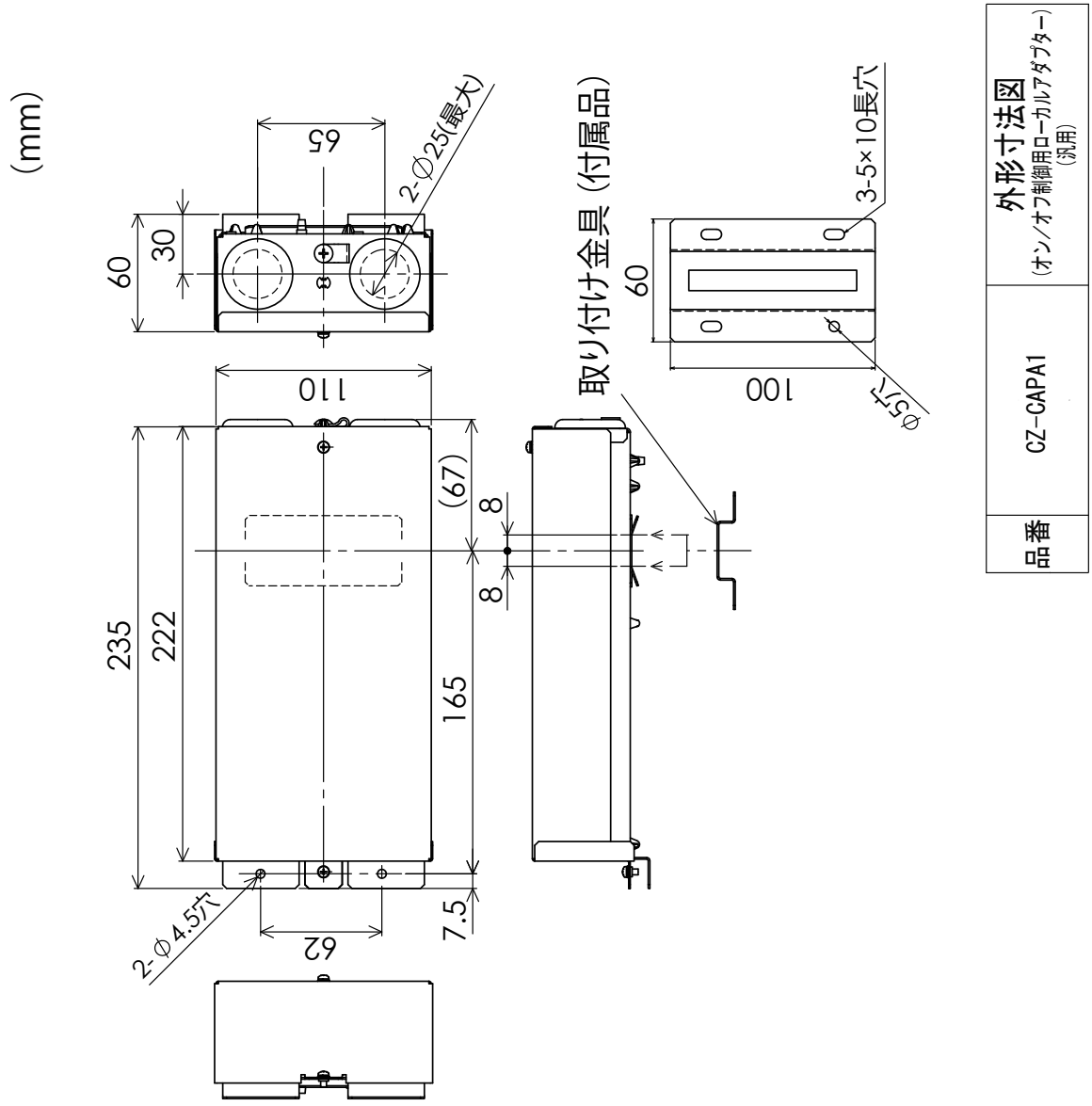
ニューロンＩＤは、以下の３箇所に貼付しています。
①梱包箱
②板金上蓋
③メイン基板ニューロンチップ上





ON/OFF制御用ローカルアダプター / CZ-CAPA1

外形寸法



外形寸法図（オン／オフ制御用ローカルアダプター）（汎用）	
品番	CZ-CAPA1

仕様

品番	CZ-CAPA1
外形寸法	(高さ) 60 mm × (幅) 235 mm (奥行き) 110 mm
質量	750 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20%～80% (屋内設置専用)
定格電圧	単相 AC 100-200V・50/60Hz
消費電力	最大 10 W

Panasonic

据付(電気)工事説明書

オン／オフ制御用ローカルアダプター（汎用）

品番 CZ-CAPA1

●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
また、「据付(電気)工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準　・内線規程
  - 据付(電気)工事説明書
  （感電、火災の原因）
- **漏電しゃ断器(全極開閉機能付)を取り付ける**
（故障や、漏電時に感電、火災の原因）
- **電源は、必ず専用回路を使用する**
（感電、火災の原因）

⏚
- **アース工事(D 種接地工事)を行う**
  - アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない
  - アース線は、ベランダの手すりにとらない
  （感電の原因）

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **配線は途中接続しない**（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**
（発熱、火災の原因）

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、本機やユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（製品の落下による、けがの原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
（製品の落下、感電、火災などの原因）

本体を据え付けるときに

❗
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）
- **電圧確認などテスターを使用する際は十分注意する**
（感電、故障の原因）
- **ぬれた手で操作しない**（感電、故障の原因）
- **停電自動復帰機能を使用中に電源を入れる際は、十分注意する**（感電、挟み込み、巻き込みの原因）

⚠注意

据付(電気)工事をする前に

⃠
- **次のような場所で使わない**
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ（感電、火災などの原因）
  - ドレン配管近くなど、水滴が落ちるような場所に設置しない。

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

本体を据え付けるときに

⃠
- **水洗いしない**（感電の原因）

Printed in Japan
W0217-80823
ACXF60-24724
85464369959014

© Panasonic Corporation 2017-2023

仕様

品番	CZ-CAPA1
外形寸法	(高さ) 60 mm × (幅) 235 mm (奥行き) 110 mm
質量	750 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20% ～ 80% (屋内設置専用)
定格電圧	単相 AC 100-200V・50/60Hz
消費電力	最大 10 W

付属品

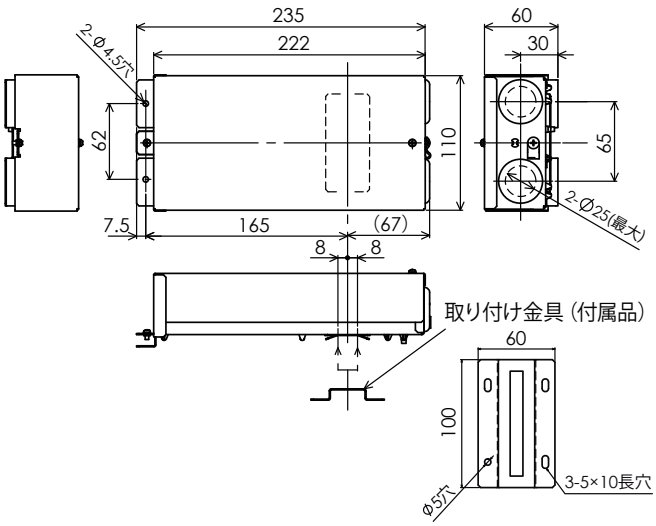
<>: 個数

取付ネジ タッピンネジ 4×10 <6>	取り付け金具 <1>
結束クランパー <4>	停電時自動復帰仕様ラベル <1>
HA対応エアコン用接続線 (2m) <1>	
据付(電気)工事説明書 <1>	

※ ケーブルは現地調達のため、付属していません。

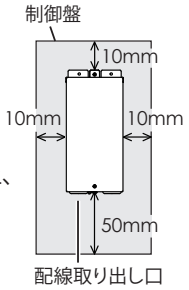
外形寸法図

(mm)



据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 不安定な場所、衝撃や振動のある場所 (落下の原因)
  - 熱源の近くなど
  - 結露するところ
- 床面に対して垂直に据え付ける。
- 設置するときは、配線取り出し口を50mm以上、その他三面を10mm以上空ける。(右図参照)
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1m以上離す。(映像の乱れ、雑音の原因)
- 漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器か手元開閉器 (開閉器+B種ヒューズ) を据え付ける。
- 基板だけを別機器に組み込むような改造はしない。



停電自動復帰機能

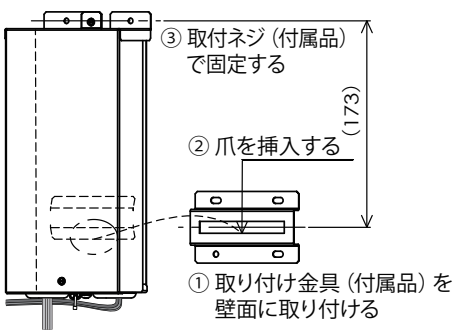
本機には、停電自動復帰機能が搭載されております。
(設定方法は、「5 設定スイッチについて」参照)
この機能は、予期せぬ短時間の停電に際し、停電後自動的に停電前の運転状態に復帰する機能です。
停電自動復帰機能を使用する場合、運転中に機器点検作業などで故意に電源スイッチを切り、その後電源スイッチを入れた場合でも、**自動的に運転が始まり、機器が動き出します**。

※ 機器点検作業時は、安全確保のため必ずブレーカーを切ってください。
※ 本機を引き渡す前に、必ず保守担当の方やお客様に**停電自動復帰機能を使用していること**を説明してください。
また、「停電時自動復帰仕様ラベル」(付属品) を本体の見える所に貼り付けてください。

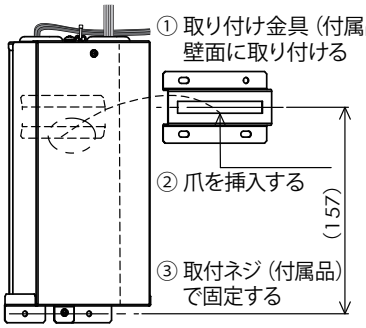
1 取り付ける

- 対象機器の周辺、または制御盤内に設置してください。
- リレー制御機器に接続する場合は、入力・出力用の配線は3m以内で機器に接続してください。
  (接続ケーブルは0.5mm^{2}以上、出力用の配線は機器の容量に合わせて余裕のある接続ケーブルを選んでください。)
- 上下面 (縦向き) だけでなく、左右面 (横向き) より配線取り入れ方向で固定することも可能です。

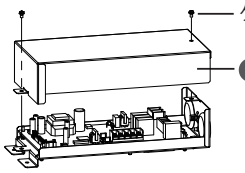
● 下面より配線取入れ方向で固定する場合



● 上面より配線取入れ方向で固定する場合
(制御盤内設置に限る)



2 配線する



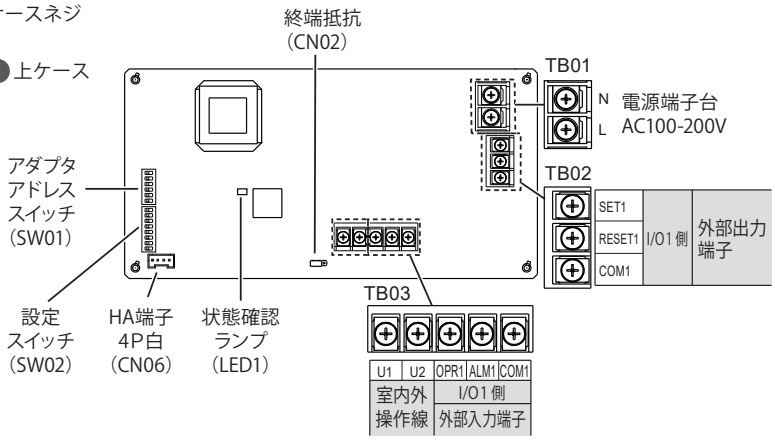
❶ 上ケースをはずす
（ケースネジ：2）

❷ 電源線を接続する

●ケーブルの種類
- 使用基準：600Vビニール電線（現地調達）
- 柔軟性のある 2 mm²のケーブル（推奨）

●電源線は電源端子台に、アース線はアース端子⏚に接続する。
- 電源端子ネジ　：M4
- 締め付けトルク：0.5N・m（推奨値）

●リード線の先端は端子加工してください。



❸ 室内外操作線を接続する

●ケーブルの種類
- 柔軟性のある2芯の0.5 ～ 2 mm²のケーブルを必ず使用してください。
- 推奨品：VCT/VCTF/CPEVS/MVVS
- シース部を含む絶縁物の厚みが1mm以上あるケーブル

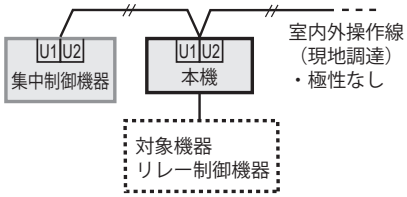
●総配線長：1000 m 以内

●他の室内・室外ユニットの室内外操作線用の端子板にも接続できます。

お願い

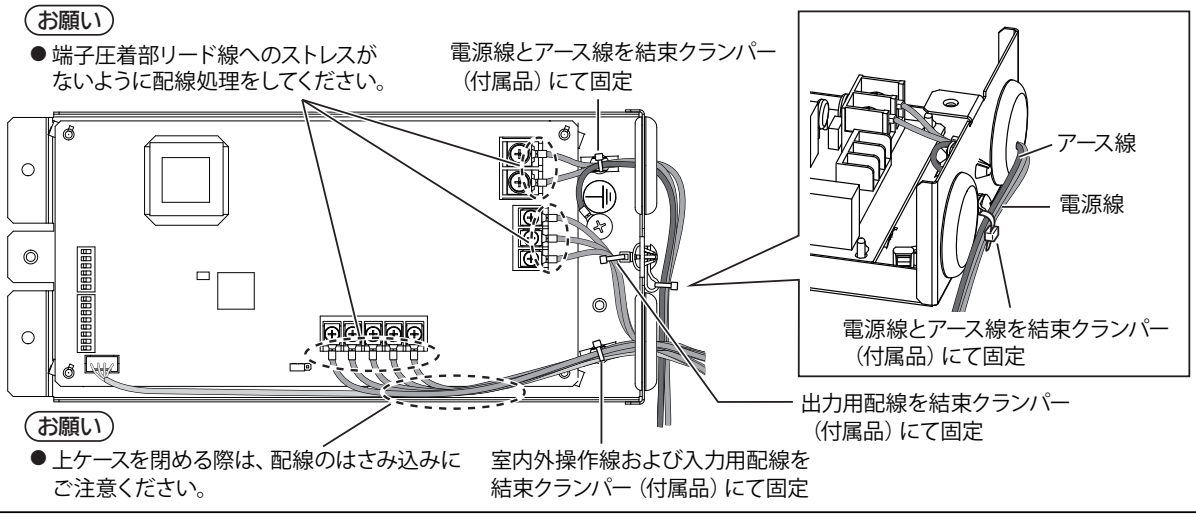
●ノイズの影響を受けるおそれのある場所で使うときは、シールド線（片側アース）を使ってください。

基本配線図



お願い

●端子圧着部リード線へのストレスがないように配線処理をしてください。



お願い

●上ケースを閉める際は、配線のはさみ込みにご注意ください。

3 HA対応エアコンの場合の接続方法

■ JEMA標準HA端子付きエアコンに接続する方法

❶ HA対応エアコン用接続線（付属品）を接続する

●HA対応エアコン用接続線（付属品）を本機の基板上のHA端子（4P白）CN06の端子に接続します。

❷ 室内コントロール基板に接続する

●エアコンのパネルをはずしてください。

●室内コントロール基板上のHA端子（4P白）にHA対応エアコン用接続線（付属品）を接続します。

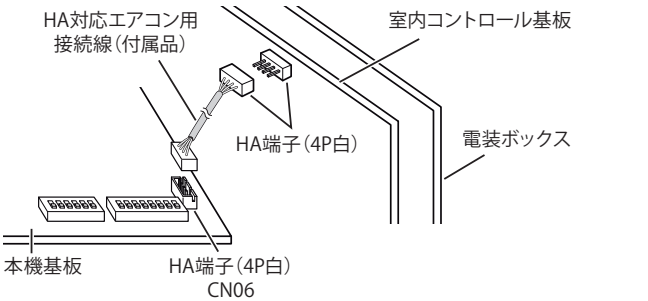
※ エアコンのHA端子への取り付け方法は、各エアコンメーカーにお問い合わせください。

❸ HA制御パルス幅切換を設定する

●設定スイッチSW02-1で、パルス幅を設定してください。

※ 三洋製家庭用エアコンSAP-EX/E/S/W/WSシリーズ（2010年製）を接続する場合は、設定スイッチSW02-1をONにしてください。

※ JEMA標準HA端子とリレー制御機能の併用はできません。



❹ 運転アンサーバックを設定する

●設定スイッチSW02-2をOFF（運転アンサーバック入力を使用）にしてください。

4 リレー制御機器の接続方法

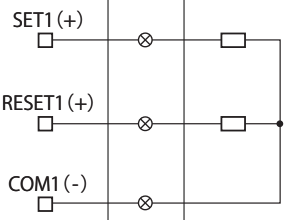
出力端子および入力端子の仕様です。

■ 出力端子について

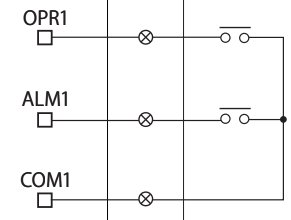
設定スイッチ（SW02）により、制御対象機器に合った出力信号および運転アンサーバックの有無を選択してください。
詳しくは「8 リレー回路例」をご覧ください。

設定スイッチ			SET 端子 /RESET 端子からの出力信号	運転アンサーバックの有無
SW02-1	SW02-2	SW02-4		
OFF	OFF	OFF	SET1 端子　：運転信号（パルス、a 接点）*1 RESET1 端子：停止信号（パルス、a 接点）*1	有
	ON			無
	OFF	ON	SET1 端子：運転 / 停止信号（パルス、a 接点）*1 SET1 端子から運転・停止信号が交互に出力されます RESET1 端子：手元禁止信号 *2	有
ON	OFF	OFF	SET1 端子：運転 / 停止信号 (スタティック) 停止信号：接点 OFF (連続接点) 運転信号：接点 ON（連続接点） RESET1 端子：手元禁止信号 *2	有 (運転 / 停止信号出力が運転アンサーバック入力に連動しません)
	ON			無
	OFF	ON		有 (運転 / 停止信号出力が運転アンサーバック入力に連動します)

*1：パルス幅は約0.5秒です。
*2：集中制御機器側からの信号によって次のように出力します。必要に応じてご使用ください。
個別許可：接点OFF（連続接点）
手元禁止：接点ON（連続接点）

本機側		設備側		
条件	端子名	切分端子	回路側	条件
端子ネジ：M3.5 締め付けトルク：0.5N・m（推奨値） ● 接点容量 ・信号形式：有電圧 a 接点 ・接点許容電圧、電流：DC12V、3W （SET1、RESET1 両方を ON にした場合） ・最小接続負荷：5V、0.1A ● 極性 SET1、RESET1：＋極 COM1：－極 ※極性があるため、十分注意してください。	TB02 SET1 (+) RESET1 (+) COM1 (-)			配線長　：3m 以内 配線太さ：0.5mm² 以上

■ 入力端子について

本機側		設備側		
条件	端子名	切分端子	回路側	条件
制御対象機器より状態モニタ信号をリレー接点で受けます。 端子ネジ：M3 締め付けトルク：0.5N・m（推奨値） OPR：運転信号（接点ON：運転　接点OFF：停止） ALM：警報信号（接点ON：警報あり　接点OFF：警報なし） ● 接点容量 ・信号形式：無電圧 a 接点　スタティック ・接点許容電圧：DC12V±10% ・接点許容電流：Max 10mA	TB03 OPR1 ALM1 COM1			配線長　：3m以内 配線太さ：0.5mm²以上

5 設定スイッチについて（SW02）



※ 出荷時の設定はすべてOFF
※ JEMA標準HA端子とリレー制御機能の併用はできません。

[SW02-1] JEMA標準HA端子をご使用の場合
HA制御パルス幅切換
- ON ：パルス幅0.25秒
- OFF：パルス幅0.5秒

[SW02-1] リレー制御機能をご使用の場合
リレー出力切換
SET/RESETリレー出力の信号形式を切り換えます。
- ON ：スタティック出力
- OFF：パルス出力

[SW02-2] 運転アンサーバック
- ON ：運転アンサーバック入力を不使用
- OFF：運転アンサーバック入力を使用

[SW02-3] 集中制御アドレス設定方法
- ON ：本機のアダプタアドレススイッチ（SW01）で設定
- OFF：集中制御機器から設定

詳細は、「6 アダプタアドレスの設定のしかた」を参照してください。

[SW02-4] 運転アンサーバック連動出力
パルス出力の場合は、「4 リレー制御機器の接続方法」を参照してください。
スタティック出力の場合
- ON ：スタティック出力が、運転アンサーバック入力に連動する
- OFF：スタティック出力は、運転アンサーバック入力に連動しない

※ リモコン付きの全熱交換器式換気扇を制御する場合はONにしてください。

[SW02-5] 停電自動復帰機能
- ON ：停電自動復帰機能を使用
- OFF：停電自動復帰機能を不使用

※ 停電復帰機能を使用する場合は十分注意してください。

[SW02-6] 停止中の警報入力
- ON ：停止中の警報入力を受け付けない
- OFF：停止中の警報入力を受け付ける

[SW02-7] 未使用
[SW02-8] 使用禁止

6 アダプタアドレスの設定のしかた（SW01）

アダプタアドレスは、室内ユニットのユニットNo.に相当します。
本機を複数使用する場合は重複しないように設定してください。



※ 出荷時の設定はすべてOFF

■ 集中制御アドレスを集中制御機器から設定する場合

（設定スイッチSW02-3をOFFにしてください。）

室内外操作線に直接接続される室内ユニットと本機が混在している状態で集中制御機器から集中制御アドレスを設定、変更する場合に適しています。

- 本機のアダプタアドレスを、1番から順に設定してください。
  ※ 本機は、系統アドレス31として登録されます。
  例） アダプタアドレスが1番のとき、本機のユニットNo.は31-1になります。
  本機の集中制御アドレスは集中制御機器から自由に設定できます。

■ 集中制御アドレスをアダプタアドレススイッチで設定する場合

（設定スイッチSW02-3をONにしてください。）

- 本機のアダプタアドレスが、集中制御アドレスになります。
  集中制御機器から集中制御アドレスの変更はできません。
  お客様の要望に合わせて、アダプタアドレスを設定してください。
  ※ 本機は、系統31として登録され、
  アダプタアドレスと集中制御アドレスは同じになります。
  例） アダプタアドレスが5番のときは、本機のユニットNo.は31-5、集中制御アドレスは5番になります。
- 室内ユニットの集中制御アドレスと重複しないように、設定してください。

アダプタアドレス	アドレススイッチ No.	アダプタアドレス	アドレススイッチ No.	アダプタアドレス	アドレススイッチ No.	アダプタアドレス	アドレススイッチ No.
I/O1側のみ	1 2 3 4 5 6	I/O1側のみ	1 2 3 4 5 6	I/O1側のみ	1 2 3 4 5 6	I/O1側のみ	1 2 3 4 5 6
1	－ － － － － －	17	－ － － － ● －	33	－ － － － － ●	49	－ － － － ● ●
2	● － － － － －	18	● － － － ● －	34	● － － － － ●	50	● － － － ● ●
3	－ ● － － － －	19	－ ● － － ● －	35	－ ● － － － ●	51	－ ● － － ● ●
4	● ● － － － －	20	● ● － － ● －	36	● ● － － － ●	52	● ● － － ● ●
5	－ － ● － － －	21	－ － ● － ● －	37	－ － ● － － ●	53	－ － ● － ● ●
6	● － ● － － －	22	● － ● － ● －	38	● － ● － － ●	54	● － ● － ● ●
7	－ ● ● － － －	23	－ ● ● － ● －	39	－ ● ● － － ●	55	－ ● ● － ● ●
8	● ● ● － － －	24	● ● ● － ● －	40	● ● ● － － ●	56	● ● ● － ● ●
9	－ － － ● － －	25	－ － － ● ● －	41	－ － － ● － ●	57	－ － － ● ● ●
10	● － － ● － －	26	● － － ● ● －	42	● － － ● － ●	58	● － － ● ● ●
11	－ ● － ● － －	27	－ ● － ● ● －	43	－ ● － ● － ●	59	－ ● － ● ● ●
12	● ● － ● － －	28	● ● － ● ● －	44	● ● － ● － ●	60	● ● － ● ● ●
13	－ － ● ● － －	29	－ － ● ● ● －	45	－ － ● ● － ●	61	－ － ● ● ● ●
14	● － ● ● － －	30	● － ● ● ● －	46	● － ● ● － ●	62	● － ● ● ● ●
15	－ ● ● ● － －	31	－ ● ● ● ● －	47	－ ● ● ● － ●	63	－ ● ● ● ● ●
16	● ● ● ● － －	32	● ● ● ● ● －	48	● ● ● ● － ●	64	● ● ● ● ● ●

※ I/O1側の位置は「2 配線する」の端子台の図を参照してください。

－ ：スイッチOFF　● ：スイッチON

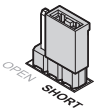
7 終端抵抗（プラグ）

● 本機のみで構成される場合、本機1台の場合は、1か所、複数台の場合は2か所を「終端抵抗あり」に設定してください。（3か所以上は禁止）

CN02が「OPEN側」 … 終端抵抗が接続されません。（出荷設定）
CN02が「SHORT側」… 終端抵抗が接続されます。



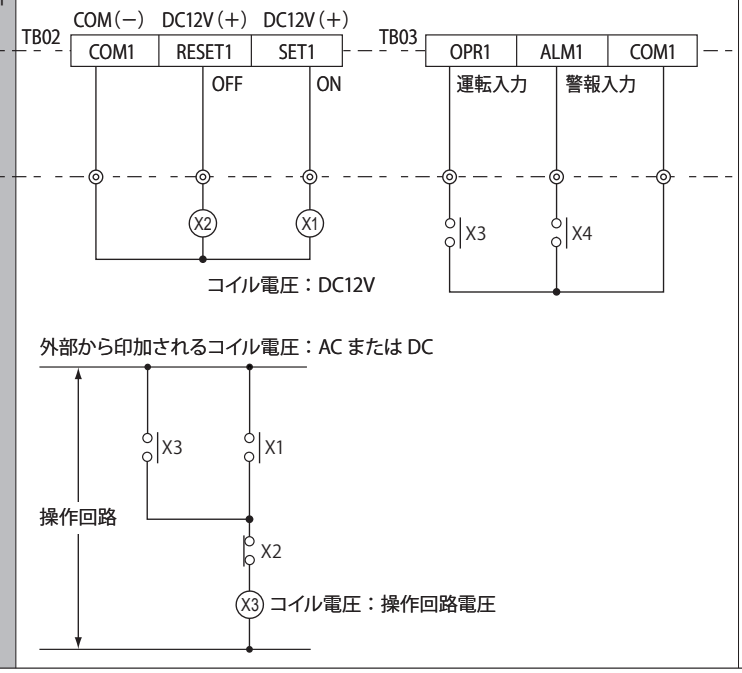
終端抵抗なし（OPEN）

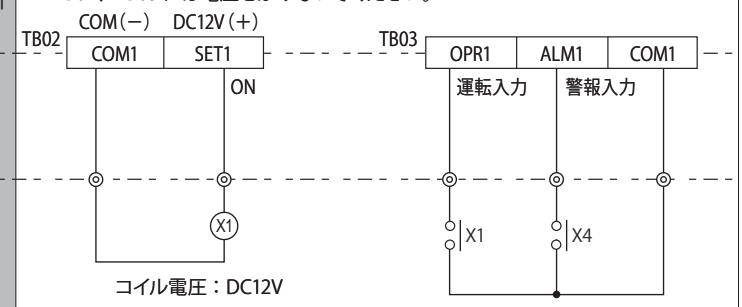


終端抵抗あり（SHORT）

8 リレー回路例

これは接続回路の一例です。

	パルス接点出力の場合	特 記 事 項
CZ-CAPA1 内部回路 外部配線 外部機器	※ TB02、TB03 には電圧をかけないでください。  	1）X1、X2、X3、X4 は補助継電器 2）スイッチ SW02-1 を OFF スイッチ SW02-4 を OFF 3）対象機器からの運転アンサーバックを使用しないとき、 スイッチ SW02-2 を ON。 4）運転アンサーバック入力を使用しないとき、 OPR1、ALM1 は未接続 （使用する入力のみ接続） ※ 出力電源は本機より DC12V を供給します。

	スタティック接点出力の場合	特 記 事 項
CZ-CAPA1 内部回路 外部配線 外部機器	※ TB02、TB03 には電圧をかけないでください。  	1）X1、X4 は補助継電器 2）スイッチ SW02-1 をON 3）OFF 出力を集中／個別の切換に利用可能 （集中制御機器で「集中」のとき ON、 「個別許可」のとき OFF） 4）対象機器からの運転アンサーバックを使用しないとき、 スイッチ SW02-2 を ON。 5）運転アンサーバック入力を使用しないとき、 OPR1、ALM1 は未接続。 （使用する入力のみ接続） ※ 出力電源は本機より DC12V を供給します。

9 運転・警報表示について

● 基板上の状態確認ランプ（LED1）より運転状態を確認することができます。

点灯パターン		内 容
点灯（赤）		正常運転
点滅（赤）	等間隔点滅　※1	警報発生
	不等間隔点滅　※2	システム停止中

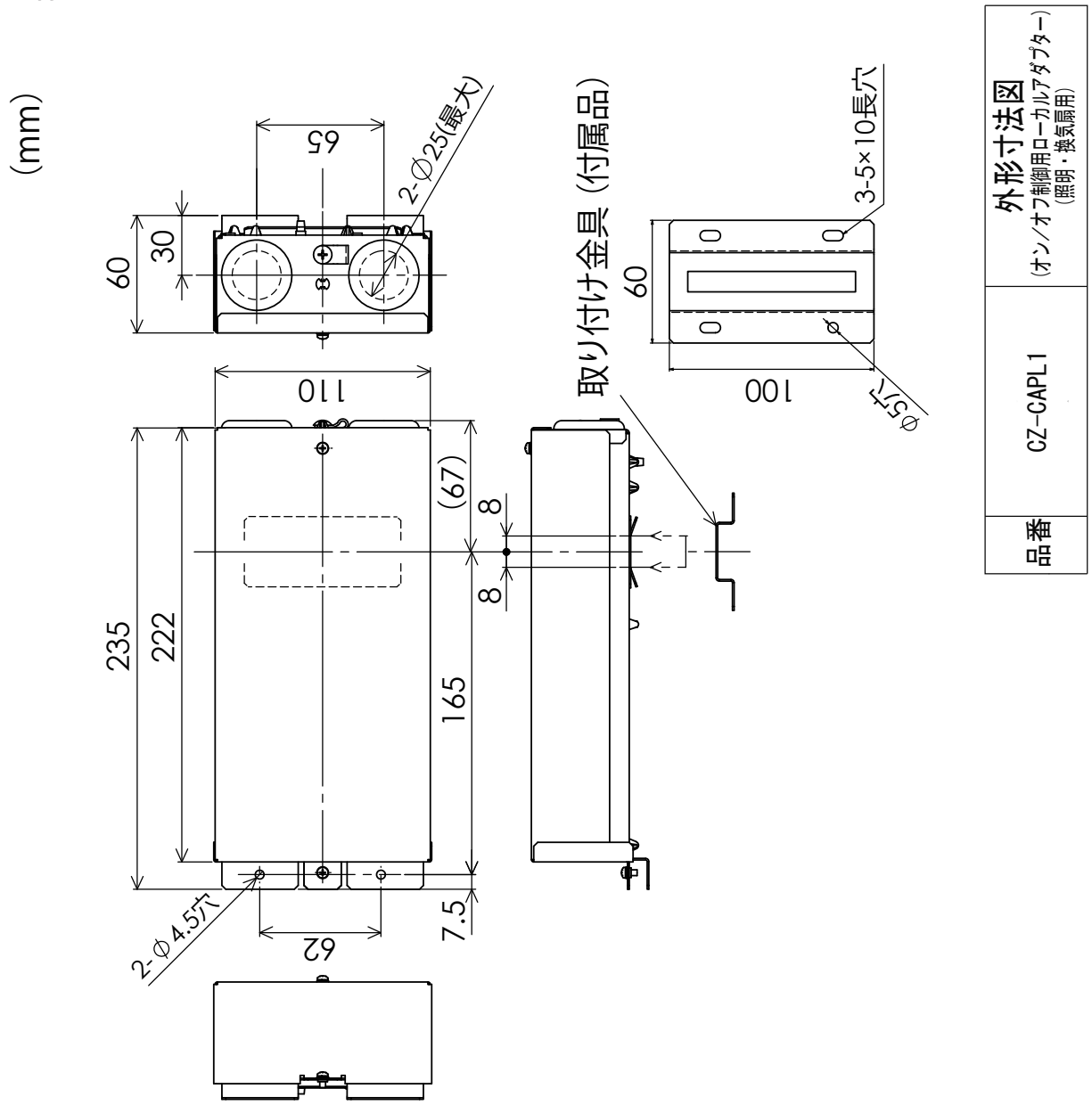
※1：0.5秒毎に点灯/消灯が切り換わる点滅
※2：2回点灯後、2秒消灯を繰り返す点滅

警報発生時は集中制御機器に以下の警報が表示されます。
C12：本機に接続している機器から警報入力があります。
本機に接続している機器の警報状態をご確認ください。
C19：アダプタアドレスが重複しています。
アダプタアドレスが重複しないようにアドレススイッチを設定してください。

ACXF60-24724

ON/OFF制御用ローカルアダプター / CZ-CAPL1

外形寸法



外形寸法図（オン／オフ制御用ローカルアダプター）（照明・換気扇用）	
品番	CZ-CAPL1

仕様

品番	CZ-CAPL1
外形寸法	(高さ) 60 mm × (幅) 235 mm (奥行き) 110 mm
質量	750 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20% ～ 80% (屋内設置専用)
定格電圧	単相 AC 100-200V・50/60Hz
消費電力	最大3.0 W

Panasonic

据付(電気)工事説明書

オン／オフ制御用ローカルアダプター（照明・換気扇用）

品番 CZ-CAPL1

●「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
また、「据付(電気)工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

❗ ● **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
● **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
・電気設備に関する技術基準　・内線規程
・据付(電気)工事説明書
（感電、火災の原因）
● **漏電しゃ断器(全極開閉機能付)を取り付ける**
（故障や、漏電時に感電、火災の原因）
● **電源は、必ず専用回路を使用する**
（感電、火災の原因）
⏚ ● **アース工事(D 種接地工事)を行う**
・アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない
・アース線は、ベランダの手すりにとらない
（感電の原因）

本体を据え付けるときに

⃠ ● **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
● **配線は途中接続しない**（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
● **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**
（発熱、火災の原因）
❗ ● **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
● **電気工事は、本機やユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
● **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（製品の落下による、けがの原因）
● **付属品は当社指定の部品を使用する**
（製品の落下、感電、火災などの原因）
● **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）

本体を据え付けるときに

❗ ● **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）
● **電圧確認などテスターを使用する際は十分注意する**
（感電、故障の原因）
● **ぬれた手で操作しない**（感電、故障の原因）

制御対象機器を運転・停止するときに

❗ ● **照明や電動機の接続、点検作業時は必ず電源を切り、周囲に人がいないか十分に確認する**
（感電、挟み込み、巻き込みの原因）
● **停電自動復帰機能を使用中に電源を入れる際は、十分注意する**（感電、挟み込み、巻き込みの原因）

⚠注意

据付(電気)工事をする前に

⃠ ● **次のような場所で使わない**
・結露するところ
・可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
・水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
・有機溶剤の飛沫するところ
・電磁波が出る機械のあるところ
・電圧変動の多いところ（感電、火災などの原因）
・ドレン配管近くなど、水滴が落ちるような場所に設置しない。
❗ ● **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

本体を据え付けるときに

⃠ ● **水洗いしない**（感電の原因）

Printed in Japan
W0217-60823
ACXF60-24714
85464369957012

仕様

品番	CZ-CAPL1
外形寸法	(高さ) 60 mm × (幅) 235 mm (奥行き) 110 mm
質量	750 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20% ～ 80% (屋内設置専用)
定格電圧	単相 AC 100-200V・50/60Hz
消費電力	最大 3.0 W

付属品

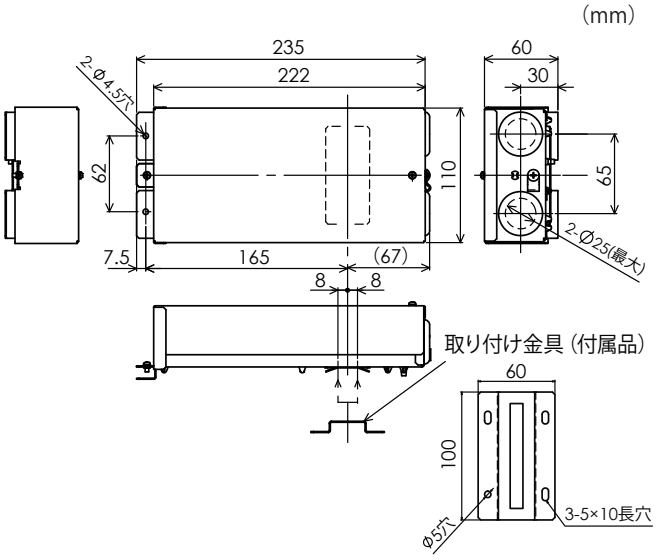
<>: 個数

取付ネジ タッピンネジ 4×10 <6>	取り付け金具 <1>
結束クランパー <4>	停電時自動復帰仕様ラベル <1>
据付(電気)工事説明書 <1>	

※ ケーブルは現地調達のため、付属していません。

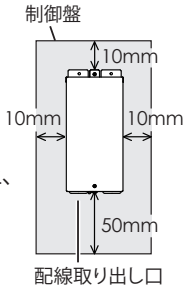
外形寸法図

(mm)



据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 不安定な場所、衝撃や振動のある場所（落下の原因）
  - 熱源の近くなど
  - 結露するところ
- 床面に対して垂直に据え付ける。
- 設置するときは、配線取り出し口を50mm以上、その他三面を10mm以上空ける。(右図参照)
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1m以上離す。(映像の乱れ、雑音の原因)
- 漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器か手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)を据え付ける。
- 基板だけを別機器に組み込むような改造はしない。



停電自動復帰機能

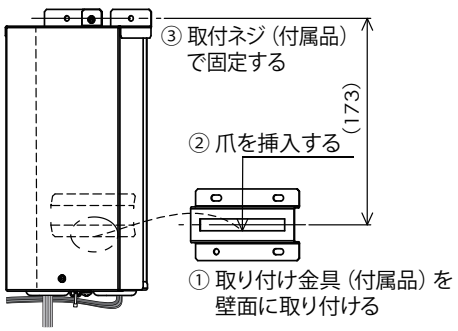
本機には、停電自動復帰機能が搭載されております。
(設定方法は、「4 設定スイッチについて」参照)
この機能は、予期せぬ短時間の停電に際し、停電後自動的に停電前の運転状態に復帰する機能です。
停電自動復帰機能を使用する場合、運転中に機器点検作業などで故意に電源スイッチを切り、その後電源スイッチを入れた場合でも、**自動的に運転が始まり、機器が動き出します。**

※ 機器点検作業時は、安全確保のため必ずブレーカーを切ってください。
※ 本機を引き渡す前に、必ず保守担当の方やお客様に**停電自動復帰機能を使用していること**を説明してください。
また、「停電時自動復帰仕様ラベル」(付属品)を本体の見える所に貼り付けてください。

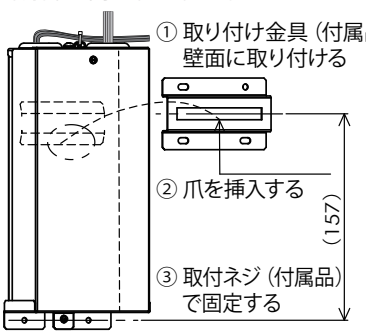
1 取り付ける

- 対象機器の周辺、または制御盤内に設置してください。
- リレー制御機器に接続する場合は、入力・出力用の配線は3m以内で機器に接続してください。
  (接続ケーブルは0.5mm^{2}以上、出力用の配線は機器の容量に合わせて余裕のある接続ケーブルを選んでください。)
- 上下面(縦向き)だけでなく、左右面(横向き)より配線取り入れ方向で固定することも可能です。

● 下面より配線取入れ方向で固定する場合

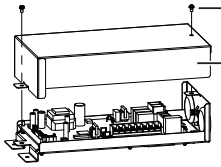


● 上面より配線取入れ方向で固定する場合
(制御盤内設置に限る)



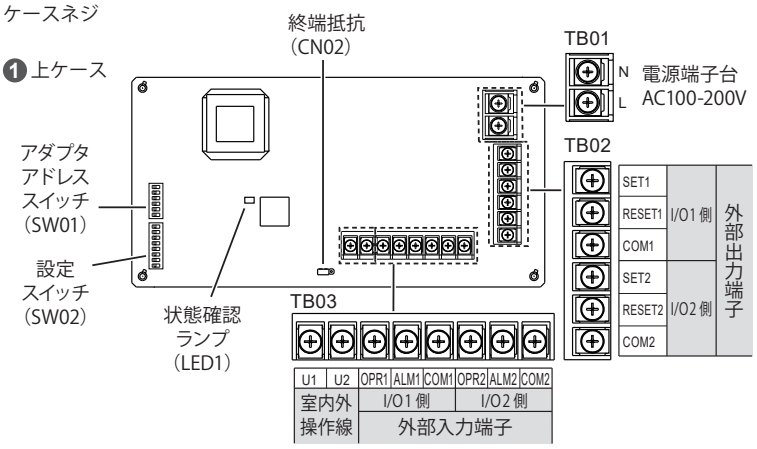
2 配線する

❶ 上ケースをはずす
（ケースネジ：2）



❷ 電源線を接続する

- ケーブルの種類
  - ・使用基準：600Vビニール電線（現地調達）
  - ・柔軟性のある 2 mm²のケーブル（推奨）
- 電源線は電源端子台に、アース線はアース端子⏚に接続する。
  - ・電源端子ネジ　：M4
  - ・締め付けトルク：0.5N・m（推奨値）
- リード線の先端は端子加工してください。



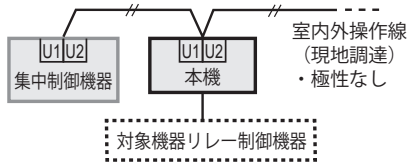
❸ 室内外操作線を接続する

- ケーブルの種類
  - ・柔軟性のある2芯の0.5 ～ 2 mm²のケーブルを必ず使用してください。
  - ・推奨品：VCT/VCTF/CPEVS/MVVS
  - ・シース部を含む絶縁物の厚みが1mm以上あるケーブル
- 総配線長：1000 m 以内
- 他の室内・室外ユニットの室内外操作線用の端子板にも接続できます。

お願い

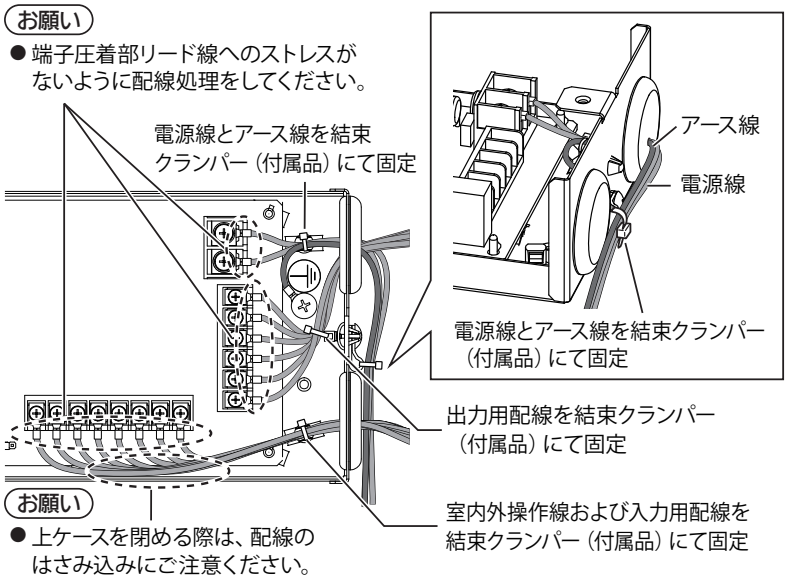
- ノイズの影響を受けるおそれのある場所で使うときは、シールド線（片側アース）を使ってください。

基本配線図



お願い

- 端子圧着部リード線へのストレスがないように配線処理をしてください。



お願い

- 上ケースを閉める際は、配線のはさみ込みにご注意ください。

3 リレー制御機器の接続方法

出力端子および入力端子の仕様です。リレー制御機器を 2 台まで接続可能です。
※1 台のみの接続の場合は、SW02-7をONにしてください。

■ 出力端子について

設定スイッチ（SW02）により、制御対象機器に合った出力信号および運転アンサーバックの有無を選択してください。
詳しくは「8 リレー回路例」をご覧ください。

設定スイッチ			SET 端子 /RESET 端子からの出力信号	運転アンサーバックの有無
SW02-1	SW02-2	SW02-4		
OFF	OFF	OFF	SET1、2 端子　：運転信号（パルス、a 接点）*1 RESET1、2 端子：停止信号（パルス、a 接点）*1	有
	ON			無
	OFF	ON	SET1、2 端子：運転 / 停止信号（パルス、a 接点）*1 SET1、2 端子から運転・停止信号が交互に出力されます RESET1、2 端子：手元禁止信号 *2	有
ON	OFF	OFF	SET1、2 端子：運転 / 停止信号（スタティック） 停止信号：接点 OFF（連続接点） 運転信号：接点 ON（連続接点） RESET1、2 端子：手元禁止信号 *2	有 （運転 / 停止信号出力が運転アンサーバック入力に連動しません）
	ON			無
	OFF	ON		有 （運転 / 停止信号出力が運転アンサーバック入力に連動します）

*1：パルス幅は約0.5秒です。
*2：集中制御機器側からの信号によって次のように出力します。必要に応じてご使用ください。
個別許可：接点OFF（連続接点）
手元禁止：接点ON（連続接点）

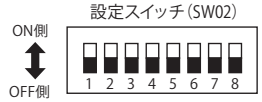
3 リレー制御機器の接続方法（つづき）

本機側		設備側		
条件	端子名	切分端子	回路側	条件
端子ネジ：M3.5 締め付けトルク：0.5N・m（推奨値） ●接点容量 ・信号形式：無電圧 a 接点 ・接点許容電圧、電流：AC200V、0.5A ・最小接続負荷：5V、0.1A	TB02 SET1 RESET1 COM1 SET2 RESET2 COM2		AC200V COM AC200V COM	配線長　：3m 以内 配線太さ：0.5mm² 以上

■ 入力端子について

本機側		設備側		
条件	端子名	切分端子	回路側	条件
制御対象機器より状態モニタ信号をリレー接点で受けます。 出力端子ネジ　：M3 締め付けトルク：0.5N・m（推奨値） OPR：運転信号（接点ON：運転　接点OFF：停止） ALM：警報信号（接点ON：警報あり　接点OFF：警報なし） ●接点容量 ・信号形式：無電圧 a 接点　スタティック ・接点許容電圧：DC12V±10% ・接点許容電流：Max 10mA	TB03 OPR1 ALM1 COM1 OPR2 ALM2 COM2			配線長　：3m以内 配線太さ：0.5mm²以上

4 設定スイッチについて（SW02）



※ 出荷時の設定はすべてOFF

[SW02-1] リレー出力形式

SET/RESETリレー出力の信号形式を切り換えます。
- ON ：スタティック出力
- OFF：パルス出力

[SW02-2] 運転アンサーバック
- ON ：運転アンサーバック入力を不使用
- OFF：運転アンサーバック入力を使用

※ 加湿器等を制御する場合など、運転アンサーバックを使用しない場合は、ONに設定してください。

[SW02-3] 集中制御アドレス設定方法
- ON ：本機のアダプタアドレススイッチ（SW01）で設定
- OFF：集中制御機器から設定

詳細は、「5 アダプタアドレスの設定のしかた」を参照してください。

[SW02-4] 運転アンサーバック連動出力

パルス出力の場合は、「3 リレー制御機器の接続方法」を参照してください。
スタティック出力の場合
- ON ：スタティック出力が、運転アンサーバック入力に連動する
- OFF：スタティック出力は、運転アンサーバック入力に連動しない

※ リモコン付きの全熱交換器式換気扇を制御する場合はONにしてください。

[SW02-5] 停電自動復帰機能
- ON ：停電自動復帰機能を使用
- OFF：停電自動復帰機能を不使用

※ 停電復帰機能を使用する場合は十分注意してください。

[SW02-6] 停止中の警報入力
- ON ：停止中の警報入力を受け付けない
- OFF：停止中の警報入力を受け付ける

[SW02-7] リレー制御機器接続台数
- ON ：1台接続
- OFF：2台接続

[SW02-8] 使用禁止

5 アダプタアドレスの設定のしかた（SW01）

アダプタアドレスは、室内ユニットのユニットNo.に相当します。
本機を複数使用する場合は重複しないように設定してください。

■ 集中制御アドレスを集中制御機器から設定する場合

（設定スイッチSW02-3をOFFにしてください。）

室内外操作線に直接接続される室内ユニットと本機が混在している状態で集中制御機器から集中制御アドレスを設定、変更する場合に適しています。

- 本機のアダプタアドレスを、1番から順に設定してください。

※ 本機は、系統アドレス31として登録されます。

例）アダプタアドレスが1番のとき、本機のユニットNo.は31-1になります。
本機の集中制御アドレスは集中制御機器から自由に設定できます。

5 アダプタアドレスの設定のしかた（SW01）　（つづき）

■ 集中制御アドレスをアダプタアドレススイッチで設定する場合

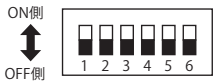
（設定スイッチSW02-3をONにしてください。）

● 本機のアダプタアドレスが、集中制御アドレスになります。
集中制御機器から集中制御アドレスの変更はできません。
お客様の要望に合わせて、アダプタアドレスを設定してください。

※ 本機は、系統31として登録され、
アダプタアドレスと集中制御アドレスは同じになります。

例） アダプタアドレスが5番のときは、本機のユニットNo.は31-5、
集中制御アドレスは5番になります。

アダプタアドレススイッチ（SW01）



※ 出荷時の設定はすべてOFF

● 室内ユニットの集中制御アドレスと重複しないように、設定してください。
● 負荷の接続台数によってアダプタアドレス設定方法が違います。
下記の表を参照してください。
（負荷接続台数はSW02-7で設定します）

（1） 2台接続の場合

アダプタアドレス		アドレススイッチ No.						アダプタアドレス		アドレススイッチ No.						アダプタアドレス		アドレススイッチ No.						アダプタアドレス		アドレススイッチ No.					
I/O1側	I/O2側	1	2	3	4	5	6	I/O1側	I/O2側	1	2	3	4	5	6	I/O1側	I/O2側	1	2	3	4	5	6	I/O1側	I/O2側	1	2	3	4	5	6
1	2	*	−	−	−	−	−	17	18	*	−	−	−	●	−	33	34	*	−	−	−	−	●	49	50	*	−	−	−	●	●
3	4	*	●	−	−	−	−	19	20	*	●	−	−	●	−	35	36	*	●	−	−	−	●	51	52	*	●	−	−	●	●
5	6	*	−	●	−	−	−	21	22	*	−	●	−	●	−	37	38	*	−	●	−	−	●	53	54	*	−	●	−	●	●
7	8	*	●	●	−	−	−	23	24	*	●	●	−	●	−	39	40	*	●	●	−	−	●	55	56	*	●	●	−	●	●
9	10	*	−	−	●	−	−	25	26	*	−	−	●	●	−	41	42	*	−	−	●	−	●	57	58	*	−	−	●	●	●
11	12	*	●	−	●	−	−	27	28	*	●	−	●	●	−	43	44	*	●	−	●	−	●	59	60	*	●	−	●	●	●
13	14	*	−	●	●	−	−	29	30	*	−	●	●	●	−	45	46	*	−	●	●	−	●	61	62	*	−	●	●	●	●
15	16	*	●	●	●	−	−	31	32	*	●	●	●	●	−	47	48	*	●	●	●	−	●	63	64	*	●	●	●	●	●

＊：未使用(don't care)　−：スイッチOFF　●：スイッチON

（2） 1台接続の場合

アダプタアドレス	アドレススイッチ No.						アダプタアドレス	アドレススイッチ No.						アダプタアドレス	アドレススイッチ No.						アダプタアドレス	アドレススイッチ No.					
I/O1側のみ	1	2	3	4	5	6	I/O1側のみ	1	2	3	4	5	6	I/O1側のみ	1	2	3	4	5	6	I/O1側のみ	1	2	3	4	5	6
1	−	−	−	−	−	−	17	−	−	−	−	●	−	33	−	−	−	−	●	49	−	−	−	−	●	●
2	●	−	−	−	−	−	18	●	−	−	−	●	−	34	●	−	−	−	●	50	●	−	−	−	●	●
3	−	●	−	−	−	−	19	−	●	−	−	●	−	35	−	●	−	−	●	51	−	●	−	−	●	●
4	●	●	−	−	−	−	20	●	●	−	−	●	−	36	●	●	−	−	●	52	●	●	−	−	●	●
5	−	−	●	−	−	−	21	−	−	●	−	●	−	37	−	−	●	−	●	53	−	−	●	−	●	●
6	●	−	●	−	−	−	22	●	−	●	−	●	−	38	●	−	●	−	●	54	●	−	●	−	●	●
7	−	●	●	−	−	−	23	−	●	●	−	●	−	39	−	●	●	−	●	55	−	●	●	−	●	●
8	●	●	●	−	−	−	24	●	●	●	−	●	−	40	●	●	●	−	●	56	●	●	●	−	●	●
9	−	−	−	●	−	−	25	−	−	−	●	●	−	41	−	−	−	●	−	57	−	−	−	●	●	●
10	●	−	−	●	−	−	26	●	−	−	●	●	−	42	●	−	−	●	−	58	●	−	−	●	●	●
11	−	●	−	●	−	−	27	−	●	−	●	●	−	43	−	●	−	●	−	59	−	●	−	●	●	●
12	●	●	−	●	−	−	28	●	●	−	●	●	−	44	●	●	−	●	−	60	●	●	−	●	●	●
13	−	−	●	●	−	−	29	−	−	●	●	●	−	45	−	−	●	●	−	61	−	−	●	●	●	●
14	●	−	●	●	−	−	30	●	−	●	●	●	−	46	●	−	●	●	−	62	●	−	●	●	●	●
15	−	●	●	●	−	−	31	−	●	●	●	●	−	47	−	●	●	●	−	63	−	●	●	●	●	●
16	●	●	●	●	−	−	32	●	●	●	●	●	−	48	●	●	●	●	−	64	●	●	●	●	●	●

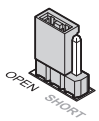
※ I/O1側とI/O2側の位置は「2 配線する」の端子台の図を参照してください。

−：スイッチOFF　●：スイッチON

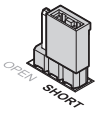
6 終端抵抗（プラグ）

● 本機のみで構成される場合、本機1台の場合は、1か所、複数台の場合は2か所を
「終端抵抗あり」に設定してください。（3か所以上は禁止）

CN02が「OPEN側」 … 終端抵抗が接続されません。（出荷設定）
CN02が「SHORT側」… 終端抵抗が接続されます。



終端抵抗なし
（OPEN）



終端抵抗あり
（SHORT）

7 運転・警報表示について

● 基板上の状態確認ランプ（LED1）より運転状態を確認することができます。

点灯パターン		内 容
点灯（赤）		正常運転
点滅（赤）	等間隔点滅　※1	警報発生
	不等間隔点滅　※2	システム停止中

※1：0.5秒毎に点灯/消灯が切り換わる点滅
※2： 2回点灯後、2秒消灯を繰り返す点滅

警報発生時は集中制御機器に以下の警報が表示されます。

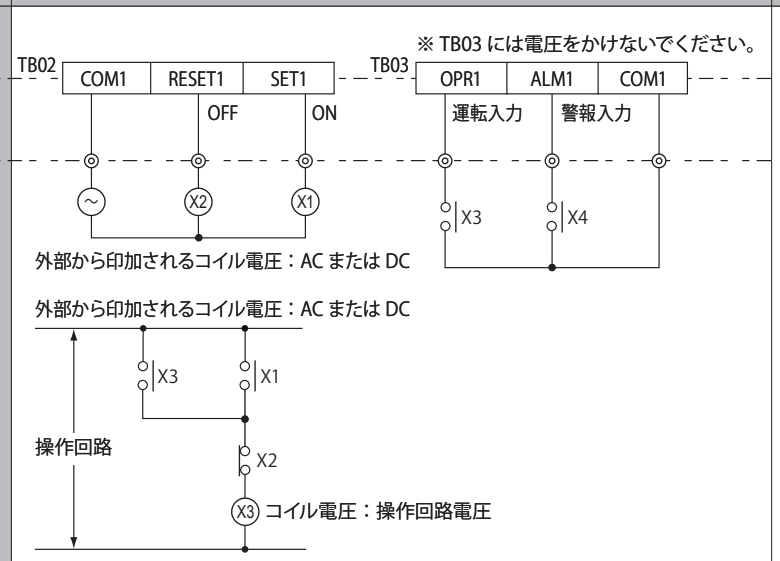
C12：本機に接続している機器から警報入力があります。
本機に接続している機器の警報状態をご確認ください。

C19：アダプタアドレスが重複しています。
アダプタアドレスが重複しないようにアドレススイッチを設定してください。
設定スイッチSW2-7がOFF(2台接続)の場合、本機1台につき
2つのアダプタアドレスを使用するため、2つのアダプタアドレスが
両方とも重複しないようにアドレススイッチを設定してください。

8 リレー回路例

これは接続回路の一例です。

パルス接点出力の場合

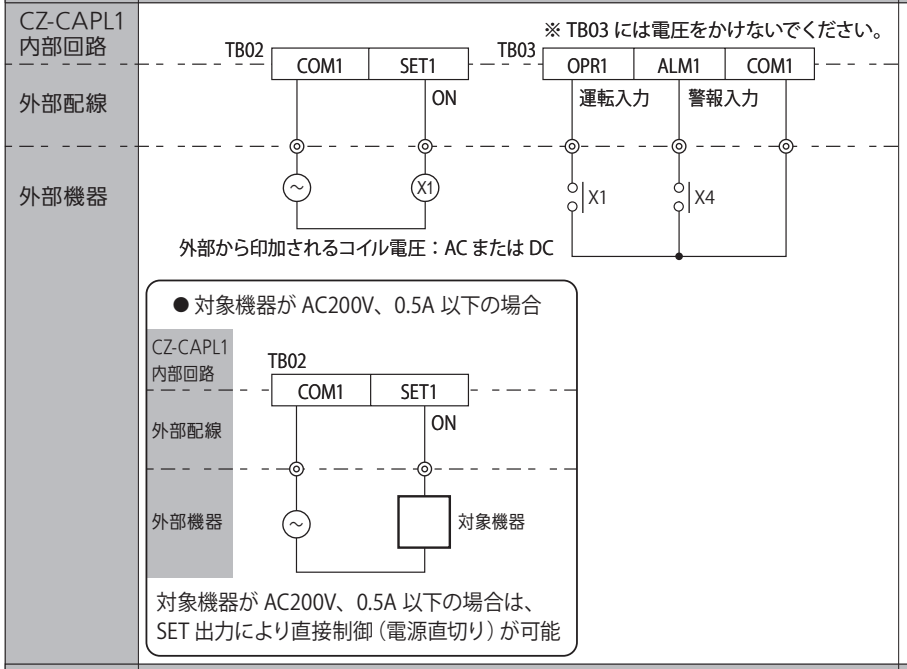


特 記 事 項

1）X1、X2、X3、X4 は補助継電器
2）スイッチ SW02-1 を OFF
　スイッチ SW02-4 を OFF
3）対象機器からの運転アンサーバックを
　使用しないとき、
　スイッチ SW02-2 を ON。
4）運転アンサーバック入力を使用しないとき、
　OPR1、ALM1 は未接続。
　（使用する入力のみ接続）

※ 1 台接続の場合

スタティック接点出力の場合

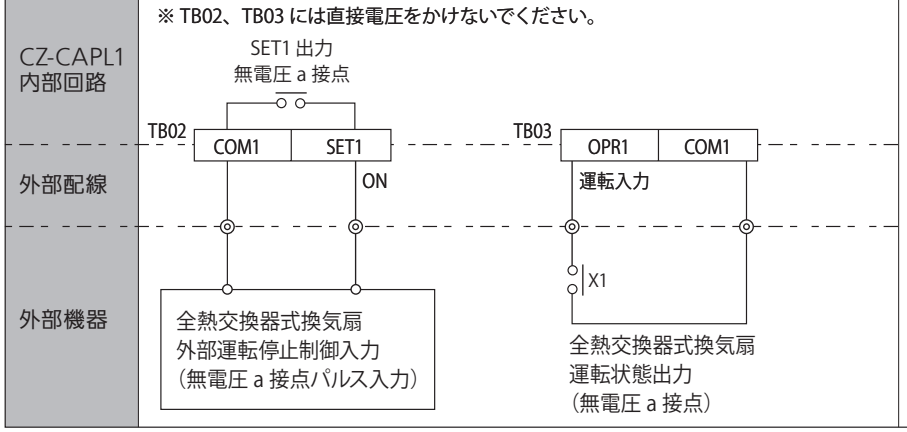


特 記 事 項

1）X1、X4 は補助継電器
2）スイッチ SW02-1 をON
3）RESET 出力を集中／個別の切換に
　利用可能
　（集中制御機器で「集中」のとき ON、
　「個別許可」のとき OFF）
4）対象機器からの運転アンサーバックを
　使用しないとき、
　スイッチ SW02-2 を ON。
5）運転アンサーバック入力を使用しないとき、
　OPR1、ALM1 は未接続。
　（使用する入力のみ接続）

※ 1台接続の場合

全熱交換気式換気扇との接続



特 記 事 項

1）スイッチ SW02-1 を OFF
　スイッチ SW02-2 を OFF
　スイッチ SW02-4 を ON
2）全熱交換器式換気扇の
　・外部運転停止制御入力は、
　　無電圧 a 接点パルス
　・運転状態出力は、
　　無電圧 a 接点パルス

注）集中制御機器または全熱交換器式
　換気扇のリモコンから繰り返し連続で
　運転／停止操作をすると、
　全熱交換器式換気扇が、設定を
　受け付けないことがあります。

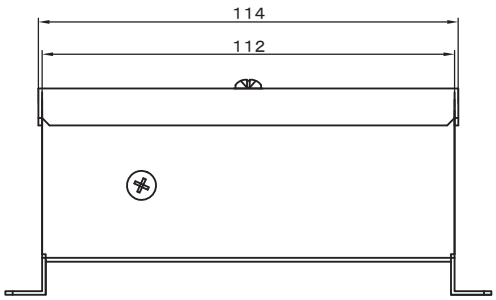
ACXF60-24714

室内用リレー中継基板 / CZ-01APC3

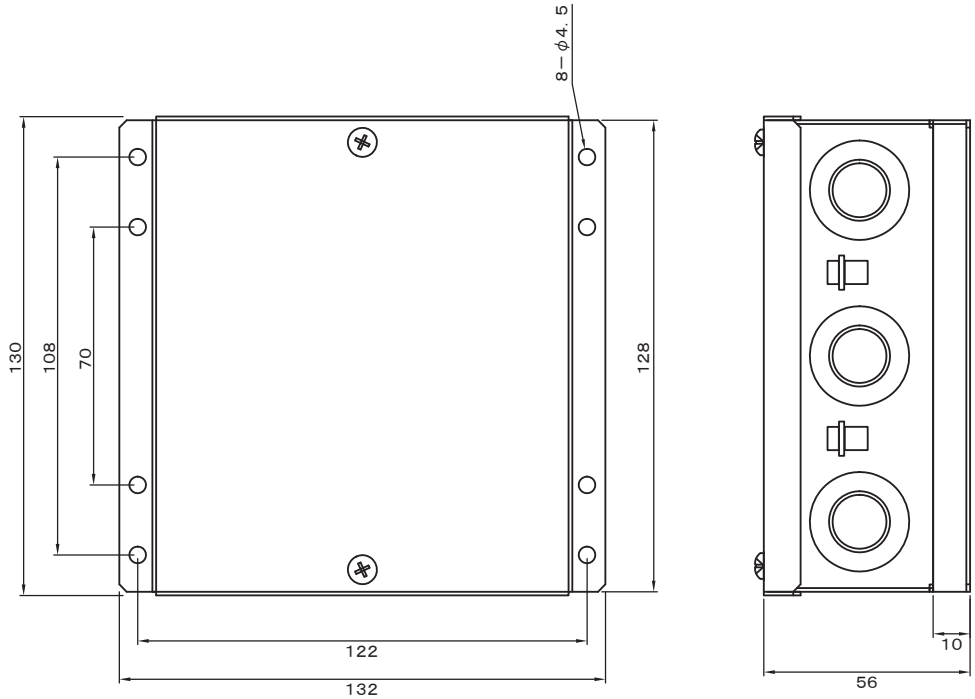
■ 仕　様

品　　番		CZ-01APC3
電　源　定　格		単相200V　50/60Hz
外形寸法	mm	(高さ) 56 × (幅) 130 × (奥行) 132
質　　量	g	850

■ 外形寸法図



単位:mm



品番	CZ-01APC3	外形寸法図 (リレー中継基板《室内機用》)

Panasonic

据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ（CZ-01APC3）

安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

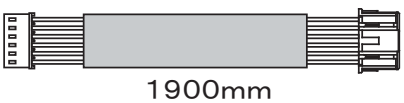
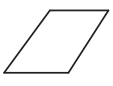
⚠ 警告

●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及び”据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ”に従って施工してください。
●電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
●AC200Vを使用する場合は、確実にアースしてください。アースが不完全の場合、感電事故のおそれがあります。
●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注意

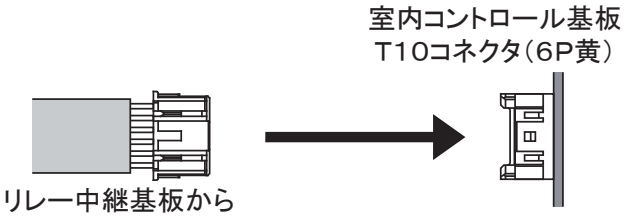
●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

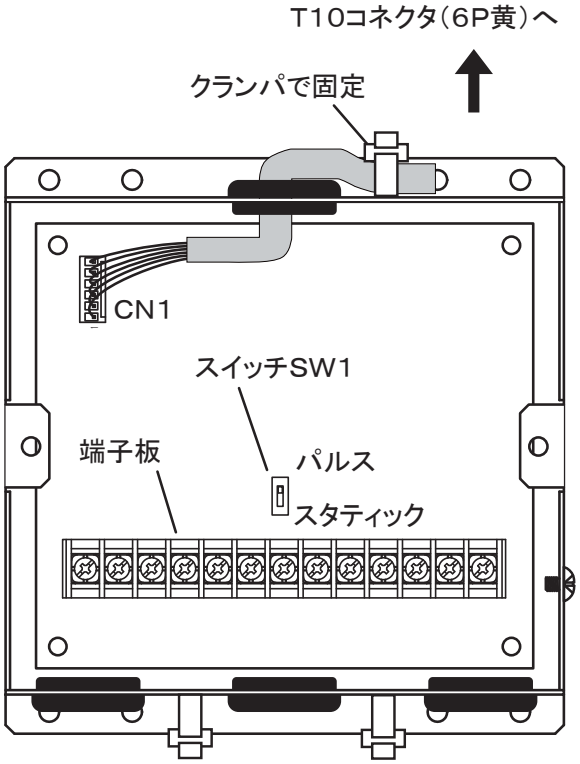
1．付属品

	部品名称	形状	員数
①	通信用ケーブル	 1900mm	1本
②	タッピンネジ（本体固定用）	 4×10	4個
③	据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ		1部

2. 室内ユニットとの接続

・ハトメゴムに切れ込みを入れ、付属の通信用ケーブルを通してリレー中継基板のCN1に接続してください。
・通信用ケーブルのもう一方を室内コントロール基板上のT10コネクタ(6P黄)に接続してください。
・遠方機器からの信号が無電圧の場合は、AC200V電源用ケーブル(現地調達)を室内ユニットの電源端子板(R／S)と接続してください。

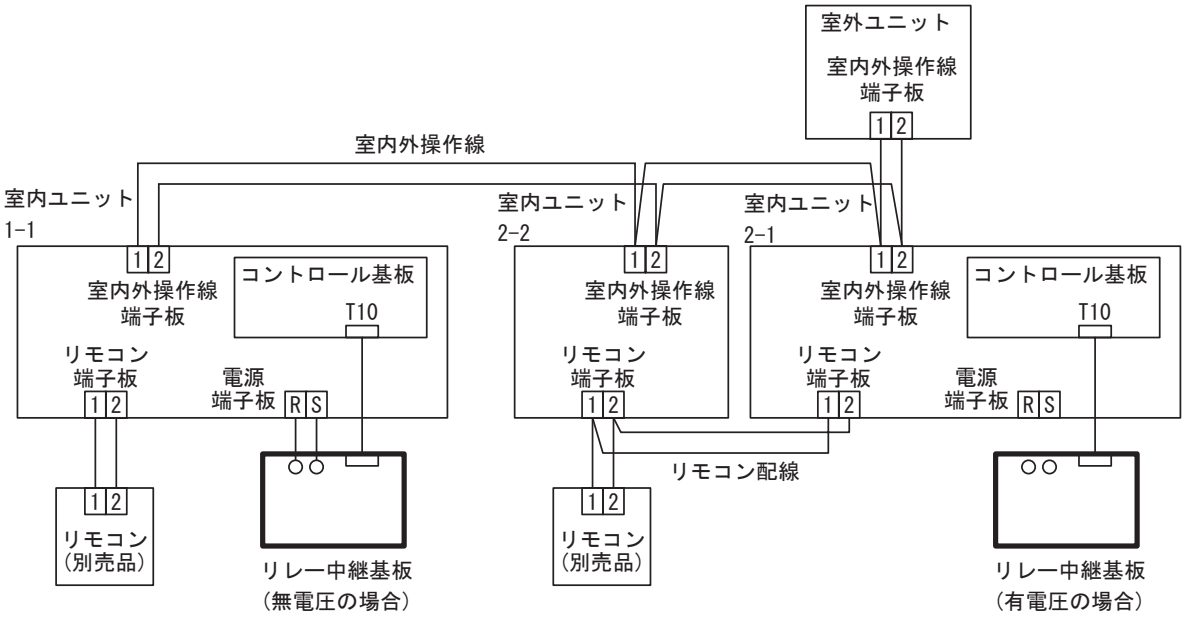




3. システム系統図

・遠隔運転する場合は、グループ内のいずれかの室内ユニットにリレー中継基板を接続します。
・運転／警報モニタ信号を取り出す場合は室内ユニットごとにリレー中継基板を接続します。

システム系統図の例



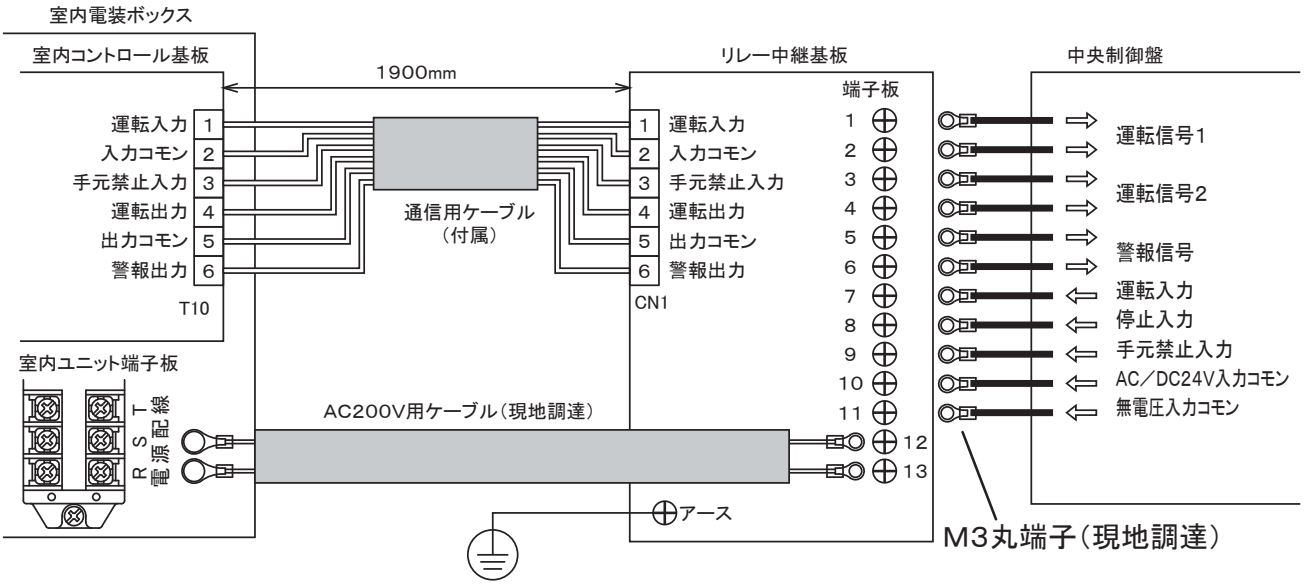
4. リレー中継基板の設置と遠方機器との接続

・リレー中継基板は室内ユニット近傍で、結露や塵埃の影響を受けない場所に設置してください。
※付属のケーブルは延長しないでください。正常な動作が行われなくなります。
・遠方機器側への配線は下記の線種で、線径は0．5mm²～2mm²をご使用ください。

エコ電線記号	従来記号	名称（従来名称）	適用規格
ECO120	VCT	耐燃性ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースキャブタイヤ丸型ケーブル （ビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブル）	JCS4501 JIS C 3312
EM-CEE	CVV	制御用耐燃性ポリエチレンシースケーブル （制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル）	JIS C 3401
EM-ECTF	VCTF	耐燃性ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースキャブタイヤ丸型コード （ビニルキャブタイヤ丸型コード）	JIS C 3306
EM-EER	VVR	600V耐燃性ポリエチレンシース丸型ケーブル （600Vビニル絶縁ビニルシース丸型ケーブル）	JIS C 3342

※エコ電線について：紫外線（日光、照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用をご使用ください

・端子板への接続は、M3の丸端子（現地調達）をご使用ください。
※先端をむき出したままの配線を使用すると、ショートして発火するおそれがあります。
・通信用ケーブルと200V電源用ケーブルは束ねずに、必ず離して敷設してください。
※ケーブルを束ねると、通信ケーブルにノイズを誘導して誤動作を起こすおそれがあります。



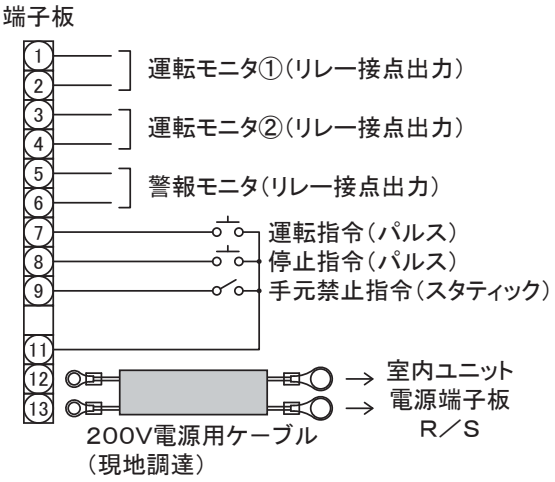
・遠方機器からの配線は端子板に接続しますが、ご使用になる信号の形式によって異なりますので注意してください。

※誤配線があると室内ユニットが正常に動作しなかったりモニタ信号が正しく出力されないだけでなく、室内コントロール基板やリレー中継基板が破壊します。

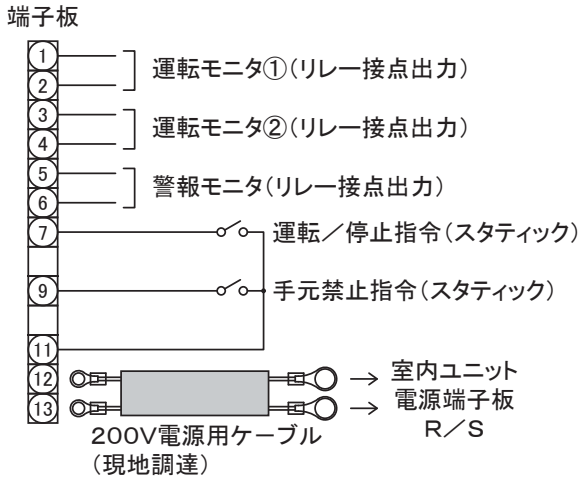
※注：スタティック形式で使用するときは、「5. 基板上の設定について」をご確認の上、設定を行ってください。

※無電圧で使用する場合は配線長を50m以下にしてください。

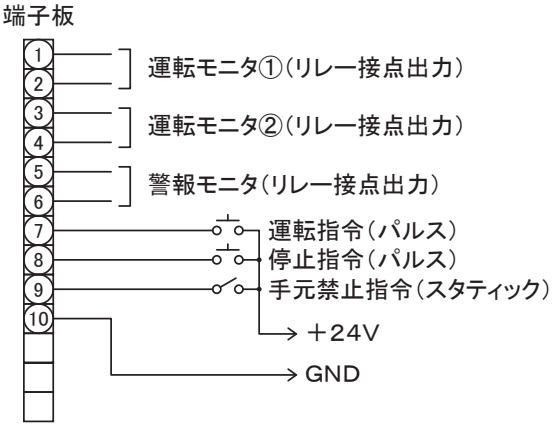
（1）無電圧　パルス形式



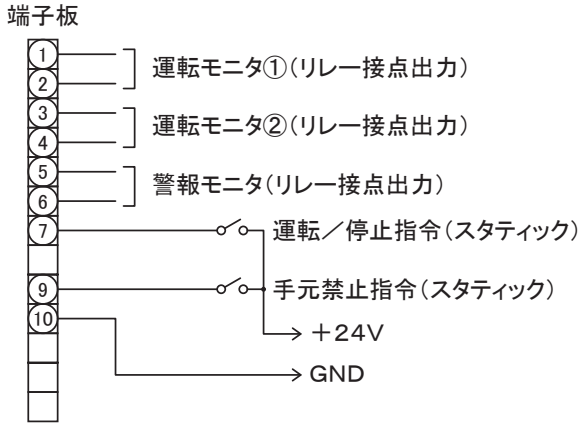
（2）無電圧　スタティック形式　※注



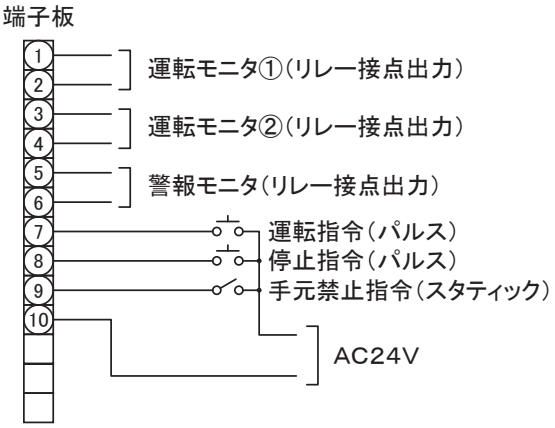
（3）DC24V　パルス形式



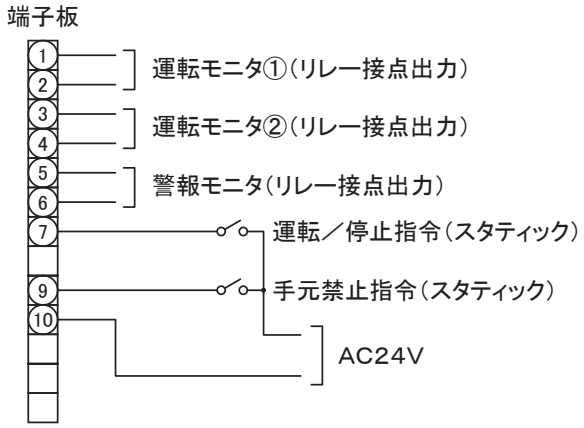
（4）DC24V　スタティック形式　※注



（5）AC24V　パルス形式



（6）AC24V　スタティック形式　※注

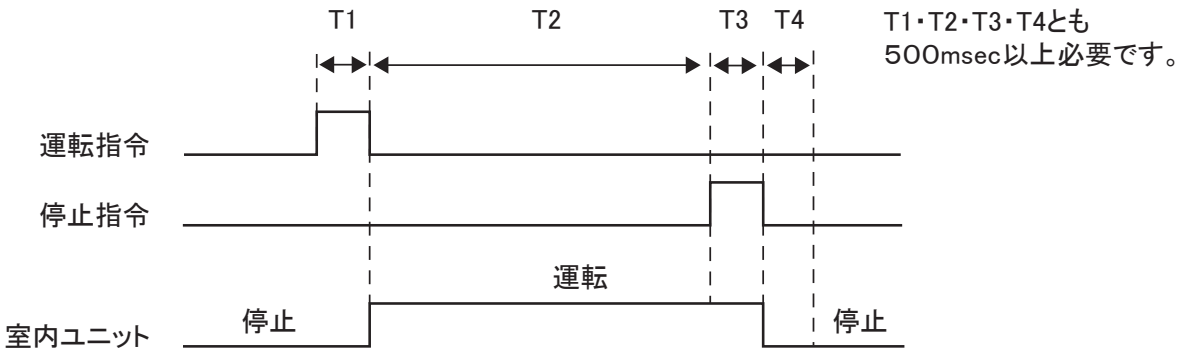


5. 基板上の設定について

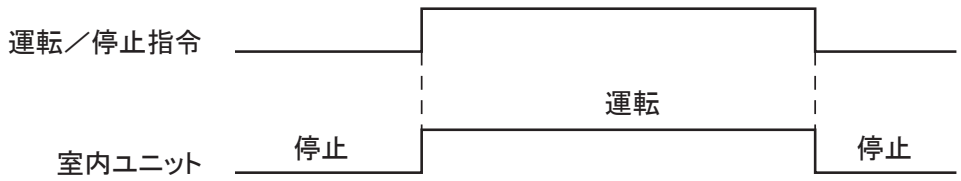
ご使用になる信号の形式を、リレー中継基板上のスイッチ(SW1)、および室内コントロール基板上のジャンパ線(JP001)で設定してください。
この設定を誤ると、リレーが連続で動作する等の誤動作を起こしますのでご注意ください。

信号形式		リレー中継基板上スイッチ(SW1)	室内基板ジャンパ線(JP001)
パルス (運転／停止 個別入力)	無電圧 DC24V AC24V	「パルス」 (工場出荷状態)	あり (工場出荷状態)
スタティック	無電圧 DC24V AC24V	「スタティック」	なし (ニッパ等で切断)

パルス形式(運転／停止個別入力方式)



スタティック形式



6. 入力仕様

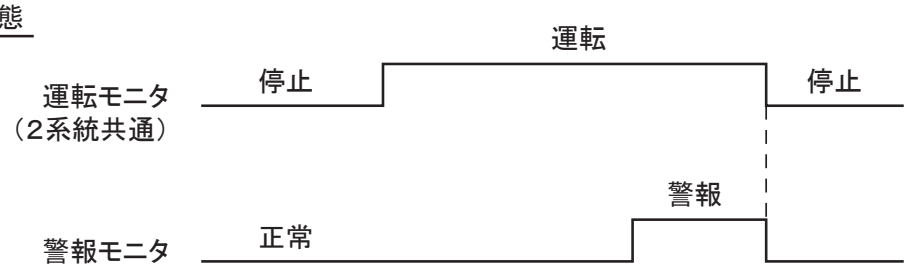
	入力項目	入力仕様	用途
①	運転入力	無電圧a接点（パルス／スタティック） 回路接点電圧AC24V、接点容量10mA DC24V（パルス／スタティック） 接点容量6mA AC24V（パルス／スタティック） 接点容量10mA	運転指令（または運転／停止指令）の入力
②	停止入力	無電圧a接点（パルス） 回路接点電圧AC24V、接点容量10mA DC24V（パルス） 接点容量6mA AC24V（パルス） 接点容量10mA	停止指令の入力
③	手元禁止入力	無電圧a接点（スタティック） 回路接点電圧AC24V、接点容量10mA DC24V（スタティック） 接点容量6mA AC24V（スタティック） 接点容量10mA	手元禁止指令の入力 手元（リモコン）での運転／停止が禁止されます。

推奨リレー：富士電機HH62、オムロンMY2、もしくはこれらの相当品

7. 出力仕様

	入力項目	入力仕様	用途
①	運転モニタ （2系統）	無電圧a接点連続（スタティック） 接点定格AC200V、2A（cosφ＝0．4）	運転、停止状態の監視
②	警報モニタ	無電圧a接点連続（スタティック） 接点定格AC200V、2A（cosφ＝0．4）	警報の監視

出力状態

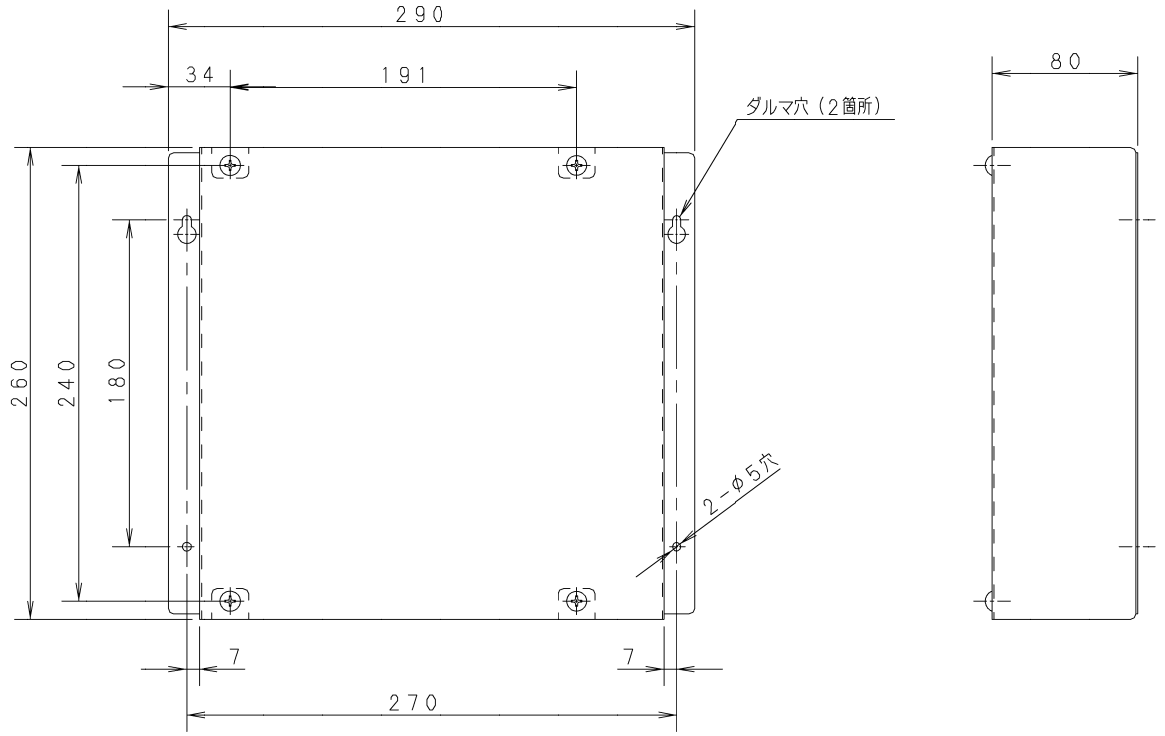


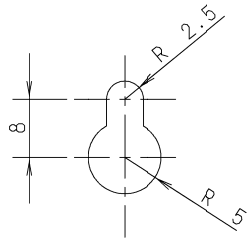
室外シリパラI/O/ ACC-XSP4U1

■仕様

品番		ACC-XSP4U1
電源定格		単相100Vまたは200V　50／60Hz
消費電力		17W
外形寸法	mm	（高さ）80×（幅）290×（奥行）260
質量	kg	3．2

■外形寸法図





ダルマ穴詳細

品番	ACC-XSP4U1	外形寸法図 （室外シリパラI／Oユニット）

①概要

ビル管理システムとの接続を簡単に行えるインターフェイスです。

室外ユニット４台の制御及び状態監視が可能です。(従来の室外リレー中継基板４台分に置き換わる)

入力:室内ユニットの一括発停、運転モード切替 (冷暖)、デマンド (切換により手元禁止)

出力:室内ユニット運転信号、警報信号

②通信の仕方

中央制御盤からのパラレル接点信号を、室外ユニットを介してシリアル信号に変換してから室外ユニットに送信します。室外ユニットは送信された信号に基づき室内ユニットとやりとりを行い、その状態信号等を室外シリパラI/Oユニットに返し、パラレル信号に変化して中央制御盤に送ります。

1) 仕様概要

a) 特長

・室外シリパラI/Oユニット１台で最多４台の室外ユニットの制御/状態監視ができます。

・室外シリパラI/Oユニット８台接続で最多30台の室外ユニットへ対応が可能です。

・外部入力部は有電圧 (DC24V) / 無電圧 共用です。

・同一設定を複数に入力する場合、わたり配線が不要となる設定が可能 (わたりSWで選択) です。

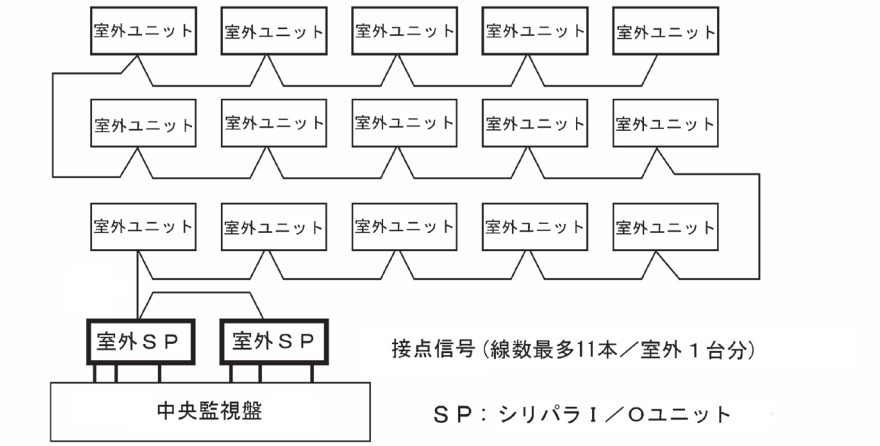
b) 入出力仕様

入力	一括運転入力	運転パルス	・無電圧ａ接点/DC24V (スライドSW切替) ・パルス入力幅300ms以上 ・絶縁方式:フォトカプラー
	一括停止入力	停止パルス/スタティック	
	冷房入力	冷房固定スタティック	
	暖房入力	暖房固定スタティック	
	デマンド入力１	デマンド入力 (切換により手元禁止) (スタティック)	
	デマンド入力２		
出力	警報出力	室外ユニットの警報動作中 室内ユニットが１台以上警報動作中	無電圧ａ接点 接点容量 (MAX AC250V3A) 最小適用負荷 (DC5V10mA)
	運転出力	該当室外ユニット系統の室内ユニットが１台以上運転中	

c) 対象機種

・GHP：J1形以降

2) システム図



3) 据付（電気）工事（試運転）担当の方へ

室外シリパラⅠ／Ｏユニット(ACC-XSP4U1)
据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ

安全上のご注意

*据え付け工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みの上確実に行ってください。

*個々に示した注意事項は「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠警告 取扱を誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

⚠注意 取扱を誤った場合、人が軽傷を追う可能性が想定される場合及び物理的損害のみの発生が想定される場合

*据え付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ”は、お客様で保管いただくように依頼してください。

⚠警告

●据え付け、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据え付け工事をされ不備があると感電・火災等の原因にもなります。

●据え付け工事は“据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ”に従って確実に行ってください。据付工事に不備がありますと、感電、火災等の原因になります。

●電気工事は電気工事の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、及び“据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ”に従って施工してください。電気回路容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

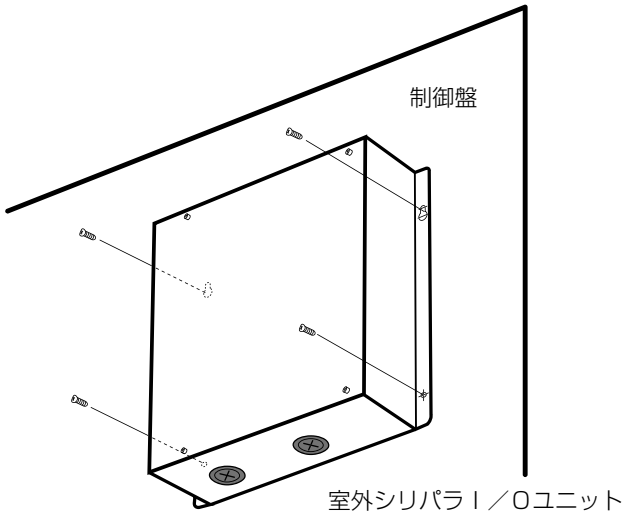
⚠注意

●設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

1．室外シリパラⅠ／0ユニットの取り付け方

＜注１＞室内外操作線や入出力配線は、電源配線などと一緒に寄り合わせたり同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因となりますのでさけてください。
＜注２＞室外シリパラⅠ／0ユニットはノイズ発生源から離して据え付けてください。
＜注３＞水などがかかる場所や水のたまるような極端に湿気の多いところは避けてください。
＜注４＞過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてください。

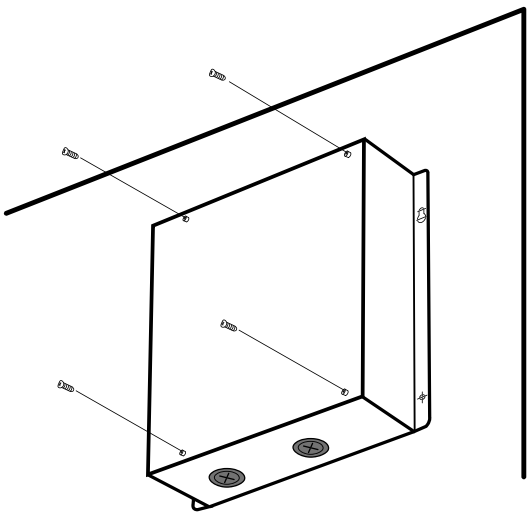
制御盤に組み込んで使用する場合、室外シリパラⅠ／0ユニットの数に合わせて制御盤を現地手配してください。



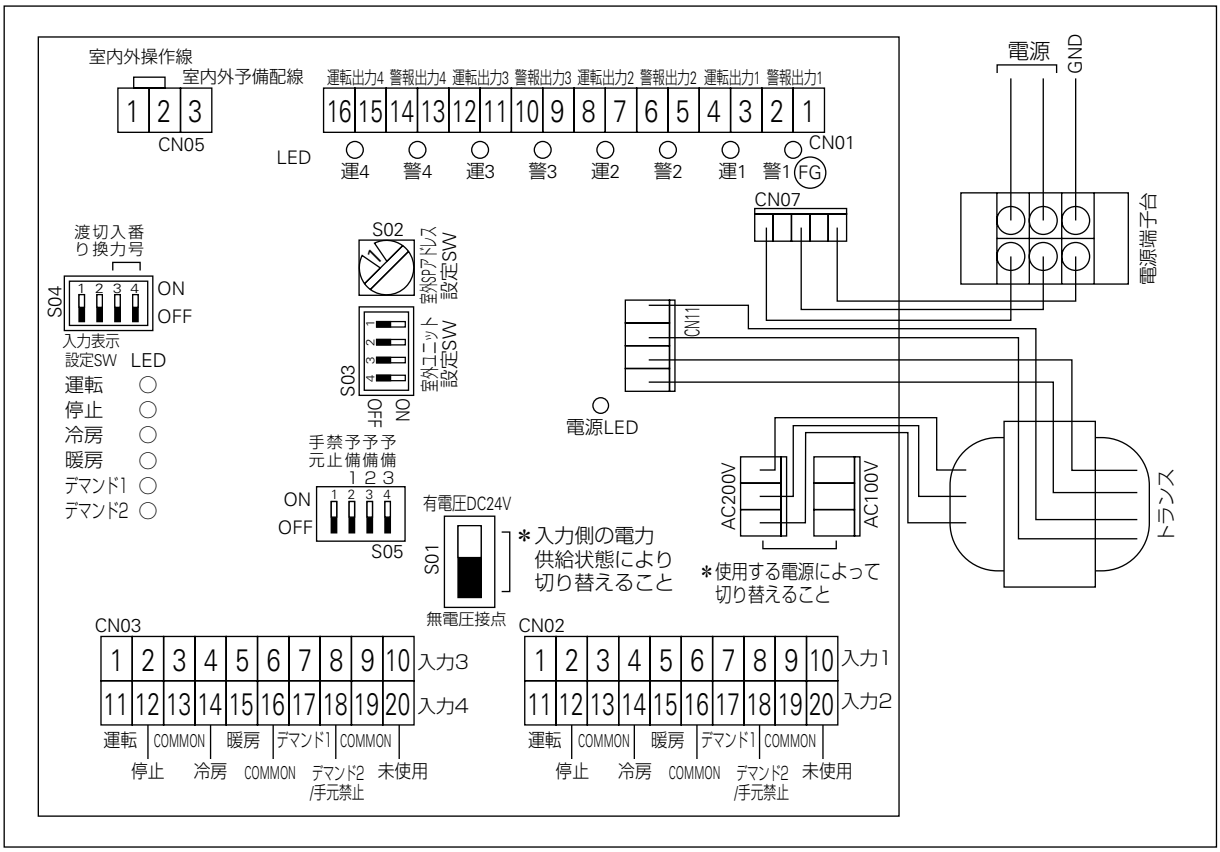
2．室外シリパラⅠ／0ユニットの配線の仕方

室外シリパラⅠ／0ユニットの取り付け、取り外しは安全のため漏電しゃ断器を切ってから行ってください。

・ネジを４本外し、上ブタを外します。



＜室外シリパラⅠ／Oユニット基板 部品配置＞

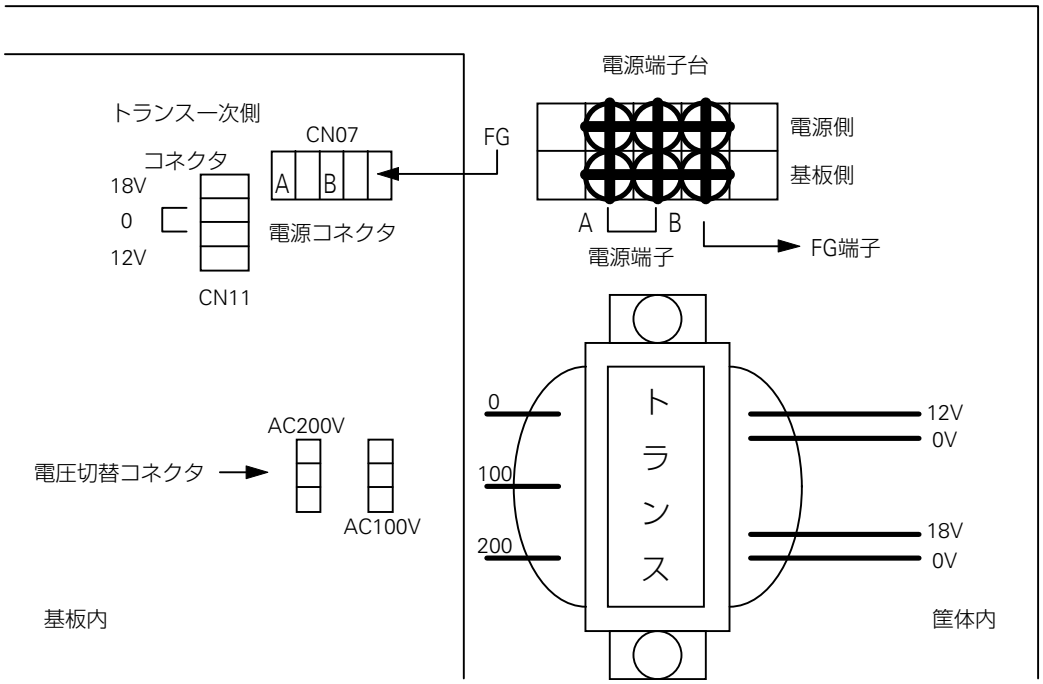


①電源の接続

AC100VまたはAC200Vのうち一方を使用します。室外シリパラⅠ／Oユニット基板のAC100V用コネクタ(AC100V表示の赤いコネクタ)、AC200V用コネクタ(AC200V表示の赤いコネクタ)のいずれかにトランスの一次側(赤３P)を差し替えて使用します。使用する電源電圧を確認して切り換えてください。工場出荷時はAC200Vに設定されています。

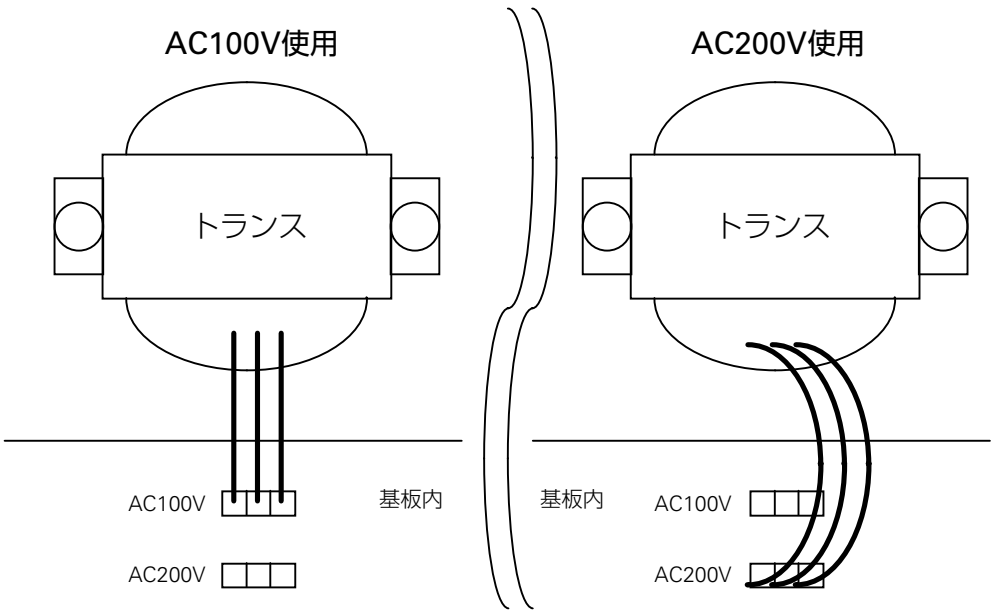
（注意）・電源電圧とトランスの一次側の切替を間違えますと壊れる恐れがありますので注意してください。
・コネクタの差し替えは電源を切ってから作業を行ってください。
・高電圧回路のため感電する恐れがあります。電源ON中は触らないでください。
・電源ON中は、電源部のコネクタ部分等（金属がむきだしになっている部分）には触れないでください。

＜トランス及び電源コネクタ、端子台配置図＞



変更時

・AC100V仕様の時には下左図のようにトランスからの３Ｐコネクタを AC100V側に接続してください。（感電の恐れがあるので電源を切ってから切り換えてください）



②室外シリパラⅠ／0ユニットと室内外操作線の接続

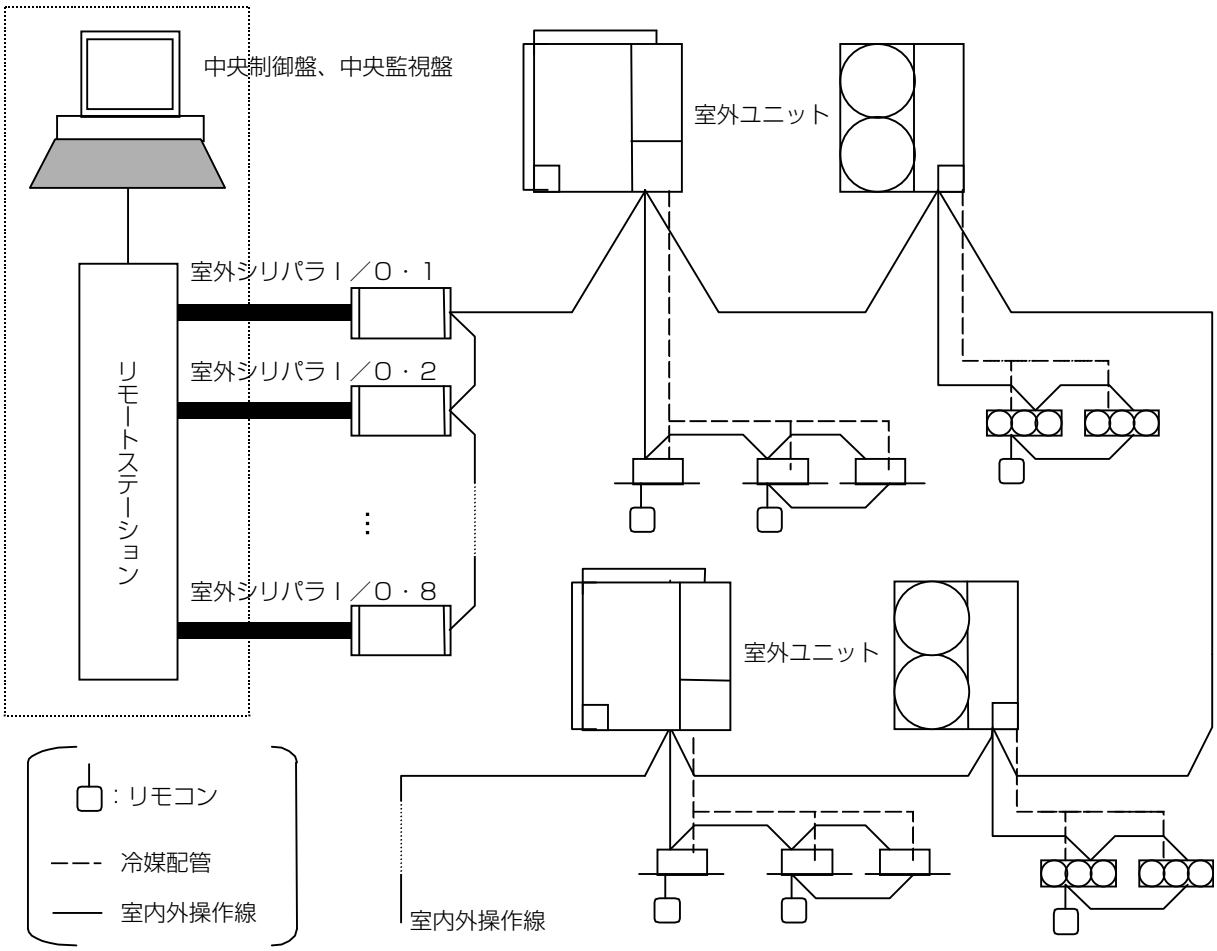
・室外シリパラⅠ／0ユニットを空調機へ接続する際には室内外操作線を利用します。
・室内操作線は2芯0.5～2.0mm㎡の電線を使用してください。(総延長1kmまで)信号線には極性がありません。電源配線と同一電線管内に通したり同一ケーブルで配線したり配線同士を近づけたりしないでください。室内外操作線は電源配線と違いのわかる信号線を使用してください。

エコ電線記号	従来記号	名　　称（従来名称）	適用規格
EM-CEE	CVV	制御用耐熱性ポリエチレンシースケーブル (制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル)	JIS C 3401
ECO120	VCT	耐熱性ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースキャブタイヤ丸型ケーブル (ビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブル)	JCS4501 JIS C 3312
EM-ECTF	VCTF	耐熱性ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースキャブタイヤ丸型コード (ビニルキャブタイヤ丸型コード)	JIS C 3306
EM-EEF	VVF	600V耐燃性ポリエチレンシース平型ケーブル (600Vビニル絶縁ビニルシース平型ケーブル)	JIS C 3342
EM-CPEES	CPEVS	通信用シールド付き市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (シールド付き市内対ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル)	—
EM-K-CPEE	KPEVS	計装用シールド付き市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (シールド付き市内対ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル)	JIS C 5402
EM-MEE-S	MVVS	しゃへい付きマイクロホン用耐熱性ポリエチレンコード (しゃへい付きマイクロホン用ビニルコード)	JCS4271

※エコ電線について：紫外線(日光、照明など)の影響を受ける場合は、しゃ光するか耐紫外線用をご使用ください。

＜基本配線図＞

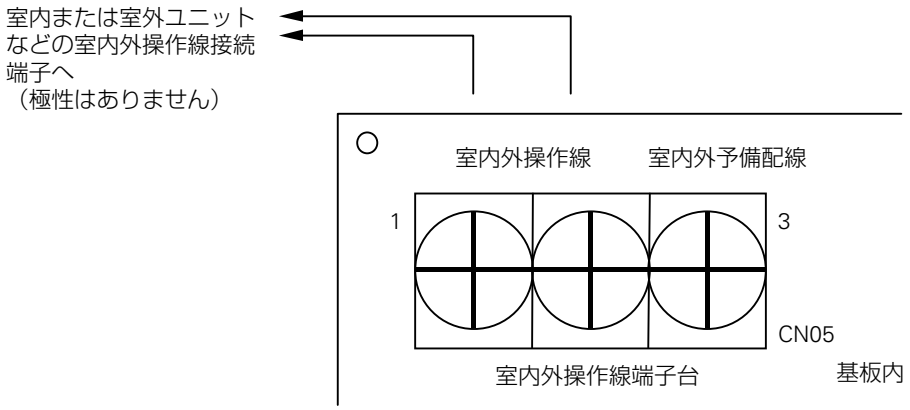
・室外シリパラⅠ／0ユニットの室内外操作線の配線例として6ページを参照してください。
・1システムの接続台数は室外ユニット最多30台・室内ユニット最多64台までです。
・室外シリパラⅠ／0ユニットは1台で室外ユニット最多4台まで管理できます。
・1システムに室外シリパラⅠ／0ユニットを最多8台まで接続でき、室外ユニットを30台まで管理可能です。



＜配線の手順＞

・室内外操作線

●基板の室内外操作線用端子台(通信用)ＣＮ０５の１－２間に、室外または室内ユニットの室内外操作線用接続端子を接続します。



室内外操作線端子台に電源線(AC100V／200V)を配線していないかを確認してください。誤って電源を印加した場合は、基板のヒューズ(F01)が溶断して基板を保護するようにしています。電源配線接続を修正したのち、室内外操作線をCN05の１－3(室内予備配線を使う)間に配線を行ってください。（作業は必ず電源OFFしてから行ってください）

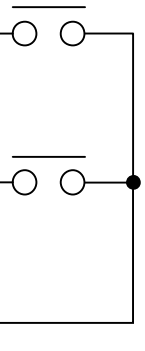
③ 室外シリパラⅠ／Ｏユニットと外部接続(中央制御盤、中央監視盤)間の接続

名称	入出力項目	室外シリパラⅠ／Ｏユニット側		設備（中央制御盤、中央監視盤）側		
		入出力条件	端子番号	切り分け端子	回路例	入出力条件
接点入出力端子	状態出力	運転出力１～４ 無電圧ａ接点出力 接点許容電圧電流 DC30V／1A 最小適用負荷 1V 1mA	CN01-3,01-7 CN01-11,01-15 CN01-4,01-8 CN01-12,01-16		デジタル入力	運転、停止入力に応対する応答時間 最大20sec
		警報出力１～４ 無電圧ａ接点出力 接点許容電圧電流 DC30V／1A 最小適用負荷 1V 1mA	CN01-1,01-5 CN01-9,01-13 CN01-2,01-6 CN01-10,01-14		デジタル入力	運転、停止入力に応対する応答時間 最大20sec
	制御入力	一括運転入力 一括停止入力 (ﾊﾟﾙｽ／ｽﾀﾃｨｯｸ) フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA ＳＯ１を 無電圧接点 （出荷時）	CN02-1,02-11 CN03-1,03-11 CN02-2,02-12 CN03-2,03-12 CN02-3,02-13 CN03-3,03-13			パルス幅１秒以上 無電圧ａ接点出力
		一括運転入力 一括停止入力 (ﾊﾟﾙｽ／ｽﾀﾃｨｯｸ) フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA ＳＯ１を 有電圧DC２４Ｖ	CN02-1,02-11 CN03-1,03-11 CN02-2,02-12 CN03-2,03-12 CN02-3,02-13 CN03-3,03-13		DC24V COM	パルス幅１秒以上 有電圧DC24V出力

<table>
<tr><td rowspan="2">名称</td><td rowspan="2">入出力項目</td><td colspan="2">室外シリパラⅠ／Ｏユニット側</td><td colspan="3">設備（中央制御盤、中央監視盤）側</td></tr>
<tr><td>入出力条件</td><td>端子番号</td><td>切り分け端子</td><td>回路例</td><td>入出力条件</td></tr>
<tr><td rowspan="2">接点入出力端子</td><td rowspan="2">制御入力</td><td>冷房入力
暖房入力

フォトカプラ入力
接点許容電圧電流
DC24V10mA
Ｓ０１を
無電圧接点方向
（出荷時）</td><td>CN02-4,02-14
CN03-4,03-14

CN02-5,02-15
CN03-5,03-15

CN02-6,02-16
CN03-6,03-16</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">  </td><td rowspan="2">パルス幅１秒以上
無電圧ａ接点出力</td></tr>
<tr><td>冷房入力
暖房入力

フォトカプラ入力
接点許容電圧電流
DC24V10mA
Ｓ０１を
有電圧DC24V方向</td><td>CN02-4,02-14
CN03-4,03-14

CN02-5,02-15
CN03-5,03-15

CN02-6,02-16
CN03-6,03-16</td><td>DC24V

COM</td><td>パルス幅１秒以上
有電圧DC24V出力</td></tr>
</table>

（注意事項）

・冷房入力、暖房入力は、スタティック入力として使用することができます。
この時ＯＮ中は、モード固定になります。
暖房入力中、リモコンは、暖房、送風モードが選択できます。
冷房入力中、リモコンは、冷房、ドライ、送風モードが選択できます。
但し、店舗用および３WAYマルチエアコンには、モード固定機能がないため、固定にはなりません。 また、モード切り換え時は、暖房、冷房入力の両方がＯＮしないように切り換えてください。

名称	入出力項目	室外シリパラⅠ／Oユニット側		設備（中央制御盤、中央監視盤）側		
		入出力条件	端子番号	切り分け端子	回路例	入出力条件
接点入出力端子	制御入力（ｽﾀﾃｨｯｸ）	デマンド1、デマンド2 S05-1：ON時（サーモOFF, 手元禁止） フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA ＳＯ１を 無電圧接点方向（出荷時）	CN02-7,02-17 CN03-7,03-17 CN02-8,02-18 CN03-8,03-18 CN02-9,02-19 CN03-9,03-19			パルス幅１秒以上 無電圧ａ接点出力
		デマンド1、デマンド2 S05-1：ON時（サーモOFF, 手元禁止） フォトカプラ入力 接点許容電圧電流 DC24V10mA ＳＯ１を 有電圧DC24V方向	CN02-7,02-17 CN03-7,03-17 CN02-8,02-18 CN03-8,03-18 CN02-9,02-19 CN03-9,03-19		DC24V COM	パルス幅１秒以上 有電圧DC24V出力

・室外シリパラⅠ／Oユニットと設備側の配線長について

デジタル信号は100m以下で使用してください。

＊入力端子台対応表

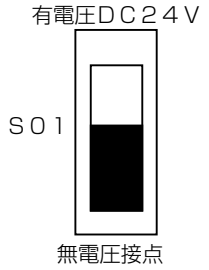
	入力1	入力2	入力3	入力4
一括運転	CN02-1　運転 CN02-3　COM	CN02-11　運転 CN02-13　COM	CN03-1　運転 CN03-3　COM	CN03-11　運転 CN03-13　COM
一括停止	CN02-2　停止 CN02-3　COM	CN02-12　停止 CN02-13　COM	CN03-2　停止 CN03-3　COM	CN03-12　停止 CN03-13　COM
冷房	CN02-4　冷房 CN02-6　COM	CN02-14　冷房 CN02-16　COM	CN03-4　冷房 CN03-6　COM	CN03-14　冷房 CN03-16　COM
暖房	CN02-5　暖房 CN02-6　COM	CN02-15　暖房 CN02-16　COM	CN03-5　暖房 CN03-6　COM	CN03-15　暖房 CN03-16　COM
デマンド1 ／サーモoff	CN02-7　デマンド1 ／サーモoff CN02-9　COM	CN02-17　デマンド1 ／サーモoff CN02-19　COM	CN03-7　デマンド1 ／サーモoff CN03-9　COM	CN03-17　デマンド1 ／サーモoff CN03-19　COM
デマンド2 ／手元禁止	CN02-8　デマンド2 ／手元禁止 CN02-9　COM	CN02-18　デマンド2 ／手元禁止 CN02-19　COM	CN03-8　デマンド2 ／手元禁止 CN03-9　COM	CN03-18　デマンド2 ／手元禁止 CN03-19　COM

＊各入力の配線時の極性

	各入力（運転、停止、 冷房、暖房、 デマンド1／サーモoff、デマンド2／手元禁止）	COM
S01：無電圧接点側	無電圧接点のため 極性無し	無電圧接点のため 極性無し
S01：有電圧DC24V側	正極	COM

3．設定スイッチについて

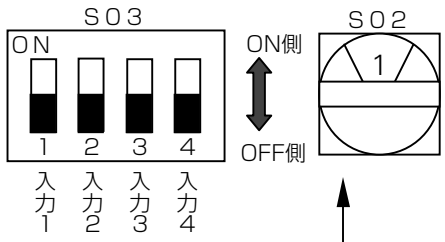
●設定スイッチＳ０１について（電圧切替は電源を入れる前に行ってください。）



・Ｓ０１（接点入力電圧切替SW）(出荷時：無電圧接点)について

1. 入力端子を無電圧 A 接点で使用するときスイッチ０１を無電圧接点側に入れる。
2. 入力端子を有電圧 DC24V 接点で使用するときスイッチ０１を有電圧 DC24V 側に入れる。

●設定スイッチＳ０２、Ｓ０３について



・Ｓ０２（室外ＳＰアドレス設定ＳＷ）
室外シリパラのアドレスを設定するＳＷです。(＊1参照)

・Ｓ０３（室外ユニット設定ＳＷ）
接続室外ユニットを設定するＳＷです。使用する入力はＳＷを必ず ON に切り換えてください (注：OFF 入力のものは入出力を行いません)。

１：系統アドレス　１～４　　２：系統アドレス　５～８
３：系統アドレス　９～１２　４：系統アドレス１３～１６
５：系統アドレス１７～２０　６：系統アドレス２１～２４
７：系統アドレス２５～２８　８：系統アドレス２９～３０
（0は1と同じ設定。9は8と同じ設定。）

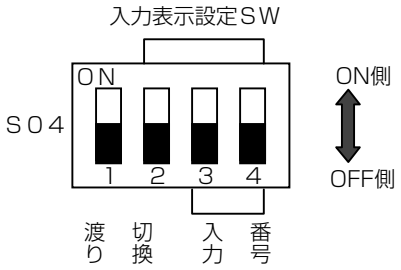
（＊1）Ｓ０２(室外SPアドレス設定SW)を換えた時の入出力端子台(入出力１～4)と系統アドレスとの関係

Ｓ０２（室外ＳＰアドレス設定ＳＷ）	入出力端子台番号				
	１	２	３	４	
１	１	２	３	４	系統アドレス（室外ユニットアドレス）
２	５	６	７	８	
３	９	１０	１１	１２	
４	１３	１４	１５	１６	
５	１７	１８	１９	２０	
６	２１	２２	２３	２４	
７	２５	２６	２７	２８	
８	２９	３０	３０	３０	

↑

重複する設定は、禁止です。仮に設定しても正常な動作はしません。

●設定スイッチＳ０４について



・Ｓ０４－１(出荷時OFF)

渡り	OFF	渡り処理無し(通常)
	ON	渡り処理有り(端子台入力１にのみ配線してください)

＊渡り処理有りの場合：端子台入力１～４に渡りの配線をしたのと同様の処理を行います。 (入力２～４にも入力１と同じ入力があるものとして処理します。)渡り入力有りの場合もS03でoff入力のものは入出力の動作は行いません。

・Ｓ０４－２(出荷時OFF)

切換	OFF	LED1～4に対応する室外ユニットとの通信状態を表示します。
	ON	LED(６個)に入力番号で選択した端子台の各入力状態(運転、停止など)を表示します。

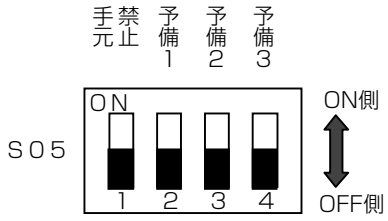
・Ｓ０４－３、４ 入力番号選択：確認したい入力番号を選びます。

	Ｓ０４－３	Ｓ０４－４
入力1	ＯＦＦ	ＯＦＦ
入力2	ＯＦＦ	ＯＮ
入力3	ＯＮ	ＯＦＦ
入力4	ＯＮ	ＯＮ

＊Ｓ０４－2(切換)とＳ０４－３、４(入力番号)の設定によりLEDに以下の表示を行います(切換がＯＮになっていると選択した入力番号の入力端子台に入力されている信号に応じたＬＥＤを点灯します)

切換	ＯＦＦ(通常時)	ＯＮ(入力確認時)
ＬＥＤの説明	1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ ○ ○ 番号に対応する室外ユニットとの通信が正常時：点灯 異常時：点滅	運転 ○ 停止 ○ 冷房 ○ 暖房 ○ デマンド１ ○ デマンド２ ○ 入力有り：点灯 入力無し：消灯

●設定スイッチＳ０５について



・Ｓ０５－１（出荷時 OFF）手元禁止 SWで入力を以下のように切り替えます。

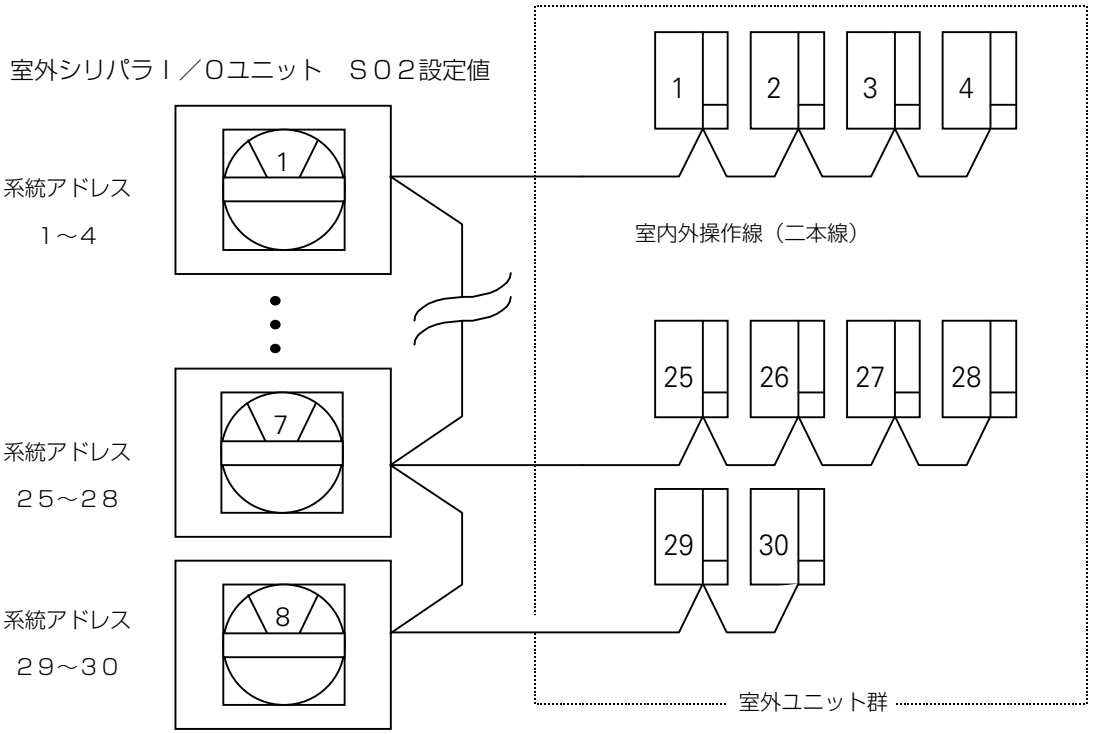
手元禁止	入力1～4 端子7－9または17－19入力	入力1～4 端子8－9または18－19入力
OFF	デマンド1	デマンド2
ON	サーモOFF（＊1）	手元禁止（＊2）

＊１：強制サーモOFF（100%のデマンド）入力になります。
＊２：手元禁止時は、集中1（運転停止が禁止）となります。

４．アドレス設定ＳＷ(Ｓ０２)についての詳しい説明

室外シリパラⅠ／Ｏユニットを複数台つなげて使用する場合は室外シリパラアドレスの設定が必要です(Ｓ０２)。

※室外シリパラⅠ／Ｏユニット　８台、室外ユニット　３０台接続例



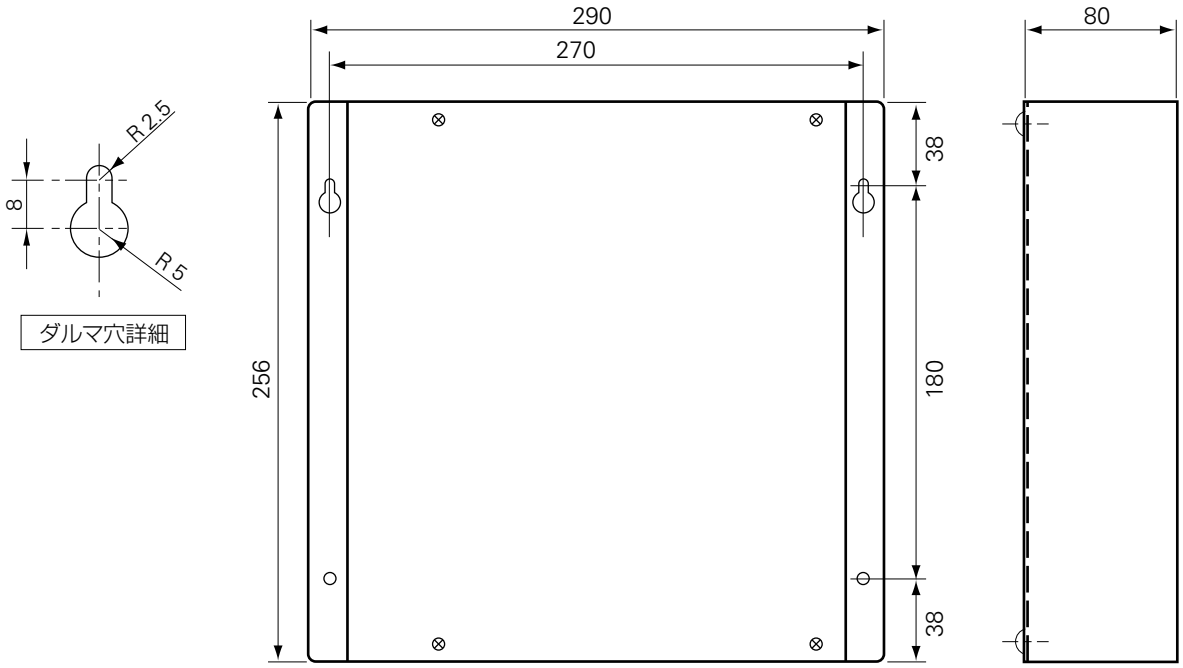
５．試運転

1. エアコンの電源をすべて入れてください。試運転が全て完了していることを確認してください。
2. エアコンの試運転が終了してから以下の手順で行ってください。
3. 室外シリパラI/Oユニットの電源を入れてください(設定は電源投入前に済ませてください)。
4. 室外シリパラ I/O ユニットと室外ユニットとの通信が異常なければ、室外シリパラ I/O ユニットから一括運転を入力(入力端子台の運転と COM を接続してください)し、運転ランプで確認してください。同様に各入力も確認してください。入力の確認を行う場合は設定スイッチの SO4 の 3、4 (入力番号スイッチ) で確認したい入力の番号を設定した後 SO4 の 2 (切換スイッチ) を ON して確認を行えます(「設定スイッチについて」を参照ください)。

・室外シリパラI/Oユニットと室外ユニットの間で通信異常発生後約3分経過した場合通信確認LEDが点滅します。点滅時は点滅している室外ユニットの通信線の接続および電源等を確認して修正してください。

6．外形寸法

(mm)



7．製品仕様

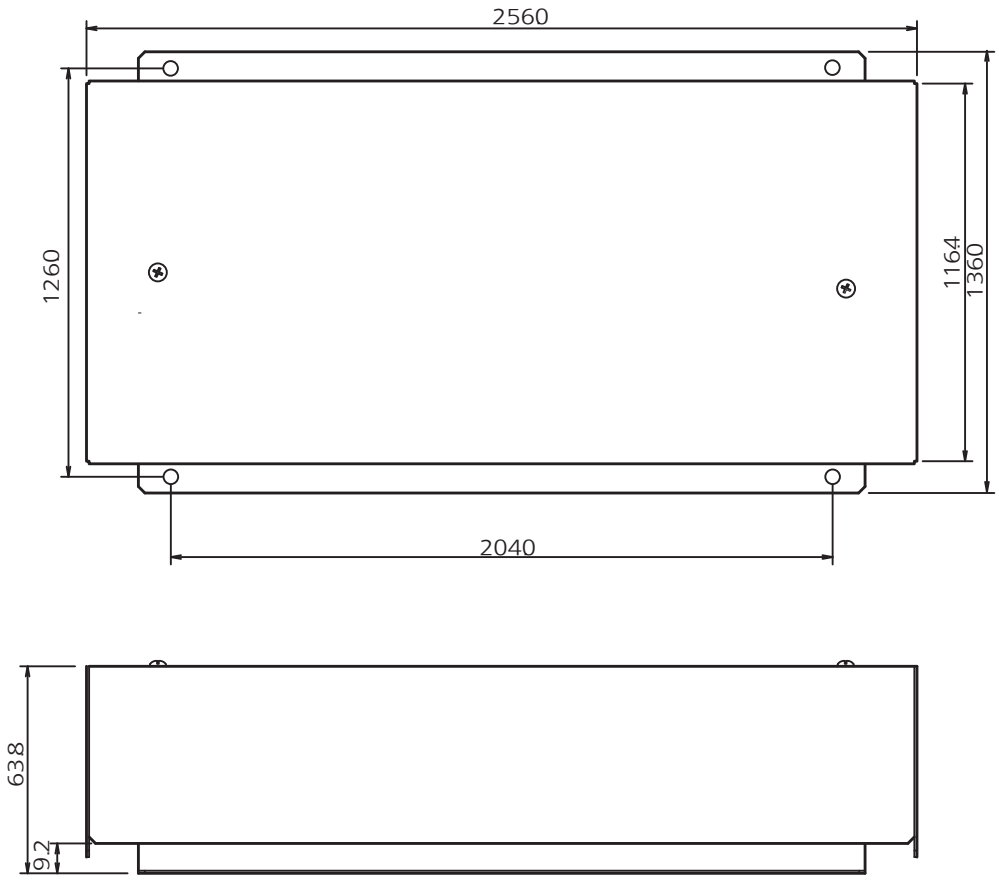
制御台数	室外ユニット4系統分
電源定格	AC単相100V／200V・50／60Hz
消費電力	18W
外形寸法／質量	(高さ)80mm×(幅)290mm×(奥行)256mm ／ 3.2kg
配線長	室内外操作線　総延長1km ／ デジタル信号100m以下

ミニシリパラI/Oユニット / ACC-SP1

接続対象	SANYO　: 室内ユニットT形（PAC）・G形（GHP）以降 Panasonic　: 室内ユニット
電源	DC12V
消費電力	1.2W, 0.1A
使用環境条件	温度0℃～40℃、湿度20%～80%、屋内専用
外形寸法	幅256.0mm×奥行136.0mm×高さ63.8mm
重さ	0.9 kg

■外形寸法図

単位: mm



安全上のご注意

＊ 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みの上確実に行ってください。
＊ 個々に示した注意事項は「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠警告　取り扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

⚠注意　取り扱いを誤った場合に、人が軽傷を追う可能性が想定される場合および物理的損害のみの発生が想定される場合

据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認し、お客様に使用方法を説明してください。また、"据付(電気)工事担当の方へ"は、お客様で保管いただくように依頼してください。

⚠ 警告

●据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると感電・火災等の原因にもなります。
●据付工事は"据付(電気)工事担当の方へ"に従って確実に行ってください。
据付工事に不備がありますと、感電、火災等の原因になります。
●電気工事は電気工事の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、および"据付(電気)工事担当の方へ"に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
電気回路容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠ 注意

●設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
●配線作業は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行ってください。

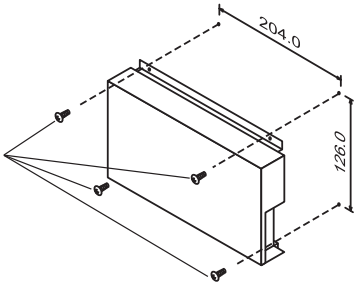
付属部品

番号	部品	個数	番号	部品	個数
①	SANYO　室内ユニットA, J2形以降用 Panasonic　室内ユニット用 T10ケーブル(150mm) 電流ヒューズ付　※1	1	③	取付用ねじ タッピンねじ(φ4x8mm)	4
			④	ワイヤージョイント	2
②	SANYO　室内ユニット T, U, G, H, J1形用 T10ケーブル(100mm)	1	⑤	据付（電気）工事 （試運転）担当のかたへ	1

※1 ヒューズが配線の短絡、誤配線および過電流で溶断した際には、125V/0.5Aのものと交換してください。

取り付けかた

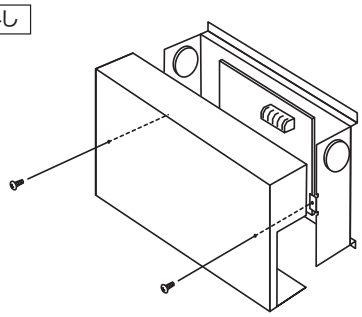
取り付け用
タッピンねじ×4
（付属部品③）



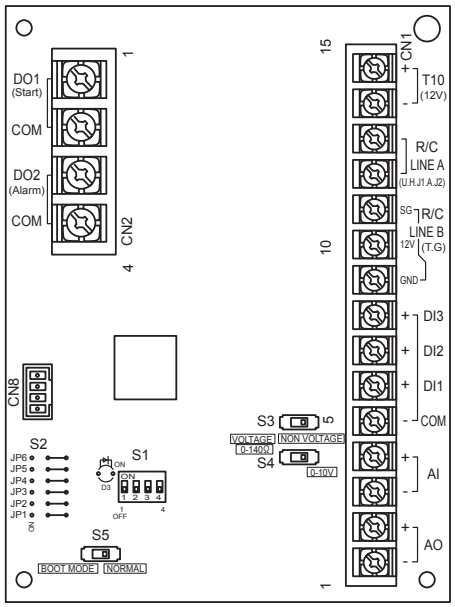
ご注意:
●通信線は、電源線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因になりますので避けてください。
●ノイズ発生源から十分離して据え付けてください。
●水などかかる場所や極端に湿気の多いところは避けてください。
●過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてください。

配線のしかた

カバーの取り外し



端子板配置図およびスイッチ配置



CN1	15	+	T10(12V)	電源DC12V
	14	-		
	13		R/C LINE A	リモコン配線A
	12			
	11	SG	R/C LINE B	リモコン配線B
	10	12V		
	9	GND		
	8	+	DI 3	デジタル入力
	7	+	DI 2	
	6	+	DI 1	
	5	-	COM	
	4	+	AI	アナログ入力 (設定温度変更)
	3	-		
	2	+	AO	アナログ出力 (室温モニタ)
	1	-		

CN2	1	DO1	デジタル出力1 (運転出力)
	2	COM	
	3	DO2	デジタル出力2 (警報出力)
	4	COM	

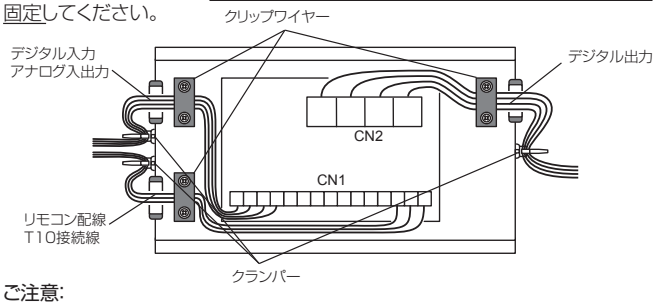
S1	制御タイプ設定スイッチ
S2	詳細設定スイッチ
S3	有電圧／無電圧切換スイッチ
S4	設定温度入力切換スイッチ
S5	未使用

CN8	未使用

ご注意:
●端子板への配線接続は、必ず被覆押え付きの丸型端子をご使用ください。
（CN1側: M3.0,　CN2側: M3.5）

配線処理のしかた

配線は、必ず本体内部のクリップワイヤーおよび外部のクランパーでしっかり固定してください。



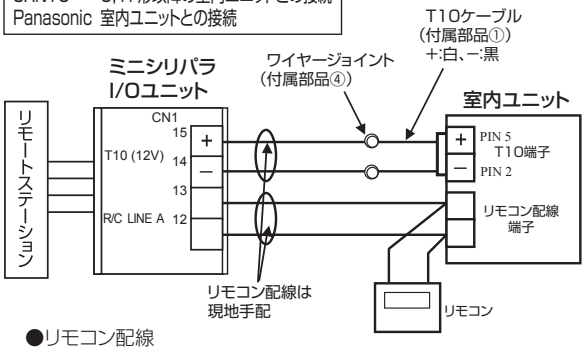
ご注意:
●AC電源等の高電圧を使用する場合（デジタル出力）、その配線が基板上の部品や低電圧（CN1側）の配線に接触しないようにしてください。
●基板だけを別機器に組み込むような改造はしないでください。

(1)室内ユニットとの接続

●高圧電源線と同一電源管内に通したり、同一ケーブルで配線したり、互いを近づけたりしないでください。(30cm以上離してください。)

●配線仕様
種類:　シース付ビニルコード
太さ:　0.5～2.0mm²
配線長: 最大100m

SANYO　U, H 形以降の室内ユニットとの接続
Panasonic 室内ユニットとの接続

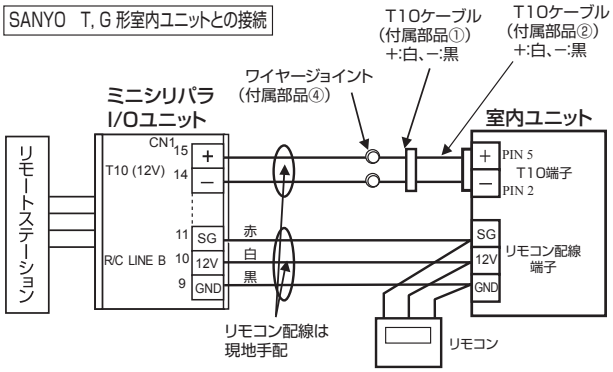


●リモコン配線
ミニシリパラI／Oユニットの端子台CN1の12,13番(リモコン配線A)と、室内ユニットのリモコン配線端子台を接続してください。極性はありません。

●T10接続線
ミニシリパラI／Oユニットの端子台CN1の14,15番 T10(12V)と、室内ユニットのT10端子を接続してください。
極性がありますので、「+」「−」を間違えないように十分注意して接続してください。誤配線は故障の原因になります。

※ SANYO U, H, J1形室内ユニットのT10端子への接続は、SANYO T,G形の場合と同様に付属部品①,②を使用します。システム図と異なるので注意してください。

SANYO　T, G 形室内ユニットとの接続



●リモコン配線
ミニシリパラI／Oユニットの端子台CN1の9,10,11番(リモコン配線B)と、室内ユニットのリモコン配線端子台を接続してください。
極性がありますので、「GND」「12V」「SG」を間違えないように接続してください。
誤配線は故障の原因になります。

●T10接続線
ミニシリパラI／Oユニットの端子台CN1の14,15番 T10(12V)と、室内ユニットのT10端子を接続してください。
極性がありますので、「+」「−」を間違えないように十分注意して接続してください。
誤配線は故障の原因になります。

ご注意
●室内ユニットには必ずミニシリパラ以外に、リモコンまたは、集中制御機器(システムコントローラーなど)を設置してください。
●リモコン配線に、2個以上のミニシリパラの併設はできません。
●室内ユニットのT10端子を使用する制御機器との併用はできません。
例:室内用リレー中継基板、スケジュールタイマーなど

(2)リモートステーションとの接続

●高圧電源線と同一電源管内に通したり、同一ケーブルを配線したり、互いを近づけたりしないでください。(30cm以上離してください。)

名称	入出力項目	ミニシリパラI/Oユニット側 入出力条件	ミニシリパラI/Oユニット側 端子番号	設備側(リモートステーション) 回路例	設備側(リモートステーション) 入出力条件
デジタル入出力端子	デジタル入力 ※1	DI 1入力 DI 2入力 DI 3入力 電圧a接点ｽﾀﾃｨｯｸ または、 電圧a接点ﾊﾟﾙｽ 接点許容電圧電流 DC24V, 10mA 有電圧／無電圧切換 スイッチ: S3 無電圧時: NON VOLTAGE 側 有電圧時: VOLTAGE 側	●無電圧入力のとき (工場出荷時) デジタル入力 CN1-8 DI 3 CN1-7 DI 2 CN1-6 DI 1 CN1-5 COM ●有電圧入力のとき デジタル入力 CN1-8 DI 3 CN1-7 DI 2 CN1-6 DI 1 CN1-5 COM	DC12-24V GND	有電圧(12-24V) または 無電圧 パルス入力時 200ms以上
	デジタル出力 ※2	運転出力 警報出力 無電圧a接点ｽﾀﾃｨｯｸ 接点許容電圧電流 DC 24V, 3A (最小負荷 10mA)	CN2-1 DO 1 CN2-2 COM CN2-3 DO 2 CN2-4 COM	デジタル入力 デジタル入力	
アナログ入出力端子	アナログ入力 ※3	室内温度設定入力 入力　0-10V または 0-140Ω 設定温度範囲 室内ユニットの設定 設定範囲内 1℃ステップ 設定温度入力切換 スイッチ: S4 電圧入力時: 0-10V 側 抵抗接続時: 0-140Ω 側	A/D変換器 CN1-4 AI+ CN1-3 AI-	アナログ出力 FG	アナログ入力は、精度±0.1%のものをご使用ください
	アナログ出力 ※4	室内温度モニタ出力 出力電流 4-20mA 温度指示範囲 5-36℃ 0.5℃ステップ	D/A変換器 CN1-2 AO+ CN1-1 AO-	絶縁型アナログ入力 FG	許容負荷: 最大240Ω

※1　デジタル入力について

●制御タイプ設定スイッチS1により下表のように制御タイプが切り換わります。

制御タイプ	入力1(DI 1) (open)→(close)	入力1(DI 1) (close)→(open)	入力2(DI 2) (open)→(close)	入力2(DI 2) (close)→(open)	入力3(DI 3) (open)→(close)	入力3(DI 3) (close)→(open)	電圧a接点スタティック/電圧a接点パルス ※1
0	運転 弱風	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット停止	運転 強風	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット停止	運転 急風	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット停止	全入力: スタティック
1	運転 手元発停禁止	停止 手元発停禁止	運転 手元発停許可	停止 手元発停禁止	停止 手元発停禁止	-	入力1,2: スタティック 入力3:パルス
2	運転 手元運転禁止	停止 手元発停禁止	手元発停許可	停止 手元発停禁止	停止 手元発停禁止	-	入力1,2: スタティック 入力3:パルス
3	運転<->停止 手元発停禁止	-	運転<->停止 手元発停許可	-	停止 手元発停禁止	-	全入力:パルス
4	運転 手元発停禁止	-	運転 手元発停許可	-	停止 手元発停禁止	-	
5	運転 手元運転禁止	-	手元発停許可	-	停止 手元発停禁止	-	
6	運転 手元発停許可	-	停止 手元発停許可	-	-	-	
7	運転<->停止 手元発停禁止	-	運転<->停止 手元発停許可	-	サーモ OFF	サーモ OFF解除	入力1,2:パルス 入力3: スタティック
8	-	-	-	-	-	-	-
9	暖房	-	冷房	-	送風	-	全入力:パルス
10	暖房 運転	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット停止	冷房 運転	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット停止	送風 運転	入力1,2,3全てオープンのとき、室内ユニット停止	全入力: スタティック
11	-	-	-	-	-	-	-
12	-	-	-	-	-	-	-
13	-	-	-	-	-	-	-
14	-	-	-	-	-	-	-
15	運転	停止	-	-	サーモ OFF	サーモ OFF解除	全入力: スタティック

※1　パルス入力時は、パルス幅を200ms以上にしてください。

●配線仕様
種類:　シース付ビニルコード
太さ:　0.5～2.0mm²
配線長: 最大100m

※2　デジタル出力について

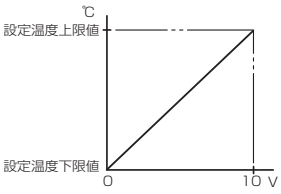
●DO1は、運転出力です。
DO2は、警報出力です。
●接点許容電圧電流は、最大DC24V, 3Aです。
●配線の仕様は、デジタル入力の場合と同様です。
●室内グループ制御時に、室内ユニット1台でも運転・警報中であればそれぞれ出力します。

※3　アナログ入力について

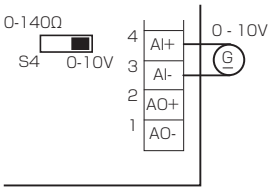
●温度設定の方法を以下の3種類より選択します。
・電圧入力①(設定温度上/下限の均等分割)
・電圧入力②(電圧固定)
・抵抗入力
※使用しない場合は、詳細設定スイッチS2のJP4をカットしてください。

●電圧入力①・②の場合
・設定温度入力切換S4を「0～10V」側にしてください。(工場出荷時)
・配線仕様
種類:　シース付ビニルコード(シールド線推奨)
太さ:　1.25～2.00mm²
配線長:　最大70m

●電圧入力①(設定温度上/下限の均等分割)　(工場出荷時)
・DC 0V～10V(設定温度下限値～設定温度上限値)の入力範囲です。
・設定温度と電圧の関係は、下図のようになります。
・設定温度上限値と下限値は、運転モードおよび室内ユニットによって異なります。
(例)3-1:「代表的機種の各運転モード[下限値～上限値]」の設定温度と電圧の関係をごらんください。

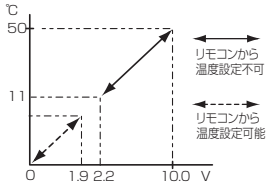


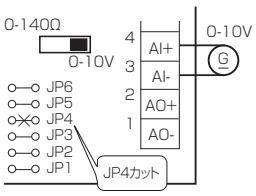
入力電圧値と温度の関係



配線接続図

●電圧入力②(電圧固定)
・DC 0V～10Vの入力範囲です。
・設定温度の有効範囲は、2.2V～10V(11℃～50℃)となります。
この範囲は、リモコンから温度を設定することはできません。
・設定温度上下限値を越える入力の場合は、上下限値となります。
例えば、冷房[18℃～30℃]場合、3.5V以下は18℃、6.2V以上は30℃になります。
・リモコンから温度を設定したい場合には、入力電圧を1.9V以下にしてください。



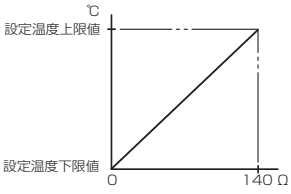


設定温度と電圧入力値の対応表(電力入力②)

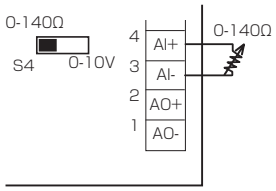
設定温度[℃]	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
電圧入力値[V]	3.2	3.4	3.6	3.8	4.0	4.2	4.4	4.6	4.8	5.0	5.2	5.4	5.6	5.8	6.0

ご注意:
・ 電圧入力は、室内ユニットとの接続を行ってから入力してください。また、入力電圧は最大10Vです。それ以上の電圧を入力しないでください。故障の原因になります。
・ 電圧入力の精度が±1%より悪いとき、正しく温度設定できないことがあります。

●抵抗入力
・0～140Ωの入力範囲で、温度設定(1℃ステップ)を行います。
・設定温度と抵抗の関係は、下図のようになります。
・設定温度上限値と下限値は、運転モードおよび室内ユニットによって異なります。
(例)3-1:「代表的機種の各運転モード[下限値～上限値]」の設定温度と抵抗の関係をごらんください。
・設定温度入力切換S4を「0～140Ω」側にしてください。
・配線仕様
種類: シース付ビニルコード(シールド線推奨)
太さ: 1.25～2.00mm²
配線長: 最大70m

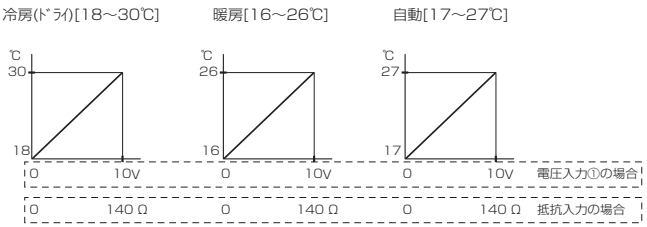


接続抵抗値と温度の関係



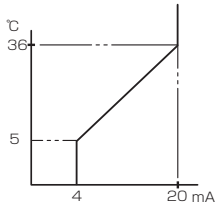
配線接続図

(例)3-1:　代表的機種の各運転モード[下限値～上限値℃]



※4　アナログ出力について

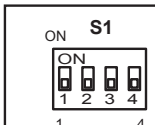
●室内温度モニター出力は、DC4～20mA(5～36℃)となっており、温度指示範囲は、0.5℃ステップです。
中央監視側での計測単位にご注意ください。
配線の仕様は、アナログ入力の場合と同様です。
負荷抵抗は、240Ω以下としてください。



電流値と温度の関係

基板での設定

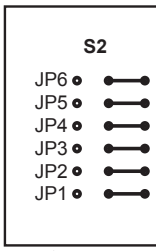
制御タイプ設定スイッチ　S1



制御タイプ	S1 1	2	3	4	制御タイプ	S1 1	2	3	4
0	－	－	－	－	8	－	－	－	●
1	●	－	－	－	9	●	－	－	●
2	－	●	－	－	10	－	●	－	●
3	●	●	－	－	11	●	●	－	●
4	－	－	●	－	12	－	－	●	●
5	●	－	●	－	13	●	－	●	●
6	－	●	●	－	14	－	●	●	●
7	●	●	●	－	15	●	●	●	●

制御タイプを切り換えます。

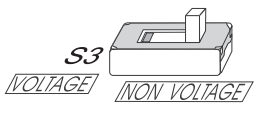
詳細設定スイッチ　S2



JP6	接続	未定	(工場 出荷時)
	カット	未定	
JP5	接続	リモコンまたは集中制御機器あり	(工場 出荷時)※4
	カット	リモコンまたは集中制御機器なし	※4
JP4	接続	電圧入力①	(工場 出荷時)※3
	カット	電圧入力②	※3
JP3	接続	室温として制御温度を出力	(工場 出荷時)※2
	カット	室温として吸込温度を出力	※2
JP2	接続	設定温度後押し優先	(工場 出荷時)※1
	カット	設定温度手元禁止	※1
JP1	接続	未定	(工場 出荷時)
	カット	未定	

※1：手元リモコンでの設定温度操作を後押し優先／操作禁止に切り換えます。
※2：室内温度モニターの出力を、制御で使用中の室温(暖房時シフト有りの吸込み温度またはリモコンセンサー)／吸込み温度に切り換えます。
※3：ミニシリパラを用いて設定温度の変更を行わない場合もJP4をカット(電圧固定)にしてください。
その際には、CN1の3,4番(AI±)に電圧を加えないでください。
※4：ミニシリパラをご使用する場合、リモコンまたは集中制御機器(システムコントローラーなど)をつけていただくことを基本としますが、ミニシリパラのみ(リモコンまたは集中制御機器が必要なし)でご使用したい場合には、JP5をカットしてください。ただし、ミニシリパラだけでは室内ユニットの運転動作(運転モード・風速・風向など)が制限されます。

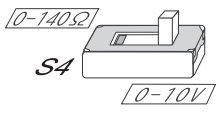
有電圧／無電圧切換スイッチ　S3



(工場出荷時)

デジタル入力部において、有電圧／無電圧の切換えを行います。

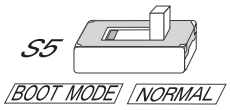
設定温度入力切換スイッチ　S4



(工場出荷時)

アナログ入力において、電圧入力／抵抗入力の切換えを行います。

ブートスイッチ　S5



(工場出荷時)

NORMAL側で固定したままご使用ください。

LED(緑)表示

LED表示	内容	対処方法
消灯	電源OFF	通信線の接続を確認してください。
3s間隔で点滅	T10(12V)接続エラー	T10接続線の接続を確認してください。T10ケーブル(付属品①)のヒューズが溶断していないことを確認してください。
1s間隔で点灯／消灯	室内ユニット警報	室内ユニットの警報を取り除いてください。
100ms間隔で点灯／消灯	初期通信、通信エラー	通信線の接続を確認してください。
点灯　※1	正常動作状態	－

※1　室内ユニットに設定データを送るとき、200ms間消灯します。

85464359930003

据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ　電磁弁出力基板(内蔵用B1形)

1. 安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠ 注意　取扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

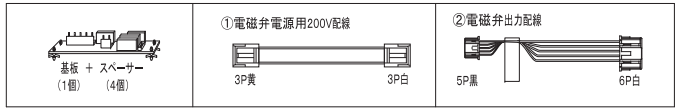
⚠ 警告

●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び"据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ"に従って施工してください。
●電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
●据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注意

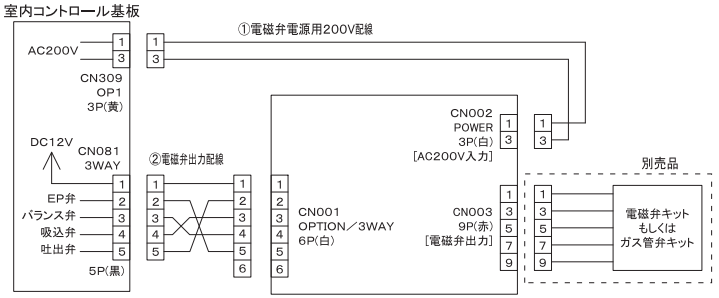
●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

2. 付属部品



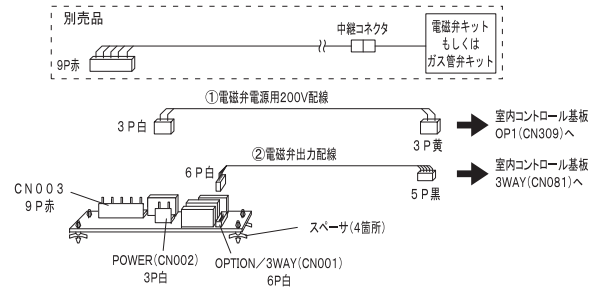
3. 配線図

・室内コントロール基板とは①電磁弁電源用200V配線および、②電磁弁出力配線で接続します。
・接続する電磁弁は電磁弁キット、もしくはガス管弁キットとなります。



4. 取り付け方法

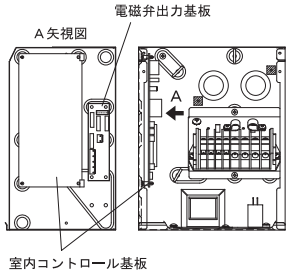
1. 室内ユニットの電装ボックスに電磁弁出力基板を取り付けます。
2. 下記手順で配線します。
・①電磁弁電源用200V配線の3P白コネクタを電磁弁出力基板のPOWER(CN002)に接続します。
・3P黄コネクタを室内コントロール基板のOP1(CN309)に接続します。
・②電磁弁出力配線の6P白コネクタを電磁弁出力基板のOPTION／3WAY(CN001)に接続します。
・5P黒コネクタを室内コントロール基板の3WAY(CN081)に接続します。
・電磁弁キットもしくはガス管弁キットからのコネクタ(9P赤)を電磁弁出力基板の9P赤コネクタ(CN003)に接続します。
3. 配線作業が終わりましたら、配線のかみ込みのないことを確認してください。



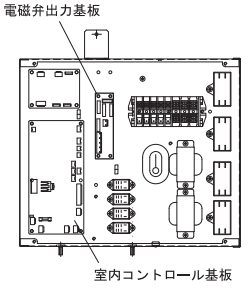
5．室内ユニットへの取り付け（代表例）

・電磁弁出力基板は電装ボックス内の取り付け穴に取り付けます。

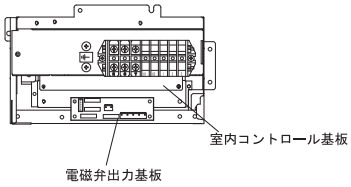
●ビルトイン形（カセット／オールダクト）



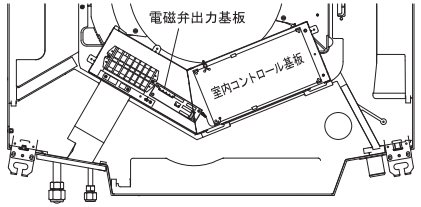
●天埋高静圧形



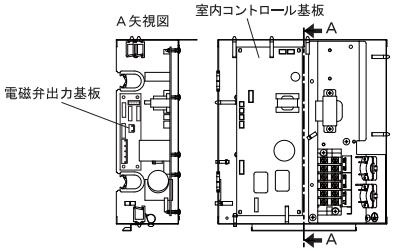
●ペリメーター用床置形／埋込形



●４方向天井カセット　Ｅ形



●ビルトインオールダクト形（４シリーズ／Ｓ２シリーズ）



信号出力基板と併用する場合

・別売品の信号出力基板と併用する場合は、信号出力基板の "据付（電気）工事およびサービス担当のかたへ" を参照してください。
また、ＡＣ２００Ｖ有電圧出力を使用する場合は、別売品のヒューズ付き配線（サービス部品コード：６２３１９３２９４３）が必要になります。

Panasonic

据付(電気)工事説明書

電磁弁出力基板 (外付け用EQ2形)

品番 **ACC-3WAY-EQ2**

- 「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「1.安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
- 「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- 接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

1.安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容(禁止事項)です。	❗ 実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

- ❗ **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- ❗ **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**(感電、火災の原因)
  - **・電気設備に関する技術基準**
  - **・内線規程**
  - **・据付(電気)工事説明書**

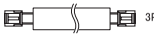
本体を据え付けるときに

- ⃠ **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- ⃠ **水洗いしない**(感電、故障の原因)
- ❗ **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- ❗ **電気工事は、室内・室外ユニットなどの配線用しゃ断器(ブレーカー)を切ってから行う**(感電の原因)
- ❗ **付属品は当社指定の部品を使用する**(製品の落下、感電、火災などの原因)
- ❗ **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- ❗ **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)

⚠注意

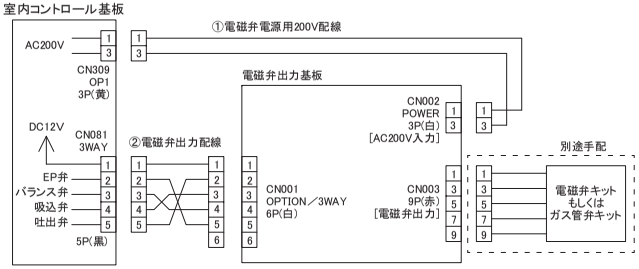
- ⃠ **次のような場所で使わない**(感電、火災などの原因)
  - **・結露するところ**
  - **・可燃性ガスなどが漏れるおそれのあるところ**
  - **・水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ**
  - **・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ**
  - **・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **・有機溶剤の飛沫するところ**
  - **・電磁波が出る機械のあるところ**
  - **・電圧変動の多いところ**
  - **・ドレン配管近くなど、水滴が落ちるようなところ**
- ⃠ **ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)
- ❗ **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

2.付属部品

電磁弁出力基板  CR-SV80A-N (1個) ＋スペーサー (4個)	オプション基板ボックス  本体 ＋ カバー (各1個)	①電磁弁電源用200V配線  3P黄 3P白	配線固定具 
取り付けネジ  トラスタッピン 4×6(2種溝なし) (2個) (オプション基板ボックスのカバー用) トラスタッピン 4×10(2種溝なし) (2個) (オプション基板ボックス取り付け用)		②電磁弁出力配線  5P黒 6P白	結束バンド (3個) 

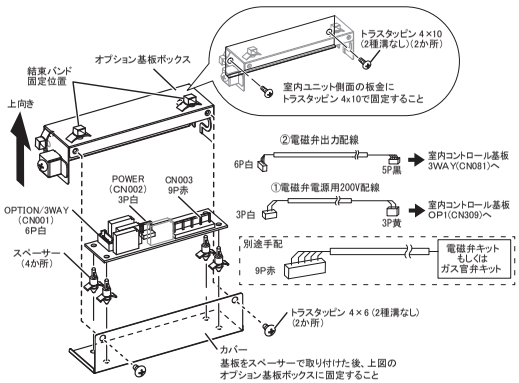
3.配線図

・室内コントロール基板と電磁弁出力基板は、付属部品の①電磁弁電源用200V配線および、②電磁弁出力配線で接続します。
・接続する電磁弁は電磁弁キット、もしくはガス管弁キットとなります。



4.取り付け方法

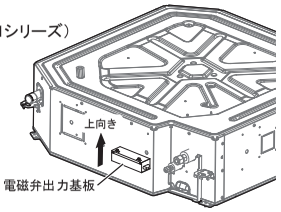
1. オプション基板ボックスを付属のトラスタッピン(4×10)で室内ユニットに取り付けます。
   注)このとき、オプション基板ボックスの向きに注意してください。
   (取付位置参照)
2. 電磁弁出力基板のスペーサーをオプション基板ボックスのカバーの穴に取り付けます。
3. 下記手順で配線します。
   ・①電磁弁電源用200V配線の3P白コネクタを電磁弁出力基板のPOWER(CN002)に接続します。
   ・3P黄コネクタを室内コントロール基板のOP1(CN309)に接続します。
   ・②電磁弁出力配線の6P白コネクタを電磁弁出力基板のOPTION／3WAY(CN001)に接続します。
   ・5P黒コネクタを室内コントロール基板の3WAY(CN081)に接続します。
   ・電磁弁キットもしくはガス管弁キットからのコネクタ(9P赤)を電磁弁出力基板の9P赤コネクタ(CN003)に接続します。
4. 配線をオプション基板ボックスの穴に通しながら付属のトラスタッピン(4×6)でオプション基板ボックスのカバーを固定します。
   注)このとき、オプション基板ボックスのカバーで配線をかみ込まないようにご注意ください。
5. ①電磁弁電源用200V配線、②電磁弁出力配線をオプション基板のボックスに付属の結束バンドで2か所固定します。
6. 配線作業が終わりましたら、配線のかみ込みのないことを確認し、結束バンドのあまりを切断してください。



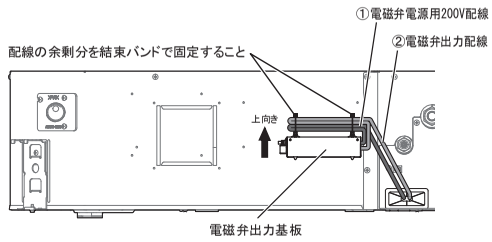
信号出力基板と併用する場合

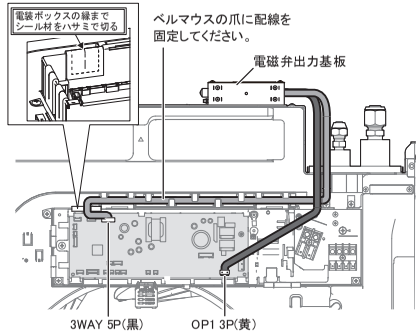
・別途手配の信号出力基板と併用する場合は、信号出力基板の据付工事説明書を参照してください。
また、AC200V有電圧出力を使用する場合は、別途手配のヒューズ付き配線(サービス部品コード:CV6231932943)が必要になります。

● 4方向天井カセット形
(VRF3シリーズ/GHP US1シリーズ)
取付位置

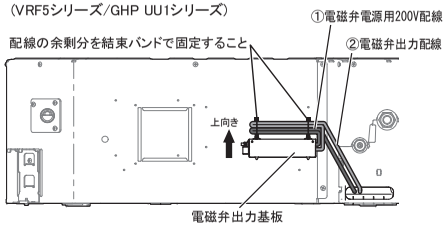


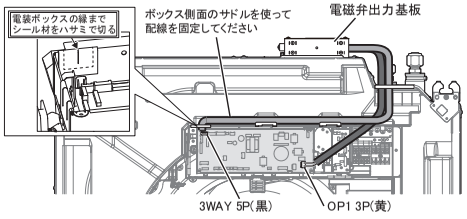
● 4方向天井カセット形(VRF4シリーズ/GHP UT1シリーズ)
取付位置





●4方向天井カセット形
(VRF5シリーズ/GHP UU1シリーズ)





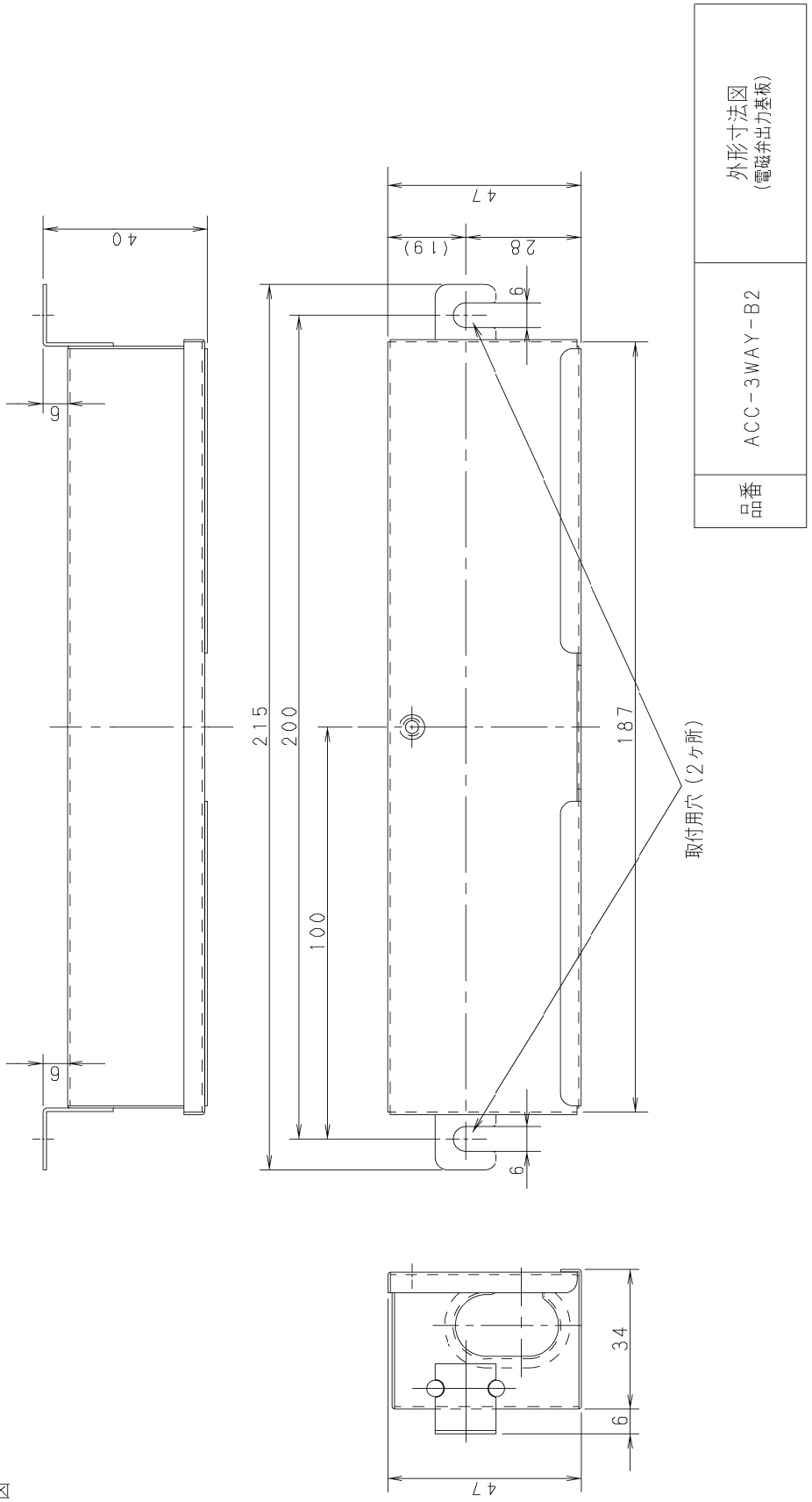
Printed in Japan
W1022-10823
ACXF60-18892
85464369256003

電磁弁出力基板 / ACC-3WAY-B2

■仕　様

品番		ACC-3WAY-B2
外形寸法	mm	(高さ) 40×(幅) 187×(奥行) 47
取付方法		室内ユニットに固定
信号出力		除霜、サーモON、冷房(ドライ)、暖房、送風
電磁弁出力		電磁弁キット、もしくはガス管弁キットと接続

■外形寸法図



Panasonic

据付（電気）工事説明書

電磁弁出力基板
品番 ACC-3WAY-B2

●「据付工事説明書（電気配線工事）」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「1.安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付工事説明書（電気配線工事）」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●「据付工事説明書（電気配線工事）」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●移設、修理の場合は「据付工事説明書（電気配線工事）」を工事担当の方へお渡しください。
●接続する機器に付属の「据付工事説明書（電気配線工事）」もあわせてご覧ください。

1.安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容（禁止事項）です。	❗ 実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

据付（電気）工事をする前に

- ❗ **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- ❗ **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**（感電、火災の原因）
  - **・電気設備に関する技術基準**
  - **・内線規程**
  - **・据付工事説明書（電気配線工事）**

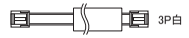
本体を据え付けるときに

- ⃠ **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- ⃠ **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- ❗ **据付工事は、「据付工事説明書（電気配線工事）」に従って行う**（感電、火災の原因）
- ❗ **電気工事は、室内・室外ユニットなどの配線用しゃ断器（ブレーカー）を切ってから行う**（感電の原因）
- ❗ **付属品は当社指定の部品を使用する**（製品の落下、感電、火災などの原因）
- ❗ **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- ❗ **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）

⚠注意

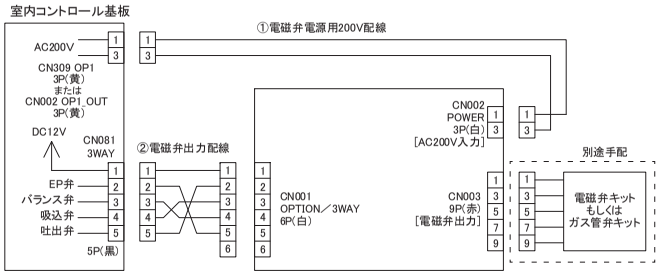
- ⃠ **次のような場所で使わない**（感電、火災などの原因）
  - **・結露するところ**
  - **・可燃性ガスなどが漏れるおそれのあるところ**
  - **・水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ**
  - **・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ**
  - **・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **・有機溶剤の飛沫するところ**
  - **・電磁波が出る機械のあるところ**
  - **・電圧変動の多いところ**
  - **・ドレン配管近くなど、水滴が落ちるようなところ**
- ⃠ **ぬれた手で操作しない**（感電、故障の原因）
- ❗ **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

2.付属部品

電磁弁出力基板  基板（1個）＋スペーサー（4個）	①電磁弁電源用200V配線  3P黄 3P白
オプション基板ボックス  本体＋蓋（各1個）	②電磁弁出力配線  5P黒 6P白
取り付けネジ  ナベネジ M4×4 （1個）（オプション基板ボックスの蓋用） トラスタッピン 4×10（2種溝なし）（2個）（オプション基板ボックス取り付け用）	配線固定具 

3.配線図

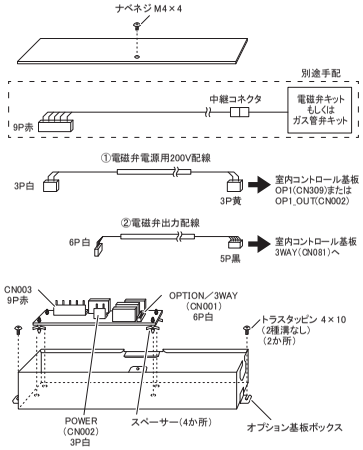
・室内コントロール基板と電磁弁出力基板は、付属部品の①電磁弁電源用200V配線および、②電磁弁出力配線で接続します。
・接続する電磁弁は電磁弁キット、もしくはガス管弁キットとなります。



4.取り付け方法

人が容易に触れないところに取り付けてください。

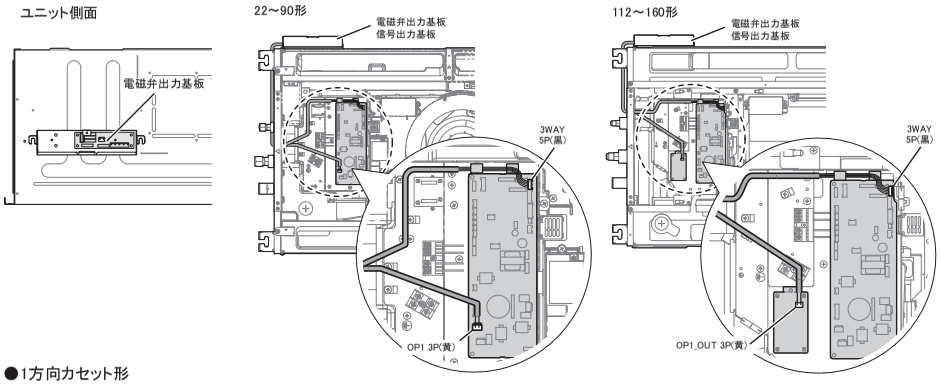
1. 電磁弁出力基板を下記手順でオプション基板ボックスに取り付けます。
   ・基板のスペーサーをオプション基板ボックスの底の穴に取り付けます。
   注）このとき、電磁弁出力基板の向きに注意してください。
   （右図参照）
   ・オプション基板ボックスを付属のトラスタッピン（4×10）で室内ユニットに取り付けます。
2. 下記手順で配線します。
   ・①電磁弁電源用200V配線の3P白コネクタを電磁弁出力基板のPOWER（CN002）に接続します。
   ・3P黄コネクタを室内コントロール基板のOP1（CN309）またはOP1_OUT（CN002）に接続します。
   ・②電磁弁出力配線の6P白コネクタを電磁弁出力基板のOPTION／3WAY（CN001）に接続します。
   ・5P黒コネクタを室内コントロール基板の3WAY（CN81）に接続します。
   ・電磁弁キットもしくはガス管弁キットからのコネクタ（9P赤）を電磁弁出力基板の9P赤コネクタ（CN003）に接続します。
3. 配線が完了したら付属のナベネジ（M4×4）でオプション基板ボックスの蓋を固定します。
   注）このとき、オプション基板ボックスの蓋で配線をかみ込まないようにご注意ください。



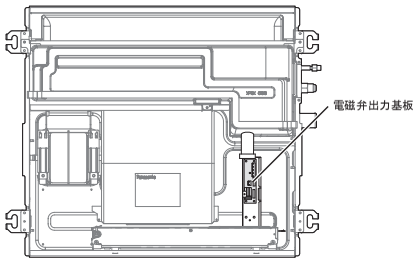
5.室内ユニットへの取り付け（代表例）

下記に記載の無い場合は室内ユニットに同梱の据付工事説明書をご確認ください。どちらにも取り付け方法の記載がない場合は本体の運転に支障がないよう室内ユニット本体の近傍に配置してください。

●2方向天井カセット形



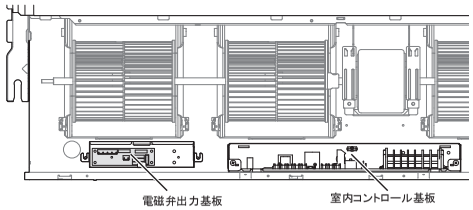
●1方向カセット形



5.室内ユニットへの取り付け（代表例）

●天井吊形

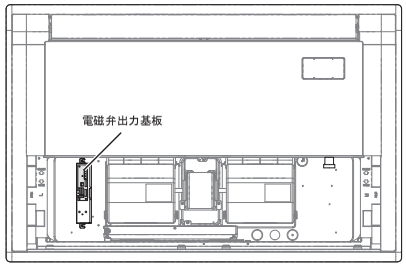
71～160形ユニット天面（下図は80形の例）



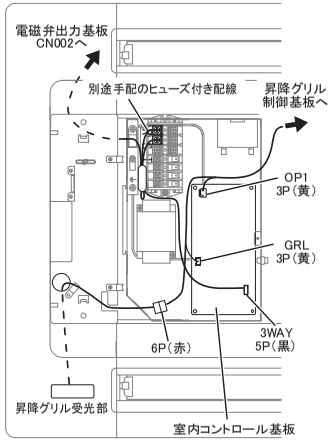
36～56形ユニット側面



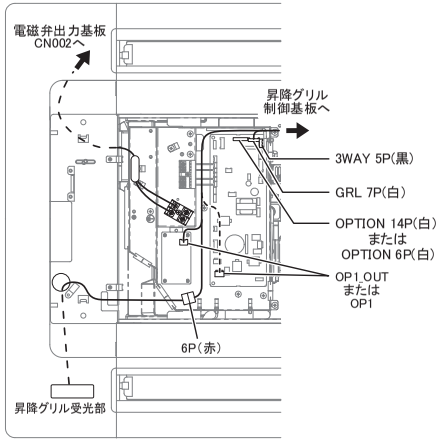
●高天井1方向カセット形



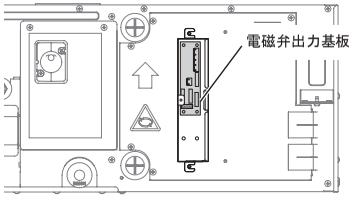
・(参考)GHP LS1シリーズ

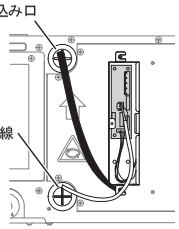


・(参考)GHP LU1シリーズ



●天井ビルトインカセット形
ユニット側面





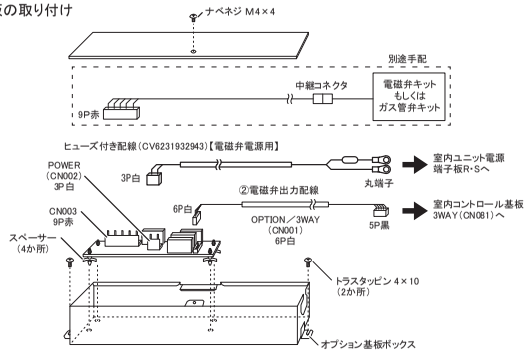
信号出力基板と併用する場合

・別途手配の信号出力基板と併用する場合は、信号出力基板の“据付工事説明書（電気配線工事）”を参照してください。
また、AC200V有電圧出力を使用する場合は、別途手配のヒューズ付き配線(サービス部品コード：CV6231932943)が必要になります。

2方向昇降グリルと併用する場合

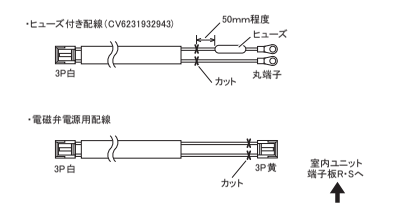
昇降グリルは室内コントロール基板の電源コネクタ（OP1 3P(黄)またはOP1_OUT 3P(黄)）を使用しますので、
①電磁弁電源用200V配線を別途手配のヒューズ付き配線（サービス部品コード：CV6231932943)に交換してください。

・電磁弁出力基板の取り付け

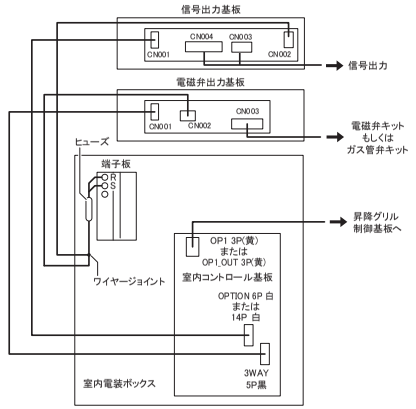


2方向昇降グリルと信号出力基板（AC200V有電圧出力）を併用する場合

別途手配のヒューズ付き配線（サービス部品コード：CV6231932943)と電磁弁電源用配線をカットして、ワイヤージョイント（現地調達）で接続してください。信号出力基板に同梱されている有電圧出力用200V配線は使用しません。



専用図（昇降グリルの配線は一部省略）



※ワイヤージョイントは電装ボックス内に収めてください。

Printed in Japan
W0320-20823
ACXF60-18823
85464359931004

85464369586001

据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ　電磁弁出力基板(壁掛形用) ACC−3WAY−EK

1. 安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠ 注意　取扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

⚠ 警告

- ●据付、電気工事は、販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- ●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び"据付(電気)工事およびサービス担当のかたへ"に従って施工してください。
- ●電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- ●据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- ●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- ●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

- ●CS-P28～71K4U、S-G28～71KT1機種に接続する場合は、アース工事(D種接地工事)を行ってください。
  (電気工事士の資格のある方が行ってください。)
  ※アース端子は電磁弁出力基板の電装ボックス内部にあります。

⚠ 注意

- ●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

2. 使用部品

2-1. 使用区分

	対象機種	付属部品	取り付け方法
1	CS-P56,71K4U、S-G56,71KT1	①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑦	3, 4参照
	CS-P28～45K4U、S-G28～45KT1		3, 5参照
2 ※	CS-P28～56K3U	⑧, ⑨, ⑩, ⑪	6参照
	S-G28～71KS1		

※ 2の機種に使用する場合は、①電磁弁基板ボックスから基板とスペーサー4個を取りはずし、⑧基板取付板に取り付けてご使用ください。(詳細は6-2-1参照)

2-2. 付属部品

①電磁弁基板ボックス　本体+基板+蓋(各1個) スペーサー4個	⑧基板取付板
②電磁弁電源用200V配線(1.5m) ※ 3P黄 3P白	⑨電磁弁電源用200V配線 3P黄 3P白
③電磁弁出力配線(1.5m) ※ 5P黒 6P白	⑩電磁弁出力配線 5P黒 6P白
④ネジ M4×4 1個(蓋用)	⑪電磁弁キット接続配線 6P黄 9P赤
⑤ネジ M4×16 2個(ボックス固定用)	
⑥結束クランパー 小 4本	※延長が必要な場合は5mのサービスパーツを使用ください。 サービスパーツ部品コード ・電磁弁電源用200V配線(5m)／CV7010000355 ・電磁弁出力配線(5m)／CV7010000356
⑦結束クランパー 大 1本	

3. 電磁弁基板ボックス取り付け方法

＜対象機種：CS-P28～71K4U、S-G28～71KT1＞

3-1. 配線図

・室内コントロール基板への配線の接続は、付属部品の②電磁弁電源用200V配線および、③電磁弁出力配線で接続します。
・接続する電磁弁は電磁弁キットとなります。

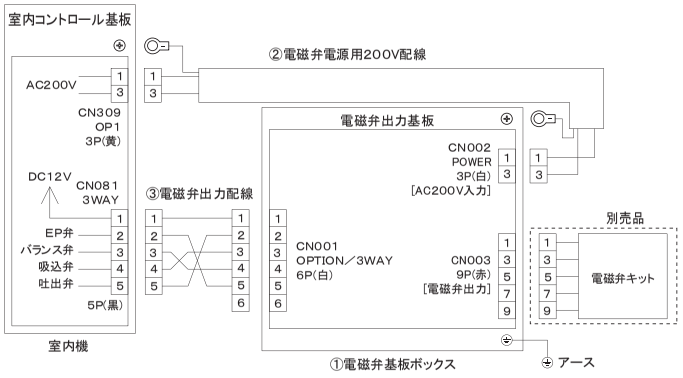


図 1

3-2. 推奨取り付け位置

・推奨取り付け位置は天井裏または壁の裏など。(図2)
※サービスできる所に取り付けてください。

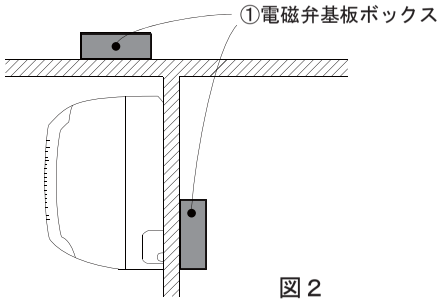


図 2

3-3. 電磁弁出力基板配線

・次のように配線してください。(図3)

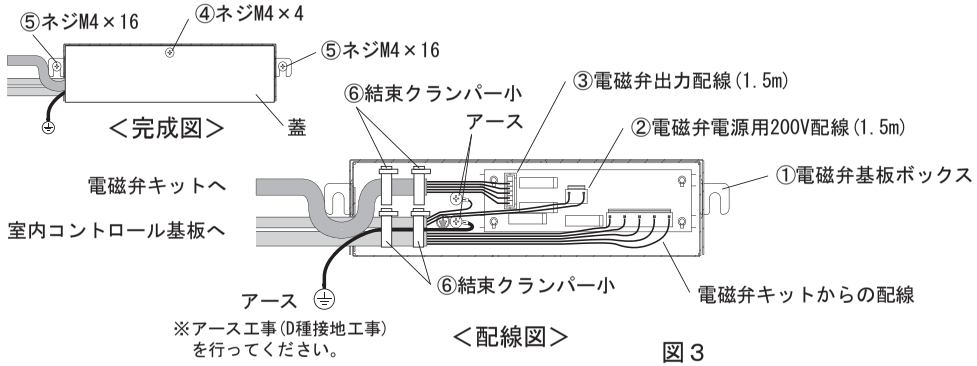


図 3

4. 室内機側取り付け方法

＜対象機種：CS-P28～45K4U、S-G28～45KT1＞

4-1. グリルの取りはずしかた

・フラップを開けて、2箇所のネジカバーを開きネジをはずします。(図4)

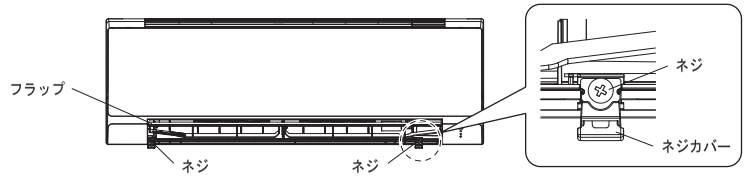


図４

・爪をはずし、グリルの両端を持ちグリルを引き上げるようにしてはずします。(図5)

・電装カバーをはずします。(図5)

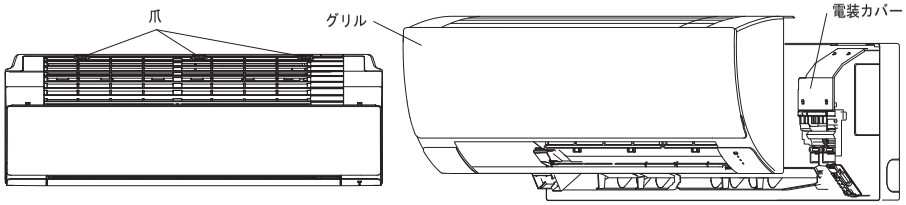


図５

4-2. 配線

電磁弁出力基板の配線処理は、グリルをはずし、電装カバーと端子板固定板をはずして作業します。

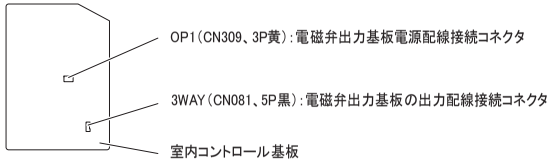


図６

手順1.図7～9を参考に配線を引き回してください。

手順2.電磁弁出力基板は、室内コントロール基板OP1、3WAYに接続しアースをネジ締めして配線処理してください。

手順3.電磁弁出力基板電源配線へ付属部品の⑦結束クランパー大を図9の位置で結束してください。

結束クランパーの頭部が筐体ヘリにあたることで配線の抜けをふせぎます。

手順4.はずしたものを組み立てて、元の状態に戻してください。

図７

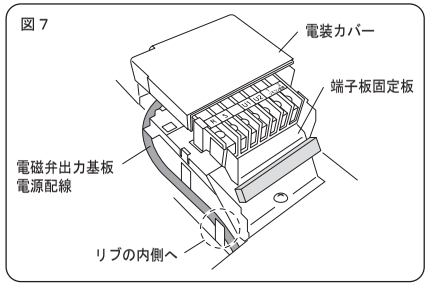


図８

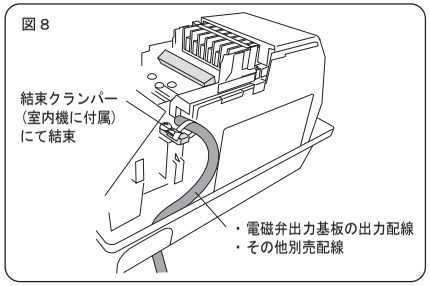
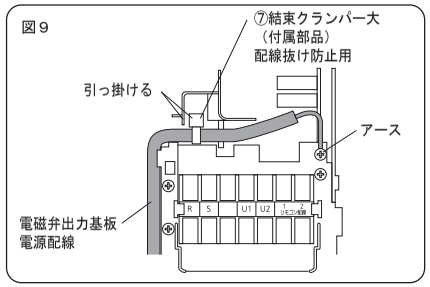


図９



5. 室内機側取り付け方法

＜対象機種：CS-P56,71K4U、S-G56,71KT1＞

5-1. グリルの取りはずしかた

・前パネルを開けてネジをはずします。(図10)

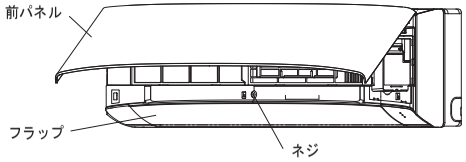


図１０

・フラップを開けて、3箇所のネジカバーを開きネジをはずします。(図11)

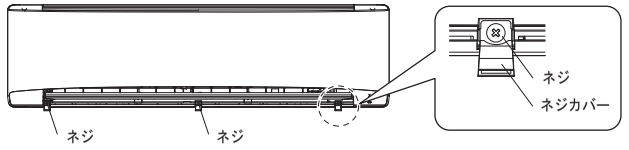


図１１

・爪をはずし、グリルの両端を持ちグリルを引き上げるようにしてはずします。(図12)

・電装カバーをはずします。(図12)

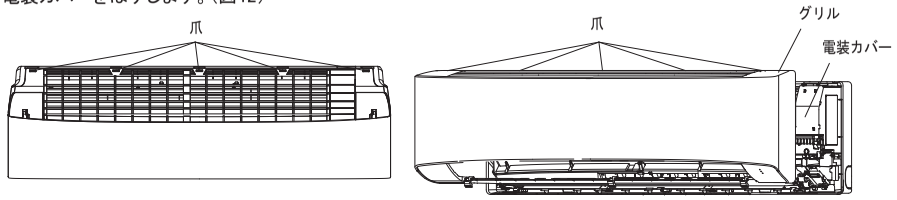


図１２

5-2. 配線

電磁弁出力基板の配線処理は、グリルをはずし、電装カバーと端子板固定板をはずして作業します。

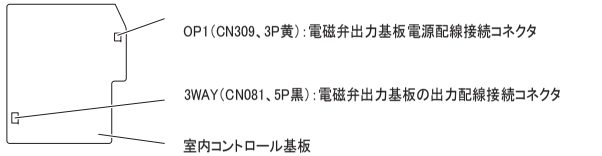


図１３

手順1.図14を参考に配線を引き回してください。
手順2.電磁弁出力基板は、室内コントロール基板OP1、3WAYに接続し、付属部品の⑦結束クランパー大または室内機に付属の結束クランパーで結束してください。その後、図15の通りアースをネジ締めして配線処理してください。
手順3.はずしたものを組み立てて、元の状態に戻してください。

図１４

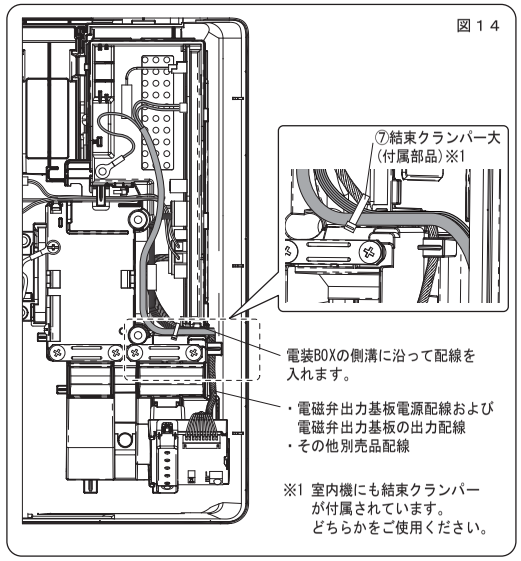
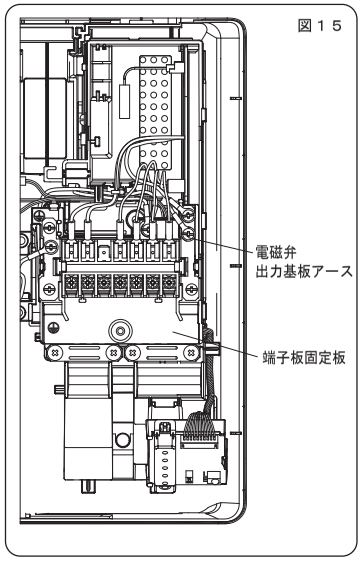


図１５

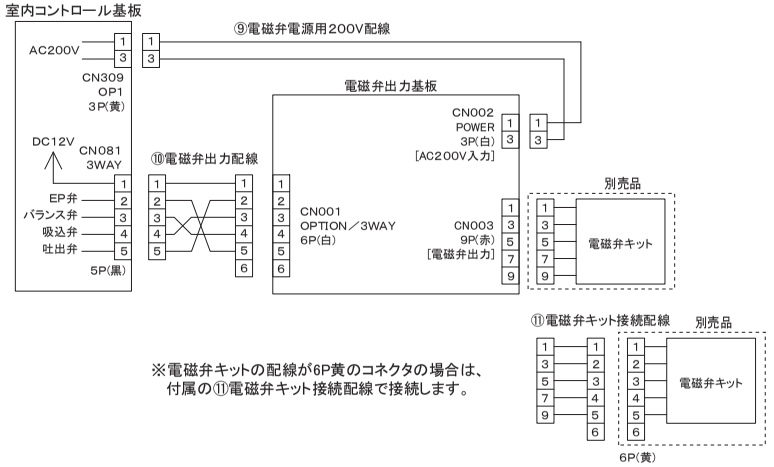


6. 電磁弁基板ボックス取り付け方法

＜対象機種:CS-P28～56K3U、S-G28～71KS1＞

6-1. 配線図

・室内コントロール基板への配線の接続は、付属部品の⑨電磁弁電源用200V配線および、⑩電磁弁出力配線で接続します。
・接続する電磁弁は電磁弁キットとなります。
※電磁弁キットの配線が6P黄のコネクタの場合は、付属部品の⑪電磁弁キット接続配線で接続します。



※電磁弁キットの配線が6P黄のコネクタの場合は、
付属の⑪電磁弁キット接続配線で接続します。

図１６

6-2. 電磁弁出力基板取り付け

6-2-1. 電磁弁出力基板準備

・付属部品の①電磁弁基板ボックスから基板とスペーサー4個を取りはずします。(図17)

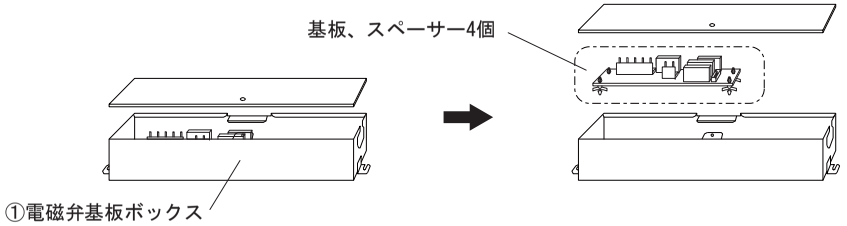


図１７

・取りはずした基板とスペーサーを付属部品の⑧基板取付板に取り付けます。(図18)



図１８

6-2-2. グリルの取りはずしかた
・グリル下部にある2箇所のネジカバーをはずし、前パネルを開いてください。(図19)
・6箇所のネジをはずします。(図19)
・カバープレートをはずします。(図19)
・下フラップをたるませて軸を抜いてはずします。(図20)

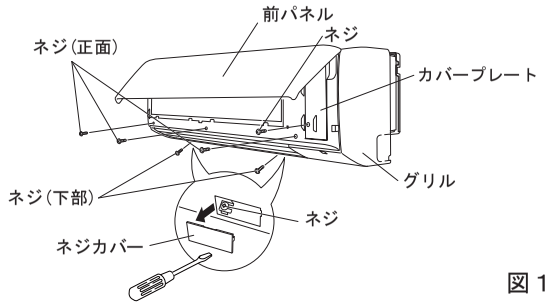


図１９

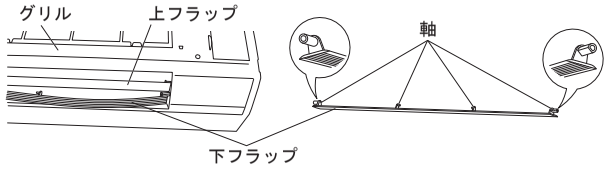


図２０

・グリルの両端を持ち、引き上げるようにしてはずします。(図21)
・電装カバーをはずします。(図22)

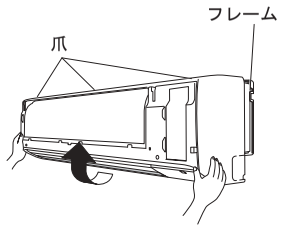


図２１

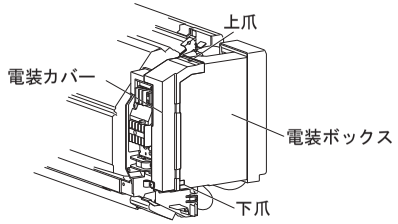


図２２

6-2-3. 基板の取り付けかた
・室内コントロール基板からコネクタCN033(白), CN103(緑), CN102(赤),
CN100(白), CN082(白), CN104(橙)をはずし、室内コントロール基板を引き出します。(図23)
※室内コントロール基板を動かすときは、室内コントロール基板固定用の爪を持ち上げてください。(図24)
・付属部品の⑨電磁弁電源用200V配線の3Pコネクタ(黄)を
室内コントロール基板のOP1コネクタCN309(黄)に接続します。(図23)
・付属部品の⑩電磁弁出力配線の5Pコネクタ(黒)を
室内コントロール基板の3WAYコネクタCN081(黒)に接続します。(図23)
・室内コントロール基板からはずしたコネクタを接続し室内コントロール基板をもどします。(図23)
※コネクタの付け忘れにご注意ください。

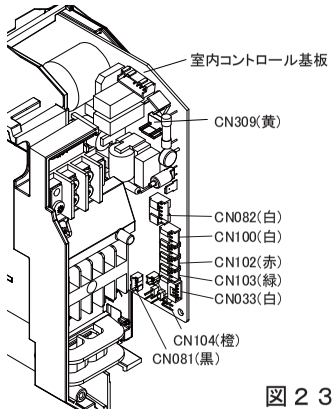


図２３

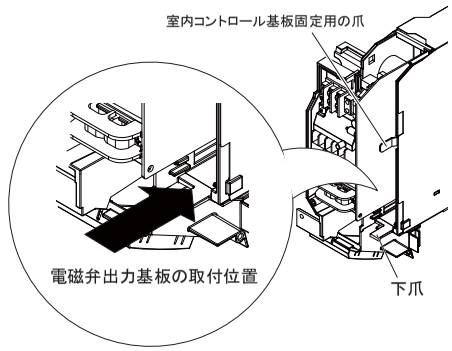


図２４

・電磁弁キットの配線のコネクタにより接続が異なります。(図25)
(1)電磁弁キットの配線が9Pコネクタ(赤)の場合は、電磁弁出力基板の9PコネクタCN003(赤)に接続します。
(2)電磁弁キットの配線が6Pコネクタ(黄)の場合は、付属部品の⑪電磁弁キット接続配線に接続し、
電磁弁出力基板の9PコネクタCN003(赤)に接続します。
・付属部品の⑨電磁弁電源用200V配線の3Pコネクタ(白)を
電磁弁出力基板のPOWERコネクタCN002(白)に接続します。(図25)
・付属部品の⑩電磁弁出力配線の6Pコネクタ(白)を
電磁弁出力基板の3WAYコネクタCN001(白)に接続します。(図25)
・電磁弁出力基板を取付位置へ押し込みます。(図24)
※電磁弁出力基板の向きにご注意ください。(図25)
・上記(2)の場合、電磁弁キットからの配線を付属部品の⑪電磁弁キット接続配線の6Pコネクタ(黄)に接続します。(図25,26)
・電装カバーの上爪を電装ボックスに引っかけてから下爪を取り付けます。(図22,24)
※配線をかみ込まないようにご注意ください。

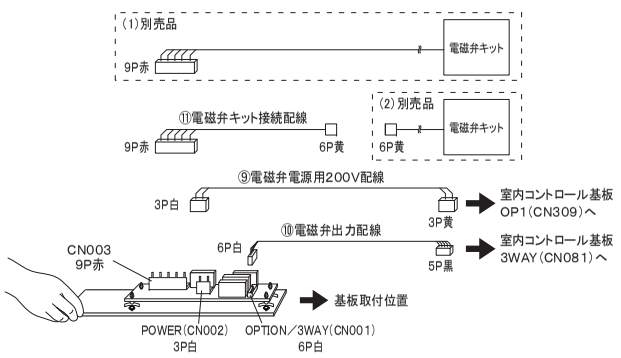


図２５

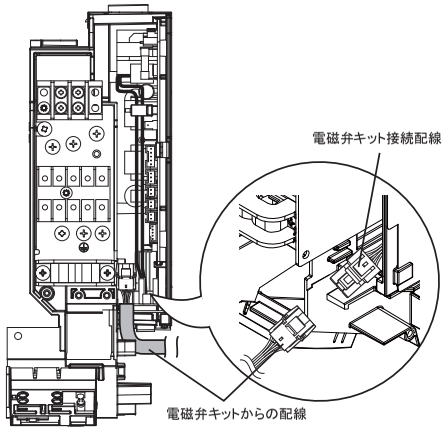


図２６

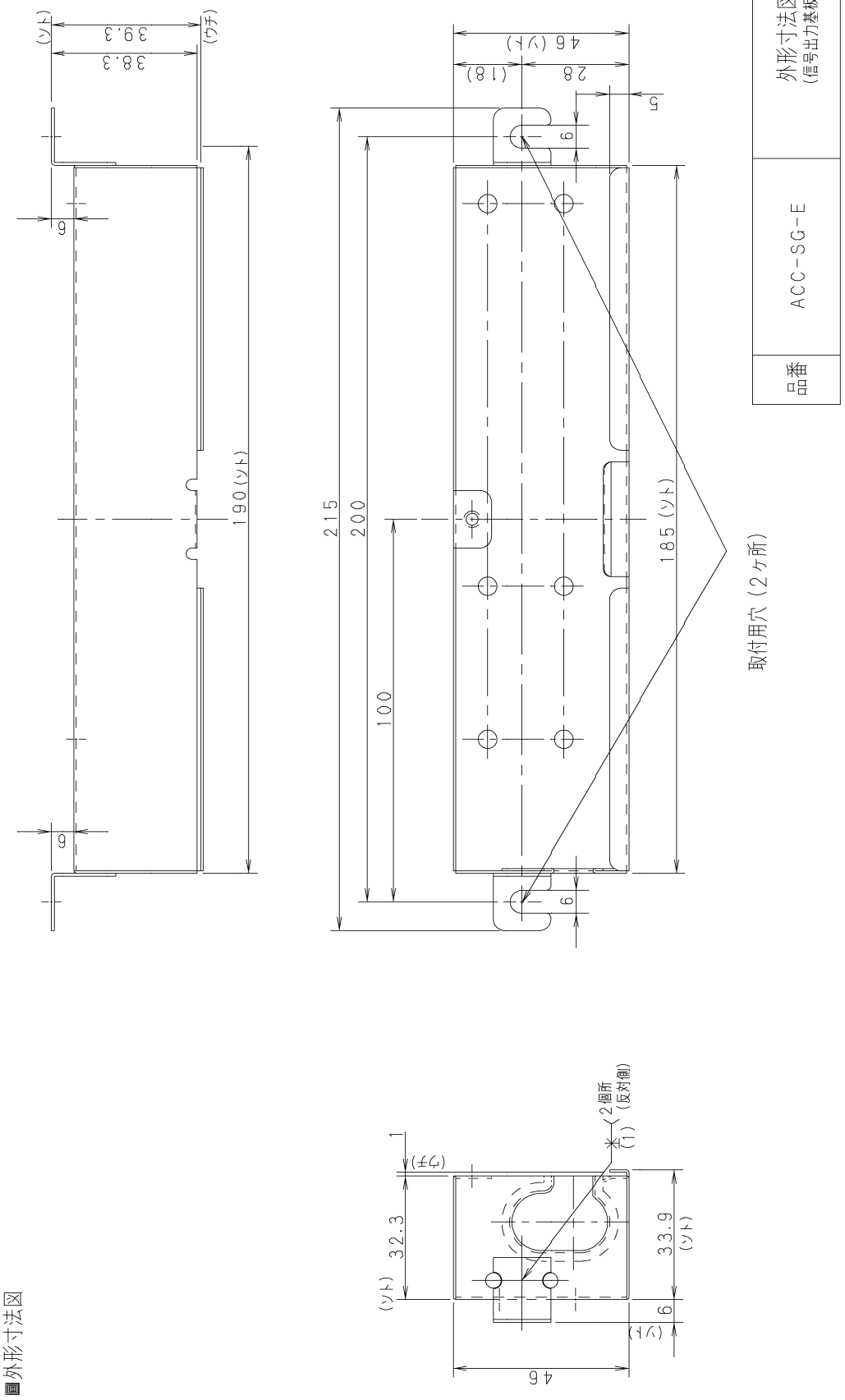
6-2-4. グリルの取り付けかた
・フレーム上部の3箇所の爪をグリルに固定させ、グリルを取り付けます。(図21)
・グリル全体を元の位置まで押し込んで、ネジ(6箇所)とネジカバー(2箇所)を取り付けます。(図19)
※ネジ(正面)の取り付けは、電装ボックス側から順に取り付けてください。
・下フラップをたるませながら、軸をグリルの溝に合わせて取り付けます。(図20)
・吸込みグリルを閉じます。(図19)

信号出力基板 / ACC-SG-E

■仕　様

品番		ACC-SG-E
外形寸法	mm	(高さ) 39.3×(幅) 185×(奥行) 46
取付方法		室内ユニットに固定
信号出力		除霜、サーモON、冷房(ドライ)、暖房、送風

■外形寸法図



Panasonic

据付(電気)工事説明書

信号出力基板
品番 ACC-SG-E

●「据付工事説明書(電気配線工事)」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「1.安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付工事説明書(電気配線工事)」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
●「据付工事説明書(電気配線工事)」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●移設、修理の場合は「据付工事説明書(電気配線工事)」を工事担当の方へお渡しください。
●接続する機器に付属の「据付工事説明書(電気配線工事)」もあわせてご覧ください。

1.安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容(禁止事項)です。	❗ 実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

❗ **● 据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
❗ **● 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**(感電、火災の原因)
・電気設備に関する技術基準
・内線規程
・据付工事説明書(電気配線工事)

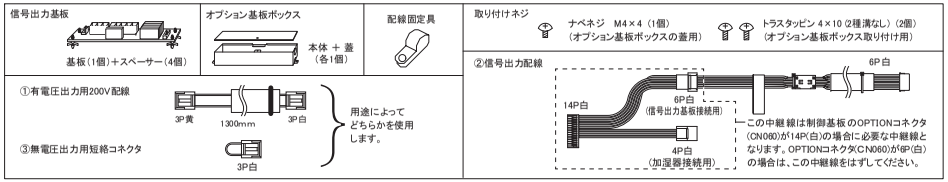
本体を据え付けるときに

⃠ **● 分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
⃠ **● 水洗いしない**(感電、故障の原因)
❗ **● 据付工事は、「据付工事説明書(電気配線工事)」に従って行う**(感電、火災の原因)
❗ **● 電気工事は、室内・室外ユニットなどの配線用しゃ断器(ブレーカー)を切ってから行う**(感電の原因)
❗ **● 付属品は当社指定の部品を使用する**(製品の落下、感電、火災などの原因)
❗ **● 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
❗ **● 配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)

⚠注意

⃠ **● 次のような場所で使わない**(感電、火災などの原因)
・結露するところ
・可燃性ガスなどが漏れるおそれのあるところ
・水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
・有機溶剤の飛沫するところ
・電磁波が出る機械のあるところ
・電圧変動の多いところ
・ドレン配管近くなど、水滴が落ちるようなところ
⃠ **● ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)
❗ **● 電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

2.付属部品

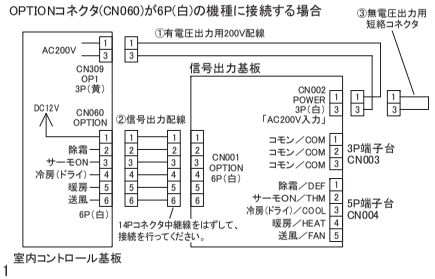


3.配線図

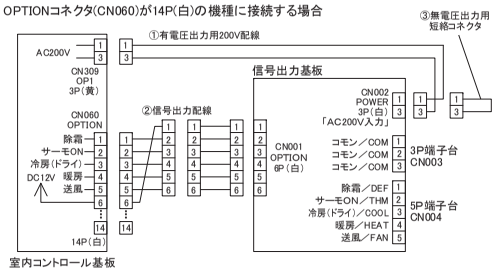
・室内コントロール基板とは、付属部品の②信号出力配線で接続します。
・有電圧200V出力を使用する場合は、室内コントロール基板と信号出力基板を①有電圧出力用200V配線で接続します。(この場合、③無電圧出力用短絡コネクタは使用しません。)
・無電圧出力を使用する場合は、信号出力基板に③無電圧出力用短絡コネクタを接続します。(この場合、①有電圧出力用200V配線は使用しません。)
・接続に関しては、「5. 信号の取り出しかた」をご参照ください。

※電磁弁出力基板を併用する場合は、裏面をご覧ください。

OPTIONコネクタ(CN060)が6P(白)の機種に接続する場合



OPTIONコネクタ(CN060)が14P(白)の機種に接続する場合

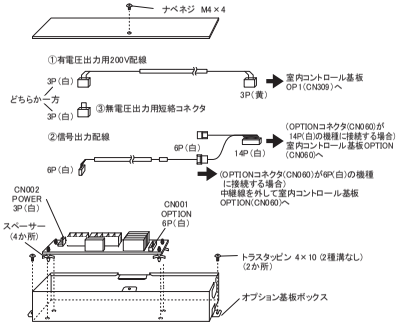


4.取り付け方法

人が容易に触れないところに取り付けてください。

1. オプション基板ボックスへの信号出力基板取り付け手順
・信号出力基板のスペーサーをオプション基板ボックスの底の穴に取り付けます。
注)信号出力基板の向きに注意してください。(右図参照)
・オプション基板ボックスを付属のトラスタッピン(4×10)で室内ユニットに取り付けます。
「6. 室内ユニットへの取り付け(代表例)」を参照してください。
2. 下記手順で配線します。
・「3.配線図」と「6.室内ユニットへの取り付け(代表例)」を参考に、②信号出力配線の6P白または14P白コネクタを、信号出力基板のOPTION(CN001)と室内コントロール基板のOPTION(CN060)に接続します。
・無電圧信号を使用する場合、③無電圧出力用短絡コネクタを信号出力基板のPOWER(CN002)に接続します。
・有電圧200V信号を使用する場合、①有電圧出力用200V配線の3P白コネクタを信号出力基板のPOWER(CN002)に、3P黄色コネクタを室内コントロール基板のOP1(CN309)にそれぞれ接続します。
3. 配線が完了したら付属のナベネジ(M4×4)でオプション基板ボックスの蓋を固定します。
注)オプション基板ボックスの蓋で配線をかみ込まないように注意してください。

⚠注意 ③無電圧出力用短絡コネクタを信号出力基板のCN002以外に接続しないでください。
室内コントロール基板の空きコネクタの中にAC200V出力しているものがあり、間違って接続すると基板を破壊する恐れがあります。

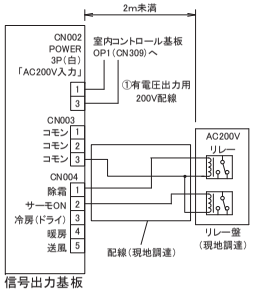


5.信号の取り出しかた

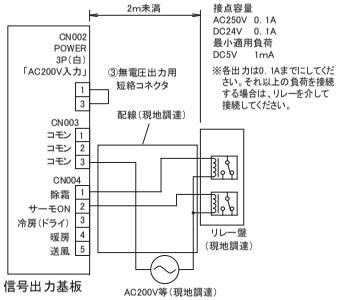
・取り出せる信号は、除霜/サーモON/冷房(ドライ)/暖房/送風の5種類です。
注)各信号は室内ユニットの運転時に出力されます。
・5P端子台とリレー盤(現地調達)等を配線で接続してください。

⚠注意
・誤配線のないように注意してください。
・信号出力基板とリレー盤の距離は2m未満にしてください。

接続例(有電圧200V出力)
・除霜、サーモON信号を使用



接続例(無電圧出力)[または、電磁弁出力基板併用時]
・除霜、サーモON信号を使用

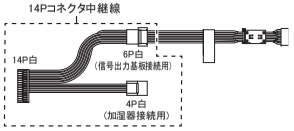


※3P端子台(CN003)の1, 2, 3は、基板内でつながっていますので どこに接続しても構いません。

6.室内ユニットへの取り付け (代表例)

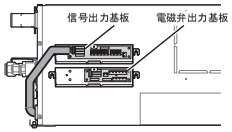
・4方向天井カセット形以外の機種において、信号出力基板と電磁弁出力基板を併用する場合、取り付け場所は下記に合わせてください。
・下記に記載の無い場合は、室内ユニットに同梱の据付工事説明書をご確認ください。どちらにも取り付け方法の記載がない場合は、本体の運転に支障がないよう室内ユニット本体の近傍に配置してください。

・OPTIONコネクタ(CN060)が14P(白)の機種以外に接続する場合、14Pコネクタ中継線をはずして室内ユニットに取り付けてください。

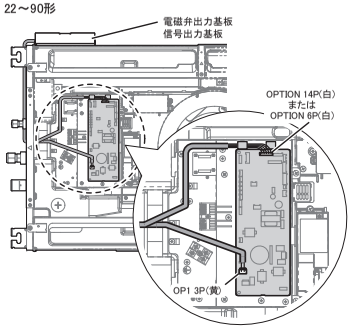


●2方向天井カセット形

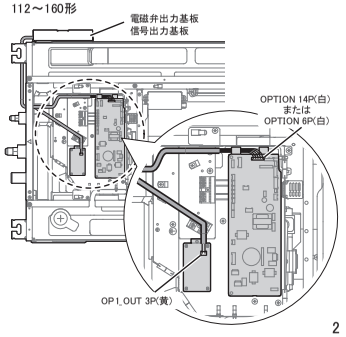
ユニット側面



22～90形



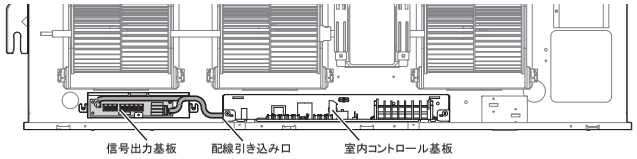
112～160形



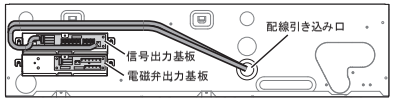
6.室内ユニットへの取り付け（代表例）

●天井吊形
（GHP TS1シリーズ）

71～160形ユニット天面
（右図は80形の例）



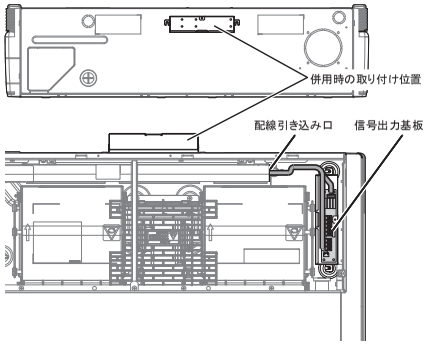
36～56形ユニット側面



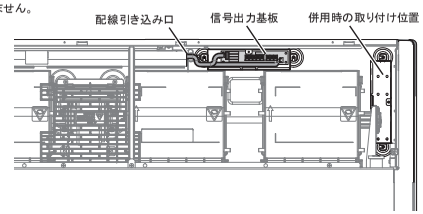
●天井吊形(GHP TT1シリーズ)

※電磁弁出力基板等と併用するため取り付け穴は2か所あります。
※36～56形の室内ユニットの背面を壁際へ取り付けた場合、電磁弁出力基板等と併用することはできません。

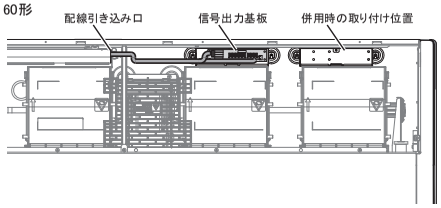
・36～56形



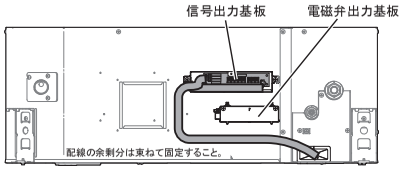
・63～90形

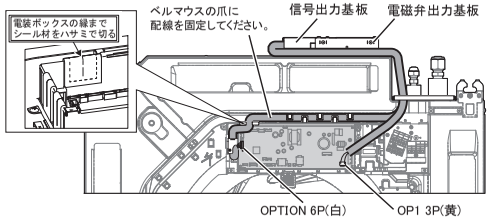


・112～160形

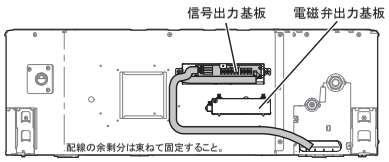


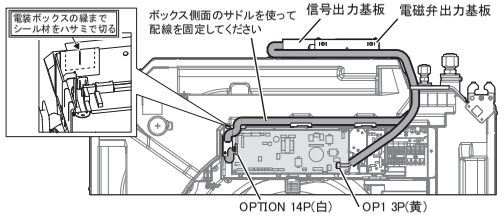
●4方向天井カセット形
（GHP UT1シリーズ）



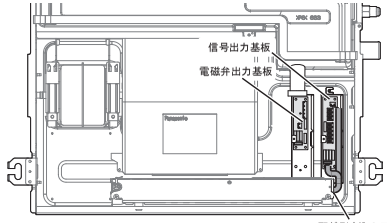


●4方向天井カセット形
（GHP UU1シリーズ）

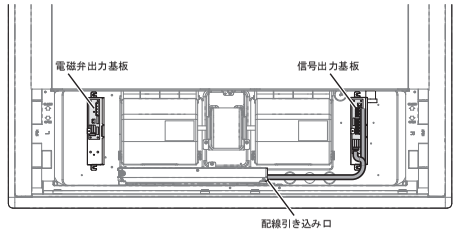




●1方向天井カセット形



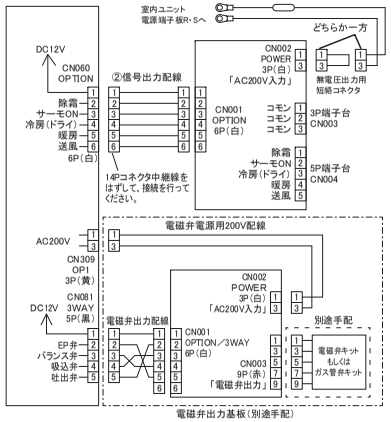
●高天井1方向カセット形



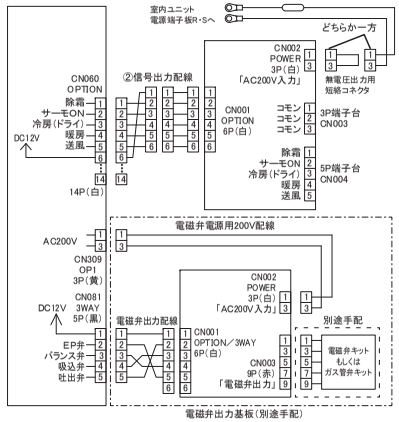
●電磁弁出力基板と併用する場合

・別途手配の電磁弁出力基板と併用する場合は、下図のとおり接続します。
・AC200V有電圧出力を使用する場合は、別途手配のヒューズ付き配線（サービス部品コード：CV6231932943）を接続します。

OPTIONコネクタ(CN060)が6P(白)の機種に接続する場合



OPTIONコネクタ(CN060)が14P(白)の機種に接続する場合

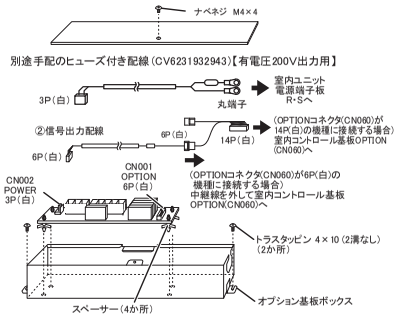


OPTIONコネクタ(CN060)が14P(白)の機種以外に接続する場合、14Pコネクタ中継線をはずして室内ユニットに取り付けてください。

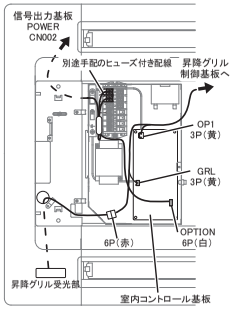
●AC200V有電圧出力と2方向室内ユニット用昇降グリルを併用する場合

昇降グリルは室内コントロール基板の電源コネクタ(OP1：3P黄色)を使用しますので、信号出力基板の配線を
①有電圧出力用200V配線を別途手配のヒューズ付き配線(サービス部品コード：CV6231932943)に交換してください。

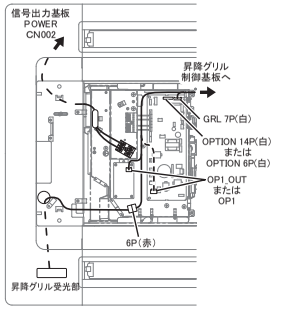
・信号出力基板の取り付け



・(参考)GHP LS1シリーズ



・(参考)GHP LU1シリーズ



Printed in Japan
W0320-30823
ACXF60-29404
85464369251006

7. 送風信号の取り出しかた

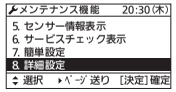
・送風信号の取り出し方が選択できます。
以下の方法でご確認の上、設定を行ってください。
※機種によっては本機能がないもの(一部機能が制限されるもの)があります。

●ワイヤードリモコン CZ-10RT4シリーズ をご使用のとき



ご使用の用途に応じた設定データを表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
[詳細設定画面]が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNo.を変更してください。
このとき、選択された室内ユニットから送風します。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「3D」に変更してください。
◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、決定 ボタンを押してください。
④ ◄ / ► ボタンでユニットNo.を選択後、戻る ボタンを押してください。
[詳細設定終了画面]が表示されます。
「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。

①メンテナンス機能画面



②詳細設定画面

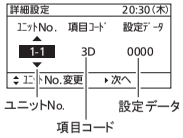
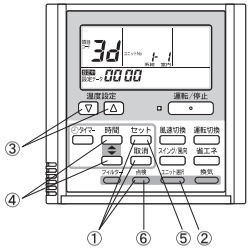


表1 項目コード3D/3d「送風出力切替」

項目	設定データ0000～0002が選択できる場合	設定データ0000～0001が選択できる場合
送風出力切り替え	0000 = ファン連動出力 （室内FAN動作中にON）	0000 = ファン連動出力 （室内FAN動作中にON）
	0001 = 送風モード運転出力	0001 = 送風モード運転出力
	0002 = ファン連動出力2 （内部クリーン/内部乾燥中は出力しません）	

●ワイヤードリモコン CZ-10RT3 をご使用のとき



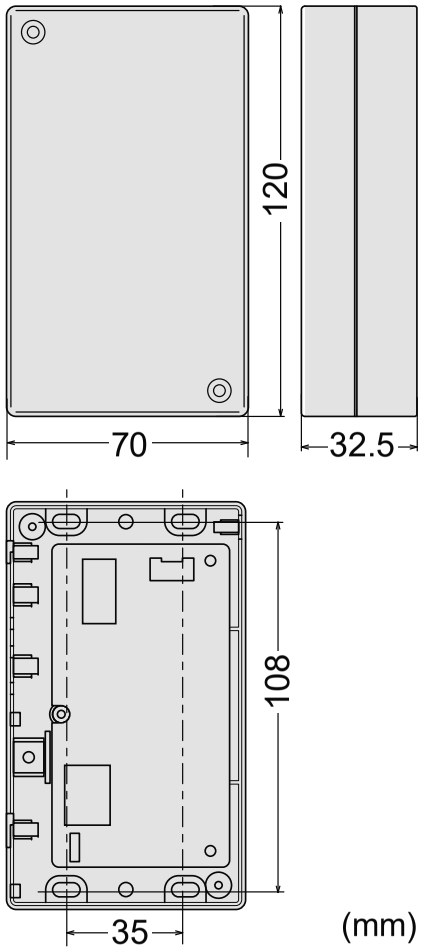
ご使用の用途に応じた設定データを表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
① 点検 + セット + 取消 ボタンを同時に4秒間以上押します。
② ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択された室内ユニットから送風します。
③ 温度設定 ▽ / △ ボタンで項目コード「3d」を指定します。
④ 時間 ▼ / ▲ ボタンで設定データを変更します。
⑤ セット ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変われば設定完了です)
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑥ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

Printed in Japan
W0320-30823
ACXF60-29404
85464369251006

仕様

品番	CZ-CAPR1
外形寸法	（高さ）120 mm×（幅）70 mm×（奥行き）32.5 mm
質量	100 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 %～80 %（結露なきこと） 屋内設置専用
電源	DC 5 V（ルームエアコンより供給）

外形寸法



品番	CZ-CAPR1	外形寸法図 （RAC ローカル アダプター）

Panasonic®

取扱説明書
RAC ローカル アダプター
品番 CZ-CAPR1



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 本書は RAC ローカル アダプターの取扱説明書です。
  集中制御機器とルームエアコンの取扱説明書をあわせてお読みください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、集中制御機器とルームエアコンの取扱説明書とともに大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容（禁止事項）です。	❗ 実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗ 必ず守る

●異常・故障時には直ちに使用を中止し、ルームエアコンの電源プラグを抜く
（発煙・発火、感電のおそれがあります）

異常・故障例
- こげ臭いにおいがする。
- 内部に水や異物が入った。
  ⇒すぐに販売店へ点検・修理を依頼してください。

Printed in Japan
H0716-30423
ACXF55-12513
85464609357010

⚠ 警告

必ず守る

● **据え付けは、必ずお買い上げの販売店または専門業者に依頼する**
（感電、発火の原因になります）

● **ルームエアコンが見えない位置からのご利用時は、集中制御機器などで、こまめに設定内容や運転状況を確認する**
(急激な外気温・室温の変化などにより、体調悪化の原因になります)
・対人専用冷暖房装置として、使用してください。
・食品・動植物・精密機器・美術品等の保存等の特殊用途には使用できません。
・人などが死亡、重傷を負ったり、財産の損害が発生したりするおそれがあります。

● **ルームエアコンの電源プラグが確実に差し込まれていること、またプラグにほこりがたまっていないことを定期的に確認する**
（接触不良や絶縁不良によるプラグからの発熱や発火、火災の原因になります）

● **事前に、他の人が設定したタイマー予約など、設定状況を十分把握する**
（思わぬ運転や停止により、体調悪化の原因。動植物に悪影響をおよぼす原因になります）

● **ルームエアコンは異常がないこと、部屋は風の変化があっても悪影響がでないこと（飛びやすい物がないなど）を事前に確認する**
（風により物が落下し、火災やけが、家財汚損の原因になります）

● **ルームエアコンの周辺に人がいることが分かっているときは、事前に見えない位置から運転や停止することを知らせる**
（台などに乗っていた場合、突然の運転（停止）に驚いて落下・転倒の原因になります。
また、急激な外気温・室温の変化などにより、体調悪化の原因になります）
・温度調節や停止は、ルームエアコンのリモコンでも操作することができます。
・お子様(乳幼児)や身体の不自由な方・高齢者などご自身で温度調節などができない方が在室している場合は、ご利用にならないでください。

禁止

● **分解・改造をしない**
（感電、発火の原因になります）
⇒修理は必ずお買い上げの販売店
または専門業者に依頼してください。

● **水につけたり、水をかけたりしない**
（感電のおそれがあります）

誤動作や故障、けがの原因となるため、次のことをお守りください。

・停電自動復帰機能をお使いの場合、ルームエアコンの電源プラグをコンセントに差し込むとすぐに運転を開始することがあるのでご注意ください。
（台などに乗っていた場合、突然の運転に驚いて落下・転倒の原因。）
・本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。
また本製品に強い圧力をかけないでください。
・本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
・お手入れは、ルームエアコンの電源プラグを抜いてから、柔らかい布でからぶきしてください。
ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

仕様

使用温度・湿度範囲	0 ℃～40 ℃・20 %～80 %（屋内設置専用）

使用上のご確認

本アダプターは、インテリジェントコントローラーなどの集中制御機器とルームエアコンを接続するときに必要となるインターフェースです。
本アダプターにより、集中制御機器からルームエアコンの操作や監視を行うことができます。
また、外部接続のON/OFF接点を用いてルームエアコンの運転/停止、リモコン操作の禁止/許可、カードキー連動、緊急停止、強制サーモOFFを行えます。

集中制御機器から設定可能なルームエアコンの機能

○：集中制御機器から設定可
ー：集中制御機器から設定不可
（ルームエアコンのリモコンでは設定可能ですが、機種により設定できない機能があります。）

ルームエアコンの機能			使用可否
停止/運転			○
運転モード	暖房		○
	冷房		○
	除湿	快適除湿	ー
		冷房除湿	○
		衣類乾燥	ー
		除湿弱	ー
	送風		○
	自動 （快適おまかせ）		○
温度設定			○
風量			○
風向	風向設定（上下）		○
	風向設定（左右）		ー
エコナビ			○
センサー機能（風あて、風よけ、オートオフ など）			ー
快適機能（パワフル、もっと、しずか、ロング、室温みはり など）			ー
ナノイー			ー
フィルターおそうじ運転			ー
タイマー機能（切タイマー、入タイマー、おやすみ切タイマー など）			ー

● 集中制御機器の操作により、ルームエアコン特有の機能（快適除湿、衣類乾燥、除湿弱、パワフルなど）を解除することがあります。
● 本アダプターを接続した場合、スマートフォンやHEMSによるルームエアコンの遠隔操作は、できません。

お知らせ

一時的に本アダプターとルームエアコンの接続を切断したいとき
ルームエアコンに付属しているリモコンで遠隔操作を「なし」に設定してください。
（設定方法はルームエアコンの取扱説明書を参照してください）
※切断時は、集中制御機器の画面にＣ１５警報が表示されます。

ルームエアコンに対してご使用いただける集中制御機器の機能

○：ルームエアコンに対して使用可　ー：ルームエアコンに対して使用不可

集中制御機器の機能		使用可否
設定/表示	運転／停止	○
	運転モード	○
	温度設定	○
	風速設定	○
	風向設定	○
	リモコン手元操作禁止※	○
	省エネモード	ー
	換気	ー
	フィルターサインリセット	ー
	エコナビ	○
	試運転	○
	室外静音設定	ー
	デマンド	ー
	設定温度自動リターン	○
	設定温度範囲制限	○

集中制御機器の機能		使用可否
設定/表示	消し忘れ防止	○
	運転自動停止	○
	ウィークリータイマー	○
表示	警報表示	○
	警報履歴表示	ー
	室外故障データ表示	ー
	フィルターサイン	ー
	フィルター清掃時期確認	ー
	暖房準備中	ー
	除霜中	ー
	室内温度	ー
	運転積算時間	○
	サーモＯＮ積算時間	○
	発停回数	ー
その他	グループ制御	ー

※リモコン手元操作禁止設定時は、リモコンによる操作ができなくなります。ご使用いただく環境をご考慮のうえ集中制御機器から設定をしてください。

故障かな？

お問い合わせや修理を依頼される前に、まずご確認ください。

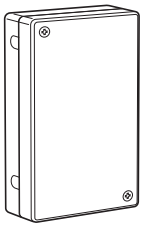
症状	原因・対処
集中制御機器の画面にＣ１４警報が表示される	ルームエアコンの警報が発生しています。 ・運転を停止し、お買い上げの販売店にご相談ください。
集中制御機器の画面にＣ１５警報が表示される	本アダプターとルームエアコンとの間で通信異常が発生しています。 ・ルームエアコンに付属しているリモコンで遠隔操作を「あり」に設定してください。 （設定方法はルームエアコンの取扱説明書を参照してください） ・上記でも状況が改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
集中制御機器の画面に上記以外の警報が表示される	・お買い上げの販売店にご相談ください。

Panasonic

据付(電気)工事説明書

RACローカルアダプター

品番 **CZ-CAPR1**



- 「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 「据付(電気)工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくように依頼してください。
- 移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。(お客様による施工は行わないでください。)
- ルームエアコンが本アダプターに対応しているか、必ずご確認のうえ、施工をしてください。
- 「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠ 警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準　・内線規程
  - 据付(電気)工事説明書　(感電、火災の原因)

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- **配線は途中接続しない**(接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因)
- **ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**(感電、火災の原因)
- **本アダプターの接続を行う前にルームエアコン本体の電源プラグを抜く**(感電の原因)
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**(製品の落下による、けがの原因)
- **付属品は当社指定の部品を使用する**(製品の落下、感電、火災などの原因)
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)
- **異常、故障時には直ちに使用を中止し、ルームエアコン本体の電源プラグを抜く**(感電、火災の原因)

⚠ 注意

⃠
- **次のような場所で使わない**
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ

  (感電、火災などの原因)
- **水洗いしない**(感電の原因)

❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**(故障の原因)

据え付け時のご注意

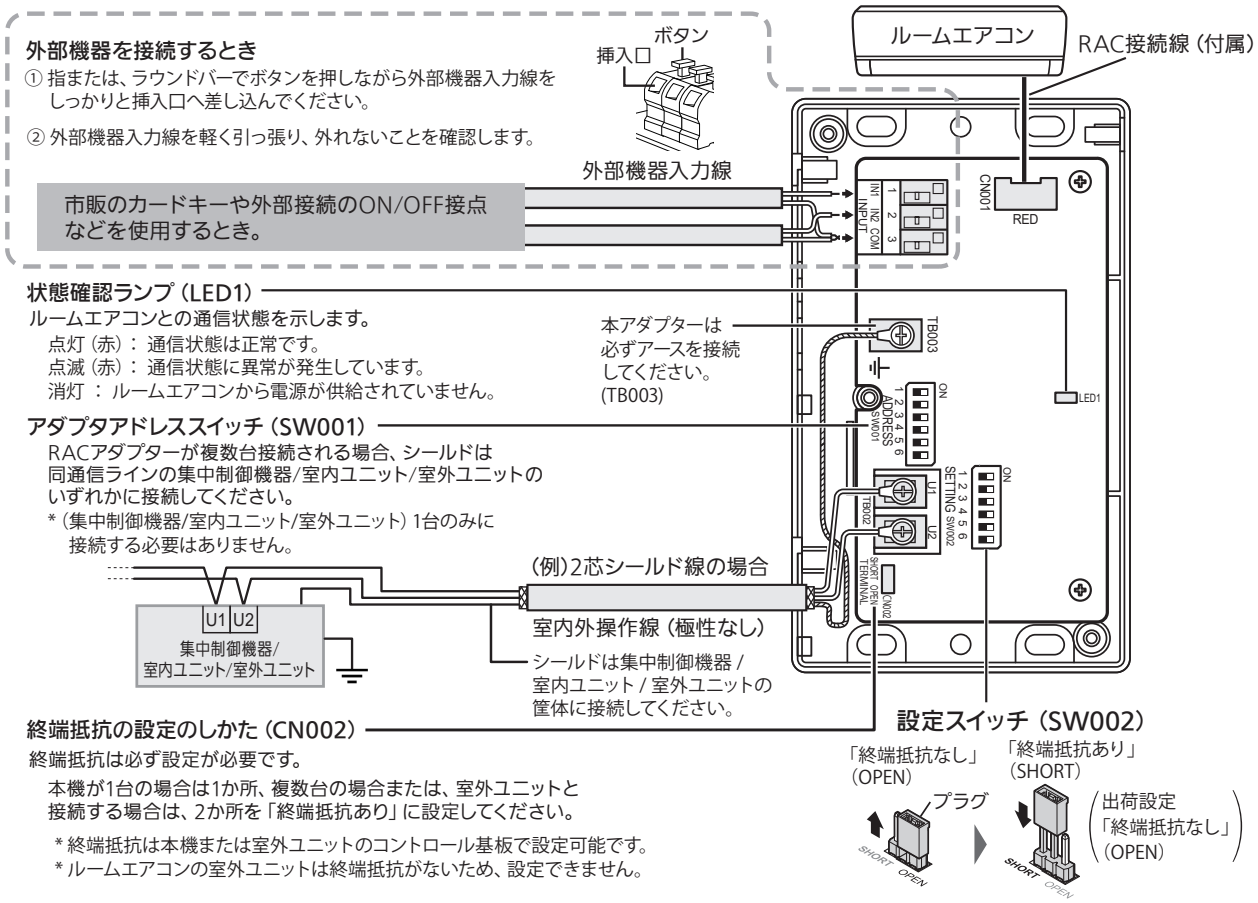
- 次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など　・不安定な場所
  - 過度な衝撃や振動のある場所(本機の取り付けネジが緩み、落下の原因)　・熱源の近くなど
- 床面に対して垂直または水平に据え付ける。
- 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
- 高周波が発生する機器(インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器)のあるところは避ける。
  (本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります)
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から1m以上離す。
  (映像の乱れ、雑音の原因)
- 配線は、地中に埋設しない。
- 絶縁物の厚み(シース部を含む)が1 mm以上のケーブルを使う。
- 天井裏や壁の中に本アダプターを据え付ける場合
  - ドレン配管近くなど、水滴が落ちるような場所に設置しない。
  - メンテナンス、およびサービスができるように設置する。

Printed in Japan
W0917-40823
ACXF60-19444
85464369890012

ルームエアコンの対応機種

本アダプターは、CN-NET コネクタを持つ 2017 年度モデル以降の当社製住宅設備用ルームエアコンに対応しています。

基本配線図



配線の準備をする

■ 室内外操作線

●ケーブルの種類

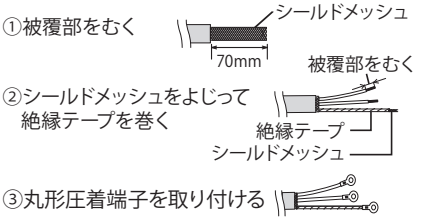
- 柔軟性のある0.5 ～ 2 mm²の 2 芯シールド線、または3芯ケーブル、または2芯ケーブル＋アース線
- 推奨品：VCT / VCTF
- アース線：600vビニール電線を使用基準とする柔軟性のある0.75mm²の単線（推奨）

●総配線長：1000 m 以内

●圧着端子の取り付け方

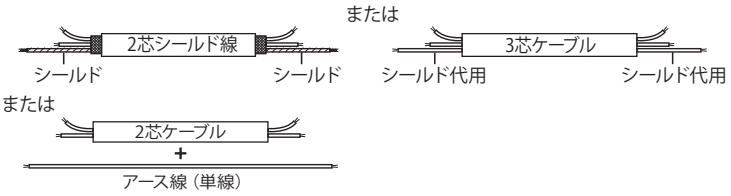
- 圧着端子は丸型を ご使用ください。（現地手配）
- 端子台 TB002
  端子ネジ：M3
  締め付けトルク：0.4 ～ 0.5N・m（推奨値）
- 端子台 TB003
  端子ネジ：M4
  締め付けトルク：0.6 ～ 0.8N・m（推奨値）

●2芯シールド線の取り付け方



注意

シールド線、またはアース線は必ず接地してください。



■ 外部機器入力線

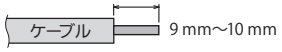
●ケーブルの種類

- 柔軟性のある0.5 ～ 0.75 mm²のケーブル
- 推奨品：VCT/VCTF

●総配線長：20 m 以内
（超えるときは、リレーを使う）

お願い

- 単線かストレートケーブルのみ使用。
- ケーブルの被覆を剥ぐ。



	本機		外部機器側		
	条 件	端子名	切分端子	回路例	条 件
制御入力	無電圧a接点 スタティック または パルス ・接点許容電圧：DC5 V ± 10% ・接点許容電流：最大 10 mA	入力 1 (IN 1) 入力 2 (IN 2) コモン (COM)	1 2 3	COM	・パルス幅：300 msec 以上

配線する

(例)2芯シールド線を使用した場合

❶ RAC 接続線（付属）をルームエアコンに接続する

コネクタの接続位置、プリント基板の位置、配線の引きまわしはルームエアコンの「据付工事説明書」を参照してください。

① ルームエアコンのCN-NETコネクタにRAC接続線を接続します。

② 本機の据え付け位置を決め、配線の引きまわし方法を決めます。

❷ 上ケースをはずす

（ケースネジ：2 ）

❸ 下ケースを壁に取り付ける

（ネジ（付属）：4 ）

❹ RAC 接続線（付属）を接続する

・ケースの穴に通して配線してください。
・結束クランパー（付属）で配線を固定する。

❺ 室内外操作線を接続する

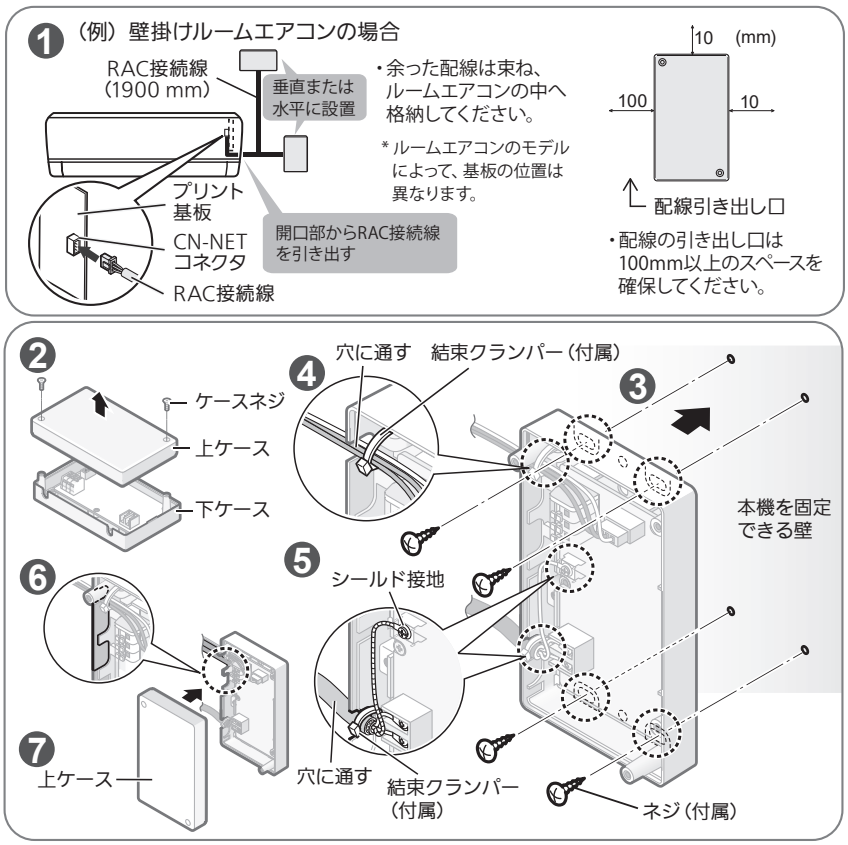
・ケースの穴に通して配線してください。
・結束クランパー（付属）で配線を固定する。
・極性はありません
・シールド線は必ずTB003に接続してください。
もう片側は集中制御機器/室内ユニット/室外ユニットの筐体に接続してください。

❻ 外部機器を接続するとき
外部機器入力線を接続する

・ニッパ等で切り取り、やすり等でバリをとる。
・手順❹や❺のように結束クランパー（付属）で、配線を固定する。

❼ 上ケースを取り付ける

・下記の「RACローカルアダプターの設定をする」を参照して設定を完了後、上ケースを取り付けてください。



RACローカルアダプターの設定をする

必ず電源を OFF にして設定してください。

1 アダプタアドレスの設定のしかた（SW001）

右の表を参照し、アダプタアドレスを設定してください

・ローカルアダプターが同じ系統内に複数あるときは、アダプタアドレスが重複しないようにしてください。
・集中制御アドレスをアダプタアドレス設定スイッチで設定する場合は、室内ユニットの集中制御アドレスを重複しないように設定してください。

2 設定スイッチについて（SW002）　*：出荷設定

● [SW1] 集中制御アドレス設定方法の切換

OFF*：集中制御機器から設定
ON　：本機のアダプタアドレス設定スイッチ（SW001）を使用して設定
・集中制御アドレスがアダプタアドレスと兼用されます。
・集中制御アドレスはアダプタアドレススイッチによって固定になります。
・集中制御アドレスは「アダプタアドレスの設定のしかた」で設定します。
・集中制御機器から設定する場合は集中制御機器の「据付（電気）工事説明書」を参照してください。

● [SW2] リモコン操作を禁止する方法の切換

OFF*：リモコン操作が禁止されます。
ON　：リモコン操作は許可されますが、アダプターが設定を元の状態に戻します。

● [SW3] 停電自動復帰

OFF*：-（ルームエアコンの設定に依存します。）
ON　：停電前の状態で復帰

● [SW4]ルームエアコンのブザー音の切換

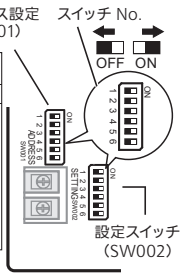
OFF*：集合制御機器から操作したとき、ルームエアコンのブザーを鳴らします。
ON　：集合制御機器から操作したとき、ルームエアコンのブザーを鳴らしません。

● [SW5/6]接点入力信号切換（右の表を参照）

*：出荷設定

Address	Switch No. 1 2 3 4 5 6	Address	Switch No. 1 2 3 4 5 6	Address	Switch No. 1 2 3 4 5 6	Address	Switch No. 1 2 3 4 5 6
*1	● ● ● ● ● ●	17	● ● ● ● ● ●	33	● ● ● ● ● ●	49	● ● ● ● ● ●
2	● ● ● ● ● ●	18	● ● ● ● ● ●	34	● ● ● ● ● ●	50	● ● ● ● ● ●
3	● ● ● ● ● ●	19	● ● ● ● ● ●	35	● ● ● ● ● ●	51	● ● ● ● ● ●
4	● ● ● ● ● ●	20	● ● ● ● ● ●	36	● ● ● ● ● ●	52	● ● ● ● ● ●
5	● ● ● ● ● ●	21	● ● ● ● ● ●	37	● ● ● ● ● ●	53	● ● ● ● ● ●
6	● ● ● ● ● ●	22	● ● ● ● ● ●	38	● ● ● ● ● ●	54	● ● ● ● ● ●
7	● ● ● ● ● ●	23	● ● ● ● ● ●	39	● ● ● ● ● ●	55	● ● ● ● ● ●
8	● ● ● ● ● ●	24	● ● ● ● ● ●	40	● ● ● ● ● ●	56	● ● ● ● ● ●
9	● ● ● ● ● ●	25	● ● ● ● ● ●	41	● ● ● ● ● ●	57	● ● ● ● ● ●
10	● ● ● ● ● ●	26	● ● ● ● ● ●	42	● ● ● ● ● ●	58	● ● ● ● ● ●
11	● ● ● ● ● ●	27	● ● ● ● ● ●	43	● ● ● ● ● ●	59	● ● ● ● ● ●
12	● ● ● ● ● ●	28	● ● ● ● ● ●	44	● ● ● ● ● ●	60	● ● ● ● ● ●
13	● ● ● ● ● ●	29	● ● ● ● ● ●	45	● ● ● ● ● ●	61	● ● ● ● ● ●
14	● ● ● ● ● ●	30	● ● ● ● ● ●	46	● ● ● ● ● ●	62	● ● ● ● ● ●
15	● ● ● ● ● ●	31	● ● ● ● ● ●	47	● ● ● ● ● ●	63	● ● ● ● ● ●
16	● ● ● ● ● ●	32	● ● ● ● ● ●	48	● ● ● ● ● ●	64	● ● ● ● ● ●

● ：ON　- ：OFF



状態 SW5	状態 SW6	接点入力 詳細	外部機器操作の詳細
OFF*	OFF*	入力 1：運転/停止 信号（スタティック）	SHORT：運転 OPEN　：停止
		入力 2：信号（スタティック）リモコン禁止	SHORT： ・リモコン操作禁止 OPEN： ・リモコン操作許可
OFF	ON	入力 1：運転/停止 信号（パルス）	OPEN → SHORT（300 ms 以上） →OPENで 運転/停止 状態が反転（運転 ⇔ 停止）
		入力 2：信号（スタティック）リモコン禁止	SHORT： ・リモコン操作禁止 OPEN： ・リモコン操作許可

状態 SW5	状態 SW6	接点入力 詳細	外部機器操作の詳細
ON	OFF	入力 1：カードキー信号	SHORT： ・リモコン操作許可 OPEN： ・ルームエアコン停止、リモコン操作禁止（集中制御機器からの操作は許可）
		入力 2：緊急停止	SHORT： ・ルームエアコン停止、リモコン操作禁止（集中制御機器からの操作も禁止） OPEN： ・リモコン操作許可 ※緊急停止のみ使用時は、入力1をSHORTにすること
ON	ON	入力 1：強制サーモOFF	SHORT： ・ルームエアコンサーモOFF OPEN： ・ルームエアコンサーモOFF解除
		入力 2：未使用	-

ルームエアコンの設定を変更する

本アダプターを接続して、遠隔操作するためには、ルームエアコンに付属のリモコンで
ルームエアコン本体の設定が必要です。
①接続アダプターの種類を設定　　②遠隔操作の許可を設定
詳しくは、ルームエアコンの「据付工事説明書」を参照してください。

集中制御機器側の能力設定について

集中制御機器で按分率の計算をする場合、集中制御機器側でルームエアコンの能力を設定する必要があります。
（設定方法は集中制御機器の「取扱説明書」を参照してください）

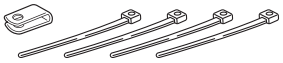
警告表示

本アダプタより異常を検出した場合、集中制御機器に以下の警報が表示されます。

- C14：ルームエアコンで警報が発生しています。
  警報内容の確認はルームエアコンの「取扱説明書」に従って確認してください。
- C15：本アダプターとルームエアコンとの間で通信異常が発生しています。
  本紙「ルームエアコンの設定を変更する」の内容および、本アダプターとルームエアコンとの間の配線を確認してください。
- C19：アダプタアドレスが重複しています。
  アダプタアドレスが重複しないようにアドレススイッチを設定してください。

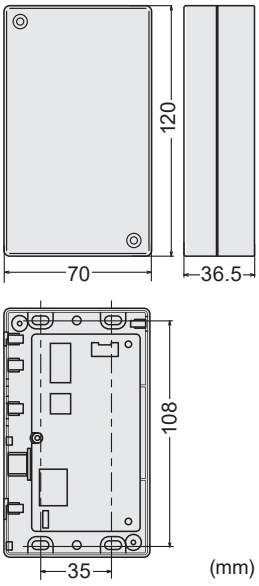
仕様

品番	CZ-CAPR1
外形寸法	(高さ) 120 mm × (幅) 70 mm × (奥行き) 36.5 mm
質量	100 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 % ～ 80 %（結露なきこと） 屋内設置専用
電源	DC 5 V （ルームエアコンより供給）

付属品	<>：個数
RAC 接続線 <1> 4P白　4P赤  長さ：1900mm	ネジ <4>  (M3.8 × 16)
クランパー類 ネジ止め<1>　結束用<4> 	据付（電気）工事説明書 <1> 取扱説明書 <1>

※RAC接続線以外のケーブルは現地調達のため付属していません。

外形寸法図



施工後の確認 点検内容

☐ 接続コードの挟み込みはないか
⇒ルームエアコン室内ユニット内部の引きまわし時の挟み込みがないか

☐ 接続コネクタ、接続コードに負荷がかかっていないか
⇒接続コネクタが強く引っ張られたままの状態になっていないか

☐ 接続コードが据付工事説明書通りに引きまわしができているか
⇒ルームエアコンの「据付工事説明書」通りかどうか

☐ 接続コードを収納できているか
⇒ルームエアコン室内ユニット背面に浮きなく収納できているか

☐ ルームエアコン室内ユニット本体のネジの締め忘れ、電源カバーの閉じ忘れはないか
⇒ネジの余りや、電源カバーの固定ツメのかけ忘れがないか

☐ 本アダプターが落下しないように確実に固定されているか
⇒壁へのネジ固定は確実か

☐ アース接続されているか
⇒シールド線またはアース線は据付工事説明書通りに接続ができているか
（アース接続がされていない場合、通信ができない場合があります。）

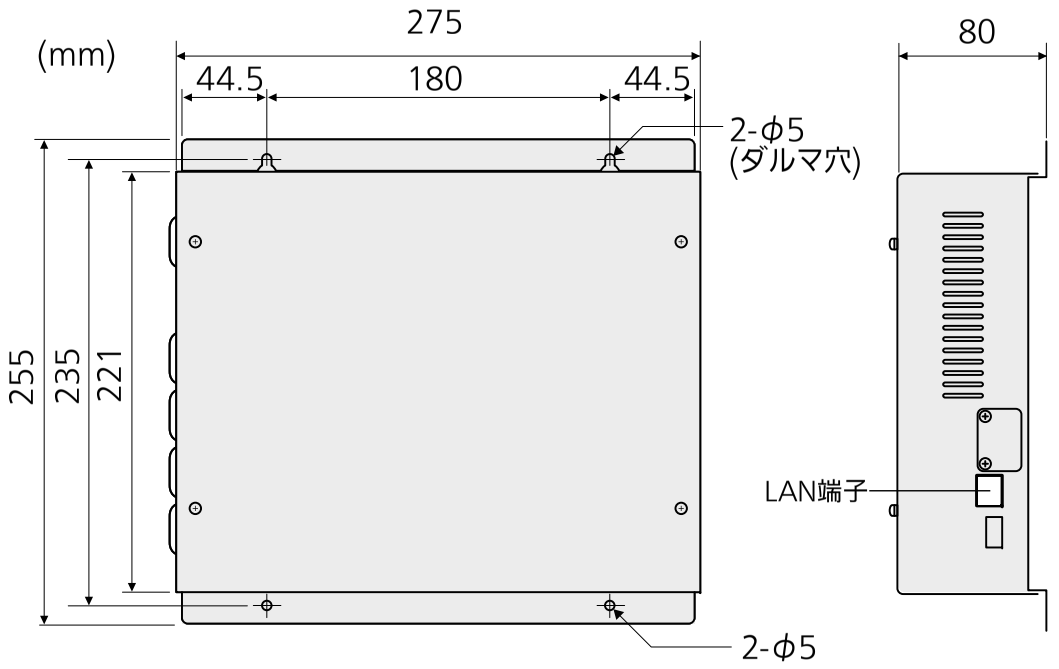
■仕様書

品番		CZ-10ESB4
外形寸法		(高さ)255 mm×(幅)275 mm×(奥行き)80 mm
質量		1.9 kg
使用温度・湿度範囲		0 ℃～40 ℃・20%～80% (結露なきこと)
定格電圧・周波数		単相AC100～240 V・50/60 Hz
消費電力		最大15 W
時計	月差	±30 秒/月 (常温25 ℃) ※定期的に合わせてください。
	保持時間	100日 (常温25 ℃　満充電時) ※満充電に約8時間かかります。
1リンクあたりの接続可能台数*1		下記の合計台数が100台まで 室内ユニット：64台まで *2 室外ユニット：30台まで 集中制御機器：10台まで
遠隔操作時のパソコン環境	ブラウザ	Internet Explorer 11以降またはGoogle ChromeまたはMicrosoft Edge
	画面解像度	1280×1024 (推奨)
使用可能なUSBメモリー		スタンダードタイプ(USB2.0) 容量：4 GB以上 <使用上のご注意> • 上記仕様の製品であっても、動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。 • 暗号化(セキュリティソフト付き)などはご使用できません。 • データ消失について当社では一切の責任を負わないものとします。

*1：最大接続可能台数は次の通りです。(最大2リンク接続可能)
　• 室内ユニット128台、室外ユニット60台

*2：熱交換気ユニット、オン／オフ制御用ローカルアダプター、RACローカルアダプターの台数を含む。
　※接続可能な熱交換気ユニットは、天井埋込形・天吊カセット形のマイコンタイプです。

■外形寸法図



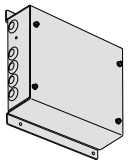
品番	CZ-10ESB4	外形寸法図 《BACnetアダプター》

Panasonic

据付（電気）工事説明書

BACnet アダプター

品番 CZ-10ESB4



- 据付（電気）工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付（電気）工事説明書」、付属のDVDは、お客様で保管いただくよう依頼してください。
- 移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- 据付（電気）工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 接続する機器に付属の「据付（電気）工事説明書」もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

据付（電気）工事をする前に

- ❗ **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- ❗ **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - 電気設備に関する技術基準・内線規程
  - 据付（電気）工事説明書
  （感電、火災の原因）
- ❗ **漏電しゃ断器（全極開閉機能付）を取り付ける**（故障や漏電時に感電、火災の原因）
- ❗ **電源は、必ず専用回路を使用する**（感電、火災の原因）
- ❗ **停電自動復帰機能を使用中に電源を入れる際は、十分注意する**（感電、挟み込み、巻き込みの原因）
- ⏚ **アース工事（D種接地工事）を行う**
  - ベランダの手すりやガス管、水道管、避雷針、電話などのアースに接続しない（感電の原因）

本体を据え付けるときに

- ⃠ **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- ⃠ **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- ⃠ **配線は途中接続しない**（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- ⃠ **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**（発熱、火災の原因）
- ❗ **据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- ❗ **電気工事は、本機や室内・室外ユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- ❗ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**（製品の落下、感電、火災などの原因）
- ❗ **付属品は当社指定の部品を使用する**（製品の落下、感電、火災などの原因）

本体を据え付けるときに

- ❗ **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**（故障や発熱、火災の原因）
- ❗ **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）
- ❗ **電圧確認などテスターを使用する際は十分注意する**（感電、故障の原因）

⚠注意

据付（電気）工事をする前に

- ⃠ **次のような場所で使わない**
  - 結露するところ
  - 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
  - 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  - 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  - 有機溶剤の飛沫するところ
  - 電磁波が出る機械のあるところ
  - 電圧変動の多いところ
  - ドレン配管近くなど、水滴が落ちるような場所
  （感電、火災などの原因）
- ❗ **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

本体を据え付けるときに

- ⃠ **ぬれた手で操作しない**（感電、故障の原因）

もくじ

	ページ
安全上のご注意	1
据え付け時のご注意	2
外形寸法図（各部の名前）	2
据え付ける	2
制御盤に据え付ける	2
配線の準備をする	3
配線する	3
各部のなまえ	5
BACnetアダプターシステム概要図	5
初期設定について	6
初期設定の準備をする	7
日時を設定する	8
システムの構成を確定する	9
室内ユニットの基本設定を行う	10
室外ユニットの基本設定を行う	12
ネットワーク設定を行う	15
Webユーザー設定を行う	16
BACnet通信を再起動する	17
IPアドレスを設定する	18
基本機能を設定する	19
火災連動設定を設定する	21
停電連動設定を設定する	23
トレンド設定を設定する	25
メンテナンス設定を設定する	26
イベント連動ポイントを設定する	27
空調機を連動的に制御する	29
仕様	裏表紙

付属品

<>：個数

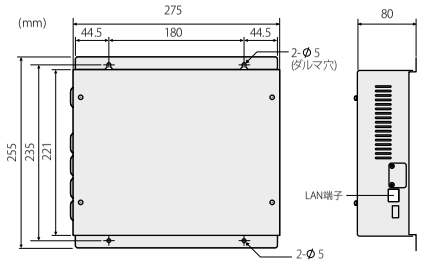
据付（電気）工事説明書	ライセンスリスト・ソースコード(DVD)
<1>	<1>

※ケーブルは現地調達のため、付属していません。

据え付け時のご注意

- 次のような場所に据え付けない。
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
  - 不安定な場所
  - 過度な衝撃や振動のある場所
  （本機の取り付けネジが緩み、落下の原因）
  - 熱源の近くなど
- 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。
- 高周波が発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のあるところは避けてください。（本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から１m以上離してください。（映像の乱れ、雑音の原因）
- 漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合は、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器か手元開閉器（開閉器+Ｂ種ヒューズ）を据え付ける。
- 配線は、地中に埋設しない。
- 配線が通っている制御盤の穴をパテなど（現地調達）でふさぐ。
- 絶縁物の厚み（シース部を含む）が1 mm以上のケーブルを使う。
- 監視盤の中など、不特定多数の手が届かない場所に設置する。

外形寸法図（各部の名前）

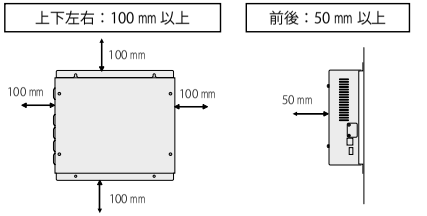


本体の図記号表示⏚について　「保護アース」を表します。

据え付ける

■ 取付場所など

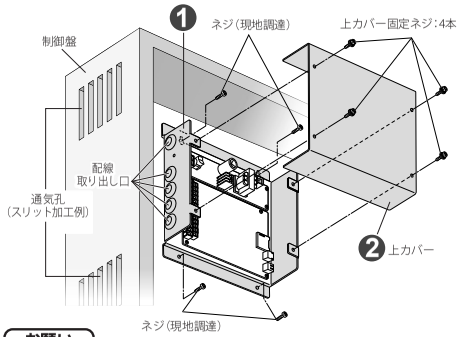
本アダプターを取り付けるときは、下図のようにスペースを確保してください。



制御盤に据え付ける

❶ BACnetアダプターを制御盤に据え付ける
（ネジ（現地調達）：4本）
- 左側からケーブルを引き出せるように、本機を制御盤に据え付けてください。（下図参照）

❷ 上カバーを外す
- 配線（P.3～4）が完了した後は、上カバーを取り付けてください。（カバー固定ネジ：4本）



お願い
- 制御盤内の通気性（放熱性）確保のために、左右側面の上側と下側（または底面）に通気孔（スリットなど）を入れてください。
  - 制御盤内の温度が40 ℃を超えないようにする。
  - 据え付け時に上記の通気孔をふさがないように注意する。

配線の準備をする

お願い

● ノイズの影響を受けるおそれのある場所で、室内外操作線と外部機器接続線を使うときは、シールド線（片側アース）を使ってください。

■ 電源線

- ケーブルの種類
  - 使用基準：600 Vビニル絶縁ビニルシースケーブル（現地調達）
  - 柔軟性のある2 mm²のケーブル（推奨）
- 電源端子ネジ ：M4
- 締め付けトルク ：0.6 ～ 0.8 N・m（規定値）
  - 締め付けすぎないでください。（ネジ損傷の原因）
- アース端子ネジ ：M4
- 締め付けトルク ：0.6 ～ 0.8 N・m（規定値）
  - 締め付けすぎないでください。（ネジ損傷の原因）

■ 室内外操作線

- ケーブルの種類
  - 柔軟性のある2芯の0.5～2 mm²のケーブル
  - 推奨品：VCT/VCTF/CPEVS/MVVS
- 総配線長 ：1000 m以内
- 端子ネジ ：M3
- 締め付けトルク :0.4～0.5 N•m（規定値）
  - 締め付けすぎないでください。（ネジ損傷の原因）

■ 外部機器接続線（外部機器を接続するとき）

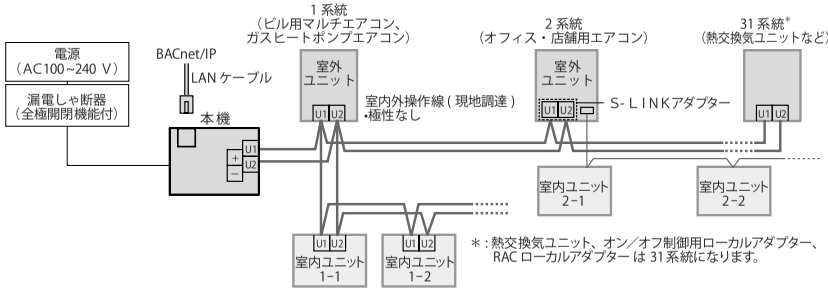
- ケーブルの種類
  - 柔軟性のある0.5～2 mm²のケーブル
  - 推奨品：VCT / VCTF
- 配線長 ：20 m以内
- 端子ネジ：M3
- 締め付けトルク:0.4～0.5 N•m（規定値）
  - 締め付けすぎないでください。（ネジ損傷の原因）

■ LANケーブル

- ケーブルの種類
  - カテゴリー5以上のストレートケーブル
- 配線長：100 m 以内

■基本配線図

● S-LINK アダプター、熱交換気ユニット、オン／オフ制御用ローカルアダプター、RAC ローカルアダプターを接続する場合は、各製品に付属の「据付（電気）工事説明書」をあわせてご覧ください。



配線する

お願い

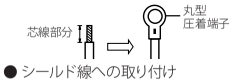
● 電源線とその他の通信線は、同一線管内に通さないでください。
また、ノイズの影響を軽減させるために、できるだけ離して配線してください。

1 漏電しゃ断器を切る

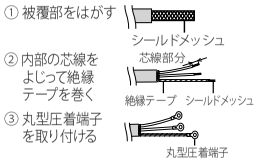
● 安全のため、配線を行う前には、必ず漏電しゃ断器を切ってください。

2 丸型圧着端子を取り付ける

● 電源線への取り付け
被覆をはがし、内部の芯線をよじって取り付けてください。



● シールド線への取り付け



3 電源線を接続する

● 電源線は電源端子台に、アース線はアース端子台（板金ケース上*1）に接続してください。
*1：保護アース

4 室内外操作線を接続する

● シールド線の場合は、アース線を信号端子台の0番（FG*2）に接続してください。
*2：機能アース
● 極性はありません。
● 接続可能台数（→裏表紙「仕様」）
● 接続可能な熱交換気ユニット（→裏表紙「仕様」）

5 外部機器を接続する

● 外部機器を接続するときは、「外部機器を接続するとき」（P.4）を参照してください。

6 電源線とその他の通信線は、結束クランパーでしっかり固定する

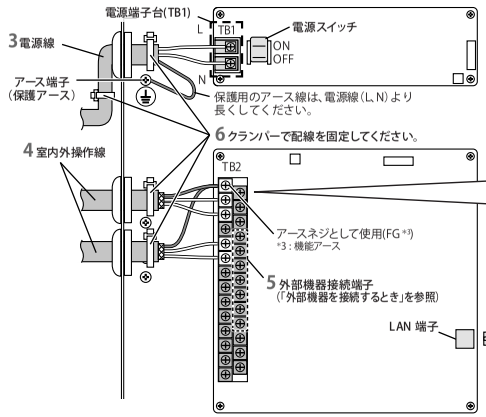
● 端子接続部に張力が加わらないようにしてください。

7 LANケーブルを接続する

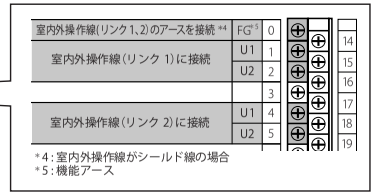
● BACnet/IP上のネットワークに接続してください。
● 直接パソコンで設定を行う場合は、パソコンに接続してください。

8 電源線の接続が正しいことを確認して漏電しゃ断機を入れる

● 誤って電源線を信号端子台に接続して入れると、本機または接続機器が故障することがあります。



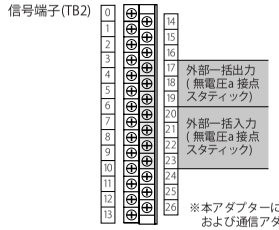
信号端子台(TB2)接続図



＊4：室内外操作線がシールド線の場合
＊5：機能アース

■外部機器を接続するとき

- 信号形式：無電圧 a 接点
- 各信号入力の配線長：20 m以内（超えるときは、リレーを使う）
- 入力端子検出のため、接点に DC5 V（約 10 m A）の電圧がかかります。
- 入力端子には、外部から電圧を印加しないでください。
- 出力端子の接点許容電圧、および電流は、最大 DC30 V、0.5 A です。



※本アダプターに、パルスメーターおよび通信アダプターは接続できません。

外部出力（スタティック）



•最小適用負荷：DC5 V 1 mA

外部入力*6（スタティック）



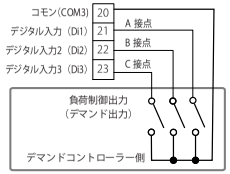
*6 右記「デマンドコントローラーを接続するとき」を参照

デマンドコントローラーを接続するとき（負荷制御出力を本機の外部入力に接続）
デマンドコントローラーを接続すると、デマンド制御を行うことができます。

お願い

● 本機の画面でデマンド設定が必要です。

外部入力（スタティック）



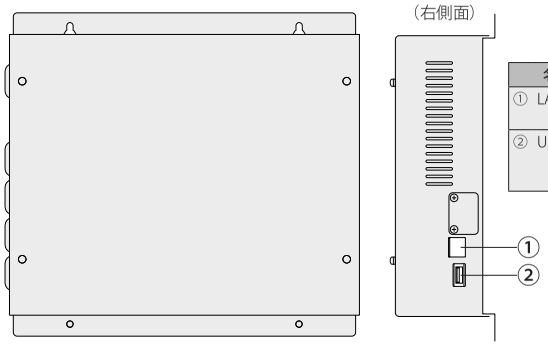
お願い

● 外部機器を接続しただけでは動作しません。
設定方法は「イベント連動ポイントを設定する」（P.27）を参照してください。

お願い

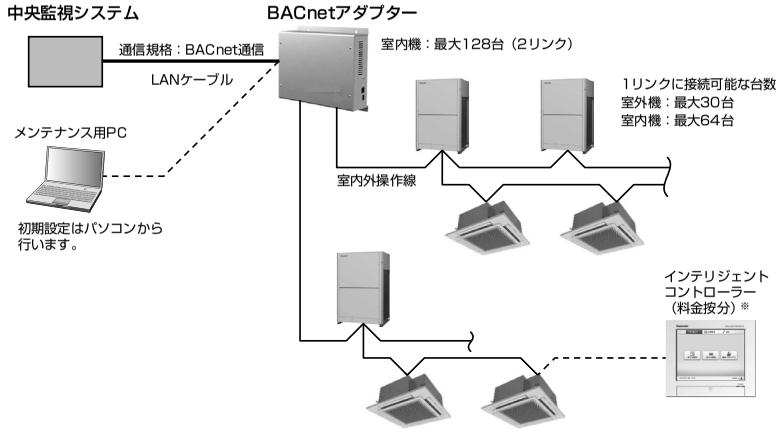
● 配線後の各設定方法は、次ページ以降を参照してください。

各部のなまえ



名前	説明
① LAN端子	ケーブルでネットワークに接続します。
② USB端子	本機の設定データをバックアップするためにUSBメモリーを抜き差しします。

BACnetアダプター システム概要図



お願い

- BACnetアダプターに通信アダプターは、接続できません。

※料金按分を中央監視システムで行わない場合、インテリジェントコントローラーを使用することで料金按分が可能になります。

初期設定について

基本設定フロー

1 初期設定の準備をします
→ 初期設定の準備をする　P.7

2 本機の日付、時間を設定します
→ 日時を設定する（[日時設定]）　P.8

3 空調システムの構成を確定します
→ システムの構成を確定する（[構成の確認]）　P.9

設定完了

運用別設定フロー

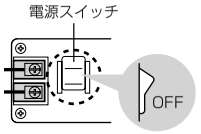
○：設定が必要です。　△：場合によっては設定が必要です。

手順	カテゴリステップ	設定	画面メニュー名	要否
1	日時設定	現在日時の設定	日時設定	○
2	構成読み込み	接続構成の確定	構成の確認	○
3	ユニット関連	集中アドレス※1	室内ユニット設定	○
		ユニット名	室内ユニット設定	○
		操作対象外、管理対象外	室内ユニット設定	△
		室外ユニット名	室外ユニット設定	△
		リモコン禁止	空調機との通信設定	△
4	ネットワーク関連	IP アドレス、ネットマスク など	ネットワーク設定	○
		ユーザー ID、パスワード	Web ユーザー設定	○
5	BACnet 関連	BACnet IP アドレス	アドレス設定	○
		BACnet 機能／通知方法	基本機能設定	○
		BACnet バージョン	基本機能設定	○
		BACnet デバイス ID	基本機能設定	○
		BACnet イベント入力／出力ポイント	基本機能設定	△
		BACnet 確認ありイベント機能	基本機能設定	△
		BACnet 火災連動機能	火災連動設定	△
		BACnet 停電連動機能	停電連動設定	△
		BACnet トレンド機能	トレンド設定	△
		BACnet メンテナンス機能	メンテナンス設定	△
		BACnet イベント連動ポイント	イベント設定	△
6	イベント制御	入力ポイント（名称と条件）※2	イベント制御	△
		出力ポイント（名称と動作）※3	イベント制御	△
7	BACnet アダプター関連	自動ログアウト時間	初期化	△

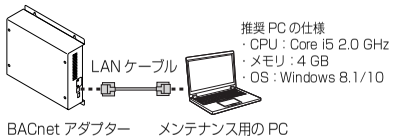
※1 システムコントローラーやマルチコントローラーなどと併用する場合の管理区分に注意する必要があります。
※2 外部一括運転/停止入力/BACnet入力などを設定します。
※3 外部一括警報出力/BACnet出力などを設定します。

初期設定の準備をする

1 電源スイッチを切っていることを確認する



2 メンテナンス用のPCを、直接LANケーブルでBACnetアダプターに接続する

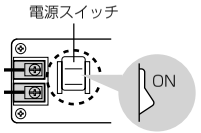


3 BACnetアダプターの動作モードのDIPスイッチを設定モードにする

2番、3番をONの位置から変更しないでください。



4 電源スイッチを入れる



お願い

- 電源投入後、15分以内に電源を切らないでください。内部のデータが破損する恐れがあります。

5 PCを起動し、ネットワーク設定を以下のように設定する

IPアドレス	192 . 168 . 1 . 100
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ	192 . 168 . 1 . 254

6 WebブラウザにURL「https://192.168.1.101/bacad/login.php」を入力して、BACnetアダプターにアクセスする

推奨Webブラウザの仕様

- Internet Explorer 11以降またはGoogle ChromeまたはMicrosoft Edge
- ログイン画面が表示されます。



- ログイン画面が表示されないとき
  PCのLANポートのLEDが点滅しているか確認してください。

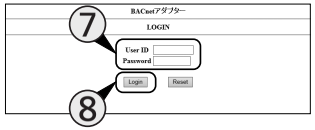
  点滅していない
  →LANケーブルを正しく接続してください。

  点滅している
  →手順5の設定を確認してください。

7 下記のユーザー名とパスワードを入力する

- user：bac_user
- password：KYJN2019bac

8 [LOGIN]をクリックする

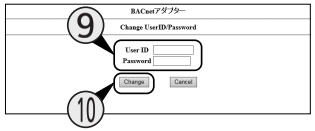


お願い

- 30分操作しない時間が続くと、次回操作時にログイン画面が表示されます。

9 新しいユーザIDと新しいパスワードを入力する

- 実際に使用するパスワードに変更してください。



10 [Change]をクリックする

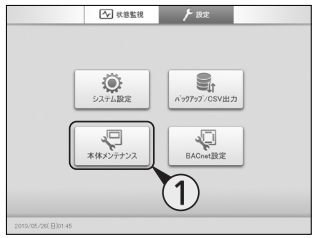
- 取り消すときは[Cancel]を選択してください。

日時を設定する

日時を手動で設定します。

1 「設定」の[本体メンテナンス]をクリックする

- 「本体メンテナンス」画面が表示されます。



2 [日時設定]をクリックする

- 「日時設定」画面が表示されます。



3 日時を設定する



項目	説明
年 月 日	年月日を設定します。 で「年」「月」「日」をそれぞれ設定します。
時 分 秒	時間を設定します。 で「時」「分」「秒」をそれぞれ設定します。

4 [登録]をクリックする

- 設定が登録されます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



お願い

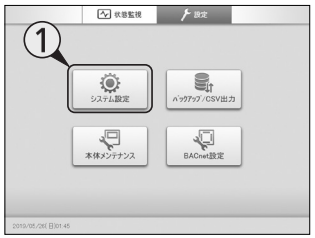
- 手動で時間を30分以上戻さないでください。
  室内ユニットの基本設定でエラーが出る場合があります。

システムの構成を確定する

現在の空調システムの構成を確定します。

1 「設定」の[システム設定]をクリックする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [構成の確認]をクリックする

●「構成確認」画面が表示されます。



3 [構成の確認]をクリックする

●構成確認を開始します。
●「構成が変化しています。構成確定を実施しますか？」というメッセージが表示されます。
●「構成変化はありませんでした」というメッセージが表示されたらユニットが見つからない状態です。配線やユニットの電源が入っているかなどの確認が必要です。



4 [構成確定開始]をクリックする

●現在のシステム状態を再確認し、その結果を最終的に確定します。
●構成確定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



室内ユニットの基本設定を行う

室内ユニット（室内ユニットアドレスなど）を登録する

1 「設定」の[システム設定]をクリックする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [室内ユニット設定]をクリックする

●「室内ユニット設定」画面が表示されます。



3 「選択」欄にチェックを入れる

●複数選ぶこともできます。



4 [編集]をクリックする

●「ユニット設定編集」ダイアログが表示されます。



5 各設定を行う



項目	説明
名称	室内ユニットの名称を変更します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。 全角で8文字（英数半角で16文字）まで入力できます。
集中アドレス	集中アドレス（1～64）を設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。 **お願い** • 集中アドレスは他の集中コントローラー（システムコントローラー、マルチコントローラーなど）で共通して使用されるアドレスです。不必要に変更しないようにしてください。 • 重複したアドレスを設定すると、エラーメッセージが表示されます。 • 複数の室内ユニットを選択している場合は設定できません。

項目	説明
能力固定	室内ユニットの能力固定値を設定します。（ローカルアダプター設置時）テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
室外機アドレス	∧ ∨ で設定したい室外ユニットアドレス（1 ～ 31）を選択します。（「31」は熱交換気ユニットまたはローカルアダプターを設定します）
室内機アドレス	∧ ∨ で設定したい室内ユニットアドレス（1 ～ 64）を選択します。
表示順	∧ ∨ で、一覧で表示されるときの順番（0 ～ 128）を設定します。
操作対象外	操作の対象外にする場合は「○」、対象とする場合は「×」を選びます。
管理対象外	本機の管理から対象外にする場合は「○」、対象とする場合は「×」を選びます。

6 [登録]をクリックする

- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



7 [登録]欄にチェックを入れる

- 管理対象とする室内ユニットにチェックを入れます。
- 集中アドレスの自動設定を行っている場合は、この操作は不要です。
（→「集中アドレスを自動設定する」）



8 [登録]をクリックする

- 設定が登録されます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



集中アドレスを自動設定する

1 「登録」欄にチェックを入れる

- 管理対象とする室内ユニットにチェックを入れます。



2 [集中アドレス自動]をクリックする



お願い

- 集中アドレスは他の集中コントローラー（システムコントローラー、マルチコントローラーなど）で共通して使用されるアドレスです。不必要に変更しないようにしてください。
- 「ユニット設定編集」ダイアログで集中アドレスを設定したあとで[集中アドレス自動]を行うと、集中アドレスは上書きされます。

室外ユニットの基本設定を行う

室外ユニット（室外ユニットアドレスなど）を登録します。名称などの設定を変更することもできます。

室外ユニット（室外ユニットアドレスなど）を登録する

1 「設定」の[システム設定]をクリックする

- 「システム設定」画面が表示されます。



2 [室外ユニット設定]をクリックする

- 「室外ユニット設定」画面が表示されます。



3 設定の詳細を確認する



4 [登録]欄にチェックを入れる

- 管理対象とする室外ユニットにチェックを入れます。



5 [登録]をクリックする

- 設定が登録されます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



「室外ユニット設定」画面

A： 室外ユニットが接続されているリンク系統を選びます。

B： クリックする（設定オン）と、「登録」欄にチェックを入れた室外ユニットのみ一覧表示されます。再度クリックすると、すべての室外ユニットが一覧表示されます。（設定オフ）



C： 各室外ユニットの詳細設定を一覧表示します。

項目	説明
[選択]	設定を編集する室外ユニットにチェックを入れます。
No.	連番を示します。
名称	室外ユニットの名前を表示します。
アドレス	室外ユニットアドレスを表示します。
冷暖フリー	室外ユニットが冷房・暖房兼用タイプの場合は「○」、専用タイプの場合は「×」と表示されます。
登録	本機の管理対象とする場合はチェックを入れます。
表示順	表示順を示します。
製品種別	製品種別（PAC、GHP）を表示します。

D： クリックすると、「選択」欄にチェックを入れた室外ユニットの「室外ユニット設定編集」ダイアログが表示されます。

設定を編集する

1 「選択」欄にチェックを入れる

●複数選ぶこともできます。



2 [編集]をクリックする

●「室外ユニット設定編集」ダイアログが表示されます。



3 各設定を行う



項目	説明
名称	室外ユニットの名前を変更します。全角で8文字（英数半角で16文字）まで入力できます。
系統アドレス	∧ ∨ で、設定したい室外ユニット系統アドレス（1 ～ 30）を選択します。
系統内番号（子機番号）	∧ ∨ で、設定したい系統内の個別番号（0 ～ 3）を選択します。親機は「0」を設定します。
表示順	∧ ∨ で、一覧で表示されるときの順番を設定します。

4 [登録]をクリックする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



5 [登録]をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。

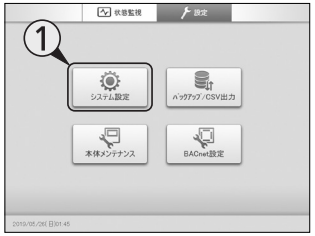


ネットワーク設定を行う

BACnet通信で使用するアドレスを、BACnetアダプターに設定します。

1 「設定」の[システム設定]をクリックする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [ネットワーク設定]をクリックする

●「ネットワーク設定」画面が表示されます。



3 各設定を行う



項目	説明
IPv4 アドレス	本機のIPv4アドレスを設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。 •「0.0.0.0」および「255.255.255.255」には設定できません。
ネットマスク	本機のネットマスクを設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。 •「0.0.0.0」には設定できません。
デフォルト ゲートウェイ	必要に応じて、本機のデフォルトゲートウェイを設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。 •「0.0.0.0」には設定できません。
IPv6 アドレス	本機のIPv6アドレスを設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。

4 [登録]をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



お願い

- 接続中のアドレスを変更した場合は、パソコンから再度、変更後のアドレスで接続してください。

Webユーザー設定を行う

ネットワーク経由で本機にアクセスできるユーザーID、パスワードを登録します。

1 「設定」の[システム設定]をクリックする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 [Webユーザー設定]をクリックする

●「Webユーザー設定」画面が表示されます。



3 ユーザーIDを入力する

●テキストボックスをクリックすると、入力ダイアログが表示されます。
●任意のユーザーIDを入力してください。



4 パスワードを入力する

●テキストボックスをクリックすると、入力ダイアログが表示されます。
●パスワードは8文字以上(必ず半角英数字を含むこと)で入力してください。



5 [登録]をクリックする

●設定が登録され、「Webユーザー設定」ダイアログが閉じられます。



お願い

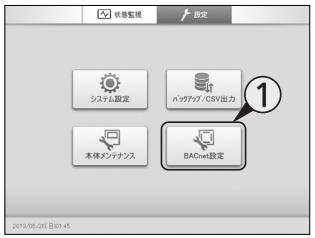
- ユーザーID、パスワードは、第三者に漏洩しないよう管理してください。

BACnet通信を再起動する

[BACnet設定]変更後の動作確認などの際に使用します。
[BACnet設定]を変更した場合、本機能による再起動、もしくは本体の電源再起動を行ってください。

1 「設定」の[BACnet設定]をクリックする

●「BACnet設定」画面が表示されます。



2 [BACnet通信再起動]をクリックする

●「確認メッセージ」ダイアログが表示されます。



3 「確認メッセージ」ダイアログが表示されます。

●「はい」をクリックします。



4 BACnetが再起動される

●「OK」をクリックします。



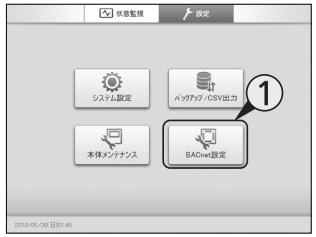
お願い

- BACnet再起動後は、通信が開始されるまで最大15分程度かかります。

IPアドレスを設定する

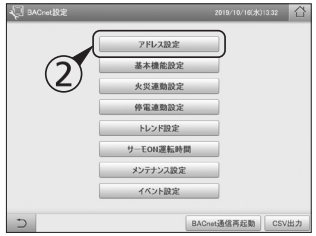
1 「設定」の[BACnet設定]をクリックする

●「BACnet設定」画面が表示されます。



2 [アドレス設定]をクリックする

●「アドレス設定」ダイアログが表示されます。



3 IPアドレスを入力する。

●各種IPアドレスを入力します。



項目	説明
自ノードIPアドレス	自身（BACnetアダプター）のIPアドレスを設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
ブロードキャストアドレス	各種通告を行うブロードキャストアドレスを設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
通知先のIPアドレス	確認あり通告を通知する先のIPアドレスを設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。

4 [登録]をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



基本機能を設定する

機能／通知方法

1 「設定」の[BACnet設定]をクリックする

●「BACnet設定」画面が表示されます。



2 [基本機能設定]をクリックする

●「基本機能設定」ダイアログが表示されます。



3 「基本機能設定(2/2)」の画面が表示される

●運転時に使用する機能／通知方法を選択します。



項目	説明
COV通告	状態が変化した際に、COVによる通知を行います。
イベント通告	状態が変化した際に、イベントによる通知を行います。
イベント確認有	イベントによる通知を、確認有りで行います。「警報」機能のみ設定可能です。

4 [登録]をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



5 [次ページ]をクリックする

●次ページへ画面が切り替わります。



次ページに続く

6 「基本機能設定(2/2)」の画面が表示される

●項目のテキストボックスをクリックすると入力ダイアログが表示されますので、登録する数値などを入力してください。



7 [登録]をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



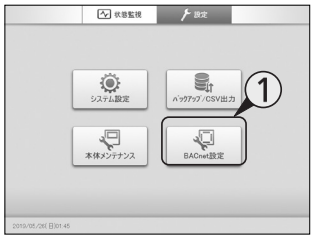
項目	説明
BACnetバージョン	現在の本機のバージョンを表示します。
デバイスID	本機のデバイスID(0 ～ 4194303)を設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
スケジュールオブジェクト数	スケジュールオブジェクト数(0 ～ 255)を設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
カレンダーオブジェクト数	カレンダーオブジェクト数(0 ～ 255)を設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
イベント入力BV数	イベント入力BV数(0 ～ 32)を設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
イベント出力BI(COV)数	イベント出力BI(COV)数(0 ～ 32)を設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
確認有りイベント通知リトライ回数	確認有りイベント通知リトライ回数(0 ～ 2)を設定します。 テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。

火災連動設定を設定する

火災入力の選択と停止したい室内機の選択などを行います。

1 「設定」の[BACnet設定]をクリックする

●「BACnet設定」画面が表示されます。



2 [火災連動設定]をクリックする

●「火災連動設定」ダイアログが表示されます。



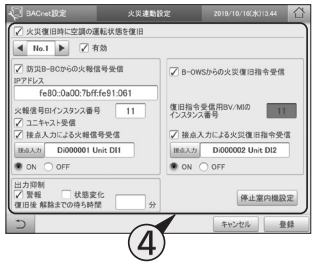
3 No.を選択する

●◀ ▶でNo.を選択します。
「有効」にチェックを入れると、現在表示しているNo.の設定が有効になります。
No.20（20種類）まで設定できます。



4 各種設定を行う

●設定する項目のチェックボックスをクリック、またはテキストボックスをクリックすると入力ダイアログが表示されますので、登録する数値などを入力してください。（次ページ参照）



5 「停止室内機設定」をクリックする

●「停止室内機設定」ダイアログが表示されます。



6 停止する室内機をクリックする

●火災発生時に運転停止する室内機を選択します。



次ページに続く

「火災連動設定」画面



A：火災復旧時に空調の運転状態を復旧。

項目	説明
火災復旧時に空調の運転状態を復旧	チェックを入れると、火災復旧時に空調の運転状態が復旧されるようになります。

B： 火災発生時の設定

項目	説明
防災B-BCからの火報信号受信	チェックを入れると、防災B-BCからの信号により火災を検知することができるようになります。
IPアドレス	防災B-BCのIPアドレスを設定します。テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
火報信号BIインスタンス番号	火報信号となるBIオブジェクトのインスタンス番号を設定します。テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
ユニキャスト受信	チェックを入れると、ユニキャストでの受信に対応します。
接点入力による火報信号受信	チェックを入れると、アダプターの接点信号により火災を検知することができるようになります。
接点入力	火災を検知する接点を選択します。クリックすると接点を選択するダイアログが表示されます。
ON/OFF	接点がONになった場合に火災とするか、OFFになった場合に火災とするか選択します。

C：火災復旧時の設定

項目	説明
B-OWSからの火災復旧指令受信	チェックを入れると、B-OWS（中央監視）からの火災復旧指令により火災復旧することができるようになります。
復旧指令受信用BV/MIのインスタンス番号	復旧指令受信用のBV/MIオブジェクトのインスタンス番号を表示します。設定変更はできません。
接点入力による火災復旧指令受信	チェックを入れると、アダプターの接点信号により火災を復旧することができるようになります。
接点入力	火災復旧を検知する接点を選択します。クリックすると接点を選択するダイアログが表示されます。
ON/OFF	接点がONになった場合に火災復旧とするか、OFFになった場合に火災復旧とするか選択します。

D：出力抑制

項目	説明
警報	チェックを入れると、火災発生中に警報出力を抑制します。
状態変化	チェックを入れると、火災発生中に状態変化出力を抑制します。
復旧後　解除までの待ち時間	火災復旧後、出力抑制解除までの待ち時間を設定します。テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。

7 [登録]をクリックする

- 設定が登録されます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



8 [登録]をクリックする

- 設定が登録されます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



停電連動設定を設定する

1 「設定」の[BACnet設定]をクリックする

- 「BACnet設定」画面が表示されます。



2 [停電連動設定]をクリックする

- 「停電連動設定」ダイアログが表示されます。



3 各種設定を行う

- 設定する項目のチェックボックスをクリック、またはテキストボックスをクリックすると入力ダイアログが表示されますので、登録する数値などを入力してください。(次ページ参照)



4 [登録]をクリックする

- 設定が登録されます。
- 設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



次ページに続く

「停電連動設定」画面



A： 停電発生時の設定

項目	説明
有効	チェックを入れると、停電連動が有効になります。
停電検知B-BCからの火報信号受信	チェックを入れると、停電検知B-BCからの信号により停電を検知することができるようになります。
IPアドレス	停電検知B-BCのIPアドレスを設定します。テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
停電信号BIインスタンス番号	停電信号となるBIオブジェクトのインスタンス番号を設定します。テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。
ユニキャスト受信	チェックを入れると、ユニキャストでの受信に対応します。
接点入力による復電信号受信	チェックを入れると、アダプターの接点信号により停電を検知することができるようになります。
接点入力	停電を検知する接点を選択します。クリックすると接点を選択するダイアログが表示されます。
ON/OFF	接点がONになった場合に停電とするか、OFFになった場合に停電とするか選択します。

B：停電時の設定

項目	説明
B-OWSからの復電指令受信	チェックを入れると、B-OWS(中央監視)からの復電指令により復旧することができるようになります。
復電指令受信用BV/MIのインスタンス番号	復旧指令受信用のBV/MIオブジェクトのインスタンス番号を表示します。設定変更はできません。
接点入力による復電指令受信	チェックを入れると、アダプターの接点信号により停電を復旧することができるようになります。
接点入力	復電を検知する接点を選択します。クリックすると接点を選択するダイアログが表示されます。
ON/OFF	接点がONになった場合に復電とするか、OFFになった場合に復電とするか選択します。

C：出力抑制

項目	説明
警報	チェックを入れると、停電中に警報出力を抑制します。
状態変化	チェックを入れると、停電中に状態変化出力を抑制します。
復旧後　解除までの待ち時間	復電後、出力抑制解除までの待ち時間を設定します。テキストボックスをクリックし、キーボードで入力します。

トレンド設定を設定する

1 「設定」の[BACnet設定]をクリックする

●「BACnet設定」画面が表示されます。



2 [トレンド設定]をクリックする

●「トレンド設定」ダイアログが表示されます。



3 設定するオブジェクト欄をクリックする

●「有効」にチェックを入れると、トレンド機能が有効になります。
●設定するオブジェクト欄をクリックすると、「オブジェクト」ダイアログが表示されます。
●トレンド毎に登録することができます。



4 設定する内容をクリックする

●各トレンドに登録するオブジェクトをクリックします。(1つのトレンドに対し1つの設定となります。)
●一部の機能は「基本機能設定」画面で「使用」にチェックしていないと選択できません。



5 [登録]をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。

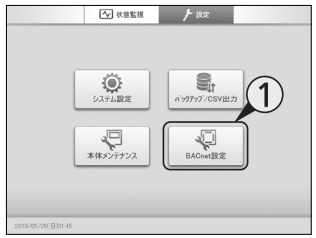


メンテナンス設定を設定する

メンテナンス状態に設定すると、警報などの出力を抑制することができます。

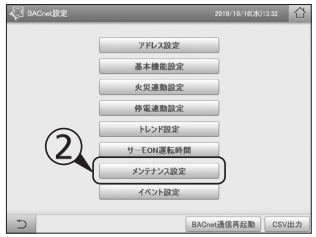
1 「設定」の[BACnet設定]をクリックする

●「BACnet設定」画面が表示されます。



2 [メンテナンス設定]をクリックする

●「メンテナンス設定」ダイアログが表示されます。



3 「メンテナンス」にチェックを入れる

●複数にチェックを入れることもできます。



4 [登録]をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



イベント連動ポイントを設定する

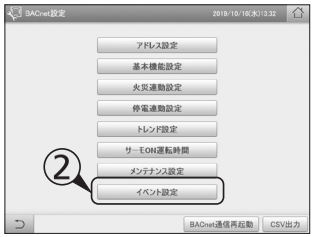
1 「設定」の［BACnet設定］をクリックする

●「BACnet設定」画面が表示されます。



2 ［イベント設定］をクリックする

●「イベント設定」ダイアログが表示されます。



3 「選択」にチェックを入れる

●複数にチェックを入れることもできます。



4 ［編集］をクリックする

●［イベント設定編集］ダイアログが表示されます。



5 各設定を行う



項目	説明
名称	室外ユニットの名前を変更します。全角で8文字（英数半角で16文字）まで入力できます。
IPアドレス	連動信号の出力元 IP アドレスを入力します。
インスタンス番号	連動信号のインスタンス番号を入力します。
オブジェクト種別	＜＞で、連動信号のオブジェクト種別を選択します。
通知種別	連動信号の通知種別を選択します。

次ページに続く

6 ［登録］をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をクリックします。



7 ［有効］にチェックを入れる

●設定を有効にするNo.のチェックボックスをクリックし、チェックを入れてください。



8 ［登録］をクリックする

●設定が登録されます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をクリックします。



空調機を連動的に制御する

入力ポイントおよび出力ポイントの条件を設定することで、空調機（室内ユニット、室外ユニット）の連動的な制御を行います。
たとえば、火災警報が発令される（入力ポイント）と、室内ユニットの運転を一斉に停止する（出力ポイント）ような設定をすることができます。

入力ポイントおよび出力ポイントの条件を設定する

1 「設定」の［システム設定］をクリックする

●「システム設定」画面が表示されます。



2 ［イベント制御］をクリックする

●「イベント制御」画面が表示されます。



3 イベント名を選ぶ

●◀ ▶でイベントを登録するイベント名を選びます。
●イベント名は変更できます。（→「イベント名を変更する」(P.34)）



4 入力ポイント枠を選び（4-1）、［設定］をクリック（4-2）する

●「入力ポイント設定」ダイアログが表示されます。



5 一覧から入力対象を選ぶ

●入力対象には、空調機警報一括、一括状態入力、デジタル入力機器、BACnet信号入力、室内ユニットがあります。



次ページに続く

6 入力条件を設定する

●選んだ入力対象によって設定できる条件が異なります。



●空調機警報一括を選んだとき

項目	説明
警報一括	「発生」「復旧」のいずれかを選びます。 ●「発生」は、異常警報が発信されたときを示します。 ●「復旧」は、異常から復旧したときを示します。

●一括状態入力を選んだとき

一括状態入力	「運転」「停止」のいずれかを選びます。 ●「運転」は、いずれか1台以上の室内ユニットが運転を開始したときを示します。 ●「停止」は、すべての室内ユニットが運転を停止したときを示します。

●BACnet信号入力/デジタル入出力機器を選んだとき

デジタル入力	「ON」「OFF」のいずれかを選びます。 ●「ON」は、デジタル入力信号がオンになったときを示します。 ●「OFF」は、デジタル入力信号がオフになったときを示します。

●室内ユニットを選んだとき

室内機※	運転	「運転」「停止」のいずれかを選びます。 ●「運転」は、室内ユニットが運転を開始したときを示します。 ●「停止」は、室内ユニットが運転を停止したときを示します。
	警報	「発生」「復旧」のいずれかを選びます。 ●「発生」は、異常警報が発信されたときを示します。 ●「復旧」は、異常から復旧したときを示します。
	室温	室温を設定します。テキストボックスをタッチすると、ソフトテンキーが表示されます。 「以上」「以下」のいずれかを選びます。 ●「以上」は、設定した室温以上になったときを示します。 ●「以下」は、設定した室温以下になったときを示します。

※右のうちの一つを条件項目として設定します

7 ［登録］をクリックする

●「入力ポイント設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をクリックします。



8 出力ポイント枠を選び（8-1）、［設定］をクリック（8-2）する

●「出力ポイント設定」ダイアログが表示されます。



9 一覧から出力対象を選ぶ

●出力対象には、デジタル出力機器、BACnet信号出力、室内ユニット（一斉、個別）、室外ユニットがあります。



10 出力条件を設定する

●選んだ出力対象によって設定できる条件が異なります。



●室内機一斉を選んだとき

項目	説明
室内機一斉	「運転」「停止」のいずれかを選びます。 ●「運転」は、すべての室内ユニットの運転を開始することを示します。 ●「停止」は、すべての室内ユニットの運転を停止することを示します。

●デジタル入出力機器を選んだとき

デジタル出力	「ON」「OFF」のいずれかを選びます。 ●「ON」は、デジタル出力信号をオンにすることを示します。 ●「OFF」は、デジタル出力信号をオフにすることを示します。

●室内ユニットを選んだとき

室内機※	運転	「運転」「停止」のいずれかを選びます。 ●「運転」は、室内ユニットの運転を開始することを示します。 ●「停止」は、室内ユニットが運転を停止することを示します。
	モード	切り換える運転モードを選びます。 (→「運転モードを設定する」(P.34))
	設定温度	設定温度を設定します。
	省エネ	「有効」「無効」のいずれかを選びます。

●室外ユニットを選んだとき

室外機デマンド	デマンド運転範囲を設定します。

※右のうちの一つを出力として設定します。

11 [登録]をクリックする

●「出力ポイント設定」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



12 「判定条件」を選ぶ

●[AND][OR]のいずれかを選びます。
(→「「イベント制御」画面」(P.33))



次ページに続く

13 出力遅延時間を設定する

① [出力遅延時間]をクリックする

●「出力遅延時間」設定ダイアログが表示されます。



② 出力遅延時間を選ぶ

●入力ポイント条件を満たしたときの出力ポイントの発動時間を設定します。



14 「有効」にチェックを入れる

●チェックを入れると、設定したイベント制御が動作するようになります。



15 [登録]をクリックする

●設定を取り消す場合は、[キャンセル]をクリックします。



お願い

- イベント制御は最大50件登録できます。
- 1イベントあたり入力ポイントおよび出力ポイントの条件はともに最大32件登録できます。

「イベント制御」画面

A：◀ ▶でイベント名を設定します。イベント名は変更することもできます。（→「イベント名を変更する」(P.34)）

B：チェックを入れると、選んでいるイベント名の設定が有効になります。

C：判定条件を選びます。

AND	入力ポイントに設定した条件がすべて一致したときに出力ポイントのイベントを実行します。
OR	入力ポイントに設定した条件のうち、1つでも一致したときに出力ポイントのイベントを実行します。



D：出力ポイントのイベントを実行するタイミング(時間)を設定します。
クリックすると、「出力遅延時間」設定ダイアログが表示されます。設定値は「0秒」「1秒」「3秒」「5秒」「10秒」「30秒」「1分」「3分」「5分」「10分」です。

E：設定した入力ポイント一覧を表示します。

入力ポイント	条件項目が設定された入力対象を表示します。
種別	入力対象の種別を表示します。
状態	入力対象の状態を表示します。
記号	室内ユニットの室温を条件項目に設定している場合に記号を表示します。表示される記号の種類は以下のとおりです。 ↑：室温を「以上」に設定している場合 ↓：室温を「以下」に設定している場合

F：設定した出力ポイント一覧を表示します。

出力ポイント	条件項目が設定された出力対象を表示します。
種別	出力対象の種別を表示します。
出力	出力対象の状態を表示します。

G：入力ポイント枠あるいは出力ポイント枠を選んでクリックすると、それぞれの設定ダイアログが表示されます。

次ページに続く

イベント名を変更する

1 テキストボックスをクリックする

●入力ダイアログが表示されます。



2 文字列を入力する

●半角英数字で入力します。
（最大16文字まで入力できます。）

運転モードを設定する

1 「出力ポイント設定」ダイアログで、[切替]をクリックする

●「モード切換」ダイアログが表示されます。



2 切り替えるモードを選ぶ

●設定が登録され、「運転モード」ダイアログが閉じられます。



入力/出力ポイントの設定を削除する

1 削除する入力/出力ポイントを選び(1-1)、[設定]をクリック(1-2)する

●設定ダイアログが表示されます。



2 空白の入力/出力対象(No.1)をクリックする

●設定が解除されます。



3 [登録]をクリックする

●設定ダイアログが閉じられ、選んだ入力/出力ポイントが一覧から削除されます。



デマンド制御の設定を変更する

1 「出力ポイント設定」ダイアログで［切換］をクリックする

●「デマンド運転範囲」ダイアログが表示されます。



2 デマンド運転範囲を設定する



［設定無し］	デマンド運転の設定を解除します。
［強制停止］	デマンド運転を強制的に停止します。
［運転XX%］（デマンド値）	∧ ∨ で選んでいる室外ユニットで設定可能なデマンド値を選びます。

3 ［登録］をクリックする

●設定が変更され、「デマンド運転範囲」ダイアログが閉じられます。
●設定を取り消す場合は、［キャンセル］をクリックします。



仕様

品番		CZ-10ESB4
外形寸法		（高さ）255 mm×（幅）275 mm×（奥行き）80 mm
質量		1.9 kg
使用温度・湿度範囲		0 ℃～40 ℃・20%～80%（結露なきこと）
定格電圧・周波数		単相AC100～240 V・50/60 Hz
消費電力		最大15 W
時計	月差	±30 秒/月（常温25 ℃） ※定期的に合わせてください。
	保持時間	100日（常温25 ℃　満充電時） ※満充電に約8時間かかります。
1リンクあたりの接続可能台数*1		下記の合計台数が100台まで 室内ユニット：64台まで*2 室外ユニット：30台まで 集中制御機器：10台まで
遠隔操作時のパソコン環境	ブラウザ	Internet Explorer 11以降またはGoogle ChromeまたはMicrosoft Edge
	画面解像度	1280×1024（推奨）
使用可能なUSBメモリー		スタンダードタイプ（USB2.0） 容量：4 GB以上 ＜使用上のご注意＞ • 上記仕様の製品であっても、動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。 • 暗号化（セキュリティソフト付き）などはご使用できません。 • データ消失について当社では一切の責任を負わないものとします。

＊1：最大接続可能台数は次の通りです。（最大2リンク接続可能）
　• 室内ユニット128台、室外ユニット60台
＊2：熱交換気ユニット、オン／オフ制御用ローカルアダプター、RACローカルアダプターの台数を含む。
　※接続可能な熱交換気ユニットは、天井埋込形・天吊カセット形のマイコンタイプです。

お願い

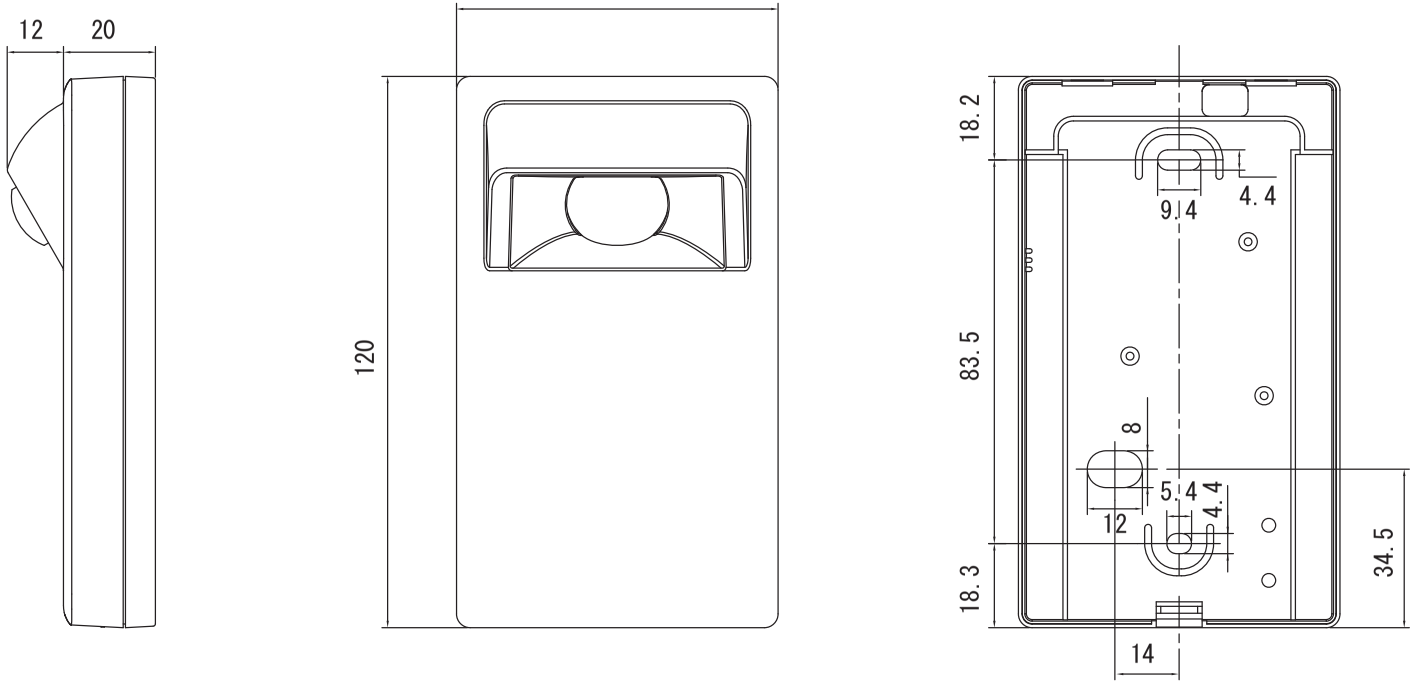
• Internet Explorer、Microsoft Edge は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
• Google Chrome は Google Inc. が所有する商標または登録商標です。
• BACnet は、米国 ASHRAE の登録商標です。

Printed in Japan
W0420-30823
ACXF60-40093

●仕様

品番	CZ-CSEN1
外形寸法	（高さ）120 mm ×　（幅）70 mm ×　（奥行き）20 ＋ 12 mm
質量	75 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）
電源	DC16 V（室内ユニットより供給）
接続台数	ひとつの室内グループにつきエコナビセンサー１台

●外形寸法図



品番	CZ-CSEN1	外形寸法図 《エコナビセンサー》 壁設置形

Panasonic

取扱説明書

エコナビセンサー
（壁設置形）
品番 CZ-CSEN1



もくじ

安全上のご注意…… 2
使用上のお願い…… 2
各部の名前…… 3
エコナビセンサーの
検知エリア（目安）…… 4
操作のしかた
（各機能の設定方法）…… 5
エコナビ機能の概要…… 6
「風あて」「風よけ」機能の概要… 8
外部機器連動機能の概要 …… 9
お手入れのしかた…… 10
故障かな？…… 11
仕　様…… 13

据付（電気）工事説明書 別添付

このたびは、エコナビセンサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●本書はエコナビセンサーの取扱説明書です。
室内ユニットおよびリモコンに付属の取扱説明書とあわせてお読みください。
●ご使用前に「安全上のご注意」（2 ページ）を必ずお読みください。
●この取扱説明書は室内ユニットに付属の取扱説明書とともに大切に保管してください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容（禁止事項）です。
❗ 実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗ 必ず守る
据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
（感電や火災の原因）

⃠ 禁止
改造・改修は絶対にしない
（修理に不備があると、水漏れや感電・火災の原因）
修理はお買い上げの販売店またはサービス会社にご相談ください。

❗ 必ず守る
体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない
（体調の悪化・健康障害の原因）
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在と判定し、空調機の運転が停止することがあります。

⃠ 禁止
エコナビセンサーをぬらさない
（感電や火災・故障の原因）

⚠ 注意

⃠ 禁止
エコナビセンサーは、絶対に分解しない
（感電や故障の原因）

使用上のお願い

●次のような場所に設置しない
・湿気・油分・振動が多い / 直射日光があたる / 熱源の近く / 結露する（故障の原因）
・ノイズが発生する（誤動作の原因）
●エコナビセンサーは、屋内専用です。
●センサーの表面に傷を付けない
（センサーが正しく検知しなくなる原因）
●センサーを強く押さない（破損の原因）
●熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。
●ベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかない（変色や変形の原因）
・ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。
●エコナビセンサーと併用不可の別売品を同時設置しない（動作不良の原因）
併用可 / 不可の判断はカタログ等でご確認ください。
●ガラスの反対側の人の動きは、検知できません。
●起動後、不在判定するまで2～5分かかります
●スプレーを吹きかけない（誤動作や故障の原因）
・液体（洗剤、アルコール、有機溶剤など）がかからないようにしてください。

各部の名前

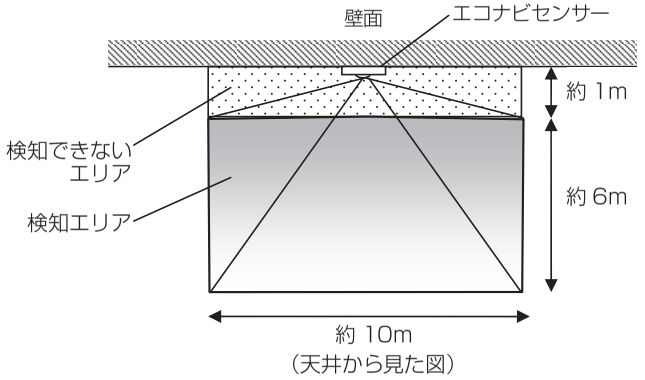


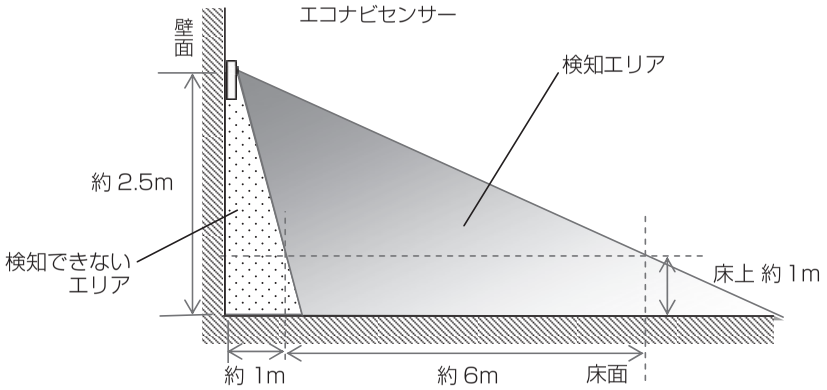
お知らせ

- ●人感センサーは熱の移動を検知するため、人だけでなく高温の動く物体も検知します。（例えば、動物の移動、赤外線ヒーターの首振り運転など）
- ●人感センサーは以下のような場合に人を検知できないことがあります。
  - ・人の動きが小さい場合
  - ・肌の露出が少ない場合
  - ・室温が３０℃以上になる場合
  - ・人感センサーに油汚れやすす、ほこり、傷などが付着している場合

エコナビセンサーの検知エリア（目安）

設置した壁面から約 1m 以内にいる人物は検知できません。





お知らせ

- ●エコナビセンサーから遠ざかるほど、人を検出するには大きな動作が必要になります。
- ●エコナビセンサーの死角になる場所では、人を検知することはできません。

操作のしかた（各機能の設定方法）

お使いのリモコンの取扱説明書をご確認ください。

お知らせ
- お使いのリモコンの取扱説明書にエコナビ機能 / 風あて風よけ機能 / 外部機器連動機能の各説明の記載がない場合、お使いのリモコンはその機能に対応していません。
- 本エコナビセンサーはサーキュレート機能には対応していません。

エコナビ機能の概要

エコナビセンサーで人の活動量を計り、人の活動量に応じて機器が省エネ運転を行います。

人の活動量が多い場合



- **冷房・ドライ時**
  設定温度で運転します
- **暖房時**
  設定温度より温度を低くして運転します。

人の活動量が少ない場合



- **冷房・ドライ時**
  設定温度より温度を高くして運転します。
- **暖房時**
  設定温度で運転します

人が不在の場合



※ 不在運転モード中に人を検知した場合、人の活動量に応じた運転状態に戻ります。

<u>不在が約 20 分継続した時</u>
- **冷房・ドライ時**
  人の在室時より、更に温度を高くして運転します。
- **暖房時**
  人の在室時より、更に温度を低くして運転します。

<u>不在が約 1 時間継続した時</u>
- 指定した不在運転モードで運転します。出荷設定は、設定温度を抑制した省エネ運転のまま継続します。
  （不在運転モードについては、お知らせ（P.7）をご覧ください）

⚠ 警告

必ず守る

体の不自由な方や乳幼児だけが在室する状況でエコナビ機能を使わない
（体調の悪化・健康障害の原因）
動きが小さい状態で長時間経過するとエコナビセンサーが不在と判定し、空調機の運転が停止することがあります。

「風あて」「風よけ」機能の概要

エコナビセンサーで人を検知し、人がいる時に人に風をあてる制御「風あて」または人に風をあてない制御「風よけ」を行います。

●風あて

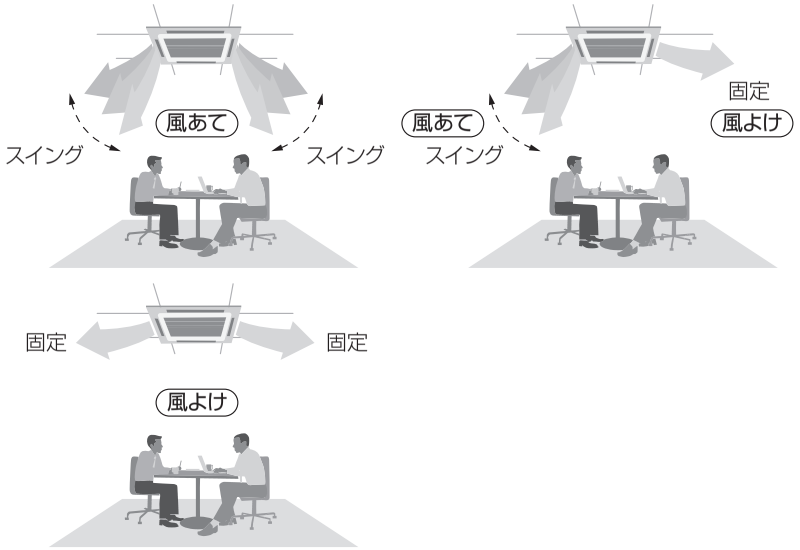
人がいる場合　：冷房 / ドライ / 暖房時に、人がいる周辺に風を上下にスイングさせます。

人がいない場合：設定風向に従い動きます。

●風よけ

人がいる場合　：フラップを水平方向にして、人に風があたらないようにします。

人がいない場合：設定風向に従い動きます。



お知らせ

●風あて / 風よけ機能の設定を行うには、風あて / 風よけ機能に対応したリモコンが必要です。

●エコナビ機能がオンの場合のみ、風あて / 風よけ機能が動作します。

●風あて / 風よけ機能は、室内ユニットのフラップごとにリモコンで設定可能です。（エコナビ対応の風あて･風よけ機能のある室内ユニットのみ）

●本機能は、空調機からの風が人にあたること / あたらないことを保証するものではありません。

●風あて / 風よけ機能の設定方法については、リモコンの取扱説明書をご確認ください。

お知らせ

●エコナビ機能の設定を行うには、エコナビ機能に対応したリモコンが必要です。

●エコナビ機能のオン / オフはリモコンで設定可能です。

●エコナビセンサーが不在を検知してから不在運転を開始するまでの時間（出荷設定: 1 時間、30 分間隔で 30 分～ 180 分に変更可能）はリモコンで設定可能です。

●不在運転モードはリモコンで以下の４つから選択可能です。

①設定なし……設定温度を抑制した省エネ運転を継続します。人を検知すると人の活動量に応じた運転に戻ります。
＜出荷設定＞

②スタンバイモード……冷房・ドライ / 暖房運転を休止し、送風（微風）のみの運転を行います。人を検知すると人の活動量に応じた運転に戻ります。

③停止モード（再運転しない）‥運転を停止します。停止後は人を検知しても運転を再開しません。

④停止モード（再運転する）‥‥運転を停止します。停止後も人を検知すると運転を再開し、人の活動量に応じた運転に戻ります。

●エコナビ機能によって目標温度が変更されても、リモコンに表示される設定温度は変化しません。

●不在運転（スタンバイモード）により送風運転に切り換わっても、リモコンに表示される運転モードは変化しません。

●室内ユニットを複数台運転する場合は、部屋の状況によって省エネ効果が小さくなることがあります。

●エコナビ機能の設定方法については、リモコンの取扱説明書をご確認ください。

外部機器連動機能の概要

外部機器連動機能をご利用になると、室内コントロール基板から人感センサー出力やサーモ ON 出力、運転信号出力のいずれか 1 つを取り出せ、外部機器との連動が可能です。

■ 制御内容

●人感センサー出力に連動 (警報とは連動しません)
人の在→不在の変化を検知時 ： 外部機器の運転をオフします。
「不在検知時間設定」の時間を変更することで、運転オフのタイミングを変更することができます。
人の不在→在の変化を検知時 ： 外部機器の運転をオンします。

●運転信号出力に連動(エアコン連動)
室内ユニットが運転時 ： 外部機器の運転をオンします。
室内ユニットが停止時 ： 外部機器の運転をオフします。

●サーモ出力に連動
サーモ ON 時 ： 外部機器の運転をオンします。
サーモ OFF 時： 外部機器の運転をオフします。

お知らせ
- ●外部機器連動の設定方法についてはリモコンの取扱説明書をご確認ください。
- ●外部機器連動機能の有効 / 無効はリモコンで設定可能です。
- ●不在を検知してから外部機器の運転をオフするまでの時間（出荷設定：0 分）は、リモコンで設定可能です。
（0 分～ 60 分、1 分間隔）
- ●外部機器連動の設定を行うには、外部機器連動機能に対応したリモコンが必要です。

お願い
- ●空調機からの外部出力信号は外部機器の管理用に設けられていますが、空調機が動作しなくなった場合でも、外部接続機器が安全側へ動作を移行するよう事前に措置を講じてください。
- ●空調機からの外部出力信号は停電時にはオフとなります。停電時の特別な配慮が必要な場合は、外部回路で対応してください。

お手入れのしかた

人感センサーが汚れた場合は乾いた柔らかい布で拭いてください。
汚れがひどい場合は、布に水で薄めた中性洗剤を含ませ、よく絞ってから拭いてください。その後、乾いた柔らかい布で拭いてください。

お願い
- ●ベンジンやシンナー、化学雑巾などで拭かないでください。(変色や変形の原因)
- ●40℃以上のお湯で水拭きしないでください。(変色や変形の原因)

故障かな？

症状	原因・対応
人を検知できない	●人感センサーの前に物がありませんか？ • 検知の妨げにならない位置に物を移動させてください。
	●熱の動きや温度変化を検知して人がいると判断しています。下記の場合には人がいないと判断することがあります。 • 人の温度と室内温度の差が小さい。 • 人感センサーから離れている。 • 肌の露出が少ない。
	●人感センサーが汚れていませんか？ • 人感センサーをきれいな柔らかい布で拭いてください。
リモコン画面に「**エコナビ点検**」が点滅表示される	●エコナビセンサーが故障しているか、もしくは正しく設置されていません。 • リモコンでエコナビ機能をオフにし、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。
リモコン画面に ECONAVI が表示されない	●室内ユニットが停止していませんか？ • 一時的に室内ユニットを運転状態にして表示をご確認ください。
	●運転モードが送風になっていませんか？ • 一時的に送風以外の運転モードにして、表示をご確認ください。
	●エコナビ機能がオフになっていませんか？ • リモコンでエコナビ機能をオンにしてください。
	●リモコンがエコナビ機能に対応していない可能性があります。 • リモコンの取扱説明書にエコナビ機能の記載がなければ、そのリモコンはエコナビ機能に対応していません。お買い上げの販売店にご連絡ください。
	●室内ユニットがエコナビ機能に対応していない可能性があります。 • リモコンを操作しても症状が変わらない場合は、室内ユニットがエコナビ機能に対応していません。お買い上げの販売店にご連絡ください。

故障かな？

症状	原因・対応
「風あて」設定後も風があたらない	●人感センサーが人を検知していない可能性があります。 • 症状「人を検知できない」の項目をご確認ください。
	●個別風向固定設定により「風あて」が無効化されている可能性があります。 • リモコンで個別風向固定設定を解除してください。
	●場所によって風があたらない場合があります。（本機能は風があたることを保証するものではありません。） • この場合は、フラップ位置を風のあたる方向に固定することをお勧めします。
「風よけ」設定後も風があたる	●人感センサーが人を検知していない可能性があります。 • 症状「人を検知できない」の項目をご確認ください。
	●個別風向固定設定により「風よけ」が無効化されている可能性があります。 • リモコンで個別風向固定設定を解除してください。
	●場所によって風があたる場合があります。（本機能は風があたらないことを保証するものではありません。） • この場合は、フラップ位置を風のあたらない方向に固定することをお勧めします。
外部機器連動設定後も外部機器が人感センサーに連動しない	●人感センサーが人を検知していない可能性があります。 • 症状「人を検知できない」の項目をご確認ください。
	●外部機器連動のモードがエアコン連動に設定されている可能性があります。 • リモコンでセンサー連動モードに変更してください。（リモコンの取扱説明書 参照）
	●人がいなくなってから人感センサーが不在判定するまでに２～５分かかります。
	●人感センサーが不在判定してから外部機器の運転がオフするまでの時間が長く設定されている可能性があります。 • 上記時間をリモコンで０分に設定してください。（リモコンの取扱説明書 参照）０分に設定しても、人感センサーが不在判定するまでの時間（２～５分）はかかります。

仕様

品番	CZ-CSEN1
外形寸法	(高さ) 120mm × (幅) 70mm × (奥行き) 20+12mm
質量	75g
使用温度・湿度範囲	0℃～40℃・20%～80%（屋内設置専用）
電源	DC16V（室内ユニットより供給）
接続台数	ひとつの室内グループにつきエコナビセンサー 1 台

Printed in China
DC0515-40423
ACXF55-17983

Panasonic

据付(電気)工事説明書

エコナビセンサー
(壁設置形)

品番 **CZ-CSEN1**

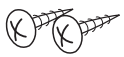
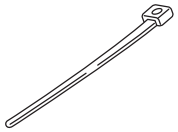
各部の名前



人感センサー
人の動きを検知します

もくじ

安全上のご注意……2
使用上のお願い……2
設置上のご注意……3
取り付ける……7
設定する……9
試運転する……11
自己診断……13
外部機器連動機能……14
仕様……16

付属品		
小ネジ M4 × 25 (2本)	**木ネジ** M4 × 15.5 (2本)	**結束バンド** (1本)
 (埋込型 JIS ボックス用)		

※ リモコン配線は現地調達のため付属されていません。

- 据付 (電気) 工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
  また、「据付 (電気) 工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
  移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- 据付 (電気) 工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
  また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 室内ユニットなどに付属の据付工事説明書も合わせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	⚠ 注意
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容(禁止事項)です。	❗ 実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠ 警告

- ⃠ **分解や改造は行わない**
  (感電・火災の原因)
- ❗ **据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
  (感電・火災等の原因)
- ❗ **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**
  (感電・火災等の原因)
- ❗ **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  ● 電気設備に関する技術基準
  ● 内線規程
  ● 据付(電気)工事説明書
  (感電・火災の原因)
- ❗ **配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
  ● 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
  (発熱・火災等の原因)
- ❗ **据付は、エコナビセンサーの重さに十分耐える所に設置する**
  ● 取付強度を確保できない場合には、必ず強度を確保できる補強を行う。
  (落下の原因)
- ❗ **工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
  (感電の原因)

⚠ 注意

- ⃠ **ぬれた手で操作しない**
  (感電の原因)
- ⃠ **水洗いしない**
  (感電・火災の原因)

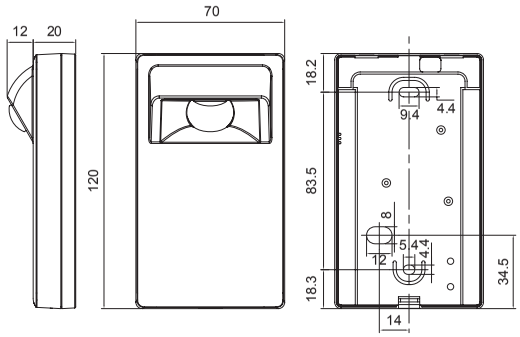
使用上のお願い

- 次のような場所に設置しない。
  - 湿気・油分・振動が多い / 直射日光があたる / 熱源の近く / 結露する(故障の原因)
  - ノイズが発生する(誤動作の原因)
  - 可燃性ガスの漏れるおそれがある(火災の原因)
- エコナビセンサーは、屋内専用です。
- センサーの表面に傷を付けない。
  (センサーが正しく検知しなくなる原因)
- センサーを強く押さない。(破損の原因)
- 熱源や冷却するものが検知範囲内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。
- ベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかない。(変色や変形の原因)
  - 汚れがひどい場合は、布に水でうすめた中性洗剤を含ませ、よく絞ってからふいてください。その後、乾いた布でふいてください。
- エコナビセンサーと併用不可の別売品を同時設置しない。(動作不良の原因)
  併用可 / 不可の判断はカタログ等でご確認ください。
- ガラスの反対側の人の動きは、検知できません。
- 起動後、不在判定するまで2～5分かかります。

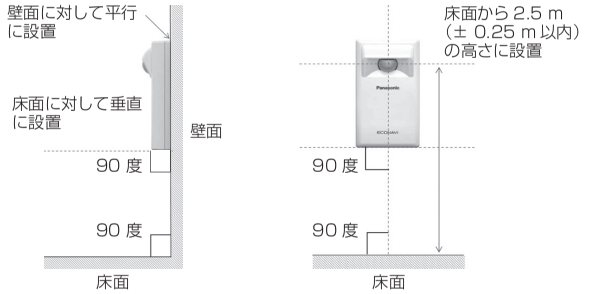
設置上のご注意

外形寸法

単位：mm



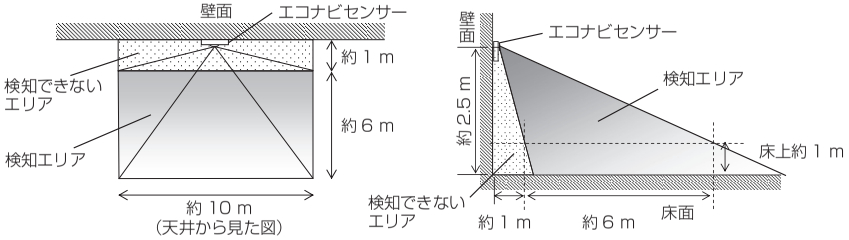
設置場所など



エコナビセンサーは、コントロールする空調機の気流が届く範囲に設置することを推奨します。

検知エリアの目安

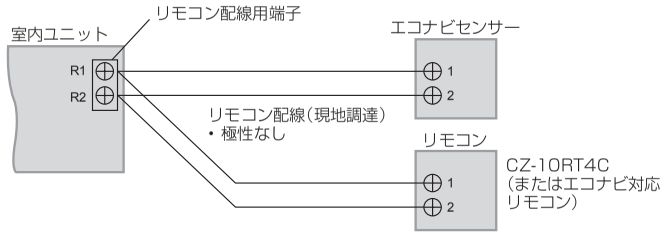
設置した壁面から約 1 m 以内にいる人物は検知できません。



設置上のご注意（続き）

リモコン配線（エコナビセンサーの配線の仕方）

■配線図



■配線の種類

- 柔軟性のある、0.5 ～ 1.25 mm^2 のケーブルを使う。
- 単線は使わない。
- シース部含む絶縁物の厚みが 1 mm 以上ある配線を使う。
- 推奨品※（　）内：エコ電線
  - VCTF（EM-ECTF）
  - VCT（ECO120）

※エコ電線について：　紫外線（日光・照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。

■総配線長

500 m 以内（エコナビセンサー配線とリモコン配線の総配線長）
（室内ユニット間のリモコン配線は、200 m 以内）

■室内グループ接続可能台数

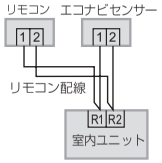
エコナビセンサー：1 個
リモコン　CZ-10RT4C（またはエコナビ対応リモコン）：1 個
室内ユニット：最多 8 台

エコナビセンサーは、CZ-10RT4C（またはエコナビ対応リモコン）と併用する必要があります。
CZ-10RT4C（またはエコナビ対応リモコン）の接続は、CZ-10RT4C（またはエコナビ対応リモコン）に付属の据付工事説明書を参照ください。

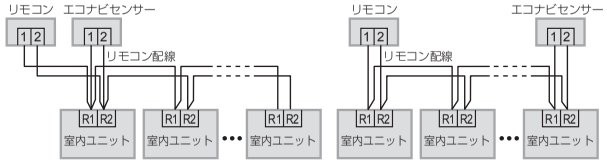
お願い

- 誤って、室内ユニットの他の端子（電源配線用端子など）に接続しないよう、注意してください。（故障の原因）
- 電源配線などと一緒により合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。（誤動作の原因）

■室内ユニットが1台のとき



■室内ユニットが複数台のとき

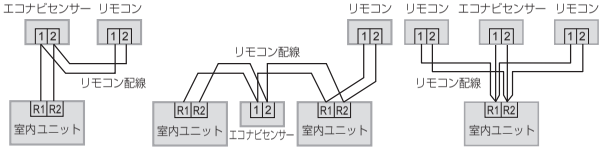


お知らせ

● どの室内ユニットにリモコンやエコナビセンサーを接続しても、動作します。

■以下のような構成では接続できません。

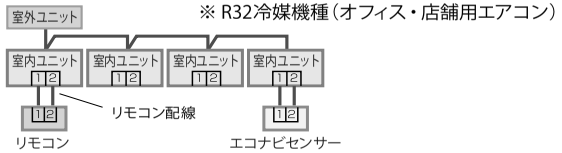
- リモコンやエコナビセンサーでわたる配線は禁止です。
- ひとつの室内グループにエコナビセンサーとリモコンは1台ずつしか接続できません。



グループ制御(リモコンわたり配線)について

● R32 冷媒機種(オフィス・店舗用エアコン)は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
● 冷媒種にかかわらず、冷媒系統が異なる場合や熱交換気ユニットと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。
● R410A 冷媒機種(オフィス・店舗用エアコン)は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。
※ 6 シリーズ以降のオフィス・店舗用エアコンの場合は、室内ユニットに同梱されている説明書をご覧ください。

■同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

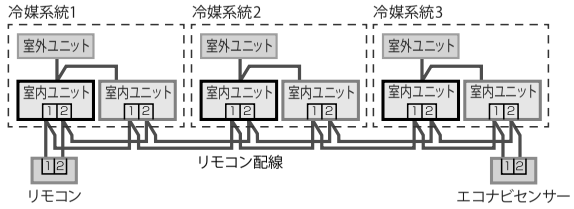


お知らせ

● どの室内ユニットにリモコンやエコナビセンサーを接続しても、動作します。

設置上のご注意(続き)

■複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

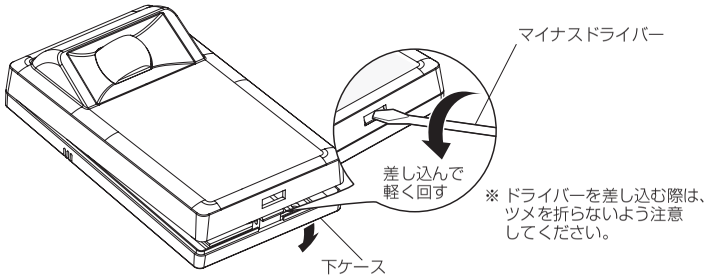


お願い

● どの室内ユニットにリモコンやエコナビセンサーを接続しても、動作します。

取り付ける

1 下ケースをはずす



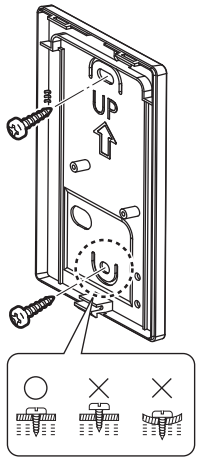
お願い

下ケースを取り付けるとき（P.8 ❶参照）

- ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締めてください。
  （上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。
  （下ケースの変形による、落下の原因）

リモコン配線を接続するとき

- 余分な配線をケースに収納しないでください。
  (配線はさみ込みによる故障の原因)
- 基板上の部品に配線が触れないようにしてください。
  （配線はさみ込みによる故障の原因）



取り付ける（続き）

2 壁に取り付ける

埋込型の場合

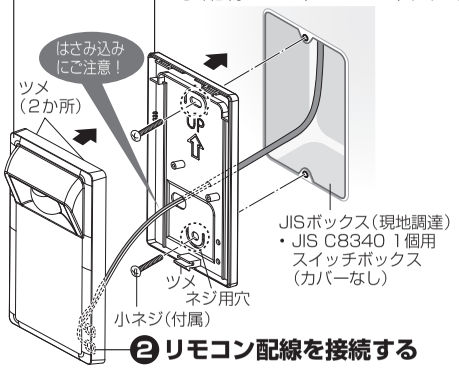
- あらかじめ現地で壁内に埋込まれた下図に示す JIS ボックス（現地調達）に取り付けてください。

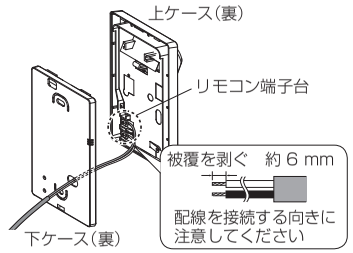
❸ 上ケースを取り付ける

- 上ケースのツメを合わせてから、下ケースのツメを合わせる。

❶ 下ケースを JIS ボックスに取り付ける

- 配線は、下ケース中央の穴に通しておく。





❷ リモコン配線を接続する

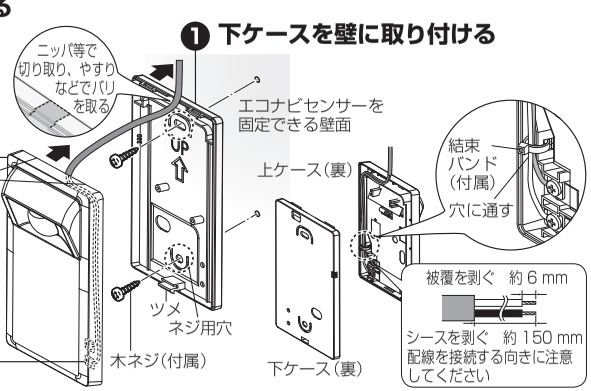
露出型の場合

- エコナビセンサーが固定できる壁面に取り付けてください。

❸ 上ケースを取り付ける

- 上ケースのツメを合わせてから、下ケースのツメを合わせる。

❶ 下ケースを壁に取り付ける



❷ リモコン配線を接続する

- ケースの溝に沿って配線する（右図参照）

設定する（CZ-10RT4C の場合）

エコナビシステム設定

エコナビ機能向けに、室内ユニットの親機 / 子機設定を変更します。
※エコナビ機能を使用するには、室内ユニットの親機がエコナビ機能に対応している必要があります。

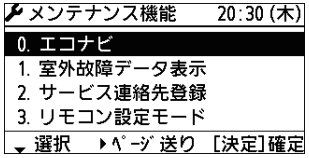
1 3つのボタンを押す

戻る+決定+▶ボタンを同時に４秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。



2 「0. エコナビ」を選ぶ

▲ / ▼ボタンで「0. エコナビ」を選択し、決定ボタンを押してください。



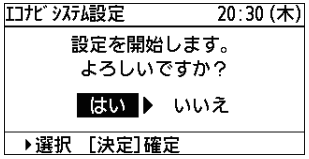
3 「エコナビシステム設定」を選ぶ

▲ / ▼ボタンで「エコナビシステム設定」を選択し、決定ボタンを押してください。



4 設定を開始する

◀ / ▶ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押してください。



5 設定完了後、システムが自動的に再起動します

設定する（CZ-10RT4C の場合）（続き）

6 エコナビが設定されたか確認する

右図のようにECONAVIが表示されます。
※運転中の画面になっていない場合は、運転 / 停止ボタンを押して、運転状態にしてください。
※運転モードが送風の場合はECONAVIは表示されません。送風以外の運転モードにしてください。



お知らせ

●手順 **2**（P.9）の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	説明
室内ユニットの構成情報を取得中です。	しばらくしてから再度「0. エコナビ」を選択してください。約 10 分程度待っても状況が変わらない場合は、自動アドレスを行った後「0. エコナビ」を選択してください。

●手順 **3**（P.9）の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	説明
設定の必要はありません。	室内ユニットの親機が既にエコナビ機能に対応しています。そのままの設定でエコナビ機能をお使いいただけます。
室内ユニットの親機が見つかりません。	室内ユニットの電源が落ちている可能性があります。室内ユニットの電源を確認してください。
エコナビ機能対応の室内ユニットが見つかりません。	グループ制御対象の室内ユニットがすべてエコナビ機能に対応していないため、エコナビ機能をお使いいただけません。

試運転する（CZ-10RT4C の場合）

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を入れてください。
電源投入後の約 90 秒間は、エコナビセンサーは初期設定中のため、人の検出を行いません。

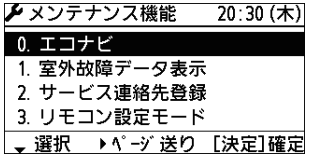
1 ３つのボタンを押す

戻る＋決定＋▶ボタンを同時に４秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。



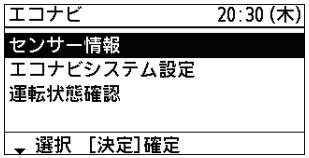
2 「0. エコナビ」を選ぶ

▲ / ▼ボタンで「0. エコナビ」を選択し、決定ボタンを押してください。



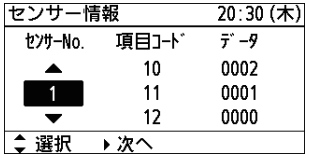
3 「センサー情報」を選ぶ

▲ / ▼ボタンで「センサー情報」を選択し、決定ボタンを押してください。



4 センサー No.1 の項目コード 11 と 12 のデータを確認する

① ▲ / ▼ボタンでセンサー No.1 を選択してください。
② ◀ / ▶ボタンで項目コードを選択してください。
③ ▲ / ▼ボタンで項目コード 11 と 12 を選択してください。



試運転する（CZ-10RT4C の場合）（続き）

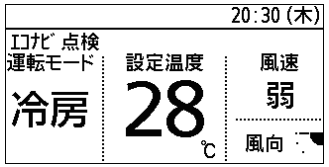
項目コード	説　明
11	• データはエコナビセンサーの状態を表します。 0000：エコナビセンサーが接続されていません。 0001：人を検出できる状態です。 0002：初期設定中です。（人を検出できません。） 電源投入から約 90 秒で初期設定が完了します。 0003：複数台のエコナビセンサーが接続されています。 ひとつの室内グループにつきエコナビセンサー１台のみ接続可能です。 0004：人感センサーが故障しています。 • データは 30 秒ごとに自動で更新されます。
12	• データは 30 秒間に人を検出した回数を表します。 • データは 30 秒ごとに自動で更新されます。

＜人感センサーの動作確認＞

手順１　項目コード 11 のデータが 0001 になっていることを確認する。
手順２　人感センサーに人を検知させる。
• 人感センサーの前で 10 秒程度手をふる。
手順３　手順２から 30 秒以内に項目コード 12 のデータが１以上になることを確認する。
手順４　人感センサーに人を検知させない。
• 人感センサーをエコナビセンサーの梱包箱で覆う。
• 梱包箱で覆うことが困難な場合は、人感センサーの検知エリアから人、動物など（検知対象となるもの）を除外する。
※ エコナビセンサーの検知エリア内にリモコンがある場合、検査者は体等を動かさないようにして、リモコン表示を確認すること。
手順５　しばらくして、項目コード 12 のデータが 0 になることを確認する。
（待ち時間の目安：30 秒～２分）

自己診断(CZ-10RT4C の場合)

リモコン画面に「エコナビ点検」が表示されたら、エコナビセンサーを再起動してください。
(漏電しゃ断器(電源)を切り、エコナビセンサーの配線をリモコン配線用端子からはずして再接続します。)
再度、「エコナビ点検」が表示されたら、以下の点をご確認ください。



症　　状	原因・対応
「エコナビ点検」の表示が消えた場合	●エコナビセンサーをそのままお使いいただけます。
「エコナビ点検」の表示がしばらく消えるが、また再点灯する場合	●室内ユニットとエコナビセンサー間の配線が断線している、または故障している可能性があります。 ・リモコンでエコナビ機能をオフにし、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。
「エコナビ点検」の表示が消えない(継続する)場合	

外部機器連動機能(CZ-10RT4C の場合)

外部機器連動機能をご利用になると、室内コントロール基板から人感センサー出力やサーモ ON 出力、運転信号出力のいずれかひとつを取り出せ、外部機器との連動が可能です。

■制御内容

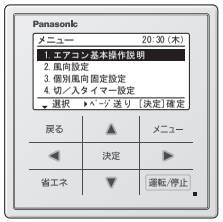
●人感センサー出力に連動 (警報とは連動しません)
人の在→不在の変化を検知時 : 外部機器の運転をオフします。
「不在検知時間設定」(P.15)の遅延が可能です。
人の不在→在の変化を検知時 : 外部機器の運転をオンします。

●運転信号出力に連動(エアコン連動)
室内ユニットが運転時 : 外部機器の運転をオンします。
室内ユニットが停止時 : 外部機器の運転をオフします。

●サーモ出力に連動
サーモ ON 時 : 外部機器の運転をオンします。
サーモ OFF 時 : 外部機器の運転をオフします。

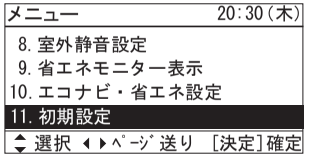
1 メニュー画面を出す

[メニュー]ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。



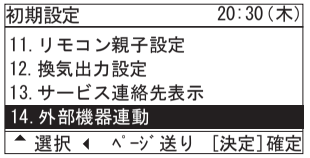
2 「初期設定」を選ぶ

[▲] / [▼]ボタンで「初期設定」を選択し、
[決定]ボタンを押してください。



3 「外部機器連動」を選ぶ

[▲] / [▼]ボタンで「外部機器連動」を選択し、
[決定]ボタンを押してください。



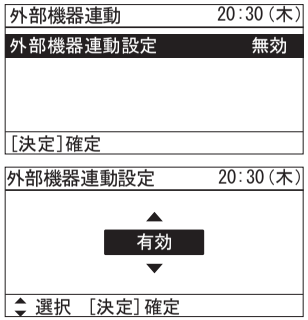
4 パスワードを入力する(パスワード設定時)

[▲] / [▼]ボタンで数字を選択し、[▶]ボタンで次の桁に移行します。(繰り返す)
入力が完了したら[決定]ボタンを押してください。
※パスワードが未設定のときは、パスワード入力画面が表示されたら[決定]ボタンを押してください。



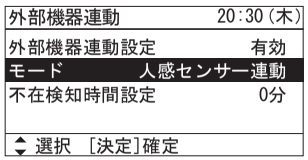
5 「外部機器連動設定」が「無効」の場合

決定 ボタンを押してください。
▲ / ▼ ボタンで「有効」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



「外部機器連動設定」が「有効」の場合

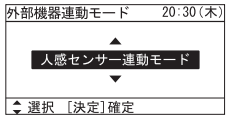
外部機器連動機能が有効のとき、「モード」「不在検知時間設定」を表示します。



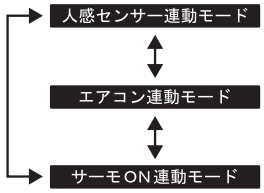
6 設定・確認する

「モード」の設定・確認する場合

▲ / ▼ ボタンで「モード」を選択し、決定 ボタンを押してください。



▲ / ▼ ボタンで選択し、決定 ボタンを押してください。



エコナビセンサーの在・不在出力に連動します。

エアコンの運転 / 停止出力に連動します。

エアコンのサーモ ON/OFF 出力に連動します。

「不在検知時間設定」の設定・確認する場合

▲ / ▼ ボタンで「不在検知時間設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。



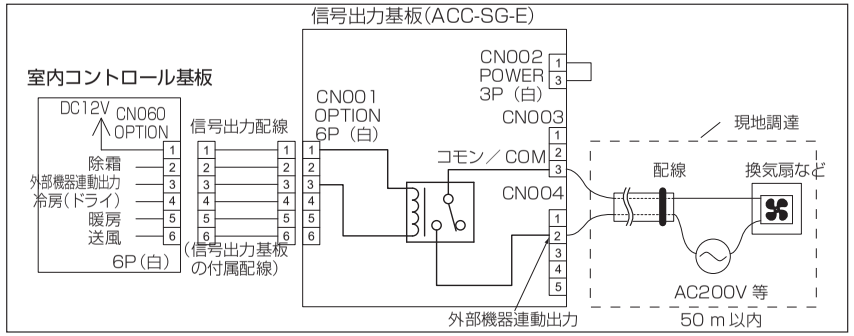
運転オフのタイミングを変更することができます。
▲ / ▼ ボタンで0～60分の間で1分刻みに設定可能です。
設定後、決定 ボタンを押してください。

メニュー ボタンを２回押して終了してください。

外部機器連動機能（CZ-10RT4C の場合）（続き）

■配線例

信号出力基板（(ACC-SG-E)、別売品) を使用した連動システム例
※室内ユニットにより接続方法が異なるため、信号出力基板(ACC-SG-E) の据付工事説明書を参照下さい。



お願い

- 空調機からの外部出力信号は外部機器の管理用に設けられていますが、空調機が動作しなくなった場合でも、外部接続機器が安全側へ動作を移行するよう事前に措置を講じてください。
- 空調機からの外部出力信号は停電時にはオフとなります。
  停電時の特別な配慮が必要な場合は、外部回路で対応してください。

仕様

品番	CZ-CSEN1
外形寸法	（高さ）120 mm × （幅）70 mm × （奥行き）20 + 12 mm
質量	75 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）
電源	DC16 V（室内ユニットより供給）
接続台数	ひとつの室内グループにつきエコナビセンサー 1 台

Printed in China
DC0419-20723
ACXF60-36982
F616845

遠隔監視アダプター / CZ-01AP60B

●基本仕様

■監視可能空調機

監視可能空調機※1		接続可能台数		同時接続可能範囲
		室外ユニット系	室内ユニット系	
GHP	Gシリーズ	室外ユニット 30台※2	室内ユニット 64台※3	同時接続可能※4
	Hシリーズ			
	Jシリーズ			
	Kシリーズ			
	Mシリーズ			
	Sシリーズ			
	Tシリーズ			
ローカルアダプター※5		1台※6	64台	
混在時の接続可能台数		計32台まで	計64台まで	

※1・ GHP: ガスヒートポンプエアコン（三洋電機株式会社製含む）
遠隔監視可能機種については、それぞれの空調機情報一覧表を参照ください。

※2・ Wマルチの子室外ユニットも含めます。ただし、GHP-H1シリーズWマルチは常に3台分扱いとなります。

※3・ 4方向カセット10馬力は2台分に相当します。

※4・ GHP冷凍機、GHPチラーは単独での接続となります。ただし、GHP冷凍機クーリングコイルタイプは同タイプのGHP冷凍機とのみ複数台接続可能です。

※5・ オン/オフ制御用ローカルアダプター CZ-CAP** (CZ-CAPL1など)、またはRACローカルアダプター(CZ-CAPR1)。
ローカルアダプターは室内ユニット1台に相当します。

※6・ ローカルアダプターが属する系統（31系統）を示すため、ローカルアダプター全体で1台の室外ユニットがあるものとみなします（仮想室外ユニット）

注・ ローカルアダプターの仮想室外ユニットは、GHPの室外ユニットに相当するものとして扱うため、室外ユニットの台数として数えます。

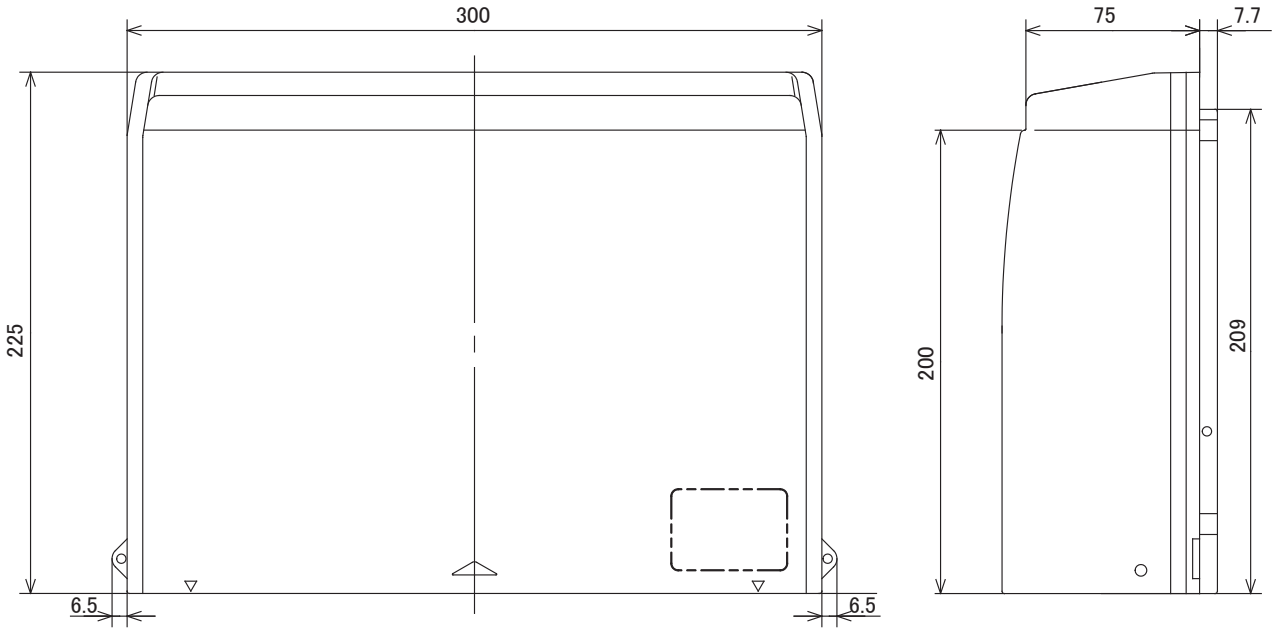
注・ スマートマルチの最適制御運転では、遠隔監視アダプターはCZ-01AP50Bを使用してください。

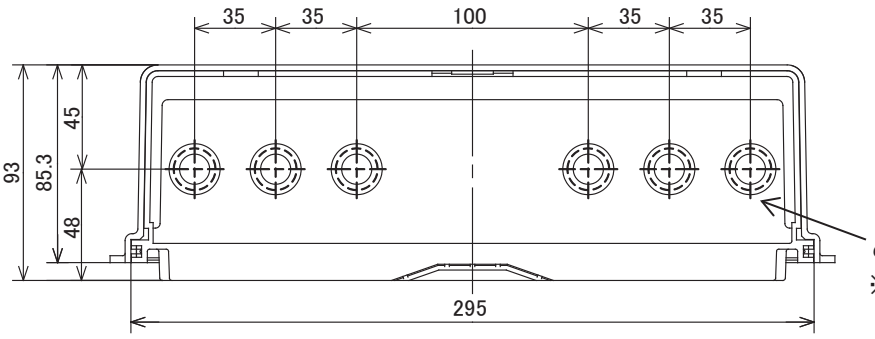
■一般仕様

		仕　様
使用通信回線		NTT ドコモの “FOMA パケット通信” サービス
FOMA 端末	対応機種	UM01-KO 専用アダプタセット ,UM01-F 専用アダプタセット UM02-KO 専用アダプタセット ,UM02-F 専用アダプタセット UM03-KO 専用アダプターセット
	接続規格	RS-232 規格
	接続方式	9 ピン D-SUB コネクター（接続ケーブル付属）
	電源	本機より供給 (DC5V、接続ケーブル付属）
	アンテナ	本機外部設置、ただし電波状態良好な場所では内部取り付け可能
	プロトコル	“FOMA” に準拠 (PPP、TCP/IP） ※アプリケーション層はガス 3 社共通仕様
サービス端子	接続規格	RS-232 規格
	接続方式	D-SUB9 ピンコネクター（オス）
	通信速度	9600BPS 調歩同期 8 ビットデータ、偶数パリティ、1 ストップビット
	プロトコル	ガス 3 社共通仕様
	接続線長さ	最大 3m (常時接続不可）
USB サービス端子	接続規格	USB 2.0
	接続方式	USB B コネクター
	通信速度	最大 12MBPS
	プロトコル	ガス 3 社共通仕様 ※仮想シリアルポートとして動作
	接続線長さ	最大 5m (常時接続不可）
空調機接続端子	接続規格	HBS または RS-485 (切り換え式）
	接続方式	ワンタッチ端子台
	監視可能台数	室外ユニット 30 台、室内ユニット 64 台 (吸収式冷凍機は 8 台）
	プロトコル	独自
	接続線長さ	総延長で 1km 以内 (HBS、RS-485 とも）
外部信号入力 1	適合信号	オープンコレクタまたは無電圧接点
	信号条件	幅 50mS 以上の ON/OFF またはパルス
	信号電流	約 15mA 以内
	接続方式	ワンタッチ端子台
	用途	パルス・ガス流量計接続
	配線長	30m 以内
外部信号入力 2	適合信号	オープンコレクタまたは無電圧接点
	信号条件	幅 50mS 以上の ON/OFF またはパルス
	信号電流	約 15mA 以内
	接続方式	ワンタッチ端子台
	用途	パルス・ガス電力量計接続 (コジェネ監視時）
	配線長	30m 以内
外部信号入力 3	適合信号	オープンコレクタまたは無電圧接点
	信号条件	幅 50mS 以上の ON/OFF またはパルス
	信号電流	約 15mA 以内
	接続方式	ワンタッチ端子台
	用途	パルス・ガス電力量計など接続
	配線長	30m 以内
外部信号入力 4	適合信号	オープンコレクタまたは無電圧接点
	信号条件	幅 50mS 以上の ON/OFF またはパルス
	信号電流	約 15mA 以内
	接続方式	ワンタッチ端子台
	用途	パルス・ガス電力量計など接続
	配線長	30m 以内

外部信号出力1	出力方式	無電圧a接点（N.O）
	接点定格	DC30V ,0.5A
	最小適用負荷	DC0.1V,0.1mA
	接続方式	ワンタッチ端子台
	用途	使用できません（弊社独自機能として使用します）
	配線長	30m以内
LANポート	接続規格	イーサネット/IEEE 802.3
	接続方式	100BASE-TX RJ-45コネクター
	通信速度	最大100MBPS
	プロトコル	TCP/IPなど
	用途	使用できません（試験用）
	接続線長さ	最大100m（ケーブル100BASE-TXカテゴリ5以上）
SDカードスロット	接続規格	SDメモリーカード（SDカード）×1 ※SD-HCメモリーカードには対応しておりません。
	接続方式	SPIモード
	最大容量	2GB
	ファイルフォーマット	FAT16 ※SDカード使用時、あらかじめパソコンでフォーマットが必要
外部センサー端末		使用できません(試験用)
予備通信端子	接続規格	RS-485
	接続方式	ワンタッチ端子台
	用途	使用できません（予備）
	プロトコル	独自
	接続線長さ	総延長で1km以内
内蔵時計		年月日時分秒 月差約1分（1週間以上バッテリバックアップ）
空調機情報メモリー		運転状態情報：室外ユニット30台+室内ユニット64台分 （一次メモリー）※バッテリバックアップなし 発呼情報：（室外ユニット30台+室内ユニット64台）×4回分以上 ※バッテリーバックアップつき トレンド情報：室外ユニット30台+室内ユニット64台、各60回分 （二次メモリー）※不揮発性メモリー（フラッシュメモリ）
設定	各種設定値	内部EEPROMに記憶（一部はフラッシュメモリ）
	終端抵抗有無	空調機接続端子用ショートピン
		外部センサー端末接続端子用ショートピン
		予備通信端子用ショートピン
表示	動作中表示	緑LED
	通信禁止中表示	赤LED
	各種状態表示	6桁7セグメントLED（赤）
	異常表示	赤LED（7セグメントLEDでも表示）
	表示階層表示	緑LED
操作部	手動発呼	押しボタンスイッチ
	通信禁止	押しボタンスイッチ
	表示・設定	HOMEキー、UPキー、DOWNキー、SETキー（各押しボタンスイッチ）
電源		単相AC100～240V 50/60Hz
消費電力		約10W（FOMA端末含む）
動作温度・湿度		-20℃～+50℃・25%～85%（結露ないこと）
設置場所		屋外または屋内の垂直面
取り付け方法		壁面取り付け（ビス止め）
寸法		縦225mm×横300mm×奥行93mm（突起部除く）
重量		約1.5kg（FOMA端末、アンテナ含まず）

■外形図



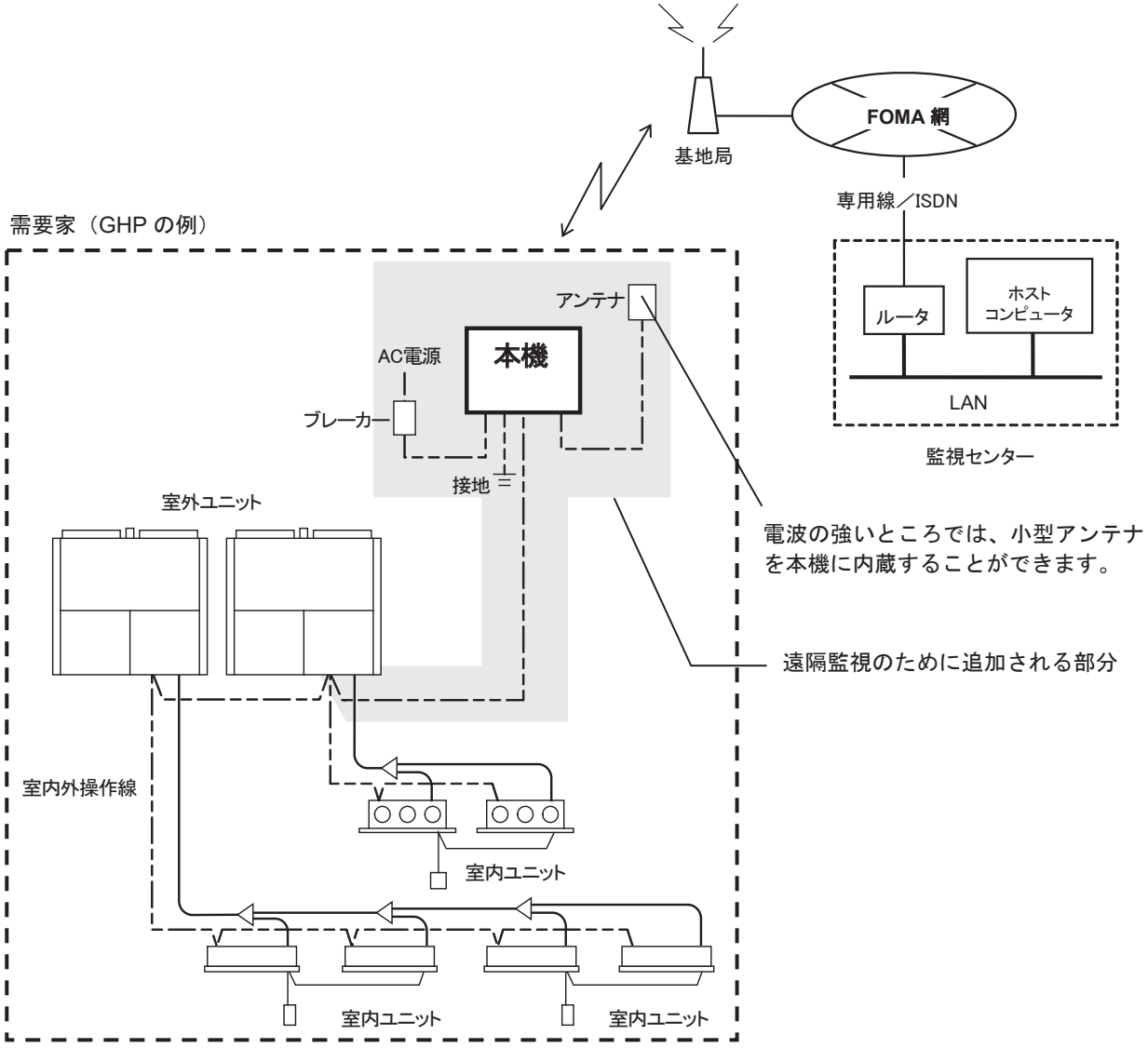


PC+ABS 樹脂
色：ホワイトグレー（N8.5）

φ18（φ12）膜付きグロメット×６
※（　）内はグロメット穴径

●システムの構成

■システム構成図



●システムの特長・変更点

目的	顧客サービス、メンテナンス業務の効率化、技術情報の収集等
使用通信回線	NTT ドコモの “FOMA パケット通信” サービスによる無線通信
対応 FOMA 端末※1	UM01-KO 専用アダプター ,UM01-F 専用アダプター UM02-KO 専用アダプター ,UM02-F 専用アダプター UM03-KO 専用アダプター
設置可能地域	“FOMA” のサービス地域、かつ電波到達場所
監視対象の空調機器※2	GHP,PAC, コジェネ等、弊社指定の空調機器
通信手順	ガス三社共通仕様 + 弊社独自仕様
主な機能	空調機器の異常監視、運転データ収集、遠隔制御等

※1・FOMA 端末は現地手配品です。

※2・便宜上、コジェネも空調機器としています (以降同じ)。

●据付要領

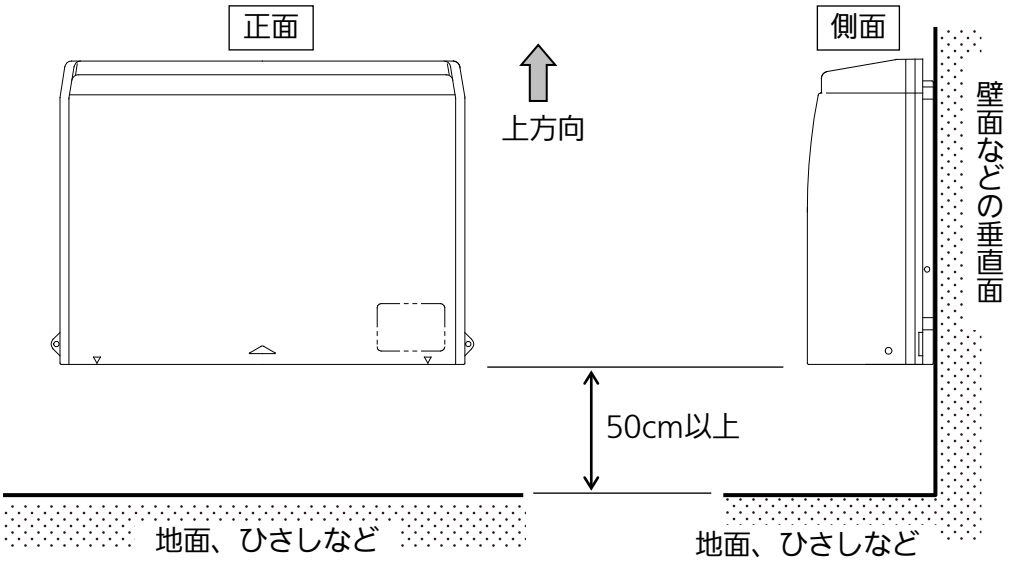
(1) 設置場所

■屋内または屋外に設置します。ただし、屋外の場合は直射日光が長時間当たらないように取り付けてください。
※吸収式冷凍機Vシリーズは、工場出荷時に本機が取付けられています。

■ケースを開閉するために、上下にスペースが必要です。

■設置場所にかかわらず、下図に示す方向に取り付けてください。上下を逆にしたり、横向きにしたりして取り付けないでください。

■下図に示すように、地面から（ひさしなどが出ている場合はそこから）高さ50cm以上の位置に 取り付けてください。
高さ50cmを確保できない場合は、配線引き込み口にコーキング剤をつめて、防水処理を施して ください。
（コーキング剤は現地手配でお願いします）



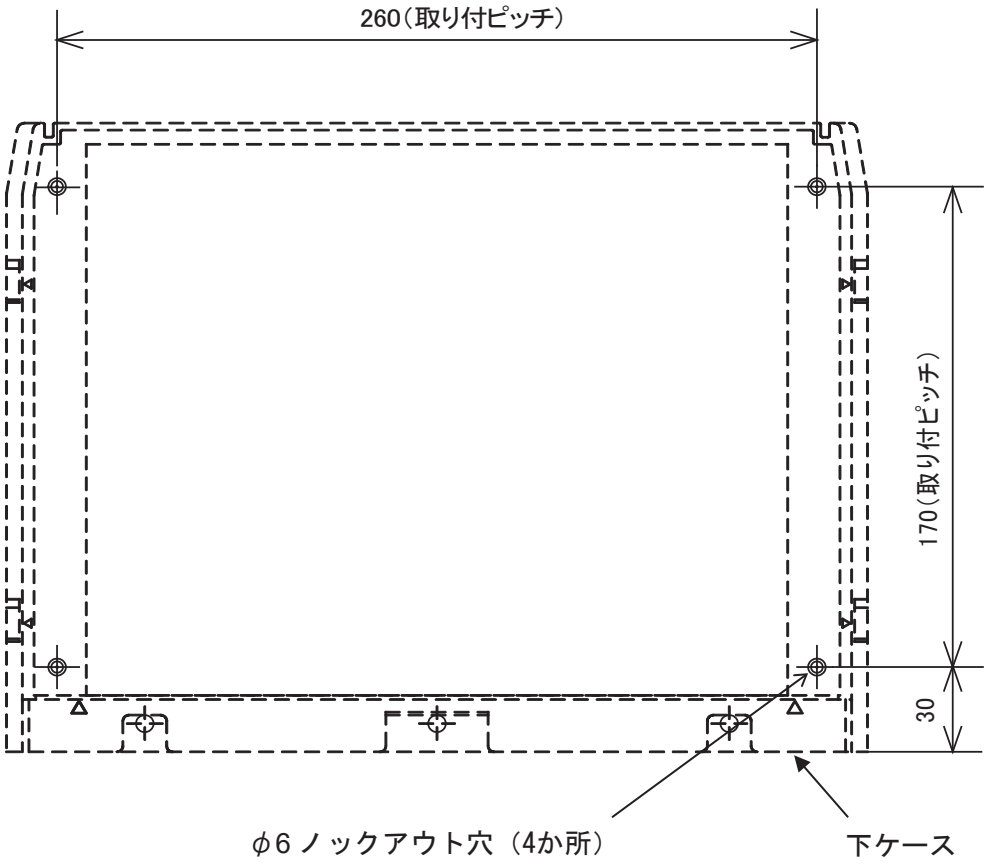
■次のところには設置できません
・低温（-20℃以下）になるところや高温（+50℃以上）になるところ
・湿度の高い（85%以上）ところ
・ノイズ（電気、電磁、静電など）を発生する機器や動力線の近く
・過度に振動するところ
・可燃性ガスが漏れる恐れのあるところ
・海浜地区など、塩分が多いところ
・温泉地帯など、硫化ガスが多いところ
・水や油（機械油含む）、有機溶剤などの飛散や蒸気が多いところ
・電圧変動が多いところ
・FOMAパケット通信サービス用の電波が届かないところ
・病院内など、電波の発信が規制されているところ

■配線引き込み口から虫などの侵入が予想される場合は、配線引き込み口の隙間にコーキング剤を つめてください。（コーキング剤は現地手配でお願いします）

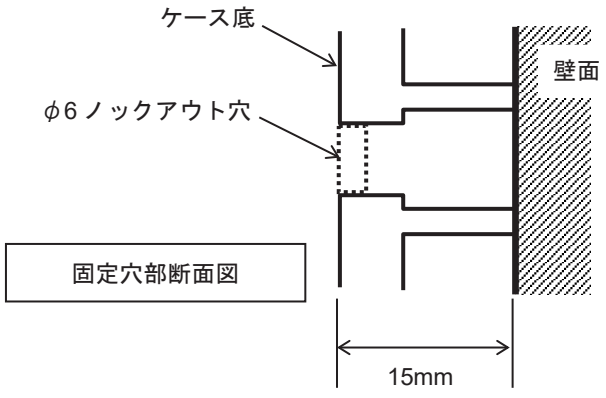
■FOMA用の電波ができるだけ強い位置および方向に設置してください。電波の強さはFOMA端末のLED表示やドコモ製携帯電話の電波強さ表示を参考にしてください。（NTTドコモに測定を依頼することも可能です

(2) 取り付け

1) 取り付け寸法図

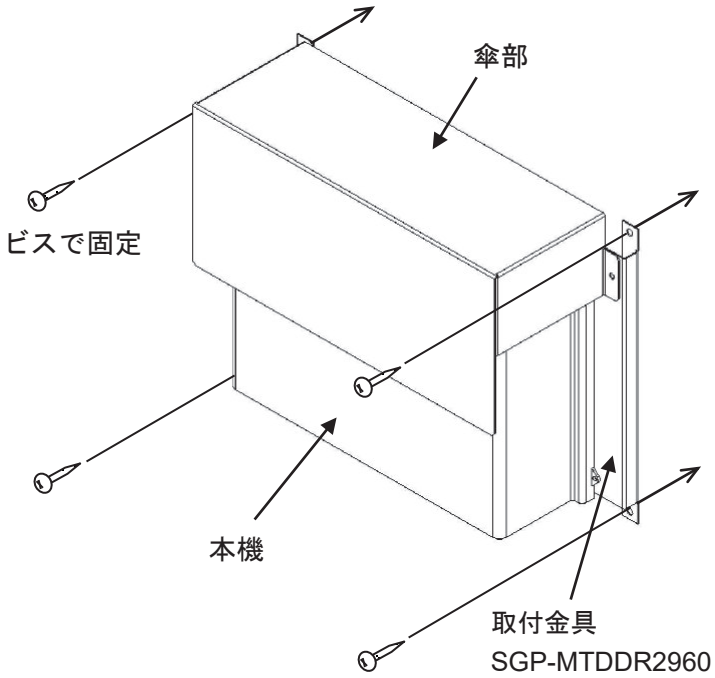


- 上図に示す向きに、壁面等に取り付けてください。
- ノックアウト穴はプラスドライバ等を当てて打ち抜いてくださ。
- 固定穴部分（ノックアウト穴部分）の壁面からの高さは、右図のように 15mm あります。 この寸法で固定できるビスをご用意ください。本機重量約 1.5kg（FOMA 端末別）。
- 屋内または屋外に設置できます。屋外の場合、直射日光等により高温にならない場所に設置してください。
- 固定穴などから水が浸入する恐れがある場合は、コーキング剤を詰めてください。

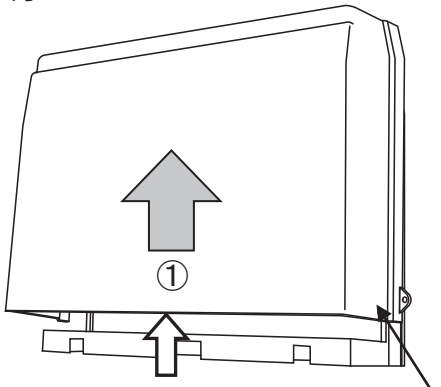


2) 取付金具を使用する場合

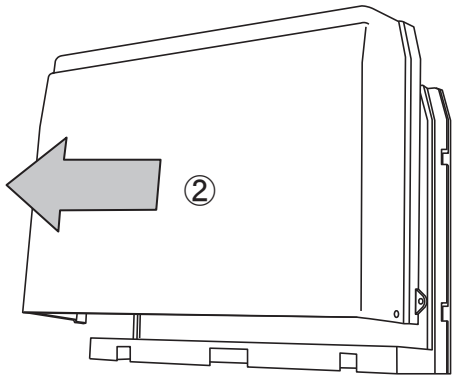
①取付金具をビスで取り付けます。
②本機を取付金具に取り付けます。
③本機に必要な設定を行います。
④傘部を取り付けます。



3) ケースの開け方



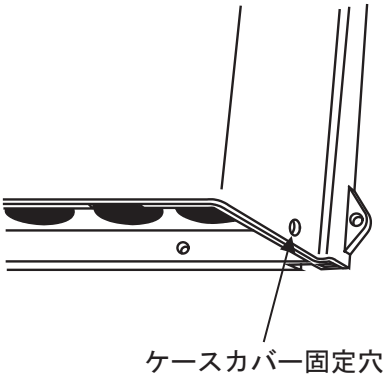
上ケース中央を押し上げます



カバーに封印がある場合は、封印を解除してください。

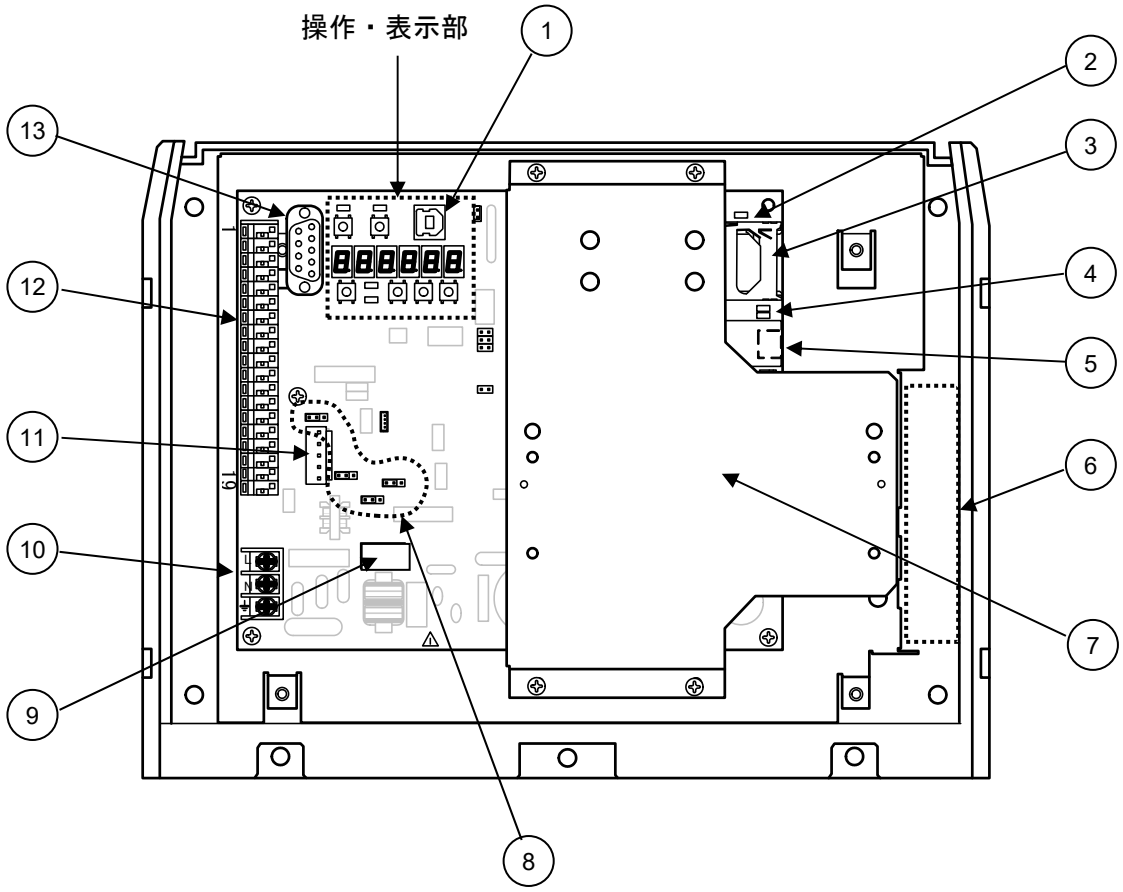
4) ケースカバーの封印

- 全ての設置作業終了後に、カバーの脱落やいたずらあるいは感電事故など防止のため、右図に示す固定穴を付属のビスで封印してください。
- 小型の南京錠などを使えば、さらに厳重な保護になります。



ケースカバー固定穴

●各部の名称



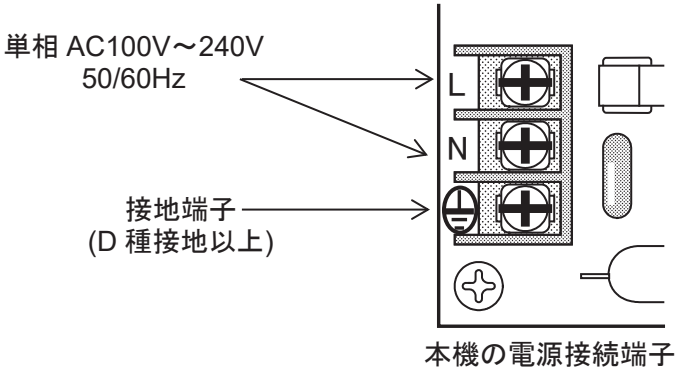
1. USB サービス端子（B コネクター）
2. SD カードアクセス表示 LED
3. SD カードスロット
4. LAN アクセス表示 LED
5. LAN ポート（イーサネット端子）
6. FOMA 小型アンテナ取り付け位置（両面テープまたは結束バンドで固定）
7. FOMA 通信端末取り付け位置
8. ショートピン（JP5 ～ JP8）
9. 電源スイッチ（右側を押し込んで ON）
10. 電源接続端子
11. 外部 I/O 端末（外部センサー）接続コネクター
12. 各信号接続端子台
13. サービス端子（RS-232 DSUB-9 ピンオス）

備考 1: 図は接続用配線が省略されています。
備考 2: 図は FOMA 端末を取り付けていない状態です。

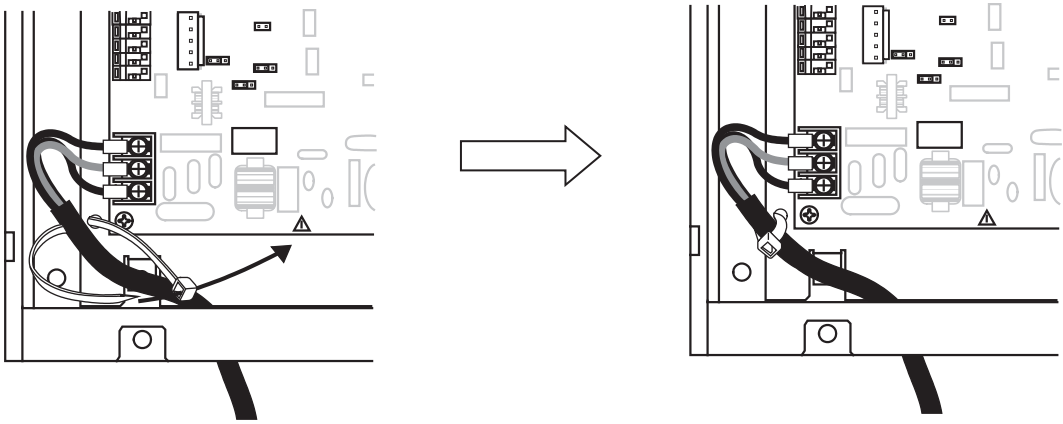
●接続要領

①電源の接続方法

・ 単相 100V ～ 240V (50/60Hz) を、端子台 CN9 の L,N に接続してください。



・ 消費電力 : 約 10W (FOMA 端末含む)
・ 必ずブレーカーを使用してください。(現地手配)
・ 太さ 0.75mm2 以上の電線を使用してください。(現地手配)
・ 必ず接地してください。(D 種接地以上)
・ 付属の結束バンドで配線を下図のように固定してください。
※結束後、余分なバンドは切除してください。



注・指定の電源以外は接続しないでください。故障の原因になる場合があります。

②ワンタッチ端子の接続方法

1) 接続方法

電線の先端の被覆を約 10mm 剥き、端子台の押さえボタンを押しながら挿入口に奥まで差し込みます。
押さえボタンから手を離すと電線がロックされます。
電線を軽く手で引っ張って、完全にロックされていることを確認してください。

2) 使用上の注意

・使用可能電線 :単線 0.3mm2 ～ 2.0mm2, ※より線は棒端子併用を推奨します

注・使用する端子によって異なるので詳細は「③空調機の接続方法」(次項) を参照してください。

・電線被覆剥きしろ :9 ～ 10mm



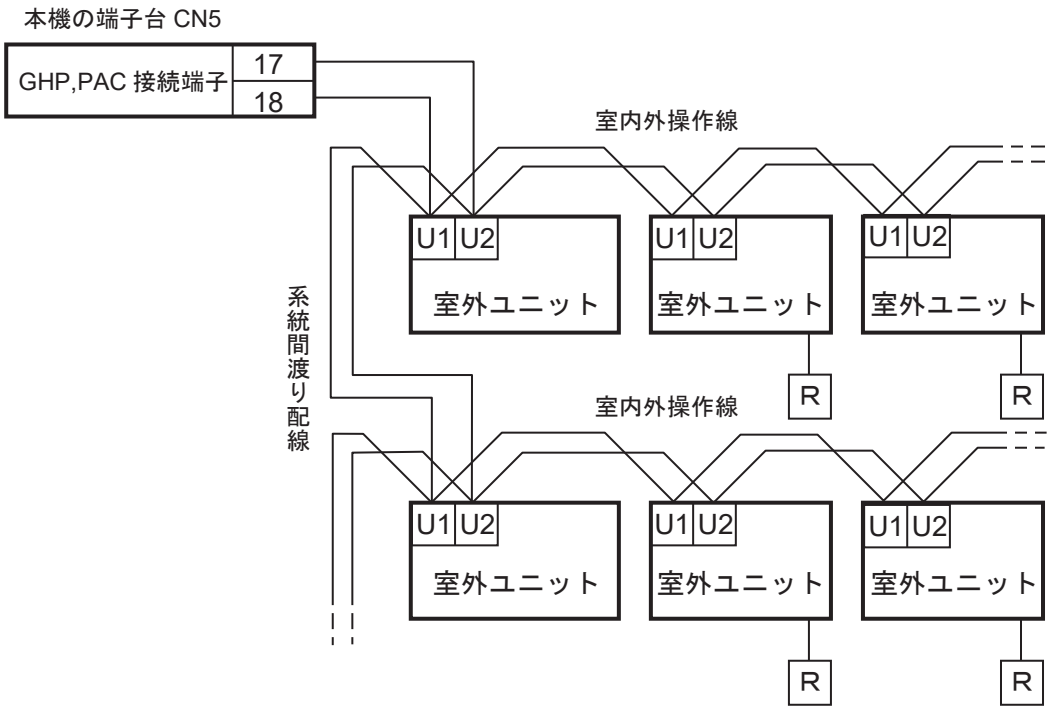
・電線により線を使用する場合で棒端子を使用しない場合は、確実に端子に挿入されてロックされていることを確認してください。
・1 つの電線挿入口には 1 本の電線を挿入してください。2 本以上挿入するとロックが不完全と なるので行わないでください。

3) 電線の分岐方法について

ワンタッチ端子台には 1 本の電線しか接続できません。
2 本以上接続する必要がある場合は、外部に端子台を用意して端子台で分岐するか、圧着または ハンダ付けにより分岐してください。
分岐箇所に水滴が着いたりして断線や絶縁不良が発生しないように絶縁テープで覆うなどの処理をしてください。
電線の分岐は、電装ボックス内などの雨の当たらないところに収めるようにしてください。

③空調機の接続方法

1) GHP,PAC



・室外ユニット、室内ユニットの接続端子番号は機種により異なる場合があります。
・GHP,PAC接続端子に極性はありません。
・ケーブルは0.5mm^2 ～ 2.0mm2次のような電線を使用してください。(現地手配)

CVV	制御用ビニル絶縁シースケーブル
VCTF	ビニルキャプタイヤ丸型コード
VCT	600Vビニルキャプタイヤケーブル
VVR	ビニル絶縁シースケーブル丸型
MVVS	編組シールドつき計装用ケーブル
CPEVS	シールドつきポリエチレン絶縁シースケーブル

・シールドつきケーブルを使用する場合は、シールドの片側のみF・G(接地)端子に接続してください。
・終端抵抗は、通常室外ユニット側に設定されているため本機側で入れる必要はありません。本機側で入れる必要がある場合はショートピンJP5をON側にしてください。

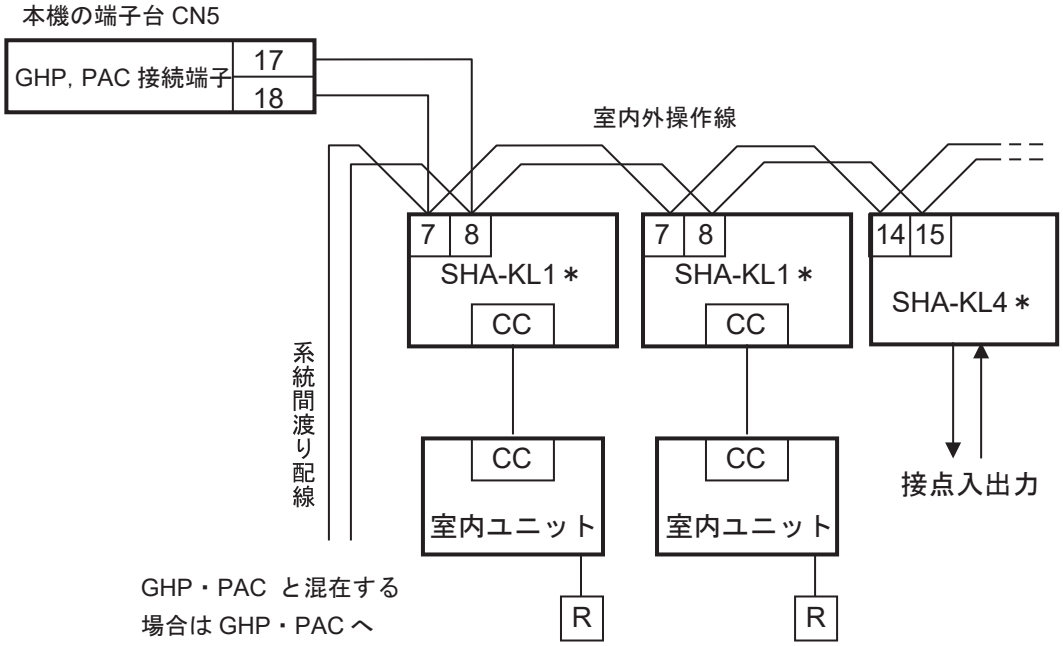
JP5
OFF ON ←終端抵抗なしの状態
OFF ON ←終端抵抗ありの状態

・室内外操作線の配線は下記の規定に従ってください。(GHP,PACの室内外操作線の規定に準拠)

(1) 分岐点数が16箇所以内であること (配線長1m以内は分岐に含めない)
(2) 分岐は3線までとし、4線以上は禁止
(3) 分岐と分岐の距離は2m以上必要
(4) 分岐した先で分岐しないこと (バス方式では支線からの分岐を禁止)
(5) ループを形成しないこと
(6) 配線の合計距離は1km以内
(7) シールド線を使う場合は、片側のみ接地
(8) パナソニック (三洋電機) 製空調機用電源線との隔離距離は50mm以上、その他の動力線との隔離距離は300mm以上
(9) 前記隔離距離が確保できない場合は、どちらかを鉄製の電線管に入れること
(10) 多芯ケーブルを使って通信と電源を混在させたり、複数の通信を混在させたりしないこと

注・同一電線管に電源線と室内外操作線を入れないでください。
やむをえない場合は、通信線にMVVSを使って可能な限り短い (50m以下、状況により異なる場合あり) 配線にしてください。

2) ローカルアダプター



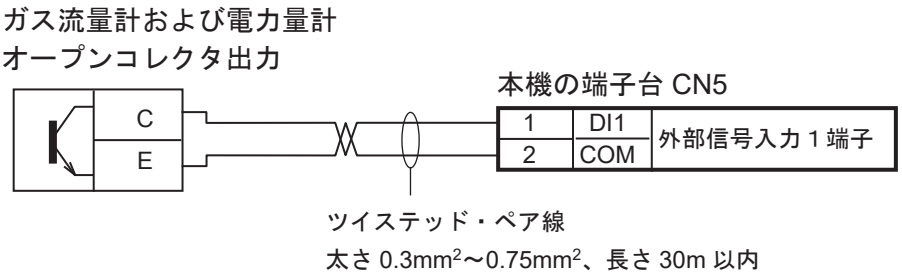
- ケーブルの種類、接続条件等は GHP・PAC と同じです。
- 終端抵抗は、GHP・PAC と接続がない場合、本機あるいはローカルアダプターのどれか 1 台に 入れる必要があります。本機側で入れる場合はショートピン JP5 を ON 側にしてください。

JP5
OFF ON ←終端抵抗なしの状態
OFF ON ←終端抵抗ありの状態

- ローカルアダプターは仮想の 31 系統に属する室内ユニットとみなします。ローカルアダプターを監視する場合は、31 系統の仮想室外ユニットが 1 台存在するものとして動作しますのでご注意ください。
  なお、仮想室外ユニットには情報が存在しません（運転中のみ存在）。

④ガス流量計・電力量計の接続

・ガス流量計および電力量計の接続は任意です。
・ガス流量計および電力量計の接続方法。



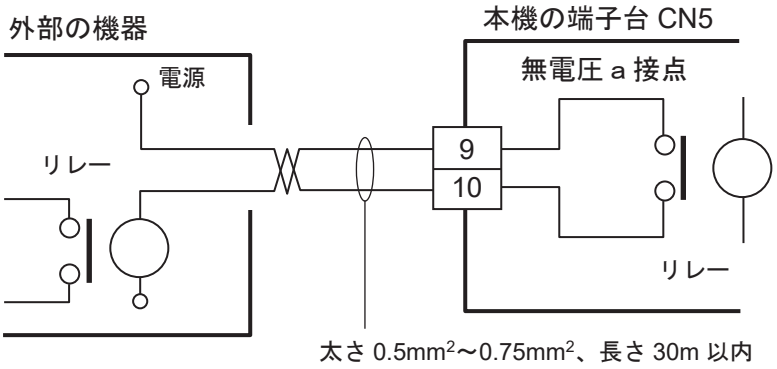
※上図は外部信号入力 1 端子を接続した場合の図です。
※外部信号入力 2 ～ 4 端子も同様の接続方法です

- 端子台 CN5 の外部信号入力 1 端子 (1,2 番) にガス流量パルスを入力します。
- 端子台 CN5 の外部信号入力 2 端子 (3,4 番) に電力量パルスを入力します。
- 端子台 CN5 の外部信号入力 3 端子 (5,6 番) は予備入力とします。
- 端子台 CN5 の外部信号入力 4 端子 (7,8 番) は予備入力とします。
- 外部信号入力 1・2 端子共に、オープンコレクタまたは無電圧接点を接続してください。 1 番・3 番・5 番・7 番がコレクタ側です。
- 図はオープンコレクタ出力の場合です。無電圧接点の場合、極性はありません。
- 0.3mm2 ～ 0.75mm2 一対の、ツイステッドペアケーブルを使用してください。(現地手配)
- 配線長 30m 以内。
- 動力線あるいはノイズの原因となる配線等と併走しないようにしてください。

注 1・ 電力量パルスの測定は、コジェネまたはハイパワーエクセル形 GHP 監視時に使用可能です。
注 2・ ガス流量計、電力量計共に、出力パルス幅は ON/OFF 共に 50mS 以上必要です。

⑤外部信号出力

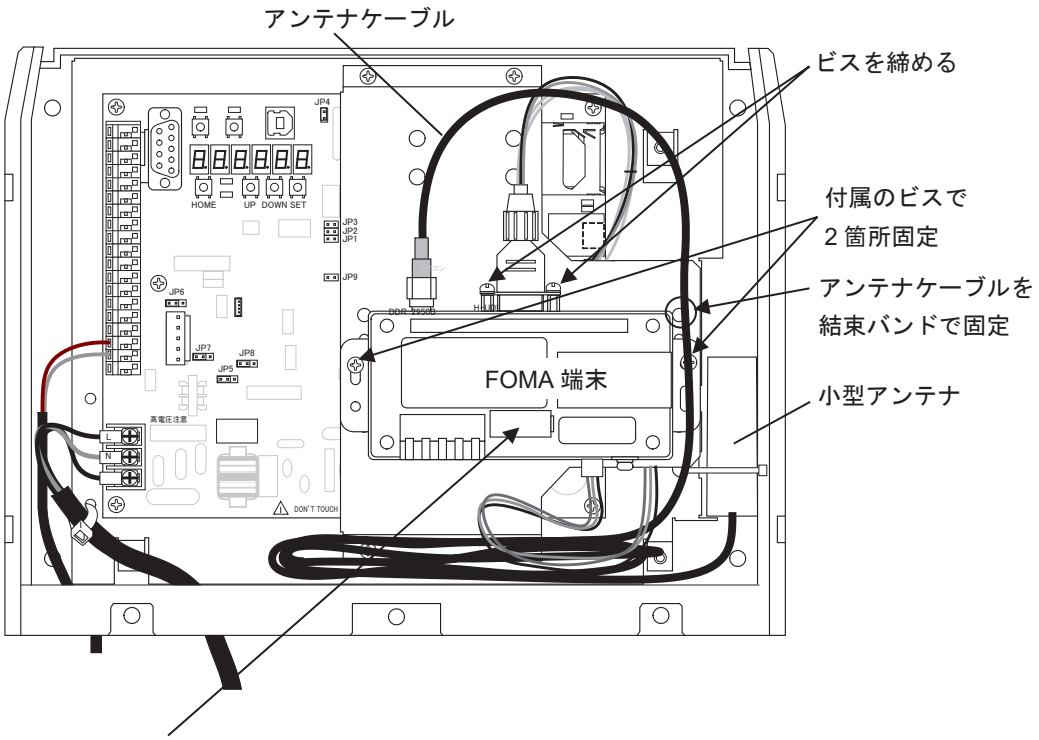
・ 外部信号出力を使用する場合は、下図のように配線してください。
※下図の外部の機器は一例です。



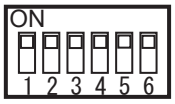
接続例

・ 端子台 CN5 の外部信号出力 (9,10 番)
・ 接点許容電流・電圧 DC30V,0.5A。
・ 最小適用負荷 DC0.1V,0.1mA
・ 使用可能電線 太さ 0.5mm2 ～ 0.75mm2
・ 配線長 30m 以内。

⑥FOMA端末の取り付け方法



※FOMA端末のDIPスイッチを必ず下記のように設定してください（フタの内部）。



FOMA端末のDIPスイッチ設定
※通信速度19200BPS（9600BPSの設定でも使用可能です）

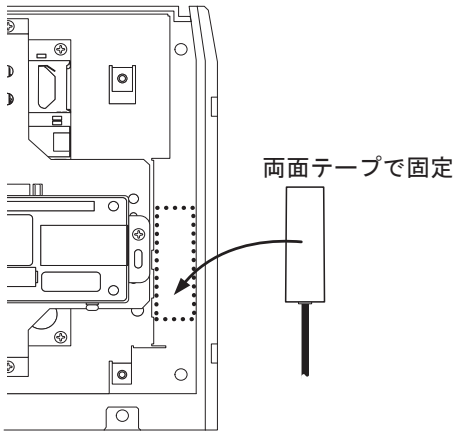
※使用するFOMA端末の説明書も参照してください。

※UM03-KO端末を使用する場合とその他の端末を使用する場合で、端末サイズ及び
使用する電源コネクタが異なりますので、説明書を参照してください。

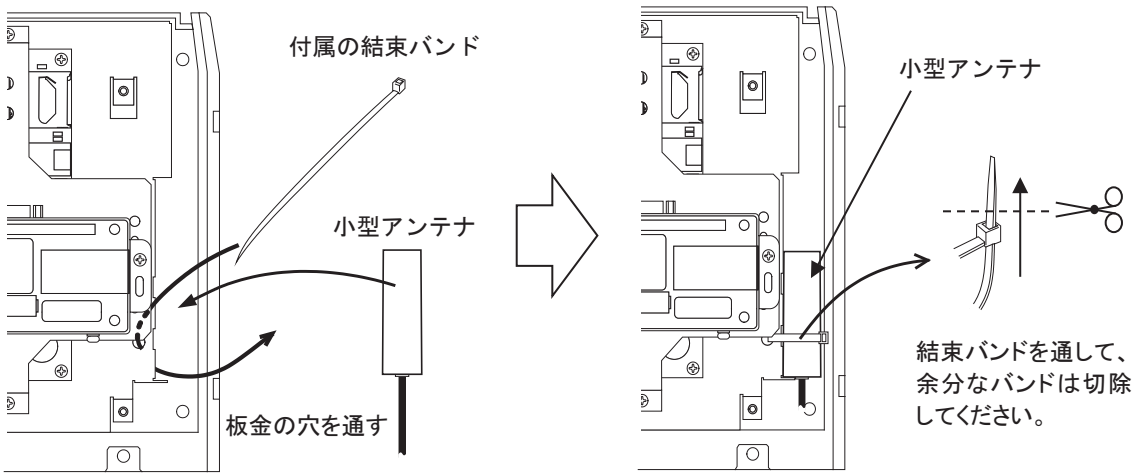
注1・RS-232 コネクターはビスで固定してください。
注2・FOMA 端末のアース端子は使用しないでください。
注3・アンテナケーブルは結束バンドで固定してください。

⑦小型アンテナの取り付け

1）小型アンテナを本機内部に取り付ける場合はアンテナに付属の両面テープで固定してください。

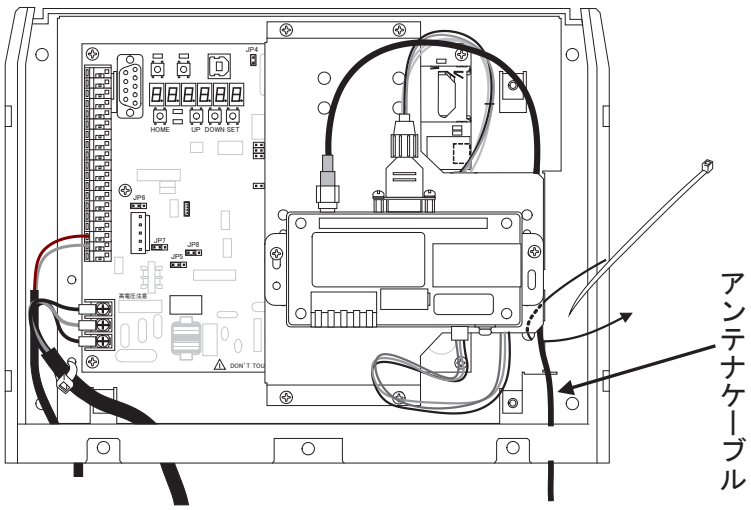


※付属の結束バンドで取り付ける場合



・電波の弱い所では、アンテナを外部に取り付けてください。
・アンテナを外部に取り付ける場合、防滴ケースに入れる等の処理が必要な場合があります。

2）小型アンテナを本機外部に取り付ける場合は下図のように付属の結束バンドでアンテナケーブルを固定してください。※結束後、余分なバンドは切除してください。



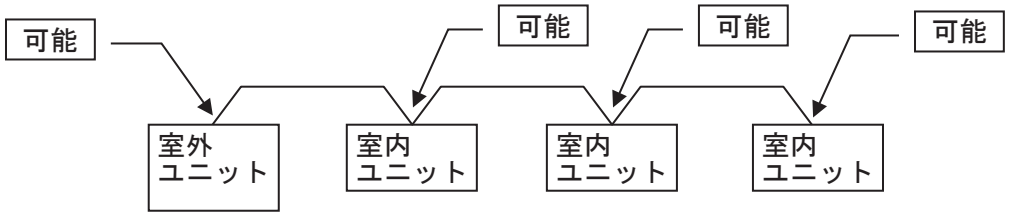
●GHP・PAC接続時の注意事項

※コジェネ、ローカルアダプターもGHP・PACの規定に準じます。

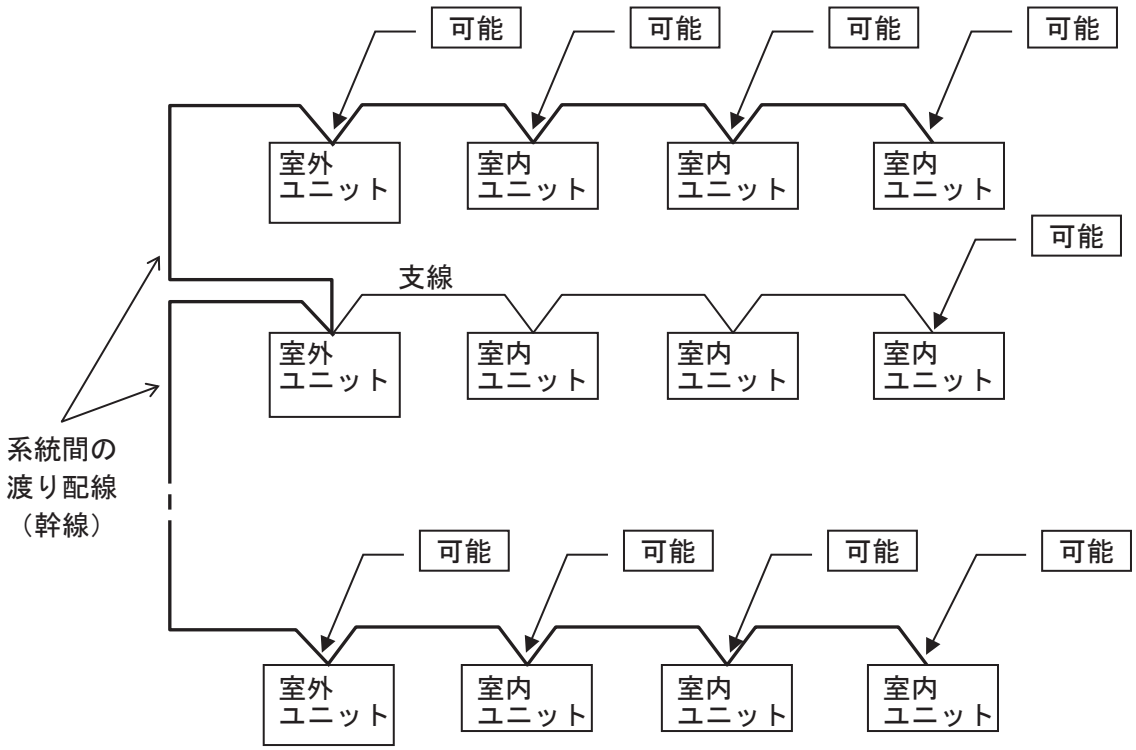
①接続可能ポイント

注1・ “可能” と記されている端子以外での接続は禁止です。
注2・ 下記において、同一リンク（室内外配線）内に複数の「可能」個所があっても、必ずしも複数台の遠隔監視装置が接続できるという意味ではありません。
また、分岐個所が16箇所を越えることはできません。

1）1系統の場合



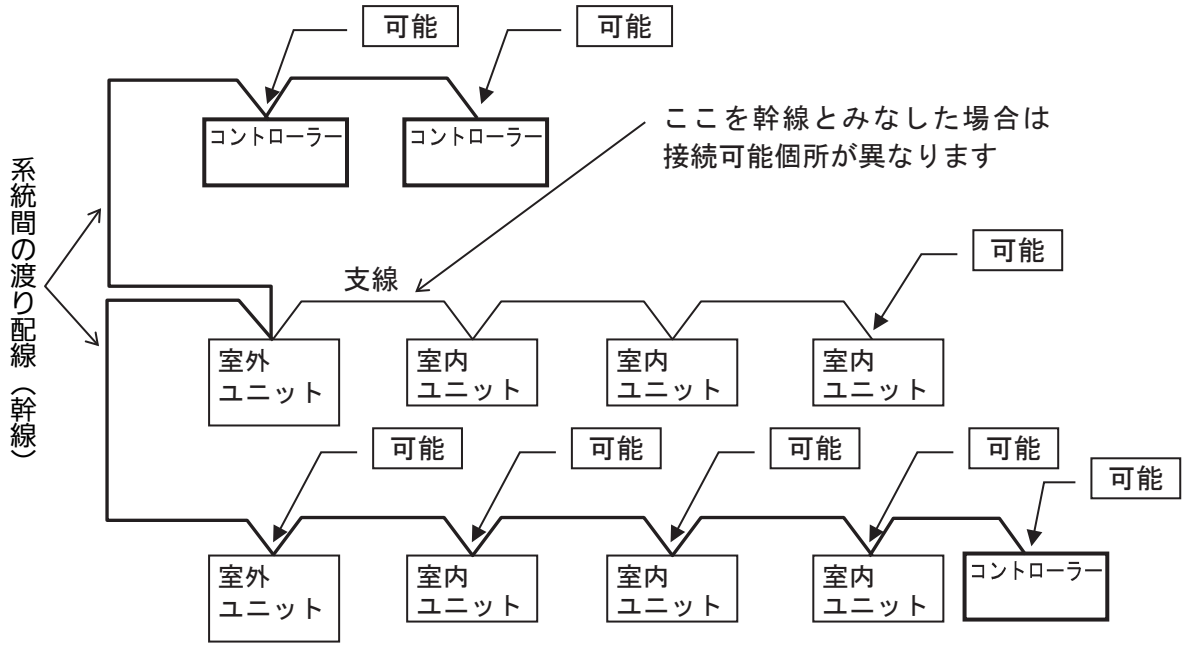
2）複数系統の場合



■下記のどれかの場所に接続できます
・通信線の繋ぎ込みが1本の端子
・上図に太線で示す配線（幹線）上で、通信線の繋ぎ込みが2本以下の端子

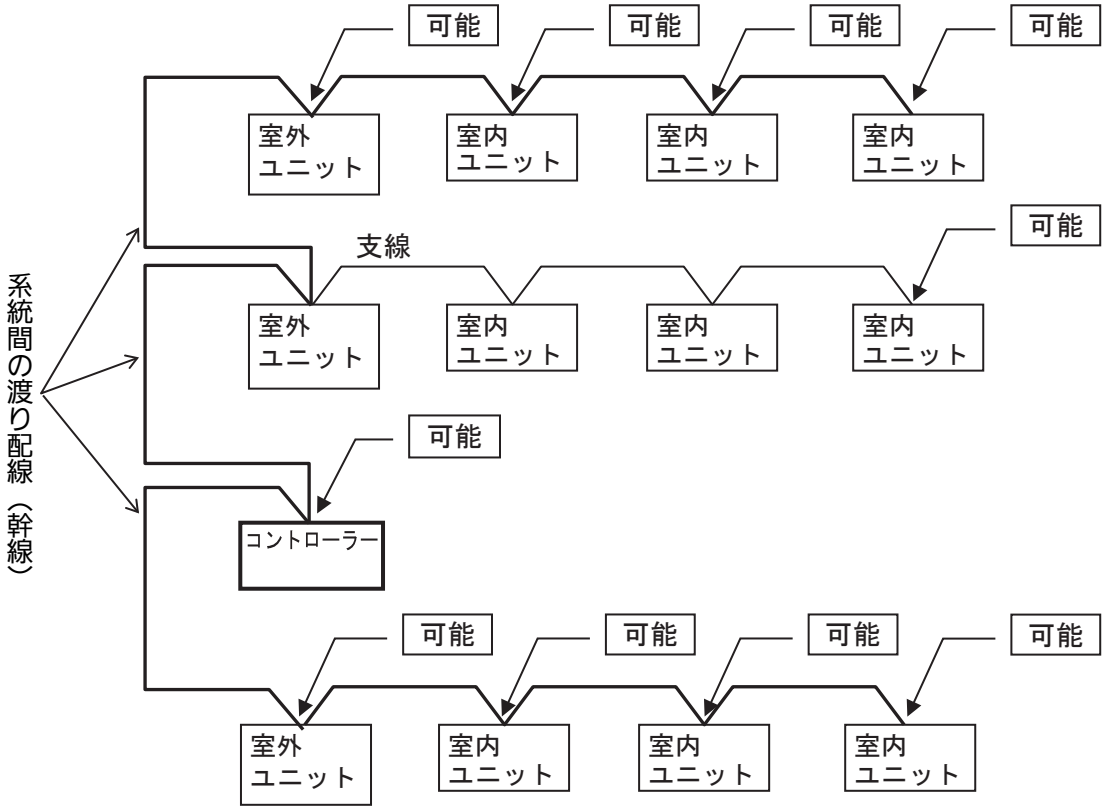
■ 系統間渡り配線が無く、各系統が独立している場合は各系統のアドレスを再設定し、系統間渡り配線を追加する必要があります（②その他の注意点2）独立している複数の系統を監視する場合は系統間渡り配線が必要です」参照）。

3）末端にコントローラーなどが接続されている場合



■下記のどれかの場所に接続できます
- 通信線の繋ぎ込みが1本の端子
- 上図に太線で示す配線（幹線）上で、通信線の繋ぎ込みが2本以下の端子

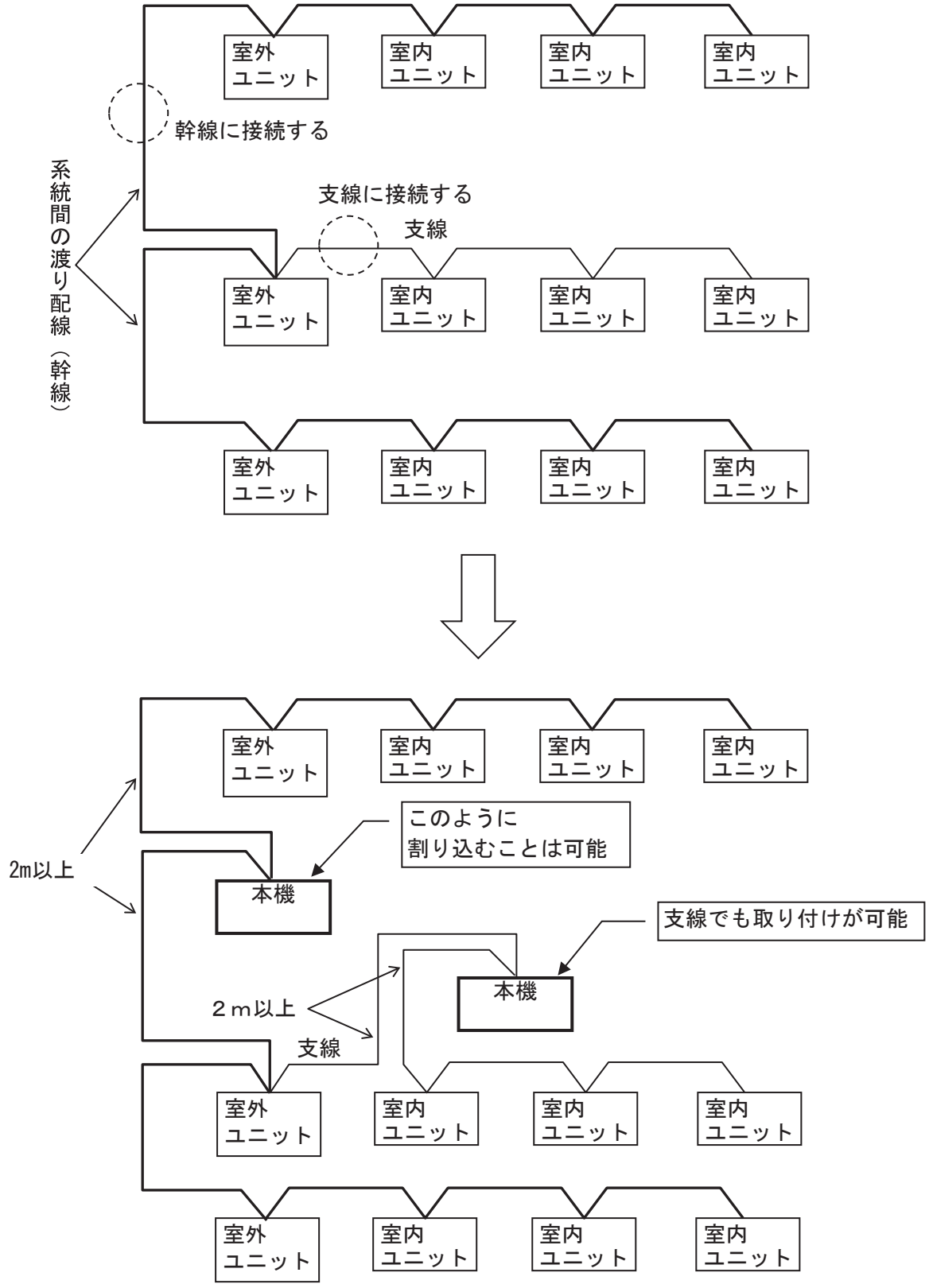
4）渡り配線の途中にコントローラーなどが接続されている場合



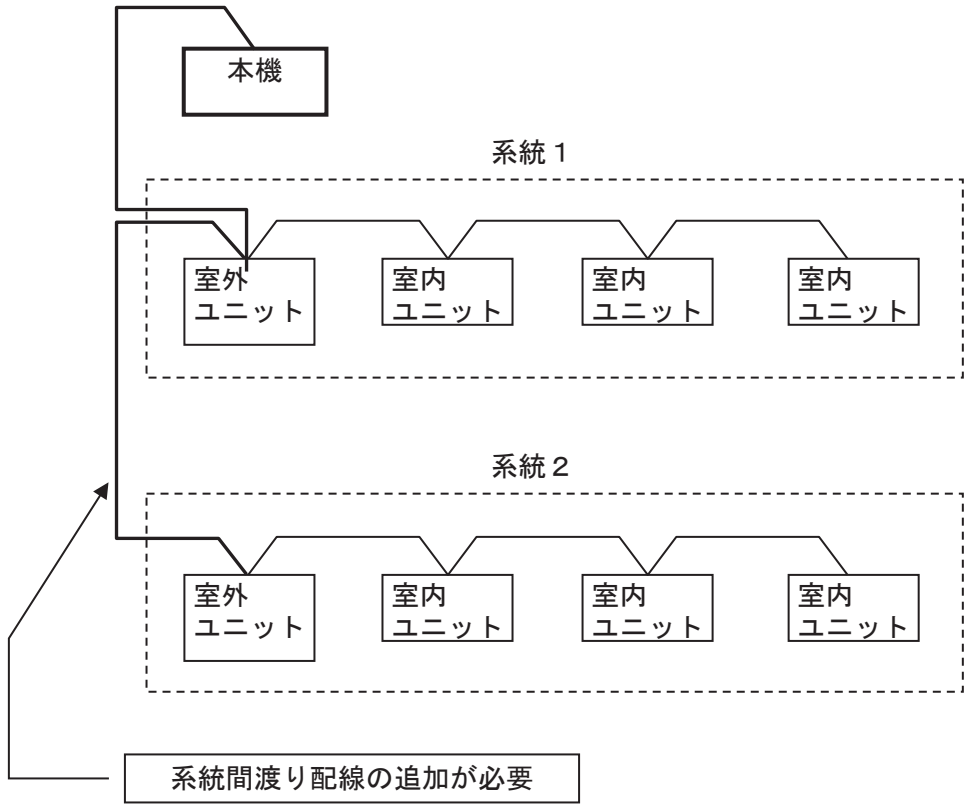
■下記のどれかの場所に接続できます
- 通信線の繋ぎ込みが1本の端子
- 上図に太線で示す配線（幹線）上で、通信線の繋ぎ込みが2本以下の端子

②その他の注意点

1）配線の途中に割り込んで接続する方法は基本的にどこでも可能です。



2）独立している複数の系統を監視する場合は系統間渡り配線が必要です

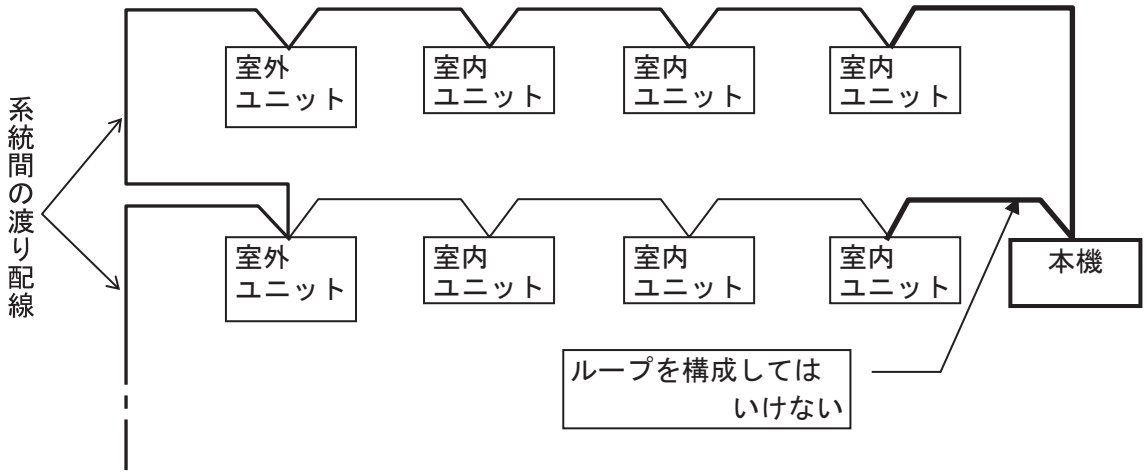


■遠隔監視装置を接続する配線のほかに、系統間の渡り配線を追加する必要があります。図の太線部分。
■異なる系統で同じアドレスの室外ユニットがある場合は、再アドレス設定または自動アドレスを行ってアドレスが重複しないようにしなければなりません。
■配線はGHP，PACの室内外操作線の規定に準じて行ってください。
■系統間の渡り配線を行った結果、その配線内の合計台数が室外ユニット30台、室内ユニット64台以内でなければなりません（4方向カセット10馬力は2台分に相当）。

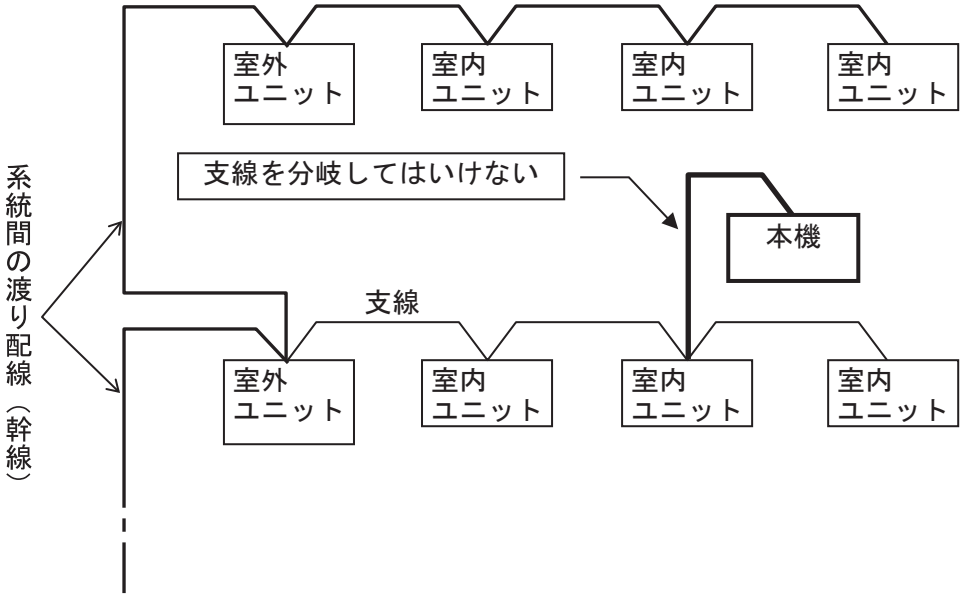
注・系統間の渡り配線を行った結果、その配線内の合計台数が遠隔監視装置で監視できる台数以内でなければ、それを越える部分は無視され監視できません。

③空調機の接続方法

1）ループ配線の禁止

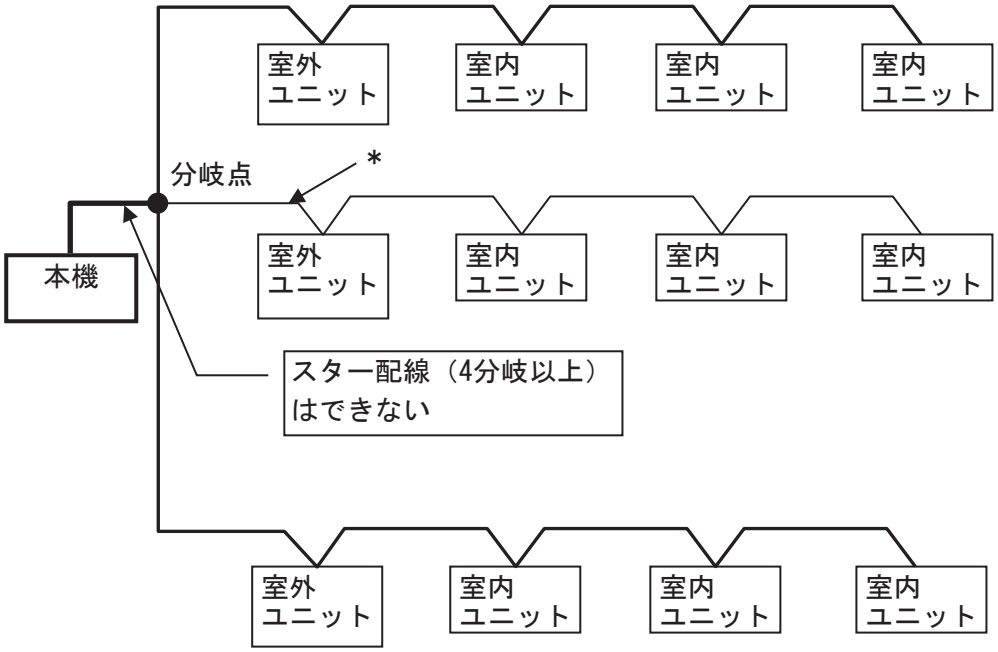


2）分岐の分岐（支線の分岐）の禁止



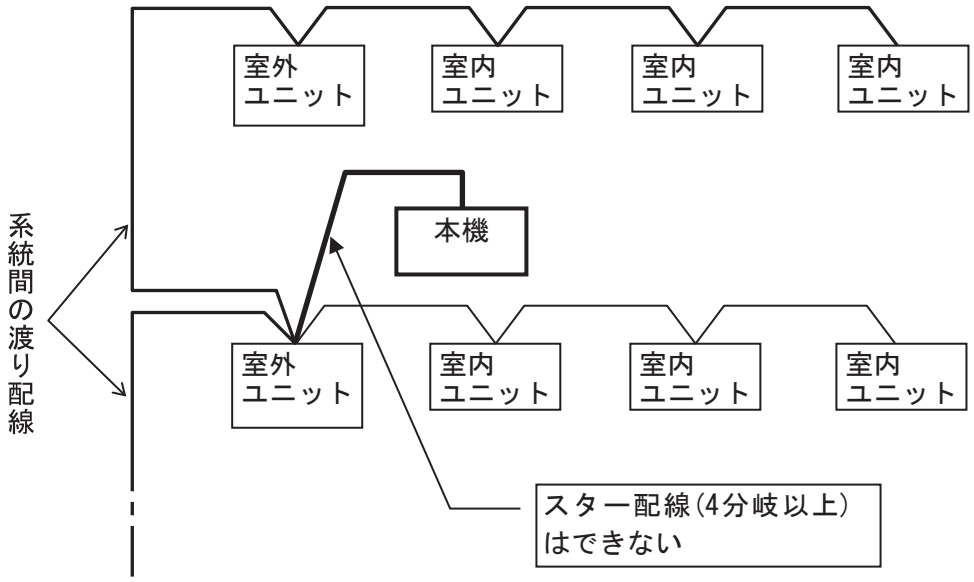
3）スター配線の禁止

■その 1

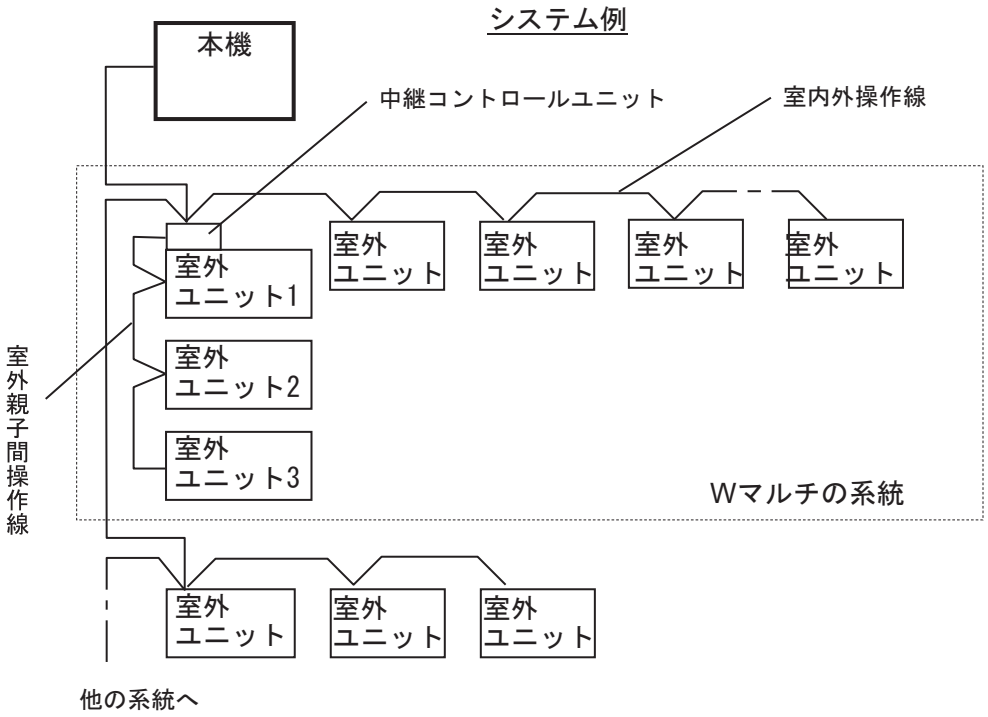


＊ここが1m以内であっても分岐のひとつとなるので注意（次項のスター配線2に該当）。

■その2



④H1シリーズGHPのWマルチ接続時の注意点



1) 接続箇所
本機は上図のように室内外操作線に接続します。室外親子間操作線には接続できません。

2) 室外ユニットアドレスの制限

a) 常に3台分のアドレスを使用します。
- Wマルチ室外ユニットの台数に関係なく、中継コントロールユニットのアドレスから連続3台分のアドレスを使用します。
- 例えば中継コントロールユニットのアドレスが10号機であるとき、室外ユニット1のアドレスを10号機、室外ユニット2を11号機、室外ユニット3を12号機とみなします。なお、室外ユニット3がない場合に12号は未使用番号となります。
- 中継コントロールユニットのアドレスを除く2台分のアドレスは本機のみが使用する仮想のアドレスで、室外ユニットに設定する必要はありません。

b) 3台分のアドレスは他の室外ユニットで使用できません。
- Wマルチが使用する3台分のアドレスは、他の室外ユニットで使用できません。
- 中継コントロールユニットのアドレスは1～28号機でなければなりません。

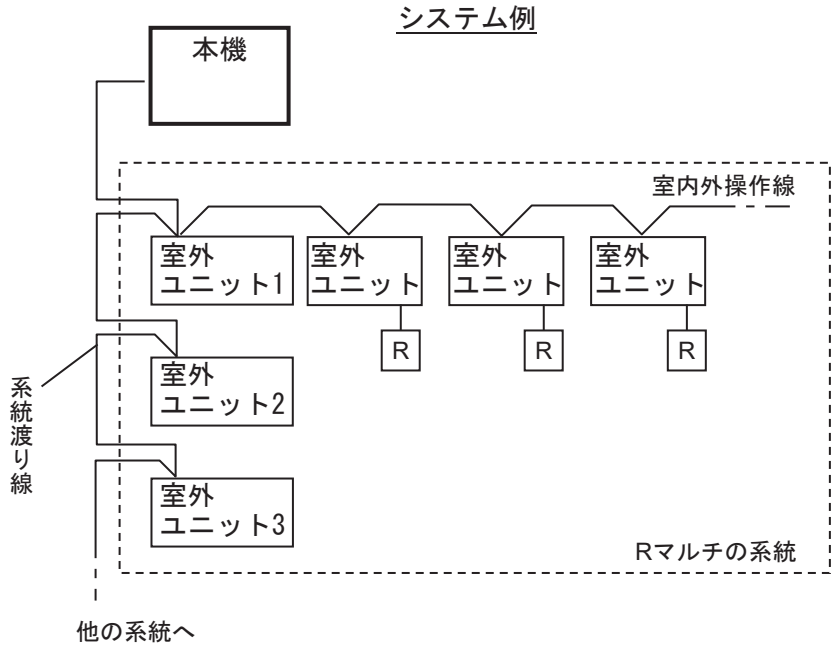
c) 室内ユニットは全て室外ユニット1の系統に属するものとして扱います。
- 室外ユニット2～3の系統は、室内ユニット0台となります。

d) 室外シリパラI/Oユニット（ACC-XSP4U1）を使用する場合は注意が必要です。
- アドレスの空きができるため、連続したアドレスが使用できません。

3) 接続台数
Wマルチは、その室外ユニットの台数に関係なく常に3台分とみなします。本機が監視できる台数は、その3台分を含めて30台までです。

⑤J,K,M,S,TシリーズGHPのWマルチ接続時の注意点

システム例



1) 接続箇所
本機は上図のように室内外操作線に接続します。

2) 室外ユニットアドレスの制限

a) 室外ユニット番号は1からの連番でなければなりません。

b) 室外ユニット2以降の室外ユニット（子室外ユニット）もアドレスを使用します。
例えば室外ユニット1のアドレスが10号機であるとき、室外ユニット2を11号機、室外ユニット3を12号機とみなします。ただし、30号機を越えることはできません。
子室外ユニットのアドレスは本機のみが使用する仮想のアドレスで、室外ユニットに設定する必要はありません。

c) Wマルチ室外ユニットが使用するアドレスは他の室外ユニットで使用できません。
例えば、室外ユニット1のアドレスが10号機で上図のように室外ユニットが3台あるとき、同じ室内外操作線上（リンク）に別の11または12号機の室外ユニットがある場合は、そのアドレスを10～12号以外に変更しなければなりません。

d) 室内ユニットは全て室外ユニット1の系統に属するものとして扱います。
上図の例では、室外ユニット2～3の系統は、室内ユニット0台となります。

e) 室外シリパラI/Oユニット（ACC-XSP4U1）を使用する場合は注意が必要です。
子室外ユニットの分だけアドレスの空きができるため、連続したアドレスが使用できません。

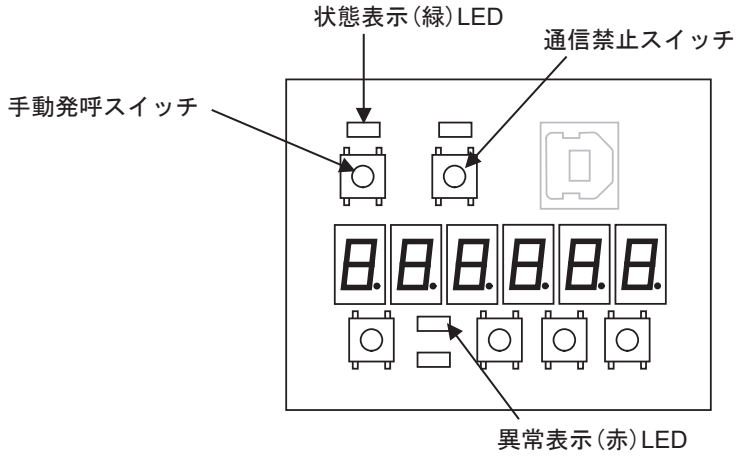
3) 接続台数
ひとつのWマルチの系統で室外ユニット3台を監視可能です。
本機が監視できる台数は、その3台分を含めて30台までです。

●試運転要領

①電源の投入

本機の電源を初めて投入するとき、あるいは空調機の構成確認を行う場合は、下記の操作で電源を投入してください。なお、この操作を行うと全ての空調機運転情報が消去されます。

1) 全ての空調機が正常に稼動していることを確かめます。
2) 元のブレーカーをONします。
3) FOMA端末の電源スイッチをONにします。
4) “手動発呼スイッチ” と “通信禁止スイッチ” を押したまま、本機の電源スイッチ（SW1）をONします。



5) 数秒後、状態表示（緑）LEDがゆっくり点滅し7セグメントLED表示が構成確認表示となります。
“手動発呼スイッチ” および “通信禁止スイッチ” から手を離します。
6) 状態表示（緑）LEDと異常表示（赤）LEDが点滅します。異常表示（赤）LEDの点滅は発呼先電話番号などが未設定のためです
7) 以後、サービス端子より必要な設定を行います。

注1・ 本機が稼動後、空調機の台数や構成が変わった場合は、一旦電源スイッチ（SW1）をOFFし、再度④～⑥を行ってください。※設定を確認し必要により再設定してください。

注2・ FOMA端末の “パケット圏内” ランプが点灯しない場合は、電波が弱い、あるいはFOMAサービスエリア外と考えられます。

②簡易接続確認

認識した空調機（室外ユニット）の台数を確認するため、接続している室外ユニットの番号を、LED表示の異常データ表示<メニューNo.01>で確認できます。

1) 異常データ表示<メニューNo.01>（レベル0）

・ メニュー番号選択時の表示項目（レベル1）
メニュー番号表示を「n o 0 1」に合わせた状態でSETキーを押すと、異常データの表示を行います。それぞれの情報をUP/DOWNキーで選択して表示します。
UP/DPWNキーを押すと、接続されている室外機の番号を表示することが出来ます。

	LED表示	概要
↑ DOWN UP ↓	o 0 1（o01）	室外機1系統
	o 0 2（o02）	室外機2系統
	・	
	・	
	・	以下、全室外機について表示

※室外機が接続されていない場合は、n o - o u t と表示されます

③空調機の構成確認

空調機の台数が変わった、あるいは機種が変わった等の場合は、改めて空調機の構成確認を行う必要があります。

空調機の構成確認を行うと、これまで本機内に記憶していた空調機運転情報は全て消去されます。ただし、空調機に関係しない設定値はそのまま残ります。

手動発呼スイッチと通信禁止スイッチを押しながら電源をONすると、空調機の構成確認を行います。起動メニューから空調機の構成確認実施を選択しても同様に行うことができます。

本機の電源を初めてONする場合、または本機のバージョンアップを実施した後などには自動的に構成確認が行われることがあります。

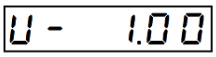
注1・ 空調機の構成が変わった場合は必ず構成確認を実施してください。

注2・ 空調機の構成確認を実施すると、全ての空調機情報,発呼情報,トレンド情報,通信履歴などもクリアされます。

■表示の状態

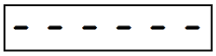
①“手動発呼スイッチ”と“通信禁止スイッチ”を押しながら電源をON

↓



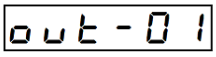
↓

②準備中



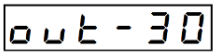
↓

③検索中の室外機番号表示



:

:



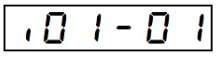
※吸収式の場合は13までの表示になります。

↓

④検索中の室内機番号表示

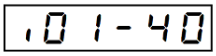
存在する室内機のみ表示します。（下図は例です）

吸収式監視の場合は表示ありません。



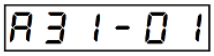
:

:

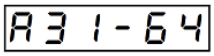


↓

⑤検索中のローカルアダプター番号を表示します
ローカルアダプターを監視する設定が無い場合、または吸収式監視の場合は表示ありません。

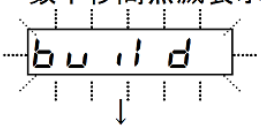


:
:



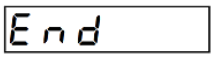
↓

⑥構築中の表示
数十秒間点滅表示します。（表示時間は空調機の台数によって異なります）



↓

⑦構成確認の終了



↓

⑧通常表示へ
異常がある場合は表示が異なります。下図の表示は正常な場合の例です。



④初期設定

(1) 設定方法

本機を使用するには、サービス端子に接続したパソコンからいくつかの項目を設定しておく必要があります。

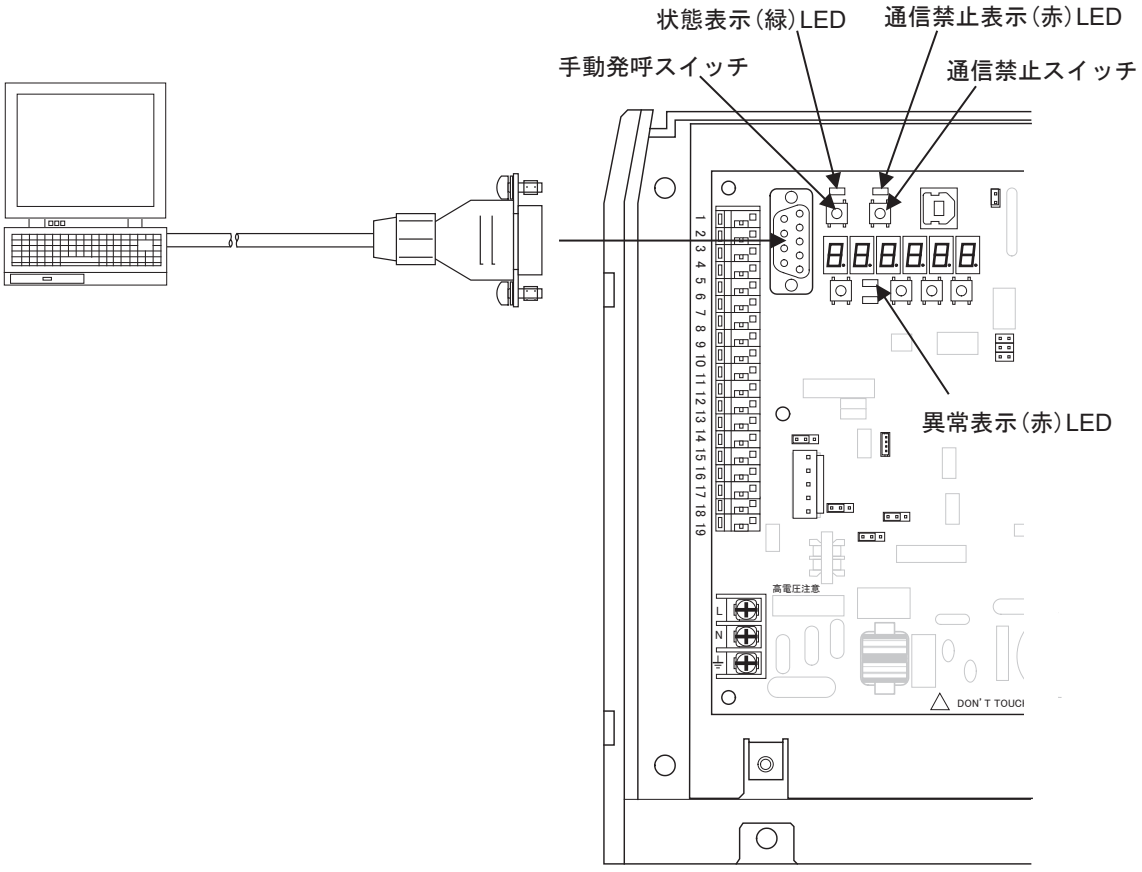
※USB サービス端子 (USB ポート) を使用して設定を行うことも可能ですが、ここではサービス端子 (RS-232C) を使用した場合の方法を説明します。

※設定項目と内容および設定手順は、別途手順を定めた要領書に従ってください。ここでは、基本的な設定手順のみを示します。

ⅰ. 本機の通信禁止表示 (赤) LED が点灯していることを確認し、点灯していない場合は “通信禁止表示スイッチ” を押し点灯させます。

ⅱ. 状態表示 (緑) LED、異常表示 (赤) LED が共に点灯していることを確認します。ただし、過去に初期設定を行ったことがある場合は、異常表示 (赤) LED は点灯しない場合があります。

ⅲ. 本機のサービス端子にパソコンを RS-232 ケーブルで接続します。



ⅳ. パソコンでサービス用設定ソフトを起動します。

ⅴ. 設定ソフトを使用し空調機の構成を確認します。

vi . 設定ソフトを使用し下記の必須項目を設定します。
a) 現在日時
b) 需要家 ID
c) 遠隔監視アダプターの IP アドレスとポート番号
d) 発呼先 1 の電話番号と IP アドレスとポート番号
e) 各室外ユニットごとに、メーカーコードと型式コード。
※何をどのように設定するかは運用方法によって変わる場合があります。
※ FOMA 端末への APN の設定はできません。

vii . 異常表示 (赤)LED が消灯することを確認します。
ただし、空調機の異常を検知すると点滅する場合があります。

viii . 設定ソフトを使用し、接続解除 (通信終了) を行います。

ix . サービス端子の RS-232 ケーブルをはずします。

注 1・状態表示 (緑)LED がゆっくり点滅 (1 秒周期) 中は空調機の構成確認中なので、点灯に変わってから作業を行ってください。

注 2・実際の構成を正しく認識していない場合は、正常に動作しないことがあります。

(2) 手動発呼による通信確認

1) 通信禁止表示 (赤) LED が消灯していることを確認します。消灯していない場合は、" 通信禁止スイッチ" を 2 秒以上押して消灯させます。

2) " 手動発呼スイッチ" を 2 秒以上押し続けると手動発呼します。

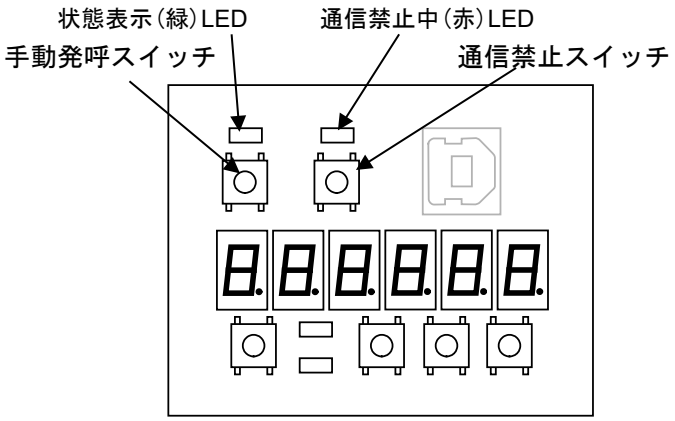
ただし、下記の状態の時には発呼できません。

①初期設定 (発呼先電話番号、IP アドレスなど) が行われていないとき (Ｅｒｒ－２９～３２が発生)。

②通信端末が接続していないとき。または通信端末が異常のとき (Ｅｒｒ－０４発生)。

③通信禁止表示 (赤) LED が点灯中のとき。

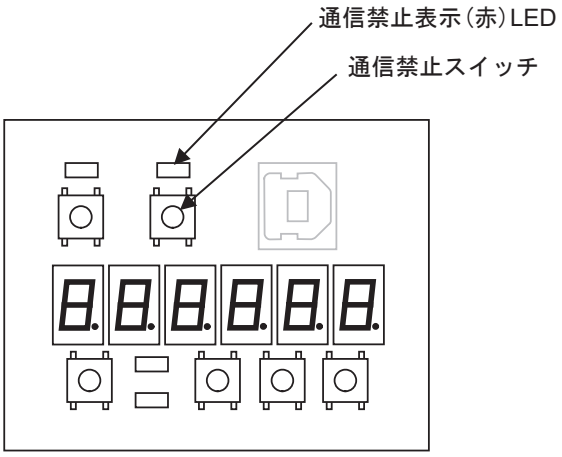
④発呼異常 (Ｅｒｒ－０２) が発生中のとき。



(3) 手動発呼による通信確認

1) 発呼の禁止方法

通信禁止表示(赤)LEDが点灯中は本機からの発呼を禁止します。着呼は可能です。
通信禁止表示(赤)LEDは下記のいずれかの方法で点灯/消灯を切り換えられます。
① “通信禁止スイッチ” を2秒以上押し続ける。
②監視センターから通信コマンドによってON/OFFを設定する。
③サービス端子またはUSBサービス端子から、パソコンによってON/OFFを設定する。



2) 通信の中断方法

通信禁止表示(赤)LEDが消灯中で監視センターと通信(状態表示(緑)LEDが早点滅)中に “通信禁止スイッチ” を2秒以上押し続けると通信を中断できます。ただし、切のいいところで中断するので数十秒かかる場合があります。
前項に示した、監視センターまたはパソコンによる通信コマンドで通信禁止表示(赤)LEDを点灯する設定を行っても、そのとき行っている監視センターとの通信は中止できません。

⑤特殊な処理を行う起動方法

(1) 操作方法

1) 空調機の構成確認動作を行いたい場合

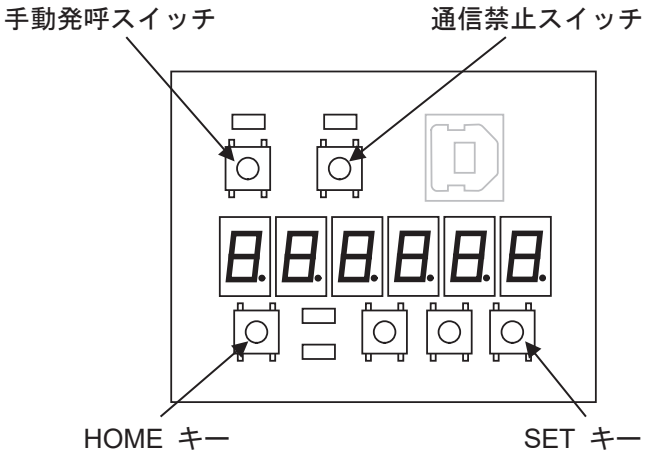
↓

“手動発呼スイッチ” と “通信禁止スイッチ” を押しながら電源スイッチをON

2) 起動メニューを表示して特殊な処理を実施したい場

↓

HOME キーと SET キーを押しながら電源スイッチをON



上記の処理は起動時のバージョン表示の後に実行されます。
バージョン表示の例 (Ver-1.00 の場合)。
U-　100

注1・　起動時に表示されるバージョン番号が消えるまで上記に示すスイッチ(キー)は押し続けてください。

【起動メニュー】

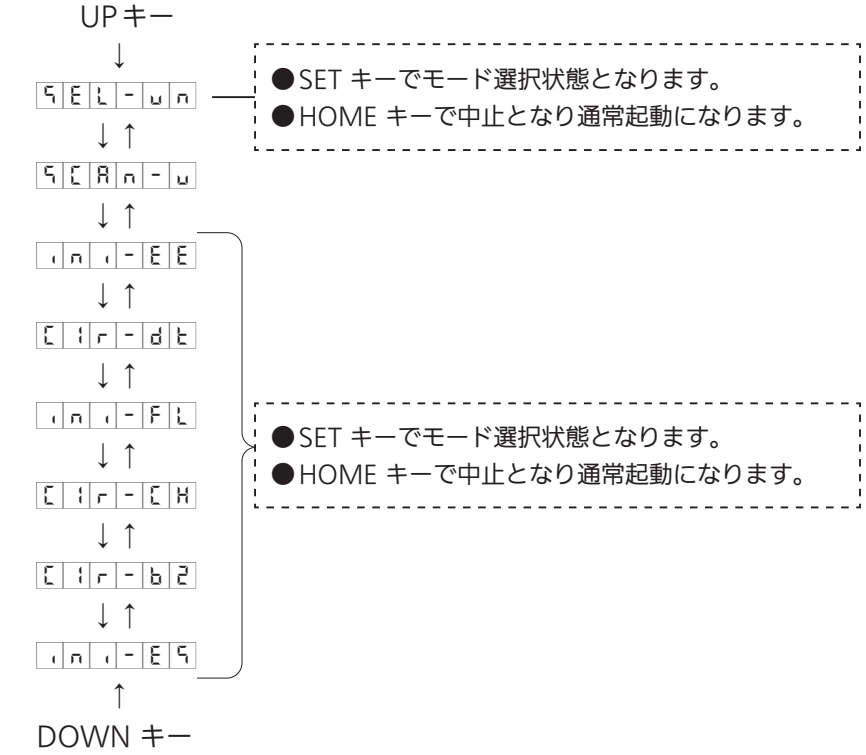
LED表示	機能
SEL-un (SEL-un)	監視対象空調機の変更
SCAn-u (SCAn-u)	空調機の構成確認実施 (全ての空調機情報、通信履歴をクリアも実施)
ini-EE (ini-EE)	全ての設定を初期化
C1r-dt (C1r-dt)	全ての空調機情報、通信履歴などをクリア
ini-FL (ini-FL)	全てのトレンド情報、制御履歴などを初期化
C1r-CH (C1r-CH)	制御履歴情報のクリア
C1r-b2 (C1r-b2)	省エネ制御関連※1の内部制御情報などをクリア
ini-ES (ini-ES)	省エネ制御関連※1の設定値を初期化

※1・スケジュール制御、室内機パトロール制御、間引き制御、省エネ制御、省エネ設定制御、GHP日報情報。

注2・約1分間操作しないと起動メニューを終了し通常起動になります。
注3・C1r-CH、C1r-b2、ini-ESはVer-2.11以降で使用可能です。

■起動メニューによる特殊処理選択方法

メニュー以下の操作方法は下記「(3) . 監視対象空調機の変更」以後の説明を参照ください。



(2) 構成確認を実施する

「③ 空調機の構成確認」を参照してください。

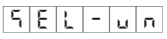
(3) 監視対象空調機の変更

起動メニューから“SEL-un”を選択すると、本機が遠隔監視する空調機の選択ができます。

注 2・監視対象空調機の変更を行うと全ての設定が初期化されます。

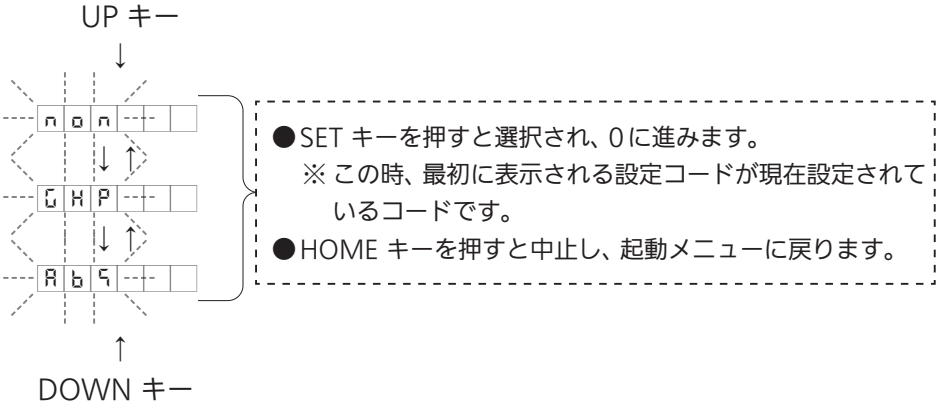
■操作方法

1) 起動メニューから“SEL-un”を選択して SET キーを押します。



2) 監視モードの選択になり、点滅表示します。

※この時、最初に表示する監視モードが現在設定されているモードです。



設定されるモード

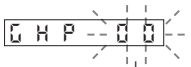
LED表示	機能
non (non)	空調機を監視しないモード (設定しないでください)。
GHP (GHP)	GHP、PACを監視するモード。※出荷時の設定
AbS (AbS)	吸収式冷凍機を監視するモード。

3) 対象とする空調機の選択

下表に従って、監視する空調機を設定します。

下図はGHP,PACを監視するモードの場合の例です。吸収式冷凍機を監視するモードの場合も同様です。

空調機を監視しないモードと検査モードの場合は空調機の選択はありません。



↓ UPDOWNキーで選択します。

1:簡単設定1
2:簡単設定2
3:簡単設定3
4:簡単設定4
} 1桁の数値は簡単設定コードを表します。

01:空調機選択を16進数表記したもの
〜
FF:空調機選択を16進数表記したもの

下表に従い、簡単設定コードで設定できる空調機を監視する場合は、簡単設定コードを設定してください。

簡単設定コードで設定できない空調機の構成を選択したい場合は、「5) GHP,PAC 監視モード時に16進数で設定する場合の早見表」(次項)を参照し、設定してください。

ただし、「00」は設定できません。

【簡単設定】

●GHP,PACを監視する　モードのとき

LED表示	機能
GHP 1 (GHP 1)	GHP/コジェネ温度計測器　※出荷時の設定
GHP 2 (GHP 2)	GHP/コジェネ/PAC/温度計測器
GHP 3 (GHP 3)	GHP/コジェネ温度計測器/ローカルアダプター/VW
GHP 4 (GHP 4)	GHP/コジェネ/PAC/温度計測器/ローカルアダプター/VW

※VW:ウイルスウォッシャー

4) 設定完了

下記表示の後、自動的に再起動します。

End

監視:監視対象空調機の変更は本気を再起動しないと有効になりません。

注3・全ての設定は初期化され、出荷時の設定となります。

5）GHP、PAC監視モード時に16進数で設定する場合の早見表

16進表記	監視対象の空調機						
	温度計測器	VW	ローカルアダプター	PAC（エスパ）	PAC（マルチ）	コジェネ	GHP
01	×	×	×	×	×	×	○
02	×	×	×	×	×	○	×
03	×	×	×	×	×	○	○
04	×	×	×	×	○	×	×
05	×	×	×	×	○	×	○
06	×	×	×	×	○	○	×
07	×	×	×	×	○	○	○
08	×	×	×	○	×	×	×
09	×	×	×	○	×	×	○
0A	×	×	×	○	×	○	×
0b	×	×	×	○	×	○	○
0C	×	×	×	○	○	×	×
0d	×	×	×	○	○	×	○
0E	×	×	×	○	○	○	×
0F	×	×	×	○	○	○	○
10	×	○	○	×	×	×	×
11	×	○	○	×	×	×	○
12	×	○	○	×	×	○	×
13	×	○	○	×	×	○	○
14	×	○	○	×	○	×	×
15	×	○	○	×	○	×	○
16	×	○	○	×	○	○	×
17	×	○	○	×	○	○	○
18	×	○	○	○	×	×	×
19	×	○	○	○	×	×	○
1A	×	○	○	○	×	○	×
1b	×	○	○	○	×	○	○
1C	×	○	○	○	○	×	×
1d	×	○	○	○	○	×	○
1E	×	○	○	○	○	○	×
1F	×	○	○	○	○	○	○

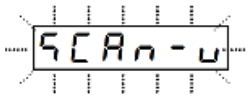
16進表記	監視対象の空調機						
	温度計測器	VW	ローカルアダプター	PAC（エスパ）	PAC（マルチ）	コジェネ	GHP
20	○	×	×	×	×	×	×
21	○	×	×	×	×	×	○
22	○	×	×	×	×	○	×
23	○	×	×	×	×	○	○
24	○	×	×	×	○	×	×
25	○	×	×	×	○	×	○
26	○	×	×	×	○	○	×
27	○	×	×	×	○	○	○
28	○	×	×	○	×	×	×
29	○	×	×	○	×	×	○
2A	○	×	×	○	×	○	×
2b	○	×	×	○	×	○	○
2C	○	×	×	○	○	×	×
2d	○	×	×	○	○	×	○
2E	○	×	×	○	○	○	×
2F	○	×	×	○	○	○	○
30	○	○	○	×	×	×	×
31	○	○	○	×	×	×	○
32	○	○	○	×	×	○	×
33	○	○	○	×	×	○	○
34	○	○	○	×	○	×	×
35	○	○	○	×	○	×	○
36	○	○	○	×	○	○	×
37	○	○	○	×	○	○	○
38	○	○	○	○	×	×	×
39	○	○	○	○	×	×	○
3A	○	○	○	○	×	○	×
3b	○	○	○	○	×	○	○
3C	○	○	○	○	○	×	×
3d	○	○	○	○	○	×	○
3E	○	○	○	○	○	○	×
3F	○	○	○	○	○	○	○

（４）空調機の構成確認実施

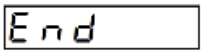
起動メニューから“SCAn-U”を選択すると、空調機の構成確認を実施することができます。
“手動発呼スイッチ”と“通信禁止スイッチ”を押しながら電源を ON して起動した場合と同様です。

注４・空調機の構成確認を実施すると、全ての空調機情報，通信履歴などもクリアされます。

■操作方法
1）起動メニューから“SCAn-U”を選択して SET キーを押すと表示が点滅します。



2）再度 SET キーを押します
下記表示の後、空調機の構成確認を実施して起動します。

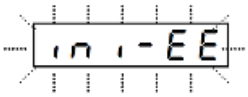


（５）全ての設定を初期化

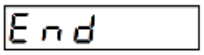
起動メニューから“InI-EE”を選択すると、不揮発性メモリ(EEPROM,フラッシュメモリ)に記録された設定値を全て消去して初期化できます。
「全ての設定を初期化」を実施すると、自動的に空調機の構成確認も行われます。

注５・「全ての設定を初期化」によって初期化された設定は復元できません。
注意して実施して下さい。

■操作方法
1）起動メニューから“InI-EE”を選択して SET キーを押すと表示が点滅します。



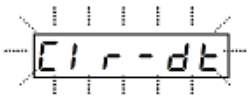
2）再度 SET キーを押します
下記表示の後、設定の初期化および空調機の構成確認を実施して起動します。



（６）全ての空調機情報，通信履歴などをクリア

起動メニューから“CLr-dt”を選択すると、本機内に記録された全ての空調機データを消去します。
空調機の運転データ，発呼情報，トレンド情報，通信履歴などが消去されます。

■操作方法
1）起動メニューから“CLr-dt”を選択して SET キーを押すと表示が点滅します。



2）再度 SET キーを押します
下記表示の後、本機内に記録された全ての空調機データを消去して起動します。

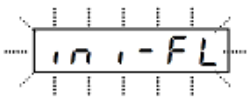
End

（７）全てのトレンド情報，制御履歴を初期化

起動メニューから“inI-FL”を選択すると、トレンド情報，制御履歴記録用メモリーを初期化（フォーマット）します。
この初期化を実施すると全てのトレンド情報，制御履歴記録はクリアされます。

注６・本機の異常“Err-18”（トレンド用メモリ・フラッシュメモリ異常)が発生した場合を除き、通常は実施する必要ありません。

■操作方法
1）起動メニューから“inI-FL”を選択して SET キーを押すと表示が点滅します。



2）再度 SET キーを押します
下記表示の後、トレンド情報，制御履歴記録用メモリーを初期化して起動します。

End

3）トレンド情報，制御履歴記録用メモリーを初期化中は下記の表示があります。
初期化には数十秒間かかります。

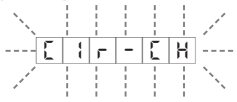
InIt

(8) 制御履歴情報のクリア

起動メニューから“C lr - CH”を選択すると、記録されている制御履歴情報を消去します。
“手動発呼スイッチ”と“通信スイッチ”を押しながら電源をONして起動した場合と同様です。
注9・この機能はVer-2.11 以降で使用可能です。

■操作方法

1) 起動メニューから“C lr - CH”を選択してSET キーを押すと表示が点滅します。



2) 再度SET キーを押します

下記表示の後、制御履歴記録を消去して起動します。

End

(9) 省エネ制御関連の内部制御情報などをクリア

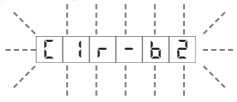
起動メニューから“C lr - b2”を選択すると、省エネ制御関連※1の内部制御情報などを消去します。
この消去を実施しても省エネ制御関連の設定に影響はありませんが、各制御は停止状態となり、GHP 日報情報はクリアされます。

※1•スケジュール制御、室内機パトロール制御、間引き制御、省エネ制御、省エネ設定制御、GHP 日報情報。

注10・スケジュール制御、室内機パトロール制御、間引き制御、省エネ制御、省エネ設定制御、GHP 日報情報。

■操作方法

1) 起動メニューから“C lr - b2”を選択してSET キーを押すと表示が点滅します。



2) 再度SET キーを押します

下記表示の後、省エネ制御関連の内部制御情報などを消去して起動します。

End

(10) 省エネ制御関連の設定値を初期化

起動メニューから“in i - ES”を選択すると、省エネ制御関連※1の設定内容を全て初期化します。
この初期化を実施すると、省エネ制御関連の内部制御情報などの消去も行われます。

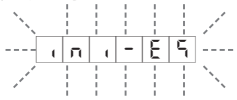
※1•スケジュール制御、室内機パトロール制御、間引き制御、省エネ制御、省エネ設定制御、GHP 日報情報。

注11・この操作によって初期化された設定は復元できません。注意して実施してください。

注12・この機能はVer-2.11 以降で使用可能です。

■操作方法

1) 起動メニューから“in i - ES”を選択してSET キーを押すと表示が点滅します。



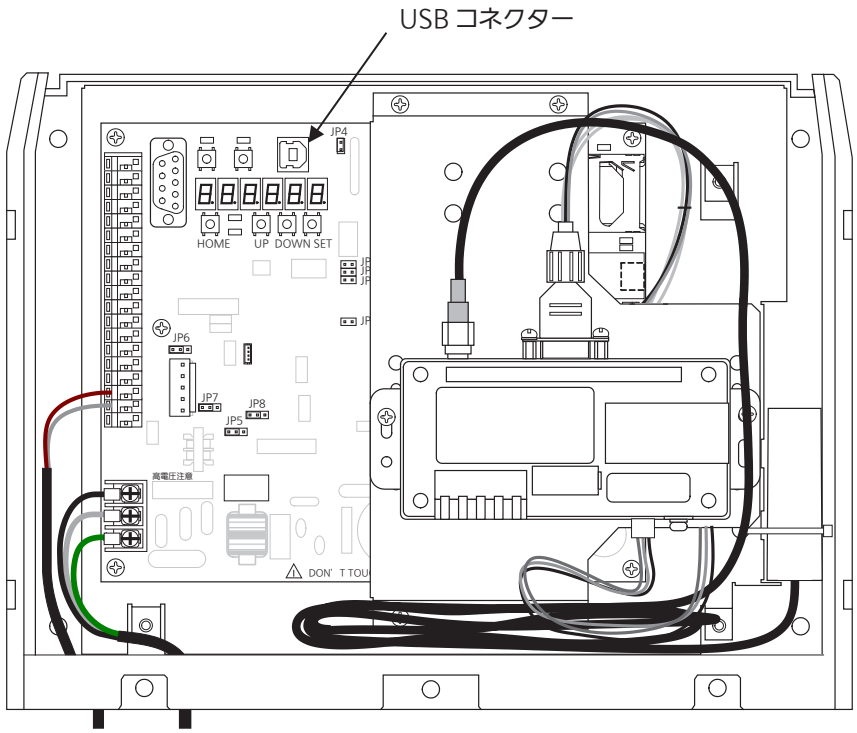
2) 再度SET キーを押します

下記表示の後、省エネ制御関連の設定値を初期化して起動します。

End

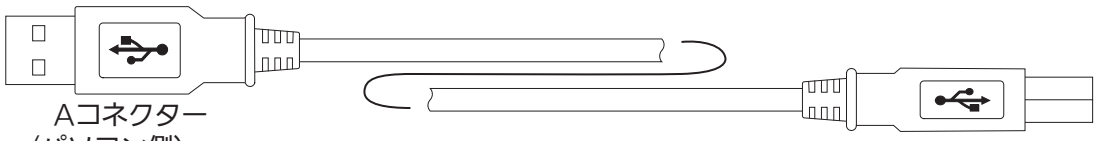
⑥USB サービス端子の使用方法

■USB コネクターの位置



本機の内部

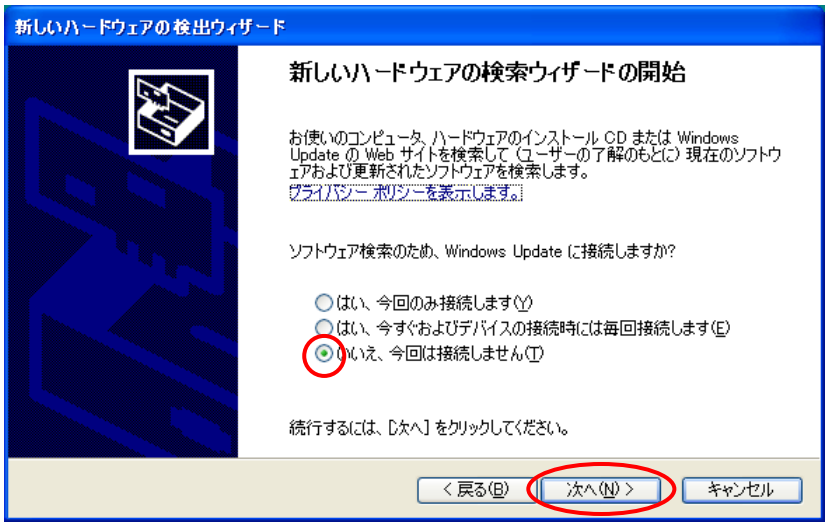
■必要なケーブル

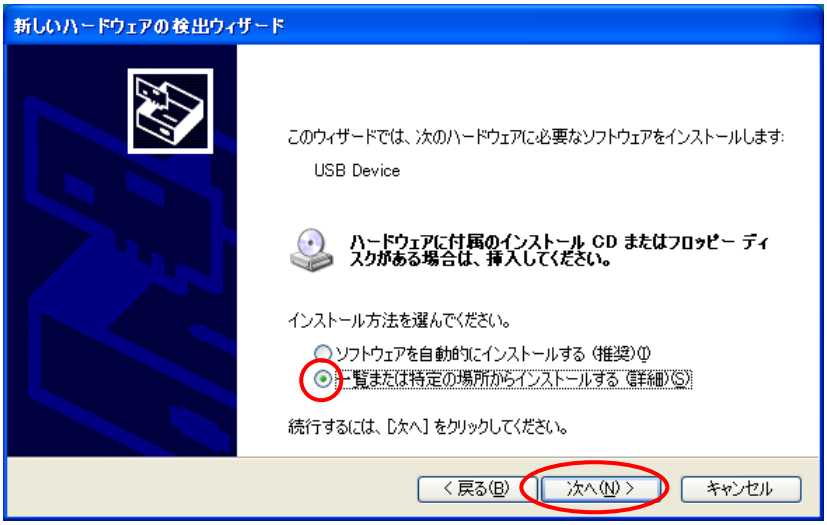


図のような、片側 A-片側 B の標準ケーブルをご用意ください。

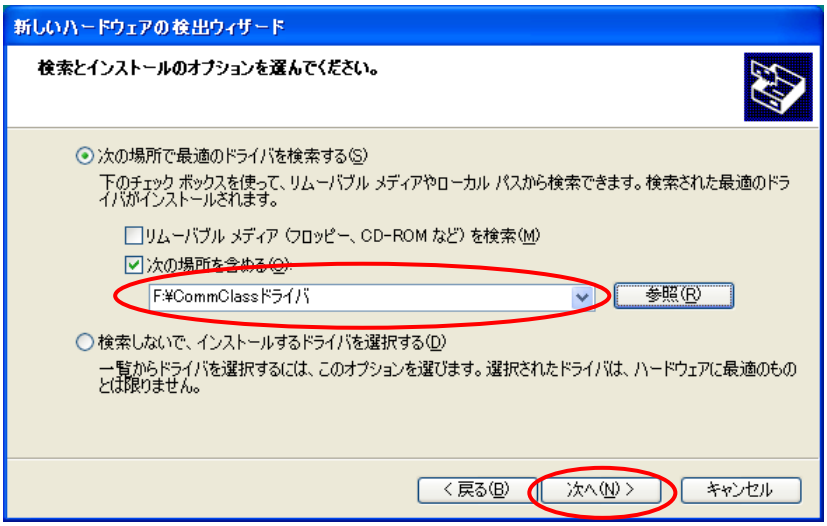
■USB ドライバ ソフトのインストール

USB ケーブルで稼働中の本機とパソコンを初めて接続すると、パソコンがドライバのインストールを求めてきます。以下、WindowsXP を例に説明いたします。

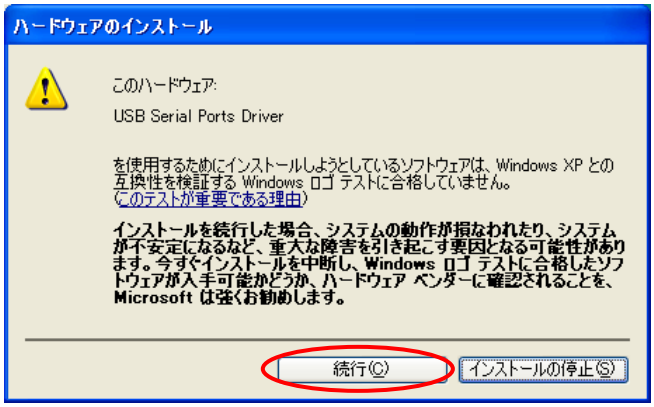




別途提供するファイル“CZ-01AP50B_USB-SerialPorts.inf”の場所を指定してください。

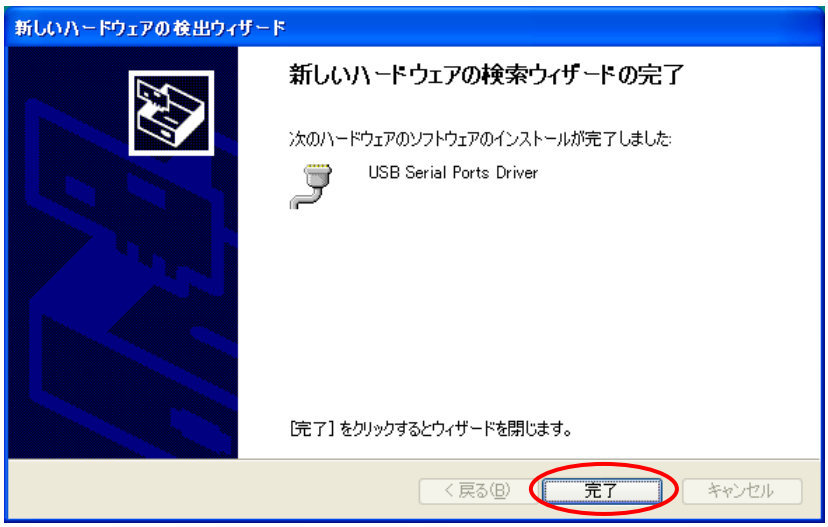


下記の警告が出ますが、「続行」をクリックしてください。





インストール終了



備考１：USBドライバ自体はWindowsに付属したものを使用します。
ファイル“CZ-01AP50B_USB-SerialPorts.inf”は、そのUSBドライバを使用するための定義ファイルです。

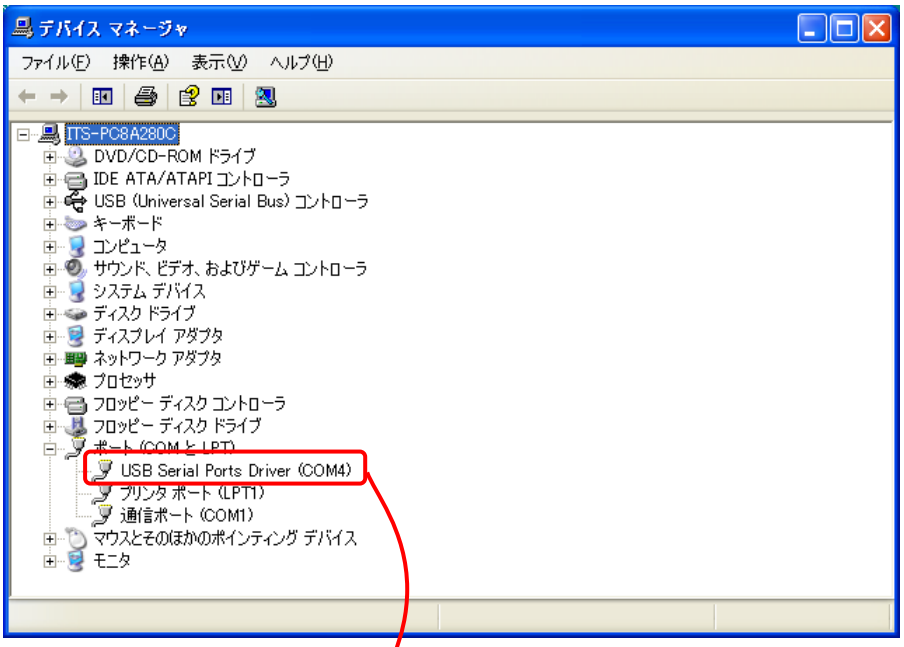
備考２：“CZ-01AP50B_USB-SerialPorts.inf”はWindows専用です。

■USB ポートの使用方法

本機の USB サービス端子は、仮想シリアルポートとして動作します。
パソコン側は、通常のシリアルポートを使用する場合と同様に使用することができます。
ただし、通信速度やデータビット構成の設定は無効です。

USB ドライバをインストールすると、本機を仮想シリアルポートとして接続できます。そのポート番号は下記の方法で知ることができます。

システムのプロパティ→ハードウェアからデバイスマネージャを開きます。
※下図はWindowsXPの例です。



“USB Serial Ports Driver（COM＊）”と表示されているのが、インストールしたUSBドライバです（＊はポート番号）。
この例では、シリアルポート“COM4”として使用できることがわかります。

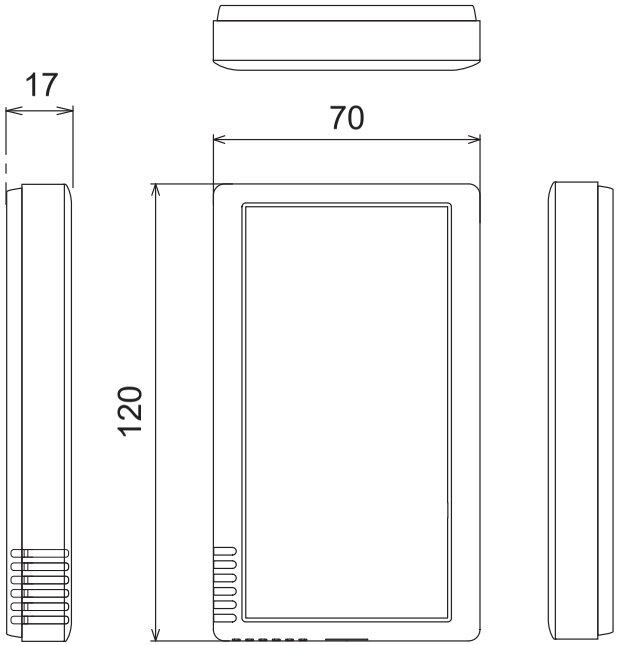
■USB サービス端子の使用上の注意

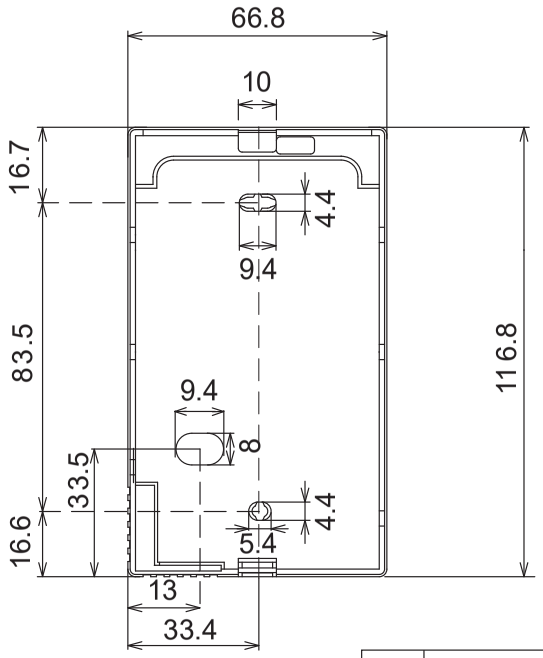
・パソコンと本機を USB ケーブルで接続した状態で本機の電源を OFF すると、本機の電源を再度 ON しても使用できない場合があります。
その場合は、一旦 USB ケーブルをはずし、パソコンソフト（設定ソフトなど）も一旦終了して、USB ケーブルの接続から改めて行ってください。
・USB ドライバ定義ファイル “CZ-01AP50B_USB-SerialPorts.inf” は本機専用のものです。他の機器では使用できません。また、このファイルは本機に付属していません。必要な方に別途配布させていただきます。

●仕様

品　　番	CZ-RSB4
外 形 寸 法	(高さ)120 mm ×(幅)70 mm ×(奥行)17 mm
質　　量	70g
使用温度・湿度範囲	0℃ ～ 40℃・20% ～ 80% (屋内設置専用)
電　　源	DC16 V (室内ユニットより供給)
接 続 台 数	室内ユニット　最多8台

●外形寸法図





品番	CZ-RSB4	外形寸法図 《リモートセンサー》

Panasonic®

据付（電気）工事説明書

リモートセンサー

品番 **CZ-RSB4**

●据付 (電気) 工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、「据付 (電気) 工事説明書」は、お客様で保管いただくよう依頼してください。
移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
●据付 (電気) 工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
●室内ユニットなどに付属の据付説明書も合わせてご覧ください。

付属品

小ネジ M4 × 25(2本)	木ネジ M3.8 × 16(2本)	結束バンド(1個)
 (埋込型 JISボックス用)	 (露出型 壁面用)	

※リモコン配線は現地調達のため付属されていません。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⚠ 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意 「軽傷を負うことや、財産の 損害が発生するおそれがある内容」です。	してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

分解や改造は行わない
（感電・火災の原因）

据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する
（感電・火災等の原因）

据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う
（感電・火災等の原因）

電気工事は、電気工事士が下記に従って行う
- 電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- 据付（電気）工事説明書

（感電・火災の原因）

配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する
- 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。

（発熱・火災等の原因）

据付は、リモコンの重さに十分耐える所に設置する
- 取付強度を確保できない場合には、必ず強度を確保できる補強を行う。

（落下の原因）

工事は、ユニットの漏電しゃ断器を「切」にしてから行う
（感電の原因）

⚠ 注意

次のような場所で使わない
- 可燃性ガス等の漏れるおそれのあるところ
- 腐食性ガス等の漏れるおそれのあるところ
- 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
- 電圧変動の多いところ
- 電磁波が出る機械のあるところ
- 有機溶剤の飛沫するところ
- 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレー等を頻繁に使うところ
- 結露するところ

（感電・火災等の原因）

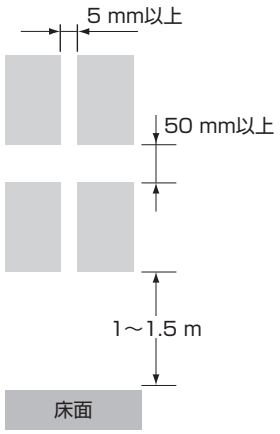
ぬれた手で操作しない
（感電の原因）

水洗いしない
（感電・火災の原因）

Printed in China
DC0515-40723
ACXF60-29573
85464369809021

設置上のご注意

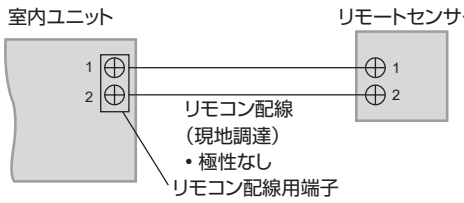
設置場所など



- 床面から1～1.5 mの高さに設置する（室内の平均的温度を感じる場所）
- 床面に対して垂直に設置する
- リモコンと並べて設置するときは、左右5 mm、上下50 mm以上離す
- 次のような場所に設置しない
  - 直射日光や直接外気が当たる、窓際等
  - 室内の空気の流れから外れた、物かげや物の裏側等
  - 結露するところ（防湿･防滴仕様ではないため）
  - 近くに熱源があるところ
  - 据付面に凹凸があるところ
- テレビ･ラジオ･パソコンから1 m以上離す。（映像の乱れ･雑音の原因）

リモコン配線

■ 配線図



■ 総配線長：500 m以内
（室内ユニット間のリモコン配線は、200 m以内）

■ 接続可能台数
リモコン：最多2個（リモートセンサー含む）
室内ユニット：最多8台

■ 配線の種類

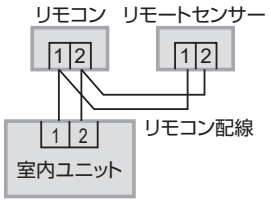
- 柔軟性のある、0.5～1.25 mm²のケーブルを使う。
- 単線は使わない。
- シース部含む絶縁物の厚みが1 mm以上ある配線を使う。
- 推奨品※（　）内：エコ電線
  - VCTF（EM-ECTF）
  - VCT（ECO120）

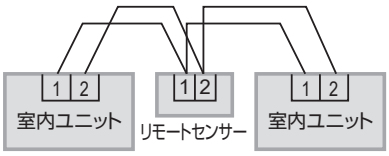
※エコ電線について：紫外線（日光・照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。

お願い

- 誤って、室内ユニットの他の端子（電源配線用端子など）に接続しないよう、注意してください。（故障の原因）
- 電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。（誤動作の原因）
- ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付けてください。

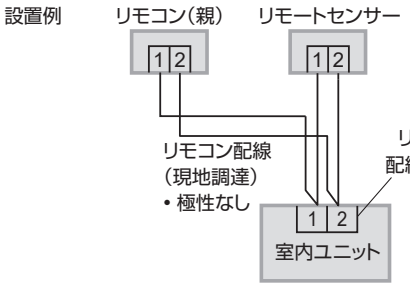
※以下のような渡り配線は禁止です。



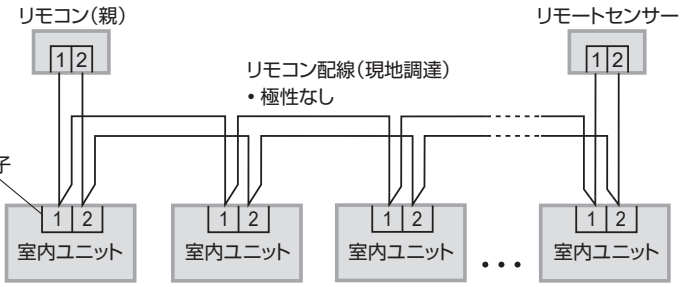


リモコンと併用される場合

■ 室内ユニットが1台のとき



■ 室内ユニットが複数台のとき



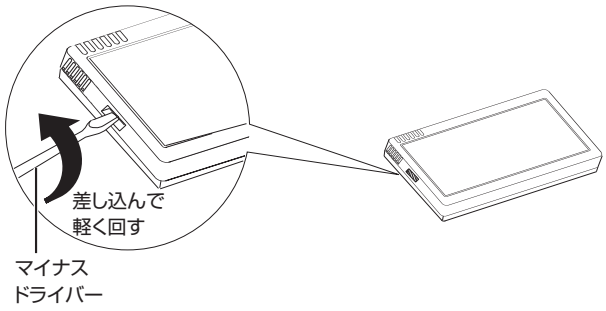
リモコンは「親リモコン」としてください。

お知らせ

- どの室内ユニットにリモコンやリモートセンサーを接続しても、動作します。

取り付ける

1 下ケースをはずす



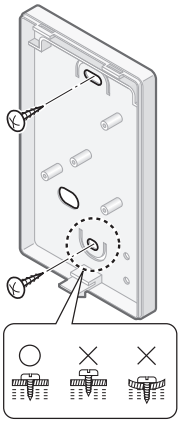
お願い

下ケースを取り付けるとき

- ネジは、下ケースにあたるまで締めてください。
  （上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ネジは、締めすぎないでください。
  （下ケースの変形による、落下の原因）
- ドライバーを差し込む際は、ツメを折らないよう注意してください。

上ケースを取り付けるとき

- 手順2 ❷の図の経路で配線し、余分な配線をケースに収納しないでください。
  (配線はさみ込みによる基板破壊の原因)
- 基板上の部品に配線が触れないようにしてください。
  (配線はさみ込みによる基板破壊の原因)



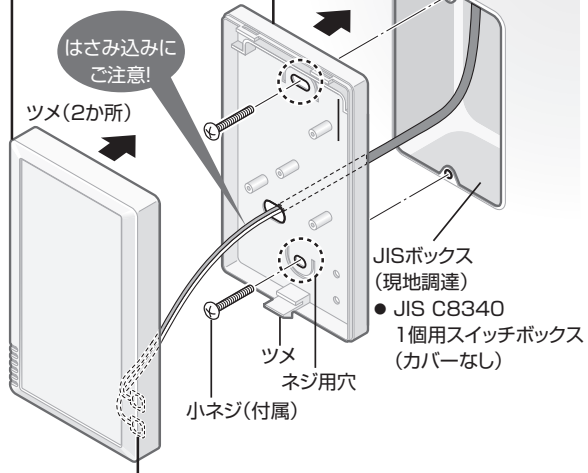
2 壁に取り付ける

埋込型の場合

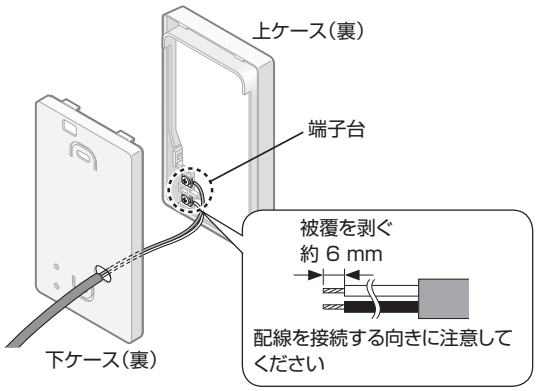
- あらかじめ現地で壁内に埋込まれた下図に示すJISボックス（現地調達）に取り付けてください。

3 上ケースを取り付ける
- 上ケースのツメを合わせてから、下ケースのツメを合わせる。

1 下ケースをJISボックスに取り付ける
- 配線は、下ケース中央の穴に通しておく。



2 リモコン配線を接続する

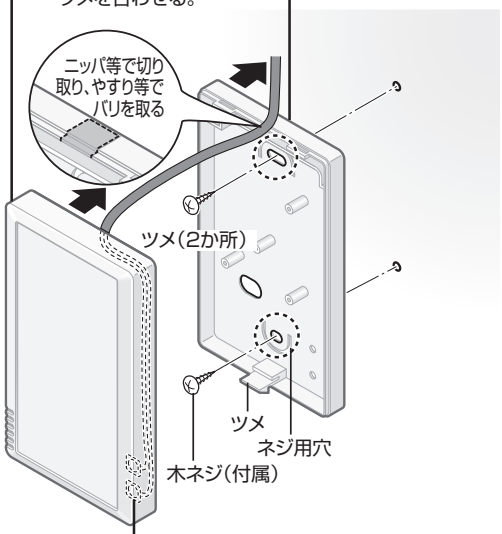


露出型の場合

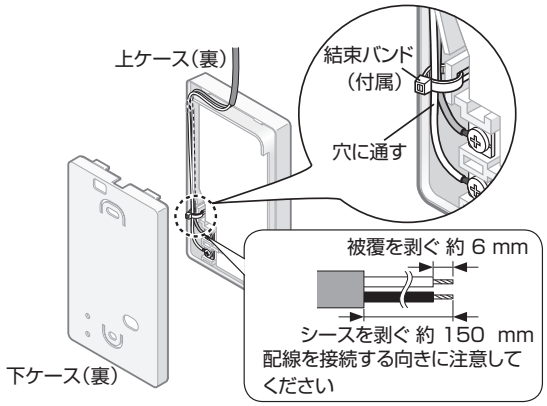
- リモートセンサーが固定できる壁面に取り付けてください。

3 上ケースを取り付ける
- 上ケースのツメを合わせてから、下ケースのツメを合わせる。

1 下ケースを壁に取り付ける



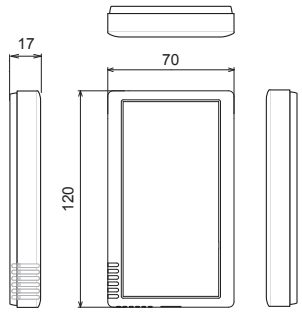
2 リモコン配線を接続する
- ケースの溝に沿って配線する

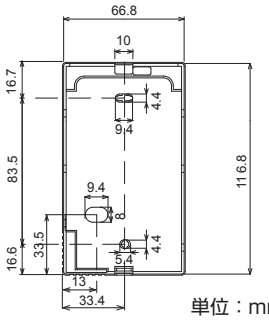


仕様

品　　番	CZ-RSB4
外形寸法	(高さ)120 mm × (幅)70 mm × (奥行き)17 mm
質　　量	70 g
使用温度・湿度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃・20 % ～ 80 % (屋内設置専用)
電　　源	DC16 V (室内ユニットより供給)
接続台数	室内ユニット　最多8台

外形寸法

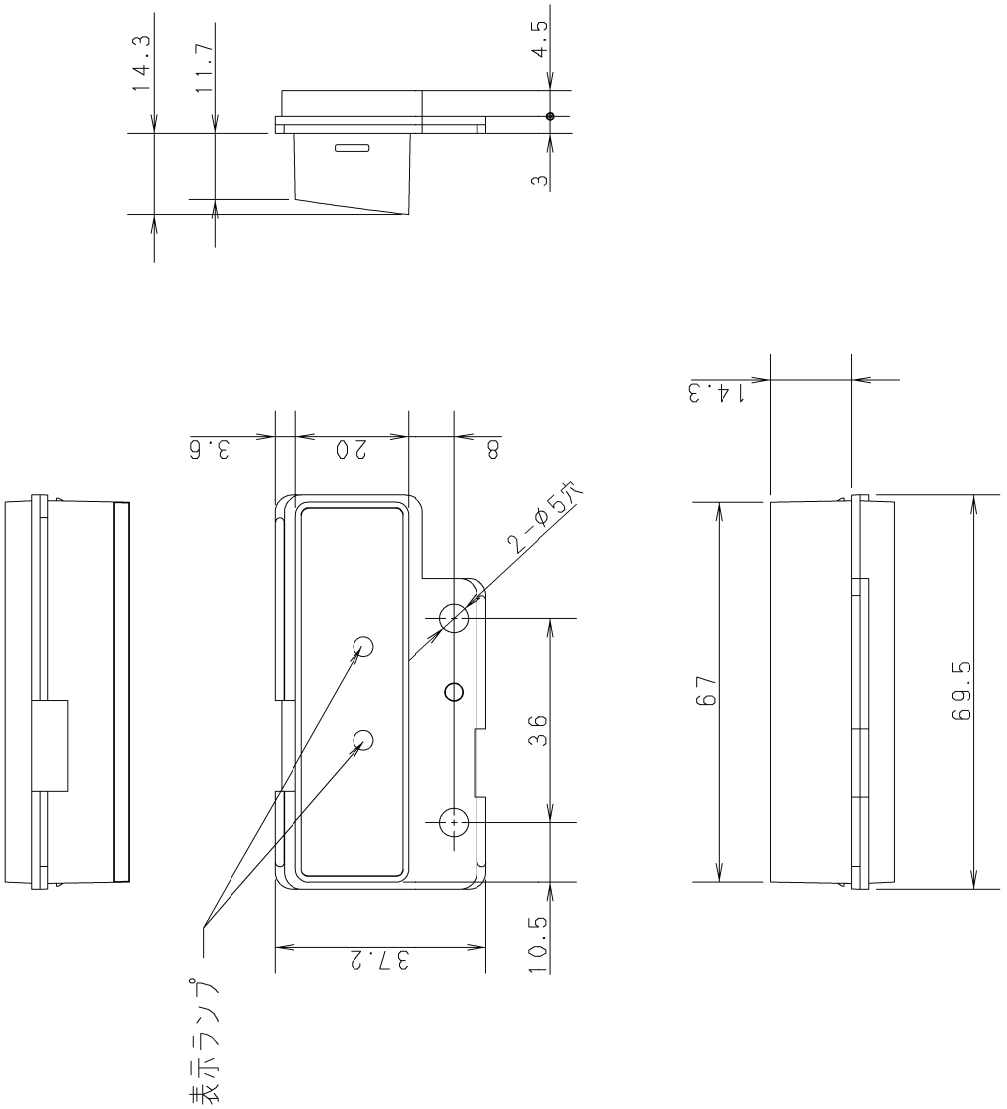




単位：mm

運転表示ランプキット / IND-TH80E

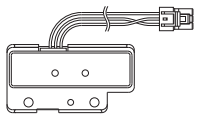
品番	IND-TH80E
品番	外形寸法図 《運転表示ランプキット》 （2方向用）



85464369496001

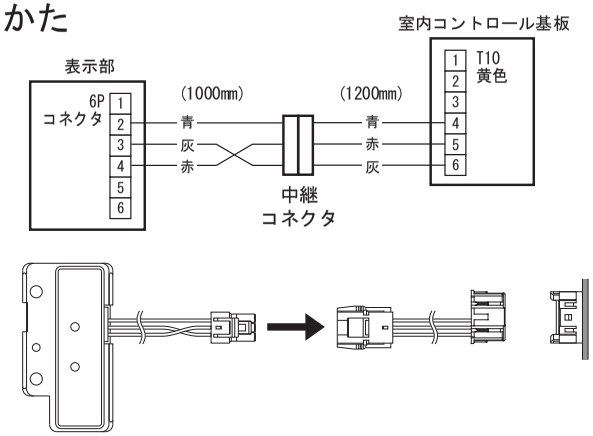
据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ

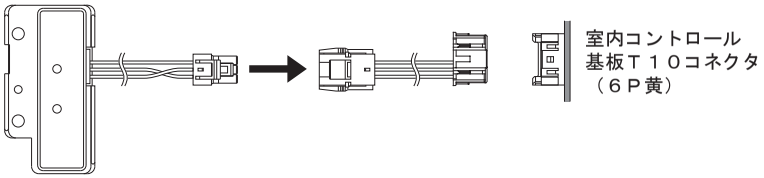
付属部品

番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	表示部 	1	③	クランパー（１５０mm） 	2
②	中継用ワイヤー 	1			

配線のしかた

●接続図





●接続方法
① 表示部を取り付けます。
② 表示部の配線に付属の中継用ワイヤーを接続します。
③ 中継用ワイヤーを室内コントロール基板のT10コネクタに接続します。
④ 配線があまった場合は付属のクランパーで結束してください。

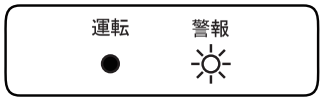
ランプ表示について

① 室内ユニットが運転状態にあるときには、常に運転ランプ（緑）が点灯します。警報が発生した場合、もしくは運転を停止した場合には消灯します。
② 警報が発生すると、警報ランプ（赤）が点灯します。ユニットが正常に復帰した場合、もしくは運転を停止した場合には消灯します。警報の内容についてはワイヤードリモコン(別売品)に表示されます。
③ ランプがまったく点灯しない場合には、電源を切ってもう一度配線の接続をチェックしてください。

【運転状態】



【警報状態】



表示部の取り付けかた

天井パネルをはずしてから作業を行ってください。

●樹脂パネルの場合
① ビスを２本はずしてパネル裏側よりカバーＡをはずします。
矢印の箇所に爪がありますので、そこからカバーＡをはずしてください。（図１）
② 表示部の取り付け位置にカバーがついていますので、ビスを１本はずしてパネルの表側から押し込んではずします。（図２）
③ パネルに表示部をはめ込みます。６Ｐ白コネクタが奥までしっかりと接続されていることを確認してください。
④ 表示部のリード線をルーバーのシャフトに接触しないように整形します。図２の丸印の部分に配線通し用の溝がありますので、リード線がたるみがないよう溝にはめ込んでください。
⑤ カバーＡを取り付けます。このとき、図１の矢印の箇所の爪を確実にはめ込んでください。

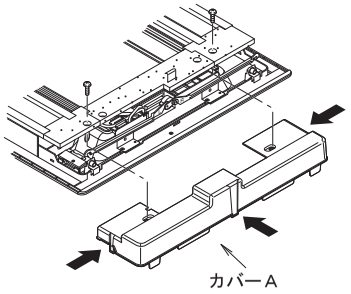


図１

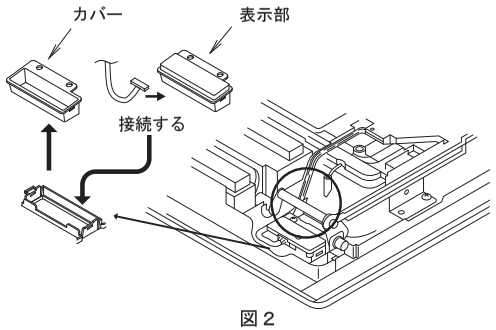


図２

●金属パネルの場合
① ビス２本をはずして、パネル裏側よりカバーＡをはずします。
② 表示部の取り付け位置にカバーがついていますので、図３の箇所を広げながらはずします。
カバーを固定しているテープは輸送保護用ですので取り除いてください。
③ パネルに表示部をはめ込みます。
④ 表示部のリード線をパネルの切り欠きを通して、板金の穴を利用してクランパーで固定します。（図４）
⑤ カバーＡを取り付けます。

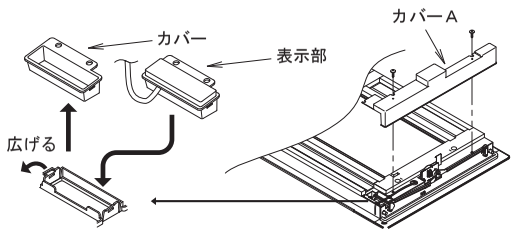


図３

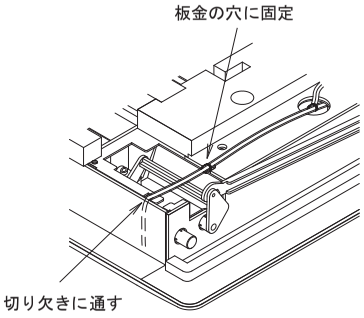
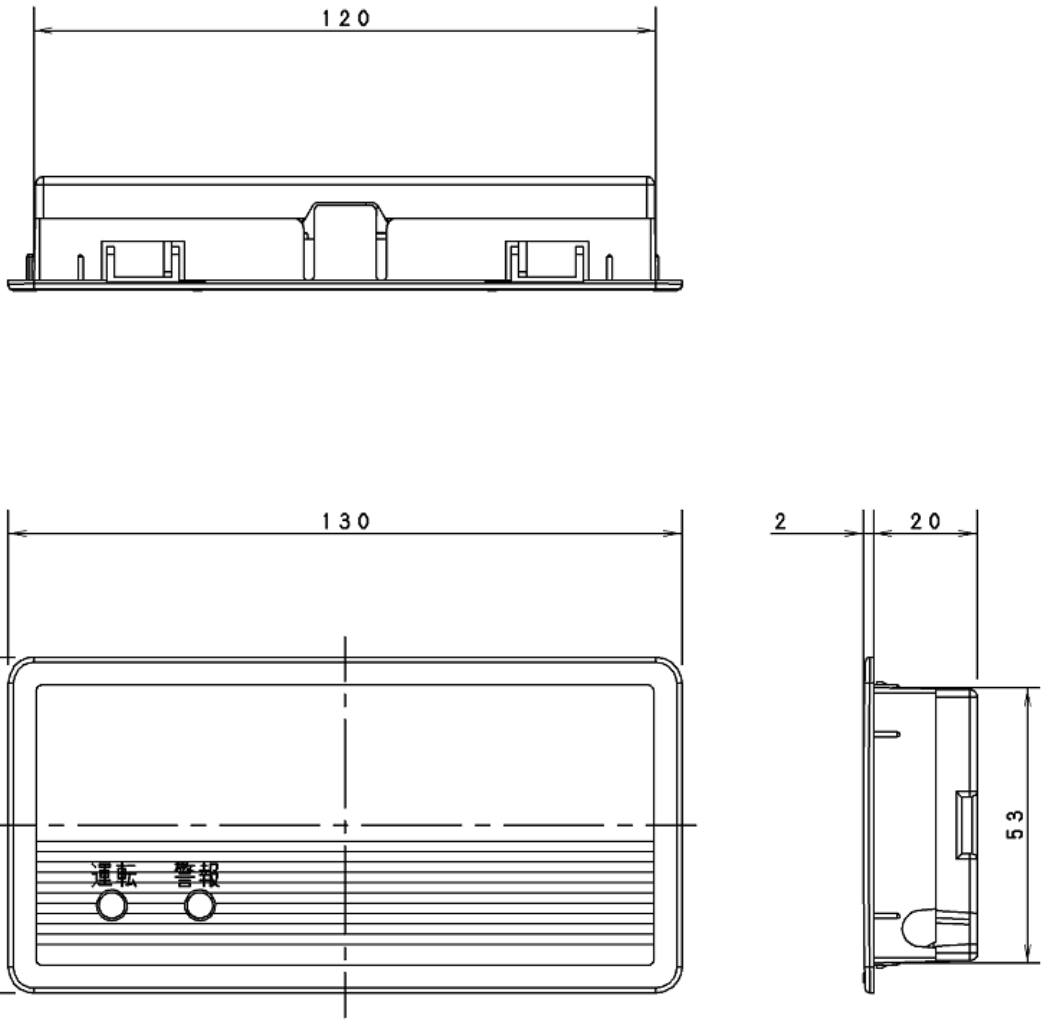


図４

運転表示ランプキット / CZ-10TRP



品番	CZ−10TRP	運転表示ランプキット（特注対応） 外形寸法図

Panasonic

据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ（CZ-10TRP）

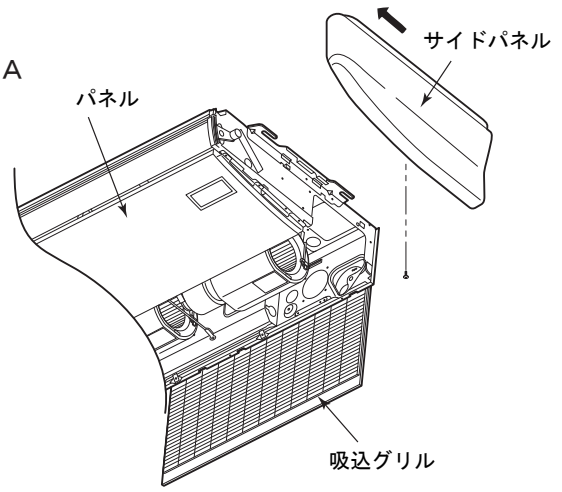
ランプ表示について

① 室内ユニットが運転状態にあるときには、常に運転ランプ（緑）が点灯します。警報が発生した場合、もしくは運転を停止した場合には消灯します。
② 警報が発生すると、警報ランプ（赤）が点灯します。ユニットが正常に復帰した場合、もしくは運転を停止した場合には消灯します。
警報の内容についてはリモコンに表示されます。
③ ランプがまったく消灯しない場合には、電源を切ってもう一度配線の接続を確認してください。

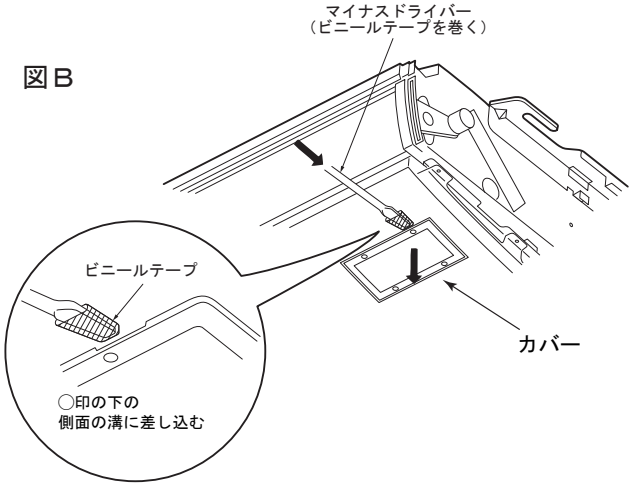
表示部の取り付けかた

① サイドパネルは吸込グリルを開き、ビス１本をはずしてから前面（矢印方向）へ移動させてはずします。（図Ａ）
② マイナスドライバーの先端にビニールテープを巻き、カバーの〇印の下の側面の溝に差し込んで、まっすぐ押しながらはずしてください。（図Ｂ）
（過剰に力を加えすぎると、爪の破損やパネルを傷つける恐れがありますのでご注意ください。）
③ パネルにリード線を通してから表示部をパネル穴に取付けます。
（表示部の突起部がパネル穴で固定されます。）
④ 表示部のリード線は、ルーバーモーターの配線を固定しているクランパーに固定します。（図Ｃ）
⑤ サイドパネルを取付けます。
⑥ 表示部からのリード線はルーバーモーター等の配線に添わせてクランパーで固定します。（図Ｄ）
※電装ボックスの上側の穴を使用して引き込みます。
⑦ ６Ｐ黄コネクタを室内コントロール基板のＴ１０コネクタに接続します。

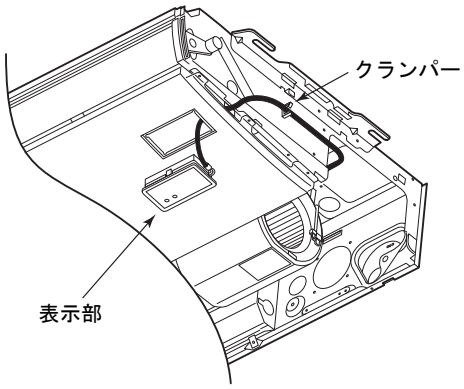
図Ａ



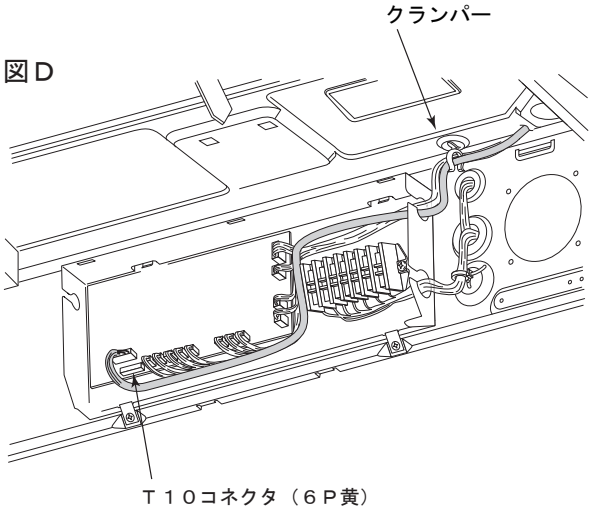
図Ｂ



図Ｃ



図Ｄ



〈注１〉表示部の配線は電源引込線などといっしょにより合わせると誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注２〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。

85464369483000

P-AIMS（ピーエイムス）システム

基本ソフト	: CZ-10SWB3
料金計算ソフト	: CZ-10SWB3A
デマンドソフト	: CZ-10SWB3D
レイアウト表示ソフト	: CZ-10SWB3G
設備管理ソフト	: CZ-10SWB3S
グラフ表示ソフト	: CZ-10SWB3T
BACnet通信ソフト	: CZ-10SWB3B
Webソフト	: CZ-10SWB3W
カメラ空調省エネソフト	: CZ-10SWB3CA
カメラ換気省エネソフト	: CZ-10SWB3CV
カメラ照明省エネソフト	: CZ-10SWB3CL

①システムの概要

1) 概要

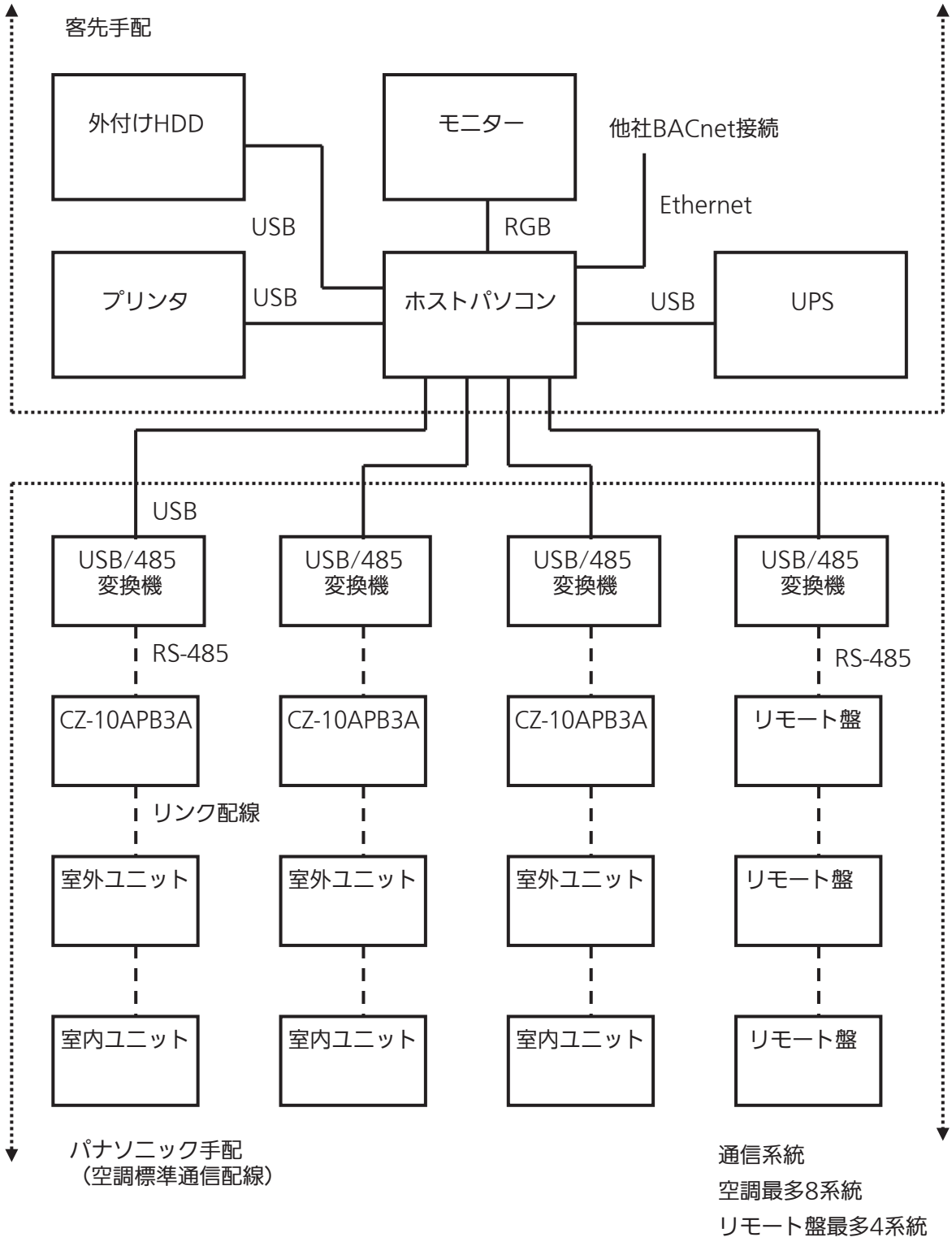
- P-AIMS システムは、中規模～大規模ビル向けのPAC/GHP専用集中管理システムです。
- 接続できる室内機の台数が異なるP-AIMSmini とP-AIMSnano があります。
- 市販のパソコン（Windows10 Pro 64bitまたはWindows 8.1 Professional 64bit）を使用するソフトウェア販売です。
- 1台のP-AIMS システム（パソコンは別途手配）に、最多1,024台の室内ユニット（室外ユニットは最多960台）が接続できます。
- 1台のP-AIMS mini（パソコンは別途手配）に、最多64台の室内ユニット（室外ユニットは最多64台）が接続できます。
- 1台のP-AIMS nano（パソコンは別途手配）に、最多16台の室内ユニット（室外ユニットは最多16台）が接続できます。
- PAC・GHPが混在したビルであっても、1台のP-AIMS システムで管理できますが、リンク配線を分ける必要があります。
- e-CUT機能・室内ユニット集中コントロール・運転状態監視・空調エネルギー按分・空調料金計算など多機能です。
- 空調料金を計算できます。CSVファイル（Excel互換）で出力できます。（CZ-10SWB3A）
- 警報・状態変化履歴のデータを、CSVファイル（Excel互換）で出力できます。
- 専用の通信アダプター（CZ-10APB3A）を室内外操作線に接続する方式です。室内ユニット側への新たな配線は不要ですので、既築のビルであっても施工が容易です。
- レイアウト表示ソフトを使用することで、平面図から室内ユニットの監視、制御ができます。
- 通信アダプターわたりの通信系統は最多8系統まで接続が可能です。
- E形GHP以降の新、旧GHP（三洋電機株式会社製含む）を1台のシステムで監視、制御ができます。
- セキュリティ、火災報知器信号との連動制御を行うことができます。
- 空調機以外のビル設備機器の監視・制御を行うことができます。
- BACnet（IPv4、IPv6）規格で他社との接続を行うことができます。
- Web機能を使用して遠隔監視・制御を行うことができます。

2) 関連機器

- CZ-10SWB3（基本ソフト）
  監視、制御、スケジュール運転、警報履歴、画面ハードコピー。CSV出力。
- CZ-10SWB3A（料金計算ソフト）
  電気、ガス空調使用料金計算。CSV出力。
- CZ-10SWB3D（デマンドソフト）
  室外、室内ユニット毎のデマンド制御。室外、室内のサイクリック制御。
- CZ-10SWB3G（レイアウト表示ソフト）
  レイアウト表示画面（平面図）での表示/操作が可能。
- CZ-10SWB3S（設備管理ソフト）
  空調機以外の設備機器を監視・制御する事ができます。リモートステーション盤が必要です。
- CZ-10SWB3T（グラフ表示ソフト）
  空調機、設備機器等の運転時間、電力使用量、ガス使用量、設定温度などの履歴をグラフ表示。
- CZ-10SWB3B（BACnetソフト）
  他社とBACnet（IPv4、IPv6）規格で接続する事が可能。
- CZ-10SWB3W（Webソフト）
  空調・ビル設備の遠隔監視・制御が可能。

- CZ-10APB3A
  通信アダプターです。
  リンク配線 2 系統に 1 台必要です。
  防滴仕様ではありませんので、必ず屋内か制御盤などの中に設置してください。
- CZ-CAPL1、CZ-CAPA1（オン / オフ制御用ローカルアダプター）
  EMA 標準 HA 端子を備えた機器や、接点信号で ON/OFF できる機器を P-AIMS システムから ON/OFF 制御や状態監視を行うためのインターフェイス BOX です。
  詳しくは専用の資料をご覧ください。

②ハードウェア構成


客先手配
外付けHDD
モニター
他社BACnet接続
Ethernet
USB
RGB
プリンタ
USB
ホストパソコン
USB
UPS
USB
USB/485
変換機
USB/485
変換機
USB/485
変換機
USB/485
変換機
RS-485
RS-485
CZ-10APB3A
CZ-10APB3A
CZ-10APB3A
リモート盤
リンク配線
室外ユニット
室外ユニット
室外ユニット
リモート盤
室内ユニット
室内ユニット
室内ユニット
リモート盤
パナソニック手配
（空調標準通信配線）
通信系統
空調最多8系統
リモート盤最多4系統

③システムの機能

1) e-CUT機能

- 省エネ設定
- 設定温度自動リターン（冷房、暖房別）
- 消し忘れ防止
- 設定温度範囲制限（冷房、暖房別）
- タイマー省エネ / 効率運転
- デマンドモード
- 運転自動停止

2) 室内ユニット集中コントロール

- 運転 / 停止（個別 / 一括 / 制御グループごと）
- 運転モード切換（冷房 / 暖房 / ドライ / 送風 / 冷暖自動）
- 風速設定（弱風 / 強風 / 急風 / 自動）
- 風向設定（5段階およびスイング）・・・・・・・リモコンレス設定の時のみ
- 室温設定
- 集中モード設定（手元許可 / 禁止１～４）
  さらにリモコンでの操作禁止項目の変更もできます。
- １日20回までのスケジュール設定が可能です。当日、翌日、翌々日だけの変更も可能です。

3) 空調エネルギー按分

- 室内ユニットごとの累積運転時間計数（風速別）
- 室内ユニット / 室外ユニットごとの累積発停回数計数
- 室内ユニットごとのガス・電気の空調消費按分率計算（オン / オフ用ローカルアダプターの場合はサーモON信号入力を使用することで可能ですが、制限事項があります。）
- テナントごとのガス・電気の空調使用料金計算（オン / オフ用ローカルアダプターの場合はサーモON信号入力を使用することで可能ですが、制限事項があります。）
- 照明等の電力使用量表示

4) 運転モニター

- 運転状態監視（運転 / 停止・冷暖モード・警報関連・風向・設定温度・室温）
- 警報履歴（発生日時・警報内容）の表示（過去２万件分）
- 操作、状態変化履歴の表示（過去20万件分）
- フィルター清掃サイン・エンジンオイル点検サインの確認
- 外部一括異常出力（リレー接点）

5) その他

- Windows10 Pro 64bitまたはWindows 8.1 Professional 64bit採用
- 遅延運転によるキュービクル保護
- オン / オフ制御用ローカルアダプターによる外部機器のON/OFF
- 操作状況に応じた操作ヘルプ画面
- すべてのデータを毎日、外付けハードディスクに自動保存可能
- 按分データ・警報履歴等をCSVファイルで出力可能
- プリンター（現地手配）を接続すれば、各種データの印刷（画面ハードコピー）が可能
- 外部一括停止入力対応（火災報知器など）
- 暗証番号による画面表示禁止機能
- レイアウト表示ソフトを使用することで、平面図から室内ユニットの監視、制御が可能
- セキュリティ信号等との室内ユニット連動停止が可能
- デマンドソフトを使用することで、室外ユニット、室内ユニットのサイクリック制御が可能
- 保守登録を設定することで、警報表示の復旧、スケジュール制御を停止することが可能
- UPSの停電信号を入力することで、パソコンの自動シャットダウンが可能
- 空調機以外のビル設備機器の監視・制御が可能
- BACnet（IPv4、IPv6）規格で他社との接続が可能
- Webソフトを使用することで空調・ビル設備の遠隔監視・制御が可能

④システム機能詳細

1) システム機能

1-1 パスワードの設定

システムの各機能に対して、パスワードにより管理レベルを制限することができます。

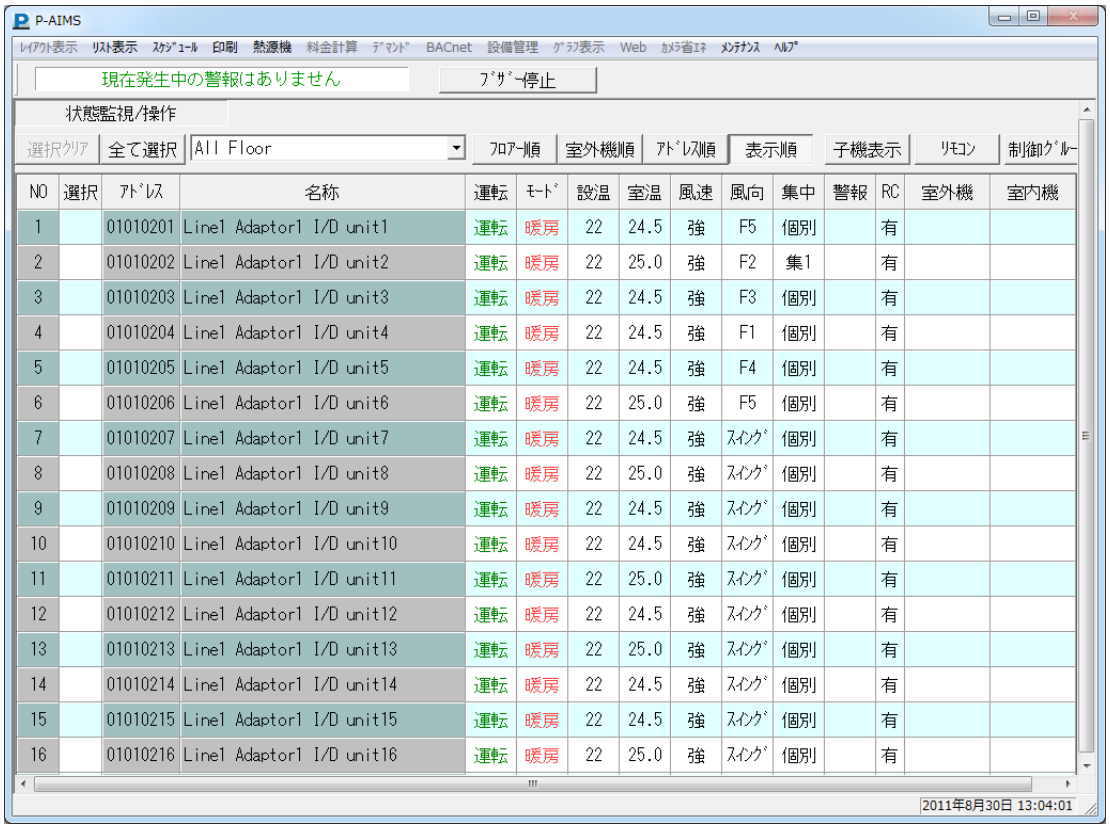
1-2 システム時刻の設定

P-AIMS システム側で修正時刻を設定すると 1 秒間に 0.1 秒ずつ修正を行います。

2) 監視・操作機能

2-1 状態監視

各機器の現在の運転 / 停止、冷暖モード、設定温度、室温、風速、風向、集中、警報の状況を一覧リストに表示します。また、その値が変化した場合にはリアルタイムに表示を変更します。



NO	選択	ｱﾄﾞﾚｽ	名称	運転	ﾓｰﾄﾞ	設温	室温	風速	風向	集中	警報	RC	室外機	室内機
1		01010201	Line1 Adaptor1 I/D unit1	運転	暖房	22	24.5	強	F5	個別		有		
2		01010202	Line1 Adaptor1 I/D unit2	運転	暖房	22	25.0	強	F2	集1		有		
3		01010203	Line1 Adaptor1 I/D unit3	運転	暖房	22	24.5	強	F3	個別		有		
4		01010204	Line1 Adaptor1 I/D unit4	運転	暖房	22	24.5	強	F1	個別		有		
5		01010205	Line1 Adaptor1 I/D unit5	運転	暖房	22	24.5	強	F4	個別		有		
6		01010206	Line1 Adaptor1 I/D unit6	運転	暖房	22	25.0	強	F5	個別		有		
7		01010207	Line1 Adaptor1 I/D unit7	運転	暖房	22	24.5	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		
8		01010208	Line1 Adaptor1 I/D unit8	運転	暖房	22	25.0	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		
9		01010209	Line1 Adaptor1 I/D unit9	運転	暖房	22	24.5	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		
10		01010210	Line1 Adaptor1 I/D unit10	運転	暖房	22	24.5	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		
11		01010211	Line1 Adaptor1 I/D unit11	運転	暖房	22	25.0	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		
12		01010212	Line1 Adaptor1 I/D unit12	運転	暖房	22	24.5	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		
13		01010213	Line1 Adaptor1 I/D unit13	運転	暖房	22	25.0	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		
14		01010214	Line1 Adaptor1 I/D unit14	運転	暖房	22	24.5	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		
15		01010215	Line1 Adaptor1 I/D unit15	運転	暖房	22	24.5	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		
16		01010216	Line1 Adaptor1 I/D unit16	運転	暖房	22	25.0	強	ｽｲﾝｸﾞ	個別		有		

2-2 操作出力

一覧リスト上で、各機器の運転 / 停止、冷暖モード、設定温度、風速、風向、集中の操作ができます。
また、同一の操作出力であれば複数台の一括操作ができます。

2-3 グループ毎の一括操作

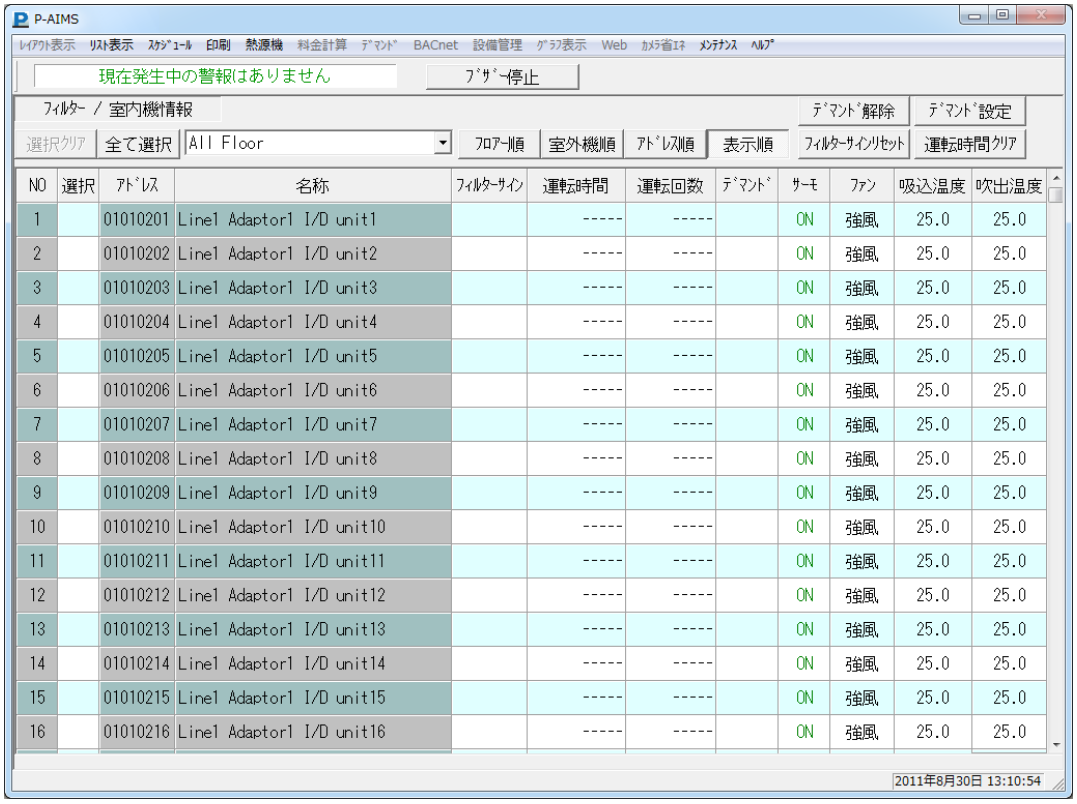
一覧リスト上から、後述 “4) 4-1 グループ制御” により登録されたグループ毎に運転 / 停止、冷暖モード、設定温度、風速、集中 / 個別、風向の操作、設定変更ができます。

2-4 警報 (故障) 監視

各機器について、警報 (故障) 発生を常時監視します。
警報 (故障) が発生した場合には、ディスプレイ画面上の “警報表示部” に、新たに発生した警報 (故障) を表示します。複数の警報が発生している場合は、最新の警報を表示します。また、同時に “ブザー” を鳴動させて通知します。ブザーはパソコン本体のブザーを使用します。状態監視画面警報欄は警報コードを表示します。

2-5 フィルターサイン監視

各室内ユニットのフィルターサインを常時監視します。
フィルターサインが発生した場合、室内ユニット情報画面に「フィルターサイン」表示をします。
警報履歴表示、警報発生のメッセージはありません。また、ブザー鳴動は行いません。
保守設定中の場合、室内ユニット情報画面に「フィルターサイン」表示をしますが、リセット操作はできません。



2-6 室内ユニット情報監視

各室内ユニットの運転回数を表示します。
各室内ユニットの運転時間を表示します。運転時間はP-AIMS システムで計算している値です。室内ユニットが保持している値とは異なります。

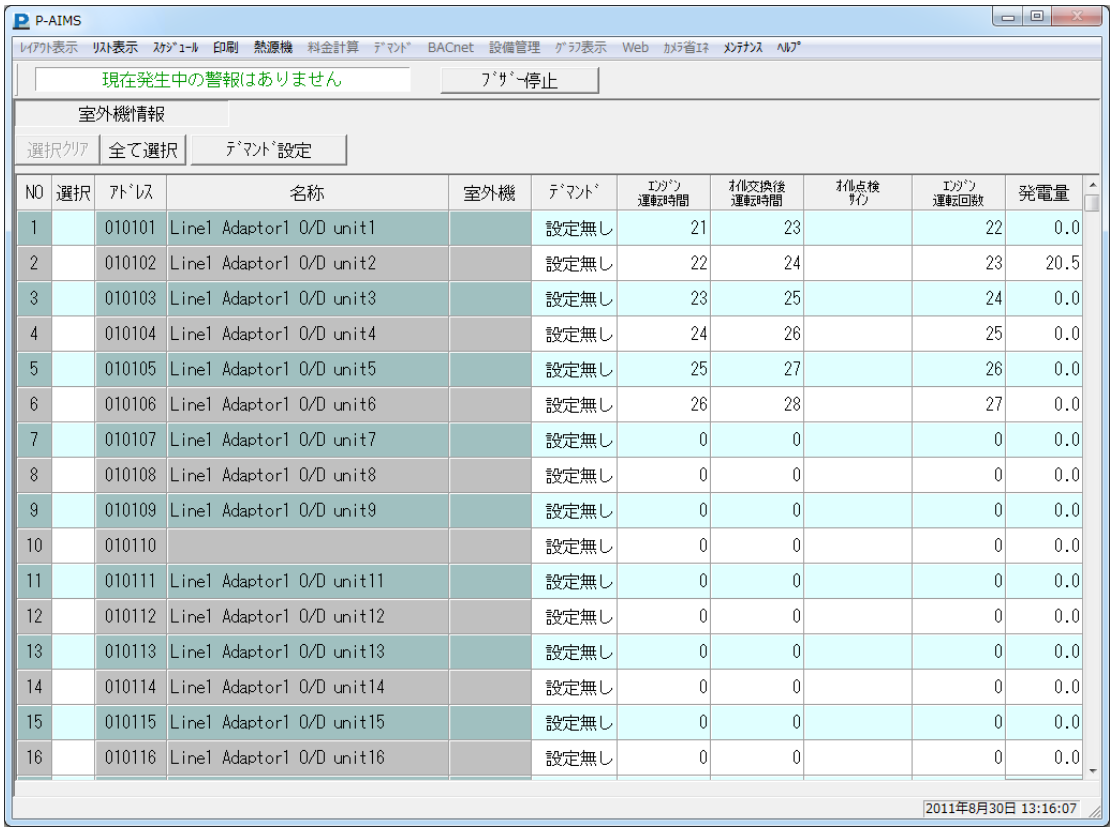
2-7 エンジンオイル点検監視

各室外ユニット（GHPのみ）のエンジンオイル点検を常時監視します。
エンジンオイル点検が発生した場合、室外ユニット情報画面にオイル点検を表示します。
オイル点検は警報履歴に表示し、警報発生のメッセージ、ブザー鳴動を行います。

2-8 室外ユニット情報監視

室外ユニットデマンド設定ができます。(PAC のみ)

室外ユニットエンジン運転時間、オイル交換後運転時間を表示します。(GHP のみ)



NO	選択	ｱﾄﾞﾚｽ	名称	室外機	ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	ｴﾝｼﾞﾝ運転時間	ｵｲﾙ交換後運転時間	ｵｲﾙ点検ｻｲﾝ	ｴﾝｼﾞﾝ運転回数	発電量
1		010101	Line1 Adaptor1 O/D unit1		設定無し	21	23		22	0.0
2		010102	Line1 Adaptor1 O/D unit2		設定無し	22	24		23	20.5
3		010103	Line1 Adaptor1 O/D unit3		設定無し	23	25		24	0.0
4		010104	Line1 Adaptor1 O/D unit4		設定無し	24	26		25	0.0
5		010105	Line1 Adaptor1 O/D unit5		設定無し	25	27		26	0.0
6		010106	Line1 Adaptor1 O/D unit6		設定無し	26	28		27	0.0
7		010107	Line1 Adaptor1 O/D unit7		設定無し	0	0		0	0.0
8		010108	Line1 Adaptor1 O/D unit8		設定無し	0	0		0	0.0
9		010109	Line1 Adaptor1 O/D unit9		設定無し	0	0		0	0.0
10		010110			設定無し	0	0		0	0.0
11		010111	Line1 Adaptor1 O/D unit11		設定無し	0	0		0	0.0
12		010112	Line1 Adaptor1 O/D unit12		設定無し	0	0		0	0.0
13		010113	Line1 Adaptor1 O/D unit13		設定無し	0	0		0	0.0
14		010114	Line1 Adaptor1 O/D unit14		設定無し	0	0		0	0.0
15		010115	Line1 Adaptor1 O/D unit15		設定無し	0	0		0	0.0
16		010116	Line1 Adaptor1 O/D unit16		設定無し	0	0		0	0.0

3)表示機能

3-1 表示画面

主表示部は力ラー液晶表示とし、日本語処理による高解像度のグラフィックス表示とします。

3-2 ヘルプ(操作方法)表示

各画面の操作ガイダンスを表示します。

3-3 警報発生継続状況表示

現在発生継続中の警報(故障)について、最新のものから順次一覧リストに表示します。警報が復旧した場合は一覧リストから削除します。一覧リストでは最大2,000件を表示します。

3-4 警報履歴表示

発生継続中の警報(故障)も含め、警報の発生・復旧履歴を一覧リストに表示します。一覧リストでは最大2,000件を表示します。警報履歴データは過去20,000件分を記憶し、これを超えた場合には古いデータから順次消去します。また、期間を指定して検索・表示することができます。

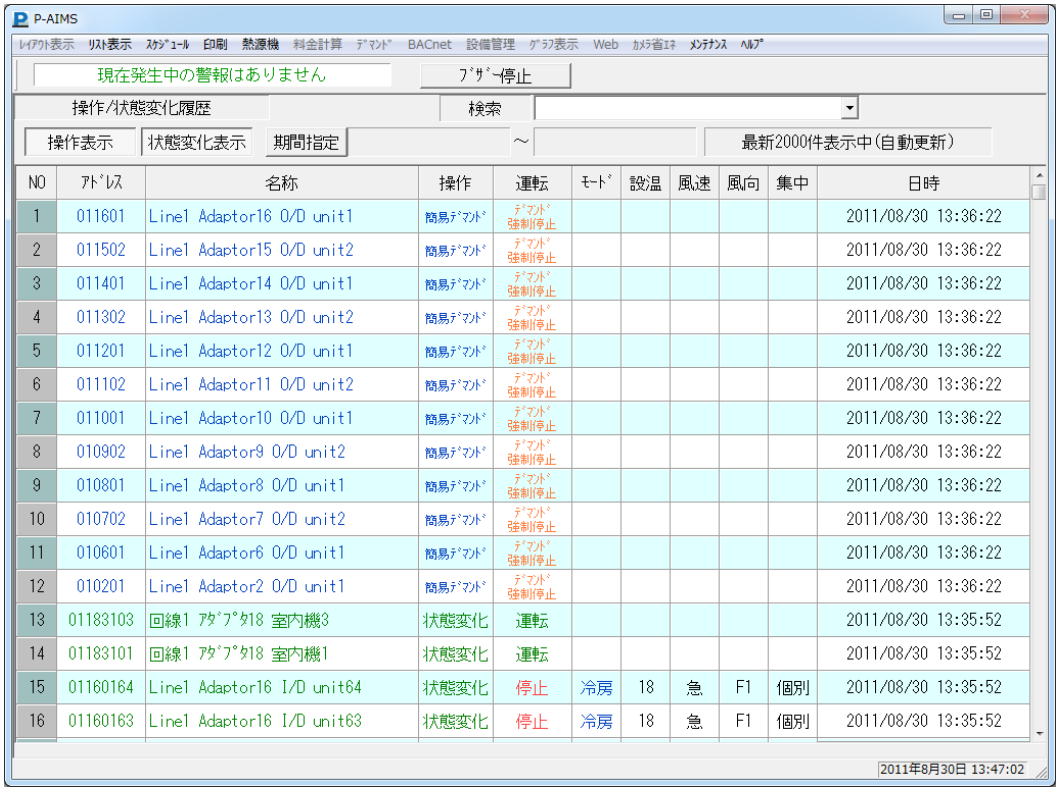
3-5 未確認警報表示

発生継続中の警報（故障）も含め、オペレータによる確認操作が行われていない警報履歴を表示します。また、警報を確認した担当者の登録が可能です。一覧リストでは最大2,000件を表示します。



3-6 状態変化・操作履歴表示

各機器の現在までの状態変化、中央監視装置による操作履歴を一覧リストに表示します。(1日単位)
一覧リストでは最大2,000件を表示します。状態変化・操作履歴データは過去200,000件を記憶し、これを超えた場合には古いデータから順次消去します。また、期間を指定して検索・表示することができます。



4) 制御機能

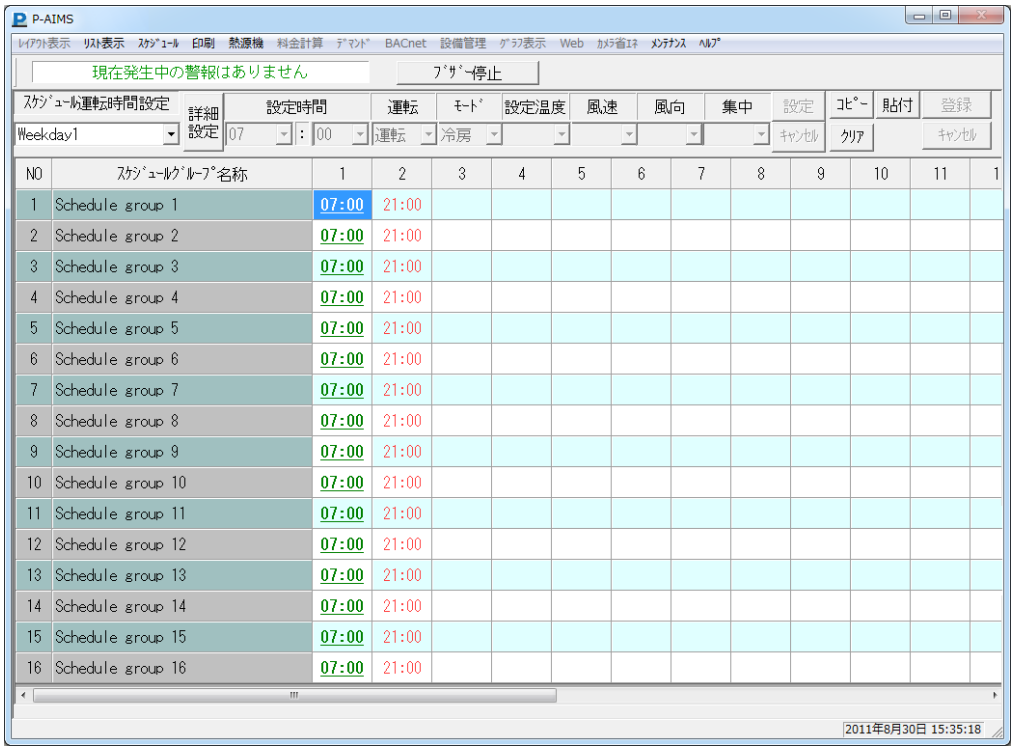
4-1 グループ制御

制御グループに登録された各室内ユニットについて、前述 “2) 2-3 グループ毎の一括操作” による運転 / 停止、冷暖モード、設定温度、風速、風向、集中の操作、設定変更ができます。
制御グループは最多 100 件登録可能です。

4-2 スケジュール制御

スケジュールグループに登録された各室内ユニットについて、予め設定したスケジュールにより自動発停の操作をさせます。

1) スケジュールによる発停パターンは 30 モード (コメント入力可能) の設定ができ、カレンダー上で日毎及び、曜日毎にモードの指定ができます。
2) 各モードにおいて、機器毎に任意の運転時間を各 20 回まで設定できます。
3) カレンダースケジュールは、当月を含めて 1 年後まで設定できます。
4) 設定できる範囲は運転 / 停止、冷暖モード、設定温度、風速、風向、集中です。
5) 当日、翌日、翌々日のみ時間変更のスケジュール登録が可能です。



4-3 イベント制御

イベントグループに登録された各機器・装置について、設定した入力条件により連動発停の操作をさせることができます。

4-4 リモコン禁止 / 許可制御

禁止できる項目は運転 / 停止、温度設定、冷暖モード、風速、風向です。
E、F 形 GHP (三洋電機株式会社製) は以下の集中 5 ～ 7 の設定ができます。
S、M、K、J、H、G 形 GHP (三洋電機株式会社製含む) は集中 1 ～ 4 の設定ができます。集中 1 ～ 4 の禁止項目は変更が可能です。

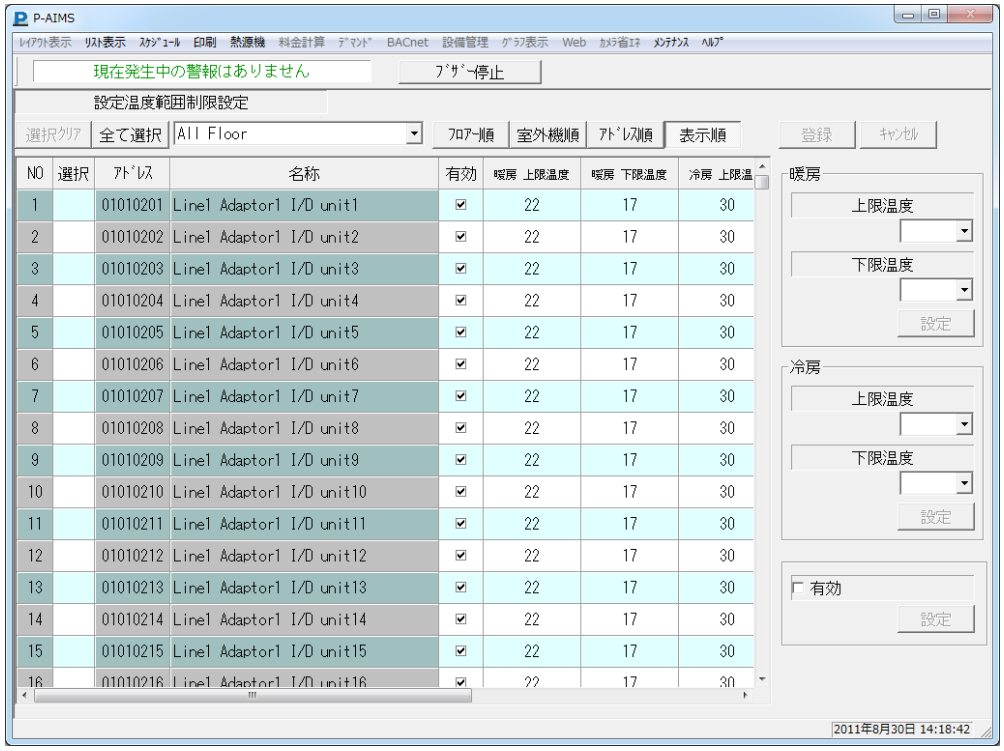
	運転 / 停止	温度設定	モード設定	風速設定	風向設定
個別	○	○	○	○	○
集中 1	×	○	○	○	○
集中 2	×	×	×	○	○
集中 3	○	×	×	○	○
集中 4	○	○	×	○	○
集中 5	×	○	○	○	-
集中 6	×	×	×	○	-
集中 7	○	×	×	○	-

4-5 保守登録
メンテナンス中の機器・装置について、保守登録を指定できます。
保守登録が指定された機器・装置はP-AIMS システムからの操作を禁止し、警報（故障）監視を停止します。警報発生中に保守登録を行った場合、状態監視画面警報欄の表示は保守します。警報履歴は復旧となります。警報発生のメッセージ、ブザー鳴動はありません。保守設定画面警報欄の警報表示は復旧となります。保守登録後に警報が発生した場合、状態監視画面警報欄の表示は保守します。警報履歴、保守設定画面警報欄も警報表示は行いません。
保守設定中はイベント制御、スケジュール制御は動作しません。

4-6 設定温度自動リターン制御
手元リモコンなどで設定温度を変更しても、一定時間が過ぎると自動的に設定温度が元に戻ります。

4-7 消し忘れ防止制御
設定した停止時刻に空調を自動停止します。停止時刻から終了時刻の間は、自動停止時間の間隔（10分など）で自動停止を行います。

4-8 設定温度範囲制限制御
リモコンで使用可能な設定温度の制限を行う事が出来ます。上限28℃、下限26℃と設定した場合、リモンコンで24℃を設定しても、P-AIMS から、下限設定の26℃に変更します。



4-9 デマンド / ピークカット制御
室外機のデマンド制御を行い、消費電力のピークカットを行うことができます。1日2回設定できます。

4-10 運転自動停止制御
空調機を設定した時間後に自動停止します。

5) 印刷機能
5-1 外部プリンタによる印刷
1) 警報発生履歴、操作 / 状態変化履歴の印刷
指定された期間について、警報（故障）の発生 / 復旧、操作、状態変化の履歴を印刷します。
2) 画面のハードコピー印刷
表示画面を印刷します。

6) データ保存機能

6-1 自動バックアップ

データベースを自動バックアップします。(1日1回)

警報履歴、操作 / 状態変化履歴データ (日単位) をCSV形式で自動バックアップします。(1日1回)

6-2 警報履歴、操作 / 状態変化履歴データの保存

警報履歴、操作 / 状態変化履歴データを任意の期間で指定し、外部の記録メディアにCSV形式で保存することができます。

7) その他機能

7-1UPS自動シャットダウン

UPSの停電信号により自動シャットダウンを行います。

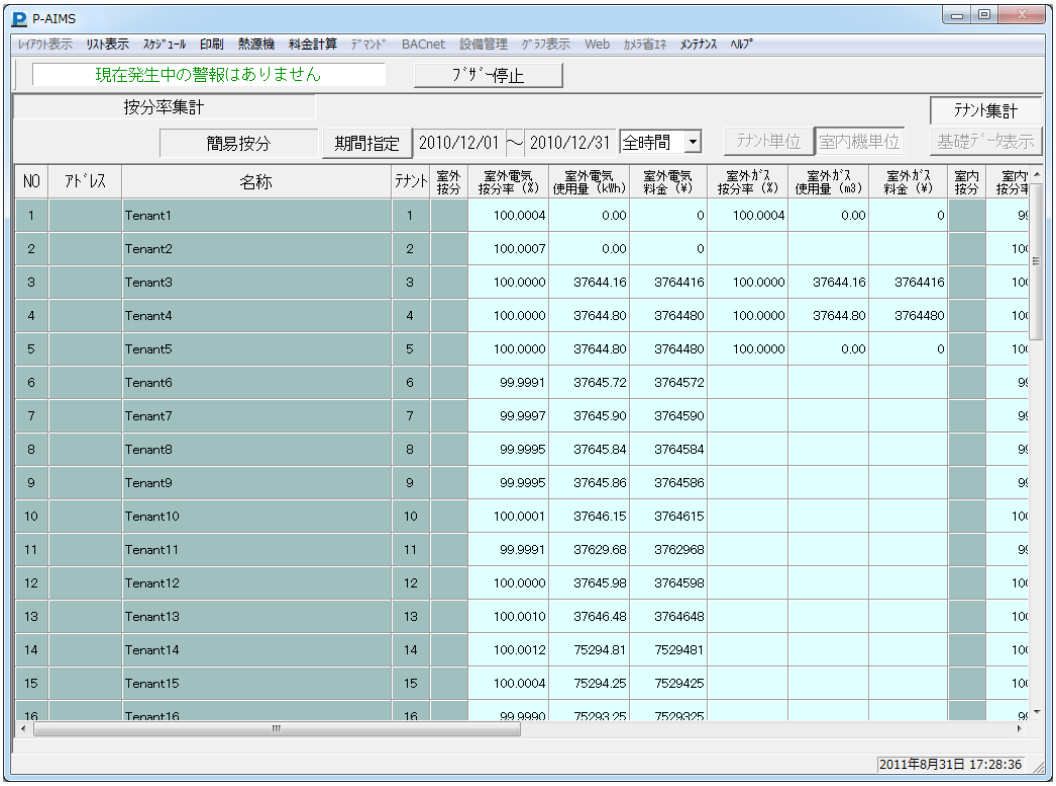
8) 料金計算機能 (別途、料金計算ソフト CZ-10SWB3Aが必要です)

8-1 空調エネルギー按分データの表示

各室内ユニット、テナント毎にサーモON・OFF積算時間 (急風、強風、弱風、合計) の表示が可能です。

サーモON・OFF積算時間は全時間、時間内、時間外、特定日毎に集計が可能です。

各室内ユニット、テナント毎に電気 / ガス使用量の表示が可能。全時間、時間内、時間外、特定日毎に集計が可能です。



NO	ｱﾄﾞﾚｽ	名称	ﾃﾅﾝﾄ	室外按分	室外電気按分率 (%)	室外電気使用量 (kWh)	室外電気料金 (¥)	室外ｶﾞｽ按分率 (%)	室外ｶﾞｽ使用量 (m3)	室外ｶﾞｽ料金 (¥)	室内按分	室内按分率
1		Tenant1	1		100.0004	0.00	0	100.0004	0.00	0		9
2		Tenant2	2		100.0007	0.00	0					10
3		Tenant3	3		100.0000	37644.16	3764416	100.0000	37644.16	3764416		10
4		Tenant4	4		100.0000	37644.80	3764480	100.0000	37644.80	3764480		10
5		Tenant5	5		100.0000	37644.80	3764480	100.0000	0.00	0		10
6		Tenant6	6		99.9991	37645.72	3764572					9
7		Tenant7	7		99.9997	37645.90	3764590					9
8		Tenant8	8		99.9995	37645.84	3764584					9
9		Tenant9	9		99.9995	37645.86	3764586					9
10		Tenant10	10		100.0001	37646.15	3764615					10
11		Tenant11	11		99.9991	37629.68	3762968					9
12		Tenant12	12		100.0000	37645.98	3764598					10
13		Tenant13	13		100.0010	37646.48	3764648					10
14		Tenant14	14		100.0012	75294.81	7529481					10
15		Tenant15	15		100.0004	75294.25	7529425					10
16		Tenant16	16		99.9990	75293.25	7529325					9

8-2 積算値表示

電力メータ、ガスメータの積算値を一覧リストに表示します。 現在までの累積値、任意に指定した期間の全時間、時間内、時間外、特定日毎の積算値を表示します。

8-3 印刷機能

各室内ユニット、テナント毎のサーモON・OFF積算時間、按分率、使用量の印刷ができます。

電力メータ、ガスメータ積算値の印刷ができます。

8-4 保存機能

按分データ、積算値データは過去1年分を保存します。

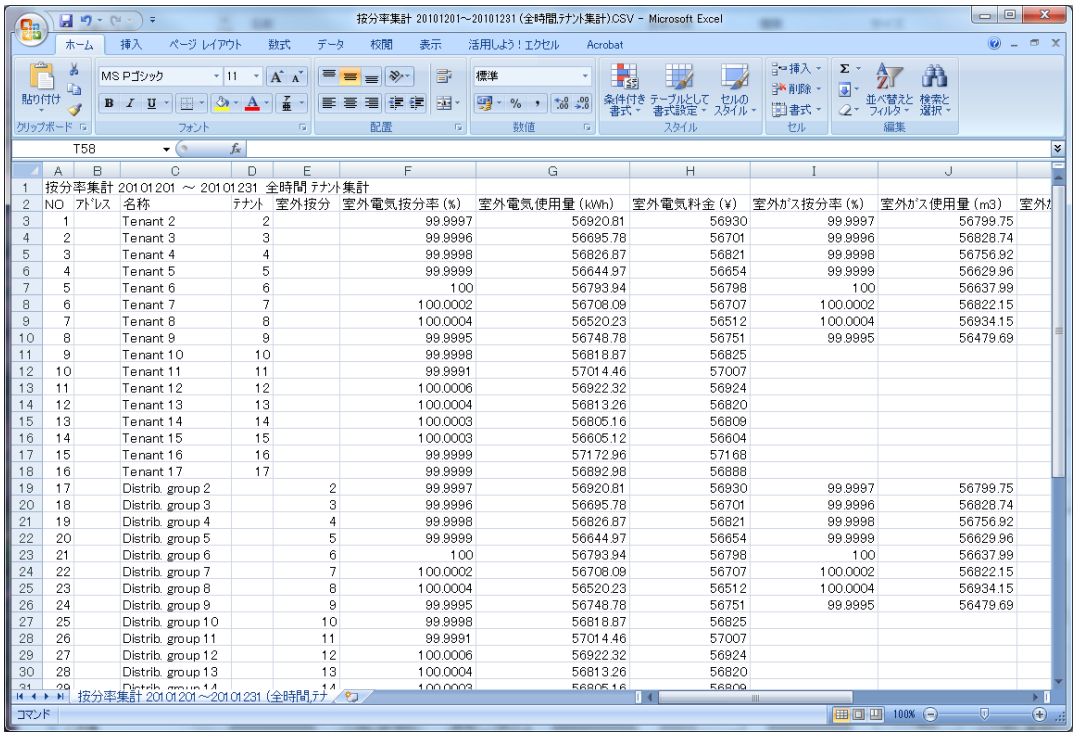
空調エネルギーデータを任意の期間で指定し、外部の記録メディアにCSV形式で保存できます。

空調エネルギーデータをCSV形式で自動バックアップします。(1日1回)

日単位データ：サーモONアダプタ値

月単位データ (締め日基準で1ヶ月の合計値) 電力メータ、ガスメータ積算値、電力、ガス使用量

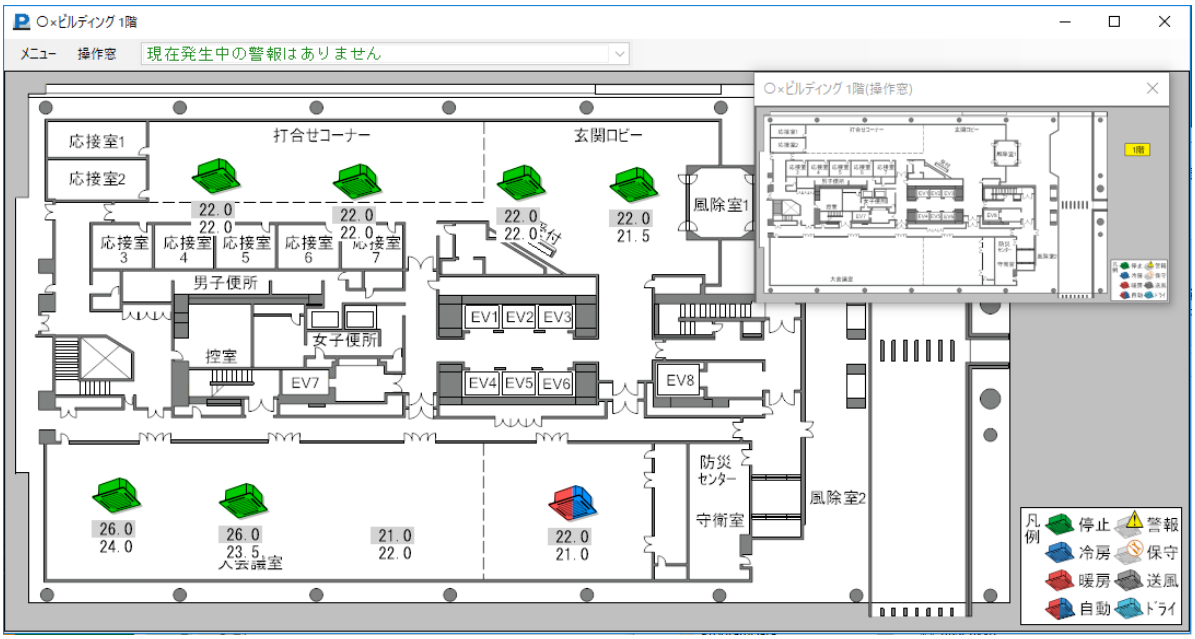
保存データは、汎用ソフト (Microsoft Excel) で利用できます。



9) レイアウト表示機能 (別途、レイアウト表示ソフト CZ-10SWB3G が必要です)

9-1 レイアウト表示

各機器の現在の運転 / 停止、冷暖モード、設定温度、室温、風速、風向、集中、警報の状況を表示します。
また、その値が変化した場合にはリアルタイムに表示を変更します。
画面上で、各機器の運転 / 停止、冷暖モード、設定温度、風速、風向、集中の操作ができます。
また、同一の操作出力であれば複数台の一括操作ができます。
最大４画面を同時に表示させることができます。 操作窓を使用して、拡大表示させることができます。
機器検索用サイドバーで機器の検索ができます。
レイアウト図切り替えサイドバーでレイアウトの切り替えができます。



10) デマンド制御（別途、デマンド制御ソフト CZ-10SWB3D、デマンドコントローラが必要です）

10-1 室外ユニットデマンド制御

デマンドレベル（3 段階）毎に室外ユニットのデマンド制御を登録できます。
デマンド制御設定内容は機種により異なります。

10-2 室内ユニットデマンド制御

デマンドレベル（3 段階）毎に室内ユニットのデマンド制御を登録できます。
室内ユニットの制御はサーモ OFF、設定温度± 1℃、設定温度± 2℃の 3 種類です。

10-3 室外ユニットサイクリック制御

制御グループ 1 から制御周期に従い順次サイクリック制御を行います。該当の室外ユニットは停止します。

10-4 室内ユニットサイクリック制御

制御グループ 1 から制御周期に従い順次サイクリック制御を行います。該当の室内ユニットはサーモ OFF します。

11) 設備管理制御（別途、設備管理ソフト CZ-10SWB3BS、端末ユニット、リモートステーション盤が必要です）

11-1 設備管理ソフト機能

デジタル入力、デジタル出力、パルス入力、アナログ入力、アナログ出力可能な端末ユニットを組み合わせる事で、設備機器の発停、状態、警報監視、積算値、アナログ表示・設定の機能を持っています。

12) BACnet 通信（別途、BACnet 通信ソフト CZ-10SWB3B が必要です）

12-1BACnet 通信ソフト機能

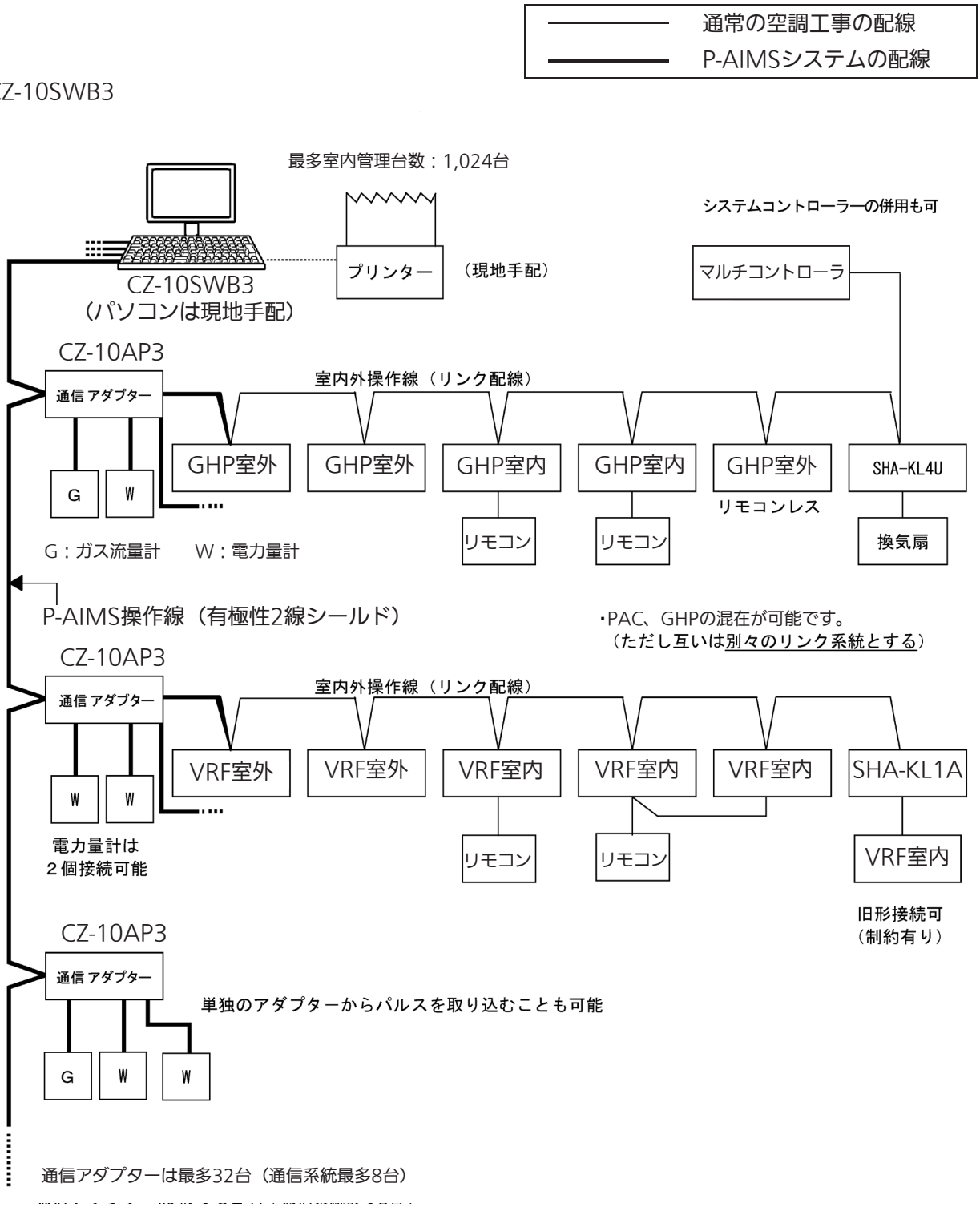
BACnet 通信規格（ANSI/ASHRAE135-2004、IEIJ-G-0006：2006（電気設備学会制定））に準拠。
室内機 255 台まで接続可能。I/F 機能だけでなく、P-AIMS ソフトでの監視・制御が可能。

13) Web 接続（別途、Web ソフト CZ-10SWB3W が必要です）

13-1Web ソフト機能

イントラネット、インターネットを利用して空調・ビル設備の遠隔監視・制御が可能です。
また、料金計算データ等のダウンロードが可能です。

⑤P-AIMS システム系統図例



室内外操作線：室外ユニット最多30台
室内ユニット最多64台

≪ご注意≫　PACとGHPは、1つの室内外操作線内での混在はできません。
必ず専用の通信アダプターに接続してください。

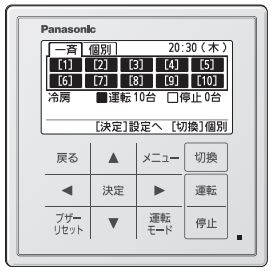
⑥CZ-10SWB3仕様
1) 仕様
・動作環境
O　S　：Windows10 Pro 64bit/8.1 Professional 64bit
CPU　：インテル CoreTM i5-6500 以上 64bit
　　インテル CoreTM i7-7700 以上 64bit（レイアウト表示ソフト 室内機512台以上使用時）
メモリ：8GB以上
HDD　：SSD（Solid State Drive）250GB以上
ディスプレイ：1920×1080（フルHD）、1024×768（最小）
・構成機器（すべて別途手配）
パソコン（1台）
ディスプレイ（1台）
外付けハードディスク（1台）
UPS（1台）
USB-RS485変換機（1系統に1台）
プリンター（1台）
・伝送幹線
2芯シールドケーブル（0.5mm^2 ～ 2mm^2）
有極性です。
・伝送仕様
RS-485
・伝送速度
19200bps
・接続台数
P-AIMS 操作線：通信アダプター最多32台（1通信系統最多8台）
室内外操作線：室外ユニット最多30台・室内ユニット最多64台
・対応機種
T、S、M、K、J、H、G、F、E形ガスエンジンヒートポンプエアコン（三洋電機株式会社製含む）
4.3シリーズE、B、A、U、T、S、R形電気式パッケージエアコン（三洋電機株式会社製含む）

Panasonic

取扱説明書

チラーリモコン

品番 **CZ-10RTC1**



もくじ

安全上のご注意……2
本機の特長……3
使用上のお願い……3
システムの構成……4
各部のなまえとはたらき……5
画面の見かた……6
運転のしかた……9
冷水/温水の温度を設定する……10
集中・解除設定を行う……11
冷/暖切り換えのしかた……12
冷房入力と暖房入力について……13
時計の設定……15
タイマーの使いかた……16
ウィークリータイマー設定……17
シフト運転……22
初期設定……23
知っていただきたいこと……26
保証とアフターサービス……27
仕様……裏表紙

据付（電気）工事説明書　別添付

このたびは、チラーリモコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ●本書はチラーリモコンの取扱説明書です。吸収冷温水機またはGHPチラーに付属の取扱説明書とあわせてお読みください。
- **●ご使用前に「安全上のご注意」（2 ページ）を必ずお読みください。**
- ●この取扱説明書は吸収冷温水機またはGHPチラーに付属の取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
  また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容（禁止事項）です。	❗ 実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗ 必ず守る　据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
（水漏れや感電・火災の原因）

❗ 必ず守る　当社指定のエアコンと接続して使う
（水漏れや感電・火災の原因）

⃠ 禁止　ぬれた手で操作しない
（感電や故障の原因）

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
（感電や火災の原因）

❗ 必ず守る
異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- ブレーカーがたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

⚠ 注意

⃠ 禁止　リモコンを分解しない
（感電や故障の原因）

⃠ 禁止　水洗いしない
（感電・火災の原因）

本機の特長

- **接続台数**※1 ..... 1台のリモコンに最大10台のGHPチラーあるいは吸収冷温水機を接続可能※2
- **表示**..... LCDパネル
- **操作機能** ..... 運転/停止、冷温水温度設定、冷房/暖房切り換え※3、他
- **モニター** ..... 吸収冷温水機、冷温水ポンプ、冷却水ポンプ※4、アラーム
- **タイマー** ..... ウィークリータイマー、延長運転タイマー
- **親子リモコン**..... 親リモコン1台に子リモコン3台まで※5

※1 CZ-10RTC1は、GHPチラーあるいは吸収冷温水機の対応機種にご使用できます。

※2 吸収冷温水機と、GHPチラーでは、制御方法が異なりますので、1台のリモコンで吸収冷温水機とGHPチラーを同時にコントロールすることはできません。

※3 冷暖自動切り換えに対応したユニットの場合です。冷房/暖房切り換えの設定方法は、据付(電気)工事説明書をお読みください。

※4 GHPチラーにはありません。

※5 メンテナンス機能のリモコンアドレス設定と管理リモコン設定より親子を切り換えます。切り換えは、サービスマン以外の方は行わないでください。

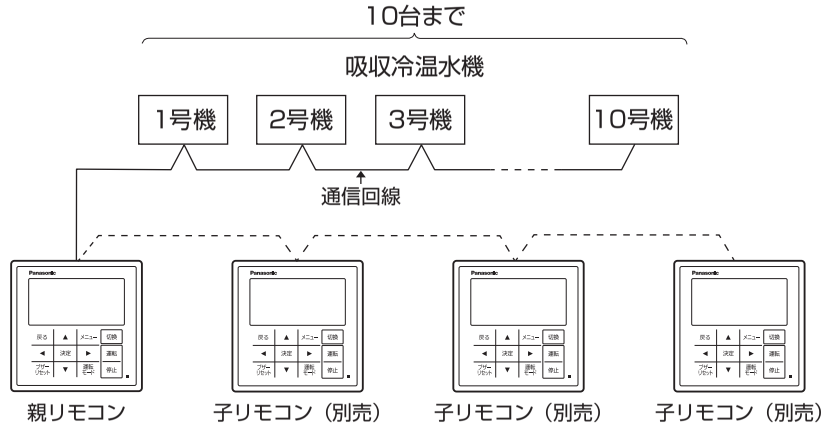
- ユニットとは、GHPチラーまたは吸収冷温水機をさします。
- 集中解除設定で解除に設定されているユニットは運転できません。運転する場合は集中に設定してください。(P.11)

使用上のお願い

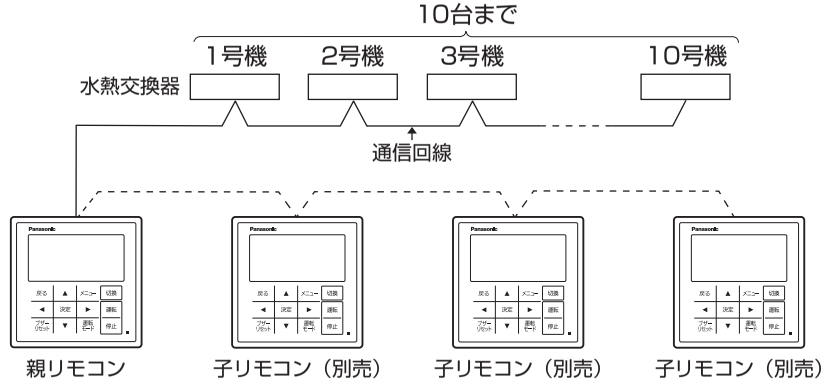
- 次のような場所に設置しない
  - 湿気・油分・振動が多い/直射日光があたる/熱源の近く/結露する(故障の原因)
  - ノイズが発生する(誤動作の原因)
- スプレーを吹きかけない(誤動作や故障の原因)
  - 液体(洗剤、アルコール、有機溶剤など)がかからないようにしてください。
- アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかない(液晶画面のくもり・変色や故障の原因)
  - ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。

システムの構成

■吸収冷温水機の場合

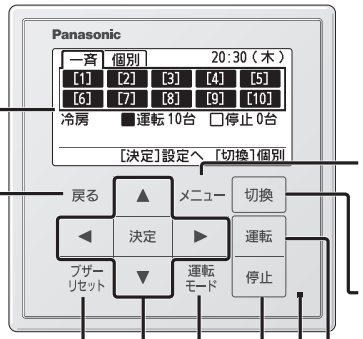


■GHPチラーの場合



各部のなまえとはたらき

このリモコンで、最大10台のGHPチラーあるいは吸収冷温水機を運転できます。



液晶ディスプレイ

戻る
1つ前の画面に戻ります。

ブザーリセット
異常発生時の警報ブザーを停止します。

▲/▼/◀/▶ボタン
項目を選択/調整します。

決定ボタン
- 選んだ項目に決定します。
- 設定画面に切り換えます。

運転モード
冷房/暖房を切り換えます。※1※2※3
（ユニット一斉切り換えのみ可能）

メニューボタン
メニュー画面に切り換えます。

切換ボタン
複数のユニットを接続時、トップ画面のタブ（一斉/個別）を切り換えます。※2

運転ボタン※3
ユニットの運転を開始します。

運転表示ランプ（緑）
1台以上のユニットが運転中に点灯します。

停止ボタン※3
ユニットの運転を停止します。

※1 吸収冷温水機については、冷暖自動切り換えに対応したユニットの場合のみ使用可能です。（据付時に設定されています）

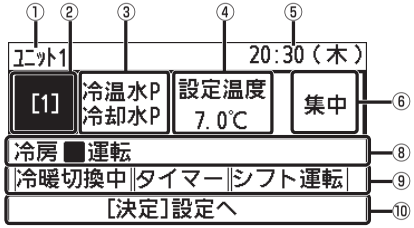
※2 親リモコンのみ

※3 集中解除設定で解除に設定されているユニットは、運転/停止、運転モード、冷温水温度設定が操作できません。

画面の見かた

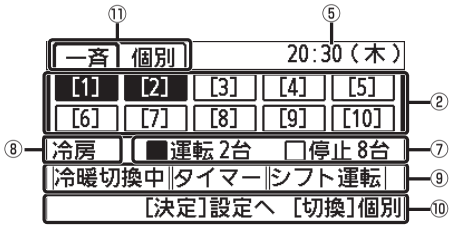
トップ画面

■ユニットが1台のみの場合

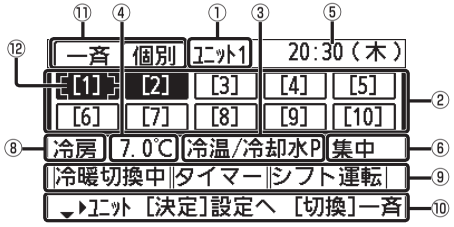


■ユニットが複数の場合（例：10台）

＜一斉タブのとき＞



＜個別タブのとき＞



切換

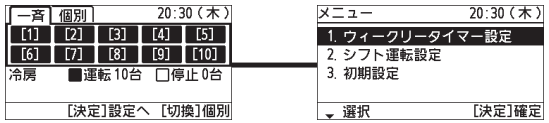
①	**ユニット名**	ユニット名（番号）が表示されます。
②	**ユニット番号** **運転/停止** **（集中/解除）**	ユニット番号が表示されます。 [1] : 運転中/[1] : 停止中/[1] : 停止準備（ポンプ動作中） [1] の[ ]点灯時は集中、消灯時は解除を意味します。
③	**ポンプ状態**	冷温水ポンプがオンのとき、**冷温水P** が表示され、冷却水ポンプがオンのとき、**冷却水P** が表示されます。 ポンプがオフのときは、非表示になります。 ※ **冷却水P** は、吸収冷温水機と接続時のみ表示されます。
④	**設定温度**	冷温水の設定温度が表示されます。
⑤	**現在時刻・曜日**	現在の時刻と曜日が表示されます。
⑥	**集中/解除**	**集中** ：設定の対象となるユニット **解除** ：設定の非対象となるユニット ※解除中は、運転/停止などの操作ができません。
⑦	**運転/停止台数**	現在の運転中と停止中の台数が表示されます。 ※一斉タブのときに表示されます。
⑧	**運転モード**	**冷房** / **暖房** が表示されます。 ※混在した場合は、**冷暖房** が表示されます。
⑨	**その他情報** **異常情報**	冷暖切換中 ：冷暖切換中に表示されます。表示中は運転操作はできません。※1 タイマー ：ウィークリータイマー設定中に表示されます。※2 シフト運転 ：シフト運転設定が手動/自動設定のときに表示されます。※2 ただし、異常発生時は上記よりも優先してユニット番号と異常コードが表示されます。 ※1 吸収冷温水機のみ表示されます。 ※2 親機のみ表示されます。
⑩	**操作ガイド**	操作できる内容が表示されています。
⑪	**一斉/個別タブ**	切換 をタッチして一斉/個別を切り換えます。
⑫	**カーソル**	選択されたユニットにカーソル（[ ]）が表示されます。 ※個別タブのときに表示されます。

画面の見かた

メニュー画面

1 メニュー画面を出す
メニュー をタッチする

2 メニュー項目を選ぶ
▲ ▼ → 決定 をタッチする



トップ画面　　メニュー画面

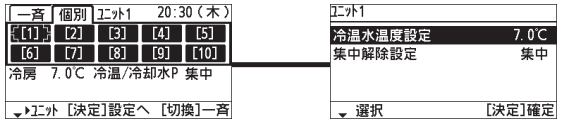
■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

1.ウィークリータイマー設定		
ウィークリータイマー	曜日単位で運転スケジュールを設定します。	P.17
延長運転	タイマー設定の本日の最終切時刻を延長します。	P.20
曜日間コピー	登録したスケジュールを他の曜日にコピーします。	P.19
2.シフト運転設定		
シフト運転	設定温度に対して、一時的に温度を上げて（下げて）運転します。	P.22
3.初期設定		
1.時計設定	現在日時を設定します。	P.15
2.時刻表示設定	時刻表示の種類を設定します。	P.15
3.操作音設定	操作音のオン/オフを設定します。	P.23
4.異常音設定	異常発生時にブザーを鳴らす/鳴らさないを設定します。	P.23
5.コントラスト調整	画面のコントラストを設定します。	P.25
6.バックライト設定	バックライトの明るさと点灯時間を設定します。	P.24

設定メニュー画面

1 設定メニュー画面を出す
決定 をタッチする

2 設定メニュー項目を選ぶ
▲ ▼ → 決定 をタッチする



トップ画面　　設定メニュー画面

■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

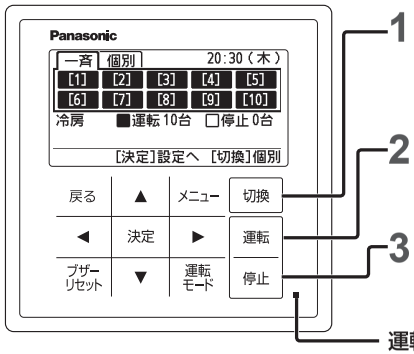
冷温水温度設定	運転の状態に応じて、冷水/温水の温度を設定します。	P.10
集中解除設定	操作の対象となるユニットを設定します。	P.11

※一斉の場合は、集中解除設定は選択できません。

運転のしかた

- 複数台のすべてのユニットを運転する場合は、約13秒間隔で順次運転を開始します。
- ボタンは爪などの先のとがったもので押さないでください。傷付きの原因になります。
- 運転する前に集中解除設定を確認してください。解除に設定されているユニットは運転できません。運転する場合は集中に設定してください。(P.11)
- 異常が発生しているユニットは運転できません。その場合はお買い上げの販売店またはお近くのサービス会社へお知らせください。

すべてのユニットを運転/停止する場合



1 切換 をタッチして、「一斉」を選ぶ

- タッチするたびに、「一斉」「個別」が切り換わります。
- 一斉：すべてのユニットを一括で操作します。

2 運転 をタッチして、運転を開始する

- ポップアップ画面（小窓）が消えてから運転します。

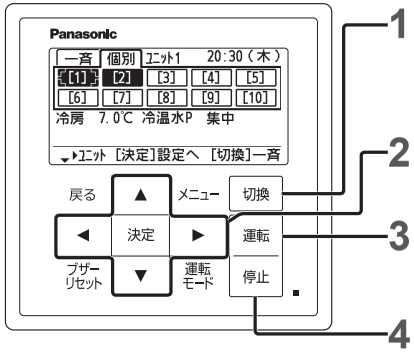
3 停止 をタッチして、運転を停止する

- ポップアップ画面（小窓）が消えてから停止します。

運転表示ランプ

すべてのユニットが停止している場合に消灯します。
1台でも運転している場合は点灯します。

ユニットを個別に運転/停止する場合



1 切換 をタッチして、「個別」を選ぶ

- タッチするたびに、「一斉」「個別」が切り換わります。
- 個別：1つのユニットを選んで操作します。

2 ◀ ▶ ▲ ▼ をタッチして
カーソルを移動させ、ユニットを選ぶ

3 運転 をタッチして、運転を開始する

- ポップアップ画面（小窓）が消えてから運転します。

4 停止 をタッチして、運転を停止する

- ポップアップ画面（小窓）が消えてから停止します。

冷水/温水の温度を設定する

親リモコンのみ

運転モードが冷房時は冷水温度を、暖房時は温水温度を設定します。

設定温度範囲は以下になります。

機種	冷水温度範囲	温水温度範囲
吸収冷温水機	7.0～12.0 ℃	40.0～60.0 ℃
GHPチラー	5.0～15.0 ℃	35.0～55.0 ℃

※据付時の設定によって異なる場合があります。

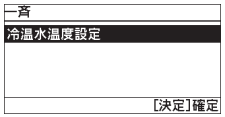
すべてのユニットを一括で温度設定する

1 「一斉」を選ぶ

切換

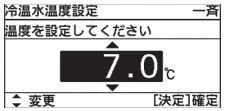
2 設定メニュー画面（P.8）で
「冷温水温度設定」を選ぶ

決定



3 温度を設定する

▲ ▼ → 決定



- 設定温度は、0.1 ℃単位です。

■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

ユニットを個別に温度設定する

1 「個別」を選ぶ

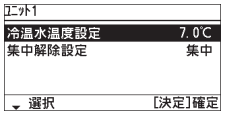
切換

2 設定したいユニットを選ぶ

◀ ▶ ▲ ▼ → 決定

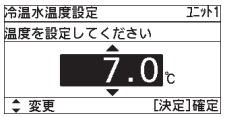
3 設定メニュー画面（P.8）で
「冷温水温度設定」を選ぶ

▲ ▼ → 決定



4 温度を設定する

▲ ▼ → 決定



- 設定温度は、0.1 ℃単位です。

■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

集中・解除設定を行う

親リモコンのみ

運転する前に集中解除設定を確認してください。解除に設定されているユニットは運転/停止等の操作ができません。操作したい場合は、集中に設定してください。

- 吸収冷温水機で異常が発生した場合、集中から解除に設定してください。
- 集中解除設定は、一斉に設定変更することはできません。
- [　]の表示で設定を確認してください。[　]点灯時は集中、消灯時は解除に設定されています。(P.7の表内②)

1 「個別」を選ぶ

[切換]

2 設定したいユニットを選ぶ

[◀][▶][▲][▼]→[決定]

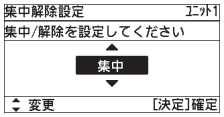
3 設定メニュー画面(P.8)で「集中解除設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



4 「集中」「解除」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

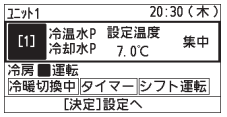
冷/暖切り換えのしかた

親リモコンのみ

- 吸収冷温水機が冷暖自動切換に対応していない場合は操作できません。
- 冷暖切換中は、集中/解除設定、シフト運転設定、冷温水温度設定、運転開始操作はできません。

1 冷房/暖房を切り換える

[運転モード]



- ポップアップ画面(小窓)が消えてから運転モード切換を開始します。
- 切換時間
  冷房→暖房:最長20分
  暖房→冷房:最長2時間05分
  (GHPチラーは切換時間はありません)
- 切換が完了すると、冷暖切換中の表示が消えます。

冷房入力と暖房入力について

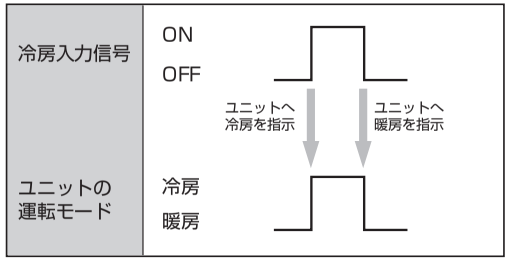
親リモコンのみ

ユニットの運転モードを入力信号に合わせて冷房/暖房を切り換えます。
冷房/暖房切り換えの設定方法は、据付（電気）工事説明書をお読みください。

- サンプリング：10 ms間隔
- チャタリング：1秒安定で有効

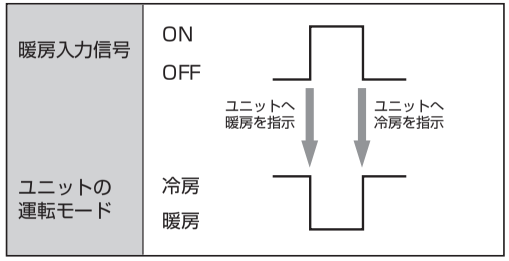
①冷 / 暖切換設定　　外部接点冷房入力：有 ☑
外部接点暖房入力：無 ☐

暖房入力は機能無効設定のため、入力の状態は無視してください。



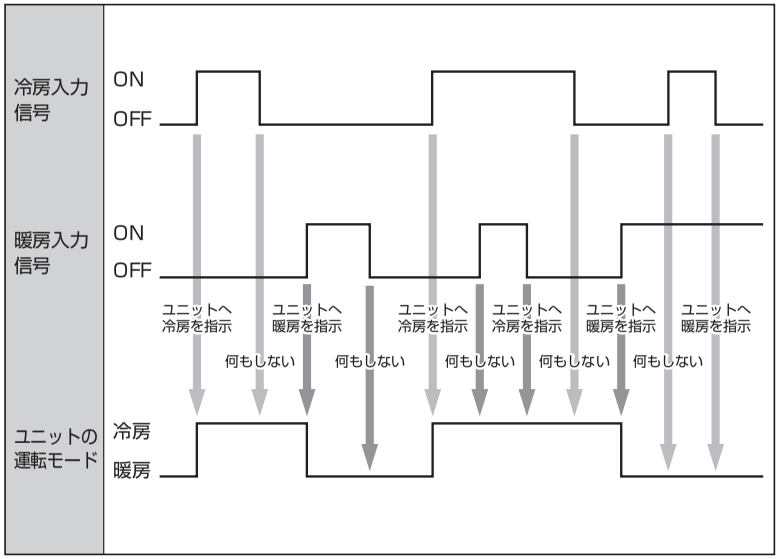
②冷 / 暖切換設定　　外部接点冷房入力：無 ☐
外部接点暖房入力：有 ☑

冷房入力は機能無効設定のため、入力の状態は無視してください。



冷房入力と暖房入力について

③冷 / 暖切換設定　　外部接点冷房入力：有 ☑
外部接点暖房入力：有 ☑



時計の設定

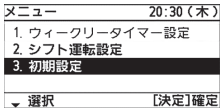
親リモコン、子リモコンともに時計の設定をしてください。

1 メニュー画面を出す

[メニュー]

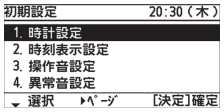
2 「3.初期設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



3 「1.時計設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



4 年/月/日/時/分を設定する

[▲][▼]（年）→[▶]
→[▲][▼]（月）→[▶]
→[▲][▼]（日）→[▶]
→[▲][▼]（時）→[▶]
→[▲][▼]（分）→[決定]



- [▲][▼]で数値を設定し、[▶]で次の項目に進んでください。
- [決定]で設定が反映されます。

■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

24時間表示/12時間表示を切り換える

1 初期設定画面（左記手順3）を出す

2 「2.時刻表示設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]

3 「24H表示」「AM・PM表示」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



- 出荷時設定：24H表示
- 「時刻表示設定」で「AM・PM表示」を選んでも、ウィークリータイマーなどの設定時刻は、24時間表示のままです。

■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

タイマーの使いかた

- タイマー機能は、全ユニット一括で運転/停止の動作となります。
- タイマーは、曜日ごとに設定する「ウィークリータイマー」です。

■こんなときにお使いください

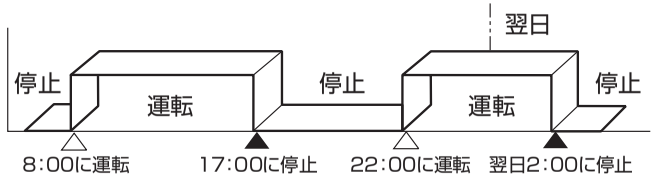
8時に運転、17時に停止したい

毎曜日、お望みの時刻にユニットの運転を開始し、また停止させたいとき
- 運転と停止を組み合わせることができます。



運転と停止を2回行いたい

毎曜日2回、お望みの時刻にユニットの運転を開始し、また停止させたいとき
- 日をまたぐときは、翌日に設定します。



- このタイマーは時計式ですので、必ず現在時刻を合わせてください。
- リモコンを複数台使用する場合、子リモコンでのタイマー設定はできません。
- 2日にわたる運転を行う場合は、始めの日に運転時刻を設定し、次の日に停止時刻を設定してください。
- タイマーは設定を変更しない限り、毎週同じ設定で運転/停止します。

ウィークリータイマー設定

親リモコンのみ

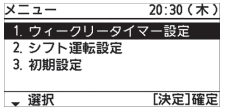
曜日単位で１日４つのタイマー運転と停止を設定できます。
タイマーは時刻順に表示されます。

1 メニュー画面を出す

[メニュー]

2 「1.ウィークリータイマー設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



3 ウィークリータイマーを☑(有効)に切り換える

[◀][▶]→[決定]



- ウィークリータイマーの設定を[ー](無効)にすると、ウィークリータイマーは動作しません。
- ウィークリータイマーを無効に設定しても、登録したタイマー予約の内容は残ります。

4 設定を使う曜日を選ぶ

[◀][▶]→[▲][▼]→[決定]



- [◀][▶]で曜日を選び、[▲][▼]で☑(有効)/[ー](無効)を選びます。

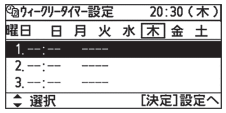
5 曜日を選ぶ

[◀][▶]→[決定]



6 予約を登録する欄を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



- 曜日ごとに４件まで登録できます。

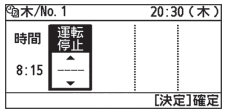
7 時刻を設定する

[▲][▼](時)→[▶]→
[▲][▼](分)→[決定]



8 運転/停止を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



■ １つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

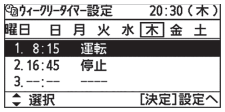
■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを２回押す。

ウィークリータイマー設定

予約内容を変更する

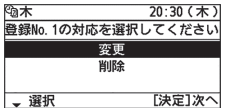
1 P.17手順６で変更する項目を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



2 「変更」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



3 P.17手順７～８と同じ操作で、設定を変更する

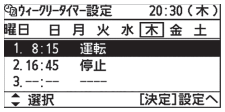
■ １つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを２回押す。

予約を削除する

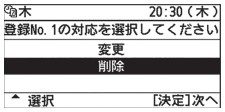
1 P.17手順６で変更する項目を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



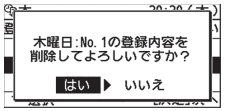
2 「削除」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



3 「はい」を選ぶ

[◀][▶]



- 選んだ予約が削除されます。

■ １つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

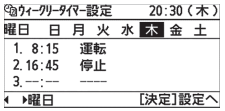
■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを２回押す。

ウィークリータイマー設定

選んだ曜日の予約をすべて削除する

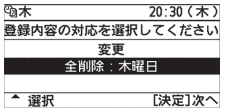
1 P.17手順5で削除する曜日を選ぶ

◀ ▶ → 決定



2 「全削除」を選ぶ

▲ ▼ → 決定



● 選んだ曜日の予約がすべて削除されます。

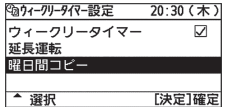
■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

予約内容を他の曜日にコピーする

1 ウィークリータイマー設定画面（P.17手順3）で「曜日間コピー」を選ぶ

▲ ▼ → 決定



2 コピー元の曜日を選ぶ

◀ ▶ → 決定



3 コピー先の曜日を選ぶ

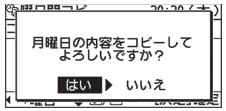
◀ ▶ → ▲ ▼ → 決定



● ◀ ▶ で曜日を選び、▲ ▼ で☑（有効）/☐（無効）を選びます。
● ☑：コピー元

4 「はい」を選ぶ

◀ ▶



● 予約がコピーされます。

■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

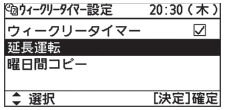
■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

運転を延長する

● 当日のウィークリータイマー設定に停止予約がない場合は設定できません。
● 設定により日をまたいで運転することがあります。

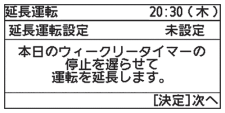
1 ウィークリータイマー設定画面（P.17手順3）で「延長運転」を選ぶ

▲ ▼ → 決定



2 延長運転を設定する

決定



3 延長時間を設定する

▲ ▼（時）→ ▶ →
▲ ▼（分）→ 決定



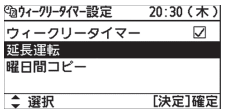
■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

延長運転時間を変更する

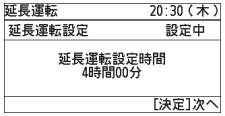
1 ウィークリータイマー設定画面（P.17手順3）で「延長運転」を選ぶ

▲ ▼ → 決定



2 設定を確認する

決定



3 「設定」を選ぶ

▲ ▼ → 決定



4 左記手順3と同じ操作で、時間を変更する

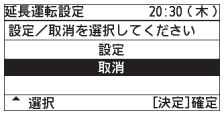
■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

延長運転を取り消す

1 P.20「延長運転時間を変更する」の手順３で「取消」を選ぶ

▲ ▼ → 決定



■ １つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを２回押す。

シフト運転

親リモコンのみ

● シフト運転中は、冷房時では冷水設定温度を１℃高く、暖房時では温水設定温度を２℃低くシフトし、再設定します。
● シフト自動運転は、次のように冷温水温度をシフトします。
冷房時：17：00～09：00時の間、冷水設定温度を１℃高くします。
暖房時：10：00～16：00時の間、温水設定温度を２℃低くします。

※シフト運転中に冷温水設定温度の変更や冷／暖切換を行うと、元の温度に戻らない場合があります。

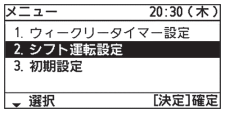
シフト運転をする

1 メニュー画面を出す

メニュー

2 「2. シフト運転設定」を選ぶ

▲ ▼ → 決定



3 「手動」「自動」を選ぶ

▲ ▼ → 決定



● 未設定：シフト運転を行わない。
（シフト運転解除）（出荷時設定）
● 手　動：シフト運転を行う。
● 自　動：シフト時刻どおりに自動的にシフト運転を行う。
● 決定 で設定が反映されます。
● 「手動」「自動」を選ぶとトップ画面に シフト運転 が表示されます。

■ １つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを２回押す。

初期設定

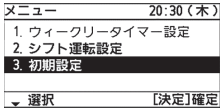
操作音を設定する

1 メニュー画面を出す

[メニュー]

2 「3.初期設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



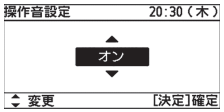
3 「3.操作音設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



4 「オン」「オフ」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



- オン：操作音を鳴らす。（出荷時設定）
- オフ：操作音を鳴らさない。

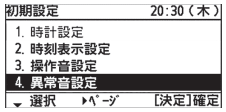
■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

異常発生時にブザーを鳴らす

1 初期設定画面（左記手順3）で「4.異常音設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



2 「オン」「オフ」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



- オン：ブザーを鳴らす。（出荷時設定）
- オフ：ブザーを鳴らさない。

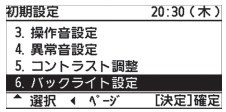
■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

バックライトの明るさを設定する

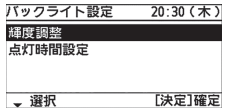
1 初期設定画面（P.23手順3）で「6.バックライト設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



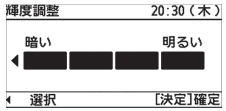
2 「輝度調整」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



3 輝度を調整する

[◀][▶]→[決定]



- 4段階で調整できます。

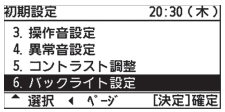
■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

バックライトの点灯時間を設定する

1 初期設定画面（P.23手順3）で「6.バックライト設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



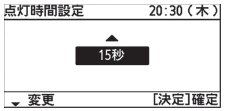
2 「点灯時間設定」を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



3 点灯させる時間を選ぶ

[▲][▼]→[決定]



- 15秒/30秒/1分/3分/5分/7分/10分から選びます。

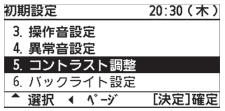
■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

コントラストを調整する

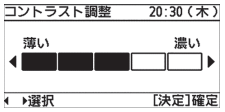
1 初期設定画面（P.23手順3）で「5.コントラスト調整」を選ぶ

▲ ▼ →［決定］



2 コントラストを調整する

◀ ▶ →［決定］



● 5段階で調整できます。

■ 1つ前の画面に戻るとき
「戻る」ボタンを押す。

■ トップ画面に戻るとき
「メニュー」ボタンを2回押す。

知っていただきたいこと

異常について

● ユニットに異常が発生すると、ブザーが鳴ります※1。異常が発生したユニットは自動的に停止します。
● 異常が発生した場合は、お買い上げの販売店またはお近くのサービス会社へお知らせください。
● 操作をしていないのにピー音がしたり、操作ボタンとは違う動作になる場合は、操作ボタンの表面が濡れていないか確認してください。
操作ボタンの表面が濡れていると、センサーが押していると誤った感知をします。乾いた布でふきとり、再度操作してみてください。
● エラー表示に関しては
・吸収冷温水機はユニットの取扱説明書をご確認ください。
・GHPチラーに関してはユニットに添付している「お客様ご相談窓口」の「商品相談窓口」・「各地域の修理ご相談窓口」へ連絡してください。
・リモコンは、据付（電気）工事説明書に記載があります。

（エラーの表示例）



※1 ブザーリセットをタッチすると一時的にブザーが鳴らなくなります。異常内容や異常台数が変化した場合は、再度ブザーが鳴ります。
初期設定の異常音設定によりブザーを鳴らさないこともできます。

リモコンへの「エンジンオイル」表示について

GHPチラーの場合、ガスエンジンの運転時間が所定時間になりますと、リモコンに「エンジンオイル」を表示します。（右図）
「エンジンオイル」を表示した場合は、販売会社またはサービス会社に連絡し、定期点検を行ってください。
点検を行わないと所定時間以後、運転時間に応じた設定間隔ごとに運転を停止します。
そのまま放置しておきますと故障の原因となります。



停電について

● 運転中に本機の電源が停電し、その後復帰した場合は本機の設定により、停止、継続を切り換えられます。切り換えは、お買い上げの販売店またはお近くのサービス会社へご相談ください。
● 運転を再開するには、「運転」ボタンをタッチするか、タイマー予約の開始時刻になると、運転を再開します。ユニットの説明書もご確認ください。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名

電　話　（　　）　　－

お買い上げ日　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

運転を停止し、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

製品名	リモコン
品番	CZ-10RTC1
故障の状況	できるだけ具体的に

● **保証期間中は、保証書の規定に従って、出張修理いたします。**
保証期間：引渡完了日から本体１年間

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**
※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ 交換対応
当社は、このリモコンの製造打ち切りが発生した場合、吸収式冷凍機およびGHPチラーの法定耐用年数（13年）内は代替品で対応します。

■ **製品についてのご相談や修理のご依頼は、「お客様ご相談窓口」の「各地域の修理ご相談窓口」・「商品相談窓口」にお申し出ください。**

仕様

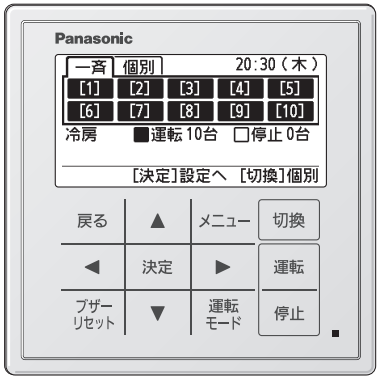
品番		CZ-10RTC1
外形寸法		（高さ）120 mm×（幅）120 mm×（奥行き）16＋51.9 mm
質量		520 g
使用温度・湿度範囲		－10 ℃～50 ℃・20 %～80 %
電源		単相AC100－240 V　50/60 Hz
消費電力		最大2 W
時計	精度	±30秒/月（常温25 ℃）※定期的に合わせてください。
	保持時間	100時間（満充電時）※満充電に約8時間かかります。
接続可能		最多10台（吸収冷温水機またはGHPチラー）
外部接点	入力定格	据付（電気）工事説明書を確認してください。
	出力定格	据付（電気）工事説明書を確認してください。
通信		RS-485

Printed in Japan
F0918-30423
ACXF55-17973

Panasonic

据付（電気）工事説明書

チラーリモコン
品番 **CZ-10RTC1**



もくじ

ページ

- 安全上のご注意 ……2
- 各部の名前 ……3
- 据え付け時のご注意 ……4
- 配線のしかた ……4
- 取り付ける ……9
- 設定する …… 10
  - 機種初期設定…… 10
  - メンテナンス機能…… 10
  - 初期設定…… 16
- 異常履歴 …… 18
- エラー表示 …… 18
- 仕様 …… 裏表紙

付属品	
小ネジ（2本） M４×２５ （埋込型JIS ボックス用）	取扱説明書（１冊） 据付（電気）工事説明書（１冊）

※ケーブルは現地調達のため付属されていません。

- 「据付（電気）工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
  特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付（電気）工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
- 移設、修理の場合は「据付（電気）工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- 「据付（電気）工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
  また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 吸収冷温水機の納入仕様書またはGHPチラーに付属の説明書もあわせてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

●分解や改造は行わない
（感電・火災の原因）

●電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
（発熱・火災の原因）

●アース工事（D種接地工事）を行う
- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない
- アース線は、ベランダの手すりにとらない

（感電の原因）

●据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者（サービス会社）に依頼する
（感電・火災の原因）

●電気工事は、電気工事士が下記に従って行う
- 電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- 据付（電気）工事説明書

（感電・火災の原因）

●漏電しゃ断器（全極開閉機能付）を取り付ける
（故障や、漏電時に感電・火災の原因）

●電気工事は、本機やユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う
（感電の原因）

●据付工事は、「据付（電気）工事説明書」に従って行う
（感電・火災などの原因）

●据え付けは、本機の重量に十分耐えられる所に確実に行う
- 取付強度を確保できない場合には、必ず強度を確保できる補強を行う。

（落下の原因）

●配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する
- 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。

（発熱・火災などの原因）

●付属品は当社指定の部品を使用する
（製品の落下・感電・火災などの原因）

据え付け時のご注意

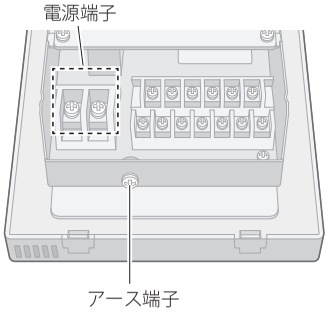
据え付け場所など

（P.2「安全上のご注意」の内容をご確認ください。）
●床面に対して垂直に据え付ける。
●複数並べて据え付けるときは、上下左右 50 mm 以上離す。
●次のような場所に据え付けない。
　・直射日光や直接外気が当たる、窓際など
　・結露するところ（防湿・防滴仕様ではないため）
●テレビ・ラジオ・パソコンなどの機器から 1 m 以上離す。
（映像の乱れ・雑音の原因）

配線のしかた

電源配線について

（P.2「安全上のご注意」の内容をご確認ください。）
●電気工事は電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および「据付（電気）工事説明書」に従って施工してください。
●電源は必ず専用回線を使用してください。
●必ずアース工事（D 種接地工事）を行ってください。（感電の原因）
●アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話などのアース線に接続しないでください。
●漏電しゃ断器が地絡保護専用の場合には、漏電しゃ断器と直列に配線用しゃ断器、または手元開閉器（開閉器＋B 種ヒューズ）が必要になります。



■配線の種類
600 V ビニール電線を使用基準とする。
（現地調達）

■電源端子
端子ネジ　　：M4
締め付けトルク：1.2 N･m（推奨値）
●電源線に取り付ける圧着端子は M4 サイズ（横幅 8.4 mm 以下）をご使用ください。

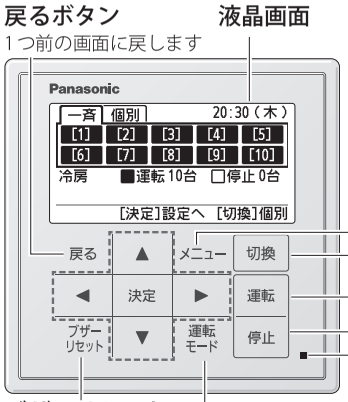
⚠ 注意

●次のような場所で使わない（感電・火災などの原因）
- 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
- 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
- 電磁波が出る機械のあるところ
- 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
- 腐食性ガスなどのもれるおそれのあるところ
- 電圧変動の多いところ
- 有機溶剤の飛沫するところ
- 結露するところ
- ノイズの発生する可能性のあるところ
- 直接日光が当たる場所や近くに熱源があるところ
- 湿気や振動の多いところ

●ぬれた手で操作しない
（感電・故障の原因）

●水洗いしない
（感電の原因）

各部の名前



戻るボタン
1 つ前の画面に戻します

液晶画面

メニューボタン
メニュー画面を出します。
・（メニュー画面から）待受画面に戻します。
・（メニュー画面より下の階層の画面から）メニュー画面に戻します。

切換ボタン
複数のユニットを接続時、トップ画面のタブ（一斉/個別）を切り換えます。

運転ボタン
運転を始めます。

停止ボタン
運転を停止します。

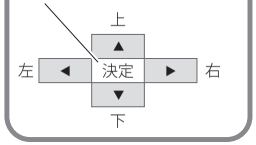
運転表示ランプ（緑）
運転時、点灯します。
※ 1 台でも運転中のものがあれば、点灯します。

運転モード
「暖房」「冷房」に切り換わります。

ブザーリセット
異常発生時の警報ブザーを停止します。

十字ボタン
項目を選びます。

決定ボタン
選んだ内容を決定します。



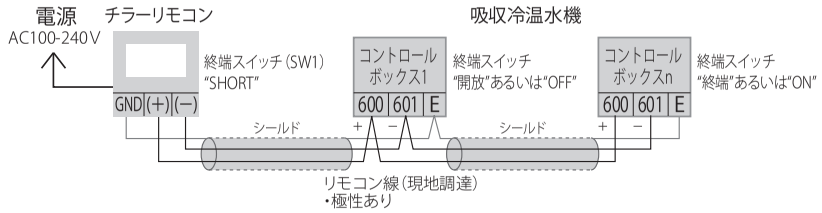
お知らせ
●操作は、ボタンの中央付近を押してください。
●手袋を着けた状態では、操作できません。
●スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。
●ユニット※は遠方設定されていないと操作できません。
（運転モード、運転/停止、温度設定）
詳細はユニットの説明書をご確認ください。
※ユニットとは、吸収冷温水機またはGHPチラーをさします。

配線のしかた（つづき）

■基本配線図

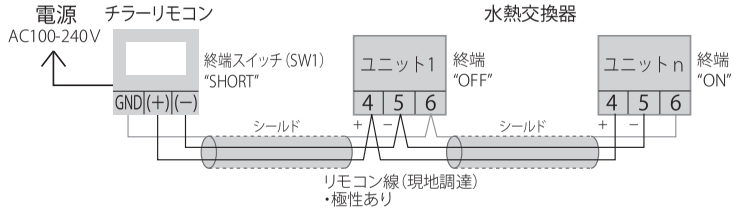
リモコン線を下図のように接続してください。
リモコン線はループを作らずに、"一筆書き"ができるようにしてください。

●吸収冷温水機の接続　複数台設置の場合



- ユニットは10台まで接続可能です。
- シールドは両側接続を推奨します。
- 詳細は吸収冷温水機の納入仕様書をご確認ください。

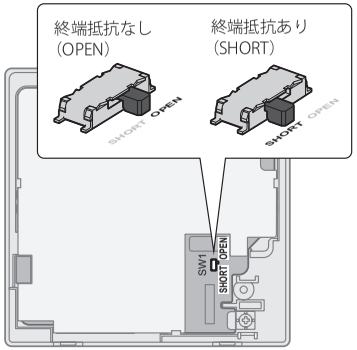
●GHPチラーの接続　複数台設置の場合



- ユニットは10台まで接続可能です。
- シールドは両側接続を推奨します。

■終端抵抗

リモコン線を接続したとき、末端になる機器2台には「終端抵抗」を挿入しなければいけません。
終端抵抗は各機器内に用意され、スイッチで"ON（SHORT）"、"OFF（OPEN）"を切り換えることができます。
本機では右図の通り、SW1によって切り換えます。
※ユニットに付属の説明書もあわせてご確認ください。



リモコン線について

■ケーブルの種類

●柔軟性のあるシールド付ツイストペア線を使う。
- 吸収冷温水機：0.3～0.75 mm^2
- GHPチラー：0.5～1.25 mm^2

●シース部を含む絶縁物の厚みが1mm以上あるケーブルを使用する。

■総配線長

吸収冷温水機：1200 m
GHPチラー：300 m

■信号端子

端子ネジ：M3
締め付けトルク：0.5N・m（推奨値）

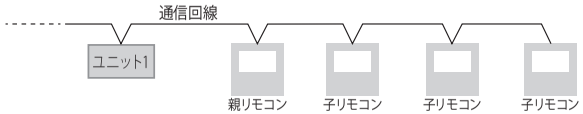
●信号線に取り付ける圧着端子はM3サイズ（横幅6.3 mm以下）をご使用ください。

■接続可能台数

最多10台の吸収冷温水機、またはGHPチラーを接続可能。
※吸収冷温水機とGHPチラーでは、制御方法が異なりますので、1台のリモコンで吸収冷温水機とGHPチラーを同時にコントロールすることはできません。

最多4台のリモコンを接続可能。
旧リモコン（CZ-10RTGXA / RCS-SW15GXA / RCS-SW15GX）と併用する場合は、本機1台、旧リモコン1台まで接続可能。
旧リモコンを接続する場合はP.12「リモコン新旧混在」の設定をしてください。

●リモコンを複数台設置する場合



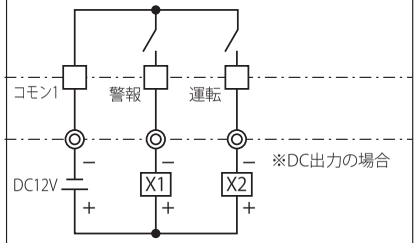
※親リモコンは1台のみ、子リモコンは3台まで

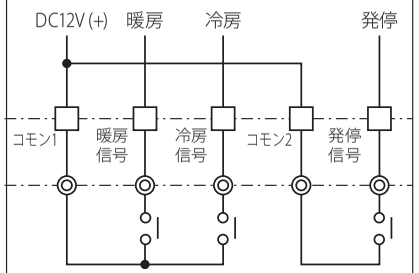
	リモコン1（D0）	リモコン2（D1）	リモコン3（D2）	リモコン4（D3）	各リモコンから設定
P.10「リモコンアドレス設定」を確認					
P.10「管理リモコン設定」を確認	本機	有 ☑	有 ☑	有 ☑	親リモコンから設定

配線のしかた（つづき）

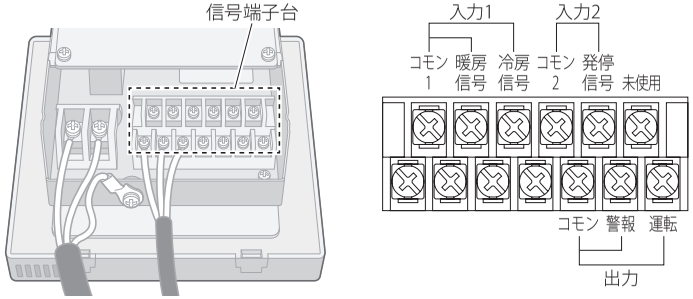
■外部設備との接続

●接点入出力端子

	出力端子	条件
CZ-10RTC1 内部回路 外部配線 外部機器（回路例）		無電圧 a 接点 スタティック（リレー出力） 警報出力：正常時は開、異常時は閉 運転出力：停止時は開、運転時は閉 接点仕様： 最大 AC100V 0.5A 最大 DC30V 0.5A 最小適用負荷：DC5V 1 mA 外部配線長　：20m 以内 外部配線太さ：0.5 mm² 以上

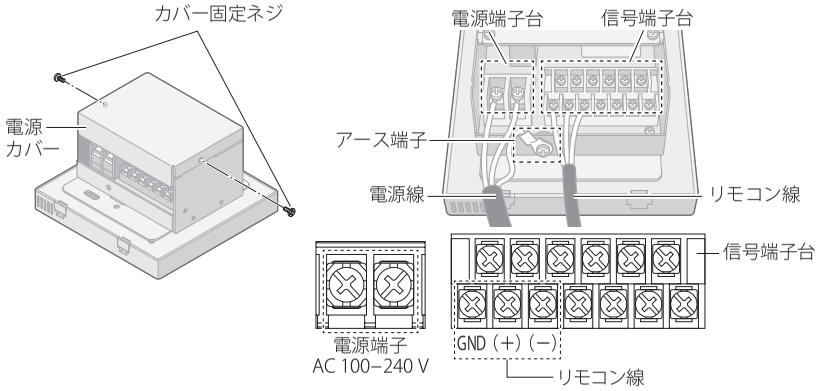
	入力端子	条件
CZ-10RTC1 内部回路 外部配線 外部機器（回路例）		入力端子の接続は親リモコンのみ。 入力端子に電圧をかけると 入力回路が破壊します。 暖房信号：無電圧入力 閉で暖房、開は無効※ 冷房信号：無電圧入力 閉で冷房、開は無効※ 発停信号：無電圧エッジ 立上り：運転信号 立下り：停止信号 接点許容電圧：DC12 V ±10% 接点許容電流：10 mA 外部配線長　：100m 以内 外部配線太さ：0.5 mm² 以上

※暖房信号 / 冷房信号はリモコンの設定により機能が異なります。
リモコンの設定は、P.12「冷 / 暖切換設定」をご確認ください。



■配線の手順

① カバー固定ネジ2本をはずし、電源カバーを取りはずす。
② 電源線を電源端子に接続し、アースは、必ずアース端子に接続する。
③ リモコン線を信号端子台の＋、－、GND 端子に接続する。
④ 外部設備と接続する場合は、P.8「外部設備との接続」を参照し接続する。
⑤ 電源カバーを取り付け、カバー固定ネジ 2 本を取り付ける。

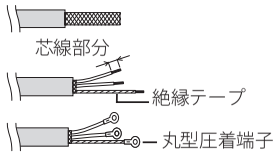


●圧着端子の取り付け
被覆をはがし、内部の芯線をよじって取り付ける。



●シールド線への取り付け

① 被覆部をはがす
② 内部の芯線をよじって絶縁テープを巻く
③ 丸型圧着端子を取り付ける



お知らせ

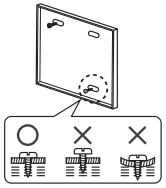
●リモコン線は、極性があるため接続時はご注意ください。
●リモコン線は必ずシールド線を使用し、シールドは両側接続を推奨します。
本機にシールド線アースを接続する場合は、信号端子台の GND へ接続する。

お願い

●電源線を、信号端子台の端子に接続しない。（故障の原因）
●リモコン線を電源線などといっしょに合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。
（誤動作の原因）
●配線を接続する際には、チラーリモコンに傷が付かないようにご注意ください。

取り付ける

■下ケースを取り付けるとき（手順2）
- ●ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締めてください。
  （上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
- ●ネジは、締めすぎないでください。
  （下ケースの変形による、落下の原因）
- ●JISボックス（JIS C8340 2個用スイッチボックス）をお使いください。
  （現地調達）

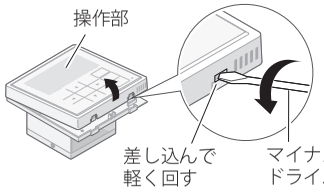


お願い

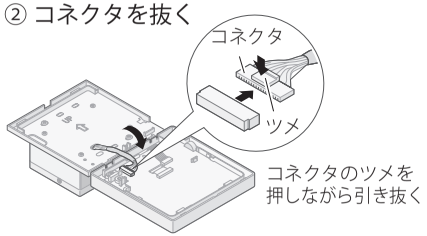
先にチラーリモコンに接続した配線をJISボックス下の丸穴に通して、チラーリモコン電源部に衝撃を与えないようにゆっくりと挿入してください。

1 チラーリモコンの取付準備

① 操作部をはずす



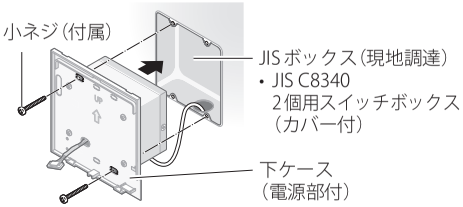
② コネクタを抜く



2 JISボックスに取り付ける

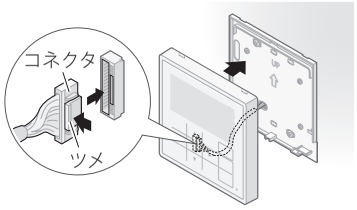
① あらかじめ壁内に埋込まれたJISボックス（現地調達）にチラーリモコンを挿入する

② チラーリモコンの下ケース（電源部付）をJISボックスに取り付ける（小ネジ（付属））



3 コネクタを接続し、操作部を取り付ける

① コネクタを接続する



ツメがカチッと音がするまで押し込む

② 上から取り付け



基板上の部品に配線が触れないようにしてください。
（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）

③ カチッと音がするまで押し込む

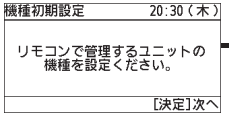
設定する

機種初期設定
メンテナンス機能（リモコンアドレス設定/

- ●チラーリモコンの設定を行う前にユニットの試運転を実施してください。
- ●ユニットの試運転後、チラーリモコンの電源を入れてください。

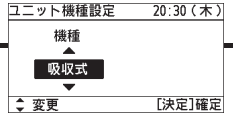
1 機種を設定する

決定 ボタンで次へ



起動時に設定画面が表示されます。
設定を完了すると次回からは表示されません。

▲▼ ボタンで機種を選択
決定 ボタンで決定



接続するユニットが「吸収式」か「GHPチラー」を選択する。

2 型を選ぶ

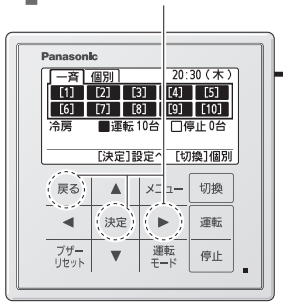
（GHPチラーの場合のみ）

▲▼ ボタンで型を選択
決定 ボタンで決定



接続するユニットの型を選択する。

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す

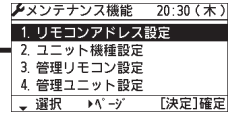


お知らせ

メンテナンス機能は 戻る ボタンで設定を終了します。

2 設定する項目を選ぶ

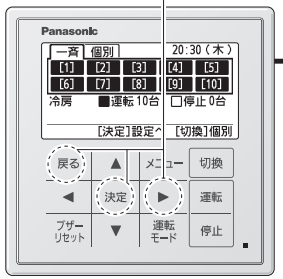
▲▼ ボタンで選択
決定 ボタンで決定



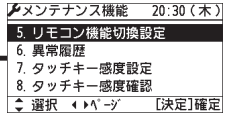
- リモコンアドレス設定
- ユニット機種設定
- 管理リモコン設定
- 管理ユニット設定

設定する（つづき） メンテナンス機能

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す



2 設定する項目を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
決定 ボタンで決定



3 設定する項目を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
決定 ボタンで決定

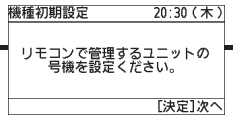


- リモコン機能切換設定
  - 冷/暖切換設定
  - 停電自動復帰
  - 異常コード表示
  - リモコン新旧混在

お知らせ
メンテナンス機能は 戻る ボタンで設定を終了します。

ユニット機種設定 / 管理リモコン設定 / 管理ユニット設定）

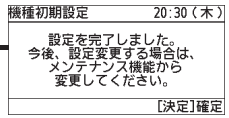
3 号機を設定する
決定 ボタンで決定



▲▼ ボタンでユニットNoを選択
◀▶ ボタンで有 ☑ / 無 ー を切換
決定 ボタンで決定

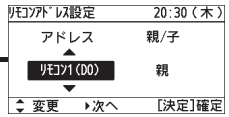


決定 ボタンで
機種初期設定の完了

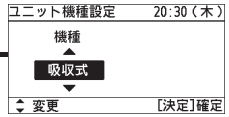


メンテナンス機能は、
P.10以降をご確認ください。

3 設定を変える

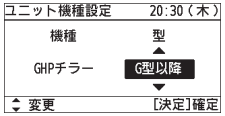


▲▼ ボタンで「リモコン1」～「リモコン4」を選択
▶ ボタンで親/子設定に移動
▲▼ ボタンで「親」「子」を選択
決定 ボタンで決定

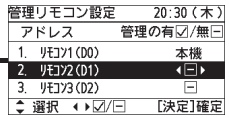


▲▼ ボタンで「吸収式」「GHPチラー」を選択
決定 ボタンで決定

※「GHPチラー」を選んだ場合、下記をご確認ください。



「GHPチラー」を選んだ場合、
▲▼ ボタンで「F型」「G型以降」を選択



▲▼ ボタンで子リモコンを選択
◀▶ ボタンで有 ☑ / 無 ー を切換
決定 ボタンで決定
※リモコンを複数台使用する場合、子リモコンのアドレスを選択してください。（親リモコンから設定）



▲▼ ボタンでユニットを選択
◀▶ ボタンで有 ☑ / 無 ー を切換
決定 ボタンで決定

(冷/暖切換設定/停電自動復帰/異常コード表示/リモコン新旧混在)

4 設定を変える

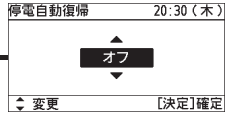


▲▼ ボタンで項目を選択
◀▶ ボタンで有 ☑/ 無 − を切換
決定 ボタンで決定

冷/暖切換設定を切り換える。(親リモコンから設定)

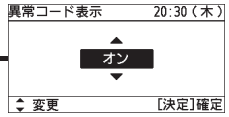
・運転モードキー操作：運転モード ボタン操作による冷房/暖房切換
・外部接点冷房入力：外部接点入力による冷房切換
・外部接点暖房入力：外部接点入力による暖房切換

外部接点による冷/暖切換設定については、P.14をご確認ください。



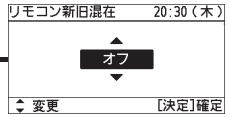
▲▼ ボタンで「オン」「オフ」を選択
決定 ボタンで決定

停電自動復帰機能の有無を切り換える。
・オン：停電復帰後運転継続
・オフ：停電復帰後運転停止(出荷時設定)



▲▼ ボタンで「オン」「オフ」を選択
決定 ボタンで決定

トップ画面に表示する異常コードの表示・非表示を切り換える。
・オン：アラーム番号表示あり(出荷時設定)
・オフ：アラーム番号表示なし



▲▼ ボタンで「オン」「オフ」を選択
決定 ボタンで決定

システム上に旧リモコン(CZ-10RTGXA / RCS-SW15GXA / RCS-SW15GX)を子リモコンとして接続する場合は、「オン」に設定する。
・オン：旧リモコンを使用する
・オフ：旧リモコンを使用しない(出荷時設定)

C-493

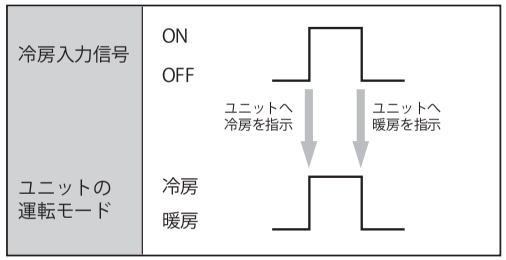
設定する(つづき)

■冷房入力と暖房入力

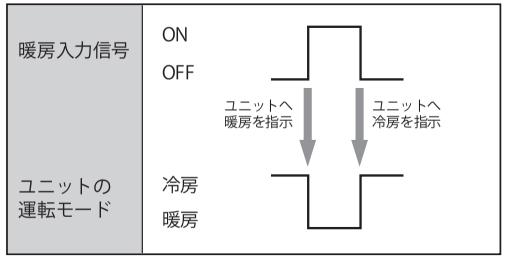
ユニットの運転モードを入力信号に合わせて冷房/暖房を切り換える。

●サンプリング：10 ms間隔
●チャタリング：連続1秒安定で有効

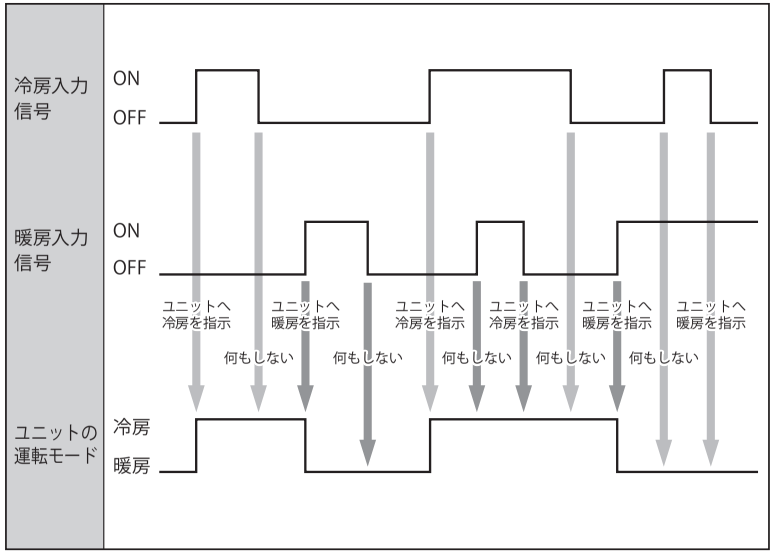
① 冷/暖切換設定　外部接点冷房入力：有 ☑
外部接点暖房入力：無 □
暖房入力は機能無効設定のため、入力の状態は無視する。



② 冷/暖切換設定　外部接点冷房入力：無 □
外部接点暖房入力：有 ☑
冷房入力は機能無効設定のため、入力の状態は無視する。



③ 冷/暖切換設定　外部接点冷房入力：有 ☑
外部接点暖房入力：有 ☑

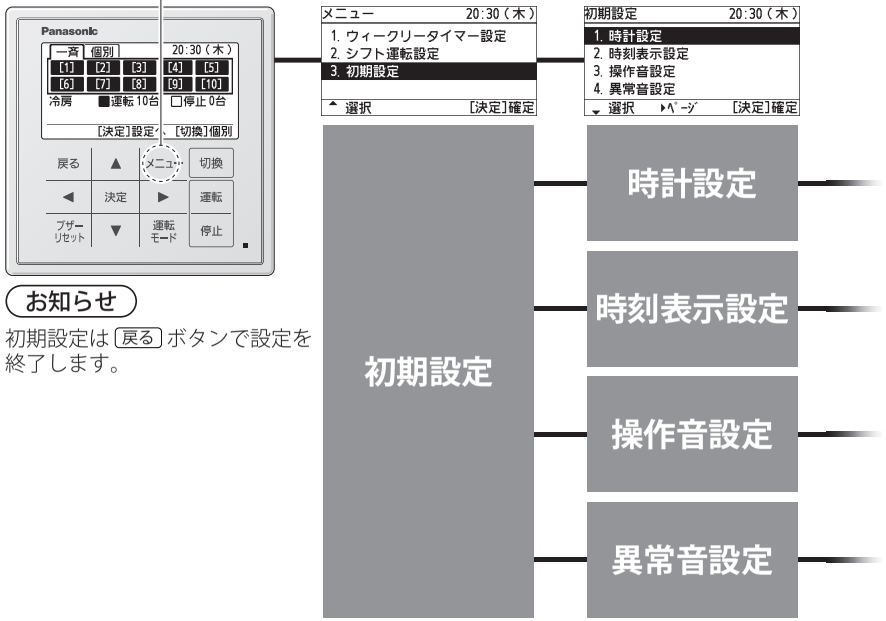


設定する（つづき）　初期設定（時計設定/

1 メニューを押す

2 「3.初期設定」を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
決定 ボタンで決定

3 設定する項目を選ぶ
▲▼ ボタンで選択
決定 ボタンで決定

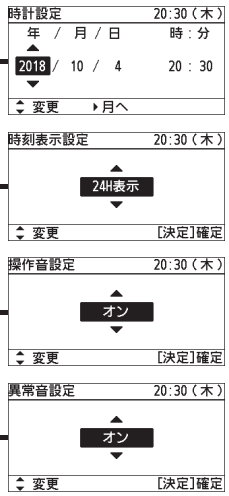


お知らせ

初期設定は 戻る ボタンで設定を終了します。

時計表示設定/操作音設定/異常音設定）

4 設定を変える



◀▶ ボタンで変更したい項目（年/月/日/時/分）を選択
▲▼ ボタンで値を変更
決定 ボタンで決定

※決定ボタンを押すと0秒スタートします。

▲▼ ボタンで「24H表示」「AM・PM表示」を選択
決定 ボタンで決定

▲▼ ボタンで「オン」「オフ」を選択
決定 ボタンで決定

▲▼ ボタンで「オン」「オフ」を選択
決定 ボタンで決定

異常履歴

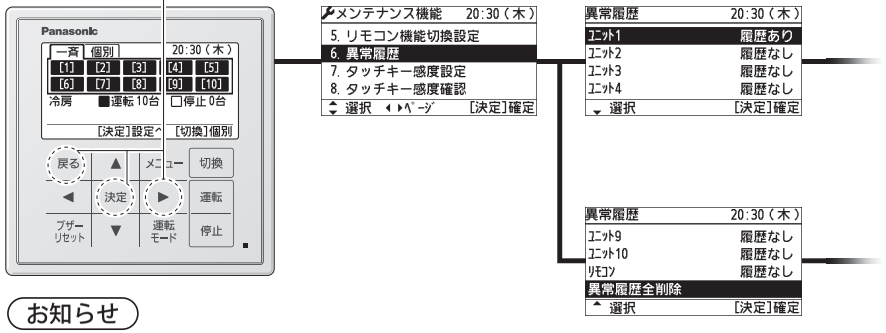
1 3つのボタンを同時に4秒以上押す

2 「6.異常履歴」を選ぶ

▲▼ ボタンで選択
決定 ボタンで決定

3 確認する項目を選ぶ

▲▼ ボタンで選択
決定 ボタンで決定



お知らせ

異常履歴は 戻る ボタンで表示を終了します。
リモコン、各ユニットごとに最新4件の異常履歴を表示します。

エラー表示

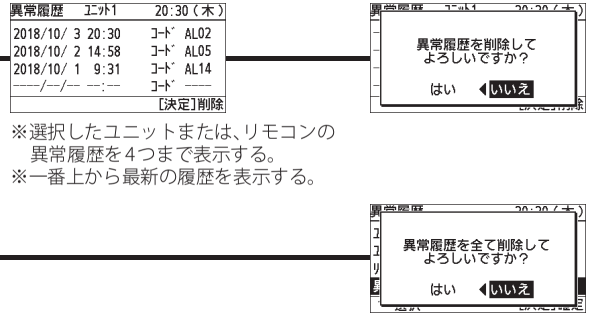
チラーリモコンより異常を検出した場合、以下の警報が表示されます。
※ユニットのエラー表示に関しては吸収冷温水機は取扱説明書を確認してください。
GHP チラーに関しては、ユニットに添付している『お客様相談窓口』の「商品相談窓口」・「各地域の修理ご相談窓口」へご連絡ください。

エラーコード		項目	症状
吸収冷温水機	GHP チラー		
E09	E01	通信異常	チラーリモコン ー ユニット間にて通信不良が発生しています。
E08	R08	自己アドレス重複	通信上に自分のアドレスと同じアドレスが存在しています。
E10	R10	親リモコン重複	通信上に親リモコンが複数存在しています。
E11	R11	親リモコン不在	通信上に親リモコンが不在です。

4 異常履歴を確認する

5 異常履歴を削除する

決定 ボタンでポップアップ表示
◀▶ ボタンで選択
決定 ボタンで履歴削除



※選択したユニットまたは、リモコンの
異常履歴を4つまで表示する。
※一番上から最新の履歴を表示する。

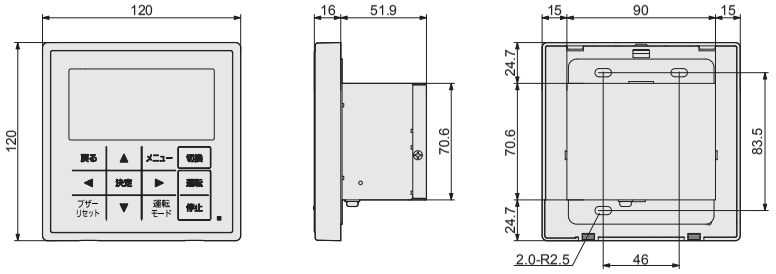
	対処方法
	P.4「配線のしかた」をご確認ください。 P.10「管理ユニット設定」をご確認ください。
	P.10「リモコンアドレス設定」をご確認ください。 アドレスが重複しないようアドレス設定してください。
	P.10「リモコンアドレス設定」をご確認ください。 親リモコンは1台のみとなります。
	(1) P.10「リモコンアドレス設定」をご確認ください。 親リモコンを1台設定してください。 (2) P.10「管理リモコン設定」をご確認ください。 親リモコンから設定をしてください。

仕様

品番		CZ-10RTC1
外形寸法		(高さ) 120 mm ×(幅) 120 mm ×(奥行き) 16 + 51.9 mm
質量		520 g
使用温度・湿度範囲		-10 ℃～50 ℃・20 %～80 %
電源		単相 AC 100-240 V 50/60 Hz
消費電力		最大2 W
時計	精度	±30秒/月(常温25 ℃)※定期的に合わせてください。
	保持時間	100時間(満充電時)※満充電に約8時間かかります。
接続台数		最多10台(吸収冷温水機またはGHPチラー)
外部接点	入力定格	P.8「外部設備との接続」をご確認ください。
	出力定格	P.8「外部設備との接続」をご確認ください。
通信		RS-485

外形寸法

単位：mm



Printed in Japan
ACXF60-26793
W0718-30823

チラーコントローラー / CZ-10RT15G

Panasonic

取扱説明書
チラーコントローラー
品番 CZ-10RT15G



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
● ご使用前に「安全上のご注意」(4 ～ 5 ページ) を必ずお読みください。
● お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

もくじ

1. 安全上のご注意 …… 4
2. 使用・据え付け上の注意事項 …… 6
3. 本機の特長 …… 7
4. システムの構成 …… 8
5. 各部のなまえとはたらき …… 9
6. クイックリファレンス …… 12
7. ご使用方法 …… 14
7.1. 電源の入れかた …… 14
7.2. 表示画面のなまえとはたらき …… 14
7.2.1. 起動処理画面 …… 14
7.2.2. 表示画面例 …… 15
7.3. 初期設定 …… 16
7.3.1. システム設定フロー …… 16
7.3.2. 日時／システムの設定 …… 17 メイン 3 ／サブ 1
7.3.3. 接続台数の設定 …… 21 メイン 3 ／サブ 2
7.4. 状態監視と操作画面 …… 23
7.4.1. 概略表示 …… 23 メイン 1 ／サブ 1
7.4.1.1. 一括操作のしかた …… 24
7.4.1.2. 個別操作のしかた …… 26
7.4.1.3. 詳細表示 …… 27 メイン 1 ／サブ 2
7.5. 運転データと警報履歴の確認 …… 28
7.5.1. ユニットごとの運転データ …… 28 メイン 2 ／サブ 1
7.5.2. 警報履歴の確認 …… 29 メイン 2 ／サブ 2
7.6. 各種設定 …… 31
7.6.1. プログラムタイマーの予約 …… 31
7.6.1.1. デイリータイマーの設定 …… 31 メイン 4 ／サブ 1
7.6.1.2. ウィークリータイマーの設定 …… 33
7.6.2. 休日／タイマー特別日の設定 …… 34 メイン 4 ／サブ 2
7.6.3. 制御特性の設定 …… 35 メイン 4 ／サブ 3
7.6.4. その他の設定 …… 36 メイン 4 ／サブ 4
7.6.4.1. 無通信モードの設定 …… 36
7.6.4.2. ブザー音 …… 36
7.6.4.3. 画面のオートオフ設定 …… 37
7.6.4.4. タッチパネルの補正 …… 37
7.6.4.5. 電源のオフ …… 38
7.6.5. アナログ基板設定 …… 39 メイン 4 ／サブ 5
7.6.5.1. アナログ入出力基板の有無 …… 39
7.6.5.2. 変流量制御判定タイマーおよび制御量 …… 39
7.6.5.3. アナログデータ変換 …… 40
7.7. 異常時の表示 …… 41
7.7.1. ユニット警報 …… 41
7.7.2. 通信異常 …… 41
8. 外部信号の接続 …… 42
8.1. 一括運転出力 …… 42
8.2. 一括警報出力 …… 42
8.3. 冷房／暖房入力 …… 43
8.4. 運転／停止入力 …… 43
9. 知っていただきたいこと (1) …… 44
10. 知っていただきたいこと (2) …… 45
11. 故障かなと思ったときは …… 46
12. 仕様 …… 47

メイン 1 ／サブ 1 は、
ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ 1 ／ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ 1
の説明を表しています。

1. 安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗ 必ず守る
据え付けや移動・修理は販売店か専門業者に依頼する
（水漏れや感電・火災の原因）

❗ 必ず守る
当社指定のエアコンと接続して使う
（水漏れや感電・火災の原因）

❗ 必ず守る
異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る
（感電や火災の原因）

異常・故障例
- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- ブレーカーがたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。

すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

⚠警告

ぬれた手で操作しない
（感電や故障の原因）
禁止

⚠注意

分解しない
（感電や故障の原因）
禁止

水洗いしない
（感電・火災の原因）
禁止

2. 使用・据え付け上の注意事項

使用上の注意事項

- 次のような場所での使用は避けてください。
  - 可燃性ガス等の漏れるおそれのある所。
  - 海浜地区等、塩分の多い所。
  - 温泉地区、硫化ガスの発生する所。
  - 水や油（機械油含む）の飛散や蒸気の多い所。
  - 電圧変動の大きい所。
  - 電磁波を発生する機械のある所。
  - 有機溶剤の飛散する所。
- 強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- コントローラーの近くで暖房器具を使用しないでください。コントローラーの樹脂部分が熱により変形・変色するおそれがあります。
- 本機専用のタッチペンを使用してください。専用以外のタッチペンで操作をすると、故障の原因になります。
- アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどでふかないでください。変色や故障の原因になります。ひどい汚れは、水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でふいてください。
- スプレーを吹きかけないでください。誤動作や故障の原因になります。
  液体（洗剤、アルコール、有機溶剤など）がかからないようにしてください。

据え付け上の注意事項

- 湿気・油分や振動の多い所、直射日光のあたる所、熱源の近くには設置しないでください。故障の原因になります。
- ノイズの発生する所には設置しないでください。誤動作の原因になります。
- 電気工事を行うには資格が必要です。
  お買い上げの販売店に依頼し、ご自分では行わないでください。
- 配線作業は、人体に帯電した静電気をアースに放電してから行ってください。
- テレビ、ラジオ、パソコンなどはコントローラーから 1m 以上離してください。映像の乱れや雑音の原因になります。
- コントローラーの取り付け状態が弱くなっていないか、年に 1～2 回確認してください。

3. 本機の特長

本機は、GHP（ガスヒートポンプ）チラー専用の集中コントローラーです。

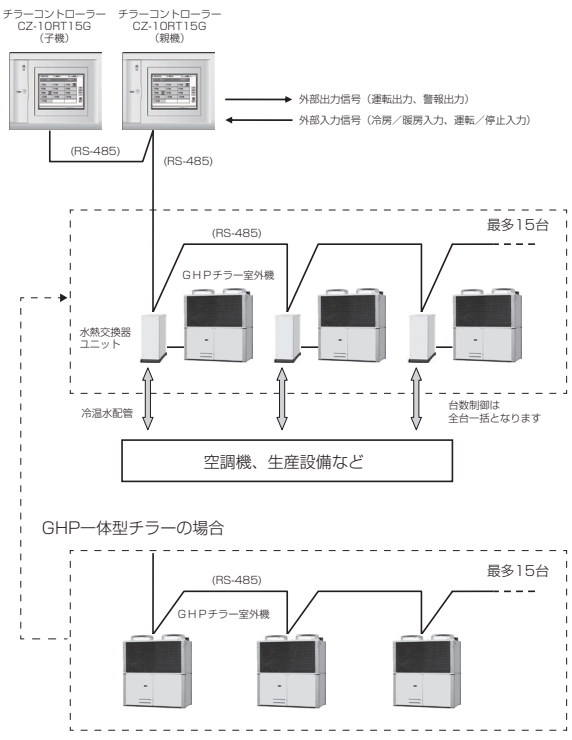
- 接続台数 ……・1 台のチラーコントローラーに最多 15 系統の GHP チラーが接続可能
  ・親機・子機の設定が可能（2 か所から運転 / 停止と監視が可能）
- 表示 ……・6.5 インチ TFT カラー液晶タッチパネルディスプレイ
  （640 × 480 ドット VGA）
- 操作機能 ……・運転／停止、運転モード（冷暖）切換、温度設定、
  シフト運転、台数制御運転
- 運転モニタ ……・運転状態（運転／停止、運転モード、警報、冷温水出口温度、
  冷温水ポンプ ON/OFF）の一括監視
  ・警報履歴の表示
- プログラムタイマー ……・1 日 50 回までのデイリータイマー（50 種類）を組み合わせて、ウィークリータイマーを 50 種類まで設定可能
  ・休日／タイマー特別日（5 種類）設定可能
- 外部入出力（親機のみ）……・冷房入力、暖房入力（別入力／同一入力）
  ・運転／停止入力
  ・一括警報出力、一括運転出力（リレー接点）

※ GHP チラーには、GHP 室外機と水熱交換器ユニットが分離されたタイプと、一体となったタイプ（GHP 一体型チラー）とがあります。

4. システムの構成

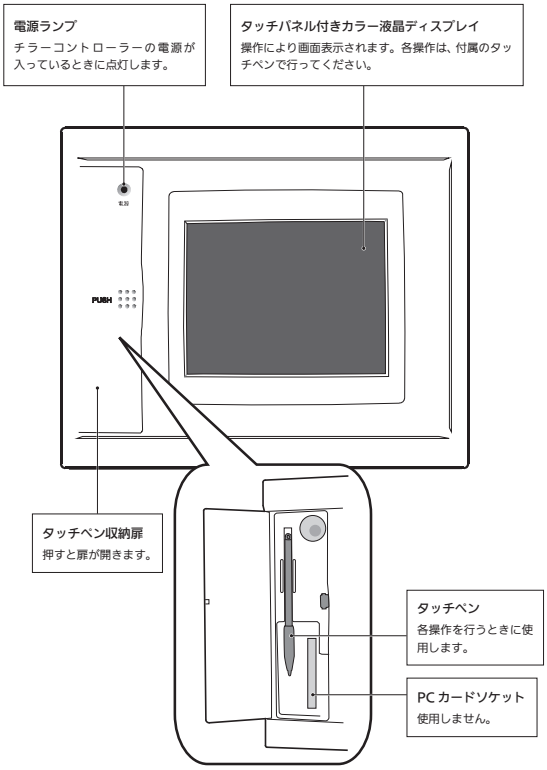
システム構成例

※子機は接続されない場合もあります。



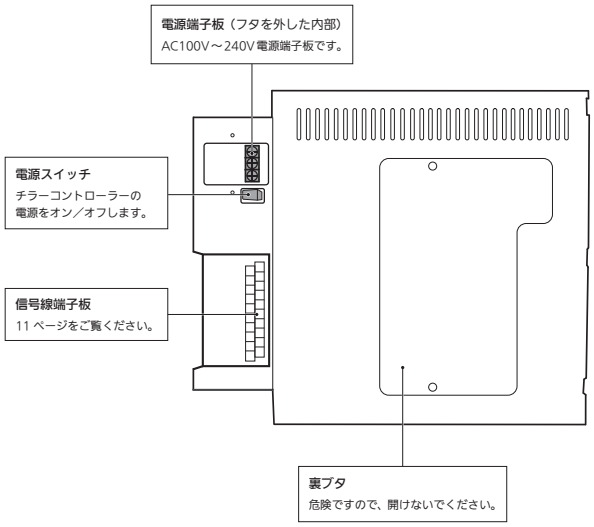
5. 各部のなまえとはたらき

正　面

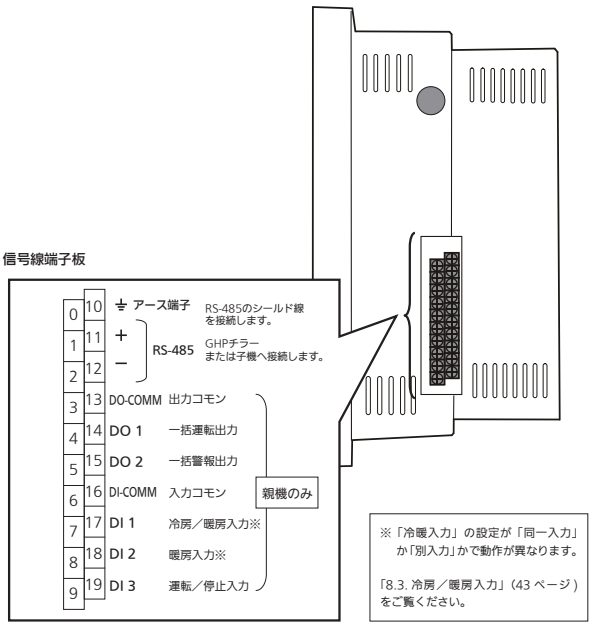


5. 各部のなまえとはたらき（つづき）

背　面



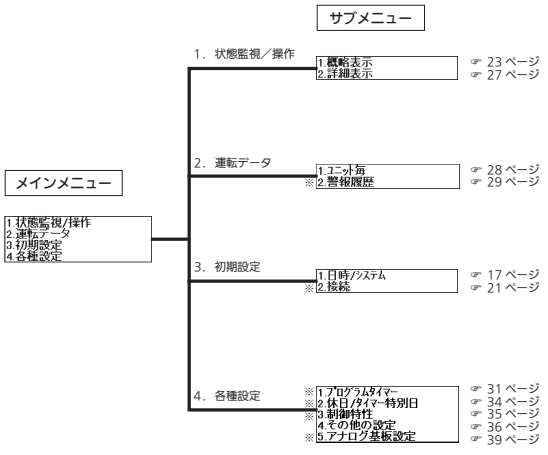
側　面



★0～9番の端子には何も接続しないでください。

6. クイックリファレンス

メニュー一覧



※印：親子選択（18 ページ）が「子」の設定のときは表示されません。

機能早見表

主な機能のみ掲載しています。

ユニットの操作のしかた

一括で操作したい	→7.4.1.1. 一括操作のしかた	☞ 24 ページ
個別に操作したい（親機のみ）	→7.4.1.2. 個別操作のしかた	☞ 26 ページ
運転モードを変更したい（親機のみ）	→7.4.1.1. 一括操作のしかた	☞ 24 ページ
設定温度を変更したい（親機のみ）	→7.4.1.1. 一括操作のしかた	☞ 24 ページ

ユニット運転状態のモニタ

詳細な運転状態をモニタしたい	→7.4.1.3. 詳細表示	☞ 27 ページ
現在の積算時間を見たい	→7.5.1. ユニットごとの運転データ	☞ 28 ページ
警報が起きた履歴を確認したい	→7.5.2. 警報履歴の確認	☞ 29 ページ

システム設定

日付や時刻を調整したい	→7.3.2. 日時／システムの設定	☞ 17 ページ
接続台数を設定したい（親機のみ）	→7.3.3. 接続台数の設定	☞ 21 ページ
タイマー運転の設定をしたい（親機のみ）	→7.6.1. プログラムタイマーの予約	☞ 31 ページ
ブザー音の設定をしたい	→7.6.4.2. ブザー音	☞ 36 ページ

その他

チラーコントローラーの電源を切りたい	→7.6.4.5. 電源のオフ	☞ 38 ページ
タッチパネルのずれを直したい	→7.6.4.4. タッチパネルの補正	☞ 37 ページ

7. ご使用方法

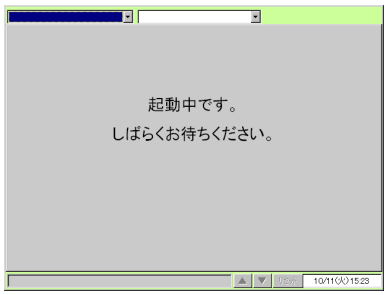
7.1. 電源の入れかた

配線状態（GHP チラー、チラーコントローラー子機）を確認したら、チラーコントローラーの電源スイッチ（10 ページ参照）をオンします。システムが自動的に起動します。

7.2. 表示画面のなまえとはたらき

7.2.1. 起動処理画面

以下は、チラーコントローラー起動時の起動処理画面です。



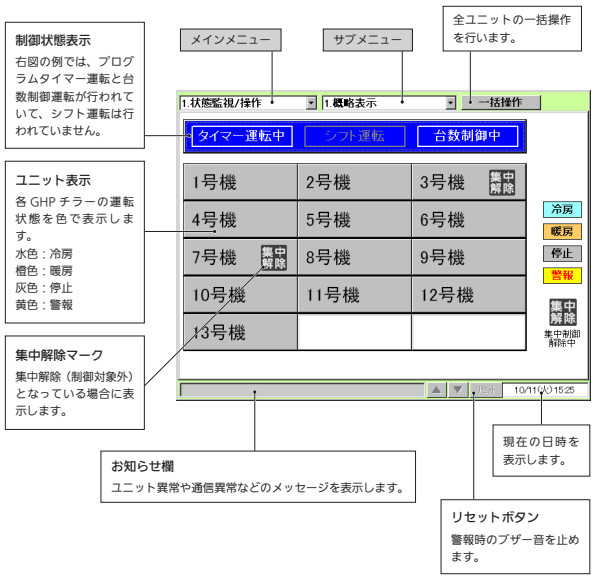
★電源を切る時のお願い★

チラーコントローラーの電源を切る時は、必ず次の手順でお願いします。

「4. その他の設定」画面（ メイン 4／サブ 4 ）において、一番下の 電源オフ を選択する。
⇩
「システムを終了しますか？」と表示されたら OK を選択する。
⇩
「電源を切っても安全です。」と表示されたら、その状態で電源を切る。
（数分程度かかる場合があります）

7.2.2. 表示画面例

ある画面表示を例に各部の説明をします。



7. ご使用方法（つづき）

7.3. 初期設定

チラーコントローラーをご使用いただくにあたり、「初期設定」（メインメニュー 3）は、必須の設定項目ですので、必ず設定してください。

7.3.1. システム設定フロー

◎：設定が必要です。
△：場合によっては設定が必要です。
×：設定は必要ありません（変更しないでください）。

START
⇩
メイン 3／サブ 1 日時／システム　◎
（1）現在日時の設定（子機がある場合、子機の日時も設定してください）
（2）親子選択（子機がある場合、ここで子機に設定してください）
（3）冷暖入力
（4）シフト運転モード
（5）台数制御選択
⇩
メイン 3／サブ 2 接続　◎（接続ユニットの自動認識は行いません）
⇩
メイン 4／サブ 1 プログラムタイマー　△
（1）デイリータイマー
（2）ウィークリータイマー
⇩
メイン 4／サブ 2 休日／タイマー特別日　△
⇩
メイン 4／サブ 3 制御特性　×（変更しないでください）
⇩
メイン 4／サブ 4 その他の設定　△（子機がある場合、必要に応じて子機でも設定してください）
（1）無通信モードの設定　・・・必ず NO（通常）にしてください。
（2）ブザー音
（3）画面のオートオフ設定
（4）タッチパネルの補正　・・・出荷時に調整済みですが、ずれている場合は補正してください。
（5）電源のオフ
⇩
メイン 4／サブ 5 アナログ基板設定　△（GHP 一体型チラーでアナログ入出力基板を使用する場合）
（1）アナログ入出力基板有無（「有り」にしてください）
（2）変流量制御判定タイマー
（3）アナログデータ変換（現場の機器に合わせて必ず設定してください）
⇩
END

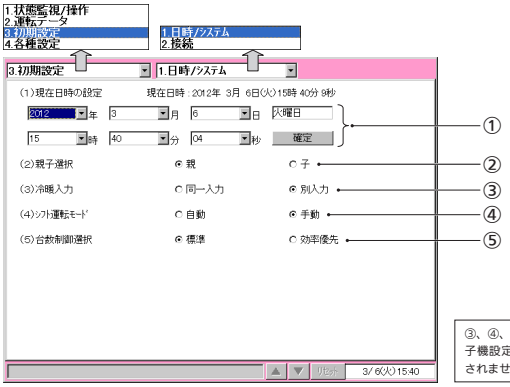
メイン３／サブ１

7.3.2. 日時／システムの設定

現在の日付・時刻や、システムに関係する設定を行います。
運用開始前に必ず行ってください。

手順

メインメニューで 3．初期設定 、サブメニューで 1．日時／システム を選択します。



③、④、⑤ は、子機設定時は表示されません。

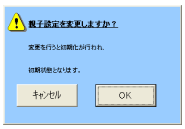
① 現在の日時を設定します。
現在日時の設定 で、プルダウンメニュー▼から年、月、日、時、分、秒を選択します。
曜日は自動表示されます。
確定 を選択したタイミングで日時が更新されます。

時刻を現在よりも進めた場合、その間の時刻に設定されているプログラムタイマーは無効となり、送信されません。

7. ご使用方法（つづき）

メイン３／サブ１

② 親機・子機の選択を行います。チラーコントローラーを 2 台併設（親子設置）するときは、
必ず 1 台を親機、もう 1 台を子機に設定してください。
親子選択の変更を行おうとすると、次のメッセージが表示されます。



親子設定を変更すると、「初期設定」「その他の設定」の内容がすべて出荷設定に戻りますのでご注意ください。
チラーコントローラーは、最大 2 台（親 1 台＋子 1 台）設置できます。

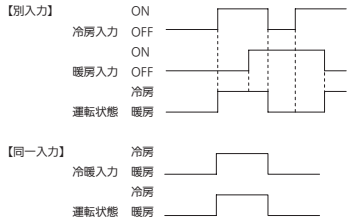
子機では、親機に比べて機能や表示に制限があります。

	親機の場合	子機の場合
運転／停止操作	○	○
上記以外の操作	○	× ※1
1-1 画面（概略表示）	○	○
1-2 画面（詳細表示）	○	○
2-1 画面（運転データ）	○	○
2-2 画面（警報履歴）	○	×
3-1 画面（日時／ｼｽﾃﾑ）	○	○
3-2 画面（接続）	○	×
4-1 画面（ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾀｲﾏｰ）	○	×
4-2 画面（休日／ﾀｲﾏｰ特別日）	○	×
4-3 画面（制御特性）	○	×
4-4 画面（その他の設定）	○	○
外部入力（冷暖、運転／停止）	○	×
外部出力（一括運転、一括警報）	○	×

※1　子機では、ユニットの操作は運転／停止以外、行えません。（画面表示操作は行えます）

メイン３／サブ１

③ 外部冷房／暖房入力信号の選択を行います。（親機のみ）
冷房入力、暖房入力を個別の端子に接続する場合は「別入力」、同じ 1 つの端子に接続する場合は「同一入力」を選択します。
「別入力」の場合、端子が OFF から ON（開放→短絡）で冷房または暖房となります。
両方 ON した場合は無効となります。
「同一入力」の場合、端子が ON（短絡）で冷房、OFF（開放）で暖房となります。



④ シフト運転モードの選択を行います。（親機のみ）
「手動」の場合、全ユニット一括操作の詳細設定用ソフトリモコン（「概略表示」画面（ メイン１／サブ１ ）、「詳細表示」画面（ メイン１／サブ２ ））の シフト運転 ボタン操作にしたがって設定温度シフトが実行／解除されます。
「自動」の場合、現在日時にしたがって自動で設定温度シフトが実行／解除されます。

- ● シフト値　　冷房時：＋1℃
  暖房時：－2℃
- ● 自動シフト時間帯　冷房時：17:00～翌日 9:00
  暖房時：10:00～16:00

7. ご使用方法（つづき）

メイン３／サブ１

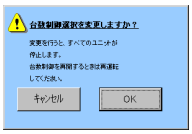
⑤ 台数制御の種類の選択を行います。（親機のみ）
- ● 標準
  負荷の変動に応じて、最適な運転台数となるよう台数の増減を行います。
- ● 効率優先
  運転台数の増減に加えて、各ユニットを統合的に制御することにより、
  部分負荷運転におけるシステムの効率が向上します。

すべてのユニットが「効率優先」の台数制御に対応している場合のみ、「効率優先」が選択できます。

「効率優先」が選択されると、下図のように、台数を増減したときのマスク時間を選択するプルダウンメニューが表示されます。
0 分～ 60 分の範囲で設定できますが、通常は出荷設定（5 分）のままにしておき、サービスマン以外の方は変更しないでください。



※台数制御選択の変更は、必ずユニットを全停止させた状態で行ってください。
台数制御の運転中に台数制御選択を変更しようとすると、下図のメッセージが表示されます。



OK を選択するとすべてのユニットを強制的に停止します。選択された台数制御で運転を再開する場合は、再度、一括運転を行ってください。
キャンセル を選択すると台数制御選択は変更されずに、メッセージが消えます。

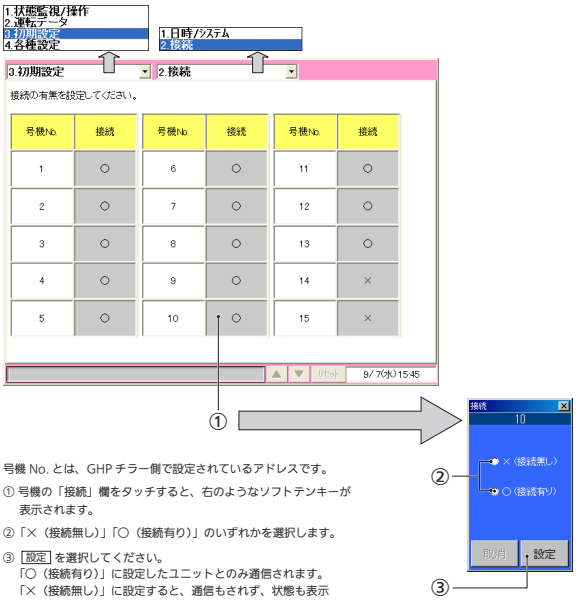
メイン 3 ／サブ 2

7.3.3. 接続台数の設定

GHP チラーの接続台数を設定します。
接続されているユニットの自動認識は行いませんので、必ずこの画面で接続号機の設定を行ってください。

手順

メインメニューで 3. 初期設定 、サブメニューで 2. 接続 を選択します。
※子機の場合は選択できません。



号機 No. とは、GHP チラー側で設定されているアドレスです。

① 号機の「接続」欄をタッチすると、右のようなソフトテンキーが表示されます。

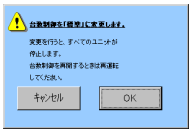
② 「×（接続無し）」「○（接続有り）」のいずれかを選択します。

③ 設定 を選択してください。
「○（接続有り）」に設定したユニットとのみ通信されます。
「×（接続無し）」に設定すると、通信もされず、状態も表示されません。

7. ご使用方法（つづき）

メイン 3 ／サブ 2

※ 台数制御選択が「効率優先」であるときに 「×（接続無し）」から「○（接続有り）」に変更しようとすると、下図のメッセージを表示します。



OK を選択するとすべてのユニットを強制的に停止し、台数制御選択を「標準」に戻します。
台数制御を再開する場合は、再度、一括運転を行ってください。
必要であれば、再度、「効率優先」を選択しなおしてください。
キャンセル を選択すると台数制御選択の変更は行われずにメッセージが消えます。

メイン 1 ／サブ 1

7.4. 状態監視と操作画面

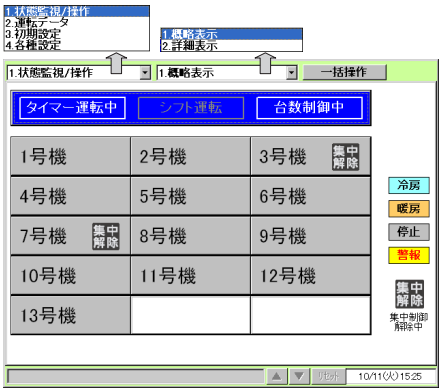
7.4.1. 概略表示

接続されている GHP チラーを一括表示します。

手順

メインメニューで 1. 状態監視／操作 、サブメニューで 1. 概略表示 を選択します。

各ユニットの運転状態が表示されます。



各ユニットの運転状態にしたがって、該当する枠の中が次の色で表示されます。
冷房：水色
暖房：橙色
停止：灰色
警報：黄色（文字は赤色）

7. ご使用方法（つづき）

メイン 1 ／サブ 1

7.4.1.1. 一括操作のしかた

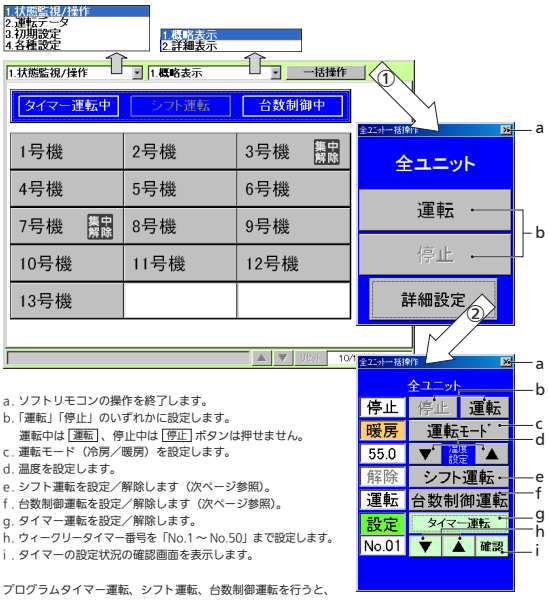
接続されている GHP チラーを一括で操作できます。

手順

メインメニューで 1. 状態監視／操作 、サブメニューで 1. 概略表示 を選択します。

① 一括操作 をタッチすると、全ユニット一括操作の ON/OFF 操作用ソフトリモコンが表示されます。

② 詳細設定 をタッチすると、全ユニット一括操作の詳細設定用ソフトリモコンが表示されます。



a. ソフトリモコンの操作を終了します。
b.「運転」「停止」のいずれかに設定します。
　運転中は 運転 、停止中は 停止 ボタンは押せません。
c. 運転モード（冷房／暖房）を設定します。
d. 温度を設定します。
e. シフト運転を設定／解除します（次ページ参照）。
f . 台数制御運転を設定／解除します（次ページ参照）。
g. タイマー運転を設定／解除します。
h. ウィークリータイマー番号を「No.1～No.50」まで設定します。
i . タイマーの設定状況の確認画面を表示します。

プログラムタイマー運転、シフト運転、台数制御運転を行うと、
画面上部の制御状態表示エリアが白色表示となります。
上図の例では、プログラムタイマー運転と台数制御運転が行われていることを意味しています。

メイン１／サブ１

【シフト運転について】

- シフト運転は、シフト運転モードの自動／手動の選択によって動作が異なります（「7.3.2. 日時／システムの設定」を参照）。
  「手動」に設定されている場合は、[シフト運転] ボタンの ON ／ OFF にしたがって設定温度のシフトが実行／解除されます。
  「自動」に設定されている場合は、現在日時にしたがって自動で設定温度のシフトが実行／解除されます。
  冷房時：17:00～翌日 9:00
  暖房時：10:00～16:00
- 設定温度のシフト値は次の通りです。
  冷房時：＋1℃
  暖房時：－2℃

【台数制御運転について】

- 台数制御運転を行うと、すべてのユニットが台数制御用の設定温度に変わります。
  出荷設定は、冷房：7℃、暖房：45℃です。
- 台数制御を「運転」にしただけでは、台数制御運転は行われません。
  ユニットを「運転」状態にした時点から台数制御が開始されます（「集中解除」となっているユニットを除く）
  台数制御運転中にユニットを停止させると、台数制御は休止状態となります。
- 台数制御が「運転」のときにユニットを「運転」させても、負荷条件によって、実際に運転するユニット台数は異なります。最低でも 1 台は運転します。
- 台数制御運転では、負荷に応じた効率の良い台数で運転を行いますが、負荷以外の条件（連続運転時間や積算運転時間など）により、ユニットが一時的に停止する場合があります。

7. ご使用方法（つづき）

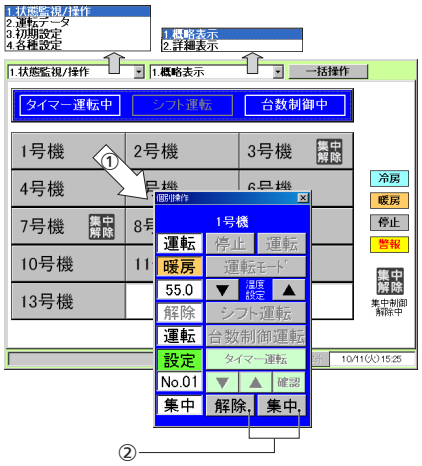
メイン１／サブ１

7.4.1.2. 個別操作のしかた

接続されている GHP チラーを個別で操作することができます。
ただし操作項目は限定されます。

手順

メインメニューで [1. 状態監視／操作] 、サブメニューで [1. 概略表示] を選択します。



① 各ユニットをタッチすると、個別操作用ソフトリモコンが表示されます。（親機設定時のみ）
全ユニット一括操作の詳細設定用リモコンとほぼ同じですが、温度設定と解除 / 集中のみ操作できます。
温度設定は、台数制御運転中はできません。

② 出荷設定時は、すべてのユニットが本コントローラーの制御対象となっていますが、任意のユニットを選び、このソフトリモコンで [解除] を選択すると、制御対象外となり、停止します。
制御対象外のユニットは、集中解除マークが表示され（上図の 3、7 号機）、台数制御や外部一括運転／停止入力についても無視されます。春や秋の冷暖房中間期に運転台数を減らしたい場合やメンテナンス時に一時的にユニットを止めておきたい場合に使用します。
[集中] をタッチすると集中解除マークが消えて制御対象に戻ります。このとき、一括運転中であれば運転します。

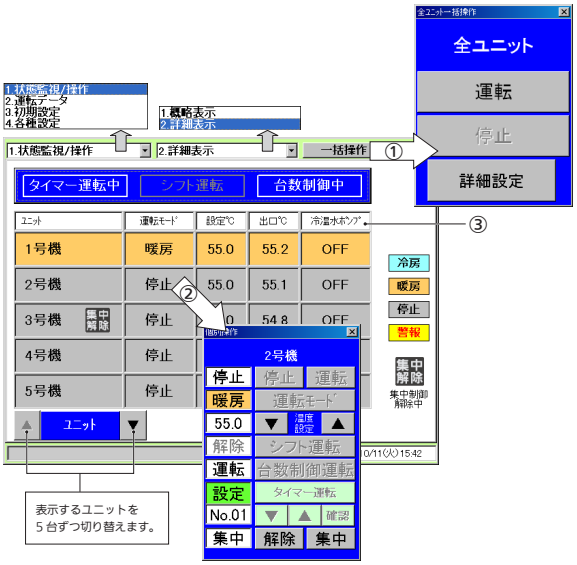
メイン１／サブ２

7.4.1.3. 詳細表示

ユニットごとの詳細な運転状態を表示・操作できます。

手順

メインメニューで [1. 状態監視／操作] 、サブメニューで [2. 詳細表示] を選択します。



① [一括操作] にタッチすると、全ユニット一括操作の ON/OFF 操作用ソフトリモコンが表示されます。

② 各ユニットの行をタッチすると、個別操作用ソフトリモコンが表示されます。（親機設定時のみ）
全ユニット一括操作の詳細設定用リモコンとほぼ同じですが、温度設定と解除 / 集中のみ操作できます。
温度設定は、台数制御運転中はできません。

③「冷温水ポンプ」は冷温水ポンプインターロック入力の ON/OFF 状況です。

7. ご使用方法（つづき）

メイン２／サブ１

7.5. 運転データと警報履歴の確認

7.5.1. ユニットごとの運転データ

GHP チラー系統ごとに運転時間、運転回数の積算状況を確認できます。

手順

メインメニューで [2. 運転データ] 、サブメニューで [1. ユニット毎] を選択します。



表示されている号機番号は GHP チラーのアドレスです。
運転時間、運転回数とは、その GHP チラーに接続されている GHP チラー室外機のエンジンの運転時間、運転回数（停止状態から運転を開始した回数）です。

7. ご使用方法

メイン 2 ／サブ 2

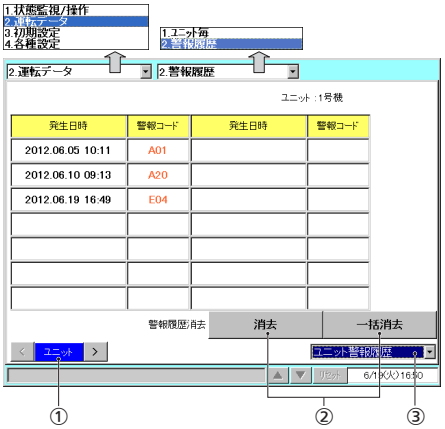
7.5.2. 警報履歴の確認

警報や異常の履歴を過去 14 件まで表示します。

手順

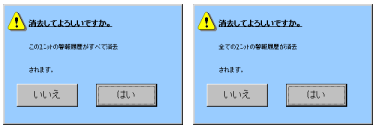
メインメニューで [2. 運転データ]、サブメニューで [2. 警報履歴] を選択します。
※子機の場合は選択できません。

【ユニット警報履歴】各ユニットごとに、警報や異常の履歴が確認できます。



① 表示したいユニットを選択します。

② 対象のユニットの警報履歴のみを消去する場合は [消去] ボタンを、すべてのユニットの警報履歴を消去する場合は [一括消去] をタッチします。
次のような画面が表示されたら [はい] を選択します。



③「ユニット警報履歴」「システム警報履歴」を選択します。

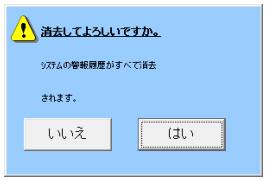
7. ご使用方法（つづき）

メイン 2 ／サブ 2

【システム警報履歴】チラーコントローラーと内蔵の通信アダプターの通信異常の履歴が確認できます。
GHP 一体型チラーの場合は、アナログ入出力基板との通信異常も確認できます。



① すべてのシステム警報履歴を消去します。
次のような画面が表示されたら [はい] を選択します。



②「ユニット警報履歴」「システム警報履歴」を選択します。

メイン 4 ／サブ 1

7.6. 各種設定

7.6.1. プログラムタイマーの予約

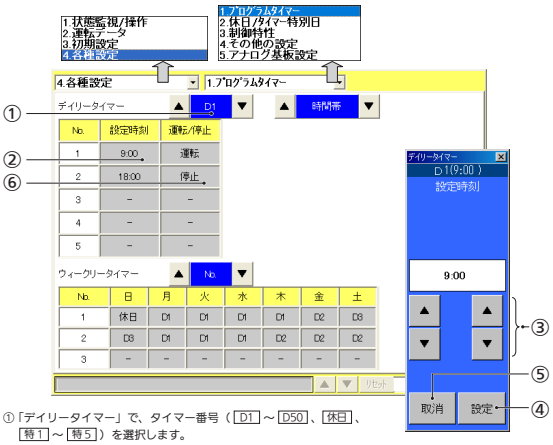
50 種類のデイリータイマー、50 種類のウィークリータイマーを設定することができ、祝祭日などのタイマー休日の設定もできます。

7.6.1.1. デイリータイマーの設定

1 日あたり、設定時刻を 50 件まで、50 種類のデイリータイマーを設定することができます。

手順

メインメニューで [4. 各種設定]、サブメニューで [1. プログラムタイマー] を選択します。
※子機の場合は選択できません。



①「デイリータイマー」で、タイマー番号（[D1] ～ [D50]、[休日]、[特1] ～ [特5]）を選択します。
タイマー番号の休日は休日設定用に予約されています。
タイマー番号の [特1] ～ [特5] はタイマー特別日設定用に予約されています。

②「設定時刻」の欄をタッチすると、デイリータイマー操作用リモコンが表示されます。

③ タイマー設定時刻を選択します。

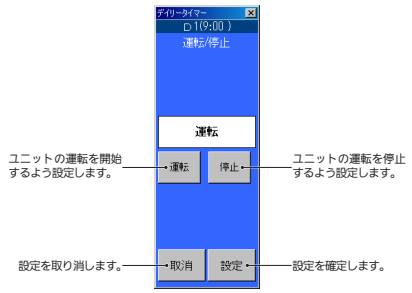
④ [設定] を選択し、設定時刻を確定します。

メイン 4 ／サブ 1

7. ご使用方法（つづき）

⑤ 設定を取り消す場合は [取消] を選択します。表示が「－」になります。

⑥「運転／停止」の欄をタッチし、設定します。



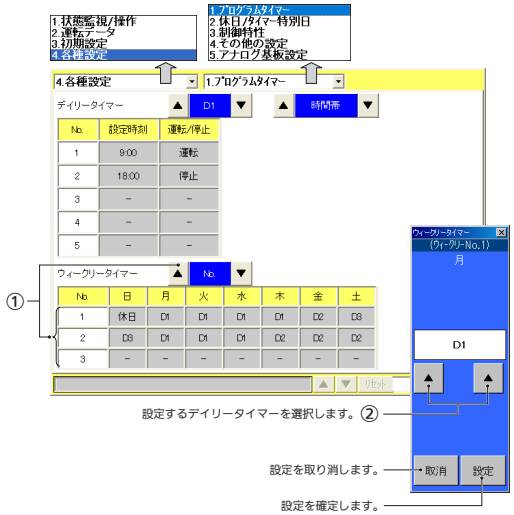
メイン４／サブ１

7.6.1.2. ウィークリータイマーの設定

曜日ごとに任意のデイリータイマーを割り当てて週間プログラムを設定します。
50 種類のウィークリータイマーを設定することができます。

手順

メインメニューで［4. 各種設定］、サブメニューで［1. プログラムタイマー］を選択します。
※子機の場合は選択できません。



① 「ウィークリータイマー」で、ウィークリータイマー番号（［1］～［50］）を選択します。
ウィークリータイマーは、50 種類設定することができ、3 項目ずつ表示されます。
▼をタッチするたびに、「1, 2, 3,」「2, 3, 4」「4, 5, 6」のように表示されます。
▲をタッチするたびに、「50, 1, 2」「49, 50, 1」「48, 49, 50」のように表示されます。

② 設定するデイリータイマー番号（［D1］～［D50］、［休日］、［特別日 1］～［特別日 5］）を選択し、各ボタンで設定／取り消しします。

7. ご使用方法（つづき）

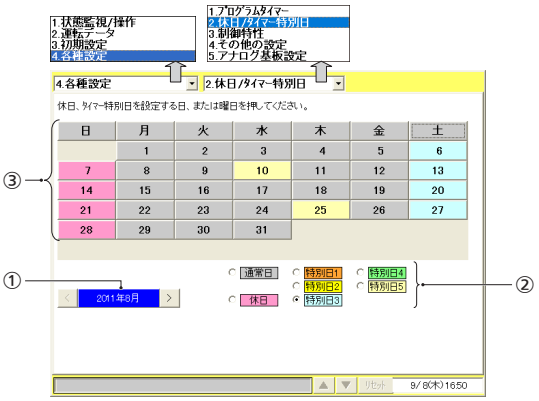
メイン４／サブ２

7.6.2. 休日／タイマー特別日の設定

祝祭日など、休日用タイマーの設定日やタイマー特別日を設定することができます。
向こう 2 年分の登録ができます。（親機設定時のみ）

手順

メインメニューで［4. 各種設定］、サブメニューで［2. 休日/ﾀｲﾏｰ特別日］を選択します。
※子機の場合は選択できません。



① 設定したい年月のカレンダーを選択します。

② 設定したい種別を選択します。（通常日、休日、特別日 1 ～ 5）

③ カレンダーで、休日／タイマー特別日に設定する日、または曜日を選択します。
種別に応じて、右記のとおりの色になります。

通常日　：灰色
休日　　：ピンク色
特別日 1：橙色
特別日 2：黄色
特別日 3：水色
特別日 4：草色
特別日 5：クリーム色

※ 休日、タイマー特別日の設定を解除するには「通常日」に設定してください。

※ 休日、タイマー特別日の動作内容は「プログラムタイマー」画面で設定します。
（「7.6.1.2. ウィークリータイマーの設定」を参照）

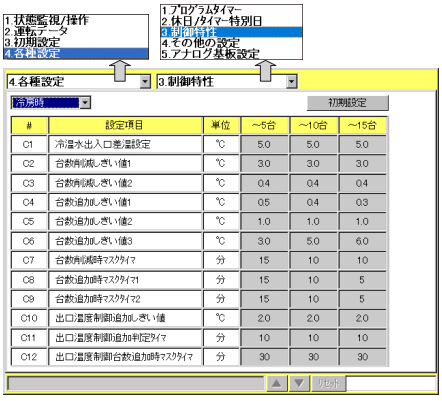
※ たとえば「休日」とは、休日タイマーで動作しますので、前夜から運転していた場合、休日タイマーに何も設定していないと、翌日は終日運転となります。
終日停止にしておきたい場合は、「休日」のデイリータイマーに、設定時刻を「0:00」、運転 / 停止を「停止」と設定しておきます。

メイン４／サブ３

7.6.3. 制御特性の設定

「標準」の台数制御を行う際の制御特性パラメータを変更することができます。

当社サービスマン以外は絶対に変更しないでください



7. ご使用方法（つづき）

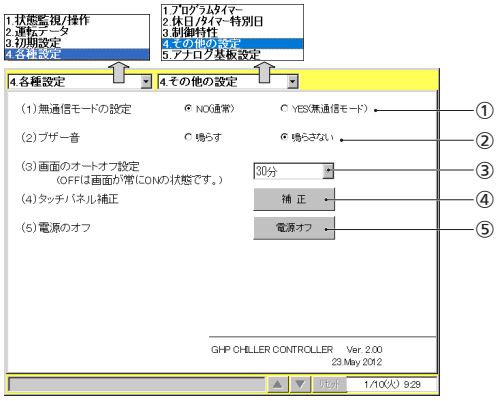
メイン４／サブ４

7.6.4. その他の設定

画面のオートオフなどの設定やタッチパネルの補正、電源 OFF などを行います。

手順

メインメニューで［4. 各種設定］、サブメニューで［4. その他の設定］を選択します。



7.6.4.1. 無通信モードの設定

① 無通信状態で使用するかしないかを設定します。
「YES（無通信モード）」に設定すると、通信異常などは出ませんが、ユニットとの通信を一切行わなくなり表示データも無意味なものとなります。
GHP チラーとの通信が不完全な状態（設置されていない、電源が入らないなど）で、表示レイアウト等の確認だけを行いたいような場合に利用します。
通常は、「NO（通常）」で使用し、不用意に「YES（無通信モード）」に変更しないようご注意ください。

7.6.4.2. ブザー音

②「鳴らす」に設定すると、設定中に有効なボタンをタッチするとブザー（ピー音）が鳴ります。
警報発生時もブザーが鳴ります。
「鳴らさない」に設定すると、警報時のブザーも鳴らなくなります。

メイン４／サブ４

7.6.4.3. 画面のオートオフ設定

③ 所定の時間（ここでの設定時間）だけ画面操作を行わないと、画面表示が自動的に消えるよう設定します。
再び画面をタッチすると、画面表示が復帰します。

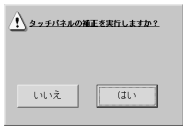
設定値：5 分／ 10 分／ 15 分／ 30 分／ OFF（初期設定：30 分）
※「OFF」に設定すると画面のオートオフを行いません。
※ 時間には、約 1 分の誤差があります。

画面のオートオフは、LCD（液晶ディスプレイ）やバックライトの寿命を延長させる効果があり、節電にもなります。

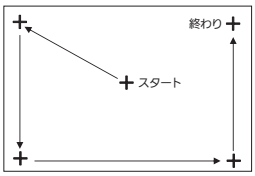
7.6.4.4. タッチパネルの補正

チラーコントローラー周囲の温度・湿度や経年劣化などの影響で、長時間ご使用になりますと、タッチパネル画面のポイントがずれてくる場合があります。このような場合は位置補正を行なってください。

④ [補正] ボタンをタッチすると、次の画面が表示されます。



ここで [はい] を選択すると、白い画面の中央に十字のマークが表示されます。
タッチペンで、その中心部を 1 秒以上タッチし続けてから離します。
十字が自動で左上に移動しますので、同様に十字の中心を 1 秒以上タッチし続けてから離します。
左上→左下→右下→右上と同様に操作を行っていきます。



最後に十字が消えて、「新しい補正内容を設定しました」と表示されますので、
画面のどこかをタッチすれば、補正した結果が有効となって、元の画画に戻ります。
画面操作をせずに 30 秒経過すると、補正結果は無効となって元の画面に戻ります。

7. ご使用方法（つづき）

メイン４／サブ４

7.6.4.5. 電源のオフ

⑤ チラーコントローラーの電源を切る場合、このボタンをタッチしてから行ってください。
「システムを終了しますか？」とメッセージ画面が表示されたら [OK] を選択してください。
その後、データの書き込み処理を行い「電源を切っても安全です。」とメッセージ画面が表示されますので、その状態で電源を切ってください。（書き込みデータが多い場合、このメッセージ画面が表示されるまでに数分程度かかる場合があります）

> **!!** 「電源を切っても安全です。」が表示される前に電源を切ると、誤動作をしたり起動できなくなったりする可能性があります。

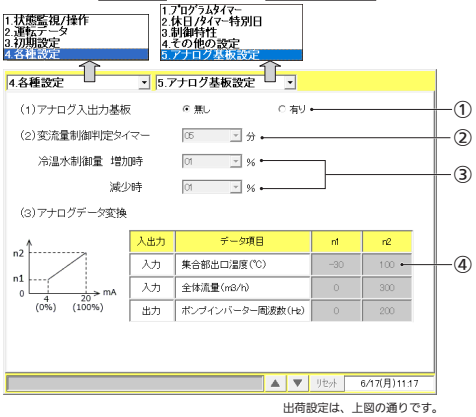
メイン４／サブ５

7.6.5. アナログ基板設定

GHP 一体型チラーにおいてアナログ入出力基板（オプション）を使用するときに関連する設定を行います。

手順

メインメニューで [4. 各種設定]、サブメニューで [5. アナログ基板設定] を選択します。



出荷設定は、上図の通りです。

7.6.5.1. アナログ入出力基板の有無

① アナログ入出力基板（オプション）を使用するかしないかを設定します。
「有り」に設定すると、アナログ入出力基板を中継して集合部出口温度、全体流量を取得し、ポンプ出力の制御を行います。
②③④の設定は、アナログ入出力基板「有り」の時のみ有効（変更可能）です。
アナログ入出力基板を使用しないときは必ず「無し」に設定してください。

7.6.5.2. 変流量制御判定タイマーおよび制御量

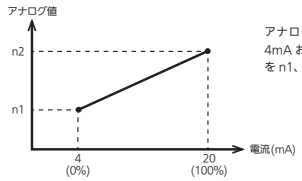
② 変流量制御を開始するまでの判定時間を設定します。1 ～ 60 分の範囲で設定できます。
出荷設定は「5 分」です。
※ 変流量制御は、台数制御運転中のみ有効となります。

③ 冷温水制御量
起動時および運転台数変化時、基準周波数を 15 秒ごとに変化させる量を設定します。
1 ～ 10%および「無制限」が設定できます。
「無制限」を選択すると、基準周波数へ即時変化させます。
出荷設定は「1 %」です。

7. ご使用方法

7.6.5.3. アナログデータ変換

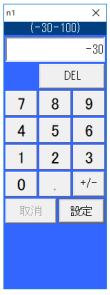
④ アナログ入出力基板で入出力を行うときの電流とアナログ値の関係を設定します。
現場で使用する機器（集合部出口温度センサー、全体流量センサー、ポンプ）に合わせて必ず設定してください。



アナログ入出力基板からの入出力電流が 4mA および 20mA のときのアナログ値を n1、n2 で設定します。

- 集合部出口温度　センサーからの入力値 4mA および 20mA が何℃に相当するかを設定します。-30 ～ 100℃の範囲で設定できます。
- 全体流量　センサーからの入力値 4mA および 20mA が何 m^3 に相当するかを設定します。0 ～ 300m^3 の範囲で設定できます。
- ポンプ周波数　インバータへの出力値 4mA および 20mA が何 Hz に相当するかを設定します。0 ～ 200Hz の範囲で設定できます。

入力欄をタッチすると、次のようなソフトテンキーが表示されますので、4/20mA に相当するアナログ値を入力し、「設定」を押します。



ご注意
システム運転中に n1、n2 の値を変更しないでください。
変更する場合はいったんシステムを停止し、変更後に運転を再開してください。

7.7. 異常時の表示

いずれの場合も、お買い上げの販売店またはサービス会社にご連絡ください。

7.7.1. ユニット警報

ユニット異常(P04)　3号機　　9/15　15:39

GHP チラーに警報が発生したときに表示します。
上図の例では、9 月 15 日の 15 時 39 分に、3 号機系統でＰ０４警報が発生したことを意味しています。

オイル点検　　1号機　　9/15　15:42

室外機のエンジンオイル点検サインが出たときに表示します。

発生日時表示は、通信の遅れや通信異常などがあった場合、実際の発生日時とは異なるときがあります。
また、チラーコントローラー親機と子機でも発生日時表示が異なるときがあります。

7.7.2. 通信異常

通信異常　　10号機　　9/15　15:52

GHP チラーとの通信異常が発生したときに表示します。
チラーコントローラー親機と子機で発生日時表示が異なる場合があります。

親機と通信できません。　　9/15　15:56

子機において、親機との通信異常が発生したときに表示します。

通信異常　　ｱﾅﾛｸﾞ基板　2/15　15:46

GHP 一体型チラーの場合、アナログ入出力基板との通信異常が発生したときに表示します。
（親子選択が「親」の場合のみ）

なお、下記の警報が表示されたら、チラーコントローラー内部の故障が考えられます。
お買い上げの販売店またはサービス会社にご連絡ください。

通信異常　　アダプター　9/15　15:39

DISK2へのアクセス不良です

8. 外部信号の接続

各外部信号の接続先の電気的な詳細仕様は「据付（電気）工事説明書」を参照してください。
なお、外部入出力信号の接続は、「親機」設定時のみ有効です。

8.1. 一括運転出力

接続されたいずれかの GHP チラーが 1 台でも運転している時に外部に信号を出力します。

1）出力場所
　本体（親機）側面の通信端子板：
　DO1（14 番）、DO-COMM（13 番）

2）動作
　ユニットが 1 台でも運転している間、短絡状態となり、全てのユニットが停止すると開放状態となります。
　「運転」とは、警報／異常発生中も含みます。

8.2. 一括警報出力

接続されたいずれかの GHP チラーにおいて警報／異常が発生した場合、外部に信号を出力します。
この信号は警報モニターなどに利用できます。

1）出力場所
　本体（親機）側面の通信端子板：
　DO2（15 番）、DO-COMM（13 番）

2）動作
　次の異常が発生した時に短絡状態となり、復帰時に開放状態になります。
　① いずれかのユニットから警報（故障）信号を受信した場合
　② いずれかのユニットとの通信異常を検知した場合

8.3. 冷房／暖房入力

外部信号により、運転モードを冷房または暖房に切り替えます。

1）入力場所
　「7.3.2. 日時／システムの設定」の項の「冷暖入力」の選択によって次のとおりとなります。

本体（親機）側面の通信端子板	「冷暖入力」選択	
	同一入力	別入力
DI1（17 番）、DI-COMM（16 番）	冷房／暖房信号	冷房信号
DI2（18 番）、DI-COMM（16 番）	無効	暖房信号

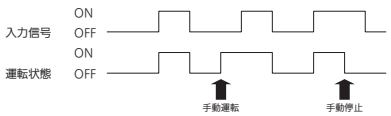
2）動作
　「同一入力」の場合、入力が ON（短絡）で冷房、OFF（開放）で暖房に切り替わります。
　「別入力」の場合、入力が OFF から ON へ変化したとき、冷房または暖房に切り替わります。
　※「別入力」の場合、冷房信号、暖房信号の両方を ON させないでください。誤動作の原因となります。

8.4. 運転／停止入力

外部信号により、GHP チラーを運転させたり停止させたりします。
（「集中解除」に設定されたユニットは除きます）

1）入力場所
　本体（親機）側面の通信端子板：
　DI3（19 番）、DI-COMM（16 番）

2）動作
　入力が ON（短絡）から OFF（開放）に変化したとき、全停止します。
　　※その後、手動で運転させれば運転します（再停止はしません）。
　入力が OFF（開放）から ON（短絡）に変化したとき、全運転します。
　　※その後、手動で停止させれば停止します（再運転はしません）。



※「運転」入力を ON した時、台数制御中でなければすべてのユニットが運転しますが、
　台数制御中の場合は、負荷条件によって実際に運転するユニットの台数は異なります。

8. 外部信号の接続（つづき）

【外部入力による動作について】

● 冷房／暖房入力および、運転／停止入力は、接点状態が変化（OFF→ON、ON→OFF）したときに信号がユニットに送信されます。その後の動作は次の通りです。

ソフトバージョン	運転 / 停止入力	冷房 / 暖房入力
ver2.02 以前	接点状態に変化が無い限り 約 15 秒間隔で繰り返し送信	接点状態に変化が無い限り 約 15 秒間隔で繰り返し送信
ver2.03 以降	接点状態が変化したとき 1 回だけ送信	

※ソフトバージョンは、「その他の設定」画面（ メイン 4 ／サブ 4 ）で確認できます。

● 接点入力状態の変化によって送信を行いますので、チラーコントローラー起動時は、接点に何らかの信号が入力されていても、送信は行いません。
　また、チラーコントローラーが停電しているときに入力状態を変化させても無効となります。

● 外部入力と画面操作は、後から入力（操作）されたほうが有効となります。
　たとえば運転／停止入力を ON→OFF にすればユニットが停止しますが、チラーコントローラーの画面で「運転」を行うと、運転信号を送ります。
　このように、外部入力状態と実際のユニットの運転状態が異なる場合があります。

9. 知っていただきたいこと（1）

● Microsoft および WindowsCE は、米国 MicrosoftCorporation の米国およびその他の国における登録商標です。
　その他の各製品名は、各社の商標又は登録商標です。
　その他の各製品は、各社の著作物です。

● 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。

● 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。

● 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改善のため事前連絡無しに変更する場合がありますが、ご容赦ください。
　本書の内容についても、改善のため事前連絡無しに変更することがあります。

● 本書に記載された事項の使用に起因する第三者の特許権、およびその他の権利の侵害については、当社はその責任を負いません。

10. 知っていただきたいこと（2）

● 電源を切る時のお願い
チラーコントローラーの電源を切るときは、必ず次の手順でお願いします。
「4. その他の設定」画面（ メイン 4 ／サブ 4 ）において、一番下の 電源オフ を選択する。

⇩

「システムを終了しますか?」と表示されたら OK を選択する。

⇩

「電源を切っても安全です。」と表示されたら、その状態で電源を切る。
（数分程度かかる場合があります）

● 警報発生時、「お知らせ」欄や警報履歴画面には警報コードが表示されます。
同じ警報コードでも、製品の機種によっては警報内容が異なる場合がありますので、それぞれの製品の資料などで警報コードに対応する警報内容をご確認ください。

● チラーコントローラーから GHP チラーの設定変更をしても、一時的に表示が戻ることがあります（特に一括操作時）が、通信の遅れによるもので、故障ではありません。間もなく正しい表示となります。

● 運転中、雷や無線などにより誤動作したとき
チラーコントローラーの電源をオフし、再度電源をオンさせてください。
（同ページ「● 電源を切る時のお願い」を参照）
このような場合以外は、原則として電源をオフさせないでください。
ユニットの正しい管理ができなくなります。

● 現在日時の設定について
月差±約 2 分のため、定期的に時報で日時を合わせてください。

● 画面のちらつきについて
画面が時折ちらつくことがありますが、表示のリフレッシュを行っているためで、故障ではありません。

● 台数制御運転について
台数制御運転では、負荷に応じた効率の良い台数で運転を行いますが、負荷以外の条件（連続運転時間など）により、ユニットが一時的に停止する場合があります。

● ユニットが運転中に停電した場合、その後復電しても停止のままとなります。
必要があればチラーコントローラー（または外部入力）から再運転してください。

● 外部入力は、接点入力状態の変化によって送信を行いますので、チラーコントローラー起動時に、初めから接点に何らかの信号が入力されていても、送信は行いません。
また、チラーコントローラーが停電しているときに入力状態を変化させても無効となります。

11. 故障かなと思ったときは

修理を依頼される前に、次のことをお調べください。
なお、危険ですので、ご自分での修理は行わないでください。

症　　状	原　　因
電源スイッチを ON しても画面を表示しない。	・電源のコンセントは抜けていませんか。 ・電源スイッチは ON になっていますか。
タイマー運転がうまくできない。	・タイマー運転が「設定」になっていますか。 タイマー選択を行っても「解除」のままではタイマー運転は行いません。 ・現在の日付、時刻の設定は合っていますか。 現在日時が合っていないと、予定外の時刻に稼動します。 （→「7.3.2. 日時／システムの設定」）
いつの間にか電源が切れている	・画面のオートオフで消えていませんか。 この場合、電源は切れていませんので、画面にタッチしてみてください。
画面のいちばん下の「お知らせ」欄にエラーメッセージが表示されたまま消えない	・警報が発生したユニットの番号と、その内容（警報内容、警報番号等）が表示されますので、その内容をお買い上げの販売店またはサービス会社にご連絡ください。
画面操作を行っても表示の更新に時間がかかる	・接続されている GHP チラーとの通信状況により、多少時間がかかる場合があります。しばらくお待ちいただければ更新されます。
LCD（液晶ディスプレイ）の画面	・LCD 画面の一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合がありますが、これは故障ではありません。 また、LCD 画面は、その性質上、温度変化などで多少むらが発生する場合があります。 これらは故障ではありませんので、ご了承ください。
操作ボタンを押しても操作できない。	・タッチパネルの操作位置と画面の位置が長期間の使用によりずれる場合があります。この場合は補正することができます。 （→「7.6.4.4. タッチパネルの補正」）
ユニットが一台も表示されない、または不足がある。	・「2. 接続」画面 メイン 3 ／サブ 2 でユニットの接続設定を確認してください。
次のメッセージが表示され、起動しない。 ・「"HDisk4" not mount!!」 ・「コンパート処理：Disk Error!」 ・「Error, Dual master CF.」	・お買い上げの販売店またはサービス会社にご連絡ください。
「DISKxx へのアクセス不良です」のウィンドウが表示される。（xx は、1 ～ 4）	確認 を選択して閉じた後、日時表示の左横の リセット を選択してください。その後、再び同じウィンドウが表示される場合には、お買い上げの販売店またはサービス会社にご連絡ください。

12. 仕様

品　　番		CZ-10RT15G
外　形　寸　法		（高さ）240 mm ×（幅）280 mm ×（奥行）138 mm
取　付　方　法		制御盤前面扉
接　続　台　数		最多 15 台の GHP チラー チラーコントローラーの親機・子機は各 1 台まで
時　計　精　度		±約 2 分／月（常温 25℃）定期的に合わせてください。
タイマー	設　定　単　位	1 分
	動　　作	1 日あたり 50 回設定 デイリータイマー 50 種／ウィークリータイマー 50 種
	プログラム周期	1 週間
使用温度・湿度範囲		5℃～ 40℃・20% ～ 80%（結露なきこと）
表　　示		6.5 インチ TFT カラー液晶ディスプレイ（640 × 480 ドット） バックライト付き
電　源　定　格		単相 100V ～ 240V 50/60Hz
消　費　電　力		最大 30W
重　　量		3.4 kg

Printed in Japan
DC0612-70423
ACXF55-19654
85464609180013

Panasonic

据付（電気）工事説明書
チラーコントローラー

品番　CZ-10RT15G

安全上のご注意

■据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

⃠
- **分解や改造は行わない**（感電、火災の原因）
- **水洗いしない**（感電、故障の原因）
- **配線は途中接続しない**
  （接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）
- **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**
  （発熱、火災の原因）

❗
- **据付（電気）工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  ・電気設備に関する技術基準
  ・内線規程
  ・据付（電気）工事説明書
  （感電、火災の原因）
- **漏電しゃ断器（全極開閉機能付）を取り付ける**
  （故障や漏電時に感電、火災の原因）
- **電源は、必ず専用回路を使用する**
  （感電、火災の原因）
- **据付工事は「据付（電気）工事説明書」に従って行う**（感電、火災の原因）
- **電気工事は、本機やユニットなどの漏電しゃ断器を切ってから行う**（感電の原因）
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**（製品の落下、感電、火災などの原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  （製品の落下、感電、火災などの原因）

❗
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**
  （故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**（感電、火災の原因）
- **電圧確認などテスターを使用する際は十分注意する**（感電、故障の原因）

⏚
- **アース工事（D種設置工事）を行う**
  ベランダの手すりやガス管、水道管、避雷針、電話などのアースに接続しない（感電の原因）

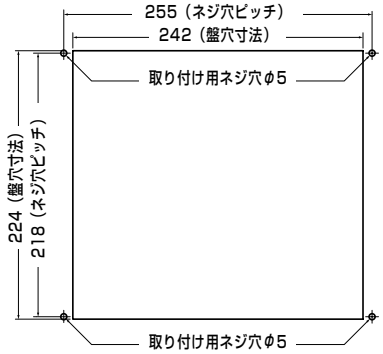
⚠注意

⃠
- **次のような場所では使わない**
  ・結露するところ
  ・可燃性ガスなどが漏れるおそれのあるところ
  ・水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
  ・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
  ・腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
  ・有機溶剤の飛沫するところ
  ・電磁波が出る機械のあるところ
  ・電圧変動の多いところ
  ・ドレン配管近くなど、水滴が落ちるようなところ
  （感電、火災などの原因）
- **ぬれた手で操作しない**（感電、故障の原因）

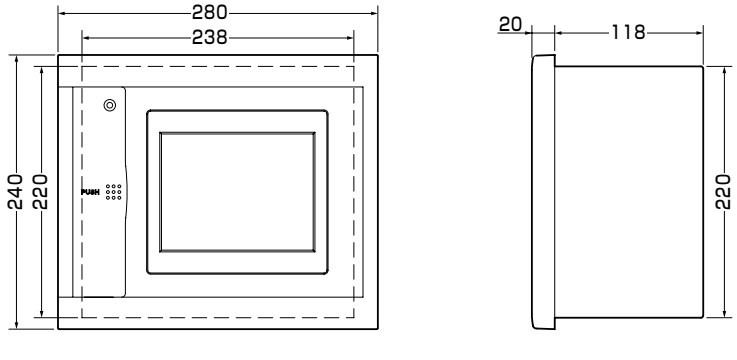
❗
- **電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う**（故障の原因）

1 制御基板設計時の注意事項

制御盤加工図



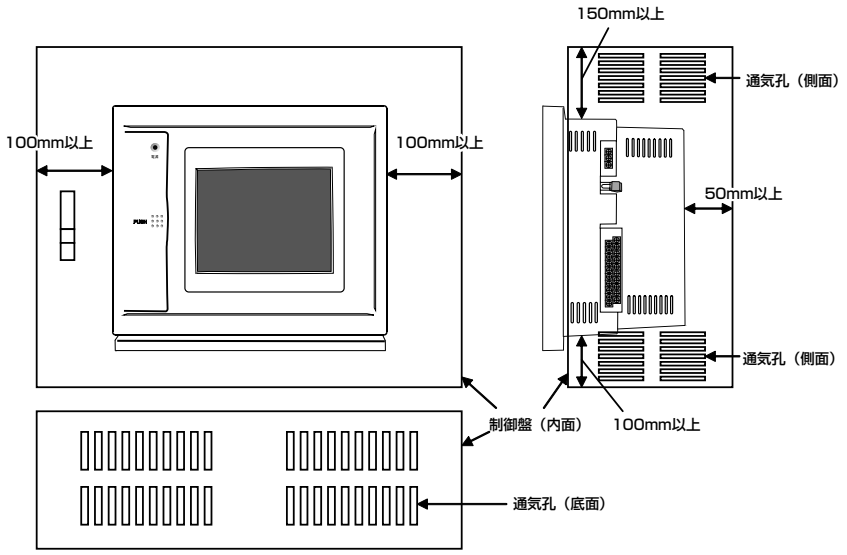
外形寸法図



制御盤の設計にあたり、以下の点についてご考慮ください。

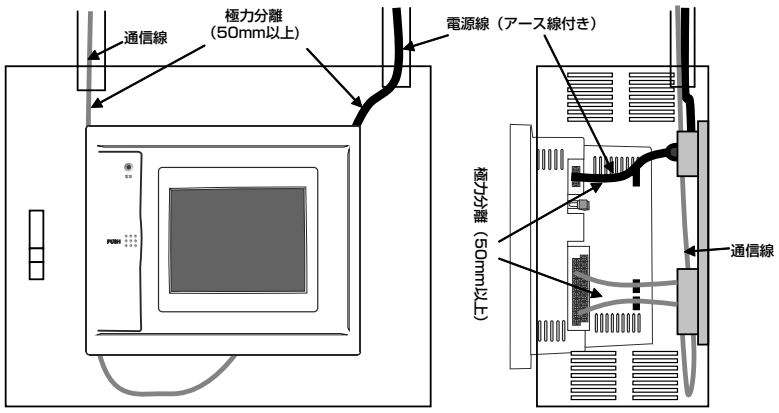
1. 通気性（放熱性）のため、下図のように左右の側面上側、及び側面下側（または底面）に通気孔（丸穴、スリット等）を入れてください。（設置時、通気孔をふさがないようご注意ください。）制御盤内の温度が 40 ℃を超えないようご注意ください。

参考図



2. 電源線と通信線は、ノイズの影響を軽減させるためできるだけ分離（制御盤内部の場合、50mm 以上）してください。

参考図



2 取り付けかた

ご注意

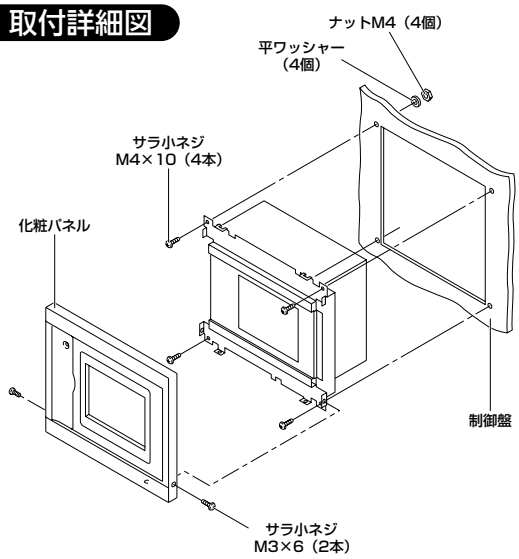
- 屋内設置専用です。
- 通信用配線や入出力配線は、電源配線などといっしょにより合わせたり、同一金属管内に収納したりしますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
- ノイズ発生源から充分離して据え付けてください。
- 水などがかかる場所や極端に湿気の多いところは避けてください。
- 過度の振動や衝撃を受ける場所は避けてください。
- 制御盤に埋め込んで取り付けてください。

①化粧パネルの両側面下部と底部のサラ小ネジを 2 本はずします。

②コントローラー本体を付属のネジ･ナット･ワッシャ (4 本) で制御盤に固定します。

③化粧パネルを元のように取り付けます。

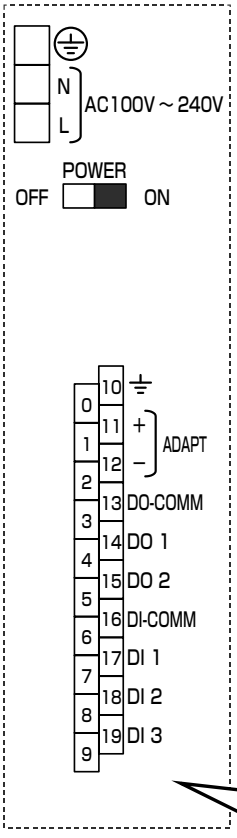
取付詳細図



3 配線のしかた

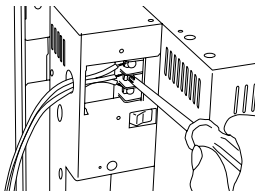
取り付け、取り外しは安全のため、元電源（ブレーカ）を切ってから行ってください。

端子盤配置図

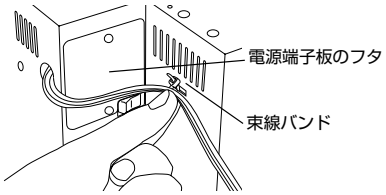


(1) 電源の接続

電源端子板のフタを取り外してください。
電源は商用電源 (AC100 ～ 240V) より、本機専用で接続してください。
電源端子板の L と N(AC のニュートラル側を N 側) に接続してください。



アース線は電源端子板のアース端子に接続してください。
電源端子板のフタを取り付けてください。
電源線を付属の束線バンドでしっかりと固定してください。



(2) 通信線の接続

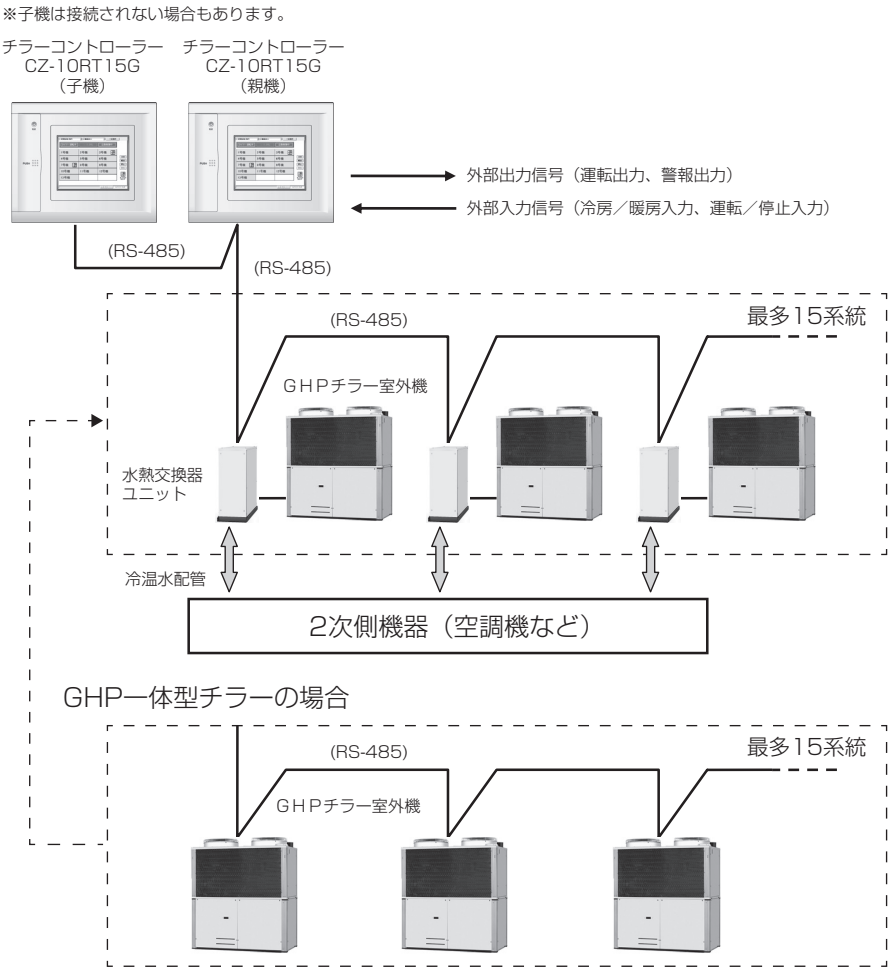
- ＲＳ４８５通信線は、太さ 0.5 ～ 2.0mm^2 の 2 芯シールド線を必ず使用してください。(MVVS または CPEVS)
- ＲＳ４８５通信線には**＋ , －の極性があります。**
- シールドは必ず片側のみを確実にアースしてください。
- 総延長は 1km 以内としてください。
- 電源配線と同一電線管内に通したり同一ケーブルで配線したり、互いを近づけたりしないでください。(30cm 以上離してください)
- 通信配線と電源配線は目視で違いが識別できるケーブルを使用してください。

端子名とその用途

ADAPT ＋ / －	：ＲＳ４８５通信線	
DI 1	：冷房入力（冷房／暖房入力）	
DI 2	：暖房入力	
DI 3	：運転／停止入力	※外部入出力は
DO 1	：一括運転出力	チラーコントローラー
DO 2	：一括警報出力	親機のみ有効

基本配線図

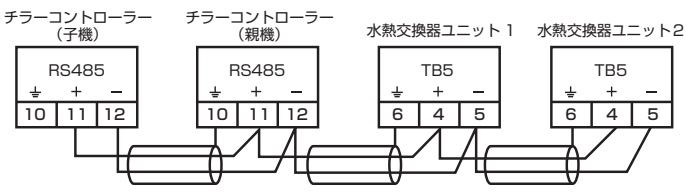
ＲＳ４８５通信線は下図のように配線してください。

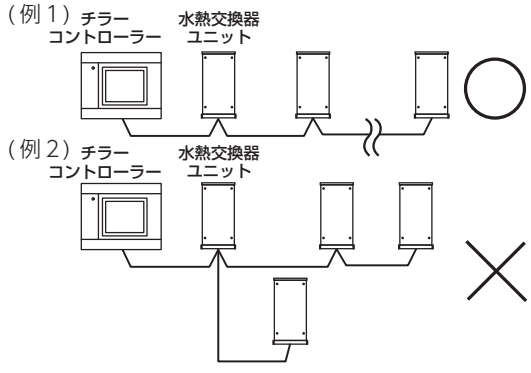


配線の手順

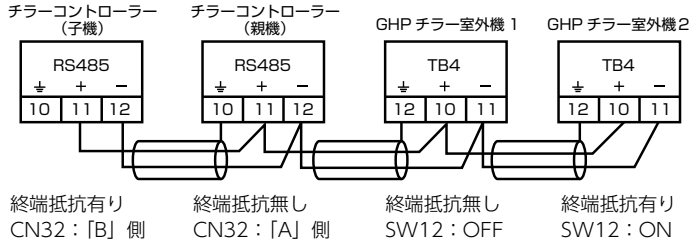
(GHP 一体型チラーの場合は、「水熱交換器ユニット」を「GHP チラー室外機」に読み替えてください。)

- ＲＳ４８５通信線**（＋，－の極性があります）**
  最多 15 台の水熱交換器ユニット、及び子機のチラーコントローラーを接続することができます。
  ＲＳ４８５通信線の接続端子に、AC200V 等の電源線を接続していないか確認してください。
- チラーコントローラーおよび水熱交換器ユニットの通信線端子板の「+」どうし、「−」どうしを、必ず渡りで接続します。(例２のような分岐配線は禁止です)
- 通信線の末端となる水熱交換器ユニットにおいて終端スイッチ（SW12）を「ON」側にしてください。それ以外の水熱交換器ユニットは必ず終端スイッチ（SW12）を「OFF」側にしてください。





GHP 一体型チラーの場合

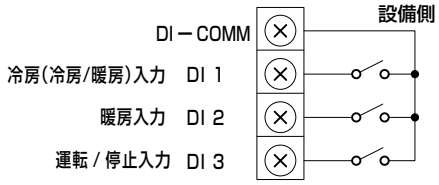


※アナログ入出力基板（オプション）を内蔵する場合は、必ずアナログ入出力基板のディップスイッチ SW1-1 ～ 1-4 をすべて OFF（アドレス「10」）で使用してください。
その他、配線方法などの詳細は、アナログ入出力基板の工事説明書を参照ください。

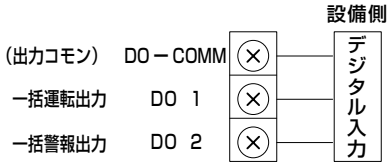
- 終端抵抗の工場出荷状態は下記の通りです。
  チラーコントローラー：CN32 が「B」側（終端抵抗有り）
  水熱交換器ユニット　：SW12 が「OFF」（終端抵抗無し）
- 親機もしくは子機のチラーコントローラーが渡り配線の末端以外の場所に接続される場合は、終端抵抗を「無し」（CN32 が「A」側）に変更してください。

4 外部設備との接続

（1）外部一括入力（無電圧 a 接点スタティック）



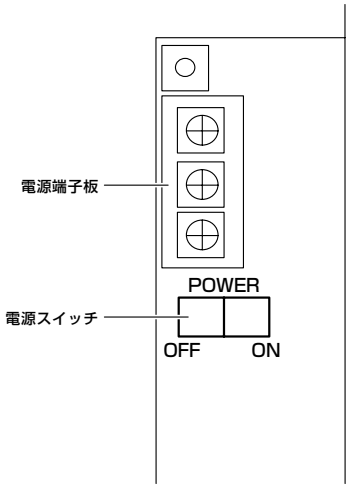
（2）外部一括出力（無電圧 a 接点スタティック）



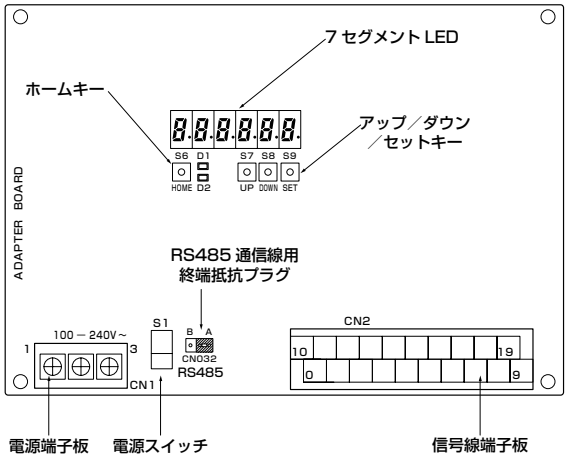
- 外部入力および外部出力は、親機設定のチラーコントローラーのみ有効です。子機には接続しないでください。また、外部入力は必ずチラーコントローラーに入力してください。（GHP チラーへの直接入力は禁止）
- それぞれの信号入力の配線長は、20m 以下としてください。
  この距離を超える場合は、リレー受けをしてください。
- ノイズの影響を受ける恐れがある場所で使用する場合、必ず 0.5mm^2 以上の 2 芯シールド線（片側アース）を使用してください。
- 入力端子には外部から電圧を印加しないでください。
- 入力端子の検出のため、接点に DC5V、約 10mA の電圧がかかります。
- 出力端子の許容接点電圧電流は DC30V、0.5A です。
- 冷暖房信号を同一入力で使用するときはＤＩ１、別入力で使用するときはＤＩ１、ＤＩ２に接続してください。
- 冷暖房信号を同一入力で使用する場合、ＤＩ１とＤＩ－ COMM 間がＯＮ（短絡）で冷房、ＯＦＦ（開放）で暖房となります。

5 電源スイッチについて

本機には電源スイッチが付いています。
電源を接続した後、液晶表示が表示されないときは、電源スイッチを確認してください。



6 基板詳細図

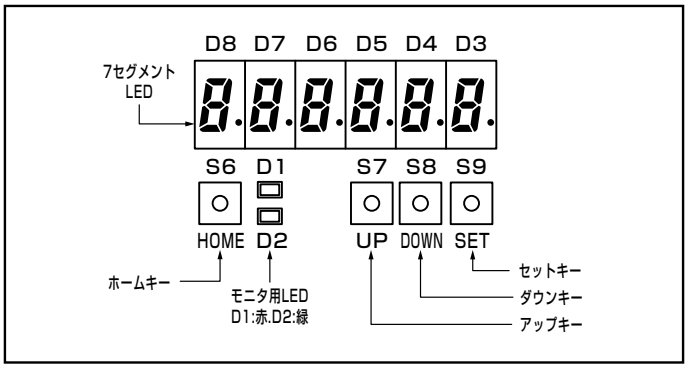


※子機のチラーコントローラーは、アダプター番号を「1」に変更してください。(次項「子機設定方法」を参照)

※終端抵抗プラグは、「A」側で終端抵抗無し、「B」側で終端抵抗有りです。
工場出荷状態は、「B」側になっています。

7 子機設定方法

子機のチラーコントローラーは、下記の手順でアダプター番号を「1」に変更してください。



⚠警告	チラーコントローラー内部には高圧部あり 基板に触れると感電のおそれ

(1) スイッチ操作の概要

①項目の選択

項目選択を UP ・ DOWN キーで行い、SET キーで選択。

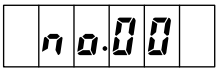
②項目内容の変更

設定変更を UP ・ DOWN キーで行い、SET キーで選択。

HOME キーを 2 秒以上押すと初期状態 n0.00 に戻ります。(設定変更途中の内容は破棄されます)

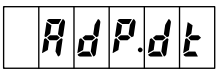
(2) アダプター番号の変更手順

① HOME キーを 2 秒以上押すと次の表示（初期状態）になります。



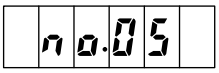
(no.00)

2 秒後



(AdP.dt)

② UP キーを 5 回押すと次の表示になります。



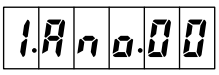
(no.05)

2 秒後に次の表示に変わります。(操作は必要ありません)



(FirSt)

③ SET キーを押すと次の表示になります。(モニタ用 LED の緑 (D2) のみが点灯)



(1.Ano.00)（工場出荷状態)

④ SET キーを 1 秒以上押すと「00」の部分が点滅して変更可能な状態となります。

(モニタ用 LED の緑 (D2) と赤 (D1) が点灯)

ここで UP ・ DOWN キーを使って、アダプター番号を設定します。

UP キーを 1 回押して次の表示にします。(アダプター番号 No.1)



(1.Ano.01)

⑤確定するときは SET キーを 1 秒以上間押してください。(モニタ用 LED の緑 (D2) のみが点灯になります。)

⑥チラーコントローラーの「日時／システム」画面で、親子選択を「子」に設定してください。

メインメニューで 3. 初期設定 、サブメニューで 1. 日時 / システム を選択します。



「親子選択」を「子」に設定します。

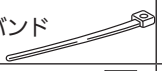
8 接続構成の確認と設定

① GHP チラーの電源をすべて入れてください。
②チラーコントローラーの電源を入れてください。
③チラーコントローラーで時刻設定および接続台数の設定を行ってください。
④チラーコントローラーの表示にしたがって接続台数を確認してください。
⑤必要な設定を行ってください。
※詳しくはチラーコントローラーの「取扱説明書」をご参照ください。

9 お客様への説明

- 「取扱説明書」「据付（電気）工事説明書」は工事完了後お客さまにお渡しください。
- 「取扱説明書」にそってお客さまにご使用方法を説明してください。

付属部品

番号	付属部品	個数	番号	付属部品	個数
①	サラ小ネジ (M4 × 10) 	4	②	ナット (M4) 	4
③	平ワッシャ 	4	④	束線バンド 	6
⑤	取扱説明書 	1	⑥	据付(電気)工事説明書 	1

仕　様

定格電圧……単相 100 ～ 240V
定格周波数 ……50 ／ 60Hz
消費電力……最大 30W
動作温度 ……5 ～ 40℃
動作湿度 ……20 ～ 80%
（結露なきこと）

Printed in Japan
DC0412-70723
ACXF60-19213
85464369563014